S760、S770、S780、S785、S790、HillMaster™ コンバイン

(シリアル番号 130000：　　)

JOHN DEERE

取扱説明書

S760、S770、S780、S785、S790、HillMaster™ コンバイン

OMDXE10847　　F1 版　　(JAPANESE)

John Deere GmbH & Co. KG
John Deere Werke Zweibrücken
欧州版
PRINTED IN U.S.A.

概要

序文

このマニュアルをよく読んで、機械を正しく運転、整備する方法を習得してください。そうでないと、けがや機器の損傷を招く恐れがあります。このマニュアルと機械上の安全標示ラベルは、他の言語でも入手可能です (John Deere 取扱店にお問い合わせください)。

このマニュアルは常に本機の一部と見なし、本機を売却する場合は一緒に引き渡してください。

このマニュアルでは、メートル法、および対応するヤード・ポンド法の両方で寸法が記載されています。正しい交換部品とボルト、ナット類のみを使用してください。メートル表記またはインチ表記の留め具には、特定のメートル表記またはインチ表記のレンチが必要になる場合があります。

右側か左側かは、前進方向に向かった状態で決まります。

製品識別番号 (P.I.N.) を「仕様」セクションまたは識別番号のセクションに記入してください。すべての数字を正確に記入しておくと、盗難時に機械を追跡するために役立ちます。この番号は取扱店で部品を注文する際にも必要になります。識別番号を機械から離れた、安全な場所に保管してください。

公開されている工場仕様を超える燃料供給の設定や、過剰な動力供給をすると、この機械の保証は無効となります。

この機械を納入する前に、販売店は納品前点検を実施しています。最初の 20～50 時間運転の後、最高性能を引き出すために取扱店による販売後点検を計画してください。

このコンバインは、通常の農業または同様の作業で使用することのみを目的としています (「使用目的」)。他の方法に使用すると、使用目的に反していると見なされます。メーカーは、このような誤使用の結果として生じた損傷やけがについて一切責任を負いません。これらの危険はすべてユーザーが負う必要があります。また、メーカーの指定する操作、整備、修理の条件を順守し、厳密に従うことも使用目的の必須要素です。

このコンバインは、その個々の特性すべてに習熟し、関連する安全規則 (事故防止) に精通している人が操作、整備、および修理する必要があります。事故防止規則、一般的に認められている安全衛生上の規則、交通法規を常に順守する必要があります。このコンバインを勝手に改造した場合、その結果として生じる損傷やけがに対してメーカーはすべての責任を免除されます。

中古車両についても登録を行ってください。認可を受けた John Deere 取扱店から中古車両の John Deere 製品を購入した場合、取扱店により保証に関する登録情報が更新されるため、お客様自身が情報を提供する必要はありません。

オークション、トレーダー、または農場主から中古車両の John Deere 製品を購入した場合は、すぐに登録を行ってください。John Deere と John Deere 取扱店では、お客様に安全と満足をお届けすることを尊重しています。John Deere 取扱店は、お使いの作業機のため最高レベルのサポート体制を準備するとともに、提供することを望んでいます。お住まいの国に対応した John Deere のウェブサイトから、お客様の製品詳細と連絡先をオンラインでご入力ください。その後、希望する取扱店をお選びいただければ、認可済み John Deere 製部品の購入に使用できるクーポンをお届けいたします。

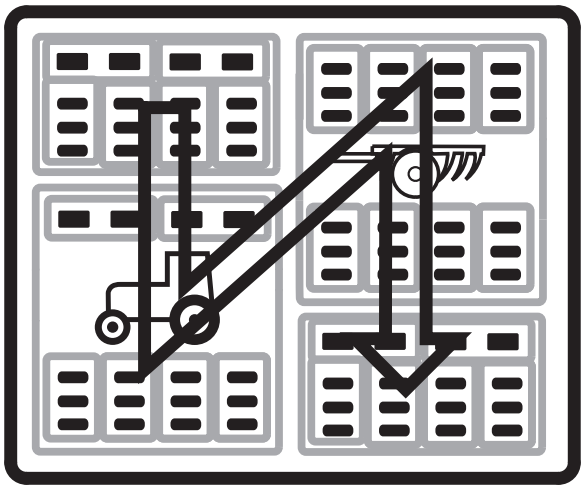
OUO6075,000174F-40-31JAN14

お客様へのメッセージ

この機械をご購入いただき、お客様から寄せられた信頼に感謝申し上げます。この機械を製造するまでに、弊社は最高の性能を発揮できるように設計とテストに膨大な時間をかけています。最大の性能を発揮するには、このマニュアルで説明している手順に従ってこの機械を操作する必要があります。

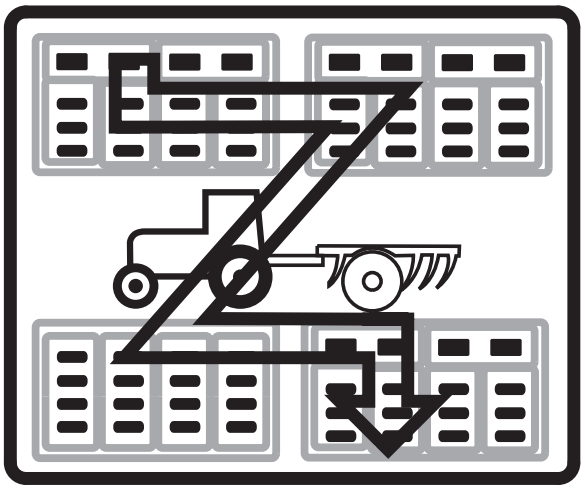
このマニュアルの情報は複数のセクションに分かれています。セクション名は、目次と各ページの上部で確認できます。各セクションには一意の番号とページ番号が付けられています。各セクション内の固有の情報は、太字の見出しで識別されたトピックに整理されています。

トピックの見出しは、トピックが始まる場所でセクション番号とページ番号と一緒に目次に表示されます。トピックと各トピックに関連する情報は、セクションとページ番号とともに索引でも確認できます。



A100767—UN—07JUN18

トピックの内容は、左側を下に流れて、さらに右側で上から下に流れて、次のページでも繰り返されます。画像は、流れの中で関連する文の前に表示されます。



A100768—UN—07JUN18

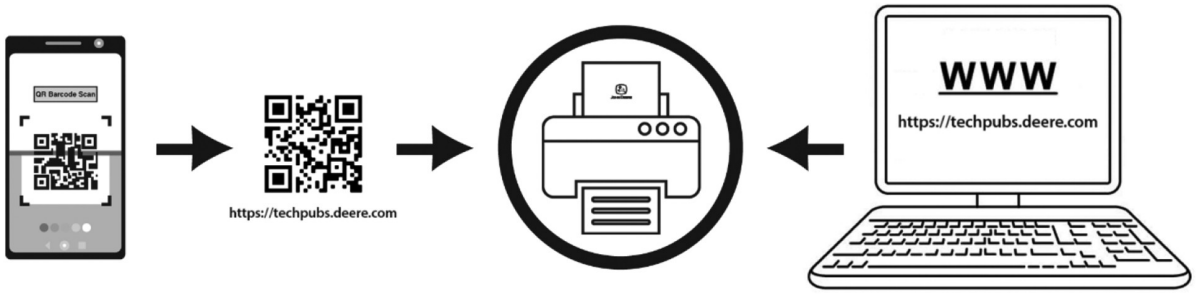
流れは、ページの幅にまたがっている画像や表の前と後に分割されることがあります。

時々このマニュアルを見て、情報が記載されている場所を確認してください。

この機械をご購入いただきありがとうございます。

OUO6075,00049D4-40-08JUN18

ダウンロード手順



Instructions, manuals, and other documents may be downloaded at www.techpubs.deere.com. Scanning the QR code on a mobile device will route to the site automatically.
Les instructions, les manuels et autres documents peuvent être téléchargés à cette adresse: www.techpubs.deere.com. Scanner le QR code via un appareil mobile mène automatiquement au site.
Istruzioni, manuali e altri documenti possono essere scaricati su www.techpubs.deere.com. La scansione del codice QR su un dispositivo portatile indirizza automaticamente al sito.
Anleitungen, Handbücher und andere Dokumente können unter www.techpubs.deere.com heruntergeladen werden. Durch Scannen des QR-Codes mit einem Mobilgerät wird man automatisch zur Webseite weitergeleitet.
Las instrucciones, los manuales y otros documentos se pueden descargar en www.techpubs.deere.com. Al escanear el código QR en un dispositivo móvil, se abrirá automáticamente el sitio web.
Instruções, manuais e outros documentos podem ser baixados em www.techpubs.deere.com. A leitura do código QR em um dispositivo móvel levará você automaticamente para o site.
Инструкции, руководства и другие документы можно загрузить на странице www.techpubs.deere.com. Сканирование QR-кода на мобильном устройстве будет автоматически отправлять на сайт.

TS1746—UN—26APR21
DX,DOWNLOADINSTRUCTIONS,AT-40-27APR21

排ガス性能と不正改造

操作とメンテナンス

排ガス制御システムを含め、エンジンはこのマニュアルに記載の手順に従って操作、使用、およびメンテナンスすることによりエンジンのカテゴリ / 証明書に適用可能な要件の範囲内でエンジン排ガス性能を維持する必要があります。

不正改造

エンジン排ガス制御システムの意図的な改造や誤用は、特に排ガス再循環装置 (EGR) や DEF 供給システムの無効化または維持の不履行により発生します。エンジン排ガス制御システムの不正改造を行うと、欧州連合 (EU) の型式認証および適用可能な排ガス関連保証は無効になります。

DX,EMISSIONS,PERFORM-40-12JAN18

識別図

H115702—UN—31AUG15
OUO6075,000413D-40-31AUG15

目次

ページ

安全機能
機械の安全機能 05-1

安全
安全情報を認識 10-1
シグナルワードについて 10-1
安全上の注意事項の順守 10-1
機械の運転 10-1
オペレータの能力 10-2
道路交通規制の順守 10-2
機械の安全の点検 10-2
手掛りとステップの使用 10-2
機械への同乗者および子供の接近の禁止 10-2
安全な接地接触のためのバラスト 10-3
ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送 10-3
送電線の回避 10-3
機械を駐車して離れる際の注意 10-3
作業場所の換気 10-4
燃料の安全な取り扱い：火災防止 10-4
緊急事態に対する準備 10-4
エンジン始動液の安全な取り扱い 10-4
火災が発生した場合 10-5
燃料再補充時の静電気発生リスクの防止 10-5
保護服の着用 10-6
ヘッダーに近づかない 10-6
ナイフに手を近づけない 10-6
安全灯と安全装置の使用 10-6
シートベルトの着用 10-7
暖房・換気機能付き運転席 10-7
教習シート 10-7
ヘッダー付きのコンバインの安全な輸送 10-7
機械の暴走または予期しない動きの防止 10-8
安全メンテナンスの実行 10-8
電子コントロールユニット近くでの溶接 10-8
溶接または加熱作業前の塗料の除去 10-9
加圧流体ライン近くでの加熱の回避 10-9
可動部品との接触の回避 10-9
グレインタンクの清掃と詰まりの除去を安全に行う 10-10
回転している駆動系の回避 10-10
すべてのシールドとガードの取り付け 10-10
高圧流体の回避 10-10
高圧燃料システムの開放禁止 10-11
アキュムレータシステムの安全な整備 10-11
高圧噴霧からの保護 10-11
タイヤに関する推奨事項の順守 10-11
タイヤの安全な整備 10-12
廃棄 — フルードや部品の適切なリサイクルと廃棄 10-12
冷却システムの安全な整備 10-13
溜まっている作物屑の除去 10-13
機械の適切な支持 10-13

ページ

アタッチメントの安全な保管 10-13
ドライブベルトの安全な点検 10-14
電子部品とブラケットの安全な取り扱い 10-14
後退時の事故の回避 10-14
バックアップアラーム 10-14
非常出口 10-15
バッテリの安全な取り扱い 10-15
エグゾーストフィルタの安全なクリーニング 10-16
高温排気の回避 10-17
オペレータープレゼンスシステムと回転警報システム 10-17

安全標識
絵入りの安全標示ラベル 15-1
安全標示ラベルの交換 15-1
正面からの銘板位置 15-1
フィーダーハウス左側面銘板位置 15-4
キャブ左側の銘板位置とキャブタラップ上の銘板位置 15-6
左側からの銘板位置 15-7
左側からの銘板位置 (続き) 15-9
左側からの残留物銘板位置 (チョッパー) 15-11
左側からの残留物銘板位置 (スプレッダー) 15-12
背面からの銘板位置とエンジンの銘板位置 15-13
右側からの残留物銘板 (チョッパー) 15-15
右側からの残留物銘板位置 (スプレッダー) 15-16
右側からの銘板位置 15-17
キャブ右側の銘板位置と右側の銘板位置 (続き) 15-20
フィーダーハウス銘板右側面図 15-22
上面からの銘板位置 15-24

運転席
ラジオの種類 (オプション) 20-1
アフターマーケットラジオ 20-1
ローカルエリア周波数へのラジオのプログラム 20-1
ラジオのコントロール 20-2
ラジオアンテナ (スタイル A) 20-2
ラジオアンテナ (スタイル B) 20-2
通信 / CB 無線配線 20-3
通信 / CB 無線機の取り付け 20-3
キャビンタラップの位置 20-4
消火器 (欧州) 20-5
消火器 (オーストラリアとニュージーランド) 20-6
消火器 (ユーラシア経済連合) 20-6
消火器の位置 20-7
手すりと右踊り場によるアクセス 20-7

慣らし運転整備
エンジンの慣らし運転 25-1

次のページへ

本文書は翻訳版です。 このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、発行時の情報に基づいています。 予告なしに変更されることがあります。

COPYRIGHT © 2021
DEERE & COMPANY
Moline, Illinois
All rights reserved.

ページ

ベルトドライブの調整：最初の 50 時間 25-3
最初の 100 時間の前の慣らし運転点検 25-4
100 時間後の慣らし運転整備 (ティア 2 / ステージ II) 25-4
慣らし運転整備、400 時間後 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 25-4

始動前点検

エンジンオイルレベル 30-1
油圧オイル / 作動油のレベル 30-2
クーラントレベル 30-2
燃料系統 30-3
燃料タンクブリーザー 30-4
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクのブリーザー (ファイナルティア 4 / ステージ V) 30-4
エンジンエアスクープの位置 30-4
エンジンエアスクープの位置設定 (標準圃場位置) 30-5
エンジンエアスクープの位置設定 (拡張圃場位置) 30-6
エンジンエアスクープの位置設定 (輸送位置) 30-7
エンジンルームの清掃 30-8

エンジンの操作

エグゾーストフィルタの安全なクリーニング 35-1
高温排気の回避 35-1
後処理装置表示灯の概要 35-2
機械停止必要警告 35-3
物体検出センサー (ファイナルティア 4 / ステージ V) 35-4
エンジンの始動 35-4
エンジンの停止 35-5
エンジン回転数管理 (ProDrive™ 搭載の機械) 35-5
エンジン始動液の安全な取り扱い 35-6
寒冷時始動補助装置 (装備されている場合) 35-6
クーラントヒーター 35-6

CommandCenter™ ディスプレイの情報

第 4 世代ディスプレイ 40-1

CommandCenter™ ディスプレイのアプリケーション

CommandCenter™ ディスプレイのアプリケーション 45-1

コントロールのセットアップアプリケーション

コントロールのセットアップへのアクセス 45-A-1
コントロールのセットアップの概要 45-A-1
多機能レバー - コントロールのセットアップ ...45-A-2
多機能レバー 45-A-2
CommandARM - コントロールのセットアップ 45-A-3
CommandARM™ 45-A-4
シングル位置割り当ての作成 45-A-4
デュアル位置割り当ての作成 45-A-5
スクロールボタン 45-A-6
アプリケーションの割り当て 45-A-6
機能の割り当て 45-A-7

ページ

残留物管理アプリケーション

「Residue Management (残留物管理)」へのアクセス 45-B-1
残留物管理メインページ 45-B-1
残留物モード 45-B-3
Separator Vane (セパレータベーン) 45-B-3
Width (幅) 45-B-4
速度 45-B-4
方向 45-B-5
スワップ 45-B-6
キャブ外調整 45-B-6
ナイフバンク 45-B-7
自動スワップ 45-B-7

ヘッダーアプリケーション

ヘッダーへのアクセス 45-C-1
ヘッダーメインページ 45-C-1
ヘッダーの詳細 45-C-3
幅 45-C-4
コーンヘッド幅 45-C-4
条幅 45-C-5
最小リール速度 45-C-5
作業記録 45-C-6
運転時間 45-C-6
上昇 / 下降速度 45-C-7
傾斜速度 45-C-8
高さ感度 45-C-9
チルト感度 45-C-10
前後傾斜 45-C-11
ヘッダー自動制御 45-C-12
制御プレビュー 45-C-12
ヘッダー自動化 45-C-12
高さ復帰 45-C-13
高さ検出 — Off Ground (オフグラウンド) 45-C-14
高さ検出 — オングラウンド 45-C-16
フィーダーハウスフロート 45-C-18
横方向傾斜 45-C-19
復帰の環境設定 45-C-20
前後位置復帰 45-C-21
リール位置復帰 45-C-22
デッキプレート位置復帰 45-C-23
カッターバー位置復帰 45-C-25
自動リール回転数 45-C-26
自動ドレーパーベルト速度 45-C-28
HydraFlex™ 圧力 45-C-29
ドレーパーベルト速度 45-C-30
ドレーパーフロート位置 45-C-31
カッターバー傾斜 45-C-32
デッキプレート間隔 45-C-33
バックシャフト速度 45-C-33
カッターバー位置 45-C-34
詳細設定 45-C-35
リンプホームモード 45-C-35

グレン処理アプリケーション

Grain Handling (グレン処理) へのアクセス 45-D-1
グレン処理メインページ 45-D-1
詳細設定 45-D-2
詳細設定 | グレンレベルオートビーコン 45-D-2
詳細設定 | タンクアンローディングオフセット 45-D-3
詳細設定|カスタムアラームレベル 45-D-3
グレンレベル 45-D-3
水分の設定 45-D-4

ページ

水分アラーム 45-D-4
水分補正 45-D-5
ステータスセンター 45-D-5

折りたたみアプリケーション
折りたたみへのアクセス 45-E-1
折りたたみメインページ 45-E-1
グレンタンクカバー 45-E-3
ファウンテンオーガ 45-E-4
折りたたみ式アンローディングオーガ 45-E-4
ヘッダー輸送位置 45-E-5
コーンヘッドの折りたたみ (John Deere モデル) 45-E-6
コーンヘッドの折りたたみ (John Deere モデル以外) : 45-E-7
手動制御 45-E-8

収穫設定アプリケーション
Harvest Settings (収穫設定) へのアクセス 45-F-1
収穫設定メインページ 45-F-1
Load Harvest Settings (収穫設定の読み込み) 45-F-2
収穫設定の読み込み | プリセット 45-F-3
収穫設定の読み込み | 脱穀条件 45-F-4
収穫設定の読み込み | わら条件 45-F-5
収穫設定の読み込み | プリセットの保存 45-F-6
収穫設定の読み込み | プリセットの保存 | 工場初期設定 45-F-6
収穫設定の読み込み | プリセットの保存 | カスタムプリセット 45-F-6
Load Harvest Settings (収穫設定の読み込み) | 作物変更の影響 45-F-7
現在の設定 | 脱穀すき間 45-F-7
現在の設定 | 脱穀速度 45-F-8
現在の設定 | クリーニングファン 45-F-9
現在の設定 | チャファーすき間 45-F-10
Current Settings (現在の設定) | Sieve Clearance (ふるい隙間) 45-F-11
現在の設定 | 外部構成 45-F-12
Current Settings (現在の設定) | Adjustment States (調整の状態) 45-F-12
詳細設定 45-F-13
詳細設定 | セパレータ分解能 45-F-13
詳細設定 | シュー分解能 45-F-14
性能目標 45-F-15

エンジンアプリケーション
エンジンへのアクセス 45-G-1
エンジンメインページ 45-G-1
エンジン出力 45-G-2
排気フィルタシステムの概要 45-G-3
自動排気フィルタクリーニング 45-G-3
駐車フィルタクリーニング 45-G-4
自動排ガスフィルタクリーニングの無効化 45-G-5
エンジンクールダウン進行中 45-G-5
デブリ管理ろ過容量 45-G-6
エアコンプレッサ 45-G-6
Air Compressor Status (エアコンプレッサステータス) 45-G-7

HVAC アプリケーション
HVAC へのアクセス 45-H-1
ヒーター、換気、エアコン (HVAC) メインページ 45-H-1
温度の設定 45-H-2
ファン回転速度 45-H-2
エアフローモード 45-H-3
エアコンシステム (A/C) 45-H-3
外気温 45-H-3

トランスミッションアプリケーション
トランスミッションへのアクセス 45-I-1
トランスミッションメインページ 45-I-1
最大速度 1、2 .....45-I-2
詳細設定 ProDrive™ 45-I-2
詳細設定 ProDrive™ 牽引モード 45-I-2
詳細設定 ProDrive™ リンプホームモード 45-I-4

ライトアプリケーション
ライトへのアクセス 45-J-1
ライトメインページ 45-J-1
作業灯プリセット 1 — ロービーム 45-J-2
作業灯プリセット 2 — ロービーム 45-J-2
作業灯プリセット 1 — ハイビーム 45-J-3
作業灯プリセット 2 — ハイビーム 45-J-3
退出ライト 45-J-4
作業灯のコントロール 45-J-4

キャリブレーションアプリケーション
キャリブレーションと手順へのアクセス 45-K-1
キャリブレーションと手順の概要 45-K-1
質量流量振動 45-K-1
質量流量振動キャリブレーション手順 45-K-2
水分センサー 45-K-2
水分センサーの手順 45-K-2
脱穀すき間 (STS 電気) 45-K-3
脱穀すき間キャリブレーション (STS 電気) 手順 45-K-3
Yield Calibration (収穫量キャリブレーション) 45-K-4
収穫量 | キャリブレーション品質 45-K-4
収穫量 | ステータス表示灯 45-K-5
収穫量 | サンプルの記録 45-K-5
収穫量 | 秤量重量と一致 45-K-6
収穫量 | 詳細設定 45-K-7
収穫量 | キャリブレーション品質インジケーター 45-K-7
収穫量 | 収集したサンプルのステータス 45-K-8
収穫量 | 質量流量 45-K-8
収穫量 | 重量インジケーター 45-K-9
収穫量 | 記録ステータス 45-K-9
収穫量 | リセット 45-K-10
収穫量 | キャリブレーションの編集 / 選択 45-K-10
収穫量 | 詳細編集 45-K-11
収穫量 | 未使用のサンプルを削除 45-K-12
ActiveYield™ 45-K-12
ActiveYield™ | ステータス表示灯 45-K-12
ActiveYield™ | 詳細設定 45-K-13
ActiveYield™ | リセット 45-K-14
ActiveYield™ | キャリブレーション補正 45-K-14
シャーシ傾斜 45-K-15
シャーシ傾斜キャリブレーションの手順 45-K-15
Threshing Clearance (Hydraulic) (脱穀隙間) (油圧) 45-K-15
脱穀すき間キャリブレーション (油圧) 手順 ... 45-K-16
Unloading Auger Engage (アンローディングオーガの接続) 45-K-16
アンローディングオーガの接続のキャリブレーション手順 45-K-17

ページ

Deck Plate Spacing (デッキプレート間隔) 45-K-17
デッキプレート間隔のキャリブレーション手順 45-K-17
フィーダーハウス上昇速度 45-K-18
フィーダーハウス上昇速度キャリブレーション手順 45-K-18
Header Calibration (ヘッダーキャリブレーション) 45-K-18
ヘッダーキャリブレーション手順 45-K-19
伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテスト 45-K-19
伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテストキャリブレーション手順 45-K-19
Feeder House Tilt Fore/Aft Range (フィーダーハウス傾斜前後位置範囲) 45-K-20
フィーダーハウス傾斜前後位置範囲キャリブレーション手順 45-K-20
Feeder House Lateral Tilt Range (フィーダーハウス横方向傾斜範囲) 45-K-20
フィーダーハウス横方向傾斜範囲キャリブレーション手順 45-K-21
Feeder House Lateral Tilt Speed (フィーダーハウス横方向傾斜速度) 45-K-21
フィーダーハウス横方向傾斜速度キャリブレーション手順 45-K-21
ウイング (折りたたみ式コーンヘッド) 45-K-22
ウイング (折りたたみ式コーンヘッド) のキャリブレーション手順 45-K-22
リールとカッターバーの位置 45-K-22
リールとカッターバーのキャリブレーション手順 45-K-23
黄色のフラッシャー 45-K-23
黄色のフラッシャーのキャリブレーション手順 45-K-23
コンケーブのエア抜き 45-K-24
コンケーブのエア抜きキャリブレーションの手順 45-K-24
コンケーブの水平調整 45-K-24
コンケーブ水平調整のキャリブレーション手順 45-K-25

Combine Advisor™ アプリケーション

Combine Advisor™ へのアクセス 45-L-1
Combine Advisor™ メインページ 45-L-1
詳細設定 45-L-3
グレンシステムビデオ 45-L-3
履歴 45-L-4
性能 45-L-4
アクティブ 45-L-5
完了済み 45-L-6
オフセットの詳細 45-L-7
調整の詳細 45-L-8
レンズの汚れ 45-L-8
自動化ステータス 45-L-9
HarvestSmart™ 設定 45-L-9
速度制限 45-L-10
応答の感応度 45-L-10
HarvestSmart™ | 自動化 45-L-11
エンジン出力目標 45-L-12
Active Terrain Adjustment™ の設定 45-L-13
上り坂感度 45-L-14
下り坂感度 45-L-14
HarvestSmart™ ステータス 45-L-15
Active Terrain Adjustment™ ステータス 45-L-16
Auto Maintain ステータス 45-L-17

ページ

性能の最適化 45-L-18
オフセット調整 チャファー 45-L-18
オフセット調整 ふるい 45-L-19
目標を維持できません 45-L-20
オフセット調整 クリーニングファン 45-L-21
性能目標の設定 45-L-21
性能の問題 45-L-22
セパレータロス 45-L-23
シューロス 45-L-23
未脱穀ロス 45-L-23
破損グレン 45-L-23
軽い異物 45-L-23
重い異物 45-L-23
未脱穀材 45-L-23
わら品質の問題 45-L-24
過剰 2 番還元物 45-L-24
解決策 45-L-24
移動速度の調整 45-L-25
セパレーターベーンの調整 45-L-25
キャブ外調整 45-L-26
Auto Maintain 設定 45-L-28
応答の感応度 45-L-28
グレンロス感度 45-L-28
破損グレン感度 45-L-29
異物感度 45-L-29

コンバインの概要

コンバインの概要 45-M-1
フロントコンソール 45-M-2
コーナーポストディスプレイ 45-M-3
CommandARM™ コンソールとディスプレイ 45-M-6
多機能レバー 45-M-6
ナビゲーションバー 45-M-8
キャブ右側の項目 45-M-9
キャブ左側の項目 45-M-11
オーバーヘッドコントロール 45-M-11
シートコントロール 45-M-12
キースイッチ 45-M-12
ステアリングホイールの調整 45-M-13
ライトの操作 45-M-13
方向指示器、ホーン、ハイ / ロービームの操作 45-M-13
フロントガラスワイパー / ウォッシャーの操作 45-M-14
エーテルインジェクションの操作 (装備されている場合) 45-M-15
ComfortCommand™ 運転席 (ベーシックシート) 45-M-15
ComfortCommand™ 運転席 (プレミアムクロスシート) 45-M-16
ComfortCommand™ 運転席 (アルティメットレザーシート) 45-M-17
シートベルト 45-M-19
教習シート 45-M-19
収穫のコントロール 45-M-20
HVAC 45-M-21
ラジオ 45-M-22
エンジンおよびグラウンド走行 45-M-22
ライト 45-M-23
コンソールとディスプレイ 45-M-24
フィーダーハウスリバーサ 45-M-25
ベルトピックアップクリーンアウト 45-M-25
ヘッダーの接続 45-M-26
セパレータの接続 45-M-26

ページ

脱穀すき間調整 45-M-27
脱穀速度調整 45-M-27
クリーニングファン回転速度調整 45-M-28
チャファーの調整 45-M-29
ふるい調整 45-M-29
サーチ 45-M-30
押しボタンシフトギヤ (装備されている場合) 45-M-30
ProDrive™ (装備されている場合) 45-M-31
道路輸送切断 45-M-31
四輪駆動 (装備されている場合) 45-M-31
デフロック (装備されている場合) 45-M-32
駐車ブレーキ 45-M-32
高排気系統温度 (HEST) 表示灯 45-M-32
燃料レベルインジケーター 45-M-33
排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルインジケーター 45-M-33
クイックストップスイッチ 45-M-33
アンローディングオーガ旋回スイッチ 45-M-34
アンローディングオーガドライブスイッチ 45-M-34
AutoTrac™ 再開ボタン (装備されている場合) 45-M-34
ヘッダー昇降および傾斜スイッチ 45-M-35
リール上昇 / 下降、リール前後位置 (装備されている場合) スイッチ 45-M-35
フィーダーハウスバックシャフト速度、調整式コーンヘッドデッキプレート (装備されている場合) 45-M-35
ヘッダー起動ボタン 45-M-36
VisionTrak™ 45-M-36

ライトとシグナル

ライトの位置 (前後のライト) 50-1
ライトの位置 (前後のライト続き) 50-2
ライトの位置 (前後のライト続き) 50-3
ライトの位置 (左右のライト) 50-4
ライトの位置 (左右のライト、続き) 50-5
ライトの位置 (左右のライト、続き) 50-7
照明の遅延 / タイムアウト 50-7

フィーダーハウス

油圧シリンダの安全ストップ 55-1
フィーダーハウスサイドシールド 55-1
フィーダーハウスドア 55-2
フィードアクセルレータのトップアクセスドア 55-2
フィーダーハウス底部ドアとフィードプレートシールサポート (スタイル A) 55-3
フィーダーハウス底部ドアとフィードプレートシールサポート (スタイル B) 55-3
ストーントラップ 55-4
フィーダーハウス前後傾斜フレームの調整と設定 (手動傾斜) 55-5
フィーダーハウス前後チルトフレームのゼロ点設定 (油圧傾斜) (装備されている場合) 55-6
フィーダーハウスコンベアチェーン：調整 55-7
フィーダーハウスコンベアチェーンリンク：取り外し 55-8
フィーダーハウスドラム (手動傾斜)—高さ調整 55-8
フィーダーハウスドラム (油圧傾斜) (装備されている場合)—高さ調整 55-9
フィーダーハウスコンベア速度：変更 55-9
フィーダーハウスコンベア駆動チェーンリンク—取り外し 55-11
フィーダーハウスコンベアドライブチェーン：調整 55-11
フィーダーハウス上部シャフトスプロケット 55-11
フィーダーハウスバリアブルスピードドライブベルト：交換 55-12
フィーダーハウスバリアブルスピードドライブベルト：調整 55-13
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (可変速度フィーダーハウス) — 交換 55-15
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (バリアブルスピードフィーダーハウス) : 調整 55-18
フィーダーハウス固定速度ドライブベルト：交換 55-19
フィーダーハウス固定速度ドライブベルト：調整 55-19
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (固定速度フィーダーハウス) : 交換 55-19
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (固定速度フィーダーハウス) : 調整 55-21
CommandTouch マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト：交換 55-21
CommandTouch マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト：調整 55-22
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス) : 交換 55-22
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス) : 調整 55-24
手動傾斜インジケーター (横方向傾斜システム) 55-24
マルチカプラーの取り付けと単点ラッチ 55-24
フィーダーハウスへのヘッダーの取り付け / 取り外し 55-26
単点ラッチ — 調整 55-27
平地フィーダーハウス下部ケーブル端：調整 55-28
平地フィーダーハウス：シム調整 55-28
フィーダーハウスラッチピン (清掃) 55-29
フィーダーハウスの手動ラッチ解除 55-29
せん断ねじの位置 55-29

シールド

ガルウイングドア 60-1
ガルウィングドアとシールド 60-1
ガルウイングドアのシリンダの調整 60-2
工具箱 (装備されている場合) 60-2
左サイドシールド 60-2
右サイドシールド 60-4
セパレータカバー 60-4

セパレータ

標準フィードアクセルレータ摩耗ストリップ：交換 65-1
難脱穀性作物用フィードアクセルレータの摩耗ストリップ—交換 65-1

ページ

タインフィードアクセルレータの摩耗ストリップ：交換 65-2
タインフィードアクセルレータのコームフロア (イネ用機械) 65-3
タインフィードアクセルレータのコームフロア (イネ用機械)—取り外し 65-3
フィードアクセルレータベルト：交換 65-5
フィードアクセルレータベルト：調整 65-7
標準速度大容量フィードアクセルレータ：速度の変更 65-7
高速大容量フィードアクセルレータ：低速への変更 65-7
コンケーブに関する推奨事項 65-8
コンケーブタイプ 65-9
コンケーブタイプ (MaxThresh™ と MaxRound™) 65-9
セパレータ格子スペーサ 65-10
セパレータ格子の種類 65-10
セパレータ格子カバー (装備されている場合) 65-11
セパレータ格子インタラプタ (装備されている場合) 65-11
セパレータ格子インタラプタの位置 (装備されている場合) 65-12
セパレータレールライナー (装備されている場合) 65-13
コンケーブセクターギアせん断ボルト (標準型コンケーブの調整) 65-13
コンケーブセクション (標準型コンケーブの調整)—取り外しと取り付け 65-14
コンケーブセクション (アクティブコンケーブ分離)—取り外しと取り付け 65-17
コンケーブの水平調整 (標準型コンケーブの調整) 65-23
コンケーブの水平調整 (アクティブコンケーブ分離) 65-25
セパレータトップカバーベーン (装備されている場合) 65-29
脱穀エレメントおよびタイン (TriStream ローター) : 取り外しと取り付け 65-30
脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (TriStream ローターフグレイン構成) 65-31
脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (TriStream ローターデンスパック構成) 65-32
脱穀エレメントおよびタイン (バリアブルストリームローター) : 取り外しと取り付け 65-33
脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (バリアブルストリームローター標準構成) 65-35
脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (バリアブルストリームローターデンスパック構成) 65-36
Posi-Torq™ セパレーター—デュアルレンジ 65-36
セパレータドライブシーブ隙間：調整 65-37
セパレータ可変速度駆動ベルト—交換 65-38
オーガーベッドディバイダー 65-39
排出ビーターベルト—調整 65-39
ディスチャージビーターベルト：交換 65-39
排出ビーターの摩耗ストリップ—交換 (5 / 10 ウイング方式) 65-43
標準排出ビーターの摩耗ストリップ—交換(8 ウイング方式) 65-44
難脱穀性作物用排出ビーター摩耗ストリップ—交換 65-44
オーバーショットビーターベルト (装備されている場合)—調整 65-45

ページ

オーバーショットビーターベルト (装備されている場合)—交換 65-45
オーバーショットビーター (装備されている場合)—ウイングの交換 65-46
カウンタシャフト右フロントベルト：調整 65-46
カウンタシャフト右フロントベルト：交換 65-47
カウンタシャフト右リアベルト：調整 65-47
カウンタシャフト右リアベルト：交換 65-47
クリーニングシューのエアシュートとアクセスドア 65-48
クリーニングシューオーガギヤ — 手動クリーンアウトドア (装備されている場合) 65-48
クリーニングシューオーガギア：クリーンアウトドア (装備されている場合) 65-48
シュー、ファン、コンベアオーガベルト—調整 65-49
シュー、ファン、コンベアオーガベルト—交換 65-49
クリーニングファンアクチュエータ (Active Terrain Adjustment™ 非装備)—調整 65-50
クリーニングファンアクチュエータ (Active Terrain Adjustment™)—調整 65-50
クリーニングファンベルト (Active Terrain Adjustment™)—交換 65-50
クリーニングファンベルト (Active Terrain Adjustment™)—交換 65-51
調整式フロントチャファー (装備されている場合) 65-51
固定式フロントチャファー 65-52
チャファーとふるい — 測定 65-52
汎用チャファー 30 mm (1-3/16 in) 65-53
高歯チャファー 41 mm (1-5/8 in) 65-53
プレミアムとうもろこし用チャファー 41 mm (1-5/8 in) 65-53
平歯コームチャファー 30 mm (1-3/16 in) 65-54
汎用ふるい 30 mm (1-3/16 in) 65-54
高歯ふるい 30 mm (1-3/16 in) 65-54
「Chaffer/Sieve Adjust (チャファー / ふるい調整)」スイッチ 65-54
デュアルゾーン調整リアチャファー—調整 65-55
チャファー / ふるいエレメント：取り外しと取り付け 65-56
チャファー / ふるい / リターンパンアセンブリ 65-58
チャファー / ふるいモーター—手動調整 65-58
クリーングレインエレベーターベルト：調整 65-59
クリーングレインエレベーターベルト：交換 65-59
クリーングレインエレベーターコンベヤーチェーン — 調整 65-60
クリーングレンエレベーターの摩耗プレートとドア (装備されている場合) 65-61
VisionTrak™ 作動点検 65-61
ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (装備されている場合) 65-62
ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (装備されている場合) 65-62
2 番還元物システムエレベータのセンサー 65-63
2 番物システムエレベーターパドル 65-63
二番エレベータ駆動ベルト—調整 (スタイル A) 65-64
2 番還元物システムエレベーターパドルチェーン — 調整 65-64

ページ

上部二番オーガ駆動チェーン—調整 (スタイル A) 65-65
2 番還元物システム駆動ベルト—調整 (スタイル B) 65-65
2 番還元物システム駆動ベルト—交換 (スタイル B) 65-65
2 番還元物システム駆動チェーン—調整 (スタイル B) 65-66
2 番還元物システム駆動チェーン—交換 (スタイル B) 65-66
2 番還元物システムの摩耗ストリップとラスプバー—取り外しと取り付け (スタイル B) 65-67
2 番還元物システムの摩耗ストリップとラスプバー—調整 (スタイル B) 65-69
2 番還元物システムリターンコンケーブ—調整 (スタイル B) 65-70
2 番還元物システムオーガのクリーンアウトドア (スタイル B) 65-70
駆動ベルト—左側 65-71
駆動ベルト—右側 (スタイル A) 65-72
駆動ベルト—右側 (スタイル B) 65-72
フィードアクセルレータ：詰まり除去 65-73
セパレータ—詰まり除去 65-73
ディスチャージビーター：詰まり除去 65-74

残留物管理

残留物取り扱いのオプション (Intermediate/Deluxe Residue) 70-1
残留物取り扱いのオプション (Premium Residue) 70-1
残留物取り扱いのオプション (わら散布装置) 70-2
一般的なウィンドロー情報 (Intermediate/Deluxe Residue) 70-2
作物ダイバータ羽根：調整 70-2
一般的なウィンドロー情報 (Premium Residue) 70-3
ウィンドローコンバージェンスレーキ 70-3
テールボード：調整 (デラックスレジデュー) 70-4
テールボード羽根 (手動調整)：調整 (デラックスレジデュー) 70-4
尾板羽根 (電気モーター) — 調整 (Deluxe Residue) 70-5
テールボード羽根 (手動調整)：工場設定 (デラックスレジデュー) 70-6
テールボード羽根 (電動調整)：工場設定 (デラックスレジデュー) 70-7
PowerCast™ テールボード—調整 (オプション) 70-8
PowerCast™ テールボードブレード—交換 (オプション) 70-8
PowerCast™ テールボード (オプション) リアシュラウド 70-9
作物分流器 70-9
エアシュート 70-10
オーバーショットビーターフロア (装備されている場合) — 取り外し (Premium Residue) 70-10
チョッパーコントローラバー (オプション) 70-11
チョッパー固定ナイフバンク (電動アクチュエータなし) — 調整 70-11
チョッパー固定ナイフバンク (電動アクチュエータ) — 取り外し (装備されている場合) 70-12
チョッパー固定ナイフバンク (電動アクチュエータ) — 取り付け (装備されている場合) 70-13
チョッパー固定ナイフ (電動アクチュエータなし) — 交換 70-14
チョッパー固定ナイフ (電動アクチュエータ) — 交換 70-15
チョッパーアクセスドア 70-16
ファインカットチョッパーブレード—交換と構成 70-17
極細切断チョッパーブレード — 交換と構成 70-18
中間スプリッターナイフ—交換 (Advanced PowerCast™ テールボード) 70-19
チョッパーブレード：心出し 70-20
チョッパー調整スイッチ 70-21
チョッパードライブ速度：変更 70-21
尾板羽根 — 調整 (Intermediate/Premium Residue) 70-22
尾板羽根 (電気モーター) — 調整 (Intermediate/Premium Residue) 70-22
尾板羽根 (電動調整) — 工場設定 (Intermediate/Premium Residue) 70-23
Advanced PowerCast スプレッダーディスク：交換 70-24
スプレッダー (一般情報) 70-25
スプレッダー—ウィンドロー位置 70-25
スプレッダー—下降 70-26
スプレッダーディスク (シングルスピード)：交換 70-27
スプレッダーディスク (デュアルスピード)：交換 70-28
ワイドスプレッドストロースプレッダー (オプション) 70-28
チョッパードライブベルト張力：調整 70-29
チョッパーベルト：交換 70-29
チョッパージャックシャフトベルト—調整 70-32
チョッパージャックシャフトベルト — 交換 (スタイル A) 70-33
チョッパージャックシャフトベルト — 交換 (スタイル B) 70-35

グレンタンクとアンローディングシステム

グレインタンク / エンジンタラップ 75-1
グレインタンクサンプルトラフ 75-1
グレンタンククリーンアウトドア 75-1
グレンタンク充満センサー — 調整 75-2
グレインタンクカバー (装備されている場合)：操作 75-2
グレインタンクカバー (装備されている場合)：調整 75-3
グレンタンククロスオーガカバー 75-3
ActiveYield™ (装備されている場合) クロスオーガカバー — 取り外し 75-4
ActiveYield™ (装備されている場合) センサーの位置 75-5
せん断ボルトの位置 75-6
アンローディングオーガドライブせん断ボルト 75-6
グレンタンクのローディングオーガデフレクタ 75-6
グレンタンクローディングオーガ (グレンタンクエクステンション) — 折りたたみ 75-7
グレインタンクローディングオーガ (グレインタンクカバー)：調整 75-7
質量流量センサープレート (グレンタンクエクステンション) — 清掃 75-8

ページ

質量流量センサープレート (グレンタンクカバー) — 清掃 75-9
アンローディングオーガ駆動チェーン — 調整 75-9
アンローディングオーガ駆動チェーンリンク — 取り外し 75-9
アンローディングオーガクレードルサポート — 調整 75-10
アンローディングオーガ位置 — 調整 (スタイル A) 75-10
アンローディングオーガ位置 — 調整 (スタイル B) 75-11
アンローディングオーガロックアームの位置 75-11
アンローディングオーガ駆動ベルト — 交換 (スタイル A) 75-12
アンローディングオーガ駆動ベルト — 交換 (スタイル B) 75-13

整備 - 電気システム

電子コントロールユニット近くでの溶接 80-1
電子コントロールユニットのコネクタの清掃 80-1
電気に関する注意事項の順守 80-1
コンピュータ制御システムを搭載した車両の基本的な電気部品の取り扱い / 安全上の注意事項 80-1
バッテリの安全な取り扱い 80-2
バッテリー—安全な取り付け 80-3
バッテリケーブル：接続 80-4
バッテリ：充電 80-4
バッテリ：比重の点検 80-4
バッテリー — ブースターの接続 80-5
バッテリー — 取り外しと取り付け (スタイル A) 80-5
バッテリー — 取り外しと取り付け (スタイル B) 80-6
バッテリー遮断スイッチ 80-7
機械のヒューズセンター 80-7
インラインヒューズ 80-9
キャブヒューズセンター 80-9
ビデオの安全 80-10
ビデオインターフェース機能 80-10
カメラの調整 (装備されている場合) 80-11
ハロゲンバルブ交換時の安全規則 80-11
ハロゲンバルブキャブヘッドライト：交換 80-12
ハロゲンバルブキャブヘッドライト：調整 80-12
ハロゲンバルブキャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム) : 交換 80-13
ハロゲンバルブキャブヘッドライト (ハイビーム/ロービーム): 調整 80-13
発光ダイオード (LED) キャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム) (装備されている場合) : 交換 80-13
発光ダイオード (LED) キャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム) (装備されている場合) : 調整 80-14
ハロゲンバルブフェーシアライト (装備されている場合) : 交換 80-14
発光ダイオード (LED) フェーシアライト (装備されている場合) — 交換 80-15
下部走行ビームライトバルブ (装備されている場合) : 交換 80-15
下部走行ビームライト (装備されている場合) : 調整 80-15
発光ダイオード (LED) ライト (オプション) : 交換 80-16
発光ダイオード (LED) ライト (オプション) — 調整 80-17
ビーコンライトの交換 (スタイルA) 80-18
ビーコンライトの交換 (スタイル B) 80-19
ハロゲンバルブ作業灯 (装備されている場合) — 交換 80-19
発光ダイオード (LED) 作業灯 (装備されている場合) — 交換 80-19
ハロゲンバルブ側面ライトおよびクリーニングシューライト (装備されている場合) — 交換 80-20
発光ダイオード (LED) 側面ライトおよびクリーニングシューライト (装備されている場合) — 交換 80-20
ハザード警告灯 / クリアランスライト、マーカー / 停止灯、リアハザード警告灯 — 交換 80-21
キャビンインテリアライト：交換 80-21
マップライト：交換 80-21

グラウンドドライブとリアアクスル

タイヤの安全な整備 85-1
ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送 85-1
タイヤの手入れと整備 85-1
基本的なタイヤ情報 85-2
タイヤトレッドの種類 85-2
フロントタイヤ圧 (S760 および S770) 85-3
フロントタイヤ圧 (S780、S785、S790) 85-5
フロントタイヤ圧 (HillMaster™) 85-7
リアタイヤ圧 (S760 および S770) 85-8
リアタイヤ圧 (S780、S785、S790) 85-9
リアタイヤ圧 (HillMaster™) 85-10
フロントタイヤおよびリアタイヤの情報 85-10
駆動輪スタータスタッドボルト 85-11
駆動ホイールのボルトのトルク 85-11
フロント駆動ホイールオフセット 85-11
輸送または整備のためのダブルタイヤホイールの準備 85-12
ジャッキポケット位置のステッカー 85-12
ジャッキポケットの位置 85-13
前輪の取り外し 85-14
前輪の取り付け 85-18
リアホイールボルトのトルク 85-22
液体ウエイトの使用 85-22
バラスト要件 85-24
バラスト要件 (HillMaster™) 85-25

輸送

ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送 90-1
道路での機械の運転 90-1
トレーラーによる機械の輸送 90-4
機械の結束位置ステッカー 90-10
機械の結束位置 90-10
ジャッキポケットの位置 90-11
輸送情報 90-11
機械の牽引 (機械式シフトトランスミッション搭載の機械) 90-11
手動トレーラーヒッチ — 取り付け (標準) 90-12
半自動リアトレーラーヒッチ — 取り付け (オプション) 90-12
フロント牽引フック 90-12
リア牽引フック 90-13

ページ

収穫のヒント
低温時の運転 95-1
収穫のヒント 95-1
自動ヘッダー制御の組み合わせ 95-2
タイヤ半径コードの変更 95-4
単点収穫量キャリブレーションまたは多点収穫量キャリブレーション 95-4

作物の設定
アルファルファ / 大麦 100-1
キャノーラ / ひよこ豆 100-2
とうもろこし (ドライ) / とうもろこし (ウエット) 100-3
とうもろこし穂軸混合 / 食用豆 100-4
亜麻 / 草種子 100-5
グアー (クラスタマメ) / レンズマメ 100-6
はうちわ豆 / きび 100-7
からし / 白いんげん豆 100-8
オート麦 / えんどう豆 100-9
ポップコーン / ナタネ (ドライ) 100-10
ナタネ (未乾燥) / 稲 100-11
ライ麦 / べにばな 100-12
もろこし / 大豆 100-13
ひまわり / ライ小麦 100-14
小麦 (難脱穀性) / 小麦 (普通) 100-15
脚注の説明ページ 100-15
コンケーブに関する推奨事項 100-16
動力の遮断手順 100-17
水分と密度の一覧表 100-18
標準重量表 100-18

HillMaster™ レベリングシステム (装備されている場合)
HillMaster™ システム (一般情報) 105-1
HillMaster™ の日常操作の準備 105-3
HillMaster™ レベル制御スイッチ 105-3

John Deere 軌道 (装備されている場合)
機械の写真 110-1
安全な軌道操作の手順 110-1
取扱説明書 110-1
アキュムレータ 110-1
キャブ / プラットフォームアクセスタラップ 110-1
キャブタラップの位置 (幅 60.9 cm (24 in) の軌道) 110-2
キャブタラップの位置 (幅 76.2 cm (30 in) および 91.4 cm (36 in) の軌道) 110-2
キャブタラップの位置 (地面からの折りたたみ / 展開) 110-3
キャブタラップの位置 (キャブ踊り場からの折りたたみ / 展開) 110-3
軌道構成部品 110-5
トラックの機能と利点 110-5
軌道機械の操作 110-6
道路輸送速度 110-7
トラックテンションシステム 110-8
軌道の清掃 110-8
軌道の清掃部分 110-8
整備間隔表 110-9
ベルトの手入れとコンディショニングのための慣らし運転 110-9
軌道交換基準 110-10
作動油 110-10
オイルの点検 110-10
オイル交換 110-11
仕様 110-13
軌道モジュール寸法 110-13
コンバイン寸法 110-14
寸法基準点 110-15
半完成機械類の組込みに関する EC 適合宣言 .. 110-16
半完成機械類の組込みに関する EC 適合宣言 .. 110-17
軌道識別プレート 110-18
識別プレートの位置 110-18

火災防止
火災防止のための推奨事項 115-1
消火器の操作 115-1
液体消火器への充填 (欧州、オーストラリア、ニュージーランド) (必要な場合) 115-2
燃料の安全な取り扱い：火災防止 115-2
緊急事態に対する準備 115-2
エンジン始動液の安全な取り扱い 115-3
溜まっている作物屑の除去 115-3
消火器 (欧州) 115-3
消火器 (オーストラリアとニュージーランド) 115-4
消火器 (ユーラシア経済連合) 115-4
消火器の位置 115-5
火災が発生した場合 115-5
エンジンルームの清掃 115-5

機械の清掃
一般的な清掃のガイドライン 120-1
QR (Quick Response) コード 120-1
機械の清掃 (定期清掃) 120-1
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物) 120-7

燃料と潤滑剤
燃料の安全な取り扱い：火災防止 125-1
燃料再補充時の静電気発生リスクの防止 125-1
燃料タンク — 注入 125-1
ディーゼル燃料の取り扱いと保管 125-2
ディーゼル燃料 125-2
バイオディーゼル燃料 125-3
ディーゼル燃料の潤滑性 125-4
ディーゼル燃料の補助添加剤 125-5
ディーゼル燃料のテスト 125-5
ディーゼルエンジンに対する寒冷気候の影響を最小限に抑える方法 125-5
ディーゼルエグゾーストフルード (DEF)：選択接触還元 (SCR) を装備したエンジンへの使用 125-6
ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) のテスト 125-6
ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) の保管 125-7
ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) タンクの補充 125-7
ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) の廃棄 125-8
ディーゼルエンジンクーラント (ウェットスリーブシリンダライナー付きエンジン) 125-8
John Deere COOL-GARD™ II Coolant Extender 125-9
温暖気候での運転 125-9
クーラント濃縮タイプと混合する場合の水質 125-10
クーラントの凝固点のテスト 125-10

ページ

ディーゼルエンジン慣らし運転用オイル：排出ガス規制認定なし / 認定 Tier 1、Tier 2、Tier 3、Stage I、Stage II、Stage III 125-11
John Deere™ Break-In Plus™ エンジンオイル — インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V 125-11
ディーゼルエンジンオイル：Tier 2 / Stage II .. 125-12
ディーゼルエンジンオイル — インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V 125-12
高高度での運転時のディーゼルエンジンオイルの点検間隔 125-13
エンジンオイルとフィルタの整備間隔：ティア 2/ステージ II エンジン 125-13
エンジンオイルとフィルタの整備間隔 — インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、ステージ V エンジン 125-14
OILSCAN™ および COOLSCAN™ 125-14
ProDrive™ トランスミッション、CommandTouch™ 多速度フィーダーハウス駆動装置、油圧駆動システム、メイン油圧系統、およびメインエンジンギヤケースオイル 125-15
トランスミッション (機械式シフトおよび押しボタンシフト)、ファイナルドライブ、ローディングオーガ、プライマリカウンターシャフト、および 2 速セパレータ駆動ギヤケース 125-15
フィーダーハウスリバーサギヤケース 125-16
グリース 125-16
ブレーキフルード (装備されている場合) 125-16
オイルフィルタ 125-17
燃料フィルタ 125-17
代替潤滑剤と合成潤滑剤 125-17
潤滑剤の保管 125-17
潤滑剤の混合 125-17

潤滑とメンテナンス

整備間隔 — セットアップまたは消去 130-1
潤滑銘板の位置 130-1
油圧ホースの交換 130-1
油圧システムの清浄度 130-1
アキュムレータ圧力 130-2
高圧洗浄機の使用 130-2
圧縮空気の使用 130-2
潤滑記号 130-3
指定された間隔で機械を整備する 130-3
重要な注意事項 130-3

メンテナンス—10 時間ごと

整備間隔表 — 10 時間ごと 130-A-1
エンジンオイルレベル 130-A-2
エンジンクーラント 130-A-3
ロータリースクリーン、オイルクーラー、コンデンサ、ラジエータ、チャージエアクーラー 130-A-3
油圧オイル / 作動油 130-A-5
メインエンジンギヤケースオイル 130-A-5
空気圧縮機リザーバー (装備されている場合) .. 130-A-5
燃料プレクリーナフィルタ 130-A-5
2 速四輪駆動モーターのピボット部 (ぬかるんだ条件) 130-A-6
二輪駆動ヘビーデューティおよびエクストラデューティ車軸スピンドルベアリング / ピボットピンへのグリース注入 (ぬかるんだ条件) 130-A-6
ファイナルドライブ外側ベアリング (ぬかるんだ条件) 130-A-6
エアコンドレンホース 130-A-6
可変速度フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースへのグリース注入 (S760 および S770 機械) (過酷な条件) 130-A-7
ストーントラップ 130-A-7
二番エレベータスリップクラッチへのグリース注入 (難脱穀性作物条件) (S780、S785、S790 機) 130-A-7
ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (装備されている場合) 130-A-7
ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (装備されている場合) 130-A-8
集中潤滑油バンク (装備されている場合) (HillMaster™ 機) 130-A-8
ファイナルドライブピボット (集中潤滑油バンクなし) (HillMaster™ 機) 130-A-8
ヘッダー傾斜プライマリシリンダピボットピン (集中潤滑油バンクなし) (HillMaster™ 機) 130-A-8
レベリングシリンダバレル (集中給油バンクなし) (HillMaster™ 機) 130-A-9

メンテナンス—50 時間ごと

整備間隔表 — 50 時間ごと 130-B-1
2 速四輪駆動モーターのピボット部 (通常の条件) 130-B-2
二輪駆動ヘビーデューティおよびエクストラデューティ車軸スピンドルベアリング / ピボットピンへのグリース注入 (通常の条件) 130-B-2
ファイナルドライブの外側ベアリング (通常の条件) 130-B-2
可変速度フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースへのグリース注入 (S760 および S770 機械) (通常の条件) 130-B-2
フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースオイル 130-B-3
可変速度フィーダーハウス上部シーブへのグリース注入 (S760 および S770 機械) 130-B-3
横方向傾斜フィーダーハウス 130-B-3
セパレータ可変速度従動 / 駆動シーブ 130-B-3
セパレータ可変速度従動 / 駆動シーブ (S770 オプション、S780、S785、S790 機) 130-B-4
クリーニングファン可変速度下部下部 / 上部シーブの清掃 130-B-4
燃料プレクリーナフィルタ 130-B-4
2 速セパレータ駆動装置オイルの点検 130-B-5
油水分離器一次燃料フィルタ 130-B-5
ラジエータ、チャージエアクーラー、オイルクーラー、コンデンサ 130-B-5
質量流量センサー 130-B-6
キャブ新気フィルタ 130-B-6
水分センサー (装備されている場合) 130-B-6
水分センサーバイパスオーガ (必要な場合) 130-B-7
ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (装備されている場合) 130-B-7
2 番還元物センサーバイパスオーガ (必要な場合) 130-B-7

ページ

ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (装備されている場合) 130-B-8
二番エレベータスリップクラッチへのグリース注入 (通常の作物条件) (S780、S785、S790 機) 130-B-8
ファイナルドライブカプラー 130-B-8

メンテナンス — 最初の 100 時間後
整備間隔表 — 100 時間ごと 130-C-1
メインエンジンギヤケースフィルタの交換 (S760 および S770ProDrive™ 搭載の機械) 130-C-1
メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタの交換 (ProDrive™ 搭載の機械) 130-C-1

メンテナンス — 100 時間ごと
整備間隔表 — 100 時間ごと 130-D-1
タイヤ圧とボルトのトルク 130-D-1

メンテナンス — 200 時間ごと
整備間隔表 — 200 時間ごと 130-E-1
再循環フィルタ 130-E-1
プライマリカウンターシャフト (S770、S780、S785、および S790 機の多速度フィーダーハウス) 130-E-1
セパレータ可変速度従動 / 駆動シーブ (S760 および S770 機械) 130-E-2

メンテナンス — 250 時間ごと
整備間隔表 — 250 時間ごと 130-F-1
エンジンオイルとフィルタ (ティア 2 / ステージ II) 130-F-1
エンジンオイルとフィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-F-2
燃料タンクブリーザー 130-F-3
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクのブリーザー (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-F-3

メンテナンス — 400 時間ごと
整備間隔表 — 400 時間ごと 130-G-1
燃料プレクリーナフィルタ 130-G-1
油水分離器 130-G-2
一次 / 二次燃料フィルタ 130-G-2
可変速度駆動 / 従動シーブ (ファイナルティア 4 / ステージ V S760 および S770 機械) 130-G-3
アンローディングオーガ上部ギヤケース 130-G-3
ヘッダー / リール駆動ポンプシーブベアリング 130-G-4
プライマリカウンターシャフトのユニバーサルジョイントスプライン (非多速度フィーダーハウス) 130-G-4
垂直アンローディングオーガ上部ギヤケース (S780、S785、S790 機) 130-G-4
チョッパー / アンローディング駆動軸ベアリング 130-G-4
可変速度駆動シーブ 130-G-5
フィードアクセルレータベアリング 130-G-5
整備間隔表 — 400 時間ごと (続き) 130-G-6
二番オーガ駆動スリップクラッチ (S760 および S770 機械) 130-G-6
コンベアオーガ駆動スリップクラッチ 130-G-7
右側潤滑油バンク 130-G-7
オーバーショットビーターベアリング (オプション) (S770、S780、S785、S790 機) ... 130-G-7
排出ビーターのベアリング 130-G-7
クリーニングファンシャフトベアリング 130-G-7
リアアクスルタイロッド 130-G-8
スプレッダーディスク (装備されている場合) .. 130-G-8
オーバーショットビーターのギヤケースオイル (オプション) (S770、S780、S785、S790 機) 130-G-8
セパレータ駆動オイル 130-G-8
ファイナルドライブオイル 130-G-8
整備間隔表—400 時間ごと (続き) 130-G-10
トランスミッションオイル (S760 および S770 ProDrive™ 非装備の機械) 130-G-10
駐車ブレーキシリンダケーブル (S760 および S770 押しボタン式トランスミッション搭載の機械) 130-G-11
バッテリー 130-G-11
作動油フィルタ / 油圧フィルタ (S760 および S770 機械) 130-G-11
油圧チャージフィルタ 130-G-12
メインエンジンギヤケースフィルタ 130-G-12
エンジンデブリ管理エアフィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-G-12
消火器 130-G-13
プライマリカウンターシャフトギヤケースオイル (固定速度および可変速度フィーダーハウス駆動) 130-G-13
ブレーキフルード (S760 および S770 ProDrive™ 非搭載の機械) 130-G-13
整備間隔表 — 400 時間ごと (続き) 130-G-14
シートベルト 130-G-15
ProDrive™ / メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタの交換 (ProDrive™ 搭載の機械) 130-G-15
フィーダーハウススリップクラッチ 130-G-15
ヘッダー電磁クラッチナット (固定速度および可変速度フィーダーハウス) 130-G-15
多速度フィーダーハウス駆動ギヤケース (S770、S780、S785、S790 機) 130-G-16
ローディングオーガのギヤケースオイル 130-G-16
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクのブリーザー (ファイナルティア 4 / ステージ V) .. 130-G-16
燃料タンクブリーザー 130-G-16
エアフィルタエレメント 130-G-16
水分センサー (装備されている場合) 130-G-17
水分センサーバイパスオーガ (必要な場合) .. 130-G-17
ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (装備されている場合) 130-G-17
2 番還元物センサーバイパスオーガ (必要な場合) 130-G-18
ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (装備されている場合) 130-G-18
ActiveVision™ カメラの乾燥剤カートリッジ (装備されている場合) 130-G-18

メンテナンス — 800 時間ごと
整備間隔表 — 800 時間ごと 130-H-1
フィーダーハウスリバーサギヤケース 130-H-1

メンテナンス — 1000 時間ごと
整備間隔表 — 1000 時間ごと (ProDrive™ 搭載の機械) 130-I-1
メインエンジンギヤケースオイルの交換 130-I-1

ページ

作動油リザーバーフィルタ (S780、S785、S790) 130-I-2
整備間隔表—1000 時間ごと (続き) 130-I-3
ブレーキフルードの交換 (S760 および S770 機械) 130-I-3

メンテナンス — 2000 時間ごと

整備間隔表 — 2000 時間ごと 130-J-1
作動油 / 油圧リザーバーオイル 130-J-1
エンジンバルブラッシュ 130-J-2
ファイナルドライブオイル 130-J-2
メインエンジンギヤケースオイル (ProDrive™ 非搭載の機械) 130-J-2
セパレータ駆動オイル 130-J-3
プライマリカウンターシャフトギヤケースオイル (固定速度および可変速度フィーダーハウス) 130-J-3
トランスミッションオイル (機械式シフトまたは押しボタン式トランスミッション) 130-J-3
オーバーショットビーターのギヤケースオイル (オプション) (S770、S780、S785、S790 機) 130-J-3

メンテナンス — 2000 時間または 3 年ごと

整備間隔表 — 2000 時間または 3 年ごと 130-K-1
排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタの交換 (S780、S785、S790 機) 130-K-1
排ガス処理用尿素水 (DEF) インラインフィルタの交換 (S780、S785、S790 機) 130-K-2

メンテナンス — 3500 時間または 3 年ごと

整備間隔表 — 3500 時間または 3 年ごと 130-L-1
排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタの交換 (S760 および S770 の機械) 130-L-1
排ガス処理用尿素水 (DEF) インラインフィルタの交換 (S760 および S770 機械) 130-L-2

メンテナンス — 4500 時間または 5 年ごと

整備間隔表 — 4500 時間または 5 年ごと 130-M-1
エンジンクランクシャフトダンパー 130-M-1

メンテナンス — 6000 時間または 6 年ごと

整備間隔表 — 6000 時間または 6 年ごと 130-N-1
エンジン冷却システム 130-N-1

メンテナンス — 必要に応じて

整備間隔表—必要に応じて 130-O-1
再循環フィルタ 130-O-1
キャブ新気フィルタ 130-O-2
フロントガラスウォッシャーリザーバー 130-O-2
オルタネータスクリーン 130-O-2
水分センサー (装備されている場合) 130-O-2
水分センサーバイパスオーガ (必要な場合) 130-O-3
ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (装備されている場合) 130-O-3
2 番還元物センサーバイパスオーガ (必要な場合) 130-O-3
ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (装備されている場合) 130-O-4
ActiveVision™ カメラの乾燥剤カートリッジ (装備されている場合) 130-O-4
消火器ブラケットのストラップ (装備されている場合) 130-O-5
窓、ミラー、ライトの清掃 130-O-5

メンテナンス — 必要に応じて (エンジンのフルードとフィルタ)

必要な排出ガス関連情報 130-P-1
リアタラップと踊り場 130-P-1
エンジンフィルタアクセスカバー 130-P-1
エンジンアクセスカバー 130-P-1
始動液缶の交換 130-P-1
エンジン出力や燃料 / システムの改造の禁止 130-P-2
燃料システム 130-P-2
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク — 注入 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-2
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク — 抜き取り (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-3
排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタへのアクセス (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-4
排ガス処理用尿素水 (DEF) インラインフィルタへのアクセス (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-4
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの清掃 130-P-4
燃料タンク — 注入 130-P-5
燃料タンク：抜き取り 130-P-6
燃料タンク：シャットオフバルブ 130-P-6
ウォーターセパレータ次燃料フィルタ — 抜き取り 130-P-6
燃料プレクリーナフィルタ：清掃 130-P-7
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション) — フラッシング 130-P-7
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション)—交換と清掃 130-P-8
一次および二次燃料フィルタエレメント—交換 130-P-9
燃料系統 — エア抜き 130-P-10
冷却システム—抜き取り 130-P-11
冷却システム：充填 130-P-12
冷却システム：冬季に対する準備 130-P-13
エアクリーナフィルタ：取り外し 130-P-13
空気圧縮機システム (装備されている場合) 130-P-14
ディーゼルパティキュレートフィルターのメンテナンスと整備 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-14
排ガスフィルタ / ディーゼルパティキュレートフィルターの灰の処理と廃棄 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-15
排ガスフィルタの廃棄 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-15
エンジンデブリ管理エアフィルター—取り外し (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-15

メンテナンス — 必要に応じて (9.0 L エンジンのベルト)

エンジンベルト — 取り回し (ティア 2 / ステージ II) 130-Q-1
エンジン補機 / ファン駆動 / エアコンプレッサベルト (装備されている場合) — 交換 (ティア 2 / ステージ II) 130-Q-1
ロータリースクリーンベルト：取り回し 130-Q-3
ロータリースクリーンベルト - 交換 130-Q-3
ロータリースクリーン駆動ベルト — 交換 (ティア 2 / ステージ II) 130-Q-4

ページ

エンジンベルト—取り回し (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-Q-5
エアコンコンプレッサ / オルタネータベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-Q-5
ロータリースクリーン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-Q-7
真空ファン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-Q-8
真空ファン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-Q-8
可変回転速度ファン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-Q-9
空気圧縮機ベルト (装備されている場合)—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) ... 130-Q-11
ロータリースクリーンブラシ：調整 130-Q-14
エンジンデブリ管理ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-Q-15

メンテナンス — 必要に応じて (13.5 L エンジンのベルト)

エンジンベルト — 取り回し (ティア 2 / ステージ II) 130-R-1
エンジン補機 / エアコンプレッサベルト (装備されている場合) — 交換 (ティア 2 / ステージ II) 130-R-1
ファン駆動ベルト — 交換 (ティア 2 / ステージ II) 130-R-3
ロータリースクリーンベルト：取り回し 130-R-5
ロータリースクリーンベルト - 交換 130-R-6
ロータリースクリーン駆動ベルト — 交換 (ティア 2 / ステージ II) 130-R-7
エンジンベルト—取り回し (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-R-8
エアコンコンプレッサ / オルタネータベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-R-8
ロータリースクリーン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-R-11
真空ファン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-R-11
空気圧縮機ベルト (装備されている場合)—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) .. 130-R-12
ファン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-R-13
ロータリースクリーンブラシ：調整 130-R-15
エンジンデブリ管理ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-R-16

トラブルシューティング

フィーダーハウス 135-1
セパレータ 135-1
油圧グラウンド走行 135-5
四輪駆動 (オプション) 135-7
ステアリング 135-8
ブレーキ 135-8
エンジン 135-9
電気 135-19
ヒーター 135-20
エアコン 135-20
水分センサー (装備されている場合) 135-21
質量流量センサー (装備されている場合) 135-21
Combine Advisor™ 135-22

ページ

保管

保管のための機械の準備 140-1
保管からの機械の復帰 140-2

仕様

運転回転数 (S760、S770) 145-1
運転回転数 (S780、S785、S790) 145-3
仕様 (S760、S770) 145-5
仕様 (S780、S785、S790) 145-8
寸法 (S760、S770) 145-11
寸法 (S770 HillMaster™) 145-12
寸法 (S780、S785、S790) 145-13
寸法 (S780 HillMaster™、S785 HillMaster™、S790 HillMaster™) 145-14
寸法基準点 145-15
全身振動 145-16
騒音レベル 145-16
電気・電子機器、およびその構成要素の追加設置に関する安全のしおり 145-16
EU 適合宣言 145-17
UK 適合宣言 145-18
ユーラシア経済連合 145-19
機械の設計寿命 145-19
フッ素系温室効果ガス 145-19
二酸化炭素排出量 (CO_2) 145-19
ユニファイインチボルトとねじのトルク値 145-20
メトリックボルトとねじのトルク値 145-21

機械識別番号

機械シリアル番号の解釈 150-1
識別番号 150-1
機械識別プレート 150-2
機械識別プレートの位置 150-2
ユーラシア経済連合適合ラベルの位置 150-2
機械シリアル番号の解釈 150-3
エンジンシリアル番号 (ティア 2 / ステージ II) 150-3
エンジンシリアル番号 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 150-4
キャブシリアル番号 150-4
ハイドロスタティックドライブユニットポンプ 150-4
ハイドロスタティックドライブユニットモーター 150-4
2 速四輪駆動モーター 150-5
エンジンギヤケース 150-5
ローター駆動ギヤケース 150-5
トランスミッション 150-5
フィーダーハウスリバーサ 150-5
多速度フィーダーハウスギヤケース (装備されている場合) 150-6
チョッパー (装備されている場合) 150-6
羽根テールボード (Deluxe、Intermediate、Premium Residue) 150-6
Advanced PowerCast™ テールボード (Intermediate、Premium Residue) 150-6
PowerCast テールボード (Deluxe Residue) 150-6
スプレッダー (Deluxe Residue) 150-7
所有権証明の保管 150-7
機械の安全な保管 150-7

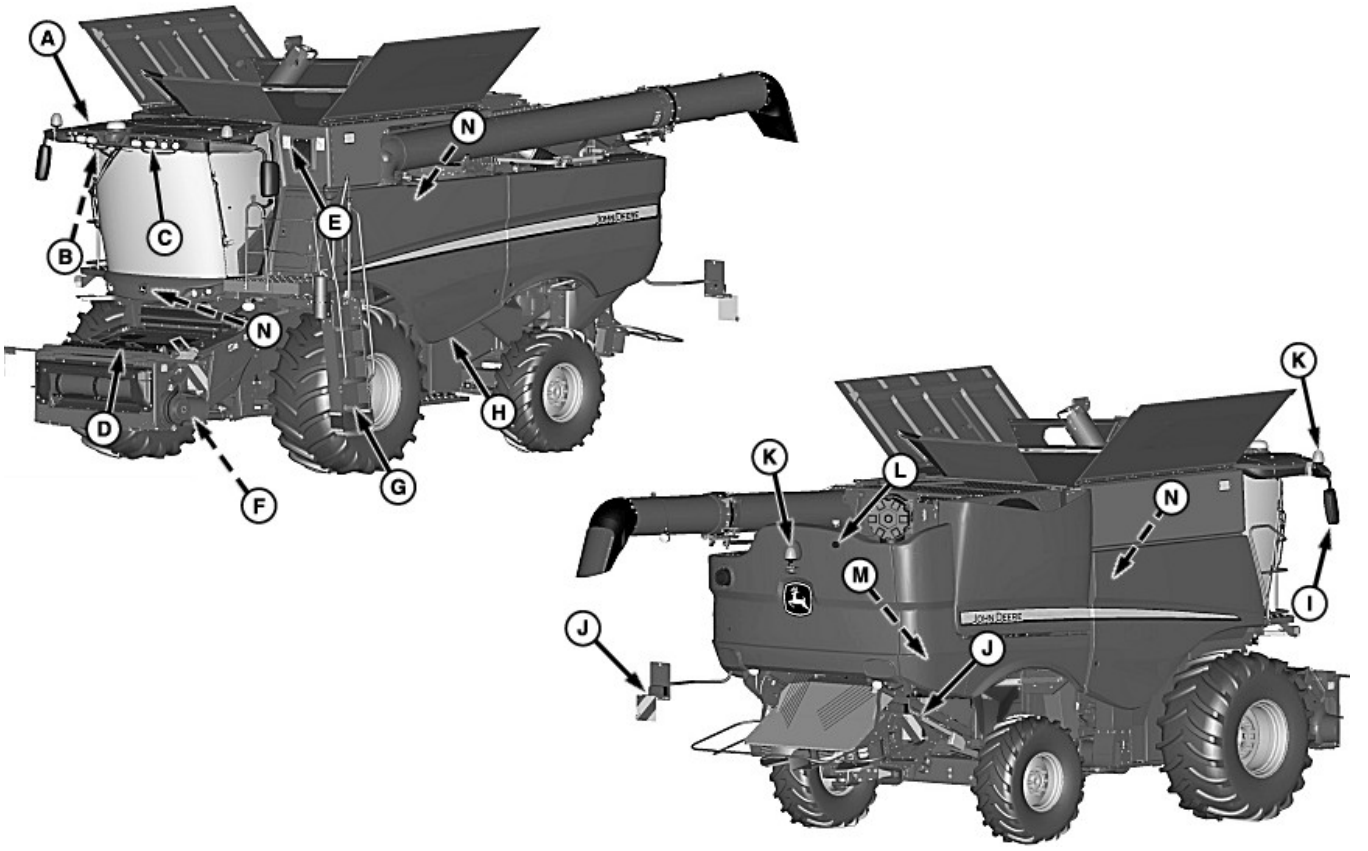
利用可能な John Deere 整備関連文書

技術情報 JDSLA-1

ページ

John Deere のサービスがお客様の現場を守ります
John Deere 製部品 IBC-1
適切な工具 IBC-1
十分な訓練を受けた技術員 IBC-1
迅速なサービス IBC-1

機械の安全機能



H115704—UN—31AUG15

安全機能の配置：正面図 / 背面図

A：**キャブの安全機能：オペレータ着席検出システム、電子制御エンジン始動ロックアウト、シートベルト、ホーン、非常口ウインドウ、駐車ブレーキ、方向指示器**
B：**手掛り**
C：**ヘッドライト**
D：**滑り止めスキッドマット**
E：**安全標識**
F：**機械式安全ストップ (フィーダーハウス)**
G：**滑り止めステップと手すり付きプラットフォーム**
H：**シールド**
I：**バックミラー**
J：**警告灯と反射テープ**
K：**ビーコンライト**
L：**バックアップアラーム**
M：**手すり付き滑り止め整備プラットフォーム**
N：**回転アラーム安全機能：ディスチャージライト、スタブルライト、ガルウイング整備用ライト**

ここに示す安全機能に加え、他の部品およびシステム、機械の安全ライト、および取扱説明書の安全メッセージと安全上の注意事項は、有能なオペレータによるケアおよび配慮と共にこの機械の安全な操作に大きく役立ちます。

OUO6075,000413E-40-31AUG15

安全情報を認識

T81389—UN—28JUN13

これは安全警告のマークです。機械上またはこのマニュアル内でこのマークを目にした場合は、作業者の怪我の可能性に注意してください。

推奨されている注意事項と安全操作の慣行に従ってください。

DX,ALERT-40-29SEP98

シグナルワードについて

⚠ 危険

⚠ 警告

⚠ 注意

TS187—40—20JUN12

危険：シグナルワード「危険」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う危険な状況を示しています。

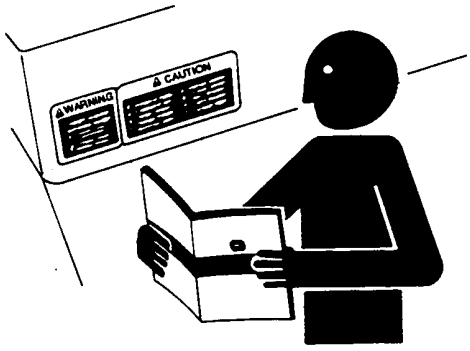
警告：シグナルワード「警告」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示しています。

注意：シグナルワード「注意」は、回避しなかった場合、人が軽度または中程度の傷害を負う可能性がある危険な状況を示しています。「注意」は、人が傷害を負う可能性がある事象に関連する危険な行為を警戒するためにも使用される場合があります。

シグナルワード「危険」、「警告」、「注意」は安全警告マークと共に使用されます。「危険」は最も重大な危険要素を示します。「危険」または「警告」安全標示ラベルは、特定の危険要素の近くにあります。一般注意事項は「注意」安全標示ラベルに記載されています。「注意」はこのマニュアルに記載されている安全上の注意事項への注意も促しています。

DX,SIGNAL-40-05OCT16

安全上の注意事項の順守



TS201—UN—15APR13

このマニュアルおよび機械の安全標示ラベルに記載されている安全上の注意事項をすべて注意深く読んでください。安全標識を良好な状態に保ってください。安全標識が足りない場合は補充し、破損しているものは交換してください。装置の新しい構成部品と修理部品に、最新の安全標示ラベルが付いているか確認してください。交換用の安全標示ラベルは John Deere 取扱店から入手できます。

サプライヤから供給される部品については、この取扱説明書に記載されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

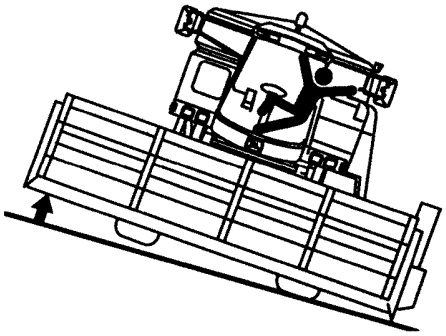
適切な機械の操作方法とコントロールの使用方法を習得してください。説明なしで他の人に操作させないでください。

機械を適切な作動状態に保ってください。許可なく機械を改造すると、機能や安全性を損なう可能性があり、機械寿命に影響を及ぼすことがあります。

このマニュアルに不明な点があり、サポートが必要な場合は、John Deere 販売店にご連絡ください。

DX,READ-40-16JUN09

機械の運転



ZX002461

ZX002461—UN—16JUN95

すべてのガードが正しく取り付けられている場合のみ機械を運転してください。ドアと窓 (装備されている場合) を閉じて機械を操作します。

機械を動かす前に、機械の周辺を必ず確認してください (子供がいないかなど)。適切な視界を確保してくだ

さい。機械を動かす直前に、ホーンを警告として使用してください。

常に道路や圃場の条件に合わせて移動速度を調整してください。登り坂または下り坂の運転時、傾斜地を横断して運転するときは、急旋回を避けてください。グレンタンクがいっぱいの状態で、傾斜地で旋回する場合は、特に注意してください。

ヘッダーの脱着時はヘッダー取扱説明書の指示に従ってください。

旋回時は、装置の幅と、機械の後端が振れることを常に考慮してください。装置と地面の状態はコンバインの運転特性に影響を与えます。

傾斜地または凹凸のある地面を運転するときや急旋回を行う前に、対地速度を下げてください。急な坂を下る前に、低速ギアにシフトしてください。

特に傾斜地ではコンバインが転倒する可能性があるため、穴、溝、および障害物を避けてください。

OUO6075,0004F12-40-17SEP20

オペレータの能力

- 機械の所有者は、オペレータが信頼のおける人物であること、訓練を受けていること、操作の手順書や警告を読んでいること、機械を正しく安全に操作する方法を知っていることを確認しなければなりません。
- 年齢、身体能力、および知的能力は機械関連のけがの要因になることがあります。オペレータは、オペレータステーションやコントロールにアクセスできて、機械を適切かつ安全に操作できる知的能力および身体的能力を有する必要があります。
- 絶対に子供や訓練を受けていない人に機械を操作させないでください。機械や装置に子供を乗せないよう、オペレータ全員に指示して下さい。
- 注意散漫の場合、疲れている場合、および健康を害している場合は、絶対に機械を操作しないでください。機械の適切な操作には、最大限の注意と認識が必要です。

DX,ABILITY-40-07DEC18

道路交通規制の順守

公道を使用するときは必ず現地の道路交通規制に従ってください。

OUO6075,0000032-40-22JAN01

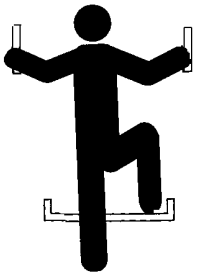
機械の安全の点検

必ず使用前に機械の路上運転および一般運転の安全を点検してください。

FX,READY-40-28FEB91

手掛りとステップの使用

T6981AN—UN—15JUN89



T133468—UN—15APR13

落下はけがの最大の原因です。

機械に乗り降りする際は機械の方を向いて落下しないようにしてください。

機械への乗り降りのときは、機械の方を向き、ステップと手掛りを使用して必ず 3 点支持を保ってください。エンジンデッキの上部に登るときは、必ず手すりを展開して使用してください。

泥、雪、水気で滑りやすい場合は特に注意してください。ステップは清潔に維持し、グリースやオイルがないように手入れしてください。

本機から降りるときに絶対に飛び降りないでください。移動中の機械には絶対に乗り降りしないでください。

OUO6075,0004E97-40-17JUN20

機械への同乗者および子供の接近の禁止

TS253—UN—23AUG88

機械にはオペレータのみが乗り込むことができます。

トレーニング期間中や短期の見学期間を除き、機械への同乗を禁止してください。

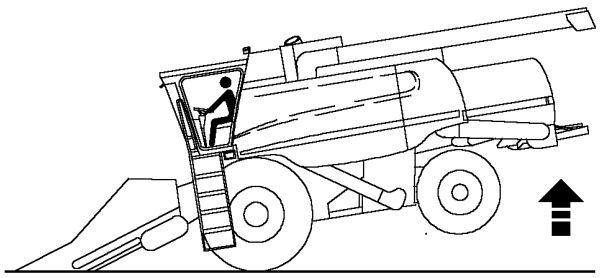
同乗者が機械から振り落とされてけがをする危険性があります。また、同乗者がオペレータの視界の妨げとなり、機械の安全な操作が損なわれることがあります。

エンジン運転中は、絶対に機械やコンバインキャビンに子供を乗せないでください。

教習シートは、説明や短期の機械見学だけのために使用する必要があり、子供を乗せるためのものではありません。

HX,AG,SF6904-40-22JUL99

安全な接地接触のためのバラスト



H51907—UN—10FEB99

重量のあるフロントエンド装置によってコンバインの重心が変わり、コンバインの操作、ステアリング、ブレーキ性能がかなり影響を受ける可能性があります。

必要な接地接触を維持するには、必要に応じてコンバインの後端にバラストを取り付ける必要があります。

最大許容軸荷重および総重量を順守してください。

HX,AG,SF6782-40-05FEB99

ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送

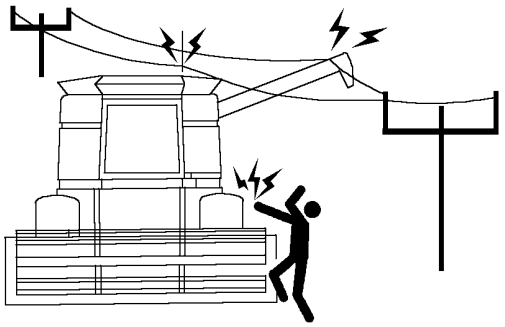
公道でのコンバインの運転に関する国および地域の規則を順守してください。

ドイツの公道で輸送する場合は、最寄りの TUEV の認可を受けて道路使用許可を得る必要があります。

販売店または製造工場で認可を申請してください。

OUO6075,0004672-40-16MAR17

送電線の回避



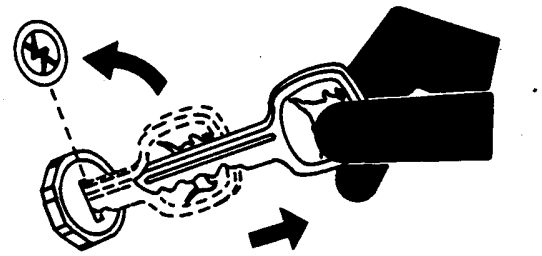
H52022—UN—14APR99

公道で運転する前に、グレインタンクアンローディングオーガを輸送位置にし、グレインタンクアクセス手すりを下ろします。

公道で運転する前に、ラジオアンテナを輸送位置にしてください。垂れ下がっている送電線にラジオアンテナが接触する可能性があります。これにより、オペレータが感電して重傷を負うことがあります。

HX,STSSA,D-40-22JUL99

機械を駐車して離れる際の注意



TS230—UN—24MAY89

コンバインの前端の装置を地面に降ろします。

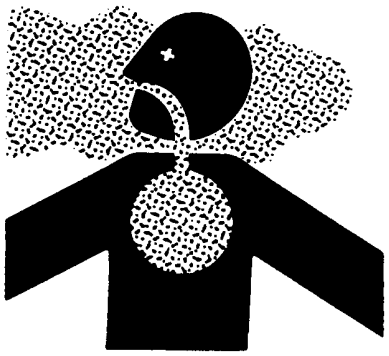
本機から離れる前に、ヘッダーとセパレータの接続を解除します。多機能レバーをニュートラル位置にして機械を停止します。駐車ブレーキをかけてキーを抜いてから運転キャビンをロックします。

エンジンを運転している場合は、絶対に本機から離れないでください。

運転中は、絶対に運転キャビンから離れないでください。

OUO6075,0004E18-40-25JUN20

作業場所の換気



TS220—UN—15APR13

エンジンの排気ガスは病気や死亡の原因になる可能性があります。 閉鎖された場所でエンジンを運転する必要がある場合は、排気管エクステンションを使って排気ガスを除去してください。

排気管エクステンションがない場合は、ドアを開けて外気を取り入れてください。

DX,AIR-40-17FEB99

燃料の安全な取り扱い：火災防止

TS202—UN—23AUG88

燃料は慎重に取り扱ってください。 高い引火性があります。 喫煙しながら、または直火や火花がある状況で給油しないでください。

必ずエンジンを停止してから給油してください。 燃料タンクは屋外で補充してください。

廃棄物、油脂類、堆積物が機械にたまらないように清掃し、火災を防止してください。 こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

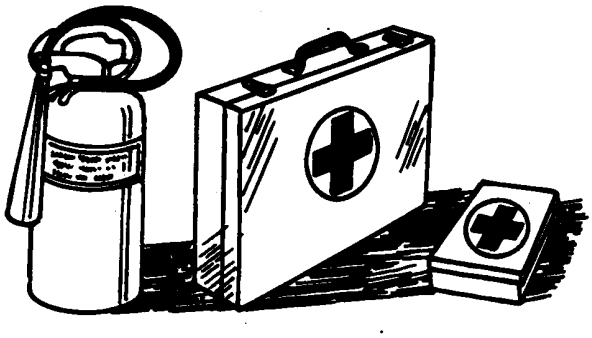
引火性液体の持ち運びには認可された燃料容器だけを使用してください。

プラスチック製ベッドライナーを敷いたピックアップトラックで、絶対に燃料容器を充填しないでください。 補充の前に必ず燃料容器を地面に置いてください。 缶の蓋を外す前に燃料容器を燃料ディスペンサーのノズルで触ります。 補充時は、燃料ディスペンサーのノズルが常に燃料容器に触れているようにします。

直火、火花、または給湯器その他の電気器具内などの点火用ライトがあるところに燃料容器を保管しないでください。

DX,FIRE1-40-12OCT11

緊急事態に対する準備



TS291—UN—15APR13

火災に備えてください。

救急箱と消火器を手近に置いてください。

医師、救急車サービス、病院、消防署の緊急番号を電話の近くに備えてください。

DX,FIRE2-40-03MAR93

エンジン始動液の安全な取り扱い

TS1356—UN—18MAR92

エンジン始動液は高い引火性があります。

使用する場合は、すべての火気を遠ざけてください。 エンジン始動液はバッテリとケーブルから離してください。

加圧された缶の保管時には、中身が誤って放出されないよう、蓋をして涼しい安全な場所に保管してください。

エンジン始動液の容器を焼却したり、穴を開けたりしないでください。

グロープラグまたは吸気ヒーター装備のエンジンでは始動液を使用しないでください。

DX,FIRE3-40-14MAR14

火災が発生した場合

TS227—UN—15APR13

注意： **けがをしないようにしてください。**

火災の兆候が認められた場合はすぐに作業機を止めてください。 火災は煙の臭いや炎により発見することができます。 火災は急速に拡大するため、すぐに作業機を降りて火元から離れてください。 絶対に作業機には戻らないでください。 安全を最優先してください。

消防署に通報してください。 携帯型の消火器でも小さな火災を消火したり消防車が到着するまで抑えることができますが、それにも限界があります。 必ずオペレータと同伴者の安全を最優先してください。 消火を試みる場合は、風を背にして避難路を確保し、消火に失敗した時にすぐに離れられるようにしてください。

消火器の説明書を読み、火災が発生する前にその位置、部品、および操作を理解しておいてください。 現地の消防署または防火装置の販売店から消火器の講習や推薦を受けることができます。

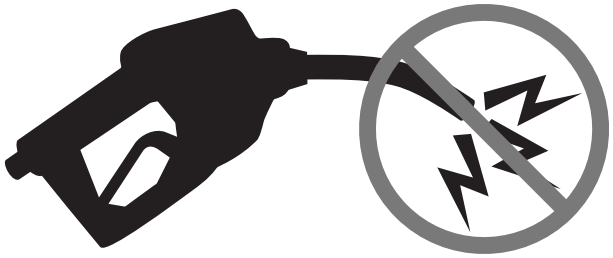
お使いの消火器に説明書がない場合は、以下のガイドラインに従ってください。

1. ピンを引きます。 ノズルを自分から離して消火器を保持し、ロック機構を解除します。
2. 低い場所を狙います。 消火器は火の根元に向けてください。
3. レバーをゆっくり均等に握ります。
4. 横から横へノズルを動かします。

DX,FIRE4-40-22AUG13

燃料再補充時の静電気発生リスクの防止

RG22142—UN—17MAR14



RG21992—UN—21AUG13

超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料内の硫黄と他の化合物が除去されると導電性が低下するため、静電気を帯電しやすくなります。

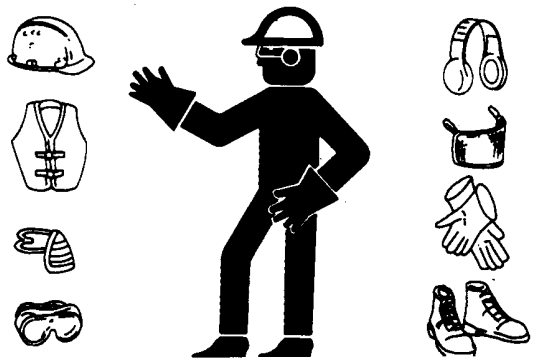
製油業者が帯電防止添加剤で燃料を処理している場合もあります。 しかし時間の経過により、添加剤の効果が低下するさまざまな要因があります。

燃料供給システム内を ULSD 燃料が流れるにしたがい、静電気が帯電する可能性があります。 燃焼性のガスが存在する場合に静電放電が発生すると、火災や爆発のおそれがあります。

したがって、お使いの作業機に燃料を補充するためのシステム全体 (燃料供給タンク、移送ポンプ、移送ホース、ノズル等) を適切に接地し接合することが重要です。 燃料供給システムが、適切な接地および接合に関して燃料補給系としての基準を満たしているかどうか確認するには、お使いの燃料または燃料システムのメーカーにお問い合わせください。

DX,FUEL,STATIC,ELEC-40-12JUL13

保護服の着用



TS206—UN—15APR13

ぴったりした衣類と作業に適した安全具を着用してください。

機械の安全な操作のために、オペレーターは細心の注意を払う必要があります。 機械の操作中にラジオや音楽用ヘッドフォンを着用しないでください。

DX,WEAR2-40-03MAR93

ヘッダーに近づかない

ES118704—UN—21MAR95

カッターバー、オーガ、リール、およびフィードロールは機能上完全にシールドすることはできません。操作中はこれらの可動部に近づかないでください。機械の整備または詰まりの除去を行う前に、必ずメインクラッチを切り、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけて、キーを抜き取ってください。

OUO6075,00009E5-40-28SEP10

ナイフに手を近づけない

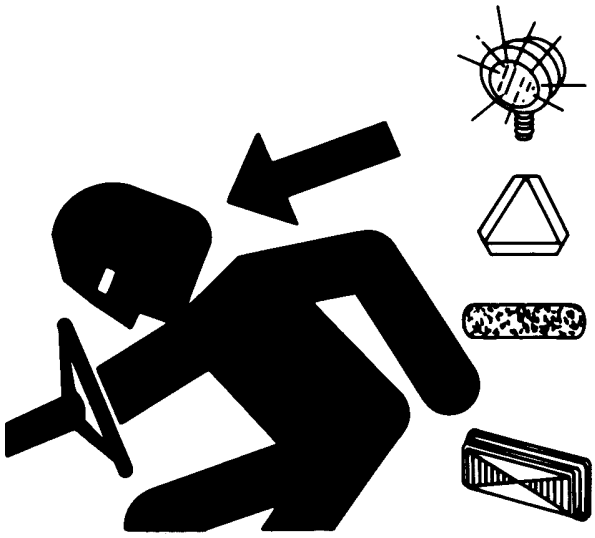
TS254—UN—23AUG88

セパレータを解除し、パーキングブレーキをかけて、エンジンを停止し、キーを抜いていない限り、ヘッダーの前部または上部の障害物を除去しないでください。

エンジンを始動する前に機械から人を遠ざける必要があります。

OUO6075,00009E6-40-28SEP10

安全灯と安全装置の使用



TS951—UN—12APR90

公道では、他の道路利用者、装置や牽引装置を取り付けて低速走行しているトラクター、および自走式作業機との衝突を予防してください。特に右折や左折時など、後方からの交通をこまめに確認し、ターンシグナルライトを使用してください。

ヘッドライト、点滅する警報灯、ターンシグナルを昼夜使用します。装置の照明や識別標識については現地の法規制に従ってください。照明や標識は見やすくきれいにして、良好な作動状態を維持してください。照明や識別標識の破損や紛失の際は、交換または修理してください。

HX,STSSA,O-40-22JUL99

シートベルトの着用

TS1730—UN—24MAY13

本機を運転するときまたは見学者として同乗するときは、必ずシートベルトを着用してください。

OUO6075,0004E96-40-17JUN20

教習シート

TS1730—UN—24MAY13

教習シートはオペレータの研修、作業機の問題の診断用にのみ用意されています (装備されている場合)。

DX,SEAT,NA-40-22AUG13

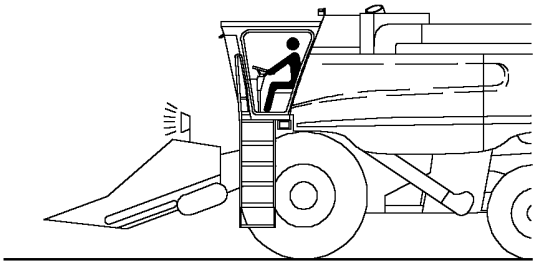
暖房・換気機能付き運転席

H124189—UN—11MAY18

シートヒーターの過熱は、やけどやシートの損傷を引き起こす恐れがあります。やけどの危険を減らすため、長時間延長してシートヒーターを使用する場合、特にオペレータが温度変化や肌の痛みを感じることができない場合に注意喚起を行うようにしてください。シートに毛布やクッション、カバー、または類似のものを置かないようにしてください。シートヒーターの過熱を引き起こす恐れがあります。

DX,SEATHEATER-40-20NOV18

ヘッダー付きのコンバインの安全な輸送



H51909—UN—07MAY99

可能な場合、ヘッダーを取り付けて公道で輸送することは避けてください。

ヘッダーを取り付けてコンバインを輸送する必要がある場合は、ヘッダーの点滅警告灯が作動すること、および反射材が汚れてなく視認できることを確認してください。

混雑している道路、狭い道路、または坂の多い道路での輸送や橋を渡る場合は、スポッター車両またはパイロット車両の使用をお勧めします。

条件に対して安全な速度で走行してください。

OUO6075,0000034-40-22JAN01

機械の暴走または予期しない動きの防止

H58737—UN—08JUL99

機械や部品の予期しない動きによるけがや死亡事故を防止してください。

スタータやソレノイドの端子を短絡させてエンジンを始動しないでください。通常の回路を迂回すると、機械や部品が動く可能性があります。

AG,OUO1035,792-40-08JUL99

安全メンテナンスの実行

TS218—UN—23AUG88

作業を開始する前に、整備の手順を確認してください。作業域を清潔で乾いた状態に保ってください。

機械が動いている間は、絶対に潤滑、整備、調整を行わないでください。動力で駆動される部品から手、足、衣服を遠ざけてください。すべての電源および操作スイッチをオフにして圧力を下げてください。装置を地面に降ろします。エンジンを停止します。キーを抜きます。機械が冷めるまで待ちます。

整備作業を行うために持ち上げる必要のある機械部品はしっかりと支持してください。

すべての部品を良好な状態、および正しく取り付けられた状態に保ってください。破損は速やかに修理してください。摩耗または破損している部品は交換してください。堆積したグリース、オイル、破片などは取り除いてください。

自走式装置では、電気システムの調整や機械の溶接作業の前に、バッテリーのアースケーブル (-) の接続を外してください。

牽引式装置では、電気システム部品の整備や機械の溶接作業の前に、トラクターからワイヤハーネスの接続を外してください。

高所での清掃や作業中に落下して大けがをすることがあります。各位置に容易に到達できるよう、はしごや作業台を使用してください。安全でしっかりした足場と手すりを使用してください。

DX,SERV-40-28FEB17

電子コントロールユニット近くでの溶接

TS953—UN—15MAY90

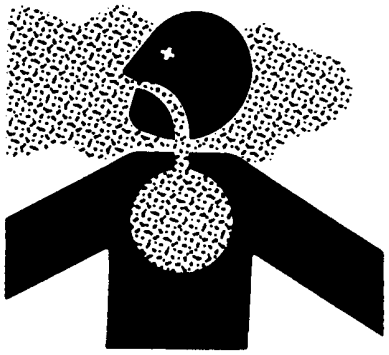
重要： **溶接装置を使用して、エンジンをかけないでください (ジャンプスタートしないでください)。 電流と電圧がとても高いので、完全に損傷する可能性があります。**

1. バッテリのマイナスケーブル (-) の接続を外します。
2. プラス (+) バッテリケーブルの接続を外します。
3. プラスおよびマイナスのケーブルをつなぎます。 車両フレームに接続しないでください。
4. ワイヤハーネス部を溶接部分から離して移動します。
5. 溶接アースを溶接するポイント近くに接続して、コントロールユニットから遠ざけます。

6. 溶接が終了したら、手順 1~5 の逆の手順を行います。

DX,WW,ECU02-40-27NOV12

溶接または加熱作業前の塗料の除去



TS220—UN—15APR13

有毒ガスや粉塵が出ないようにしてください。

溶接、はんだ付け、またはトーチの使用によって塗料が加熱されると、有害なガスが発生する可能性があります。

加熱前に次のように塗料を除去してください。

- 加熱の影響を受ける領域から最低 100 mm (4 in)、塗料を除去してください。 塗料を除去できない場合は、適切なマスクを着用してから加熱や溶接を行ってください。
- 塗料を研摩する場合は、粉塵を吸い込まないようにしてください。 適切なマスクを着用してください。
- 溶剤や塗料除去剤を使用した場合は、溶接の前にせっけんと水で除去剤を洗い流してください。 溶剤または塗料除去剤の容器や、その他の引火性材料は作業域から遠ざけてください。 溶接または加熱前に最低 15 分間有毒ガスを消散させてください。

溶接を行う作業域で塩素系溶剤を使用しないでください。

有毒なガスや粉塵を消散させるために、すべての作業は十分に換気された場所で行ってください。

塗料や溶剤は適切に処分してください。

DX,PAINT-40-24JUL02

加圧流体ライン近くでの加熱の回避

TS953—UN—15MAY90

加圧流体ラインの近くで加熱を行なうと、引火性の噴霧が生成され、自身や近くの人に大やけどをさせる可能性があります。 加圧流体ラインやその他の引火性材料の近くで溶接、はんだ付け、またはトーチ使用による加熱を行わないでください。 作業域を越えて熱が伝わると、加圧ラインが誤って破裂する恐れがあります。

DX,TORCH-40-10DEC04

可動部品との接触の回避

TS256—UN—23AUG88

動力で駆動される部品から手足や衣類を遠ざけてください。機械が動いている間は、絶対に清掃、潤滑、調整を行わないでください。

H01,9000SA,E-40-15JUN90

グレインタンクの清掃と詰まりの除去を安全に行う

TS256—UN—23AUG88

グレインタンククロスオーガに巻き込まれて大けがや死亡事故が発生しないようにしてください。機能上、クロスオーガを完全に覆うことはできません。エンジン運転中はグレインタンクに入らないでください。残留している穀類を清掃するためにタンクに入る前に、必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。

穀類がつながってクロスオーガ内に流れていかない場合は、エンジンを停止し、キーを抜き、エンジンルームドアの上の位置からロッド、ほうき、またはショベルを使用して、つながっている穀類をばらして流れを回復させてください。

OUO6043,00015E2-40-24MAY04

回転している駆動系の回避

TS1644—UN—22AUG95

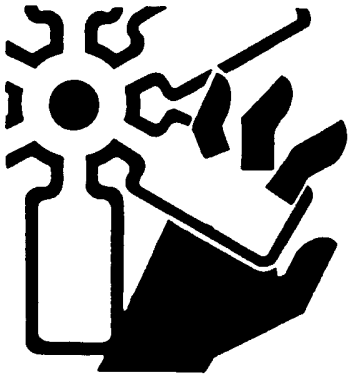
回転しているドライブラインに巻き込まれると、深刻な人身事故を引き起こす可能性があります。

すべてのシールドは常時所定の位置に取り付けてください。 回転するシールドが自由に動くようにしてください。

ぴったりした衣類を着用してください。 エンジンや機械駆動装置の調整、接続、その他あらゆる種類の整備は、エンジンを停止し、回転部と駆動系がすべて停止したことを確認してから行ってください。

DX,ROTATING-40-27NOV12

すべてのシールドとガードの取り付け



TS677—UN—21SEP89

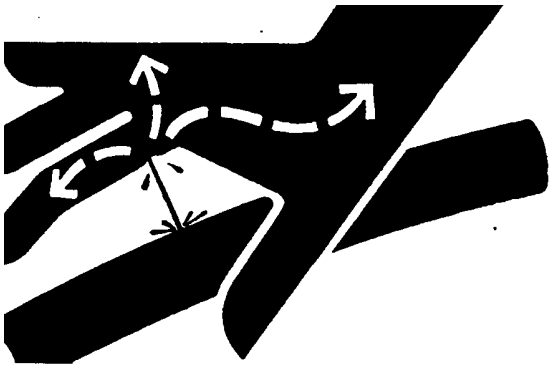
回転しているファン、ベルト、プーリー、ドライブにより大けがをすることがあります。

運転中は常時すべてのシールドおよびガードを所定の位置に取り付けてください。

ぴったりした衣類を着用してください。エンジンを停止し、ファン、ベルト、プーリー、およびドライブが停止したことを確認してから、調整、接続、またはファンやファンドライブ部品近くの清掃を行ってください。

OUO6075,0000C23-40-03MAY11

高圧流体の回避



X9811—UN—23AUG88

油圧ホースは – 1 年に 1 回以上 – 漏れ、よじれ、切れ、亀裂、摩耗、膨れ、腐食、ワイヤブレードの露出、または他の摩耗または損傷の兆候がないか定期的に点検してください。

摩耗または損傷しているホースアセンブリは John Deere 認定交換部品とただちに交換してください。

圧力がかかっている液体が噴き出すと、皮膚に浸透して大けがをするおそれがあります。

油圧ラインや他のラインの接続を外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかり締めてください。

ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてく

ださい。皮膚にかかった液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。このような情報は、Deere & Company Medical Department (Moline, Illinois, U.S.A.) (電話番号 1-800-822-8262 または +1 309-748-5636) から入手できます。

DX,FLUID-40-12OCT11

高圧燃料システムの開放禁止

TS1343—UN—18MAR92

燃料ラインに残っている高圧流体により、大けがをすることがあります。 高圧燃料ポンプと、高圧コモンレール (HPCR) 燃料システムを備えたエンジンのノズルの間にある燃料配管、センサー、その他の部品を取り外したり、修理したりしないでください。

この種類のシステムを熟知している技術員のみが修理できます。 (John Deere 取扱店にお問い合わせください)。

DX,WW,HPCR1-40-07JAN03

アキュムレータシステムの安全な整備

TS281—UN—15APR13

エアコン、油圧系、エアブレーキシステムで使用されている圧力のかかったアキュムレータ系統からの液体やガスは、重大なけがを引き起こすことがあります。アキュムレータは過熱により爆発し、圧力のかかったラインが切れる事故が起こることがあります。 圧力のかかったアキュムレータや圧力のかかったラインの近くでは溶接をしたりトーチを使用しないでください。

アキュムレータを取り外す前に、圧力のかかったシステムから圧力を抜いてください。

アキュムレータを取り外す前に、圧力のかかったシステムから圧力を抜いてください。 継手を緩めて油圧システムやアキュムレータから絶対に圧力を抜かないでください。

アキュムレータは修理できません。

DX,WW,ACCLA2-40-22AUG03

高圧噴霧からの保護

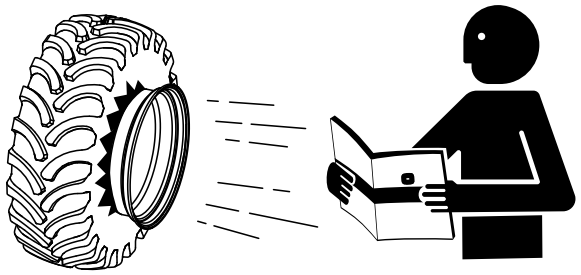
TS1343—UN—18MAR92

高圧ノズルからの噴霧が皮膚に浸透し、大けがをする危険性があります。 噴霧が手や身体にかからないようにしてください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。 皮膚にかかった高圧噴霧は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。 このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。 このような情報は、Deere & Company Medical Department (Moline, Illinois, U.S.A) から入手可能です。

DX,SPRAY-40-27NOV12

タイヤに関する推奨事項の順守



H111235—UN—13MAY14

機械の適切な作動状態を保ってください。

適切な定格の指定されたタイヤサイズのみを使用し、このマニュアルで指定されている空気圧にしてください。

規定以外のタイヤを使用すると、安定性が失われてステアリングに影響し、タイヤの早期の破損や、耐久性または安全性に関する問題が発生するおそれがあります。

DX,TIRE,INFO-40-19MAY14

タイヤの安全な整備

RXA0103438—UN—11JUN09

タイヤやリム部品の破裂は死傷事故の原因となることがあります。

適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。

常に正しいタイヤ空気圧を維持してください。推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。決して、ホイールおよびタイヤアセンブリを溶接したり加熱したりしないでください。加熱すると空気圧が上がり、タイヤが爆発します。溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形することがあります。

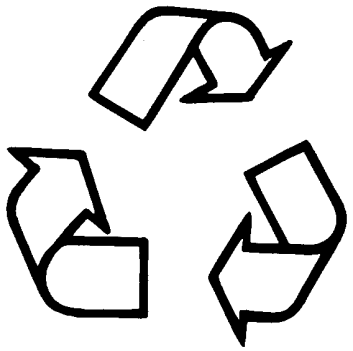
タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、タイヤアセンブリの前や上ではなく片側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。必要に応じて安全ケージを使用してください。

ホイールを点検し、圧不足、切れ、泡、リムの損傷、ラグボルトとナットの不足がないかどうかを確認します。

ホイールとタイヤは非常に重量があります。ホイールとタイヤを取り扱うときは、安全なリフト装置を使用するか、持ち上げ、取り付け、または取り外しのアシスタントを依頼してください。

DX,WW,RIMS-40-28FEB17

廃棄 — フルードや部品の適切なリサイクルと廃棄



TS1133—UN—15APR13

機械や部品の廃棄時は、安全と環境の管理対策を考慮する必要があります。これらの対策には、以下が含まれます。

- 物や機材の取り外しまたは取り扱い中は、衣服、手袋、顔面保護用遮蔽具、メガネなど、適切な工具や個人用保護具を使用してください。
- 特殊部品に関する指示に従ってください。
- サスペンション式機械要素を下げる、スプリングを緩める、バッテリーやその他の電源の接続を外す、油圧部品、アキュムレータ、他の同様のシステムの圧力を解放するなどにより、蓄積されているエネルギーを解放してください。
- 肥料や殺虫剤など、農薬が残っている可能性がある部品には可能な限り触れないでください。これらの部品は適切に取り扱って廃棄してください。
- エンジン、燃料タンク、ラジエータ、油圧シリンダ、リザーバー、ラインから慎重に抜き取ってからこれらの部品をリサイクルしてください。フルードを抜き取るときは漏れない容器を使用してください。食品や飲料水用の容器を使用しないでください。
- 排水を地面、排水管、水源に流さないでください。
- 次の廃棄物の取り扱いや廃棄に関する国や地方自治体の法律、規則、指示に従ってください。排水(例：オイル、燃料、クーラント、ブレーキフルード)、フィルタ、バッテリー、その他の物質や部品。専用の焼却炉以外で可燃性の液体や部品を燃やすことは法律により禁止されている場合があり、有害ガスや灰にさらされる可能性があります。
- エアコンシステムの整備や廃棄は適切に実施してください。国の規則では、認定サービスセンターでエアコン冷媒の回収とリサイクルを行うことが要求されている場合があます。エアコン冷媒は大気中に放出された場合、大気を汚染する可能性があります。
- タイヤ、金属、プラスチック、ガラス、ゴム、電子部品のリサイクルオプション (部分的に、または完全にリサイクル可能かどうか) を評価してください。
- 廃棄物の適切なリサイクルや廃棄方法については、

地域の環境センターやリサイクルセンター、または John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DX,DRAIN-40-01JUN15

冷却システムの安全な整備

TS281—UN—15APR13

加圧された冷却システムから流体が吹き出すと、大やけどを負うおそれがあります。

エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

エンジンがオーバーヒートしているときは、絶対にクーラントを追加しないでください。冷めるまで待ってください。

クーラントやエンジンが熱いときは、絶対にサージタンクキャップを取り外さないでください。エンジンクーラントが冷めるまで待ってからキャップを取り外してください。

完全に外す前に、キャップを「ゆっくりと」緩めて圧力を解放してください。

エンジンが停止しているときにのみクーラントを追加してください。

OUO6075,0004E98-40-26JUN20

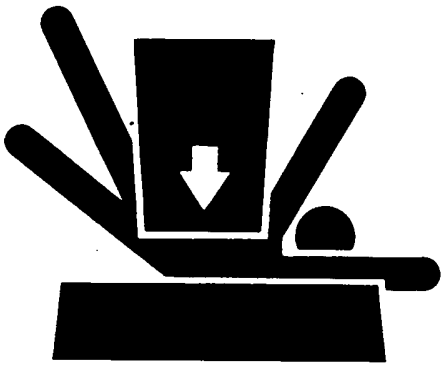
溜まっている作物屑の除去

TS227—UN—15APR13

エンジンルーム、エンジン、可動部品の近くに堆積しているもみ殻や作物屑は火災の危険があります。これらの部分を頻繁に点検し、清掃してください。点検や整備を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけて、キーを抜いてください。

HX,9010SA,B-40-23AUG97

機械の適切な支持



TS229—UN—23AUG88

機械に作業をする前には必ずアタッチメントやインプルメントを地面まで下降させてください。 作業で機械やアタッチメントを持ち上げておく必要がある場合は、これらをしっかりと支持してください。 油圧で支持された機器を上昇位置に保っておくと、少しずつ下がったり、漏れにより下降することがあります。

軽量コンクリートブロック、中空のタイル、支柱などで機械を支えないでください。これらは連続負荷によりくずれる可能性があります。 ジャッキのみで支持されている機械の下では作業をしないでください。 このマニュアルに記載の推奨手順に従ってください。

機械でインプルメントやアタッチメントを使用する際は、インプルメントやアタッチメントのオペレータマニュアルに記載されている安全上の注意事項に常に従ってください。

DX,LOWER-40-24FEB00

アタッチメントの安全な保管

TS219—UN—23AUG88

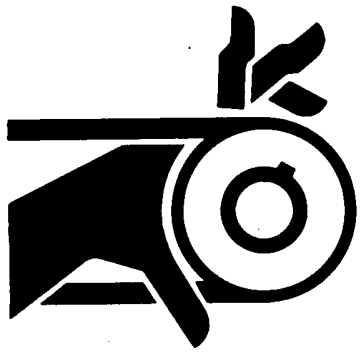
デュアルホイール、ケージホイール、ローダーなどの保管されているアタッチメントは落下して、重傷や死亡事故の原因になることがあります。

落下しないように、アタッチメントや作業機をしっか

りと保管してください。保管場所で子供が遊んだり、人が近づいたりしないようにしてください。

DX,STORE-40-03MAR93

ドライブベルトの安全な点検



TS285—UN—23AUG88

ドライブベルトを整備するときは、必ず以下の注意事項に従ってください。

- 手や腕が巻き込まれて大けがを負わないようにしてください。機械が動いているときは、絶対にベルトの清掃、点検、調整を行わないでください。必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけて、キーを抜いてください。
- 可燃性の溶剤を使用してベルトを清掃しないでください。

OUO6075,00026A4-40-06FEB03

電子部品とブラケットの安全な取り扱い

TS249—UN—23AUG88

装置への電子部品の取り付けまたは取り外し中に落下すると、大けがをすることがあります。 取り付け位置に容易に近づけるように、はしごや作業台を使用してください。 安全で強固な足場と手掛りを使用してください。 濡れたり凍ったりした状態での部品の取り付け、取り外しは避けてください。

RTK 基地局をタワーその他の高架構造物に設置したり、整備する場合は、認可された昇降器具を使用してください。

インプルメントに使用する測位受信機のマストを設置したり、整備する場合は、適切なつり上げ方法を使用して適切な保護具を着用してください。 マストは重いので、取り扱いは容易ではありません。 地上または整備用作業台から近づけない取り付け位置での作業は、2人で行ってください。

DX,WW,RECEIVER-40-24AUG10

後退時の事故の回避

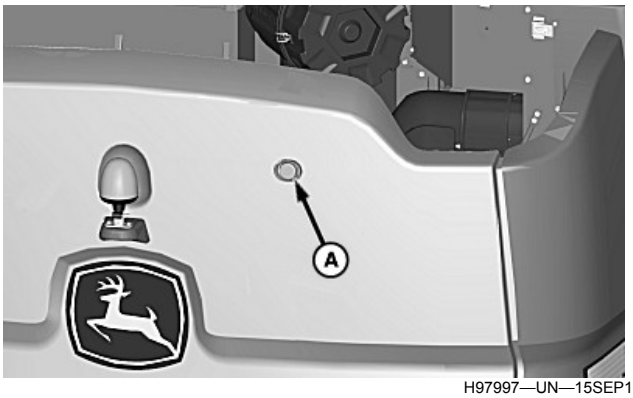
PC10857XW—UN—15APR13

作業機を動かす前に、作業機の進路に人がいないことを確認してください。 振り向いて、直接最良の視界を得るようにしてください。 後退時に視界が遮られている場合、または狭い場所では合図を出してくれる人を配置してください。

作業機の後ろに人や障害物が存在するかどうかを確認する場合は、カメラだけに頼らないでください。 システムはメンテナンス、環境条件、動作範囲など、多くの要因によって制限される可能性があります。

DX,AVOID,BACKOVER,ACCIDENTS-40-30AUG10

バックアップアラーム



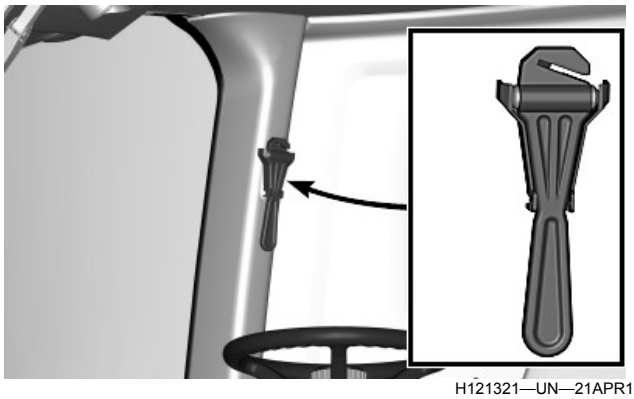
H97997—UN—15SEP10

A：**バックアップアラーム**

エンジンを運転中に多機能レバーを後方に動かすと、バックアップアラーム (A) が鳴り、機械の周囲の人に後退していることを知らせます。

OUO6075,0004FAE-40-15JAN21

非常出口



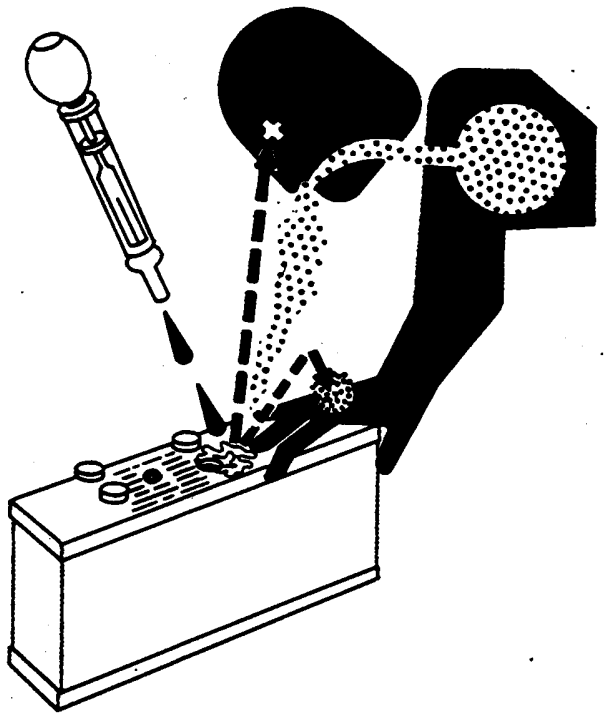
H121321—UN—21APR17

非常時は、シートベルトを切断し、ウィンドウガラスをハンマーで割ってキャブから退出することができます。

OUO6075,0004722-40-21APR17

バッテリの安全な取り扱い

TS204—UN—15APR13



TS203—UN—23AUG88

バッテリガスは爆発する可能性があります。 バッテリに火花や火気を近づけないでください。 バッテリ電解液の点検には、懐中電灯を使用します。

バッテリーの電極間に金属を入れて充電状態を確認することは絶対にしないでください。 電圧計または比重計を使用します。

バッテリーの接続を外すときはアース側 (-) のクランプを必ず最初に外し、バッテリーを接続するときはアース側を必ず最後に接続します。

バッテリー電解液の硫酸は有害で強力なので、やけどをしたり、衣類に穴が開いたり、目にはねると失明する恐れがあります。

危険回避のための注意事項

- 十分に換気された場所でバッテリ液を補充してください。
- ゴーグルとゴム手袋を着用してください。
- バッテリ清掃に圧縮空気を使用しないでください。
- 電解液の追加時にガスを吸い込まないようにしてください。
- 電解液をこぼしたり、たらさないようにしてください。
- バッテリブースターやバッテリ充電器は正しい手順で使用してください。

酸が皮膚や目にかかった場合の処置

1.水で洗い流してください。

2.酸を中和するため、重曹または石灰をかけてください。
3.目に入った場合は、15 ~ 30 分間水で洗い流してください。 直ちに治療を受けてください。

酸を飲み込んだ場合の処置

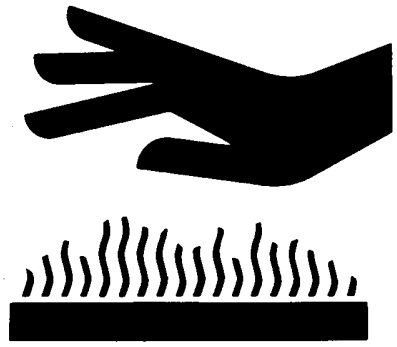
1.吐出しようとしないでください。
2.大量の水または牛乳を飲んでください。ただし 2 L (2 qt.) を超えないこと。
3.直ちに治療を受けてください。

警告： バッテリ電極、端子、および関連アクセサリには、癌の原因になったり、生殖機能に有害なことがカリフォルニア州により確認されている鉛や鉛化合物が含まれています。 **取り扱い後は手を洗ってください。**

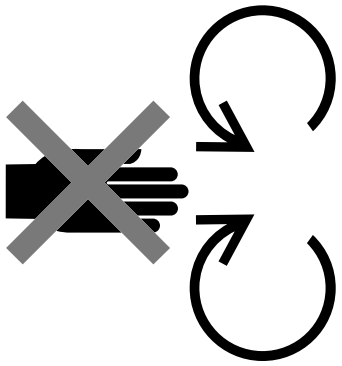
DX,WW,BATTERIES-40-02DEC10

エグゾーストフィルタの安全なクリーニング

TS227—UN—15APR13



TS271—UN—23AUG88



TS1693—UN—09DEC09

エグゾーストフィルタクリーニング中に、エンジンは高アイドル回転数、高温の状態で長時間作動することがあります。排気ガスやエグゾーストフィルタは、やけど、発火を引き起こしたり、一般材料を溶かすほど高温になります。

人や動物、また熱いエグゾーストガスや部品から悪影響を受けて損傷を受ける可能性のある構造物から機械を離してください。エグゾースト近くから引火性物質や蒸気による火災や爆発の危険を避けてください。エグゾーストアウトレットから人や熱で溶ける、燃える、または爆発する可能性がある物を離してください。

エグゾーストフィルタクリーニング中とその後には、機械と周辺を良く見てくすぶっているゴミが無いことを確認してください。

エンジン作動中の給油は火災や爆発の危険を伴います。必ずエンジンを停止し、こぼれた燃料をきれいにしてから給油してください。

機械をトラックやトレーラー上で運搬する際には常にエンジンを停止してください。

エグゾースト部品がまだ熱い時に触れると、重傷を負う可能性があります。

こうした部品には、安全な温度に冷めるまでは触らないでください。

整備手順でエンジンを運転する必要がある場合：

- 整備手順で駆動を必要とする動力駆動部品のみを駆動してください。
- オペレータステーションと機械から他の人員を遠ざけてください。

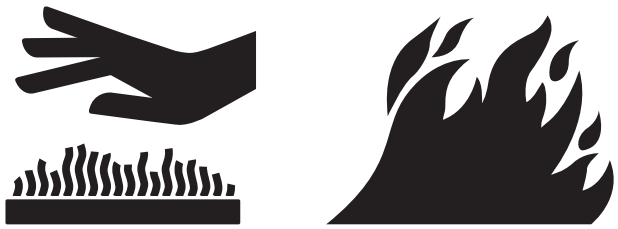
動力で駆動される部品から手、足、衣服を遠ざけてください。

オペレーターステーションを去る前に、常に動きを停止し (ニュートラルにし)、パーキングブレーキを入れるかパーキング機構をかけ、アタッチメントやツールから動力を切断してください。

機械から離れる前に、エンジンを停止してキーを抜いてください (装備されている場合)。

OUO6075,0000E81-40-07FEB12

高温排気の回避



RG17488—UN—21AUG09

エンジンの運転中に機械や付属品の整備を行うと、大けがをすることがあります。 高温の排気ガスにさらされたり、高温の部品に触れたりしないように気を付けてください。

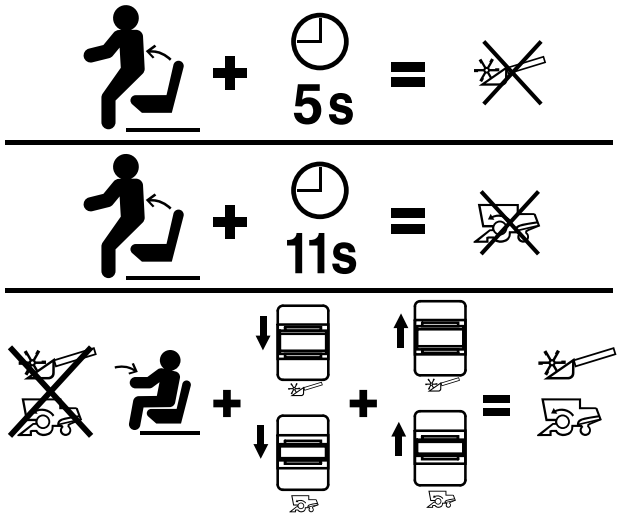
排気部品や排気流は運転中非常に熱くなります。 排気ガスや部品は、やけど、発火を引き起こしたり、一般材料を溶かすほど高温になります。

DX,EXHAUST-40-20AUG09

オペレータープレゼンスシステムと回転警報システム

オペレータプレゼンスシステムは、オペレータがシートに座っていることを示します。オペレータの離席時、プレゼンスシステムは次のシステムの作動を防止します：

- セパレータ
- ヘッダー
- アンローディングオーガ
- AutoTrac™



H125008—UN—25SEP18

ヘッダーやセパレータを接続した後にオペレータが 5 秒以上シートから離れる場合、ヘッダーとアンローディングオーガは自動的に停止します。11 秒後、セパレータと推進力 (ProDrive™ 及び ProDrive™ XL 専用) が解除されます。オペレータが離席している場合、収穫機能は解除されます。ライトが点滅し、収穫機能が停止するまでアラームが鳴ります。エンジンは作動を続けます。

これらの機能を再起動するには、オペレータがシートに戻って各機能を再接続する必要があります。

OUO6075,00050B3-40-14MAY21

AutoTrac は Deere & Company

ProDrive は Deere & Company の商標です。

安全標識

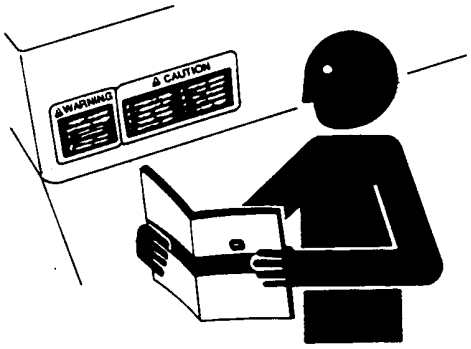
絵入りの安全標示ラベル

TS231—40—20JUN12

この機械のいくつかの重要な場所には、潜在的な危険を知らせるために安全標示ラベルが貼られています。危険要素は、警告用三角ラベルの絵で示されます。隣接する絵はけがを防ぐための情報を提供します。これらの安全標示ラベル、機械上のラベルの位置、および簡単な説明を以下に示します。

OUO6075,0001163-40-19JUN12

安全標示ラベルの交換



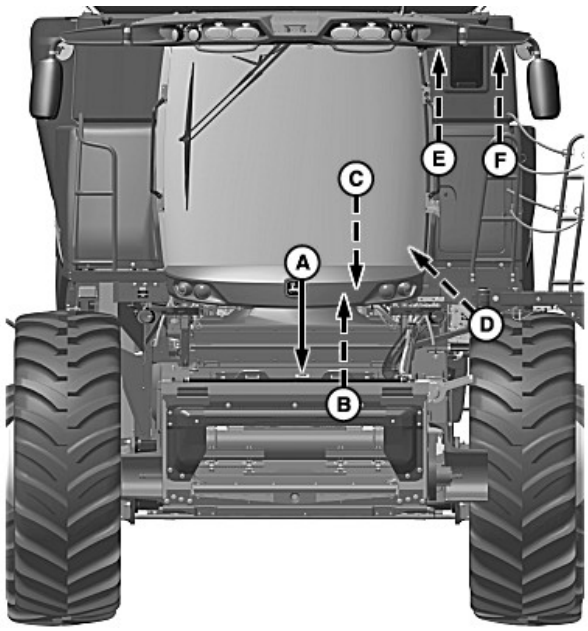
TS201—UN—15APR13

安全標示ラベルが足りない場合は補充し、状態の悪いラベルは交換してください。 適切な安全標示ラベルの位置については、このオペレータマニュアルを参照してください。

販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転記されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

DX,SIGNS-40-27NOV12

正面からの銘板位置



H133907—UN—31MAR21

銘板 A (フィーダーハウスの点検ドア)

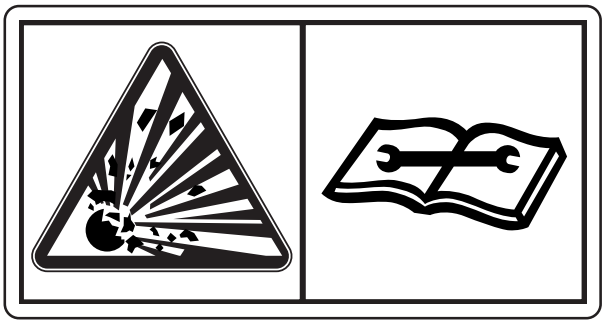
SSHXE137549XE—UN—22JAN20

銘板 *A*

注記： 銘板は、フィーダーハウスの点検ドアの間にあります。

可動部品との接触による大けがを防止してください。フィーダーハウスのすべての動きが停止するまで点検ドアを開けないでください。

銘板 B (アキュムレータ)



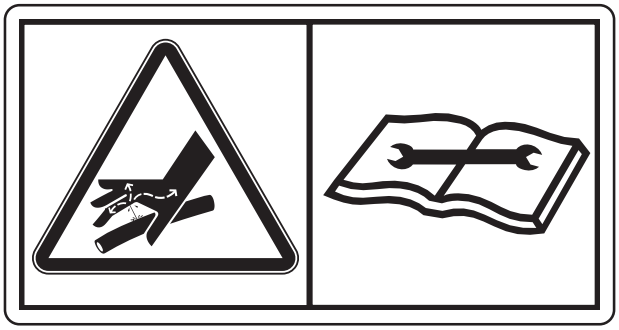
SSHXE147362XE—UN—21JAN20

銘板 *B*

注記： 銘板はキャブサポート上にあり、ProDrive™ トランスミッション搭載の機械のみにあります。

機械の動きや加圧下の液体にさらされ、けがをしないようにしてください。システムの整備を行う前に、圧力の解放手順について販売店にお問い合わせください。

銘板 C (加圧下の作動油および気体)



SSHXE147014XE—UN—21JAN20

銘板 *C*

注記： 銘板はキャブサポート上にあり、ProDrive™ トランスミッション搭載の機械のみにあります。

圧力がかかっている作動油や気体に触れて大けがをしないようにしてください。

油圧部品の取り外し、アキュムレータの分解、または充填を行う前に、以下を実施してください。

1. システムの油圧を解放します。システム情報については、オペレータマニュアルおよび修理マニュアルを参照してください。
2. エンジンを停止し、キーを抜きます。

アキュムレータの充填には、乾燥窒素のみを使用してください。最寄りの John Deere 販売店にお問い合わせください。

銘板 D (駐車ブレーキ)

SSHXE122761XE—UN—23JAN20

銘板 *D*

1. 道路輸送用にブレーキ をカップリングします。
2. キャブを離れる前に駐車ブレーキをかけます。
3. 機械を動かす前に駐車ブレーキを解除します。

銘板 E (低く垂れ下がっている送電線の回避)

SSHXE160769XE—UN—23JAN20

銘板 *E*

感電による大けがや死亡事故を防止してください。電線に接触しないでください。低く垂れ下がっている送電線の近くで運転するときは、グレンタンクカバーを下げてください。

ProDrive は Deere & Company の商標です。

銘板 (グレンタンク)

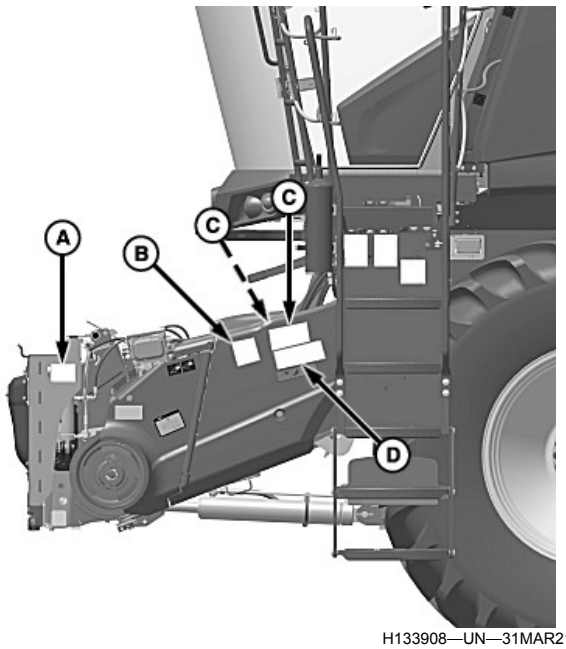
SSL64995XE—UN—22JAN20

銘板 *F*

転落による大けがに注意してください。この区域のグレンタンクに入らないでください。

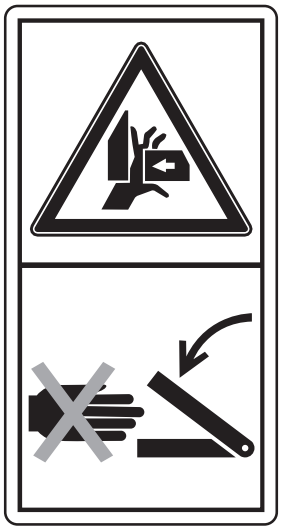
OUO6075,00050A3-40-12APR21

フィーダーハウス左側面銘板位置



H133908—UN—31MAR21

銘板 A (フィーダーハウスチルトフレーム)



SSH154128XE—UN—22JAN20

銘板 *A*

ヘッダーは傾くことがあります。機械に挟まれてけがをしないように注意してください。エンジン作動中は離れてください。

銘板 B (フィーダーハウスガード)

SSZ60326XE—UN—22JAN20

銘板 *B*

巻き込まれることによる大けがや死亡事故を防止してください。エンジン運転中は、絶対にシールドを上げないでください。エンジンを停止し、キーを抜きます。

銘板 C (フィーダーハウス安全ストップ)

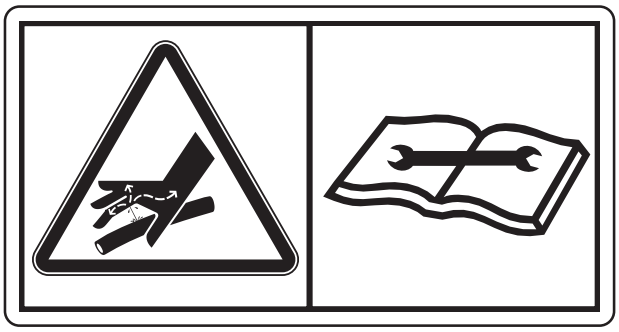
SSHXE123797—UN—06APR21

銘板 *C*

注記： 銘板は、シールドの外側と内側にあります。

機械に挟まれてけがをしないように注意してください。ヘッダーの下に入る前に、ヘッダーを地面に下ろすか、フィーダーハウスリフトシリンダにある安全ストップをセットしてください。

銘板 D (加圧下の作動油および気体)



SSHXE147014XE—UN—21JAN20

銘板 *D*

圧力がかかっている作動油や気体に触れて大けがをしないようにしてください。

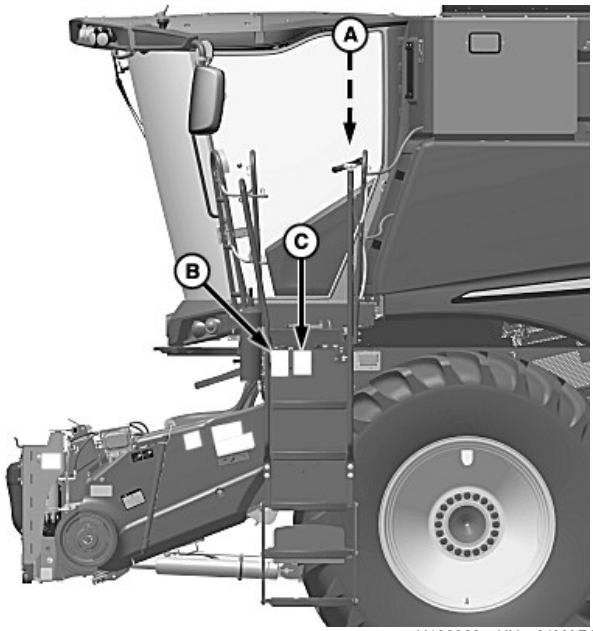
油圧部品の取り外し、アキュムレータの分解、または充填を行う前に、以下を実施してください。

1. システムの油圧を解放します。システム情報については、オペレータマニュアルおよび修理マニュアルを参照してください。
2. エンジンを停止し、キーを抜きます。

アキュムレータの充填には、乾燥窒素のみを使用してください。最寄りの John Deere 販売店にお問い合わせください。

OUO6075,00050A6-40-12APR21

キャブ左側の銘板位置とキャブタラップ上の銘板位置



H133923—UN—31MAR21

銘板 A (シートベルト)

SSHXE122760XE—UN—22JAN20

銘板 *A*

教習用のシートはオペレータの研修、機械の問題の診断用にのみ用意されています。他の人や子供を近づけないでください。機械を運転するときまたは見学者として同乗するときは、必ずシートベルトを着用してください。

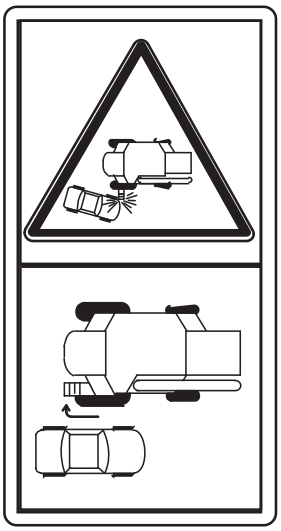
銘板 B (キャブ / プラットフォームアクセスタラップ)

SSL64995XE—UN—22JAN20

銘板 *B*

転落による大けがに注意してください。コンバインが動いているときにタラップに乗らないでください。

銘板 C (車両との衝突の回避)



SSH174284XE—UN—22JAN20

銘板 *C*

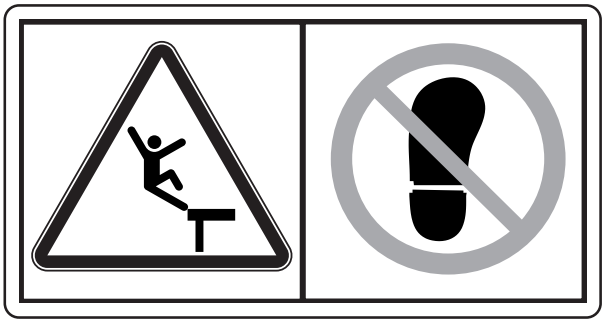
車両との衝突や大けがまたは死亡事故を回避してください。車道でコンバインを運転する前に、必ずタラップをロック位置まで前方に旋回させてください。

OUO6075,00050A7-40-31MAR21

左側からの銘板位置

H133910—UN—09APR21

銘板 A (グレンタンクから離れてください)

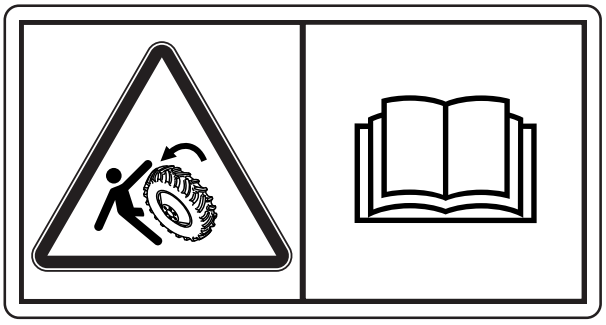


SSHXE123803XE—UN—21JAN20

銘板 *A*

転落による大けがに注意してください。グレンタンクカバーの上に立ったり歩き回ったりしないでください。

銘板 (ホイール) (装備されている場合)



SSHXE150074XE—UN—21JAN20

銘板 *B*

注記： 銘板はホイールに付いています。

- ホイールは重心がオフセットしています。けがをしないように、パイロットスタッドを使用して 2 人でホイールの取り付けと取り外しを行う必要があります。
- 機械をリフトするには、ジャッキを使用してください。機械をブロックで支持します。機械を地面に下ろす前に、すべてのホイールボルトを取り付けます。
- 取扱説明書を参照してください。

銘板 C (左側の工具箱またはガード)

SSZ60326XE—UN—22JAN20

銘板 *C*

巻き込まれて大けがを負わないようにしてください。エンジン運転中は、絶対にシールドを上げないでください。エンジンを停止し、キーを抜きます。

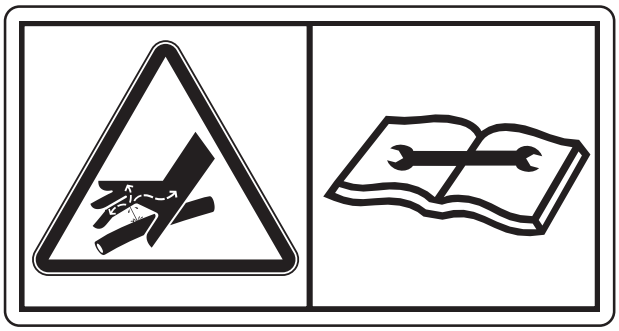
銘板 D (グレンタンククリーンアウトドア)

SSHXE137549XE—UN—22JAN20

銘板 *D*

巻き込まれることによる大けがや死亡事故を防止してください。クリーンアウトドアを開く前にエンジンを停止し、キーを抜いてください。

銘板 E および F (加圧下の作動油および気体)



SSHXE147014XE—UN—21JAN20

銘板 *E* および *F*

注記： 銘板 E は S760 及び S770 の機械に、銘板 F は S780、S785、S790 の機械に付いています。

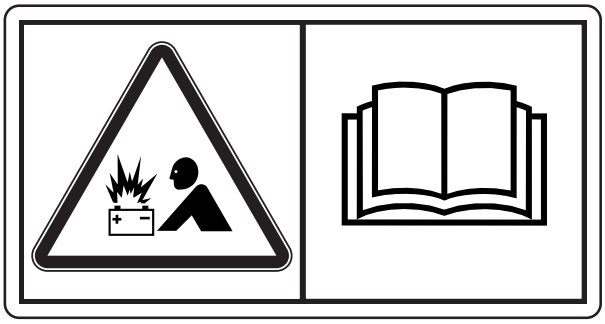
圧力がかかっている作動油や気体に触れて大けがをしないようにしてください。

油圧部品の取り外し、アキュムレータの分解、または充填を行う前に、以下を実施してください。

1. システムの油圧を解放します。システム情報については、オペレータマニュアルおよび修理マニュアルを参照してください。
2. エンジンを停止し、キーを抜きます。

アキュムレータの充填には、乾燥窒素のみを使用してください。最寄りの John Deere 販売店にお問い合わせください。

銘板 G (バッテリーボックス)



SSHXE137560XE—UN—21JAN20

銘板 *G*

注記： 銘板は、S780、S785、S790 の機械に付いています。

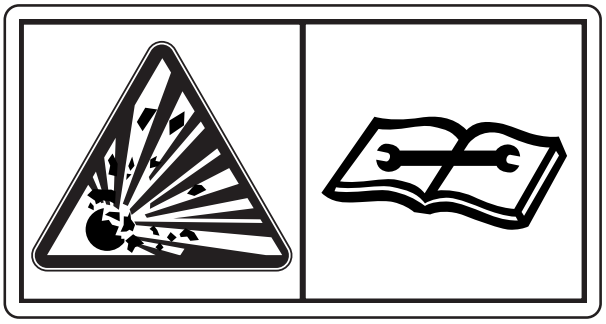
爆発による大けがや死亡事故を防止してください。バッテリボックスが正しく換気されていない場合、高濃度の水素ガスが溜まる可能性があります。バッテリーやバッテリーボックスの整備またはメンテナンスを行った後は、必ずベントチューブを元に戻してください。

OUO6075,00050B6-40-07APR21

左側からの銘板位置 (続き)

H133911—UN—09APR21

銘板 A (アキュムレータ)



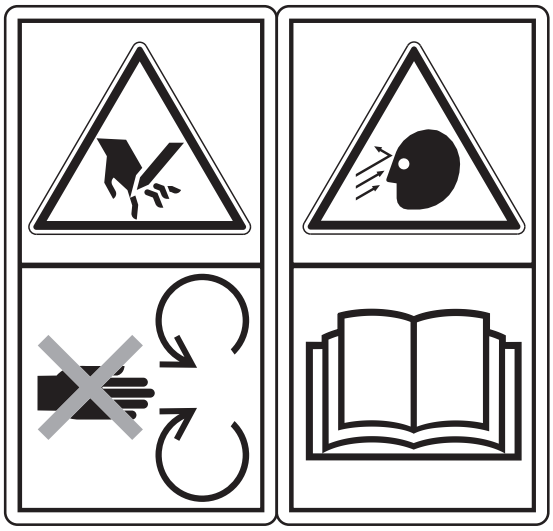
SSHXE147362XE—UN—21JAN20

銘板 *A*

注記： 銘板は、S760 および S770 の機械に付いています。

機械の動きや加圧下の液体にさらされ、けがをしないようにしてください。システムの整備を行う前に、圧力の解放手順について販売店にお問い合わせください。

銘板 B (エアコンプレッサ装置) (装備されている場合)



SSHXE94451XE—UN—23JAN20

銘板 *B*

エアコンプレッサが作動中はエンジン部品が回転しています。空気圧縮機システムを使用する場合は、動いている部品を避けてください。

高圧の空気システムにより、ごみや部品が飛ばされることがあります。保護具を着用してください。空気システムを整備する前に、取扱説明書を参照してください。

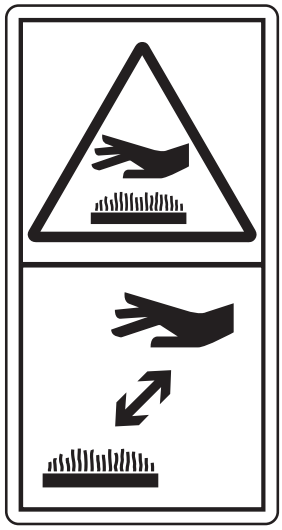
銘板 C (セパレータ点検ドア)

SSHXE137549XE—UN—22JAN20

銘板 *C*

可動部品との接触による大けがを防止してください。セパレータのすべての動きが停止するまで点検ドアを開けないでください。

銘板 D (排ガス温度) (ファイナルティア 4 / ステージ V)



SSHXE69987XE—UN—23JAN20

銘板 *D*

排気システムの部品は高温になっていることがあります。重傷のやけどを負わないように、排気系統の部品に近づかないでください。

銘板 E (電動折りたたみ式アンローディングオーガ)

SSHXE150359XE—UN—22JAN20

銘板 *E*

アンローディングオーガアクチュエータが故障した場合は、アンローディングオーガロックアウトピンをロック位置に取り付けてください。

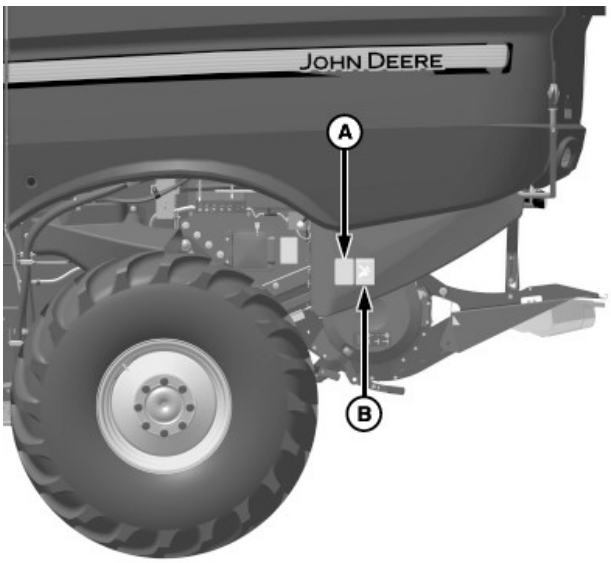
ロックアウトピンにアクセスするには、適切な荷重定格のタラップまたは同等品を使用してください。エンジンプラットフォームからオーガにアクセスしないでください。

オーガヒンジ部品によるけがを防止してください。

オーガが意図せず動く可能性があるので、アクチュエータを取り外すときは、手をピンチポイントに近づけないでください。

OUO6075,00050A9-40-12APR21

左側からの残留物銘板位置 (チョッパー)



H133984—UN—06APR21

銘板 A (チョッパーからの飛散物)

SSHXE137555XE—UN—22JAN20

銘板 *A*

飛散物により大けがをしないように注意してください。エンジン作動中は近づかないでください。

銘板 B (チョッパーブレード)

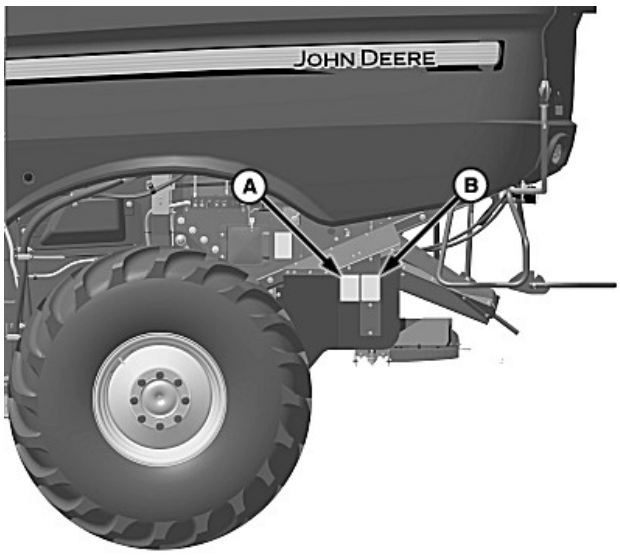
SSHXE159567XE—UN—22JAN20

銘板 *B*

チョッパーブレードとの接触による大けがを防止してください。チョッパーはウィンドロー位置で回転します。チョッパーに近づかないでください。

OUO6075,00050AA-40-06APR21

左側からの残留物銘板位置 (スプレッダー)



H133986—UN—06APR21

銘板 A (スプレッダーのロックアウト)

SSHXE150334—UN—06APR21

銘板 *A*

挟まれて大けがや死亡事故が発生しないように注意してください。上昇させたスプレッダーで整備やメンテナンスを行う前に、ロックアウトピンを所定の位置に完全に挿入してください。

銘板 B (スプレッダーからの飛散物)

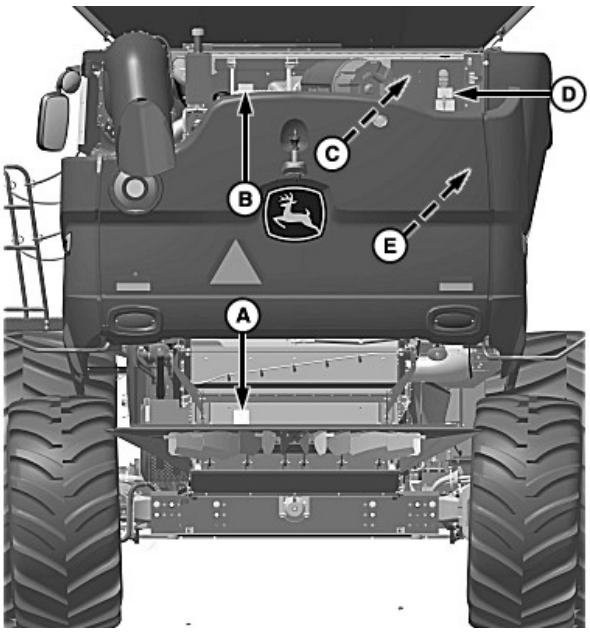
SSHXE137555XE—UN—22JAN20

銘板 *B*

飛散物により大けがをしないように注意してください。エンジン作動中は近づかないでください。

OUO6075,00050AB-40-06APR21

背面からの銘板位置とエンジンの銘板位置



H133924—UN—09APR21

銘板 A (チョッパーからの飛散物)

SSHXE137555XE—UN—22JAN20

銘板 *A*

飛散物により大けがをしないように注意してください。エンジン作動中は近づかないでください。

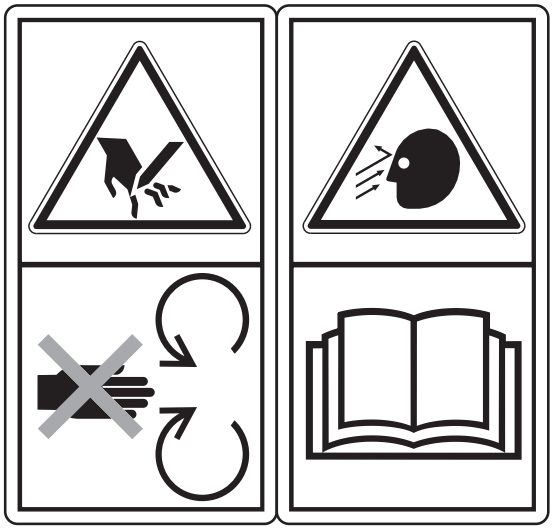
銘板 B (グレンタンク)

SSHXE123805XE—UN—23JAN20

銘板 *B*

巻き込まれることによる大けがや死亡事故を防止してください。エンジン作動中はグレンタンクに入らないでください。

銘板 C (エアコンプレッサ装置) (装備されている場合)



SSHXE94451XE—UN—23JAN20

銘板 *C*

エアコンプレッサが作動中はエンジン部品が回転しています。空気圧縮機システムを使用する場合は、動いている部品を避けてください。

高圧の空気システムにより、ごみや部品が飛ばされることがあります。保護具を着用してください。空気システムを整備する前に、取扱説明書を参照してください。

銘板 D (火災防止)

SSFH309021XE—UN—21JAN20

銘板 *D*

装置の火災を防止してください。エンジンルーム、エンジン、または可動部品の近くに籾殻、葉、その他の作物材料が溜まると、火災の原因になります。これらの部分を頻繁に点検し、清掃してください。

銘板 E (後部アクセスタラップと整備用プラットフォーム)

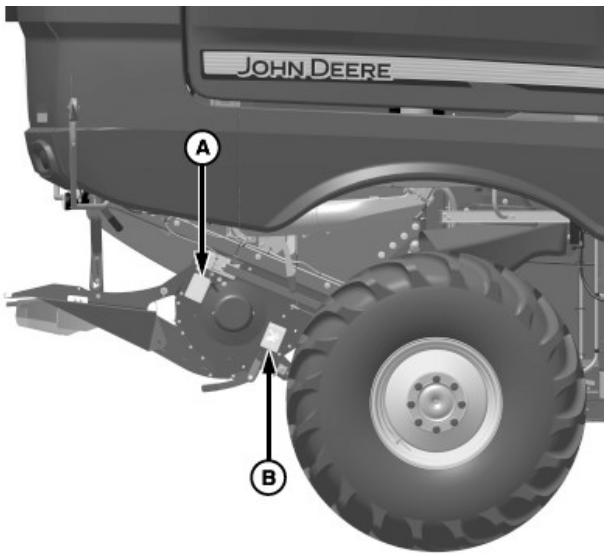
SSL64995XE—UN—22JAN20

銘板 *E*

転落による大けがに注意してください。機械が動いているときにタラップに乗らないでください。

OUO6075,00050AC-40-09APR21

右側からの残留物銘板 (チョッパー)



H133985—UN—06APR21

銘板 A (チョッパーからの飛散物)

SSHXE137555XE—UN—22JAN20

銘板 *A*

飛散物により大けがをしないように注意してください。エンジン作動中は近づかないでください。

銘板 B (チョッパーブレード)

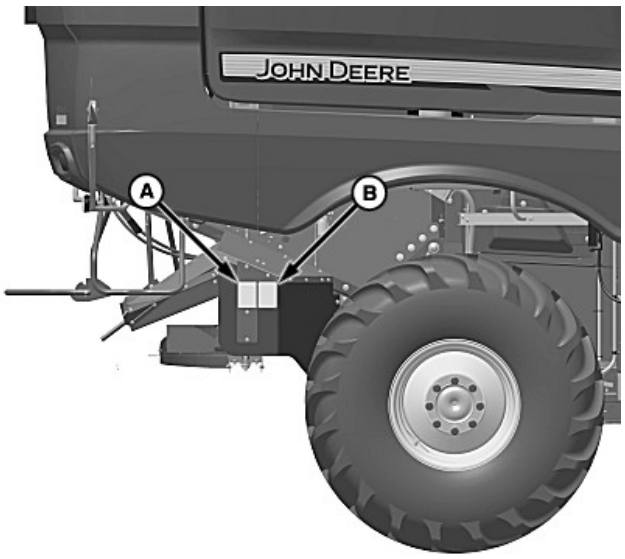
SSHXE159567XE—UN—22JAN20

銘板 *B*

チョッパーブレードとの接触による大けがを防止してください。チョッパーはウィンドロー位置で回転します。チョッパーに近づかないでください。

OUO6075,00050AD-40-06APR21

右側からの残留物銘板位置 (スプレッダー)



H133987—UN—06APR21

銘板 A (スプレッダーのロックアウト)

SSHXE150334—UN—06APR21

銘板 *A*

挟まれて大けがや死亡事故が発生しないように注意してください。上昇させたスプレッダーで整備やメンテナンスを行う前に、ロックアウトピンを所定の位置に完全に挿入してください。

銘板 B (スプレッダーからの飛散物)

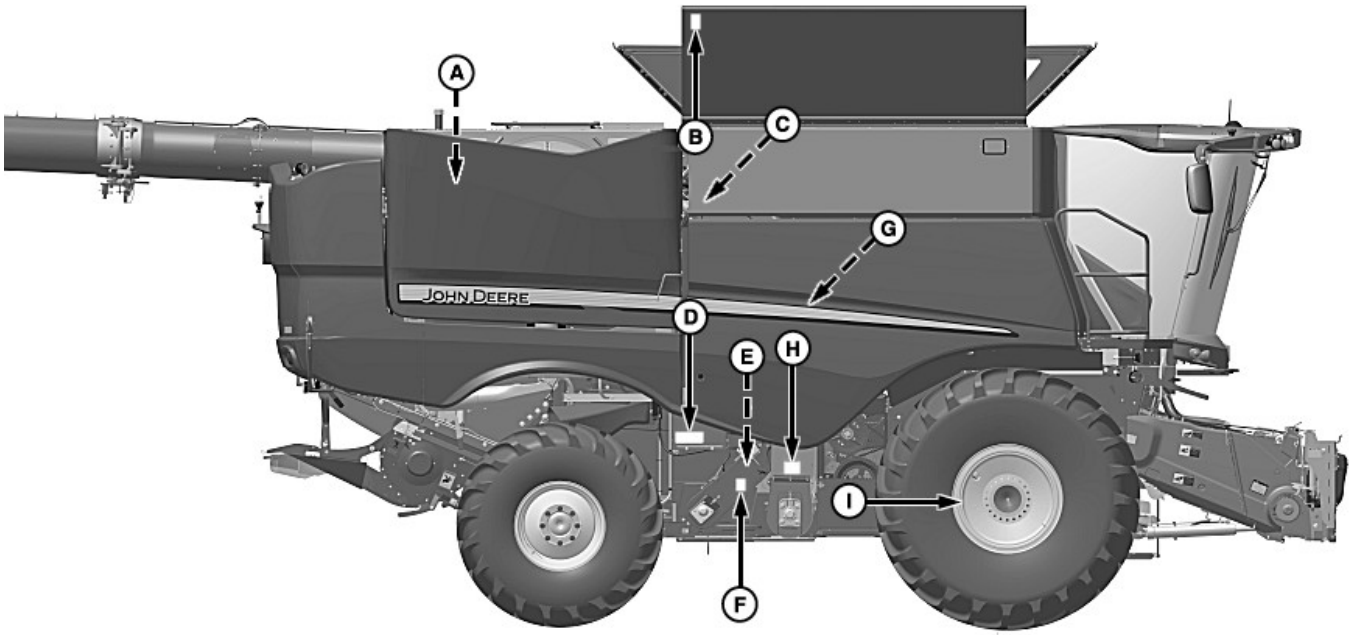
SSHXE137555XE—UN—22JAN20

銘板 *B*

飛散物により大けがをしないように注意してください。エンジン作動中は近づかないでください。

OUO6075,00050AE-40-06APR21

右側からの銘板位置



H133917—UN—09APR21

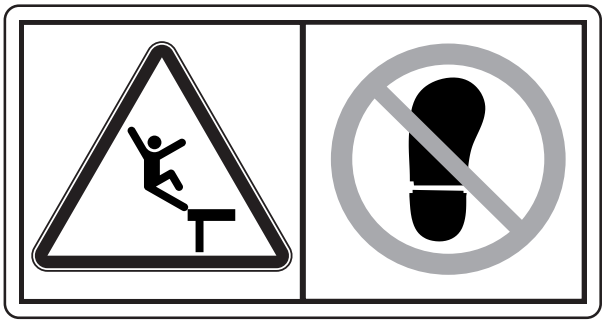
銘板 A (ロータリースクリーンドアとラジエータファン)

SSHXE137549XE—UN—22JAN20

銘板 *A*

回転するファンおよびスクリーン部品によるけがを防止してください。ロータリースクリーンドアを開く前にエンジンを停止し、キーを抜いてください。

銘板 B (グレンタンク回避回避)

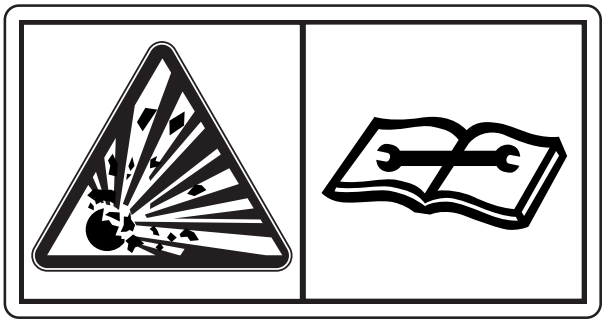


SSHXE123803XE—UN—21JAN20

銘板 *B*

転落による大けがに注意してください。グレンタンクカバーの上に立ったり歩き回ったりしないでください。

銘板 C (エアコンプレッサ用タンク) (装備されている場合)

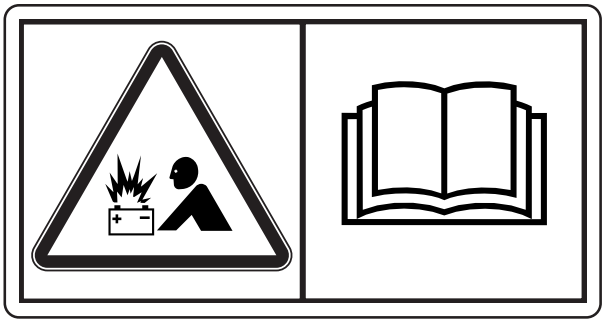


SSHXE147362XE—UN—21JAN20

銘板 *C*

高圧下の空気タンク。整備中は、個人用保護具を着用してください。整備を行う前に、システムの空気圧をすべて解放してください。

銘板 D (バッテリーボックス)



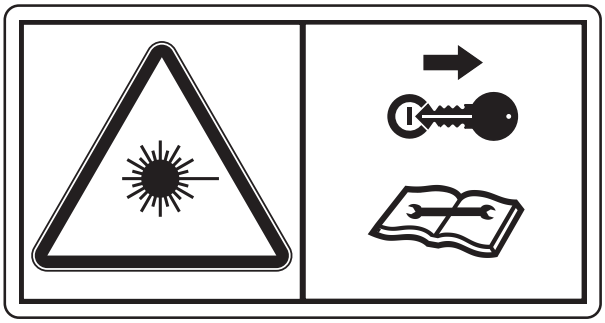
SSHXE137560XE—UN—21JAN20

銘板 *D*

注記： 銘板は、S760 および S770 の機械に付いています。

爆発による大けがや死亡事故を防止してください。バッテリボックスが正しく換気されていない場合、高濃度の水素ガスが溜まる可能性があります。バッテリーやバッテリーボックスの整備またはメンテナンスを行った後は、必ずベントチューブを元に戻してください。

銘板 E (二番エレベータセンサーのレーザー)



SSHXE151091XE—UN—21JAN20

銘板 *E (2* か所*)*

注記： 銘板の位置は、二番エレベータのスタイルによって異なります。

目に入らないようにしてください。整備中はオフにしてください。

銘板 F (二番エレベータカメラ) と銘板銘板 G (クリーングレインエレベータカメラ/水分センサーバイパス)

SSHXE172410XE—UN—22MAR21

銘板 *F*、*G*

注記： 銘板 F の位置は、二番エレベータのスタイルによって異なります。

バイパスオーガへの巻き込みによる大けがを回避してください。清掃する前にエンジンを停止し、キーを外してください。

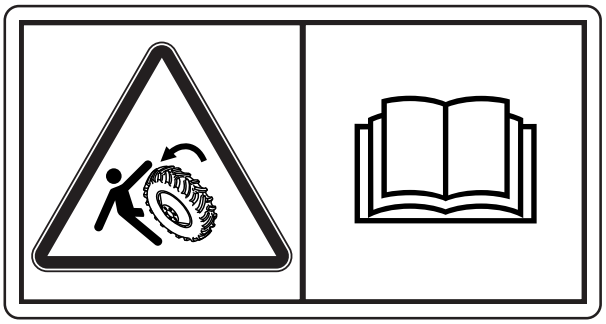
銘板 H (クリーングレインエレベータ)

SSZ60326XE—UN—22JAN20

銘板 *H*

巻き込まれて大けがを負わないようにしてください。エンジン運転中は、絶対にシールドを上げないでください。エンジンを停止し、キーを抜きます。

銘板 I (ホイール) (装備されている場合)



SSHXE150074XE—UN—21JAN20

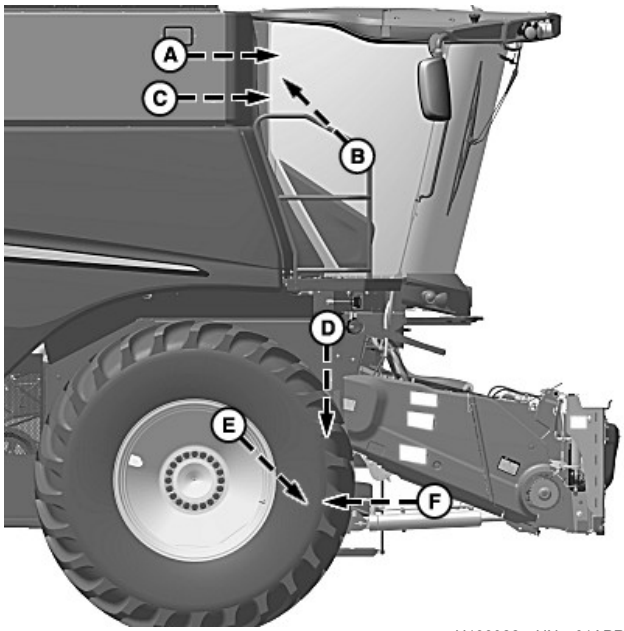
銘板 *I*

注記： 銘板はホイールに付いています。

- ホイールは重心がオフセットしています。けがをしないように、パイロットスタッドを使用して 2 人でホイールの取り付けと取り外しを行う必要があります。
- 機械をリフトするには、ジャッキを使用してください。機械をブロックで支持します。機械を地面に下ろす前に、すべてのホイールボルトを取り付けます。
- 取扱説明書を参照してください。

OUO6075,00050AF-40-24MAY21

キャブ右側の銘板位置と右側の銘板位置 (続き)



H133922—UN—01APR21

銘板 A (修理とメンテナンス)

SSZ59872XE—UN—22JAN20

銘板 *A*

修理やメンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。すべてのメンテナンス作業については、取扱説明書を参照してください。

銘板 B (非常出口)

SSHXE161095XE—UN—27FEB20

銘板 *B*

非常時は、シートベルトを切断し、窓ガラスをハンマーで割ってキャブから退出することができます。窓の交換については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

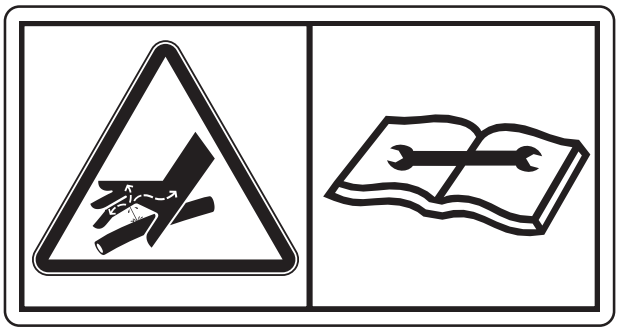
銘板 C (取扱説明書)

SSCC40740XE—UN—22JAN20

銘板 *C*

この取扱説明書には機械を安全に運転する上で必要なすべての情報が記載されています。事故を避けるため、すべての安全規則を注意深く守ってください。

銘板 D (加圧下の作動油および気体)



SSHXE147014XE—UN—21JAN20

銘板 *D*

注記： 銘板はストーントラップドアにあり、ProDrive™ トランスミッション搭載の機械のみにあります。

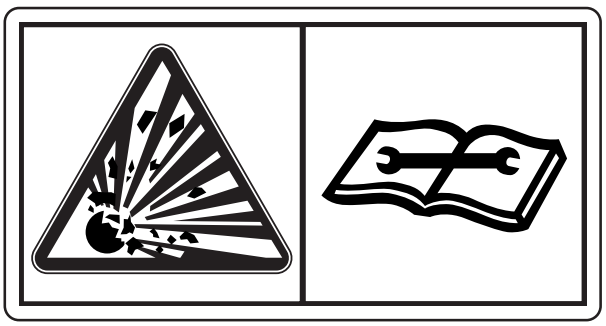
圧力がかかっている作動油や気体に触れて大けがをしないようにしてください。

油圧部品の取り外し、アキュムレータの分解、または充填を行う前に、以下を実施してください。

1. システムの油圧を解放します。システム情報については、オペレータマニュアルおよび修理マニュアルを参照してください。
2. エンジンを停止し、キーを抜きます。

アキュムレータの充填には、乾燥窒素のみを使用してください。最寄りの John Deere 販売店にお問い合わせください。

銘板 E (アキュムレータ)



SSHXE147362XE—UN—21JAN20

銘板 *E*

注記： 銘板は、ProDrive™ トランスミッション搭載の機械にのみにあります。

機械の動きや加圧下の液体にさらされ、けがをしないようにしてください。システムの整備を行う前に、圧力の解放手順について販売店にお問い合わせください。

銘板 F (ストーントラップ)

SSHXE137549XE—UN—22JAN20

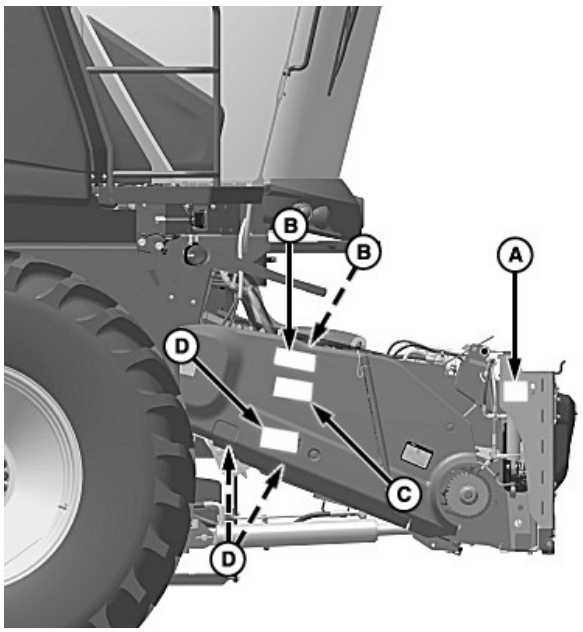
銘板 *F*

フィードアクセルレータに巻き込まれた大けがをしないように注意してください。フィードアクセルレータは、セパレータが接続されると回り、セパレータが解除された後に停止します。すべてのセパレータの動きが停止するまで、ストーントラップを清掃しないでください。

OUO6075,00050B0-40-12APR21

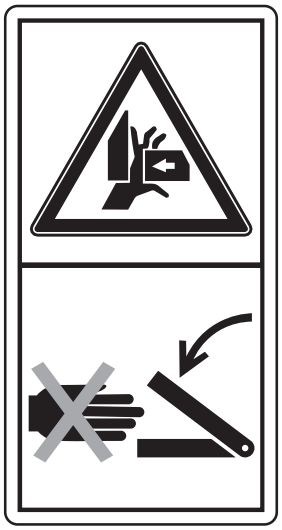
ProDrive は Deere & Company の商標です。

フィーダーハウス銘板右側面図



H133919—UN—31MAR21

銘板 A (フィーダーハウスチルトフレーム)



SSH154128XE—UN—22JAN20

銘板 *A*

ヘッダーは傾くことがあります。機械に挟まれてけがをしないように注意してください。エンジン作動中は離れてください。

銘板 B (フィーダーハウス安全ストップ)

SSHXE123797—UN—06APR21

銘板 *B*

注記： 銘板は、シールドの外側と内側にあります。

機械に挟まれてけがをしないように注意してください。ヘッダーの下に入る前に、ヘッダーを地面に下ろすか、フィーダーハウスリフトシリンダにある安全ストップをセットしてください。

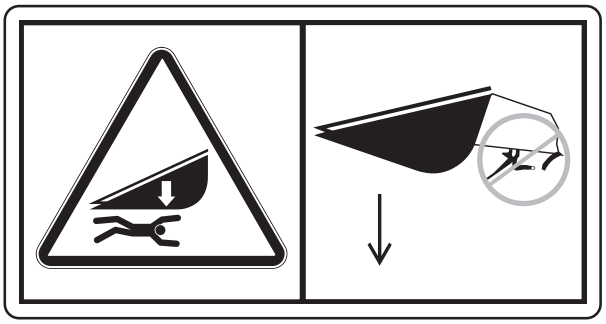
銘板 C (フィーダーコンベア駆動装置ガード)

SSHXE152718XE—UN—20APR21

銘板 *C*

チェーンの絡みによる重傷を避けてください。エンジン運転中は、絶対にシールドを上げないでください。エンジンを停止し、キーを抜きます。

銘板 D (フィーダーハウスフィードプレートラッチ)



SSHXE159942—UN—06APR21

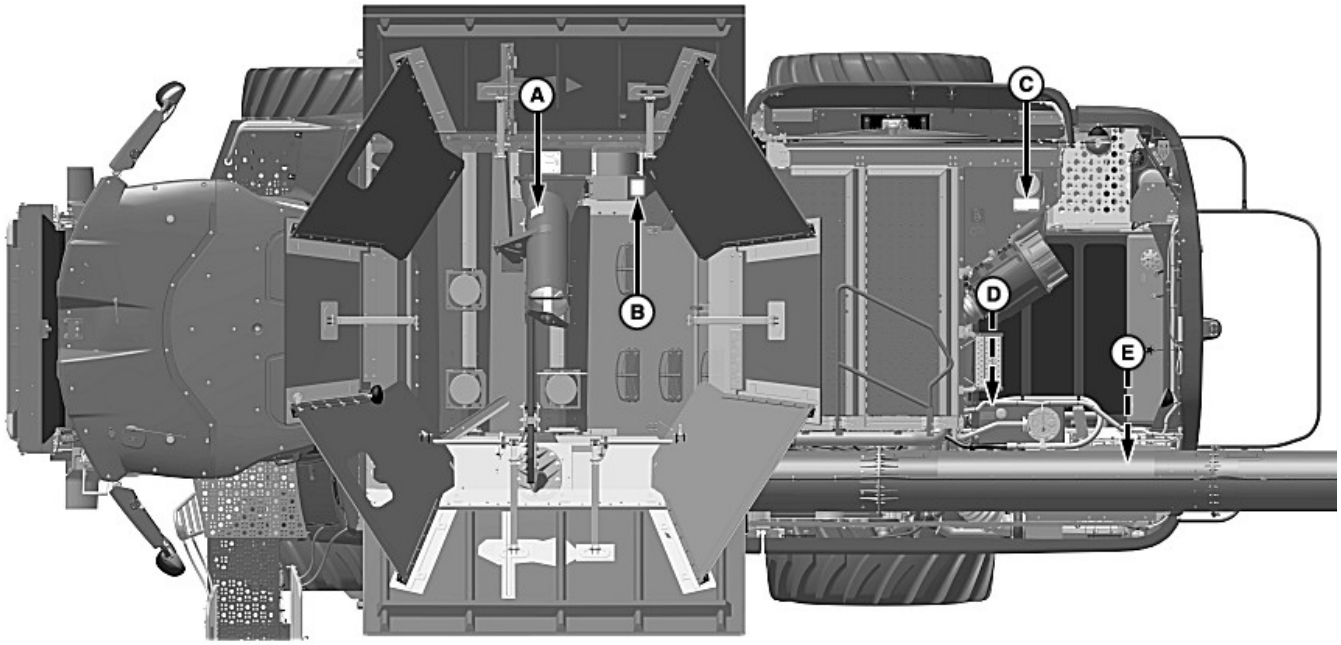
銘板 *D*

注記： 銘板は、フィーダーハウスシールドの内側と外側、およびフィードプレートレバー横にあります。

機械に挟まれてけがをしないように注意してください。ヘッダーの下に入る前に、ヘッダーを地面に下ろすか、フィーダーハウスリフトシリンダにある安全ストップをセットしてください。

OUO6075,00050B1-40-20APR21

上面からの銘板位置



H133920—UN—31MAR21

銘板 A (クリーングレインローディングオーガ)

SSHXE137549XE—UN—22JAN20

銘板 *A*

回転するオーガと構成部品によるけがを防止してください：

エンジンを停止し、キーを抜いてから、オーガを開閉してください。

オーガを閉じるときは、手をピンチポイントに挟まないようにしてください。

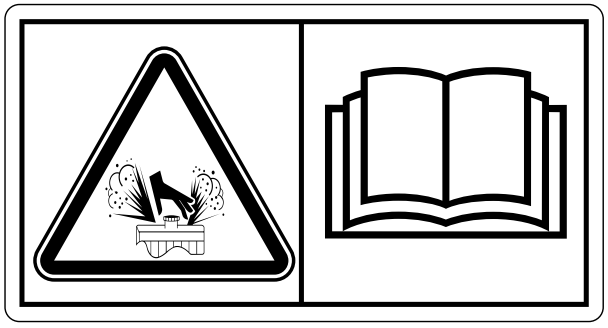
銘板 B (クリーングレインローディングオーガを避けてください。)

SSZ60327XE—UN—22JAN20

銘板 *B*

巻き込まれることによる大けがや死亡事故を防止してください。エンジン作動中はグレンタンクに入らないでください。

銘板 C (冷却システム)



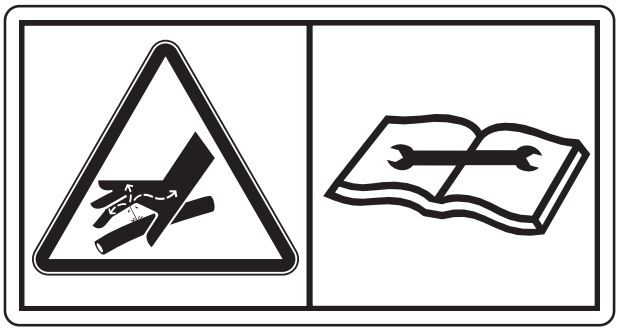
SSHXE123802—UN—06APR21

銘板 *C*

加圧冷却システム。蒸気や高温のクーラントが制御不能に放出されることによる火傷を防ぐには：

1. システムが冷めるまで待ちます。
2. キャップをゆっくりと緩めます。
3. キャップを取り外す前に圧力を解放します。

銘板 D (加圧下の作動油および気体)



SSHXE147014XE—UN—21JAN20

銘板 *D*

圧力がかかっている作動油や気体に触れて大けがをしないようにしてください。

油圧部品の取り外し、アキュムレータの分解、または充填を行う前に、以下を実施してください。

1. システムの油圧を解放します。システム情報については、オペレータマニュアルおよび修理マニュアルを参照してください。
2. エンジンを停止し、キーを抜きます。

アキュムレータの充填には、乾燥窒素のみを使用してください。最寄りの John Deere 販売店にお問い合わせください。

銘板 E (排ガス温度) (ファイナルティア 4 / ステージ V)

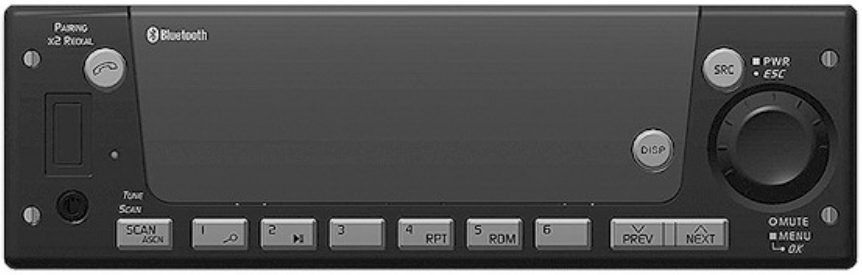
SSHXE69987XE—UN—23JAN20

銘板 *E*

排気システムの部品は高温になっていることがあります。重傷のやけどを負わないように、排気系統の部品に近づかないでください。

OUO6075,00050B2-40-05APR21

ラジオの種類 (オプション)



H133675—UN—11MAR21

主要機能	AM/FM ラジオ	AUX (装備されている場合)	USB (装備されている場合)	Bluetooth®	衛星ラジオの準備	DAB+
デラックスラジオシステム	X	X				
プレミアムラジオシステム	X	X	X	X[a]	X[b]	X[c]

Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。
[a]Bluetooth® は場所によっては利用できない場合があります。
[b]欧州では利用できません。
[c]北米では利用できません。

OUO6075,000501B-40-08APR21

アフターマーケットラジオ

重要：アフターマーケットラジオの取り付けまたは交換を行う場合は、詳細について John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,0000B6E-40-21MAR11

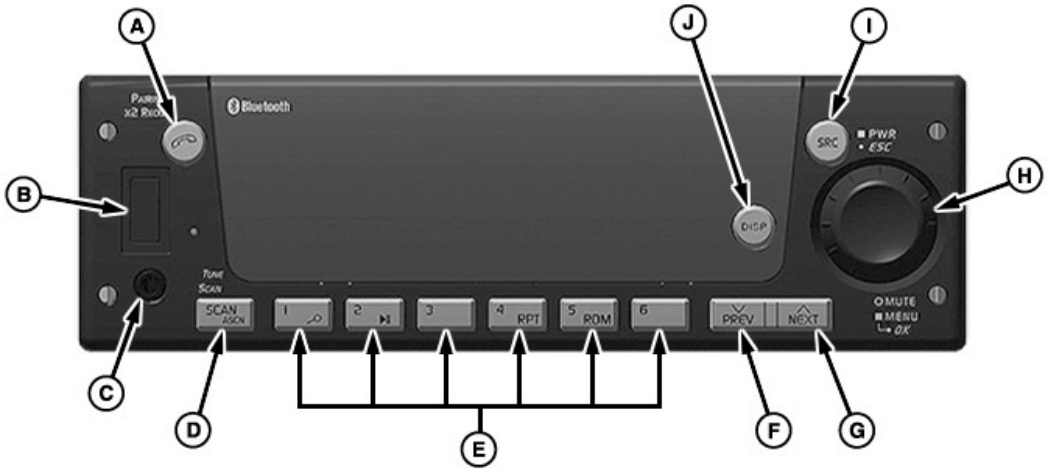
ローカルエリア周波数へのラジオのプログラム

注記：ラジオで別のチューナー周波数が必要な場合は、詳細について John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

周波数帯 (米国 / カナダ)		周波数帯 (他のすべての国)	
FM	87.7 ~ 107.9 MHz	UKW (FM)	87.5 ~ 108.0 MHz
AM	530 ~ 1710 kHz	MW	522 ~ 1629 kHz
WX	162.4 ~ 162.55 MHz	LW	153 ~ 279 kHz

OUO6075,0004584-40-18JAN17

ラジオのコントロール



H127145—UN—05SEP19

A：**電話**
B：**USB**
C：**フロント AUX 入力**
D：**SCAN/ASCN**
E：**キーブロック (1 ~ 6)**
F：**PREV**
G：**NEXT**
H：**音量/ミュート/メニュー/OK**
I：**ソース選択 (SRC)/PWR/ESC**
J：**DISP**

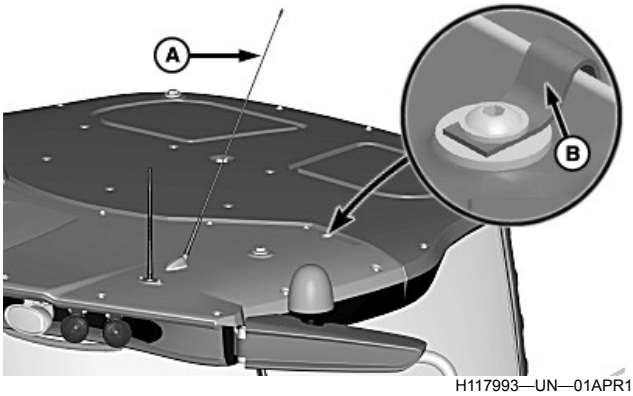
注記： 詳しくは、ラジオの取扱説明書を参照してください。

ラジオを使用するときは、ラジオアンテナ (A) をクリップ (B) から外します。

OUO6075,000501C-40-10MAR21

OUO6075,00050D9-40-28APR21

ラジオアンテナ (スタイル A)

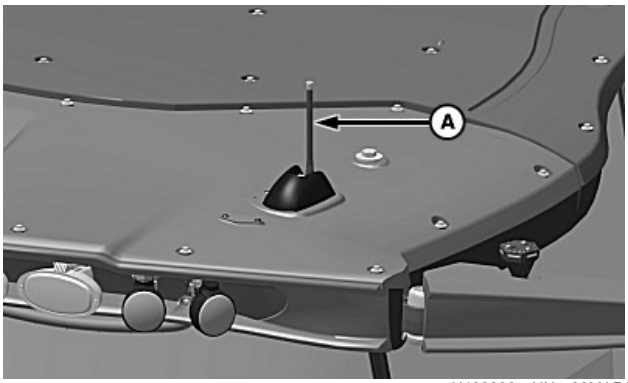


H117993—UN—01APR16

A：**ラジオアンテナ**
B：**クリップ**

重要： ラジオを使用しない場合、または機械を輸送する場合は、アンテナを下げてクリップで固定してください。クリップを使用できない場合は、アンテナをキャブルーフにテープで固定します。

ラジオアンテナ (スタイル B)



H133893—UN—30MAR21

A：**ラジオアンテナ**

圃場での操作

重要： 損傷を防止するために、ラジオアンテナをベースにねじ込み、しっかり手締めしてください。

ラジオを使用する場合は、ラジオアンテナ (A) をベースにねじ込みます。

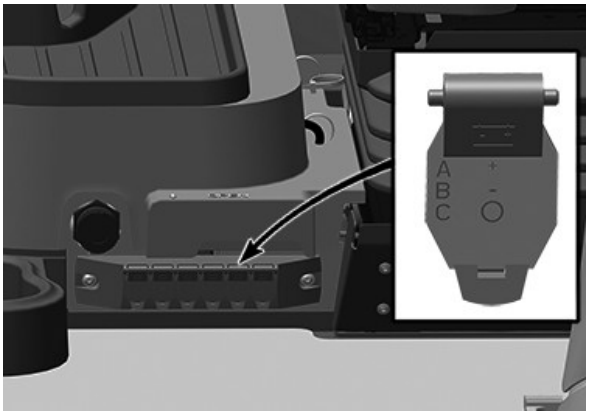
道路輸送またはトレーラー輸送

重要：ラジオを使用しない場合、または機械を輸送する場合は、ラジオアンテナを取り外して、運転席の後ろにある手動保管場所に収納してください。

機械を輸送する場合は、ラジオアンテナ (A) を取り外して、運転席の後ろにある手動保管場所に収納してください。

OUO6075,0005093-40-14MAY21

通信 / CB 無線配線



H118079—UN—19JAN17

補助電源コンセント

注記：最大結合電流ドローは切替時供給電源で 20 A、常時供給電源で 30 A です。

- スペード形端子 (A) は常時直流プラス電源です。
- スペード型端子 (B) はアースです。
- スペード形端子 (C) は補助電源 (キースイッチ ON 時) です。

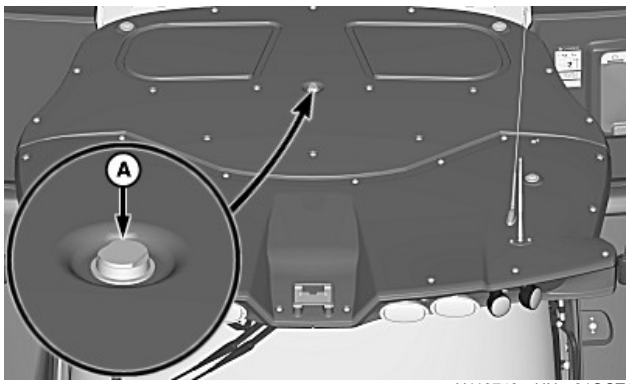
高電流ドローの双方向無線機に電源とアースを提供するには、スペード端子 (A) と (B) を使用してください。この場合、オペレータは手動で双方向無線機の電源をオフにするか、一日の終わりにバッテリー遮断スイッチを使用する必要があります。

通常の電流ドローの双方向無線機に電源とアースを供給するには、スペード端子 (B) と (C) を使用してください。キースイッチを OFF にすると、双方向無線機への電源も OFF になります。

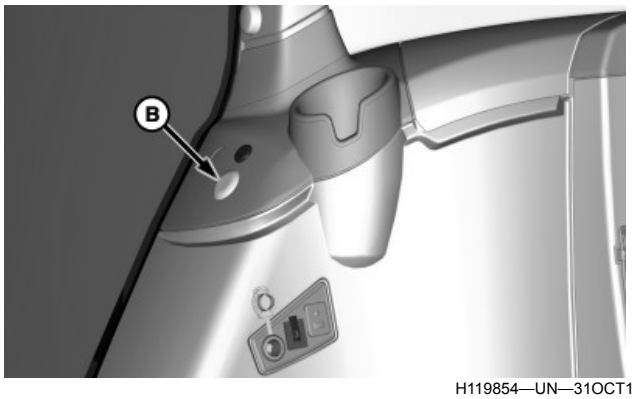
詳しくは、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

OUO6075,0004895-40-07FEB18

通信 / CB 無線機の取り付け

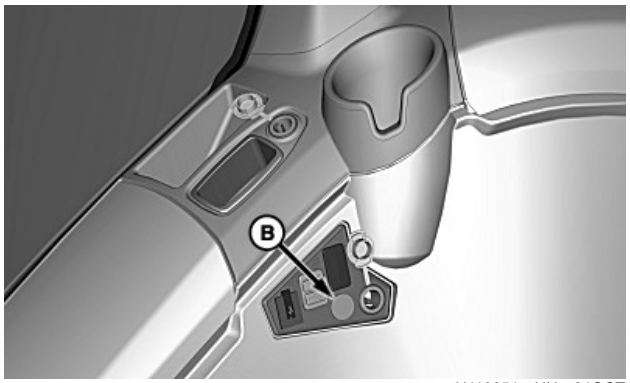


H119749—UN—31OCT16



H119854—UN—31OCT16

アンテナケーブル穴 *(デラックスキャブの位置)*



H119851—UN—31OCT16

アンテナケーブル穴 *(プレミアムキャビンの位置)*

A：**アンテナマウント**
B：**プラグ**

重要：電気システムが故障する可能性があるため、3 A を超える電流を必要とする無線機は取り付けないでください。

追加の通信無線機を取り付けるには、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

アンテナマウント (A) はキャブルーフの中央にあります。

1. アンテナ取り付け座からダストキャップを取り外します。

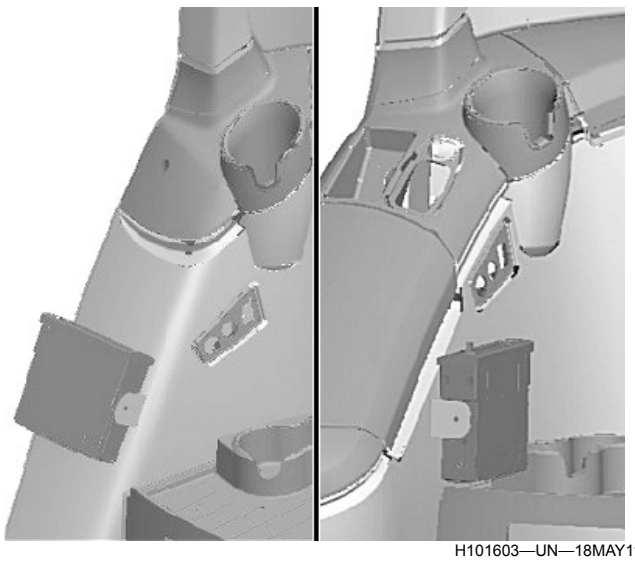
2. アンテナ取り付け座から真鍮製ナットを取り外します。
3. ゴム製ワッシャーを廃棄します。
4. O リングを下に向けてアンテナ取り付け座を取り付けます。
5. アンテナを取り付けます。

アンテナケーブルは右側コンソールの内側にあります。

1. 図に示すさまざまな位置からプラグ (B) を取り外します。
2. カップホルダを取り外してアンテナケーブルの位置を確認します。
3. アンテナ ケーブルを穴の開口部に取り回します。

H101604—UN—18MAY11

後部コーナーポスト位置 *(右後)*



H101603—UN—18MAY11

デラックスキャビンでの位置 / プレミアムキャビンでの位置

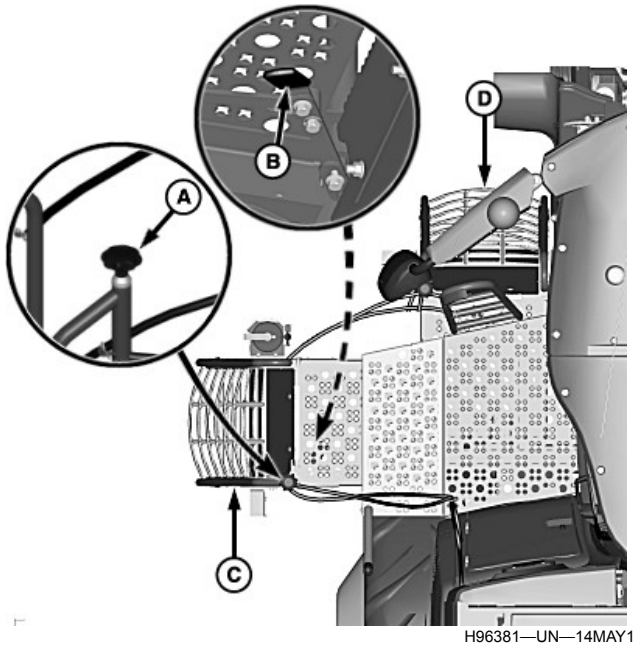
重要： **ドリルで穴をあける前に、コーナーポストカバーを取り外す必要があります。ドリルでの穴あけまたは金具の取り付け時は、図に示すワイヤハーネスやクーラントホースを損傷しないように注意してください。**

必要に応じて、図に示すさまざまな位置でメーカーが提供しているブラケットを穴の位置と穴あけのテンプレートとして使用します。セルフタッピングねじまたはボルトとナットを使用してブラケットを取り付けます。

注記： 特定の放送バンドは測位レシーバとの干渉を生じることがあります。ポジションレシーバで信号の損失が確認された場合は、別の放送バンドを使用するか、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

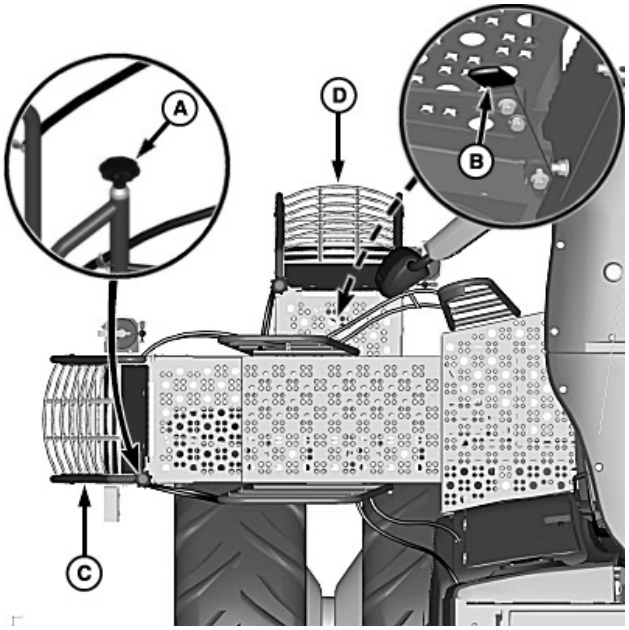
OUO6075,000439C-40-31OCT16

キャビンタラップの位置



H96381—UN—14MAY10

タラップの位置 *(シングルタイヤ構成)*



H96380—UN—14MAY10

タラップの位置 *(*デュアルタイヤ構成*)*

A：**ハンドル**
B：**レバー**
C：**圃場位置**
D：**道路走行位置**

注意： **機械が動いているときに前部タラップや後部タラップに乗ったり、昇ろうとしたりしないでください。**

ハンドル (A) またはレバー (B) で、タラップを地面またはタラップの踊り場から位置決めすることができます。

タラップラッチが緩んでいる場合は、ラッチピンの周辺を清掃してください。この部分ではグリースやオイルを使用しないでください。

タラップを前後に旋回させて異なる位置にロックします。

- **位置 (C)**：通常の圃場の条件で作業するときの位置です。
- **位置 (D)**：公道で機械を輸送するときの位置です。

注意： **車道で機械を輸送する前にタラップを位置 (D) に必ず旋回させて、機械幅を減らし、マーカー / ハザードライトを接近する自動車運転者に向けてください。**

OUO6075,0004563-40-08DEC16

消火器 (欧州)

H92841—UN—16SEP08

汎用粉末消火器 / 液体消火器

注意： **消火器は、現地政府の法律や規則に適合する必要があります。**

- **6 kg (13 lb) 以上の汎用粉末消火器**
- **最小容積が 8 L (2.1 gal) の加圧式液体消火器 (装備されている場合)**

注記： 図に示している消火器は、国の要件および消火器メーカーに応じて異なる場合があります。

取り付けブラケット付きの汎用粉末消火器と加圧式液体消火器を機械に取り付ける必要があります。

消火器のラベルを読み、使用説明書を理解して機械に維持してください。一度放出した消火器は、使用時間に関係なく再充填するか、交換する必要があります。

重要： **加圧式水消火器は、不凍液で保護していない限り凍結温度にさらさないでください。詳しくは、消火器に貼付されている説明銘板を参照してください。**

OUO6075,00042F6-40-20JUN16

消火器 (オーストラリアとニュージーランド)

H117754—UN—17MAR16

汎用粉末消火器 / 液体消火器

注意： 消火器は、現地政府の法律や規則に適合する必要があります。

- **4 kg (10 lb) 以上の汎用粉末消火器**
- **最小容量が 8 L (2.1 gal) の加圧式液体消火器**

注記： 図に示している消火器は、国の要件および消火器メーカーに応じて異なる場合があります。

取り付けブラケット付きの汎用粉末消火器と加圧式液体消火器を機械に取り付ける必要があります。

消火器のラベルを読み、使用説明書を理解して機械に維持してください。一度放出した消火器は、使用時間に関係なく再充填するか、交換する必要があります。

重要： 加圧式水消火器は、不凍液で保護していない限り凍結温度にさらさないでください。詳しくは、消火器に貼付されている説明銘板を参照してください。

OUO6075,00042F7-40-20JUN16

消火器 (ユーラシア経済連合)

H117754—UN—17MAR16

汎用粉末消火器 / 液体泡組み合わせ消火器

注意： 消火器は、現地政府の法律や規則に適合する必要があります。

- **6 kg (13 lb) 以上の汎用粉末消火器**
- **最小容量が 8 L (2.1 gal) の加圧式液体泡組み合せ消火器**

注記： 図に示している消火器は、国の要件および消火器メーカーに応じて異なる場合があります。

取り付けブラケット付きの汎用粉末消火器と加圧式液体泡組み合わせ消火器を本機に取り付ける必要があります。

消火器のラベルを読み、使用説明書を理解して本機に維持してください。一度放出した消火器は、使用時間に関係なく再充填するか、交換する必要があります。

重要： 加圧式水泡組み合わせ消火器は凍結温度にさらさないでください。詳しくは、消火器に貼付されている説明銘板を参照してください。

OUO6075,00049FE-40-28JUN18

消火器の位置

H123653—UN—02MAR18

前部の消火器の位置

H123654—UN—02MAR18

後部の消火器の位置

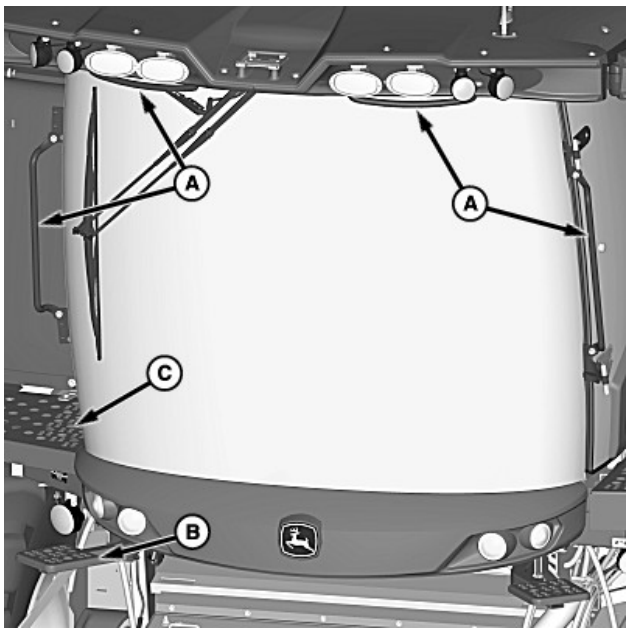
注記： 図に示している消火器は、国の要件および消火器メーカーに応じて異なる場合があります。

汎用粉末消火器は、フロントタラッププラットフォームにあります。

加圧式液体消火器は、右リアエンジンアクセスドアの内側にあります (装備されている場合)。

OUO6075,0004911-40-02MAR18

手すりと右踊り場によるアクセス



H119679—UN—20OCT16

A：**手すり**
B：**ステップ**
C：**踊り場**

注意： **フィーダーハウスを完全に上昇させ、安全ストップをフィーダーハウスリフトシリンダに下ろします。**

重要： **キャブドアを閉めてから手すりを使用してください。**

ワイパーアームを手動で動かさないでください。ワイパー機構の損傷の原因になります。

タラップと踊り場を使用してキャブの左側を清掃します。

左側のステップを使用してフィーダーハウスにアクセスします。

キャブのいずれかの側および上部にある手すり (A) を使用します。

上昇させたフィーダーハウスの上に立ってフロントキャビンウインドウを清掃し、ヘッドライトやワイパーを整備します。

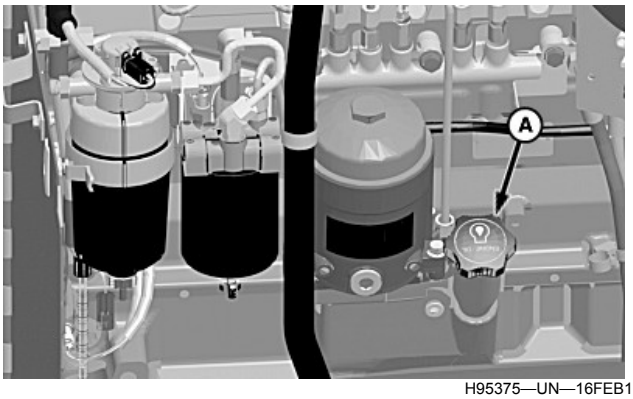
ステップ (B) と踊り場 (C) を使用してキャブの右側を清掃します。

OUO6075,000439D-40-15DEC16

慣らし運転整備

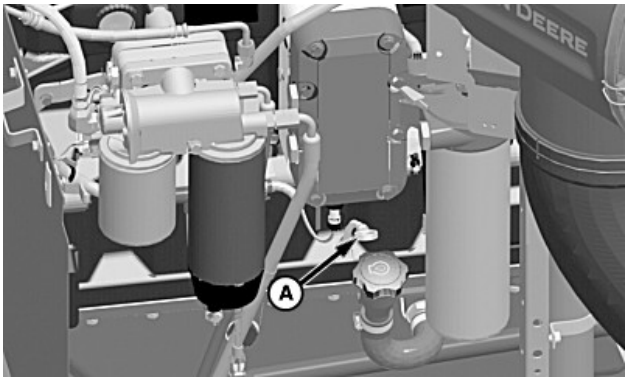
エンジンの慣らし運転

ティア 2 / ステージ II



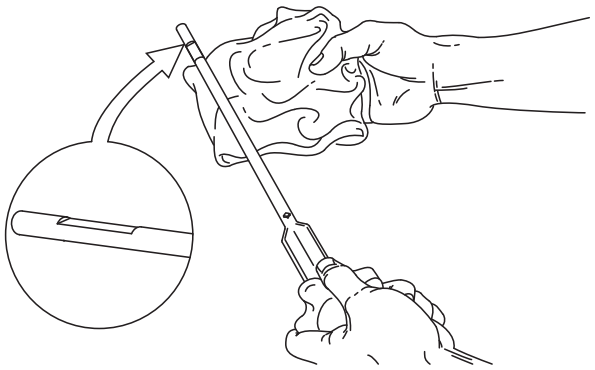
H95375—UN—16FEB10

スタイル A



H95419—UN—19FEB10

スタイル B



H112961—UN—17FEB15

A：**検油棒**

このエンジンには工場出荷時に John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルが充填されています。慣らし運転期間中は、指定のオイルレベルを維持するため、必要に応じて John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを追加してください。

エンジン部品が適切に密着するように、さまざまな条件下で、特に最小限のアイドリングで重い負荷をかけてエンジンを運転します。

John Deere™ Break-In™ エンジンオイルを新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期運転中に使用する場合は、最長 100 時間でオイルとオイルフィルタを交換します。

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを使用する場合は、最短 100 時間から最長 John Deere Plus-50™ II または Plus-50™ オイルの規定間隔でオイルとオイルフィルタを交換します。推奨オイルについては「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

重要：**オイルレベルが検油棒の ADD マークを下回るまで、オイルを補充しないでください。慣らし運転期間中に消費されたオイルを補充するには、John Deere Break-In Plus™ オイルを使用してください。**

新品のエンジンまたは大規模なオーバーホールを実施したエンジンの慣らし運転期間中は、Plus-50™ または Plus-50™ II エンジンオイルを使用しないでください。これらのオイルを使用すると、新品またはオーバーホールしたエンジンは慣らし運転期間中に適切な摩耗が確保されません。

慣らし運転期間中は、頻繁にエンジンオイルレベルを点検してください。この期間にオイルを追加する必要がある場合は、John Deere™ Break-In Plus™ オイルをお勧めします。

重要：**FULL マークより上に補充しないでください。オイルレベルがクロスハッチ内にある場合は許容使用範囲内にあります。**

注記：低粘度のオイルを使用した場合は、オイル消費量が少し増える可能性があります。オイルレベルをより頻繁に点検します。

エンジンをアイドリングで長時間運転したり、最大負荷で続けて運転することは避けてください。エンジンを 5 分以上アイドルで運転する場合は、エンジンを停止してください。

慣らし運転期間が終了したら、エンジンオイルとエンジンオイルフィルタを交換してください。John Deere Plus-50™ II、John Deere Plus-50™、または季節に適した粘度等級のオイルをクランクケースに注入します。推奨オイルについては「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

注記：オイルレベルを点検する前に、検油棒がハウジングに完全にねじ込まれているまたは押し込まれていることを確認してください。

検油棒 (A) を取り外して、オイルレベルを毎日点検します。オイルレベルは検油棒の「ADD」マークとクロスハッチ部の上部の間にある必要があります。オイルレベルが「ADD」マークより下になった場合は、オイルを追加してください。推奨オイルについては「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

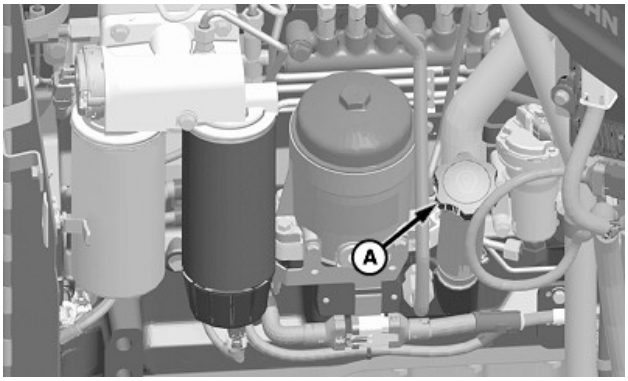
漏れがないか確認します。オイルレベルが検油棒の

Break-In Plus は Deere & Company の商標です。

Plus-50 は Deere & Company の商標です。

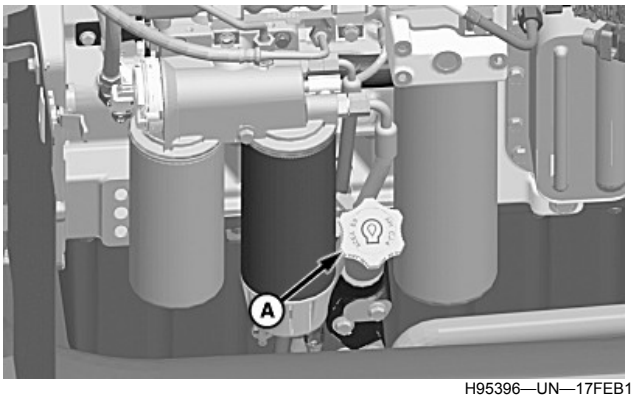
「ADD」マークよりも下にあるときは、エンジンを運転しないでください。

ファイナルティア 4 / ステージ V



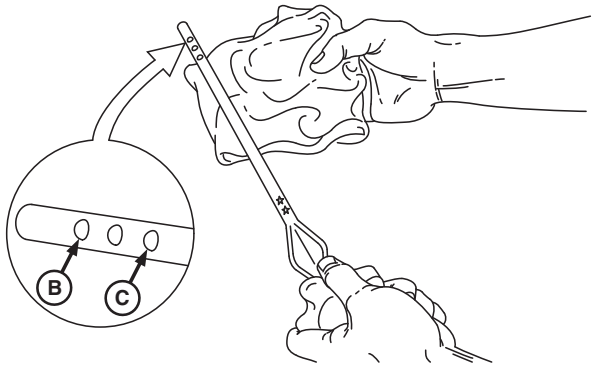
H95306—UN—11FEB10

スタイル A



H95396—UN—17FEB10

スタイル B



H113142—UN—11MAR15

A：**検油棒**
B：**ADD マーク**
C：**FULL マーク**

このエンジンには工場出荷時に John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルが充填されています。慣らし運転期間中は、指定のオイルレベルを維持するため、必要に応じて John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを追加してください。

エンジン部品が適切に密着するように、さまざまな条件下で、特に最小限のアイドリングで重い負荷をかけてエンジンを運転します。

新品またはリビルトのエンジンの初期運転中は、最短 100 時間から最長 John Deere Plus-50™ II オイルに指定されている期間の間にオイルとフィルタを交換してください。推奨オイルについては「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期運転中は、最短 100 時間から最長 400 時間の間にオイルとオイルフィルタを交換します。

重要： **オイルレベルが検油棒の ADD マーク (B) を下回るまで、オイルを補充しないでください。慣らし運転期間中に消費されたオイルを補充するには、John Deere Break-In Plus™ オイルを使用してください。**

新品のエンジンまたは大規模なオーバーホールを実施したエンジンの慣らし運転期間中は、Plus-50™ または Plus-50™ II エンジンオイルを使用しないでください。これらのオイルを使用すると、新品またはオーバーホールしたエンジンは慣らし運転期間中に適切な摩耗が確保されません。

慣らし運転期間中は、頻繁にエンジンオイルレベルを点検してください。この期間中にオイルを追加する必要がある場合は、John Deere Break-In Plus™ オイルをお勧めします。

重要： **FULL マーク (C) を越えて補充しないでください。オイルレベルがクロスハッチ内にある場合は許容使用範囲内にあります。**

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを入手できない場合は、次のいずれかに適合する SAE 10W-30 粘度等級のディーゼルエンジンオイルを使用します：

- API サービス分類 CK-4
- API サービス分類 CJ-4
- ACEA オイルシーケンス E9
- ACEA オイルシーケンス E6

このいずれかのオイルを新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期運転中に使用する場合は、最短 100 時間から最長 250 時間の間にオイルとオイルフィルタを交換します。

注記： 低粘度のオイルを使用した場合は、オイル消費量が少し増える可能性があります。オイルレベルをより頻繁に点検します。

エンジンをアイドリングで長時間運転したり、最大負荷で続けて運転することは避けてください。エンジンを 5 分以上アイドルで運転する場合は、エンジンを停止してください。

慣らし運転期間が終了したら、エンジンオイルとエンジンオイルフィルタを交換してください。クランクケースに John Deere Plus-50™ II またはその他のディーゼルエンジンオイルを注入します。推奨オイル

Break-In Plus は Deere & Company の商標です。

Plus-50 は Deere & Company の商標です。

については「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

注記： オイルレベルの点検のために取り外す前に、検油棒がハウジングに完全にねじ込まれていることを確認してください。

検油棒 (A) を取り外して、オイルレベルを毎日点検します。オイルレベルは検油棒の「ADD」マークとクロスハッチ部の上部の間にある必要があります。オイルレベルが「ADD」マークより下になった場合は、オイルを追加してください。推奨オイルについては「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

漏れがないか確認します。オイルレベルが検油棒の「ADD」マークよりも下にあるときは、エンジンを運転しないでください。

すべての機械に共通

H117823—UN—22DEC16

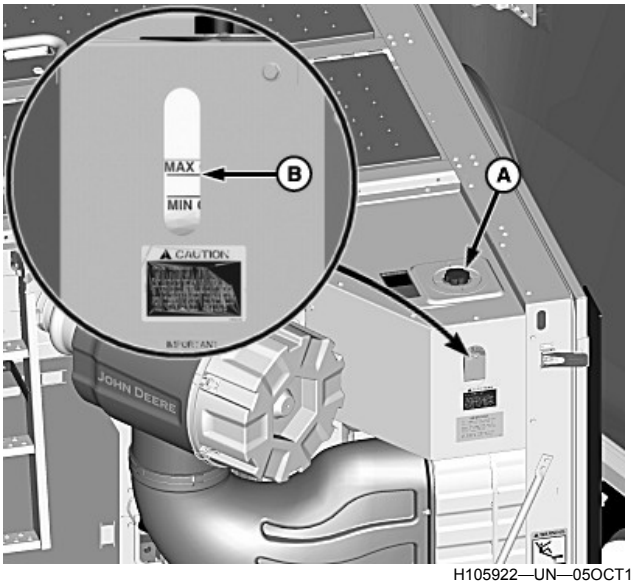
温度計

周囲温度が -10°C (14°F) 未満の場合は、エンジンブロックヒーターを使用します (装備されている場合)。

通常運転中は、温度計の読みが緑色のゾーン内にある必要があります。

重要： エンジンの損傷を防止してください。温度警告灯が点灯した場合、またはバーが赤色のゾーンに入った場合は、エンジンを停止しないでください。エンジンを停止すると、クーラント温度がさらに上昇して本機が損傷します。負荷を減らして低い回転数でエンジンを運転し、クーラント温度を下げてください。温度がすぐに下がらない場合は、エンジンを停止して運転再開前に原因を確認します。

温度計に注意してください。温度計が赤色のゾーン内に動いた場合は、運転を再開する前に、エンジンへの負荷を減らして原因を特定してください。



H105922—UN—05OCT12

A：**サージタンクキャップ**
B：**冷間時最高ライン**

注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。サージタンクキャップを開けるときはやけどを防止してください。エンジンが高温のときは絶対にキャップを開けないでください。キャップをゆっくりと開いて圧力を解放します。

クーラントレベルを定期的に点検し、漏れの兆候がないか確認してください。サージタンクキャップ (A) を取り外して、クーラントをサージタンクの「Max Cold」(冷間時最高) ライン (B) まで補充します。

注記： クーラントレベルは「Max Cold」ラインと「Min Cold」ラインの間にある必要があります。クーラントが「Min Cold」ラインよりも下にある場合は、必要に応じてクーラントを追加してください。

OUO6075,0004D8A-40-18FEB20

ベルトドライブの調整：最初の 50 時間

注意： エンジンを運転した状態で、絶対にベルトドライブを点検または調整しないでください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

最初の 50 運転時間後、すべてのスプリング式ベルトアイドラの調整を点検します。ほとんどのベルトの伸びは、最初の整備時間中に発生します。

初期調整後、必要に応じてベルトの調整を点検してください。スプリングテンショナの座金はゲージの端部と段差の底部に配置する必要があります。

OUO6075,000056C-40-14JAN10

最初の 100 時間の前の慣らし運転点検

毎日または 10 時間ごとの整備を実行します。「潤滑とメンテナンス」セクションを参照してください。

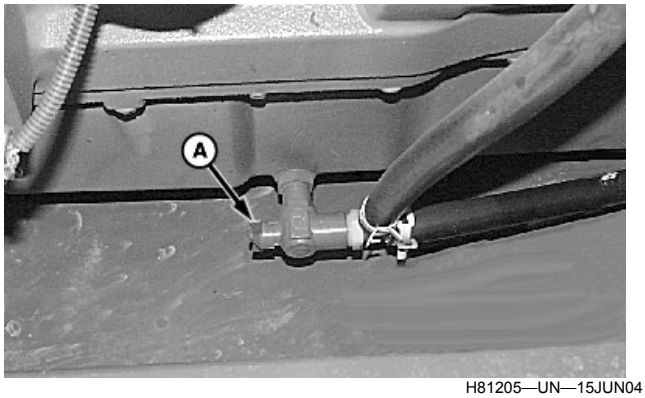
エンジン温度およびエンジンオイル圧力の診断トラブルコードが表示されていないか確認します。詳しくは、「コンバインの概要アプリケーションのヘルプ」または「運転席のヘルプ」を参照してください。

エンジンオイルレベル (必要な場合は、John Deere Break-In™ オイルを追加) とクーラントレベルを頻繁に点検して、漏れの兆候に注意してください。

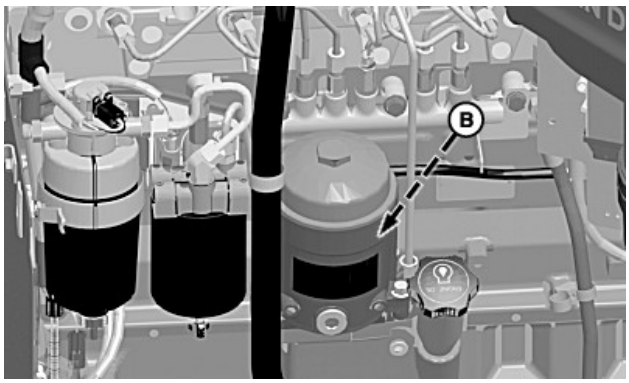
エンジンの吸気システムのホースとクランプが緩んでいないか点検します。

OUO6075,0004DAB-40-18FEB20

100 時間後の慣らし運転整備 (ティア 2 / ステージ II)

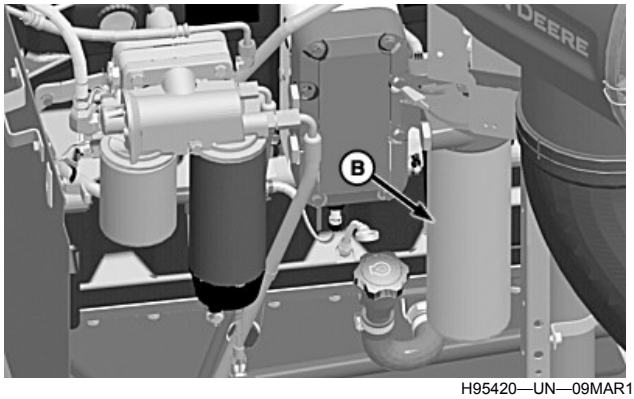


H81205—UN—15JUN04



H95377—UN—16FEB10

スタイル *A*



H95420—UN—09MAR10

スタイル *B*

A：**ドレン**
B：**オイルフィルタ**

ドレン (A) を開けてクランクケースのオイルを抜き取ってからドレンを閉めます。

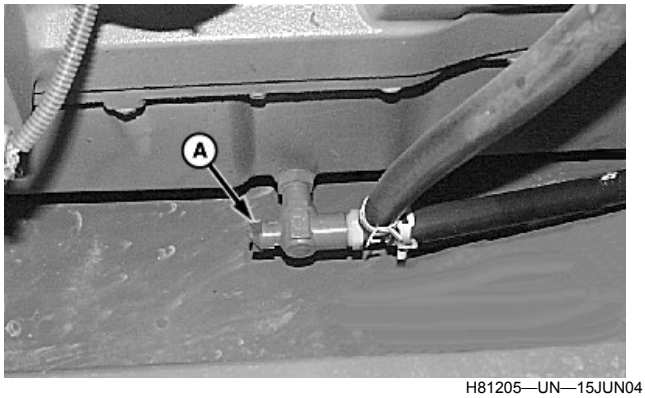
キャップを取り外して保管し、オイルフィルタ (B) を適切に廃棄します。

オイルフィルタを取り付けてキャップで固定します。

適切な量のエンジンオイルをクランクケースに注入します。推奨オイルについては「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。容量については、「仕様」セクションを参照してください。

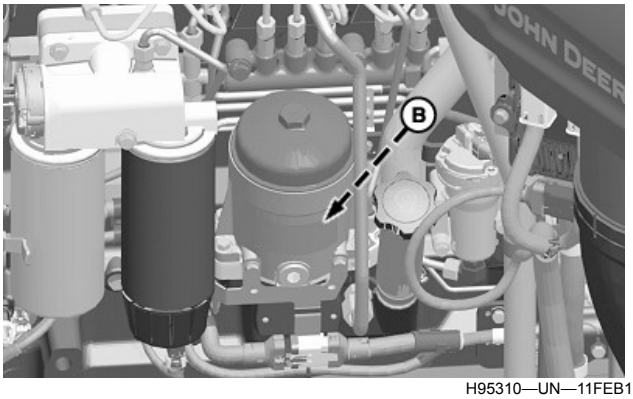
OUO6075,00044D4-40-19DEC16

慣らし運転整備、400 時間後 (ファイナルティア 4 / ステージ V)



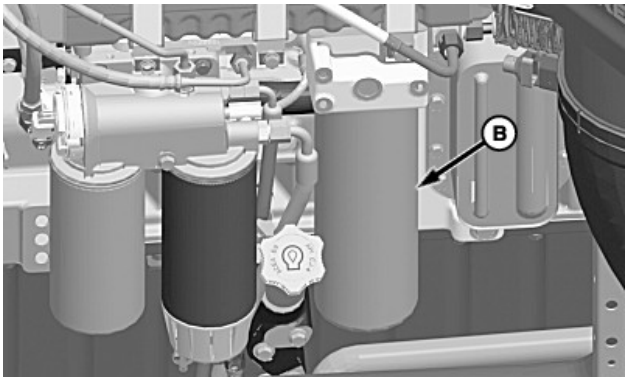
H81205—UN—15JUN04

Break-In は Deere & Company の商標です。



H95310—UN—11FEB10

スタイル *A*



H95397—UN—17FEB10

スタイル *B*

A：**ドレン**
B：**オイルフィルタ**

ドレン (A) を開けてクランクケースのオイルを抜き取ってからドレンを閉めます。

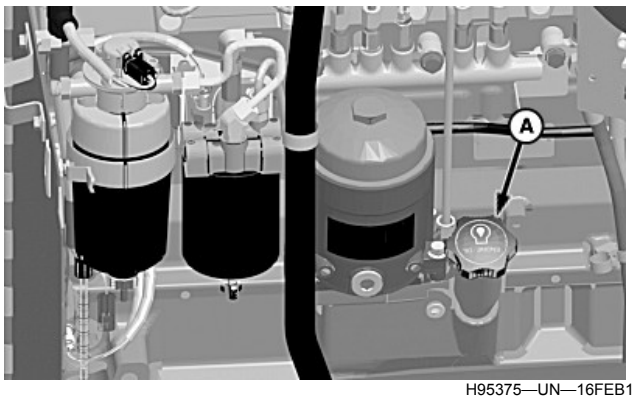
キャップを取り外して保管し、オイルフィルタ (B) を適切に廃棄します。

オイルフィルタを取り付けてキャップで固定します。

適切な量のエンジンオイルをクランクケースに注入します。推奨オイルについては「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。容量については、「仕様」セクションを参照してください。

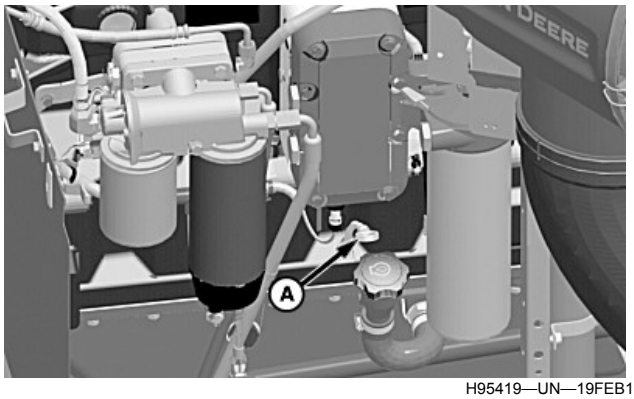
OUO6075,00047D7-40-10NOV17

エンジンオイルレベル



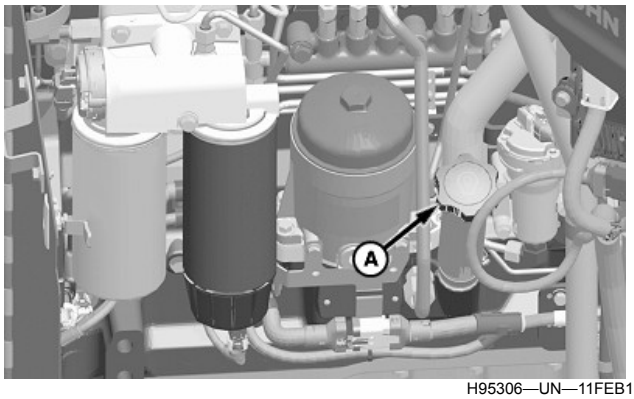
H95375—UN—16FEB10

ティア *2* / ステージ *II (*スタイル *A)*



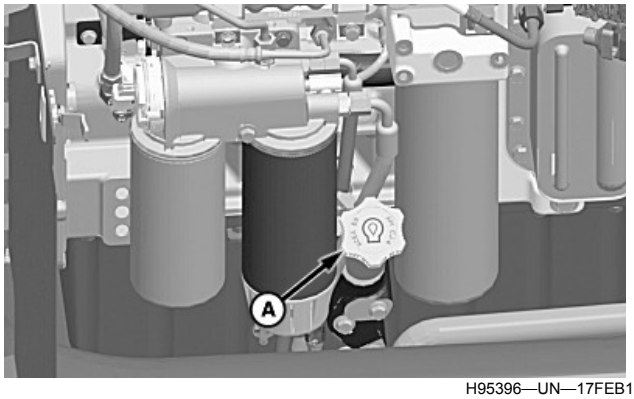
H95419—UN—19FEB10

ティア *2* / ステージ *II (*スタイル *B)*



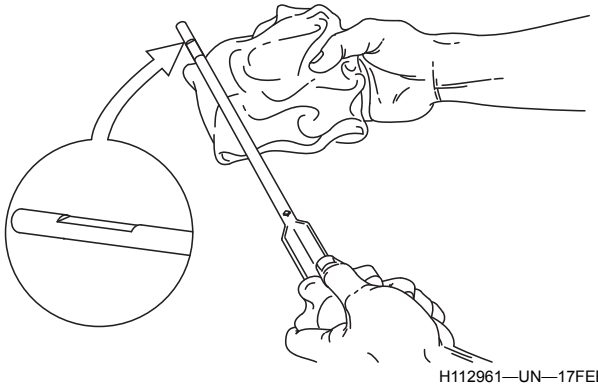
H95306—UN—11FEB10

ファイナルティア *4* / ステージ *V (*スタイル *A)*



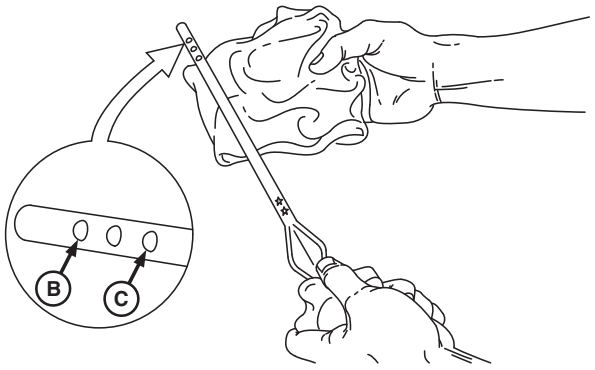
H95396—UN—17FEB10

ファイナルティア *4* / ステージ *V (*スタイル *B)*



H112961—UN—17FEB15

ティア *2* / ステージ *II*



H113142—UN—11MAR15

ファイナルティア *4* / ステージ *V*

A：**検油棒**
B：**ADD マーク**
C：**FULL マーク**

重要： **長期間の耐用年数を確保するには、エンジンオイルを正しいレベルに維持することが非常に重要です。機械を平坦な場所に駐車してエンジンオイルを点検してください。**

注記： オイルレベルを点検する前に、検油棒がハウジングに完全にねじ込まれているまたは押し込まれていることを確認してください。

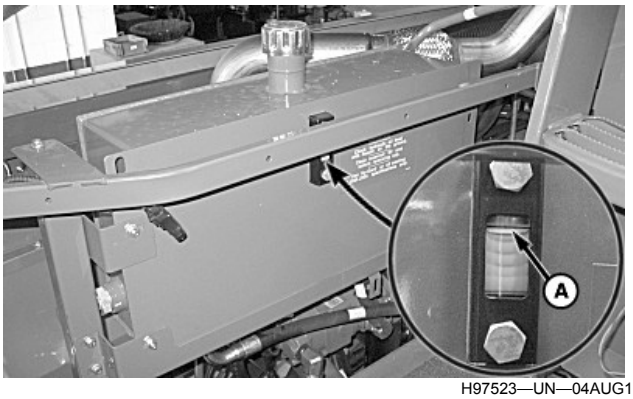
ディップスティック (A) を使って毎日エンジンオイルレベルを点検してください。オイルレベルがディップ

スティックの「ADD」マークよりも下にあるときは、エンジンを運転しないでください。

ディップスティックを取り外し、オイルレベルを点検します。オイルレベルは検油棒の「ADD」マークとクロスハッチ部の上部の間にある必要があります。オイルレベルが「ADD」マークより下になった場合は、オイルを追加してください。推奨オイルについては「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

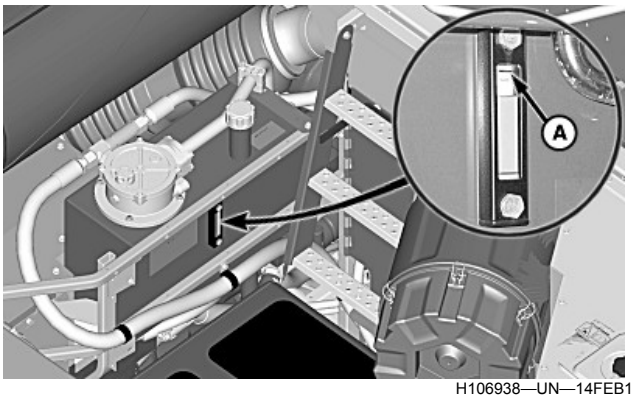
OUO6075,00047DB-40-13NOV17

油圧オイル / 作動油のレベル



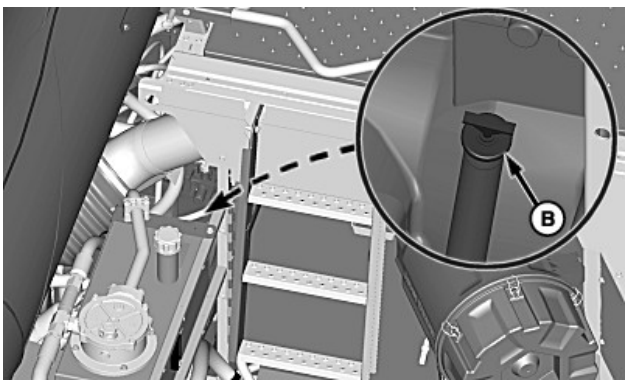
H97523—UN—04AUG10

スタイル *A*



H106938—UN—14FEB13

スタイル *B*



H106937—UN—14FEB13

作動油レベル *(エンジンギヤケース)*

A：**点検窓**

B：**検油棒**

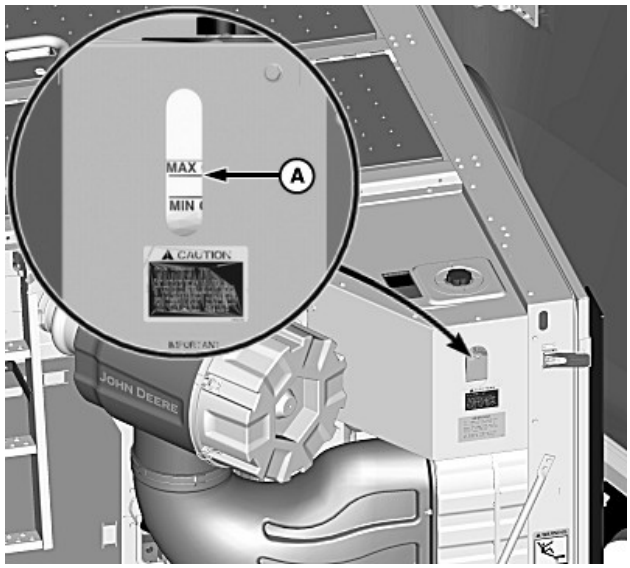
ヘッダーを地面に下ろしてすべてのシリンダを収縮させた状態で油圧オイル / 作動油のレベルを点検してください。オイルレベルは、フィーダーハウスを完全に下げた状態で点検窓 (A) の上部にある必要があります。必要に応じてオイルを追加します。ただし、入れすぎないでください。

エンジンギヤケースで作動油を点検する前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけて、キーを抜いてください。オイルは検油棒 (B) の「ADD」マークよりも下にあってはなりません。

注記： ProDrive™ トランスミッション搭載の機械では、エンジンを低速で数分間運転してからオイルレベルを点検してください。

OUO6075,00049D2-40-07JUN18

クーラントレベル



H105923—UN—05OCT12

A：**Max Cold (冷間時最高) ライン**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。サージタンクキャップを開けるときはやけどを防止してください。エンジンが高温のときは絶対にキャップを開けないでください。キャップをゆっくりと開いて圧力を解放してください。**

重要： **サージタンクには専用のキャップが使用されています。キャップが破損したり、なくなったりした場合は、同等のキャップに交換する必要があります。**

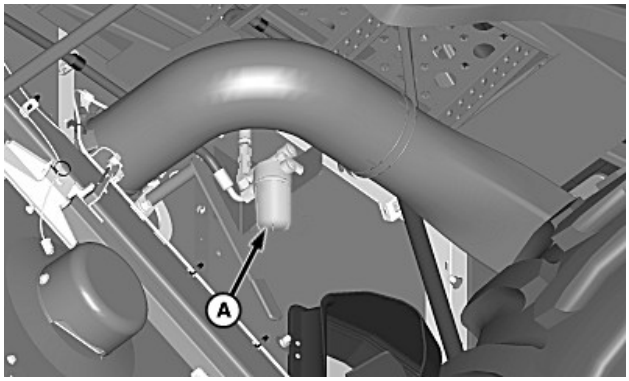
エンジンを冷まします。サージタンクのクーラントレベルは「Max Cold」(冷間時最高) ライン (A) の位置にある必要があります。

ProDrive は Deere & Company の商標です。

注記： クーラントレベルは「Max Cold」(冷間時最高) ラインと「Min Cold」(冷間時最低) ラインの間にある必要があります。クーラントが「Min Cold」(冷間時最低) ラインよりも下にある場合は、必要な量のクーラントを追加してください。

OUO6075,00041CB-40-11APR16

燃料系統



H98377—UN—30SEP10

燃料プレクリーナのボウル

A：**プレクリーナボウル**

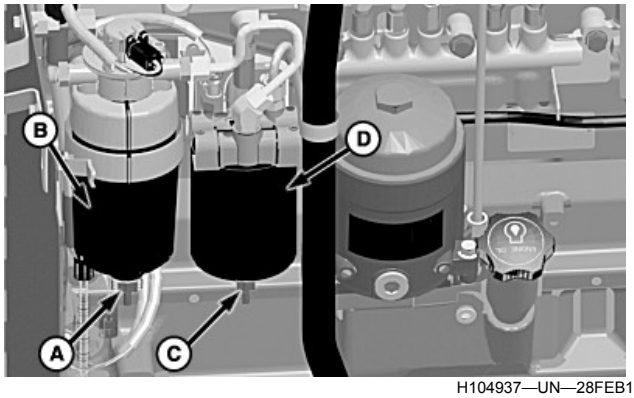
⚠ 注意： 燃料フィルタでメンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。

注記： 燃料システムに空気が入らないように、プレクリーナボウルが完全に密着していることを確認してください。

燃料タンクの燃料遮断弁を閉じます。

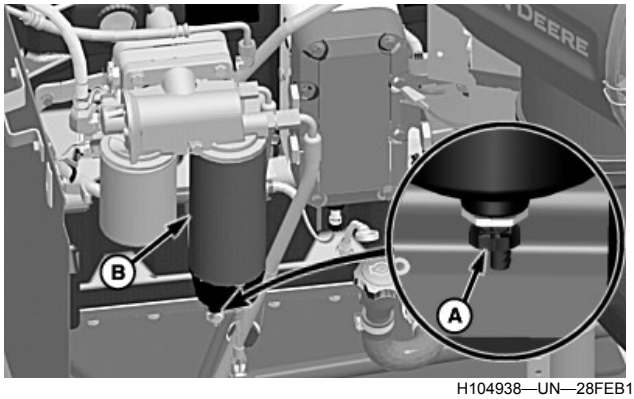
汚れた燃料が使用されていた場合は、プレクリーナボウル (A) を取り外してスクリーンを清掃します。

ティア 2 / ステージ II



H104937—UN—28FEB12

スタイル *A*



H104938—UN—28FEB12

スタイル *B*

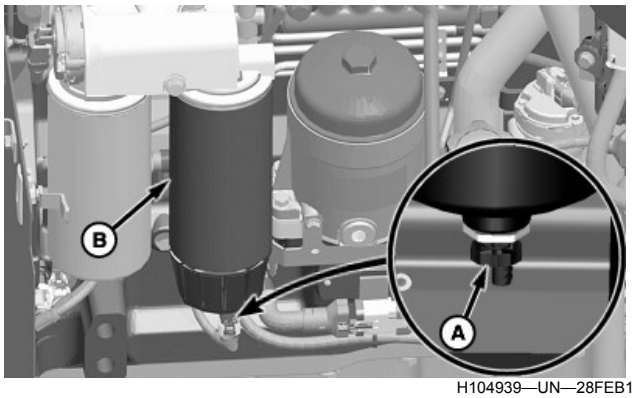
A：**ドレン**
B：**一次燃料フィルタ**
C：**ドレン**
D：**二次燃料フィルタ**

ドレン (A) を開いて、一次フィルタ (B) に水がないか燃料系統を点検します。

スタイル A のみ：ドレン (C) を開いて、二次フィルタ (D) に水がないか燃料系統を点検します。

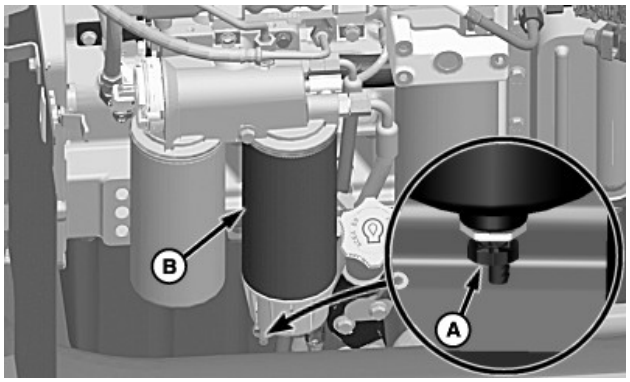
問題が解決しない場合は、燃料フィルタを交換します。詳しくは、「メンテナンス — 必要に応じて (エンジンのフルードとフィルタ)」セクションを参照してください。

ファイナルティア 4 / ステージ V



H104939—UN—28FEB12

スタイル *A*



H104940—UN—28FEB12

スタイル *B*

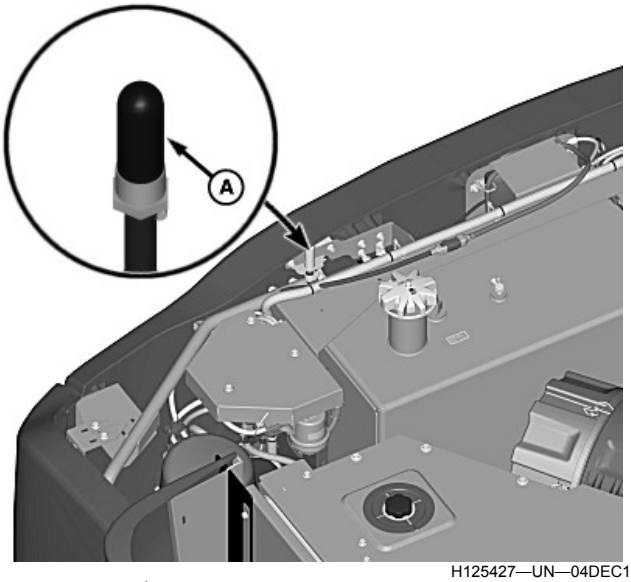
A：**ドレン**
B：**一次燃料フィルタ**

ドレン (A) を開いて、一次フィルタ (B) に水がないか燃料系統を点検します。

問題が解決しない場合は、燃料フィルタを交換します。詳しくは、「メンテナンス — 必要に応じて (エンジンのフルードとフィルタ)」セクションを参照してください。

OUO6075,00047DC-40-13NOV17

燃料タンクブリーザー



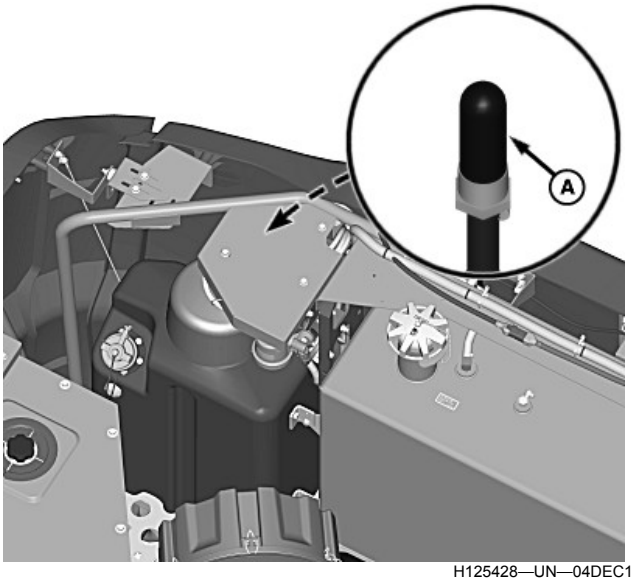
H125427—UN—04DEC18

A：**燃料タンクブリーザー**

燃料タンクブリーザー (A) を毎週目視点検します。ブリーザーにもみ殻やごみが過剰に溜まらないようにしてください。ブリーザーがごみで覆われている場合、燃料タンクの通気が行われません。ホースから燃料タンクブリーザーを取り外して清掃します。

OUO6075,0004A5B-40-04DEC18

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクのブリーザー (ファイナルティア 4 / ステージ V)



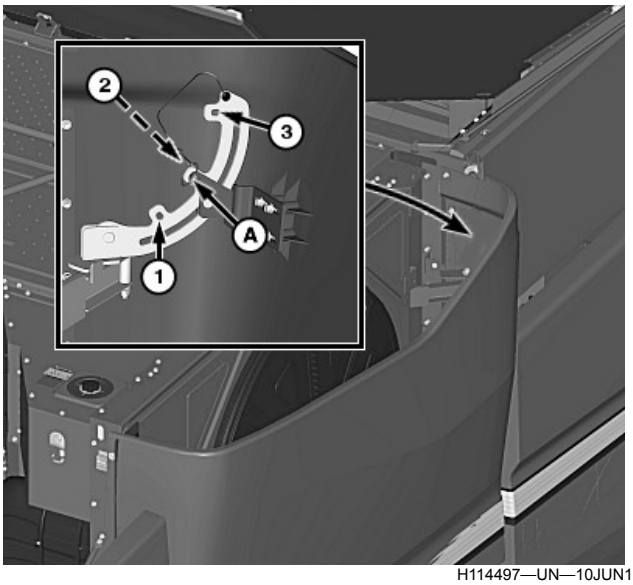
H125428—UN—04DEC18

A：**排ガス処理溶液尿素水 (DEF) タンクブリーザー**

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (A) を毎週目視点検します。ブリーザーにもみ殻やごみが過剰に溜まらないようにしてください。ブリーザーがごみで覆われている場合、タンクの通気が行われません。ブリーザーをホースから取り外して清掃します。

OUO6075,0004A5C-40-04DEC18

エンジンエアスクープの位置



H114497—UN—10JUN15

A：**ロックアウトピン**
1：**輸送位置**
2：**標準圃場位置**
3：**拡張圃場位置**

注記：圃場での運転の前に、エンジンエアスクープが選択した圃場位置にあることを確認してください。

ロックアウトピン (A) を取り外して、エンジンエアスクープを必要な位置に回転させます。

輸送位置：

重要：現地の車道制限が適用される場合は、エンジンエアスクープを輸送位置にする必要があります。現地の規制に従ってください。

機械を輸送する必要がある場合は、エンジンエアスクープが輸送位置 (1) に動かされていることを確認します。

詳細については、このセクションの「エンジンエアスクープの位置設定 (輸送位置)」を参照してください。

標準圃場位置：

重要：収穫時はエンジンのオーバーヒートを防止するために、エンジンエアスクープを標準圃場位置にする必要があります。

通常の圃場条件で運転する場合は、エンジンエアスクープが標準圃場位置 (2) にあることを確認します。

詳細については、このセクションの「エンジンエアスクープの位置設定 (標準圃場位置)」を参照してください。

拡張圃場位置：

重要：高温条件や高地で収穫する場合は、エンジンのオーバーヒートを防止するためにエンジンエアスクープを拡張圃場位置にする必要があります。

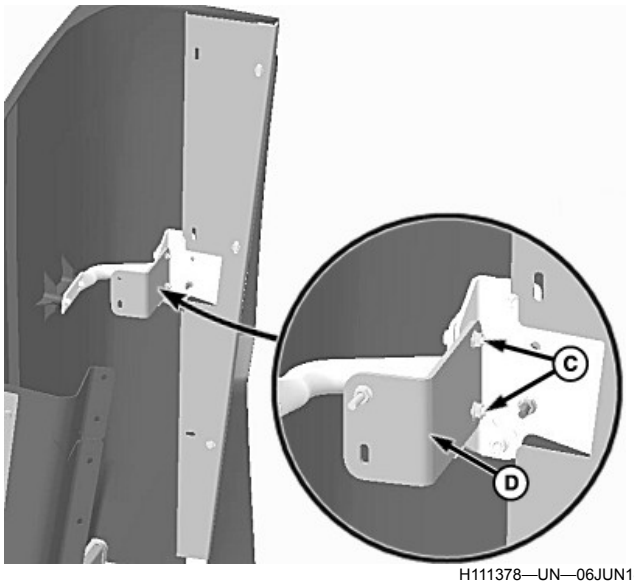
高温条件や高地で収穫する場合は、冷却能力を高めるためにエンジンエアスクープを拡張圃場位置 (3) にしていることを確認します。

詳細については、このセクションの「エンジンエアスクープの位置設定 (拡張圃場位置)」を参照してください。

SS43267,000061F-40-10JUN15

エンジンエアスクープの位置設定 (標準圃場位置)

H114498—UN—10JUN15



H111378—UN—06JUN14

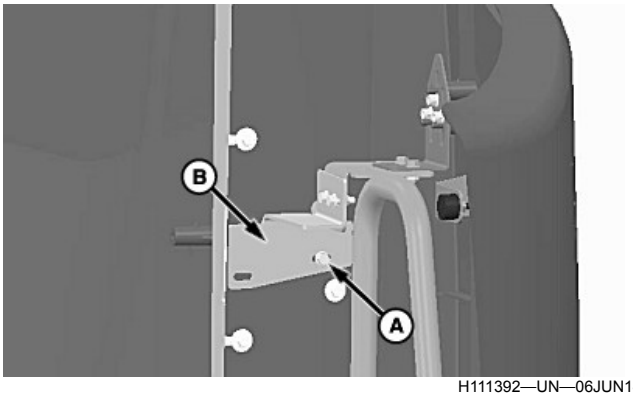
輸送位置

A：**ロックアウトピン**
B：**穴**
C：**ナット、M8 (2 個使用)**
D：**ブラケット**

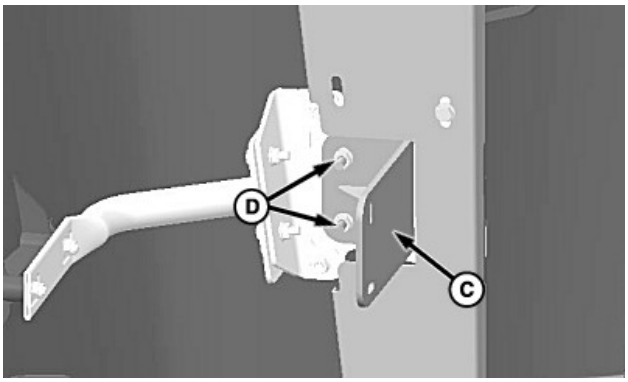
重要：収穫時はエンジンのオーバーヒートを防止するために、エンジンエアスクープを標準圃場位置にする必要があります。

1. ロックアウトピン (A) を取り外して、穴 (B) が整列するまでエアスクープを外側に動かします。
2. 前の手順で取り外したロックアウトピンを取り付けます。

3. ナット (C) とブラケット (D) を取り外します。
4. 前の手順で取り外したナットをボルトに取り付けます。



H111392—UN—06JUN14



H111393—UN—06JUN14

標準圃場位置

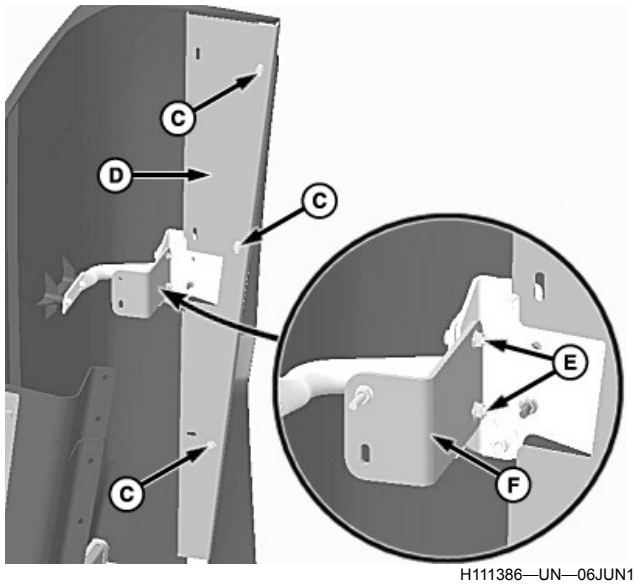
A：**ボルト、M8 x 40**
B：**ブラケット**
C：**ブラケット**
D：**ナット、M8 (2 個使用)**

5. 図のように、エアスクープを外側に動かしてブラケット (B) にボルト (A) を通して取り付けます。
6. 図のようにブラケット (C) を取り付けてナット (D) で固定します。

SS43267,0000620-40-10JUN15

エンジンエアスクープの位置設定 (拡張圃場位置)

H114499—UN—10JUN15



H111386—UN—06JUN14

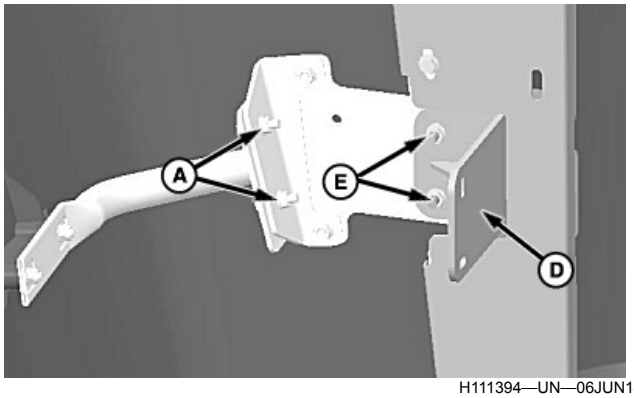
輸送位置

A：**ロックアウトピン**
B：**穴**
C：**ボルト、M8 x 25 (3 本使用)**
D：**パネル**
E：**ナット、M8 (2 個使用)**
F：**ブラケット**

重要： **高温条件や高地で収穫する場合は、エンジンのオーバーヒートを防止するためにエンジンエアスクープを拡張圃場位置にする必要があります。**

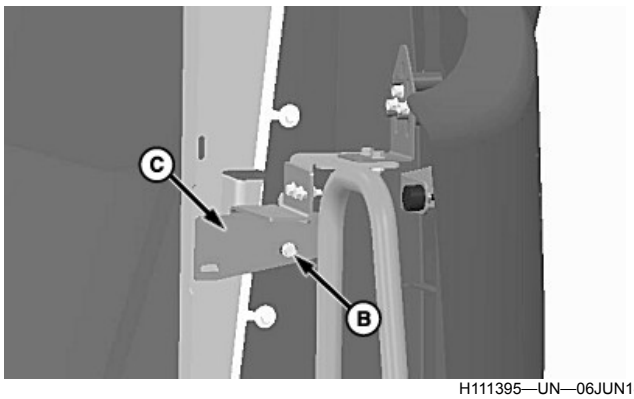
1. ロックアウトピン (A) を取り外して、穴 (B) が整列するまでエアスクープを外側に動かします。

2. 前の手順で取り外したロックアウトピンを取り付けます。
3. ボルト (C) をパネル (D) から取り外して保管します。
4. ナット (E) とブラケット (F) を取り外します。



H111394—UN—06JUN14

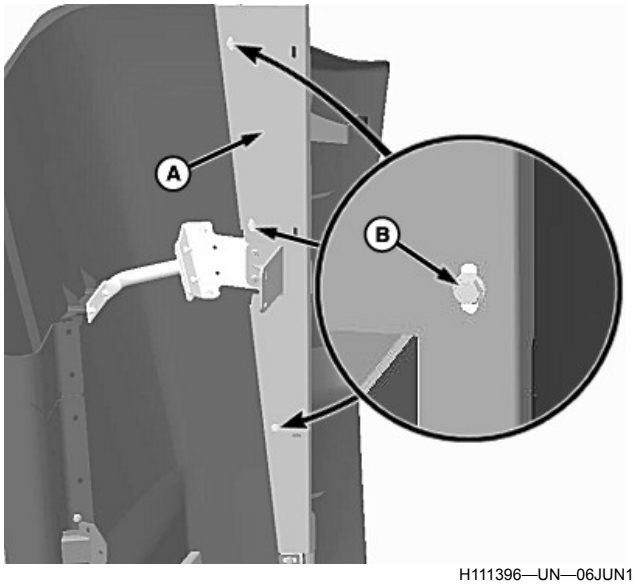
拡張圃場位置



H111395—UN—06JUN14

A：**ナット、M8 (2 個使用)**
B：**ボルト、M8 x 40 (2 本使用)**
C：**ブラケット**
D：**ブラケット**
E：**ナット、M8 (2 個使用)**

5. 前の手順で取り外したナット (A) をボルトに取り付けます。
6. 図のようにエアスクープを外側に動かして、ブラケット (C) にボルト (B) を通して取り付けます。
7. 図のようにブラケット (D) を取り付けてナット (E) で固定します。



H111396—UN—06JUN14

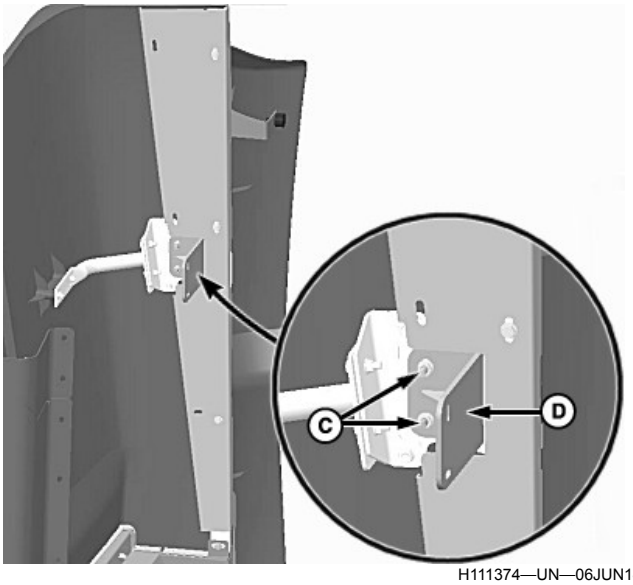
A：**パネル**
B：**ボルト、M8 x 25 (3 本使用)**

8. 前の手順で取り外したパネル (A) を取り付けてボルト (B) で固定します。

SS43267,0000621-40-10JUN15

エンジンエアスクープの位置設定 (輸送位置)

H114500—UN—10JUN15



H111374—UN—06JUN14

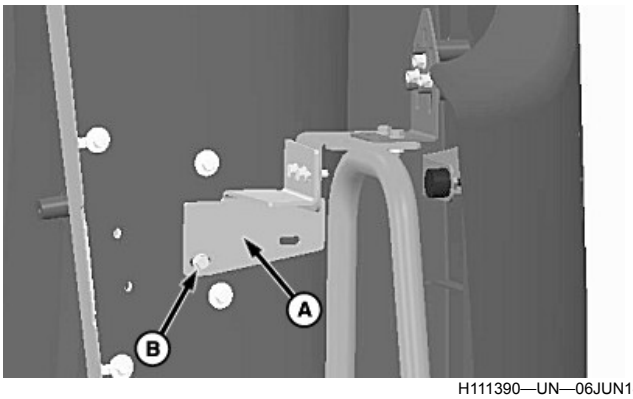
標準圃場位置

A：**ロックアウトピン**
B：**穴**
C：**ボルト M8 x 40 とナット M8 (2 個使用)**
D：**ブラケット**

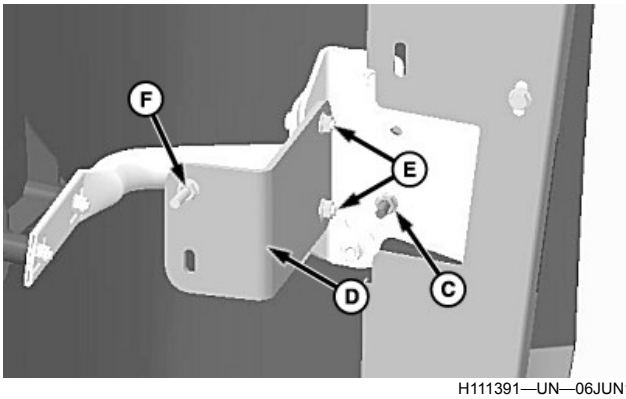
重要： **現地の車道制限が適用される場合は、エンジンエアスクープを輸送位置にする必要があります。現地の規制に従ってください。**

注記： 圃場での運転の前に、エンジンエアスクープを選択した圃場位置に動かす必要があります。

1. ロックアウトピン (A) を取り外して、穴 (B) が整列するまでエアスクープを内側に動かします。
2. 前の手順で取り外したロックアウトピンを取り付けます。
3. ボルトとナット (C) およびブラケット (D) を取り外して保管します。



H111390—UN—06JUN14



H111391—UN—06JUN14

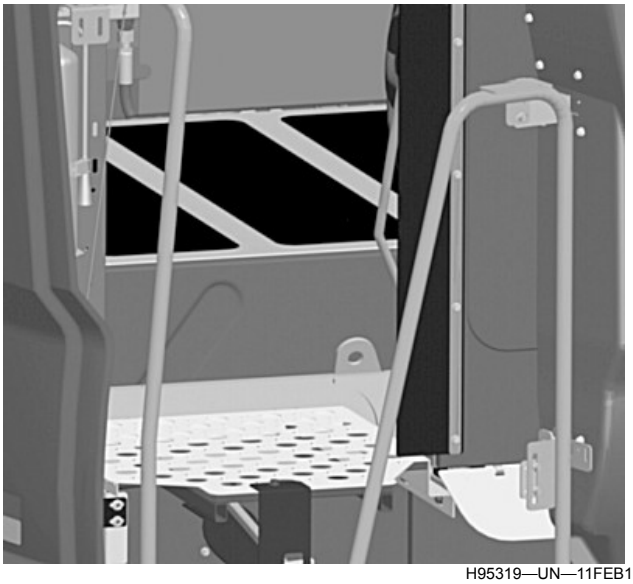
輸送位置

A：**ブラケット**
B：**ボルト、M8 x 40**
C：**ナット、M8**
D：**ブラケット**
E：**ナット、M8 (2 個使用)**
F：**ボルト M8 x 40 とナット M8**

4. 図のようにエアスクープを内側に動かして、ブラケット (A) にボルトを通して取り付け、ナット (C) で固定します。
5. 前の手順で取り外したブラケット (D) を取り付けてナット (E) で固定します。
6. 図のように、前の手順で取り外したボルトとナット (F) をブラケットに取り付けます。

SS43267,0000622-40-10JUN15

エンジンルームの清掃



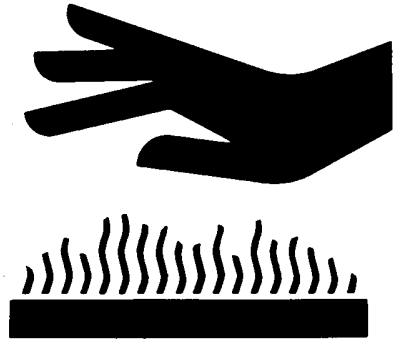
H95319—UN—11FEB10

注意： エンジンを運転した状態でエンジンやエンジンルームの清掃を行わないでください。エンジンルームやエンジンの泥、オイル、籾殻、作物屑は火災の危険があります。風向、農作物の種類とその含水量は、籾殻やごみが堆積する場所と量にすべて影響を与えます。この部分を頻繁に点検し、清掃してください。

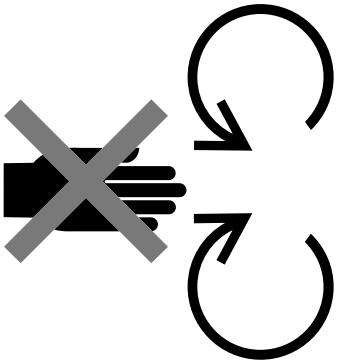
OUO6075,0000575-40-17MAR10

エグゾーストフィルタの安全なクリーニング

TS227—UN—15APR13



TS271—UN—23AUG88



TS1693—UN—09DEC09

エグゾーストフィルタクリーニング中に、エンジンは高アイドル回転数、高温の状態で長時間作動することがあります。排気ガスやエグゾーストフィルタは、やけど、発火を引き起こしたり、一般材料を溶かすほど高温になります。

人や動物、また熱いエグゾーストガスや部品から悪影響を受けて損傷を受ける可能性のある構造物から機械を離してください。エグゾースト近くから引火性物質や蒸気による火災や爆発の危険を避けてください。エグゾーストアウトレットから人や熱で溶ける、燃える、または爆発する可能性がある物を離してください。

エグゾーストフィルタクリーニング中とその後には、機械と周辺を良く見てくすぶっているゴミが無いことを確認してください。

エンジン作動中の給油は火災や爆発の危険を伴います。必ずエンジンを停止し、こぼれた燃料をきれいにしてから給油してください。

機械をトラックやトレーラー上で運搬する際には常にエンジンを停止してください。

エグゾースト部品がまだ熱い時に触れると、重傷を負う可能性があります。

こうした部品には、安全な温度に冷めるまでは触らないでください。

整備手順でエンジンを運転する必要がある場合：

- 整備手順で駆動を必要とする動力駆動部品のみを駆動してください。
- オペレータステーションと機械から他の人員を遠ざけてください。

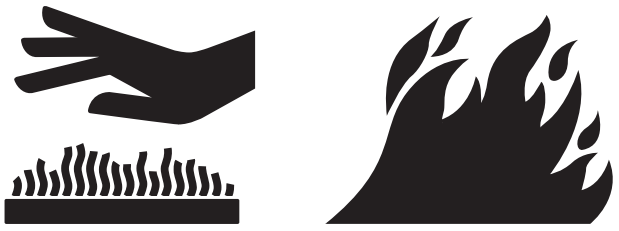
動力で駆動される部品から手、足、衣服を遠ざけてください。

オペレーターステーションを去る前に、常に動きを停止し (ニュートラルにし)、パーキングブレーキを入れるかパーキング機構をかけ、アタッチメントやツールから動力を切断してください。

機械から離れる前に、エンジンを停止してキーを抜いてください (装備されている場合)。

OUO6075,0000E81-40-07FEB12

高温排気の回避



RG17488—UN—21AUG09

エンジンの運転中に機械や付属品の整備を行うと、大けがをすることがあります。 高温の排気ガスにさらされたり、高温の部品に触れたりしないように気を付けてください。

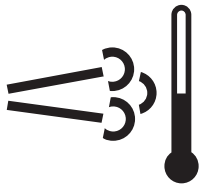
排気部品や排気流は運転中非常に熱くなります。 排気ガスや部品は、やけど、発火を引き起こしたり、一般材料を溶かすほど高温になります。

DX,EXHAUST-40-20AUG09

後処理装置表示灯の概要

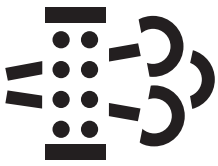
RG22487—UN—21AUG13

ディーゼルエグゾーストフルード表示灯



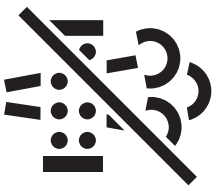
RG22488—UN—21AUG13

エンジン排出ガス温度表示灯



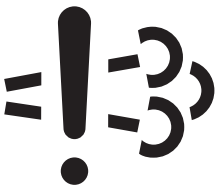
RG22489—UN—21AUG13

エグゾーストフィルタ表示灯



RG22490—UN—21AUG13

自動クリーニング無効表示灯

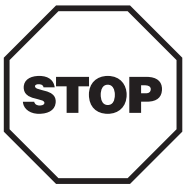


RG22491—UN—21AUG13

エンジン排出ガスシステム故障表示灯

RG22492—UN—21AUG13

警告表示灯



RG22493—UN—21AUG13

エンジンストップインジケーター

重要： 排出ガス制御システムが正しく機能しない場合やエンジンコントロールユニットによりエンジン故障が検出された場合は、オペレータ警告システムによりオペレータに通知されます。オペレータ警告信号を無視すると、排出ガス関連のディレートが発生し、ノンロード移動機械の運転に影響のある障害を生じます。

以下に示す警告により指示された是正措置に従って不適切な作動を修正し、排出ガス制御システムを使用またはメンテナンスする迅速な行動を取ることが不可欠です。

排ガス処理用尿素水 (DEF) の残量が低下すると、DEF 表示灯が点灯します。DEF タンクに注入してください。

排ガス処理用尿素水 (DEF) 表示灯が警告灯またはエンジン STOP 表示灯とともに点灯した場合、DEF が測定可能レベル未満であるため、エンジン性能はエンジンコントロールユニット (ECU) により下げられます。DEF タンクに注入してください。

エンジン排出ガス温度表示灯が点灯する場合は、エグゾーストガスの温度が高い、高アイドル運転が有効、またはエグゾーストフィルタクリーニングが進行中であることを示します。オペレータが高温の排気ガスがその場所では安全ではないと判断して自動クリーニングをオフにしない限り機械は通常通り運転可能です。

エンジン排出ガス温度表示灯が警告灯またはエンジン STOP 表示灯とともに点灯した場合、排ガス温度が想定よりも高いため、エンジン性能は ECU により下げられます。診断トラブルコード (DTC) の手順を実行するか、認定サービスディーラーにお問い合わせください。

エグゾーストフィルタ表示灯は、エグゾーストフィルタクリーニングが進行中、後処理システムの故障、またはエグゾーストフィルタの清掃が必要にもかかわらずオペレータが自動クリーニングをオフにしている場合に点灯します。状況が安全であれば、エグゾーストフィルタの自動クリーニング設定を有効にするか、手動整備再生を実行するか、DTC 手順に従ってください。

エグゾーストフィルタ表示灯が警告インジケーターとともに点灯する場合は、後処理システムの故障またはエグゾーストフィルタのすすの量がやや高くなっているため、エンジンの性能が ECU により制限されています。状況が安全であれば、自動エグゾーストフィルタクリーニング機能を有効にする必要があります。安全ではない場合は、オペレータは機械を安全な場所に移動した上、自動エグゾーストフィルタクリーニング

モードをオンにしてください。手動整備再生を実行するか、DTC 手順に従ってください。

エグゾーストフィルタ表示灯がエンジン STOP 表示灯とともに点灯した場合、後処理装置に故障があるか、エグゾーストフィルタのすすレベルが極端に高いため、エンジン性能は ECU によりさらに下げられます。この組み合せが発生した場合、認定サービスディーラーにお問い合わせください。

自動クリーニング無効表示灯は、オペレータが自動エグゾーストフィルタクリーニング機能をオフにする要求を出した場合に点灯します。オペレータが自動エグゾーストフィルタクリーニングを診断ゲージから再起動するまでこのアイコンは点灯したままになります。安全関連の状況が存在するか、クリーニングプロセスを完了するために必要な燃料が燃料タンクにない場合を除き、どのような状況でも自動モードを無効にすることはお勧めできません。

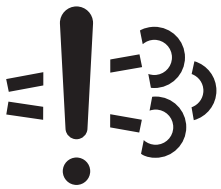
エンジン排出ガスシステム故障表示灯は、エンジン排出ガスが正常な作動範囲を外れているか、エンジン排出ガスシステムが故障している場合に点灯します。DTC の手順に従うか、正規整備・販売店にお問い合わせください。

エンジン排出ガスシステム故障表示灯が警告インジケーターとともに点灯する場合は、エンジン排出ガスが正常な作動範囲から外れているか、エンジン排出ガスシステムが故障しているため、エンジンの性能が ECU により制限されます。DTC の手順に従うか、正規整備・販売店にお問い合わせください。

DX,AFTRTREAT,INDCATRS-40-12FEB18

機械停止必要警告

機械の停止が必須である条件が発生しました



RG22491—UN—21AUG13

重要：**状況によっては、説明のように機械のエンジン出力が減少することがあります。通知された場合、機械をすぐに安全な状態にするか、安全な場所に移動させてください。必須の機械停止を削除できるのは、整備技術者だけです。**

排出ガス関連の故障が発生すると、エンジン排出ガスシステム故障表示灯が点灯します。

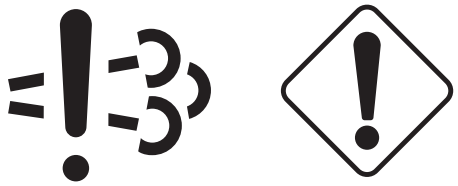
RG22492—UN—21AUG13

オペレータによる処置を必要とする条件が存在する場合、警告表示灯が点灯します。

RG22493—UN—21AUG13

エンジン STOP 表示灯は、オペレータによる即時の処置と整備を必要とする条件が存在する場合に点灯します。

排出ガスシステムの故障の発生



RG26361—UN—04SEP14

「30 minutes remaining, Emissions System Malfunction (残り 30 分、エンジン排出ガスシステム故障)」と表示され、警告灯が点灯し、アラームが鳴って排出ガス関連の故障をオペレータに警告します。ディスプレイ付きの機械では、「Less than 30 minutes to Power Restriction (出力制限まで 30 分未満です)」と表示されます。

- エンジン出力は正常です。
- 機械の操作は正常です。
- 機械を安全な状態にしてください。
- 整備会社に連絡してください。

RG26972—UN—26MAR15

「20 minutes remaining, Emissions System Malfunction (残り 20 分、エンジン排出ガスシステム故障)」と表示され、警告灯が点灯し、アラームが鳴って排出ガス関連の故障をオペレータに警告します。ディスプレイ付きの機械では、「Less than 20 minutes to Power Restriction (出力制限まで 20 分未満です)」と表示されます。

- エンジン出力とトルクは下げられます。
- キーをオフにしてオンにすると、一時的にフル出力が得られます。
- 機械を安全な状態にしてください。
- 整備会社に連絡してください。

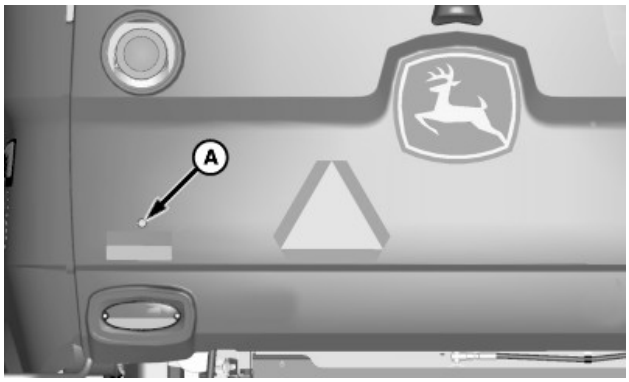
RG26972—UN—26MAR15

「2 minutes or less remaining, Engine Emissions System Malfunction (残り 2 分以内、エンジン排出ガスシステム故障)」と表示され、エンジン Stop 表示灯が点灯し、アラームが鳴って修正されなかった排出ガス関連の故障をオペレータに警告します。ディスプレイ付きの機械では、「Power Restriction (出力制限)」と表示されます。

- エンジン出力はアイドルのみです。
- 機械を安全な状態にしてください。
- 整備会社に連絡してください。

DX,MACHSTOPWARN,AG-40-02OCT15

物体検出センサー (ファイナルティア 4 / ステージ V)



H106571—UN—16JAN13

A：**センサー**

注記： センサーが遮断されていないこと、泥や作物屑で覆われていないことを確認します。

リアコンポジットパネルにあるセンサー (A) は、エグゾーストフィルタクリーニング処理中に、物体が排気プルーム (高温の排気ガス) から 2 m (6.5 ft) 以上離れていることを確認します。物体が 2 m (6.5 ft) よりも近くにあることをセンサーが検出すると、システムは排ガスフィルタクリーニング処理を停止します。

OUO6075,00047DD-40-13NOV17

エンジンの始動

H119917—UN—02NOV16

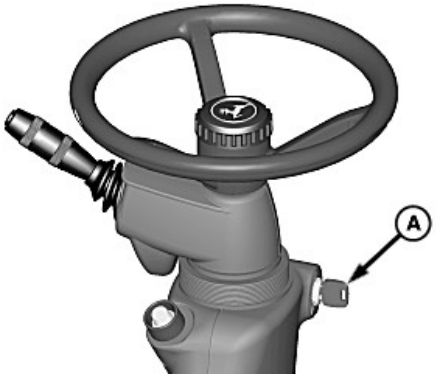
A：**多機能レバー**
B：**ヘッダー接続スイッチ**
C：**セパレータ接続スイッチ**

注意： エンジンを始動する前に、機械の近くに人がいないことを確認してください。他の人に警告するためにホーンを鳴らします。

エンジンの排気ガスは病気や死亡の原因になる可能性があります。密閉された場所でエンジンを運転する必要がある場合は、排気管エクステンションを使って排ガスを除去してください。

排気管エクステンションがない場合は、ドアを開けて外気を取り入れてください。

1. マルチファンクションレバー (A) をニュートラル位置に動かします。
2. ヘッダー接続スイッチ (B) とセパレータ接続スイッチ (C) が OFF であることを確認します。



H95321—UN—02NOV10

A：**キースイッチ**

注意： エンジンを始動する前にホーンを鳴らして、機械から離れるように他の人に警告してください。

けがや死亡事故が発生しないように、エンジンは運転席だけから始動してください。エンジン始動のためにスタータ端子を短絡させないでください。バイパスさせた場合、機械はギヤが入った状態で始動します。

重要：**スタータが損傷しないように、スタータは一度に 30 秒以上操作しないでください。エンジンが始動しない場合は、2 分以上待ってからもう一度試してください。**

注記： 温度が -5°C (23°F) を下回る場合は、寒冷地始動補助装置の使用が必要になることがあります。取扱説明書の「エンジン」セクションの「寒冷時始動補助装置」を参照してください。

キースイッチを START に回すと、数秒の遅延が発生します。これにより、コントロールユニットの電源がオンになり、リレーが閉じてスタータソレノイドに通電します。

アームレストの収納ボックスの蓋の銘板にエンジン始動情報が表示されています。

3. ホーンを鳴らし、ステアリングコラムのキースイッチ (A) を「START」位置に回します。

   キーの位置は次のとおりです。

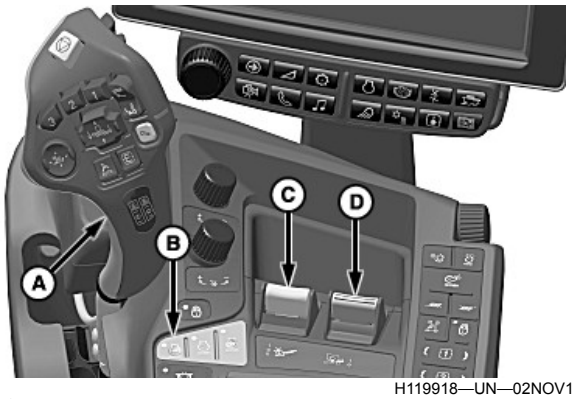
最初の位置	Accessories (アクセサリ)
2 番目の位置	OFF
3 番目の位置	Run (運転)
4 番目の位置	始動

注記： エンジン停止コードがディスプレイに表示された場合、診断トラブルコード (DTC) が表示されます。ディスプレイは通常の機能を停止し、機械を停止する必要がある問題と、問題をすぐに修正するように指示が表示されます。コードは問題が解決されるまで表示されます。問題を解決できない場合は、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

4. エンジンが始動したらキーを放し、エンジンをローアイドルで 5 分間運転してオイルを温めます。

OUO6075,0004930-40-07JUN18

エンジンの停止



H119918—UN—02NOV16

A：**多機能レバー**
B：**低速エンジンスイッチ**
C：**「ヘッダー接続」スイッチ**
D：**「セパレータ接続」スイッチ**

1. ヘッダーまたはリールを地面に完全に下ろします。
2. 多機能レバー (A) をニュートラル位置に動かします。
3. 低速エンジンスイッチ (B) を押します。
4. ヘッダー接続スイッチ (C) とセパレータ接続スイッチ (D) を OFF にします。

重要：**ターボチャージャとエンジン部品の一部はエンジンオイルにより冷却されます。高温のエンジンを停止すると、これらの部品が損傷する可能性があります。**

5. 作業負荷で運転していたエンジンを停止する前に、エンジンを 2~3 分アイドルにしてターボチャージャを冷まします。

注意：**機械から離れる前に、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

6. キースイッチを OFF 位置に回します。

重要：**ファイナルティア 4 / ステージ V**：**機械を停止してから 90 秒以上の間、バッテリーの接続を外さないでください。機械を停止した直後、SCR (選択触媒還元) システムはこの時間中に排ガス処理用尿素水 (DEF) のラインを自動的にパージします。ラインがパージされるまで十分な時間を確保しないと、ラインに残留した DEF が結晶化してラインの詰まりの原因になります。凍りつくような天気では、液体が凍結してラインが破裂するおそれがあります。**

OUO6075,0004931-40-07JUN18

エンジン回転数管理 (ProDrive™ 搭載の機械)

注記： エンジン回転数管理はソフトウェアで制御され、道路輸送切断スイッチでアクティブ化されます。

エンジン回転数管理は燃料消費を低減し、燃料効率を高めます。

- 燃料消費は、低負荷条件でエンジン回転数を下げて低減されます。
- 必要な場合、エンジン回転数を動的に増やして高負荷への対応能力を維持します。
- 対地速度は、エンジン回転数の変更中にハイドロスタティック変位を変えることにより維持されます。
- 機械が動いていないときは、エンジン回転数はローアイドルで維持されます。
- 機械が平坦な地面にある場合、または低対地速度の場合、エンジン回転数は約 1600 rpm です。
- エンジン負荷に応じて、エンジン回転数は約 1600 rpm と最大ハイアイドルの間で変化します。

- Low Engine Speed (低エンジン回転数) - エンジン回転数は 1200 rpm に維持されます。
- 「Medium Engine Speed (中エンジン回転数)」：エンジン回転数は 1690 rpm を超えません。
- 「High Engine Speed」(高エンジン回転数) - エンジン回転数は約 1600 rpm と最大ハイアイドルの間で変化します。

OUO6075,00046F3-40-30MAR17

エンジン始動液の安全な取り扱い

TS1356—UN—18MAR92

注意：エンジン始動液は高い引火性があります。火、スパーク、炎の近くで使用しないでください。容器に記載されている注意事項を読んでください。容器が損傷しないように保護してください。キャビン内に余分な缶や空の缶を置かないでください。

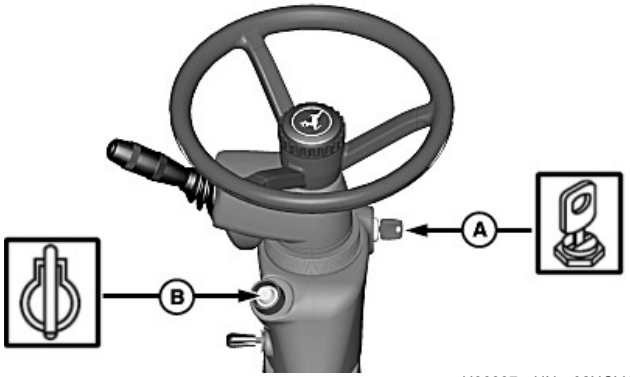
エンジン始動液を数日使用しない場合は、缶を取り外してください。スプレーノズルを取り付けて押し込み、フルードとバルブの作動を確認してください。フルードが出てこない場合は、新品の缶を使用してください。

圧力がかかっている缶を保管するときは、誤って放出されないよう、蓋をしてください。涼しい、保護された場所に保管してください。

エンジン始動液の容器を焼却したり、穴を開けたりしないでください。

OUO6075,0000585-40-17MAY10

寒冷時始動補助装置 (装備されている場合)



H96387—UN—02NOV10

A：**キースイッチ**
B：**始動補助ボタン**

注意：けがやエンジンの損傷を防止してください。フルードの噴射は、エンジンが回転しているときのみ行ってください。

始動補助装置は、「RUN」または「START」位置でのみ機能します。

キースイッチ (A) を回してエンジンを始動します。エンジンが回り始めたら、始動補助ボタン (B) を押します。

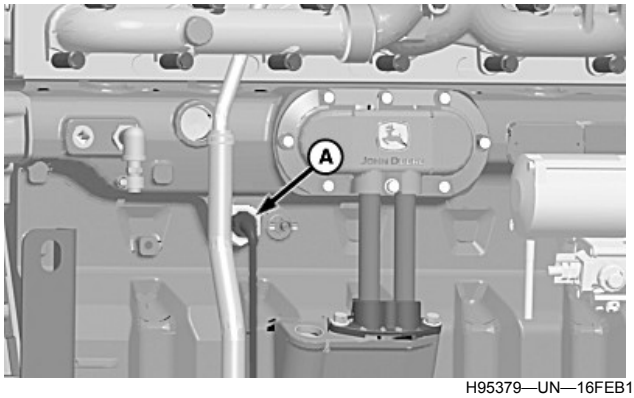
エンジンが始動したら、キーと始動補助ボタンを放します。

温度が -5°C (23°F) 未満の場合は、エンジン始動後、始動補助ボタンを 2～3秒間押したままにします。エンジンがもたつかないで回転するまで手順を繰り返します。

重要：適切な潤滑を確保するために、エンジンを低回転数、無負荷で 1～2 分間運転してください。温度が凍結温度以下の場合はこれを 2～4 分間に延ばしてください。

OUO6075,0004932-40-07JUN18

クーラントヒーター

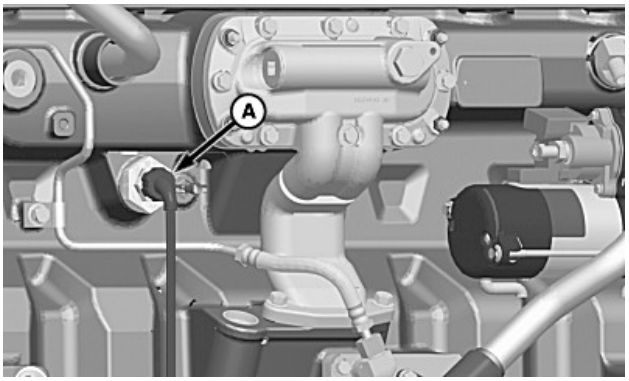


H95379—UN—16FEB10

ティア 2 / ステージ II (スタイル A) (前側)

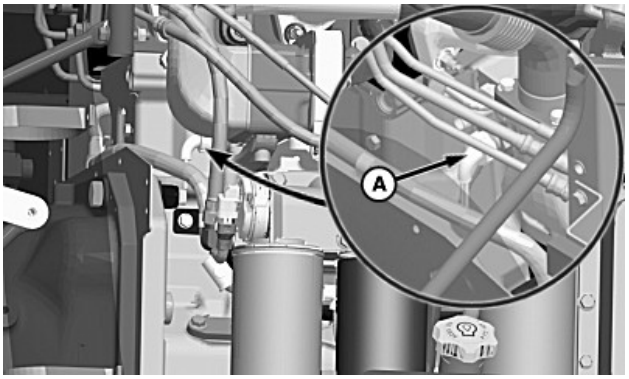
H71689—UN—18APR02

ティア *2* / ステージ *II* (スタイル *B*) (後側)



H95324—UN—11FEB10

ファイナルティア *4* / ステージ *V* (スタイル *A*) (前側)



H95424—UN—19FEB10

ファイナルティア *4* / ステージ *V* (スタイル *B*) (後側)

TS210—UN—23AUG88

A：**クーラントヒーター**

注意： **感電や危険な操作を防止するために、コネクタ 3 個を備えている 3 線ヘビーデューティ電気コード (10 AWG ゲージ以上、長さ 7.6 m (25 ft) 未満) を使用してください。2 ピン・3 ピン変換アダプタを壁コンセントに使用する場合、必ず緑色の配線を適切なアースに接続してください。**

ヒーターを電源に接続する前に、エレメントがクーラントに浸かっていることを確認してください。絶対に空気中にあるヒーターに通電しないでください。エレメントの被覆が爆発してけがをするおそれがあります。

クーラントヒーター (A) をフリーズプラグ開口部に取り付けます (エンジンの前側または後側)。エンジンクーラントを温めることにより、オイルの引き摺りを低減して始動を容易にし、暖機時間を短縮します。

クーラントヒーターの種類

- 1000 W (110 V)
- 1000 W (220 V) (輸出向け機械)

OUO6075,00047E0-40-13NOV17

CommandCenter™ ディスプレイの情報

第 4 世代ディスプレイ

第 4 世代ディスプレイのハードウェアとソフトウェア機能の詳細については、『第 4 世代ディスプレイ取扱説明書』とディスプレイ上のヘルプセンターアプリケーションを参照してください。取扱説明書のコピーを入手するには、販売店に問い合わせるか、ディスプレイ上のヘルプセンターアプリケーションを使用するか、techpubs.deere.com を参照してください。

DX,PC,DISPLAY,REFERENCE-40-21MAY20

CommandCenter™ ディスプレイのアプリケーション

以下の情報は、この機械に固有のアプリケーションごとのオンスクリーンヘルプを含んでいます。この情報は、ディスプレイでも利用できます。

CommandCenter は Deere & Company の商標です。

VM03385,0000137-40-15NOV16

コントロールのセットアップアプリケーション

コントロールのセットアップへのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2. 「Machine Settings (機械の設定)」タブ

H118152—UN—20JAN17

コントロールセットアップ

3. コントロールのセットアップ

ナビゲーションバーからのアプリケーションへのアクセス：

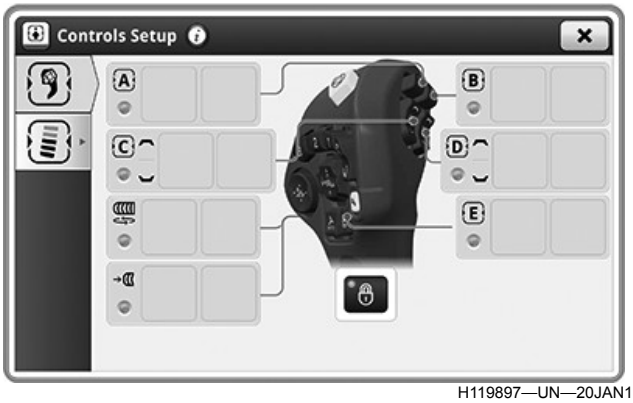
H118151—UN—20JAN17

「コントロールのセットアップ」アプリケーションボタン

ディスプレイ下のナビゲーションバーの「コントロールのセットアップ」ボタンを押します。

PR79369,00003A3-40-01FEB21

コントロールのセットアップの概要



H119897—UN—20JAN17

コントロールセットアップ

注記：アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

表示されているメインページは例のみを目的としています。オプションや接続されている装置に応じて、メインページは異なる場合があります。

Controls Setup (コントロールのセットアップ) アプリケーションを使用して、新しい割り当ての作成、多機能レバーまたは CommandARM™ で以前構成したカスタムプリセットへのアクセスを行います。

注記：「Controls Setup (コントロールのセットアップ)」には、既定の割り当ては含まれていません。キーサイクルにより、多機能レバーと CommandARM™ はロック状態にリセットされます。

注記：機能の割り当てのためにコントロールグループのロックを解除するには、ディスプレイをブートする必要があります。コントロールグループは、多機能レバーと CommandARM™ の両方の再構成可能なボタンに関連付けられます。

「コントロールのセットアップ」アプリケーションで使用可能なアライメントタブ：

H118141—UN—20JAN17

「多機能レバー」タブ

多機能レバー — 選択して、多機能レバーのプリセットにアクセスします。

H118139—UN—20JAN17

「*CommandARM™*」タブ

CommandARM™ — CommandARM™ のプリセットにアクセスします。

H118169—UN—20JAN17

強調表示されているタブ

強調表示されているタブ — プリセットが選択されているタブを示します。

CommandARM は Deere & Company の商標です。

注記： 画面上のロック表示灯は、CommandARM™ 上で表示されたコントロールグループが「Control Group Lock (コントロールグループのロック)」ボタンでロックされている場合に点灯します。アプリケーションや機能のセットアップは動作しません。

H118140—UN—20JAN17

ロックインジケーター

ロックインジケーター — 点灯してコントロールグループのロックボタンがロックされていることを示します。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

選択すると、「Controls Setup (コントロールのセットアップ)」アプリケーションが閉じます。

PR79369,00003A2-40-01FEB21

多機能レバー - コントロールのセットアップ

多機能レバーの「Controls Setup (コントロールのセットアップ)」を使用して、アプリケーションと機能を多機能レバーに割り当てます。

多機能レバーの「Controls Setup」(コントロールのセットアップ) ページでアクセスできる項目：

H118141—UN—20JAN17

多機能レバー

Multi-Function Lever (多機能レバー)— 多機能レバーのボタンに割り当てることができます。

H118143—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *A*

H118147—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *B*

H118149—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *E*

ボタン A、B、E — シングル位置割り当てから選択する必要があるアプリケーションに使用します。

H118144—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *C*

H118148—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *D*

ボタン C、D — 複数の位置から選択したり、値を増減したり、左側または右側の調整を行ったりする必要があるアプリケーションに使用します。

H118145—UN—20JAN17

スクロールホイール

H118146—UN—20JAN17

スクロール押しボタン

スクロールホイールとスクロール押しボタン — 割り当てる機能の選択、値の増減、左右の調整に使用します。

H118140—UN—20JAN17

ロックインジケーター

ロックインジケーター — 点灯してコントロールグループのロックボタンがロックされていることを示します。

PR79369,00003A4-40-01FEB21

多機能レバー

多機能レバーの「Controls Setup (コントロールのセットアップ)」を使用して、アプリケーションと機能を多機能レバーに割り当てます。

変更手順：

H118141—UN—20JAN17

多機能レバー

多機能レバーの割り当てタブを選択します。

H114656—UN—05JAN17

アクティブな状態

注記： コントロールグループのロックボタンを選択すると、以前割り当てられたすべてのカスタムコントロールが「緑」で点灯し、アクティブな状態であることを示します。また、画面のロックインジケーターは表示されません。

H118140—UN—20JAN17

ロックインジケーター

注記： カスタム割り当てが現在存在しない場合、コントロールグループのロックを解除してもアプリケーションは開きません。

H118143—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *A*

H118147—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *B*

H118149—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *E*

ボタン A、B、E— シングル位置割り当てから選択する必要があるアプリケーションに使用します。

注記： 画面上のロック表示灯は、CommandARM™ 上で表示されたコントロールグループが「コントロールグループのロック」ボタンでロックされている場合に必ず表示されます。キーサイクルにより、コントロールグループのロックが再度オンになります。

H118144—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *C*

H118148—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *D*

ボタン C、D — 複数の位置から選択したり、値を増減したり、左側または右側の調整を行ったりする必要があるアプリケーションに使用します。

H118145—UN—20JAN17

スクロールホイール

H118146—UN—20JAN17

スクロール押しボタン

注記： スクロールボタンを使用すると、「アプリケーションの選択」リストを迂回して、限られた別の数の機能オプションを表示します

スクロールボタン— 機能を割り当てたり、複数の位置から選択したり、値を増減したり、左側または右側の調整を行ったりすることができます。

注記： 機能をスクロールボタンの「回転」または「押す」操作に割り当てると、他の割り当てと同じように機能します。

H118140—UN—20JAN17

ロックインジケーター

ロックインジケーター — 点灯してコントロールグループのロックボタンがロックされていることを示します。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

選択すると、「Controls Setup (コントロールのセットアップ)」アプリケーションが閉じます。

PR79369,00003A5-40-01FEB21

CommandARM - コントロールのセットアップ

CommandARM™ の「Controls Setup」(コントロールのセットアップ) を使用して、アプリケーションと機能を CommandARM™ に割り当てます。

H118139—UN—20JAN17

CommandARM™ ボタン

CommandARM™ の「Controls Setup」(コントロールのセットアップ) ページでアクセスできる項目：

CommandARM™ ボタン — CommandARM™ のボタンに割り当てることができます。

H118159—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *1*

H118161—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *2*

ボタン 1、2— 複数の位置から選択したり、値を増減したり、左側または右側の調整を行ったりする必要があるアプリケーションに使用します。

H118160—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *3*

H118162—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *4*

CommandARM は Deere & Company の商標です。

ボタン 3、4 — シングル位置割り当てから選択する必要があるアプリケーションに使用します。

H118140—UN—20JAN17

ロックインジケーター

ロックインジケーター — 点灯してコントロールグループのロックボタンがロックされていることを示します。

PR79369,00003A6-40-01FEB21

CommandARM™

CommandARM™ の「Controls Setup」(コントロールのセットアップ) を使用して、アプリケーションと機能を CommandARM™ に割り当てます。

変更手順：

H118139—UN—20JAN17

CommandARM™

CommandARM™ の割り当てタブを選択します。

H114656—UN—05JAN17

アクティブな状態

H118140—UN—20JAN17

ロックインジケーター

注記： 「Control Group Lock (コントロールグループのロック)」ボタンを選択すると、以前割り当てられたすべてのカスタムコントロールが「緑」で点灯し、アクティブな状態であることを示します。また、画面のロック表示灯は表示されません。

注記： カスタム割り当てが現在存在しない場合、コントロールグループのロックを解除してもアプリケーションは開きません。

H118159—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *1*

H118161—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *2*

ボタン 1、2— 複数の位置から選択したり、値を増減したり、左側または右側の調整を行ったりする必要があるアプリケーションに使用します。

H118160—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *3*

H118162—UN—20JAN17

プログラマブルボタン *4*

ボタン 3、4— シングル位置割り当てから選択する必要があるアプリケーションに使用します。

注記： 画面上のロック表示灯は、CommandARM™ 上で表示されたコントロールグループが「コントロールグループのロック」ボタンでロックされている場合に必ず表示されます。キーサイクルにより、コントロールグループのロックが再度オンになります。

H118140—UN—20JAN17

ロックインジケーター

ロックインジケーター — 点灯してコントロールグループのロックボタンがロックされていることを示します。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

選択すると、「Controls Setup (コントロールのセットアップ)」アプリケーションが閉じます。

PR79369,00003A7-40-01FEB21

シングル位置割り当ての作成

ボタン A と B または 3 と 4 を使用すると、必要なアプリケーションを割り当てて有効にし、次に機能の割り当てを行うことができます。

注記： アプリケーションと機能について詳しくは、「ヘルプの目次」ボタンを選択してください。

変更手順：

コントロールのセットアップの再構成可能なボタンを使用して、機械を独自の構成にしてボタンを押すだけですばやくタスクを実行してください。

注記： 例は、アプリケーションの割り当ての代表例です。選択すると、使用可能な アプリケーションや 機能の割り当てのリストが表示されます。

例：この例では、AutoTrac™ Guidance (誘導) アプリケーションをボタン A に割り当てます。

CommandARM は Deere & Company の商標です。

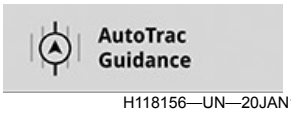
AutoTrac は Deere & Company

H118507—UN—20JAN17
アプリケーションの選択

1. 「アプリケーションの選択」画面を起動します。

H118506—UN—20JAN17
*Remove Assignment (*割り当ての削除*)*

注記： 割り当てがコントロールのセットアップ画面にすでに存在する場合、リストの最上部に「割り当ての削除」オプションが配置されます。機能の割り当てが不要になった場合に選択します。



H118156—UN—20JAN17
AutoTrac™ Guidance

H118509—UN—20JAN17
AutoTrac™ Guidance を選択

2. AutoTrac™ Guidance アプリケーションを選択します。

H118157—UN—20JAN17
中央の軌道

H118510—UN—20JAN17
中央の軌道を選択

3. 「中央の軌道」機能を選択します。

注記： 機能を選択した後、コントロールの割り当てが行われます。

H116648—UN—19DEC16
閉じる

4. 選択すると、「Controls Setup (コントロールのセットアップ)」アプリケーションが閉じます。

PR79369,00003A8-40-01FEB21

デュアル位置割り当ての作成

ボタン C と D または 1 と 2 を使用すると、必要なアプリケーションを割り当てて有効にし、次に機能の割り当てを行うことができます。

注記： アプリケーションと機能について詳しくは、「ヘルプの目次」ボタンを選択してください。

変更手順：

コントロールのセットアップの再構成可能なボタンを使用して、機械を独自の構成にしてボタンを押すだけですばやくタスクを実行してください。

注記： 例は、アプリケーションと機能の割り当ての代表例です。選択すると、使用可能な アプリケーションや機能の割り当てのリストが表示されます。

例：この例では、折りたたみ式折りたたみ式アンローディングオーガ / 展開機能をボタン C に割り当てます。これにより、ボタン C を押してオーガ先端部をいつでも折りたたみ / 展開ができます。

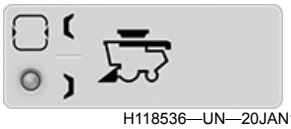
H118508—UN—20JAN17
アプリケーションの選択

1. 「アプリケーションの選択」画面を起動します。

H118506—UN—20JAN17
*Remove Assignment (*割り当ての削除*)*

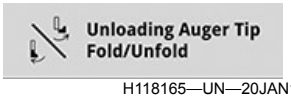
注記： 割り当てがコントロールのセットアップ画面にすでに存在する場合、リストの最上部に「割り当ての削除」オプションが配置されます。機能の割り当てが不要になった場合に選択します。

H118166—UN—20JAN17
折りたたみ



H118536—UN—20JAN17
折りたたみを選択

2. 折りたたみアプリケーションを選択します。



H118165—UN—20JAN17
折りたたみ式アンローディングオーガ折りたたみ / 作業状態

H118537—UN—20JAN17
折りたたみ式アンローディングオーガ折りたたみ / 作業状態を選択

3. 折りたたみ式アンローディングオーガ折りたたみ / 作業状態機能を選択します。

注記： 機能を選択した後、コントロールの割り当てが行われます。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

4. 選択すると、「Controls Setup (コントロールのセットアップ)」アプリケーションが閉じます。

PR79369,00003A9-40-01FEB21

スクロールボタン

H118504—UN—20JAN17

スクロールボタン

スクロールボタンを使用して、機能を割り当てたり、複数の位置から選択したり、値を増減したり、左側または右側の調整を行ったりすることができます。

注記： 機能をスクロールボタンの「回転」または「押す」操作に割り当てると、他の割り当てと同じように機能します。

SS43267,0000915-40-20JAN17

アプリケーションの割り当て

木庭のアプリケーションと機能を割り当てることができます。

使用可能なアプリケーションの割り当て：

注記： 機械で使用可能なアプリケーションの割り当てのみが表示されます。

H118511—UN—20JAN17

AutoTrac

AutoTrac™ Guidance— 誘導システムの調整を行う機能にアクセスできます。

H118515—UN—20JAN17

折りたたみ

折りたたみ— アンローディングオーガ先端部の折りたたみ / 展開および折りたたみ式ヘッドの折りたたみ / 展開の各機能にアクセスできます。

H118514—UN—20JAN17

ヘッダー

ヘッダー— 機能にアクセスして、前端の装置を調整できます。

H127016—UN—26SEP19

Machine Sync

Machine Sync— Machine Sync の機能にアクセスできます。

H118517—UN—20JAN17

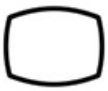
残留物管理

残留物管理— 残留物管理の機能にアクセスできます。

H127004—UN—26SEP19

エンジン

エンジン— エンジンの機能にアクセスできます。



H118512—UN—20JAN17

ディスプレイ

ディスプレイ— ディスプレイにアクセスできます。

H118516—UN—20JAN17

トランスミッション

トランスミッション— トランスミッション機能にアクセスできます。

H127017—UN—26SEP19

グレン処理

グレン処理— グレン処理の機能にアクセスできます。

H128144—UN—17JAN20

Combine Advisor™

Combine Advisor™— Combine Advisor™ の機能にアクセスできます。

N0LMWLO,0000329-40-16JUL20

機能の割り当て

プログラム可能なボタンとスクロールボタンを使用して、機能を割り当てたり、複数の位置から選択したり、値を増減したり、左側または右側の調整を行ったりすることができます。スクロールボタンを使用して機能の割り当てを割り当てます。

注記： アプリケーションと機能について詳しくは、ヘルプの目次ボタンを選択してください。

注記： ご使用の機械で利用できる機能の割り当てのみが表示されます。

利用可能な AutoTrac™ ガイダンス機能の割り当て：

H118518—UN—20JAN17

中央の軌道

中央の軌道 — 新しい軌道を確立します。

H118519—UN—20JAN17

トラック変更

トラック変更 — 軌道の左側または右側の調整を行います。

H118520—UN—20JAN17

軌道交換

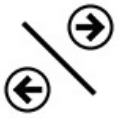
軌道交換 — 使用している現在の誘導システム軌道から新しい軌道に変更します。

使用可能な表示機能：

H118521—UN—20JAN17

オーバーレイを閉じる

オーバーレイを閉じる — オーバーレイを閉じます。



H118522—UN—20JAN17

実行の切り替え

実行の切り替え — 表示されている実行をシステムの次のページまたは前のページに変更します。

利用可能なヘッダー機能の割り当て：

H127006—UN—26SEP19

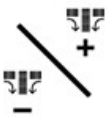
リール回転数

リール回転数 — 必要に応じて選択して、リールまたはベルトピックアップの速度を変更します。

H118525—UN—20JAN17

AHHC エンコーダー

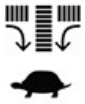
ヘッダー高さ制御 (AHHC) エンコーダー— ヘッダー高さを調整します。



H118526—UN—20JAN17

ドレーパーベルト速度

ドレーパーベルト速度— ドレーパーベルト速度を増減します。



H118527—UN—20JAN17

ドレーパーベルト速度減少

ドレーパーベルト速度減少— ドレーパーベルト速度を下げます。

H127010—UN—26SEP19

フィーダーハウスの傾斜

フィーダーハウス傾斜— 選択してフィーダーハウス傾斜フレームの角度を増減します。

H127011—UN—26SEP19

ドレーパープラットフォームの傾斜

ドレーパープラットフォーム傾斜— 選択してドレーパープラットフォームを上下に傾けます。

H127008—UN—26SEP19

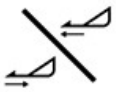
ベルトピックアップ速度

ベルトピックアップ速度 — 選択してベルトピックアップ速度を調整します。

H134131—UN—16APR21

ウイングレベリング

ウイングレベリング — 選択すると、ウイングが選択したホーム位置に自動的に戻ります。



H118529—UN—20JAN17

カッターバー伸長 / 収縮

カッターバー伸長 / 収縮 (伸縮プラットフォームヘッダーのみ) — カッターバーを伸長または収縮させます。

利用可能な折りたたみ機能の割り当て：

H127012—UN—26SEP19

折りたたみ式ヘッド

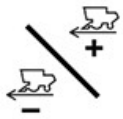
折りたたみ式ヘッド — 折りたたみ式ヘッドを折りたたみ / 展開します。

H132957—UN—18JAN21

ヘッダー輸送位置

ヘッダー輸送位置 — 選択すると、輸送用に拡張可能なプラットフォームヘッダーを準備できます。

利用可能なトランスミッション機能の割り当て：



H118534—UN—20JAN17

ProDrive

ProDrive™ 速度設定点 — トランスミッション設定点を増減します。

使用可能な残留物管理機能の割り当て：

H118535—UN—20JAN17

残留物方向の切り替え

残留物方向の切り替え — 残留物の排出方向を片側から反対側へ変更します。

利用可能なエンジン機能の割り当て：

H127005—UN—26SEP19

エアコンプレッサ

エアコンプレッサ — エアコンプレッサの有効と無効を切り替えます。

使用可能なMachine Sync 機能割り当て:

H127014—UN—26SEP19

Machine Sync 左右微調整

Machine Sync 左右微調整 — 左/右の微調整をします。

H127015—UN—26SEP19

Machine Sync 前後微調整

Machine Sync 前後微調整 — 前後の微調整をします。

Combine Advisor™

H128145—UN—17JAN20

HarvestSmart™ の起動

HarvestSmart™ の起動— 選択して、HarvestSmart™ の動作をオンにします。

PR79369,000039C-40-15APR21

HarvestSmart は、Deere & Company の商標です。

残留物管理アプリケーション

「Residue Management (残留物管理)」へのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2. 「Machine Settings (機械の設定)」タブ

H114082—UN—03JAN17

残留物管理

3. 残留物管理

ナビゲーションバーからのアプリケーションへのアクセス：

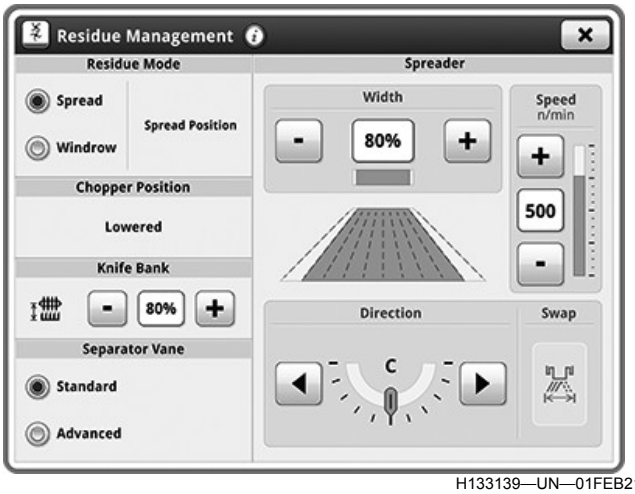
H116635—UN—03JAN17

「残留物管理アプリケーション」ボタン

ディスプレイ下のナビゲーションバーの「残留物管理」ボタンを押します。

N0LMWLO,000032B-40-15JUL20

残留物管理メインページ



H133139—UN—01FEB21

残留物管理

注記：アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

表示されているメインページは例のみを目的としています。オプションや接続されている装置に応じて、メインページは異なる場合があります。

「残留物管理」では、本機の構成に応じて残留物の分配を調整できます。

残留物管理メインページでアクセスできる項目ページ：

注記：下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

H131657—UN—01DEC20

残留物モード

残留物モード — 選択して拡散とプレミアムウインドロー作成機能を切り替えます。

H116639—UN—03JAN17

チョッパー位置

Chopper Position (チョッパー位置)— チョッパーの現在位置を示します。

H118116—UN—03JAN17

セパレーターベーン

セパレータベーン — 選択して標準と高度のセパレータベーン位置を切り替えます。

H116988—UN—03JAN17

幅

Width (幅)— 機械構成に基づいてスプレッダー速度またはシュラウド位置を調整することにより拡散幅を制御します。

H116987—UN—04JAN17

速度

Speed (速度)— スプレッダー速度を増減します。

H117001—UN—03JAN17

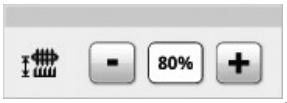
方向

Direction (方向)— もみ殻とわらの拡散方向を変更します。

H118304—UN—03JAN17

スワップ

Swap (スワップ)— 残留物の分散を反対方向に調整します。



H126977—UN—26SEP19

ナイフバンク

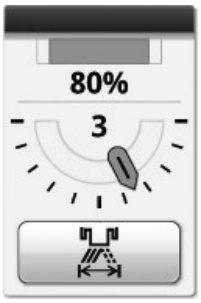
ナイフバンク— 内側または外側にスライドさせて、残留物の細断品質の改善または機械動力の節約を行います。

キャブ外調整— 機械的調整をキャブ外で実行します。

実行モジュール

レイアウトマネージャーを使用して、このアプリケーションのモジュールを実行に追加することができます。

例：



H128561—UN—20JAN20

拡散

Spread (拡散)— もみ殻やわらの分配の幅と方向を制御します。

注記： 使用するアプリケーションに応じて異なるモジュールを使用できます。

ショートカットキー

レイアウトマネージャーを使用して、このアプリケーションのショートカットキーをショートカットバーに追加できます。

例：

H116642—UN—03JAN17

残留物

Residue (残留物)— 残留物の分散方向の変更にすばやくアクセスできます。残留物の飛散の方向に向けて、ライトが点灯します。点灯しない場合、残留物の分散は中心に設定されています。

注記： 使用するアプリケーションに応じて異なるショートカットキーを使用できます。

PR79369,00003AC-40-01FEB21

残留物モード

わらやもみ殻について必要な処理に合わせて、拡散または干し草の列の残留物モードオプションを選択します。

以下の場合に干し草の列を選択します。

残留物の列を機械の背後に残したい場合。

Premium Residue System を装備している機械のみ：Windrow (列並べ) モードでは、もみ殻がまだ細断され、広がっているときにわらがチョッパーをバイパスします。わらは、セパレータから機械背後の列並べに排出されます。より清浄な干し草の列が残ります。

以下の場合に拡散を選択します。

残留物をチョッパーに送って残留物の長さを最小限に抑えたい場合。

列並べのセットアップ：

Non-Premium Flex Residue システム：干し草の列モードにすると、他のすべてのスプレッダー設定は変更できなくなります。

注記： 拡散モードに戻ると、設定は以前の状態に戻ります。

注記： 以下のキャブ外調整については、取扱説明書を参照してください。

⚠ 注意： 推奨された調整を実行する前に機械を停止してください。

1. 小粒グレンの位置に穂軸デフレクタを配置します。
2. チョッパードライブをニュートラル位置にシフトします。

H116998—UN—03JAN17
Windrow (列並べ)

H116639—UN—03JAN17
Chopper Position (チョッパー位置)

3. Windrow (列並べ) を選択するか、チョッパーを上昇位置にします。

注記： 残留物の量が少ない作物を収穫するときは、穂軸デフレクタをとうもろこし位置に下げます。

H116644—UN—03JAN17
ステータス表示灯

ステータス表示灯にドアのステータスが表示されます。

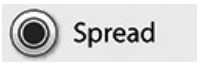
H116645—UN—03JAN17
エラーが検出されました

Premium Residue のみ：開閉処理中にエラーが発生した場合、システムはユーザーの変更要求の前に、以前選択した状態に戻ろうとします。以前の状態に戻ることができない場合、「Tailboard Error (尾板エラー)」メッセージが表示され、ユーザーはモードの選択を再度行う必要があります。

細断のセットアップ：

注記： Chop (細断) では、チョップツードロップドアが自動的に閉まります。チョッパーは、チョップツードロップドアが閉まっているときにセパレータから排出されるわらを切断します。

注記： チョップ / ドロップドアの位置を変更するには、セパレータを OFF にする必要があります。



H131362—UN—01DEC20
拡散

拡散を選択するか、チョッパーを低い位置に配置します。

PR79369,00003AD-40-01FEB21

Separator Vane (セパレータベーン)

セパレーターベーン位置を変更して、グレンの貯留量を増やし、わら品質を改善します。

注記： セパレーターベーンの位置を変更するには、セパレータを OFF にする必要があります。

以下の場合は、標準を選択します。

- グレンロスを減らしたい場合。
- 作物分離能力を向上させたい場合。

以下の場合は、「進めた位置」を選択します：

- わらの品質を改善したい場合。
- 動力消費量を減らしたい場合。

変更手順：

H116999—UN—03JAN17
標準

「標準」を選択します。

H117000—UN—03JAN17

Advanced (詳細)

Advanced (アドバンスド) を選択します。

注記： セパレータベーンを Advanced (アドバンスド) 位置で運転すると、特定の作物や条件で穀粒ロスが増える場合があります。わら品質を改善するには、セパレータでの作物の滞留時間を減らします。

N0LMWLO,000032D-40-16JUL20

Width (幅)

Width (幅) では、機械構成に応じてスプレッダー速度またはシュラウド位置を制御することによりもみ殻やわらの拡散範囲を調整します。

注記： スプレッダー速度を調整する前に拡散幅設定を調整してください。

以下の場合に変更を行います：

- 細断された材料やもみ殻がヘッダーの刈取りの全幅に到達していない場合。幅を増やします。
- 細断された材料やもみ殻が刈取られていない作物の上に排出されている場合。幅を減らします。

変更手順：

1. 機械を始動します。
2. セパレータを接続します。

H116988—UN—03JAN17

幅

注記： 現在の設定が棒ゲージに表示されます。

3. (+) / (-) を選択して必要な速度を増減します。

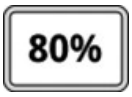
H118119—UN—03JAN17

幅の割合

注記： 幅の割合を変更した場合、スプレッダーの図も変わります。

変更の代替手順：

注記： 幅を変更すると、入力フィードの黄の境界のボックスに合わせて幅を表す棒ゲージが黄に変わります。



H113699—UN—03JAN17

入力フィールド

1. ナビゲーションバーとアームレストの調整ダイヤルを起動します。

H115035—UN—14MAR16

ナビゲーションバーの調整ダイヤル

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. ナビゲーションバーまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して必要な割合を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

H114674—UN—06FEB19

閉じる

3. 選択して閉じます。

N0LMWLO,000032E-40-16JUL20

速度

スプレッダー速度調整では、拡散の幅全体にわたって材料の最適な分布を実現できます。

注記： スプレッダー速度を調整する前に拡散幅設定を調整してください。

以下の場合に変更を行います：

- 作物タイプを変更する場合。
- チョッパーから出ている材料のサイズが大きくまたは小さくなっている場合。
- ヘッダーサイズを変える場合。
- 風の影響を補正する場合。

変更手順：

1. 機械を始動します。
2. セパレータを接続します。

H116987—UN—04JAN17

速度

注記： 現在の設定が棒ゲージに表示されます。

3. (+) / (-) を選択して必要な速度を増減します。

注記： スプレッダー速度を変更しても、スプレッダー幅の図は変わりません。スプレッダー幅は、スプレッダー速度の調整に関係なく以前の幅設定のままです。

とうもろこしで可能な設定：

最小：350

最大：550

既定値：500

増分：10

小粒グレンで可能な設定：

最小：600

最大：800

既定値：700

増分：10

変更の代替手順：

注記： 速度を変更すると、入力フィードの黄の境界のボックスに合わせて速度を表す棒ゲージが黄に変わります。

H118126—UN—03JAN17

入力フィールド

1. ナビゲーションバーとアームレストの調整ダイヤルを起動します。

H115035—UN—14MAR16

ナビゲーションバーの調整ダイヤル

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. ナビゲーションバーまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して必要な設定を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

H114674—UN—06FEB19

閉じる

3. 選択して閉じます。

PR79369,00003AE-40-01FEB21

方向

「Direction（方向)」では、風補正のためにチョッパーから出ている材料の方向を変更します。

以下の場合に変更を行います：

- 風速が変わる場合。
- 風向が変わる場合。
- 機械の方向が変わる場合。
- 圃場が変わる場合。
- 地形が変化する場合。

変更手順：

H117001—UN—03JAN17

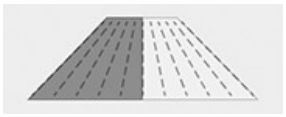
方向

方向を左右に調整します。

注記： 拡散方向に変更を加えた場合は、スプレッダーの図も変わります。

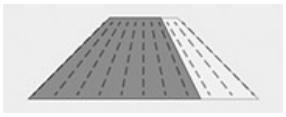
注記： 方向が不明な場合、センターマーカーが消えてダッシュが値の位置に表示されます。

H128562—UN—20JAN20
方向



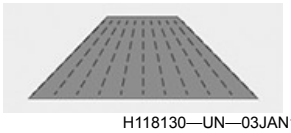
H118128—UN—03JAN17
幅

H128563—UN—20JAN20
方向



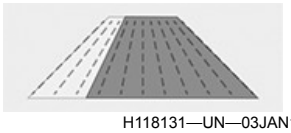
H118129—UN—03JAN17
幅

H128564—UN—20JAN20
方向



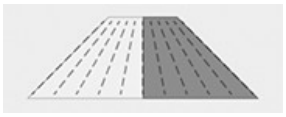
H118130—UN—03JAN17
幅

H128565—UN—20JAN20
方向



H118131—UN—03JAN17
幅

H128566—UN—20JAN20
方向



H118132—UN—03JAN17
幅

変更の代替手順：

H118138—UN—03JAN17
入力フィールド

1. ナビゲーションバーとアームレストの調整ダイヤルを起動します。

H115035—UN—14MAR16
ナビゲーションバーの調整ダイヤル

H115034—UN—28MAR16
アームレストの調整ダイヤル

2. ナビゲーションバーまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して必要な方向を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

H114674—UN—06FEB19
閉じる

3. 選択して閉じます。

PR79369,00003AF-40-01FEB21

スワップ

「スワップ」を使用すると、180° 旋回した後、残留物の拡散を反対方向にすばやく調整して、風の干渉を補正できます。「スワップ」は、自動スワップとは対照的にオペレータが行う手動調整です。

注記： スワップは、方向調整が中心位置にない場合にのみ使用できます。

以下の場合に変更を行います：

風が残留物に当たっていて、残留物方向を自動的に入れ替えたい場合。

変更手順：

H118115—UN—03JAN17
スワップ

選択して有効または無効にします。

注記： Residue Management (残留物管理) アプリケーションが開かれてなく、スワップが開始された場合はいつでも、拡散方向のスワップのメッセージが表示されます。

N0LMWLO,0000331-40-16JUL20

キャブ外調整

残留物管理を改善し、機械の損傷を防止するには、調整をキャブ外で行う必要があります。作物設定と調整手順について詳しくは取扱説明書を参照してください。

注意： 推奨された調整を実行する前に機械を停止してください。

キャブ外調整ページ：

作物分流器 / デフレクタ — とうもろこしまたはグレン位置を選択します。

重要：**とうもろこしを収穫中は、クリーニングフシューの損傷を防止するためにとうもろこし位置にしてください。**

Crop Diverter Vanes (作物分流器ベーン)— ベーンを調整して、チョッパーやスプレッダー内への材料の分配を制御します。

ナイフバンク — 必要な残留物長さが得られるようにナイフバンク位置を選択します。

重要：**ナイフバンクは、とうもろこしでは接続を完全に解除する必要があります。**

注記：接続を増やすと、チョッパーでより多くの動力が消費されます。

Chopper Drive Speed (チョッパードライブ速度)— 小粒グレンや大豆には高速を選択し、とうもろこしには低速を選択します。

PR79369,00003B0-40-01FEB21

ナイフバンク

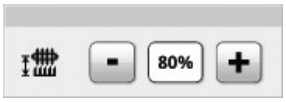
ナイフバンクはオプションのキャブ内調整システムで、ナイフバンクを内側または外側にスライドさせて細断品質を向上させたり、機械動力を節約したりすることができます。

以下の場合に変更を行います：

- 細断品質を改善する必要がある場合。細断品質を改善するには、ナイフバンク設定を増やします。
- 機械の各所で使用する動力を節約したい場合。ナイフバンク設定を減らして動力を節約します。

注記：このオプションシステムは、機械にチョッパーオプションが装備されている場合のみ使用できます。

変更手順：



H126977—UN—26SEP19

ナイフバンク調整— 調整は 10% の増減分サイズです。

H126979—UN—26SEP19

ナイフバンクを増やす— 増加ボタン (プラス記号) を選択して、ナイフバンクを内側にスライドさせます。

H126978—UN—26SEP19

ナイフバンクの減少— 減少ボタン (マイナス記号) を選択して、ナイフバンクを外側にスライドさせてナイフをチョッパーから引き離します。

アクティブクリーンアウトモードの手順：

アクティブクリーンアウトモードでは、ナイフバンクを開閉してナイフバンクを自動的に清掃します。アクティブクリーンアウトモードは、セパレータを 25 回解除した後に実行されます。アクティブクリーンアウトモードを調整することはできません。

PR79369,00003B1-40-11MAY21

自動スワップ

自動スワップは、180º 旋回した後、残留物の拡散を設定済みの方向とは反対方向に自動的に調整します。

変更手順：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1.メニューを開く場合に選択します。

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2.「機械設定」タブを選択します。

H114082—UN—03JAN17

残留物管理

3.選択して「残留物管理」を開きます。

H125280—UN—01FEB19

自動スワップ *ON/OFF*

4.自動スワップを有効または無効にする場合に選択します。

注記：自動スワップが無効になっている場合は、拡散方向を手動で入れ替える必要があります。

H128567—UN—20JAN20

方向

5.方向を左右に調整します。

N0LMWLO,0000334-40-16JUL20

ヘッダーアプリケーション

ヘッダーへのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2. 「Machine Settings (機械の設定)」タブ

H113541—UN—19DEC16

ヘッダー

3. ヘッダー

ナビゲーションバーからのアプリケーションへのアクセス：

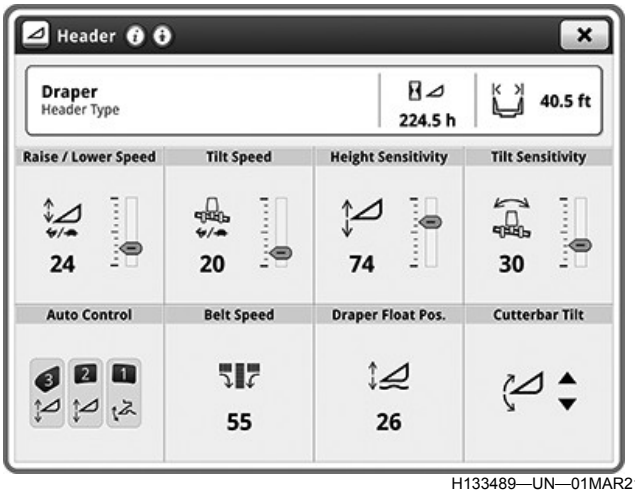
H117904—UN—22JAN20

ヘッダーアプリケーションボタン

ナビゲーションバーディスプレイの「ヘッダー」ボタンを押します。

PR79369,000045D-40-26FEB21

ヘッダーメインページ



H133489—UN—01MAR21

ヘッダー

注記： アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

表示されているメインページは例のみを目的としています。オプションや接続されている装置に応じて、メインページは異なる場合があります。

「ヘッダー」メインページには、取り付けられているヘッダーに合わせて調整式機能が表示されます。

注記： 下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

ヘッダーメインページでアクセスできる項目：

H116126—UN—19DEC16

ヘッダーの詳細

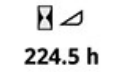
ヘッダーの詳細 — 幅、最小リール回転数、条幅などのヘッダー設定を変更および表示します。

H113542—UN—19DEC16

ヘッダータイプ

ヘッダータイプ — 取り付けられている前端部の装置によって自動的に決まります。

注記： 接続されているヘッダーのタイプがシステムで認識されない場合は、「Unknown Header (不明なヘッダー)」と表示されます。

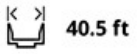


H113543—UN—19DEC16

時間数

運転時間 — コンバインによって記録されたヘッダータイプごとの運転時間数。

注記： 運転時間は一部のモデル年度 2021+ ヘッダーに保存されます。これらのヘッダーで運転時間は編集できません。

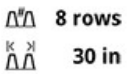


H113544—UN—19DEC16

刈取幅

刈取幅 — プラットフォームタイプのヘッダーが検出されると、測定された幅設定が表示されます。

注記： 刈取幅は、一部のモデル年度 2021+ のヘッダーでは編集できません。



H116127—UN—19DEC16

条幅

幅と条幅 — 条タイプのヘッダーが検出されると条数や条幅の設定が表示されます。

注記： 幅は、一部のモデル年度 2021+ のヘッダーでは編集できません。

H127438—UN—26SEP19

上昇 / 下降速度

上昇 / 下降速度 — 手動モードの場合に、フィーダーハウスの上昇 / 下降速度機能の速度を制御します。

H127439—UN—26SEP19

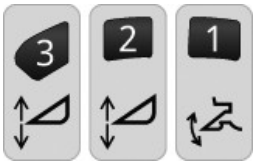
高さ感度

高さ感度 — 自動モードでヘッダーが地形の変化に合わせて上昇 / 下降する感度を制御します。

N118004—UN—22OCT15

詳細設定アイコン

Advanced Settings (詳細設定)— 詳細な調整、一般的ではない設定にアクセスできます。



H127440—UN—26SEP19

自動制御

自動制御 — 有効になっているヘッダー構成のステータスを表示します。

H127441—UN—26SEP19

チルト感度

チルト感度 — 自動検出および自動フロートモードの場合に、フィーダーハウス横方向傾斜の動きの地形の変化に対する感度を制御します。

H127442—UN—26SEP19

傾斜速度

Tilt Speed (傾斜速度)— 手動モード時の横方向傾斜の動きの速度を制御します。

H127443—UN—26SEP19

前後傾斜

Fore/Aft Tilt (前後傾斜)— フィーダーハウス前面の角度を制御します。

H127472—UN—26SEP19

HydraFlex™ 圧力

HydraFlex™ 圧力— 最適な地面追従能力のカッターバー圧力を制御します。

H127445—UN—26SEP19

ドレーパーベルト速度

Draper Belt Speed (ドレーパーベルト速度)— サイドドレーパーベルトの速度を制御します。

H127444—UN—26SEP19

ドレーパーフロート位置

Draper Float Position (ドレーパーフロート位置)— ゲージホイールフロートアームのシリンダ内の圧力を制御します。

H127446—UN—26SEP19

カッターバー傾斜

Cutterbar Tilt (カッターバー傾斜)— プラットフォームの残りの部分に対するカッターバーの角度を制御します。

H127448—UN—26SEP19

デッキプレート間隔

Deck Plate Spacing (デッキプレート間隔)— デッキプレート間隔が表示されます。

H127449—UN—26SEP19

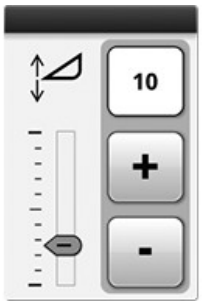
バックシャフト速度

バックシャフト速度— バックシャフト速度が表示されます。

実行モジュール

レイアウトマネージャーを使用して、このアプリケーションのモジュールを実行に追加することができます。

例：



H116668—UN—20DEC16

高さ感度

高さ感度 — 自動モードでヘッダーが地形の変化に合わせて上昇 / 下降する感度を制御します。

注記： 使用するアプリケーションに応じて異なるモジュールを使用できます。

PR79369,000045E-40-01MAR21

ヘッダーの詳細

ヘッダーの詳細ページには、幅、最小リール回転数、条幅などの設定があります。

注記： 各ヘッダータイプは、すべてのヘッダー設定の工場初期設定を含んでいます。所定のタイプのヘッダーを初めて接続すると、工場初期設定が自動的に読み込まれます。ヘッダーを接続中にヘッダー設定を変更できます。同じタイプのヘッダーを接続すると、そのヘッダータイプの設定が自動的に使用されますが、設定や運転時間は自動的に変更されません。

ヘッダーの詳細ページでアクセスできる項目：

H113523—UN—19DEC16

幅

幅 — プラットフォームタイプのヘッダーの刈取幅を設定します。

H113525—UN—19DEC16

幅

幅 — 条タイプのヘッダーの条数を設定します。

H113526—UN—19DEC16

条幅

条幅 — 条タイプのヘッダーの条間の間隔を設定します。

H113521—UN—19DEC16

作業記録

Work Recording (作業記録)— 記録停止高さを設定します。

H113522—UN—19DEC16

運転時間

運転時間 — ヘッダータイプあたりの記録された時間数。

追加装置 — 通常はヘッダーに取り付けない追加装置があることをシステムに示す場合に選択します。

例：通常はリールを取り付けないコーンヘッドを所有している場合は、これを選択してリールが取り付けられていることを機械に通知します。

H113524—UN—19DEC16

最小リール速度

最小リール回転数 — 最小リール回転数を設定します。

PR79369,000045F-40-26FEB21

幅

幅では、ヘッダーの全幅を使用していない場合に刈取幅を変更できます。

注記： 一部のモデル年度 2021+ ヘッダーで幅は編集できません。

以下の場合に変更を行います：

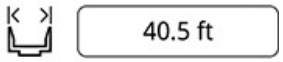
- ヘッダーの全幅を使用していない場合。
- 条端に使用する場合。
- ヘッダーサイズを変える場合。
- AutoTrac™ の刈取幅やマッピング目的を変更する場合。

変更手順：

H116649—UN—19DEC16

Header Type (ヘッダータイプ)

1. ヘッダータイプ画面領域を選択して、「ヘッダーの詳細」ページを開きます。



H116131—UN—19DEC16

幅

2. テンキーを開き、必要な刈取幅を入力します。

H116132—UN—19DEC16

OK

3. 「OK」を選択して値を保存します。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

4. 選択して閉じます。

PR79369,0000460-40-26FEB21

コーンヘッド幅

幅では、ヘッダーのすべての条を使用していない場合に条数を変更できます。

注記： 一部のモデル年度 2021+ ヘッダーで幅は編集できません。

以下の場合に変更を行います：

- ヘッダーのすべての条を使用していない場合。
- 条端に使用する場合。
- ヘッダーサイズを変える場合。

AutoTrac は Deere & Company

- AutoTrac™ のためやマッピング目的で条幅を変更する場合。

変更手順：

H116650—UN—19DEC16

Header Type (ヘッダータイプ)

1. ヘッダータイプ画面領域を選択して、「ヘッダーの詳細」ページを開きます。

H116171—UN—19DEC16

条数

2. テンキーを開き、必要な条数を入力します。

H116132—UN—19DEC16

OK

3. 「OK」を選択して値を保存します。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

4. 選択して閉じます。

PR79369,0000461-40-26FEB21

条幅

条幅を使用すると、条間の間隔を変更できます。

注記： 一部のモデル年度 2021+ ヘッダーで条幅は編集できません。

以下の場合に変更を行います。

注記： 条幅を変えると、収穫量マッピングに影響があります。

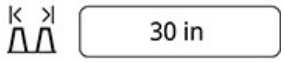
- ヘッダー構成に合わせて条幅間隔を調整します。

変更手順：

H116650—UN—19DEC16

Header Type (ヘッダータイプ)

1. ヘッダータイプ画面領域を選択して、「ヘッダーの詳細」ページを開きます。



H118576—UN—19DEC16

条幅

2. テンキーを開き、必要な条幅を入力します。

H116132—UN—19DEC16

OK

3. 「OK」を選択して値を保存します。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

4. 選択して閉じます。

PR79369,0000462-40-26FEB21

最小リール速度

Minimum Reel Speed (最小リール速度)— リールが作動する最小リール速度を設定できます。

以下の場合に変更を行います：

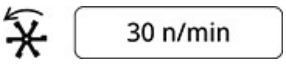
- 垂れ下がった作物をピックアップする場合。最小速度は、条件やオペレータに応じて変わります。

変更手順：

H116649—UN—19DEC16

Header Type (ヘッダータイプ)

1. ヘッダータイプ画面領域を選択して、「ヘッダーの詳細」ページを開きます。



H126113—UN—11APR19

最小リール速度

2. テンキーを開き、必要な最小リール速度を入力します。

H116132—UN—19DEC16

OK

3. 「OK」を選択して値を保存します。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

4. 選択して閉じます。

PR79369,0000463-40-26FEB21

作業記録

Work Recording (作業記録) を使用して、記録を ON/OFF する停止高さを設定できます。

注記： 他のすべての条件 (セパレータ / ヘッダー接続済み、エンジンハイアイドル、農場 / 圃場設定済み) が満たされている場合、作業記録はプリセット高さよりも上で自動的に OFF になり、プリセット高さよりも下で自動的に ON になります。一時的に無効にする方法については、このセクションの「手動記録 ON/OFF」を参照してください。

注記： 「Header Height Sensing (ヘッダー高さ検出)」または「Feeder House Float (フィーダーハウスフロート)」がアクティブである場合、記録停止高さの設定は無関係になり、他のすべての条件 (セパレータ / ヘッダー接続済み、エンジンハイアイドル、農場 / 圃場設定済み) が満たされていることを条件に作業記録が ON になります。

以下の場合に変更を行います：

- 作物条件 (背の高い作物対背の低い作物) を変更する場合。
- ヘッダータイプを変更する場合。
- 圃場や地形を変更する場合。
- 作物がない場合も記録がオンのままで、作物内でオンにならない場合。

変更手順：

1. 必要な記録停止高さまでヘッダーを上昇 / 下降させます。

H116650—UN—19DEC16

ヘッダータイプ

2. ヘッダータイプ画面領域を選選択して、「ヘッダーの詳細」ページを開きます。

H113521—UN—19DEC16

Set to Current Height (現在の高さに設定)

3. 「現在の高さに設定」ボタンを選択します。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

4. 選択して閉じます。

N0LMWLO,000033B-40-16JUL20

運転時間

運転時間では、取り付けているヘッダータイプの合計運転時間数を設定できます。

注記： 運転時間は一部のモデル年度 2021+ ヘッダーに保存されます。これらのヘッダーで運転時間は編集できません。

注記： コンバインは、ヘッダータイプ別に運転時間を保存します。同一のコンバインで同じタイプの複数のヘッダーを使用する場合は、取り付けているヘッダーの適切な運転時間を入力する必要があります。

以下の場合に変更を行います：

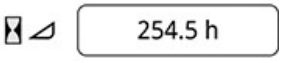
- 特定の圃場の運転時間を追跡したい場合。
- 別のコンバインに移動できる複数のヘッドを所有している場合。
- シーズンの初めに運転時間をゼロに設定したい場合。

変更手順：

H116649—UN—19DEC16

Header Type (ヘッダータイプ)

1. ヘッダータイプ画面領域を選択して、「ヘッダーの詳細」ページを開きます。



H116134—UN—19DEC16

時間数

2. テンキーを開き、必要な運転時間を入力します。

H116132—UN—19DEC16

OK

3. 「OK」を選択して値を保存します。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

4. 選択して閉じます。

PR79369,0000464-40-26FEB21

上昇 / 下降速度

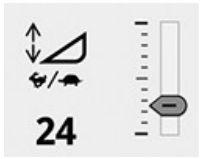
Raise/Lower Speed (上昇 / 下降速度) では、多機能レバーの手動上昇 / 下降ボタンの使用時にフィーダーハウスが上昇 / 下降する速度を制御します。

以下の場合に変更を行います：

注記： サイズやタイプに関係なくヘッダーを交換する場合は、前にキャリブレーションされていない限り、キャリブレーションが必要です。

- ヘッダーのサイズとタイプは上昇 / 下降速度に影響を与えます。
- 変化する地面条件にヘッダーが遅く反応する場合は、Raise/Lower Speed (上昇 / 下降感度) を増やします。
- 変化する地面条件でヘッダー過度に補正する場合は、Raise/Lower Speed (上昇 / 下降感度) を減らします。
- トレーラーへのヘッダーの積込みや荷下ろしでは、上昇 / 下降速度を下げる必要があります。

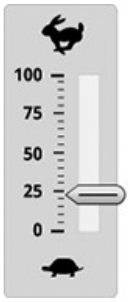
変更手順：



H113728—UN—19DEC16

上昇 / 下降速度

1. 「上昇 / 下降速度」の下の画面領域を選択して、「上昇 / 下降速度」ページを開きます。



H113513—UN—20DEC16

スライドバー

注記： スライドバーに現在の速度が表示されます。

H116141—UN—20DEC16

調整

2. (+) / (-) を選択して必要な速度を増減します。

   最小：0

   最大：100

   既定値：50

   増分：1

H116648—UN—19DEC16

閉じる

3. 選択して閉じます。

変更の代替手順：

H116140—UN—19DEC16

入力フィールド

1. ナビゲーションバーとアームレストの調整ダイヤルを起動します。

H115035—UN—14MAR16

ナビゲーションバーの調整ダイヤル

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. ナビゲーションバーまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して必要な設定を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

   最小：0

   最大：100

既定値：50

増分：1

PR79369,0000465-40-26FEB21

傾斜速度

Tilt Speed (傾斜速度) では、手動レートモード時の横方向傾斜の速度を制御します。

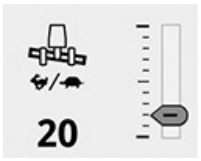
注記： 手動傾斜速度機能は、横方向傾斜フィーダーハウスを備えたクローズドセンター油圧システムを搭載した機械のみで機能します。

以下の場合に変更を行います：

注記： サイズやタイプに関係なくヘッダーを交換する場合は、特定のヘッダーを以前キャリブレーションしていない限り、キャリブレーションが必要です。

- ヘッダーのサイズとタイプは傾斜速度に影響を与えます。
- 変化する地面条件に対するヘッダーの反応が遅い場合。チルト速度を上げます。
- 地面条件の変化に対してヘッダーが過度に補正する場合。チルト速度を下げます。
- トレーラーへのヘッダーの積込みや荷下ろしでは、傾斜速度を遅くする必要があります。

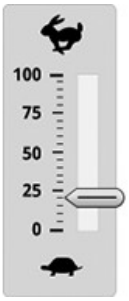
変更手順：



H113545—UN—19DEC16

傾斜速度

1. 「傾斜速度」の下の画面領域を選択して、「傾斜速度」ページを開きます。



H113514—UN—20DEC16

スライドバー

注記： スライドバーに現在の速度が表示されます。

H116141—UN—20DEC16

調整

2. (+) / (-) を選択して必要な速度を増減します。

   最小：0

   最大：100

   既定値：50

   増分：1

H116648—UN—19DEC16

閉じる

3. 選択して閉じます。

変更の代替手順：

H116140—UN—19DEC16

入力フィールド

1. ナビゲーションバーとアームレストの調整ダイヤルを起動します。

H115035—UN—14MAR16

ナビゲーションバーの調整ダイヤル

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. ナビゲーションバーまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して必要な設定を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

   最小：0

   最大：100

既定値：50

増分：1

PR79369,0000466-40-26FEB21

高さ感度

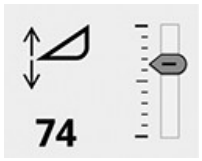
Height Sensitivity (高さ感度) では、フィーダーハウスが自動モードで地形に合わせて上昇 / 下降する速度を制御します。

注記： 感度を増やすと、フィーダーハウスは地形形状の変化に速く応答します。

以下の場合に変更を行います：

- 変化する地面条件に対するヘッダーの反応が遅い場合。高さ感度を上げます。
- ヘッダーが地面に波状の刈株を残している、または地面上で上下に脈動している場合。高さ感度を下げます。

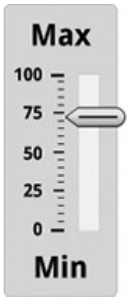
変更手順：



H114074—UN—19DEC16

高さ感度

1. 「高さ感度」の下の画面領域を選択して、高さ感度ページを開きます。



H113515—UN—20DEC16

スライドバー

注記： スライドバーに現在の感度が表示されます。

H118578—UN—20DEC16

調整

2. (+) / (-) を選択して必要な感度を増減します。

   最小：0

   最大：100

   既定値：50

   増分：1

注記： 50 で始めて 5 刻みで調整します。75 を上回ったり 25 を下回る設定は避けてください。高い移動速度に達している場合は、高さ感度を低く設定する必要があります。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

3. 選択して閉じます。

変更の代替手順：

H116140—UN—19DEC16

入力フィールド

1. ナビゲーションバーとアームレストの調整ダイヤルを起動します。

H115035—UN—14MAR16

ナビゲーションバーの調整ダイヤル

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. ナビゲーションバーまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して必要な設定を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。

- 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

最小：0

最大：100

既定値：50

増分：1

注記： 50 で始めて 5 刻みで調整します。75 を上回ったり 25 を下回る設定は避けてください。高い移動速度に達している場合は、高さ感度を低く設定する必要があります。

PR79369,0000467-40-26FEB21

チルト感度

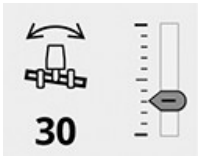
Tilt Sensitivity (チルト感度) では、地形に変化に応じてフィーダーハウスが傾く速度を制御します。感度を増やすと、フィーダーハウスは速く応答します。

注記： 600F、600FD、または 700FD プラットフォームを操作している場合、HydraFlex™ 圧力の設定もヘッダー高さ感度に影響することがあります。

以下の場合に変更を行います：

- 変化する地面条件に対するヘッダーの反応が遅い場合。チルト感度を上げます。
- ヘッダーが地面に波状の刈株を残している、または地面上で上下に脈動している場合。チルト感度を下げます。

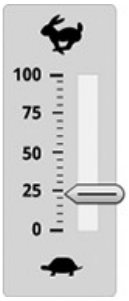
変更手順：



H113546—UN—19DEC16

チルト感度

1. Tilt Sensitivity (チルト感度) の下の画面領域を選択して、「Tilt Sensitivity (チルト感度)」ページを開きます。



H113513—UN—20DEC16

スライドバー

注記： スライドバーに現在の感度が表示されます。

H116141—UN—20DEC16

調整

2. (+) / (-) を選択して必要な感度を増減します。

最小：0

最大：100

既定値：50

増分：1

注記： 50 で始めて 5 刻みで調整します。75 を上回ったり 25 を下回る設定は避けてください。ヘッドが広い場合や移動速度を上げたい場合、高さ感度を低く設定する必要があります。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

3. 選択して閉じます。

変更の代替手順：

H116140—UN—19DEC16

入力フィールド

1. ナビゲーションバーとアームレストの調整ダイヤルを起動します。

H115035—UN—14MAR16

ナビゲーションバーの調整ダイヤル

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. ナビゲーションバーまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して必要な設定を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

PR79369,0000468-40-26FEB21

前後傾斜

「前後傾斜」を使用すると、フィーダーハウス面を前後にすばやく動かして、過酷な条件でヘッダーの最適な刈り取り性能を実現できます。

注記： Fore/Aft Tilt (前後傾斜) の最小 / 最大設定は、ヘッダータイプごとに異なります。

以下の場合に変更を行います：

- 湿潤または高密度の残留物の押し込みや引きずりを防止したい場合。
- ヘッダーの取り付けや取り外しを容易にしたい場合。
- フィーダーハウス内への作物材料の搬送を最適化したい場合。

以下の場合は、フィーダーハウスを前に傾けます：

- 垂れ下がった作物をピックアップする場合。
- 地面の近くで刈り取る場合。

以下の場合は、フィーダーハウスを後に傾けます。

- 材料がカッターバーにより押されている場合。後に動かして材料のロスを減らします。
- 立毛の場合、後に傾けると、機械への材料の供給 / 搬送を最適化できます。

変更手順：

注記： 600F、600FD、または 700FD プラットフォームを操作している場合、HydraFlex™ 圧力設定もヘッダー高さ感度に影響します。

H116129—UN—19DEC16

前後傾斜

1. 「前後傾斜」の下の画面領域を選択して、「前後傾斜」ページを開きます。

H116141—UN—20DEC16

調整

2. (+) / (-) を選択して必要な位置を増減します。

注記： 最小 / 最大設定は、ヘッダータイプとキャリブレーションにより影響を受けます。キャリブレーションついては、「Calibrations (キャリブレーション)」アプリケーションを参照してください。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

3. 選択して閉じます。

変更の代替手順：

H116140—UN—19DEC16

入力フィールド

1. ナビゲーションバーとアームレストの調整ダイヤルを起動します。

H115035—UN—14MAR16

ナビゲーションバーの調整ダイヤル

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. ナビゲーションバーまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して必要な設定を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

PR79369,0000469-40-26FEB21

HydraFlex は Deere & Company の商標です。

ヘッダー自動制御

Auto Header Control (自動ヘッダー制御) には、Control Preview (制御プレビュー)、Header Automation (ヘッダー自動化)、および Resume Preferences (再開プリファレンス) のステータスが表示されます。

H116962—UN—19DEC16

自動制御

Auto Control (自動制御) の下の画面領域を選択して開きます。

注記： Auto Header Control (自動ヘッダー制御) のアイコンは、アイコンのセットアップ方法と機械に取り付けられているヘッダーに応じて変わります。

「Auto Header Controls」(自動ヘッダー制御) メインページでアクセスできる項目：

Control Preview (制御プレビュー)— 使用可能な機能のステータスが表示されます。

Header Automation (ヘッダー自動化)— 使用可能な自動化されている機能が表示されます。

Resume Preferences (再開プリファレンス)— 使用可能な再開機能が表示されます。

SS43267,00007EB-40-27JAN17

制御プレビュー

H116968—UN—20DEC16

制御プレビュー

Control Preview (制御プレビュー) には使用可能な機能のステータスが表示されます。

注記： ヘッダー自動化機能と再開機能 (起動ボタン 1、2、3 の下にアイコンとして表示) は、対応するボタンを押すと起動します。

SS43267,00007EC-40-26NOV19

ヘッダー自動化

ヘッダー自動化機能を有効または無効にします。

注記： 下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

H116995—UN—19DEC16

既定値

既定値— 接続されているヘッダータイプの既定値を使用します。

H116995—UN—19DEC16

カスタム

カスタム— 個人的な操作プリファレンスに基づいて有効にする自動化システムを選択します。

注記： 「Custom (カスタム)」オプションを選択するまで、ON/OFF トグルボタンを切り替えることはできません。

H116168—UN—19DEC16

アラート

注記： 所定の自動化オプションに問題があり、有効にできない場合、切り替えスイッチは通常の問題アラートアイコンボタンに置き換えられます。

H116161—UN—19DEC16

高さ復帰

Height Resume (高さ復帰)— 機械シャーシに対するフィーダーハウスの位置を選択し、その位置に自動的に戻すことができます。

H116160—UN—19DEC16

フィーダーハウスフロート

フィーダーハウスフロート — 固定ヘッダーを地面に接触させて操作し、設定した接地圧を維持できます。

H113720—UN—19DEC16

高さ検出 *(オフグラウンド)*

高さ検出 (オフグラウンド) — 地面に対するヘッダーの位置を選択して、その位置に自動的に戻ります。

H113720—UN—19DEC16

高さ検出 *(オングラウンド)*

高さ検出 (オングラウンド) — カッターバー接地圧力を調整して、その設定に自動的に戻すことができます。

H113721—UN—19DEC16

横方向傾斜

Lateral Tilt (横方向傾斜)— 地面に対するヘッダーの位置を維持できます。

PR79369,000046A-40-26FEB21

高さ復帰

Height Resume (高さ復帰)— 機械シャーシに対するフィーダーハウスの位置を選択し、その位置に自動的に戻すことができます。

以下の場合に変更を行います：

- 同一圃場全体で作物高さが変化している場合、
- ヘッダータイプを変える場合。
- 地面の地形が変化している場合。
- オングラウンドの刈取りからオフグラウンドの刈取りに変更する場合。

システムは、以下の場合に有効になります：

- 正しく装備されたヘッダーが機械に接続されている。
- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- Height Resume (高さ復帰) システムが ON になっている。
- ヘッダーが接続されている。

変更手順：

H116962—UN—19DEC16

自動制御

1. ヘッダーアプリケーションで「自動制御」を選択します。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

2. Height Resume (高さ復帰) の ON/OFF を切り替えます。

H116168—UN—19DEC16

アラートアイコン

注記： 自動化オプションに問題があり、有効にできない場合、ON/OFF 切り替えスイッチは通常のアラートアイコンに置き換えられます。このボタンを選択すると、問題のトラブルシューティングに役立つ情報が表示されます。

注記： 本機の構成、構成可能なスイッチ、および多機能レバーのボタンの設定に応じて、多くの組み合わせが存在します。

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

3. 必要な起動ボタンを押します。

注記： Height Resume (高さ復帰) は、最後に認識された調整設定に戻ります。

H116353—UN—19DEC16

高さ復帰

注記：「Height Resume (高さ復帰)」アイコンは、コーナーポストディスプレイに表示されます。

H116354—UN—19DEC16

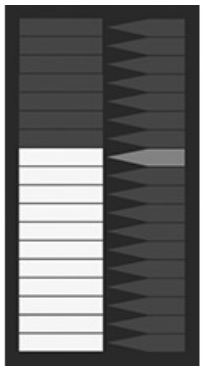
起動番号

コーナーポストディスプレイの起動番号は選択した起動ボタンを示しています。

H116347—UN—20DEC16

調整ダイヤル

4. ヘッダー調整ダイヤルを使用して高さを調整します。
   - ヘッダー調整ダイヤルを時計回りに回して、ヘッダーと設定点を上げます。
   - ヘッダー調整ダイヤルを反時計回りに回して、ヘッダーと設定点を下げます。



H116356—UN—20DEC16

棒グラフ

コーナーポストディスプレイの棒グラフには、ヘッダーにリンクされているヘッダー高さセンサーに基づくヘッダーの相対位置が表示されます。

H118305—UN—19DEC16

数値表示

コーナーポストディスプレイの数値表示には、ヘッダーにリンクされているヘッダー高さセンサーに基づくヘッダーの相対位置が表示されます。

H116348—UN—19DEC16

上昇 / 下降

ヘッダー上昇 / 下降スイッチを使用して、システムを一時的に無効にします。

注記： ヘッダー上昇 / 下降スイッチを 5 秒間押し続けると、システムは無効になります。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。ヘッダーは前回の既知の設定に自動的に動きます。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

5. 選択して閉じます。

PR79369,000046B-40-26FEB21

高さ検出 — Off Ground (オフグラウンド)

地面に対するヘッダーの位置を選択して、その位置に自動的に戻すことができます。

以下の場合に変更を行います：

注記： プラットフォームが当初からコンバインに連結されている場合は、キャリブレーションが必要です。同じタイプの別のプラットフォームを連結した場合、キャリブレーションを繰り返す必要があります。

- ヘッダーが地表面に追従していない場合。
- 高さ検出アームを使用して、地面から離れて刈り取りする場合。HydraFlex™ 圧力を増やして、ヘッダーを強固な位置に固定できます。
- ヘッダーの刈取りが明らかに遅い場合。高さ設定を上げます。

HydraFlex は Deere & Company の商標です。

- ヘッダーが作物の上部に乗り上げる場合または未刈取りの作物を残す場合。高さ設定を下げます。
- ヘッダータイプを変える場合。
- 地面の地形が変化している場合。

システムは、以下の場合に有効になります：

- 正しく装備されたヘッダーが機械に接続されている。
- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- Height Sensing (高さ検出) システムが ON になっている。
- ヘッダーが接続されている。

変更手順：

H116962—UN—19DEC16

自動制御

1. ヘッダーアプリケーションで「自動制御」を選択します。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

2. Height Sensing (高さ検出) の ON/OFF を切り替えます。

H116168—UN—19DEC16

アラートアイコン

注記： 所定の自動化オプションに問題があり、有効にできない場合、切り替えスイッチは通常の問題アラートアイコンボタンに置き換えられます。このボタンを選択すると、問題のトラブルシューティングに役立つ情報を含むメッセージダイアログが表示されます。

注記： 本機の構成、構成可能なスイッチ、および多機能レバーのボタンの設定に応じて、多くの組み合わせが存在します。

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

3. 必要な起動ボタンを押します。

注記： 高さ検出は、最後の既知の調整設定に戻ります。各起動ボタンで、異なるリール位置を保存できます。必要なボタンを 2 秒間押し続けて、リール位置を保存します。

H116358—UN—19DEC16

高さ検出

注記： 「Height Sensing (高さ検出)」アイコンは、コーナーポストディスプレイに表示されます。

H116354—UN—19DEC16

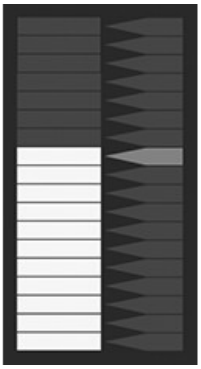
起動番号

コーナーポストディスプレイの起動番号は選択した起動ボタンを示しています。

H116347—UN—20DEC16

調整ダイヤル

4. 必要な起動ボタンを押し、ヘッダー調整ダイヤルを使って高さ設定点を変更します。
   - ヘッダー調整ダイヤルを時計回りに回して、ヘッダーと設定点を上げます。
   - ヘッダー調整ダイヤルを反時計回りに回して、ヘッダーと設定点を下げます。



H116356—UN—20DEC16

棒グラフ

コーナーポストディスプレイの棒グラフには、フィーダーハウスにリンクされているヘッダー高さセンサーに基づくヘッダーの相対位置が表示されます。

H118305—UN—19DEC16

数値表示

コーナーポストディスプレイの数値表示には、フィーダーハウスにリンクされているヘッダー高さセンサーに基づくヘッダーの相対位置が表示されます。

H116348—UN—19DEC16

上昇 / 下降

ヘッダー上昇 / 下降スイッチを使用して、システムを一時的に無効にします。

注記： ヘッダー上昇 / 下降スイッチを 5 秒間押し続けると、システムは無効になります。

注記： 起動ボタンが押されるまでシステムを即座に無効にするようにヘッダー下降スイッチを設定できます。詳しくは、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

注記： ヘッダー下降スイッチを押したときにシステムを再起動しないようにヘッダー下降スイッチを設定できます。詳しくは、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。ヘッダーは前回の既知の設定に自動的に動きます。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

5. 選択して閉じます。

PR79369,000046C-40-26FEB21

高さ検出 — オングラウンド

On Ground Height Sensing (オングラウンド高さ検出) を使用すると、カッターバー接地圧力を調整して、その設定に自動的に戻すことができます。

以下の場合に変更を行います：

注記： サイズやタイプに関係なくヘッダーを交換する場合は、前にキャリブレーションされていない限り、キャリブレーションが必要です。

- カッターバーが地表に追従していない場合。
- カッターバーが押している場合。HydraFlex™ 圧力を上げます。
- カッターバーが作物の上部に乗り上げる場合または未刈取りの作物を残す場合。HydraFlex™ 圧力を下げます。
- ヘッダータイプを変える場合。

システムは、以下の場合に有効になります：

- 正しく装備されたヘッダーが機械に接続されている。
- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- Height Sensing (高さ検出) システムが ON になっている。
- ヘッダーが接続されている。

変更手順：

H116962—UN—19DEC16

自動制御

1. ヘッダーアプリケーションで「自動制御」を選択します。

HydraFlex は Deere & Company の商標です。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

2. Height Sensing (高さ検出) の ON/OFF を切り替えます。

H116168—UN—19DEC16

アラートアイコン

注記： 所定の自動化オプションに問題があり、有効にできない場合、切り替えスイッチは通常の問題アラートアイコンボタンに置き換えられます。このボタンを選択すると、問題のトラブルシューティングに役立つ情報を含むメッセージダイアログが表示されます。

注記： 本機の構成、構成可能なスイッチ、および多機能レバーのボタンの設定に応じて、多くの組み合わせが存在します。

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

3. 必要な起動ボタンを押します。

注記： 高さ検出は、最後の既知の調整設定に戻ります。各起動ボタンで、異なるリール位置を保存できます。必要なボタンを 2 秒間押し続けて、リール位置を保存します。

H116358—UN—19DEC16

高さ検出

注記： 「Height Sensing (高さ検出)」アイコンは、コーナーポストディスプレイに表示されます。

H116354—UN—19DEC16

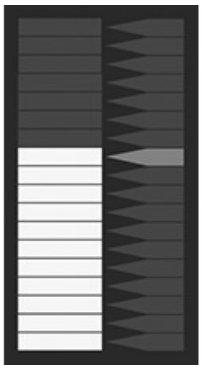
起動番号

コーナーポストディスプレイの起動番号は選択した起動ボタンを示しています。

H116347—UN—20DEC16

調整ダイヤル

4. 必要な起動ボタンを押し、ヘッダー調整ダイヤルを使って高さ設定点を変更します。
   - ダイヤルを時計回りに回して HydraFlex™ 圧力を上げます。
   - ヘッダー調整ダイヤルを反時計回りに回して、HydraFlex™ 圧力を下げます。



H116356—UN—20DEC16

棒グラフ

コーナーポストディスプレイの棒グラフは、プラットフォーム上のカッターバーの圧力に基づく圧力設定点を示しています。

H118305—UN—19DEC16

数値表示

コーナーポストディスプレイの数値表示は、プラットフォーム上のカッターバーの圧力に基づく圧力設定点を示しています。

H116348—UN—19DEC16

上昇 / 下降

HydraFlex は Deere & Company の商標です。

ヘッダー上昇 / 下降スイッチを使用して、システムを一時的に無効にします。

注記： ヘッダー上昇 / 下降スイッチを 5 秒間押し続けると、システムは無効になります。

- ヘッダー下降スイッチを使用してヘッダー高さを手動で調整すると、スイッチを解放するまでシステムは一時的にオーバーライド (無効化) されます。スイッチを放すと、システムは自動モードに戻ります。

注記： 起動ボタンが押されるまでシステムを即座に無効にするようにヘッダー下降スイッチを設定できます。詳しくは、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

- ヘッダー上昇スイッチを使用してヘッダー高さを手動で調整すると、ヘッダー下降スイッチが押されるまでシステムは一時的に無効になります。スイッチを押すと、システムは再起動します。

注記： ヘッダー下降スイッチを押したときにシステムを再起動しないようにヘッダー下降スイッチを設定できます。詳しくは、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。ヘッダーは前回の既知の設定に自動的に動きます。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

5. 選択して閉じます。

PR79369,000046D-40-26FEB21

フィーダーハウスフロート

Feeder House Float (フィーダーハウスフロート) を使用すると、強固なヘッダーが地面に接触する程度を選択し、設定圧力を維持できます。

以下の場合に変更を行います：

- 地面の状態が固く、ヘッドにより背の高い刈株が残されている場合、またはヘッドが想定通りに地面に追従していない場合。圧力を下げます。
- 地面の状態が軟らかく、ヘッドが材料を押している場合、またはヘッドが想定通りに地面に追従していない場合。圧力を上げます。

システムは、以下の場合に有効になります：

- 正しく装備されたヘッダーが機械に接続されている。
- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- Feeder House Float (フィーダーハウスフロート) システムが ON になっている。
- ヘッダーが接続されている。

変更手順：

H116962—UN—19DEC16

自動制御

1. ヘッダーアプリケーションで「自動制御」を選択します。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

2. Active Header Float (アクティブヘッダーフロート) を ON/OFF にします。

H116168—UN—19DEC16

アラートアイコン

注記： 所定の自動化オプションに問題があり、有効にできない場合、切り替えスイッチは通常の問題アラートアイコンボタンに置き換えられます。このボタンを選択すると、問題のトラブルシューティングに役立つ情報を含むメッセージダイアログが表示されます。

注記： 本機の構成、構成可能なスイッチ、および多機能レバーのボタンの設定に応じて、多くの組み合わせが存在します。

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

3. 必要な起動ボタンを押します。

注記： ヘッダー高さフロートでは、最後の既知の調整設定に戻ります。

H116972—UN—19DEC16

フィーダーハウスフロート

注記：「Header Height Float (ヘッダー高さフロート)」アイコンは、コーナーポストディスプレイに表示されます。

H116354—UN—19DEC16

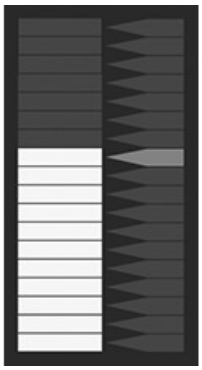
起動番号

コーナーポストディスプレイの起動番号は選択した起動ボタンを示しています。

H116347—UN—20DEC16

調整ダイヤル

4. 必要な起動ボタンを押し、ヘッダー調整ダイヤルを使って圧力を変更します。
   - ヘッダー調整ダイヤルを時計回りに回して、ヘッダーリフトシリンダ圧力と設定点を上げます。
   - ヘッダー調整ダイヤルを反時計回りに回して、ヘッダーリフトシリンダ圧力と設定点を下げます。



H116356—UN—20DEC16

棒グラフ

棒グラフに実際のヘッダーフロート圧力が表示されます。

H118305—UN—19DEC16

数値表示

数値表示は、実際のヘッダーフロート圧力を示しています。

H116348—UN—19DEC16

上昇 / 下降

注記：ヘッダー上昇 / 下降スイッチを 5 秒間押し続けると、システムは無効になります。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。ヘッダーは前回の既知の設定に自動的に動きます。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

5. 選択して閉じます。

PR79369,000046E-40-26FEB21

横方向傾斜

Lateral Tilt (横方向傾斜) では、横方向傾斜システムを使用して、ヘッダーの各端部で地面までの距離を等しくすることにより、地面に対するヘッダーの位置を維持できます。

以下の場合に変更を行います：

- ON：適切なセンサーを備えているヘッダーの場合は、横方向傾斜を使用して、オングラウンドまたはオフグラウンドでの刈取り中にヘッドの幅全体にわたって均一な刈取り高さを維持します。
- OFF：多機能レバーの横方向傾斜ボタンを押してヘッドを手動で傾斜させたい場合は、横方向傾斜を無効にすることができます。ヘッダーに適切なセンサーが装備されていない場合は、横方向傾斜を無効にします。

システムは、以下の場合に有効になります：

- 正しく装備されたヘッダーが機械に接続されている。

- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダーがキャリブレーションされている。
- 横方向傾斜システムが ON になっている。
- ヘッダーが接続されている。

変更手順：

H116962—UN—19DEC16

自動制御

1. ヘッダーアプリケーションで「自動制御」を選択します。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

2. 横方向傾斜の ON/OFF を切り替えます。

H116168—UN—19DEC16

アラートアイコン

注記： 所定の自動化オプションに問題があり、有効にできない場合、切り替えスイッチは通常の問題アラートアイコンボタンに置き換えられます。このボタンを選択すると、問題のトラブルシューティングに役立つ情報を含むメッセージダイアログが表示されます。

注記： 本機の構成、構成可能なスイッチ、および多機能レバーのボタンの設定に応じて、多くの組み合わせが存在します。

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

3. 必要な起動ボタンを押します。

注記： 横方向傾斜は前回の既知の調整設定に戻ります。

H116359—UN—19DEC16

横方向傾斜

注記： 横方向傾斜アイコンがコーナーポストディスプレイに表示されます。

H116354—UN—19DEC16

起動番号

コーナーポストディスプレイの起動番号は選択した起動ボタンを示しています。

H116348—UN—19DEC16

上昇 / 下降

注記： 「Lateral Tilt (横方向傾斜)」スイッチを押すと、システムは無効になります。スイッチを 5 秒以内に放すと、システムは自動モードに戻ります。

スイッチの右側を押してヘッダーを右に傾斜させるか、スイッチの左側を押してヘッダーを左に傾斜させます。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。ヘッダーは前回の既知の設定に自動的に戻ります。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

4. 選択して閉じます。

PR79369,000046F-40-26FEB21

復帰の環境設定

ヘッダー自動化機能の自動再開を有効または無効にします。

注記： 下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

H113524—UN—19DEC16

自動リール回転数

自動リール回転数 — 移動速度に対するリール回転数またはベルトピックアップ速度の自動制御です。

H131361—UN—02SEP20

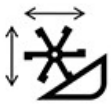
自動ドレーパーベルト速度

自動ドレーパーベルト速度 — 移動速度に対するドレーパー側ベルト速度の自動制御です。

H113717—UN—19DEC16

前後位置復帰

前後位置復帰 — 前後位置を選択して、その位置に自動的に戻すことができます。



H116163—UN—19DEC16

リール位置復帰

リール位置復帰 — リール位置を選択し、その位置に自動的に戻すことができます。

H113532—UN—19DEC16

デッキプレート位置復帰

デッキプレート位置復帰 — デッキプレートの位置を選択して、その位置に自動的に戻すことができます。

PR79369,0000470-40-11MAR21

前後位置復帰

Fore/Aft Resume (前後位置復帰) を使用すると、フィーダーハウスフレームの保存されている前後傾斜位置を多機能レバーの起動ボタン 1、2、3 にプログラムすることができます。

注記： 立毛の収穫用の標準的な位置や垂れ下がった作物用の別の位置を設定することができます。これにより、すばやく設定を切り替えることができます。

以下の場合に変更を行います：

- 湿潤または高密度の残留物に乗っている場合。
- ヘッダーの取り付けや取り外しを容易にしたい場合。
- フィーダーハウス内への作物材料の搬送を最適化したい場合。

以下の場合は、フィーダーハウスを前に傾けます：

- 垂れ下がった作物をピックアップする場合。
- 地面の近くで刈り取る場合。

以下の場合は、フィーダーハウスを後に傾けます。

- 材料がカッターバーにより押されている場合。後に動かして材料のロスを減らします。
- 立毛の場合、後に傾けると、機械への材料の供給 / 搬送を最適化できます。

システムは、以下の場合に有効になります：

- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- 油圧フィーダーハウス前後傾斜復帰システムが ON になっている。
- 多機能レバースイッチに機能が割り当てられている。
- ヘッドが接続されている。

変更手順：

H116962—UN—19DEC16

自動制御

1. ヘッダーアプリケーションで「自動制御」を選択します。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

2. Fore/Aft Resume (前後位置復帰) の ON/OFF を切り替えます。

注記： 本機の構成、構成可能なスイッチ、および多機能レバーのボタンの設定に応じて、多くの組み合わせが存在します。

H118577—UN—19DEC16

プログラマブルボタン

3. 起動ボタンの前後傾斜セットポイントを変更するには、必要なプログラマブルボタン C または D を押して、「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」スイッチ (B または C) を使用して前後傾斜を調整します。

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

4. 必要な起動ボタンを 2 秒間押し続けて、必要な設定をメモリに入力します。

H116354—UN—19DEC16

起動番号

コーナーポストディスプレイの起動番号は選択した起動ボタンを示しています。

5. スイッチの上部を押し続けて、フィーダーハウスを前方に傾けるか、スイッチの下部を押し続けて、フィーダーハウスを後方に傾けます。

   フィーダーハウスにリンクされているセンサーに基づいて地面に対するフィーダーハウスの前後傾斜位置がアームレストのディスプレイに表示されます。

   多機能レバーの「Hydraulic Feeder House Fore/Aft Tilt (油圧フィーダーハウス前後傾斜)」スイッチを手動で動かすと、システムは無効になります。

   起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。油圧フィーダーハウス前後傾斜は事前に選択した位置に自動的に移動します。

注記： フィーダーハウスを上昇させてヘッダーを接続すると、フィーダーハウス前後傾斜が自動的に前に移動します。これでフィーダーハウスの安全停止が作動します。下降する際、フィーダーハウス前後傾斜が前回の位置まで自動的に戻ります。

ヘッダーの接続を解除すると、上昇時にフィーダーハウス前後傾斜が自動的に前に移動します。下降する際、フィーダーハウス前後傾斜は前回の位置まで戻りません。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

6. 選択して閉じます。

PR79369,0000471-40-26FEB21

リール位置復帰

Reel Position Resume (リール位置復帰) を使用すると、ベルト、オーガ、カッターバーフロアなどに対するリールの位置を選択して、その位置に自動的に戻すことができます。

以下の場合に変更を行います。

- 同じ圃場で異なる高さの立毛を収穫する場合。
- 垂れ下がった作物のピックアップを補助する場合。
- 刈取りのサイドでカッターバーを清掃する場合。

以下の場合は、設定して作物の流れを最適化します。

- **立毛作物 (高さ感度有効)** — リールが穀物の頭部に少し接触するようにリールをカッターバーの上に配置します。これにより、作物がプラットフォーム内に落下しやすくなります。

  小粒穀類作物では、リールをオーガのやや前に配置して、作物がオーガ内に落下するようにします。リールタインを真下またはやや前方に配置します。リールで作物が回転し始めた場合、リール位置設定が低すぎます。作物が切断される前にリールに当たり、前後に跳ねる場合は、リール速度を遅くします。リール速度が速すぎると、ヘッダーロスが発生します。

- **垂れ下がった作物 (フロートモード有効)**— リールが作物を引き込めるように、リールをカッターバーの前に配置します。リールタインを後方に配置して、作物を持ち上げやすくします。プラットフォームのタイプで作物リフターを使用できる場合は、作物リフターの使用を考慮します。
- **枕地旋回 (高さ復帰有効)** — リールを可能な限りカッターバーの近くに配置します。これにより、枕地旋回中に作物がプラットフォームから落下するのを防止します。

システムは、以下の場合に有効になります：

H116361—UN—19DEC16

リール位置復帰

注記： 「Reel Position Resume (リール位置復帰)」アイコンは、コーナーポストディスプレイに表示されます。

- 正しく装備されたヘッダー (リールポジションセンサー付き) が機械に接続され、キャリブレーションされている。
- エンジン運転中
- フィーダーハウスが接続されている。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

変更手順：

H116962—UN—19DEC16

自動制御

1. ヘッダーアプリケーションで「自動制御」を選択します。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

2. Reel Position Resume (リール位置復帰) の ON/OFF を切り替えます。

注記： 本機の構成、構成可能なスイッチ、および多機能レバーのボタンの設定に応じて、多くの組み合わせが存在します。

H116349—UN—19DEC16

リールリフト

3. リールリフトスイッチを使用して、必要なリール高さを得ます。

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

4. 必要な起動ボタンを 2 秒間押し続けて、必要な設定をメモリに入力します。

注記： 各起動ボタンで、異なるリール位置を保存できます。必要なボタンを 2 秒間押し続けて、リール位置を保存します。

H116361—UN—19DEC16

リール位置復帰

注記： 「Reel Position Resume (リール位置復帰)」アイコンが点滅して、設定点が保存されたことを示します。

H116354—UN—19DEC16

起動番号

コーナーポストディスプレイの起動番号は選択した起動ボタンを示しています。

多機能レバーの「リールリフト」スイッチを手動で動かすと、リール位置は無効になります。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。リールは事前に選択した高さに自動的に動きます。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

5. 選択して閉じます。

PR79369,0000472-40-26FEB21

デッキプレート位置復帰

Deck Plate Position Resume (デッキプレート位置復帰) では、油圧デッキプレートの間隔を選択して、その位置に自動的に戻すことができます。

以下の場合に変更を行います：

以下の場合はデッキプレート間隔を減らします。

- デッキプレートで穂の殻が取れている。

- 洪水や低栄養分が原因で茎が小さい区域の場合。
- 条件が存在する場合にグレンロスやグレンの損傷を減らすため。

以下の場合は、デッキプレート間隔を増やします：

- 過度のごみがコーンヘッドから吸い込まれるためにコンバインの後部から殻が除去されたとうもろこしが出てくる場合。
- とうもろこしの茎が引っ張り上げられる場合。茎がロールに自由に供給されるようにデッキプレートを徐々に開きます。
- グレン以外の材料を減らして、シュー負荷を減らす場合。
- 垂れ下がったとうもろこしをピックアップして、供給を改善し、機械に吸引されるごみの量を減らす場合。
- 刈取りの最後に近づいたときにデッキプレートの周囲に堆積している材料を除去するため。

システムは、以下の場合に有効になります：

- 正しく装備されたヘッダー (デッキプレートセンサー付き) が機械に接続され、キャリブレーションされている。
- エンジン運転中
- フィーダーハウスが接続されている。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

変更手順：

H116962—UN—19DEC16

自動制御

1. ヘッダーアプリケーションで「自動制御」を選択します。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

2. Deck Plate Position Resume (デッキプレート位置復帰) の ON/OFF を切り替えます。

注記：本機の構成、構成可能なスイッチ、および多機能レバーのボタンの設定に応じて、多くの組み合わせが存在します。

H116349—UN—19DEC16

*Reel Lift and Fore/Aft (*リールリフト / リール前後位置*)*

3. 「Reel Lift/Reel Fore/Aft (リールリフト / リール前後)」スイッチを使用して、必要な油圧デッキプレート間隔を得ます。
   - スイッチの左側で間隔を増やします。
   - スイッチの左側で間隔を減らします。

   最小：0

   最大：9

   増分：1

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

4. 必要な起動ボタンを 2 秒間押し続けて、必要な設定をメモリに入力します。

H116362—UN—19DEC16

デッキプレート位置復帰

注記：「Deck Plate Position Resume (デッキプレート位置復帰)」アイコンは、コーナーポストディスプレイに表示されます。

H116354—UN—19DEC16

起動番号

コーナーポストディスプレイの起動番号は選択した起動ボタンを示しています。

多機能レバーの前後位置スイッチを手動で動かすと、デッキプレート復帰は無効になります。

起動ボタン、1、2、または 3 を押して、システムを再起動します。デッキプレートは事前に選択した位置に自動的に移動します。

PR79369,0000473-40-26FEB21

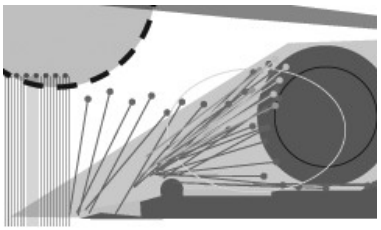
カッターバー位置復帰

カッターバー位置復帰により、保存されているカッターバー位置を多機能レバーのいずれかの起動ボタン 1、2、または 3 にプログラムすることができます。

注記： 立毛の収穫用の標準的な位置や垂れ下がった作物用の別の位置を設定することができます。これにより、すばやく設定を切り替えることができます。カッターバー位置復帰は、欧州の伸縮プラットフォームヘッダーでのみ機能します。

以下の場合に変更を行います：

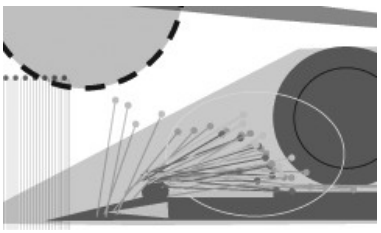
- 背の高い立毛の収穫前のロスを減らします。カッターバーを伸長させます。
- 短い立毛の供給を改善します。カッターバーを収縮します。



H127897—UN—31OCT19

テーブルが短すぎ

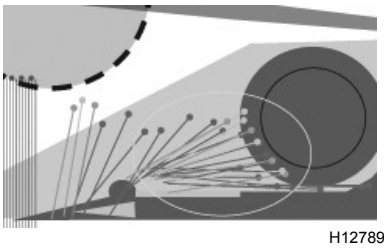
- 作物がオーガに落ちるときの供給の問題について改善します。テーブルが短すぎます。テーブルを伸ばします。



H127898—UN—31OCT19

テーブルが長すぎ

- 作物がオーガーの前に落ちて溜まり始めた場合の供給の問題について改善します。テーブルが長すぎます。テーブルを縮めます。



H127896—UN—31OCT19

最適なテーブル位置

- 作物の供給を最適化します。作物がオーガとフライトの間に落ちます。テーブルが最適な位置にあります。

変更手順：

H116962—UN—19DEC16

自動制御

1. ヘッダーアプリケーションで「自動制御」を選択します。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

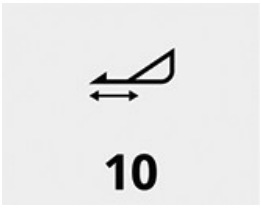
2. カッターバー位置復帰の ON/OFF を切り替えます。

H116168—UN—19DEC16

アラートアイコン

注記： 所定の自動化オプションに問題があり、有効にできない場合、切り替えスイッチは通常の問題アラートアイコンボタンに置き換えられます。このボタンを選択すると、問題のトラブルシューティングに役立つ情報を含むメッセージダイアログが表示されます。

注記： 本機の構成、構成可能なスイッチ、および多機能レバーのボタンの設定に応じて、多くの組み合わせが存在します。



H114081—UN—19DEC16

カッターバー位置

3. 「カッターバー位置」の下の画面領域を選択して、カッターバー位置ページを開きます。

H116150—UN—20DEC16

調整

4. (+) / (-) を選択して必要な位置を増減します。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

5. 選択して閉じます。

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

6. 必要な起動ボタンを 2 秒間押し続けて、必要な設定をメモリに入力します。

H116354—UN—19DEC16

起動番号

コーナーポストディスプレイの起動番号は選択した起動ボタンを示しています。

変更の代替手順：

注記： コンバインでは、アームレストディスプレイで作物高さと必要な刈株高さを入力できます。このデータと入力された収穫済み作物量を使用して、コンバインは最適な操作のための刈り取り表のプリセットを作成できます。

注記： ウィザードはこのオーバーレイを通じてアクセスするか、「情報と設定」から起動できます。

H116151—UN—19DEC16

カッターバーウィザード

1. カッターバーウィザードを開始します。

H116152—UN—19DEC16

入力ボックス

2. 数値パッドを開いて必要な作物高さを入力します。

H116152—UN—19DEC16

入力ボックス

3. 数値ボックスを開いて、必要な刈株高さを入力します。

H116154—UN—19DEC16

保存

- オーバーレイを閉じて、位置設定を更新します。

H116153—UN—19DEC16

キャンセル

- 位置設定を更新しないでウィザードを終了します。

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

4. 必要な起動ボタンを 2 秒間押し続けて、必要な設定をメモリに入力します。

H116354—UN—19DEC16

起動番号

コーナーポストディスプレイの起動番号は選択した起動ボタンを示しています。

PR79369,00004B1-40-08MAR21

自動リール回転数

自動リール回転数を使用すると、保存リール回転数またはベルトピックアップ速度を多機能レバーのヘッダー起動ボタンのいずれかにプログラムできます。立木の収穫用に標準速度を設定してから垂れ下がった作物用に別の速度を設定できます。これにより、すばやく設定を切り替えることができます。

注記： ヘッダー自動化が有効な場合、自動リール回転数設定は自動的に保存されます。

以下の場合に変更を行います：

- 垂れ下がった作物をピックアップする場合。最小速度は、条件やオペレータに応じて変わります。
- 作物がリールによって脱穀されている場合。自動リール回転数を減らしてリールを減速します。
- 作物がリールによって押し倒されている。自動リール回転数を増やしてリールを加速します。

システムは、以下の場合に有効になります：

- 正しく装備されたヘッダーが機械に接続されている。
- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- 自動リール速度 ON。
- ヘッダーとセパレータが接続されている。
- 走行速度が 0.25 km/h (0.16 mph) を超えている場合。

変更手順：

H116962—UN—19DEC16

自動制御

1. ヘッダーアプリケーションで「自動制御」を選択します。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

2. 選択すると自動リール回転数の ON/OFF が切り替わります。

H116168—UN—19DEC16

アラートアイコン

注記： 所定の自動化オプションに問題があり、有効にできない場合、切り替えスイッチは通常の問題アラートアイコンボタンに置き換わります。このボタンを選択すると、問題のトラブルシューティングに役立つ情報を含むメッセージダイアログが表示されます。

注記： 本機の構成、構成可能なスイッチ、および多機能レバーのボタンの設定に応じて、多くの組み合わせが存在します。

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

3. 必要な起動ボタンを押します。

注記： 自動リール回転数は、既知の前回の調整設定に戻ります。

H116360—UN—19DEC16

自動リール回転数

注記： コーナーポストディスプレイに自動リール回転数アイコンが表示されます。

H116352—UN—20DEC16

リール回転数ダイヤル

4. リール回転数ダイヤルで速度を変更します。
   - 調整ダイヤルを時計周りに回すと速度が上がります。
   - 調整ダイヤルを反時計周りに回すと速度が下がります。

   最小：0

   最大：50

   増分：1

注記： 立木作物用の推奨比率は 4 で、垂れ下がった作物用の推奨比率は 11 です。

H118305—UN—19DEC16

数値表示

コーナーポストディスプレイの数値表示は、現在の速度比設定を示しています。

H116352—UN—20DEC16

リール回転数ダイヤル

注記： リール回転数ダイヤルで速度を変更すると事前に選択した設定が変わります。事前に選択した設定に戻すには、プログラムした起動ボタンを押します。

注記： 選択した比率が大きいほど、本機の移動速度に対してリールの動きが速くなります。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

5. 選択して閉じます。

PR79369,0000474-40-26FEB21

自動ドレーパーベルト速度

自動ドレイパベルト速度を使用すると、多機能レバーのヘッダー起動ボタンのいずれかに保存サイドベルト速度をプログラムできます。立木の収穫用に標準サイドベルト速度を設定してから垂れ下がった作物用に別の速度を設定できます。これにより、すばやく設定を切り替えることができます。ドレーパーベルト速度は本機の移動速度に比例します。

注記： 自動ドレーパーベルト速度はドレーパープラットフォームのみに使用されます。ベルトピックアッププラットフォームのベルト速度復帰プレファレンスについて詳しくは、自動リール回転数を参照してください。

ヘッダー自動化が有効な場合、自動ドレイパベルト速度設定は自動的に保存されます。

以下の場合に変更を行います：

- 供給性能が低い。
- ベルト速度を上げる必要があります。

システムは、以下の場合に有効になります：

- 正しく装備されたヘッダーが機械に接続されている。
- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- 自動ドレイパベルト速度システムが ON です。
- ヘッダーとセパレータが接続されている。
- 走行速度が 0.25 km/h (0.16 mph) を超えている場合。

変更手順：

H116962—UN—19DEC16

自動制御

1. ヘッダーアプリケーションで自動制御を選択します。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

2. 選択すると自動リール回転数の ON/OFF が切り替わります。

H116168—UN—19DEC16

アラートアイコン

注記： 所定の自動化オプションに問題があり、有効にできない場合、切り替えスイッチは通常の問題アラートアイコンボタンに置き換わります。このボタンを選択すると、問題のトラブルシューティングに役立つ情報を含むメッセージダイアログが表示されます。

注記： 本機の構成、構成可能なスイッチ、および多機能レバーのボタンの設定に応じて、多くの組み合わせが存在します。

3. 必要な起動ボタンを押します。

H116346—UN—19DEC16

起動ボタン

注記： 自動ドレーパーベルト速度は、既知の前回の調整設定に戻ります。

H113541—UN—19DEC16

ヘッダーアプリケーション

4. ヘッダーアプリケーションにアクセスします。

H131361—UN—02SEP20

ベルト速度

5. ヘッダーメインページでベルト速度アイコンを選択します。ドレーパーベルト速度ウィンドウが開きます。

H116148—UN—20DEC16

調整

6. 画面のソフトキーを使用して速度を変更します。
   - プラス (+) ソフトキーを押すと速度が上がります。
   - マイナス (+) ソフトキーを押すと速度が下がります。

   最小：0

   最大：10

   増分：1

H116149—UN—19DEC16

入力ボックス

画面の入力ボックスに現在の速度比設定が表示されます。

注記： ソフトキーを使用して速度を変更すると事前に選択した設定が変わります。事前に選択した設定に戻すには、プログラムした起動ボタンを押します。

注記： 選択した比率が大きいほど、本機の移動速度に対してベルトの動きが速くなります。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

7. 選択して閉じます。

PR79369,0000475-40-26FEB21

HydraFlex™ 圧力

HydraFlex™ 圧力により、プラットフォームの地面追従性能を最適化し、作物の刈取り高さに影響を与えることなくカッターバーの接地圧力を変えることができます。

以下の場合に変更を行います：

- 高さ検出アームを使用して、地面から離れて刈り取りする場合。HydraFlex™ 圧力を増やして、カッターバーを強固な位置に固定できます。
- カッターバーが押している場合は、圧力を増やします。
- カッターバーが作物の上部に乗り上げる場合または未刈取りの作物を残す場合は、圧力を減らします。

変更手順：

H114076—UN—19DEC16

HydraFlex™ 圧力

1. HydraFlex™ 圧力の下の画面領域を選択して、HydraFlex™ 圧力ページを開きます。

H116142—UN—20DEC16

調整

2. (+) / (-) を選択して必要な圧力を増減します。
   - 最小：0

HydraFlex は Deere & Company の商標です。

- 最大：20 684 kPa (207 bar) (3000 psi)
- 増分：345 kPa (4 bar) (50 psi)
- 既定値なし

H116648—UN—19DEC16

閉じる

3. 選択して閉じます。

推奨設定 (600FD および 700FD)：

- 6894 kPa (69 bar) (1000 psi)、固い地面条件の場合。
- 8963 kPa (90 bar) (1300 psi)、通常の地面条件の場合。
- 11 031 kPa (110 bar) (1600 psi)、軟らかい地面条件の場合。

推奨設定 (600F)：

- 7584 kPa (76 bar) (1100 psi)、固い地面条件の場合。
- 8963 kPa (90 bar) (1300 psi)、通常の地面条件の場合。
- 11 721 kPa (117 bar) (1700 psi)、軟らかい地面条件の場合。

変更の代替手順：

H116143—UN—19DEC16

入力フィールド

1. ナビゲーションバーとアームレストの調整ダイヤルを起動します。

H115035—UN—14MAR16

ナビゲーションバーの調整ダイヤル

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. ナビゲーションバーまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して必要な設定を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

PR79369,0000476-40-26FEB21

ドレーパーベルト速度

Draper Belt Speed (ドレーパーベルト速度) では、サイドドレーパーベルトの速度を制御します。ベルト速度を一般的な作物条件に合わせて設定し、 サイドドレーパーベルト全体で 均一な作物材の分配が得られるように調整します。

注記： 供給の問題が発生した場合は、一般に最高ベルト速度で開始して速度を下げるのが最良です。

以下の場合は、ベルト速度を増やします：

- サイドベルトの重負荷が発生した場合。
- センターベルト両側に沿って材料の重負荷が発生した場合。
- フィードドラムやフィーダーハウスの過度の詰まりが発生した場合。
- サイドドレーパーベルトにより作物がプラットフォームの下に引っ張られる場合。
- 大量の材料がベルトに堆積してナイフをブロックし、刈り取られなかった作物が立ったまま残される場合。

以下の場合は、ベルト速度を減らします：

- 反対側のサイドドレーパーベルトの下に作物が供給される場合。
- 長い緑のわら / 茎のシャッターロスを減らしたい場合。

変更手順：

H114075—UN—19DEC16

ドレーパーベルト速度

1. ドレーパーベルト速度の下の画面領域を選択して、ドレーパーベルト速度ページを開きます。

H116145—UN—19DEC16

標準

2. トグルボタンを使用して、必要なベルトモードを選択します。

H116144—UN—19DEC16

減速

注記： プラットフォームの全幅を使用して収穫していない場合は、Reduced Speed (減速) を使用します。

注記： Reduced Speed (減速) モードでは、ベルトは工場初期設定値まで減速され、ドレーパーベルト速度アイコンの下で亀アイコンが点滅します。

注記： ベルト速度を増やすと、Reduced Speed (減速) は無効になります。

H116146—UN—20DEC16
調整

3. (+) / (-) を選択して必要な速度を増減します。

   最小：0

   最大：240 rpm

   増分：10 rpm

   既定値なし

H116648—UN—19DEC16
閉じる

4. 選択して閉じます。

推奨設定：

160—220 n/min

一般に高速なベルト速度は過酷な作物条件で必要です。

変更の代替手順：

H116147—UN—19DEC16
入力フィールド

1. ナビゲーションバーとアームレストの調整ダイヤルを起動します。

H115035—UN—14MAR16
ナビゲーションバーの調整ダイヤル

H115034—UN—28MAR16
アームレストの調整ダイヤル

2. ナビゲーションバーまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して必要な設定を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

PR79369,0000477-40-26FEB21

ドレーパーフロート位置

Draper Float Position (ドレーパーフロート位置) では、ゲージホイールとセンターセクションのシリンダ内の圧力を制御します。

注記： 数字を高くするとヘッダーが軽くなり、ゲージホイール / センターセクションフロートへの油圧が高くなります。数字を低くすると、フロートシステムへの圧力が減少し、ヘッダーは重くなります。

以下の場合に変更を行います：

オフグラウンド刈り取り専用：

- 不要な地面接触を減らしたい場合。フロート設定を増やします。
- 波状の刈り取りを減らしたい場合。フロート設定を減らします。
- 変化する地面条件に対するヘッドの反応が遅い場合。フロート設定を減らします。

垂れ下がった作物の場合：

- 軟らかい地面条件で時々見られるようにヘッダーが材料をカッターバーの前に押し始めている場合。フロート設定を増やします。
- 固い地面条件で時々見られるようにヘッダーが未刈り取り材料をカッターバーの後に残し始めている場合。フロート設定を減らします。

変更手順：

H116130—UN—19DEC16

ドレーパーフロート位置

1. ドレーパーフロート位置の下の画面領域を選択して、ドレーパーフロート位置ページを開きます。

H116148—UN—20DEC16

調整

2. (+) / (-) を選択して必要な位置を増減します。

   最小：1

   最大：10

   既定値 5

   増分：1

H116648—UN—19DEC16

閉じる

3. 選択して閉じます。

変更の代替手順：

H116149—UN—19DEC16

入力フィールド

1. ナビゲーションバーとアームレストの調整ダイヤルを起動します。

H115035—UN—14MAR16

ナビゲーションバーの調整ダイヤル

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. ナビゲーションバーまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して必要な設定を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

PR79369,0000478-40-26FEB21

カッターバー傾斜

Cutterbar Tilt (カッターバー傾斜) では、プラットフォームの残りの部分に対するカッターバーの角度を調整して収穫能力を最適化します。

以下の場合に変更を行います：

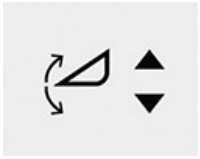
カッターバーを前方に傾ける：

- 垂れ下がった作物のピックアップを補助する場合。
- 地面の近くで収穫する場合。

カッターバーを後方に傾ける：

- 石、埃、異物のピックアップを防止する場合。地面上で刈り取り中にヘッドを水平にする場合。
- 刈り取って堆積した作物のカッターバーからの落下やカッターバーでのグレンヘッドのロスを防止する場合。

変更手順：



H114077—UN—19DEC16

カッターバー傾斜

1. カッターバー傾斜の下の画面領域を選択して、カッターバー傾斜ページを開きます。

H116155—UN—20DEC16

調整

2. カッターバーを上下に傾けます。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

3. 選択して閉じます。

PR79369,0000479-40-26FEB21

デッキプレート間隔

Deck Plate Spacing (デッキプレート間隔) では、作物条件に合わせてデッキプレート開口を調整します。

以下の場合に変更を行います：

- 圃場を切り替えるまたは同じ圃場で条件が変わる場合。

以下の場合はデッキプレート間隔を減らします。

- デッキプレートで穂の殻が取れている。
- ヘッダーロスは、穂の根元部分におけるグレンシェリング (殻の除去) として確認されてきました。
- グレンの損傷がコーンヘッドで見つかる場合。デッキプレート間隔を減らして、穂のクッションを提供する場合。
- 細い茎の供給を最適化する場合。

以下の場合は、デッキプレート間隔を増やします：

- 過度のごみがコーンヘッドから吸い込まれるためにコンバインの後部から殻が除去されたとうもろこしが出てくる場合。
- コーンヘッドがとうもろこしの茎と穂を引っ張り上げている場合。茎がロールに自由に供給されるようにデッキプレートを徐々に開きます。
- とうもろこしが茎を押し倒している場合。
- 大径の茎用に供給を最適化したい場合。

変更手順：

H116349—UN—19DEC16

デッキプレート間隔スイッチ

- スイッチの左側を押すと、プレート間隔が増加します。
- スイッチの右側を押すと、間隔が減少します。

H116362—UN—19DEC16

デッキプレート間隔

注記： 多機能レバーのスイッチの左側または右側を押すと、コーナーポストディスプレイで「Deck Plate Spacing (デッキプレート間隔)」アイコンが起動します。

最小：0

最大：9

増分：1

注記： 電動デッキプレート間隔機能付きヘッドでデッキプレート間隔調整を行うには、「詳細設定」に進み、「サードパーティ製デッキプレートの無効化」オプションを選択する必要があります。

有効にすると、アプリケーションの「デッキプレート間隔」フレームをタップして、条件付きで利用可能な読み出し値が入力された調整オーバーレイを表示できます。

PR79369,000047A-40-26FEB21

バックシャフト速度

バックシャフト速度を調整することにより、走行速度および機械で収穫している材料の量に合わせてヘッダーの供給速度を最適化できます。

以下の場合に変更を行います：

以下の場合は、バックシャフト速度を増やします。

- 茎で垂れ下がりが発生している場合。
- 地面から茎を引っ張り出している場合。

注記： 高速な収穫速度および大量の材料を取得して駆動部品への負荷を減らすには、高いバックシャフト速度をお勧めします。

以下の場合は、バックシャフト速度を減らします。

- 茎が折れてセパレータ内に取り込まれている場合。
- 穂がデッキプレートに当たる速度が速すぎるため、ぶつかって殻の剥がれ (バットシェリング) が発生している場合。

注記： バックシャフト速度を下げることで、収穫量の少ない材料を収穫する際に、耳の跳ね返りやヘッダー内で遊離グレンの発生を抑制できます。

変更手順：

H116349—UN—19DEC16

バックシャフト速度スイッチ

- スイッチの上部を押して、ギヤ選択やバックシャフト回転速度を増やします。
- スイッチの下部を押して、ギヤ選択やバックシャフト回転速度を遅くします。

H118498—UN—19DEC16

数値表示

注記： 多機能レバーのスイッチの左側または右側を押すと、コーナーポストディスプレイで数値表示が起動します。

注記： CommandTouch™ フィーダーハウス多速度駆動専用。

フィーダーハウス下部シャフト速度	
固定速度 (装備されている場合)	490 rpm
ヘビーデューティ可変速度 (装備されている場合)	490-750 rpm
ハイトルクバリアブルスピード (装備されている場合)	490-750 rpm
マルチスピード (装備されている場合)	**1 速** : 490 rpm **2 速** : 550 rpm **3 速** 600 rpm **4 速** : 670 rpm **5 速** : 750 rpm

PR79369,000047B-40-26FEB21

カッターバー位置

カッターバー位置調整により、カッターバーの位置を調整できます。

注記： 欧州の伸縮プラットフォームヘッダーでのみ機能します。

以下の場合に変更を行います：

- 背の高い立毛の収穫前の口スを減らします。カッターバーを伸長させます。
- 短い立毛の供給を改善します。カッターバーを収縮します。

CommandTouch は John Deere の商標です。

変更手順：

H114081—UN—19DEC16

カッターバー位置

1. カッターバー位置の下の画面領域を選択して、カッターバー位置ページを開きます。

H116150—UN—20DEC16

調整

2. (+) / (-) を選択して必要な位置を増減します。

H116648—UN—19DEC16

閉じる

3. 選択して閉じます。

変更の代替手順：

注記： コンバインでは、アームレストディスプレイで作物高さと必要な刈株高さを入力できます。このデータと入力された収穫済み作物量を使用して、コンバインは最適な操作のための刈り取り表のプリセットを作成できます。

注記： ウィザードはこのオーバーレイを通じてアクセスするか、情報と設定から起動できます。

H116151—UN—19DEC16

カッターバーウィザード

1. ウィザードを開始します。

H116152—UN—19DEC16

入力ボックス

2. 数値パッドを開き、必要な作物高さを入力します。

H116152—UN—19DEC16

入力ボックス

3. 数値パッドを開き、必要な刈株高さを入力します。

H116154—UN—19DEC16

保存

- オーバーレイを閉じ、位置設定を更新します。

H116153—UN—19DEC16

キャンセル

- 位置設定を更新しないでウィザードを終了します。

PR79369,00004B2-40-08MAR21

詳細設定

詳細設定から、詳細な調整や特殊な設定にアクセスできます。

詳細設定ページでアクセスできる項目：

N118434—UN—22JAN20

チェックボックス

取り付け済みのオプション装置 — 現在ヘッダーに取り付けられているオプションのヘッダー装置の各部分を選択します。

注記： 取り付け済みのオプションを選択すると、適切なサスペンション挙動が確保されます。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

リンプホームモード — トグルボタンを使って有効 / 無効にします。

H114786—UN—10JAN17

チェックボックス

デッキプレートオーバーライド — 電動デッキプレート間隔調整機能を使用してヘッドのデッキプレート間隔の調整を行うことができます。このオプションを有効にすると、ヘッダーアプリケーションのデッキプレート間隔アイコンを選択してデッキプレート間隔調整ページを表示できます。

PR79369,000047C-40-11MAY21

リンプホームモード

システム故障が見つかった場合に、折りたたみ、起動、走行、輸送を継続することができます。

使用可能なリンプホームモード：

- Fore/Aft Tilt (前後傾斜)
- リールとカッターバー
- 折りたたみ式コーンヘッド
- ウィング制御

以下の場合に変更を行います：

機械の故障が発生し、機械部品を引き続き機能させて以下の作業を実行する必要がある場合は、「Limp Home mode (リンプホームモード)」チェックボックスをオンにします。

- 収穫を続ける場合。
- 道路で輸送する場合。トレーラーに積み込む場合。
- 機械を建物内に配置する場合。

変更手順：

注記： リンプホームモードは、センサーが故障した場合、または故障コードが存在する場合にのみ表示されます。

N118004—UN—22OCT15

詳細

1. 詳細設定を選択して、詳細な調整や特殊な設定にアクセスします。

H116165—UN—19DEC16

ON/OFF

2. Limp Home Mode (リンプホームモード) の ON/OFF を切り替えます。

注意： **Limp Home Mode (リンプホームモード) を ON にする場合、ユーザーは機械部品の衝突のリスクを受け入れるものとします。**

閉じる

H116648—UN—19DEC16

3. 選択して閉じます。

PR79369,000047D-40-26FEB21

Grain Handling (グレン処理) へのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2. 「Machine Settings (機械の設定)」タブ

H114773—UN—10JAN17

グレン処理

3. グレン処理

ナビゲーションバーからのアプリケーションへのアクセス：

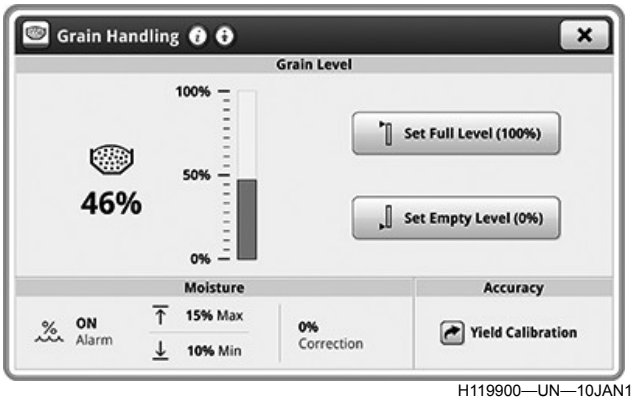
H114775—UN—10JAN17

グレン処理

ディスプレイ下のナビゲーションバーの「グレン処理」ボタンを押します。

N0LMWLO,0000354-40-16JUL20

グレン処理メインページ



H119900—UN—10JAN17

グレン処理

注記： アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

表示されているメインページは例のみを目的としています。オプションや接続されている装置に応じて、メインページは異なる場合があります。

Grain Handling (グレン処理) アプリケーションを使用して、グレンレベルの設定、水分、精度にアクセスして変更できます。Advanced Settings (詳細設定) を使用して、Grain Level Auto Beacon (グレンレベルオートビーコン)、Tank Unloading Offset (タンクアンローディングオフセット)、および Custom Level Alarm (カスタムレベルアラーム) を変更します。

注記： 下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

H114778—UN—10JAN17

水分

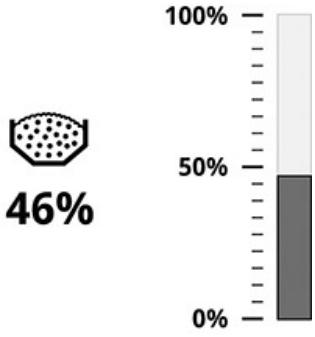
グレン処理メインページでアクセスできる項目：

Moisture (水分)— 水分アラームの有効化または無効化、最大 / 最小水分アラームの設定、水分補正の設定を行います。

H114779—UN—10JAN17

*Yield Calibration (*収穫量キャリブレーション*)*

Accuracy (精度)— Yield Calibration (収穫量キャリブレーション) にアクセスします。



H115000—UN—10JAN17

グレンレベル

グレンレベルの項目

グレンレベル — 現在のグレンタンクレベルを表示します。

H114776—UN—10JAN17

満杯レベルの設定

満タンレベルの設定— グレンタンクの満タンレベルを設定します。

H114777—UN—10JAN17

*Set Empty Level (*空レベルの設定*)*

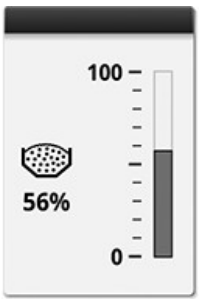
Set Empty Level (空レベルの設定)— グレンタンクの空レベルを設定します。

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

Advanced Settings (詳細設定) の項目

詳細設定 — 詳細な調整や特殊な設定にアクセスできます。



H116266—UN—31JAN17

グレンレベル

実行モジュール

レイアウトマネージャーを使用して、このアプリケーションのモジュールを実行に追加することができます。

例：

Grain Level (グレンレベル)— Grain Level (グレンレベル) アプリケーションに直接アクセスできます。

注記： 使用するアプリケーションに応じて異なるモジュールを使用できます。

PR79369,00003B2-40-02FEB21

詳細設定

詳細設定から、詳細な調整や特殊な設定にアクセスできます。

詳細設定ページでアクセスできる項目：

H114785—UN—10JAN17

チェックボックス

グレンレベルオートビーコン — グレンタンクが満タンの 3/4 または満タンになったらビーコンライトが点灯します。

H126193—UN—24APR19

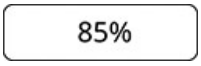
オフセット

タンクアンローディングオフセット — すべてのグレンがグレンタンクから除去されない場合、またはグレンタンクを空にした後にアンローディングオーガが作動し続ける場合は、グレンタンクの空のレベルを調整します。

H113848—UN—04JAN17

カスタムアラームレベル

カスタムアラームレベル — 選択したグレンレベルに一致すると、メッセージが表示されます。



H119129—UN—10JAN17

カスタムアラームレベル入力ボックス

カスタムアラームレベル入力ボックス — カスタムアラームレベルを編集します。

PR79369,00003B3-40-12MAY21

詳細設定 | グレンレベルオートビーコン

グレンタンクが満タンの 3/4 または満タンになったら、Grain Level Auto Beacon (グレンレベルオートベーコン) が点灯します。

以下の場合に変更を行います：

- Grain Level Auto Beacon (グレンレベルオートビーコン) を有効または無効にする場合。
- グレンタンクが満タンの 3/4 または満タンである信号を出力する場合。

変更手順：

H114785—UN—10JAN17

チェックボックス

グレンレベルオートビーコンを有効または無効にします。

PR79369,00003B4-40-02FEB21

詳細設定 | タンクアンローディングオフセット

Tank Unloading Offset (タンクアンローディングオフセット) を使用すると、すべてのグレンがグレンタンクから除去されない場合、またはグレンタンクを空にした後にグレンレベルが 0% と表示されない場合に、グレンタンクの空のレベルを調整できます。種々の作物、重量、水分はグレンタンクレベルセンサーの読み値に影響を与えます。

以下の場合に変更を行います:

- グレンタンクレベルの読み値が 0% になった後、グレンがタンクに残っている場合。
- グレンタンクレベルの読み値が 0% になる前にグレンタンクが空になる場合。

変更手順:

- グレンタンクレベルの読み値が 0% のときに穀粒がタンクに残っている場合は、オフセット値を減らします。
- グレンタンクレベルの読み値が 0% になる前にグレンタンクが空になっている場合は、オフセット値を増やします。

H114780—UN—10JAN17

減少

値を減らします。

H114781—UN—10JAN17

増加

値を増やします。

最小：-15 bu/sec

最大：15 bu/sec

増分：(+/-) 0.5 bu/sec

PR79369,00003B5-40-02FEB21

詳細設定|カスタムアラームレベル

カスタムアラームレベルを使用すると、選択したグレンレベルに一致した場合にメッセージを画面に表示できます。

以下の場合に変更を行います:

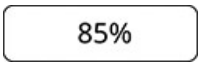
- カスタムアラームレベルを有効または無効にする場合。
- 満タンの 3/4 または満タン以外のグレンタンクレベルの追加の早期通知を設定します。
- 下側のアラームしきい値を設定します。

変更手順:

H114769—UN—22OCT15

ON/OFF

1. カスタムアラームレベルを有効または無効にします。



H119129—UN—10JAN17

入力ボックス

2. テンキーを開き、必要な値を入力します。

H114789—UN—10JAN17

OK

3. 「OK」を選択して値を保存します。

注記： カスタムアラームレベルの条件が満たされると、メッセージが画面に表示されます。メッセージは、ディスプレイの「ステータスセンター」で確認できます。

PR79369,00003B6-40-11MAY21

グレンレベル

グレンレベル を使用すると、グレンレベルの読み値が正しくない場合に、正しいグレンタンク満タンレベルやグレンタンク空レベルを設定できます。

以下の場合に変更を行います:

- 丘の多い条件で作業しているときにグレンが側方にあふれ出ている場合。下側グレンタンクレベルを設定します。
- グレンタンク満杯で、グレンレベルを 100% に設定します。"満タンレベルの設定" ボタンを選択して、100% の読み値をキャリブレーションします。
- グレンタンクは空ですが、システムはまだ荷降ろし

中です。"空レベルの設定" ボタンを選択して、空の読み値をキャリブレーションします。

変更手順：

H114776—UN—10JAN17

満杯レベルの設定

- グレンタンク満タンレベルを保存します。

H114777—UN—10JAN17

Set Empty Level (空レベルの設定)

- グレンタンクゼロレベルを保存します。

注記： 空レベルの設定を選択すると、タンクアンローディングオフセットが自動的に調整されます。

注記： グレンレベル 3/4 および満タンビーコンはグレンレベルに基づいて調整されます。

PR79369,00003B7-40-02FEB21

水分の設定

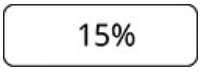
Moisture Settings (水分の設定) を使用すると、水分アラームの有効化 / 無効化、最大 / 最小水分アラームの設定、水分補正の設定、「Use Fixed Moisture (固定水分の使用)」の有効化 / 無効化を行うことができます。

H113848—UN—04JAN17

ON/OFF

水分の設定ページでアクセスできる項目：

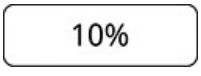
ON/OFF— Moisture Alarm (水分アラーム) を有効または無効にします。



H119131—UN—10JAN17

最大水分値

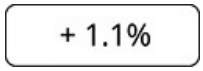
Maximum Moisture (最大水分)— 水分アラームを起動する上限。



H119130—UN—10JAN17

最小水分値

Minimum Moisture (最小水分)— 水分アラームを起動する下限。



H119132—UN—10JAN17

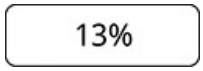
補正値

Correction (補正)— 証明済みの水分読み値に合わせるために必要な補正量。

H114786—UN—10JAN17

オフ

Use Fixed Moisture (固定水分を使用)— 固定水分を有効または無効にします。



H119133—UN—10JAN17

固定水分値

Use Fixed Moisture (固定水分を使用)— 固定水分レベル。

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

詳細設定 — 詳細な水分設定調整や特殊な設定にアクセスできます。

PR79369,00003B8-40-02FEB21

水分アラーム

Moisture Alarm (水分アラーム) を使用すると、水分値が最低設定未満なるか最高設定を超過した場合に鳴る水分アラームを有効または無効にできます。

以下の場合に変更を行います：

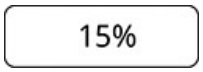
- Moisture Alarm (水分アラーム) を有効または無効にする場合。
- 最小水分割合を調整する場合。
- 最大水分割合を調整する場合。

H114769—UN—22OCT15

ON/OFF

変更手順：

- Moisture Alarm (水分アラーム) を有効または無効にします。



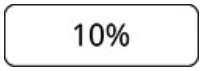
H119131—UN—10JAN17

最大

- 水分の割合が値を超えた場合にアラームが鳴る割合を設定します。

  最小：1%

  最大：60%



H119130—UN—10JAN17

最小

- 水分の割合が値を下回った場合にアラームが鳴る割合を設定します。

  最小：1%

  最大：50%

注記： 最大水分割合は、最小水分割合よりも高く設定する必要があります。

SS43267,00008BA-40-17JAN17

水分補正

Moisture Correction (水分補正) を使用すると、Moisture Correction (水分補正) と Fixed Moisture (固定水分) 間で切り替える、コンバインの水分センサーで測定した水分割合がエレベータの証明済み水分と異なる場合に値を調整する、水分センサーの読み値を無効にしてあらかじめ設定した水分値を適用するなどを行うことができます。

以下の場合に変更を行います：

- 水分補正と固定水分間で切り替える場合。
- 証明済みの水分読み値に合わせるために必要な補正量を変更する場合。
- 固定水分が有効な場合に使用する固定水分レベルを変更する場合。

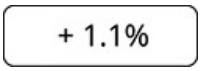
水分補正の手順：

水分補正をコンバイン水分センサーとエレベータ証明書付き水分センサーとの差に設定します。{例：エレベータ水分 (13%) - コンバイン測定水分 (12%) = 水分差 (+1%)}

H114785—UN—10JAN17

オン

1. 固定水分を使用をオンにしている場合は、チェックボックスをオフにして、補正を有効にします。



H119132—UN—10JAN17

値

2. テンキーを開き、必要な値を入力します。

H114789—UN—10JAN17

OK

3. 「OK」を選択して値を保存します。

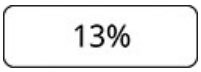
注記： 水分補正は正または負の数値です。

H114786—UN—10JAN17

オフ

固定水分の手順

1. 「Use Fixed Moisture (固定水分を使用)」をオフにしている場合は、チェックボックスをオンにして有効にします。



H119133—UN—10JAN17

値

2. テンキーを開き、必要な値を入力します。

H114789—UN—10JAN17

OK

3. 「OK」を選択して値を保存します。

PR79369,00003B9-40-02FEB21

ステータスセンター

Status Center (ステータスセンター) では、Grain Handling (グレン処理) 機能のステータスが表示され、この機能にすばやくアクセスできます。詳しくは、「ディスプレイの概要」を参照してください。

ステータスセンターでグレン処理についてアクセスできる項目：

H116268—UN—10JAN17

アンローディングオーガ

アンローディングオーガ振り出し済み — オーガは外に出ています。

H125880—UN—14MAR19

アンローディングオーガ作動中

アンローディングオーガ作動中 — オーガは現在アンローディング中です。

H119800—UN—06JUN19

グレンレベル

グレンレベル— 4/4 と表示されます。

H116267—UN—10JAN17

グレンレベル

グレンレベル — 3/4 と表示されます。

注記： 「空レベルの設定」を選択すると、タンクアンローディングオフセットが自動的に調整されます。

注記： グレンレベル 3/4 および満タンビーコンはグレンレベルに基づいて調整されます。

PR79369,00003BA-40-02FEB21

折りたたみアプリケーション

折りたたみへのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2. 「Machine Settings (機械の設定)」タブ

H114607—UN—10JAN17

折りたたみ

3. 折りたたみ

ナビゲーションバーからのアプリケーションへのアクセス：

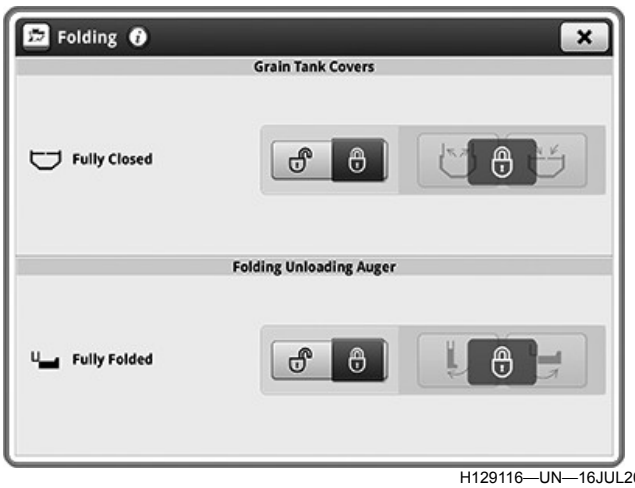
H115016—UN—22MAR16

折りたたみ

ディスプレイ下のナビゲーションバーの「折りたたみ」ボタンを押します。

PR79369,00003C2-40-03FEB21

折りたたみメインページ



H129116—UN—16JUL20

折りたたみ

注記：アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

表示されているメインページは例のみを目的としています。オプションや接続されている装置に応じて、メインページは異なる場合があります。

Folding (折りたたみ) アプリケーションを使用して折りたたみ式装置を操作します。

「折りたたみ」メインページでアクセスできる項目：

注記：下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

グレンタンクカバーの項目：

H114615—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

グレンタンクカバー— グレンタンクカバーの折りたたみ機能ボタンをロックまたはロック解除します。

H127217—UN—26SEP19

コンテンツブロッカー

コンテンツブロッカー— ロック済みステータスを示します。機能の誤作動を防止します。押し続けて解除します。

ファウンテンオーガの項目：

H114615—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

ファウンテンオーガ— ファウンテンオーガの折りたたみ機能のボタンをロック / ロック解除します。

H127220—UN—26SEP19

コンテンツブロッカー

コンテンツブロッカー— ロック済みステータスを示します。機能の誤作動を防止します。押し続けて解除します。

アンローディングオーガの折りたたみの項目：

H114615—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

折りたたみ式アンローディングオーガ— 折りたたみ式折りたたみ式アンローディングオーガ機能をロック / ロック解除します。

H127221—UN—26SEP19

コンテンツブロッカー

コンテンツブロッカー— ロック済みステータスを示します。機能の誤作動を防止します。押し続けて解除します。

伸縮プラットフォームの項目：

H114615—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

ヘッダー輸送位置 — 伸縮式プラットフォームについて輸送準備状況ボタンのロックとロック解除を切り替えます。

H131800—UN—03DEC20

コンテンツブロッカー

コンテンツブロッカー— ロック済みステータスを示します。機能の誤作動を防止します。押し続けて解除します。

折りたたみ式コーンヘッド項目 (John Deere モデル)：

H114615—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

折りたたみ式コーンヘッド— コーンヘッドについて折りたたみ機能ボタンのロックとロック解除を切り替えます。

H116240—UN—06JAN17

コンテンツブロッカー

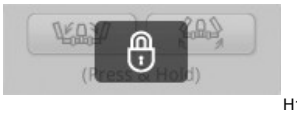
コンテンツブロッカー— ロック済みステータスを示します。機能の誤作動を防止します。押し続けて解除します。

折りたたみ式コーンヘッド項目 (John Deere モデル以外):

H114615—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

折りたたみ式コーンヘッド— コーンヘッドについて折りたたみ機能ボタンのロックとロック解除を切り替えます。



H127219—UN—26SEP19

コンテンツブロッカー

コンテンツブロッカー— ロック済みステータスを示します。機能の誤作動を防止します。押し続けて解除します。

手動制御オーバーレイ：

H116669—UN—30JAN17

手動制御

手動制御— 異常状態により、コントロールフレームに「手動制御」アイコンリンクの押しボタンが表示されます。

注記： これは、ポジションセンサーの問題またはその他の問題によって影響を受けるサブシステムに適用されます。

PR79369,00003BB-40-05MAR21

グレンタンクカバー

グレンタンクカバーアプリケーションを使用すると、キャブ内でグレンタンクカバーを開閉できます。

注意： 送電線との接触を回避してください。機械を輸送する前に、グレンタンクカバーを閉める必要があります。

重要： グレンタンクカバーを閉じる前にグレンを降ろします。

注記： セパレータを接続するには、グレインタンクカバーをいっぱいまで開く必要があります。

以下の場合に変更を行います：

- 圃場での操作に合わせて機械を構成する場合。
- 機械の部品を整備する場合。
- 機械を道路輸送または保管用に構成する場合。
- 機械を清掃する場合。

変更手順：

H114612—UN—06JAN17

位置不明エラー

注記： グレンタンクカバーに位置不明エラーがある場合、ワンタッチ折りたたみは使用できません。ボタンを選択し、押し続けてグレンタンクカバーを折りたたみまたは展開します。

注記： 多機能レバーのクイックストップスイッチを押して、いつでも折りたたみアプリケーションで制御されるすべての動きを停止できます。必要なボタンを押して折りたたみを再開します。

H114619—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

1. 折りたたみボタンおよび展開ボタンのロックを解除します。
2. 必要なボタンを押して、グレンタンクカバーを折りたたみまたは展開します。

H114623—UN—06JAN17

開く

- グレインタンクカバーを完全に開きます。

H114621—UN—06JAN17

閉じる

- グレインタンクカバーを完全に閉じます。

H114616—UN—06JAN17

進行状況インジケーター

開閉時にグレンタンクカバーの進行状況を表示します。

H114622—UN—06JAN17

開く / 閉じる

注記： いずれかの操作ボタンを選択して、グレンタンクカバーの動きを中断できます。必要なボタンを押して折りたたみを再開します。

H114627—UN—06JAN17

Fully Open (完全開放)

H114640—UN—06JAN17

Fully Closed (完全閉鎖)

- 操作が完了すると、折りたたみステータスが画面に表示されます。

H114615—UN—06JAN17

ロック

注記： 最後のボタン選択から 30 秒後、システムはロック済みステータスに自動的に変わります。

注記： ロックされた状態により、ユーザーは折りたたみのコントロールにアクセスできなくなりますが、動いている装置が停止することはありません。ロックされた状態は、「コントロールのセットアップ」アプリケーションで動作の起動に割り当てることができる物理的コントロールをブロックしません。

PR79369,00003BC-40-03FEB21

ファウンテンオーガ

ファウンテンオーガアプリケーションでは、キャブ内からファウンテンオーガを上昇 / 下降させることができます。

以下の場合に変更を行います：

- 圃場での操作に合わせて機械を構成する場合。
- 機械を道路輸送用に構成する場合。

変更手順：

H114612—UN—06JAN17

位置不明エラー

注記： ファウンテンオーガに位置不明エラーがある場合、ワンタッチ上昇機能は使用できません。ボタンを選択して押し続けてファウンテンオーガを昇降させます。

注記： 多機能レバーのクイックストップスイッチを押して、いつでも折りたたみアプリケーションで制御されるすべての動きを停止できます。必要なボタンを押して折りたたみを再開します。

H114619—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

1. 選択して昇降ボタンをロック解除します。
2. 必要なボタンを選択して、ファウンテンオーガを昇降させます。

H127641—UN—08OCT19

上昇

- 選択してファウンテンオーガを完全に上昇させます。

H127642—UN—08OCT19

下降

- 選択してファウンテンオーガを完全に下降させます。

H114616—UN—06JAN17

進行状況インジケーター

昇降時のファウンテンオーガの進行状況を表示します。

H127648—UN—08OCT19

上昇済み / 下降済み

注記： いずれかの操作ボタンを選択して、いつでもファウンテンオーガの動きを中断できます。必要なボタンを押して、昇降を再開します。

H127653—UN—08OCT19

完全に上昇済み

H127654—UN—08OCT19

完全に下降済み

- 操作が完了すると、折りたたみステータスが画面に表示されます。

H114615—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

注記： 最後のボタン選択から 30 秒後、システムはロック済みステータスに自動的に変わります。

注記： ロックされた状態により、ユーザーは折りたたみのコントロールにアクセスできなくなりますが、動いている装置が停止することはありません。ロックされた状態は、「コントロールのセットアップ」アプリケーションで動作の起動に割り当てることができる物理的コントロールをブロックしません。

PR79369,00003BD-40-03FEB21

折りたたみ式アンローディングオーガ

折りたたみ式アンローディングオーガを使用すると、必要に応じてアンローディングオーガの折りたたみ / 展開ができます。

以下の場合に変更行います：

- 圃場での操作に合わせて機械を構成する場合。
- 機械の部品を整備する場合。
- 機械を道路輸送または保管用に構成する場合。

変更手順：

H114612—UN—06JAN17

位置不明エラー

注記： 折りたたみ式アンローディングオーガに位置不明エラーがある場合、ワンタッチ折りたたみは使用できません。ボタンを選択し、押し続けてオーガ先端部を折りたたみまたは展開します。

注記： 多機能レバーのクイックストップスイッチを押して、いつでも折りたたみアプリケーションで制御されるすべての動きを停止できます。必要なボタンを押して折りたたみを再開します。

H114619—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

1. 折りたたみボタンおよび展開ボタンのロックを解除します。
2. 必要なボタンを押して、オーガ先端部を折りたたみまたは展開します。

H114637—UN—06JAN17

展開

- オーガ先端部を展開します。

H114628—UN—06JAN17

折りたたみ

- オーガ先端部を折りたたみます。

H114616—UN—06JAN17

進行状況インジケーター

展開および折りたたみ時にオーガ先端部の進行状況を表示します。

H114629—UN—06JAN17

展開 / 折りたたみ

注記： いずれかの操作ボタンを選択して、オーガ先端部の折りたたみの動きを中断できます。必要なボタンを押して折りたたみを再開します。

H128147—UN—16DEC19

完全に展開

H128148—UN—16DEC19

完全に折りたたみ

- 操作が完了すると、折りたたみステータスが画面に表示されます。

H114615—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

注記： 最後のボタン選択から 30 秒後、システムはロック済みステータスに自動的に変わります。

注記： ロックされた状態により、ユーザーは折りたたみのコントロールにアクセスできなくなりますが、動いている装置が停止することはありません。ロックされた状態は、コントロールのセットアップアプリケーションで動作の起動に割り当てることができる物理的コントロールをブロックしません。

PR79369,00003BE-40-03FEB21

ヘッダー輸送位置

ヘッダー輸送位置アプリケーションを使用すると、ヒンジドレーパーまたは伸縮式プラットフォームを運転席から準備できます。

以下の場合に変更行います：

- ヘッダーをトレーラー輸送用に設定する場合。
- ヘッダーを道路輸送用に設定する場合。

ヘッダー輸送位置の作動時に調整される項目：

- カッターバーが収納されます。
- リールが下降します。
- リールが伸縮式カッターバーに収納されます。

変更手順：

H114612—UN—06JAN17

位置不明エラー

注記： ヘッダー輸送位置に位置不明エラーがある場合、ワンタッチ自動長さ調整は利用できません。ボタンを選択して押し続けるとヘッダー輸送位置が作動します。

システムで位置読み値を取得できないと位置不明エラーが表示されますが、ボタンは有効にままです。システムが輸送モードに移行した後も位置不明エラーは残ります。

注記： 多機能レバーのクイックストップスイッチを押して、いつでも折りたたみアプリケーションで制御されるすべての動きを停止できます。ヘッダー輸送起動ボタンを選択して収納を再開します。

H114619—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

1. 選択するとヘッダー輸送位置起動ボタンのロックが解除されます。

H131796—UN—03DEC20

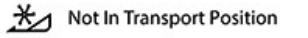
ヘッダー輸送位置起動ボタン

2. ヘッダー輸送位置起動ボタンを選択して押し続けると、ヘッダーを輸送位置にする動作が始まります。

H114616—UN—06JAN17

進行状況インジケーター

ヘッダーを輸送位置に収める処理の進行状況を表示します。



H131797—UN—03DEC20

輸送位置に未収納

H131798—UN—03DEC20

輸送位置に収納済み

- 処理が完了すると、折りたたみステータスが画面に表示されます。

H114615—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

注記： 最後のボタン選択から 30 秒後、システムはロック済みステータスに自動的に変わります。

注意： ロック状態になっていると折りたたみコントロールにアクセスできません。ただし、すでに動作中の機器は停止しません。ロック状態では、コントロールが押される場合、コントロールのセットアップアプリケーションで割り当てることができる物理的コントロールが動作するのを妨げることもありません。

PR79369,00004B0-40-05MAR21

コーンヘッドの折りたたみ (John Deere モデル)

「コーンヘッドの折りたたみ」コントロールを使用して、コーンヘッドの折りたたみおよび展開を実行できます。

以下の場合に変更を行います：

- 圃場での操作に合わせて機械を構成する場合。
- 機械の部品を整備する場合。
- コーンヘッドを本機から取り外します。
- 枕地でのすき間を確保する場合。
- 機械を道路輸送用に構成する場合。

注意： 道路でのヘッダーの輸送に関する地域の法律と規則に従ってください。

H114619—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

変更手順：

注記： 多機能レバーのクイックストップスイッチを押して、いつでも折りたたみアプリケーションで制御されるすべての動きを停止できます。必要なボタンを押して折りたたみを再開します。

1. 折りたたみボタンおよび展開ボタンのロックを解除します。
2. 必要なボタンを選択して押し続けて、コーンヘッドを折りたたみまたは展開します。

注記： 操作ボタンを放していつでも折りたたみ動作を中断できます。必要なボタンを選択して押し続けて、折りたたみを再開します。

H115022—UN—06JAN17

展開

- 押し続けてコーンヘッドを展開します。

H115021—UN—06JAN17

折りたたみ

- 押し続けてコーンヘッドを折りたたみます。

H114615—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

注記： 最後のボタン選択から 30 秒後、システムはロック済みステータスに自動的に変わります。

注記： ロックされた状態により、ユーザーは折りたたみのコントロールにアクセスできなくなりますが、動いている装置が停止することはありません。ロックされた状態は、「コントロールのセットアップ」アプリケーションで動作の起動に割り当てることができる物理的コントロールをブロックしません。

PR79369,00003BF-40-03FEB21

コーンヘッドの折りたたみ (John Deere モデル以外)：

「コーンヘッドの折りたたみ」コントロールを使用して、コーンヘッドの折りたたみおよび展開を実行できます。

以下の場合に変更を行います：

- 圃場での操作に合わせて機械を構成する場合。
- 機械の部品を整備する場合。
- コーンヘッドを本機から取り外します。
- 枕地でのすき間を確保する場合。
- 機械を道路輸送用に構成する場合。

⚠ 注意： 道路でのヘッダーの輸送に関する地域の法律と規則に従ってください。

変更手順：

注記： 多機能レバーのクイックストップスイッチを押して、いつでも折りたたみアプリケーションで制御されるすべての動きを停止できます。必要なボタンを押して折りたたみを再開します。

H114619—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

1. 折りたたみボタンおよび展開ボタンのロックを解除します。
2. 必要なボタンを選択して押し続けて、コーンヘッドを折りたたみまたは展開します。

H114617—UN—06JAN17

展開

- 押し続けてコーンヘッドを展開します。

H115021—UN—06JAN17

折りたたみ

- 押し続けてコーンヘッドを折りたたみます。

注記： 操作ボタンを放していつでも折りたたみ動作を中断できます。必要なボタンを選択して押し続けて、折りたたみを再開します。

H114616—UN—06JAN17

進行状況インジケーター

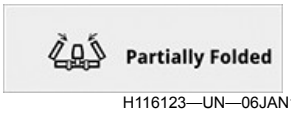
展開および折りたたみ時にコーンヘッドの進行状況を表示します。

H116122—UN—06JAN17

部分的に展開

H116121—UN—06JAN17

完全に展開



H116123—UN—06JAN17

部分的に折りたたみ

H116124—UN—06JAN17

完全に折りたたみ

- ポジションセンサーを備えているコーンヘッドの

折りたたみでは、現在の折りたたみステータスが表示されます。

H114615—UN—06JAN17

ロック / ロック解除

注記： 最後のボタン選択から 30 秒後、システムはロック済みステータスに自動的に変わります。

注記： ロックされた状態により、ユーザーは折りたたみのコントロールにアクセスできなくなりますが、動いている装置が停止することはありません。ロックされた状態は、「コントロールのセットアップ」アプリケーションで動作の起動に割り当てることができる物理的コントロールをブロックしません。

PR79369,00003C0-40-03FEB21

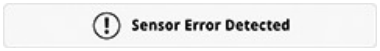
手動制御

手動制御では、故障しているか、手動制御モードに設定されているサブシステム機能が表示されます。

注記： これにはすべてのサブシステムが含まれるわけではなく、ポジションセンサーの問題が発生しているかその問題の影響を受けているサブシステムのみが含まれます。

手動制御でアクセスできる項目：

下に示す例は、問題が発生しているサブシステムに表示される可能性のある注意フレームの例です。問題が発生していないサブシステムは引き続き表示されますが、センサーのエラーやキャリブレーションが必要な注意フレームはありません。



H126208—UN—06JUN19

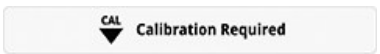
センサーエラーを検出しました

グレンタンクカバー

H126207—UN—06JUN19

キャリブレーションが必要

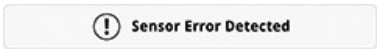
ファウンテンオーガ



H126207—UN—06JUN19

キャリブレーションが必要

アンローディングオーガの折りたたみ



H126208—UN—06JUN19

センサーエラーを検出しました

コーンヘッドの折りたたみ

PR79369,00003C1-40-03FEB21

収穫設定アプリケーション

Harvest Settings (収穫設定) へのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2. 「Machine Settings (機械の設定)」タブ

H113528—UN—27JAN17

収穫設定

3. Harvest Settings (収穫設定)

ナビゲーションバーからのアプリケーションへのアクセス：

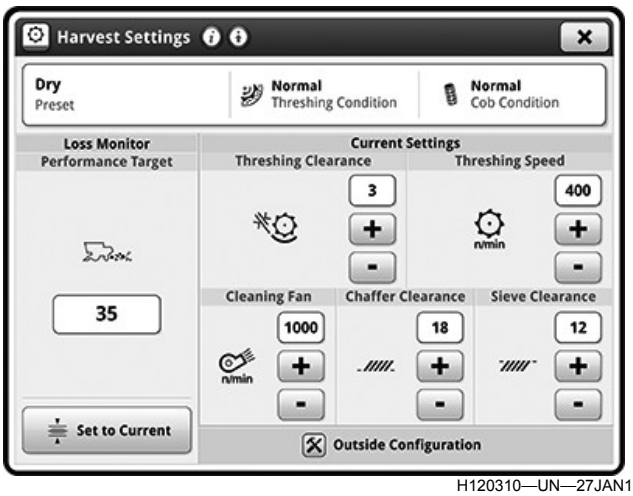
H116102—UN—27JAN17

収穫設定

ディスプレイ下のナビゲーションバーの「収穫設定」ボタンを押します。

N0LMWLO,000035C-40-16JUL20

収穫設定メインページ



H120310—UN—27JAN17

収穫設定

注記：アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

表示されているメインページは例のみを目的としています。オプションや接続されている装置に応じて、メインページは異なる場合があります。

収穫設定アプリケーションを使用すると、収穫した作物と作物条件に基づいて脱穀および洗浄のパフォーマンスを調整して、収穫ロスを最小限に抑えることができます。

収穫設定メインページでアクセスできる項目：

H127985—UN—19NOV19

収穫設定の読み込み

Load Harvest Settings (収穫設定の読み込み)— プリセット、脱穀条件、わら / 穂軸条件に関する既定の選択を実行して、グレン清浄度の向上およびグレンロスの低減に役立てることができます。

H119104—UN—30JAN17

性能目標

性能目標 — ご使用の機械で許容可能なグレンロスを選択できます。

H119125—UN—27JAN17

現在値に設定

現在値に設定 — 選択すると、VisionTrak™ ディスプレイの高さ合計ロスコラムが現在のロスに設定されます。押すと、高さ合計ロスコラムがコラムの中央に調整されます。

旧機種では、現在値に設定を選択するとHarvestSmart™ で許容ロスレベルも変わります。

H113683—UN—27JAN17

脱穀すき間

Threshing Clearance (脱穀隙間)— 脱穀隙間を変更できます。

H113685—UN—27JAN17

脱穀速度

Threshing Speed (脱穀速度)— 脱穀速度を変更できます。

H113684—UN—27JAN17

クリーニングファン

Cleaning Fan (クリーニングファン)— ファン回転速度を変更できます。

H116095—UN—27JAN17

外部構成

Outside Configuration (外部構成)— 選択した作物タイプの収獲前に行う必要がある外部機械調整が表示されます。

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

Advanced Settings (詳細設定)— 詳細な調整、一般的ではない設定にアクセスできます。

H113706—UN—27JAN17

チャファー隙間

Chaffer Clearance (チャファー隙間)— チャファーエレメントの開口を変更できます。

H113693—UN—27JAN17

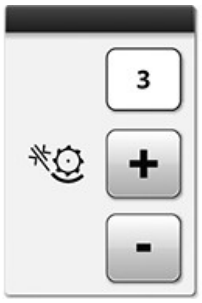
ふるい隙間

ふるい隙間— ふるいエレメントの開口を変更できます。

実行モジュール：

Layout Manager (レイアウトマネージャ) を使用して、このアプリケーションのモジュールを実行に追加することができます。

例：



H116117—UN—30JAN17

クリアランス

Clearance (隙間)— 脱穀隙間を調整できます。

注記：使用するアプリケーションに応じて異なるモジュールを使用できます。

PR79369,00003C3-40-08FEB21

Load Harvest Settings (収穫設定の読み込み)

Load Harvest Settings (収穫設定の読み込み)— プリ

HarvestSmart は、Deere & Company の商標です。

セット、脱穀条件、わら / 穂軸条件に関する既定の選択を実行して、グレン清浄度の向上およびグレンロスの低減に役立てることができます。

注記： Work Setup (作業設定) で作物タイプを変更すると、収穫設定が変わります。詳しくは、「作物変更の影響」セクションを参照してください。

「Load Harvest Settings」(収穫設定の読み込み) ページでアクセスできる項目：

Preset (プリセット)— 既定値および以前のプリセット値の選択、作物条件に合わせて以前のプリセット値の調整を行うことができます。

Threshing Conditions (脱穀条件)— 脱穀条件を入力できます。これにより、システムは正しい機械設定を判定できます。

Straw Conditions (わら条件)— わら / 穂軸条件を入力できます。これにより、システムは正しい機械設定を判定できます。

設定プレビュー— 現在の設定を表示します。また、設定の変更を「NEw (新規)」列に太字で表示します。

注記： システムによって自動調整が行われた場合は、値が更新され、最新の値が得られます。

H113683—UN—27JAN17

脱穀隙間

Threshing Clearance (脱穀隙間)

H113685—UN—27JAN17

脱穀速度

Threshing Speed (脱穀速度)

H113684—UN—27JAN17

クリーニングファン

Cleaning Fan (クリーニングファン)

H113706—UN—27JAN17

チャファー隙間

Chaffer Clearance (チャファー隙間)

H113693—UN—27JAN17

ふるい隙間

Sieve Clearance (ふるい隙間)

H116984—UN—27JAN17

Save Preset (プリセットの保存)

プリセットの保存— プリセット、脱穀条件、わら / 穂軸条件に加えた変更を保存できます。

注記： 設定が選択したプリセットとは異なる場合、Auto Maintain 性能が低下する可能性があります。最良の性能を得るには、現在の設定を使って新しいプリセットを作成してください。

N0LMWLO,000035E-40-16JUL20

収穫設定の読み込み | プリセット

Preset (プリセット) を使用すると、所定の作物について保存されている機械構成のリストから選択できます。

以下の場合に変更を行います：

- ユーザー独自のプリセットを作成して、収穫している作物や条件に必要な性能やグレン品質を実現する収穫設定を得たい場合。
- Auto Maintain で作業中や、設定が実際のプリセットとは大きく異なるときに、新規カスタムプリセットを作成する場合。

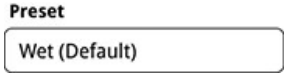
変更手順：

H127985—UN—19NOV19

収穫設定の読み込み

1. 選択して開きます。

注記： とうもろこし以外の他のすべての作物タイプは既定で最初に表示され、次にクリーンアウトオプションが表示され、最後に作成されたすべてのプリセットがアルファベット順に表示されます。



H118081—UN—27JAN17

Preset (プリセット)

2. 「Select Preset (プリセットの選択)」を開きます。

H119178—UN—27JAN17

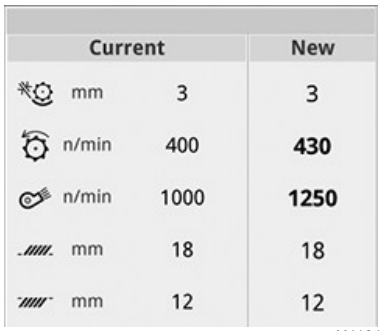
プリセットの選択

3. 必要なプリセットを選択します。

H116106—UN—27JAN17

OK

4. プリセットを保存し、「Load Harvest Settings (収穫設定の読み込み)」に戻ります。



H116110—UN—27JAN17

Current / New (現在 / 新規)

注記： 別のプリセットを選択すると、「Settings Preview (設定のプレビュー)」の「New (新規)」列が更新され、設定の変更内容が太字で表示されます。

既定のプリセットを変更すると、「Settings Preview (設定のプレビュー)」の「New (新規)」列の値が変わります。作物タイプ内のプリセットを変更している場合、既定値は変わりません。

注記： 新規脱穀速度が現在のローター駆動ギヤの範囲外の場合は、オーバーレイが表示され、ギヤの交換を求められる場合があります。

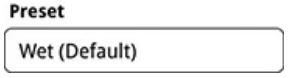
注記： 選択したプリセットに変更を加えた場合、単語 (Modified (変更済み)) が名前に追加されます。

削除する手順：

H127985—UN—19NOV19

収穫設定の読み込み

1. 選択してプリセットを開きます。



H118081—UN—27JAN17

Preset (プリセット)

2. 「Select Preset (プリセットの選択)」を開きます。

H119178—UN—27JAN17

プリセットの選択

3. 必要なプリセットを選択します。

H116104—UN—27JAN17

削除

4. プリセットを削除します。

注記： 作成したプリセットは削除できます。押した場合、プリセットの削除操作を確認するメッセージが表示されます。

H116105—UN—27JAN17

キャンセル

5. 選択したプリセットを削除したくない場合は、選択してキャンセルします。

H116106—UN—27JAN17

OK

注記： 削除する前にデータを手動で記録してください。プリセットを削除した場合、プリセットはディスプレイから削除され、元に戻すことはできません。

6. 選択してプリセットを削除します。

PR79369,00003C5-40-08FEB21

収穫設定の読み込み | 脱穀条件

「脱穀条件」では、現在の脱穀条件に最も一致する説明を 3 つのオプションから選択できます。

以下の場合に変更を行います：

- サンプル内には、未脱穀グレンまたは外皮を被った穀粒が存在します。「困難」に設定します。
- 満足のいくサンプルがその作物の推奨範囲内の脱穀設定を使用して作成される場合。「通常」に設定します。
- 脱穀セクションに入る前にグレンが外皮や穂軸から分離する場合。「簡単」に設定します。

注記： 小粒穀類作物の場合、穀類の頭部を指の間でこすると、簡単に穀類を脱穀する方法が良くわかります。すべての穀粒が殻から出るまで、穀類の頭部を指の間でこすります。

簡単— *穀類の頭部を約 4 回こすります。*

通常— *穀類の頭部を約 8 回こすります。*

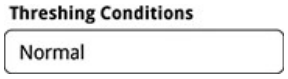
困難— *穀類の頭部を約 15 回こすります。*

変更手順：

H127985—UN—19NOV19

収穫設定の読み込み

1. 選択して開きます。



H118083—UN—27JAN17

*Threshing Conditions (*脱穀条件*)*

2. 「Threshing Conditions (脱穀条件)」リストボックスを選択して、脱穀条件のリストを開きます。
3. 必要な脱穀条件を選択します。
   - **Difficult (困難)**— 脱穀の感応度を上げて、未脱穀グレンを減らします。
   - **通常**— 通常の収穫条件の通常の設定。
   - **簡単**— 脱穀の感度を減らして、動力消費量とグレンの破損を減らします。

H116105—UN—27JAN17

キャンセル

4. 変更したくない場合は、選択してキャンセルします。

H116106—UN—27JAN17

OK

5. 脱穀条件を保存します。

注記： 選択すると、システムは選択したプリセットに合わせて設定の調整を開始します。

H116113—UN—27JAN17

閉じる

6. 選択して閉じます。

PR79369,00003C6-40-08FEB21

収穫設定の読み込み | わら条件

わら条件では、現在のわらの状態に最も一致する説明を 3 つのオプションから選択できます。

以下の場合に変更を行います：

- 丈夫な濡れたわら、緑茎、グレン以外の大量の材料を処理中の場合。「困難」に設定します。
- 作物の通常の材料処理が存在する場合。「通常」に設定します。
- 非常に乾燥しているわらや簡単に破損する茎を収穫中で、不要なサンプルが作成されている場合。「脆弱」に設定します。

注記： 立っているわらを一握りつかんでひねります。一握りのわらをひねると、わらの状態が良くわかります。

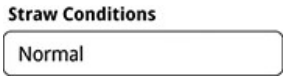
- **困難**— 10 回を超えてひねってもわらはちぎれません。
- **通常**— 数回ひねると、わらがちぎれ始めます。
- **脆い**— わらはひねり始めると、簡単にちぎれます。

変更手順：

H127985—UN—19NOV19

収穫設定の読み込み

1. 選択して開きます。



H118086—UN—27JAN17

*Straw Conditions (*わら条件*)*

2. 「Straw Conditions (わら条件)」リストボックスを選択します。
3. 必要なわら条件を選択します。
   - **Difficult (困難)**— 丈夫なわらや濡れたわらで材料の流れを改善します。
   - **通常**— 通常の収穫条件の通常の設定。
   - **脆い**— わらの破損を減らして、シューのクリーニング負荷を減少させます。

H116105—UN—27JAN17

キャンセル

4. プリセットの列挙値を変更したくない場合は、選択してキャンセルします。

H116106—UN—27JAN17

OK

5. 選択してわら条件を保存します。

注記： 選択すると、システムは選択したプリセットに合わせて設定の調整を開始します。

H116113—UN—27JAN17

閉じる

6. 選択して閉じます。

PR79369,00003C7-40-08FEB21

収穫設定の読み込み | プリセットの保存

Save Preset (プリセットの保存) を使用すると、新規プリセットの作成や使用した前回のプリセットの更新を行うことができます。

「Save Preset」(プリセットの保存) でアクセスできる項目：

Default Preset (既定のプリセット)— 既定のプリセットを変更して、これらをユーザー独自のカスタムプリセットとして保存できます。

Custom Preset (カスタムプリセット)— 既存のカスタムプリセットの更新またはプリセットの作成を行うことができます。

SS43267,0000967-40-26JAN17

収穫設定の読み込み | プリセットの保存 | 工場初期設定

Default Presets (既定のプリセット) は、所定の作物の脱穀条件およびわら / 穂軸品質の組み合わせごとに工場で読み込まれた設定です。ユーザーの収穫条件に応じて、これらの既定値を変更し、新しい名前を付けて保存できます。

以下の場合に変更を行います：

プリセットを変更するか、ユーザー独自のプリセットを作成して、収穫している作物や条件に必要な性能やグレン品質を提供する収穫設定を得たい場合。

変更手順：

H127985—UN—19NOV19

収穫設定の読み込み

1. 「Harvest Settings (収穫設定)」を選択してそのページにアクセスします。

H116984—UN—27JAN17

Save Preset (プリセットの保存)

2. プリセットに新しい名前を付けて保存します。
3. プリセットに新しい名前を付けて保存します。

H116105—UN—27JAN17

キャンセル

4. プリセットを保存したくない場合は、選択してキャンセルします。

H116107—UN—27JAN17

OK

5. プリセットを保存します。

PR79369,00003C8-40-08FEB21

収穫設定の読み込み | プリセットの保存 | カスタムプリセット

Custom Presets (カスタムプリセット) は、ユーザーの収穫条件に応じてユーザーにより定義されます。これらは、作物条件や機械性能の変化に応じて変更できます。

以下の場合に変更を行います：

- 特定の作物の異なる品種を収穫している場合。
- 一日の異なる時間に収穫している場合 (朝と夕方対午後など)。
- 異なるグレン水分で収穫している場合 (湿潤作物対乾燥作物)。
- Auto Maintain で作業している場合。

変更手順：

H127985—UN—19NOV19

収穫設定の読み込み

1. 「Harvest Settings (収穫設定)」を選択してそのページにアクセスします。

H116984—UN—27JAN17

Save Preset (プリセットの保存)

2. プリセットを保存し、キーボードを起動します。
3. オプションを選択して現在の収穫設定を保存します

新規プリセットの作成

H116289—UN—27JAN17

選択

新しいプリセット名を入力します

最後に使用したプリセットの更新

H116289—UN—27JAN17

選択

「とうもろこし」

H116105—UN—27JAN17

キャンセル

4. プリセットを保存したくない場合は、選択してキャンセルします。

H116107—UN—27JAN17

OK

5. プリセットを保存します。

PR79369,00003C9-40-08FEB21

Load Harvest Settings (収穫設定の読み込み) | 作物変更の影響

Work Setup (作業設定) で作物タイプを変更すると、Load Harvest Settings (収穫設定の読み込み) も変わります。

H116105—UN—27JAN17

キャンセル

「Work Setup (作業設定)」で作物タイプを変更中に「Load Harvest Settings (収穫設定の読み込み)」ページで「Cancel (キャンセル)」を選択すると、コンバインは調整されません。

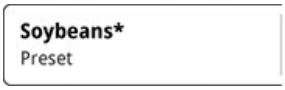
注記： 新しいプリセットが読み込まれるまで、「Harvest Settings (収穫設定)」メインページの「Preset (プリセット)」には「- -」が表示されます。

H116106—UN—27JAN17

OK

「OK」を選択すると、「Load Harvest Settings (収穫設定の読み込み)」は選択した作物に基づいて変わります。

- 作物タイプを使用していなかった場合、工場初期設定が設定されます。
- 前回使用した設定がプリセットである場合は、プリセットが選択され、前回使用した脱穀およびわら条件が選択されます。また、個々の設定は (設定したプリセットと条件に合わせて) 前回使用した設定に設定されます。



H119175—UN—27JAN17

Preset (プリセット)

- 前回使用した設定がカスタム設定の場合、「プリセット」に {PresetName}* が表示され、個々の設定は前回使用した設定に設定されます。

注記： 脱穀速度の新しい値が現在のローター駆動ギヤの範囲外の場合は、オーバーレイが表示され、ギヤの交換を求められる場合があります。

注記： 選択した作物タイププリセットは、複数の収穫機能に影響します。収穫している作物に合わせてプリセットを変更することが重要です。

N0LMWLO,0000363-40-16JUL20

現在の設定 | 脱穀すき間

Threshing Clearance (脱穀隙間) を使用すると、さまざまな作物や条件に合わせて脱穀隙間を変更できます。

注記： 脱穀隙間の設定については、取扱説明書の「作物の設定」セクションを参照してください。

以下の場合に変更を行います：

脱穀隙間を増やす目的：

- わら品質の向上。長いわらを製作して、材料の破損を減らします。
- グレン品質の向上。割れとグレンの損傷を減らします。
- 動力消費量の低減。グレンの脱穀を容易にします。
- サンプル清浄度の向上。クリーニングシューのもみ殻負荷を低減します。

脱穀すき間を減らす目的：

- 未脱穀のセパレータロスの低減。もみ殻付きのグレンまたは機械背後の穂軸のグレンの低減。
- グレンタンクサンプルの向上を図り、殻付きや未脱穀の穀粒を低減します。

調整の状態 — 現在の設定を変更すると、機械オプションに応じて異なる調整状態が表示されることがあります。

変更手順：

H113683—UN—27JAN17

脱穀隙間

1. 脱穀隙間を設定します。

H113698—UN—30JAN17

調整

2. プラス (+) またはマイナス (-) を選択して脱穀すき間を増減します。また、入力フィールドを選択して、アームレスト調整ダイヤルを使用して必要なすき間に変更します。

H116282—UN—27JAN17

入力フィールド

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

- 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
- 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

注記： 機械によっては、一部の値に到達できないことがあります。

注記： デンスパックエレメントを取り付けている場合、最大値が得られないことがあります。

最小：0

最大：40

増分：1

H116113—UN—27JAN17

閉じる

3. 選択して閉じます。

PR79369,00003CA-40-08FEB21

現在の設定 | 脱穀速度

「脱穀速度」を使用すると、さまざまな作物条件に合わせて脱穀速度を変更できます。

注記： 脱穀速度の設定については、取扱説明書の作物の設定セクションを参照してください。作物を脱穀中の場合は、脱穀速度を調整する前にまず脱穀すき間を減らして問題の解決を試みます。作物やわらが傷んでいる場合は、脱穀すき間を調整する前にまず脱穀速度を減らして問題の解決を試みます。

以下の場合に変更を加えます：

脱穀速度を上げる目的：

- グレンがセパレータから出る前に他の作物材からグレンを除去します。
- 材料の流れを改善します。
- 過酷な材料条件でより多くの量を実現します。
- 処理が難しいわらでの処理を改善します。
- 大量の材料を取り込んでいるときに詰まりのリスクを低減します。

脱穀速度を下げる目的：

- 動力消費量の低減。脱穀が容易なグレンで脱穀速度を低減し、効率を向上します。
- グレンサンプル品質の向上。脱穀速度を下げてクリーニングシューにおけるもみ殻および異物の発生を減らします。
- グレン破損の低減。穀粒の破損や割れは、コンケーブ隙間が正しく設定されている場合でも脱穀速度が速すぎる場合に発生する可能性があります。

調整の状態— 現在の設定を変更すると、機械オプションに応じて異なる調整状態が表示されることがあります。

注記： 脱穀速度はオイル温度が高くなるにつれて 4 時間で約 30 rpm 増加することがあります。必要に応じて速度を調整します。

変更手順：

1. セパレータを接続し、エンジンをハイアイドルで運転します。

H113685—UN—27JAN17

脱穀速度

2. 脱穀速度を設定します。

H116279—UN—30JAN17

調整

3. プラス (+) またはマイナス (-) を選択して回転速度を増減します。また、入力フィールドを選択して、アームレスト調整ダイヤルを使用して必要な回転速度に変更します。

H118087—UN—27JAN17

入力フィールド

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

- 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
- 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

注記： 脱穀は、高速と低速の 2 速ギヤケースを使用しています。最小値と最大値によっては、ギヤケースの設定の変更が必要な場合があります。選択する必要がある速度に関する情報については、取扱説明書を参照してください。

注記： 機械によっては、一部の値に到達できないことがあります。

最小：200 rpm

最大：1000 rpm

増分：10 rpm

H116113—UN—27JAN17

閉じる

4. 選択して閉じます。

PR79369,00003CB-40-08FEB21

現在の設定 | クリーニングファン

Cleaning Fan Speed (クリーニングファン回転速度) を使用すると、ファン回転速度を変更してグレン清浄度を改善し、グレンロスを減らすことができます。

注記： ファン回転速度の設定については、取扱説明書の「作物の設定」セクションを参照してください。

以下の場合に変更を行います：

ファン回転速度を増やす目的：

- サンプル品質の向上。吹き飛ばすことによりグレンタンク内のもみ殻またはグレン以外の軽量物の量を減らします。
- 不適切な通気が原因のクリーニングシューロスの低減。軽いグレンはもみ殻に閉じ込められることがあります。

ファン回転速度を減らす目的：

- クリーニングシューロスの低減。クリーニングファンの回転速度が高すぎる場合、小粒で軽量なグレンはクリーニングシューから搬出される可能性があります。

調整の状態— 現在の設定を変更すると、機械オプションに応じて異なる調整状態が表示されることがあります。

変更手順：

1. セパレータを接続し、エンジンをハイアイドルで運転します。

H113684—UN—27JAN17

クリーニングファン回転速度

2. クリーニングファン回転速度を設定します。

H116982—UN—30JAN17

調整

3. プラス (+) またはマイナス (-) を選択して回転速度を増減します。また、入力フィールドを選択して、アームレスト調整ダイヤルを使用して必要な回転速度に変更します。

H118088—UN—27JAN17
入力フィールド

H115034—UN—28MAR16
アームレストの調整ダイヤル

- 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
- 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

注記： 機械がクリーニングファン低速化キットを装備している場合、最小値と最大値が変わることがあります。

最小：620 rpm

最大：1350 rpm

増分：10 rpm

H116113—UN—27JAN17
閉じる

4. 選択して閉じます。

PR79369,00003CC-40-08FEB21

現在の設定 | チャファーすき間

Chaffer Clearance (チャファー隙間) を使用すると、チャファーエレメントの開口を変更して、グレン清浄度を向上し、さまざまな作物および条件でクリーニングシューロスを減らすことができます。

注記： チャファー隙間の設定については、取扱説明書の「作物の設定」セクションを参照してください。

以下の場合に変更を行います：

以下の場合は、チャファー隙間を増やします。

- クリーニングシューロスを減らす。グレンがクリーニングシューから漏れる前に落下するようにします。
- グレンが 2 番還元物に送られる前にすぐ落下するようにする場合。

注記： チャファーの開き具合によってクリーニングシューの圧力も減ります。大きく調整すると、ファン回転速度の再調整が必要になることがあります。

以下の場合は、チャファー隙間を減らします。

- サンプル品質を向上させる場合。グレンタンク内の大きい異物の量を減らす場合。
- 遊離グレンが含まれない場合は、高い 2 番還元物量を減らします。

調整の状態— 現在の設定を変更すると、機械オプションに応じて異なる調整状態が表示されることがあります。

変更手順：

H113706—UN—27JAN17
チャファー隙間

1.チャファー隙間を設定します。

H116993—UN—30JAN17
調整

2.(+) / (-) を選択して必要なチャファー隙間を増減します。

H118089—UN—27JAN17
入力フィールド

H115034—UN—28MAR16
アームレストの調整ダイヤル

： 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。

： 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

注記： 機械によっては、一部の値に到達できないことがあります。

汎用：

最小：0

最大：22

増分：1

高歯；

最小：0

最大：30

増分：1

H116113—UN—27JAN17

閉じる

3.選択して閉じます。

PR79369,00003CD-40-08FEB21

Current Settings (現在の設定) | Sieve Clearance (ふるい隙間)

Sieve Clearance (ふるい隙間) を使用すると、ふるいの開口を変更して、さまざまな作物および条件でグレン清浄度を向上させ、2 番還元物量を管理します。

注記： ふるい隙間の設定については、取扱説明書の「作物の設定」セクションを参照してください。

以下の場合に変更を行います：

ふるい隙間を増やす目的：

- 2 番還元物の遊離グレン量を減らす。グレンを 2 番還元物で再循環させる前に落下させてグレンを清浄にします。
- クリーニングファンの気流を増やす。ふるいすき間を増やすことにより、クリーニングファンのより多くの空気がチャファーを通ります。

注記： ふるいの開口部はクリーニングシューの圧力も減らします。大きく調整すると、ファン回転速度の再調整が必要になることがあります。

ふるいすき間を減らす目的：

- サンプル品質の向上。グレンタンク内の大きい異物の量を減らします。

注記： 少ない 2 番還元物、高容量、グレンタンクの清掃度を得るための最適な設定を見つけるには、グレンタンクが汚くなるまでふるいすき間を減らします。その後、ほこりが消えるまでふるいすき間を減らします。

調整の状態— 現在の設定を変更すると、機械オプションに応じて異なる調整状態が表示されることがあります。

変更手順：

H113693—UN—27JAN17

ふるい隙間

1. ふるい隙間を設定します。

H116994—UN—30JAN17

調整

2. (+) / (-) を選択して必要なふるい隙間を増減します。

H118090—UN—27JAN17

入力フィールド

- 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

- 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

注記： 機械によっては、一部の値に到達できないことがあります。

汎用：

最小：0

最大：22

増分：1

高歯；

最小：0

最大：30

増分：1

H116113—UN—27JAN17

閉じる

3. 選択して閉じます。

PR79369,00003CE-40-08FEB21

現在の設定 | 外部構成

Outside Configuration (外部構成) には、選択した作物タイプの収獲前に行う必要がある外部機械調整が表示されます。

注記： 詳しくは、機械の取扱説明書を参照してください。

変更手順：

⚠ 注意： 変更を加える前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

H116095—UN—27JAN17

外部構成

1. 外部構成にアクセスします。
2. 詳しくは、必要な外部構成を機械の設定で選択してください。
   - チョッパー回転数
   - 作物分流器
   - コンケーブタイプ
   - セパレータ格子スペーサ
   - 再脱穀機のアクティブな 2 番還元物 (装備されている場合)
   - フィードアクセルレータ速度
   - フィーダーハウスドラム位置
   - フィーダーハウスコンベアチェーンスプロケット

H116113—UN—27JAN17

閉じる

3. 選択して閉じます。

PR79369,00003CF-40-08FEB21

Current Settings (現在の設定) | Adjustment States (調整の状態)

Adjustment States (調整の状態) には、機械の変更が行われたときにシステム調整の設定が応答する方法が表示されます。

注記： 下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

オペレータによる変更：

注記： オペレータによる変更は、ディスプレイまたはアームレスト調整ダイヤルを使用して行われます。

H116277—UN—27JAN17

進行状況インジケーター

オペレータによる変更の進行状況インジケーター。

H118102—UN—27JAN17

入力フィールド

オペレータによる設定点の値入力フィールド。

H118101—UN—27JAN17

性能値

設定アイコンの下に表示される値は実際の性能値を表しています。

注記： アイコンの下にある、システムを表している実際の値は、実際の値が新規設定点と一致するまで点滅します。値が新規設定点に達すると、続けて 1 秒間表示され、その後値と進行状況インジケーターは画面から消えます。

Combine Advisor™ と Initiated Active Terrain Adjustment™ の変更：

注記： Auto Maintain または Active Terrain Adjustment™ を適用中に、いつでも手動調整を行うことができます。

注記： Combine Advisor™ システムで加える調整の大部分はオフセットであり、システムでオフセットが削除されると、設定が一時的に調整されて元の値に戻ります。

H116278—UN—27JAN17

進行状況インジケーター

Auto Maintain および Active Terrain Adjustment™ による変更の進行状況インジケーター。

H118094—UN—27JAN17

入力フィールド

Auto Maintain と Active Terrain Adjustment™ による設定点値入力フィールド。

H116277—UN—27JAN17

進行状況インジケーター

オペレータによる変更の進行状況インジケーター。

H118107—UN—27JAN17

入力フィールド

オペレータによる設定点の値入力フィールド。

H118101—UN—27JAN17

性能値

設定アイコンの下に表示される値は実際の性能値を表しています。

注記： アイコンの下にある、システムを表している実際の値は、実際の値が新規設定点と一致するまで点滅します。値が新規設定点に達すると、続けて 1 秒間表示され、その後値と進行状況インジケーターは画面から消えます。

注記： 入力フィールドは青のままで「自動」と表示され、システムがオフセットを維持していることを示します。システムがオフセットを削除すると、性能値はシステムがオフセットを行う前の値に戻ります。

PR79369,00003D0-40-08FEB21

詳細設定

詳細設定から、詳細な調整や特殊な設定にアクセスできます。

詳細設定ページでアクセスできる項目：

H116272—UN—27JAN17

セパレータ分解能

Separator Resolution (セパレータ分解能)— セパレータロスインジケーターについて (中央のバーの数に無関係に) コーナーポストディスプレイ VisionTrak™ に表示されるバーの数を変更できます。

H116272—UN—27JAN17

シュー分解能

Shoe Resolution (シュー分解能)— シューロスインジケーターについて (中央のバーの数に無関係に) コーナーポストディスプレイ (VisionTrak™) に表示されるバーの数を変更できます。

H116669—UN—30JAN17

損失センサーのタップテスト

損失センサーのタップテスト— この手順は、各種グレンロスモニターのセンサーが通常通り機能していること、およびロスの発生を検出することを確認するために使用できます。選択して、グレンロスモニターセンサーのタップテストを開きます。

注記： グレンロスモニターセンサーのタップテストには、「キャリブレーションと手順」アプリケーションからもアクセスできます。

PR79369,00003D1-40-08FEB21

詳細設定 | セパレータ分解能

Separator Resolution (セパレータ分解能) では、セパレータロスインジケーターについて (中央のバーの数に

VisionTrak は Deere & Company の商標です。

無関係に) コーナーポストディスプレイ VisionTrak™ に表示されるバーの数を変更できます。

変更前の操作：

H119125—UN—27JAN17

現在のレベルに設定

1. 機械で収穫して、「現在のレベルに設定」ボタンに押します。
2. 動力の停止を実行します (手順については、取扱説明書参照)。
3. セパレータからのグレンロスを確認します。

注記： ロスがある場合は、VisionTrak™ ディスプレイで示されたバーの量に対してロスが受け入れ可能かどうかを判定します。

以下の場合に変更を行います：

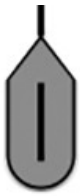
- VisionTrak™ ディスプレイで、セパレータからの望ましいグレンロス量が示されていない場合は変更します。
- セパレータ分解能を増やして、脱穀と分離セクションからのグレンロスをより強調して表示します。
- セパレータ分解能を減らして、脱穀および分離セクションからのグレンロスをあまり強調しないで表示します。

変更手順：

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

1. 「詳細設定」ボタンを選択します。



H118553—UN—27JAN17

スライドバー

注記： スライドバーに現在の分解能が表示されます。

H116272—UN—27JAN17

セパレータ分解能

2. (+) / (-) を選択してセパレータ分解能を増減します。

   最小：-5

   最大：5

   既定値：0

   増分：1

H116113—UN—27JAN17

閉じる

3. 選択して閉じます。

PR79369,00003D2-40-08FEB21

詳細設定 | シュー分解能

シュー分解能では、シューロスインジケーターについて (中央のバーの数に無関係に) コーナーポストディスプレイ VisionTrak™ に表示されるバーの数を変更できます。

変更前の操作：

H119125—UN—27JAN17

現在のレベルに設定

1. 機械で収穫して、「現在のレベルに設定」ボタンに押します。
2. 動力の停止を実行します (手順については、取扱説明書参照)。
3. クリーニングシューからのグレンロスを点検します。

注記： ロスがある場合は、VisionTrak™ ディスプレイで示されたバーの量に対してロスが受け入れ可能かどうかを判定します。

以下の場合に変更を行います：

- VisionTrak™ ディスプレイで、クリーニングシューからの望ましいグレンロス量が示されていない場合は変更します。
- シュー分解能を増やして、クリーニングシューセクションからのグレンロスをより強調して表示します。
- Shoe Resolution (シュー分解能) を減らして、クリーニングシューセクションからのグレンロスをあまり強調しないで表示します。

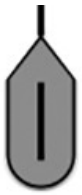
VisionTrak は Deere & Company の商標です。

変更手順：

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

1. 「詳細設定」ボタンを選択します。



H118553—UN—27JAN17

スライドバー

注記： スライドバーに現在の分解能が表示されます。

H116272—UN—27JAN17

シュー分解能

2. (+) / (-) を選択してシュー分解能を増減します。

   最小：-5

   最大：5

   既定値：0

   増分：1

H116113—UN—27JAN17

閉じる

3. 選択して閉じます。

PR79369,00003D3-40-08FEB21

性能目標

性能目標を使用すると、シューロスインジケーター、セパレーターロスインジケーター、合計ロスインジケーターについてコーナーポストディスプレイの VisionTrak™ に表示されるバーの数を、機械から出ているグレンロスを表すレベルに変更できます。

以下の場合に変更を行います：

- 作物タイプを変更する場合。
- 収穫条件が変わる場合 (湿潤作物対乾燥作物、高水分対低水分、品種 A 対品種 B、種子サイズまたは圃場での大旋回)。

注記： この作物タイプと収穫条件に対する最近の性能目標を使っている場合は、新規目標を設定する必要はありません。

変更手順：

注記： とうもろこしや大豆などの大きな種子は、通常、小麦やキャノーラなどの小さな種子よりも数値キャリブレーション値が低くなります。

注記： 低いキャリブレーション値を選択すると、同じ受け入れ可能なグレンロスでディスプレイ上により多くのバーが登録されます。

自動：

注記： 必要な性能で機械を操作して現在値に設定を選択します。これにより、操作特性がメモリに保存され、合計ロスインジケーターが中央に設定されます。

注記： Combine Advisor™ で性能目標の設定をクリックすると、グレンロスの自動目標も実行されます。

H119125—UN—27JAN17

現在値に設定

現在値に設定を選択すると、VisionTrak™ ディスプレイの高さ合計ロスコラムがコラムの中央に調整されます。

手動：

H119105—UN—27JAN17

入力ボックス

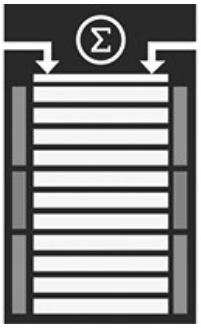
テンキーを開いて必要な値を手動で入力します。

最小：1

最大：99

増分：1

注記： 自動設定をお勧めします。自動設定で必要な結果を得られない場合のみ、手動設定を使用してください。



H117836—UN—22DEC16

合計ロス表示

注記： これで、合計ロス表示は視覚的なガイドになります。オペレータは定期的にコーナーポストディスプレイを確認して、合計ロス量の増減が発生したことを確認できます。

合計ロスインジケーターの棒グラフが緑領域の上または下にあり、かつロスが受け入れ可能な場合、グレンロスモニターが不適切に調整されているか、グレンロスモニターが前回キャリブレーションされてから本機を通じる材料の高いフローがあります。材料の高いフローは、移動速度の増加、またはより高い作物収穫量が原因である可能性があります。

本機で「スラグ」が発生する場合、中間の棒グラフが上向きに変動して (15 ~ 20 秒) 元の読み値に戻ります。これが発生した場合は、これらの変動を無視してください。

PR79369,00003D4-40-08FEB21

エンジンアプリケーション

エンジンへのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2. 「Machine Settings (機械の設定)」タブ

H113552—UN—09MAR16

エンジン

3. エンジン

ナビゲーションバーからのアプリケーションへのアクセス：

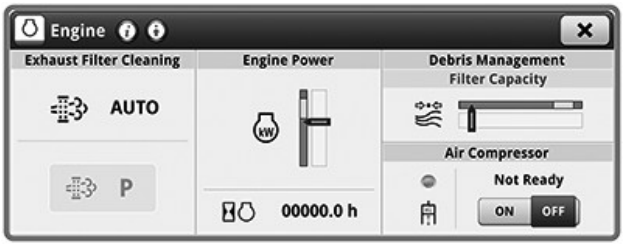
H113709—UN—04JAN17

「エンジンアプリケーション」ボタン

ディスプレイ下のナビゲーションバーの「エンジン」ボタンを押します。

PR79369,00003D6-40-09FEB21

エンジンメインページ



H133251—UN—02MAR21

エンジン

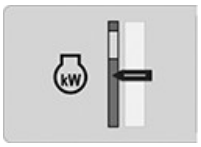
注記： アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

表示されているメインページは例のみを目的としています。オプションや接続されている装置に応じて、メインページは異なる場合があります。

エンジンアプリケーションを使用して、エンジンの設定にアクセスして調整します。

エンジンメインページでアクセスできる項目：

注記： 下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。



H113549—UN—04JAN17

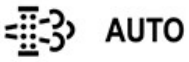
エンジン出力

エンジン出力— 機械が使用しているエンジンの出力量です。

H115017—UN—04JAN17

エンジン運転時間

エンジン運転時間 — 累積エンジン運転時間です。



H113829—UN—04JAN17

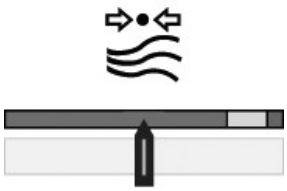
自動排ガスフィルタクリーニング

AUTO Exhaust Filter Cleaning (自動排ガスフィルタクリーニング)— 通常の運転中に必要に応じて排ガスフィルタクリーニングを実行する自動プロセスです。

H113830—UN—04JAN17

駐車フィルタクリーニング

Parked Filter Cleaning (駐車フィルタクリーニング)— 必要なときにシステムで追加の排気フィルタクリーニングを実行するプロセスです。



H126195—UN—24APR19

デブリ管理

Debris Management Filter Capacity (デブリ管理ろ過容量)— 使用済みおよび残りろ過容量のインジケーターです。

H118112—UN—04JAN17

エアコンプレッサ

エアコンプレッサ — 切り替えボタンでエアコンプレッサシステムの有効と無効を切り替えます。

実行モジュール

レイアウトマネージャーを使用して、このアプリケーションのモジュールを実行に追加することができます。

例：

H115023—UN—04JAN17

エンジン出力

エンジン出力 — エンジンの運転時間と出力を表示します。

注記： 使用するアプリケーションに応じて異なるモジュールを使用できます。

ショートカットキー

レイアウトマネージャーを使用して、このアプリケーションのショートカットキーをショートカットバーに追加できます。

H118309—UN—04JAN17

エアコンプレッサ

エアコンプレッサショートカットキー — すばやくアクセスしてエアコンプレッサの ON/OFF を切り替えることができます。

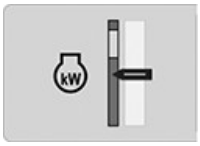
PR79369,00003D5-40-10FEB21

エンジン出力

「エンジン出力」を使用すると、使用されているエンジン出力量および累積エンジン運転時間を表示できます。出力計は、現在の出力消費の視覚表示として GreenStar™ ディスプレイとコーナーポストディスプレイの両方で使用できます。

重要： 警告や過剰な排気煙が見られる場合は、John Deere 販売店または資格を備えた他の整備工場に診断を依頼してください。

「エンジン出力」ページに表示される項目：



H113549—UN—04JAN17

エンジン出力

エンジン出力— 機械が使用しているエンジンの出力量です。

H115017—UN—04JAN17

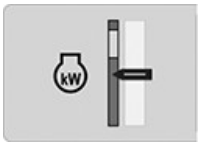
エンジン運転時間

エンジン運転時間— 累積エンジン運転時間です。

等時性エンジンガバナ

エンジンおよび駆動部品の速度を一定に維持して、定格エンジン出力を超過するまで能力と効率を高めます。

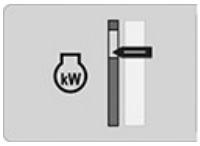
出力計



H113549—UN—04JAN17

緑ゾーン

- **緑ゾーン**— 緑ゾーンの上部でエンジンを運転し、機械の生産性を最大限に高めて一定のエンジン回転数を維持します。

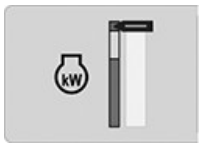


H113551—UN—04JAN17

黄ゾーン

- **黄ゾーン**— 過酷な条件において優先される上限です。このゾーンでは出力の急増が抑えられます。

アンローディングオーガを接続する前の黄ゾーンの目標下側範囲です。



H113550—UN—04JAN17
赤ゾーン

- **赤ゾーン**— ピーク出力レベルです。パワーリザーブを利用できないため長時間はお勧めできません。

重要： **インジケーターが赤ゾーンに動くと、エンジン出力が最大になり、機械がストールする可能性があります。インジケーターが緑および黄ゾーンに戻るまで機械の負荷を減らしてください。**

以下の条件で運転すると、出力の消費量が増えます。

- 丘陵地の地形
- 非常に重いまたは濡れた作物
- 濡れた土壌条件
- 走行速度が高すぎる

N0LMWLO,0000371-40-16JUL20

排気フィルタシステムの概要

機械には、排出ガスを浄化し、濾過する排出ガス規制適合エンジンが装備されています。通常の機械運転でシステムが AUTO モードに設定されている場合、オペレータによる処置はほとんど不要です。

H113829—UN—04JAN17
自動排ガスフィルタクリーニング

排ガスフィルタシステムへの不要なディーゼル微粒子やすすの堆積を避けるため、以下に注意してください。

- 自動排ガスフィルタクリーニングモードを使用します。
- 不要なアイドリングを避けます。
- 適切なエンジンオイルを使用してください。
- 超低硫黄燃料のみを使用してください。

注記： 詳しくは、機械の取扱説明書の「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

注意： **自動または駐車クリーニングが有効になっていると、排ガスフィルタのクリーニングサイクル中のある時期に、無負荷または軽負荷条件で排気温度が高くなる場合があります。**

排ガスフィルタクリーニング中に機械や装置を整備すると、大けがをする危険性があります。高温の排ガスにさらされたり、高温の部品に触れないようにしてください。

自動または手動/静止型の排気フィルタクリーニング作業中にエンジンは最大 45 分間にわたって高温で運転されます。けがや火災を防止するため、排気フィルタ、部品を確認して、出口にごみがないことを確認してください。クリーニングプロセス全体を通じて、排気の出口から人、建物、および熱で溶ける、燃える、または爆発する可能性がある物を離してください。

AUTO Mode (自動モード)— 通常の運転中に排気フィルタクリーニングを実行する自動プロセスです。

自動排気フィルタを無効化— 高排気温度になると、システムが危険になるおそれがあります。

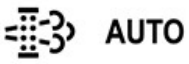
H113830—UN—04JAN17
駐車フィルタクリーニング

Parked Filter Cleaning (駐車フィルタクリーニング)— 必要なときにシステムで追加の排気フィルタクリーニングを実行するプロセスです。

Engine Cool Down (エンジンクールダウン)— 排ガスフィルタクリーニングの後のクールダウン期間です。

PR79369,00003D7-40-09FEB21

自動排気フィルタクリーニング



H113829—UN—04JAN17
自動排ガスフィルタクリーニング

「AUTO Mode (自動モード)」では、排ガスフィルタシステムが必要に応じて排ガスフィルタのクリーニングを行います。コーナーポストディスプレイの表示灯と CommandARM™ ディスプレイに、排気フィルタシステムの動作に関する情報が表示されます。

H113811—UN—04JAN17
高排気系統温度 *(HEST)* 表示灯

排気系統温度が高くなると、コーナーポストディスプレイで高排気系統温度 (HEST) 表示灯が点灯します。

注意： **自動または駐車クリーニングが有効になっていると、排ガスフィルタのクリーニングサイクル中のある時期に、無負荷または軽負荷条件で排気温度が高くなる場合があります。高温の排ガスが危険な条件では、排気フィルタクリーニングシステムを無効にしてください。**

注記： 駐車排気フィルタクリーニングが完了すると、システムは既定で自動モードに設定されます。

自動排気フィルタクリーニングの無効化 - 高排気温度になると、システムが危険になるおそれがあります。

重要： **排気フィルタの清掃中や清掃完了直後にエンジンを停止すると、エンジン部品の損傷が発生する可能性があります。警報が鳴り、警告メッセージがディスプレイに表示されます。機械を始動し、ディスプレイのメッセージに従って構成部品を冷ましてください。「エンジンクールダウン進行中」を参照してください。**

PR79369,00003D8-40-09FEB21

駐車フィルタクリーニング

駐車フィルタクリーニングは、必要なときに排ガスフィルタクリーニングを開始するプロセスです。

このプロセス中は、システムがエンジン回転数を制御し、この手順完了まで機械を駐車しておく必要があります。駐車フィルタクリーニングに要する時間は、排気フィルタの詰まり具合、周囲温度、その時点の排ガス温度によって異なります。

変更手順：

注意： **自動または駐車クリーニングが有効になっていると、排ガスフィルタのクリーニングサイクル中のある時期に、無負荷または軽負荷条件で排気温度が高くなる場合があります。**

排ガスフィルタクリーニング中に機械や装置を整備すると、大けがをする危険性があります。高温の排ガスにさらされたり、高温の部品に触れないようにしてください。

自動または手動 / 駐車排ガスフィルタクリーニング中、エンジンはハイアイドル回転数および高温の状態で長時間作動します。排気や排気フィルタは、やけど、発火、または一般材料が溶けるほど高温になります。

重要： **排気フィルタクリーニングの実行中、またはクリーニングの完了直後にエンジンを停止すると、排ガスクリーニングの部品が損傷するおそれがあります。機械を始動し、ディスプレイのメッセージに従って構成部品を冷ましてください。「エンジンクールダウン進行中」を参照してください。**

注記： 駐車フィルタクリーニングには 40 分以上かかる場合があります。

H113804—UN—09MAR16

中止

駐車フィルタクリーニング中にいつでも「中止」を選択すると、プロセスをキャンセルできます。

H113830—UN—04JAN17

駐車フィルタクリーニング

1. 「駐車排気フィルタクリーニング」ボタンを選択します。
2. 機械で駐車フィルタクリーニングのための設定が完了していることを確認してください。
   - 機械を屋外に配置する
   - 機械の動きを停止する
   - エンジン回転数をローアイドルに設定する
   - 駐車ブレーキをかける
   - セパレータを解除する
   - 近接センサーをクリアする
   - エンジンデブリ管理システムが機能する

N118440—UN—09MAR16

チェックマーク

条件が満たされると、その条件の前のボックスに緑色のチェックマークが表示されます。

H113803—UN—09MAR16

次へ

3. すべての条件に一致したら、次へボタンを選択します。

注記： 排気フィルタシステムがエンジン回転数を制御して、排ガス温度を高くします。

H113801—UN—04JAN17

進行状況インジケーター

排気フィルタクリーニングの状況が進行状況インジケーターに表示されます。

H114770—UN—22JAN20

閉じる

4. 選択するとメッセージが画面に表示され、ディスプレイのステータスセンターで確認できます。

注記：「Close (閉じる)」ボタンを選択すると、クリーニングプロセスが続行します。

H113816—UN—04JAN17

ステータスセンター

手順のステータスを確認するには、「Status Center (ステータスセンター)」を選択して「Status Center (ステータスセンター)」ページを開きます。

H118543—UN—04JAN17

Check Status (ステータスの確認)

「Check Status (ステータスの確認)」を選択して、クリーニングプロセスを表示します。

H113825—UN—04JAN17

クリーニングの完了

排ガスフィルタクリーニングが完了すると、システムから通知されます。

H114770—UN—22JAN20

閉じる

5. 画面に戻ります。

この手順終了後ただちに機械を使用しない場合は、エンジンが通常の使用温度に戻るまで待ってからエンジンを停止してください。「エンジンクールダウン進行中」を参照してください。

注記：駐車排気フィルタクリーニングが完了すると、システムは既定で自動モードに設定されます。

PR79369,00003D9-40-09FEB21

自動排ガスフィルタクリーニングの無効化

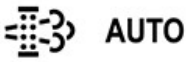
特定の条件で自動排ガスフィルタクリーニングを無効にできます。

重要：排ガスフィルタクリーニングシステムの無効化は、必要な場合にのみ行ってください。

以下の場合に変更を行います：

- 屋内または屋根の下 (ただし、高温の外部換気排気装置を接続している場合を除く)。
- 機械を停止する前に、クリーニングサイクルを完了するだけの十分な時間がない場合。
- 作物のごみや籾殻が多い条件の場合。
- 給油場所と隣接している場合。

変更手順：



H113829—UN—04JAN17

自動

1. 「Exhaust Filter Cleaning (排ガスフィルタクリーニング)」を開きます。

H113848—UN—04JAN17

ON/OFF

2. 「Automatic Filter Cleaning (自動フィルタクリーニング)」を有効または無効にします。

H114770—UN—22JAN20

閉じる

3. 「Exhaust Filter Cleaning (排ガスフィルタクリーニング)」を閉じます。

PR79369,00003DA-40-09FEB21

エンジンクールダウン進行中

エンジンクールダウンは、エンジンと部品を放置して冷ますために必要な特定の時間間隔です。

重要：排気フィルタクリーニングの実行中、またはクリーニングの完了直後にエンジンを停止すると、排ガスクリーニングの部品が損傷するおそれがあります。警報が鳴り、警告メッセージがディスプレイに表示されます。機械を始動し、ディスプレイのメッセージに従って構成部品を冷ましてください。

エンジンクールダウン進行中へのアクセス：

H127479—UN—26SEP19

エンジンクールダウンアイコン

1. 「エンジン冷却進行中」アラートは、画面上に表示され、本機を停止するまでの残り分数を示します。

H113812—UN—04JAN17

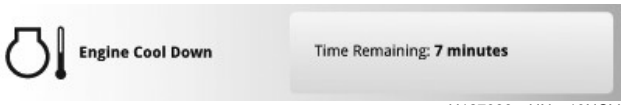
OK

2. 「エンジン冷却進行中」アラートに対して「OK」を選択します。

H127477—UN—26SEP19

ステータスセンター

3. エンジン冷却進行中は、ステータスセンターでエンジン冷却アイコンが点灯します。



H127983—UN—19NOV19

ステータスセンター画面

4. エンジン冷却アイコンを選択すると、ステータスセンター画面で進行状況を確認できます。

H127510—UN—26SEP19

エンジンクールダウン完了

5. エンジン冷却時間が経過すると、「エンジン OK」アイコンが画面に表示されます。

重要：**エンジン冷却中にエンジンが停止すると、エンジンの始動を求めるアラートが画面に表示されます。**

H113812—UN—04JAN17

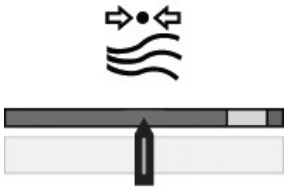
OK

6. 「クールダウン完了」メッセージが表示され、本機を停止できることが通知されます。メッセージを閉じます。

PR79369,00003DB-40-09FEB21

デブリ管理ろ過容量

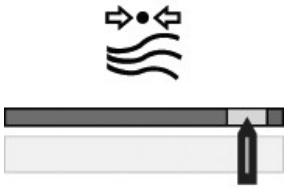
デブリ管理ろ過容量を表示できるインジケーターです。



H126195—UN—24APR19

緑ゾーン

- **緑ゾーン**— ろ過容量は良好です。



H126196—UN—24APR19

黄ゾーン

- **黄ゾーン**— ろ過容量は残りわずかです。すぐにフィルタを取り外して清掃してください。

注記： フィルタを清掃するまで、メッセージがキーサイクルごとに 1 回画面に表示されます。

H126197—UN—24APR19

赤ゾーン

- **赤ゾーン**— ろ過容量は残っていません。今すぐフィルタを取り外して清掃してください。

注記： インジケーターが赤ゾーンに動いた場合、停止アラート DTC がトリガーされます。エンジンデブリ管理フィルタを取り外して清掃してください。

N0LMWLO,0000377-40-16JUL20

エアコンプレッサ

エアコンプレッサは、機械の清掃に使用する補足的な圧縮空気源として機能します。

エアコンプレッサは以下の要件が満たされている場合にのみ機能します。

- エンジン運転中。
- 機械が駐車している。
- セパレータが解除されている。
- ヘッダーが解除されている。
- 機械の外部コンポーネントが動いていない。

変更手順：

重要：**水分をエアタンクから毎日抜き取ってください。詳しくは、機械の取扱説明書を参照してください。**

重要：**エンジン運転中は、絶対にエンジンエアフィルタまたはデブリ管理エアフィルタを清掃しないでください。**

注記：本機に搭載されているエアコンプレッサを使用して、本機のタイヤに空気を入れたり、エアツールを駆動したりすることは推奨されません。

H113822—UN—04JAN17

ステータス表示灯

ステータス表示灯— エアコンプレッサ要件のステータスを表示します。

H116670—UN—04JAN17

ON/OFF

エアコンプレッサを有効または無効にします。

注記：エアコンプレッサが起動しているときは、緑色のステータス表示灯が点滅して、セパレータ、ヘッダー、アンローディングオーガ、推進力システムなどの特定の機械機能が制限されていることを通知します。

注記：必須の条件が満たされなかった場合に ON/OFF トグルボタンを選択すると、エアコンプレッサステータスが表示され、システムの起動を妨げている問題のトラブルシューティングを容易に行うことができます。

PR79369,00003DC-40-09FEB21

Air Compressor Status (エアコンプレッサステータス)

「Air Compressor Status (エアコンプレッサステータス)」には、エアコンプレッサシステムを有効にするために必要な要件が表示されます。

H116670—UN—04JAN17

ON/OFF

すべての要件が満たされていない場合は、「Air Compressor (エアコンプレッサ)」の下の ON/OFF トグルボタンを選択して、「Air Compressor Status (エアコンプレッサステータス)」ページを開きます。

「Air Compressor Status」(空気圧縮機ステータス)ページに表示される項目：

H113824—UN—04JAN17

灰色

Not Ready (準備ができていない)— 要件が満たされていません。

H113824—UN—04JAN17

灰色

Ready (準備完了)— 要件は満たされていますが、有効になっていません。

H113822—UN—04JAN17

緑

Active (アクティブ)— 要件が満たされ、システムは有効化されています。

空気圧縮機の要件：

- エンジン運転中。
- 機械が駐車している。
- セパレータが解除されている。
- ヘッダーが解除されている。
- 機械の外部コンポーネントが動いていない。

H113826—UN—04JAN17

アラートメッセージ

要件が満たされていない場合、メッセージが表示されます。

H113825—UN—04JAN17

チェックマーク

条件が満たされると、緑色のチェックマークが表示されます。

H114770—UN—22JAN20

閉じる

Air Compressor Status (エアコンプレッサステータス) を閉じます。

SS43267,00008A2-40-19NOV19

HVAC アプリケーション

HVAC へのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2. 「Machine Settings (機械の設定)」タブ

H114795—UN—04JAN17

HVAC

3. HVAC

ナビゲーションバーからのアプリケーションへのアクセス：

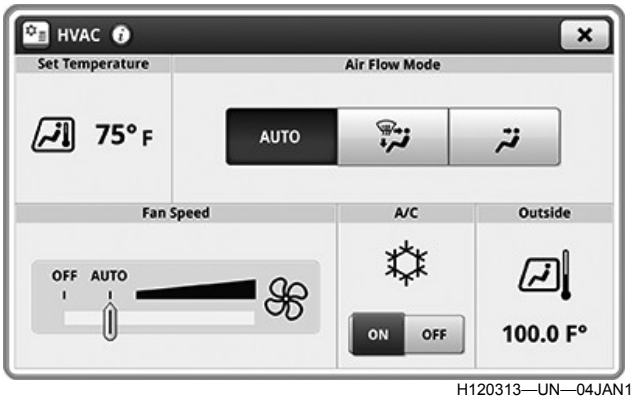
H114794—UN—17MAR16

HVAC

ディスプレイの下にあるナビゲーションバーの「HVAC」ボタンを押します。

PR79369,00003DD-40-09FEB21

ヒーター、換気、エアコン (HVAC) メインページ



H120313—UN—04JAN17

HVAC

注記：アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

表示されているメインページは例のみを目的としています。オプションや接続されている装置に応じて、メインページは異なる場合があります。

HVAC アプリケーションを使用すると、キャブ内の温度、ファン回転速度、エアフローモードを調整し、外気温 (装備されている場合) を確認できます。

H119378—UN—15SEP16

温度の設定

HVAC メインページでアクセスできる項目：

温度の設定 — キャブ内の必要な温度を設定します。

H114797—UN—17MAR16

エアフローモード

エアフローモード — キャブ内の気流分布を調整します。

H114801—UN—17MAR16

ファン回転速度

ファン回転速度 — キャブ内のファン回転速度をコントロールします。

N145869—UN—26SEP19

エアコンシステム

エアコンシステム (A/C)— エアコンシステムを有効または無効にします。

H119377—UN—16SEP16

車外

車外 — 現在の車外温度を表示します。

H115024—UN—04JAN17

A/C

実行モジュール

このアプリケーションのモジュールは、レイアウトマネージャーを使用して実行モジュールに追加できます。

例：

A/C — エアコンの有効化 / 無効化に直直接アクセスできます。

注記： 使用するアプリケーションに応じて異なるモジュールを使用できます。

ショートカットキー

このアプリケーションのショートカットキーは、レイアウトマネージャーを使用して実行モジュールに追加できます。

例：

H116265—UN—04JAN17

A/C ON/OFF

A/C ON/OFF：エアコンの ON/OFF にすばやくアクセスできます。

注記： 用途に応じて種々のショートカットキーを利用できます。

PR79369,00003DE-40-09FEB21

温度の設定

「温度の設定」では、希望するキャブ内の温度を設定します。

変更手順：

N145866—UN—26SEP19

温度の設定

1. 温度の設定で値を選択するとキャブ温度設定を変更できます。

H114792—UN—22JAN20

減少

2. 選択すると値が減ります。

H114791—UN—22JAN20

増加

3. 選択すると値が増えます。

H114770—UN—22JAN20

閉じる

4. 選択するとキャブ温度設定表示が閉じます。

別の変更手順：

CommandARM™ 温度コントロール — アームレストの温度増減ボタンを押して温度を変更します。

PR79369,00003DF-40-09FEB21

ファン回転速度

ファン回転速度では、キャブ内のファン回転速度を制御できます。

H114801—UN—17MAR16

ファン回転速度

変更手順：

1. Fan Speed (ファン回転速度) の下のモニターの領域を選択し、変更します。

H114802—UN—17MAR16

インジケーター

2. マイナス (-) またはプラス (+) ボタンを選択して、イ

ンジケーターを選択したファン回転速度、自動モード、または OFF にします。

H114998—UN—04JAN17

減少

a. ファン回転速度を下げるか、自動モードにするか、または OFF 位置にしたい場合に選択します。

H114997—UN—04JAN17

増加

b. 選択してファン回転速度を上げます。ファン回転速度は、最大設定に達するまで上がります。

インジケーターが OFF に移動するとファンが OFF になります。インジケーターが AUTO に移動すると、ファン回転速度は自動的に制限されます。

注記： 自動モードを選択すると、温度が温度設定点に近付くにつれてファン回転速度が下がります。

H114770—UN—22JAN20

閉じる

3. ファン回転速度の設定を閉じます。

注記： 自動モードでは、温度が設定点に近づくにつれて、ファン回転速度は低下します。

別の変更手順：

ClimaTrak™ 自動温度コントロール — アームレストのファン回転速度増減ボタンを押して、ファン回転速度を変更します。

PR79369,00003E0-40-09FEB21

エアフローモード

「エアフローモード」を選択して、キャブ内のエアコンの気流方向を調整するか、フロントガラスデフロスタを有効にします。

変更手順：

H114797—UN—17MAR16

エアフローモード

トグルバーで必要なエアフローモードを選択します。

H114798—UN—17MAR16

自動

自動— 実際の温度やキャブ内の希望する温度に応じて自動的に吹き出し量と方向を調整します。

H114799—UN—17MAR16

デフロスタ、オペレータ、フロア

デフロスト、**オペレータ**、**フロア** — キャブ全体に気流を均等に分配し、フロントガラスの曇りを防止します。

注記： デフロストエアフローモードを選択すると、エアコンが ON になります。

H114800—UN—17MAR16

オペレータ

オペレータ — 気流を手前に向けます。

別の変更手順：

ClimaTrak™ 自動温度コントロール — アームレストのエアフローモードボタンを押してモードを切り替えます。

PR79369,00003E1-40-09FEB21

エアコンシステム (A/C)

エアコンでは、エアコンを有効 / 無効にします。

注記： デフロストエアフローモードを選択すると、エアコンが ON になります。

H114790—UN—04JAN17

ON/OFF

変更手順：

選択するとエアコンの有効と無効が切り替わります。

PR79369,00003E2-40-09FEB21

外気温

車外を使用して、現在の外気温を表示できます。

H119377—UN—16SEP16

外気温

変更手順：

外気温の下にある画面領域を選択すると、大画面が開いて現在の外気温が表示されます。

H114770—UN—22JAN20

閉じる

選択すると外温度の表示が閉じます。

PR79369,00003E3-40-09FEB21

トランスミッションアプリケーション

トランスミッションへのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2. 「Machine Settings (機械の設定)」タブ

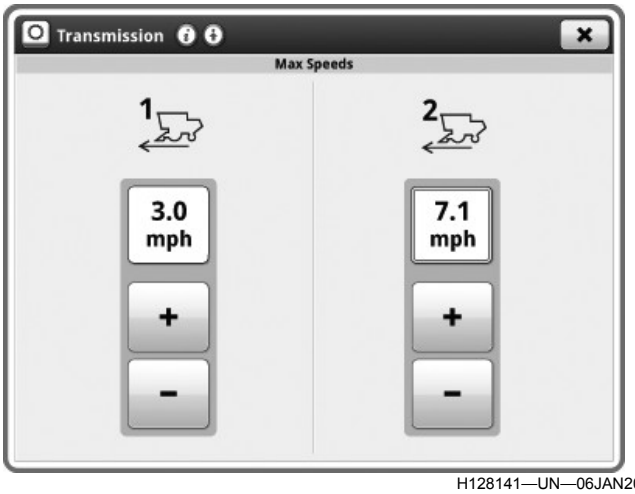
H113843—UN—30OCT15

トランスミッション

3. トランスミッション

PR79369,000041B-40-10FEB21

トランスミッションメインページ



H128141—UN—06JAN20

トランスミッション

注記： アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

表示されているメインページは例のみを目的としています。オプションや接続されている装置に応じて、メインページは異なる場合があります。

トランスミッションアプリケーションを使用して、トランスミッション情報を表示し、設定を調整します。

ProDrive™ トランスミッションメインページでアクセスできる項目：

H126972—UN—26SEP19

最大速度 *1*

Max Speed 1 (最大速度 1)— 最大速度 1 が有効な場合の最大速度。入力ボックスを選択して設定を調整します。

H126973—UN—26SEP19

最大速度 *2*

Max Speed 2 (最大速度 2)— 最大速度 2 が有効な場合の最大速度。入力ボックスを選択して設定を調整します。

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

Advanced Settings (詳細設定)— 詳細な調整、一般的ではない設定にアクセスできます。

押しボタン式トランスミッションメインページでアクセスできる項目：

H126976—UN—26SEP19

現在のギヤ

現在のギヤ — 選択している現在のギヤを表示します。

「押しボタンシフトトランスミッション」ボタンを押して現在のギヤを変更します。

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

Advanced Settings (詳細設定)— 詳細な調整、一般的ではない設定にアクセスできます。

PR79369,000041C-40-10FEB21

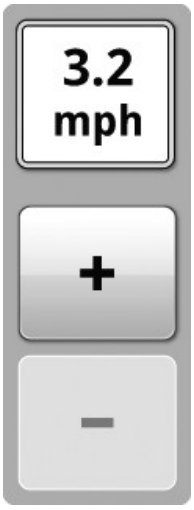
最大速度 1、2

Max Speeds (最大速度) を使用して快適な収穫速度または輸送速度を設定します。必要な走行速度を設定して、エンジンがハイアイドルのときに多機能レバーを前方いっぱいに動かすと、機械は選択したモードの設定点を超えない速度で運転されます。以下の 2 種類のモードを利用できます。

注記： 最大速度 1 は、最大速度 2 で設定されている現在の最高速度よりも高く設定することはできません。

注記： 最大設定点よりも大きい場合、機械の動きがよりアグレッシブであることを意味します。精密な動きを実行している場合 (ヘッダーの取り付けなど) は、低い最大設定点でローレンジを使用することが常に最適です。

- 例 1：ヘッダーを機械に取り付けて目的の作物を収穫している。最大速度 1 を 1.6 km/h (1 mph) に設定。最大速度 2 を 11.3 km/h (7 mph) に設定。
- 例 2：水路に接近して目的の作物を収穫している。最大速度 1 を 4.8 km/h (3 mph) に設定。最大速度 2 を 11.3 km/h (7 mph) に設定。



H126975—UN—26SEP19

値

プラス (+) ボタンを選択して値を増やします。

マイナス (-) ボタンを選択して値を減らします。

注記： アームレストで ProDrive™ モードのボタンを使用して速度設定を切り替えると、画面上にメッセージが表示され、速度設定が現在有効であることを通知します。メッセージは、ディスプレイの「ステータスセンター」で確認できます。

PR79369,000041D-40-10FEB21

詳細設定 ProDrive™

詳細設定ページでアクセスできる項目：

リンプホームモード— パワートレーンセンサーが故障している機械を安全な場所や整備に移動できるようにします。

Tow Mode (牽引モード)— 機械を牽引する場合に有効にする必要があります。

N0LMWLO,0000382-40-16JUL20

詳細設定 ProDrive™ 牽引モード

機械が動かなくなって、牽引が必要な場合は、Tow Mode (牽引モード) を有効にしてトランスミッションを保護できます。

注意： ワイヤロープを使用して機械を牽引しないでください。ロープが破損した場合、むち打ちアクションによりけがをする可能性があります。

カプラーを取り外さないでください。カプラーを取り外すと、ブレーキが無効になります。

ProDrive は Deere & Company の商標です。

送電線に接触しないように注意してください。グレンタンクカバーを必ず閉じ、無線アンテナを取り外してから輸送する必要があります。詳細については、CommandCenter™ ディスプレイの折りたたみアプリケーションと取扱説明書の「運転席」セクションの「無線アンテナ」を参照してください。

公道での装置の運転または牽引に関する現地の国の規則を確認してください。最寄りの John Deere 販売店から入手できる補助ライトや装置を使用して、他の道路使用者に警告してください。

暴走した機械に挟まれてけがをしないように注意してください。機械が傾斜地にある場合は、ホイールをブロックするまでパーキングブレーキを解除しないでください。

機械は、緊急時に最高速度 10 km/h (6.2 mph) で最長 10 分間牽引できます。

牽引モードの手順要件：

エンジンの状態	運転中
車輪回転数	0 km/h (0 mph)
オペレータ	着席
機械の状態	駐車ブレーキ接続

変更手順：

機械を牽引するには、次の手順に従います。

1. エンジンを始動します。
2. グレンタンクを空にしてヘッダーを取り外します。
3. アンローディングオーガを旋回させて戻します。
4. グレンタンクカバーを閉じます。
5. タラップを前方に旋回させて、ラジオアンテナを折りたたみます。

注記： 必ず、チェーンを主車軸に取り付けて機械を前方に牽引します。チェーンによって油圧ラインが損傷しないように注意してください。ドライバーがオペレータシートに座り、機械の操舵を行います。

6. 法で禁止されていない限り、警告灯を ON にします。

注記： 駐車ブレーキを解除して機械を牽引するには、エンジンを運転している必要があります。エンジンが動かない場合は、John Deere 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

H114769—UN—22OCT15

ON/OFF

7. ON/OFF トグルボタンを選択して、牽引モードを有効にします。

H114772—UN—22OCT15

メッセージ

8. 牽引モードの要件が満たされていない場合、どの要件が満たされていないかを示すメッセージが表示されます。

H114770—UN—22JAN20

閉じる

9. 何らかの理由により牽引モードを終了する必要がある場合は、閉じるボタンを選択して終了できます。

H114771—UN—22OCT15

緑のチェックマーク

10. 要件が満たされると、その条件の前に緑色のチェックマークが表示されます。

H114769—UN—22OCT15

ON/OFF

11. すべての要件が満たされたら、ON/OFF トグルボタンを選択して、牽引モードを有効にします。

注意： 公道では、他の道路利用者、アタッチメントや牽引式装置を備えた低速走行のトラクター、自走式機械との衝突を防止してください。特に右折や左折時などは、後方からの交通をこまめに確認し、手信号や方向指示灯を使用してください。

ヘッドライト、点滅警告灯、および方向指示灯を昼夜とも使用してください。装置の照明や標識についての各地の規制に従ってください。照明や識別標識はよく見えるように提示し、良好な作動状態を維持してください。損傷または紛失しているライトやマーカーは交換または修理してください。

12. 機械を牽引する前に、アームレストの「駐車」ボタンを押してブレーキを解除します。

注記： 駐車ブレーキを解除するには、オペレータがシートに座っている必要があります。

以下に示す操作を行うと、牽引モードが無効になり、メッセージが画面に表示され、ディスプレイのステータスセンターで確認できます：

- トランスミッションをギヤにシフトした場合。

PR79369,000041E-40-10FEB21

詳細設定 ProDrive™ リンプホームモード

パワートレーンセンサーの故障が原因で機械を停止できる安全な場所に低速で移動するために、リンプホームモードを有効にすることができます。

注記： リンプホームモードにアクセスするには、ヘッダーアプリケーションがアクティブである必要があります。

機械を最小 4 時間運転できます。リンプホームモードは通常の運転に使用しないでください。

H114769—UN—22OCT15

ON/OFF

ON/OFF トグルボタンを選択して、リンプホームモードを有効にします。

パワートレーンセンサーに故障が場合、Limp Home Mode (リンプホームモード) が有効になるとメッセージが表示されます。

注記： Limp Home Mode (リンプホームモード) は、機械のキーサイクルにより自動的に無効になります。

パワートレインセンサーの故障が検出されない場合、リンプホームモードは有効にならず、メッセージが表示されます。

PR79369,000041F-40-10FEB21

ライトアプリケーション

ライトへのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2. 「Machine Settings (機械の設定)」タブ

H115006—UN—09JAN17

ライト

3. ライト

ナビゲーションバーからのアプリケーションへのアクセス：

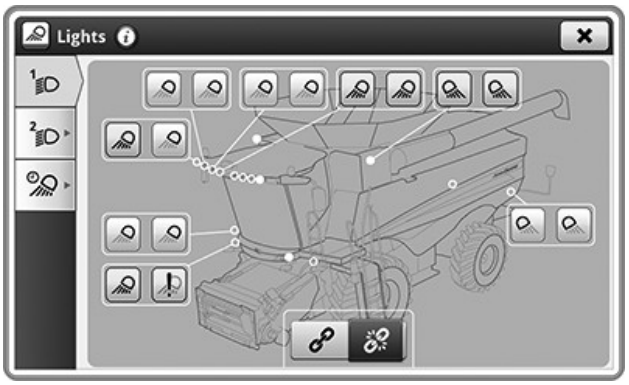
H115005—UN—11MAR16

ライト

ディスプレイ下のナビゲーションバーのライトボタンを押します。

PR79369,0000421-40-26FEB21

ライトメインページ



H120316—UN—09JAN17

ライト

注記： アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

表示されているメインページは例のみを目的としています。オプションや接続されている装置に応じて、メインページは異なる場合があります。

ライトアプリケーションを使用して、オペレータが構成できるライトプリセットにアクセスします。いずれかのタブのプリセットを選択すると、調整が可能になります。

注記： 作業灯は構成可能です。道路灯は構成できません。

ライトアプリケーションで使用できるタブ：

H114593—UN—11MAR16

作業灯プリセット *1* — ロービーム

作業灯プリセット 1 — ロービーム — プリセット 1 — ロービームモードで点灯するライトです。

H114596—UN—11MAR16

作業灯プリセット *2* — ロービーム

作業灯プリセット 2 — ロービーム — プリセット 2 — ロービームモードで点灯するライトです。

H114594—UN—11MAR16

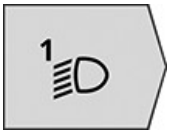
作業灯プリセット *1* — ハイビーム

作業灯プリセット 1 — ハイビーム — 「プリセット 1 — ハイビームモード」で点灯するライトです。

H114595—UN—11MAR16

作業灯プリセット *2* — ハイビーム

作業灯プリセット 2 — ハイビーム — プリセット 2 — ハイビームモードで点灯するライトです。



H114597—UN—11MAR16

強調表示されているタブ

強調表示されているタブ — どのライトのプリセットを選択しているかを示します。

作業灯のコントロール — 作業灯の ON/OFF、ハイ / ロービーム、プリセットモード 1 または 2 を選択するコントロールです。

H113862—UN—11MAR16

故障しているライト

故障しているライト — 感嘆符のマークはライトが故障していることを示します。たとえば、バルブ切れです。

H114587—UN—11MAR16

退出ライト

退出ライト — キースイッチを OFF 位置にした後に点灯させたままにするライトとその時間を選択します。

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

Advanced Settings (詳細設定)— 詳細な調整、一般的ではない設定にアクセスできます。

PR79369,0000422-40-11FEB21

作業灯プリセット 1 — ロービーム

カスタマイズプリセット 1 — お客様の特定のニーズで使用するロービームモードのライトです。荷下ろしや収穫操作中など、視界が悪いときにカスタマイズした照明が必要な場合は、変更します。

変更手順：

H114593—UN—11MAR16

作業灯プリセット *1*—ロービーム

1. 選択して、このモードでの各ライトのカスタマイズを行います。

H113857—UN—11MAR16

リンク済み

- すべてのタブで、ペアの左右のライトをリンクして同時に ON/OFF させるには、トグルボタンの「リンク」を選択します。

H113858—UN—11MAR16

リンク解除済み

- すべてのタブで、ペアの左右のライトを個別に ON/OFF させるには、トグルボタンの「リンク解除」を選択します。

H114591—UN—11MAR16

ライトボタン

H113853—UN—11MAR16

ライトペアボタン

2. 点灯させたいライトまたはライトのペアのボタンを選択します。

H114592—UN—11MAR16

強調表示されているボタン

注記： 選択すると、ボタンが強調表示されます。

PR79369,0000423-40-11FEB21

作業灯プリセット 2 — ロービーム

カスタマイズプリセット 2 — お客様の特定のニーズで使用するロービームモードのライトです。荷下ろしや収穫操作中など、視界が悪いときにカスタマイズした照明が必要な場合は、変更します。

変更手順：

H114596—UN—11MAR16

作業灯プリセット 2—ロービーム

1. 選択して、このモードでの各ライトのカスタマイズを行います。

H113857—UN—11MAR16

リンク済み

- すべてのタブで、ペアの左右のライトをリンクして同時に ON/OFF させるには、トグルボタンの「リンク」を選択します。

H113858—UN—11MAR16

リンク解除済み

- すべてのタブで、ペアの左右のライトを個別に ON/OFF させるには、トグルボタンの「リンク解除」を選択します。

H114591—UN—11MAR16

ライトボタン

H113853—UN—11MAR16

ライトペアボタン

2. 点灯させたいライトまたはライトのペアのボタンを選択します。

H114592—UN—11MAR16

強調表示されているボタン

注記： 選択すると、ボタンが強調表示されます。

PR79369,0000424-40-11FEB21

作業灯プリセット 1 — ハイビーム

カスタマイズプリセット 1 — お客様の特定のニーズで使用するハイビームモードのライトです。荷下ろしや収穫操作中など、視界が悪いときにカスタマイズした照明が必要な場合は、変更します。

変更手順：

H114594—UN—11MAR16

作業灯プリセット *1*—ハイビーム

1. 選択して、このモードでの各ライトのカスタマイズを行います。

H113857—UN—11MAR16

リンク済み

- すべてのタブで、ペアの左右のライトをリンクして同時に ON/OFF させるには、トグルボタンの「リンク」を選択します。

H113858—UN—11MAR16

リンク解除済み

- すべてのタブで、ペアの左右のライトを個別に ON/OFF させるには、トグルボタンの「リンク解除」を選択します。

H114591—UN—11MAR16

ライトボタン

H113853—UN—11MAR16

ライトペアボタン

2. 点灯させたいライトまたはライトのペアのボタンを選択します。

H114592—UN—11MAR16

強調表示されているボタン

注記： 選択すると、ボタンが強調表示されます。

PR79369,0000425-40-11FEB21

作業灯プリセット 2 — ハイビーム

カスタマイズプリセット 2 — お客様の特定のニーズで使用するハイビームモードのライトです。荷下ろしや収穫操作中など、視界が悪いときにカスタマイズした照明が必要な場合は、変更します。

変更手順：

H114595—UN—11MAR16

作業灯プリセット *2*—ハイビーム

1. 選択して、このモードでの各ライトのカスタマイズを行います。

H113857—UN—11MAR16

リンク済み

- すべてのタブで、ペアの左右のライトをリンクして同時に ON/OFF させるには、トグルボタンの「リンク」を選択します。

H113858—UN—11MAR16

リンク解除済み

- すべてのタブで、ペアの左右のライトを個別に ON/OFF させるには、トグルボタンの「リンク解除」を選択します。

H114591—UN—11MAR16

ライトボタン

H113853—UN—11MAR16

ライトペアボタン

2. 点灯させたいライトまたはライトのペアのボタンを選択します。

H114592—UN—11MAR16

強調表示されているボタン

注記： 選択すると、ボタンが強調表示されます。

PR79369,0000426-40-11FEB21

退出ライト

退出ライトでは、キースイッチを OFF 位置にした後にライトを点灯させる時間を選択できます。

注記： 過去 5 分以内に道路ライトまたは作業灯を点灯させた場合、退出ライトが点灯します。

変更手順：

H114587—UN—11MAR16

退出ライト

1. ライトタブを選択します。

H113857—UN—11MAR16

リンク済み

- すべてのタブで、ペアの左右のライトをリンクして同時に ON/OFF させるには、トグルボタンの「リンク」を選択します。

H113858—UN—11MAR16

リンク解除済み

- すべてのタブで、ペアの左右のライトを個別に ON/OFF させるには、トグルボタンの「リンク解除」を選択します。

H114591—UN—11MAR16

ライトボタン

H113853—UN—11MAR16

ライトペアボタン

2. 点灯させたいライトまたはライトのペアのボタンを選択します。

H114592—UN—11MAR16

強調表示されているボタン

注記： 選択すると、ボタンが強調表示されます。

H114588—UN—11MAR16

退出時のタイムアウト

3. 「Exit Timeout」(退出タイムアウト) 画面を開きます。
4. 必要な「退出時のタイムアウト」設定を選択します。

退出時タイムアウトの値		
瞬時オフ (0 秒)	60 秒	3 分
10 秒	90 秒	4 分
30 秒	2 分	5 分

H114606—UN—09JAN17

OK

H114605—UN—09JAN17

キャンセル

5. OKを選択して保存するか、キャンセルを選択して前の設定に戻します。

PR79369,0000427-40-11FEB21

作業灯のコントロール

作業灯のコントロールを使用すると、必要な作業灯のプリセットとモードを選択できます。

変更手順：

H115019—UN—09JAN17

作業灯の位置

1. ステアリングコラムのセレクタノブを作業灯位置に回します。
2. ハイビームモードまたはロービームモードを選びます。
   - レバーを押すとハイビームモードが選択されます。
   - レバーを引くとロービームモードが選択されます。

H115018—UN—11MAR16

アームレストのライト切り替え

3. アームレストのライト切り替えボタンを押して、作業灯プリセット 1 または作業灯プリセット 2 を選択します。

注記： 選択したプリセットモード 1 または 2 の LED が点灯します。

- **パッシング**：レバーを上の位置に引いて保持すると、ハイビームモードが一瞬作動します。
- **ロービーム位置**：レバーを中央位置まで戻してロービームを作動させます。
- **ハイビーム位置**：レバーを下の位置まで押すと、ハイビームが作動します。

PR79369,0000428-40-11FEB21

キャリブレーションアプリケーション

キャリブレーションと手順へのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

N119118—UN—23SEP16

*Machine Settings (*機械の設定*)*

2. 「Machine Settings (機械の設定)」タブ

N119098—UN—25MAY16

キャリブレーションと手順

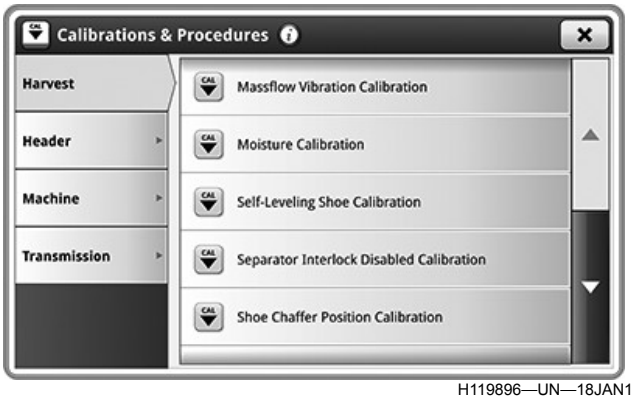
3. キャリブレーションと手順

SS43267,000084C-40-17JAN17

キャリブレーションと手順の概要

注記： アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

表示されているメインページは例のみを目的としています。オプションや接続されている装置に応じて、メインページは異なる場合があります。



H119896—UN—18JAN17

キャリブレーションと手順

「キャリブレーションと手順」アプリケーションは、メンテナンス手順と機械のキャリブレーションへの一元化されたアクセスを提供します。

H119225—UN—23SEP16

「*Harvest*」*(*収穫*)* タブ

「Harvest」(収穫) タブ

質量流量振動

収穫量

黄色のフラッシャー

グレンロスモニターのタップテスト

水分センサー

シャーシ傾斜

コンケーブのエア抜き

コンケーブの水平調整

ActiveYield™

脱穀すき間 (STS 電動)

脱穀すき間 (油圧)

アンローディングオーガの接続

H119226—UN—23SEP16

「*Header*」*(*ヘッダー*)* タブ

ヘッダータブ

フィーダーハウス上昇速度

ヘッダー

デッキプレート間隔

伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテスト

フィーダーハウス横方向傾斜速度

ウイング (折りたたみ式コーンヘッド)

Reel and Cutterbar Position (リールとカッターバーの位置)

Reel Position (リール位置)

Feeder House Tilt Fore/Aft Range (フィーダーハウス傾斜前後位置範囲)

フィーダーハウス横方向傾斜範囲

PR79369,000042A-40-04MAR21

質量流量振動

この手順では、操作中の機械の通常の振動に対応して、質量流量センサーをキャリブレーションします。

このキャリブレーションを実行して、質量流量センサーが材料を収穫中として振動を誤って読み取るのを防止します。

注記： 質量流量振動キャリブレーションは、ヘッダーを変更した場合、および収穫する作物ごとに実施する必要があります。質量流振動キャリブレーションは ActiveYield™ のキャリブレーションの前に実行します。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- コントロールユニット AYM、または関連する部品を交換 / 調整した場合。
- ヘッダーなどの機器構成を変更した場合。
- 収穫する作物のタイプを変更した場合。
- 質量流量センサーを交換した場合。

「Mass Flow Vibration Calibration」(質量流量振動キャリブレーション) ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

キャリブレーションの開始 — キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な機械の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	詳しくは、「キャリブレーションを実行する場合」セクションを参照してください。
推定所要時間	約 1 分

PR79369,000042B-40-24FEB21

質量流量振動キャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

手順の概要：

1. 「Begin Calibration」(キャリブレーションの開始) を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

*Save (*保存*)*

3. 「Save (保存)」を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 「Retry (再試行)」ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

SS43267,0000867-40-19JAN17

水分センサー

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- 水分センサーの取り付け、交換、または調整を行った場合。
- 水分センサーの精度を高める必要がある場合。

水分センサーのキャリブレーションページでアクセスできる項目：

N119105—UN—02MAY16

キャリブレーションの実行

水分センサー手順 — キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な機械の状態です。

PR79369,000042C-40-24FEB21

水分センサーの手順

この手順では水分センサーのキャリブレーションを実行します。

手順実行時の要件：

エンジンの状態	運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

実行手順：

ActiveYield は Deere & Company の商標です。

A102855—UN—01FEB19

始動

1.「開始」を選択してキャリブレーション手順を開始します。

H113801—UN—04JAN17

キャリブレーション

2.キャリブレーション記号が画面に表示されます。キャリブレーションは次のステップに自動的に進みます。

A92084—UN—09MAY19

キャリブレーション完了

問題がない場合は、「キャリブレーション完了」が画面に表示されます。

A92068—UN—16MAR18

保存

3.ENTER を押して「保存」を選択し、キャリブレーションを確定します。

A92067—UN—16MAR18

キャンセル

4.「キャンセル」を選択して前のページに戻ります。

PR79369,000004D-40-26NOV19

脱穀すき間 (STS 電気)

この手順では、コンケーブの全開および全閉位置を確認して脱穀隙間のキャリブレーションを行います。適切にキャリブレーションされた脱穀隙間は推奨収穫設定で最良の結果を実現します。詳しくは、取扱説明書を参照してください。

重要：**ラウンドバーコンケーブカバーを取り付けた状態でキャリブレーションを行わないでください。ゼロ位置が不適切になる可能性があります。**

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- 収穫期に向けた準備。
- 物理的なコンケーブの開口がキャブで表示されている内容と一致しない場合。
- コンケーブを新品のコンケーブまたは別のセットのコンケーブに交換した場合。
- 脱穀隙間センサーまたは関連する部品を交換 / 調整した場合。

「Threshing Clearance」(脱穀隙間) ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 1 ~ 2 分

PR79369,000042D-40-24FEB21

脱穀すき間キャリブレーション (STS 電気) 手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 「Save (保存)」を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 「Retry (再試行)」ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,000042E-40-24FEB21

Yield Calibration (収穫量キャリブレーション)

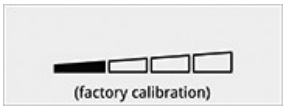
この手順では、予測収穫量をキャリブレーションします。キャリブレーションは、記録したサンプルを、対応する秤量重量測定値と一致させることにより行われます。

注記： Yield Calibration (収穫量キャリブレーション) は、正確なグレン重量測定値を得るために毎年および収穫する作物ごとに実行する必要があります。また、作物ごとに Mass Flow Vibration Calibration (質量流量振動キャリブレーション) が実施済みであることを確認してください。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- コントロールユニット AYM、または関連する部品を交換 / 調整した場合。
- 収穫量の合計がスケール伝票と一致しない場合。
- 最高精度の収穫量合計が必要な場合。

「Yield Calibration」(収穫量キャリブレーション) ページでアクセスできる項目：



H119234—UN—02MAR21

キャリブレーション品質

キャリブレーション品質 — キャリブレーションサンプルの品質を示します。

H119417—UN—18JAN17

ステータス

ステータス表示灯 — サンプル記録のステータスを表示します。

H119235—UN—18JAN17

記録

記録 — サンプルデータを収集します。

H119363—UN—18JAN17

Unmatched Samples (不一致のサンプル)

不一致のサンプル — 実際の重量と一致しないサンプルの数。

H119364—UN—18JAN17

Match Scale Weight (秤量重量と一致)

秤量重量と一致 — 記録されたサンプル重量を実際のサンプル重量に合わせます。

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

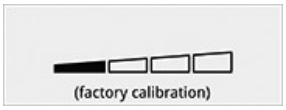
詳細設定 — 詳細な調整や特殊な設定にアクセスできます。

注記： 質量流量振動キャリブレーションが最新ではない場合は、このキャリブレーションを収穫量キャリブレーションの前に実行することをお勧めします。

PR79369,000042F-40-24FEB21

収穫量 | キャリブレーション品質

Calibration Quality (キャリブレーション品質) は、キャリブレーションサンプルの品質、および記録されたサンプルと実際の重量の間の誤差範囲を示します。



H119365—UN—18JAN17

キャリブレーション品質

「Calibration Quality」(キャリブレーションの品質) ページでアクセスできる項目：

キャリブレーション品質インジケーター — キャリブレーションサンプルの品質を示します。

H119374—UN—18JAN17

収集したサンプル

収集したサンプルのステータス — 現在の一連のサンプルが満たしている条件を示します。

H119372—UN—18JAN17

収穫量の誤差範囲

収穫量の誤差範囲 — 記録されたサンプル重量と実際の重量の差、百分率で表されます。色分けされた背景は余裕の品質を示します。

H119375—UN—18JAN17

キャリブレーションモード

キャリブレーションモード — 現在のサンプル選択モード。

H119373—UN—18JAN17

*Samples in Calibration (*キャリブレーションのサンプル数*)*

キャリブレーションのサンプル数 — 保存されているサンプルの数。サンプルが保存されていない場合、工場キャリブレーションが使用されます。

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

詳細設定 — 詳細な調整や特殊な設定にアクセスできます。

PR79369,0000430-40-24FEB21

収穫量 | ステータス表示灯

ステータス表示灯には、記録サンプルのステータスとそのステータスに関するメッセージが表示されます。

ステータスのオプションは以下のとおりです：

H119424—UN—18JAN17

進行状況インジケーター

進行状況インジケーター — サンプルが記録されている場合に表示されます。

N118420—UN—02NOV16

緑

アクティブ — サンプル記録はアクティブです。

N118019—UN—22OCT15

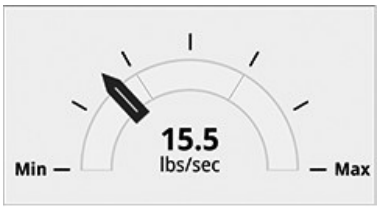
灰色

非アクティブ — サンプル記録は非アクティブです。

PR79369,0000431-40-24FEB21

収穫量 | サンプルの記録

「Record Sample (サンプルの記録)」ページでは、収穫サンプルの収集、流量のモニター、記録されたサンプルの重量の表示を行うことができます。he sample.

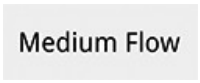


H119379—UN—18JAN17

質量流量

「Record Sample」(サンプルの記録) ページでアクセスできる項目：

質量流量 — 収穫している作物の流量を示します。

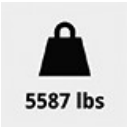


H119418—UN—18JAN17

*Medium Flow (*中流量*)*

流量範囲 — 収穫しているサンプルの現在の範囲を示します。

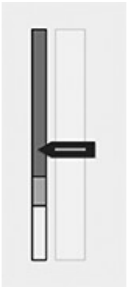
注記： 低流量はダッシュを使用して表示されます。



H119380—UN—18JAN17

重量

重量 — サンプルの計算重量。



H119399—UN—18JAN17

重量ステータス

重量ステータス — キャリブレーションを実行するための十分な作物が収穫されたことを示します。

H119419—UN—18JAN17

*Crop Type (*作物タイプ*)* : とうもろこし

作物タイプ — 収穫している作物。

H119400—UN—18JAN17

*Recording Sample (*サンプル記録中*)*

記録ステータス — サンプル記録のステータスが表示されます。

H119401—UN—18JAN17

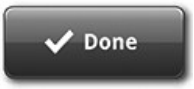
削除

削除 — 現在のサンプルデータを削除します。

H119421—UN—18JAN17

始動

開始 — サンプルデータの記録を開始します。



H119420—UN—18JAN17

完了

完了 — サンプル記録を停止し、情報を保存します。

H119235—UN—18JAN17

記録

変更手順：

1. 「Record (記録)」を選択します。
2. 作物の収穫を開始します。

H119421—UN—18JAN17

始動

3. 「開始」ボタンを選択します。
4. 必要な流量範囲が得られるまで走行速度を調整します。
5. 必要な量の作物が収集されるまで収穫を続けます。

H119420—UN—18JAN17

完了

6. 「Done (完了)」ボタンを選択してサンプル情報を保存します。

PR79369,0000432-40-24FEB21

収穫量 | 秤量重量と一致

秤量重量と一致を使用すると、記録されたサンプル重量を実際のサンプル重量に合わせることができます。

変更手順：

H128111—UN—21NOV19

サンプル

1. 合わせるサンプルを選択します。
2. キーパッドを使用して実際のサンプル重量を入力します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 「保存」ボタンを選択して確定します。

N118094—UN—18JAN17

キャンセル

注記： 「Cancel (キャンセル)」ボタンを選択すると、変更を適用しないで前のページに戻ります。

サンプルを削除する手順：

H128111—UN—21NOV19

サンプル

1. 削除するサンプルを選択します。

H119408—UN—18JAN17

Delete Sample (サンプルの削除)

2. 「Delete Sample (サンプルを削除)」を選択します。

H114654—UN—05JAN17

OK

3. 「OK」ボタンを選択します。

N118094—UN—18JAN17

キャンセル

注記： 「Cancel (キャンセル)」ボタンを選択すると、変更を適用しないで前のページに戻ります。

PR79369,0000433-40-24FEB21

収穫量 | 詳細設定

詳細設定から、詳細な調整や特殊な設定にアクセスできます。

注記： ActiveYield™ を選択している場合、Advanced Settings (詳細設定) は使用できません。

以下の場合に変更を行います：

- 工場初期設定にリセットする場合。
- サンプルを手動で選択する場合。
- キャリブレーション値を手動で調整する場合。
- キャリブレーションを別の機械に転送する場合。

詳細設定ページでアクセスできる項目：

H119409—UN—18JAN17

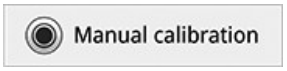
リセット

Reset (リセット)— システムを工場初期設定にリセットします。

H119410—UN—18JAN17

自動サンプル選択

自動サンプル選択 — システムは流量、品質、誤差の範囲に基づいてサンプルを選択し、最適なキャリブレーション値を実現します。



H119411—UN—18JAN17

手動キャリブレーション

手動キャリブレーション — キャリブレーション値用の必要なサンプルを選択します。

H119412—UN—18JAN17

Edit/Select Samples (サンプルの編集 / 選択)

サンプルを編集 / 選択 — 手動キャリブレーションに使用するサンプルを選択します。サンプルの秤量重量を編集するか、サンプルを削除します。

H119413—UN—18JAN17

Advanced Options (詳細オプション)

詳細オプション — キャリブレーション値の手動調整や別の機械からのキャリブレーションの転送を行います。

H119414—UN—18JAN17

Delete Unused Samples (未使用のサンプルを削除)

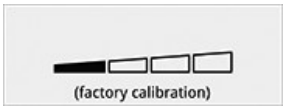
未使用サンプルを削除 — キャリブレーションに使用していないサンプルを削除します。

PR79369,0000434-40-24FEB21

収穫量 | キャリブレーション品質インジケーター

Calibration Quality Indicator (キャリブレーション品質インジケーター) はキャリブレーションサンプルの品質を示します。

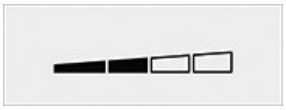
ActiveYield は Deere & Company の商標です。



H119365—UN—18JAN17

*Factory Calibration (*工場キャリブレーション*)*

工場キャリブレーション — 工場キャリブレーションを使用していることを示します。調整は行われていません。



H119366—UN—18JAN17

単一サンプル

単一サンプル — 使用するために 1 つのサンプルだけを取得または選択しています。

注記： 単一サンプルキャリブレーションは、サンプルが収集された流量で良好に機能します。流量が異なると、性能が低下することがあります。

H119367—UN—18JAN17

低品質

低品質サンプル — 4 以上のサンプルを選択しますが、サンプルは高品質ではなく、2 つのみが 2 つの流動範囲を表しています。

H121087—UN—19MAY17

*High Quality (*高品質*)*

高品質 — 高品質な積荷から 4 つ以上のサンプルを選択し、すべての流量範囲を示しています。

PR79369,0000435-40-24FEB21

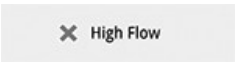
収穫量 | 収集したサンプルのステータス

収集したサンプルのステータスは現在の一連のサンプルが満たしている条件を示します。条件が満たされている場合、その横にチェックマークが表示されます。

H128112—UN—21NOV19

*High Quality (*高品質*)*

高品質 — すべてのサンプルは、一定のグレン流をもたらす圃場の均一な区域から取得されています。



H128113—UN—21NOV19

*High Flow (*高流量*)*

高流量 — 記録サンプルページでゲージを使用して決定されます。グレン流量は、コンバインモデルと作物の最大流量の 66% よりも大きい必要があります。流量を増やすには、走行速度を速くします。

H128114—UN—21NOV19

*Medium Flow (*中流量*)*

中流量 — 記録サンプルページでゲージを使用して決定されます。グレン流量は、コンバインモデルと作物の最大流量の 33%-66% の範囲内である必要があります。流量を調整するには、走行速度を調整します。

H128115—UN—21NOV19

*Low Flow (*低流量*)*

低流量 — 記録サンプルページでゲージを使用して決定されます。グレン流量は、コンバインモデルと作物の最大流量の 33% よりも小さい必要があります。流量を下げるには、走行速度を遅くします。

最高のキャリブレーションを行うには、すべての流量範囲で 4 つ以上の積荷を収集してください。

- 高
- 中
- 低

高い流量に到達できない過酷な収穫条件では、次のプロセスに従ってください。

Collect first load using highest 収穫 速度 as 100%、then collect 3 more loads lowering 収穫 速度 to 80%、66%、and 50%.

より多くの積荷を収集する場合は、このプロセスを繰り返します。

PR79369,0000436-40-24FEB21

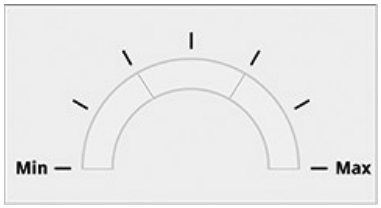
収穫量 | 質量流量

Mass Flow Rate (質量流量) は収穫している作物の流量を指しています。

H119403—UN—18JAN17

現在の流量

現在の流量 — 収穫している作物の現在の流量。



H119422—UN—18JAN17

ゲージ

ゲージ — 流量をグラフで表示します。

最小 = 0%

最大 = 100%

H119402—UN—18JAN17

数値表示

数値表示 — 流量を数値で表示します。

PR79369,0000437-40-24FEB21

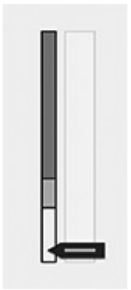
収穫量 | 重量インジケーター

重量表示灯は、キャリブレーションを実行するための十分な作物が収穫されたことを示します。

H119403—UN—18JAN17

現在の重量

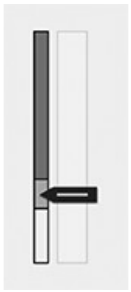
現在の重量 — サンプルの現在の計算重量。



H119404—UN—18JAN17

グレーゾーン

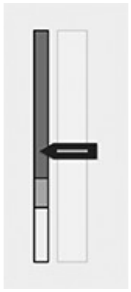
グレーゾーン — キャリブレーションを行うにはサンプルが小さすぎます。



H119405—UN—18JAN17

薄いグレーゾーン

薄いグレーゾーン — サンプルサイズはキャリブレーションには十分ですが、理想的なレベルではありません。キャリブレーションが不正確になる可能性があります。



H119399—UN—18JAN17

緑ゾーン

緑ゾーン — サンプルサイズは正確なキャリブレーションの実行に十分です。

PR79369,0000438-40-24FEB21

収穫量 | 記録ステータス

記録ステータスには、サンプル記録のステータスが表示されます。

H119406—UN—18JAN17

待機中

待機中 — 開始ボタンを選択すると、システムはサンプルを記録する準備が整います。

H119400—UN—18JAN17

*Recording Sample (*サンプル記録中*)*

サンプル記録中 — サンプルを記録しています。

注記： サンプルを記録して保存すると、システムは待機状態に戻ります。サンプルを収集した後、メインページの不一致サンプルの数が 1 だけ増加します。

PR79369,0000439-40-24FEB21

収穫量 | リセット

リセットすると、保存されているすべてのサンプルが削除され、システムは工場出荷時のキャリブレーション値に戻ります。すべてのサンプルを維持して、キャリブレーション値を工場初期設定にリセットすることもできます。

リセットの種類：

H119429—UN—18JAN17

Delete Samples (サンプルの削除) (完全リセット)

サンプルの削除 (完全リセット) — 保存されているすべてのサンプルおよび現在のキャリブレーション値を削除します。キャリブレーション値は工場初期設定に設定されます。

H119430—UN—18JAN17

Keep Samples and Use Manual Calibration Mode (サンプルを維持して手動キャリブレーションモードを使用)

サンプルを維持して手動キャリブレーションモードを使用 — キャリブレーション値は工場初期設定値にリセットされます。保存されているすべてのサンプルは維持されます。

H119409—UN—18JAN17

リセット

変更手順：

1. 「リセット」ボタンを選択します。
2. 必要なリセットの種類を選択します。

H114654—UN—05JAN17

OK

3. 「OK」ボタンを選択して確定します。

N118094—UN—18JAN17

キャンセル

注記： 「キャンセル」ボタンを選択すると、変更を適用しないで前の画面に戻ります。

PR79369,000043A-40-24FEB21

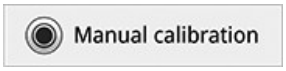
収穫量 | キャリブレーションの編集 / 選択

Edit/Select Calibration (キャリブレーションを編集/選択) を使用して、手動キャリブレーションに使用するサンプルを選択します。サンプルの秤量重量を編集するか、サンプルを削除します。

以下の場合に変更を行います：

- 正確な収穫量を得るために特定のサンプルを選択する必要がある場合。
- 自動選択が希望どおりに機能しない場合。
- 新しいサンプルが不要な場合。
- 正しくない秤量重量がサンプルに入力された場合。

選択したサンプルの変更手順：



H119411—UN—18JAN17

Manual Calibration (手動キャリブレーション)

1. 「Manual Calibration (手動キャリブレーション)」を選択します。

H119412—UN—18JAN17

Edit/Select Samples (サンプルの編集 / 選択)

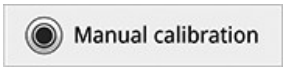
2. 「Edit/Select Samples (サンプルの編集 / 選択)」ボタンを選択します。

N118434—UN—22JAN20

チェックマーク

3. キャリブレーションに使用する必要なサンプルの横のチェックマークを選択します。

注記： 最も正確なキャリブレーションを行うには、高品質で、0-3% のマージンを有し、3 つの流量範囲を表すサンプルを選択します。



H119411—UN—18JAN17

Manual Calibration (手動キャリブレーション)

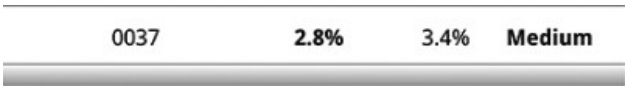
秤量重量の変更手順：

1. 「Manual Calibration (手動キャリブレーション)」を選択します。

H119412—UN—18JAN17

*Edit/Select Samples (*サンプルの編集 / 選択*)*

2. 「Edit/Select Samples (サンプルの編集 / 選択)」ボタンを選択します。



H128116—UN—21NOV19

サンプル

3. 変更するサンプルを選択します。

H119416—UN—18JAN17

*Edit Scale Weight (*秤量重量を編集*)*

4. 「Edit Scale Weight (秤量重量を編集)」を選択します。
5. キーパッドを使用して必要な秤量重量を入力します。

N118093—UN—16FEB16

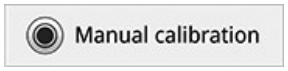
保存

6. 「保存」ボタンを選択して確定します。

N118396—UN—17FEB16

閉じる

7. 「Close (閉じる)」ボタンを選択して前のページに戻ります。



H119411—UN—18JAN17

*Manual Calibration (*手動キャリブレーション*)*

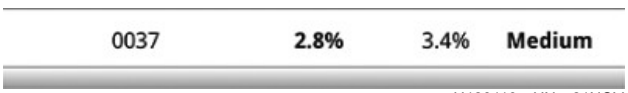
サンプルを削除する手順：

1. 「Manual Calibration (手動キャリブレーション)」を選択します。

H119412—UN—18JAN17

*Edit/Select Samples (*サンプルの編集 / 選択*)*

2. 「Edit/Select Samples (サンプルの編集 / 選択)」ボタンを選択します。



H128116—UN—21NOV19

サンプル

3. 削除するサンプルを選択します。

H119408—UN—18JAN17

*Delete Sample (*サンプルの削除*)*

4. 「Delete Sample (サンプルを削除)」を選択します。

H114654—UN—05JAN17

OK

5. 「OK」ボタンを選択して確定します。

N118094—UN—18JAN17

キャンセル

注記：「キャンセル」ボタンを選択すると、変更を適用しないで前の画面に戻ります。

N118093—UN—16FEB16

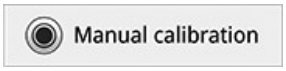
保存

6. 保存ボタンを選択して確定します。

PR79369,000043B-40-24FEB21

収穫量 | 詳細編集

Advanced Edit (詳細編集) を使用すると、キャリブレーション値の手動調整や別の機械からのキャリブレーションの転送を行うことができます。



H119411—UN—18JAN17

*Manual Calibration (*手動キャリブレーション*)*

変更手順：

1. 「Manual Calibration」(手動キャリブレーション) を選択します。

H119413—UN—18JAN17

*Advanced Options (*詳細オプション*)*

2. 「Advanced Options」(詳細オプション) ボタンを選択します。

H119425—UN—18JAN17

*Advanced Edit (*詳細編集*)*

3. 「Advanced Edit」(詳細編集) を選択します。
4. 画面の指示に従って必要な手順を完了します。

SS43267,000087B-40-17JAN17

収穫量 | 未使用のサンプルを削除

Delete Unused Samples (未使用サンプルを削除) を使用して、キャリブレーションに使用していないサンプルを削除します。

変更手順：

H119414—UN—18JAN17

*Delete Unused Samples (*未使用のサンプルを削除*)*

1. Delete Unused Samples (未使用サンプルを削除) ボタンを選択します。

H114654—UN—05JAN17

OK

2. 「OK」ボタンを選択して確定します。

N118094—UN—18JAN17

キャンセル

注記：「キャンセル」ボタンを選択すると、変更を適用しないで前の画面に戻ります。

SS43267,000087C-40-25NOV19

ActiveYield™

この手順では、推定収穫量を自動的にキャリブレーションして、収穫量の実際の秤量重量により正確に合わせます。

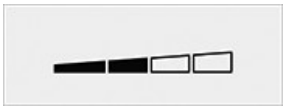
注記：ActiveYield™ 自動化が ON になっているときに、手動収穫量キャリブレーションは使用できません。

「ActiveYield™」ページでアクセスできる項目：

H114647—UN—05JAN17

ON/OFF

マスター ON/OFF — トグルボタンを使用して、ActiveYield™ を ON/OFF にします。



H119366—UN—18JAN17

品質

品質 — キャリブレーションサンプルの品質を示します。

N118420—UN—02NOV16

ステータス

ステータス表示灯 — サンプルのステータスを表示します。

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

詳細設定 — 詳細な調整や特殊な設定にアクセスできます。

ページに表示される内容：

例：

作物タイプ	とうもろこし
受け入れたサンプル数	10
前回の受け入れ	32 分前

PR79369,000043C-40-24FEB21

ActiveYield™ | ステータス表示灯

注記：サンプルは完全なグレンタンクではありません。サンプルの記録は、ActiveYield™ センサーが穀物で完全に覆われた状態で開始され、約 3000kg (6614 lbs) で停止します。次の条件下ではサンプルが拒否されることがあります：

一貫性のないフロー — 質量流振動が大きすぎて許容可能なキャリブレーション負荷を生成できませんでした。

不均一な積載量/グレンパイルシフト検出 — グレンタンク積載量が、許容可能なキャリブレーション荷重を生成するためのパラメーター内にありませんでした。これは、本機の急速な加減速または起伏の多い地形を移動することによってグレンタンクに発生する過度なグレンシフトに起因する可能性があります。

ピッチまたはロールが大きすぎる — サンプル収集中に

ActiveYield は Deere & Company の商標です。

本機のピッチ角またはロール角が 4°を上回ると積載が拒否されます。

収集中断 — サンプル収集の進行中に収穫が停止した場合、またはアンローディングオーガが作動した場合、積載は拒否されます。

400 秒超過 — 400秒 (6 分 40 秒) が経過しても積載量が最小積載サイズに達しない場合、積載は拒否されます。

質量流振動キャリブレーション未実行 — 質量流振動キャリブレーションを実行しないと、一貫性のないフロー条件がトリガーされたり、質量流がまったく検出い可能性があります。積載が拒否されたり、記録が開始されないことがあります。

ステータス表示灯

ステータス表示灯には、記録サンプルのステータスとそのステータスに関するメッセージが表示されます。

ステータスのオプションは以下のとおりです：

H119426—UN—02MAR21

進行状況インジケーター

進行状況インジケーター — サンプルが収集されている場合に表示されます。

N118420—UN—02NOV16

緑

Waiting for Sample (サンプルを待機中)— ActiveYield™ は,現在アクティビティを実行していません。

H114655—UN—05JAN17

灰色

マスター OFF — ActiveYield™ は OFF です。

N118021—UN—13JAN17

青

サンプル収集中 — サンプル記録を収集しています。

ActiveYield は Deere & Company の商標です。

N118420—UN—02NOV16

緑

キャリブレーション更新済み — サンプル記録を更新しています。

N118420—UN—02NOV16

緑

Sample Rejected (サンプル拒否済み)— サンプル記録は拒否されました。拒否の説明が表示されます。

N118020—UN—22OCT15

琥珀色

サポートされていない作物タイプ — 作物タイプは現在サポートされていません。

PR79369,000043D-40-25FEB21

ActiveYield™ | 詳細設定

詳細設定から、詳細な調整や特殊な設定にアクセスできます。

注記： ActiveYield™ 工場出荷時設定へのリセットは収穫量キャリブレーションに影響を与えません。

以下の場合に変更を行います：

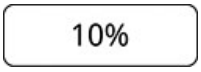
- 工場初期設定にリセットする場合。
- 計算された収穫量値と測定された収穫量値に不一致がある場合。

詳細設定ページでアクセスできる項目：

H119409—UN—18JAN17

リセット

リセット — システムを工場初期設定にリセットします。



H119130—UN—10JAN17

補正値

キャリブレーション補正 — キャリブレーションされた

収穫量値と測定された収穫量値の間の不一致を補正します。

PR79369,000043E-40-25FEB21

ActiveYield™ | リセット

リセットすると、保存されているすべてのサンプルが削除され、システムは工場出荷時のキャリブレーション値に戻ります。

変更手順：

H119409—UN—18JAN17

リセット

1. 「リセット」ボタンを選択します。
2. 必要なリセットの種類を選択します。

H114654—UN—05JAN17

OK

3. 「OK」ボタンを選択して確定します。

N118094—UN—18JAN17

キャンセル

注記： キャンセルボタンを選択すると、変更を適用しないで前の画面に戻ります。

PR79369,000043F-40-25FEB21

ActiveYield™ | キャリブレーション補正

Calibration Correction (キャリブレーション補正) を使用すると、ActiveYield™同じ圃場で運転している 2 台以上の機械間の計算収穫量値。

ある機械が他の機械よりも正確に収穫量値を計算している場合は、スケールで確認すると、オフセット補正を調整します。最も正確な機械と他の機械または機械の間の収穫量値に 4% 以上エラーがない限り、オフセット補正を調整してください。

注記： オフセット補正は、次に受け入れる負荷が収集されるまで有効です。ActiveYield™ は、より多くの負荷を受け入れられると収穫量キャリブレーションを調整します。

オフセット補正を決定する手順:

重要： **受け入れ完了済みのサンプルが15 件未満の場合は、補正値を調整しないでください。**

1. 15 以上の受け入れ可能なサンプルを一貫した水分と移動速度で収穫します。
2. 収穫とスケール - 5 つの満タンのグレインタンク負荷を確認します。各負荷の湿潤重量を、同じ負荷で測定されたスケール重量と比較します。

   CommandCenter™ ディスプレイで各負荷の湿潤重量を確認する手順。

H113668—UN—22OCT15

メニュー

   a. 「MENU (メニュー)」を選択します。

H133902—UN—30MAR21

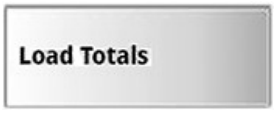
アプリケーション

   b. アプリケーションタブを選択します。

H133903—UN—30MAR21

作業合計

   c. 作業合計アプリケーションを選択します。



H133904—UN—30MAR21

積荷合計

   d. 積荷合計タブを選択します。
   e. 5 つの積荷のそれぞれの湿潤量をメモしてください。
3. 機械で測定された各積荷の湿潤重量と各積荷の測定されたスケール重量の差をパーセンテージで計算します。

   差をパーセンテージで計算するには：

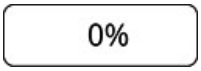
   a. 湿潤重量 - スケール重量 = 差
   b. 差÷スケール重量 x 100 = オフセット補正値 (パーセント値)
   c. 残りの 4 つの積荷についてこの計算を繰り返します。
4. 5 つの積荷の平均オフセット補正値を計算します：
   a. オフセット補正値 1 + オフセット補正値 2 + オ

ActiveYield は Deere & Company の商標です。

CommandCenter は Deere & Company の商標です。

フセット補正値 3 + オフセット補正値 4 + オフセット補正値 5 = 合計

b. 合計÷ 5 = 平均オフセット補正値 (パーセント表記)

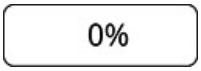


H133921—UN—31MAR21

補正値

5. 平均オフセット補正値を補正値入力ボックスに入力します。

オフセット補正の変更手順:



H133921—UN—31MAR21

補正値

1. テンキーを選択して開き、必要な補正値を入力します。

   最小 : -99%

   最大 : 99%

注記 : 値 0% は補正を適用しません。

H116106—UN—27JAN17

OK

N118094—UN—18JAN17

キャンセル

2. OKボタンを選択して確定します。キャンセルボタンを選択すると、変更を適用しないで前の画面に戻ります。

PR79369,0000680-40-11MAY21

シャーシ傾斜

この手順ではシャーシ傾斜をキャリブレーションして、最適な機械ピッチセンサー精度を確保します。適切にキャリブレーションされたシャーシ傾斜は、取扱説明書で指定されている推奨収穫設定で最良の結果を実現します。

キャリブレーションは、以下の場合に行います:

- 各ヘッダータイプをコンバインに初めて接続した場合。
- 前後位置ピッチセンサーを交換した場合。

「Chassis Tilt」(シャーシ傾斜) ページでアクセスできる項目:

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容:

推定所要時間	約 1 ~ 2 分

PR79369,0000441-40-25FEB21

シャーシ傾斜キャリブレーションの手順

手順実行時の要件:

エンジンの状態	運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要:

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合:

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,0000442-40-25FEB21

Threshing Clearance (Hydraulic) (脱穀隙間) (油圧)

この手順では、コンケーブの全開および全閉位置を確認して脱穀隙間のキャリブレーションを行います。適切にキャリブレーションされた脱穀隙間は推奨収穫設

定で最良の結果を実現します。詳しくは、取扱説明書を参照してください。

重要：**ラウンドバーコンケーブカバーを取り付けた状態でキャリブレーションを行わないでください。ゼロ位置が不適切になる可能性があります。**

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- 収穫期に向けた準備。
- 物理的なコンケーブの開口がキャブで表示されている内容と一致しない場合。
- コンケーブを新品のコンケーブまたは別のセットのコンケーブに交換した場合。
- 脱穀隙間センサーまたは関連する部品を交換 / 調整した場合。

「Threshing Clearance」(脱穀隙間) ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 1~2 分

PR79369,0000443-40-25FEB21

脱穀すき間キャリブレーション (油圧) 手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,0000444-40-25FEB21

Unloading Auger Engage (アンローディングオーガの接続)

この手順では、オーガの接続を指令したときに接続にかかる時間を測定し、ソフトなオーガ接続が行われるように調整して、アンローディングオーガの接続をキャリブレーションします。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- アンローディングオーガベルト、油圧、駆動装置、電気、または関連する部品を交換 / 調整した場合。
- アンローディングオーガの接続は予想よりも困難です。

「Unloading Auger Engage」(アンローディングオーガの接続) ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 1~2 分

PR79369,0000445-40-25FEB21

アンローディングオーガの接続のキャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	ハイアイドルで運転中
操作の状態	アンローディングオーガが解除されている 平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,0000446-40-25FEB21

Deck Plate Spacing (デッキプレート間隔)

この手順では、デッキプレートの全開および全閉位置を確認してデッキプレートの開口のキャリブレーションを行います。適切にキャリブレーションされたデッキプレートは、『コーンヘッド取扱説明書』で指定されている推奨収穫設定で最良の結果を実現します。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- 各収穫期の初め。
- 以前取り付けた異なるコーンヘッドごとに。
- デッキプレートセンサーまたは関連する部品を交換 / 調整した場合。
- デッキプレートの開口がキャブで表示されている内容と一致しない場合。

「Deck Plate Spacing」(デッキプレート間隔) ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 1 ~ 2 分

PR79369,0000447-40-25FEB21

デッキプレート間隔のキャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	ハイアイドルで運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John

Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,0000448-40-25FEB21

フィーダーハウス上昇速度

この手順では、フィーダーハウスの上昇または下降して反応する応答速度を指定することにより、フィーダーハウス速度をキャリブレーションします。フィーダーハウス速度を適切にキャリブレーションすると、フィーダーハウスの滑らかな上昇と下降が得られ、速すぎるまたは遅すぎる動きがなくなります。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- 各ヘッダータイプをコンバインに初めて接続した場合。
- 非常に重いアタッチメントをヘッダーに追加した場合、またはヘッダーから取り外した場合。

「Feeder House Speed」(フィーダーハウス速度) ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 3~4 分

PR79369,0000449-40-25FEB21

フィーダーハウス上昇速度キャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	ハイアイドルで運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,000044A-40-25FEB21

Header Calibration (ヘッダーキャリブレーション)

この手順では、ヘッダーの粗動と微動をキャリブレーションします。キャリブレーションは、ヘッダーを昇降させてセンサー範囲を設定することにより実行します。

注記：工場キャリブレーションは HD ドレイパシリーズヘッダーの場合にはヘッダーに保存されます。これらのヘッダーのユーザーキャリブレーションが必要になるのは、ポジションセンサー、コントロールユニット、またはセンサーリンケージの交換後のみです。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- ヘッダー高さ制御センサーまたは関連する部品を交換 / 調整した場合。
- 各ヘッダータイプ (ヒンジドレーパーを除く) を S700 シリーズコンバインに初めて接続した場合。

N120226—UN—23FEB16

キャリブレーションの開始

「Calibration Calibration」(ヘッダーキャリブレーション) ページでアクセスできる項目：

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 1 分

PR79369,000044B-40-25FEB21

ヘッダーキャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	ハイアイドルで運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,000044C-40-25FEB21

伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテスト

*注記： 伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテストはモデル年度 2018 ~ 2020 S700 シリーズ機のみに適用されます。モデル年度 2021+ S700 シリーズとその他すべての X シリーズ機の場合、***ヘッダー***キャリブレーションを実行してください。*

この手順では、伸縮式プラットフォームのヘッダーリールとカッターバーの位置限界のキャリブレーションを検証します。このセルフテストは通常の操作に必要です。これは、以前のキャリブレーションポイントが接続されているヘッダーに対して有効であることを検証します。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- 初めてコンバインに接続している、または別のヘッダーを使用した後、再接続している場合。
- リールポジションセンサーまたはカッターバーポジションセンサーを交換した場合。

伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテストページでアクセスできる項目：

H119233—UN—19JAN17

セルフテストの開始

セルフテストの開始 — キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な機械の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	接続時
推定所要時間	1 分未満

PR79369,00004AE-40-05MAR21

伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテストキャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

注意： セルフテスト処理中に、ヘッダーは自動的に動きます。

近くの人を死傷事故に巻き込まないため、以下を徹底してください：

- 機械とヘッダーが障害物から離れている。
- 居合わせている人が機械やヘッダーから離れている。

手順の概要：

H119233—UN—19JAN17

セルフテストの開始

1. 「セルフテストの開始」を選択して手順を開始します。

2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

キャリブレーションに失敗した場合：

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,00004AF-40-08MAR21

Feeder House Tilt Fore/Aft Range (フィーダーハウス傾斜前後位置範囲)

この手順では、フィーダーハウス傾斜の現在指定されている範囲および関連付けられた範囲を測定することにより、Feeder House Tilt Fore/Aft Range (フィーダーハウス傾斜前後位置範囲) をキャリブレーションします。このキャリブレーションを実行すると、ヘッダー高さ横方向傾斜制御を有効にして操作しているときにフィーダーハウス傾斜範囲が向上します。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- ヘッダーを接続解除した場合。
- フィーダーハウス前後チルトセンサーまたは関連部品を交換 / 調整した場合。

フィーダーハウス横方向傾斜速度ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 5 分

PR79369,000044D-40-25FEB21

フィーダーハウス傾斜前後位置範囲キャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	ハイアイドルで運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,000044E-40-25FEB21

Feeder House Lateral Tilt Range (フィーダーハウス横方向傾斜範囲)

この手順では、フィーダーハウス傾斜の現在指定されている範囲および関連付けられた範囲を測定することにより、フィーダーハウス横方向傾斜範囲をキャリブレーションします。このキャリブレーションを実行すると、ヘッダー高さ横方向傾斜制御を有効にして操作しているときにフィーダーハウス傾斜範囲が向上します。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- ヘッダーを接続解除した場合。
- フィーダーハウス横方向傾斜センサーまたは関連する部品を交換 / 調整した場合。

「Feeder House Lateral Tilt Range」(フィーダーハウス横方向傾斜範囲) ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 5 分

PR79369,000044F-40-25FEB21

フィーダーハウス横方向傾斜範囲キャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	ハイアイドルで運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,0000450-40-25FEB21

Feeder House Lateral Tilt Speed (フィーダーハウス横方向傾斜速度)

この手順では、フィーダーハウス傾斜の現在指定されている範囲および関連付けられた範囲を測定することにより、Feeder House Lateral Tilt Speed (フィーダーハウス横方向傾斜速度) をキャリブレーションします。このキャリブレーションを実行すると、ヘッダー高さ横方向傾斜制御を有効にして操作しているときにフィーダーハウス傾斜応答が向上します。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- ヘッダーが機械に接続されていない場合。
- フィーダーハウス横方向傾斜センサーまたは関連する部品を交換 / 調整した場合。

「Feeder House Lateral Tilt Speed」(フィーダーハウス横方向傾斜速度) ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 3 ~ 4 分

PR79369,0000451-40-25FEB21

フィーダーハウス横方向傾斜速度キャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	ハイアイドルで運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,0000452-40-25FEB21

ウイング (折りたたみ式コーンヘッド)

この手順では、コーンヘッドのウイングを折りたたみ / 展開し、関連するセンサー電圧を各位置で測定することにより、折りたたみ式コーンヘッドをキャリブレーションします。これにより、システムは各ウイングの位置を検出できます。これは、ウイングが折りたたまれた場合やその他の不要な条件で接続した場合にヘッダーが機械に接触しないようにすることで、コンバインや装置の機械的な損傷を防止します。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- 各ヘッダーをコンバインに初めて接続した場合。
- ヘッダーの機械的調整を行った場合。
- 折りたたみ式コーンヘッドのウイング位置センサーまたは関連する部品を交換 / 調整した場合。

「Folding Corn Head」(折りたたみ式コーンヘッド) ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 3 ~ 4 分

PR79369,0000453-40-25FEB21

ウイング (折りたたみ式コーンヘッド) のキャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	ハイアイドルで運転中
操作の状態	セパレータ解除 平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,0000454-40-25FEB21

リールとカッターバーの位置

この手順では、カッターバーを伸長 / 収縮させ、リールを最小 / 最大位置に動かして機械的限界をセンサー電圧と関連付けることによりリールとカッターバーをキャリブレーションします。このキャリブレーションを実行すると、コントロールユニットは位置を計算して、リールとカッターバー間の破損を生じる衝突の可能性を防止できるようになります。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- リール / カッターバー位置センサー、または関連する部品を交換/調整した場合。

リールとカッターバーページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

キャリブレーションの開始

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 3 ~ 4 分

PR79369,0000455-40-05MAR21

リールとカッターバーのキャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	コンバインが圃場モード ハイアイドルで運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

推奨測定

リールとカッターバーの間の距離を確認します。

622X、625X、722X、および 725X 伸縮式プラットフォーム	5 cm (2 インチ)
630X、640X、730X、および 740X 伸縮式プラットフォーム	6 cm (2-3/8 インチ)
635X および 735X 伸縮式プラットフォーム	7 cm (2-13/16 インチ)

N118122—UN—02MAY16

再試行

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,0000456-40-05MAR21

黄色のフラッシャー

このキャリブレーションでは、黄色のライトの電流需要を測定します。トレーラーが連結されているかどうかを検出するため、または不良バルブを検出するためにライトを使用するときは、通常の電流を電流需要と比較するために使用します。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- 黄色のフラッシャーのバルブ、または関連する部品を交換 / 調整した場合。

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

「Amber Flasher」(黄色のフラッシャー) ページでアクセスできる項目：

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 1 ~ 2 分

PR79369,0000457-40-25FEB21

黄色のフラッシャーのキャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

Retry (再試行)

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,0000458-40-25FEB21

コンケーブのエア抜き

この手順では、アクティブコンケーブ分離の油圧系統から空気を除去することにより、アクティブコンケーブ分離のエア抜きをキャリブレーションします。このキャリブレーションは、油圧系統を整備や修理のために大気に解放した場合に実施します。このキャリブレーションを完了しなかった場合、最適な性能を得られません。

注記： コンケーブエア抜きのキャリブレーションに入る前に、水平調整ねじが保管位置にあり、エア抜きホースが取り付けられてエンジンが運転中であることを確認します。詳しくは、取扱説明書を参照してください。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- コンケーブシステムの油圧部品を整備または交換した場合。
- 油圧系統に空気が入った場合。

「ACI Air Removal」(ACI 空気除去) ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 3～4 分

PR79369,0000459-40-25FEB21

コンケーブのエア抜きキャリブレーションの手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

Retry (再試行)

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,000045A-40-25FEB21

コンケーブの水平調整

この手順では、コンケーブの全開および全閉位置を確認して Active Concave Isolation 水平調整のキャリブレーションを行います。適切にキャリブレーションされた Active Concave Isolation 水平調整は推奨収穫設定で最良の結果を実現します。詳しくは、取扱説明書を参照してください。

キャリブレーションは、以下の場合に行います：

- 物理的なコンケーブの開口がキャブで表示されている内容と一致しない場合。
- 脱穀すき間センサーまたは関連する部品を交換 / 調整した場合。
- コンケーブまたは関連する部品を交換 / 調整した場合。

「ACI Leveling」(ACI 水平調整) ページでアクセスできる項目：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

Begin Calibration (キャリブレーションの開始)— キャリブレーション手順を開始します。

要件 — キャリブレーションに必要な本機の状態です。

ページに表示される内容：

推奨間隔	必要に応じて
推定所要時間	約 3 ~ 4 分

PR79369,000045B-40-25FEB21

コンケーブ水平調整のキャリブレーション手順

手順実行時の要件：

エンジンの状態	運転中
操作の状態	平坦な場所に駐車中

手順の概要：

N120226—UN—23FEB16

*Begin Calibration (*キャリブレーションの開始*)*

1. 「キャリブレーションの開始」を選択して手順を開始します。
2. 画面のメッセージに従って手順を完了します。

N118093—UN—16FEB16

保存

3. 保存を選択してキャリブレーションを確定します。

N118122—UN—02MAY16

*Retry (*再試行*)*

キャリブレーションに失敗した場合：

1. 再試行ボタンを選択します。
2. 画面に一覧表示されているすべての要件を満たしていることを確認します。
3. キャリブレーションに 2 度失敗した場合は、John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

PR79369,000045C-40-25FEB21

Combine Advisor™ アプリケーション

Combine Advisor™ へのアクセス

ディスプレイからのアプリケーションへのアクセス：

H113668—UN—22OCT15

メニュー

1. メニュー

H129758—UN—01APR20

Combine Advisor™

2. Combine Advisor™

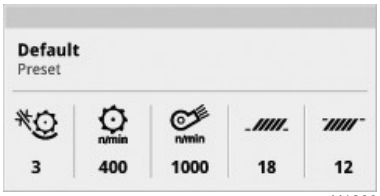
PR79369,000047E-40-01MAR21

Combine Advisor™ メインページ

Combine Advisor™ (以前の Interactive Combine Adjustment 2) では、性能の最適化、HarvestSmart™、Active Terrain Adjustment™、Auto Maintain にアクセスできます。

Combine Advisor™ メインページでアクセスできる項目：

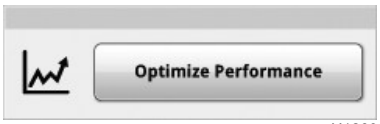
注記：以降の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合にのみ表示されます。



H126941—UN—26SEP19

現在の設定

現在の設定 — 現在の設定画面領域を選択して、収穫設定アプリケーションにアクセスします。

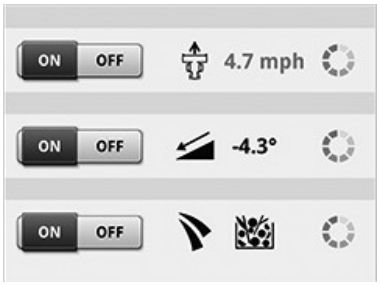


H126942—UN—26SEP19

収獲最適化

収獲最適化 — 収獲最適化アプリケーション (以前の Interactive Combine Adjustment) にアクセスできます。

HarvestSmart は、Deere & Company の商標です。
Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。



H129164—UN—27FEB20

自動化ステータス

自動化ステータス — HarvestSmart™、Active Terrain Adjustment™、Auto Maintain など、個々のシステムのステータスが表示されます。

N118004—UN—22OCT15

詳細設定

詳細設定 — 詳細設定から、詳細な調整、一般的ではない設定にアクセスできます。

H126949—UN—26SEP19

HarvestSmart™

HarvestSmart™— 移動速度を変化させて、エンジン出力を一定に維持します。これらの変更は、生産性を最大限に高めてオペレータの疲労を減らす複数の収穫要素に基づいています。HarvestSmart™ 設定にアクセスするには、ON/OFF ボタンの右側の画面領域を選択します。

以下の条件で使用すると、システムは最適に動作しない場合があります。

- 極端に坂の多い条件
- 絡んだまたは倒れた作物条件
- 過度に泥が多い条件

注記：青色のテキストは、HarvestSmart™ が移動速度を制御していることを示しています。黒のテキストは、ユーザーが移動速度を制御していることを示しています。

H116937—UN—05FEB19

ON/OFF

自動化 — HarvestSmart™ を有効または無効にすることができます。

H126950—UN—26SEP19

HarvestSmart™ 移動速度

注記： ここに示す移動速度インジケーターは、移動速度制限に達したことを示しています。

Active Terrain Adjustment™

H129163—UN—27FEB20

Active Terrain Adjustment

Active Terrain Adjustment™ — クリーニングファン、チャファー、およびふるいを自動的に調整して、上り坂や下り坂の地形に対して補正します。これらの調整は、収穫中の機械のピッチによって異なります。Active Terrain Adjustment™ の設定にアクセスするには、ON/OFF ボタンの右側の画面領域を選択します。

注記： 青色のダイヤルは、地形の変化によりオフセット調整を実行していることを示します。

H116937—UN—05FEB19

ON/OFF

自動化 — Active Terrain Adjustment™ を有効または無効にすることができます。

注記： Active Terrain Adjustment™ には性能目標を設定する必要ありません。

H126954—UN—26SEP19

Auto Maintain

Auto Maintain— 脱穀速度、脱穀隙間、クリーニングファン、チャファー、およびふるいを自動的に調整して、1日を通じてグレン品質とグレンロスの変化を補正します。Auto Maintain にアクセスするには、ON/OFF ボタンの右側の画面領域を選択します。

注記： 青色のダイヤルは、設定した性能目標を維持するためにオフセット調整が適用されていることを示しています。

H116937—UN—05FEB19

ON/OFF

Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

自動化 —Auto Maintain を有効または無効にすることができます。

H113740—UN—05FEB19

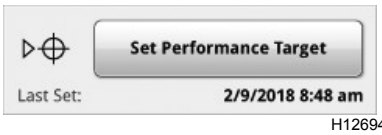
ライブカメラ

ライブカメラ — クリーングレンエレベータと二番エレベータエレベータのカメラ映像を表示できます。

H125041—UN—05FEB19

履歴

履歴 — Auto Maintain および Active Terrain Adjustment™ で行われた現在および過去の調整を表示できます。また、過去 30 分間の機械性能のグラフを表示できます。



H126944—UN—26SEP19

性能目標の設定

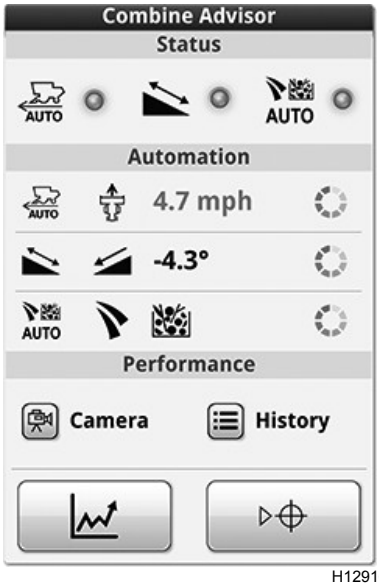
性能目標の設定— 既存のロス、グレン品質、エンジン出力のレベルの新規性能目標を設定できます。

注記： 「性能目標の設定」を選択すると、HarvestSmart™ と Auto Maintain の両方の目標が設定されます。

実行モジュール

レイアウトマネージャーを使用して、このアプリケーションのモジュールを実行に追加することができます。

例：



H129165—UN—27FEB20

Combine Advisor™

実行モジュールは、現在の自動化ステータスを反映する独特な状態に変化します。このページには、HarvestSmart™、Active Terrain Adjustment™、Auto Maintain 設定、および性能履歴とグラフへのリンクも表示されます。

注記： 使用するアプリケーションに応じて異なる実行モジュールを使用できます。

ショートカットキー

レイアウトマネージャーを使用して、このアプリケーションのショートカットキーをショートカットバーに追加できます。

例：

H125230—UN—01FEB19

アドバイザー

アドバイザー — Combine Advisor™ にすばやくアクセスできます。

PR79369,000047F-40-01MAR21

詳細設定

詳細設定では、チューニングパラメータを設定できます。パラメータの設定については、John Deere 販売店にお問い合わせください。

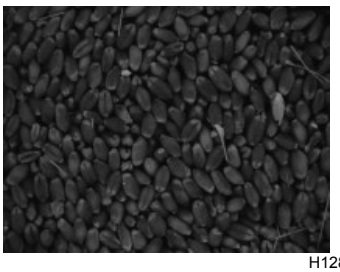
PR79369,0000483-40-01MAR21

グレンシステムビデオ

ライブカメラ画面を通じて、ActiveVision™ クリーングレンエレベータおよび二番エレベータのカメラ映像を表示できます。

注記： 以降の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合にのみ表示されます。

「グレンシステムビデオ」ページでアクセスできる項目：



H128686—UN—06FEB20

ライブカメラ

ライブカメラ — 選択した映像源からライブビューを表示します。

H113773—UN—30JAN17

ソース

映像源 — グレンカメラ、2 番還元物カメラ、または両方を選択できます。

H113730—UN—30JAN17

ON/OFF

グレン解析の表示 — グレン解析カラーオーバーレイの ON/OFF を切り替えます (グレンカメラのみで利用可能)。

注記： サポートされていない作物タイプで作業している場合、「グレン解析の表示」は OFF 位置にロックされます。

注記： グレン解析オーバーレイをオンにすると、ライブビデオ映像が遅くなります。

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

H126957—UN—26SEP19

グレン解析

穀粒解析の凡例 — グレン解析の切り替えが ON の場合、穀物品質と異物のカラー凡例が表示されます。

注記： 表示される品質と異物の項目は、選択した作物タイプで使用できるものに応じて変動する可能性があります。

H126958—UN—26SEP19

レンズの汚れ

レンズの汚れ — レンズを清掃する必要があるかどうかを示します。

注記： 10 時間ごとまたは必要に応じてレンズをクリーニングします。詳しくは、「コンバイン取扱説明書」の「メンテナンス」セクションを参照してください。

PR79369,0000480-40-01MAR21

履歴

履歴を使用すると、Auto Maintain や Active Terrain Adjustment™ で過去 12 時間に行った調整を表示できます。また、過去 30 分間の機械性能のグラフを表示することもできます。

注記： 以降の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合にのみ表示されます。

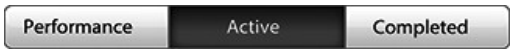
履歴ページでアクセスできる項目：

Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

H125226—UN—05FEB19

性能

- 選択すると、性能履歴モニターにアクセスできます。



H125227—UN—05FEB19

アクティブ

- 選択すると、アクティブ調整ページにアクセスできます。

H125228—UN—05FEB19

完了済み

- 選択すると、完了済み調整ページにアクセスできます。

PR79369,0000482-40-01MAR21

性能

パフォーマンスモニターを使用して、タイムライン上に性能目標と現在の性能を表示します。パフォーマンスモニターを表示するには、履歴を選択して最上部の「パフォーマンス」タブを選択します。

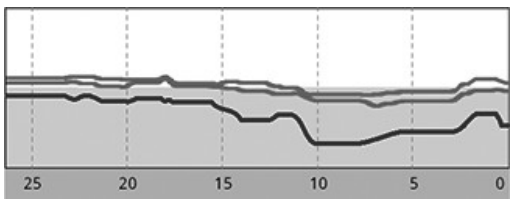
注記： 以降の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合にのみ表示されます。

「パフォーマンスモニター」ページでアクセスできる項目：

H125226—UN—05FEB19

性能 / アクティブ / 完了済み

性能 / **アクティブ** / **完了済み** — パフォーマンスモニター、アクティブ調整、完了済み調整間で切り替えます。

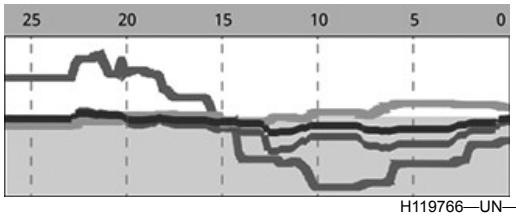


H125640—UN—05FEB19

ロス性能

ロス性能 — セパレータ、シュー、2 番還元物のチャートビューです。

注記： ロス性能のグラフは VisionTrak ディスプレイと一致しない場合があります。グラフに表示される情報が長期のトレンドであるのに対して、VisionTrak は現在のロスを表示します。



H119766—UN—06FEB19

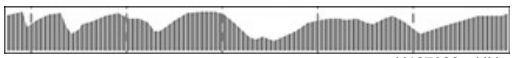
品質性能

品質性能 — 破損グレン、軽い異物、重い異物、未脱穀グレンのチャートビューです。

注記： 表示される項目は、選択した作物タイプで使用できる項目によって異なります。

注記： パラメータがチャートの緑の領域で作動している場合、これは性能目標の範囲内で作動していることを示します。

注記： パラメータがチャートの白い部分で作動している場合、これは性能目標の範囲内ではないことを示します。その後、Auto Maintain が調整を行って問題を修正し、緑の領域に入れます。



H127980—UN—05NOV19

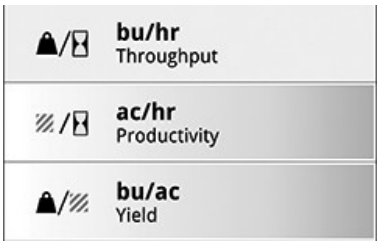
圃場 / 機械性能グラフ

圃場 / 機械性能グラフ — 30 分間のスループット、生産性、または収穫量を表示します。

H119776—UN—25JAN17

単位

性能オプション - 選択して、表示されている情報を変更します。



H125532—UN—01FEB19

性能のオプション

スループットのグラフ、生産性のグラフ、収穫量のグラフ間で選択します。

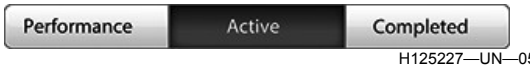
PR79369,0000481-40-01MAR21

アクティブ

「アクティブ」タブには、Auto Maintain と Active Terrain Adjustment™ により現在適用されている調整が表示されます。このリストは、調整された設定、調整を行った理由、調整の適用されている時間の長さなどを含んでいます。

履歴でアクセスできる項目 | アクティブページ：

注記： 以降の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合にのみ表示されます。



H125227—UN—05FEB19

性能 / アクティブ / 完了済み

性能 / アクティブ / 完了済み — パフォーマンスモニター、アクティブ調整、完了済み調整間で切り替えます。

H132327—UN—11NOV20

システムアイコン

システムアイコン — アイコンは、列が Active Terrain Adjustment™ の列であるか、Auto Maintain の列であるかを示します。

H127035—UN—26SEP19

オフセット

オフセット — 設定に適用されている現在の調整を示します。

H127033—UN—26SEP19

理由

理由 — 調整が適用されている理由を示します。

H127034—UN—26SEP19

タイムスタンプ

タイムスタンプ — 対応する理由で最初の調整が行われてからの経過時間を示します。

Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

特定の調整のオフセットの詳細を表示するには、履歴リストで調整を選択します。

H116936—UN—30JAN17

閉じる

選択して閉じます。

PR79369,0000484-40-01MAR21

完了済み

「完了済み」タブには、Auto Maintain と Active Terrain Adjustment™ で過去 12 時間に行われた調整が表示されます。このリストは、調整を行ったシステム、調整を行った理由、どのくらい前に調整が完了したかなどを含んでいます。

履歴でアクセスできる項目 | 完了済みページ：

注記： 以降の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合にのみ表示されます。

H125228—UN—05FEB19

性能 / アクティブ / 完了済み

性能 / アクティブ / 完了済み — パフォーマンスモニター、アクティブ調整、完了済み調整間で切り替えます。

H132327—UN—11NOV20

システムアイコン

機能 — 調整を行ったシステムを示します。

H129180—UN—27FEB20

Active Terrain Adjustment™ オフセット — Active Terrain Adjustment™ が一時的に調整を行いました。

H125509—UN—01FEB19

Auto Maintain オフセット

Auto Maintain オフセット — Auto Maintain が一時的な調整を行いました。

H125507—UN—01FEB19

Auto Maintain 永久調整

Auto Maintain — AutoAuto Maintain が永久調整を行いました。

H125565—UN—01FEB19

理由

理由 — 調整が適用された理由を示します。

H125593—UN—01FEB19

タイムスタンプ

完了済み — どのくらい前に調整を完了したかを示します。

特定の調整のオフセットの詳細または調整の詳細を表示するには、履歴リストで調整を選択します。

H116936—UN—30JAN17

閉じる

選択して閉じます。

変更手順：

H116672—UN—30JAN17

スクロール矢印

1. スクロール矢印を使用してリストを上下にスクロールします。

注記： 最新の調整は最上部に表示されます。

H116936—UN—30JAN17

閉じる

2. 選択して閉じます。

PR79369,0000485-40-01MAR21

Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

オフセットの詳細

オフセットの詳細を使用すると、現在および過去の調整、調整を行った理由、および調整が行われた時期を表示できます。調整が "有効" である場合、調整は設定に現在適用されています。調整が "完了済み"の場合、調整は削除済みで、設定は以前の値に戻されています。

注記： 使用可能なオプションに応じて、このページには一部の項目のみが表示されます。

アクティブ調整の「オフセットの詳細」ページでアクセスできる項目：

H125594—UN—01FEB19

アクティブオフセット

アクティブオフセット — 現在適用されているオフセットを示します。

H129176—UN—27FEB20

Auto Maintain の理由

H129175—UN—27FEB20

Active Terrain Adjustment™ の理由

理由— 調整が適用された理由を示します (Active Terrain Adjustment™ の現在のピッチ、および Auto Maintain の現在検出されている問題)。

H125579—UN—01FEB19

タイムスタンプ

タイムスタンプ — 対応する理由で最初のオフセットがどのくらい前に適用されたかを示します。

H113740—UN—05FEB19

ライブカメラ

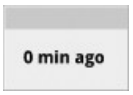
ライブカメラ — クリーングレインエレベーターと二番エレベータのカメラ映像を表示します。

完了済み調整の「オフセットの詳細」ページでアクセスできる項目：

H125594—UN—01FEB19

アクティブオフセット

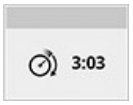
アクティブオフセット — は、対応する理由で各設定に対して行われた最大オフセットを表示します。



H127981—UN—05NOV19

タイムスタンプ

タイムスタンプ — 対応する理由で最初のオフセットがどのくらい前に削除されたかを示します。



H119866—UN—30JAN17

期間

期間 — 対応する理由により、最初のオフセットが適用されたときからの経過時間と、最後のオフセットが削除された時期が表示されます。

H129176—UN—27FEB20

Auto Maintain の理由

H129175—UN—27FEB20

Active Terrain Adjustment™ の理由

理由 — 示されているオフセットが適用された理由を示します。

H113740—UN—05FEB19

ライブカメラ

Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

ライブカメラ — クリーングレインエレベーターと二番エレベータのカメラ映像を表示します。

PR79369,0000486-40-01MAR21

調整の詳細

調整の詳細により、どの調整が行われたか、および調整が行われた理由を確認できます。これは調整が完了したときに表示されます。

注記：この調整の詳細画面は、永続的な Auto Maintain 調整のみに適用されます。

調整の詳細ページでアクセスできる項目：

H125251—UN—06FEB19

調整

調整 — 調整が行われたことを示します。

H125252—UN—01FEB19

前

前 — 調整前の設定値を示します。

H125253—UN—01FEB19

後

後 — 調整後の設定値を示します。

H129176—UN—27FEB20

Auto Maintain の理由

理由— Auto Maintain で調整された問題を示します。

H129117—UN—16JUL20

タイムスタンプ

タイムスタンプ — 調整が行われた時期を表示します。

H113740—UN—05FEB19

ライブカメラ

ライブカメラ — クリーングレインエレベータと二番エレベータのカメラフィードを表示します。

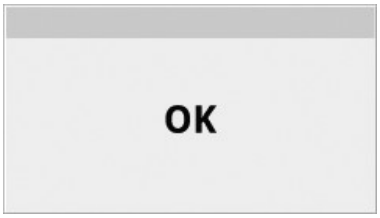
PR79369,0000487-40-01MAR21

レンズの汚れ

レンズの汚れには、グレンカメラや 2 番還元物カメラのレンズの泥や汚れの程度が表示されます。

レンズの汚れの状態：

ActiveVision™ カメラには、カメラのステータスをモニターできるレンズの汚れの 3 つのレベルがあります。



H126959—UN—26SEP19

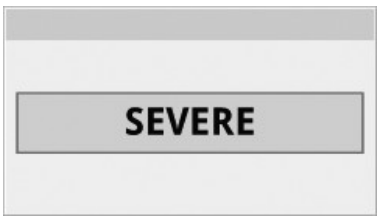
OK

OK — レンズに汚れがわずかにあるかまったくないことを示します。

H126960—UN—26SEP19

中程度

中程度— レンズに汚れが少しあることを示します。Auto Maintain は機能し続けますが、できるだけ早くカメラを清掃することをお勧めします。



H126961—UN—26SEP19

重度

重度 — レンズに大量のごみがあることを示します。

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

Auto Maintain はオフになり、カメラが清掃されるまで機能しません。

注記： 10 時間ごとまたは必要に応じてレンズをクリーニングします。清掃の頻度は、運転条件、天候、作物条件などの複数の要因によって異なります。詳しくは、「コンバイン取扱説明書」の「メンテナンス」セクションを参照してください。

PR79369,0000488-40-01MAR21

自動化ステータス

「自動化ステータス」には、HarvestSmart™、Active Terrain Adjustment™、および Auto Maintain のステータスが表示されます。

注記： 以降の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合にのみ表示されます。

H126945—UN—26SEP19

HarvestSmart™ ステータス

HarvestSmart™ ステータス — 選択して開きます。

H129170—UN—27FEB20

Active Terrain Adjustment™

Active Terrain Adjustment™ステータス — 選択して開きます。

H126947—UN—26SEP19

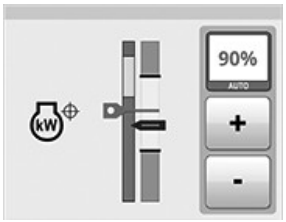
Auto Maintain ステータス

Auto Maintain ステータス — 選択して開きます。

PR79369,0000489-40-01MAR21

HarvestSmart™ 設定

HarvestSmart™ 設定を使用して、HarvestSmart™ システムを調整することができます。HarvestSmart™ 設定にアクセスするには、ON/OFF ボタンの右側の画面領域を選択します。

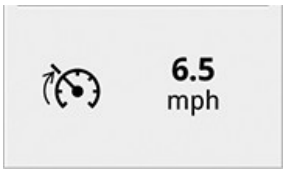


H127982—UN—05NOV19

エンジン出力目標

エンジン出力目標 — 維持する HarvestSmart™ の目標エンジン出力を設定します。

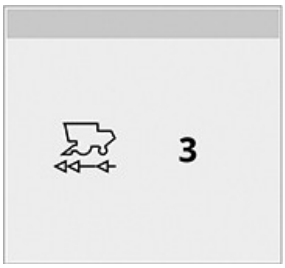
注記： エンジン出力目標を管理中にグレンロスが有効で、エンジン出力目標を変更すると、エンジン出力目標は青に変わります。



H118568—UN—20JAN17

速度制限

速度制限 — HarvestSmart™ が作動する最大許容移動速度を設定します。



H133501—UN—02MAR21

応答の感度

応答の感応度 — 収穫条件の変化に対して HarvestSmart™ システムが応答する速度を制御します。

H125233—UN—01FEB19

グレンロスによる目標の管理

グレンロスあり目標の管理 — 選択すると、HarvestSmart™ で速度を調整してグレンロスレベルを維持できます。

注記： 管理されている場合、目標は青色で表示されます。

HarvestSmart は、Deere & Company の商標です。
Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

すべての Combine Advisor™ システムと性能目標と性能履歴を確認するには、Combine Advisor™ アプリケーション内のパフォーマンスモニターを参照してください。コーナーポストディスプレイの VisionTrak™ が唯一の視覚ガイドです。定期的に VisionTrak™ ディスプレイを確認して、合計口ス量の増減が発生したことを確認できます。

PR79369,000048A-40-02MAR21

速度制限

速度制限により、HarvestSmart™ が動作する最大許容移動速度を設定します。

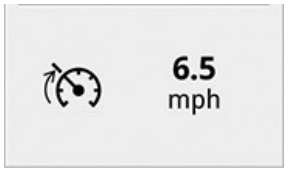
以下の場合に変更を行います：

- 最高運転速度を設定したい場合。
- 地形が粗いまたはヘッダーを詰まらせる可能性がある供給条件が存在するために、本機を特定の速度を超えて運転したくない場合。

  例：ヘッダーは 8 km/h (5 mph) に制限されます。移動速度を 7.5 km/h (4.7 mph) に設定します。
- 圃場内の作物がまったくない、またはほぼない場所を本機が速く進み過ぎないようにしたい場合。これにより、作物の収穫量が通常の状態に戻ると、本機は速すぎる速度で進みます。速度制限を予想される収穫速度よりも少し高く設定します。

  例：平均速度 5.5 km/h (3.4 mph) で収穫したいとします。移動速度を 7 km/h (4.3 mph) に設定します。

変更手順：



H118568—UN—20JAN17

速度制限

1.速度制限を調整する場合に選択します。

H118570—UN—31JAN17

速度制限

2.(+)/(-) を選択して必要な速度を増減します。

最小— 2.0 km/h (1.2 mph)

最大— 14.0 km/h (8.7 mph)

増分— 0.1 km/h (0.1 mph)

速度制限を予想平均収穫速度よりも少し高く設定します。

例：5.5 km/h (3.4 mph) で収穫したい場合、速度制限を 7 km/h (4.4 mph) に設定します。8 km/h (5.0 mph) で収穫したい場合、速度制限を 10 km/h (6.2 mph) に設定します。

H118559—UN—20JAN17

閉じる

3.選択して閉じます。

変更の代替手順：

H118573—UN—20JAN17

速度制限

1.アームレスト調整ダイヤルを起動します。

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2.アームレスト調整ダイヤルを使用して必要な走行速度を選択します。

- 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
- 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

最小— 2.0 km/h (1.2 mph)

最大— 14.0 km/h (8.7 mph)

増分— 0.1 km/h (0.1 mph)

PR79369,000048B-40-01MAR21

応答の感応度

応答の感応度により、収穫条件の変化に対して HarvestSmart™ システムが応答する速度を制御します。応答感応度は、HarvestSmart™ 性能目標と併せて決定されます。

HarvestSmart は、Deere & Company の商標です。

設定 1 — 最小

設定 2— 低い設定

設定 3— 既定

設定 4— 増加

設定 5— 最大

以下の場合に変更を行います：

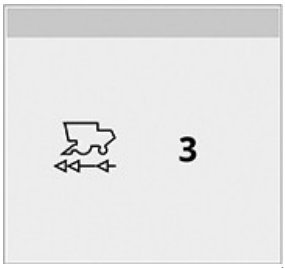
以下の場合は増やします。

収穫条件の変化に対して機械をすばやく応答させたい場合。

以下の場合は減らします。

収穫条件の変化に対して機械を遅く応答させたい場合。

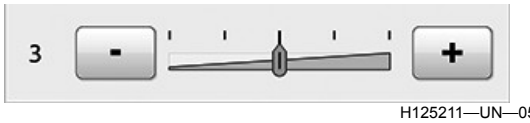
変更手順：



H133501—UN—02MAR21

応答の感応度

1.応答の感応度にアクセスします。



H125211—UN—05FEB19

感応度

2.(+) / (-) を選択して必要な感応度を増減します。

最小— 1

最大— 5

増分 — 1

注記： 新しい性能目標を設定すると、応答の感度は既定で 3 に戻ります。

H118559—UN—20JAN17

閉じる

3.選択して閉じます。

PR79369,000048C-40-02MAR21

HarvestSmart™ | 自動化

自動化を使用すると、HarvestSmart™ システムを有効または無効にすることができます。

以下の場合に変更を行います：

- 枕地で旋回する場合。ヘッダー起動ボタン 1 を押してヘッダーを上昇させ、静的移動速度を維持します。多機能レバーを動かして移動速度の制御を獲得します。
- アンローディング中に一定の移動速度を維持したい場合。再構成可能ボタンを押します。
- 水路や不整地と交差する準備をしている場合。再構成可能ボタンを押して静的移動速度を維持するか、ヘッダー起動ボタン 1 を押してヘッダーを上昇させ、静的移動速度を維持します。多機能レバーを動かして移動速度の制御を獲得します。

変更手順：

H113848—UN—04JAN17

トグルボタン

1.Combine Advisor メインページで、HarvestSmart™ の下にあるトグルボタンを選択して、HarvestSmart™ 自動化の ON/OFF を切り替えます。

注記： この手順の残りのステップは、HarvestSmart™ を ON にしている場合のみ実行できます。

H128157—UN—16JAN20

ヘッダー起動ボタン

2.多機能レバーの前部にあるヘッダー起動ボタン 2 または 3 を押して、ヘッダーを下げます。

H117005—UN—15APR16

AutoTrac™ 復帰ボタン

3.AutoTrac™ を接続して作物を入れます。

注記： 最良の性能を得るには、本機が収穫を始めて材料がローラーに達した後に HarvestSmart™ を起動します。

HarvestSmart は、Deere & Company の商標です。
AutoTrac は Deere & Company

H128156—UN—14JAN20

再構成可能ボタン

4. 多機能レバーの側面にある再構成可能 ボタンを押して、HarvestSmart™ を起動します。本機は、以前決定した平均収穫速度までゆっくりと動きます。

   いつでも再構成可能ボタンを押して、HarvestSmart™ を一時停止できます。本機は、収穫を続けて静的移動速度を維持します。

T8T8737—UN—18DEC19

再構成可能ボタン *B*

注記： HarvestSmart™ の起動は、既定で再構成可能ボタン B に割り当てられています。この機能は、コントロールのセットアップで任意の再構成可能な単一位置のボタンに割り当てることができます。HarvestSmart™ をヘッダー起動ボタン 2 または 3 に割り当てる場合は、John Deere 販売店にお問い合わせください。

T8T8738—UN—18DEC19

ヘッダー起動ボタン *1*

5. 多機能レバーの前部にあるヘッダー起動ボタン 1 を押して、ヘッダーを上げます。

HarvestSmart™ が一時停止する場合：

- HarvestSmart™ が起動しているときに、多機能レバーの側面にある再構成可能 ボタンを押した場合。
- HarvestSmart™ が起動しているときに、ヘッダー起動ボタン 1 を押した場合。
- アンローディングオーガを接続した場合。アンローディングオーガを停止すると、HarvestSmart™ は移動速度の自動制御を再開します。

注記： アンローディングオーガを起動中に、エンジンが過負荷になった場合、HarvestSmart™ により移動速度が遅くなります。アンローディングオーガを OFF にするまで、HarvestSmart™ によって移動速度は増加しません。

HarvestSmart™ が解除される場合：

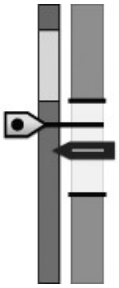
- 多機能レバーを動かした場合。
- 移動速度が 2 km/h (1.2 mph) 未満に下がった場合。
- ブレーキペダルを踏み込んだ場合。

PR79369,000048D-40-01MAR21

エンジン出力目標

エンジン出力目標は、HarvestSmart™ が維持する必要がある目標エンジン出力を設定します。

エンジン出力目標でアクセスできる項目：



H128154—UN—16DEC19

エンジン出力計

エンジン出力計 — エンジン出力の使用状況と最大エンジン出力の設定が表示されます。システムでは、目標値を黄色または赤色の範囲内に設定することはできません。

H118584—UN—20JAN17

目標インジケーター

目標インジケーター — はエンジン出力目標を示します。

注記： 自動的に管理されている場合、目標は青色で表示されます。

H118585—UN—20JAN17

使用状況インジケーター

使用状況インジケーター — 現在のエンジン出力の使用状況を示します。

以下の場合に変更を行います：

- ドレーパープラットフォームで作業している場合：85 ~ 95% 近くの一貫した条件の場合。

HarvestSmart は、Deere & Company の商標です。

80 ~ 90% 近くの変化する条件の場合。

75 ~ 85%　近くの垂れ下がった作物または難供給条件の場合。

- オーガプラットフォームで作業している場合：

  80 ~ 90% 近くの一貫した条件の場合。

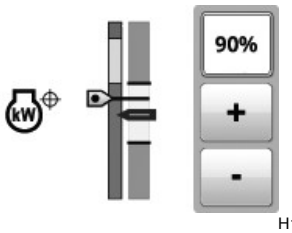
  75 ~ 85% 近くの変化する条件の場合。

  70 ~ 80%　近くの垂れ下がった作物または難供給条件の場合。

- 経験が不足しているオペレータの場合。下側エンジン出力目標を設定します。
- ヘッダーの作物フローが良くない場合、ローターの供給が一貫しなくなります。下側エンジン出力目標を設定します。
- 一貫した滑らかな供給により、高いエンジン出力目標を設定できます。
- 乾燥条件、水平な地形、均一な供給、立毛で収穫している場合。より高いエンジン出力目標で運転することにより、能力と効率を高めることができます。
- 泥の多い条件、急な地形、スラグ供給、および横たわった作物を収穫している場合。低いエンジン出力目標で運転することにより、より一貫した性能が可能になります。

注記：　ぬかるみ、急な坂、または悪い条件で収穫している場合は、追加の出力消費とより一貫したシステム性能を可能にするために 85 ~ 95% 近くを目標にすることを推奨します。

変更手順：



H128155—UN—16DEC19

エンジン出力目標

1. エンジン出力目標を調整する場合に選択します。

H127986—UN—20NOV19

エンジン出力目標

2. (+)/(-) を選択して、エンジン出力目標を増減します。

最小— 60%

最大— 100%

増分— 1%

変更の代替手順：

H118572—UN—20JAN17

エンジン出力目標

1. アームレスト調整ダイヤルを起動します。

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. アームレスト調整ダイヤルを使用して必要なエンジン出力を選択します。

- 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
- 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

最小— 60%

最大— 100%

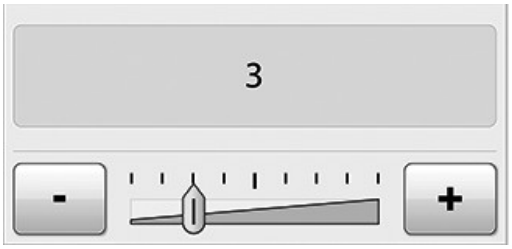
増分— 1%

PR79369,000048E-40-01MAR21

Active Terrain Adjustment™ の設定

Active Terrain Adjustment™ を使用すると、下り坂や上り坂の地形で収穫するときに作物タイプや機械ピッチに応じて、クリーニングファン、チャファー、ふるいを自動的に調整できます。Active Terrain Adjustment™ の設定にアクセスするには、ON/OFF　ボタンの右側の画面領域を選択します。

Active Terrain Adjustment™ の設定ページでアクセスできる項目：



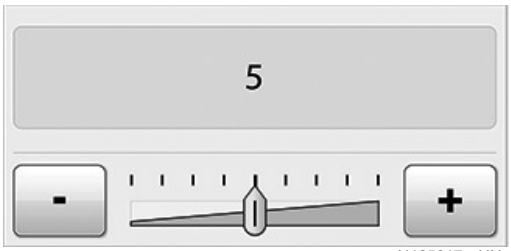
H125216—UN—05FEB19

上り坂感度

上り坂感度 — 上り坂で収穫中に車両ピッチに対するシ

Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

ステムの反応を早めるか遅くして、グレンロスと 2 番還元物の減少を促進します。



H125217—UN—05FEB19

下り坂感度

下り坂感度 — 上り坂で収穫中に車両ピッチに対するシステムの反応を早めるか遅くして、収穫したグレンの清浄度を維持しやすくします。

H127987—UN—20NOV19

チャファー

オフセット調整 | チャファー — この機能により、チャファーに対する Active Terrain Adjustment™ の調整のサイズを変更できます。

H127988—UN—20NOV19

ふるい

オフセット調整 | ふるい — この機能により、ふるいに対する Active Terrain Adjustment™ の調整のサイズを変更できます。

H127989—UN—20NOV19

クリーニングファン

オフセット調整 | クリーニングファン — この機能により、クリーニングファンの回転速度に対する Active Terrain Adjustment™ の調整のサイズを変更できます。

PR79369,000048F-40-01MAR21

上り坂感度

上り坂感度を使用すると、車両のピッチに対するシステムの反応を加速または減速して、上り坂走行中にグレンロスや 2 番還元物を減らすことができます。

注記： 感度値を高くすると、ピッチの変化によりすばやく反応します。感度値を低くすると、上り坂で収穫中にピッチの変化に対する反応が遅くなります。

以下の場合に変更を行います：

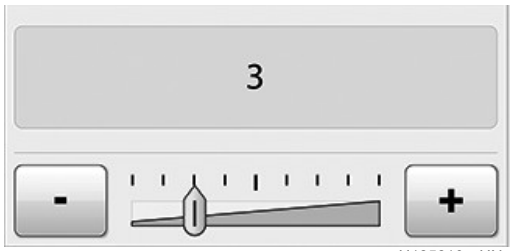
- Active Terrain Adjustment™ システムによる調整が早すぎるまたは遅すぎるために、水平な土地よりも上り坂で収穫しているときにグレンロスや 2 番還元物が増えた場合。
- 上り坂で収穫中にグレンタンクがきれいではない場合。感度を低く調整します。
- 上り坂で収穫中にクリーニングシューロスや 2 番還元物が増えた場合。感度を高く調整します。

設定 1— 調整なし (-100)

設定 5— 既定のピッチレベル (0) に調整します

設定 9— 既定のピッチレベル (100) の 2 倍に調整します

変更手順：



H125216—UN—05FEB19

感度

(+) / (-) を選択して必要な感度を増減します。

PR79369,0000490-40-01MAR21

下り坂感度

下り坂感度を使用して、下り坂で収穫中に車両ピッチに対するシステムの反応を早めるか遅くして、収穫したグレンの清浄度を維持しやすくします。

注記： 感度値を高くすると、ピッチの変化によりすばやく反応します。感度値を低くすると、下り坂で収穫中にピッチの変化に対する反応が遅くなります。

以下の場合に変更を行います：

- Active Terrain Adjustment™ システムによる調整が早すぎるまたは遅すぎるために、水平な土地よりも下り坂で収穫しているときにグレンロスや 2 番還元物が増えた場合。

Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

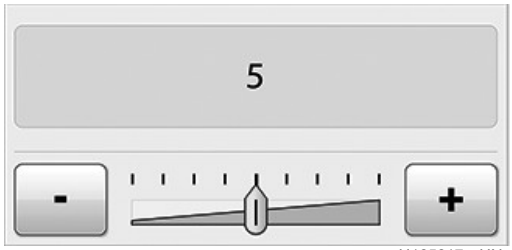
- 下り坂で収穫中にクリーニングシューロスや 2 番還元物が増えた場合。感度を低く調整します。
- 下り坂で収穫中にグレンタンクがきれいではない場合。感度を高く調整します。

設定 1— 調整なし (-100)

設定 5— 既定のピッチレベル (0) に調整します

設定 9— 既定のピッチレベル (100) の 2 倍に調整します

変更手順：



H125217—UN—05FEB19

感度

(+) / (-) を選択して必要な感度を増減します。

PR79369,0000491-40-01MAR21

HarvestSmart™ ステータス

H126945—UN—26SEP19

HarvestSmart™ ステータス

HarvestSmart™ ステータスを使って HarvestSmart™ システムの現在の状態を確認します。HarvestSmart™ ステータスにより、システムが正しく作動するためにシステムが満たす必要のある要件やシステムに影響しているエラーを表示することもできます。詳細を確認するには、HarvestSmart™ ステータスを選択します。

「HarvestSmart™ ステータス」ページに表示される項目：

注記： すべての可能性をここに示しているわけではありません。現在のステータスのリストを開くには、「HarvestSmart™ ステータス」を選択します。

H113730—UN—30JAN17

ON/OFF

自動化 ON/OFF — システムの ON/OFF を示します。

H126948—UN—26SEP19

アイドル

アイドル — システムがスタンバイ状態の場合、または目標を準備しているステータスの場合に表示されます。

H126949—UN—26SEP19

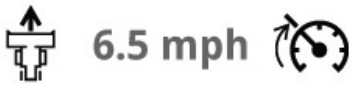
アクティブ

有効 — システムが起動状態またはメンテナンス状態の場合に表示されます。

H114663—UN—05JAN17

問題

問題 — システムに 1 つ以上の重大な故障が存在する場合に表示されます。



H126950—UN—26SEP19

移動速度制限

移動速度制限 — 移動速度制限に達したときに表示されます。

HarvestSmart™ の要件：

- HarvestSmart™ 自動化が ON になっている必要があります。
- 性能目標が設定されている必要があります。
- 機械は収穫の準備ができている必要があります。

  ： セパレータが接続されている必要があります。

  ： ヘッダーが接続されている必要があります

  ： エンジンがハイアイドルに設定されている必要があります。
- 多機能レバーを 2 km/h (1.25 mph) 以上に設定する必要があります。

H114663—UN—05JAN17

未適合アイコン

HarvestSmart は、Deere & Company の商標です。

要件が満たされていない場合、アイコンが表示されます。

H114662—UN—05JAN17

適合済みアイコン

条件が満たされると、緑色のチェックマークが表示されます。

H114674—UN—06FEB19

閉じる

選択して閉じます。

PR79369,0000492-40-01MAR21

Active Terrain Adjustment™ ステータス

Active Terrain Adjustment™ ステータスを使って Active Terrain Adjustment™ システムの現在の状態を確認します。Active Terrain Adjustment™ のステータスにより、システムが正しく作動するためにシステムが満たす必要のある要件やシステムに影響しているエラーを表示することもできます。

注記： 以降の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合にのみ表示されます。

H129170—UN—27FEB20

Active Terrain Adjustment™ ステータス

詳細を確認するには、Active Terrain Adjustment™ のステータスを選択してください。

Active Terrain Adjustment™ ステータスページに表示される項目：

注記： すべての可能性をここに示しているわけではありません。現在のステータスのリストを開くには、Active Terrain Adjustment™ ステータスを選択してください。

H113730—UN—30JAN17

ON/OFF

自動化 ON/OFF — システムの ON/OFF を示します。

H126951—UN—26SEP19

アイドル

アイドル — オフセットを適用していないときに (上下傾斜がないため) 表示されます。

H129163—UN—27FEB20

アクティブ

有効 — システムが対応している上り坂または下り坂を表示します。

H114663—UN—05JAN17

問題

問題 — システムに 1 つ以上の重大な故障が存在する場合に表示されます。

Active Terrain Adjustment™ の要件：

- Active Terrain Adjustment™ 自動化がオンになっている。
- 機械は収穫の準備ができている必要があります。
  - ： セパレータが接続されている必要があります。
  - ： ヘッダーが接続されている必要があります
  - ： エンジンがハイアイドルに設定されている必要があります。
- ヘッダーは記録停止高さよりも低い位置にある必要があります.

H114663—UN—05JAN17

メッセージ

要件が満たされていない場合、メッセージが表示されます。

H114662—UN—05JAN17

緑のチェックマーク

Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

条件が満たされると、緑色のチェックマークが表示されます。

H118541—UN—30JAN17

ヘッダーの詳細

「ヘッダーは記録停止高さよりも下にある必要があります」の要件が満たされていません。選択して、「Header Details (ヘッダーの詳細)」ページにアクセスしてください。

H114674—UN—06FEB19

閉じる

選択して閉じます。

PR79369,0000493-40-01MAR21

Auto Maintain ステータス

Auto Maintain Status (自動メンテナンスのステータス) を使用して、Auto Maintain (自動メンテナンス) システムの現在の状態を通知します。Auto Maintain のステータスには、システムが正常に動作するために満たす必要がある要件も表示されます。

注記： 以降の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合にのみ表示されます。

H126947—UN—26SEP19

Auto Maintain ステータス

Auto Maintain のステータスを選択して、詳細を表示します。

Auto Maintain ステータスページに表示される項目：

注記： ここにすべての故障を挙げているわけではありません。現在のステータスのリストを開くには、「Auto Maintain ステータス」を選択します。

H113730—UN—30JAN17

ON/OFF

自動化 ON/OFF — システムの ON/OFF を示します。

H126953—UN—26SEP19

アイドル

アイドル — システムが ON で問題が検出されていない場合に表示されます。

H126954—UN—26SEP19

アクティブ

有効 — システムがロスまたは品質に適応しているときに表示されます。

H114663—UN—05JAN17

問題

問題 — システムに 1 つ以上の重大な故障が存在する場合に表示されます。

H126955—UN—26SEP19

目標取得処理

目標取得処理 — システムが性能目標を取得しているときに表示されます。

Auto Maintain の要件：

- Auto Maintain (自動メンテナンス) 自動化が ON になっている。
- 性能目標が設定されている必要があります。
- 機械は収穫の準備ができている必要があります。
  - ： セパレータが接続されている必要があります。
  - ： ヘッダーが接続されている必要があります
  - ： エンジンがハイアイドルに設定されている必要があります。
- ヘッダーは記録停止高さよりも低い位置にある必要があります.
- 一貫した作物条件である必要があります。
  - ： 機械の走行速度が一定である。
  - ： 作物の流れが存在する。

H114663—UN—05JAN17

未適合アイコン

要件が満たされていない場合、アイコンが表示されます。

H114662—UN—05JAN17

適合済みアイコン

条件が満たされると、緑色のチェックマークが表示されます。

H116936—UN—30JAN17

閉じる

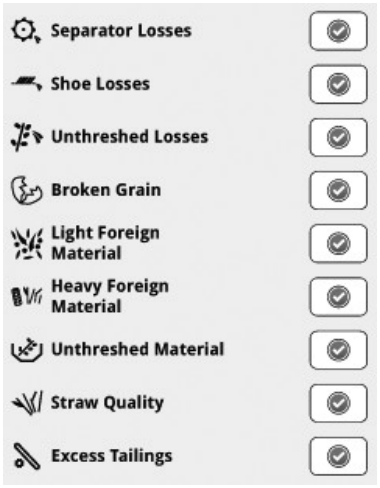
選択して閉じます。

PR79369,0000494-40-01MAR21

性能の最適化

性能の最適化 (従来の Interactive Combine Adjustment) は、報告された 1 つ以上の問題に基づいて調整をユーザーに推奨します。

性能の最適化メインページでアクセスできる項目：



H127037—UN—26SEP19

性能の問題

性能の問題 — 選択すると、機械に適用される 1 つ以上の性能の問題が報告されます。

H127038—UN—26SEP19

現在の設定

現在の設定 — 選択すると、収穫設定アプリケーションが開きます。

H125517—UN—01FEB19

解決策

解決策 — 1 つ以上の性能の問題が報告された後に表示されます。システムの推奨解決策を切り替えて、機械に適用できます。

H126962—UN—26SEP19

停止

停止 — すべての問題を消去する場合に選択します。

注記： 停止は、1 つ以上の性能の問題が選択されている場合のみ選択できます。

H126963—UN—26SEP19

適用

適用 — 現在選択している推奨解決策を適用します。

注記： 適用は、1 つ以上の性能の問題が選択されている場合のみ選択できます。

H116936—UN—30JAN17

閉じる

選択して閉じます。

注記： 問題の重大度を選択した状態で性能の最適化を閉じると、現在の選択内容がシステムに記憶されます。再び開くと、システムがトリガーされ、これらの選択に基づいて推奨事項が検索されます。

PR79369,0000495-40-01MAR21

オフセット調整 チャファー

オフセット調整 | チャファーでは、Active Terrain Adjustment™ システムで命令された場合のチャファーの刻み幅量を調整します。

Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

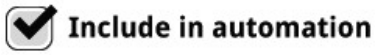
自動化に含める

以下の場合に変更を行います：

自動化に含める— Active Terrain Adjustment™ でチャファーを調整する場合にオンにします。Active Terrain Adjustment™ でチャファーを調整しない場合は、「自動化に含める」をオフにします。

変更手順：

オフにすると、Active Terrain Adjustment™ でチャファーを調整しません。



H126183—UN—24APR19

自動化に含める

注記： "自動化に含める" は、既定で作物タイプに応じて異なる状態に設定されます。

注記： 「Include in automation (自動化に含める)」をオンにした場合、単語「Managed (管理対象)」がメイン画面に表示されます。オフにした場合、単語 "Ignored" (無視済み) が画面に表示されます。

刻み幅

以下の場合に変更を行います：

注記： 感度調整の効果がない場合に刻み幅を調整します。

注記： 刻み幅は、調整の全範囲や調整の数ではなく、Active Terrain Adjustment™ で行われた個々の調整のサイズです。

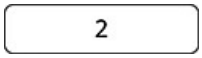
刻み幅を増やす：

最大感度設定で必要な結果が得られない場合、または他の部品と比較して 1 つの部品 (ファン回転速度、チャファー、またはふるい) のみをさらに調整する必要がある場合に増やします。

刻み幅を減らす：

最小感度設定で必要な結果を得られない場合、または他の部品と比較して 1 つの部品 (ファン回転速度、チャファー、またはふるい) を調整する必要があまりない場合に減らします。

変更手順：



H125580—UN—01FEB19

刻み幅

1. テンキーを開いて、「刻み幅」を選択して必要な値を入力します。

H114645—UN—05JAN17

チャファー

最小：1

既定値：収穫している作物に応じて異なります。

最大：3

増分：1

H114674—UN—06FEB19

閉じる

2. 選択して閉じます。

PR79369,0000496-40-01MAR21

オフセット調整 ふるい

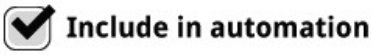
オフセット調整 | ふるいでは、Active Terrain Adjustment™ システムで命令された場合のふるいの刻み幅量を調整します。

自動化に含める

以下の場合に変更を行います：

自動化に含める— Active Terrain Adjustment™ でふるいを調整する場合にオンにします。Active Terrain Adjustment™ でふるいを調整しない場合は、「自動化に含める」をオフにします。

変更手順：



H126183—UN—24APR19

自動化に含める

チェックボックスをオフにすると、Active Terrain Adjustment™ でふるいを調整しません。

注記： "自動化に含める" は、既定で作物タイプに応じて異なる状態に設定されます。

注記： 「Include in automation (自動化に含める)」をオンにした場合、単語「Managed (管理対象)」がメイン画面に表示されます。オフにした場合、単語 "Ignored" (無視済み) が画面に表示されます。

刻み幅

以下の場合に変更を行います：

注記： 感度調整の効果がない場合に刻み幅を調整します。

Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

注記： 刻み幅は、調整の全範囲または調整の数ではなく個々の増分です。

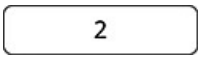
刻み幅を増やす：

最大感度設定で必要な結果が得られない場合、または他の部品と比較して 1 つの部品 (クリーニングファン、チャファー、またはふるい) のみをさらに調整する必要がある場合に増やします。

刻み幅を減らす：

最小感度設定で必要な結果を得られない場合、または他の部品と比較して 1 つの部品 (ファン回転速度、チャファー、またはふるい) を調整する必要があまりない場合に減らします。

変更手順：



H125580—UN—01FEB19

刻み幅

1.Step Size (刻み幅) を選択し、テンキーを開いて必要な値を入力します。

H114646—UN—05JAN17

ふるい

最小：1

既定値：収穫している作物に応じて異なります。

最大：3

増分：1

H114674—UN—06FEB19

閉じる

2.選択して閉じます。

PR79369,0000497-40-01MAR21

目標を維持できません

「Combine Advisor™ は目標状態を維持できません」は、Combine Advisor™ が現在の条件で性能目標を維持できない可能性があることを意味します。

「目標を維持できません」ページでアクセスできる項目：

H126964—UN—26SEP19

新規 *Auto Maintain* 目標の設定

新規 Auto Maintain 目標の設定 — 目標の設定プロセスを開始します。この機能は「性能目標の設定」ボタンを押した場合と同じです。

H126965—UN—26SEP19

手動調整の確認

手動調整の確認 — **収穫設定の**外部構成オーバーレイを開いて Auto Maintain を OFF にします。

H126969—UN—26SEP19

Auto Maintain OFF

Auto Maintain OFF — このオーバーレイを閉じて、Auto Maintain をオフにします。

H113840—UN—06FEB19

次へ

選択して続行します。

変更手順：

Auto Maintain 新規目標の設定

H126964—UN—26SEP19

新規 *Auto Maintain* 目標の設定

1.選択して新規 Auto Maintain 目標を設定します。

H113840—UN—06FEB19

次へ

2.選択して続行します。

手動調整の確認

H126965—UN—26SEP19

手動調整の確認

1.選択して手動調整を確認します。

H113840—UN—06FEB19

次へ

2.選択すると、収穫設定の外部構成が開きます。

Turn Off Auto Maintain (自動メンテナンスを OFF にする)

H126969—UN—26SEP19

Auto Maintain OFF

1.選択すると、Auto Maintain がオフになります。

H113840—UN—06FEB19

次へ

2.選択して続行します。

PR79369,0000498-40-01MAR21

オフセット調整 クリーニングファン

オフセット調整 | クリーニングファンでは、Active Terrain Adjustment™ システムで命令された場合のファン回転速度の刻み幅量を調整します。

注記： クリーニングファンは常に「自動化に含まれている」ので、必ず「管理対象」という単語が Active Terrain Adjustment™ 設定ページに表示されます。

以下の場合に変更を行います：

注記： 感度調整の効果がない場合に刻み幅を調整します。

注記： 刻み幅は、調整の全範囲または調整の数ではなく個々の増分です。

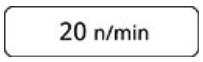
刻み幅を増やす：

最大感度設定で必要な結果が得られない場合、または他の部品と比較して 1 つの部品 (ファン回転速度、チャファー、またはふるい) のみをさらに調整する必要がある場合に増やします。

刻み幅を減らす：

最小感度設定で必要な結果を得られない場合、または他の部品と比較して 1 つの部品 (ファン回転速度、チャファー、またはふるい) を調整する必要があまりない場合に減らします。

変更手順：



H119128—UN—05JAN17

刻み幅

1.「Step Size (刻み幅)」ページを開きます。

H118542—UN—05JAN17

刻み幅

2.必要な値を選択します。

Active Terrain Adjustment は Deere & Company の商標です。

H114644—UN—05JAN17

ファン回転速度

最小：20 n/min

既定値：収穫している作物に応じて異なります。

最大：50 n/min

増分：10 n/min

H114674—UN—06FEB19

閉じる

3.選択して閉じます。

PR79369,0000499-40-01MAR21

性能目標の設定

性能目標の設定では、システムに既存のグレンロス、グレン品質、およびエンジン出力レベルが許容できることを通知することができます。次に、システムはセンサーからのフィードバックをモニターし、受け入れ可能な性能レベルを認識します。

注記： 性能目標の取得には、作物条件が変化する圃場で約 30 分かかります。既存の性能目標に満足した場合は、圃場が変わった場合でも新規性能目標を設定する必要はありません。

注記： 以降の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合にのみ表示されます。

以下の場合に変更を行います：

- 最適化が完了した後、機械を最適化して新しい性能目標を設定する場合。
- Auto Maintain は収穫中に複数の問題を検出したが、まだ現在の性能に満足できる場合。
- 収穫量、水分、または種類が大幅に変化する新しい圃場に移動する場合。
- HarvestSmart™ のエンジン出力目標を自動的に設定したい場合。
- HarvestSmart™ の作動中に移動速度が振れている場合。

変更手順：

注記： 有効な目標がない場合は、HarvestSmart™ または Auto Maintain をオンにしたときに新しい目標を設定するように求められます。

1.機械を必要な収穫速度 / エンジン出力レベル、グレン品質、グレンロスレベルで運転します。

H119889—UN—31JAN17

性能目標の設定

2.性能目標の設定を選択します。

注記： 性能目標の設定を押しても VisionTrak™ モニターで目標を設定することで、グレンロスモニターがキャリブレーションされます。

注記： キー / バッテリーのサイクル中に、作物タイプ別に目標が保存されます。

注記： 自動化システムが現在の性能目標を維持できない場合は、目標を維持できませんというメッセージが表示されます。

PR79369,000049A-40-01MAR21

性能の問題

「性能の問題」により、発生している問題の重大度を変更して、性能の最適化で推奨事項を生成することができます。現在発生しているすべての問題を選択します。

アクセス可能な項目：

重大度の選択 — 選択して、発生している問題の重大度を変更します。

注記： 重大度が以前に報告された内容から変わるたびに、システムは "推奨事項の検索" 状態に進みます。

H125174—UN—01FEB19

OK

OK — 機械は仕様どおりに最適に作動しています。

H125175—UN—01FEB19

軽度

軽度

H125176—UN—01FEB19

中程度

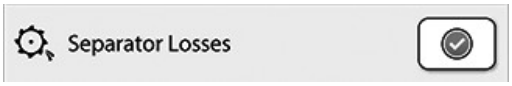
中程度

H125177—UN—01FEB19

重度

重度

性能の問題の種類：



H125191—UN—05FEB19

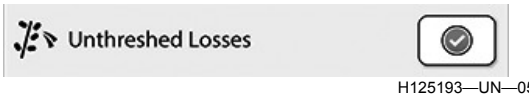
セパレータロス

セパレータロス — グレンがセパレータを通って機械から出ている場合に選択します。

H125192—UN—05FEB19

シューロス

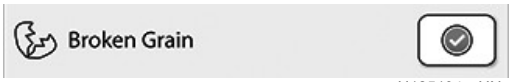
シューロス — グレンがクリーニングシューを通って機械から出ている場合に選択します。



H125193—UN—05FEB19

未脱穀ロス

未脱穀ロス — 地上のグレンが植物材に付着したままになっている場合に選択します。



H125194—UN—05FEB19

破損グレン

破損グレン — 損傷しているまたは破損しているグレンがグレンタンク内にある場合に選択します。

H125195—UN—05FEB19

軽い異物

軽い異物 — 軽量でふわふわした材料の小片がグレンタンク内にある場合に選択します。

H125196—UN—05FEB19

重い異物

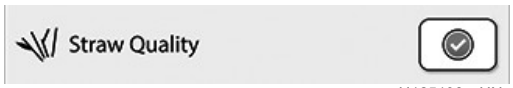
重い異物 — 穂軸の小片や茎 / 幹の短い部分がグレンタンク内にある場合に選択します。

H125197—UN—05FEB19

未脱穀材

未脱穀材 — は、グレンタンク内のグレンが穂軸、グレ

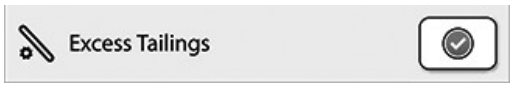
ンヘッド、またはさやに付着したままになっている場合に選択します。



H125198—UN—05FEB19

わら品質

わら品質 — 改善したい領域がわら品質を改善したい場合に選択します。



H125199—UN—05FEB19

過剰 *2* 番還元物

過剰 2 番還元物 — 2 番還元物の量が多い場合に選択します。

PR79369,000049B-40-01MAR21

セパレータロス

セパレータロスは、排出オーバーショットビーターを通じて機械に残る遊離穀粒です。グレン戻しパンの後部に大量の遊離穀粒があることで示されます。

判定の方法：

- VisionTrak™ ディスプレイでセパレータロスを確認します。
- 動力を停止します。詳しくは、取扱説明書を参照してください。

PR79369,000049C-40-01MAR21

シューロス

シューロスは、気流により、またはチャファーとの接触によりクリーニングシューを通って機械から排出されたグレンです。

判定の方法：

- VisionTrak™ディスプレイでクリーニングシューロスを確認します。
- 動力を停止します。詳しくは、取扱説明書を参照してください。

注記： 常に通常動作条件でロスを測定します。作業幅全体にわたってロスを数回測定します。ウインドローを作成する場合は、もみ殻が広がっている場所も測定します。

PR79369,000049D-40-01MAR21

未脱穀ロス

未脱穀ロスは、穂軸、グレンヘッド、またはさやに付着したままになって地面にあるグレンです。

判定の方法：

- 動力を停止します。詳しくは、取扱説明書を参照してください。
- 機械の背後の地面にある処理された材料を点検します。

PR79369,000049E-40-01MAR21

破損グレン

破損グレンは、グレンタンク内の損傷しているまたは破損しているグレンです。

判定の方法：

- グレンタンクを見て、グレンサンプルを検査します。

PR79369,000049F-40-01MAR21

軽い異物

軽い異物は、清浄なグレンを含むグレンタンク内にある軽量でふわふわした材料の小片を指します。これらの小片は空気で吹き飛ばされると予想されます。

判定の方法：

- グレンタンクを見て、グレンサンプルを検査します。

PR79369,00004A0-40-01MAR21

重い異物

重い異物は、清浄なグレンを含むグレンタンク内の穂軸の小片や柄 / 茎の短い部分を指します。これらの小片は空気で吹き飛ばないものです。

判定の方法：

- グレンタンクを見て、グレンサンプルを検査します。

PR79369,00004A1-40-01MAR21

未脱穀材

Unthreshed Material (未脱穀材) は、穂軸、グレンヘッド、またはさやに付着したままになっているグレンタンク内のグレンです。

判定の方法：

VisionTrak は Deere & Company の商標です。

- グレンタンクを見て、グレンサンプルを検査します。

PR79369,00004A2-40-01MAR21

わら品質の問題

ウィンドロー (列並べ) モードのみ。わらが過度に破損している、短すぎる、または絡まっている。

判定の方法：

- わらの列並べを確認します。

PR79369,00004A3-40-01MAR21

過剰 2 番還元物

2 番還元物満杯アラームが発生するほど 2 番還元物量が多いか、またはオペレータの予想よりも大幅に多くなっています。

判定の方法：

- VisionTrak™ ディスプレイで 2 番還元物を確認します。
- 2 番還元物の組成の確認：

  : 2 番還元物にある遊離グレンの量が多い場合、ふるいすき間が少なすぎることを示している可能性があります。

  : 脱穀されていない穀粒は脱穀の問題を示している可能性があります。

  : もみ殻のみの 2 番還元物量が多い場合、クリーニングシューに対するもみ殻の負荷が高いことを示している可能性があります。

注記： 適切に設定された機械では、いくらかの 2 番還元物量が発生します。

PR79369,00004A4-40-01MAR21

解決策

Recommended Solutions (推奨解決策) では、推奨解決策の完全なリストと意図する調整の詳細を表示できます。

"解決策画面" でアクセスできる項目：

H116307—UN—25JAN17

進行状況インジケーター

推奨事項を検索中 — システムが推奨解決策を検索しているときに進行状況インジケーターが表示されます。

H125496—UN—01FEB19

推奨解決策

推奨解決策 — 推奨解決策の完全なリストにアクセスできます。

H116623—UN—25JAN17

左

H116624—UN—25JAN17

右

左右のコントロール — 推奨解決策の完全なリストをスクロールして、調整の詳細を表示できます。

H125497—UN—01FEB19

推奨解決策

H127029—UN—26SEP19

解決策の選択

推奨解決策のリスト全体を表示できます。

注記： 設定を手動で調整する必要がある解決策、またはキャブから出る必要がある解決策は、解決策の複数画面切り替え表示内で外観が少し異なります。これらの解決策は、画面上で "手のアイコン"、"手動"、"キャブ外" などの表現で示されます。これらの種類の調整は、"適用" ボタンが "次へ" ボタンに置き換えられ、さらに操作が必要であることを示します。

注記： キャブ外調整については、機械の取扱説明書を参照してください。

移動速度調整

セパレーターベーン調整

キャブ外調整

H126962—UN—26SEP19

停止

停止 — すべての問題を消去する場合に選択します。

注記： 最適化プロセスを停止すると、メッセージがディスプレイに表示されます。

H126963—UN—26SEP19

適用

適用 — 現在選択している推奨解決策を適用します。

注記： 調整が完了すると、メッセージがディスプレイに表示され、空の問題選択ページに戻ります。

PR79369,00004A5-40-01MAR21

移動速度の調整

移動速度の調整では、手動で機械を調整する必要があります。これらの調整は、Combine Advisor™ アプリケーションがプロセスの次のステップに自動で進むために必要です。

移動速度の調整：

H125240—UN—01FEB19

移動速度を *3 mph* に変更します。

性能を最適化するには、移動速度を調整することをお勧めします。

H127027—UN—26SEP19

次へ

移動速度の調整を承認する場合に選択します。

H128110—UN—21NOV19

オペレータの操作を待機中

速度を調整します。速度調整を行うと、「性能を最適化」にメッセージが表示され、空の問題選択画面に戻ります。

H127028—UN—26SEP19

戻る

別の推奨事項を選択する場合に選択して、解決策リストに戻ります。

H126962—UN—26SEP19

停止

すべての問題を消去する場合に選択します。

H116310—UN—30JAN17

閉じる

性能最適化アプリケーションを閉じる場合に選択します。

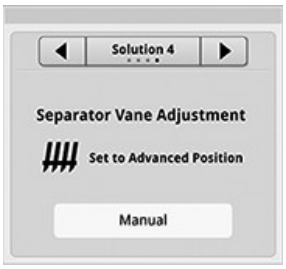
注記： 性能の最適化アプリケーションは、閉じた後に再度開くと、閉じたときと同じ場所で再開されます。

PR79369,00004A6-40-01MAR21

セパレーターベーンの調整

セパレーターベーンの調整では、手動による機械調整が必要になる場合があります。これらの調整は、性能の最適化アプリケーションがプロセスの次のステップに自動で進むために必要です。

セパレーターベーンの調整：



H131006—UN—29JUL20

セパレーターベーンの調整

性能の最適化で、セパレーターベーンの調整が推奨されます。

H127027—UN—26SEP19

次へ

セパレーターベーンの調整を承認する場合に選択します。

H131004—UN—29JUL20

セパレータ接続の解除が必要

性能の最適化で、セパレータの接続を解除するように求められます。

注記： セパレータがすでに解除されている場合は、性能の最適化でこの手順が省略され、セパレーターベーンが自動的に調整されます。

H125181—UN—01FEB19

解決策を適用中

性能の最適化で、セパレーターベーンの調整が行われます。調整が完了すると、性能の最適化にメッセージが表示され、空の問題選択ページに戻ります。

H127028—UN—26SEP19

戻る

別の推奨事項を選択する場合に選択して、解決策リストに戻ります。

H126962—UN—26SEP19

停止

すべての問題を消去する場合に選択します。

H116310—UN—30JAN17

閉じる

性能の最適化アプリケーションを閉じる場合に選択します。

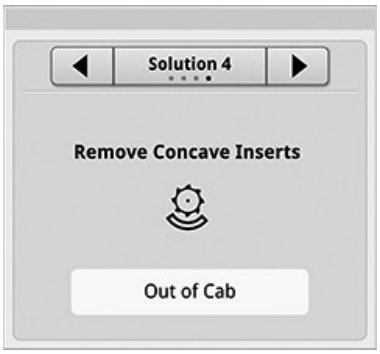
注記： 性能の最適化アプリケーションは、閉じた後に再度入ると、閉じたときと同じ場所で再開されます。

PR79369,00004A7-40-01MAR21

キャブ外調整

キャブ外調整はキャブ外で実行する機械の最適化調整です。

キャブ外調整：



H125598—UN—01FEB19

コンケーブインサートを取り外す

キャブ外調整を実行するには、取扱説明書を参照してください。

重要： 推奨されている調整を行う前に、機械を停止してください。

H127027—UN—26SEP19

次へ

キャブ外調整を受け付ける場合に選択します。

H125599—UN—01FEB19

オペレータの操作を待機中

H116316—UN—25JAN17

メッセージ

注記： 要件が満たされていない場合、アイコンが表示されます。

H125188—UN—01FEB19

手のアイコン

注記： キャブ外調整が必要な場合は、手のアイコンとして表示されます。

H125600—UN—01FEB19

オペレータの操作を待機中

H116336—UN—30JAN17

緑のチェックマーク

注記： 前提条件を満たしている場合は、チェックマークが元のアイコンに置き換わります。

H125601—UN—01FEB19

調整完了済み

H125586—UN—01FEB19

完了

「完了」を選択して、調整が実行されたことを確認します。

H127028—UN—26SEP19

戻る

別の推奨事項を選択するには、選択して解決策に戻ります。

H126962—UN—26SEP19

停止

すべての問題を消去する場合に選択します。

注記： 機械をオフにすると、機械をオンに戻したときに "最適化完了" が表示されます。機械は調整が完了したと見なします。"OK" を選択してウィンドウを閉じます。"性能の最適化" を選択して、性能の最適化アプリケーションに戻ります。

H116310—UN—30JAN17

閉じる

性能最適化アプリケーションを閉じる場合に選択します。

注記： 性能の最適化アプリケーションは、閉じた後に開くと、閉じたときと同じ場所で再開されます。

PR79369,00004A8-40-01MAR21

Auto Maintain 設定

Auto Maintain | 設定では、グレンロス、破損グレン、異物に対する応答の感応性と感度レベルを設定できます。Auto Maintain にアクセスするには、ON/OFF ボタンの右側の画面領域を選択します。

Auto Maintain | 設定ページでアクセスできる項目：

指示 — 感応度と感度がシステムに与える影響の度合いについて説明します。

H126152—UN—21NOV19

目標取得

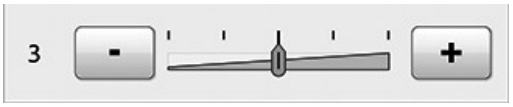
目標取得プロセス — この状態は、システムが ON で、目標取得プロセスの場合に表示されます。

注記： 性能目標の取得は常に有効です。システムはいつでも HarvestSmart™ または Auto Maintain の目標値を設定できるようになっています。

H114663—UN—05JAN17

メッセージ

システム故障 — システムに 1 つ以上の重大な故障が存在する場合にこの状態が表示されます。



H125211—UN—05FEB19

応答の感度

応答の感応度— 問題が存在するときに Auto Maintain で調整する頻度を制御します。

H125212—UN—05FEB19

グレンロス感度

グレンロス感度— 問題を検出するために Auto Maintain に必要なグレンロスの変化量。

H125213—UN—05FEB19

破損グレン感度

破損グレン感度 — 問題を検出するために Auto Maintain に必要な破損グレンの変化量。

H125214—UN—05FEB19

異物感度

異物感度 — 問題を検出するために Auto Maintain に必要な異物の変化量。

PR79369,00004A9-40-01MAR21

応答の感応度

応答の感応度では、問題が存在するときに Auto Maintain で機械を調整する頻度を制御します。

設定 1— 最小

設定 2— 低下

設定 3— 既定

設定 4— 増加

設定 5— 最大

以下の場合に変更を行います：

以下の場合は増やします。

Auto Maintain が、見つかった問題を解決できる程度に十分調整を行っていない場合。

以下の場合は減らします。

Auto Maintainが、見つかった問題を解決する調整を頻繁に行っている場合。

変更手順：

H119857—UN—30JAN17

感応度

(+) / (-) ボタンを選択して増減します。

PR79369,00004AA-40-01MAR21

グレンロス感度

Grain Loss (グレンロス) | Sensitivity (感度) では、自動変更の実行前にシステムがグレンロスを認識する早さを制御します。

設定 1 — 最小

設定 2— 低下

設定 3— 既定

設定 4— 増加

設定 5— 最大

以下の場合に変更を行います：

以下の場合は増やします。

シューロスやセパレータロスがあり、Auto Maintain で問題が検出されていない場合。

以下の場合は減らします。

Auto Maintain でシューロスやセパレータロスの問題が検出されていて、その部分の性能がまだ受け入れられる場合。

変更手順：

H119857—UN—30JAN17

感度

(+) / (-) ボタンを選択して増減します。

PR79369,00004AB-40-01MAR21

破損グレン感度

Broken Grain (破損グレン) | Sensitivity (感度) では、システムが破損グレンを認識する早さを制御します。

設定 1 — 最小

設定 2— 低下

設定 3— 既定

設定 4— 増加

設定 5— 最大

以下の場合に変更を行います：

以下の場合は増やします。

グレンタンク内に受け入れられない量の破損グレンがあり、Auto Maintain で問題が検出されていない場合。

以下の場合は減らします。

Auto Maintain で破損グレンの問題が検出されていて、その部分の性能がまだ受け入れられる場合。

変更手順：

H119857—UN—30JAN17

感度

(+) / (-) ボタンを選択して増減します。

PR79369,00004AC-40-01MAR21

異物感度

Foreign Material (異物) | Sensitivity (感度) では、システムが異物を認識する早さを制御します。

設定 1 — 最小

設定 2— 低下

設定 3— 既定

設定 4— 増加

設定 5— 最大

以下の場合に変更を行います：

以下の場合は増やします。

次の 1 つ以上の許容できない量が表示され、Auto Maintain で問題が検出されていない場合。

- 軽い異物 (もみ殻、葉の小片、外皮)。
- 重い異物 (穂軸、大きな葉、細枝、茎)。
- グレンタンクの未脱穀グレン。

以下の場合は減らします。

Auto Maintain で以下の 1 つ以上の項目が検出されていて、その部分の性能がまだ受け入れられる場合。

- 軽い異物 (もみ殻、葉の小片、外皮)。
- 重い異物 (穂軸、大きな葉、細枝、茎)。
- グレンタンクの未脱穀グレン。

変更手順：

H119857—UN—30JAN17

感度

(+) / (-) ボタンを選択して増減します。

PR79369,00004AD-40-01MAR21

コンバインの概要

注記： アンダーラインで強調されているテキストは、追加の情報をこのセクション内またはこのマニュアルの別のセクションで利用できることを示しています。

「コンバインの概要」では、キャブ内にあるコントロールと機能について説明します。これらの項目について理解しておくと、機械を正しく操作することができ、操作中の快適性と操作体験を向上させるのに役立ちます。

注記： 下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

「コンバインの概要」ページでアクセスできる項目：

H118294—UN—22DEC16

フロントコンソール

フロントコンソール — オペレータの前方、ステアリングホイールの近くにあります。

H118296—UN—22DEC16

コーナーポストディスプレイ — 右前のコーナーポストにあります。

H118301—UN—22DEC16

CommandARM™

CommandARM™ コンソールとディスプレイ — シートの右側に取り付けられている、本機の操作用スイッチです。

H118300—UN—22DEC16

多機能レバー

多機能レバー — CommandARM™ にある多機能レバーの項目。

H118299—UN—22DEC16

ナビゲーションバー

CommandARM は Deere & Company の商標です。

ナビゲーションバー — モニターの下にあるナビゲーションバーの項目です。

H118302—UN—22DEC16

キャブ右側の項目

キャブ右側の項目 — 右側フェンダー、ウィンドウ近くにある、情報入力用と補機装置への電源供給用のコネクタおよびポートです。

H118303—UN—22DEC16

キャブ右側の項目

左側キャブの項目— フロントコンソールの左側にあります。

H118297—UN—22DEC16

オーバーヘッドコントロール

オーバーヘッドコントロール— 頭上のヘッドライナーにある項目です。

H118295—UN—22DEC16

シートコントロール

シートコントロール — シートを調整し、オペレータの操作時の快適性を向上させます。

PR79369,00003E4-40-08MAR21

フロントコンソール

注記： 下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

キースイッチ

ステアリングホイールの調整

ライトの操作

方向指示灯、ホーン、ハイ / ロービームの操作

フロントガラスワイパー / ウォッシャーの操作

エーテルインジェクションの操作 (装備されている場合)

H121072—UN—18MAY17

フットレスト

フットレスト — 必要に応じて、足をフットレストの上に置いて、疲れを軽減し、快適性を向上させます。

PR79369,00003E5-40-08MAR21

コーナーポストディスプレイ

注記： 下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

H117815—UN—28MAR16

左折表示灯

左折表示灯 — 左方向指示灯が作動中であることを示します。右折と左折の表示灯が同時に作動している場合、警告灯が作動していることを示します。

H117819—UN—28MAR16

操作中止

停止操作 (赤) — 点灯した場合、すぐに機械を停止し、問題を解決する必要があることを示します。問題が解決するまで、診断トラブルコードがアームレストのディスプレイに表示されます。

H117817—UN—28MAR16

オペレータアラート

オペレータアラート (黄) — 機械に問題がある場合に、点灯して点滅します。機械をできるだけ早く停止する必要があります。診断トラブルコードがアームレストのディスプレイに表示されます。

H117818—UN—28MAR16

情報警報

情報アラート (青色) — 診断トラブルコードがアクティブの場合に、点灯して点滅します。状態を確認するようにオペレータに警告します。アラートを確認すると、モニターのメッセージが消えます。

H117816—UN—28MAR16

右折表示灯

右折表示灯 — 右折方向指示灯が作動中であることを示します。右折と左折の表示灯が同時に作動している場合、警告灯が作動していることを示します。

H117820—UN—28MAR16

トレーラーライト表示灯

トレーラーライト表示灯 — トレーラーハーネスが接続された場合、方向指示器とブレーキが作動したときにライトが点灯します。

H117807—UN—28MAR16

ハイビームインジケーター

ハイビームインジケーター — ハイビーム灯が点くと点灯します。

H113811—UN—04JAN17

排ガスフィルタクリーニング表示灯

排気フィルタクリーニング表示灯 — 排気フィルタシステムで排気フィルタクリーニングが行われているときに点灯します。

H117822—UN—22DEC16

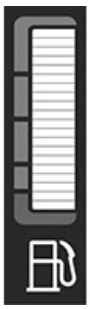
エンジン出力計インジケーター

エンジン出力計インジケーター — エンジンが所定の時間に使用している出力の割合を示します。

H117823—UN—22DEC16

エンジン温度計

エンジン温度インジケーター — エンジンの温度を表示します。緑の領域は通常使用温度を示し、赤の領域はオーバーヒート状態を示します。



H117824—UN—22DEC16

燃料計インジケーター

燃料レベルインジケーター— 燃料タンクに残っている燃料の量を表示します。

H118085—UN—22DEC16

排ガス処理用尿素水 *(DEF)* レベルインジケーター

排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルインジケーター— タンクに残っているフルードの量を表示します。

H117826—UN—22DEC16

トランスミッションギヤ / レンジインジケーター

トランスミッションギヤまたはレンジインジケーター、3 速押しボタンシフトトランスミッション (PBST) の機械 — 1、2、または 3 が点灯して、現在選択しているギヤを表示します。

H118558—UN—22DEC16

トランスミッションギヤ / レンジインジケーター

トランスミッションギヤまたはレンジインジケーター、2 速 ProDrive™ の機械 — 1 または 2 が点灯して、現在選択しているギヤを表示します。

H117827—UN—28MAR16

駐車ブレーキ表示灯

駐車ブレーキ表示灯 — 駐車ブレーキが作動すると、点灯します。

H117828—UN—28MAR16

ニュートラル表示灯

ニュートラル表示灯 — ニュートラル位置を選択すると、点灯します。

H126457—UN—10JUN19

エンジン回転数インジケーター

エンジン回転数インジケーター — エンジンの回転数 (rpm) を表示します。

H126458—UN—10JUN19

車両速度インジケーター

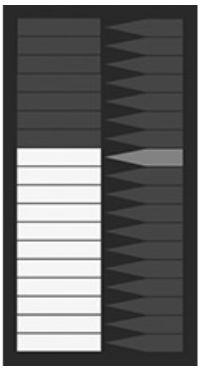
車両速度インジケーター — 機械の速度 (km/h または mph) を表示します。

H116357—UN—22DEC16

ヘッダー高さ数値表示

ヘッダー高さ数値表示 — 地面を走行しているときに、選択した単位に応じて psi または bar が点灯します。地上高検出をオフにすると、数値はセンサーフィード

バックに応じて変動します。また、psi も bar も点灯しません。



H116356—UN—20DEC16

ヘッダー高さ表示

ヘッダー高さ表示 — 緑色の矢印は設定点です。白色のバーは現在位置を表しています。

H116354—UN—19DEC16

ヘッダー起動番号

ヘッダー起動番号 — 現在選択している起動ボタンが表示されます。

H116362—UN—19DEC16

デッキプレート位置復帰

デッキプレート位置復帰 — デッキプレート位置復帰が有効な場合に点灯します。

H116360—UN—19DEC16

自動リール回転数

自動リール回転数 — 自動リール回転数が有効なときに点灯します。

H116361—UN—19DEC16

リール復帰

リール復帰 — リール復帰が有効な場合に点灯します。

H116353—UN—19DEC16

ヘッダー高さ復帰

ヘッダー高さ復帰 — ヘッダー高さ復帰が有効な場合に点灯します。

H116358—UN—19DEC16

ヘッダー高さ検出

ヘッダー高さ検出 — ヘッダー高さ検出が有効な場合に点灯します。

H117843—UN—22JUN17

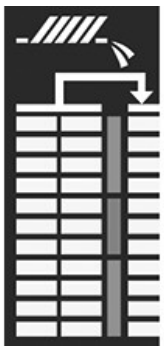
アクティブヘッダーフロート

アクティブヘッダーフロート —アクティブヘッダーフロートが有効な場合に点灯します。

H116359—UN—19DEC16

横方向傾斜表示

横方向傾斜ディスプレイ — フィーダーハウスフレームの位置を表示します。

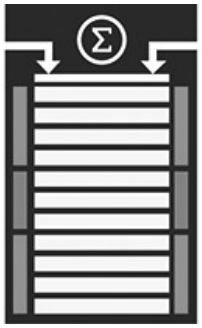


H117835—UN—22DEC16

シューロス表示

シューロスインジケーター — シューからのグレンロスを表示します。

注記： シューロスインジケーターは、VisionTrak™ システムの一部です。

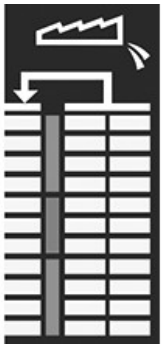


H117836—UN—22DEC16

合計ロスインジケーター

合計ロスインジケーター — シューからのロスとセパレータからのロスを組み合わせたグレンロスを示します。

注記： 合計ロスインジケーターは VisionTrak™ システムの一部です。

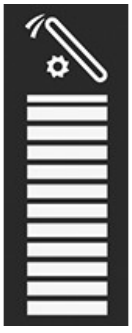


H117837—UN—22DEC16

セパレータロスインジケーター

セパレータロスインジケーター — セパレータ部分からのグレンロスを示します。

注記： セパレータロスインジケーターは、VisionTrak™ システムの一部です。



H117838—UN—22DEC16

2 番還元物量インジケーター

2 番還元物量インジケーター — 2 番還元物の量を示します。

注記： 2 番還元物量インジケーターは、VisionTrak™ システムの一部です。

PR79369,00003E6-40-08MAR21

CommandARM™ コンソールとディスプレイ

注記： 下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

収穫コントロール— クリーニングファン、脱穀隙間、セパレータ回転数、およびその他の収穫機能用のコントロールです。

HVAC — 温度、ファン回転速度、キャブ内側のエアフローモードの調整、外気温の表示を行う場合に選択します。

エンジンおよびグラウンド走行 — エンジン回転数、駐車ブレーキ、およびグラウンド走行用のコントロールです。

ライト— 構成可能なライトのプリセットにアクセスする場合に選択します。

コンソールとディスプレイ — コンソールとディスプレイを調整する場合に選択します。

ラジオ — 構成可能なラジオのプリセットにアクセスする場合に選択します。

CommandARM は Deere & Company の商標です。

PR79369,00003E7-40-08MAR21

多機能レバー

注記： 下記の一部の項目は、関連するオプションが本機に装備されている場合のみ表示されます。

H126543—UN—20JUN19

動き

動き— 多機能レバーを前方に押して機械を前進させ、

後方に引いて機械を後進させて、中間位置に入れて機械をニュートラル状態にします。

H117033—UN—15APR16
クイックストップスイッチ

クイックストップスイッチ — 緊急時に、複数のシステムを同時に停止できます。セパレータの接続時にこのボタンを押すと、本機はクイックコントロール停止状態になります。

H117003—UN—22DEC16
アンローディングオーガスイッチ

アンローディングオーガ旋回スイッチ— 手動または自動でアンローディングオーガを内側または外側に旋回させることができます。

H123658—UN—02MAR18
アンローディングオーガドライブスイッチ

アンローディングオーガドライブスイッチ — アンローディングオーガと表示灯を ON または OFF にすることができます。

H117006—UN—28MAR16
プログラム可能なボタン

プログラマブルボタン — 機械のオプションとヘッダータイプに応じて、ボタンに異なる機能をプログラムできます。(詳しくは、ヘルプ画面の「コントロールセットアップアプリケーション」を参照してください。)

H117005—UN—15APR16
AutoTrac™ 再開ボタン

AutoTrac™ 再開ボタン — AutoTrac™ システムを起動できます。

AutoTrac™

H116348—UN—19DEC16
ヘッダー上昇 / 下降スイッチ

ヘッダー昇降チルトスイッチ — ヘッダーの昇降とフィーダーハウスの傾斜が可能です。

H116349—UN—19DEC16
リール上昇 / 下降、リール前後位置

リール上昇 / 下降、リール前後位置 (装備されている場合) スイッチ— リールの位置を制御できます。

H116349—UN—19DEC16
フィーダーハウスバックシャフト回転速度、調整式コーンヘッドデッキプレート

フィーダーハウスバックシャフト回転速度、調整式コーンヘッドデッキプレートスイッチ (装備されている場合)— フィーダーハウスバックシャフト回転速度または調整式コーンヘッドデッキプレートを制御できます。

H116346—UN—19DEC16
ヘッダー起動ボタン

ヘッダー起動ボタン — 3 つのボタンのいずれかを押して複数の自動ヘッダー制御システムを起動できます。

PR79369,00003E8-40-08MAR21

AutoTrac は Deere & Company

ナビゲーションバー

H117902—UN—29MAR16

ダイヤル

調整ダイヤル — 調整ダイヤルを回し、選択した入力フィールドを増減します。調整ホイールの中央にあるボタンは「Close (閉じる)」ボタンです。このボタンを押すと、CommandCenter™ のページが閉じます。

CommandCenter は Deere & Company の商標です。

H117903—UN—29MAR16

ホームページスクロール

ホームページスクロール — 押して、カスタム実行をスクロールします。

H117904—UN—22JAN20

ヘッダー

ヘッダー — これを押すと、ヘッダーアプリケーションが開きます。

H117905—UN—29MAR16

収穫設定

収穫設定 — これを押すと、収穫設定アプリケーションが開きます。

H117906—UN—29MAR16

エンジン — これを押すと、エンジンアプリケーションが開きます。

H117907—UN—29MAR16

グレン処理

グレン処理 — これを押すと、グレン処理アプリケーションが開きます。

H117908—UN—29MAR16

残留物管理

残留物管理 — これを押すと、残留物管理アプリケーションが開きます。

H117909—UN—29MAR16

折りたたみ

折りたたみ — これを押すと、折りたたみアプリケーションが開きます。

H117910—UN—29MAR16

作業モニター

作業モニター — これを押すと、作業モニターアプリケーションが開きます。

H117911—UN—29MAR16

コントロールのセットアップ

コントロールのセットアップ — これを押すと、コントロールのセットアップアプリケーションが開きます。

H117912—UN—29MAR16

HVAC

HVAC — これを押すと、HVAC アプリケーションが開きます。

H117913—UN—29MAR16

ライト

ライト — これを押すと、ライトアプリケーションが開きます。

H117914—UN—29MAR16

オーディオ

オーディオ — これを押すと、オーディオアプリケーションが開きます。

H117915—UN—29MAR16

電話

電話 — これを押すと、電話アプリケーションが開きます。

H117916—UN—29MAR16

ビデオ

ビデオ — これを押すと、ビデオアプリケーションが開きます。

PR79369,00003E9-40-08MAR21

キャブ右側の項目

N128645—UN—15FEB17

補助コンセント

補助コンセント — 付属品の接続 (12 V) に使用します。

N122943—UN—02MAY16

USB ポート

USB コネクタ — USB フラッシュドライブへの情報の書き出し、ディスプレイへの情報の読み込み、ディスプレイのプログラミングに使用します。

N122944—UN—05MAY16

補助 *(AUX)* 入力

補助 (AUX) 入力 — ラジオで当該モードを選択した場合にラジオの補助入力源から音楽を再生するために使用されます。

N122945—UN—05MAY16

USB 入力

USB 入力 — ラジオで当該モードを選択した場合にラジオの USB 入力源から音楽を再生するために使用されます。

H121337—UN—18MAY17

2630 イーサネット入力

2630 イーサネット — 2630 ディスプレイをセカンダリモニターとして接続するために使用します。

H121338—UN—18MAY17

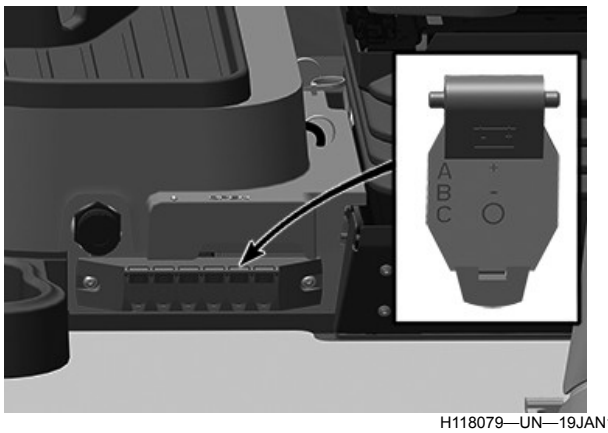
4600 拡張モニタポート

4600 後付けモニターポート — 4600 後付けモニターをセカンダリモニター用に接続するために使用されます。

H121339—UN—18MAY17

補助ディスプレイコネクタ

補助ディスプレイコネクタ — 補助装置の接続に使用します。



H118079—UN—19JAN17

補助電源コンセント

補助電源コンセント — 右ウィンドウ後部下側に 6 個の追加のコンセントを付属しています。これらのコンセントは切替時供給電源および常時供給電源を提供します。

注記： 最大結合消費電流は切替時供給電源で 20 A、常時供給電源で 30 A です。

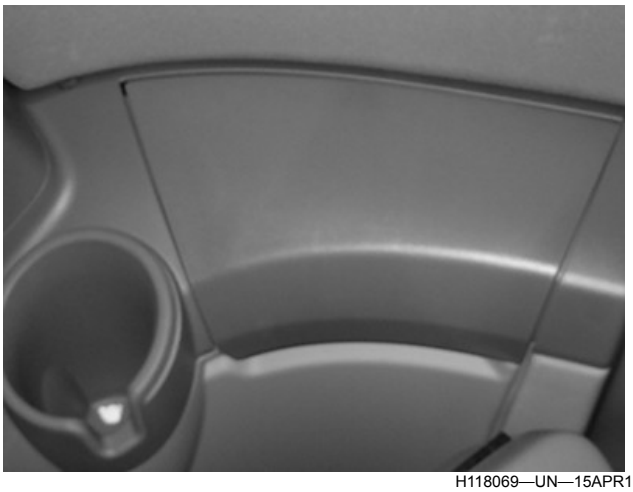
- スペード形端子 (A) は常時直流プラス電源です。
- スペード型端子 (B) はアースです。
- スペード形端子 (C) は補助電源 (キースイッチ ON 時) です。

H121414—UN—18MAY17

非常出口

非常出口 — 緊急時に本機から脱出できます。

- 引き下げると、緊急脱出用器具を取り外せます。
- ドアが開かない場合は、ハンマーでウィンドウを割ってキャブから出てください。
- シートベルトのバックルが外れない場合は、ハンドルのナイフを使用してください。



H118069—UN—15APR16

マニュアルの保管場所

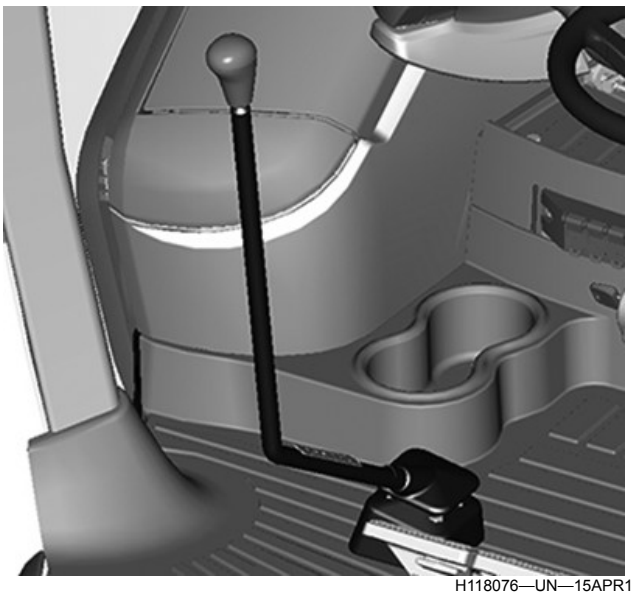
マニュアルの保管場所 — キャブ後側の壁に沿って配置されている取扱説明書の収納ボックスです。

H118068—UN—15APR16

ブレーキペダル

ブレーキペダル — 機械を停止できます。

圃場で使用する場合はブレーキペダルのロックを解除したままにし、輸送時はブレーキペダルを互いにロックしてください。



H118076—UN—15APR16

ギヤシフトレバー

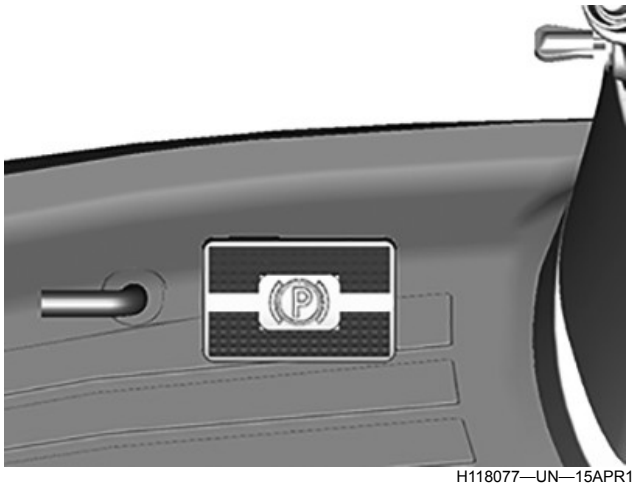
ギヤシフト レバー (装備されている場合) — ギヤを手動でシフトできます。

重要： **ギヤをシフトする前に、機械を停止して多機能レバーをニュートラルに入れてください。**

ギヤシフトレバーをシフトするときのシフトパターンは 1、2、3 のデテント位置と一致します。1 速と 2 速の間のニュートラルでは抵抗が少なく感じられます。

PR79369,00003EA-40-08MAR21

キャブ左側の項目



H118077—UN—15APR16

手動駐車ブレーキ

手動駐車ブレーキ (装備されている場合) — 駐車ブレーキを手動で設定できます。

重要： **この機械は、手動による作動と解除が可能な駐車ブレーキペダルを装備しています。エンジンを停止して機械から離れる前に、またはエンジン運転中で機械を駐車しているときは、駐車ブレーキをかけてください。**

右側のペダルを踏み込んで駐車ブレーキをかけ、左側のペダルで解除します。

H118074—UN—15APR16

冷蔵庫

冷蔵庫 (装備されている場合) — 日中に飲食物を冷蔵する設備です。

注記： 冷蔵庫はキースイッチを RUN 位置にしている場合のみ作動します。食べ物や飲み物を冷やすには、補助コンセントに差し込んでいる必要があります。

シートクッションを上げて冷蔵庫の上部カバーを開きます。シートクッションを上げないで冷蔵庫の前面カバーを開くこともできます。

温度コントロールダイヤルを時計回りに回して温度を下げるか、反時計回りに回して温度を上げます。

PR79369,00003EB-40-08MAR21

オーバーヘッドコントロール

H118064—UN—22DEC16

マイク

マイク (オプション) — Bluetooth® 対応携帯電話でハンズフリー通話できます。(Bluetooth™ が有効になっている必要があります)。

注記： キースイッチを「運転」位置にする必要があります。

H118065—UN—22DEC16

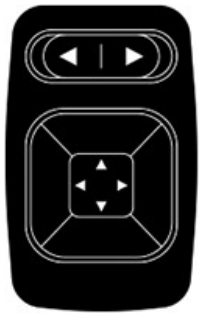
ミラーヒーターボタン

ミラーヒーターボタン — ミラーヒーターを起動して、氷や曇りを除去します。

- スイッチの上部を押してミラーヒーターを起動します。
- スイッチの下部を押してミラーヒーターを解除します。

注記： キースイッチを「運転」位置にする必要があります。

Bluetooth は Bluetooth SIG の商標です。



H118066—UN—15APR16

ミラーコントロールボタン

ミラーコントロールボタン — 左右のキャブミラーを選択して調整できます。

- 上部のボタンで調整するミラーを選択します。
- 下部のボタンで、選択したミラーを上下または左右に動かせます。ミラーを動かしたい方向にボタンを動かします。

注記： キースイッチを「運転」位置にする必要があります。

PR79369,00003EC-40-08MAR21

シートコントロール

ComfortCommand™ オペレータシート (ベーシックシート)

ComfortCommand™ 運転席 (プレミアムクロスシート)

ComfortCommand™ 運転席 (アルティメットレザーシート)

シートベルト

教習シート

ComfortCommand は Deere & Company の商標です。

PR79369,00003ED-40-08MAR21

キースイッチ

注意： エンジンを始動する前にホーンを鳴らして、機械から離れるように他の人に警告します。

けがや死亡事故が発生しないように、運転席からエンジンを始動してください。エンジン始動のためにスタータ端子間を短絡させないでください。通常の回路がバイパスされると、本機はギヤが入った状態で始動します。

H118582—UN—22DEC16

キースイッチ

キースイッチはステアリングコラムの右側にあり、次の 4 つの位置に切り替えできます。

H117799—UN—15APR16

付属品

付属品 — エンジンを作動させずに、ラジオやフロントガラスワイパーなどの付属品を作動させることができます。

H117800—UN—28MAR16

停止

停止 — エンジンとすべての付属品の機能を停止します。

H117801—UN—28MAR16

運転

運転 — 始動後に、すべてのアクセサリとエンジンを作動させることができます。

H117802—UN—28MAR16

始動

始動 — エンジンをクランキングする一時的なスイッチ位置です。エンジン始動後にスイッチを放すと、運転位置に戻ります。

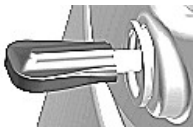
PR79369,00003EE-40-08MAR21

ステアリングホイールの調整

H117796—UN—28MAR16

テレスコープ

テレスコープ — ノブを反時計回りに回すと、ロックが解除されます。ステアリングホイールを必要な位置に伸縮させます。ロックするにはノブを時計回りに回します。



H117797—UN—28MAR16

チルト

チルト — レバーを引き上げ、ステアリングコラムを必要な位置に動かします。ロックするにはレバーから手を放します。

H117798—UN—28MAR16

メモリ

メモリ — キャブの床にあるフットペダルを踏み込むと、ステアリングコラムが上に動いて、出入りが容易になります。フットペダルを踏み込んでハンドルを引き下げると、ハンドルコラムは前の位置に戻ります。

PR79369,00003EF-40-08MAR21

ライトの操作

⚠ 注意： 他の車両と衝突すると、重傷事故や死亡事故を招くおそれがあります。道路上で機械を運転するときは、必ず交通法規に従ってください。対向車両に対してはヘッドライトをロービームに減光してください。 他の運転者を混乱させないようにするために、公道での輸送時は作業灯を点灯しないでください。

H117803—UN—28MAR16

スイッチ

スイッチ — ライトの作動モードを選択します。

H117809—UN—28MAR16

OFF

OFF — 選択すると、すべての外部ライトが消灯します。

注記： 警告灯スイッチを ON にすると、警告灯が点灯したままになります。

H119796—UN—07JUN18

パーキングランプ

パーキングランプ - 選択すると、クリアランスライトが点灯します。

H117808—UN—28MAR16

道路ライト

道路ライト — 選択すると、ヘッドライトとクリアランスライトが点灯します。

N123280—UN—16MAY16

作業灯

作業灯 — 選択すると、プリセットした条件で作業灯が点灯します。

PR79369,00003F0-40-08MAR21

方向指示器、ホーン、ハイ / ロービームの操作

H117803—UN—28MAR16

方向指示器

方向指示灯— 右旋回ではレバーを上に押し、左旋回ではレバーを下に押します。右折 / 左折完了後はレバーを中央位置に戻してください。

H117804—UN—28MAR16

右折

右折 — 右折するときはレバーを押し上げます。

H117805—UN—28MAR16

左折

左折 — 左折するときはレバーを引き下げます。

H117806—UN—28MAR16

ホーン

ホーン — レバーの端を内側に押すと、ホーンが作動します。

H117048—UN—22DEC16

ハイビーム

ハイビーム — レバーを前方に押すとハイビームヘッドライトが作動します。レバーを手前に引いて放すと、ハイビームが点滅します。

H117808—UN—28MAR16

ロービーム

ロービーム — レバーを引いて中央位置に入れるとロービームが作動します。

H117886—UN—29MAR16

作業灯プリセット *1*

作業灯プリセット 1 — 押すと、作業灯プリセット 1 が選択されます。

H117887—UN—29MAR16

作業灯プリセット *2*

作業灯プリセット 2 — 押すと、作業灯プリセット 2 が選択されます。

PR79369,00003F1-40-08MAR21

フロントガラスワイパー / ウォッシャーの操作

注記： ウォッシャーリザーバーに不凍液を注入し、低温時のウォッシャーシステムの損傷を防止してください。

H117803—UN—28MAR16

スイッチ

スイッチ — 回すと希望する速さでワイパーが作動します。

H117809—UN—28MAR16

OFF

OFF — ワイパーを停止します。

H117810—UN—28MAR16

間欠

間欠 — ワイパーを間欠作動させる場合に選択します。

H117811—UN—28MAR16

フロントガラスウォッシャー

フロントガラスウォッシャー — 押すと、フロントガラスウォッシャーが作動します。

H117812—UN—28MAR16

ワイパー *ON*

ワイパー ON — 選択すると、フロントガラスワイパーが作動します。

PR79369,00003F2-40-08MAR21

エーテルインジェクションの操作 (装備されている場合)

H121070—UN—18MAY17

エーテルインジェクション

エーテルインジェクション — エンジンクランキング中に押して、寒冷時の始動を補助します。エンジンが始動したら、ボタンを放します。

注意： **けがやエンジンの損傷を回避してください。フルードの噴射は、エンジンが回転しているときのみ行ってください。**

重要： **適切な潤滑のためには、エンジンを低回転数で、無負荷で 1 ~ 2 分間運転してください。凍結温度よりも低い温度で運転している場合は、この時間を 2 ~ 4 分に延ばしてください。**

PR79369,00003F3-40-08MAR21

ComfortCommand™ 運転席 (ベーシックシート)

H117034—UN—28MAR16

前後位置調整ハンドル

前後位置調整ハンドル — ハンドルを引き上げ、最適な作業位置までシートを前後にスライドさせます。

H117035—UN—28MAR16

垂直衝撃吸収コントロール

垂直衝撃吸収コントロール — シートサスペンションで生じる上向きの動きの量を制限します。コントロールを前に押すと柔らかい乗り心地になり、ハンドルを後に引くと硬い乗り心地になります。これら 2 つの位置の間にすると、中程度の硬さが得られます。

H117861—UN—28MAR16

体重 / 身長調整ハンドル

体重 / 身長調整ハンドル — ハンドルを引き上げるとシートが上がり、押し下げるとシートが下がります。体重 / 身長インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整してください。

H117037—UN—28MAR16

体重 / 身長インジケーター

体重 / 身長インジケーター — 体重 / 身長調整ハンドルで、インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整します。

H117036—UN—28MAR16

前後位置調整ハンドル

前後分離調整ハンドル — ハンドルを引き上げ、前後の移動をロックします。解除するにはハンドルを押し下げます。

H117042—UN—28MAR16

アームレスト高さ調整

アームレスト高さ調整 — 丸形キャップを取り外し、ナットを緩めて、左側のアームレストを必要な位置に調整します。

H117041—UN—28MAR16
背もたれ角度調整ハンドル

背もたれ角度調整ハンドル — 背もたれの角度を調整します。ハンドルを引き上げて背もたれを必要な位置に調整し、ハンドルを放します。

H121071—UN—18MAY17
シート回転用ハンドル

シート回転ハンドル — ハンドルを持ち上げるとシートを回転できます。シートを所定の位置に固定するにはハンドルを押し下げてください。

PR79369,00003F4-40-08MAR21

ComfortCommand™ 運転席 (プレミアムクロスシート)

H117034—UN—28MAR16
前後位置調整ハンドル

前後位置調整ハンドル — ハンドルを引き上げ、最適な作業位置までシートを前後にスライドさせます。

H117035—UN—28MAR16
垂直衝撃吸収コントロール

垂直衝撃吸収コントロール — シートサスペンションで生じる上向きの動きの量を制限します。コントロールを前に押すと柔らかい乗り心地になり、ハンドルを後に引くと硬い乗り心地になります。これら 2 つの位置の間にすると、中程度の硬さが得られます。

H117861—UN—28MAR16
体重 / 身長調整ハンドル

体重 / 身長調整ハンドル — ハンドルを引き上げるとシートが上がり、押し下げるとシートが下がります。体重 / 身長インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整してください。

H117037—UN—28MAR16
体重 / 身長インジケーター

体重 / 身長インジケーター — 体重 / 身長調整ハンドルで、インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整します。

H117039—UN—28MAR16
シートクッション奥行調整ハンドル

シート座部深さ調整ハンドル — ハンドルを押し、最適な作業位置までシート座部を前後に移動させます。

H117038—UN—28MAR16
シートクッション角度調整ハンドル

シート座部角度調整ハンドル — ハンドルを押し、最適な作業位置までシートのクッションを上下させます。

H117036—UN—28MAR16
前後位置調整ハンドル

前後分離調整ハンドル — ハンドルを引き上げ、前後の移動をロックします。解除するにはハンドルを押し下げます。

H117040—UN—28MAR16
横方向分離調整ハンドル

横方向分離調整ハンドル — ハンドルを前に押し、横方向に移動させます。ロックするには、ハンドルを後に引きます。

H117043—UN—28MAR16
アームレスト角度調整ノブ

アームレスト角度調整ノブ — アームレストを上下に調

整します。ノブを時計回りに回すとアームレストが下がり、反時計回りに回すと上がります。

H117042—UN—28MAR16

アームレスト高さ調整

アームレスト高さ調整 — 丸形キャップを取り外し、ナットを緩めて、左側のアームレストを必要な位置に調整します。

H117041—UN—28MAR16

背もたれ角度調整ハンドル

背もたれ角度調整ハンドル — 背もたれの角度を調整します。ハンドルを引き上げて背もたれを必要な位置に調整し、ハンドルを放します。

H121071—UN—18MAY17

シート回転用ハンドル

シート回転ハンドル — ハンドルを持ち上げるとシートを回転できます。シートを所定の位置に固定するにはハンドルを押し下げてください。

H117044—UN—28MAR16

シートヒーター / ベンチレーションシート

シートヒーター / ベンチレーションシート— スイッチの上部を押すと、シートヒーターが ON になります。スイッチの下部を押すと、シートベンチレーションが ON になります。スイッチを中間位置にしてシートヒーターとシートベンチレーションを OFF にします。

注意： **シートヒーターの過熱によりやけどやシートの損傷が発生することがあります。やけどの危険を減らすため、長時間延長してシートヒーターを使用する場合、特にオペレータが温度変化や肌の痛みを感じることができない場合に注意喚起を行うようにしてください。シートに毛布やクッション、カバー、または類似のものを置かないようにしてください。シートヒーターが過熱することがあります。**

H117045—UN—28MAR16

上部ランバーサポート

上部ランバーサポート — 上側のスイッチをプラス (+) 記号側に押して、上部ランバーサポートの曲率を増やします。上側のスイッチをマイナス (-) 記号側に押して、上部ランバーサポートの曲率を減らします。

H117046—UN—28MAR16

下部ランバーサポート

下部ランバーサポート — 下側のスイッチをプラス (+) 記号側に押して、下部ランバーサポートの曲率を増やします。下側のスイッチをマイナス (-) 記号側に押して、下部ランバーサポートの曲率を減らします。

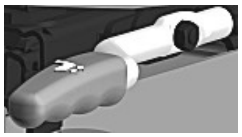
H117047—UN—28MAR16

アームレストコントロールコンソール

CommandARM™ コントロールコンソール — ノブを緩め、外側プレートのスロットで CommandARM™ コントロールコンソールを上 / 前または下 / 後にスライドさせます。ノブを締め付けます。

PR79369,00003F5-40-08MAR21

ComfortCommand™ 運転席 (アルティメットレザーシート)



H117034—UN—28MAR16

前後位置調整ハンドル

前後位置調整ハンドル — ハンドルを引き上げ、最適な作業位置までシートを前後にスライドさせます。

H117035—UN—28MAR16

垂直衝撃吸収コントロール

垂直衝撃吸収コントロール — シートサスペンションで生じる上向きの動きの量を制限します。コントロールを前に押すと柔らかい乗り心地になり、ハンドルを後に引くと硬い乗り心地になります。これら 2 つの位置の間にすると、中程度の硬さが得られます。

H119780—UN—07JUN18

体重 / 身長調整スイッチ

体重/身長調整スイッチ — スイッチの上部を押すとシートが上がり、スイッチの下部を押すとシートが下がります。体重 / 身長インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整してください。

H117037—UN—28MAR16

体重 / 身長インジケーター

体重 / 身長インジケーター — 体重 / 身長調整ハンドルで、インジケーターに緑のマークが表示されるまでシートを調整します。

H117039—UN—28MAR16

シートクッション奥行調整ハンドル

シート座部深さ調整ハンドル — ハンドルを押し、最適な作業位置までシート座部を前後に移動させます。

H117038—UN—28MAR16

シートクッション角度調整ハンドル

シート座部角度調整ハンドル — ハンドルを押し、最適な作業位置までシートのクッションを上下させます。

H117036—UN—28MAR16

前後位置調整ハンドル

前後分離調整ハンドル — ハンドルを引き上げ、前後の移動をロックします。解除するにはハンドルを押し下げます。

H119781—UN—07JUN18

横方向分離調整ハンドル

横方向分離調整ハンドル — ハンドルを前に押し、横方向に移動させます。ロックするには、ハンドルを後に引きます。

H117043—UN—28MAR16

アームレスト角度調整ノブ

アームレスト角度調整ノブ — アームレストを上下に調整します。ノブを時計回りに回すとアームレストが下がり、反時計回りに回すと上がります。

H117042—UN—28MAR16

アームレスト高さ調整

アームレスト高さ調整 — 丸形キャップを取り外し、ナットを緩めて、左側のアームレストを必要な位置に調整します。

H117041—UN—28MAR16

背もたれ角度調整ハンドル

背もたれ角度調整ハンドル — 背もたれの角度を調整します。ハンドルを引き上げて背もたれを必要な位置に調整し、ハンドルを放します。

H121071—UN—18MAY17

シート回転用ハンドル

シート回転ハンドル — ハンドルを持ち上げるとシートを回転できます。シートを所定の位置に固定するにはハンドルを押し下げてください。

H119782—UN—07JUN18

シートヒーター / ベンチレーションシート

シートヒーター / ベンチレーションシート— スイッチの上部を押すと、シートヒーターが ON になります。スイッチの下部を押すと、シートベンチレーションが ON になります。スイッチを中間位置にしてシートヒーターとシートベンチレーションを OFF にします。

注意： **シートヒーターの過熱によりやけどやシートの損傷が発生することがあります。やけどの危険を減らすため、長時間延長してシートヒーターを使用する場合、特にオペレータが温度変化や肌の痛みを感じることができない場合に注意喚起を行うようにしてください。シートに毛布やクッション、カバー、または類似のものを置かないようにしてください。シートヒーターが過熱することがあります。**

H117045—UN—28MAR16

上部ランバーサポート

上部ランバーサポート — 上側のスイッチをプラス (+) 記号側に押して、上部ランバーサポートの曲率を増やします。上側のスイッチをマイナス (-) 記号側に押して、上部ランバーサポートの曲率を減らします。

H117046—UN—28MAR16

下部ランバーサポート

下部ランバーサポート — 下側のスイッチをプラス (+) 記号側に押して、下部ランバーサポートの曲率を増やします。下側のスイッチをマイナス (-) 記号側に押して、下部ランバーサポートの曲率を減らします。

H117047—UN—28MAR16

アームレストコントロールコンソール

CommandARM™ コントロールコンソール — ノブを緩め、外側プレートのスロットで CommandARM™ コントロールコンソールを上 / 前または下 / 後にスライドさせます。ノブを締め付けます。

PR79369,00003F6-40-08MAR21

シートベルト

H118075—UN—15APR16

シートベルト

シートベルトは、オペレータシートと教習シートの両方に標準装置として装備されています。ラップタイプシートベルトは、クイックリリース押しボタンと自動ベルト巻き取り機能を備えており、楽に乗降することができます。

注意： **機械のシートベルトと取り付け金具を少なくとも年に 1 回点検してください。シートベルトシステム (取り付け金具、バックル、ベルト、リトラクタ) に切れ、ほつれ、極度なまたは異常な擦り切れ、変色、摩耗など、損傷の兆候が見られる場合は、シートベルトシステム全体をただちに交換する必要があります。安全を確保するため、シートベルトシステムは機械に認可されている交換用部品のみと交換してください。交換用部品については、John Deere 販売店にお問い合わせください。**

PR79369,00003F7-40-08MAR21

教習シート

H118073—UN—15APR16

教習シート

シートの背もたれとシートの座部は必要な操作位置まで上昇 / 下降させることができます。

⚠ 注意： 教習シートは、オペレータのトレーニングや機械の問題の診断用にのみ用意されています。機械や装置に同乗者を乗せないでください。常にシートベルトを着用してください。

PR79369,00003F8-40-09MAR21

収穫のコントロール

H117027—UN—28MAR16

ロック

プログラマブルショートカットロック — 偶発的な変更を回避するためにショートカットスイッチを設定します。選択すると、表示灯が点灯します。

H116352—UN—20DEC16

リール / ベルト速度ダイヤル

リール / ベルト速度ダイヤル — リールまたはベルトのピックアップ速度と設定値を上げるにはダイヤルを時計回りに回し、下げるにはダイヤルを反時計回りに回します。

H116347—UN—20DEC16

ヘッダー高さ / *HydraFlex*™ 圧力コントロールダイヤル

ヘッダー高さ / HydraFlex™ 圧力コントロールダイヤル — 地面に対するヘッダーの位置を選択して、その位置に自動的に戻します。ダイヤルを時計回りに回してヘッダーと設定点を上げます (HydraFlex™ を装備している場合は、圧力を上げます)。

ダイヤルを反時計回りに回してヘッダーと設定点を下げます (HydraFlex™ を装備している場合は、圧力を下げます)。

H117923—UN—22DEC16

フィーダーハウスリバーサ

フィーダーハウスリバーサ — フィーダーハウスギヤケースをリバーサモードにシフトします。

H117924—UN—22DEC16

ベルトピックアップクリーンアウト

ベルトピックアップクリーンアウト — ヘッダーベルト駆動システムの再接続を表示します。

H117924—UN—22DEC16

ヘッダーの接続

ヘッダーの接続 — ヘッダー機能の ON と OFF を切り替えます。

H117925—UN—22DEC16

セパレータの接続

HydraFlex は Deere & Company の商標です。

セパレータの接続 — セパレータ機能の ON と OFF を切り替えます。

H117017—UN—28MAR16
ディスチャージスワップボタン

ディスチャージスワップ — 枕地で旋回するときに、残留物の拡散を反対方向にすばやく調整して、風の干渉を補正します。

注記： スワップは、方向調整が中心位置にない場合にのみ使用できます。

H115034—UN—28MAR16
アームレストの調整ダイヤル

アームレスト調整ダイヤル — 調整を増減するために使用します。

- 設定値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
- 設定値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

H117012—UN—28MAR16
脱穀隙間調整

脱穀隙間調整— 押してアームレスト調整ダイヤルを有効にし、必要な隙間を選択します。

H117013—UN—28MAR16
脱穀速度調整

脱穀速度調整— 押してアームレスト調整ダイヤルを有効にし、必要な速度を選択します。

H117011—UN—29MAR16
クリーニングファン回転速度調整

クリーニングファン回転速度調整— 押してアームレスト調整ダイヤルを有効にし、必要な速度を選択します。

H117014—UN—28MAR16
チャファー調整

チャファー調整— 押してアームレスト調整ダイヤルを有効にし、必要な隙間を選択します。

H117015—UN—28MAR16
ふるい調整

ふるい調整— 押してアームレスト調整ダイヤルを有効にし、必要な隙間を選択します。

H118063—UN—15APR16
プログラマブルボタン

プログラマブルボタン— 機械のオプションとヘッダータイプに応じて、ボタンに異なる機能をプログラムできます。(詳しくは、スクリーン上でのヘルプの「コントロールのセットアップアプリケーション」を参照してください。)

PR79369,00003F9-40-08MAR21

HVAC

N120890—UN—05MAY16
ファン回転速度

ファン回転速度 — 押してキャブ内ファン回転速度を変更します。

H117877—UN—29MAR16

気流の方向

エアフローコントロール — 押して気流の方向を選択します。

N121549—UN—12MAY16

温度コントロール

温度コントロール — 押してキャブの温度を変更します。

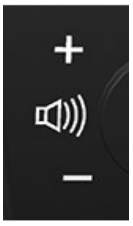
PR79369,00003FA-40-09MAR21

ラジオ

N123514—UN—22SEP16

サーチ

サーチ— 押すと、ラジオのチャンネルをサーチできます。



N124430—UN—22SEP16

音量コントロール

音量コントロール — 押すと、オーディオの音量を変更できます。

H117918—UN—29MAR16

ミュート — 押すと、マイクがミュートされます。

- 押すと、オーディオがミュートされます。
- 押すと、オーディオの再生が再開されます。

PR79369,00003FB-40-09MAR21

エンジンおよびグラウンド走行

H117023—UN—22DEC16

押しボタンシフトギヤ

押しボタンシフトギヤ (装備されている場合)— 必要なボタン (1、2、または 3) を押して、機械の走行速度を増減します。選択した速度表示灯が点灯します。

H117917—UN—22DEC16

ProDrive™

ProDrive™ (装備されている場合)— 必要なボタン (1 または 2) を押して、機械の走行速度を増減します。選択した速度表示灯が点灯します。

ProDrive は Deere & Company の商標です。

H117019—UN—28MAR16

エンジン回転数 *(*低速*)*

エンジン回転数 (低速) — 低速エンジン回転数の場合に押します。選択すると、表示灯が点灯します。

H117020—UN—28MAR16

エンジン回転数 *(*中速*)*

エンジン回転数 (中速) — 中程度のエンジン回転数の場合に押します。選択すると、表示灯が点灯します。

H117021—UN—28MAR16

エンジン回転数 *(*高速*)*

エンジン回転数 (高速) — 速いエンジン回転数の場合に押します。選択すると、表示灯が点灯します。

注記： ProDrive™ が装備されている場合、道路輸送モード時にエンジン回転数が動的にコマンドで調整されます。

H117022—UN—28MAR16

道路輸送切断

道路輸送切断— 機械を道路上で輸送する前に押します。選択すると、表示灯が点灯します。

H117024—UN—28MAR16

四輪駆動 高速

四輪駆動 高速 (装備されている場合)— 四輪駆動システムの速度を制御する場合に押します。

H117025—UN—28MAR16

四輪駆動 低速

四輪駆動 低速 (装備されている場合)— 四輪駆動システムの速度を制御する場合に押します。

H117026—UN—28MAR16

デフロック

デフロック (装備されている場合)— ボタンを押して、デフロックを手動により作動 / 作動解除して圃場でのトラクションの問題を解決します。

H117028—UN—28MAR16

駐車ブレーキ

駐車ブレーキ — 押して駐車ブレーキを選択します。手動モード (アイコン点灯あり) では、駐車ブレーキがかかったままになり、本機は移動しなくなります。自動モード (アイコン点灯なし) では、多機能レバーをニュートラルに出し入れすると、駐車ブレーキの解除/作動が自動的に切り替わります。

PR79369,00003FC-40-09MAR21

ライト

H117886—UN—29MAR16

作業灯プリセット *1*

作業灯プリセット 1 — 押すと、作業灯プリセット 1 が選択されます。

H117887—UN—29MAR16

作業灯プリセット *2*

作業灯プリセット 2 — 押すと、作業灯プリセット 2 が選択されます。

H117884—UN—29MAR16

ビーコンライト — 押すとビーコンライトが ON になり、もう一度押すと OFF になります。有効な場合、表示灯が点灯します。

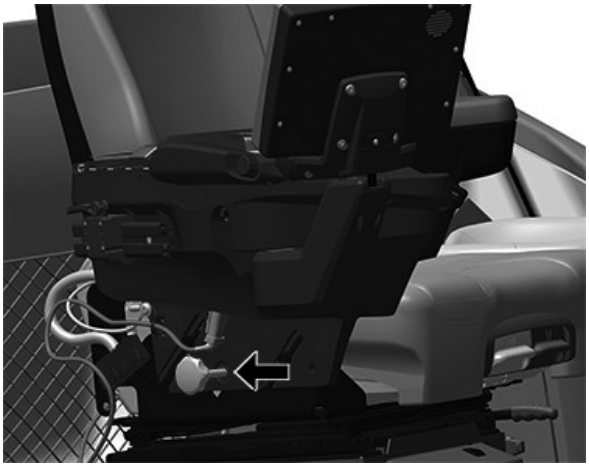
H117885—UN—29MAR16

ハザードライト

ハザードライト — 押すとハザードライトが ON になり、もう一度押すと OFF になります。有効な場合、表示灯が点灯します。

PR79369,00003FD-40-09MAR21

コンソールとディスプレイ



H118078—UN—19JAN17

アームレストコントロールコンソール

CommandARM™ コントロールコンソール — ノブを緩め、外側プレートのスロットで CommandARM™ コントロールコンソールを上 / 前または下 / 後にスライドさせます。ノブを締め付けて CommandARM™ をその位置に固定します。

N128644—UN—15FEB17

USB 充電

USB 充電 — モバイルデバイスを充電できます。これらのポートは、コンソール収納ボックスにあります。これらはラジオやディスプレイに接続されていません。

N128645—UN—15FEB17

補助コンセント

補助コンセント — デバイスへの電源供給に使用します (12 V)。コンソールの保管ボックス内にあります。

H117794—UN—19JAN17

アーム

アーム — アームを必要な操作位置まで左右に回します。

注記： この機能は、シート旋回構成を装備していない機械でのみ利用できます。

H117795—UN—15APR16

ディスプレイ

ディスプレイ — 希望する操作位置まで、ディスプレイを左右に回転させます。

PR79369,00003FE-40-09MAR21

フィーダーハウスリバーサ

H127356—UN—26SEP19

フィーダーハウスリバーサ

フィーダーハウスギヤケースを油圧でリバースモードにシフトして、詰まったフィーダーハウスまたはヘッダーをクリアするために使用します。

注記： 高エンジン回転数で運転中にフィーダーハウスリバーサスイッチを OFF にすると、エンジンはローアイドルになります。

変更手順：

H127348—UN—26SEP19

スイッチ押下解除

1. スイッチを押したままにします。

H127352—UN—26SEP19

スイッチ接続済み

2. 引き戻してスイッチをロックします。

H127346—UN—26SEP19

スイッチ *OFF*

3. スイッチを前方に 1 回押すとフィーダーハウスがクリアされます。

PR79369,00003FF-40-09MAR21

ベルトピックアップクリーンアウト

H127356—UN—26SEP19

ベルトピックアップクリーンアウト

ヘッダーベルト駆動システムの再接続を遅らせます。これにより、排出されたスラグをフィーダーハウスに少量再投入できます。

注記： クリーンアウト動作が始まるためには、30 秒以内に接続、反転、再接続の処理が発生する必要があります。

変更手順：

H127351—UN—26SEP19

ヘッダー接続済み

1. 前方に押し下げてヘッダーに接続します。

H127352—UN—26SEP19

リバーサ接続済み

2. 引き戻すと変調フィーダーハウスリバーサに接続します。

H127351—UN—26SEP19

ヘッダー接続済み

3. スイッチを再び前方に押すとヘッダーに接続します。

PR79369,0000400-40-09MAR21

ヘッダーの接続

H127356—UN—26SEP19

ヘッダーの接続

ヘッダー機能を接続します。

注記： 接続の後にオペレータがシートから離れた場合、ヘッダーは 5 秒間運転を続けてから接続を解除されます。

システム要件：

- セパレータ接続が ON である必要があります。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある必要があります。
- ヘッダーを操作するには、オペレータがシートに座っている必要があります。

変更手順：

H127348—UN—26SEP19

スイッチ押下解除

1. スイッチを押したままにします。

H127351—UN—26SEP19

スイッチ接続済み

2. 前方に押してスイッチをロックします。

H127346—UN—26SEP19

スイッチ *OFF*

3. スイッチを引き戻すとヘッダー可能が OFF になります。

PR79369,0000401-40-09MAR21

セパレータの接続

H127357—UN—26SEP19

セパレータの接続

セパレータ機能を接続します。

注記： 排出ビーター回転数が 300 rpm 未満に低下すると、セパレータの接続は解除されます。

セパレータを接続した後にオペレータがシートを離れた場合、セパレータ回転安全警報が鳴り、外部ライトが点滅して、セパレータがまだ回転しているときにシートから離れたことをオペレータに警告します。セパレータが完全に停止するまで、ライトの点滅と安全警報音が続きます。

システム要件：

- エンジンはローアイドルで運転中である必要があります。
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある必要があります。

- セパレータを操作するには、オペレータがシートに座っている必要があります。

変更手順：

H127347—UN—26SEP19

スイッチ押下解除

1. スイッチを押したままにします。

H127350—UN—26SEP19

スイッチ接続済み

2. 前方に押してスイッチをロックします。

H127346—UN—26SEP19

スイッチ *OFF*

3. スイッチを引き戻すとセパレータ機能が OFF になります。

PR79369,0000402-40-09MAR21

脱穀すき間調整

脱穀すき間調整を使用すると、諸条件やさまざまな作物に合わせて脱穀要素とコンケーブの間の距離を増減できます。

注記：脱穀すき間の設定については、取扱説明書の「作物の設定」セクションを参照してください。

以下の場合に変更を行います：

脱穀隙間を増やす目的：

- わら品質の向上。長いわらを製作して、材料の破損を減らします。
- グレン品質の向上。割れとグレンの損傷を減らします。
- 動力消費量の低減。グレンの脱穀を容易にします。
- サンプル清浄度の向上。クリーニングシューのもみ殻負荷を低減します。

脱穀すき間を減らす目的：

- 未脱穀のセパレータロスの低減。もみ殻付きのグレンまたは機械背後の穂軸のグレンの低減。
- グレンタンクサンプルの向上を図り、殻付きや未脱穀の穀粒を低減します。

変更手順：

H117012—UN—28MAR16

脱穀すき間調整

1. アームレストのボタンを押して、アームレスト調整ダイヤルを起動します。

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. アームレスト調整ダイヤルを使用して必要な脱穀隙間を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

注記：機械によっては、一部の値に到達できないことがあります。

注記：デンスパックエレメントを取り付けている場合、最大値が得られないことがあります。

最小：0

最大：40

増分：1

PR79369,0000403-40-09MAR21

脱穀速度調整

脱穀速度調整を使用すると、諸条件や各種の作物に合わせて脱穀速度を変更できます。

注記： 脱穀速度の設定については、取扱説明書の「作物の設定」セクションを参照してください。

以下の場合に変更を行います：

脱穀速度を上げる目的：

- 分離の改善を図ります。
- 材料を扱いやすくします。
- 未脱穀グレンの量を減らします。
- 胴割れのリスクを低減します。
- 遠心力不足によるセパレータロスを低減します。

脱穀速度を下げる目的：

- わら品質を改善する場合。
- クリーニングフシューのもみ殻負荷を低減します。
- 胴割れ穀粒を減らします。
- 高いもみ殻負荷によるセパレータロスを低減します。

変更手順：

1. セパレータを接続し、エンジンをハイアイドルで運転します。

H117013—UN—28MAR16

脱穀速度

2. アームレストのボタンを押して、アームレスト調整ダイヤルを起動します。

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

3. アームレスト調整ダイヤルを使用して必要な回転速度を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

   ローターには，ロータートランスミッションで設定できる 2 つの速度レンジがあります。
   - 第 1 レンジ：210 ~ 550 rpm
   - 第 2 レンジ：380 ~ 1000 rpm

注記： 第 2 レンジではあまり低速でローターを回さないことをお勧めします。たとえば、目標 rpm が 400 であれば、第 2 レンジではなく第 1 レンジを使用します。

注記： 機械によっては、一部の値に到達できないことがあります。

最小：200 rpm

最大：1000 rpm

増分：10 rpm

PR79369,0000404-40-09MAR21

クリーニングファン回転速度調整

クリーニングファン回転速度調整でファン回転速度を変更することで、グレン清掃度が向上しグレンロスが減ります。

ファン回転速度モーターは、以下の条件が発生した場合、モーターの機能が停止するサーマル (熱) 遮断機能を備えています：

- スイッチを 2、3 分以上の間連続して使用した場合。
- 調整システムがストップに当たったが、モーターがまだ回転数を変更しようとしている場合。
- リンケージに過度の固着または引きずりがある場合。

上記の原因が疑われる場合は、必要に応じて清掃と調整を行ってください。

注記： スイッチをオンにする前に、モーターを 10 ~ 15 分放置して冷ましてください。

以下の場合に変更を行います：

ファン回転速度を増やす目的：

- サンプル品質を改善します。グレンタンク内のもみ殻や軽材料の量を減らします。
- 作物マットの通気が不十分な場合にロスを低減できます。

ファン回転速度を減らす目的：

- クリーニングシューロスを低減します。小さく軽いグレンをクリーニングシューから運び出せます。
- 2 番還元物システム内で遊離グレンの量を減らします。

注記： ファン回転速度の設定については、取扱説明書の「作物の設定」セクションを参照してください。

変更手順：

1. セパレータを接続し、エンジンをハイアイドルで運転します。

H117011—UN—29MAR16
クリーニングファン回転速度調整

2. アームレストのボタンを押して、アームレスト調整ダイヤルを起動します。

H115034—UN—28MAR16
アームレストの調整ダイヤル

3. アームレスト調整ダイヤルを使用して必要な回転速度を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

注記： 機械がクリーニングファン低速化キットを装備している場合、最小値と最大値が変わることがあります。

最小：620 rpm

最大：1350 rpm

増分：10 rpm

PR79369,0000405-40-09MAR21

チャファーの調整

チャファーの調整をすると、チャファー要素の開口部を変更してグレン清掃度度を向上させ、各種の作物について諸条件でクリーニングシューの損失を低減できます。

注記： チャファーすき間の設定については、取扱説明書の「作物の設定」セクションを参照してください。

以下の場合に変更を行います：

以下の場合は、チャファー隙間を増やします。

- グレンがクリーニングシューから漏れ出る前にすぐ落下するようにして、クリーニングシューロスを減らす場合。
- グレンが 2 番還元物に送られる前にすぐ落下するようにする場合。

以下の場合は、チャファー隙間を減らします。

- グレンタンク内の大きい異物の量を減らして、サンプル品質を向上させる場合。
- 遊離グレンが含まれない場合は、高い 2 番還元物量を減らします。

変更手順：

H117014—UN—28MAR16
チャファー調整

1. アームレストのボタンを押して、アームレスト調整ダイヤルを起動します。

H115034—UN—28MAR16
アームレストの調整ダイヤル

2. アームレスト調整ダイヤルを使用して必要な隙間を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

注記： 機械によっては、一部の値に到達できないことがあります。

汎用：

最小：0

最大：22

増分：1

高歯；

最小：0

最大：30

増分：1

PR79369,0000406-40-09MAR21

ふるい調整

ふるい調整を使用すると、ふるいの開口部を変更して、グレン清掃度を向上させ、諸条件でさまざまな作物の 2 番還元物を管理できます。

注記： ふるいすき間の設定については、取扱説明書の「作物の設定」セクションを参照してください。

以下の場合に変更を行います：

ふるい隙間を増やす目的：

- 2 番還元物を減らす。グレンを 2 番還元物で再循環させる前に落下させてグレンを清浄にします。
- クリーニングファンの気流を増やす。ふるいすき間を増やすことにより、クリーニングファンのより多くの空気がチャファーを通ります。

ふるいすき間を減らす目的：

- 2 番還元物を増やす。硬い脱穀グレンの場合は、脱穀されていない材料をセパレータに強制的に戻します。
- サンプル品質の向上。グレンタンク内の大きい異物の量を減らします。

変更手順：

H117015—UN—28MAR16

ふるい調整

1. アームレストのボタンを押して、アームレスト調整ダイヤルを起動します。

H115034—UN—28MAR16

アームレストの調整ダイヤル

2. アームレスト調整ダイヤルを使用して必要なふるいすき間を選択します。
   - 値を増やすには、ダイヤルを時計回りに回します。
   - 値を減らすには、ダイヤルを反時計回りに回します。

注記： 機械によっては、一部の値に到達できないことがあります。

汎用：

最小：0

最大：20

増分：1

高歯；

最小：0

最大：25

増分：1

PR79369,0000407-40-09MAR21

サーチ

N123514—UN—22SEP16

サーチ

押すと、ラジオのチャンネルをサーチします。

- AM/FM/WX/MW/LW：スイッチを短く押すと、プリセットを変更します。
- AM/FM/WX/MW/LW：スイッチを押して (長押し)、サーチします。
- SiriusXM™ 衛星ラジオ：スイッチを押し続けると、チャンネルが変わります。
- CD/MP3：スイッチを押すと、現在のトラックの先頭、前のトラック、または次のトラックまで移動します。

PR79369,0000408-40-09MAR21

押しボタンシフトギヤ (装備されている場合)

H117023—UN—22DEC16

押しボタンシフトギヤ

必要なボタン (1、2、または 3) を押して、機械の走行速度を増減します。選択した速度表示灯が点灯します。

注記： タイヤサイズと国の規則により最大走行速度は制限されます。

必要なギヤを選択する前に機械を停止し、多機能レバーをニュートラル位置に動かす必要があります。

注意： **押しボタン式トランスミッション**：**セパレータを接続した状態でクイックストップスイッチを押した場合、多機能レバーを後に引いて機械を止める必要があります。**

PR79369,0000409-40-09MAR21

ProDrive™ (装備されている場合)

H117917—UN—22DEC16

ProDrive™

必要なボタン (1 または 2) を押して、機械の走行速度を増減します。選択した速度表示灯が点灯します。

注記： タイヤサイズと国の規則により最大走行速度は制限されます。速度はゼロから最大許容走行速度までプログラムできます。

最大後退走行速度は 10 km/h (6.2 mph) です。いずれのモードでも変わりません。

機械が動いているときに ProDrive™ モード 1 または 2 スイッチを選択できます。

注意： **ProDrive™ 装備の機械**：**セパレータが接続された状態でクイックストップスイッチを押すと、機械はゆっくりと停止します。 重傷事故を防止するため、必ずシートベルトを着用してください。**

PR79369,000040A-40-10MAR21

道路輸送切断

H127518—UN—30SEP19

道路輸送切断

ProDrive は Deere & Company の商標です。

機械を道路上で輸送するときは、道路輸送切断ボタンを押します。選択すると、表示灯が点灯します。

道路輸送切断スイッチは以下の機能を禁止します：

- セパレータの接続
- ヘッダーの接続
- ヘッダーの上昇/下降
- ヘッダー高さ復帰
- ヘッダー高さ検出
- Lateral Tilt (横方向傾斜)
- リールの昇降とリール前後位置
- アンローディングオーガ
- オーガ旋回
- 折りたたみ式アンローディングオーガ (装備されている場合)
- グレンタンクカバー (装備されている場合)
- 四輪駆動 (装備されている場合)

機械を道路移動した後、圃場で運転する場合は、道路輸送切断スイッチを 2 秒間押して、表示灯を消灯させ、必要なスイッチの機能を復帰させます。

本機に ProDrive™ トランスミッションとエンジン回転数管理システムが装備されている場合、道路輸送切断スイッチを押すとエンジン回転数が動的にコントロールされます。これにより、本機の輸送時に燃費が向上します。

PR79369,000040B-40-09MAR21

四輪駆動 (装備されている場合)

四輪駆動システムの接続/接続解除と速度をコントロールします。

重要： **最大走行速度で機械を運転中は、四輪駆動スイッチを ON または OFF にしないでください。速度を落とすか、機械を停止してください。**

急な勾配を下る前に四輪駆動を OFF にしてください。

機械が動いているときに、スイッチを低速 (カメ) と高速 (ウサギ) の間で切り替えることは問題ありません。

変更手順：

H117025—UN—28MAR16

低速

1. 最大後輪補助の必要時に押して ON にします。
2. 押すと OFF になります。

H117024—UN—28MAR16

高速

1. 最大後輪補助とより速い移動速度の必要時に押して ON にします。
2. 押すと OFF になります。

⚠ 注意： OFF にすると移動速度は上がり、ON にすると低速になります。ProDrive™ が装備されていない機械では、移動速度を調整して補正する必要があります。ProDrive™ を装備した機械では自動的に移動速度が調整されます。

ProDrive™ を装備していない機械：油圧システムで高圧が発生する条件や機械が遅くなるまたは停止する条件では、多機能レバーをニュートラルに動かして、トランスミッションを低いギヤにシフトしてください。

PR79369,000040C-40-09MAR21

デフロック (装備されている場合)

H117026—UN—28MAR16

デフロック

ボタンを押して、デフロックを手動により作動 / 作動解除して圃場でのトラクションの問題を解決します。

注記： 道路輸送切断スイッチが ON の場合、デフロックは作動しません。ブレーキペダルを踏み込むと、デフロックは解除されます。

走行速度が 10 km/h (6.2 mph) 未満の場合のみ連結が可能で、走行速度が 12 km/h (7.5 mph) を超えると、自動的に解除されます。

PR79369,000040D-40-09MAR21

駐車ブレーキ

H127519—UN—30SEP19

駐車ブレーキ

押すと駐車ブレーキの状態が選択されます。手動モード (アイコン点灯あり) では、駐車ブレーキがかかったままになり、本機は移動しなくなります。自動モード (アイコン点灯なし) では、多機能レバーを動かすと、駐車ブレーキが自動的に解放/係合します。

ニュートラルのレバー入 / 切。

自動モード：多機能レバーがニュートラル位置で、速度が 1.5 km/h (1 mph) 未満の場合、駐車ブレーキがかかります。多機能レバーをニュートラル位置から動かすと、駐車ブレーキが解除されます。

手動モード：多機能レバーがニュートラル位置で、速度が 3.0 km/h (1.9 mph) 未満の場合、駐車ブレーキがかかります。多機能レバーをニュートラル位置から動かした場合、または速度が 1.5 km/h (1 mph) を超えている場合、安全警告が鳴ります。

- 駐車ブレーキボタンを押して、駐車ブレーキをかけます。コーナーポストの駐車ブレーキ表示灯 (B) が点灯し、駐車ブレーキがかかっていることを示します。
- 多機能レバーがニュートラル位置のときに駐車ブレーキボタンを押して駐車ブレーキを解除します。コーナーポストの駐車ブレーキ表示灯が消灯します。多機能レバーをニュートラル位置から動かして自動モードに戻すまで、駐車ブレーキはかかったままです。

PR79369,000040E-40-09MAR21

高排気系統温度 (HEST) 表示灯

H120319—UN—22JUN17

高排気系統温度 *(HEST)* 表示灯

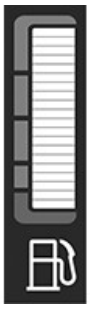
高排気系統温度 (HEST) インジケータは、エンジンの排気温度が上昇すると点灯します。

重要： ファイナルティア 4 / ステージ V：排ガスフィルタクリーニングの実行中、またはクリーニングの完了直後にエンジンを停止すると、排ガスクリーニングの部品が損傷するおそれがあります。警報が鳴り、警告メッセージがディスプレイに表示されます。本機を始動して、ディスプレイのメッセージに従って部品を冷ましてください。

PR79369,000040F-40-09MAR21

ProDrive は Deere & Company の商標です。

燃料レベルインジケーター



H117824—UN—22DEC16
燃料計インジケーター

燃料レベルインジケーターは、燃料タンクに残っている燃料の量を表示します。

- 残っている燃料のレベルが 10% に達すると、燃料レベルインジケーターが点滅し、警報が鳴り、フルード低下メッセージが表示されます。

PR79369,0000410-40-09MAR21

排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルインジケーター

H118085—UN—22DEC16
排ガス処理用尿素水 *(DEF)* レベルインジケーター

排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルインジケーター— タンクに残っているフルードの量を表示します。

- レベルが 10% に達すると、レベルインジケーターが点滅し、警報が鳴り、フルード低下メッセージが表示されます。
- レベルが 0% に達すると、レベルインジケーターが点灯して点滅しなくなり、警報が鳴り、フルード空メッセージとエンジン出力制限メッセージが表示されます。
- 必要量が失われると、レベルインジケーターが点灯して点滅しなくなります。警報が鳴り、フルード空メッセージ、エンジン出力制限メッセージ、速度制限メッセージが表示されます。エンジン停止警告灯 (赤) が点灯して、エンジン出力が減衰し、本機の機能が制限されます。

PR79369,0000411-40-09MAR21

クイックストップスイッチ

H117033—UN—15APR16
クイックストップスイッチ

クイックストップスイッチを使用すると、緊急時に、複数のシステムを同時に停止できます。

注意： ProDrive™ 搭載の機械：セパレータが接続された状態でクイックストップスイッチを押すと、機械はゆっくりと停止します。推進システムをリセットするには、多機能レバーをニュートラル位置に戻す必要があります。

押しボタン式トランスミッションまたは機械式シフト装備の機械：セパレータを接続した状態でクイックストップスイッチを押した場合、多機能レバーを後に引いて機械を止める必要があります。

重傷事故を防止するため、必ずシートベルトを着用してください。

重要： 詰まりが発生した場合は、このスイッチでヘッダードライブを解除できます。

注記： 多機能レバーのアンローディングオーガドライブスイッチを押すと、アンローディングオーガドライブが再起動します。ヘッダードライブを接続するには、ヘッダー接続スイッチを OFF にしてから ON に戻します。

クイックストップスイッチを押すと、以下のシステムが停止します。

- ヘッダーの接続
- アンローディングオーガドライブ
- アンローディングオーガ旋回
- グレンタンクカバー (装備されている場合)
- 折りたたみ式アンローディングオーガ (装備されている場合)
- ProDrive™ (推進運動がゆっくりと停止します) (装備されている場合)

PR79369,0000412-40-09MAR21

ProDrive は Deere & Company の商標です。

アンローディングオーガ旋回スイッチ

H117003—UN—22DEC16
アンローディングオーガスイッチ

アンローディングオーガ旋回スイッチを使用すると、手動または自動でアンローディングオーガを内側または外側に旋回させることができます。

システム要件：

- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- オペレータがシートに座っている。

スイッチの上部を押して、オーガを外側に旋回させます。スイッチの下部を押して、オーガを内側に旋回させます。

手動制御：オーガが必要な位置に達するまで、スイッチを途中まで押し続けます。スイッチを放すと、オーガが停止します。

自動制御：スイッチをいっぱいまで押して放します。スイッチを押し続けていなくてもオーガは外側または内側にいっぱいまで旋回します。

注記： アンローディングオーガドライブが接続されている場合、自動オーガ旋回機能は作動しません。使用しない場合は、オーガを輸送位置に戻してください。

PR79369,0000413-40-10MAR21

アンローディングオーガドライブスイッチ

H123658—UN—02MAR18
アンローディングオーガドライブスイッチ

アンローディングオーガドライブスイッチを使用して、アンローディングオーガを接続または接続解除できます。

システム要件：

- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- オペレータがシートに座っている。

アンローディングオーガを ON にする：

- アンローディングオーガドライブスイッチを 1 回押して ON にします。システムが作動すると、表示灯が点灯します。
- オーガが自動旋回モードのとき、またはオーガが手動で 50% 以上旋回されているときは、ボタンを押し続けた場合のみアンローディングオーガドライブが接続されます。

アンローディングオーガを OFF にする：

- アンローディングオーガドライブスイッチを 1 回押して OFF にします。グレンタンククロスオーガはすぐに停止し、アンローディングオーガはオーガを空にするために 3 秒間運転を続けます。
- アンローディングオーガドライブスイッチを 2 回押すと、アンローディングオーガとグレンタンククロスオーガがすぐに停止します。アンローディングオーガの運転が 3 秒続かないのは、アンローディングオーガが空にならないことを意味します。
- 接続の後にオペレータがシートから離れた場合、アンローディングオーガドライブは 5 秒間運転を続けてから接続を解除されます。システムを再接続するには、運転席に座ってアンローディングオーガドライブスイッチをもう一度押します。
- 非常時には、クイックストップスイッチでアンローディングオーガドライブも OFF にできます。クイックストップ スイッチを使用してヘッダーとアンローディングオーガを停止した場合、アンローディングオーガを再接続するには、アンローディングオーガ駆動スイッチをもう一度押します。

PR79369,0000414-40-10MAR21

AutoTrac™ 再開ボタン (装備されている場合)

H117005—UN—15APR16
AutoTrac™ 再開ボタン

AutoTrac™ 再開ボタンにより、AutoTrac™ システムを起動できます。

AutoTrac™ 再開ボタンで、RowSense™ システムも起動します。詳しくは、AutoTrac™ の取扱説明書を参照してください。

システム要件：

- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダースイッチがオンになっている。
- オペレータがシートに着席している。

AutoTrac は Deere & Company

押すとシステムが有効になります。

PR79369,0000415-40-10MAR21

ヘッダー昇降および傾斜スイッチ

H116348—UN—19DEC16
ヘッダー上昇 / 下降スイッチ

「ヘッダー昇降および傾斜」スイッチを使用すると、ヘッダーを昇降させて、フィーダーハウスを傾けることができます。

システム要件：

- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- オペレータがシートに座っている。

スイッチの上部を押し続けて、ヘッダーを上昇させます。

スイッチの下部を押し続けて、ヘッダーを下降させます。

注記：「ヘッダー上昇 / 下降」スイッチには、2 つのデテント位置があります。スイッチを途中まで押すと、ヘッダーはゆっくりと上昇または下降します。スイッチをいっぱいまで押すと、ヘッダーは高速で上昇または下降します。

スイッチの左側または右側を押し続けると、フィーダーハウスが傾きます。

PR79369,0000416-40-10MAR21

リール上昇 / 下降、リール前後位置 (装備されている場合) スイッチ

H116349—UN—19DEC16
リール上昇 / 下降、リール前後位置

リール昇降、リール前後位置 (装備されている場合) スイッチ— リールの位置を制御できます。

注記：これらのスイッチ機能は、当該機能を備えたドレイパプラットフォームが本機に取り付けられている場合に使用できます。

スイッチを使用して、リールを上昇 / 下降させたり、リールを前後に移動したりすることができます (装備されている場合)：

- スイッチの上部を押し続けて、リールを上昇させます。
- スイッチの下部を押し続けて、リールを下降させます。
- スイッチの左側を押し続けて、リールを前方に伸ばします。
- スイッチの右側を押し続けて、リールを後方に収縮させます。

推奨設定

立木

- カッターバーの上方にリールを配置します。これは作物をプラットフォームに落下させるのに役立ちます。
- リールタインをまっすぐか、またはやや前方に配置します。
- リールが作物の頭にぎりぎり触れるようにしてください。リールの配置が低すぎるとヘッダーロスにつながります。
- リールが作物の頭にぶつかる場合、リール回転数を下げます。リールが作物の頭を押す程度にしてください。

垂れ下がった作物

- リールをカッターバーの前面に配置すると、作物を持ち上げやすくなります。
- リールタインを後方に配置すると、作物の持ち上げが促進されます。

PR79369,0000417-40-10MAR21

フィーダーハウスバックシャフト速度、調整式コーンヘッドデッキプレート (装備されている場合)

H116349—UN—19DEC16
フィーダーハウスバックシャフト回転速度、調整式コーンヘッドデッキプレート

フィーダーハウスバックシャフト回転速度、調整式コーンヘッドデッキプレートスイッチを使用すると、

フィーダーハウスバックシャフト回転速度または調整式コーンヘッドデッキプレートをコントロールできます。

注記： これらのスイッチ機能は、当該機能を備えたコーンヘッドが本機に取り付けられている場合に使用できます。

このスイッチを使用して、バックシャフト回転速度および調整式コーンヘッドデッキプレートを調整します (装備されている場合) :

- スイッチの上部を押して、バックシャフト回転速度を速くします。
- スイッチの下部を押して、バックシャフト回転速度を遅くします。
- スイッチの左側または右側を 1 回押してディスプレイを起動します。
- スイッチの左側を押すと、デッキプレート間隔が増加します。
- スイッチの右側を押すと、デッキプレート間隔が減少します。

PR79369,0000418-40-10MAR21

ヘッダー起動ボタン

H116346—UN—19DEC16

ヘッダー起動ボタン

ヘッダー起動ボタンを使用すると、3 つのボタンのいずれかを押して以下の機能を起動することができます。

注記： 起動ボタンを押して得られたヘッダー位置は、リール上昇 / 下降またはリール前後スイッチ、またはヘッダー上昇下降 / 横方向傾斜スイッチを押して無効にすることができます。起動ボタンを手動で無効にしたら、必要な起動ボタンを押してもう一度有効にすることができます。

システム要件:

- 正しく装備されたヘッダーが機械に接続されている。
- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- ヘッダー高さ復帰、ヘッダー高さ検出、またはアクティブヘッダーフロートモードが有効になっている。
- ヘッダーが接続されている。

ヘッダー起動ボタンを押してシステムを起動します。

ヘッダー制御システムが制御を獲得して、ヘッダーをオペレータが選択した位置に動かします。

- ヘッダー高さ復帰
- ヘッダー高さ検出

注記： ヘッダー高さ検出/フロートモードが有効なときに Dial-A-Speed™ またはリール / ベルト速度ダイヤルでリール回転数を変更すると、リール回転数が自動的に保存されます。

- 横方向傾斜制御
- Reel Position Resume (リール位置復帰)

注記： 注記：ヘッダー起動ボタンを 2 秒間押し続けると、現在のリール位置がそのボタンに保存されます。

- Deck Plate Position Resume (デッキプレート位置復帰)
- アクティブヘッダーフロート
- 油圧フィーダーハウス前後傾斜 (装備されている場合)

PR79369,0000419-40-10MAR21

VisionTrak™

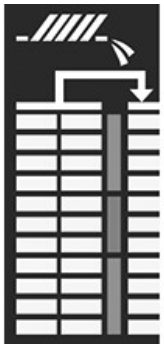
VisionTrak™ モニタは、クリーニングシューとセパレータで発生するロスの代表的なサンプルを測定することによりグレンロスを確認します。VisionTrak™ は機械の性能を連続的に監視して、機械能力を最大限に利用できるようにします。ロス量の変化はインジケーターによって示されます。

収穫していないときにインジケーターが一貫してフルを示している (すべてのバーが点灯している)、または収穫しているときに空を示している (バーが点灯していない) 場合など、インジケーターの読み値に明らかに問題がある場合は、エラーを示しているシステムに関連するセンサーを点検してください。VisionTrak™ の操作点検とセンサーの点検の手順については、取扱説明書を参照してください。

システム要件:

エンジンの状態	運転中
道路輸送遮断スイッチ	圃場位置
ヘッダースイッチとセパレータスイッチ	接続済み

VisionTrak™ ページでアクセスできる項目:



H117835—UN—22DEC16

シューロス表示

シューロス表示 — シューからのグレンロスを表示します。

H126288—UN—06JUN19

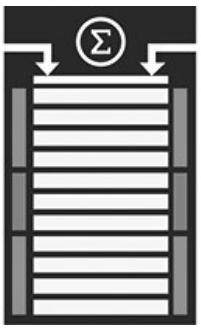
ロス範囲インジケーター

ロス範囲インジケーター — ロスレベルが許容量であるかどうかを示します。棒グラフの中心にある緑の範囲は、許容ロスレベルを示しています。緑の範囲の上と下のオレンジ色の範囲は、ロスが許容レベル内にないことを示しています。

H126289—UN—06JUN19

総和記号

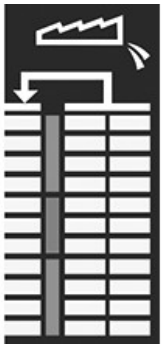
総和記号 — 合計ロスインジケーターの上に表示されます。



H117836—UN—22DEC16

合計ロス表示

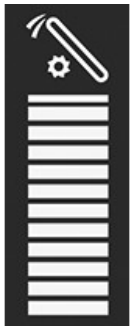
合計ロスインジケーター — シューとセパレータからのグレンロスの平均を示します。



H117837—UN—22DEC16

セパレータロス表示

セパレータロスいn— セパレータ部からのグレンロスを表示します。システムが正しく機能している場合は、セパレータの絵記号が棒グラフの上に表示されます。



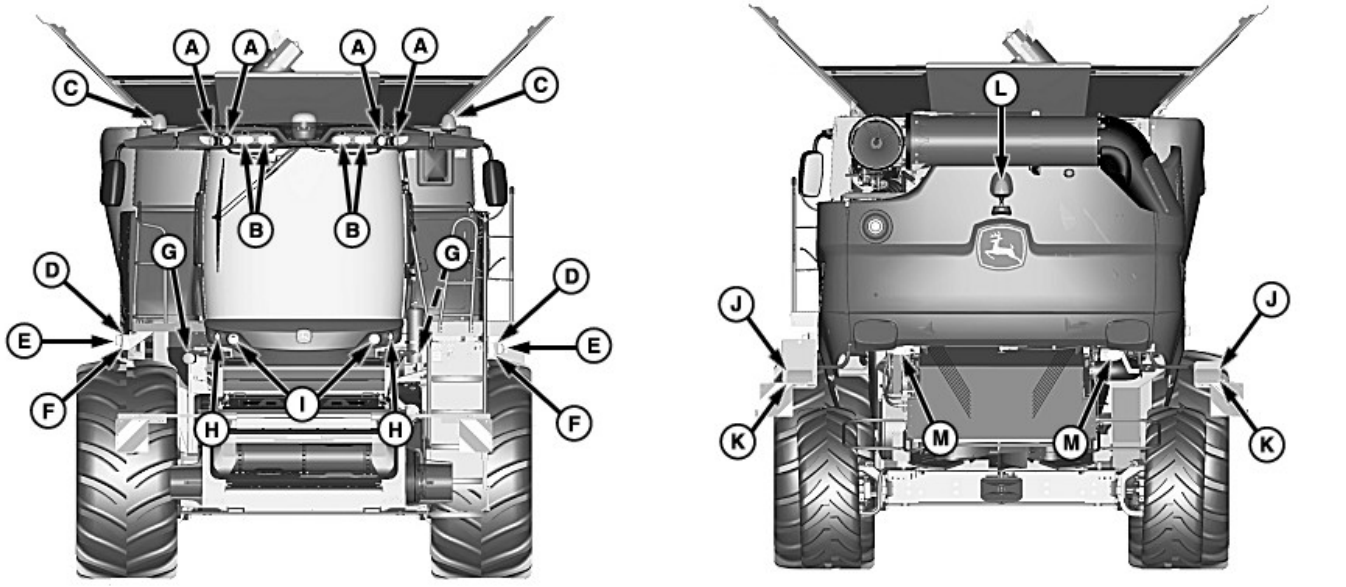
H117838—UN—22DEC16

2 番還元物量表示

2 番還元物量インジケーター — 2 番還元物の量を表示します。2 番還元物量インジケーターを参照して、2 番還元物量の増減が発生しているかどうかを定期的に確認できます。

PR79369,000041A-40-10MAR21

ライトの位置 (前後のライト)



H107108—UN—28FEB13

A：ハロゲンキャブヘッドライトまたは発光ダイオード (LED) (オプション) キャブヘッドライト
B：キャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム)
C：ビーコンライト
D：ハザード警告灯 (琥珀色)
E：ハザード警告灯 (琥珀色)
F：マーカーライト (白)
G：スタブルライト
H：フェーシアライト (装備されている場合)
I：下部運転ライト (装備されている場合)
J：マーカー / 停止灯 (赤)
K：リアハザード警告灯 (琥珀色)
L：ビーコンライト
M：リアディスチャージライト

ビーコンライト

注意： 輸送時はこのライトをオンにする必要があります。キャビンのタラップを前方へいっぱいまで旋回させて、マーカー / ハザードライトを接近してくる自動車運転者に向けます。

- ビーコンライト (C、L) を制御します。
- 機械の前部に 2 つのビーコンライト (左右) があり、機械の後部に 1 つがあります。これらのライトは機械を車道で輸送時に他のドライバーに警告します。

ハザードライト

注意： 輸送時はこのライトをオンにする必要があります。キャブのタラップを前方へいっぱいまで旋回させて、マーカー / ハザード警告灯を接近してくる自動車運転者に向けます。

- ビーコンライト (C、L)、ハザード警告灯 (D、E)、およびリアハザード警告灯 (K) を制御します。
- ハザード警告灯は機械の前後の両側にあります。これらのライトは機械が運転不能であることを示すために使用されます。

道路ライト

注意： 輸送時はこのライトをオンにする必要があります。キャビンのタラップを前方へいっぱいまで旋回させて、マーカー / ハザードライトを接近してくる自動車運転者に向けます。

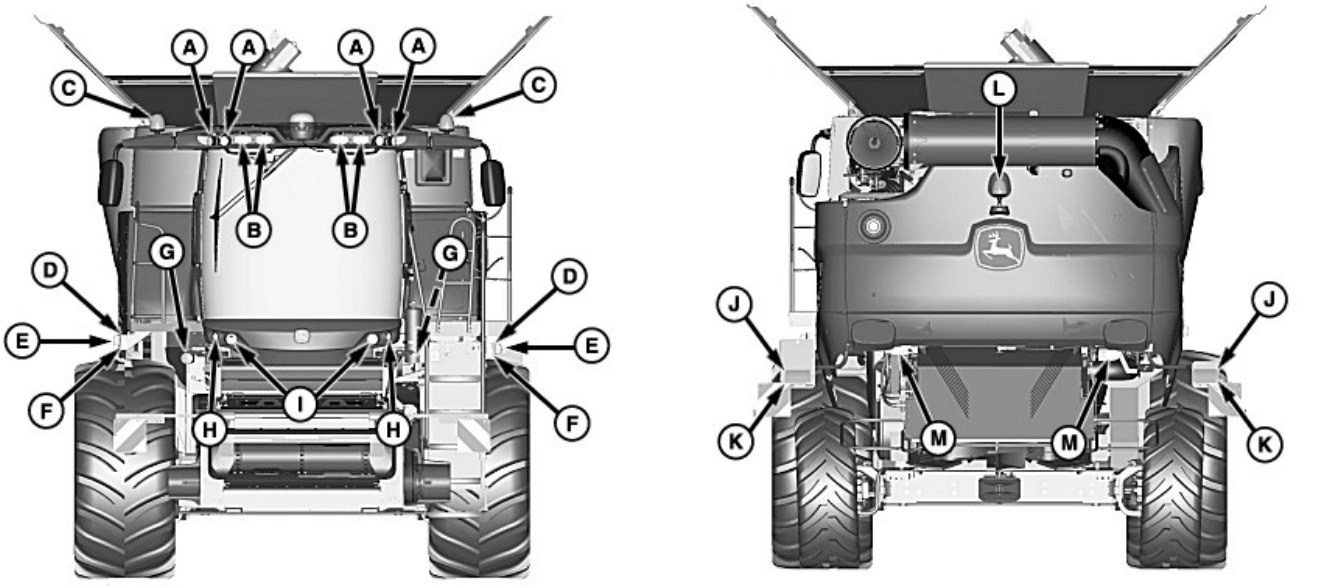
注記： 道路ライトを ON にし、ヘッダーを接続していない場合は、下部運転ライトを ON にしてキャビンヘッドライトを OFF にしてください。ヘッダーを接続している場合は、下部運転ライトを OFF にし、キャビンヘッドライトを ON にしてください。

ターンシグナルが OFF の場合、ハザードライトが ON になります。方向指示器が ON の場合、ハザード警告灯は方向指示灯として機能します。

- ビーコンライト (C、L)、キャブヘッドライト (B)、クリアランスライト (F)、下部運転ライト (I)、マーカー / 停止灯 (J) を制御します。
- ビーコンライトは本機を車道で輸送時に他のドライバーに警告します。

OUO6075,00049AC-40-31MAY18

ライトの位置 (前後のライト続き)



H107108—UN—28FEB13

A：**ハロゲンキャブヘッドライトまたは発光ダイオード (LED) (オプション) キャブヘッドライト**
B：**キャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム)**
C：**ビーコンライト**
D：**ハザード警告灯 (琥珀色)**
E：**ハザード警告灯 (琥珀色)**
F：**マーカーライト (白)**
G：**スタブルライト**
H：**フェーシアライト (装備されている場合)**
I：**下部運転ライト (装備されている場合)**
J：**マーカー / 停止灯 (赤)**
K：**リアハザード警告灯 (琥珀色)**
L：**ビーコンライト**
M：**リアディスチャージライト**

オートビーコンライト

注記： オートビーコンライトを作動させているときに穀粒が 3/4 満杯センサーに達すると、ビーコンライトは点滅を開始します (3 秒点灯、6 秒消灯)。穀粒がグレンタンク満杯センサーに達すると、ビーコンライトは点灯したままになり、点滅しなくなります。

- ビーコンライト (C、L) はグレインタンクが満杯の 3/4 に達すると点灯します。ビーコンライトは、グレインタンクがいっぱいであり、降ろす準備が整っていることをグレインカートオペレータに知らせます。

圃場灯

- クリアランスライト (F)、マーカー / 停止灯 (J)、キャブヘッドライト (A、B) を制御します。
- 圃場灯は夜間および薄暗い条件で運転用のエリア照明をオペレータに提供します。

フロントスタブルライト

注意： 他の運転者を混乱させないようにするために、公道での輸送時はワークライトを作動させないでください。

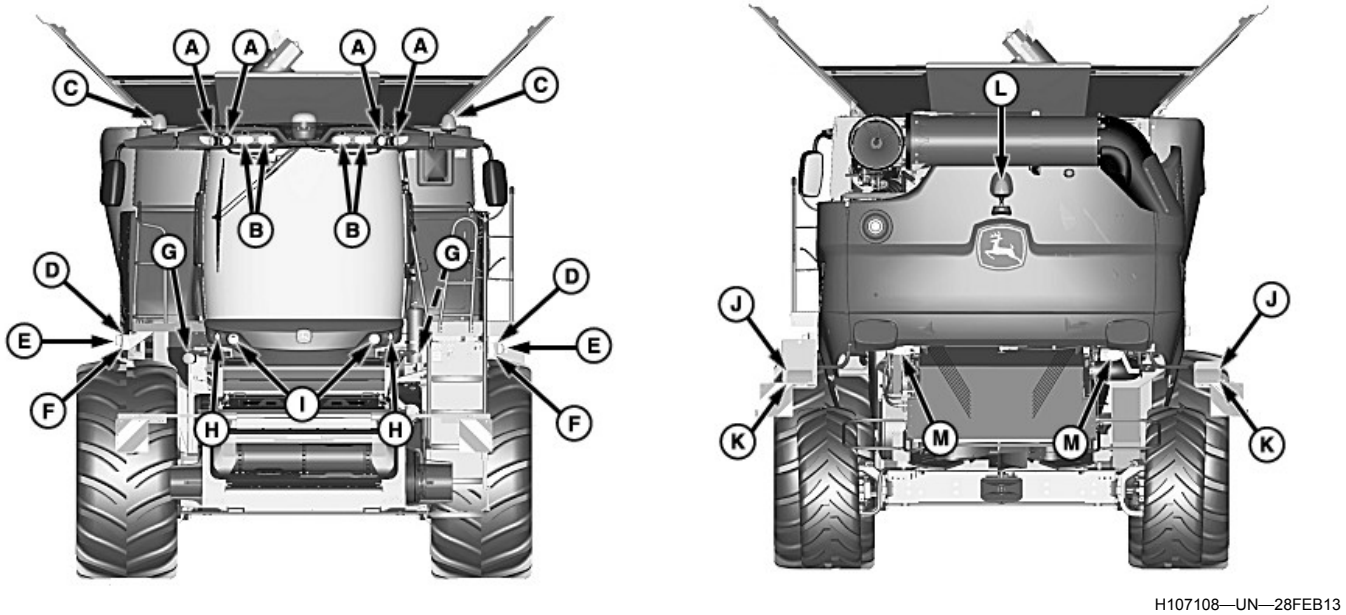
注記： セパレータを接続した後にオペレータがシートから離れると、フロントスタブルライトが点滅し、セパレータ速度がゼロになるまで点滅を続けます。

- スタブルライト (E) とフェーシアライト (F) を制御します。
- スタブルライトは、夜間運転や薄暗い条件時にヘッダーの背後の区域をさらに照らします。[1]
- フェーシアライトは収穫中に機械の前部をさらに照らします。

OUO6075,00049AD-40-31MAY18

[1] *道路ライトを ON にし、機械が道路モードの場合、スタブルライト、フェーシアライト、リア排出ライトを ON にすることはできません。*

ライトの位置 (前後のライト続き)



H107108—UN—28FEB13

A：ハロゲンキャブヘッドライトまたは発光ダイオード (LED) (オプション) キャブヘッドライト
B：キャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム)
C：ビーコンライト
D：ハザード警告灯 (琥珀色)
E：ハザード警告灯 (琥珀色)
F：マーカーライト (白)
G：スタブルライト
H：フェーシアライト (装備されている場合)
I：下部運転ライト (装備されている場合)
J：マーカー / 停止灯 (赤)
K：リアハザード警告灯 (琥珀色)
L：ビーコンライト
M：リアディスチャージライト

リアディスチャージライト

⚠ 注意： 他の運転者を混乱させないようにするために、公道での輸送時はワークライトを作動させないでください。

注記： セパレータを接続した後にオペレータがシートから離れると、リアディスチャージライトが点滅し、セパレータ速度がゼロになるまで点滅を続けます。

- リアディスチャージライト (M) を制御します。
- リアディスチャージライトは、夜間運転や薄暗い条件時に後部を照らします。[23]

マーカー / ブレーキランプ

- マーカー / ブレーキライト (J) は機械が減速を検出したときに点灯します。ライトは 2 秒以上点灯したままです。[4]
- 速度が 1.6 km/h (1 mph) 未満になると、前進方向の加速度が検出されて速度が 1.6 km/h (1 mph) を超えるまで、ブレーキランプは 2 分間点灯したままになります。

- クリアランスライトはターンインジケーターとしても機能し、方法指示灯の操作時に点灯します。右折または左折する方向のライトが点滅します。

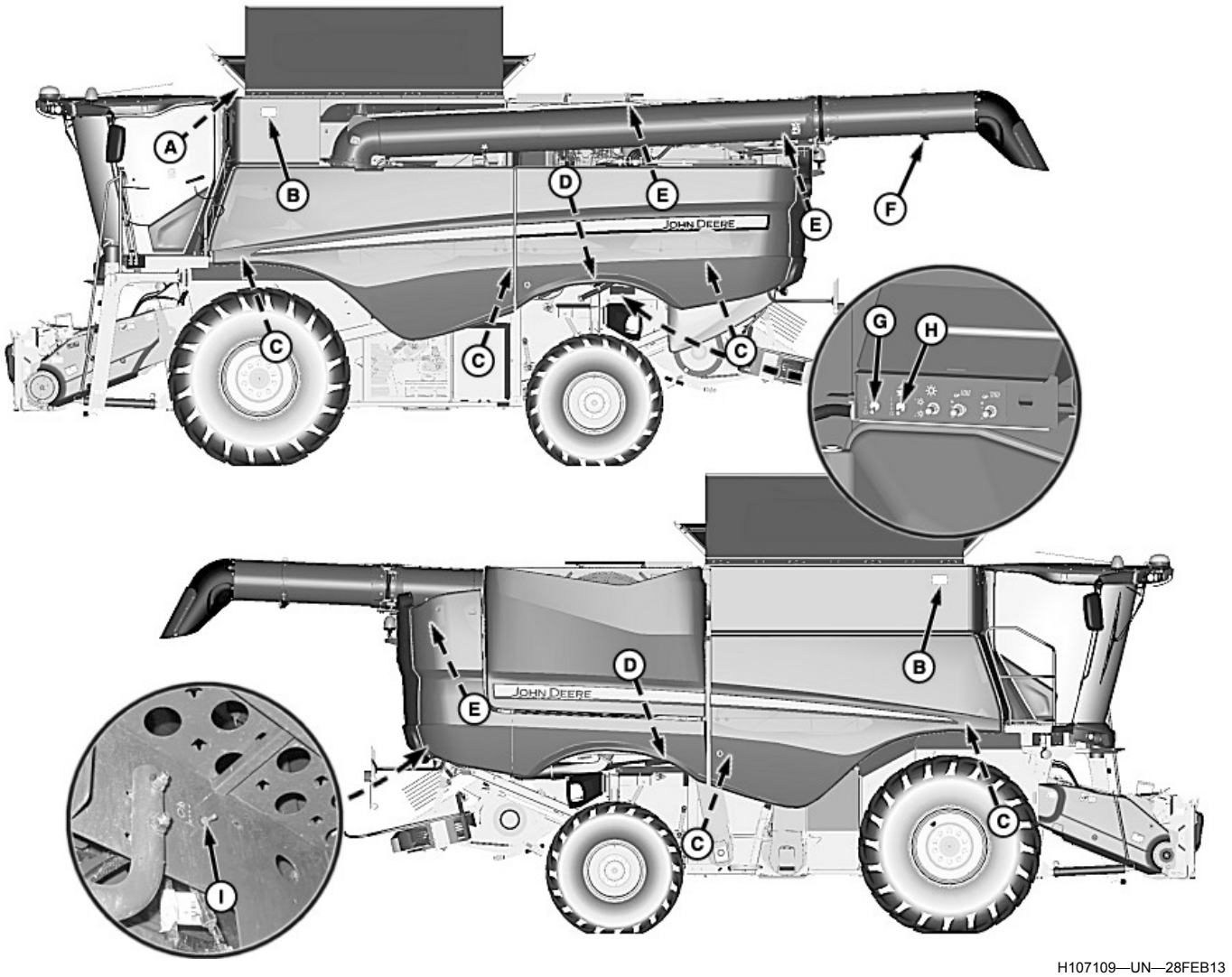
退出ライト

- キースイッチとライトスイッチを OFF にした後、最も外側の 2 つのキャブヘッドライト (B) が最長で 180 秒間点灯したままになります (その前の 5 分以内に道路ライトまたは圃場灯を使用した場合)。

OUO6075,00049AE-40-01JUN18

[2] *道路ライトを ON にし、本機が道路モードの場合、スタブルライト、フェーシアライト、リアディスチャージライトを ON にすることはできません。*
[3] *フランスのみ：本機が道路モードの場合、リアディスチャージライトは点灯しません。*
[4] *フランスのみ：停止灯はブレーキペダルを踏み込んだときに点灯します。*

ライトの位置 (左右のライト)



H107109—UN—28FEB13

A：**グレンタンクライト**
B：**側面ライト**
C：**ガルウイング整備用ライト**
D：**落とし樋整備用ライト**
E：**エンジンルーム整備用ライト**
F：**アンローディングオーガライト**
G：**落とし樋整備用ライトスイッチ**
H：**ガルウイング整備用ライトスイッチ**
I：**エンジンルーム整備用ライトスイッチ**

圃場灯

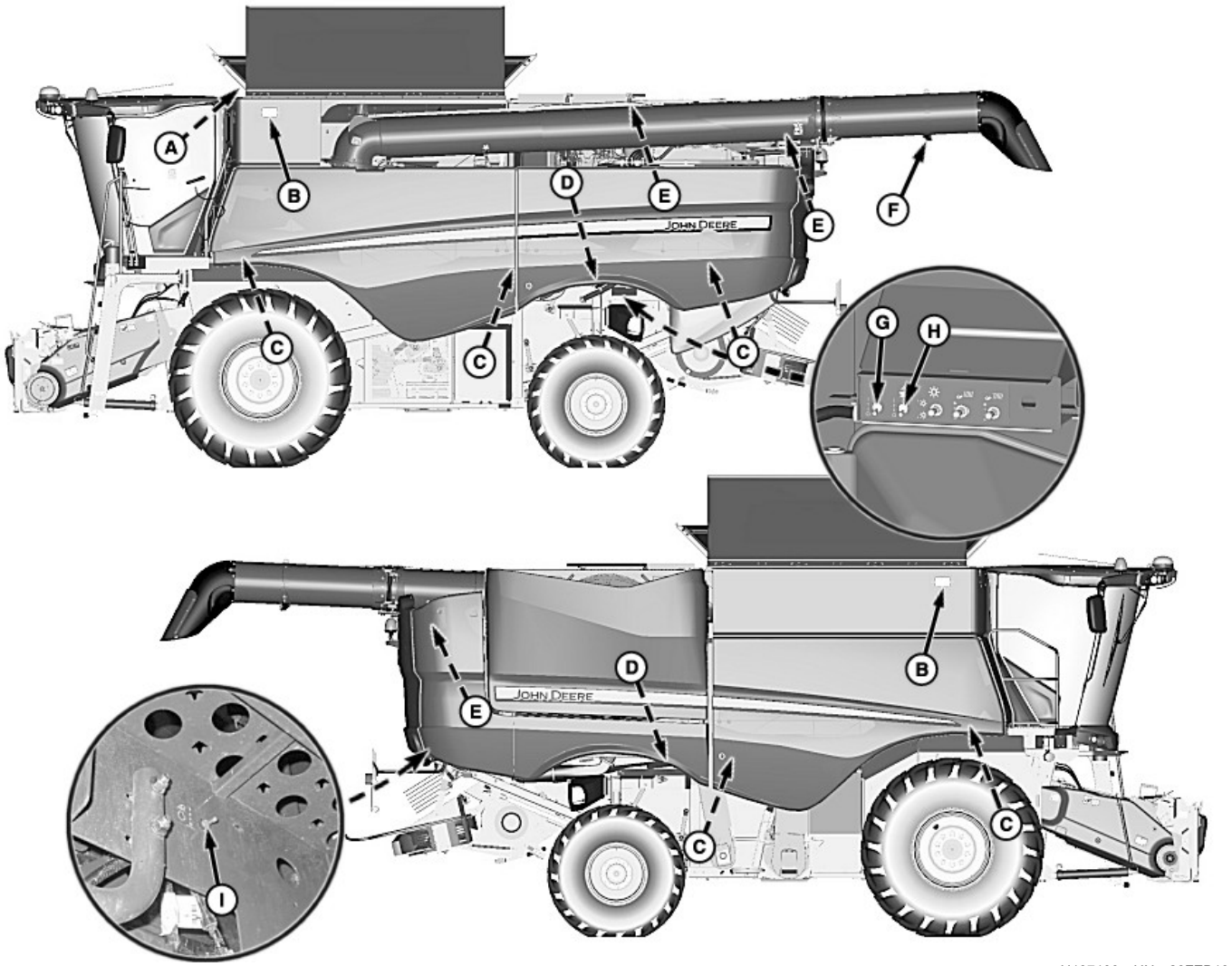
- グレインタンクライト (A)、畝照光ライト (B) (方向指示灯レバー使用)、アンローディングオーガライト (F)、マーカーマーカー / ハザードライトを制御します。
- 側面ライトは、夜間運転や薄暗い条件時に本機の両側の区域を照らします。

注記：圃場灯を ON にしているときに、方向指示灯レバーを使用して右側または左側の側面ライトを作動させます。

- グレンタンクライトは、夜間運転時および薄暗い条件時にグレンタンクを照らします。
- グレンタンクライトは穀粒が 3/4 満杯センサーに達すると消灯します。
- アンローディングオーガライトは、圃場灯スイッチを ON にしてオーガを、50% を超えて伸長させたときに点灯します。
- アンローディングオーガライトは、夜間または薄暗い条件にグレインタンクを下ろすときの照明を提供します。

OUO6075,00049AF-40-31MAY18

ライトの位置 (左右のライト、続き)



H107109—UN—28FEB13

A：**グレンタンクライト**
B：**側面ライト**
C：**ガルウイング整備用ライト**
D：**落とし樋整備用ライト**
E：**エンジンルーム整備用ライト**
F：**アンローディングオーガライト**
G：**落とし樋整備用ライトスイッチ**
H：**ガルウイング整備用ライトスイッチ**
I：**エンジンルーム整備用ライトスイッチ**

落とし樋整備用ライト

注記： セパレータを接続した後にオペレータがシートから離れると、落とし樋整備用ライトが点滅し、セパレータ速度がゼロになるまで点滅を続けます。

- 落とし樋整備用ライト (D) は、夜間または薄暗い条件時にクリーニングシュー調整のための照明を提供します。
- 落とし樋整備用ライト ON/OFF スイッチ (G) は左セパレータシールドの上にあります。
- メンテナンスおよび点検作業中に (収穫中ではなく) 点灯させてください。

ガルウイング整備用ライト (オプション)

注意： 他の運転者の混乱を回避してください。輸送中はガルウイング整備用ライトを使用しないでください。

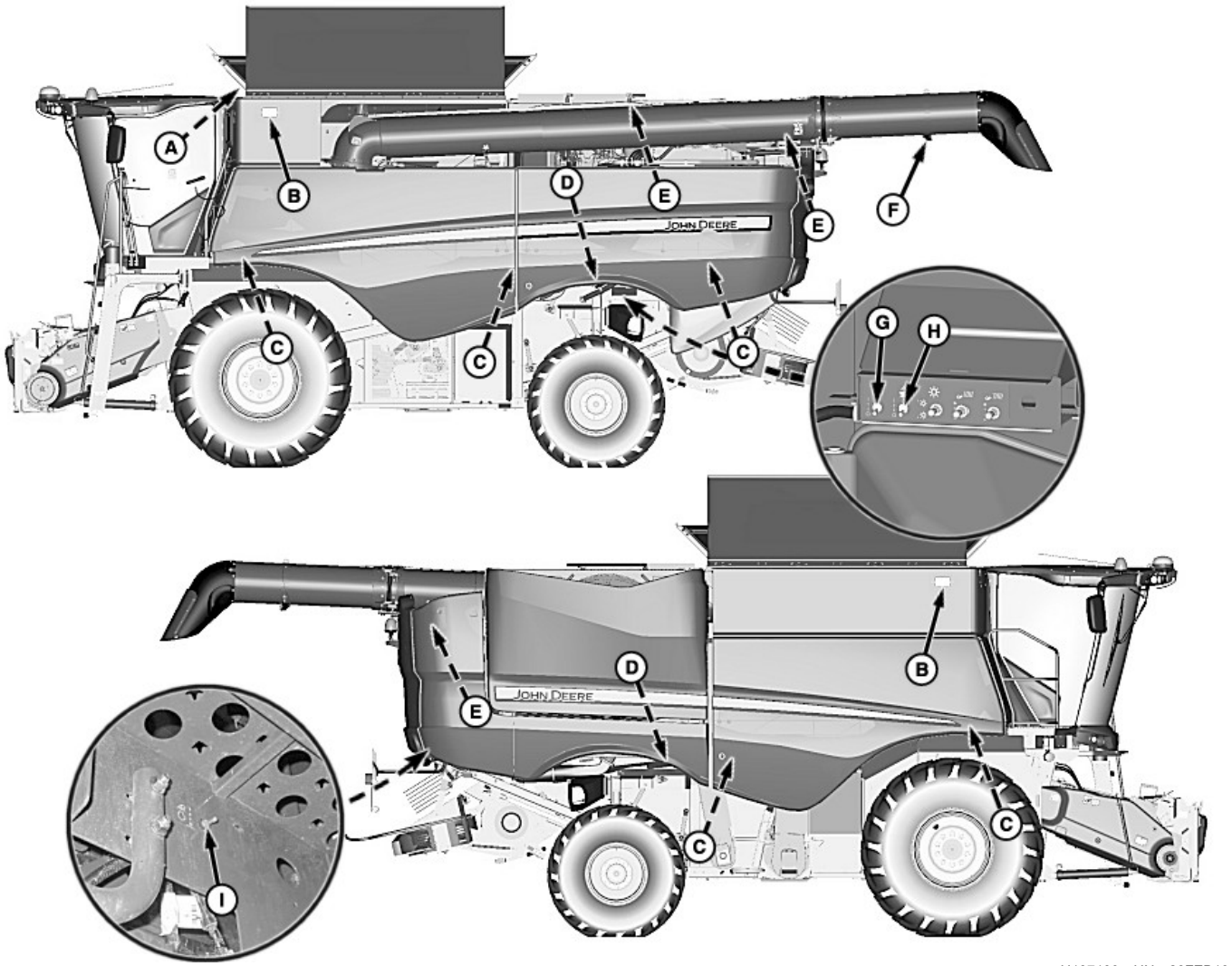
注記： セパレータを接続した後にオペレータがシートから離れると、ガルウイング整備用ライトが点滅し、セパレータ速度がゼロになるまで点滅を続けます。

- ガルウイング整備用ライト (C) は、機械両側のガルウイングドアの下に取り付けられ、セパレータエリアの視認性を高めます。

- ガルウイングサービスライト ON/OFF スイッチ (H) は左セパレータシールドの上にあります。

OUO6075,00049B0-40-31MAY18

ライトの位置 (左右のライト、続き)



H107109—UN—28FEB13

A：グレンタンクライト
B：側面ライト
C：ガルウイング整備用ライト
D：落とし樋整備用ライト
E：エンジンルーム整備用ライト
F：アンローディングオーガライト
G：落とし樋整備用ライトスイッチ
H：ガルウイング整備用ライトスイッチ
I：エンジンルーム整備用ライトスイッチ

エンジンルーム整備用ライト (オプション)

注意： 他の運転者の混乱を回避してください。輸送中はエンジンルームサービスライトを使用しないでください。

- エンジンルーム整備用ライト (E) は、夜間または薄暗い条件時にエンジンデッキエリアを照らします。
- エンジンルーム整備用ライト ON/OFF スイッチ (I) は機械の右後部にあります。
- このスイッチは、エンジンルームドアライト、リアエンジンデッキライト、およびエンジンルームフロントライトを制御します。
- メンテナンスおよび点検作業中に (収穫中ではなく) 点灯させてください。

出口ライト

- キースイッチとライトスイッチを OFF にした後、側面ライト (B) が最長で 180 秒間点灯したままになります (その前の 5 分以内に道路ライトまたは圃場灯を使用した場合)。方向指示灯レバーを使用して本機の左側または右側を選択できます。

OUO6075,00049B1-40-31MAY18

照明の遅延 / タイムアウト

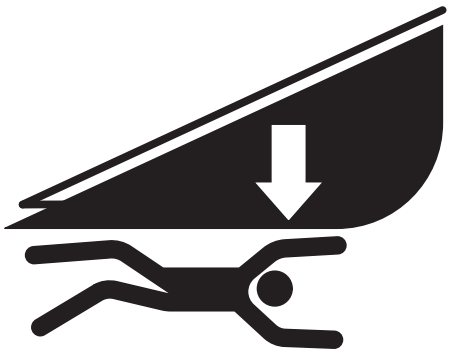
キースイッチを OFF にした状態で最初にすべてのライトを ON にすると、ライトが点灯するまでに少し遅れ

があります。機械は、機械が運転されていない状態で現在のバッテリー電圧によりライトを作動させることができるかどうかを判定しています。この機能は、機械を始動できなくなるほどの過度の電圧がバッテリーから消費されないようにするために機械に内蔵されています。

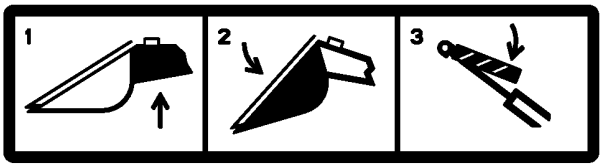
注記： クリーニングシューライト、整備用ライト、またはエンジンルーム整備用ライトを10 分以上点灯させると、ライトが点滅して瞬間的に OFF になり、その後 20 秒間点灯します。このサイクルは 3 分間続き、スイッチを入れ直すまでライトが消灯します。スイッチを入れ直した後にライトが点灯しない場合、機械はライトを作動させるにはバッテリー電圧が低すぎると判定しています。エンジンを運転してバッテリーが充電されると、ライトは再び点灯します。

OUO6075,0004937-40-12APR18

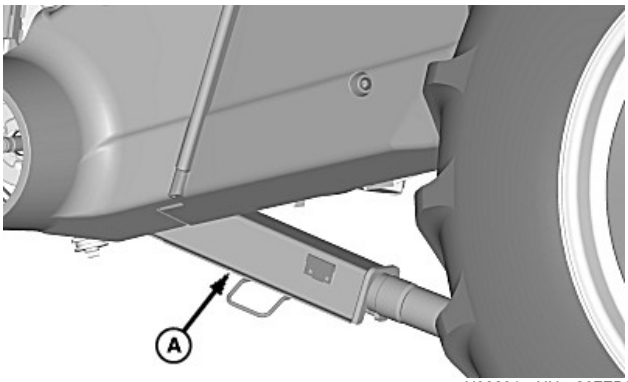
油圧シリンダの安全ストップ



H121063—UN—14MAR17



H112829—UN—18FEB15



H90891—UN—26FEB08

A：**安全ストップ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

油圧ライン継手に亀裂が入るとフィーダーハウスが下がり、フィーダーハウスとヘッダーが瞬時に落下します。

手動フィーダーハウス前後傾斜

フィーダーハウスを完全に上昇させ、安全ストップ (A) を油圧シリンダロッドの上に下ろします。

エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

油圧フィーダーハウス前後傾斜

フィーダーハウスを完全に上昇させ、油圧フィーダーハウス前後傾斜フレームを完全に前に傾斜させて安全ストップ (A) を油圧シリンダロッドの上に下ろします。

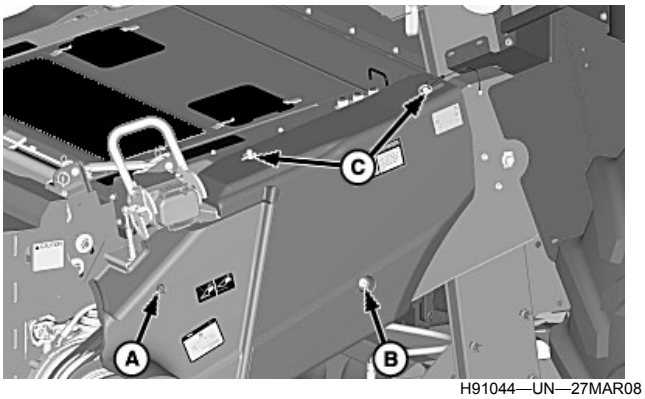
エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

注記： フィーダーハウスを上昇させてヘッダーを接続すると、フィーダーハウス前後傾斜によりフィーダーハウスが自動的に前に移動するので、フィーダーハウスの安全ストップを油圧シリンダロッドまで下げることができます。下降する際、フィーダーハウス前後傾斜が前回の位置まで自動的に戻ります。

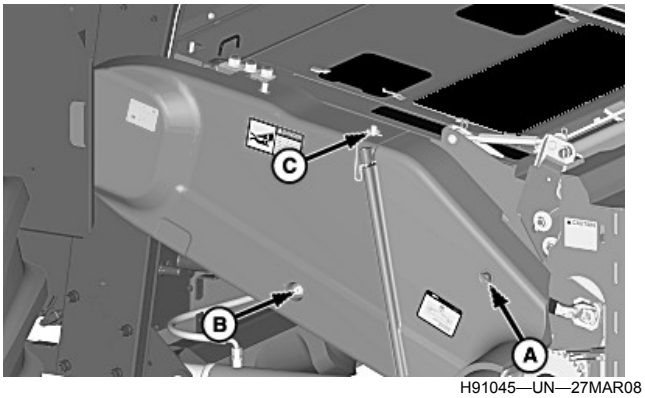
ヘッダーの接続を解除すると、上昇時にフィーダーハウス前後傾斜が自動的に前に移動します。下降する際、フィーダーハウス前後傾斜は前回の位置まで戻りません。

OUO6075,00046F1-40-29MAR17

フィーダーハウスサイドシールド



H91044—UN—27MAR08



H91045—UN—27MAR08

A：**掛け金ラッチ**
B：**掛け金ラッチ**
C：**クイックロックピン**

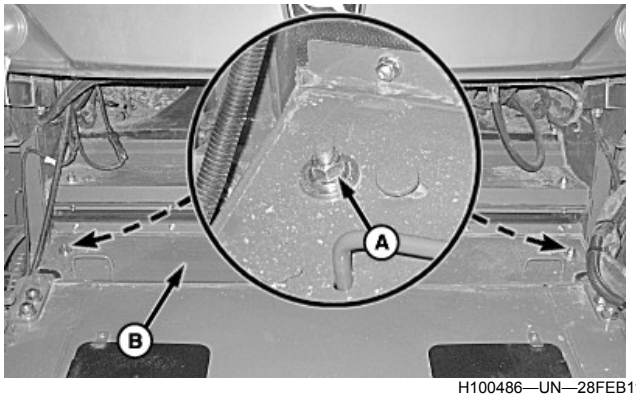
注意： **フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

フィーダーハウスシールドには、フロントシールドとリアシールドがあります。

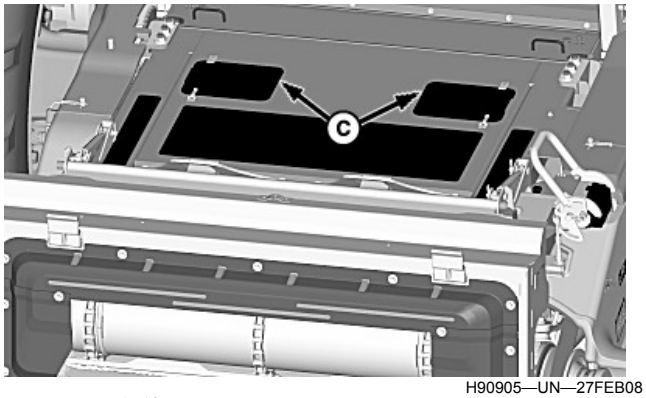
1. ラッチ (A) を回し、フロントシールドを旋回させて開いて点検を行います。
2. 掛け金ラッチ (B) を回してクイックロックピン (C) を取り外し、リアシールドを取り外します。
3. 本機を操作する前にシールドを取り付けて閉めます。

OUO6075,0004E85-40-16JUN20

フィーダーハウスドア



H100486—UN—28FEB11



H90905—UN—27FEB08

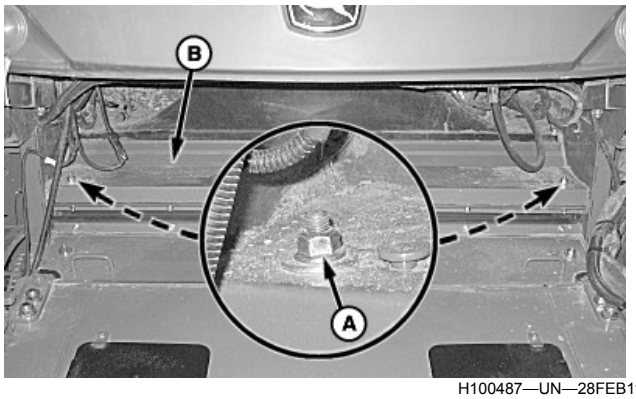
A：**ナット (2 個使用)**
B：**ドア**
C：**ドア (2 個使用)**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

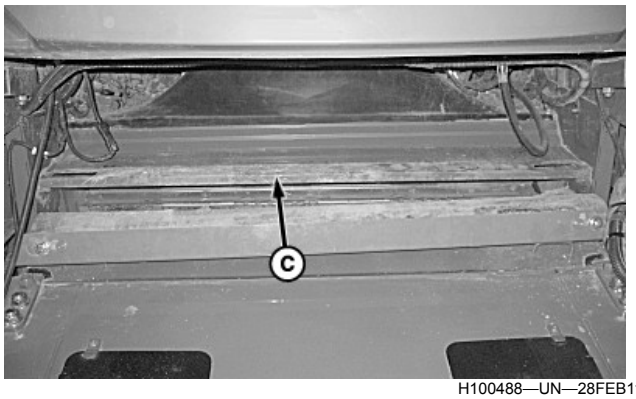
1. ドアの各側のナット (A) を緩めて、ナットをフィーダーハウスの中心に向けて押します。
2. ドア (B) を前方に引っ張って取り外します。
3. ドア (C) を持ち上げてフィーダーハウスの内側にアクセスします。
4. 本機を操作する前にドアを閉めます。

OUO6075,0004E86-40-16JUN20

フィードアクセルレータのトップアクセスドア



H100487—UN—28FEB11



H100488—UN—28FEB11

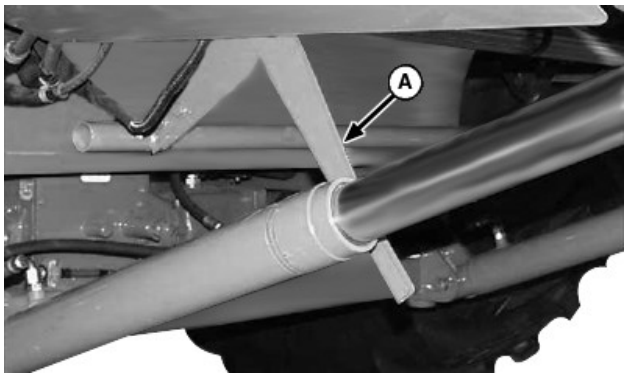
A：**ナット (2 個使用)**
B：**ドア**
C：**ドア**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

1. ドアの各側のロックナット (A) を緩めて、ロックナットを本機の中心に向けて押します。
2. ドア (B) を前方に引っ張って取り外します。
3. ドア (C) を前方にスライドさせて取り外します。
4. 本機を操作する前にドアを閉めます。

OUO6075,0004E87-40-16JUN20

フィーダーハウス底部ドアとフィードプレートシールサポート (スタイル A)



H52761—UN—17MAY99

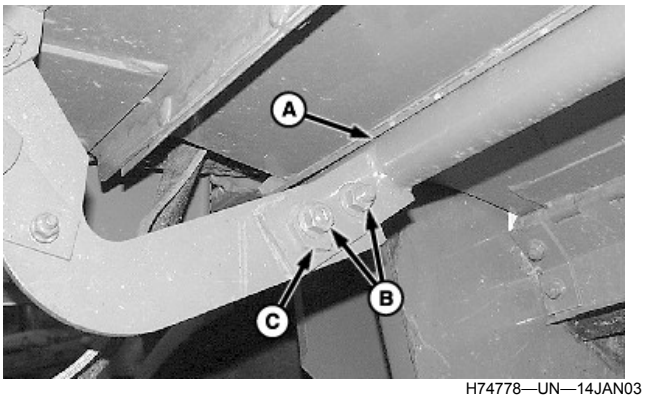
A：**レバー**

注意： **フィーダーハウスを上げ、安全ストップを下げて、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

クイックロックピンを取り外してレバー (A) を下後方に動かし、ドアを開きます。

重要： **フィーダーハウスを下げたときにレバーが下がっている場合、レバーが曲がります。**

レバーを前方に上に押してドアを閉めます。前の手順で取り外したクイックロックピンで固定します。



H74778—UN—14JAN03

A：**クロスバーサポート**
B：**キャップスクリュー**
C：**偏心部**

クロスバーサポート (A) がフィードプレートに対して緊密に密閉されていない場合、グレン漏れが発生することがあります。

両側のキャップスクリュー (B) を緩めます。

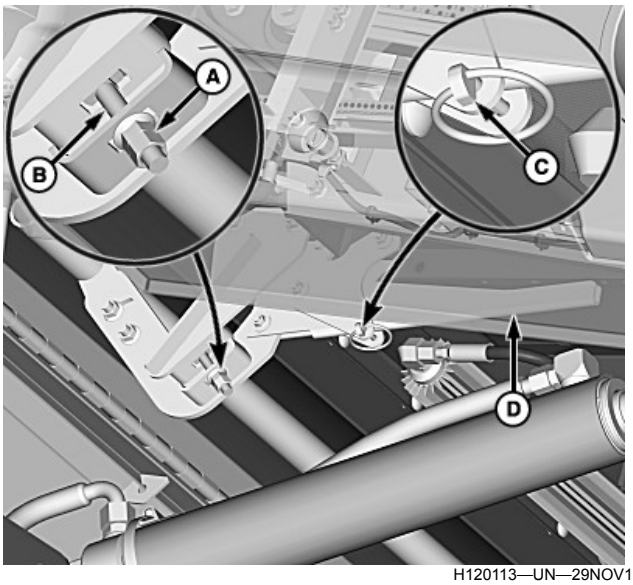
偏心部 (C) を回します。

偏心部を固定するボルトを締め付けます。

残りのキャップスクリューを締め付けます。

OUO6075,0004554-40-01DEC16

フィーダーハウス底部ドアとフィードプレートシールサポート (スタイル B)



H120113—UN—29NOV16

A：**ナット**
B：**丸頭ボルト**
C：**クイックロックピン**
D：**レバー**

注意： **フィーダーハウスを上げ、安全ストップを下げてください。エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

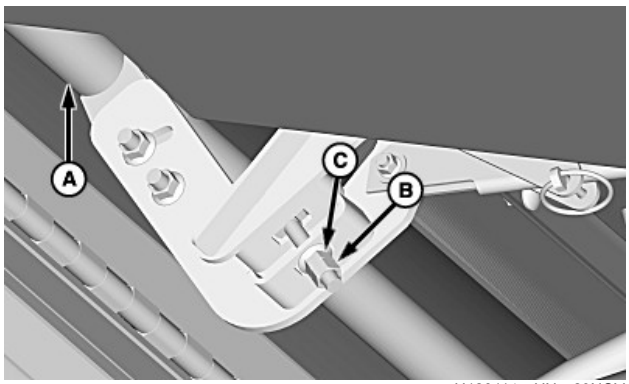
1. ナット (A) と丸頭ボルト (B) を機械の両側から取り外します。
2. クイックロックピン (C) を取り外してレバー (D) を下後方に動かします。

注意： **フィーダーハウスを下に動かしているときにドアが開いたままになっていると、左側フィーダーハウスのリフトシリンダホース継手がフィーダーハウス底部に接触して損傷する可能性があります。継手が損傷した場合、作動油が継手から漏出してフィーダーハウスが急に予期せず地面に落下する可能性があります。**

重要： **レバーを下げたままにしていると、フィーダーハウスを下降させたときにレバーが曲がります。**

3. レバーを前方に上に押してドアを閉めます。前の手順で取り外したクイックロックピンで固定します。
4. 前の手順で取り外したボルト (B) とナット (A) を機械の両側に取り付けます。

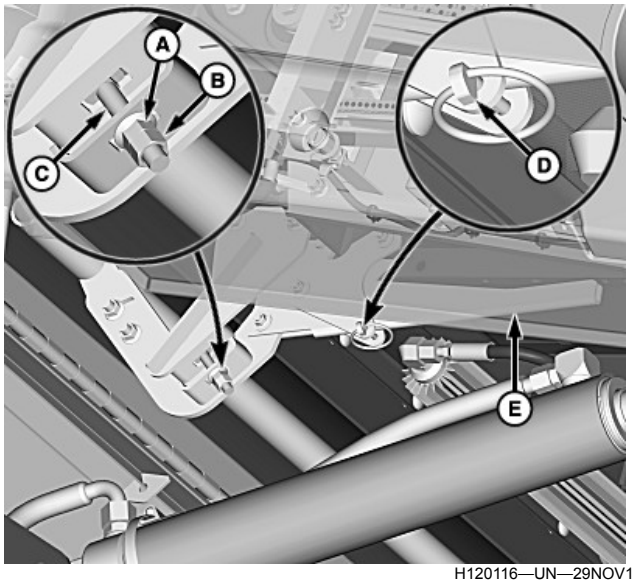
フィードプレートの調整



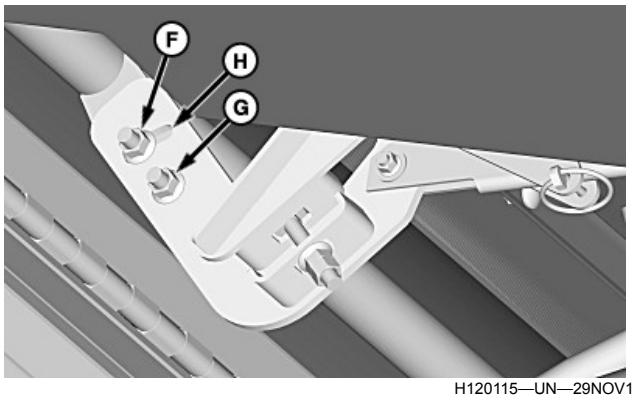
H120114—UN—29NOV16

A：**クロスバーサポート**
B：**ナット**
C：**ナット**

1. クロスバーサポート (A) がフィードプレートに対して緊密に密閉されていない場合、グレン漏れが発生することがあります。
2. 必要に応じて、隙間がある側のナット (B) を緩めてナット (C) を締め付けます。
3. 前の手順で緩めたナット (B) をナット (C) に対して締め付けます。



H120116—UN—29NOV16



H120115—UN—29NOV16

A：**ナット**
B：**ナット**
C：**丸頭ボルト**
D：**クイックロックピン**
E：**レバー**
F：**ナット**
G：**ナット**
H：**スロット**

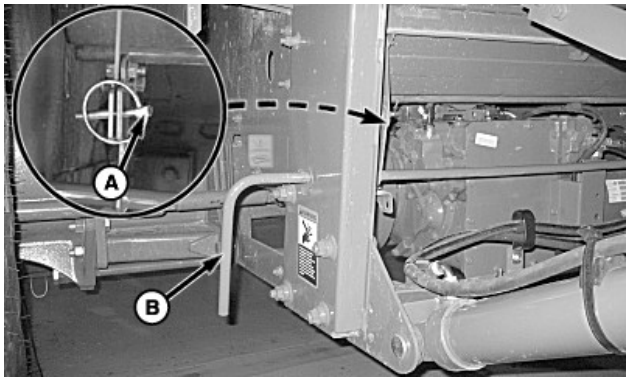
4. さらに調整が必要な場合は、機械の両側の丸頭ボルト (C) からナット (A、B) を取り外します。
5. クイックロックピン (C) を取り外してレバー (E) を下後方に動かします。
6. ナット (F、G) を緩めて、スロット (H) のクロスバーサポートを必要に応じて調整します。
7. 前の手順で緩めたナット (F、G) を締め付けます。

注記： レバーは、強い力をかけなくても簡単に閉まります。

8. レバー (E) を前方に上に押してドアを閉めます。前の手順で取り外したクイックロックピン (D) で固定します。
9. 機械の両側で、前の手順で取り外した丸頭ボルト (C) を取り付けて、ナット (A) を締め付けます。
10. 本機の両側で、前の手順で取り外したナット (B) をナット (A) に対して締め付けます。

OUO6075,0004CB9-40-24OCT19

ストーントラップ



H99239—UN—01DEC10

A：**クイックロックピン**
B：**レバー**

⚠ 注意： フィーダーハウスを上げ、安全ストップをさげて、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

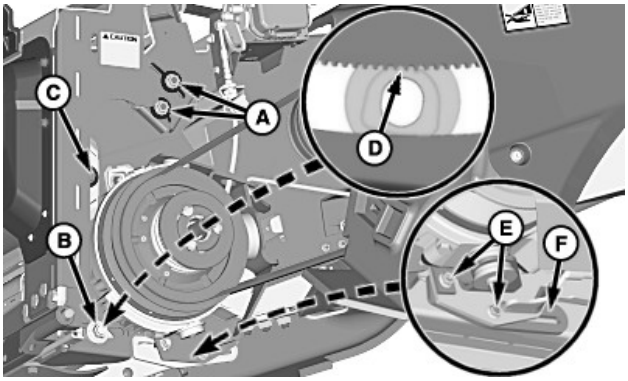
ストーントラップは岩や石による損傷からシリンダおよびコンケーブを保護します。

クイックロックピン (A) を取り外し、レバー (B) を上に動かしてストーントラップを開きます。

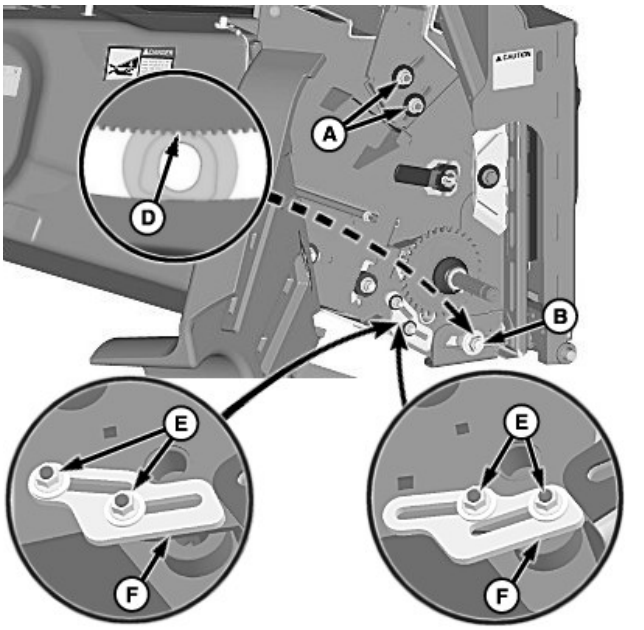
レバーを下に動かしてストーントラップを閉めます。クイックロックピンで固定します。

OUO6075,000065C-40-01DEC10

フィーダーハウス前後傾斜フレームの調整と設定 (手動傾斜)



H95791—UN—22MAR10



H105003—UN—08MAR12

後方の穴 *(左)* / 前方の穴 *(右)*

A：**傾斜フレームのナット、M16**
B：**傾斜フレームのナット、M20**
C：**キャップスクリュー**
D：**ワッシャスプライン**
E：**ナット**
F：**ストッププレート**

⚠ 注意： ヘッダーを地面に下ろして、前後傾斜フレームのターンバックルから張力を解放します。エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

前後傾斜フレームを使用して、プラットフォームスキッドプレートと地面との間の正しい関係を設定します。これは異なるタイヤサイズ、リア車軸設定、その他の変動要因について補正します。

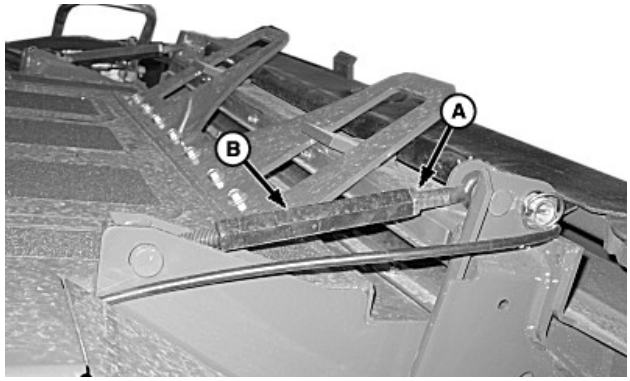
両側の傾斜フレームのナット (A) とナット (B) を緩めます。

重要： ボルト (C) は緩めないでください。

両側のサポートプレートからワッシャスプライン (D) を外します。

注記： 必要に応じて、右側のストッププレートを後方の取り付け穴に移動します。

両側のナット (E) を緩めてストッププレート (F) を後方に動かします。



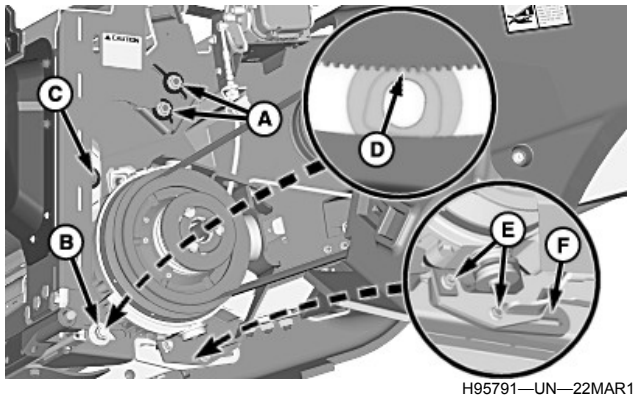
H105751—UN—05SEP12

A：**ナット**
B：**ターンバックル**

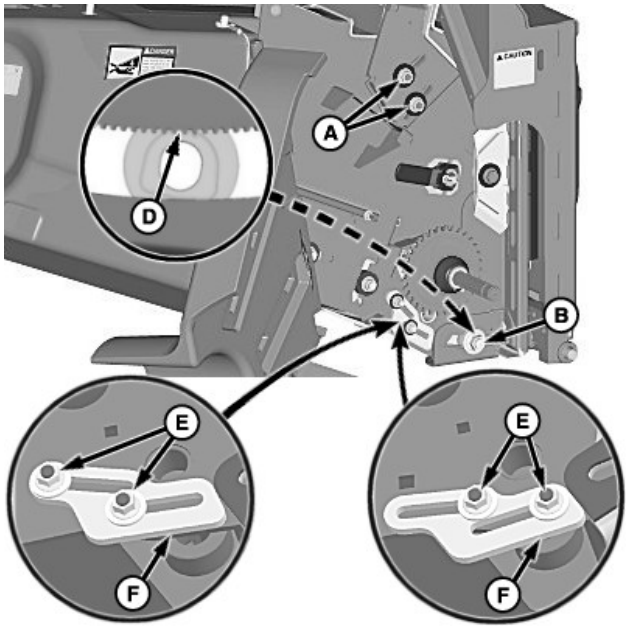
重要： 前後傾斜フレームを調整するときは、マルチカプラーのホースクランプの位置を変える必要がある場合があります。

必要に応じて正しいヘッダー角度にするために両側のナット (A) を緩めてターンバックル (B) を調整します。

両側のターンバックルのナットを締め付けます。



H95791—UN—22MAR10



H105003—UN—08MAR12

後方の穴 *(左)* / 前方の穴 *(右)*

A：**傾斜フレームのナット、M16**
B：**傾斜フレームのナット、M20**
C：**キャップスクリュー**
D：**ワッシャスプライン**
E：**ナット**
F：**ストッププレート**

ワッシャスプライン (D) をサポートプレートにかみ合わせて両側のナット (A、B) を規定のトルクで締付けます。

仕様

M16 傾斜フレームのナット
(A)：トルク. . . . . 300 N·m (221 lb-ft)

M20 傾斜フレームのナット
(B)：トルク. . . . . 620 N·m (460 lb-ft)

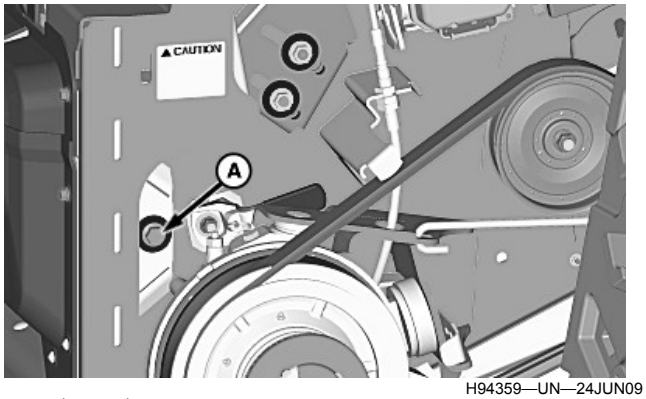
重要：**ナットを締め付けた後、ストッププレートと前後傾斜フレームの間に隙間がないようにする必要があります。**

注記：必要に応じて、右ストッププレートを前後の穴に取り付けます。

両側のストッププレート (F) を前方いっぱいまで動かしてナット (E) を規定のトルクで締付けます。

仕様

ストッププレートのナット：トルク. . . . . 130 N·m (96 lb-ft)



H94359—UN—24JUN09

A：**ピボットボルト**

傾斜フレームは工場で概略の位置に設定されていますが、タイヤや車軸位置を変更したり、地面条件が変わったりした場合 (軟らかい地面など)、再調整が必要になることがあります。

概略の設定は、ヘッダーを取り付けない状態で以下の手順に従って実現できます。

- 機械を滑らかで水平な面に駐車して、ピボットボルト (A) から地面までの距離が仕様値に設定されるまでフィーダーハウスを下げるか上げます。

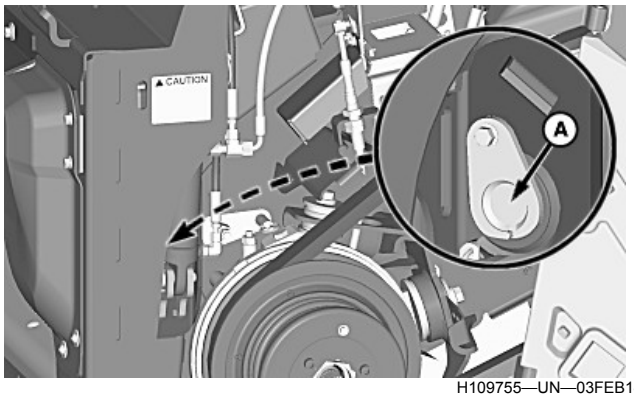
仕様

ピボットボルトから地面までの：距離. . . . . 903 mm (35-1/2 in)

- 水準器を基準として使用し、前面が垂直になるまで前後傾斜フレームを調整します。

OUO6075,0001757-40-12MAR14

フィーダーハウス前後チルトフレームのゼロ点設定 (油圧傾斜) (装備されている場合)



H109755—UN—03FEB14

A：**ピボットピン**

注意：**キャリブレーション実行中は機械の周囲に近づかないように他の人に警告してください。**

前後傾斜フレームを使用して、プラットフォームスキッドプレートと地面との間の正しい関係を設定しま

す。これにより、異なるタイヤサイズ、リアアクスル設定、その他の変動要因について補正します。

チルトフレームは工場出荷時におおよその位置に設定されていますが、タイヤや車軸の位置が変わったり、地面の状態が変わったりした場合 (軟らかい地面など)、ゼロ点の再調整が必要になることがあります。

注記： 圃場の状態が標準の場合は、キャリブレーションをコンクリートの平坦な面上で実行できます。

圃場の状態が軟らかい (わだちが残る) 場合は、キャリブレーションを圃場の平坦な場所で実行する必要があります。

概略の設定は、ヘッダーを取り付けていない状態で実現できます。フィーダーハウス傾斜前後範囲のキャリブレーションを行うには、「キャリブレーションアプリケーションのヘルプ」または「運転席のヘルプ」を参照してください。キャリブレーション中に、以下の項目を測定することによりゼロ点を設定します：

1. 前/後フレームを前方いっぱいに傾けます。
2. ピボットピン (A) から地面までの距離が仕様通りに設定されるまでフィーダーハウスを上げ下げします。

仕様

ピボットピンから地面まで (開始点) ：距離	1016 mm (40 in)

注記： また、レベルを使用して、前面が垂直になるまで前後チルトフレームを調整できます。

3. 前面が地面に対して垂直なるように、前後チルトフレームを調整します。
4. 前後チルトフレームが地面に対して垂直な場合、または前後チルトフレームの前面が垂直な場合は、ピボットピンから地面までの距離がほぼ仕様通りに設定されます。

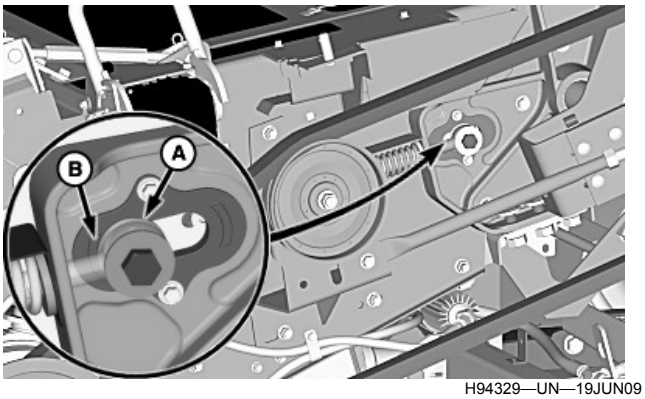
仕様

ピボットピンから地面まで (最終点) ：距離	903 mm (35 ~ 1/2 in)

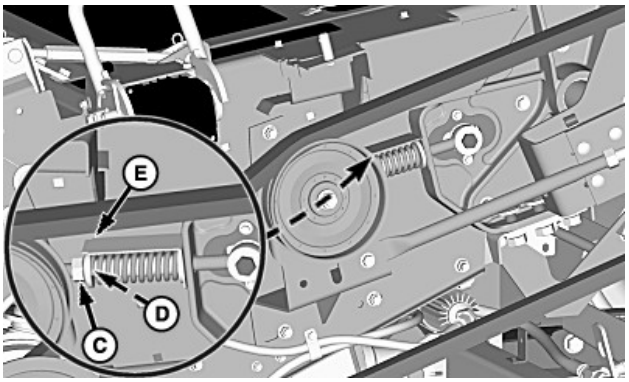
注記： キャリブレーション中に、前/後のチルトフレーム調整によってピボットピンから地面までの距離が、最初は 1016 mm (40 in) から最終点の約 903 mm (35-1/2 in) まで変わります。

OUO6075,0004F61-40-14MAY21

フィーダーハウスコンベアチェーン：調整



H94329—UN—19JUN09



H94336—UN—22JUN09

A：**座金**
B：**エンボス**
C：**ナット**
D：**座金**
E：**ゲージ**

両側のフィーダーハウスシールドを取り外します。

図に示すように座金 (A) がフロントエンボス (B) の内側の端と整列したときは、各チェーンストランドのオフセットリンク 1 個を取り外す必要があります。

座金 (D) がゲージ (E) の端と段差の底部に間になるまでフィーダーハウスの両側のナット (C) を締め付けます。

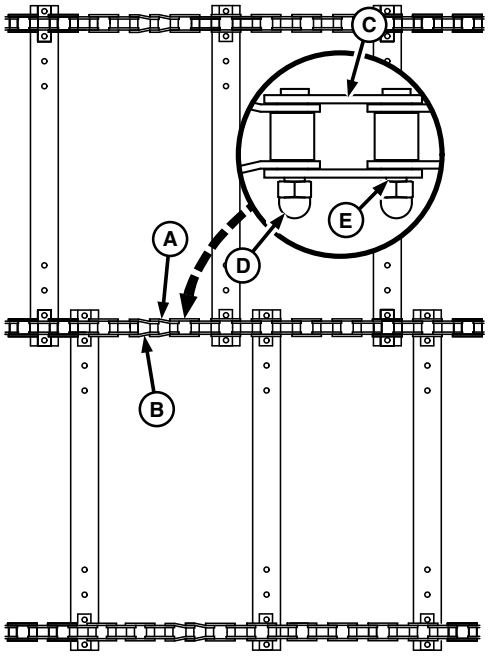
注記： 最初の 100 時間は、25 時間ごとに両側の張力を点検します。

- その後、100 時間ごとに両側の張力を点検します。座金のいずれかの部分がゲージの端部を越えた場合は調整してください。
- 真円ではないスプロケットやドラムおよび曲がったシャフトを使用すると、チェーン張力の不均一、きつすぎ、緩すぎが発生することがあります。
- 過度のチェーン張力はシャフトやベアリングの故障の原因になります。

フィーダーハウスサイドシールドを取り付けます。

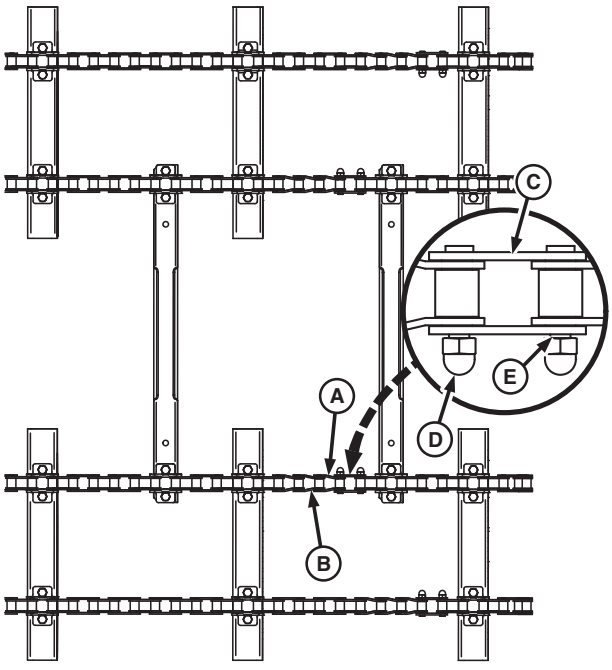
OUO6075,000067C-40-22NOV10

フィーダーハウスコンベアチェーンリンク：取り外し



H87543—UN—17APR07

3 ストランドフィーダーハウスコンベアチェーン



H109687—UN—30JAN14

4 ストランドフィーダーハウスコンベアチェーン

A：**オフセットリンク**
B：**オフセットリンク**
C：**サイドバー**
D：**袋ナット**
E：**隙間**：**1 ~ 2 mm (3/64 in ~ 5/64 in)**

注記： 3 ストランドフィーダーハウスコンベアチェーンは HillMaster™ 機械のみで利用できます。

チェーンリンクを交換するときは必ずスプロケットの摩耗を点検してください。

初期チェーン調整では、オフセットリンク (A) を取り外します。

2 回目の調整では、オフセットリンク (B) を取り外します。2 回目の調整で調整を使い切った場合、チェーンが使い古されているため交換する必要があります。

仕様

"U" スラット M10 金具：トルク. . . . . 73 N·m (54 lb-ft)

チェーンリンク M8 袋ナット：

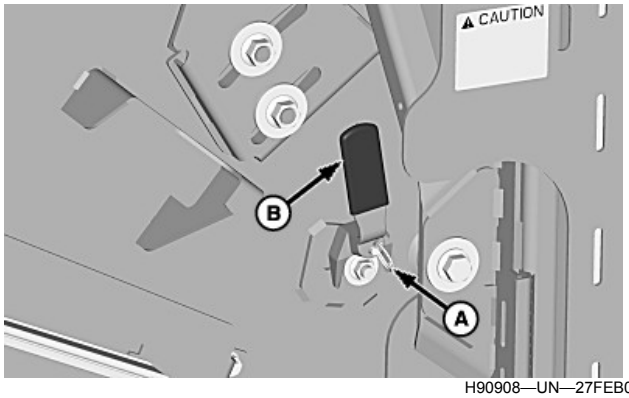
トルク. . . . . 25 N·m (18 lb-ft)

重要： **コネクタリンクを取り付けている場合、袋ナットをドラムリングから離して配置する必要があります。**

チェーンリンク袋ナット (D) を規定のトルクで締付けるときは、コネクタリンクサイドバー (C) と袋ナットの間に隙間 (E) がある必要があります。

OUO6075,0001755-40-03FEB14

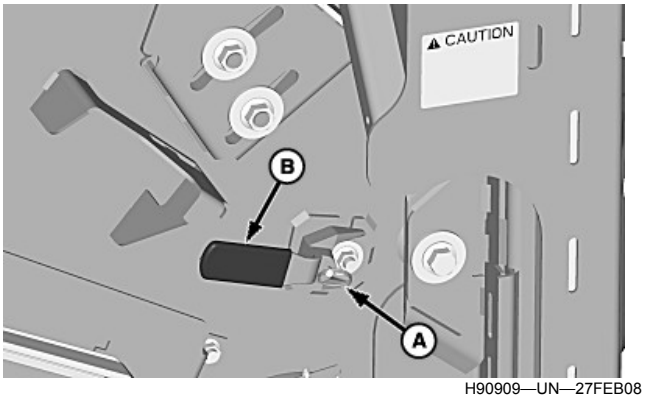
フィーダーハウスドラム (手動傾斜)—高さ調整



H90908—UN—27FEB08

とうもろこし専用位置

HillMaster は Deere & Company の商標です。



H90909—UN—27FEB08

小粒穀物用位置

A：ピン
B：ドラム高さハンドル

注意： フィーダーハウスを上げ、安全ストップを下げて、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

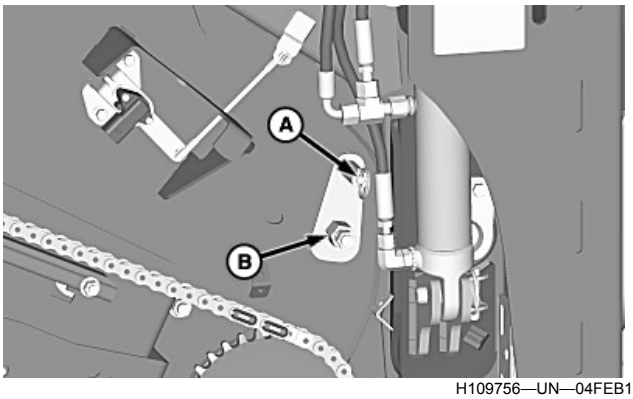
フィーダーハウスシールドを開きます。

両側でハンドル (B) を必要な作物位置まで回しながらピン (A) を引っ張って保持します。

フィーダーハウスシールドを閉めます。

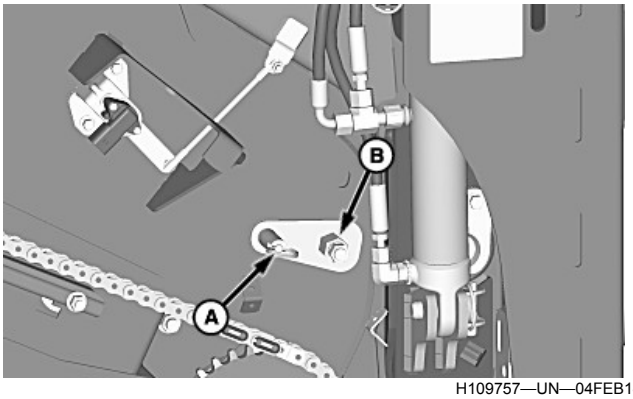
SS43267,0000377-40-18FEB14

フィーダーハウスドラム (油圧傾斜) (装備されている場合)—高さ調整



H109756—UN—04FEB14

とうもろこし専用位置



H109757—UN—04FEB14

小粒穀物用位置

A：ピン
B：ドラム高さハンドル

注意： フィーダーハウスを上げ、安全ストップを下げて、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

フィーダーハウスシールドを開きます。

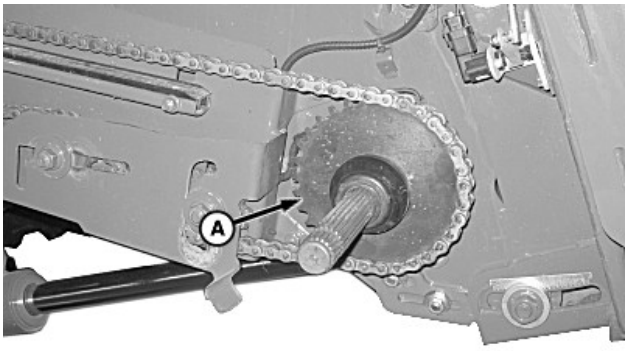
両側で、ピン (A) を引っ張りながらドラム高さハンドル (B) を必要な作物位置まで回します。

注記： ソケットまたはレンチを使用して、ドラム高さハンドルを回転させます。

フィーダーハウスシールドを閉めます。

SS43267,00004EA-40-05MAR15

フィーダーハウスコンベア速度：変更



H102187—UN—13JUN11

A：スプロケット

注意： フィーダーハウスを上げ、安全ストップをさげて、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

注記： 推奨されているフィーダーハウスコンベアスプロケットの設定については、「作物の設定」セクションを参照してください。

歯数 32 のスプロケットに関する重要な注意事項：

- トウモロコシ用途にはスプロケットは推奨されません。

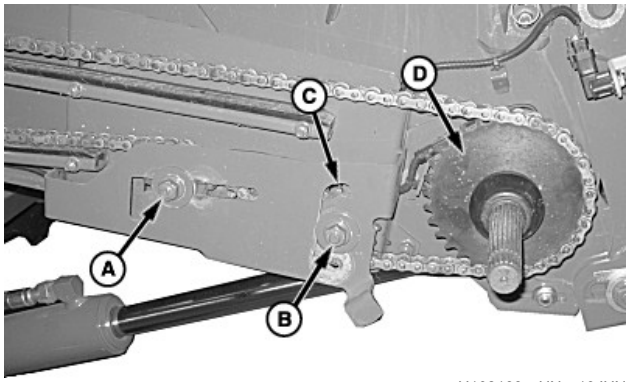
以下に示す作物や条件により供給が不十分である条件でお勧めします。

- **作物**： オオムギ、アブラナ、カラスムギ、イネ、ライムギ、コムギ
- **条件**： 大量、未乾燥作物、湿気を含んだ作物、ウィンドロー、供給不足

作物条件の変化または供給の改善 (作物の乾燥化、より均一なウィンドロー、わらの軽量化) にしたがって、歯数 26 のスプロケットの使用をお勧めします。チェーン速度を遅くすると、わらの損傷や前脱穀の可能性が低くなってチェーンの寿命が延びます。

フィーダーコンベアチェーンは、下部シャフトの右側にあるドライブスプロケット (A) を選択することにより 2 種類の異なる速度に設定できます。

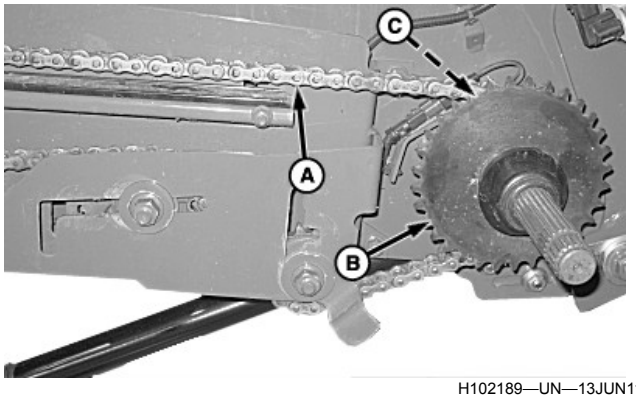
速度を遅くするには小型のスプロケットを使用し、速度を速くするには大型のスプロケットを使用します。



H102188—UN—13JUN11

A：**ナット**
B：**ナット**
C：**上部位置**
D：**スプロケット**

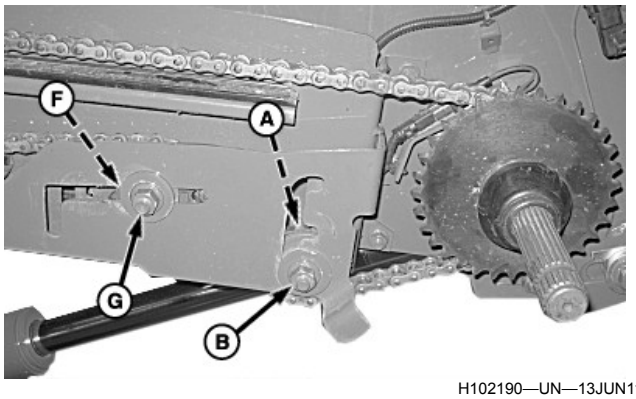
1. **ドライブチェーンで小型のスプロケットを使用するには**：右フロントシールドを開きます。
2. ナット (A) を緩めてスプロケットを後方に押します。
3. ナット (B) を緩めてスプロケットを上部位置 (C) に動かします。
4. カプラーを押して、デント位置にかみ合うまでスプロケット (D) を外側に動かします。



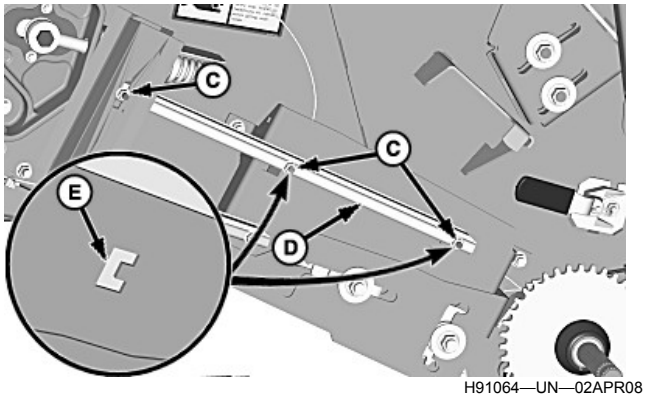
H102189—UN—13JUN11

A：**チェーン**
B：**大型のスプロケット**
C：**小型のスプロケット**

5. チェーン (A) を大型のスプロケット (B) から小型のスプロケット (C) に動かします。



H102190—UN—13JUN11



H91064—UN—02APR08

A：**スプロケット**
B：**ナット**
C：**ナット**
D：**チェーンガイド**
E：**ノッチ**
F：**スプロケット**
G：**ナット**

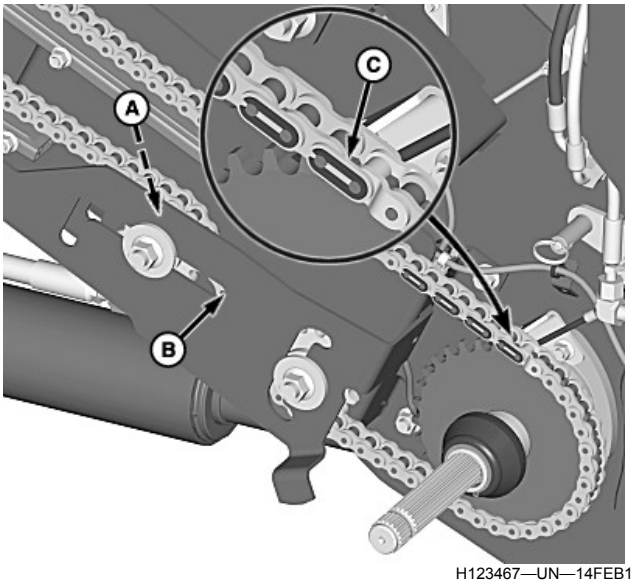
6. スプロケット (A) を下側の位置に動かしてナット (B) を締め付けます。
7. ナット (C) を緩めて、チェーンガイド (D) を必要なノッチ (E) にスライドさせてナットを締め付けます。

注記： フィーダーコンベアドライブチェーンを締め付けすぎないでください。チェーンがプラスチックガイドに乗り上げるのは許容されます。

8. バールを内側プレートの穴に入れて、スプロケット (F) を前方に動かしてナット (G) を締め付けます。
9. 右フロントシールドを閉めます。

OUO6075,0000661-40-13JUN11

フィーダーハウスコンベア駆動チェーンリンク—取り外し



H123467—UN—14FEB18

A：**スプロケット**
B：**スロットの端部**
C：**コネクタリンク**

駆動チェーンが時間の経過とともに伸びるのは正常です。追加のコネクタリンクにより、駆動チェンを長く使用できます。

注記： コネクタリンクを取り外すときは、必ずスプロケットの摩耗を点検してください。

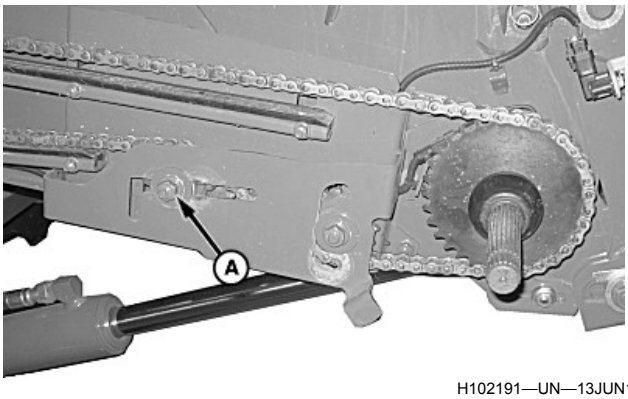
スプロケット (A) がスロット (B) の端部に達したら、コネクタリンク (C) を取り外します。

詳しくは、「フィーダーハウスコンベア駆動チェーン—調整」を参照してください。

最終調整を使い切った場合、チェーンが使い古されているためチェーンを交換する必要があります。

OUO6075,00048B0-40-04JUN19

フィーダーハウスコンベアドライブチェーン：調整



H102191—UN—13JUN11

A：**ナット**

⚠ 注意： フィーダーハウスを上げ、安全ストップをさげて、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

右フロントシールドを開きます。

ナット (A) を緩めてスプロケットを後方に押します。

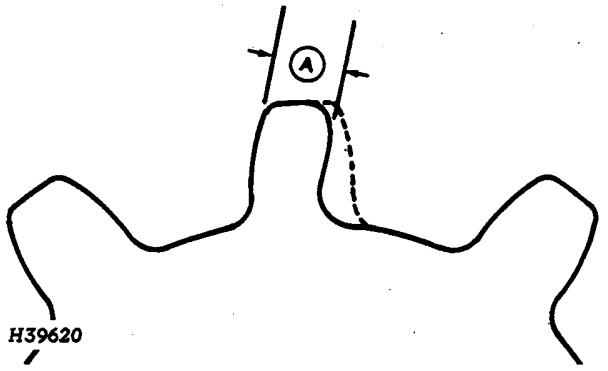
注記： フィーダーコンベアドライブチェーンを締め付けすぎないでください。チェーンがプラスチックガイドに乗り上げるのは許容されます。

バールを内側プレートの穴に入れて、スプロケットを前方に動かしてナット (A) を締め付けます。

右フロントシールドを閉めます。

OUO6075,0000662-40-13JUN11

フィーダーハウス上部シャフトスプロケット



H39620—UN—11OCT88

A：**寸法 12 mm (1/2 in)**

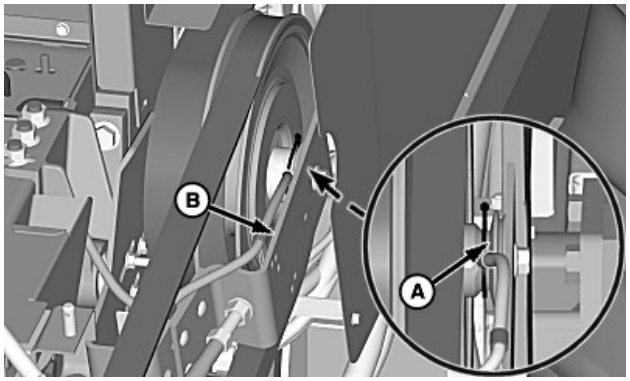
1,000 時間後、収穫している作物に応じて上部シャフトスプロケットの摩耗を点検してください。

これらのスプロケットが 12 mm (1/2 in) (A) を超えて摩

耗している場合、スプロケットを逆にして今後の摩耗に対応することができます。

OUO6075,0000665-40-02FEB10

フィーダーハウスバリアブルスピードドライブベルト：交換



H90912—UN—28FEB08

A：**ゴムブーツ**
B：**ブラケット**

注意： **下部バリアブルスピードシーブはスプリング張力がかかっています。ベルトを取り外した場合、閉位置に突然跳ね返ります。**

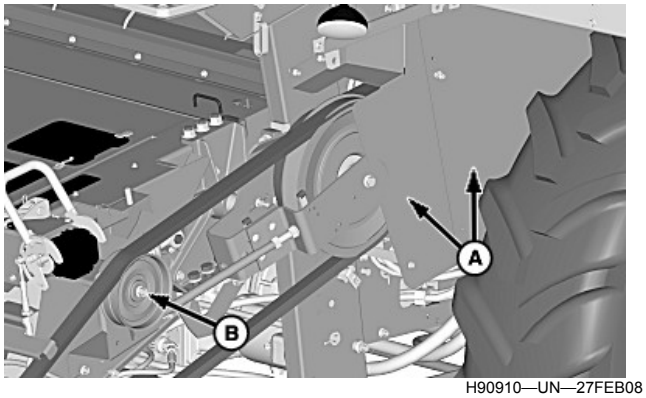
エンジンを始動し、セパレータを接続してエンジン回転数スイッチをファストアイドルに切り替えます。**フィーダーハウスドライブベルトを低フロントシャフト速度に調整します。**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

セパレータの接続を解除し、エンジンを停止してキーを抜きます。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

ゴムブーツ (A) の下側を確認して上部シーブが完全に開いているか確認します。低速位置では、外側シーブのつばはブラケット (B) に対向しています。

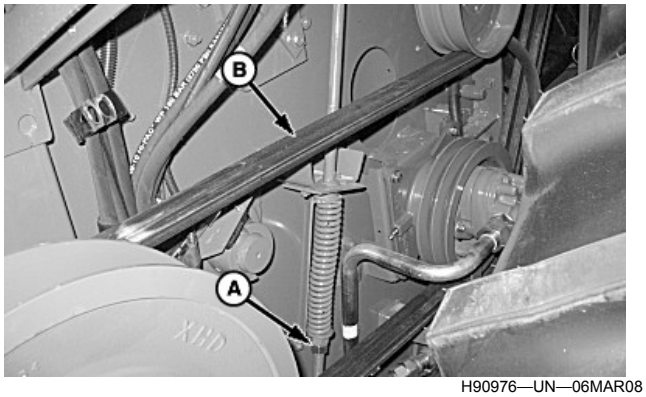


H90910—UN—27FEB08

A：**シールド**
B：**ナット**

シールド (A) を取り外します。

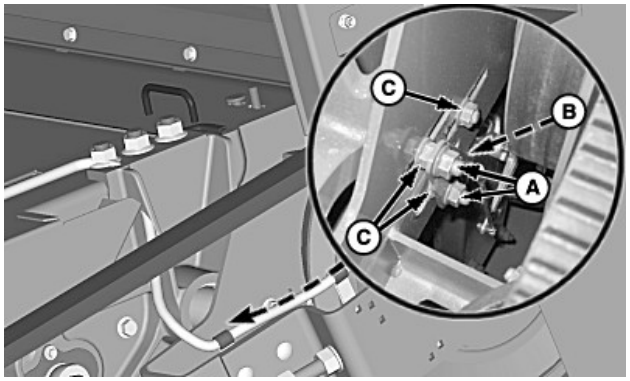
アイドラナット (B) を緩めてドライブベルト張力を解放します。



H90976—UN—06MAR08

A：**ナット**
B：**ドライブベルト**

ナット (A) を緩めて、リールドライブベルト (B) の張力を解放します。

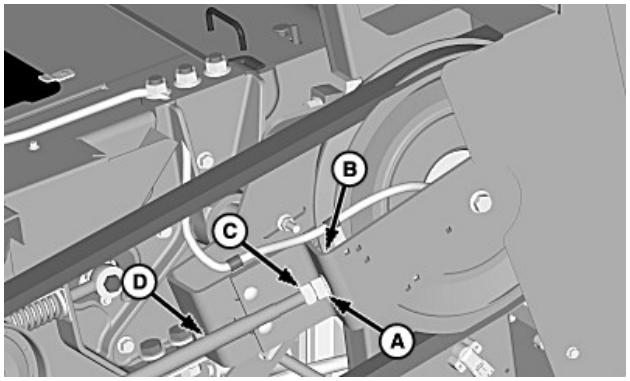


H90967—UN—05MAR08

A：**ナット (2 個使用)**
B：**ブラケット**
C：**ナット (3 個使用)**

ナット (A) とブラケット (B) を取り外して保管します。

ナット (C) を緩めて上部シーブアセンブリを動かせるようにします。



H90913—UN—28FEB08

A：**ナット**
B：**ブラケット**
C：**ナット**
D：**テンショナ**

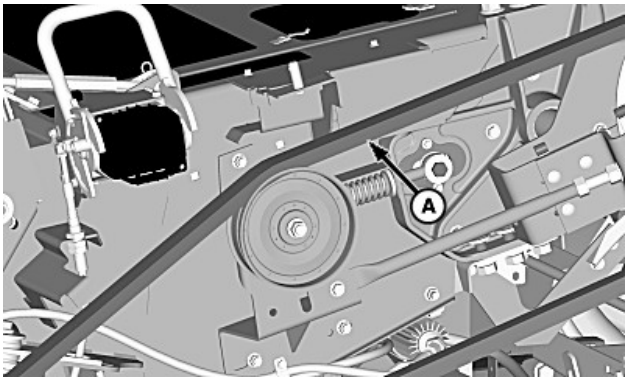
注記： ナット (C) はナット (A) に接触するまで動かす必要があります。これらのナットはテンショナボルトを回すために一緒に使用できます。

ブラケットの両側で 3 mm (1/8 in) の隙間が得られるまで、ナット (A) を緩めてブラケット (B) から離します。

ナット (C) をナット (A) に対して締め付けます。

注記： ボルトをテンショナにねじ込むと、シーブが前方に移動してドライブベルトが外れます。

ナット (A) を使用してテンショナ (D) にボルトをねじ込みます。



H90911—UN—28FEB08

A：**ドライブベルト**

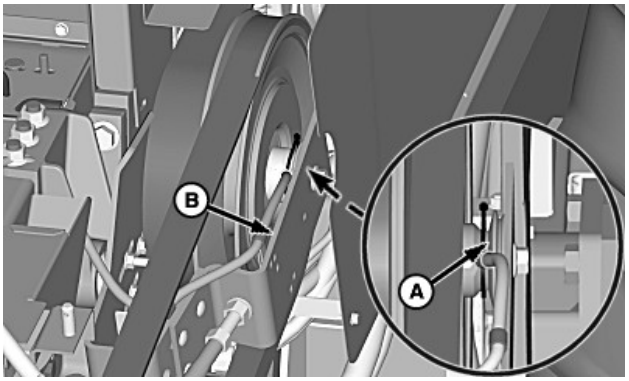
ドライブベルト (A) をシーブから取り外します。

交換用ドライブベルトを取り付けて張力を調整します。(「フィーダーハウスバリアブルスピードベルト：調整」を参照してください)。

前の手順で取り外したブラケットとフィーダーハウスシールドを取り付けます。

OUO6075,0000666-40-02FEB10

フィーダーハウスバリアブルスピードドライブベルト：調整



H90912—UN—28FEB08

A：**ゴムブーツ**
B：**ブラケット**

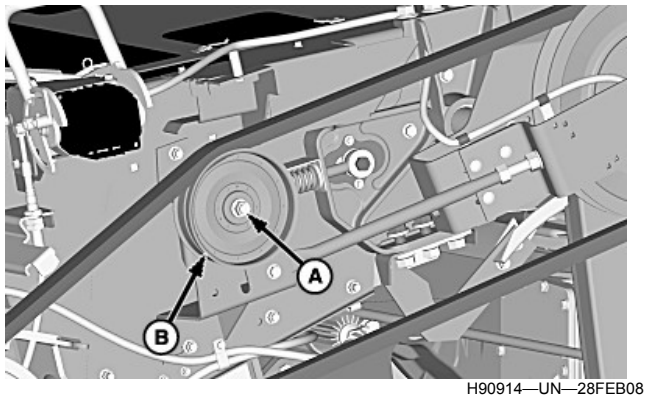
注記： アイドラを上げてバリアブルスピードベルトに対して軽微な調整を行うことができます。アイドラを上げても 3 mm (1/8 in) の隙間が得られない場合は、次の手順を実行します。

エンジンを始動し、セパレータを接続してエンジン回転数スイッチをファストアイドルに切り替えます。**フィーダーハウスドライブベルトを低フロントシャフト速度に調整します。**

セパレータの接続を解除し、エンジンを停止してキーを抜きます。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

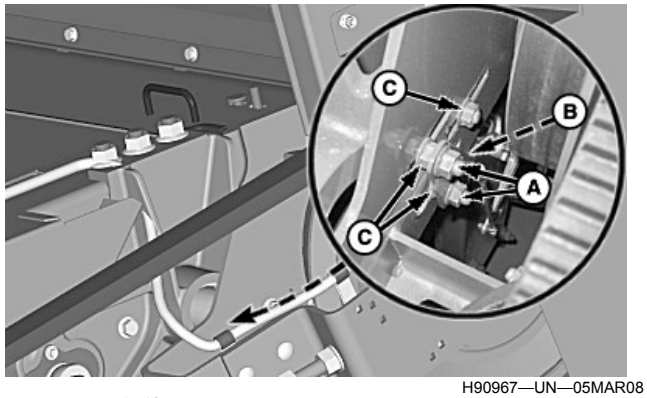
ゴムブーツ (A) の下側を確認して上部シーブが完全に開いているか確認します。低速位置では、外側シーブのつばはブラケット (B) に対向しています。



H90914—UN—28FEB08

A：**ナット**
B：**アイドラ**

ナット (A) を緩めてアイドラ (B) を下側の位置に調整します。

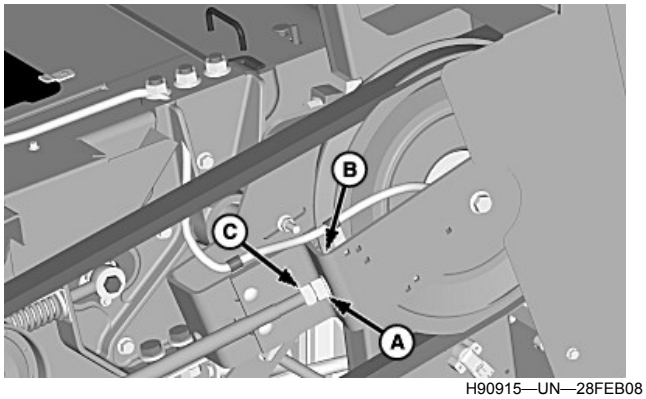


H90967—UN—05MAR08

A：**ナット (2 個使用)**
B：**ブラケット**
C：**ナット (3 個使用)**

ナット (A) とブラケット (B) を取り外して保管します。

ナット (C) を緩めて上部シーブアセンブリを動かせるようにします。



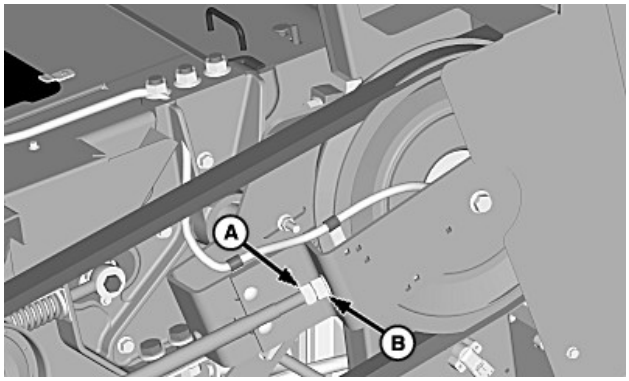
H90915—UN—28FEB08

A：**ナット**
B：**ブラケット**
C：**ナット**

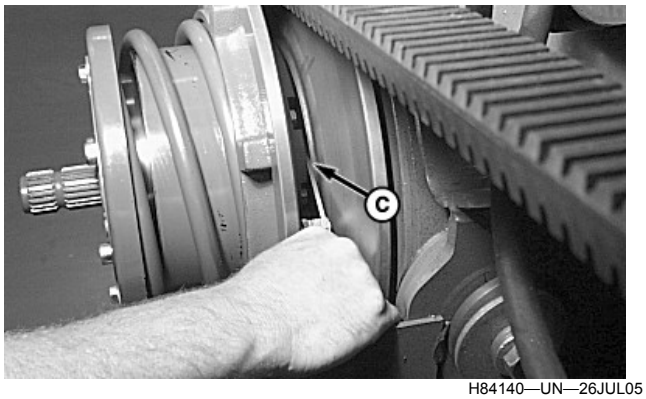
注記： ナット (C) はナット (A) に接触するまで動かす必要があります。これらのナットはテンショナボルトを回すために一緒に使用できます。

ブラケットの両側で 3 mm (1/8 in) の隙間が得られるまで、ナット (A) を緩めてブラケット (B) から離します。

ナット (C) をナット (A) に対して締め付けます。



H90916—UN—28FEB08



H84140—UN—26JUL05

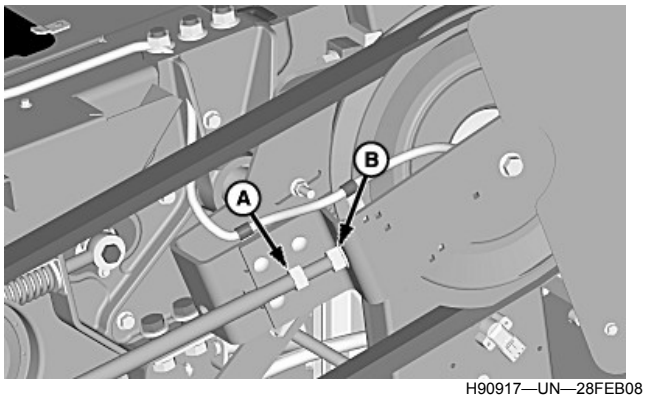
A：**ナット**
B：**ボルト**
C：**隙間**：**3 mm (1/8 in)**

重要： シーブ隙間を調整中にベルトを回転させます。シーブ隙間を調整中にベルトを回転させなかった場合、ベルトが損傷します。

シーブのつば間の隙間は重要です。これにより、低速位置のときにシーブのつばがベルトを保持できます。カッティングプラットフォームのドライブシャフト速度は低速位置にある必要があります。

ナット (A) を緩めてボルト (B) を調整します。

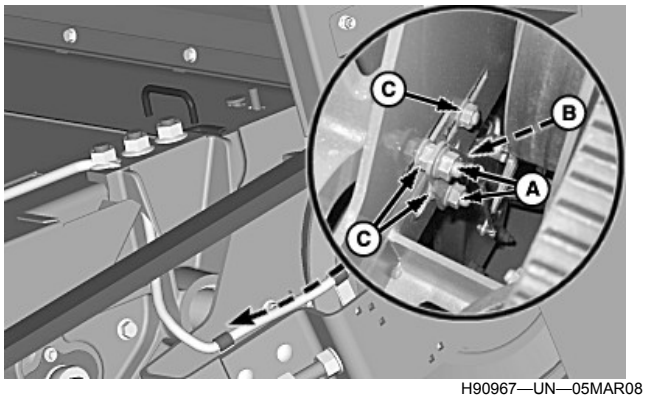
下部シーブのつばの間に 3 mm (1/8 in) の隙間が得られるまで、または上部シーブアセンブリがスロットの端に達するまで、 ボルトを使用して上部バリアブルスピードシーブを動かします。



H90917—UN—28FEB08

A：**ナット**
B：**ナット**

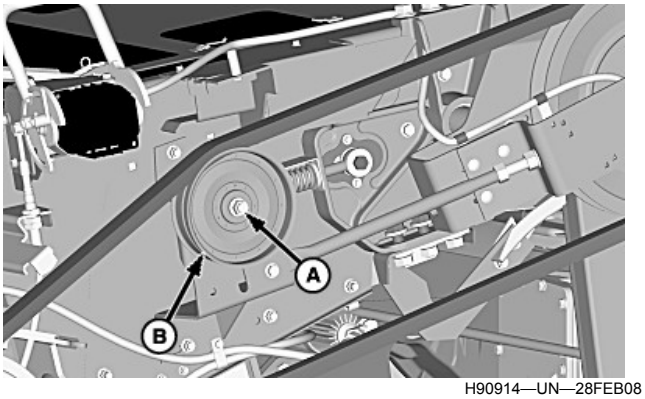
ナット (A) を最初に締め付けてからナット (B) を締め付けます。



H90967—UN—05MAR08

A：**ナット (2 個使用)**
B：**ブラケット**
C：**ナット (3 個使用)**

ナット (C) を締め付けて、ブラケット (B) を取り付けてナット (A) で固定します。



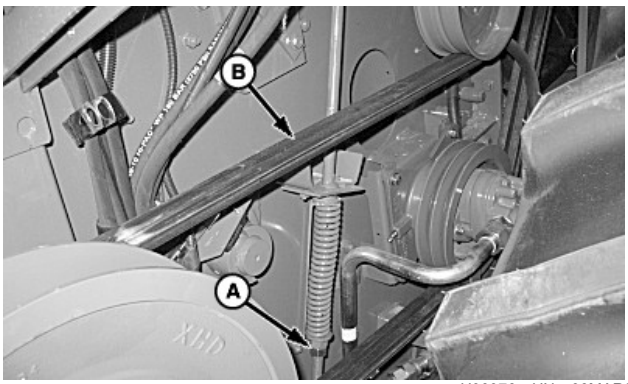
H90914—UN—28FEB08

A：**アイドラ**
B：**ナット**

重要： **アイドラを押し上げて隙間を設定するときにベルトの上に立たないでください。**

アイドラがドライブベルトに接触するまでアイドラ (A) を上げます。

シーブをさらに 25 mm (1 in) 上げてナット (B) を締め付けます。



H90976—UN—06MAR08

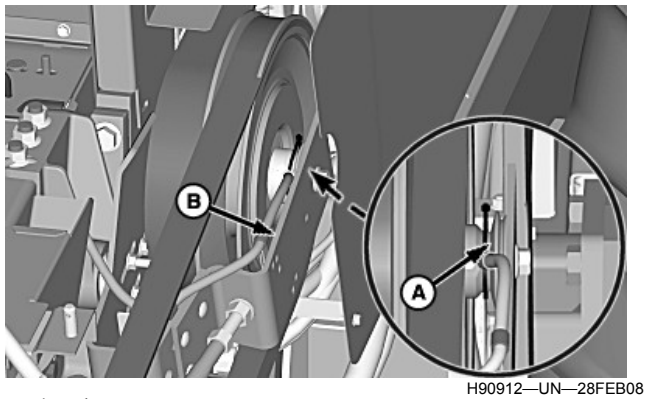
A：**ナット**
B：**ドライブベルト**

調整ナット (A) を締め付けてゲージの端部と段差の底部の間に座金を配置してリールドライブベルト (B) を調整します。

フィーダーハウスシールドを取り付けます。

OUO6075,0000667-40-02FEB10

ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (可変速度フィーダーハウス) — 交換



H90912—UN—28FEB08

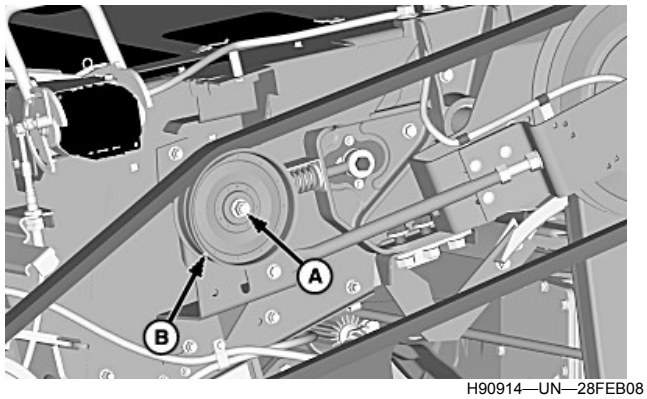
A：**ゴムブーツ**
B：**ブラケット**

注意： **下部可変速度シーブはスプリング張力がかかっています。ベルトを取り外した場合、閉位置に突然跳ね返ります。**

1. エンジンを始動して、セパレータを接続します。
2. アームレストのハイアイドルエンジン回転数スイッチを押します。
3. **フィーダーハウス駆動ベルトを低フロントシャフト速度に調整します。**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

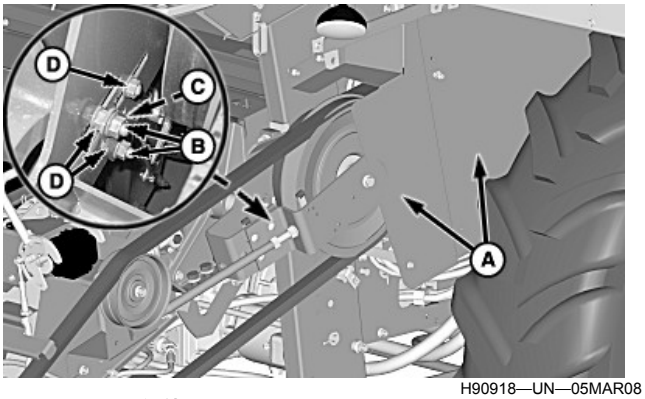
4. セパレータの接続を解除し、エンジンを停止してキーを抜きます。
5. 安全ストップを下ろして左側フィーダーハウスシールドを取り外します。
6. ゴムブーツ (A) の下側を確認して上部シーブが完全に開いているか確認します。低速位置では、外側シーブのつばの膨らんだ部分がブラケット (B) に接触しています。



H90914—UN—28FEB08

A：**アイドラナット**
B：**シーブ**

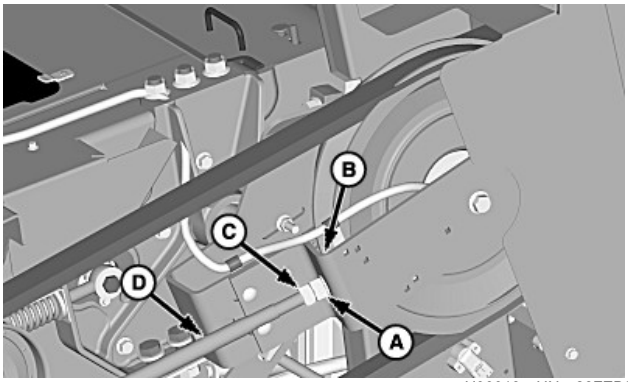
7. アイドラナット (A) を緩めてシーブ (B) を下にスライドさせ、駆動ベルトの張力を解放します。



H90918—UN—05MAR08

A：**シールド (2 個使用)**
B：**ナット (2 個使用)**
C：**センサーブラケット**
D：**ナット (3 個使用)**

8. シールド (A)、ナット (B)、およびセンサーブラケット (C) を取り外します。
9. ナット (D) を緩めて上部シーブアセンブリを動かせるようにします。



H90913—UN—28FEB08

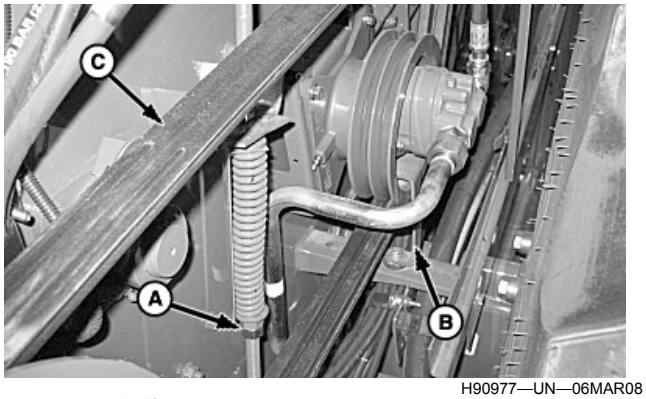
A：**ナット**
B：**ブラケット**
C：**ナット**
D：**テンショナロッド**

注記： ナット (C) はナット (A) に接触するまで動かす必要があります。これらのナットはテンショナボルトを回すために一緒に使用できます。

10. ブラケットの両側で 3 mm (1/8 in) の隙間が得られるまで、ナット (A) を緩めてブラケット (B) から離します。
11. ナット (C) をナット (A) に対して締め付けます。

注記： ボルトをテンショナにねじ込むと、シーブが前方に移動して駆動ベルトが外れます。

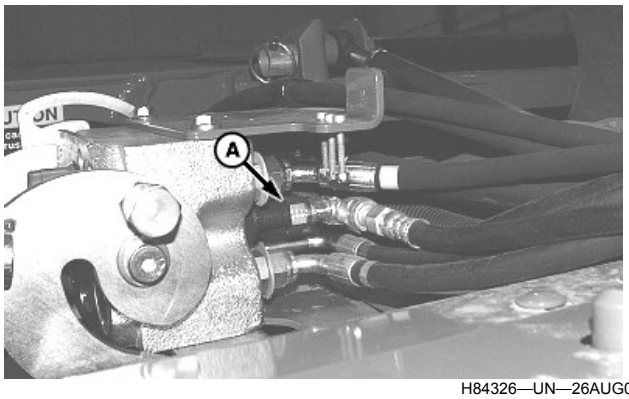
12. ナット (A) を使用して、全ねじボルトをテンショナロッド (D) にねじ込みます。



H90977—UN—06MAR08

A：**ナット (2 個使用)**
B：**留め具**
C：**駆動ベルト**

13. ナット (A) を緩めて、駆動ベルトの張力を解放します。
14. 駆動ベルト (C) を取り外せるようにキャップスクリューとナットを取り外して、リールポンプ留め具 (B) を邪魔にならない位置に動かします。

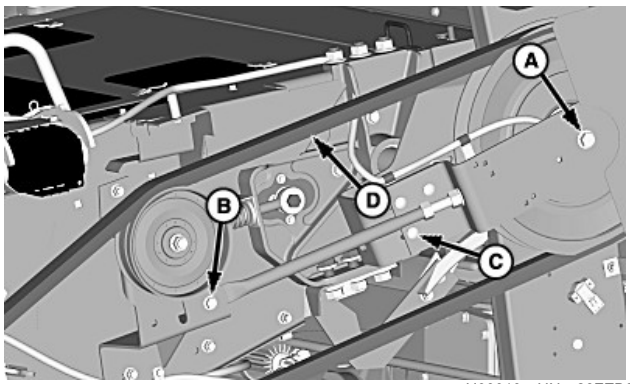


H84326—UN—26AUG05

A：**油圧ホース**

注記： システムへの異物の侵入およびフルードの損失を防止するために油圧ホースにキャップを取り付けてください。

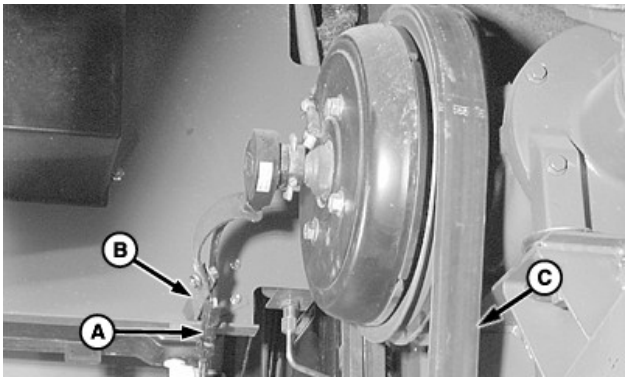
15. 油圧ホース (A) をマルチカプラーから外します。



H90919—UN—28FEB08

A：**キャップスクリュー**
B：**キャップスクリューとナット**
C：**丸頭ボルト (3 本使用)**
D：**駆動ベルト**

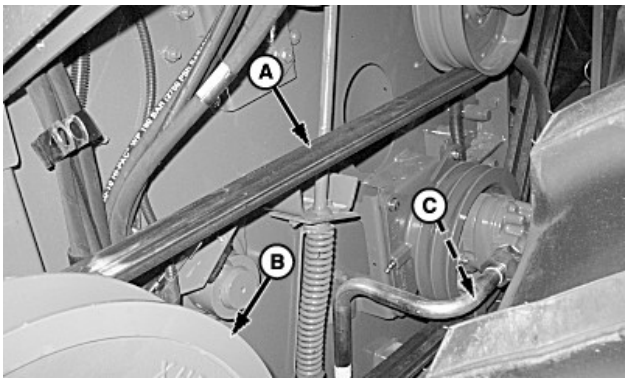
16. キャップスクリュー (A)、ボルトとナット (B)、および丸頭ボルト (C) を取り外します。
17. 後部シーブからドライブベルト (D) を取り外します。



H87527—UN—27FEB07

A：**コネクタ**
B：**ブラケット**
C：**駆動ベルト**

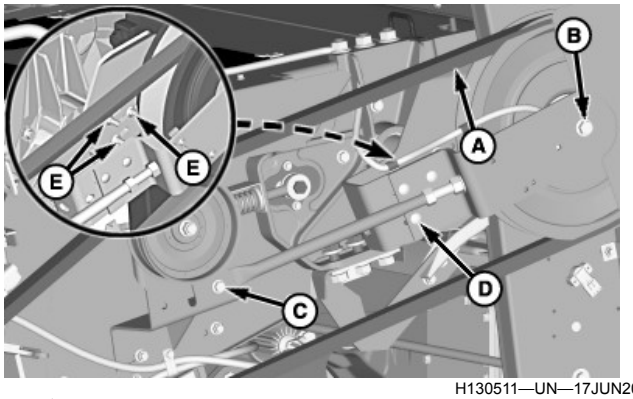
18. コネクタ (A) を外して、ブラケット (B) からストラップを取り外します。
19. 駆動ベルト (C) を取り外して廃棄します。
20. 交換用駆動ベルトを取り付けます。
21. ストラップをブラケットに接続して電気コネクタを再接続します。



H90978—UN—06MAR08

A：**駆動ベルト**
B：**シーブ**
C：**留め具**

22. リールポンプと後部シーブ (B) の周囲に駆動ベルト (A) を取り付けます。
23. 前の手順で取り外したリールポンプ留め具 (C) をキャップスクリューとナットで取り付けます。



H130511—UN—17JUN20

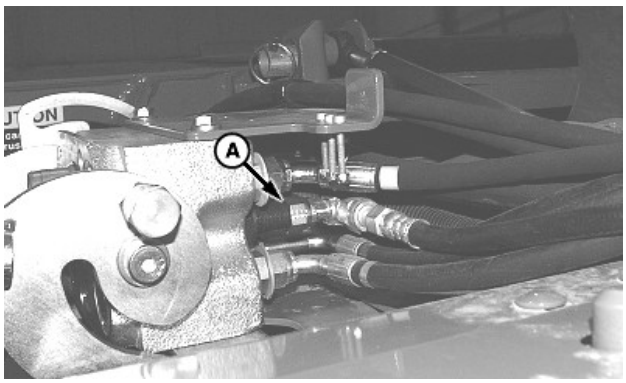
A：**駆動ベルト**
B：**キャップスクリュー**
C：**キャップスクリューとナット**
D：**丸頭ボルト (3 本使用)**
E：**ナット (3 個使用)**

24. 後部シーブの周囲に駆動ベルト (A) を取り付けます。
25. キャップスクリュー (B) を取り付けて規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク	185 N·m (136 lb·ft)

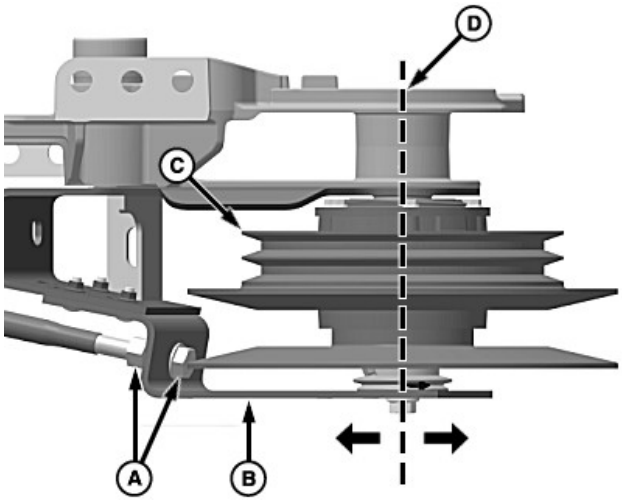
26. キャップスクリューとナット (C) を締め付けます。
27. この時点で、丸頭ボルト (D) は緩めたままにします。
28. 上部シーブアセンブリが動かないようにナット (E) を締め付けます。



H84326—UN—26AUG05

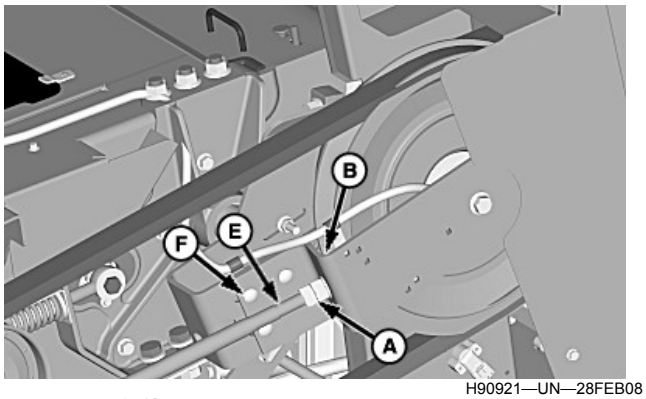
A：**油圧ホース**

29. 油圧ホース (A) をマルチカプラーに接続します。



H122740—UN—15JAN18

上面図



H90921—UN—28FEB08

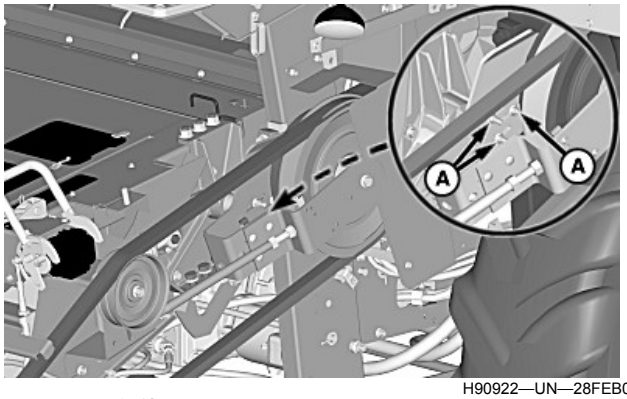
A：**ナット (2 個使用)**
B：**外側ストラップ**
C：**シーブ (2 個使用)**
D：**サイドシート**
E：**テンショナロッド**
F：**丸頭ボルト (3 本使用)**

注記： 上部カウンターシャフトシーブ (C) の整列を確認します。シーブがフィーダーハウスサイドシートに対して平行に回転していることを確認します。カウンターシャフトシーブの平行配列は丸頭ボルト (F) を緩めて、テンショナロッド (E) のナット (A) を使用して調整する必要があります。

30. ナット (A) を使って、テンショナロッド (E) を回して外側ストラップ (B) を前方または後方に動かし、シーブ (C) を整列させます。外側シーブは、フィーダーハウスサイドシート (D) に対して平行である必要があります。
31. 丸頭ボルト (F) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

丸頭ボルト：トルク. . . . . 54 N·m (40 lb·ft)



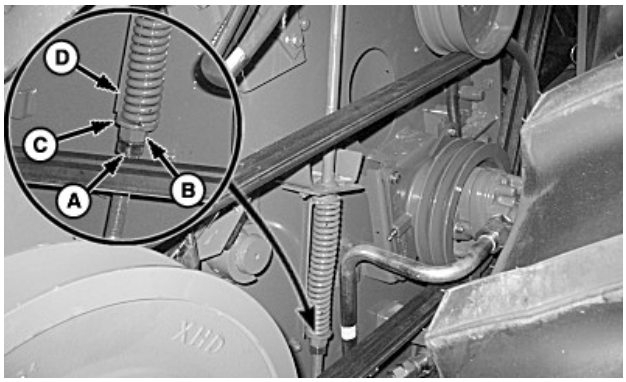
H90922—UN—28FEB08

A：**ナット (3 個使用)**

32. 前の手順で締め付けたナット (A) を緩めます。(シーブの隙間を設定するには、「フィーダーハウス可変速度 — 調整」を参照してください)。
33. 前の手順で取り外したシールドを取り付けます。

OUO6075,0004E88-40-16JUN20

ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (バリアブルスピードフィーダーハウス)：調整



H90975—UN—06MAR08

A：**ロックナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

ロックナット (A) を緩めます。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,0000669-40-02FEB10

フィーダーハウス固定速度ドライブベルト：交換

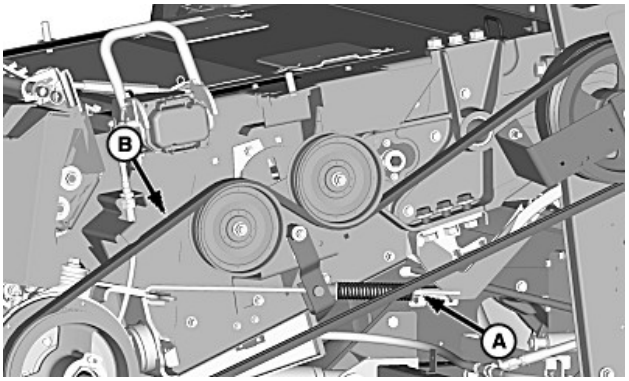
H90923—UN—28FEB08

A：**シールド**

⚠ 注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

シールド (A) を取り外します。



H90924—UN—28FEB08

A：**ナット**
B：**ドライブベルト**

ナット (A) を緩めて、ドライブベルト (B) の張力を解放します。

シーブからドライブベルトを取り外します

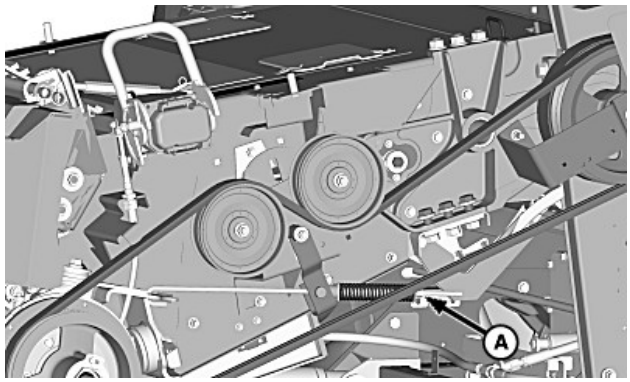
交換用ドライブベルトを取り付けて、ナットを締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置します。

ブラケットを所定の位置に旋回させてボルトとナットで固定します。

前の手順で取り外したフィーダーハウスシールドを取り付けます。

OUO6075,000066A-40-02FEB10

フィーダーハウス固定速度ドライブベルト：調整



H90925—UN—28FEB08

A：**ナット**

⚠ 注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

ナット (A) を締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置します。

前の手順で取り外したフィーダーハウスシールドを取り付けます。

OUO6075,000066B-40-02FEB10

ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (固定速度フィーダーハウス)：交換

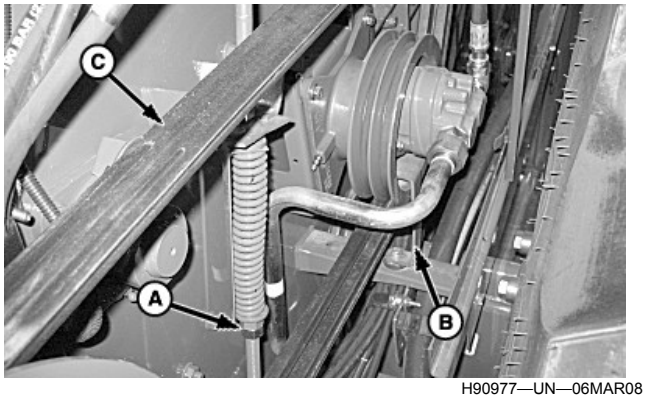
H90923—UN—28FEB08

A：**シールド**

⚠ 注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

シールド (A) を取り外します。

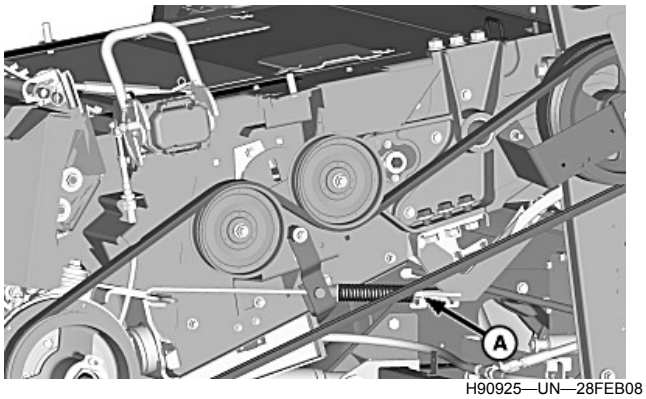


H90977—UN—06MAR08

A：**ナット**
B：**ブレース**
C：**ドライブベルト**

ナット (A) を緩めて、ドライブベルトの張力を解放します。

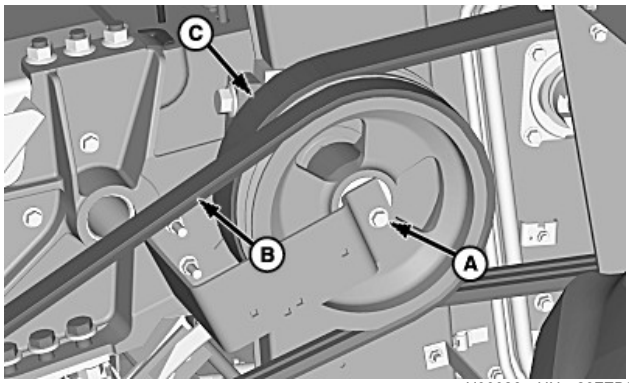
ドライブベルト (C) を取り外せるようにボルトとナットを取り外してリールポンプブレース (B) を邪魔にならない位置に動かします。



H90925—UN—28FEB08

A：**ナット**

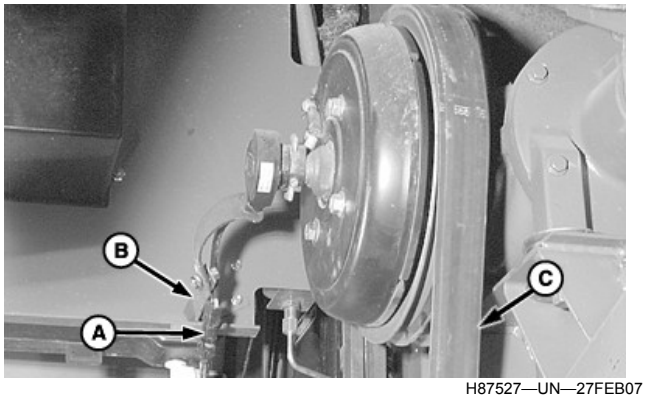
ナット (A) を緩めて、ドライブベルトの張力を解放します。



H90926—UN—28FEB08

A：**ボルト**
B：**固定速度ドライブベルト**
C：**ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト**

ボルト(A)、固定速度ドライブベルト (B)、ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (C) を取り外します。



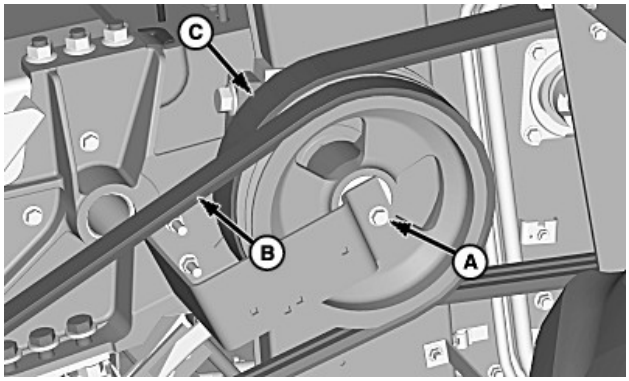
H87527—UN—27FEB07

A：**コネクタ**
B：**ブラケット**
C：**ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト**

コネクタ (A) の接続を外し、ブラケット (B) からストラップを取り外します。

ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (C) を取り外して廃棄します。

交換用ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルトを取り付けてストラップをブラケットに接続し、電気コネクタを接続します。



H90926—UN—28FEB08

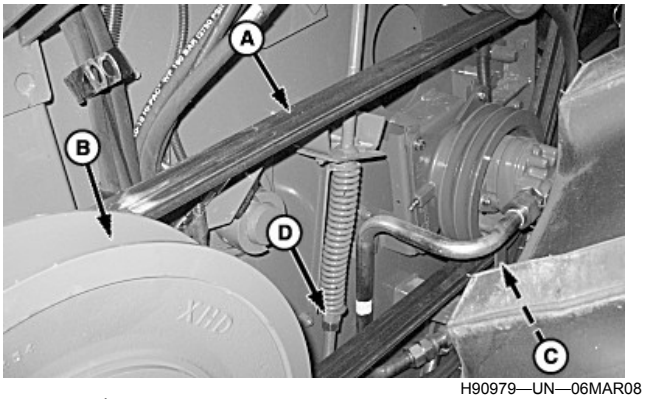
A：**ボルト**
B：**固定速度ドライブベルト**
C：**ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト**

交換用ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (C) と固定速度ドライブベルト (B) を取り付けます。

ボルト (A) を取り付けて規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト：トルク	185 N·m (136 lb-ft)



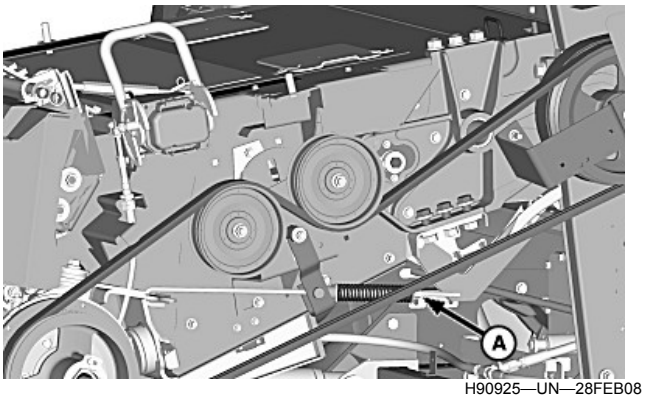
H90979—UN—06MAR08

A：**ドライブベルト**
B：**シーブ**
C：**ブレース**
D：**ナット (2 個使用)**

リールポンプとリアシーブ (B) の周囲にドライブベルト (A) を取り付けます。

前の手順で取り外したリールポンプブレース (C) をボルトとナットとともに取り付けます。

ナット (D) を締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置し、ドライブベルトを調整します。



H90925—UN—28FEB08

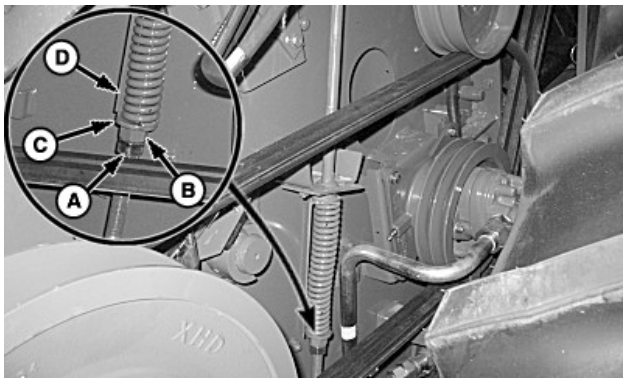
A：**ナット**

ナット (A) を締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置し、ドライブベルトの張力を適切に設定します。

左フィーダーハウスシールドを取り付けます。

OUO6075,000066C-40-02FEB10

ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (固定速度フィーダーハウス)：調整



H90975—UN—06MAR08

A：**ロックナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

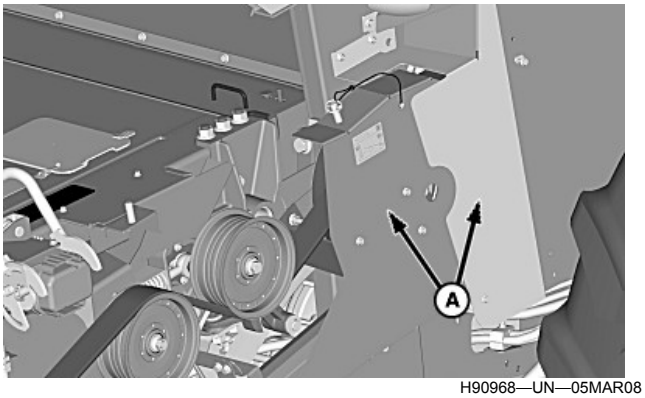
注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

ロックナット (A) を緩めます。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,000066D-40-02FEB10

CommandTouch マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト：交換



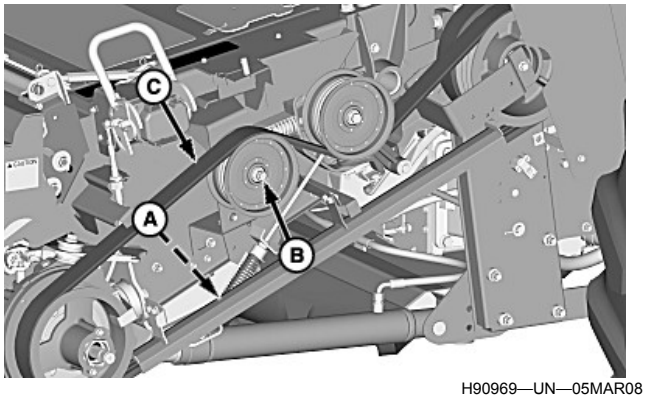
H90968—UN—05MAR08

A：**シールド**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

シールド (A) を取り外します。



H90969—UN—05MAR08

A：**ナット**
B：**アイドラナット**
C：**ドライブベルト**

ナット (A) を緩めてドライブベルトの張力を解放し、アイドラナット (B) を緩めます。

ドライブベルト (C) をシーブから取り外します。

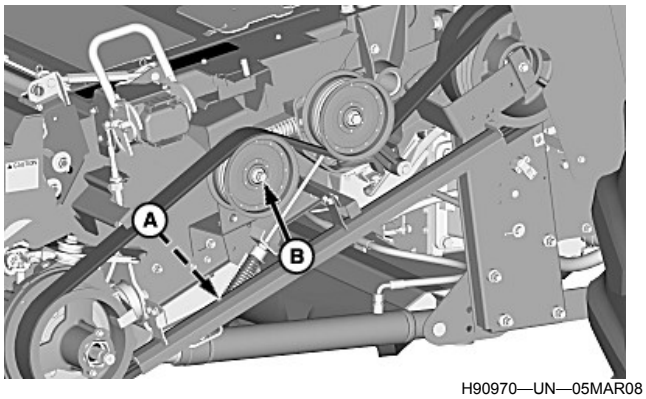
交換ドライブベルトを取り付けて、アイドラをスロットの上から 3/4 の位置まで動かしてアイドラナットを締め付けます。

ナットを締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置します。

前の手順で取り外したフィーダーハウスシールドを取り付けます。

OUO6075,0000653-40-02FEB10

CommandTouch マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト：調整



H90970—UN—05MAR08

A：**ナット**
B：**アイドラナット**

注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

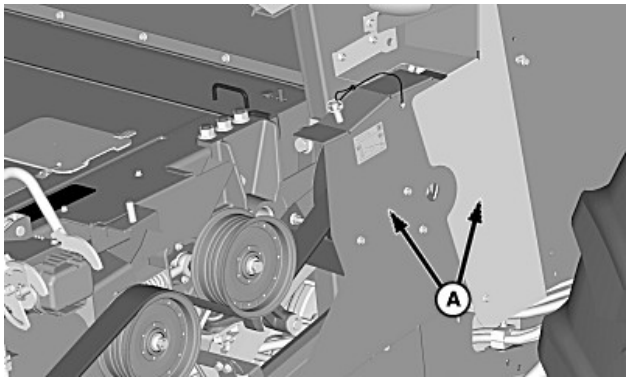
ナット (A) を締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置します。

注記： ゲージが張力調整範囲の端部に達した場合は、アイドラナット (B) を緩めてアイドラをスロットの高い位置に動かします。ナットを締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置します。

前の手順で取り外したフィーダーハウスシールドを取り付けます。

OUO6075,0000654-40-02FEB10

ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス)：交換



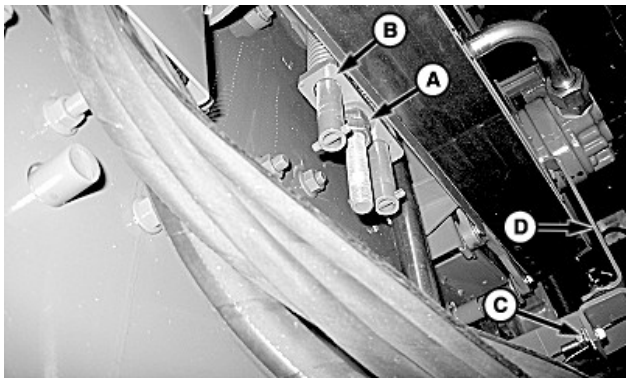
H90968—UN—05MAR08

A：**シールド**

注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

安全ストップを下ろして左フィーダーハウスシールドを取り外します。

シールド (A) を取り外します。

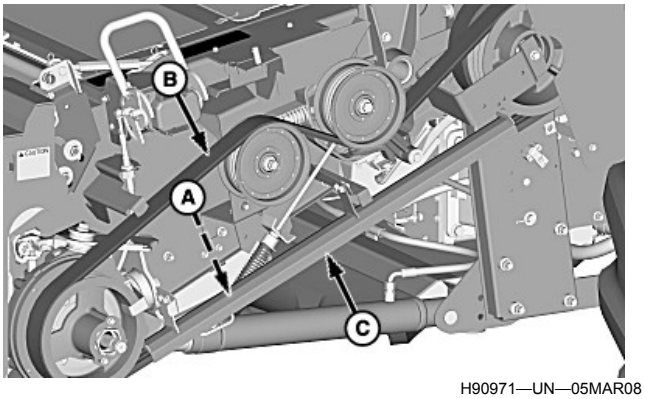


H87350—UN—05FEB07

A：**ナット**
B：**スプリングテンショナ**
C：**ボルトとナット**
D：**ブレース**

スプリングテンショナ (B) のナット (A) を緩めて、ドライブベルトの張力を解放します。

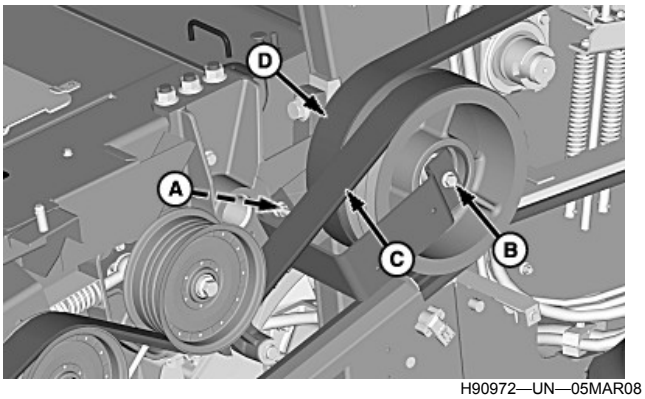
ボルトとナット (C) を取り外してリールポンプブレース (D) を邪魔にならない位置に動かします。



H90971—UN—05MAR08

A：**ナット**
B：**ドライブベルト**
C：**シールド**

ナット (A) を緩めてドライブベルト (B) の張力を解放し、シールド (C) を取り外します。



H90972—UN—05MAR08

A：**センサーブラケット**
B：**ボルト**
C：**フィーダーハウスドライブベルト**
D：**ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト**

センサーブラケット (A) とボルト (B) を取り外します。

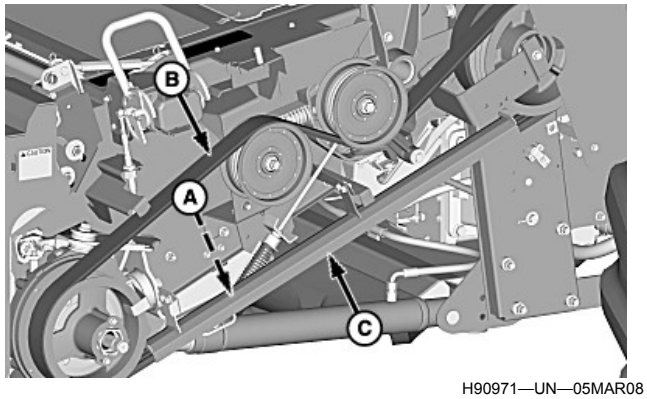
フィーダーハウスドライブベルト (C) をシーブから取り外して、ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (D) を取り外します。

交換用ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルトとフィーダーハウスドライブベルトを取り付けます。

センサーブラケットを取り付けて、ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト：トルク	185 N•m (136 lb-ft)

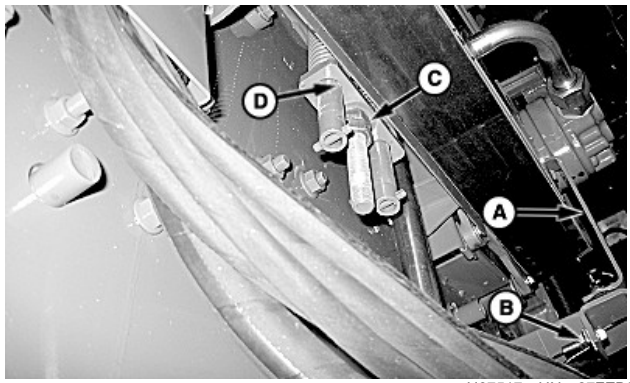


H90971—UN—05MAR08

A：**ナット**
B：**ドライブベルト**
C：**シールド**

注記： ベルトの擦れを防止するためにドライブベルトの両側とベルトシールドで均一な隙間が必要です。

前の手順で取り外したシールド (C) を取り付けて、ナット (A) を締め付けて座金をゲージの端部と段差の底部の間に配置し、ドライブベルト (B) の張力を適切に設定します。



H87517—UN—27FEB07

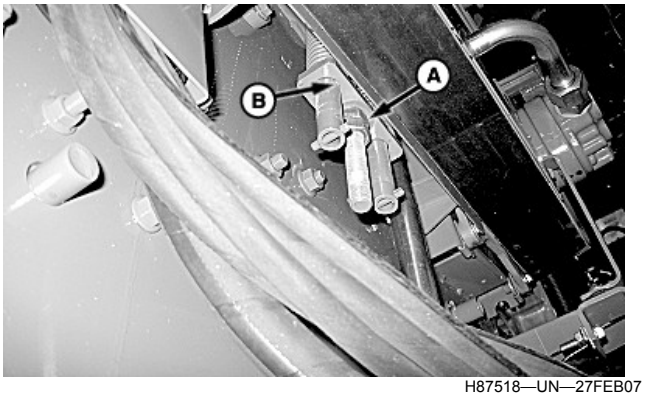
A：**ブレース**
B：**ボルトとナット**
C：**ナット**
D：**穴**

前の手順で取り外したリールポンプブレース (A) を取り付けて、ボルトとナット (B) で固定します。

ゲージを通して穴 (D) が見えるようになるまでナット (C) を締め付けます。

OUO6075,0000655-40-02FEB10

ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス) : 調整



H87518—UN—27FEB07

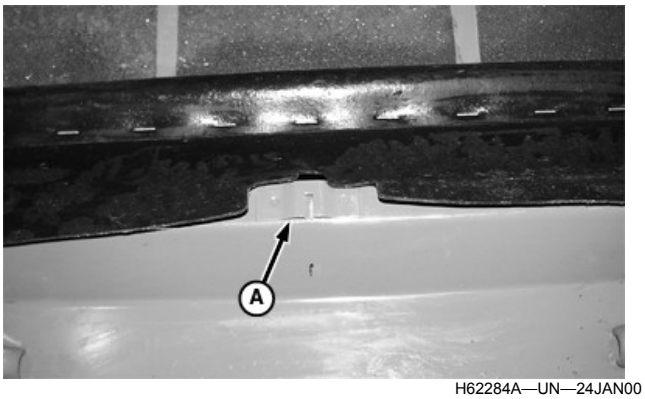
A : ナット
B : 穴

注意 : エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ゲージを通して穴 (B) が見えるようになるまでナット (A) を締め付けます。

OUO6075,0000656-40-02FEB10

手動傾斜インジケーター (横方向傾斜システム)



H62284A—UN—24JAN00

A : ノッチ

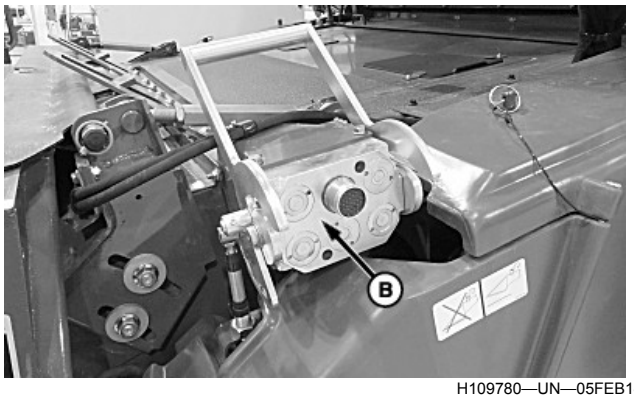
ヘッダーが機械シャーシに対して水平であるかをすばやく目視で確認できるように、横方向傾斜システムには手動傾斜インジケーターが装備されています。

ノッチ (A) がゴムシールの中央にある場合、ヘッダーは機械ボディに対しておおよそ水平です。インジケーターは運転中に基準としても役立ちます。

OUO6075,000066E-40-02FEB10

マルチカプラーの取り付けと単点ラッチ

H109779—UN—05FEB14



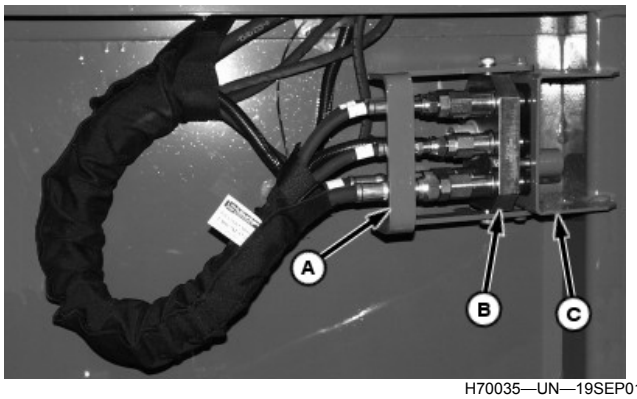
H109780—UN—05FEB14

A : カバー
B : マルチカプラー面

重要 : ヘッダーを地面に着けた状態でラッチピンを作動させないでください。ヘッダーを地面に着けてマルチカプラーを作動させる必要がある場合は、ケーブルをハンドルから外してください。

油圧システムの汚染を防ぐために、接続する前に電気接点クリーナでマルチカプラーの面を清掃してください。

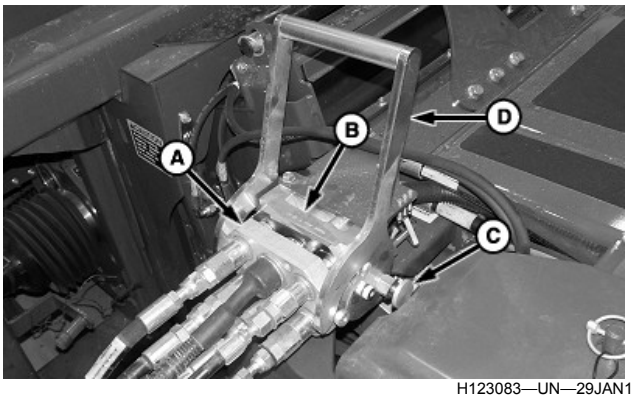
1. カバー (A) を取り外して、マルチカプラーの面 (B) を清掃します。



H70035—UN—19SEP01

A : ハンドル
B : マルチカプラー
C : 保管ブラケット

2. ハンドル (A) を開いて、マルチカプラー (B) を保管ブラケット (C) から取り外します。



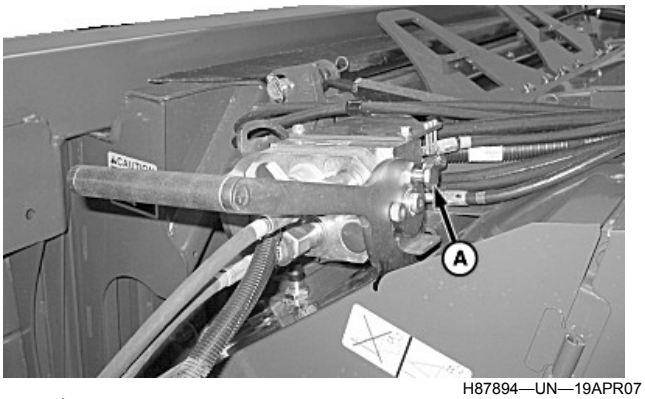
H123083—UN—29JAN18

A：**マルチカプラー**
B：**レセプタクル (油圧取出し口)**
C：**ノブ**
D：**ハンドル**

重要：**油圧システムの汚染を防ぐために、接続する前に電気接点クリーナでマルチカプラーの面を清掃してください。**

注記：ラッチケーブルの損傷を防止するために、ハンドルにせん断ボルトが取り付けられています。ヘッダーが地面にあるときにラッチピンを作動させると、ねじのせん断が発生します。このセクションで後述の「せん断ねじの位置」を参照してください。

3. マルチカプラー (A) を油圧取出し口 (B) を取り付けます。
4. ノブ (C) を引き続けてハンドル (D) を閉じます。

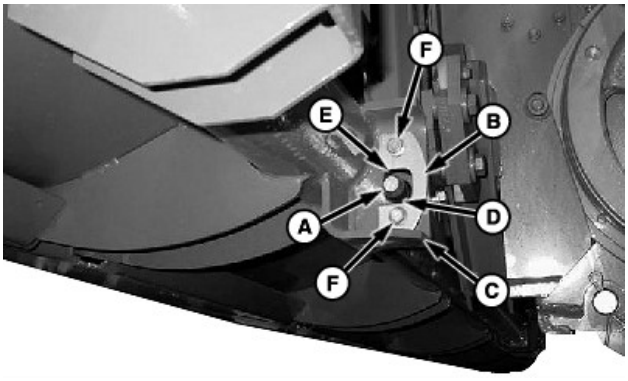


H87894—UN—19APR07

A：**ノブ**

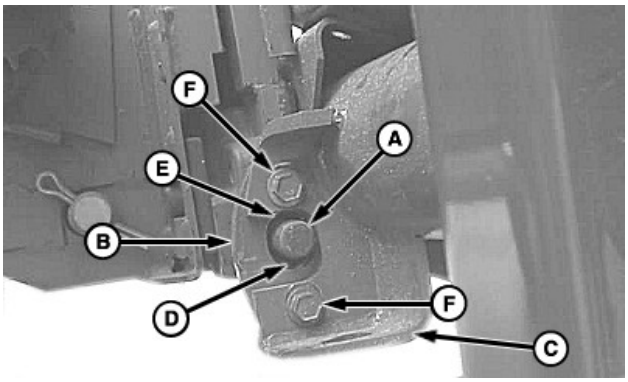
重要：**ノブがかみ合うようにマルチカプラーが完全に閉じていない場合、収穫または輸送中にヘッダーが落下する可能性があります。**

5. マルチカプラーのハンドルを完全に閉じると、ノブ (A) がカプラー同士を互いに自動的にロックします。



H81307—UN—28JUN04

内側ラッチプレート *(M10* キャップスクリュー*)*



H81308—UN—28JUN04

外側ラッチプレート *(M12* ボルト*)*

A：**掛け金ラッチピン**
B：**掛け金ラッチプレート**
C：**フレーム**
D：**下側の隙間**
E：**上側の隙間**
F：**キャップスクリュー (2 本使用)**

注記：ヘッダーを取り付けた状態で、ラッチピンはラッチプレートの穴を自由に移動する必要があります。ラッチピンがラッチプレートを通って伸長しない場合は、ヘッダーのラッチプレートが正しく調整されていることを確認してください。

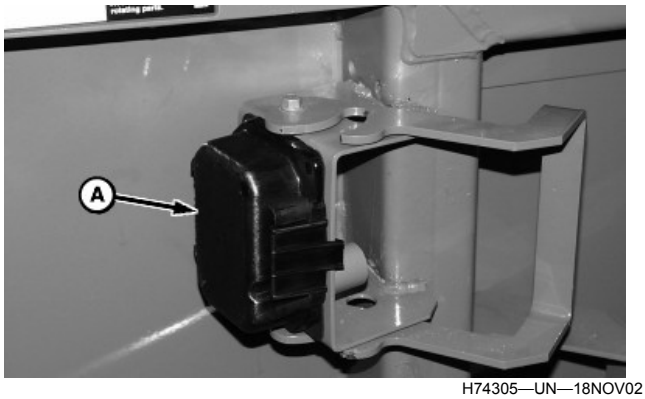
6. マルチカプラーを取り付けたときに、ラッチピン (A) はヘッダーのラッチプレートの穴を自由に動く必要があります。ラッチプレート (B) は、フレーム (C) に接触する必要があります。プレートとラッチピンの上部の隙間 (E) ではなく、プレートとラッチピンの下側の隙間 (D) を少なく維持する必要があります。このためにラッチプレートを裏返す必要がある場合があります。
7. **調整が必要な場合**：キャップスクリュー (F) を取り外して、エンドプレートの端部を反転させて取り付けます。
8. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

内側ラッチプレート (M10 キャップスクリュー) : トルク	80 N·m (60 lb·ft)

仕様

外側ラッチプレート (M12 ボルト) : トルク	130 N·m (96 lb·ft)



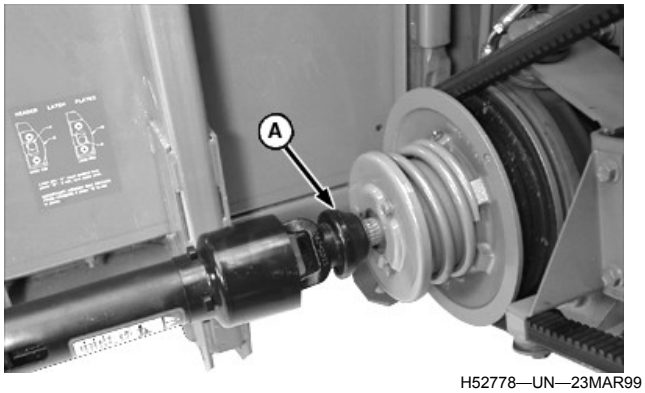
H74305—UN—18NOV02

A：**カバー**

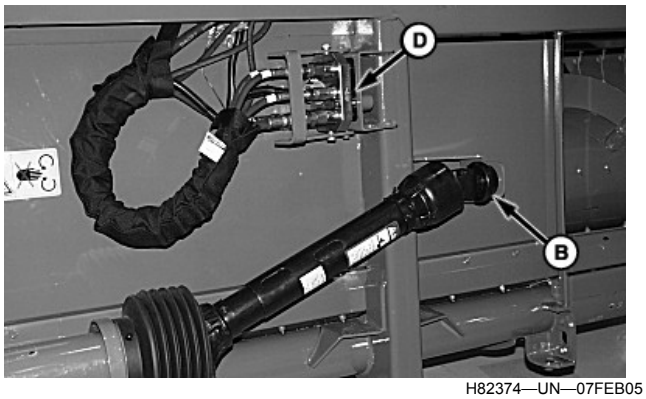
9. カバー (A) をプラットフォームの保管位置に取り付けます。
10. 伸縮シャフトを保管位置から取り外して、フィーダーハウスバックシャフトに取り付けます。ロックカラーが完全にロックしていることを確認してください。

OUO6075,0004EB9-40-06JUL20

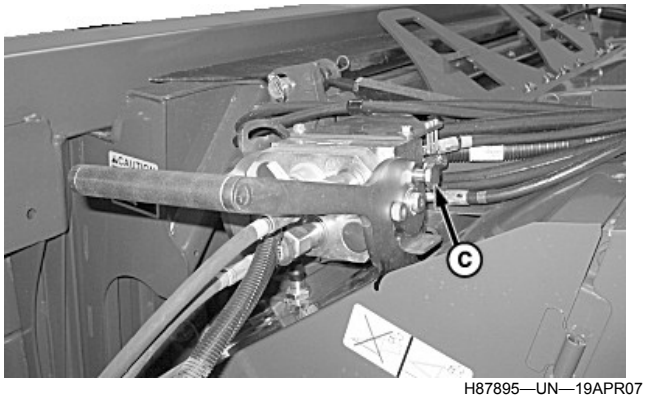
フィーダーハウスへのヘッダーの取り付け / 取り外し



H52778—UN—23MAR99



H82374—UN—07FEB05



H87895—UN—19APR07

A：**ロックカラー**
B：**保管位置**
C：**ノブ**
D：**マルチカプラーの保管位置**

注意： **駆動軸を本機に残したままにしないでください。フィーダーハウスが誤って接続されると、けがや本機の損傷が発生する可能性があります。**

重要： **認定済みのすべてのヘッダーでは左右で U ジョイント付きの駆動軸を使用します**

注記： 取り付けと取り外しの手順については、ヘッダーの取扱説明書を参照してください。

1. 本機の両側のロックカラー (A) の位置でフィーダーハウスから伸縮駆動軸を外します。
2. 伸縮駆動軸を保管位置 (B) に配置します。

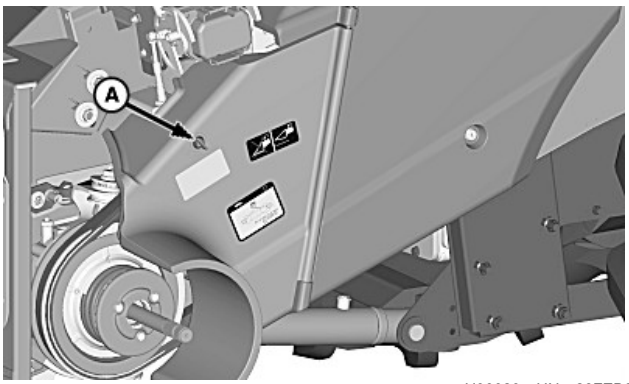
重要： **ヘッダーが地面にあるときにラッチピンを作動させないでください。ヘッダーを地面に着けてマルチカプラーを作動させる必要がある場合は、ケーブルをハンドルから外してください。**

注記： ハンドルを停止位置まで上げたときにラッチピンは完全に収縮している必要があります。ラッチピンが完全に収縮しない場合は、ケーブルの取り付けを調整してください。「単点ラッチ — 調整」を参照してください。

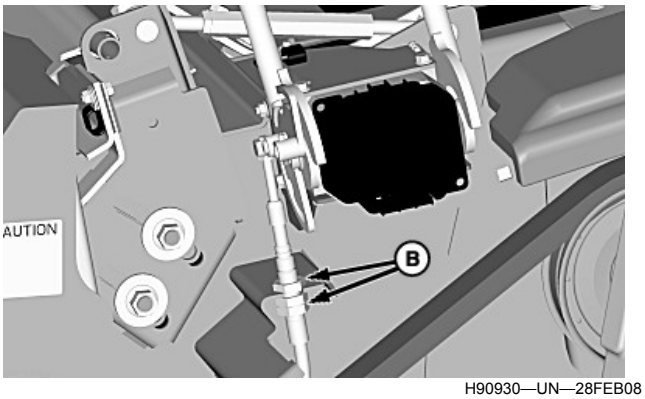
3. ノブ (A) を引き続けて、ハンドル (B) を上げながらロックを解除し、マルチカプラーを切り離します。
4. マルチカプラーカバーをヘッダーの保管位置から取り外して、カバーを本機のマルチカプラーに配置します。
5. マルチカプラーを保管位置 (D) に配置してロックします。

OUO6075,0004EBA-40-06JUL20

単点ラッチ — 調整



H90929—UN—28FEB08



H90930—UN—28FEB08

A：**シールド**
B：**ロックナット (2 個使用)**

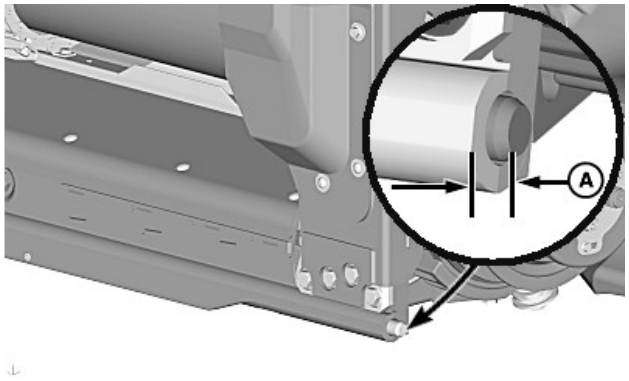
⚠ 注意：**エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

注記： *フィーダーハウスの横方向傾斜調整は、マルチカプラーハンドルのケーブルのみに対して行う必要があります。*

1. 左側フィーダーハウスシールド (A) を開きます。
2. ケーブルロックナット (B) を緩めます。

重要：**ハンドルがマルチカプラーのストップに接触していることを確認してください。ハンドルがストップに接触していることを確認しなかった場合、ピン寸法が不正確になり、収穫または輸送中にヘッダーが落下するおそれがあります。**

3. マルチカプラーハンドルをストップに接触させたままにします。



H90931—UN—05MAR08

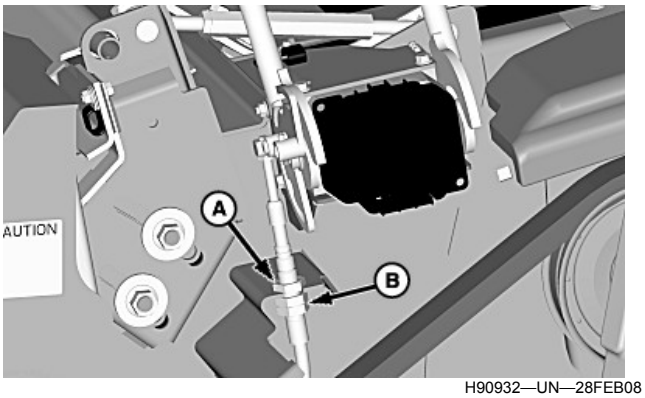
左側ラッチピン

A：**寸法**

注記： *ブラケットのケーブルを「上に」動かすと、ピンはさらに内側に引かれます。*

ブラケットのケーブルを「下に」動かすと、ピンはさらに外側に押されます。

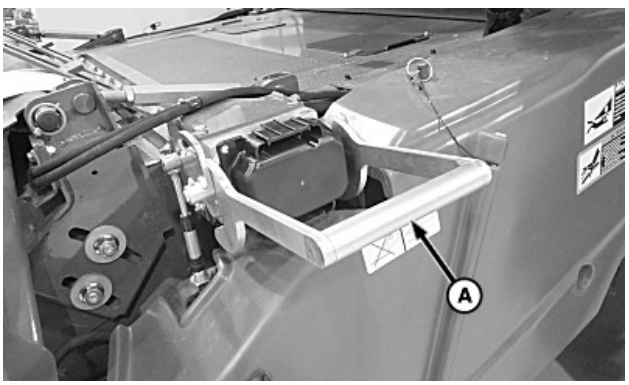
4. 必要に応じてブラケットのケーブルを調整してピンを正しく調整します：
   - 左側ラッチピンは +/- 2 mm (0.08 in) (A) の範囲内で面一である必要があります。



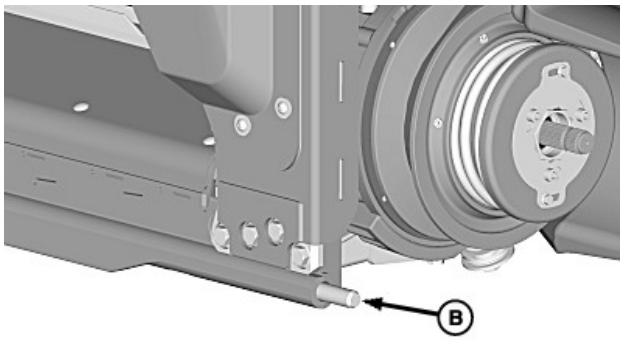
H90932—UN—28FEB08

A：**上部ロックナット**
B：**下部ロックナット**

5. 下部ロックナット (B) を保持しながら上部ロックナット (A) を締め付けます。



H109781—UN—05FEB14



H90933—UN—28FEB08

A：**マルチカプラーハンドル**
B：**ピン (2 本使用)**

重要：**ピンが指定された寸法に設定されていることを確認しなかった場合、収穫または輸送中にヘッダーが落下する可能性があります。**

6. マルチカプラーハンドル (A) を完全に下ろしてピン (B) (両側) が仕様のとおりに設定されていることを確認します。仕様値に設定されていない場合は、再調整します。

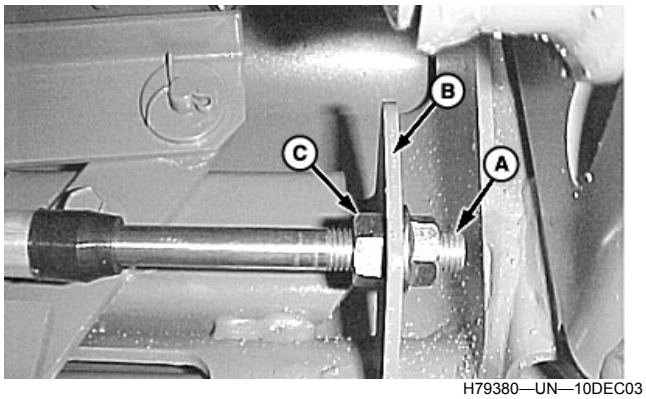
仕様

フィーダーハウスピン：距離. . . . . 45 ~ 52 mm (1-3/4 ~ 2 in)

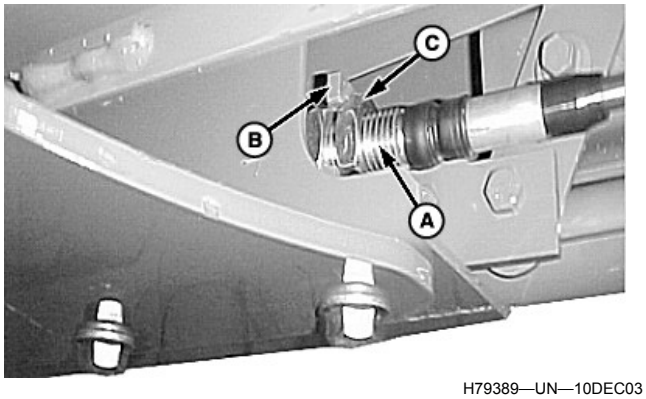
7. 左側フィーダーハウスシールド (A) を閉めます。

OUO6075,0004E89-40-06JUL20

平地フィーダーハウス下部ケーブル端：調整



H79380—UN—10DEC03



H79389—UN—10DEC03

A：**ねじ山**
B：**ブラケット**
C：**ロックナット**

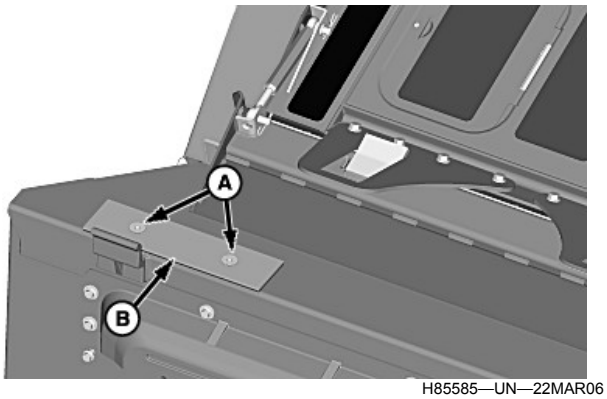
ねじ山 (A) の中心がブラケット (B) から外れている場合は、ラッチケーブルの下端を調整する必要があります。

ロックナット (C) を緩めて、ねじ山の中心がブラケットの位置になるようにケーブルを調整します。

ロックナットを締め付けます。

OUO6075,0000672-40-02FEB10

平地フィーダーハウス：シム調整



H85585—UN—22MAR06

A：**ボルト**
B：**シム**

注記： 正確な水平調整を行うには、タイヤの空気圧を均一にする必要があります。

ヘッダーは、フィーダーハウスに取り付けるときに水平である必要があります。

ヘッダーを中程度の高さまで上げます。

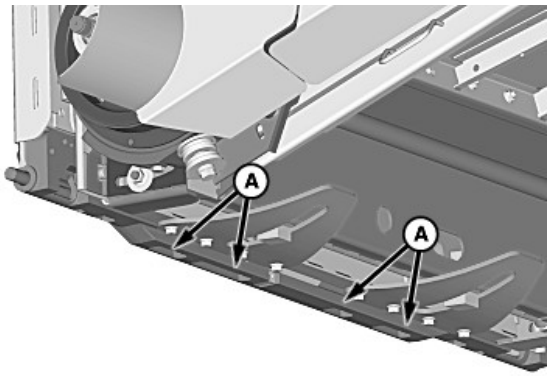
ヘッダーの前の約 5 m (15 ft) の位置に立ちます。

ヘッダーの底部を機械のフロント車軸と比較します。

ヘッダーが水平ではない場合は、ボルト (A) を取り外してフィーダーハウスの上部ビームの左右からシム (B) を取り外してヘッダーを水平にします。

OUO6075,0000673-40-02FEB10

フィーダーハウスラッチピン (清掃)



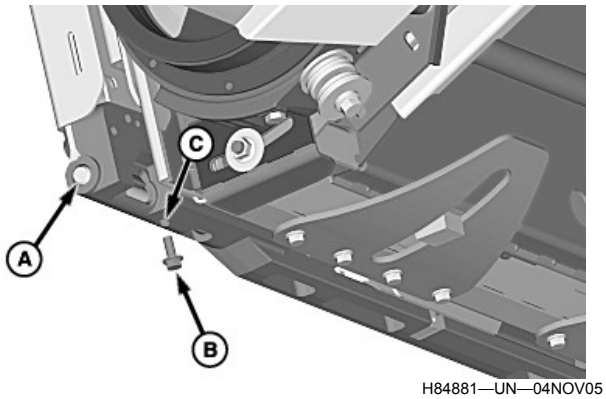
H84880—UN—04NOV05

A：**清掃位置**

横方向傾斜フィーダーハウスでのラッチピンの動きが固い場合は、作物のごみを位置 (A) から清掃してください。

OUO6075,0000674-40-02FEB10

フィーダーハウスの手動ラッチ解除



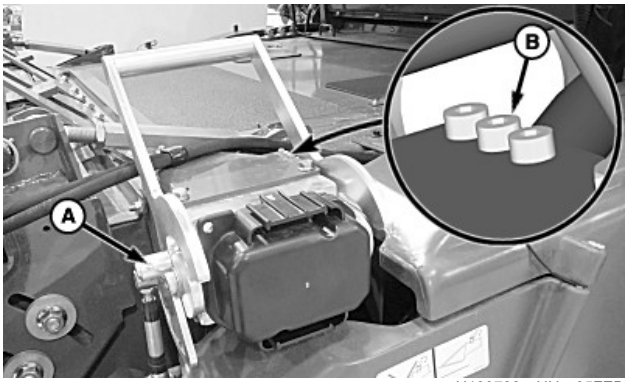
H84881—UN—04NOV05

A：**ラッチピン**
B：**ボルト**
C：**穴**

せん断ねじが破損した場合にヘッダーを取り外すには、ラッチプレートを通してラッチピン (A) を押し、穴 (C) に M12 ボルト (B) を取り付けます。反対側で繰り返します。

OUO6075,0000675-40-02FEB10

せん断ねじの位置



H109782—UN—05FEB14

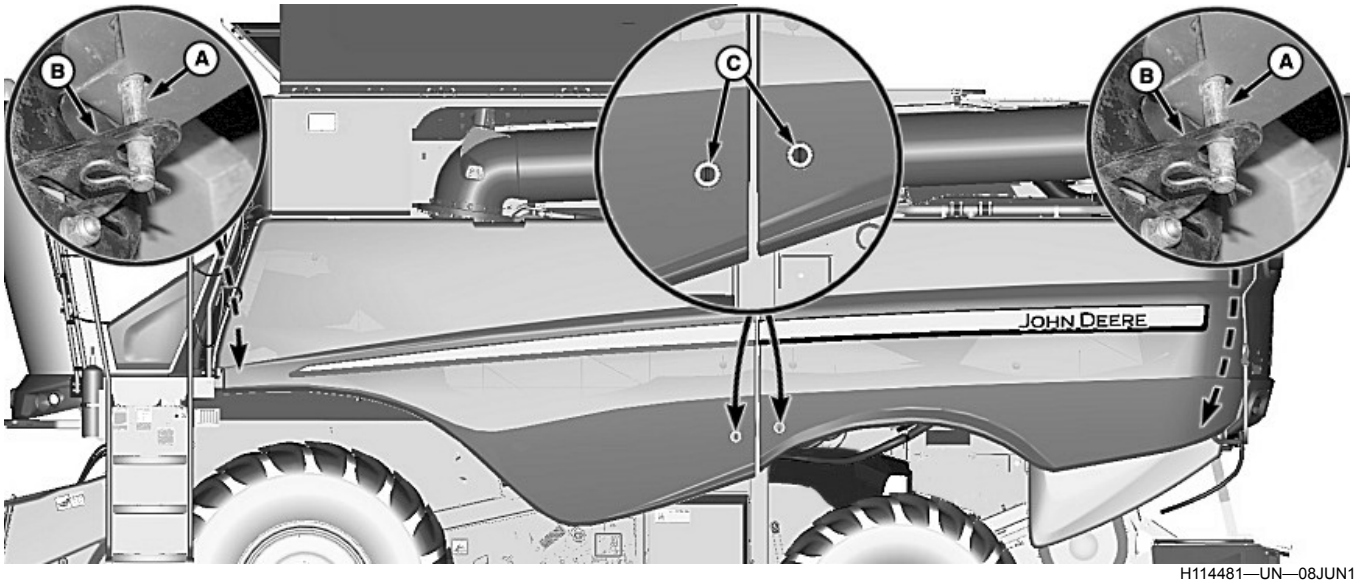
A：**せん断ねじ**
B：**予備のせん断ねじ**

注記： 予備のせん断ねじ 3 本を付属しています。

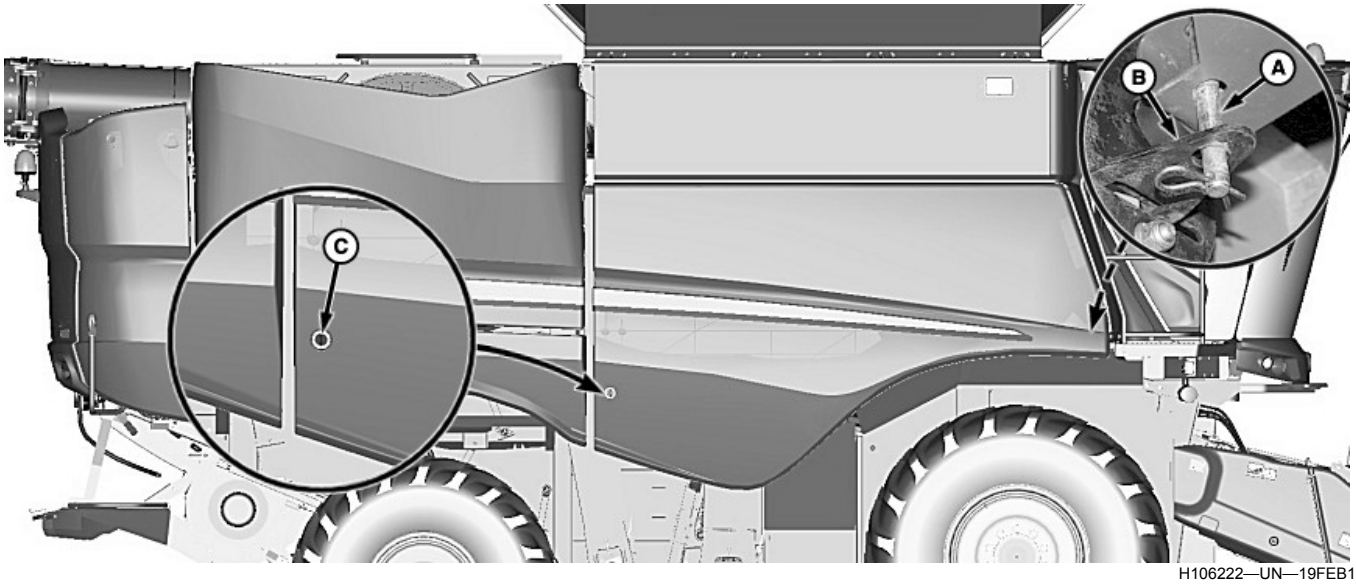
せん断ねじ (A) が破損した場合は、取り外して予備のせん断ねじ (B) に交換します。

SS43267,000037A-40-05FEB14

ガルウイングドア



H114481—UN—08JUN15



H106222—UN—19FEB13

A：**ピン**
B：**ロックプレート**
C：**掛け金ラッチ**

⚠ 注意：**エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

注記：ピンとラッチレバーの操作は機械の両方で同じです。

1. ロックプレート (B) からスプリングクリップとピン (A) を取り外します。スプリングクリップをピンに再度取り付けます。
2. 掛け金ラッチ (C) を回して、ガルウイングドアを引っ張って上げます。

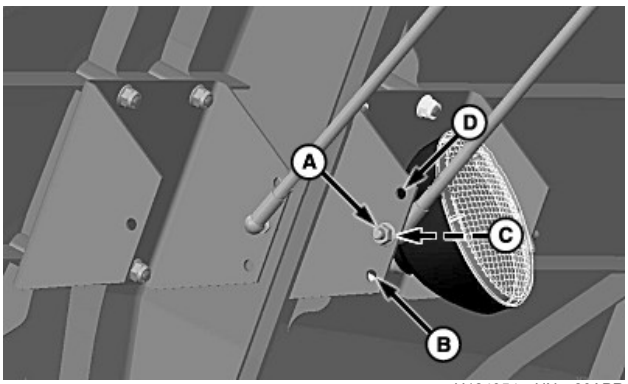
OUO6075,0004942-40-26APR18

ガルウィングドアとシールド

本機を操作する前に、すべてのガルウィングドアとシールドが取り付けられ、閉じられていることを確認してください。

OUO6075,0004E8A-40-26JUN20

ガルウイングドアのシリンダの調整



H124054—UN—26APR18

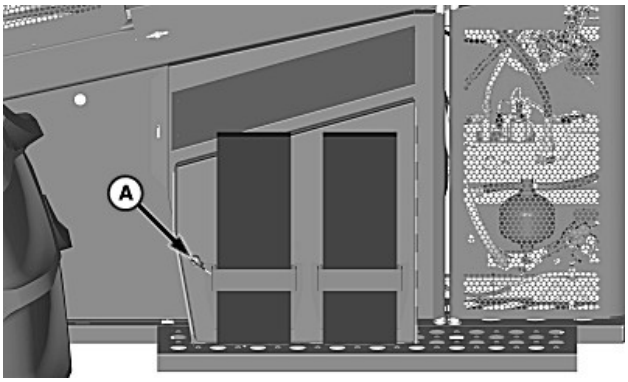
A：**ナット**
B：**下部の穴**
C：**中間の穴**
D：**上部の穴**

注記： 下部の穴を使用して、開位置にあるガルウイングドアの全高を下げます。下部の穴を使用して、開位置にあるガルウイングドアの全高を上げます。

ナット (A) をシリンダから取り外して、必要な穴 (B~D) に動かします。

OUO6075,0004943-40-07JUN18

工具箱 (装備されている場合)



H116915—UN—14JAN16

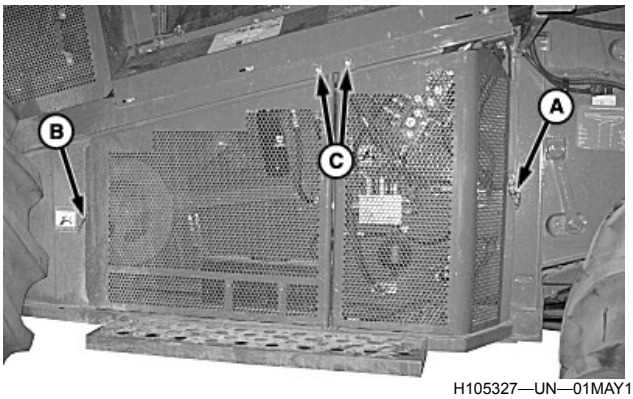
A：**掛け金ラッチ**

掛け金ラッチを回して工具箱のドアを開けます。

OUO6075,00041E3-40-11APR16

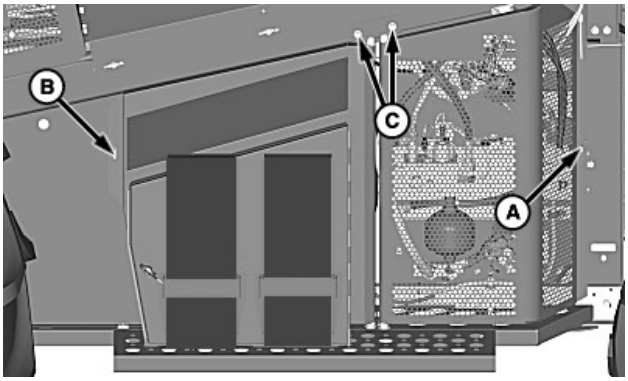
左サイドシールド

サイドシールド (スタイル A)



H105327—UN—01MAY12

シールド (工具箱なし)



H116913—UN—14JAN16

シールド (工具箱あり)

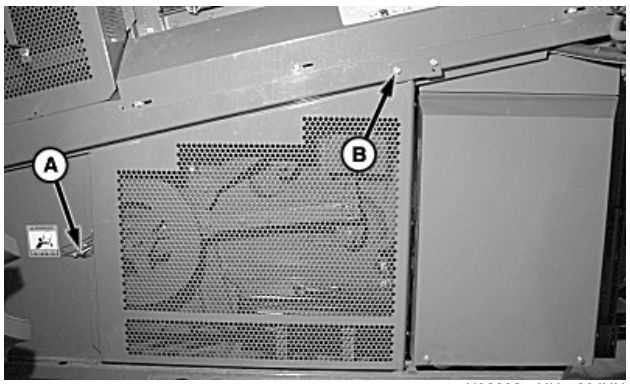
A：**クイックロックピン**
B：**クイックロックピン**
C：**キャップスクリュー**

注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

クイックロックピン (A、B) を取り外してシールドを開きます。

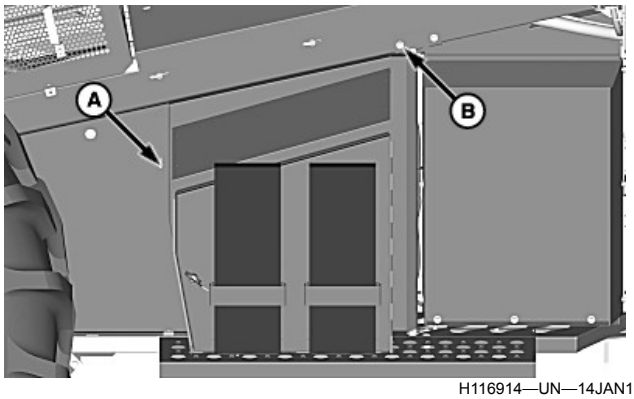
キャップスクリュー (C) を取り外して、シールドを持ち上げて取り外します。

サイドシールド (スタイル B)



H96802—UN—09JUN10

シールド (工具箱なし)



H116914—UN—14JAN16

シールド (工具箱あり)

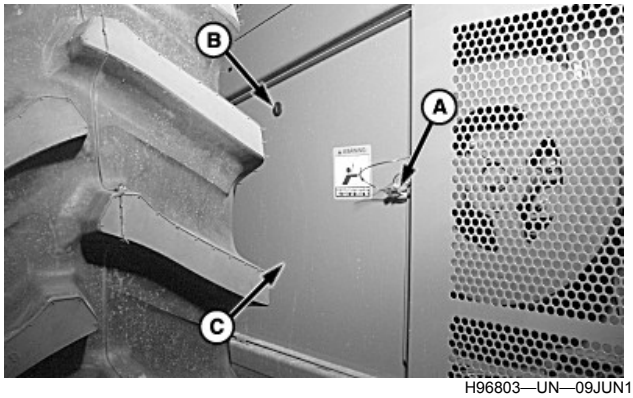
A：**クイックロックピン**
B：**キャップスクリュー**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

クイックロックピン (A) を取り外して、シールドを開きます。

キャップスクリュー (B) を取り外して、シールドを持ち上げて取り外します。

ファンシールド

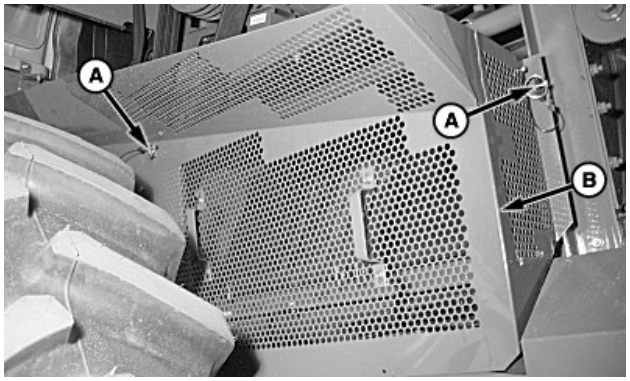


H96803—UN—09JUN10

A：**クイックロックピン**
B：**掛け金ラッチ**
C：**シールド**

クイックロックピン (A) を取り外して、ラッチ (B) を回してシールド (C) を取り外します。

上部セパレータシールド

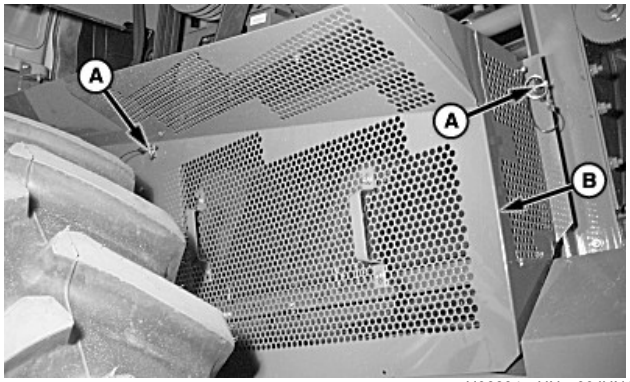


H96804—UN—09JUN10

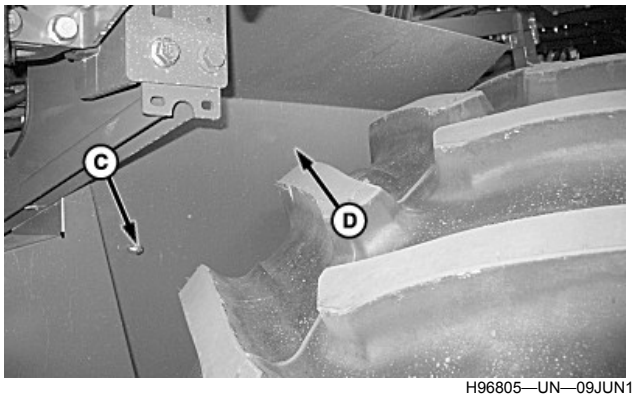
A：**クイックロックピン**
B：**シールド**

クイックロックピン (A) を取り外して、シールド (B) を取り外します。

フロントセパレータシールド



H96804—UN—09JUN10



H96805—UN—09JUN10

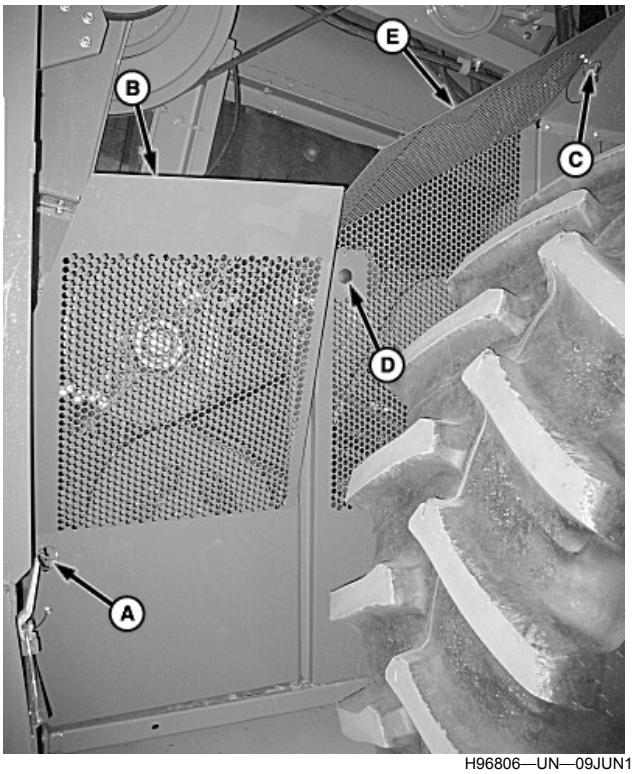
A：**クイックロックピン**
B：**シールド**
C：**キャップスクリュー**
D：**シールド**

クイックロックピン (A) を取り外して、シールド (B) を取り外します。

キャップスクリュー (C) を取り外して、フロントセパレータシールド (D) を後方に押して取り外します。

OUO6075,00044A1-40-20DEC16

右サイドシールド



H96806—UN—09JUN10

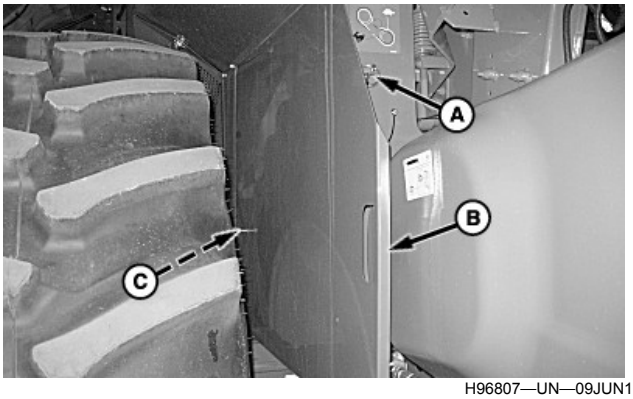
A：**クイックロックピン**
B：**シールド**
C：**クイックロックピン**
D：**ラッチ**
E：**シールド**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

リアシールドとミドルファンシールド：クイックロックピン (A) を取り外してシールド (B) を開き、ベルトを整備します。

クイックロックピン (C) を取り外し、ラッチ (D) を回してロックを解除します。

リアシールド (B) とミドルファンシールド (E) を持ち上げて取り外します。



H96807—UN—09JUN10

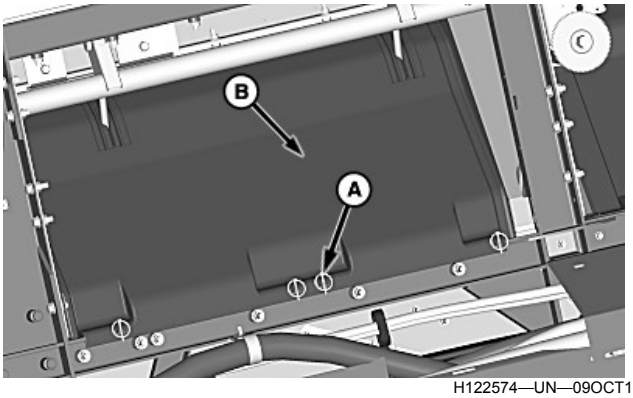
A：**クイックロックピン**
B：**シールド**
C：**ボルト**

フロントセパレータシールド：クイックロックピン (A) を取り外してシールド (B) を前方に引きます。

ボルト (C) を取り外してシールドを取り外します。

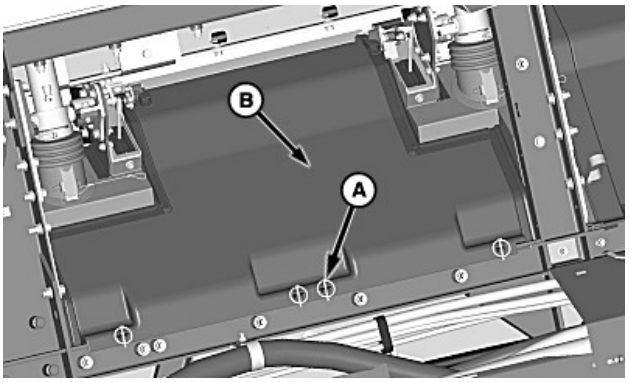
OUO6075,00007C7-40-28SEP10

セパレータカバー



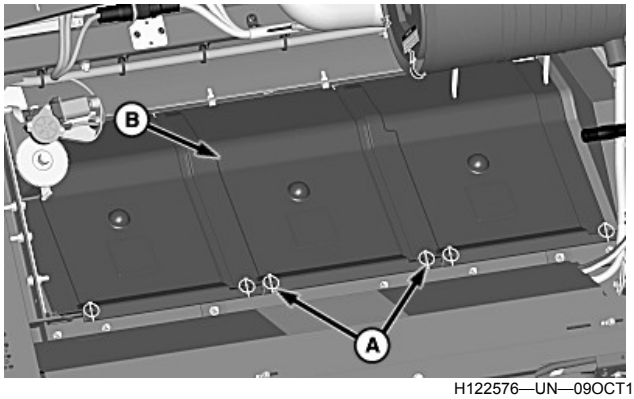
H122574—UN—09OCT17

脱穀カバー *(*標準型コンケーブの調整*)*



H122575—UN—09OCT17

脱穀カバー *(*アクティブコンケーブアイソレーション*)*



H122576—UN—09OCT17

セパレータカバー

A：**クイックロックピン**
B：**カバー**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

重要： **グレンロスを防止するために、セパレータカバーがセパレータにぴったりと接触していること、およびセパレータの縁の下側にあることを確認してください。カバーは、機械に向かって左側から始めて右側に作業しながら取り付けます。**

カバーを横にして強い日射に当てないでください。カバーが歪みます。

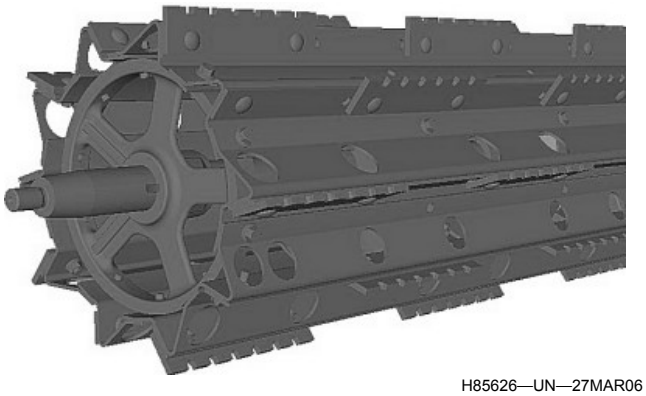
注記： 機械の左側の 1 つのカバーと機械の右側の 2 つのカバーは脱穀セクションを密閉するために使用されます。機械の両側の 3 つのカバーは分離セクションの密閉に使用されます。

クイックロックピン (A) は、カバー (B) の固定に使用されます。

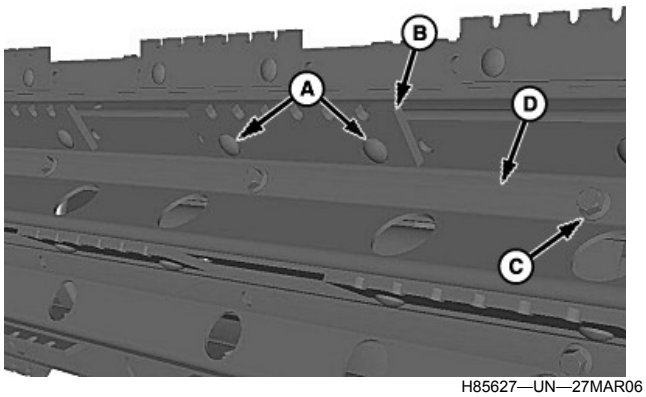
クイックロックピンを取り外して、カバーを取り外します。

OUO6075,00047C3-40-09OCT17

標準フィードアクセルレータ摩耗ストリップ：交換



H85626—UN—27MAR06



H85627—UN—27MAR06

フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップ
(標準)

A：**丸頭ボルト**
B：**フィードアクセルレータ摩耗ストリップ**
C：**ボルト**
D：**フィードアクセルレータウイング**

注意：**エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。**

注記：摩耗ストリップは反転させて、さらに使用することができます。

フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップはフィードアクセルレータを取り外さないで交換できます。フィードアクセルレータウイングと摩耗ストリップは 2 個セットで互いに逆のものに交換して正しいバランスを維持してください。

注記：フィードアクセルレータを機械から取り外した場合、または整備した場合は、クランプボルトを締め付けてからウイングを固定してください。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、フィードアクセルレータの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

フィードアクセルレータの摩耗ストリップの丸頭ボルト：トルク . . . . . 70 Nm (52 lb-ft)

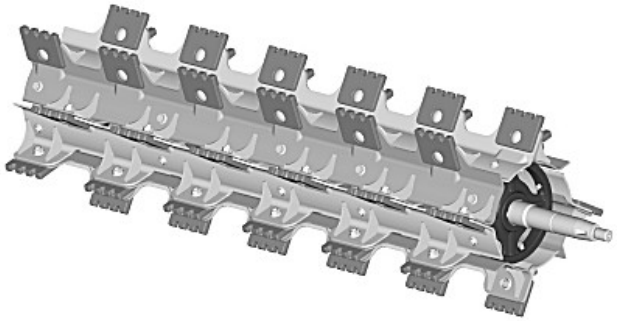
必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、フィードアクセルレータウイング (D) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

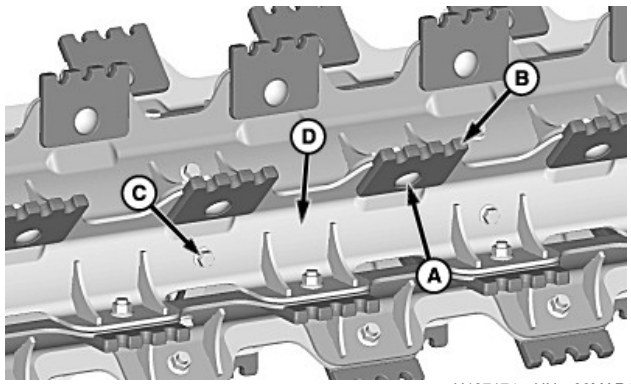
フィードアクセルレータウイングのボルト：トルク . . . . . 70 Nm (52 lb-ft)

OUO6075,0001726-40-14JAN14

難脱穀性作物用フィードアクセルレータの摩耗ストリップ—交換



H107173—UN—06MAR13



H107174—UN—06MAR13

フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップ
(難脱穀性作物)

A：**丸頭ボルト**
B：**フィードアクセルレータ摩耗ストリップ**
C：**キャップスクリュー**
D：**フィードアクセルレータウイング**

注意：**エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップはフィードアクセルレータを取り外さないで交換できます。フィードアクセルレータウイングと摩耗ストリップは 2 個セットで互いに逆のものに交換して正しいバランスを維持してください。

注記： フィードアクセルレータを機械から取り外した場合、または整備した場合は、締め付けボルトを締め付けてからウイングを固定してください。

フィードアクセルレータの摩耗ストリップを交換するときは、必ず金具を交換してください。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、フィードアクセルレータの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

フィードアクセルレータの摩耗ストリップの丸頭ボルト：トルク. . . . . 107 N·m (79 lb·ft)

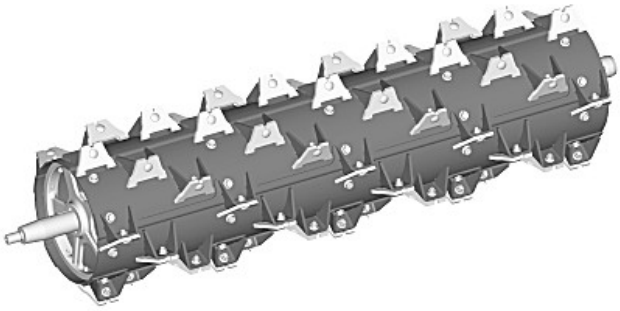
必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、フィードアクセルレータウイング (D) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

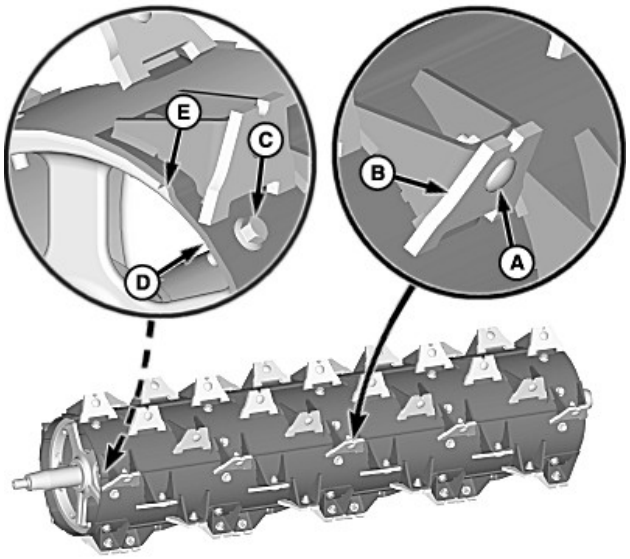
フィードアクセルレータウイングのボルト：トルク. . . . . 70 N·m (52 lb·ft)

OUO6075,0004A13-40-09AUG18

タインフィードアクセルレータの摩耗ストリップ：交換



H102209—UN—15JUN11



H102210—UN—15JUN11
フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップ

A：**丸頭ボルト**
B：**フィードアクセルレータ摩耗ストリップ**
C：**ボルト**
D：**ウイングアセンブリ**
E：**オーバーラップの位置**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。**

フィードアクセルレータウイングおよび摩耗ストリップはフィードアクセルレータを取り外さないで交換できます。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、フィードアクセルレータの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

フィードアクセルレータの摩耗ストリップの丸頭ボルト：トルク. . . . . 73 N·m (54 lb-ft)

必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、ウイングアセンブリ (D) を交換します。

重要： **フィードアクセルレータは静的にバランスが取れている必要があります。フィードアクセルレータのバランスが取れるまで必要に応じて座金を追加します。**

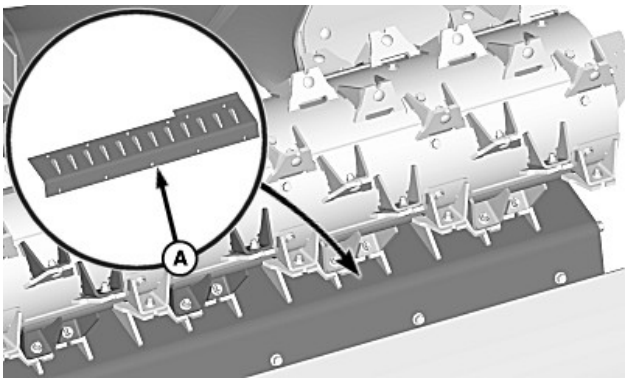
位置 (E) で重ねて図のようにウイングアセンブリを取り付けます。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

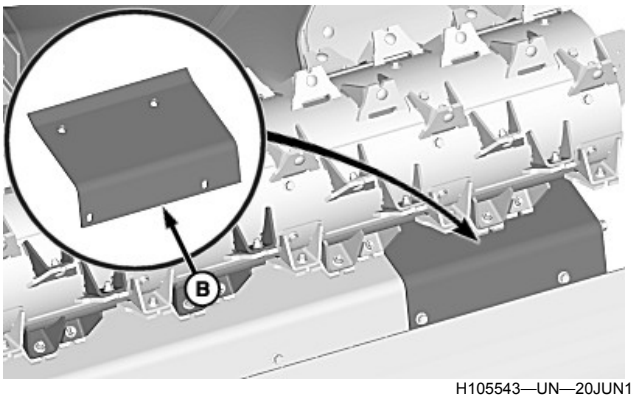
フィードアクセルレータウイングアセンブリのボルト：トルク. . . . . 73 N·m (54 lb-ft)

OUO6075,0001729-40-14JAN14

タインフィードアクセルレータのコームフロア (イネ用機械)



H105544—UN—20JUN12



H105543—UN—20JUN12

A：**コームフロア**
B：**スムースライナープレート**

注記： 機械は工場でコームフロアを取り付けて出荷されます。コームフロアは、タインフィードアクセルレータのみで運転できます。

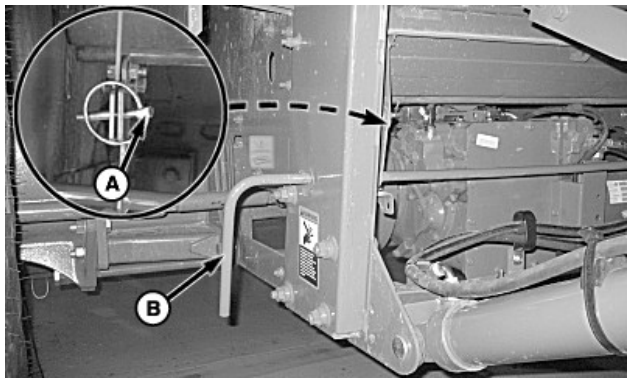
収穫のためにコームフロア (A) を取り外した場合は、機械に付属のスムースライナープレート (B) を取り付ける必要があります (機械の左側)。

イネ以外の収穫情報

- トウモロコシ：コームフロアを取り外してスムースライナープレートを取り付けます。
- 大豆 - 割れが懸念される場合は、コームフロアを取り外してスムースライナープレートを取り付けます。
- 小粒グレン - コームフロアを取り外してスムースライナープレートを取り付けます。

OUO6075,0004557-40-02DEC16

タインフィードアクセルレータのコームフロア (イネ用機械)—取り外し



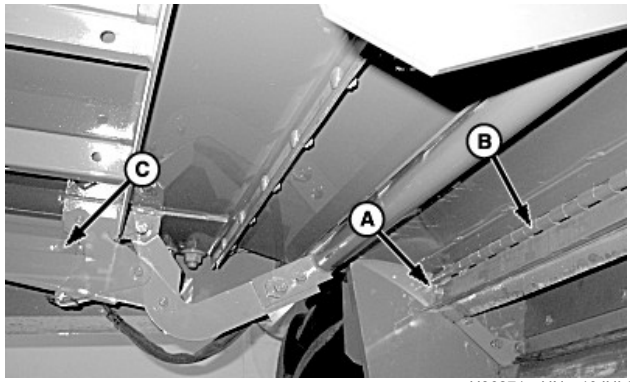
H99239—UN—01DEC10

A：**クイックロックピン**
B：**レバー**

注意： フィーダーハウスを上げ、安全ストップを下げて、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

クイックロックピン (A) を取り外し、レバー (B) を上に動かしてストーントラップを開きます。

フィードプレート (スタイル A)



H86271—UN—10JUL06

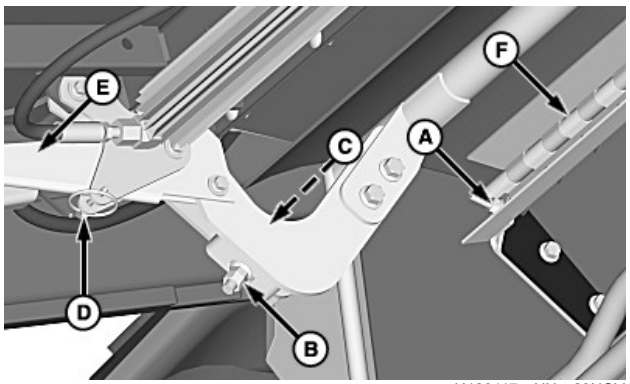
A：**キャップスクリューとナット**
B：**フィードプレートアセンブリ**
C：**レバー**

機械の両側のキャップスクリューとナット (A) を取り外して保管します。

フィードプレートアセンブリを取り外しながら同時にクイックロックピンを取り外してレバー (C) を下後方に動かします。

レバー (C) を上げて、前の手順で取り外したクイックロックピンで固定します。

フィードプレート (スタイル B)



H120117—UN—29NOV16

A：**キャップスクリューとナット**
B：**ナット**
C：**丸頭ボルト**
D：**クイックロックピン**
E：**レバー**
F：**フィードプレートアセンブリ**

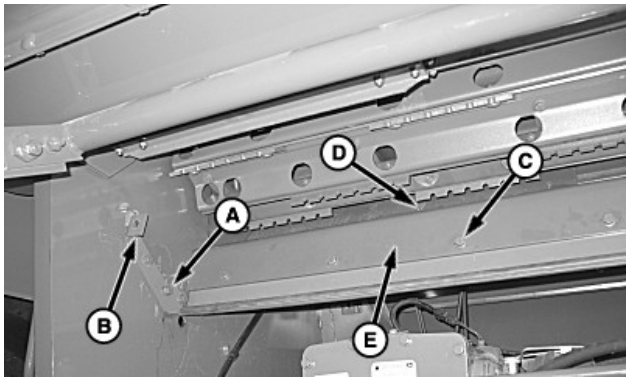
機械の両側のキャップスクリューとナット (A) を取り外して保管します。

機械の両側のナット (B) と丸頭ボルト (C) を取り外します。

フィードプレートアセンブリ (F) を取り外しながら同時にクイックロックピン (D) を取り外してレバー (E) を下後方に動かします。

機械の両側で、レバー (E) を上げて、前の手順で取り外した丸頭ボルト (C) とナット (B) で固定します。

前の手順で取り外したクイックロックピン (D) を取り付けます。



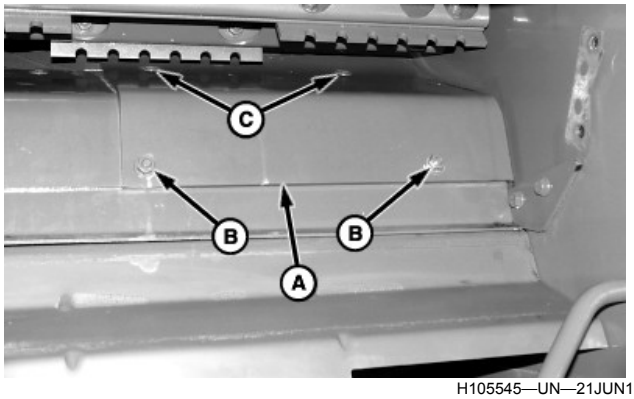
H121116—UN—21MAR17

A：**金具 (2 個使用)**
B：**ブラケット (2 個使用)**
C：**キャップスクリューとナット (5 組使用)**
D：**プラウボルト**
E：**コームフロア**

機械の両側から金具 (A) とブラケット (B) を取り外して保管します。

キャップスクリューとナット (C) を取り外して保管します。

プラウボルト (D) を取り外して保管し、コームフロアを取り外します。



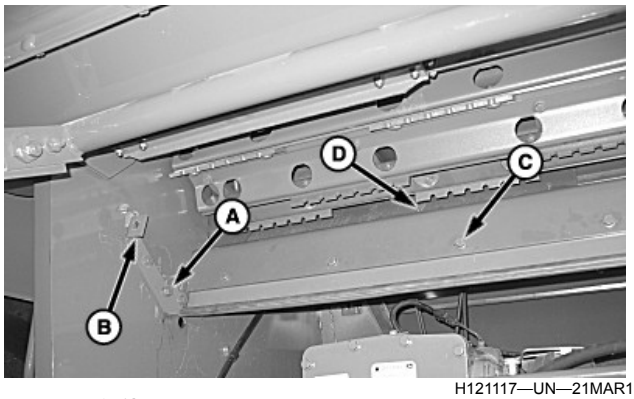
H105545—UN—21JUN12

A：**スムースライナープレート**
B：**キャップスクリューとナット (2 組使用)**
C：**プラウボルト (2 本使用)**

機械に付属のスムースライナープレート (A) を左側に取り付けます。

前の手順で取り外したキャップスクリューとナット (B) を取り付けます。

前の手順で取り外したプラウボルト (C) を取り付けます。



H121117—UN—21MAR17

A：**金具 (2 個使用)**
B：**ブラケット (2 個使用)**
C：**キャップスクリューとナット (3 組使用)**
D：**プラウボルト (3 本使用)**

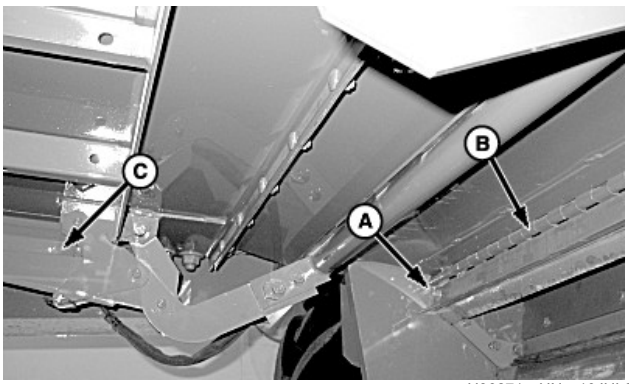
注記： コームフロアを固定していた穴にプラウボルトを取り付けて、グレンロスを防止する必要があります。

前の手順で取り外したプラウボルト (D) を取り付けます。

前の手順で取り外したボルトとナット (C) を取り付けます。

前の手順で取り外したブラケット (B) を機械の両側に取り付けて、前の手順で取り外した金具 (A) で固定します。

フィードプレート (スタイル A)



H86271—UN—10JUL06

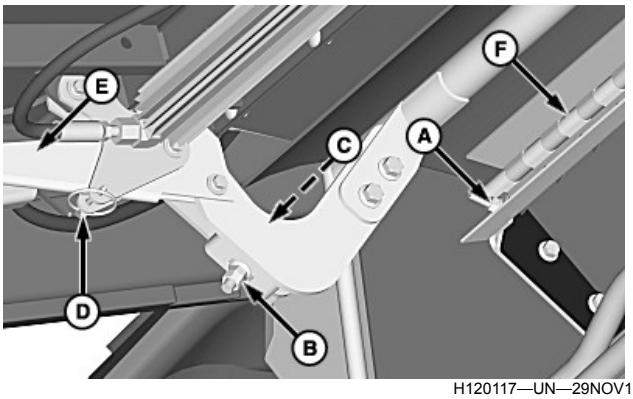
A：**キャップスクリューとナット**
B：**フィードプレートアセンブリ**
C：**レバー**

クイックロックピンを取り外してレバー (C) を下後方に動かし、ドアを開きます。

前の手順で取り外したフィードプレートアセンブリ (B) を機械の両側に取り付けて、前の手順で取り外したキャップスクリューとナット (A) で固定します。

レバーを前方上に押してフィードプレートドアを閉めて、前の手順で取り外したクイックロックピンで固定します。

フィードプレート (スタイル B)



H120117—UN—29NOV16

A：**キャップスクリューとナット**
B：**ナット**
C：**丸頭ボルト**
D：**クイックロックピン**
E：**レバー**
F：**フィードプレートアセンブリ**

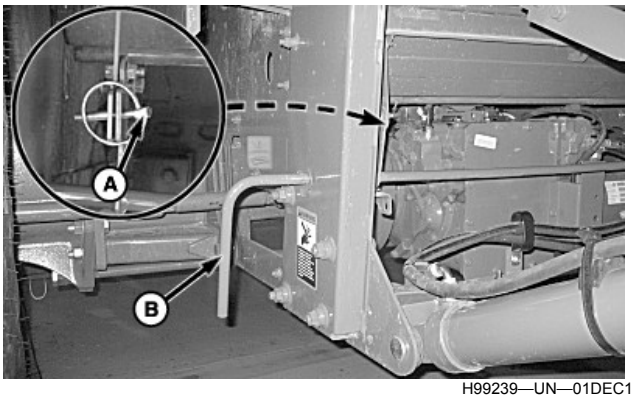
機械の両側のナット (B) と丸頭ボルト (C) を取り外します。

クイックロックピン (C) を取り外してレバー (E) を下後方に動かします。

前の手順で取り外したフィードプレートアセンブリ (F) を機械の両側に取り付けて、前の手順で取り外したキャップスクリューとナット (A) で固定します。

機械の両側で、レバー (E) を上げて、前の手順で取り外した丸頭ボルト (C) とナット (B) で固定します。

前の手順で取り外したクイックロックピン (D) を取り付けます。



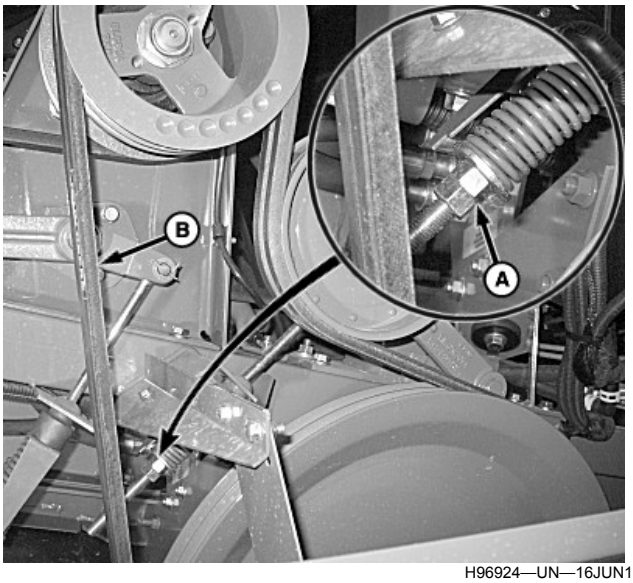
H99239—UN—01DEC10

A：**クイックロックピン**
B：**レバー**

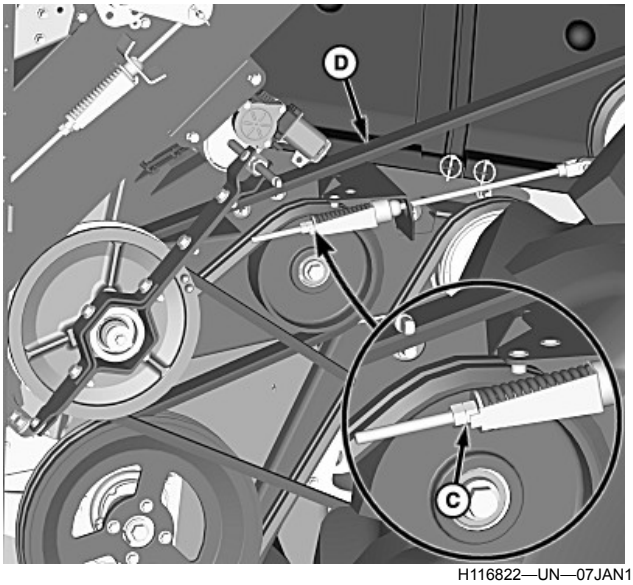
レバー (B) を下に動かしてストーントラップを閉めてクイックロックピン (A) で固定します。

OUO6075,00046A7-40-21MAR17

フィードアクセルレータベルト：交換



H96924—UN—16JUN10



H116822—UN—07JAN16

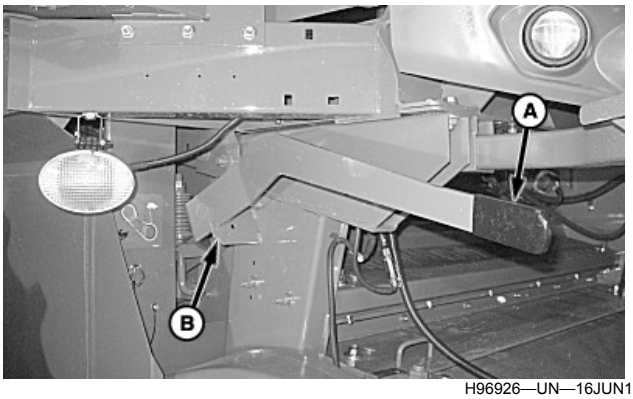
A：**ナット**
B：**フロントジャックシャフトベルト**
C：**ナット**
D：**ベルト**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

ナット (A) を緩めて、フロントジャックシャフトベルト (B) から張力を除去します。

ナット (C) を緩めて、シュー、ファン、コンベアオーガベルト (D) から張力を除去します。

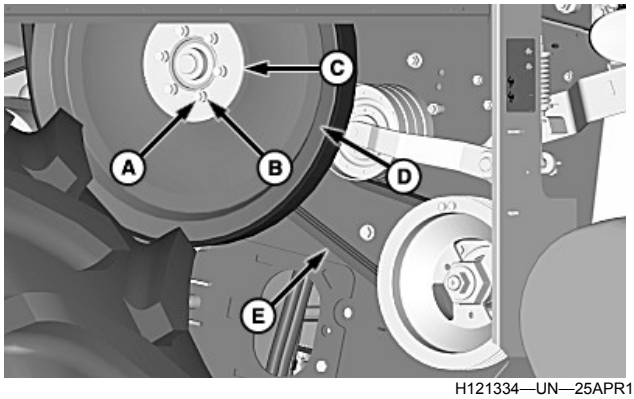
フィードアクセルレータベルトを取り外せるように、両方のベルトを取り外します。



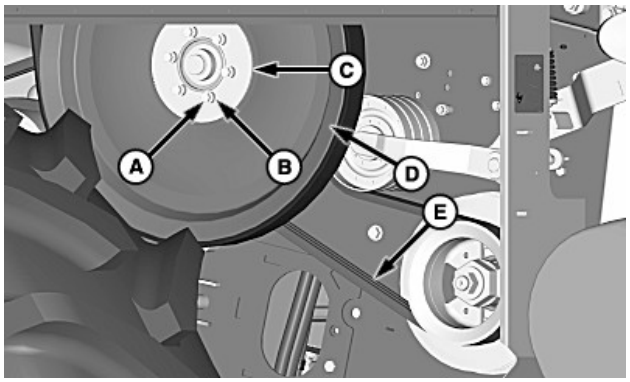
H96926—UN—16JUN10

A：**レバー**
B：**ブラケット**

レバー (A) を押し上げてブラケット (B) のノッチから外し、アクセルレータベルトからベルト張力を解放します。



H121334—UN—25APR17
フィードアクセルレータベルト *(*標準速度大容量*)*



H121335—UN—25APR17
フィードアクセルレータベルト *(*高速大容量*)*

A：**キャップスクリュー (6 本使用)**
B：**スペーサ (6 個使用)**
C：**シム (2 個使用)**
D：**シーブ**
E：**フィードアクセルレータベルト**

キャップスクリュー (A)、スペーサ (B)、シム (C)、およびシーブ (D) を取り外します。

フィードアクセルレータベルト (E) を取り外して交換用ベルトを取り付けます。

シーブ、シム、スペーサを取り付けてキャップスクリューで固定します。

ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 70 N·m (52 lb·ft)

レバーを押し上げてブラケットのノッチに入れます。

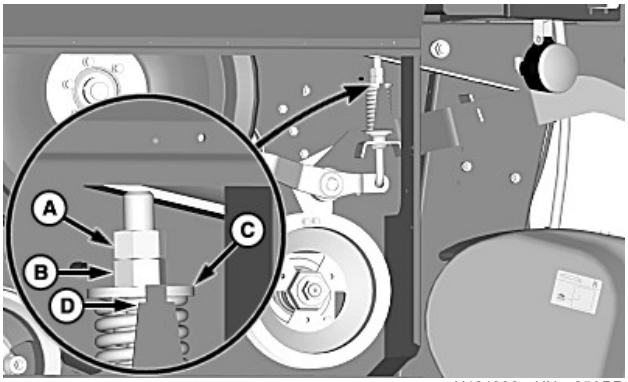
座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるようにフィードアクセルレータベルトの張力を調整します。

シュー、ファン、コンベアオーガベルト、フロントジャックシャフトベルトを取り付けます。

座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるようにベルトの張力を調整します。

OUO6075,0004727-40-25APR17

フィードアクセルレータベルト：調整



H121336—UN—25APR17

A：**ナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

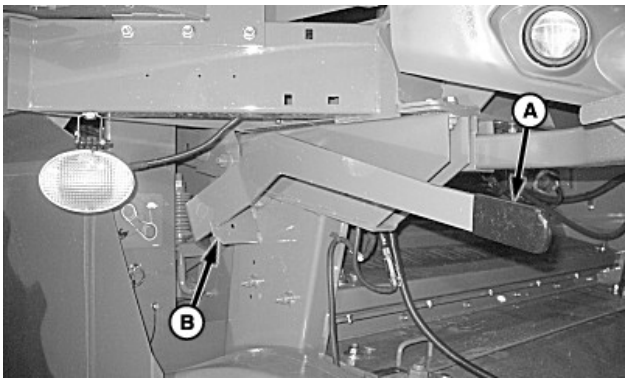
注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

フィードアクセルレータベルトアイドラは、機械の右側、フィーダーハウスピボットの背後にあります。

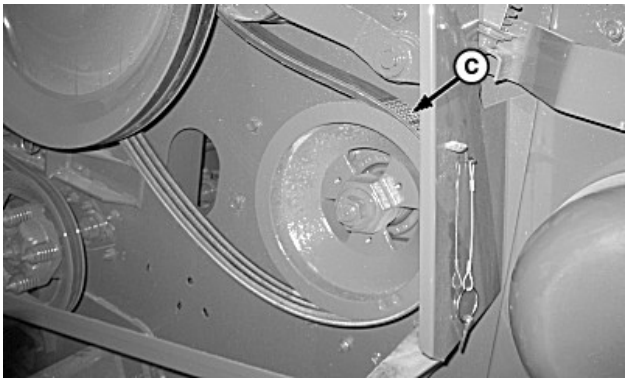
座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,0004728-40-25APR17

標準速度大容量フィードアクセルレータ：速度の変更



H96926—UN—16JUN10



H86423—UN—28JUL06

A：**レバー**
B：**ブラケット**
C：**ベルト**

注記： 推奨されているフィードアクセルレータ速度の設定については、「作物の設定」セクションを参照してください。

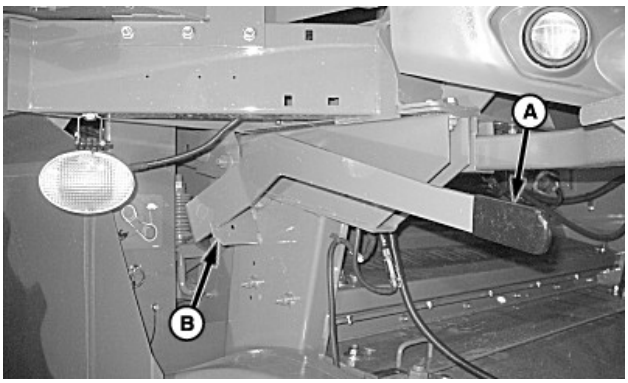
セパレータ回転数を変更するときは、電源の ON と OFF を入れ直して新しい回転数範囲が認識されていることを確認してください。

フィードアクセルレータ速度を高速位置に変更するには、次の手順に従います。

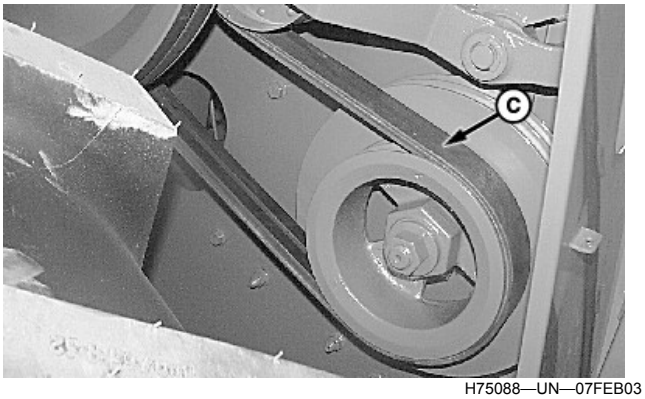
- レバー (A) を押し上げてブラケット (B) のノッチから外し、ベルト張力を解放します。
- ベルト (C) を両方のシーブの内側のシーブ溝 (高速用) に移動します。
- レバーを押し上げてブラケットのノッチにかみ合わせて、ベルト張力をリセットします。

OUO6075,00007F2-40-27OCT10

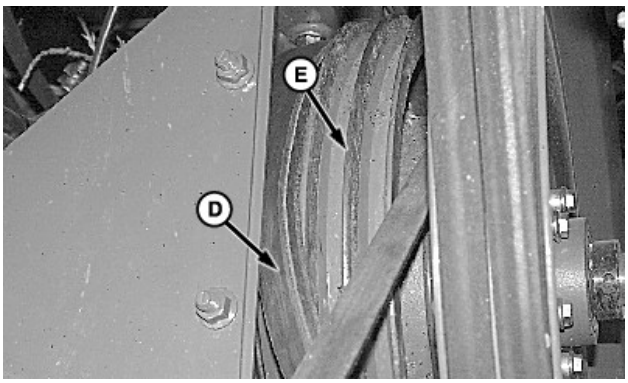
高速大容量フィードアクセルレータ：低速への変更



H96926—UN—16JUN10



H75088—UN—07FEB03



H75076—UN—06FEB03

A：**レバー**
B：**ブラケット**
C：**ベルト**
D：**ベルト**
E：**上部シーブ**

注記： 推奨されているフィードアクセルレータ速度の設定については、「作物の設定」セクションを参照してください。

セパレータ回転数を変更するときは、電源の ON と OFF を入れ直して新しい回転数範囲が認識されていることを確認してください。

フィードアクセルレータ速度を低速位置に変更するには、次の手順に従います。

- レバー (A) を押し上げてブラケット (B) のノッチから外し、ベルト張力を解放します。
- 下部シーブからベルト (C) を取り外して、ベルトを上部シーブから吊り下げます。

注記： 上部シーブとサイドシートの間に合わせるためにベルトをねじる必要があります。

- 上部シーブ (E) からベルト (D) を取り外して、低速用の内側シーブに移動します。
- 下部シーブの内側シーブの溝にベルト (C) を取り付けます。
- レバーを押し上げてブラケットのノッチにかみ合わせて、ベルト張力をリセットします。

OUO6075,00007F3-40-14JUN11

コンケーブに関する推奨事項

注記： 各種作物に対する機械の推奨設定の詳細については、「作物設定」セクションを参照してください。

コンケーブタイプ	とうもろこし	大豆	小麦 オオムギ 小粒穀物	イネ	ポップコーン 食用トウモロコシ	モロコシ (ミロ) ヒマワリ (製菓用)	ヒマワリ (オイル用)	キャノーラ
小ワイヤ	NR	NR	最良	NR	NR	NR	平均	最良
大ワイヤ	良好	良好	良好	最良	NR	最良	最良	良好
丸棒	最良	最良	平均	良好	最良	平均	最良	平均

最良 = 最高の結果を得ることが可能。
良好 = 良い結果を得ることが可能。
平均 = 平均的な結果を得ることが可能。
非推奨 = 推奨しません。

推奨設定

注記： 各種作物に対する機械の推奨設定の詳細については、「作物設定」セクションを参照してください。

条件やオペレータの好みに合わせて、多数のコンケーブの組み合わせが可能です。

コンケーブタイプ	とうもろこし 大豆	小麦	大麦	レンズマメ	ひよこ豆	キャノーラ
John Deere	RB、RB、RB	SW、SW、SW Plus カバー	SW、SW、LW	SW、SW、SW	SW、RB、RB	SW、SW、SW
Kondex® Revolution™	MR、RB、RB	MT、SW、SW	MT、SW、LW	MT、SW、SW	MR、RB、RB	MT、SW、SW

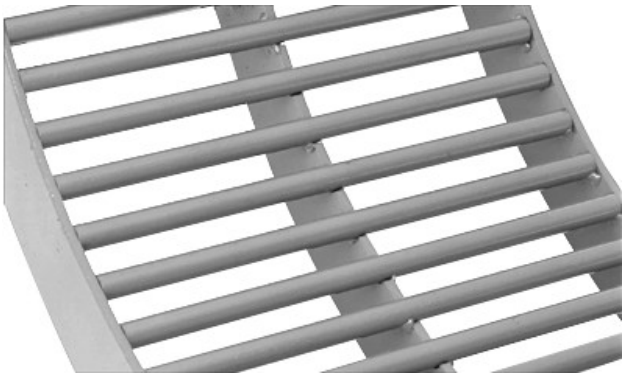
SW = John Deere ワイヤコンケーブ (小)
LW = John Deereワイヤコンケーブ (大)
RB = John Deere ラウンドバーコンケーブ

コンケーブタイプ	とうもろこし 大豆	小麦	大麦	レンズマメ	ひよこ豆	キャノーラ
MT = Kondex® Revolution™ 2 つの半幅 MaxThresh™ コンケーブ MR = Kondex® Revolution™ 1 つの半幅 MaxThresh™ コンケーブと 1 つの半幅 MaxRound™ コンケーブ						

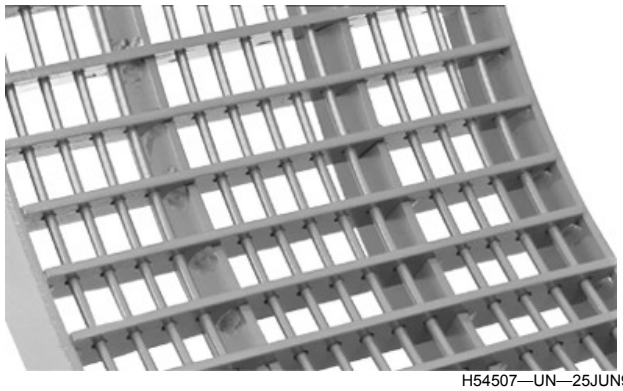
MaxThresh は、Kondex Corporation の商標です。
MaxThresh は、Kondex Corporation の商標です。
MaxRound は、Kondex Corporation の商標です。

OUO6075,0005039-40-11MAY21

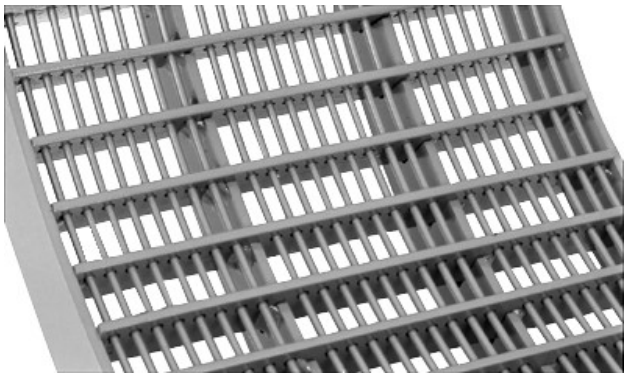
コンケーブタイプ



H54506—UN—23MAR99
ラウンドバー複数作物コンケーブ



H54507—UN—25JUN99
大径ワイヤコンケーブ



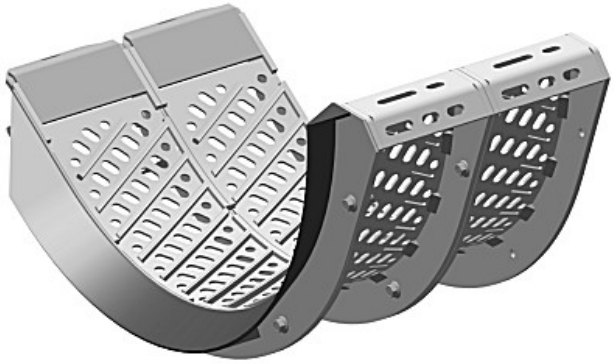
H54508—UN—22JUN99
小径ワイヤコンケーブ

種々の作物および作物条件用の 3 種類のコンケーブがあります。

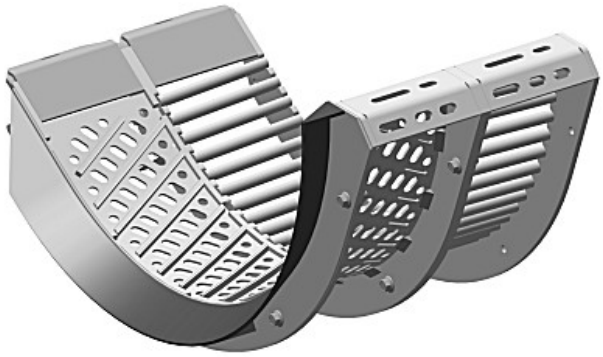
- トウモロコシや大豆には、ラウンドバー複数作物コンケーブを使用します。
- イネ、大豆、モロコシには大径ワイヤコンケーブを使用します。
- 小径ワイヤコンケーブは小粒穀物に使用します。

OUO6075,00007A8-40-02JUN10

コンケーブタイプ (MaxThresh™ と MaxRound™)



H134407—UN—14MAY21
MaxThresh™ コンケーブ



H134408—UN—14MAY21
MaxThresh™ と *MaxRound*™ コンケーブ

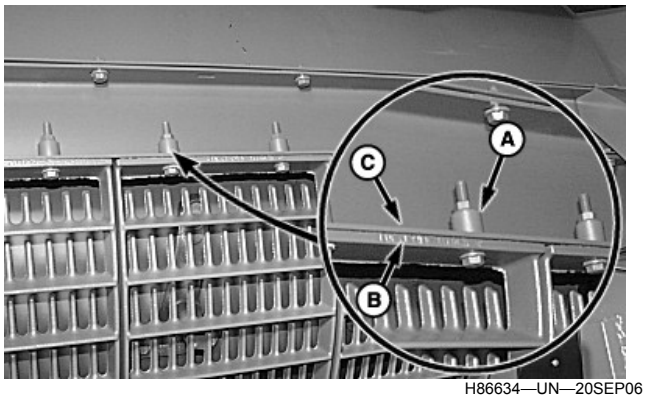
異なる作物と作物条件に合わせて 2 種類のコンケーブを使用できます。

- MaxThresh™ コンケーブは小粒穀物用です。
- MaxThresh™ と MaxRound™ コンケーブは粗粒穀用です。

OUO6075,0005036-40-14MAY21

MaxThresh は、Kondex Corporation の商標です。
MaxRound は、Kondex Corporation の商標です。

セパレータ格子スペーサ



H86634—UN—20SEP06

A：**スペーサ**
B：**セパレータ格子**
C：**セパレータチャンネル**

保管位置 (図示) には工場でスペーサが取り付けられています。

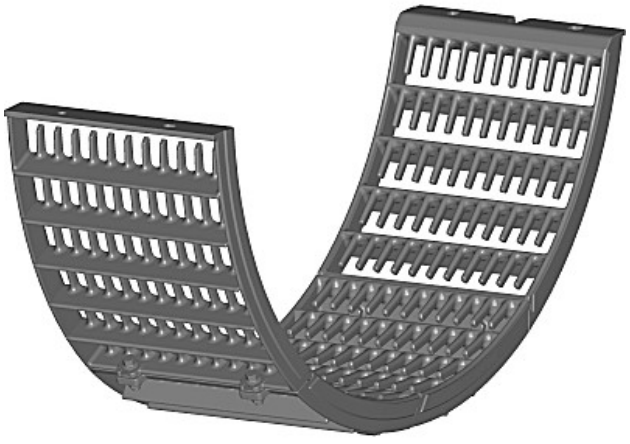
グレインタンクサンプルの穂軸の破片を減らすためにスペーサを使用できます。

重要： **スペーサはトウモロコシや大豆のみに使用する必要があります。他のすべての作物でスペーサを取り外してください (図のようにスペーサを保管位置に配置します)。**

保管位置 (図示) からすべてのセパレータ格子スペーサ (A) を取り外して、セパレータ格子 (B) とセパレータチャンネル (C) の間に取り付けます。

OUO6075,0000B06-40-03JAN11

セパレータ格子の種類



H107177—UN—06MAR13
標準鋳造セパレータ格子

H107178—UN—06MAR13
ヘビーデューティ溶接セパレータ格子

H133680—UN—15MAR21
ヘビーデューティ鋳造セパレータ格子

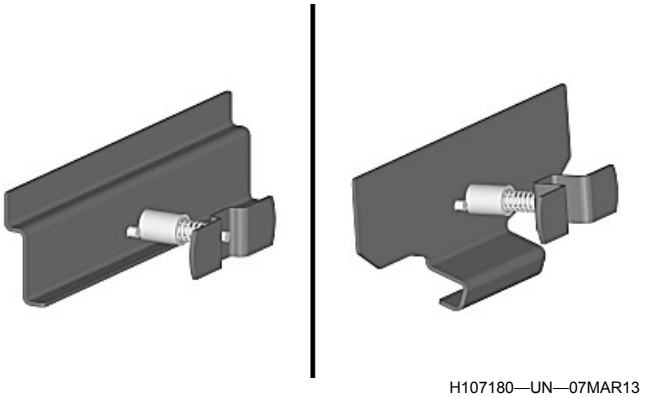
機械には、2 種類のセパレータ格子オプションがあります。

- 標準鋳造セパレータ格子：イネや小粒タフグレインパッケージを除き、すべての機械に標準で付属しています。
- ヘビーデューティ溶接機と鋳鉄セパレータ格子ヘビーデューティは、タフな作物状況で使用され、ローターロスの低減に役立ちます。この格子は TriStream™ ローターや可変ストリームローター機械ではオプションですが、小粒のタフグレイン、イネ、タフライスパッケージでは標準で装備しています。

OUO6075,0005037-40-14MAY21

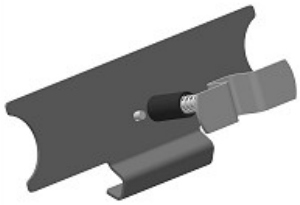
TriStream は Deere & Company の商標です。

セパレータ格子カバー (装備されている場合)



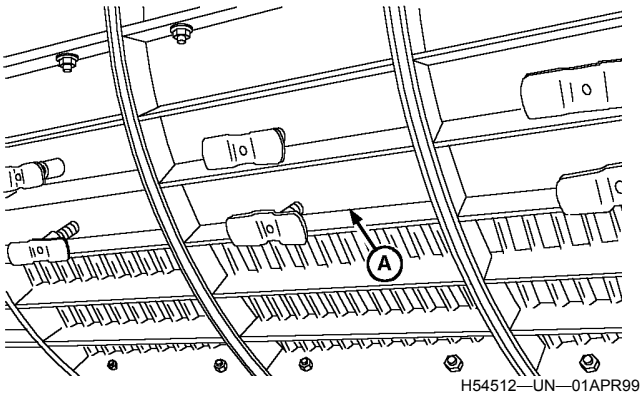
H107180—UN—07MAR13

標準鋳造格子カバー / ヘビーデューティ溶接格子カバー



H133682—UN—15MAR21

ヘビーデューティ鋳造格子カバー



H54512—UN—01APR99

A：**セパレータ格子カバー**

セパレータ格子カバー (A) は小粒穀物に使用され、非常に乾燥した作物での使用にも推奨されます。セパレータ格子にはカバー (A) が取り付けられており、クリーニングシューへの脱穀負荷を分散するのに役立ちます。

標準鋳造格子カバー

- 2 つの列 (8 つのカバー) を右側に取り付け、3 つの列 (12 カバー) を左側に取り付します。条件により必要に応じて調整します。

ヘビーデューティ溶接及びヘビーデューティケース格子カバー

- 列 1 台 (4 つのカバー) を右側に取り付け、2 つの列 (8 つのカバー) を左側に取り付します。条件により必要に応じて調整します。

OUO6075,0005038-40-14MAY21

セパレータ格子インタラプタ (装備されている場合)

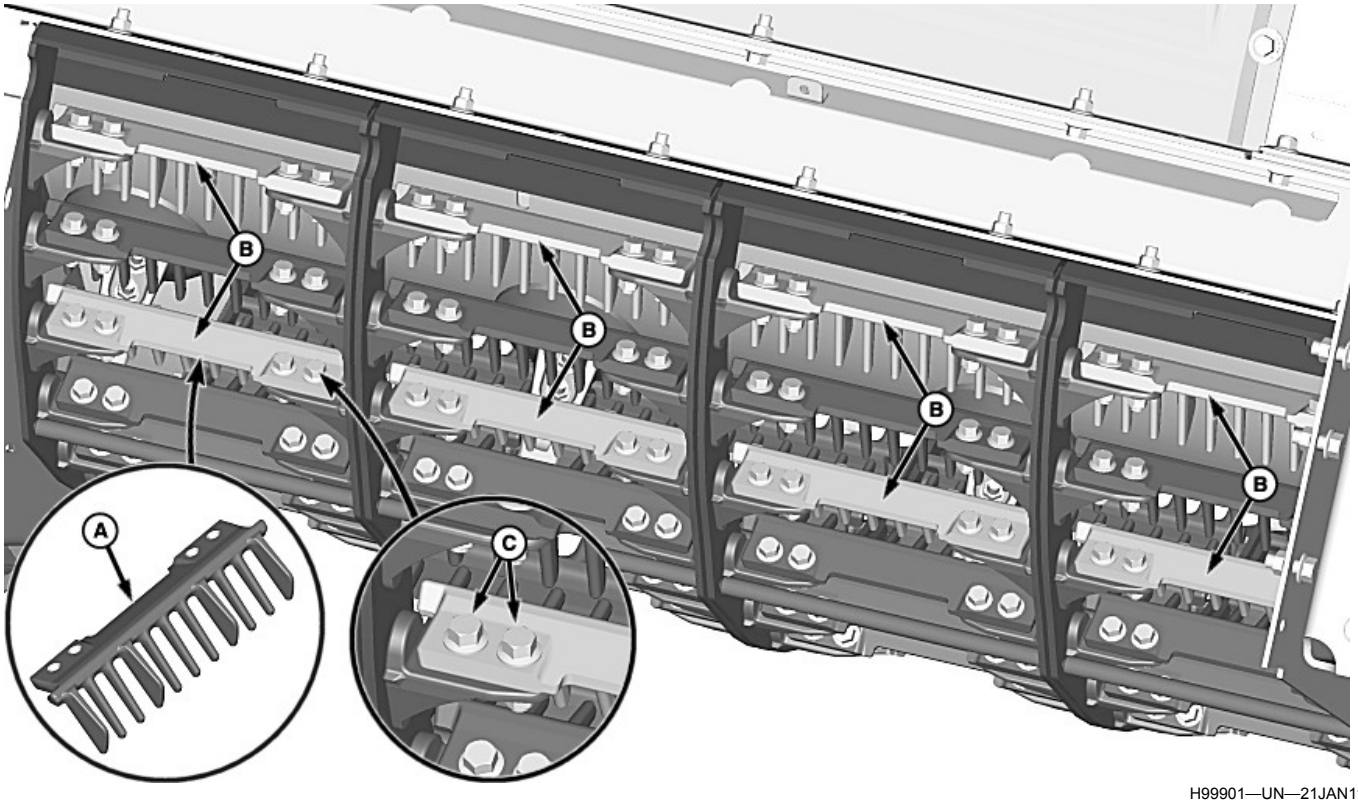
H99873—UN—27JAN11

セパレータ格子インタラプタは、ヘビーデューティセパレータ格子で使用され、機械の右側の 1 列目と 3 列目にあります。

これらのインタラプタは、作物マットのフローを寸断し、さらに穀粒を振って分離できるのでセパレータ容量が増えます。

OUO6075,00016F7-40-19DEC13

セパレータ格子インタラプタの位置 (装備されている場合)



H99901—UN—21JAN11

A：**セパレータ格子インタラプタ**
B：**位置 (8 個使用)**
C：**ボルトとナット (32 個使用)**

重要： **セパレータ格子インタラプタは、図に示すようにセパレータの右側の 1 列目と 3 列目で使用します。その他の位置に取り付けると、干渉や機械性能の低下の原因になります。**

セパレータ格子インタラプタを取り付けた後、機械を始動する前またはセパレータを接続する前にローターが自由に回転することを確認してください。

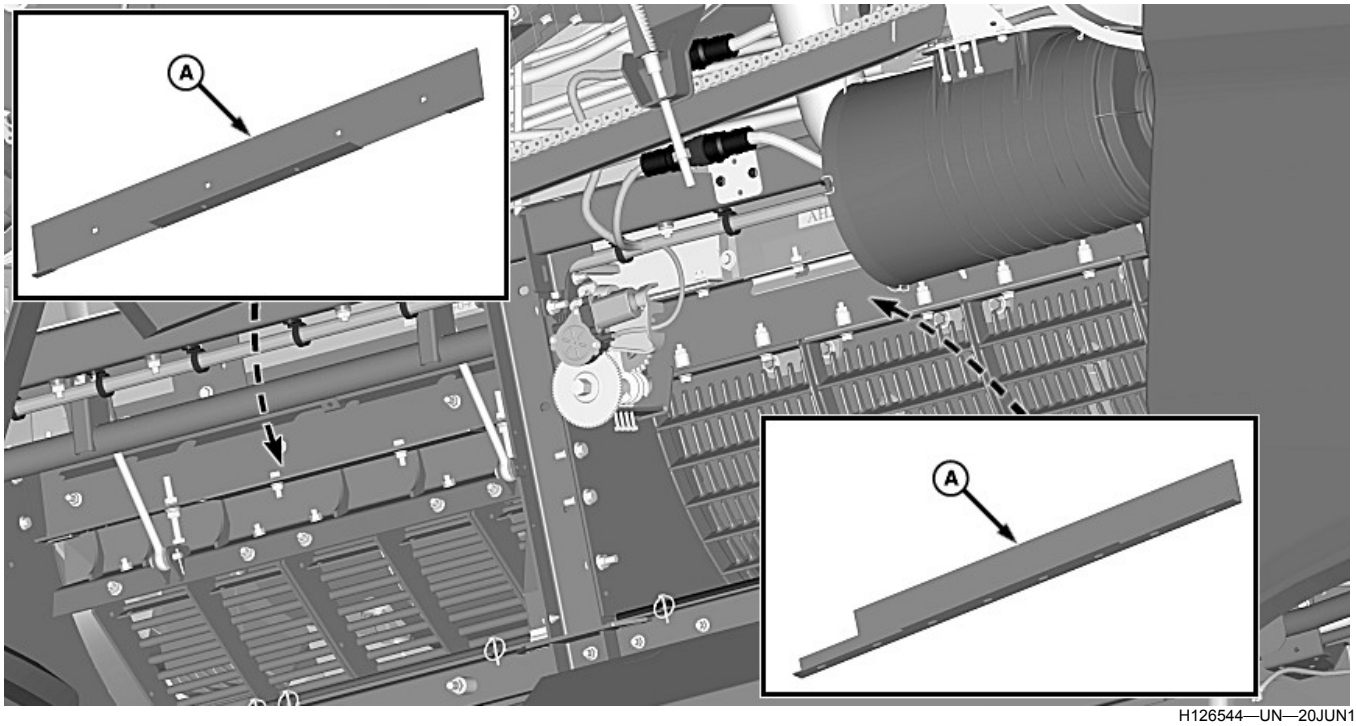
1. セパレータ格子インタラプタ (A) は、図に示すように必ず位置 (B) に取り付ける必要があります。
2. ボルトとナット (C) を使用してセパレータ格子インタラプタを固定します。
3. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト：トルク	73 N·m (54 lb-ft)

OUO6075,00016F8-40-19DEC13

セパレータレールライナー (装備されている場合)



H126544—UN—20JUN19

A：**セパレータレールライナー**

注記： 左側セパレータレールライナー。右側セパレータレールライナーも同様。

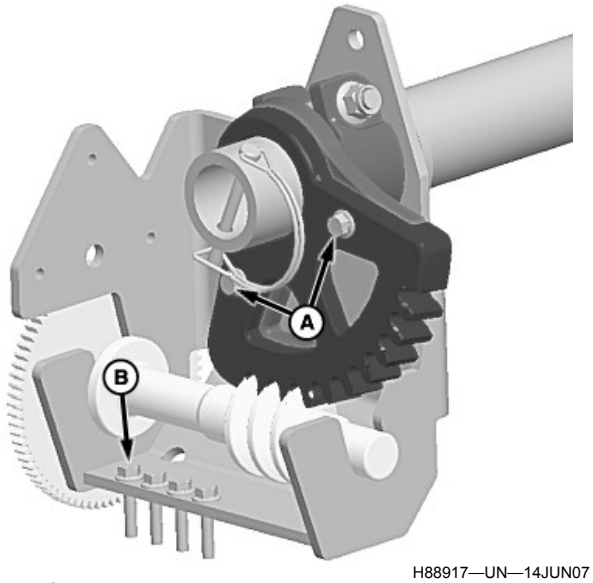
セパレータレールライナー (A) は、摩耗作用のある作物の収穫時にセパレータレールを保護します。

左右のセパレータレールライナーに摩耗がないか定期的に点検してください。

必要に応じて、セパレータレールライナーを取り外して交換します。詳しくは、John Deere 販売店にお問い合わせください。

OUO6075,0004BCF-40-20JUN19

コンケーブセクターギアせん断ボルト (標準型コンケーブの調整)



H88917—UN—14JUN07

A：**せん断ボルト**
B：**予備せん断ボルト (4 本使用)**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。**

John Deere が供給しているせん断ボルト (A) のみを使用してください。交換用せん断ボルトについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

せん断ボルトが破断した場合は、セクターギアブラケットにある予備せん断ボルト (B) に交換してください。

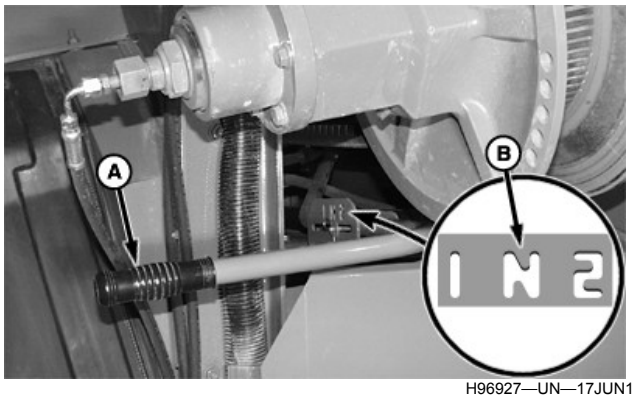
せん断ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

せん断ボルト：トルク. . . . . 15 N·m (133 lb-in)

OUO6075,0001800-40-13MAY14

コンケーブセクション (標準型コンケーブの調整)—取り外しと取り付け



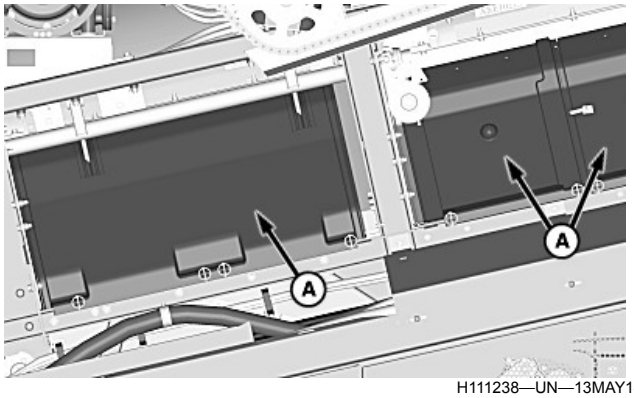
H96927—UN—17JUN10

A：**ハンドル**
B：**ニュートラル位置**

⚠ 注意： **コンケーブセクションは非常に重いので取り扱いが厄介です。コンケーブセクションの取り外しと取り付けには、もう 1 人の作業者が必要な場合があります。**

注記： 取り外しを容易に行うには、コンケーブを完全に閉めてください。

1. ハンドル (A) を動かして、ローターギヤケースをニュートラル位置 (B) にシフトします。

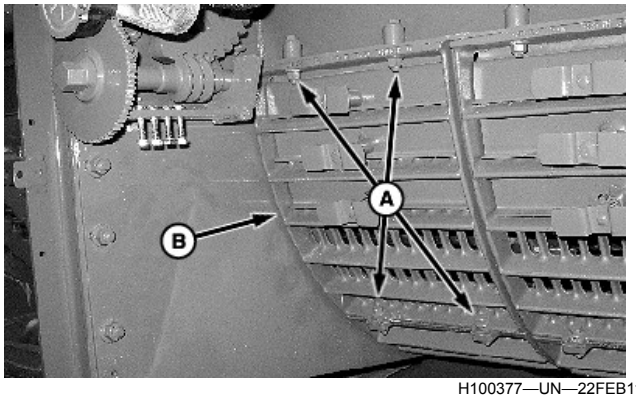


H111238—UN—13MAY14

A：**セパレータカバー**

注記： 必要に応じて、シールドを取り外してセパレータ点検カバーにアクセスします。

2. セパレータ点検カバー (A) を取り外します。

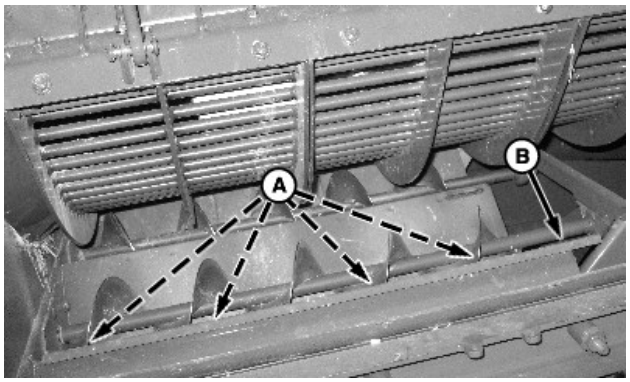


H100377—UN—22FEB11

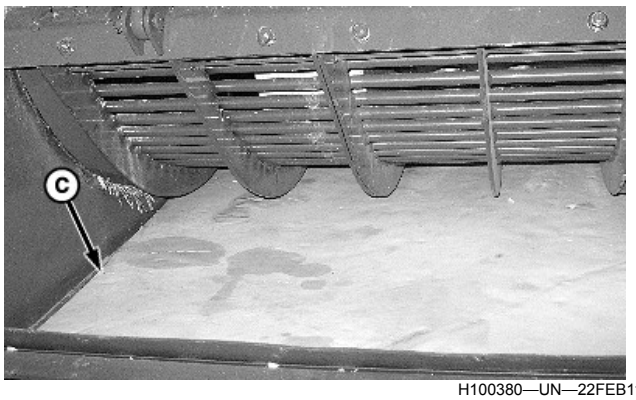
A：**キャップスクリュー**
B：**セパレータ格子**

注記： セパレータ格子を取り外すと、ローターを回転させることができます。

3. キャップスクリュー (A) とセパレータ格子 (B) を取り外します。



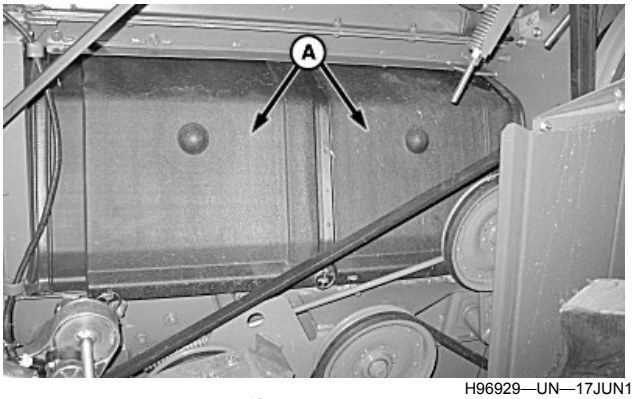
H100378—UN—22FEB11



H100380—UN—22FEB11

A：**キャップスクリュー (4 本使用)**
B：**ダイバータ**
C：**ボール紙**

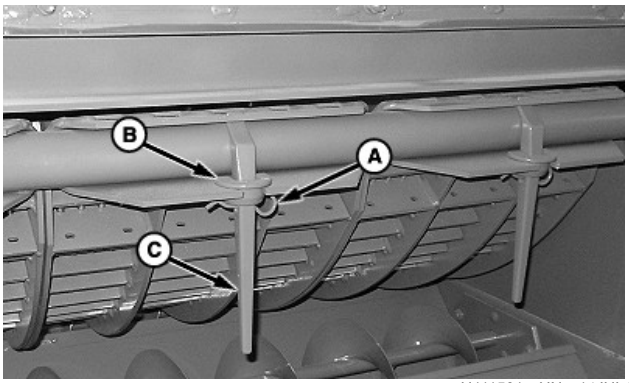
4. ボルト (A) を緩めて、左側のシートメタル製ダイバータ (B) を取り外します。
5. コンベアオーガにボール紙 (C) やポリの小片を置きます。これにより、オーガを保護してコンケーブを取り外すための滑らかな面を用意できます。



H96929—UN—17JUN10

A：**セパレータカバー (2 本使用)**

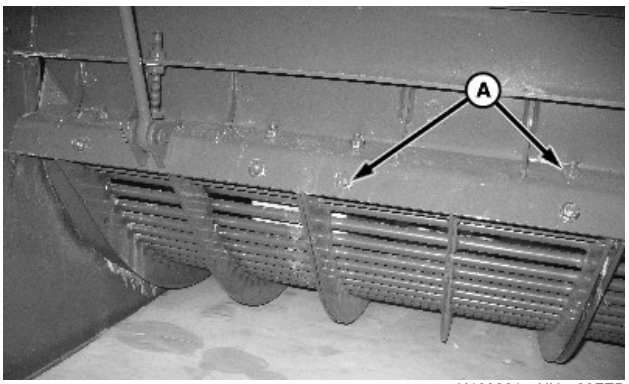
6. 必要に応じて、シールドを取り外してセパレータ点検カバーにアクセスします。
7. 機械の右側のクイックロックピンと前部の 2 つのセパレータカバー (A) を取り外します。



H111561—UN—14JUL14

A：**スプリングピン**
B：**コンケーブリテーナ**
C：**ハンドル**

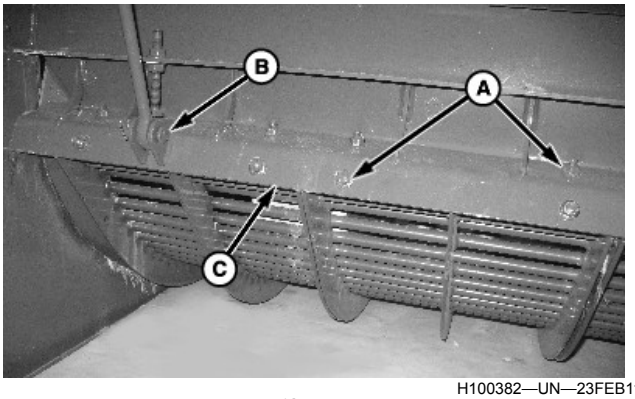
8. スプリングピン (A) をコンケーブリテーナ (B) から取り外します。
9. コンケーブリテーナ (B) を持ち上げて各コンケーブセクションからハンドル (C) を取り外します。



H100381—UN—23FEB11

A：**キャップスクリュー (12 本使用)**

10. ボルト (A) を緩めます。

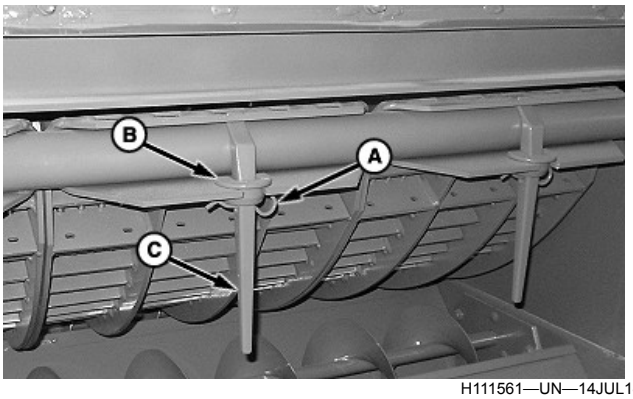


H100382—UN—23FEB11

A：**キャップスクリュー (12 本使用)**
B：**ピン (2 本使用)**
C：**「Z」バー**

注意： **損傷を防ぐために、コンケーブをオーガベッド上に慎重に下ろします。**

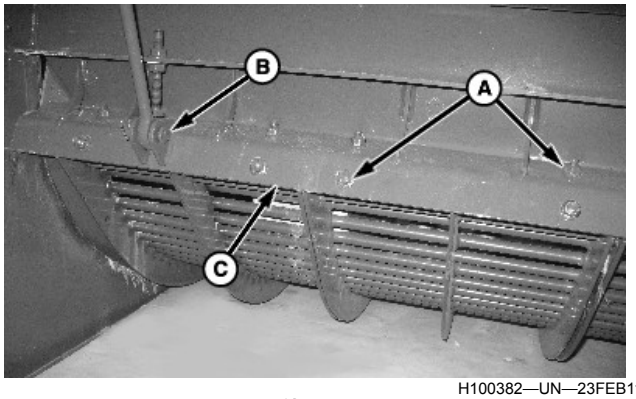
11. キャップスクリュー (A) を取り外します。
12. コッタピン、ピン (B)、「Z」バー (C) を取り外します。
13. 脱穀エレメントパターンの隙間が中間のコンケーブで発生するようにローターを回転させます。
14. 中心コンケーブセクションを取り外します。
15. リアコンケーブを中心位置までスライドさせて取り外します。
16. フロントコンケーブを中心位置までスライドさせて取り外します。
17. KXE10110 隙間ゲージを使用して、コンケーブセクション、脱穀エレメント、脱穀タインの摩耗を点検します。
18. 逆の順にコンケーブを取り付けます。



H111561—UN—14JUL14

A：**スプリングピン**
B：**コンケーブリテーナ**
C：**ハンドル**

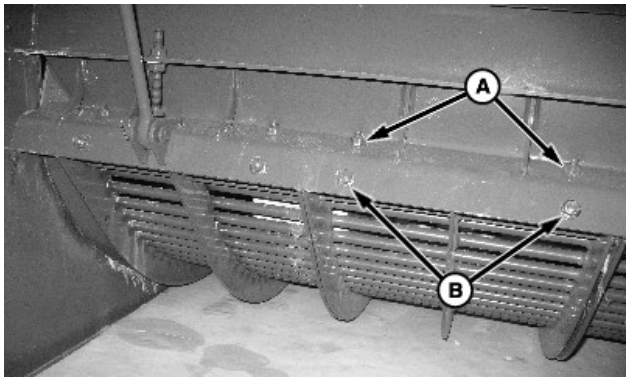
19. ハンドル (C)、コンケーブリテーナ (B)、スプリングピン (A) をコンケーブセクションに取り付けます。



H100382—UN—23FEB11

A：**キャップスクリュー (12 本使用)**
B：**ピン (2 本使用)**
C：**「Z」バー**

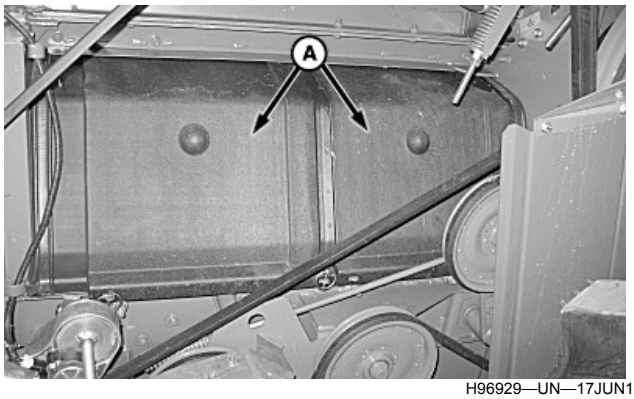
20. コンケーブの端に「Z」バー (C) を配置してボルトを取り付けます。この時点では完全に締め付けないでください。
21. ピン (B) を取り付けます。



H121120—UN—22MAR17

A：**キャップスクリュー (6 本使用)**
B：**キャップスクリュー (6 本使用)**

22. コンケーブの端部が「Z」バーにしっかりとはまっていることを確認し、まず上の列のキャップスクリュー (A) を締め付けます。
23. 下の列のキャップスクリュー (B) を最後に締め付けます。
24. コンケーブレベルを調整します。(このセクションで後述の「コンケーブの水平調整 (標準型コンケーブの調製)」を参照してください)。

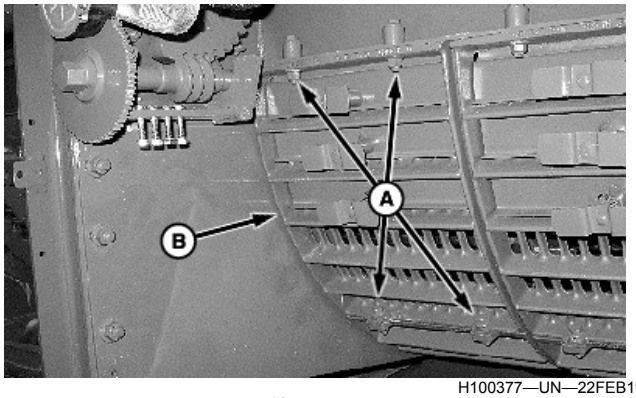


H96929—UN—17JUN10

A：**セパレータカバー**

注記： セパレータカバーの上端がクリップの下側にあることを確認してください。

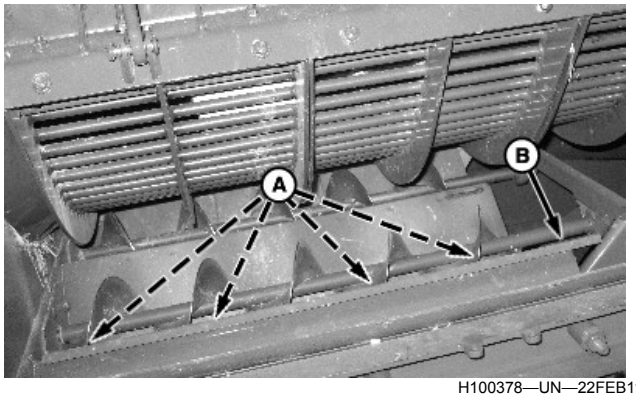
25. セパレータカバー (A) を取り付けます。
26. セパレータ点検カバーにアクセスするために前の手順で取り外したシールドを取り付けます。



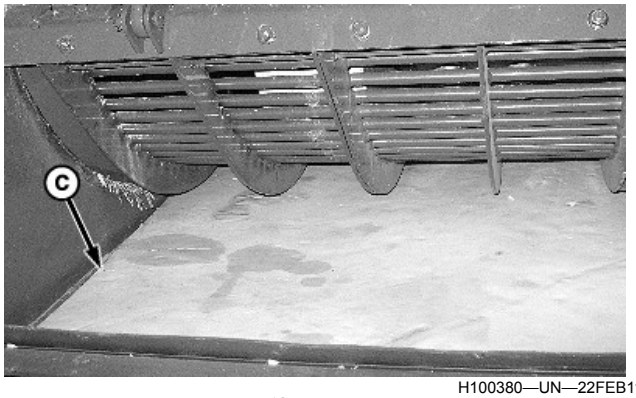
H100377—UN—22FEB11

A：**キャップスクリュー (4 本使用)**
B：**セパレータ格子**

27. セパレータ格子 (B) を取り付けて、キャップスクリュー (A) で固定します。



H100378—UN—22FEB11

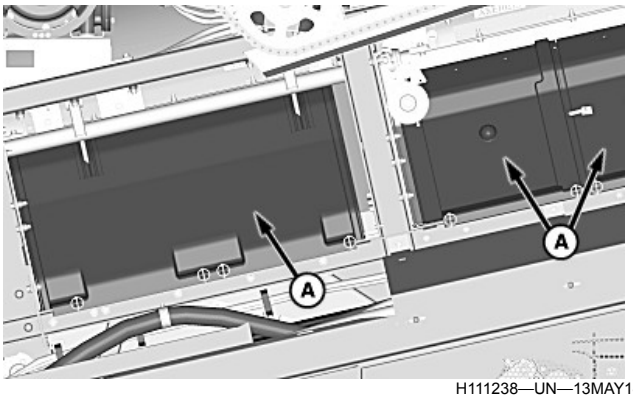


H100380—UN—22FEB11

A：**キャップスクリュー (4 本使用)**
B：**ダイバータ**
C：**ボール紙**

28. コンベアオーガからボール紙 (C) またはポリを取り外します。

29. ダイバータ (B) を元の位置に取り付けて、キャップスクリュー (A) を締め付けます。



H111238—UN—13MAY14

A：**セパレータカバー**

30. セパレータ点検カバー (A) を取り付けます。
31. 前の手順で取り外したシールドを取り付けて、セパレータ点検カバーにアクセスします。
32. ローター駆動ギヤケースを必要な速度レンジにします。

OUO6075,0004605-40-04APR17

コンケーブセクション (アクティブコンケーブ分離)—取り外しと取り付け

H117012—UN—28MAR16

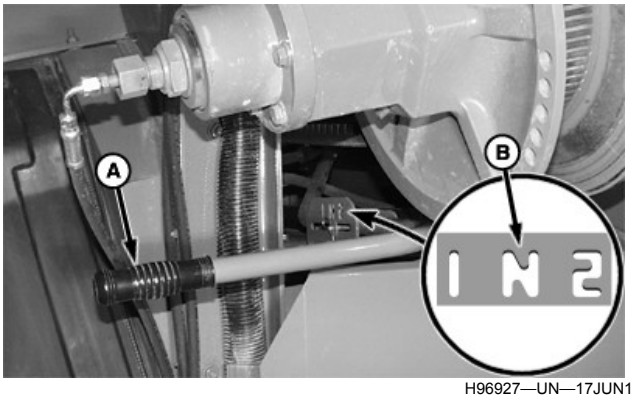
脱穀隙間調整

注意：**コンケーブセクションは非常に重いので取り扱いが厄介です。コンケーブセクションの取り外しと取り付けには、もう 1 人の作業者が必要な場合があります。**

1. エンジンを始動し、「脱穀隙間調整」スイッチを押します。
2. 「Z」バー金具に簡単にアクセスするには、脱穀隙間を 5 に設定します。

注記： 機械の構成によっては、脱穀隙間を増やす必要がある場合があります。

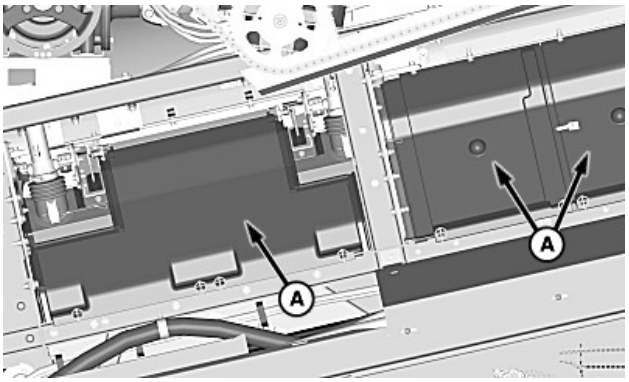
3. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。



H96927—UN—17JUN10

A：**ハンドル**
B：**ニュートラル位置**

4. ハンドル (A) を動かして、ローターギヤケースをニュートラル位置 (B) にシフトします。

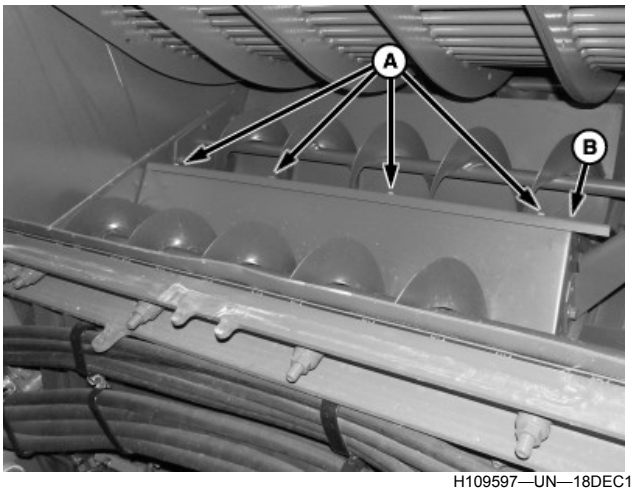


H111239—UN—13MAY14

A：**セパレータカバー**

注記： 必要に応じて、シールドを取り外してセパレータ点検カバーにアクセスします。

5. セパレータ点検カバー (A) を取り外します。

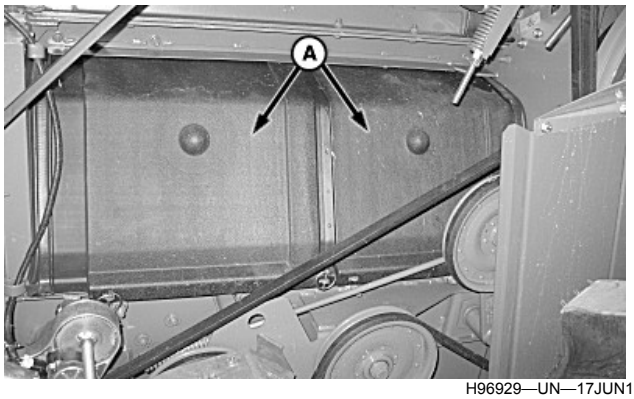


H109597—UN—18DEC13

A：**キャップスクリュー**
B：**ダイバータ**

6. ボルト (A) を緩めて、左側のシートメタル製ダイバータ (B) を取り外します。

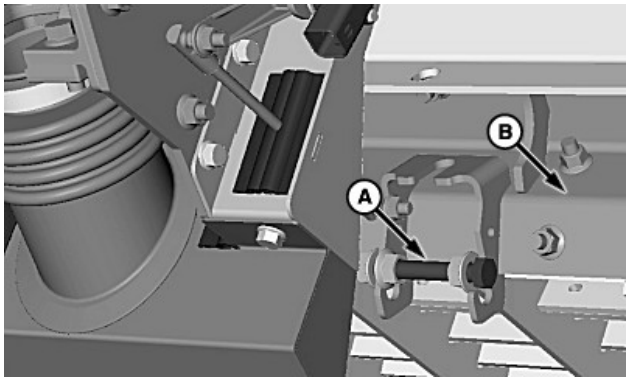
注記： コンベアオーガにボール紙やポリの小片を置きます。これにより、オーガを保護してコンケーブを取り外すための滑らかな面を用意できます。



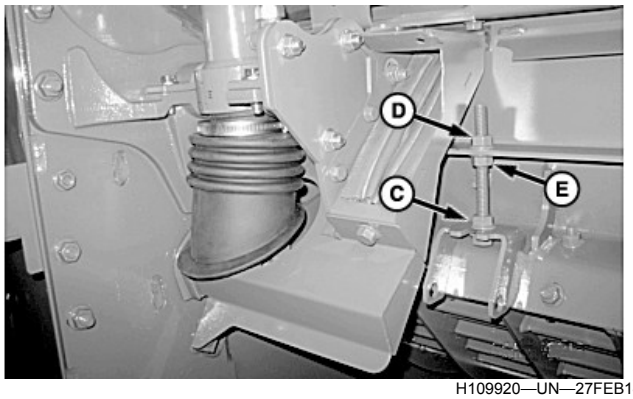
H96929—UN—17JUN10

A：**セパレータカバー**

7. 必要に応じて、シールドを取り外してセパレータ点検カバーにアクセスします。
8. 機械の右側のクイックロックピンと前部の 2 つのセパレータカバー (A) を取り外します。



H109919—UN—27FEB14

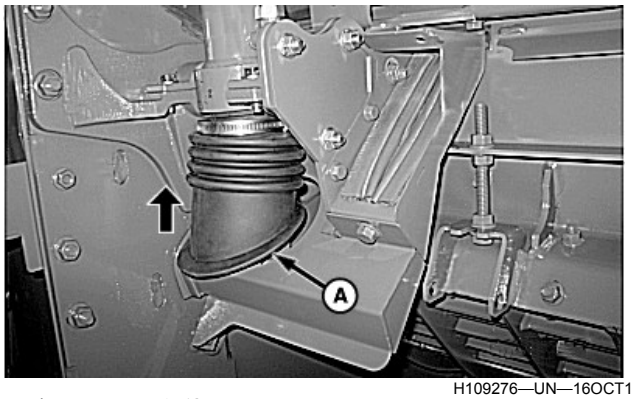


H109920—UN—27FEB14

A：**水平調整ボルト (2 本使用)**
B：**「Z」バー**
C：**ナット (2 個使用)**
D：**ナット (2 個使用)**
E：**ナット (2 個使用)**

9. 「Z」バー (B) のブラケットからコンケーブ水平調整キャップスクリュー (A) を取り外し、レールを通して取り付けてコンケーブと「Z」バーアセンブリを保持します。
10. ナット (C) を「Z」バーブラケットに対して手締めし、両側でナット (D) をレールに対して少し締め付けます。

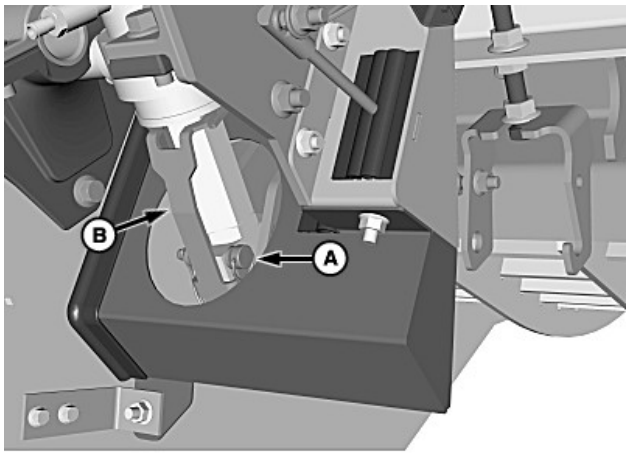
注記： ゼロ調整のためにナット (E) とレールの間に適切な隙間があることを確認してください。レールに対してナットを締め付けないでください。



H109276—UN—16OCT13

A：**ゴムシール (2 個使用)**

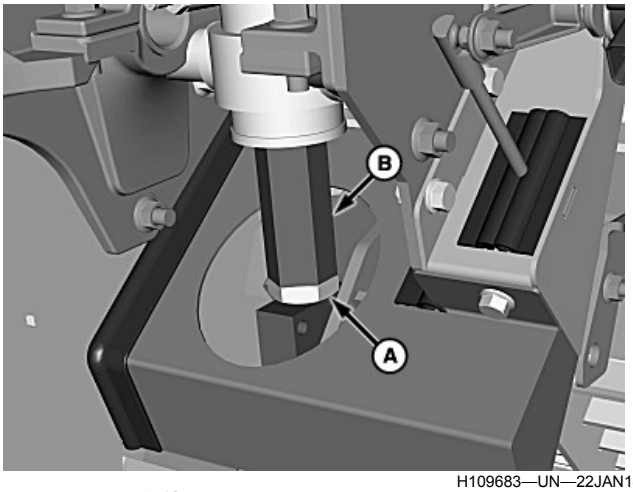
11. ゴムシール (A) のベース部を取り外して、両方のシリンダを持ち上げます。



H111261—UN—22MAY14

A：**ピン (2 本使用)**
B：**シリンダ安全ストップ (2 個使用)**

12. ピン (A) とシリンダ安全ストップ (B) を両方のシリンダで取り外します。

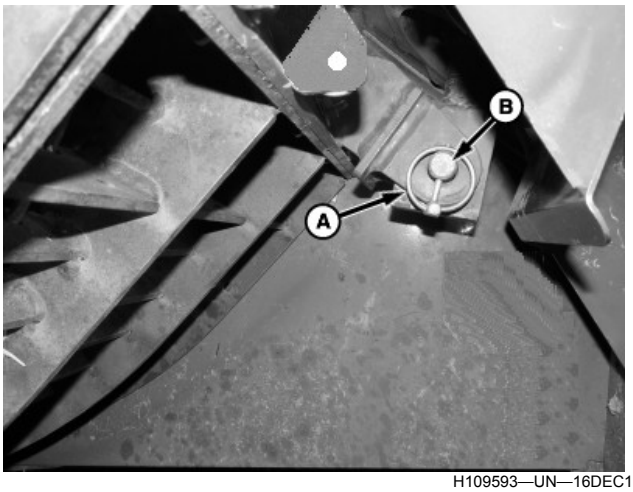


H109683—UN—22JAN14

A：**薄ナット (2 個使用)**
B：**シリンダストップ (2 個使用)**

13. 薄ナット (A) をシリンダストップ (B) から緩め、ストップを両方のシリンダロッドの上に下ろします。

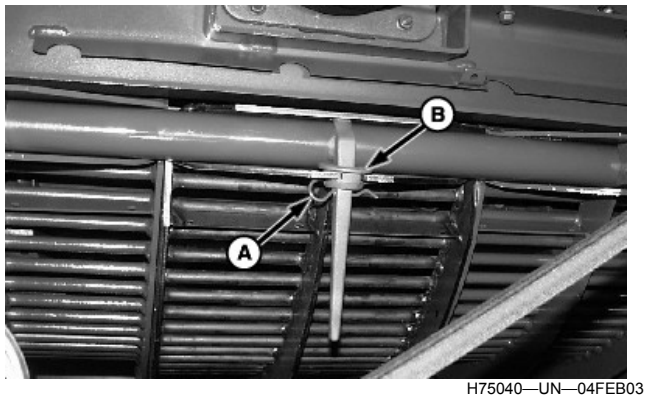
注記： 薄ナットとストップは、現在の位置から 15 mm (19/32 in) 以上下ろす必要があります。



H109593—UN—16DEC13

A：**クイックロックピン (2 本使用)**
B：**ピン (2 本使用)**

14. クイックロックピン (A) とピン (B) を両側のシリンダロッドから取り外します。

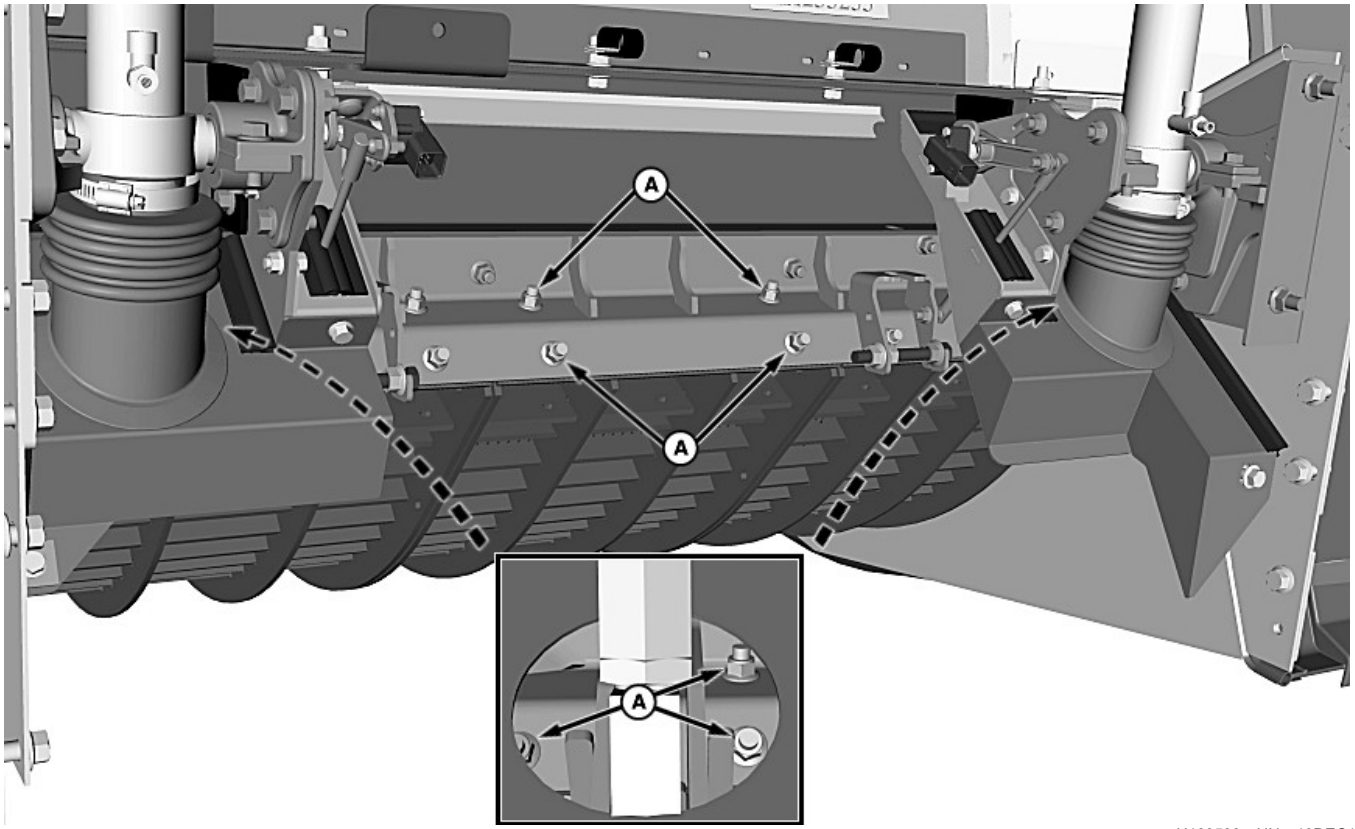


H75040—UN—04FEB03

コンケーブリテーナ

A：**スプリングピン**
B：**コンケーブリテーナ**

15. スプリングピン (A) をコンケーブリテーナ (B) から取り外します。
16. コンケーブリテーナを持ち上げて、ハンドル (C) を各コンケーブセクションから取り外します。

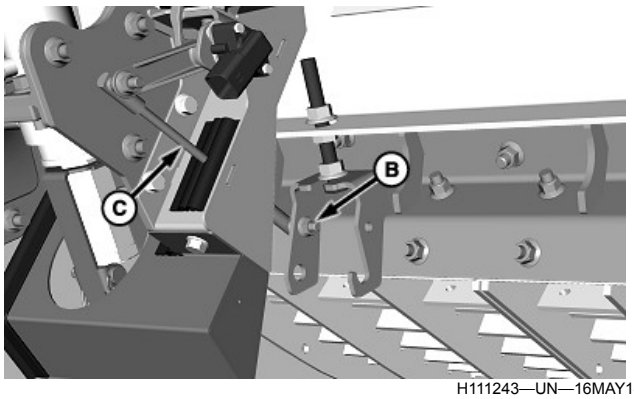


H109599—UN—19DEC13

A：**キャップスクリュー (14 本使用)**

17. キャップスクリュー (A) を緩めます。

H109677—UN—21JAN14



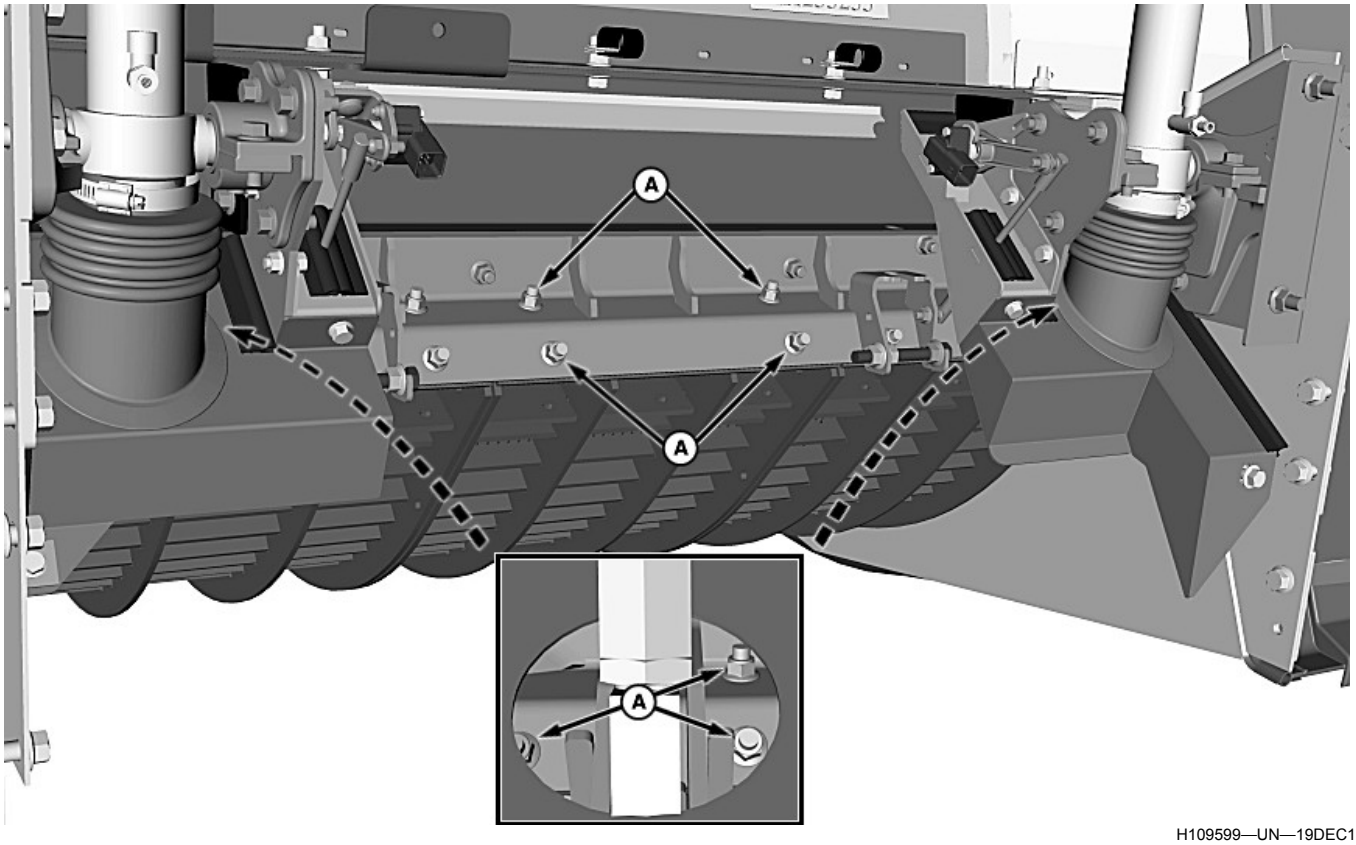
H111243—UN—16MAY14

A：**水平調整キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**ナット (2 個使用)**
C：**リンケージアーム (2 個使用)**

18. 水平調整キャップスクリュー (A) を使用して「Z」バーとコンケーブを約 10 mm (13/32 in) 上に調整するか、中間のコンケーブを簡単に取り外せるまで調整します。

注記： 機械構成によっては、「Z」バーの取り外しが不要な場合があります。

19. 「Z」バーを取り外す場合は、ナット (B) とリンケージアーム (C) を取り外します。



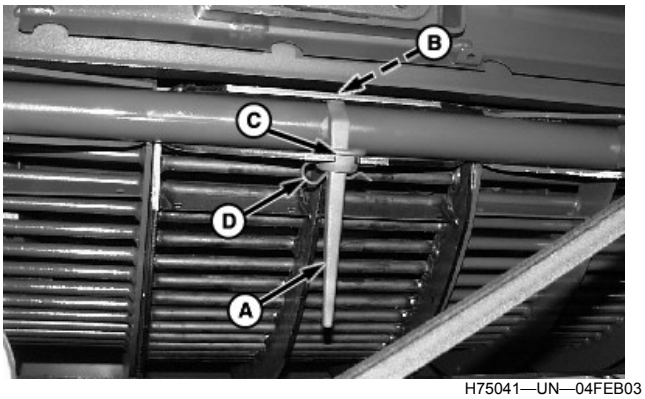
H109599—UN—19DEC13

A：**キャップスクリューとナット (14 組使用)**

20. キャップスクリューとナット (A) を取り外します。

注記： 脱穀エレメントパターンの隙間が中間のコンケーブで発生するようにローターを回転させます。

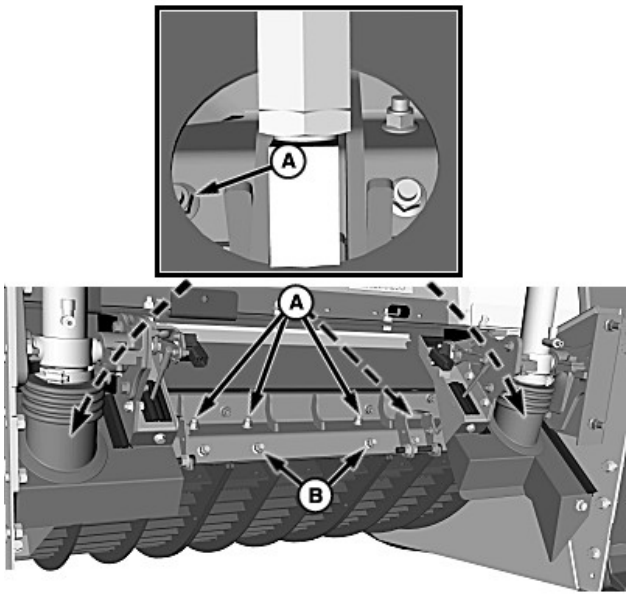
21. 中心コンケーブセクションを取り外します。
22. リアコンケーブを中心位置までスライドさせて取り外します。
23. フロントコンケーブを中心位置までスライドさせて取り外します。
24. KXE10110 隙間ゲージを使用して、コンケーブセクション、脱穀エレメント、脱穀タインの摩耗を点検します。
25. 逆の順にコンケーブを取り付けます。



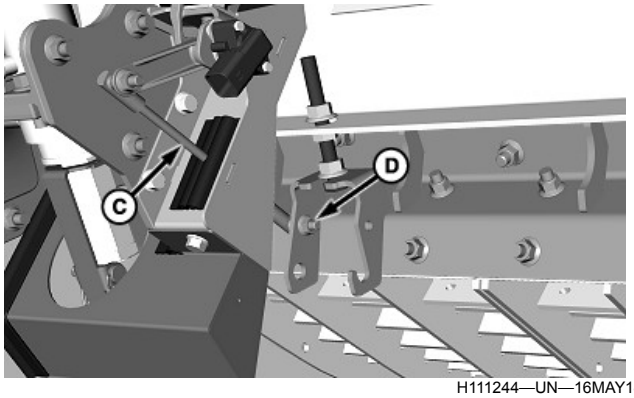
H75041—UN—04FEB03

A：**ハンドル**
B：**溝**
C：**コンケーブリテーナ**
D：**スプリングピン**

26. コンケーブハンドル (A) をコンケーブセクションの溝 (B) に取り付けます。
27. コンケーブリテーナ (C) を取り付けてスプリングピン (D) で固定します。



H109684—UN—22JAN14



H111244—UN—16MAY14

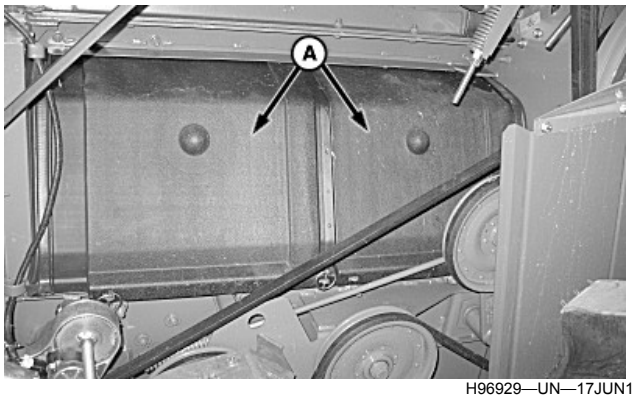
A：**キャップスクリューとナット (6 組使用)**
B：**キャップスクリューとナット (8 組使用)**
C：**リンケージアーム (2 個使用)**
D：**ナット (2 個使用)**

注記：「Z」バーを前の手順で取り外した場合は、この時点で取り付けます。

28. 水平調整キャップスクリューを使用して、「Z」バーとコンケーブを約 10 mm (13/32 in)、または前の手順で上げた量と同じ距離だけ下げます。

注記：金具を締め付ける前に、コンケーブセクションが互いに緊密であり、隙間がないことを確認してください。

29. コンケーブの端部が「Z」バーにしっかりとはまっていることを確認し、まず上の列のキャップスクリューとナット (A) を締め付けます。
30. 下の列のキャップスクリューとナット (B) を最後に締め付けます。
31. 「Z」バーを取り外した場合は、ナット (D) でリンケージアーム (C) を取り付けます。
32. コンケーブレベルを調整します。このセクションで後述の「コンケーブの水平調整 (アクティブコンケーブ分離)」を参照してください。



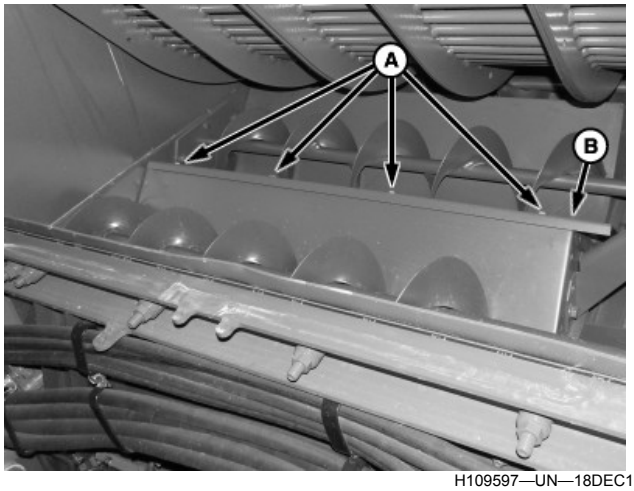
H96929—UN—17JUN10

A：**セパレータカバー**

注記：セパレータカバーの上端がクリップの下側にあることを確認してください。

33. セパレータカバー (A) を取り付けます。
34. セパレータ点検カバーにアクセスするために前の手順で取り外したシールドを取り付けます。

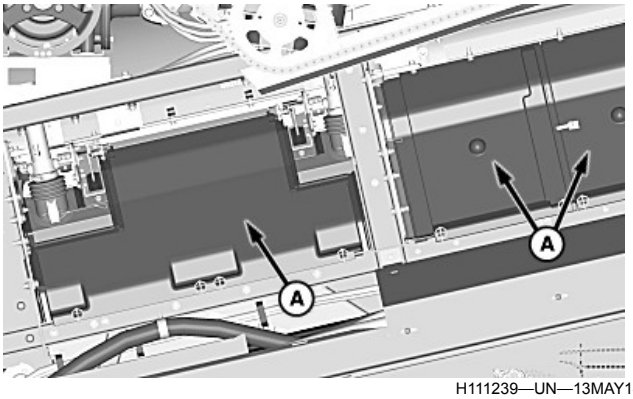
注記：コンベアオーガからボール紙またはポリを取り外します。



H109597—UN—18DEC13

A：**キャップスクリュー (4 本使用)**
B：**ダイバータ**

35. ダイバータ (B) を元の位置に取り付けて、ボルト (A) を締め付けます。



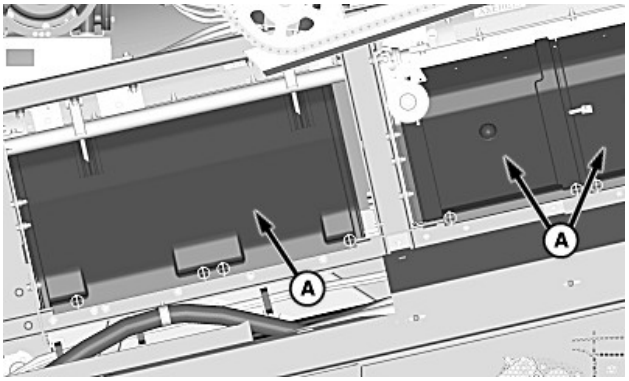
H111239—UN—13MAY14

A：**セパレータカバー**

36. セパレータ点検カバー (A) を取り付けます。
37. 前の手順で取り外したシールドを取り付けて、セパレータ点検カバーにアクセスします。
38. ローター駆動ギヤケースを元の位置にシフトします。

OUO6075,0004606-40-11APR17

コンケーブの水平調整 (標準型コンケーブの調整)

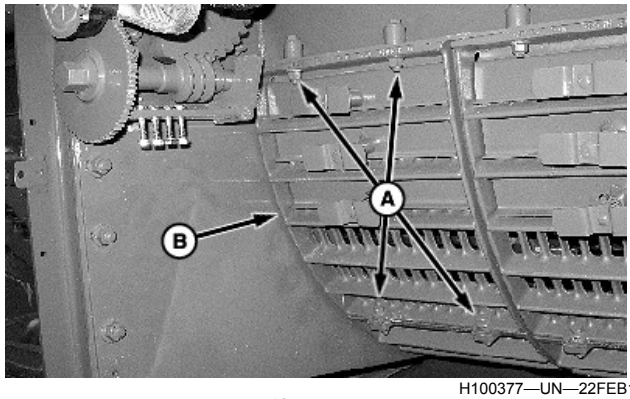


H111238—UN—13MAY14

A：**セパレータカバー**

注記： コンケーブの水平調整を行う前に、ラウンドバーコンケーブのカバー (取り付けられている場合) を取り外す必要があります。

1. 必要に応じて、シールドを取り外してセパレータ点検カバーにアクセスします。
2. セパレータ点検カバー (A) を取り外します。

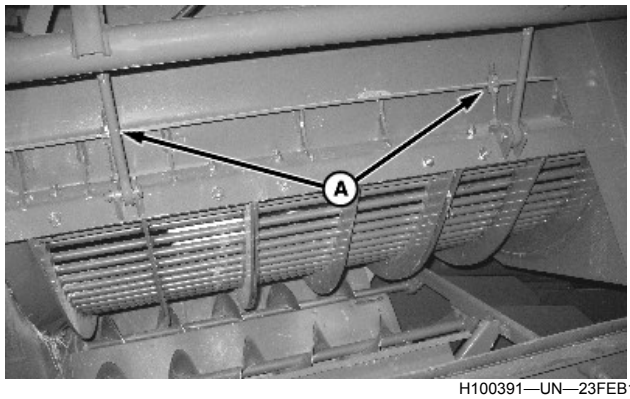


H100377—UN—22FEB11

A：**キャップスクリュー (4 本使用)**
B：**セパレータ格子**

注記： セパレータ格子を取り外すと、ローターを回転させることができます。

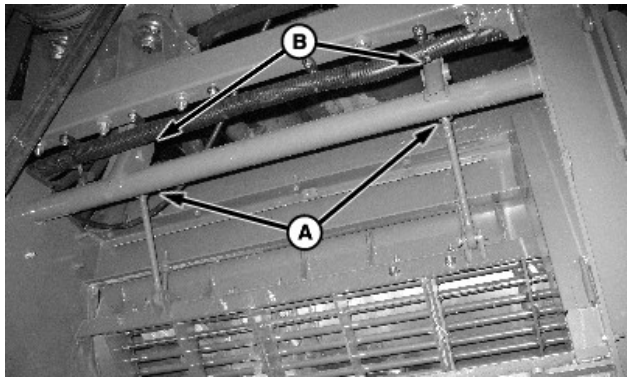
3. ボルト (A) とセパレータ格子 (B) を取り外します。



H100391—UN—23FEB11

A：**ストップボルト (2 本使用)**

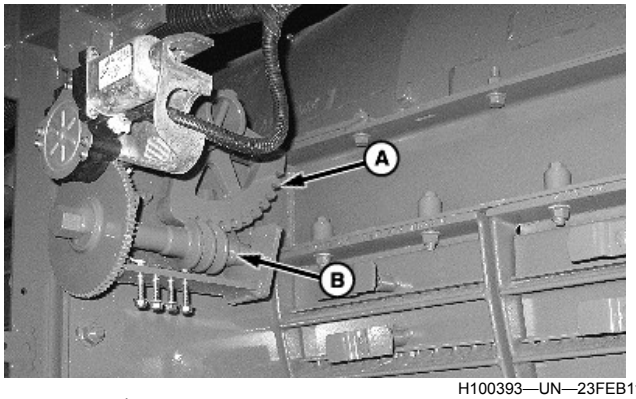
4. ストップボルト (A) を緩めます。



H100392—UN—23FEB11

A：**下部ナット (2 個使用)**
B：**上部ナット (2 個使用)**

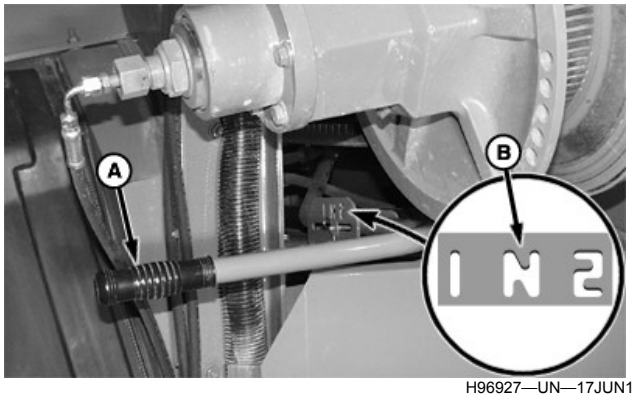
5. ロックナット (A) を緩めてナット (B) をそれぞれ 5 回転させて戻します。



H100393—UN—23FEB11

A：**セクターギヤ**
B：**ウォーム歯車**

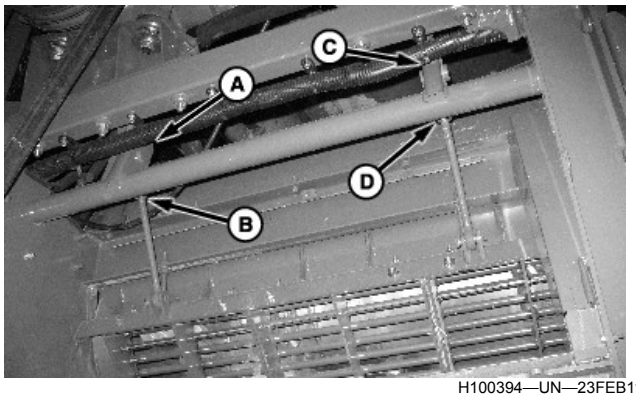
6. キャビン内のスイッチを使用して、ウォームギア (B) とセクターギア (A) が上の位置で底が出るまでコンケーブを閉位置に調整します。



H96927—UN—17JUN10

A：**ハンドル**
B：**ニュートラル位置**

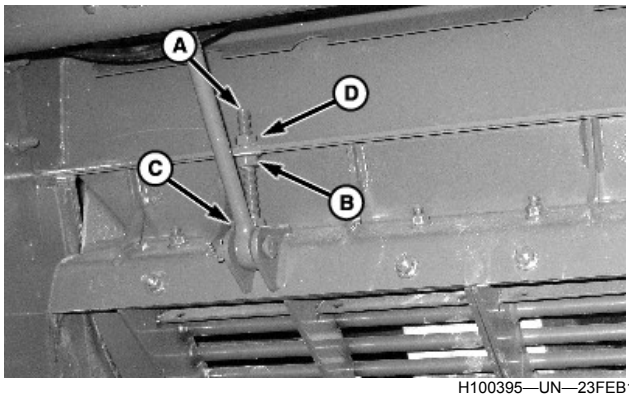
7. ハンドル (A) を動かして、ローターギヤケースをニュートラル位置 (B) にシフトします。



H100394—UN—23FEB11

A：**フロントアイボルト上部ナット**
B：**フロントアイボルト下部ロックナット**
C：**リアアイボルト上部ナット**
D：**リアアイボルト下部ロックナット**

8. ローターを反時計回りに回転させている間に要素がコンケーブに「カチッ」と当たるまで、フロントアイボルト上部ナット (A) を徐々に調整します。完全に 3 回転させて戻します。
9. ローターを反時計回りに回転させている間に要素がコンケーブに「カチッ」と当たるまで、リアアイボルト上部ナット (C) を徐々に調整します。完全に 3 回転させて戻します。
10. 要素がコンケーブに「カチッ」と当たるまで、フロントアイボルト上部ナット (A) を下に徐々に調整します。カチッという音が止まるまでゆっくりと戻します。「カチッ」という音が止まったら、完全に 1 回転させて戻して上部ロックナットを締め付けます。
11. 要素がコンケーブに「カチッ」と当たるまで、リアアイボルト上部ナット (C) を下に徐々に調整します。カチッという音が止まるまでゆっくりと戻します。「カチッ」という音が止まったら、完全に 1 回転させて戻して上部ロックナットを締め付けます。
12. 下部フロントコンケーブ調整ナットを締め付けます。レンチを使用してフロントアイボルト上部ナット (A) を保持しながら、フロントアイボルト下部ロックナット (B) を締め付けます。
13. 下部リアコンケーブ調整ナットを締め付けます。レンチを使用してリアアイボルト上部ナット (C) を保持しながら、リアアイボルト下部ロックナット (D) を締め付けます。

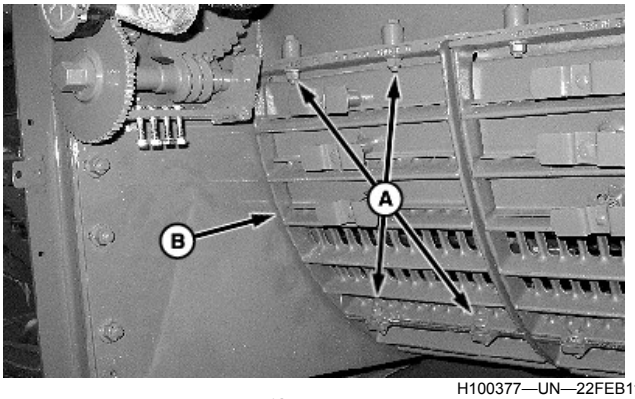


H100395—UN—23FEB11

ストップボルト

A：**ストップボルト (2 本使用)**
B：**ロックナット**
C：**ボルトの頭**
D：**ロックナット**

14. ボルト (C) の頭がコンケーブに接触するまで下部ナット (B) を締め付けて、フロントおよびリアコンケーブストップボルト (A) を調整します。下部ナット (B) をレンチで保持しながら、上部ナット (D) を締め付けます。



H100377—UN—22FEB11

A：**キャップスクリュー (4 本使用)**
B：**セパレータ格子**

15. セパレータ格子 (B) を取り付けて、セパレータ格子 (A) で固定します。
16. ローター駆動ギヤケースを元の位置にシフトします。
17. 前の手順で取り外したセパレータ点検カバーとシールドを取り付けます。
18. キャブ内側から「**脱穀隙間のキャリブレーション (STS 電気)**」を選択して、画面に表示される情報に従ってください。詳しくは、「キャリブレーションアプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

OUO6075,0004601-40-28MAR17

コンケーブの水平調整 (アクティブコンケーブ分離)

H117012—UN—28MAR16

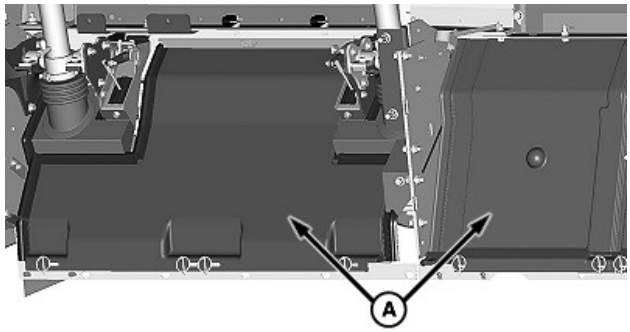
脱穀隙間調整

注記： コンケーブの水平調整を開始する前に、ラウンドバーコンケーブのカバーを取り外す必要があります (取り付けられている場合)。

1. エンジンを始動し、「脱穀隙間調整」スイッチを押します。
2. 脱穀隙間を 0 に設定します。

注記： 背の高い密集配備脱穀タインまたはイネ脱穀エレメントをグレンエレメントに交換した場合は、脱穀隙間を 15 に設定してください。

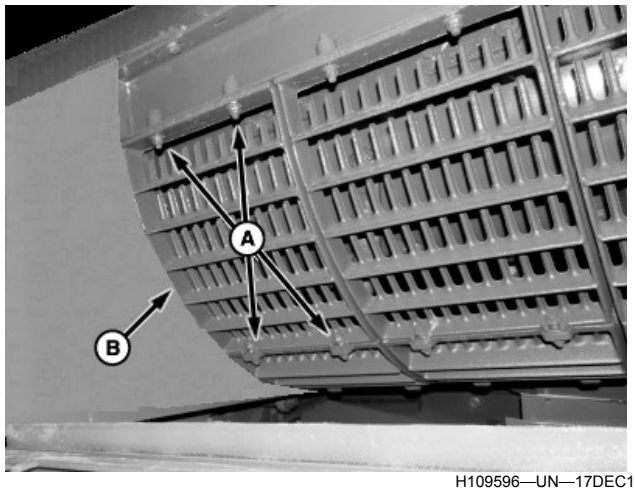
3. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキースイッチを ON にします。



H113295—UN—23MAR15

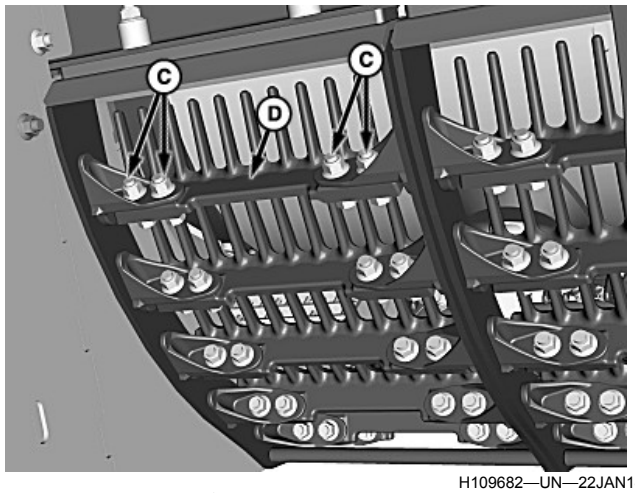
A：**セパレータ点検カバー**

4. セパレータ点検カバー (A) を取り外します。



H109596—UN—17DEC13

標準鋳造セパレータ格子



H109682—UN—22JAN14

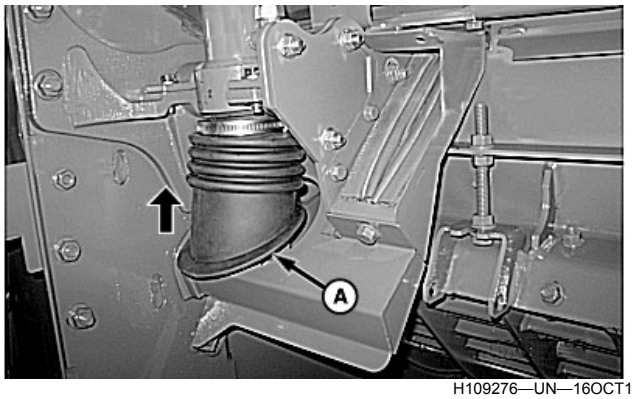
ヘビーデューティセパレータ格子

A：**キャップスクリュー (4 本使用)**
B：**セパレータ格子**
C：**キャップスクリューとナット**
D：**セパレータ格子フィンガー**

注記： セパレータ格子を取り外すと、ローターにアクセスして回転させることができます。

5. 機械に標準セパレータ格子を装備している場合は、キャップスクリュー (A) とセパレータ格子 (B) を取り外します。
6. 機械にヘビーデューティセパレータ格子フィンガーを装備している場合は、キャップスクリューとナット (C) およびフィンガー (D) を取り外します。

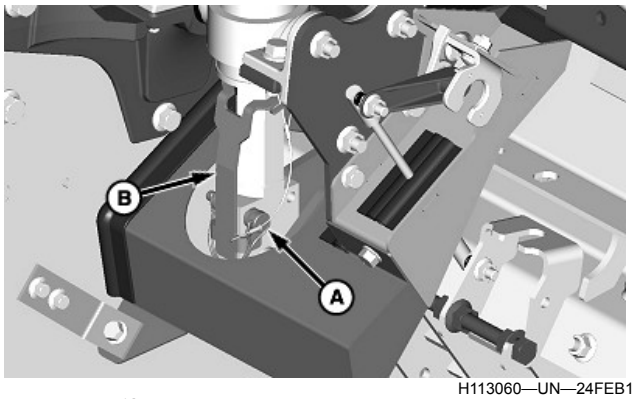
注記： ロータを回転させるには、2 つ以上のセパレータ格子フィンガーを取り外す必要がある場合があります。



H109276—UN—16OCT13

A：**ゴムシール (2 個使用)**

7. ゴムシール (A) のベース部を取り外して、両方のシリンダを持ち上げます。

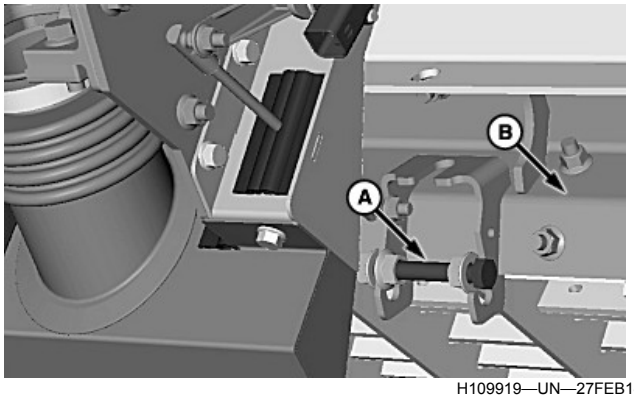


H113060—UN—24FEB15

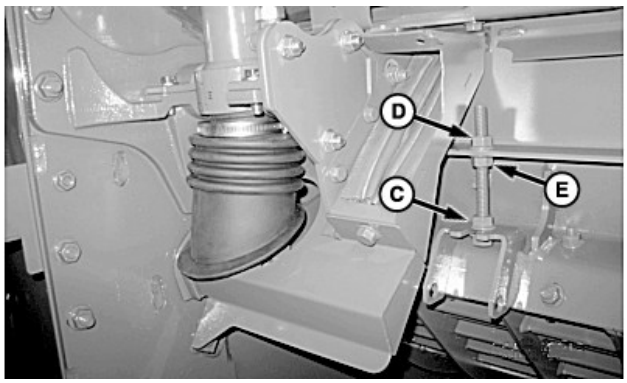
A：**ピン (2 本使用)**
B：**シリンダロック (2 個使用)**

注記： シリンダロックを取り外すには、コンケーブの位置を変更する必要がある場合があります。

8. 各シリンダのピン (A) とシリンダロック (B) を取り外します。



H109919—UN—27FEB14

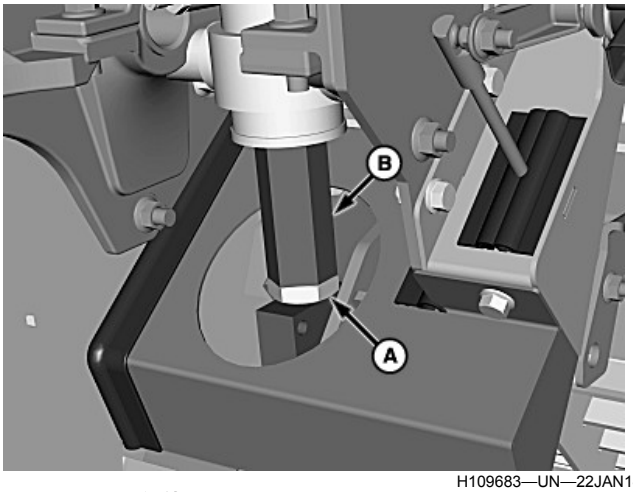


H109920—UN—27FEB14

A：**水平調整ボルト (2 本使用)**
B：**「Z」バー**
C：**ナット (2 個使用)**
D：**ナット (2 個使用)**
E：**ナット (2 個使用)**

9. 「Z」バー (B) のブラケットからコンケーブ水平調整キャップスクリュー (A) を取り外し、レールを通して取り付けてコンケーブと「Z」バーアセンブリを保持します。
10. ナット (C) を「Z」バーブラケットに対して手締めし、両側でナット (D) をレールに対して少し締め付けます。

注記： ゼロ調整のためにナット (E) とレールの間に適切な隙間があることを確認してください。レールに対してナットを締め付けないでください。

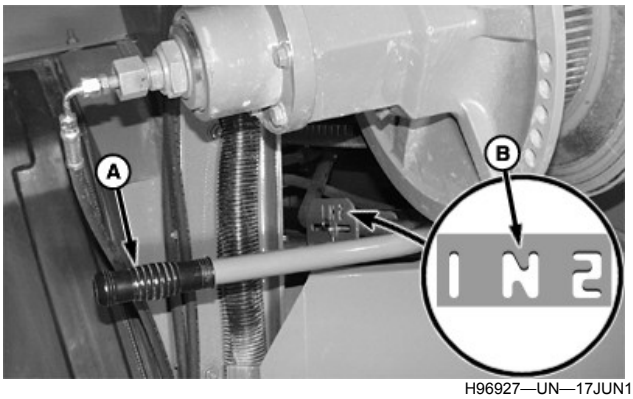


H109683—UN—22JAN14

A：**薄ナット (2 個使用)**
B：**シリンダストップ (2 個使用)**

11. 薄ナット (A) をシリンダストップ (B) から緩め、ストップを両方のシリンダロッドの上に下ろします。
12. キャブ内側から「**脱穀隙間のキャリブレーション (STS 電気)**」を選択して、画面に表示される情報に従ってください。詳しくは、「キャリブレーションアプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

注記： キャブの外で以下の手順を実行中は、キースイッチを ON のままにしておく必要があります。



H96927—UN—17JUN10

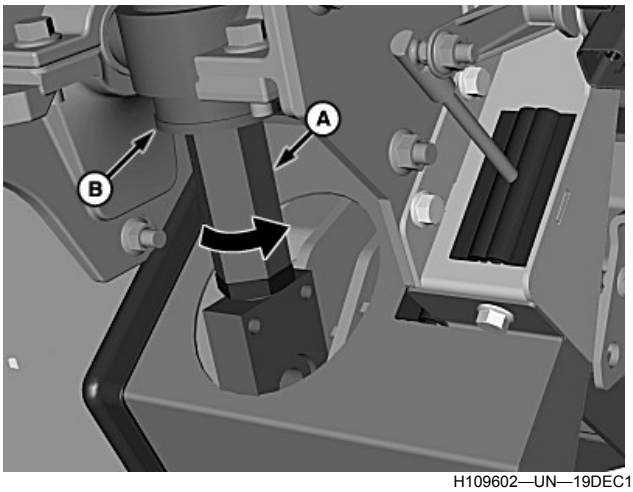
A：**ハンドル**
B：**ニュートラル位置**

13. ハンドル (A) を動かして、ローターギヤケースをニュートラル位置 (B) にシフトします。
14. ローターを反時計回りに回転させて、後部の水平調整キャップスクリューを締め付けて、エレメントが「カチッ」と当たるまでコンケーブを上に引きます。「カチッ」と音がしたら、水平調整ボルトを完全に 3 回転させて戻します。
15. ローターを反時計回りに回転させてフロント水平調整ボルトを締め付けて、エレメントが「カチッ」と当たるまでコンケーブを上に引きます。「カチッ」と音がしたら、水平調整ボルトを完全に 3 回転させて戻します。
16. ローターを反時計回りにそのまま回転させてリア水平調整ボルトを締め付け、エレメントが「カチッ」と当たるまでコンケーブを上に引きます。「カチッ」と音がしたら、水平調整ボルトを完全に 1.5 回転させて戻します。
17. ローターを反時計回りにそのまま回転させてフロント水平調整ボルトを締め付け、エレメントが「カチッ」と当たるまでコンケーブを上に引きます。「カチッ」と音がしたら、水平調整ボルトを完全に 1.5 回転させて戻します。

H109594—UN—16DEC13

A：**ナット (2 個使用)**

18. ナット (A) をレールに対して締め付け、コンケーブを所定の位置に固定しやすくします。



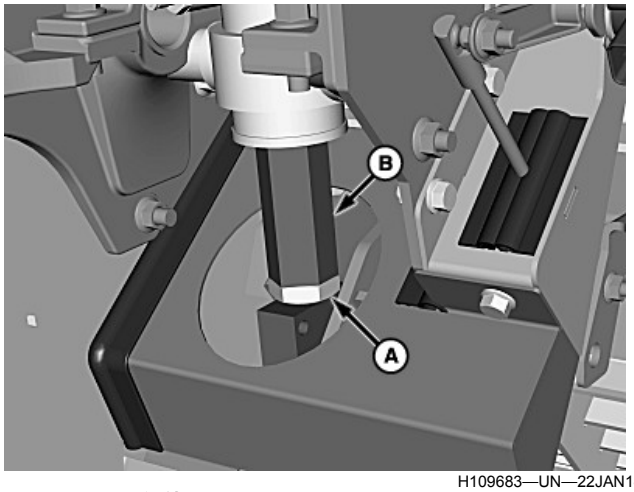
H109602—UN—19DEC13

A：**シリンダストップ (2 個使用)**
B：**シリンダバレル (2 個使用)**

19. キャリブレーション中は、シリンダストップを正しく調整することが重要です。

注記： ステアリングシリンダストップを締めすぎないでください。

20. シリンダバレルに対する緊密さを手で締め付けて確認できるまで、矢印の方向にシリンダストップ (A) を回します。



H109683—UN—22JAN14

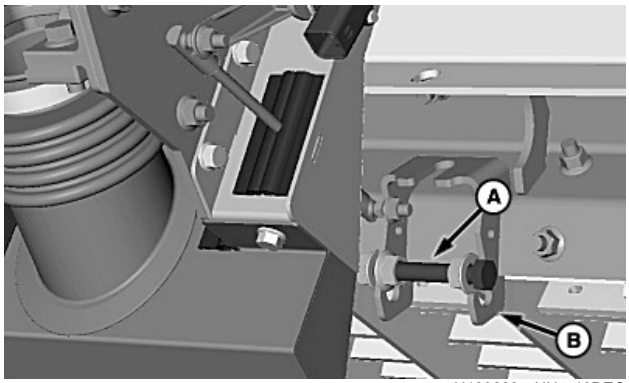
A：**薄ナット (2 個使用)**
B：**シリンダストップ (2 個使用)**

注記： 薄ナット (A) を締め付ける前に、シリンダストップ (B) を割出ししてシリンダロックをシリンダストップの六角平面部の正しい位置に取り付けます。

21. 薄ナット (A) を各シリンダのシリンダストップ (B) に対して締め付けます。

注記： 水平調整キャップスクリューは、「Z」バーブラケットとレールに締め付けたままにする必要があります。

22. 完了するまで、「**コンケーブの水平調整のキャリブレーション**」を続けます。

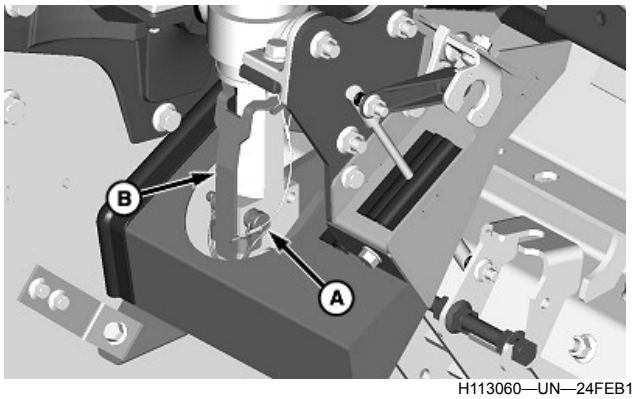


H109603—UN—19DEC13

A：**水平調整キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**保管ブラケット (2 個使用)**

23. キャリブレーションを受け入れた場合は、**コンケーブ水平調整のキャリブレーション**を終了し、キースイッチを OFF にして、水平調整キャップスクリュー (A) を取り外します。
24. 水平調整キャップスクリューを保管ブラケット (B) に保管します。
25. エンジンを始動します。キャブ内側から「**脱穀隙間のキャリブレーション (油圧)**」を選択して、画面に表示される情報に従ってください。詳しくは、「キャリブレーションアプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

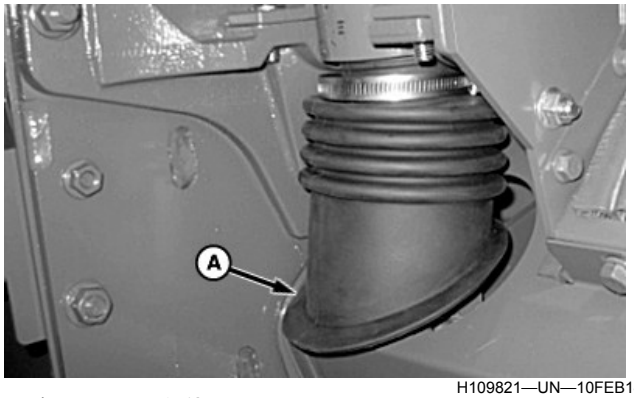
重要： システムがコンケーブ水平調整位置に一致しないコンケーブルゼロ位置を検出したために、キャリブレーションを中断することを通知する警告メッセージがディスプレイに表示されることがあります。この場合は、「脱穀隙間キャリブレーション」を中断し、コンケーブ水平調整の手順を繰り返して「脱穀隙間キャリブレーション (油圧)」を再実行してください。



H113060—UN—24FEB15

A：**ピン (2 本使用)**
B：**シリンダロック (2 個使用)**

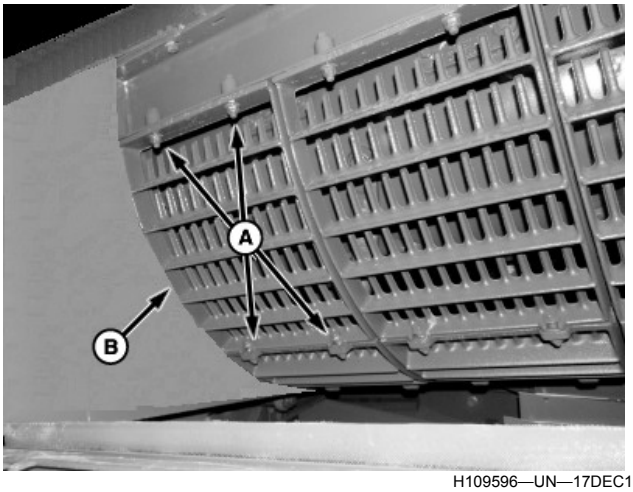
26. コンケーブを 35 まで開いて、前の手順で取り外したシリンダロック (B) とピン (A) を各シリンダに取り付けます。



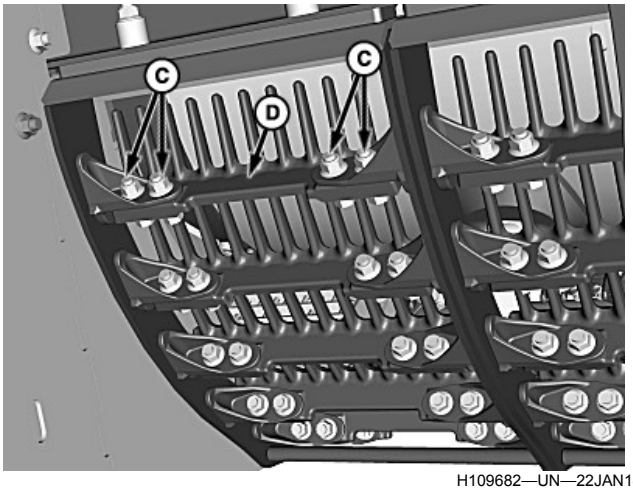
H109821—UN—10FEB14

A：**ゴムシール (2 個使用)**

27. 両方のシリンダにゴムシール (A) の底部を取り付けます。



H109596—UN—17DEC13
標準鋳造セパレータ格子



H109682—UN—22JAN14
ヘビーデューティセパレータ格子

A：**キャップスクリュー (4 本使用)**
B：**セパレータ格子**
C：**キャップスクリューとナット**
D：**セパレータ格子フィンガー**

28. 標準セパレータ格子を装備している機械では、キャップスクリュー (A) でセパレータ格子 (B) を取り付けます。
29. ヘビーデューティセパレータ格子を装備している機械では、キャップスクリューとナット (C) を使用してセパレータ格子フィンガー (D) を取り付けます。規定のトルクで締め付けます。

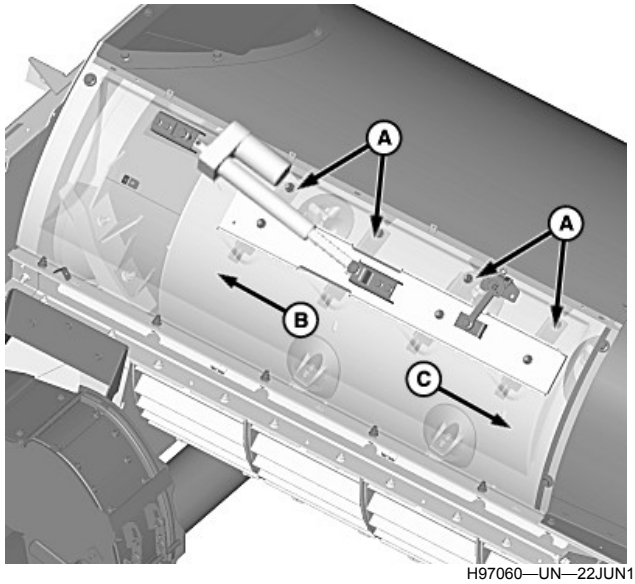
仕様

ヘビーデューティセパレータ格子のキャップスクリューとロックナット：トルク	73 N·m (54 lb·ft)

30. ローター駆動ギヤケースを元の位置にシフトします。
31. 前の手順で取り外したセパレータ点検カバーとシールドを取り付けます。

OUO6075,0004600-40-28MAR17

セパレータトップカバーベーン (装備されている場合)



H97060—UN—22JUN10
A：**セパレータトップカバーベーン**
B：**進めた位置**
C：**標準位置**

セパレータトップカバーベーン (A) は機械の右側のクリーングレンローディングオーガの背後にあります。

セパレータトップカバーベーンはソフトウェアを介して 2 種類の位置に調整できます。

注記： セパレーターベーンを進めた位置で運転すると、特定の作物や条件でグレンロスが増える場合があります。わら品質を改善するには、セパレータでの作物の滞留時間を減らします。

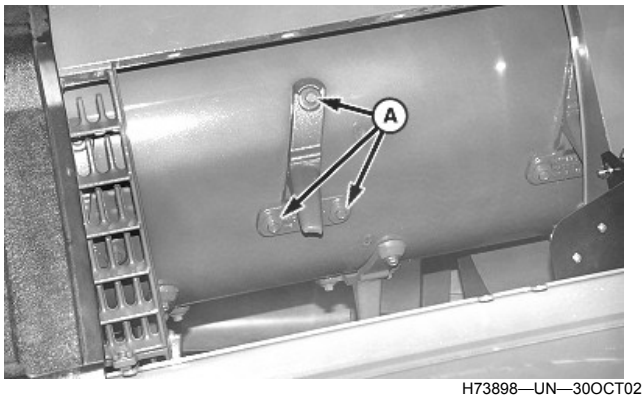
- (B)：進み側位置
- (C)—標準位置

詳しくは、「残留物管理アプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

OUO6075,0004392-40-31JAN17

脱穀エレメントおよびタイン (TriStream ローター)：取り外しと取り付け

H82539—UN—07MAR05



H73898—UN—30OCT02

A：**ボルト**

重要： **ローターはバランスの取れたアセンブリです。エレメントとタインはバランスを維持するために 3 個セットで交換する必要があります。交換キットは整備部品を通じて入手可能で、スレッドロッカーとシーラーが塗布された新品のボルトを付属しています。タインまたはエレメントが緩むと、機械が損傷する可能性があります。**

交換以外でタインまたはエレメントを取り外す必要がある場合は、取り外しの前のタイン / エレメントおよびローターの位置にマークを付けてください。取り外したときと同じ位置に取り付けてバランスを維持してください。必ず新品のボルトを使用してください。

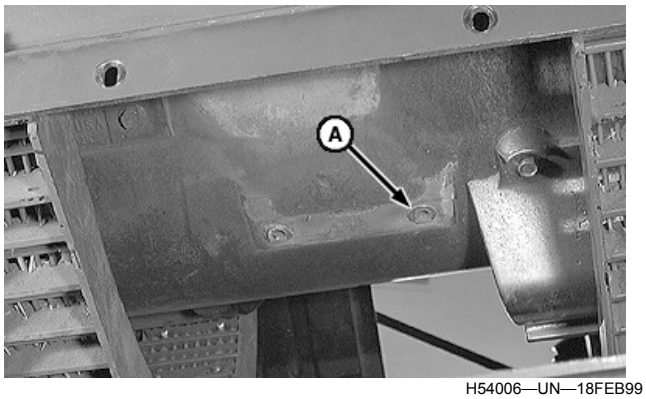
タインが破損または損傷したためにタインを交換する場合は、2 番物およびフロントクロスオーガを清掃してください。初回起動の前にこの清掃を怠ると、タインが破損して循環し、タインの破損が再発する可能性があります。

1. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。
2. 必要に応じてセパレータ格子またはコンケーブセクションを取り外してローターにアクセスします。

注記： 機械のオプションに応じて、このセクションの以下の部分を参照してください。

- コンケーブセクション *(*標準型コンケーブの調整*)*：取り外しと取り付け
- コンケーブセクション *(*アクティブコンケーブの分離*)*：取り外しと取り付け

3. KXE10110 隙間ゲージを使用して、脱穀エレメントおよびセパレータタインの摩耗を点検します。
4. ボルト (A) と脱穀エレメントまたはタインを取り外します。



H54006—UN—18FEB99

A：**ねじ込みインサート**

5. RIVNUT® ねじ込みインサート (A) を点検します。損傷がある場合は、交換します。
6. 1 つのエレメントまたはタインを交換する必要がある場合は、そのグループのすべてのエレメントまたはタインを交換します。例：エレメント 2 を交換する必要がある場合は、エレメント 1 と 3 も交換します。
7. エレメントとタインを識別するには、脱穀エレメントおよびセパレータタインの位置図を参照してください。
8. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

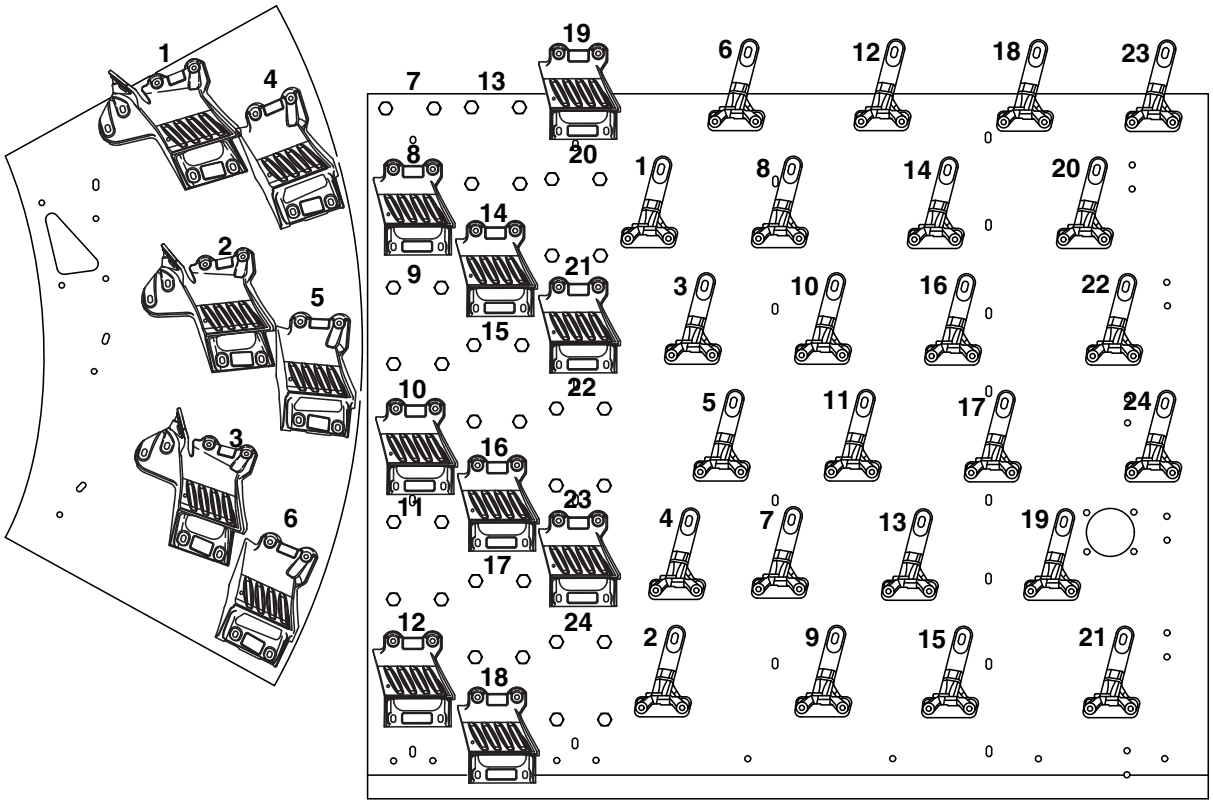
仕様

脱穀エレメントとセパレータタインのボルト：トルク	90 N·m (66 lb-ft)

OUO6075,0001804-40-13MAY14

RIVNUT は RIVNUT Engineered Products Inc. の商標です。

脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (TriStream ロータータフグレイン構成)



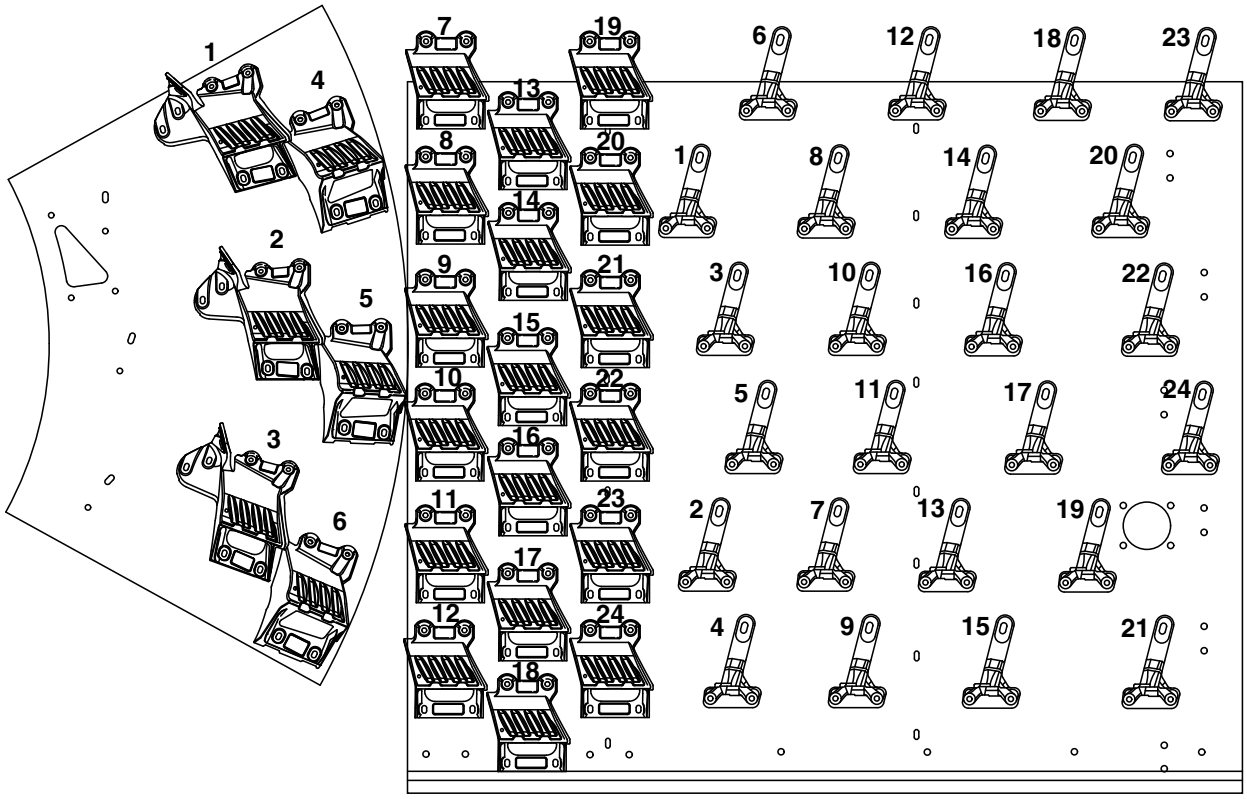
H82830—UN—23MAR05

注記： 密集配置 (デンス) パック構成が必要な場合は、追加のエレメントをタフグレイン構成のローターの「O」と刻印されている位置に追加できます。

脱穀エレメントグループ (タフグレインローター構成)	セパレータタイングループ (タフグレインローター構成)
グループ 1 エレメント = 1、2、3	**グループ 1 タイン =** 1、4、5
グループ 2 エレメント = 4、5、6	**グループ 2 タイン =** 2、3、6
グループ 3 エレメント = 8、10、12	**グループ 3 タイン =** 8、9、11
グループ 4 エレメント = 14、16、18	**グループ 4 タイン =** 7、10、12
グループ 5 エレメント = 19、21、23	**グループ 5 タイン =** 13、16、18
	グループ 6 タイン = 14、15、17
	グループ 7 タイン = 19、22、23
	グループ 8 タイン = 20、21、24

OUO6075,0000B81-40-22MAR11

脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (TriStream ローターデンスパック構成)



H82364—UN—03FEB05

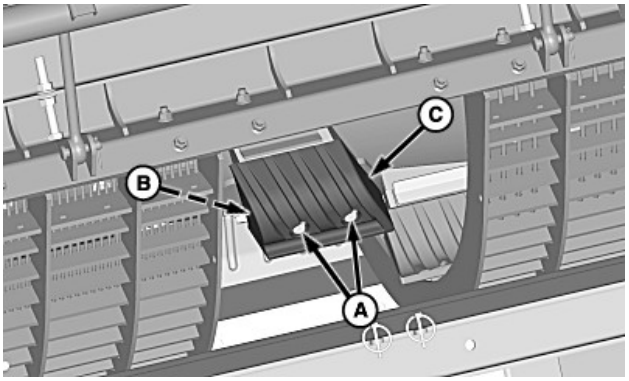
注記： デンスマック較正は圃場での変換のみです。

脱穀エレメントグループ (デンスパックローター構成)	セパレータタイングループ (デンスパックローター構成)
グループ 1 エレメント = 1、2、3	**グループ 1 タイン =** 1、4、5
グループ 2 エレメント = 4、5、6	**グループ 2 タイン =** 2、3、6
グループ 3 エレメント = 7、9、11	**グループ 3 タイン =** 8、9、11
グループ 4 エレメント = 8、10、12	**グループ 4 タイン =** 7、10、12
グループ 5 エレメント = 13、15、17	**グループ 5 タイン =** 13、16、18
グループ 6 エレメント = 14、16、18	**グループ 6 タイン =** 14、15、17
グループ 7 エレメント = 19、21、23	**グループ 7 タイン =** 19、22、23
グループ 8 エレメント = 20、22、24	**グループ 8 タイン =** 20、21、24

OUO6075,0000B80-40-22MAR11

脱穀エレメントおよびタイン (バリアブルストリームローター) : 取り外しと取り付け

脱穀エレメント



H94732—UN—22SEP09

A : **ボルト**
B : **ねじ加工されたストラップ**
C : **脱穀エレメント**

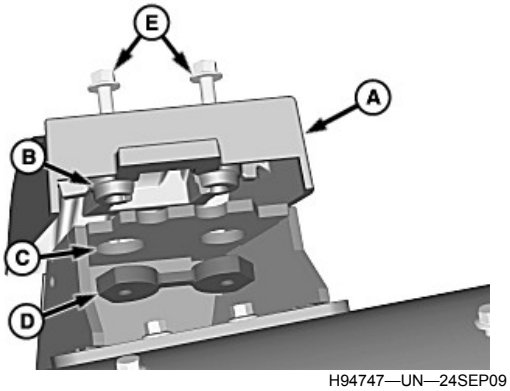
重要 : **ローターはバランスの取れたアセンブリです。エレメントはバランスを維持するために 3 個のグループで交換する必要があります。複数のキットを取り付けるときは、エレメントを混合しないで一致させてください。交換キットは整備部品を通じて入手可能で、スレッドロッカーとシーラーが塗布された新品のボルトを付属しています。必ず付属のボルトを使用してください。エレメントが緩むと、機械が損傷する可能性があります。**

1. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。
2. 必要に応じて、コンケーブセクションを取り外して脱穀エレメントにアクセスします。

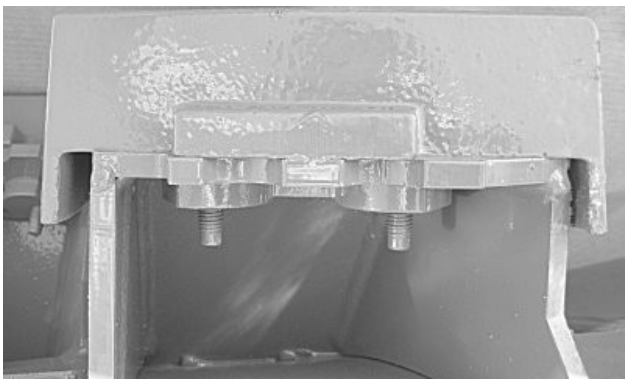
注記 : 機械のオプションに応じて、このセクションの以下の部分を参照してください。

- コンケーブセクション (標準型コンケーブの調整) : 取り外しと取り付け
- コンケーブセクション (アクティブコンケーブの分離) : 取り外しと取り付け

3. KXE10110 隙間ゲージを使用して、脱穀エレメントの摩耗を点検します。
4. ボルト (A) を取り外して廃棄し、脱穀エレメント (C) からねじ加工されたストラップ (B) を外して必要に応じて保管します。

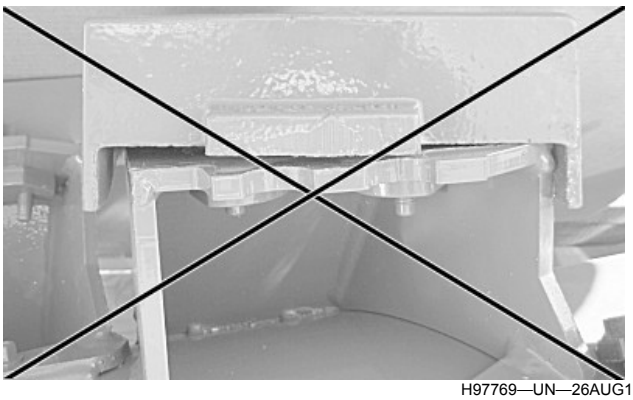


H94747—UN—24SEP09



H97768—UN—25AUG10

完全に密着した状態



H97769—UN—26AUG10

完全に密着していない状態

A : **脱穀エレメント**
B : **エレメントボス**
C : **ローターベース穴**
D : **ねじ加工されたストラップ**
E : **ボルト**

5. 交換用脱穀エレメント (A) をローターベースに取り付けます。(脱穀エレメント位置の図を使用して、脱穀エレメントを識別してください)。

脱穀エレメントグループ
グループ 1 エレメント = 1、2、3
グループ 2 エレメント = 4、5、6
グループ 3 エレメント = 7、8、9
グループ 4 エレメント = 10、11、12
グループ 5 エレメント = 13、14、15

6. エレメントボス (B) がローターベース穴 (C) を通って完全に密着していることを確認してください。
7. 前の手順で取り外したねじ加工されたストラップ (D) と付属のボルト (E) を取り付けます。
8. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

脱穀エレメントのボルト：トルク. . . . . 87 ± 9 N·m (64 ± 7 lb-ft)

重要： **締め付け後、エレメントが正しく密着していることを確認してください。**

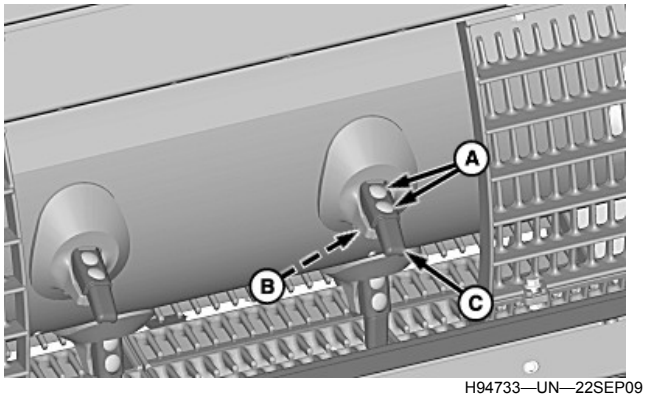
イネ脱穀エレメントの高さはトウモロコシ / 穀粒エレメントよりも高いです。コンケーブ水平調整を調整する必要があります。

9. コンケーブルの水平度を調整します。(このセクションの「コンケーブの水平調整」を参照してください)。
10. コンケーブルの水平度を調整します。

注記： 機械のオプションに応じて、このセクションの以下の部分を参照してください。

- コンケーブの水平調整 *(*標準型コンケーブの調整*)*
- コンケーブの水平調整 *(*アクティブコンケーブの分離*)*

セパレータタイン



H94733—UN—22SEP09

A：**丸頭ボルト**
B：**ロックナット (2 個使用)**
C：**セパレータタイン**

重要： **ローターはバランスの取れたアセンブリです。タインはバランスを維持するためにペアで交換する必要があります。複数のキットを取り付けるときは、タインを混合しないで一致させてください。必ず付属のボルトを使用してください。タインが緩むと、機械が損傷する可能性があります。**

1. 必要に応じてセパレータ格子を取り外してセパレータタインにアクセスします。

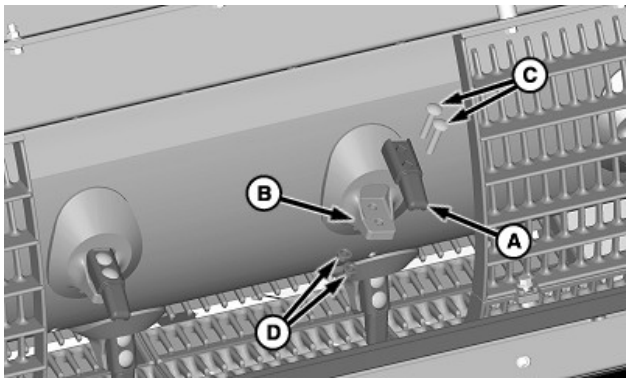
注記： 機械のオプションに応じて、このセクションの以下の部分を参照してください。

- コンケーブセクション *(*標準型コンケーブの調整*)*：取り外しと取り付け
- コンケーブセクション *(*アクティブコンケーブの分離*)*：取り外しと取り付け

2. KXE10110 隙間ゲージを使用して、セパレータタインの摩耗を点検します。

注記： 取り外しを容易にするために、ローターギアケースをニュートラル位置にシフトします。

3. 必要に応じて、丸頭ボルト (A)、ナット (B)、セパレータタイン (C) を取り外して廃棄します。



H94751—UN—25SEP09

A：**セパレータタイン**
B：**ローターベース**
C：**丸頭ボルト**
D：**ナット**

重要： **セパレータタインは、適切なバランスを維持するためにペアで交換する必要があります。**

セパレータタインのペア	
1-2	11-12
3-4	13-14
5-6	15-16
7-8	17-18
9-10	19-20

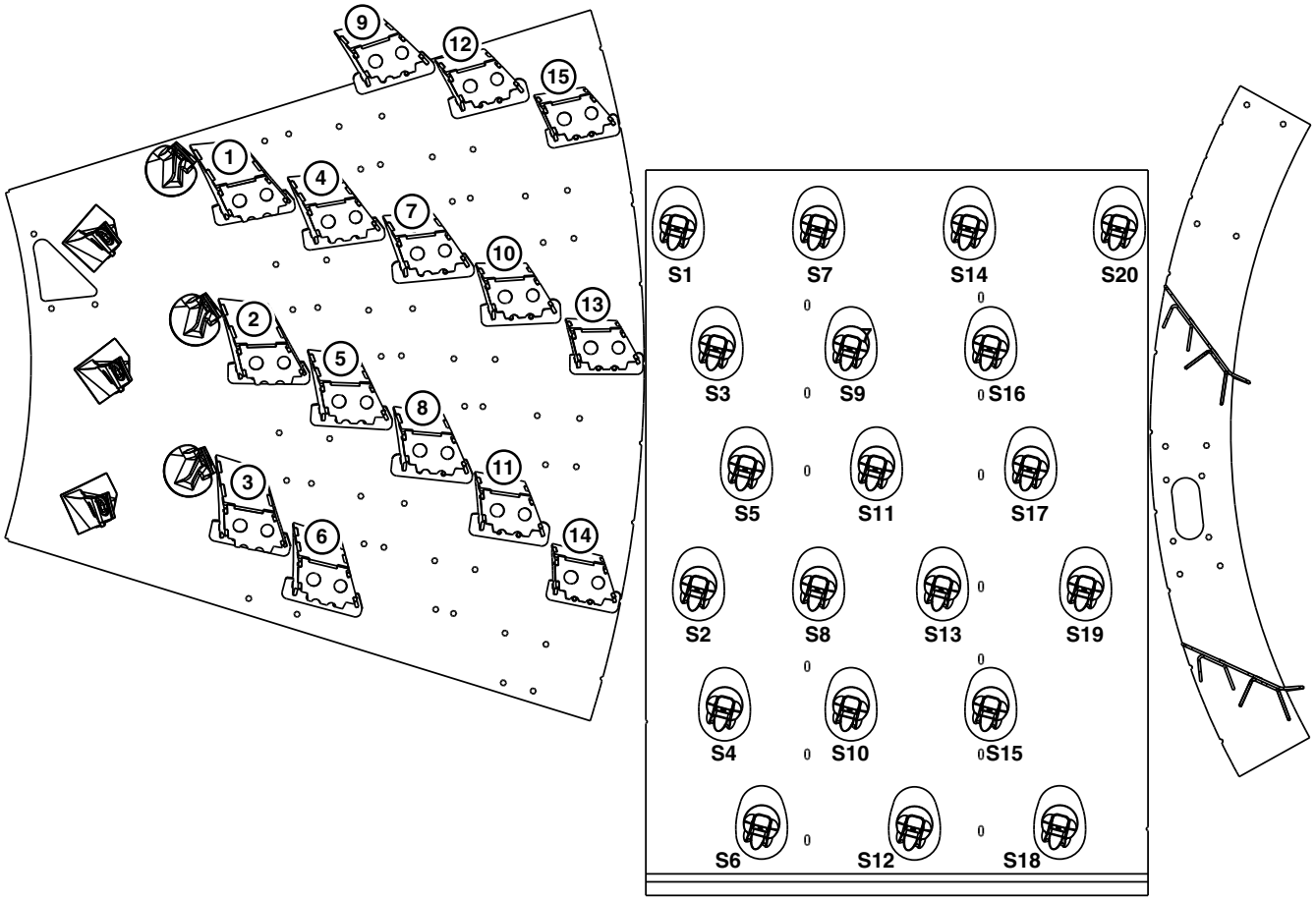
4. 付属のセパレータタイン (A) をローターベース (B) に取り付けます。(セパレータタイン位置図を使用してセパレータタインを識別します)。
5. 付属の丸頭ボルト (C) を取り付けてナット (D) で固定します。
6. 規定のトルクでナットを締め付けます。

仕様

タインのボルト：トルク. . . . . 75 ± 11 N·m (55 ± 8 lb-ft)

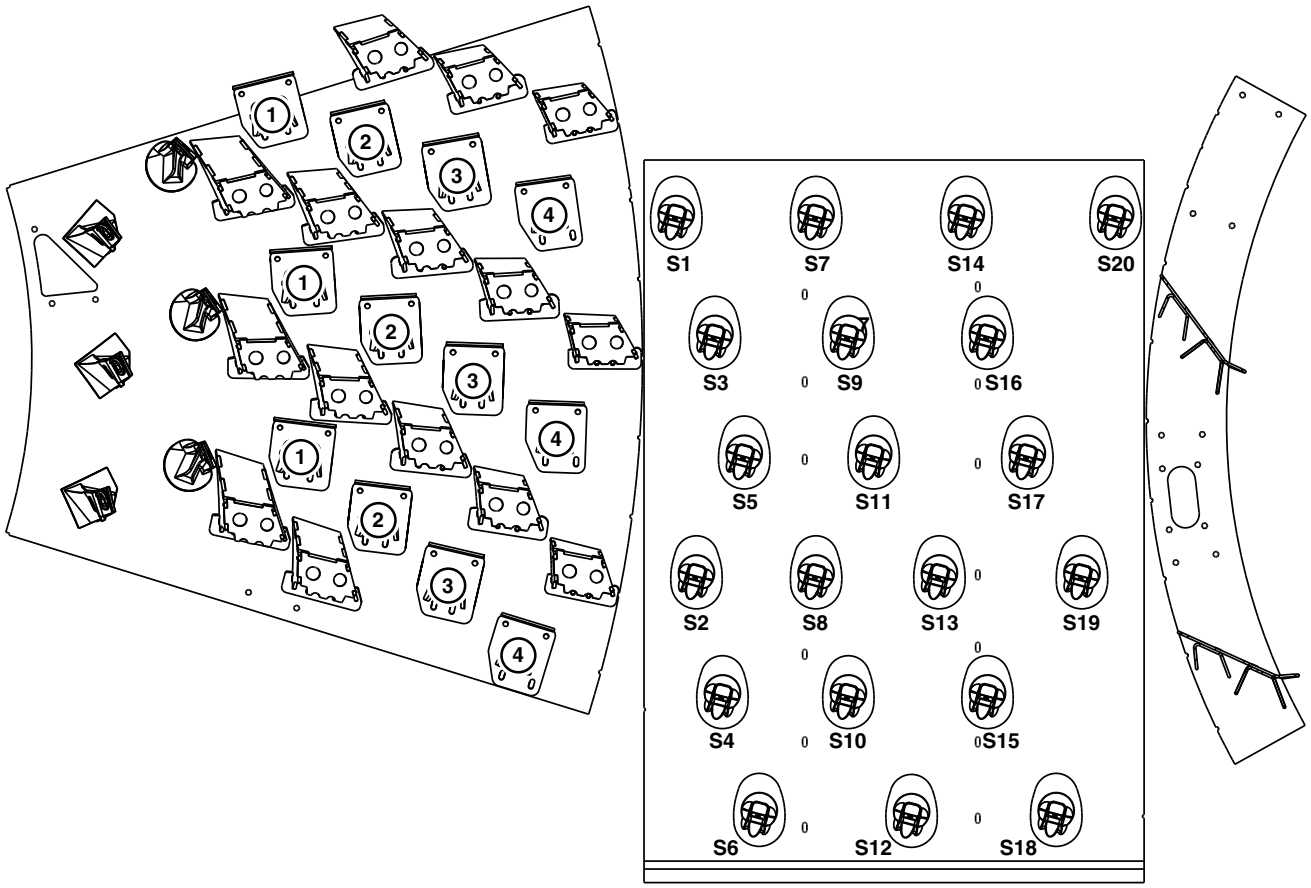
OUO6075,0001805-40-13MAY14

脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (バリアブルストリームローター標準構成)



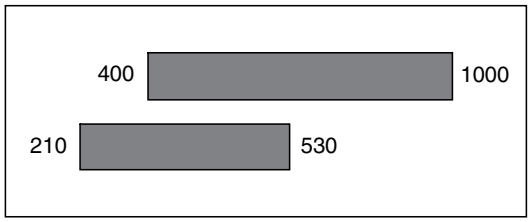
H94731—UN—09MAR10
OUO6075,0000B83-40-07APR11

脱穀エレメントとセパレータタインの位置 (バリアブルストリームローターデンスパック構成)

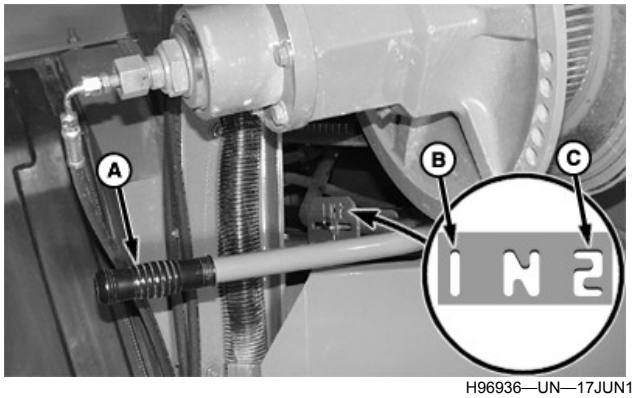


H94748—UN—08MAR10
OUO6075,0000B84-40-07APR11

Posi-Torq™ セパレーター—デュアルレンジ



H96715—UN—02JUN10



H96936—UN—17JUN10

A：ハンドル
B：低速位置 (1)
C：高速位置 (2)

注意： Posi-Torq™ セパレータをシフトする前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

Posi-Torq は Deere & Company の商標です。

注記： 大粒種子作物では、設定可能な最低の速度を使用して破損を防止します。

低速から高速または高速から低速にシフトするには、ハンドル (A) をデテントのニュートラル位置に動かします。

低速位置 (B) の場合は、ハンドルをセパレータサイドシートに向けて押します。

高速位置 (C) の場合は、ハンドルをセパレータサイドシートから離れる方向に引きます。

ドライブを完全に接続するには、シフトハンドルを動かしながらバリアブルシーブを少し回転させる必要がある場合があります。

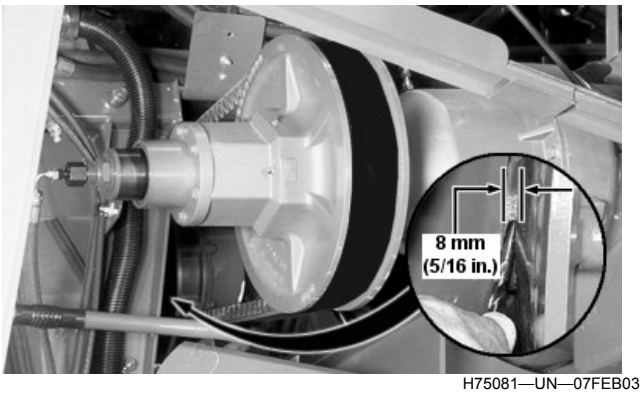
注記： ギヤが完全にかみ合っていることを確認してください。

セパレータ速度を変更するときは、電源の ON と OFF を入れ直して新しい速度レンジが認識されていることを確認してください。

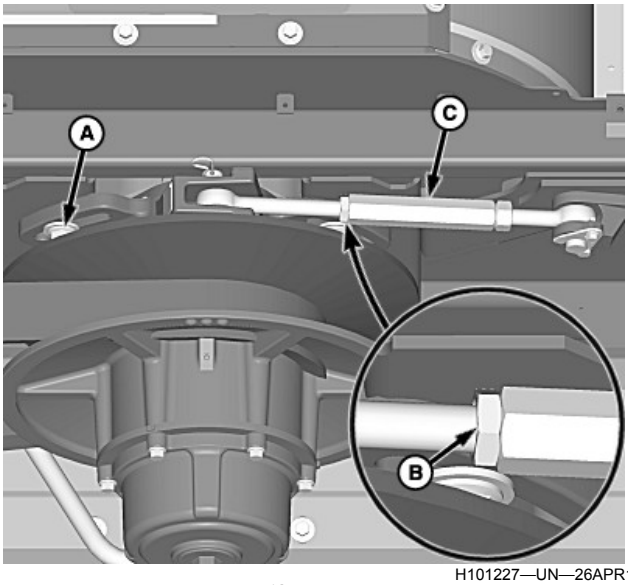
530 rpm 未満で長時間運転している場合は、低速にシフトします。

OUO6075,00045D0-40-20MAR17

セパレータドライブシーブ隙間：調整



H75081—UN—07FEB03



H101227—UN—26APR11

A：**キャップスクリュー (4 本使用)**
B：**ナット**
C：**ターンバックル**

重要： 隙間が 10 mm (3/8 in) を超えている場合隙間が 10 mm (3/8 in) を超えた場合、シーブの移動量が制限されます。ドライブが可変速度駆動レンジの上限で運転された場合、以下に示す故障が発生することがあります：

- **ベルトの伸びまたは故障**
- **ベアリングまたはシャフトの故障**

隙間が 6 mm (1/4 in) 未満の場合、トルク検出が制限されます。以下に示す故障は、ドライブが可変速度レンジの下限で運転された場合に発生します。

- **ベルトの故障**
- **ベルトの滑り**

可変速度駆動レンジの上限で運転中に高速を得られない場合、または可変速度駆動の下限で運転中にベルトの滑りが発生する場合は、隙間が不適切でないか点検してください。最高の性能を得るには、隙間を仕様値に設定してください。

仕様

シーブ：隙間. . . . . 8 mm ± 2 mm (5/16 in ± 1/16 in)

セパレータを接続した状態でセパレータドライブを最低速度に設定すると、従動シーブが閉じます。

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

ギヤケースの周囲のキャップスクリュー (A) を緩めます。

注記： ギヤケースをニュートラルにシフトして、ベルトをシーブ間に正しく密着させます。ターンバックルを調整しながらシーブを手動で回転させます。

ナット (B) を緩めてターンバックル (C) を調整し、従動シーブ間の隙間を指定されている値に設定します。

仕様

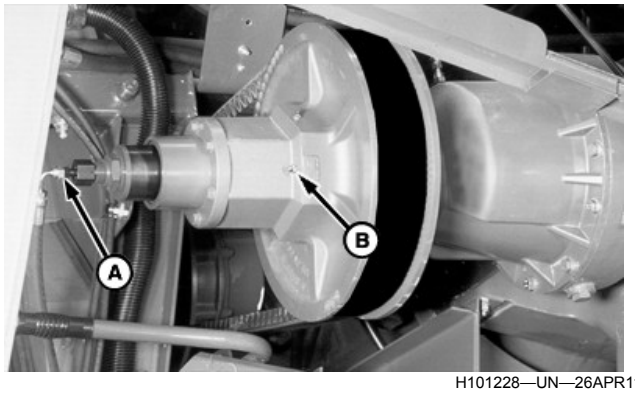
シーブ：隙間. . . . . 8 mm (5/16 in)

ナット (B) とキャップスクリュー (A) 締め付けます。

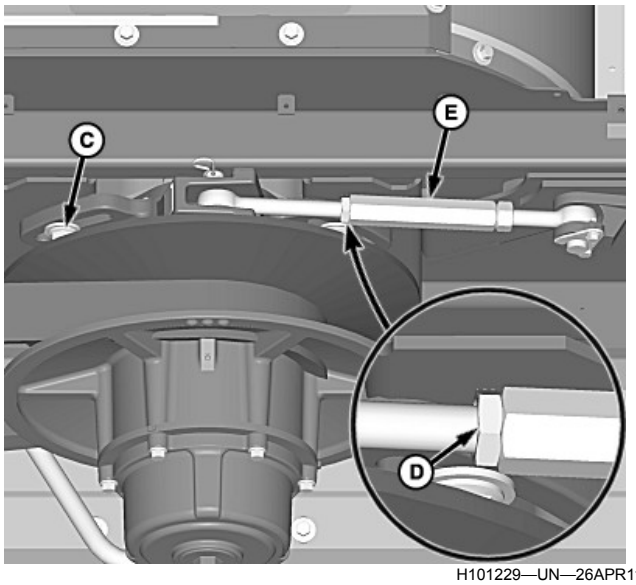
ギヤケースを必要な速度レンジにシフトします。

OUO6075,00046EA-40-11APR17

セパレータ可変速度駆動ベルト—交換



H101228—UN—26APR11



H101229—UN—26APR11

A：**ホース**
B：**プラグ**
C：**キャップスクリュー (4 本使用)**
D：**ナット**
E：**ターンバックル**

セパレータを接続した状態でセパレータドライブを最低速度に設定すると、従動シーブが閉じます。

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

ギヤケースをニュートラル位置にシフトします。

レンチ 2 個を使用して回転式油圧カップリングの位置でホース (A) を外します。

プラグ (B) を清掃して取り外し、グリースキャビティの真空を解放します。

駆動シーブをこじて開きます。

注記： 必要に応じて、セパレータ可変速度駆動ベルトにアクセスできるようにシールドを取り外します。

ギヤケースの周囲のキャップスクリュー (C) を緩めます。

ナット (D) を緩めてターンバックル (E) を調整し、ギヤケースとシーブアセンブリを左へ動かします。

ベルトを取り外して交換します。プーリーを手で回してベルトを密着させます。

プーリーを回してターンバックルを調整して、従動シーブ間の隙間を指定されている値に設定します。

仕様

シーブ：隙間. . . . . 8 mm (5/16 in)

ナット (D) とキャップスクリュー (C) を締め付けます。

注記： セパレータ可変速度駆動ベルトにアクセスできるように前の手順で取り外したシールドを取り付けます。

プラグ (B) と油圧ホース (A) を駆動シーブに取り付けます。

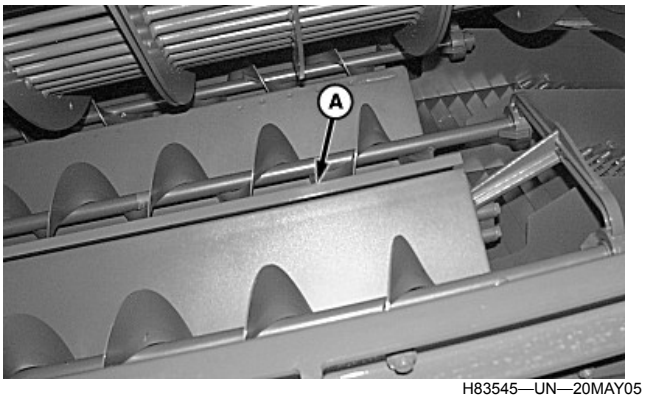
ギヤケースを必要な速度レンジにシフトします。

エンジンを始動し、セパレータを接続します。バリアブルドライブを速度レンジに複数回入れ直します。セパレータドライブの接続を解除します。

注記： 数時間後、シーブ隙間をもう一度点検し、必要に応じて調整します。

OUO6075,00046EB-40-11APR17

オーガーベッドディバイダー



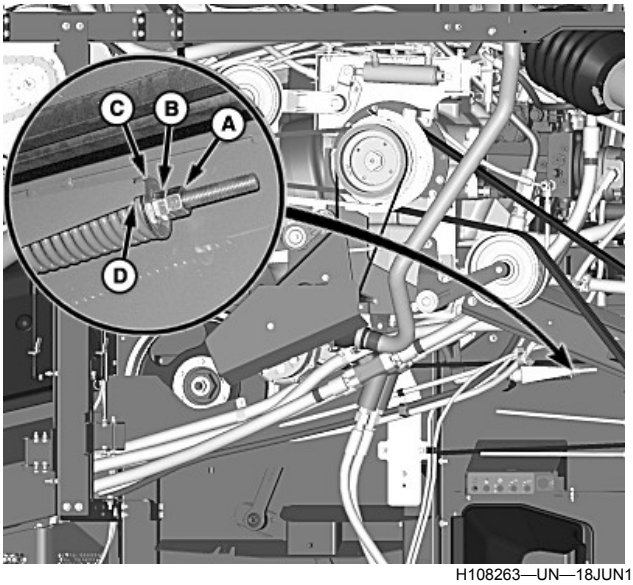
H83545—UN—20MAY05

A：**オーガーベッドディバイダー**

傾斜地での収穫中に、高い種子ロスや片側への材料の堆積を防止するには、オーガーベッドディバイダー (A) を上方向に動かします。

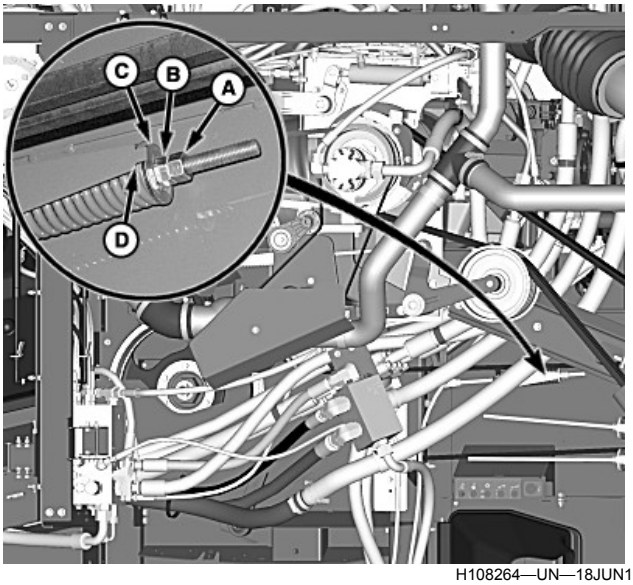
OUO6075,0000755-40-20MAR07

排出ビーターベルト—調整



H108263—UN—18JUN13

スタイル *A*



H108264—UN—18JUN13

スタイル *B*

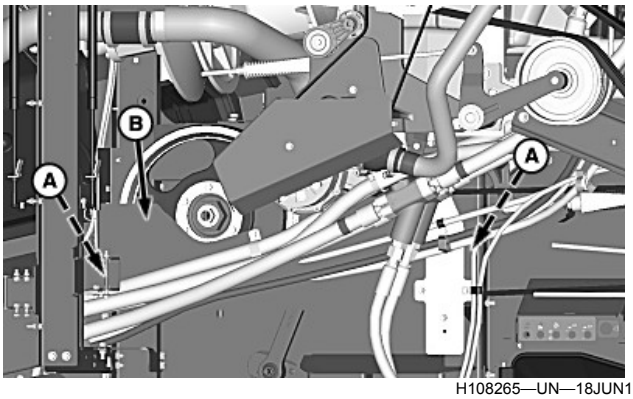
A：**ナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

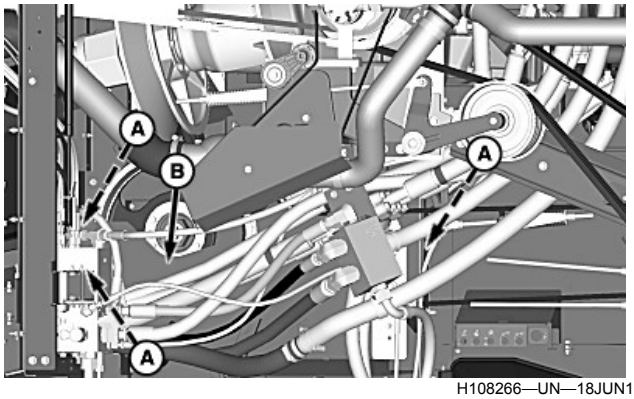
OUO6075,000438F-40-10OCT16

ディスチャージビーターベルト：交換



H108265—UN—18JUN13

スタイル *A*



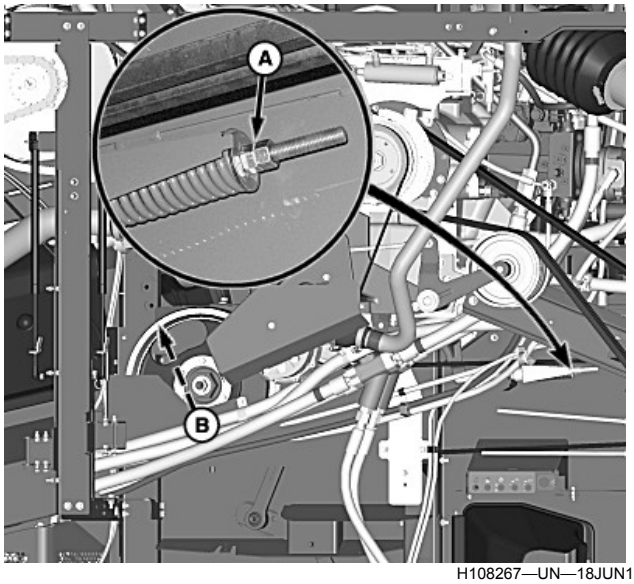
H108266—UN—18JUN13

スタイル *B*

A：**キャップスクリュー**
B：**シールド**

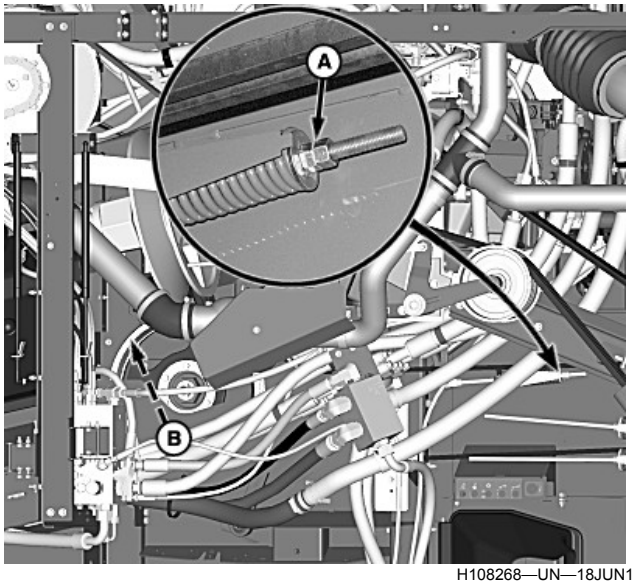
⚠ 注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。

キャップスクリュー (A) とシールド (B) を機械の左後部から取り外します。



H108267—UN—18JUN13

スタイル *A*



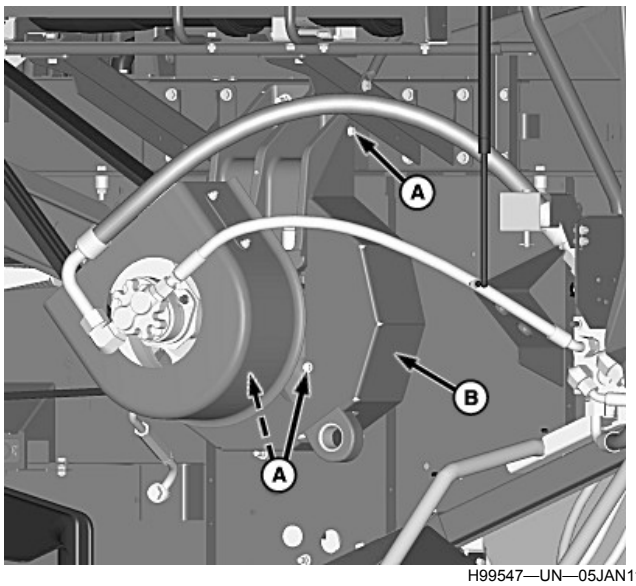
H108268—UN—18JUN13

スタイル *B*

A：**ナット**
B：**排出ビーターベルト**

ナット (A) を緩めてシーブからベルト (B) を取り外します。

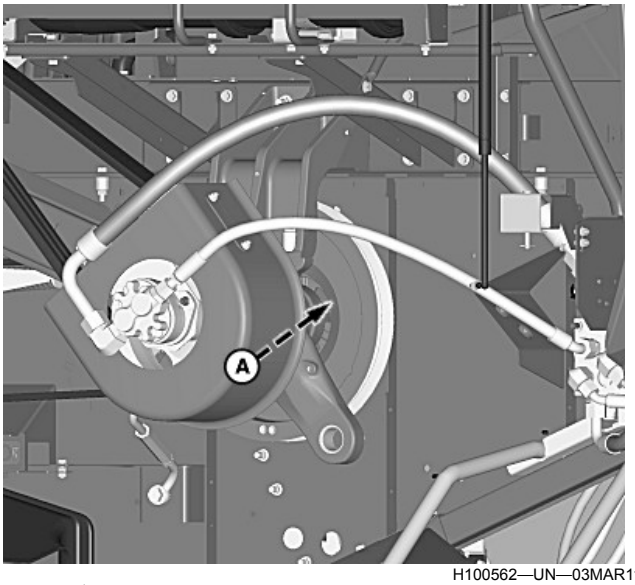
スプレッダー装備の機械



H99547—UN—05JAN11

A：**キャップスクリュー**
B：**シールド**

キャップスクリュー (A) とシールド (B) を取り外します。



H100562—UN—03MAR11

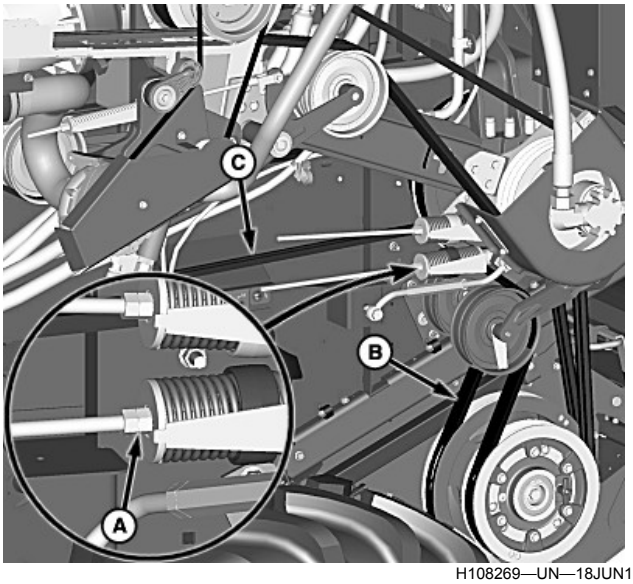
A：**排出ビーターベルト**

ジャックシャフトからベルト (A) を取り外して廃棄します。

交換用ディスチャージビーターベルトをジャックシャフトに取り付けます。

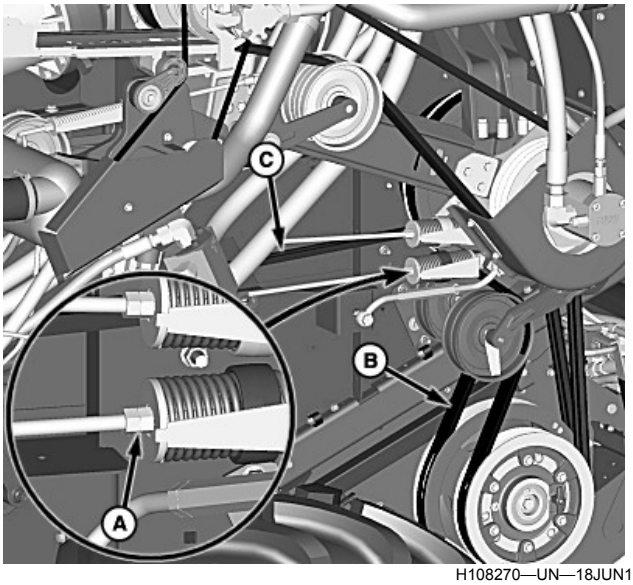
前の手順で取り外したシールドとボルトを取り付けます。

チョッパー装備の機械



H108269—UN—18JUN13

スタイル *A*



H108270—UN—18JUN13

スタイル *B*

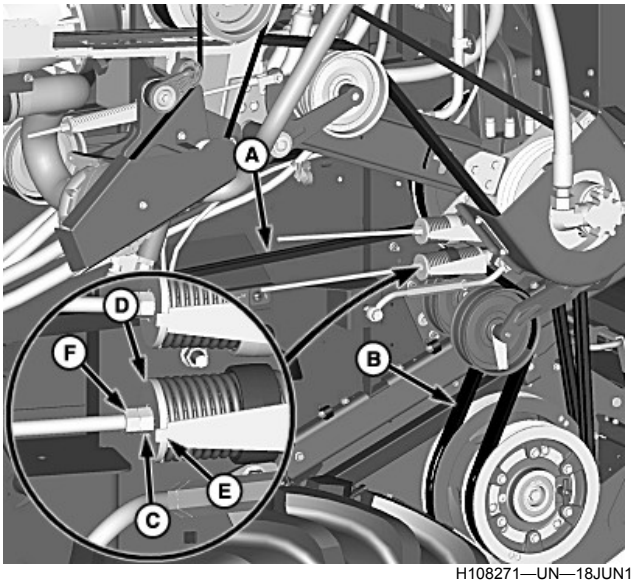
A：**ナット**
B：**内側チョッパー駆動ベルト**
C：**排出ビーターベルト**

左サイドシートのスイッチを使用してチョッパーアセンブリを完全に上昇させ、チョッパーシールドを取り外します。

注記：再組み付けを容易にできるように、テンショナナットを緩める前にその位置に印を付けます。

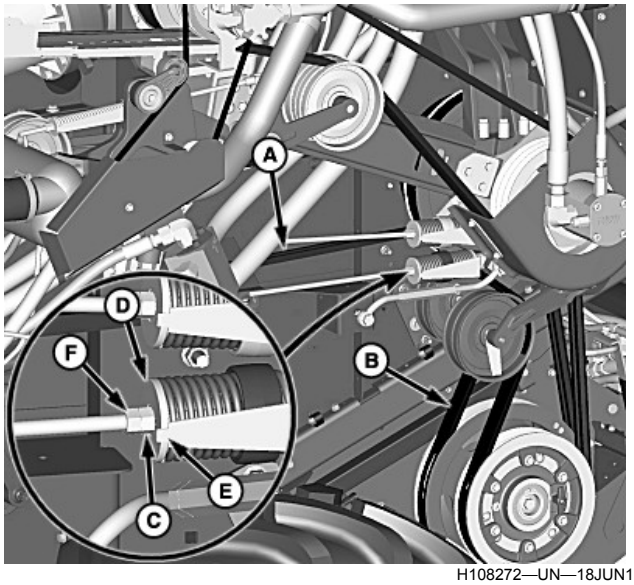
ナット (A) を緩めてシーブから内側ベルト (B) を取り外します。

ベルト (C) をチョッパージャックシャフトから取り外して廃棄します。



H108271—UN—18JUN13

スタイル *A*



H108272—UN—18JUN13

スタイル *B*

A：**排出ビーターベルト**
B：**内側チョッパー駆動ベルト**
C：**ナット**
D：**座金**
E：**ゲージ**
F：**ロックナット**

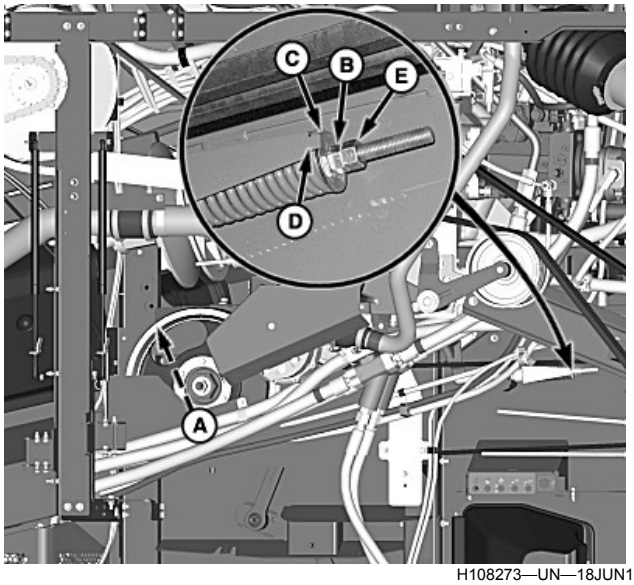
交換用ディスチャージビーターベルト (A) をチョッパージャックシャフトに取り付けます。

内側ベルト (B) を取り付けてベルトがシーブと整列していることを確認します。

左サイドシートのスイッチを使用してチョッパーアセンブリを完全に下降させます。

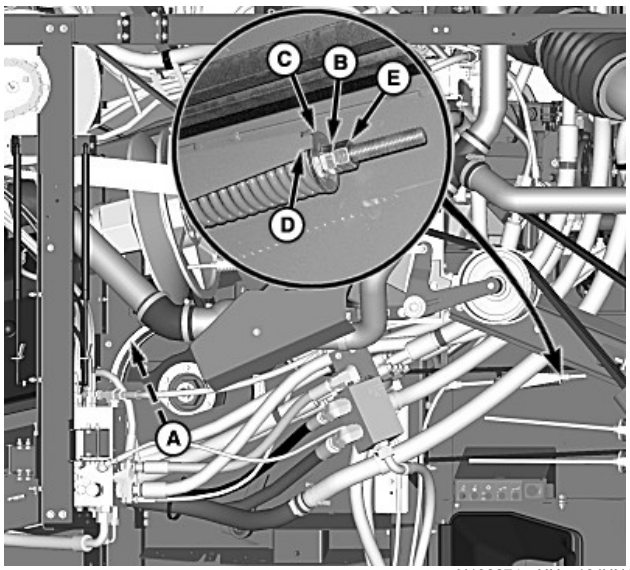
座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

前の手順で取り外したチョッパーシールドを取り付けます。



H108273—UN—18JUN13

スタイル *A*



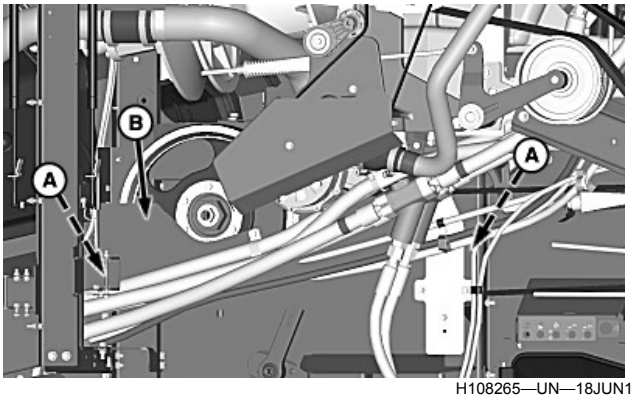
H108274—UN—18JUN13

スタイル *B*

A：**排出ビーターベルト**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**
E：**ロックナット**

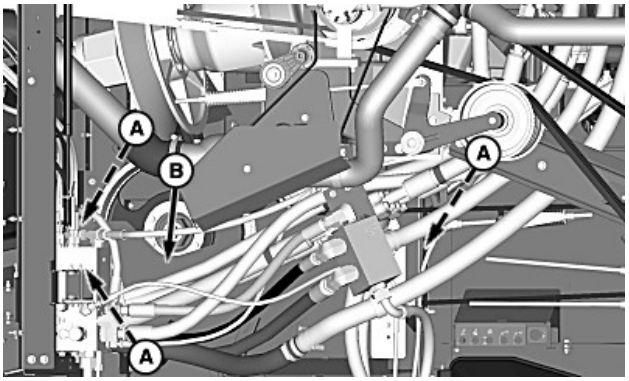
排出ビーターベルト (A) をシーブに取り付けます。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (B) を締め付けます。ロックナット (E) を締め付けます。



H108265—UN—18JUN13

スタイル *A*



H108266—UN—18JUN13

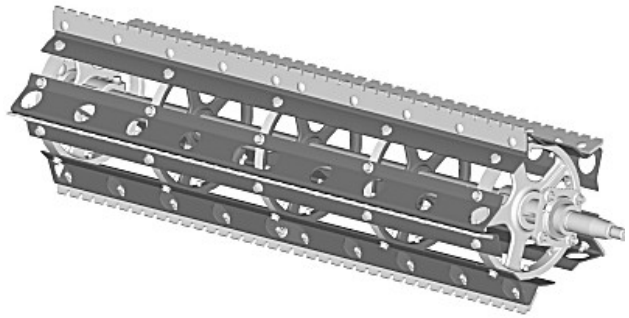
スタイル *B*

A：**キャップスクリュー**
B：**シールド**

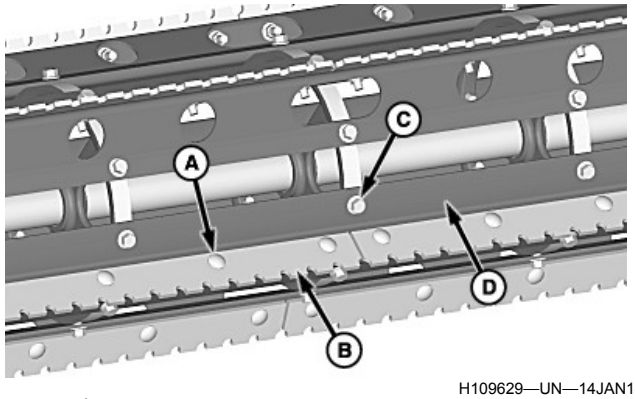
シールド (B) を取り付けてボルト (A) で固定します。

OUO6075,000438E-40-10OCT16

排出ビーターの摩耗ストリップ—交換 (5 / 10 ウイング方式)



H109628—UN—14JAN14



H109629—UN—14JAN14

A：**丸頭ボルト**
B：**排出ビーターの摩耗ストリップ**
C：**キャップスクリュー**
D：**排出ビーターウイング**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

注記： 摩耗ストリップは反転させて、さらに使用することができます。

ディスチャージビーターウイングおよび摩耗ストリップはディスチャージビーターを取り外さないで交換できます。

注記： ディスチャージビーターを機械から取り外した場合、または整備した場合は、クランプボルトを締め付けてからウイングを固定してください。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、ディスチャージビーターの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ディスチャージビーター摩耗ストリップの丸頭ボルト：トルク. . . . . 70 N·m (52 lb·ft)

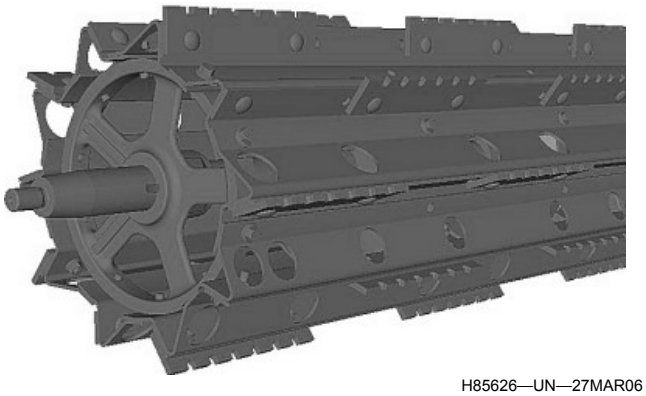
必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、ディスチャージビーターウイング (D) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

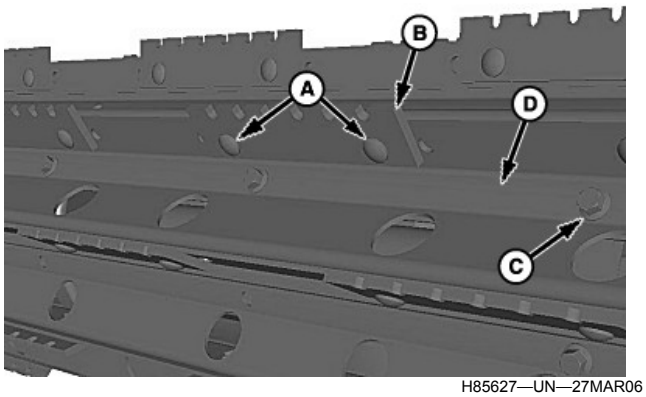
ディスチャージビーターウイングのボルト：トルク. . . . . 70 N·m (52 lb·ft)

OUO6075,000464E-40-13MAR17

標準排出ビーターの摩耗ストリップ—交換(8 ウイング方式)



H85626—UN—27MAR06



H85627—UN—27MAR06

ディスチャージビーターウイングおよび摩耗ストリップ
(標準)

A：**丸頭ボルト**
B：**排出ビーターの摩耗ストリップ**
C：**キャップスクリュー**
D：**排出ビーターウイング**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

注記： 摩耗ストリップは反転させて、さらに使用することができます。

ディスチャージビーターウイングおよび摩耗ストリップはディスチャージビーターを取り外さないで交換できます。ディスチャージビーターウイングは 2 個セットで互いに逆のものに交換して正しいバランスを維持してください。

注記： ディスチャージビーターを機械から取り外した場合、または整備した場合は、クランプボルトを締め付けてからウイングを固定してください。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、ディスチャージビーターの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ディスチャージビーター摩耗ストリップの丸頭ボルト：トルク. . . . . 70 N·m (52 lb·ft)

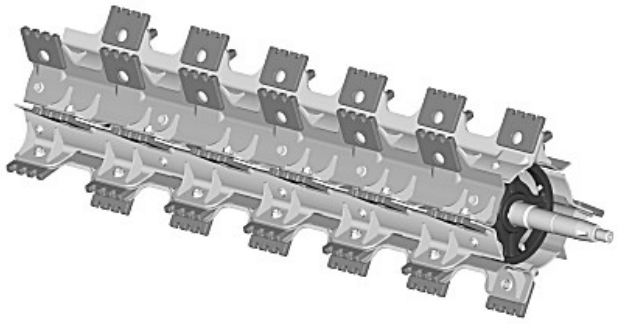
必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、ディスチャージビーターウイング (D) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

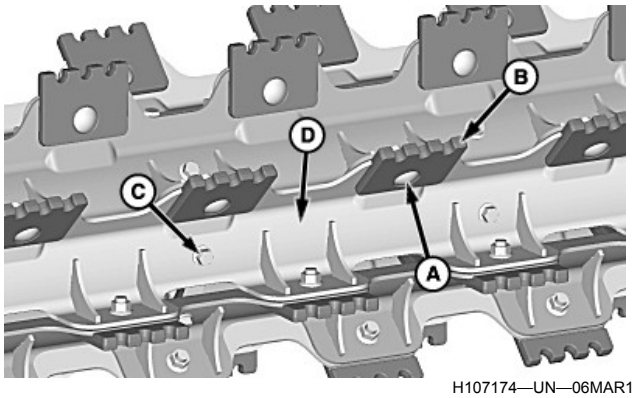
ディスチャージビーターウインのボルト：トルク. . . . . 70 N·m (52 lb·ft)

OUO6075,000464F-40-20MAR17

難脱穀性作物用排出ビーター摩耗ストリップ—交換



H107173—UN—06MAR13



H107174—UN—06MAR13

ディスチャージビーターウイングおよび摩耗ストリップ
(難脱穀性作物用)

A：**丸頭ボルト**
B：**排出ビーターの摩耗ストリップ**
C：**キャップスクリュー**
D：**排出ビーターウイング**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

ディスチャージビーターウイングおよび摩耗ストリップはディスチャージビーターを取り外さないで交換できます。排出ビーターウイングは 2 個セットで互いに逆のものに交換して正しいバランスを維持してください。

注記： 排出ビーターを機械から取り外した場合、または整備した場合は、締め付けボルトを締め付けてからウイングを固定してください。

ディスチャージビーターの摩耗ストリップを交換するときは、必ず金具を交換してください。

必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、ディスチャージビーターの摩耗ストリップ (B) を交換します。丸頭ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ディスチャージビーター摩耗ストリップの丸頭ボルト：トルク . . . . . 107 N·m (79 lb·ft)

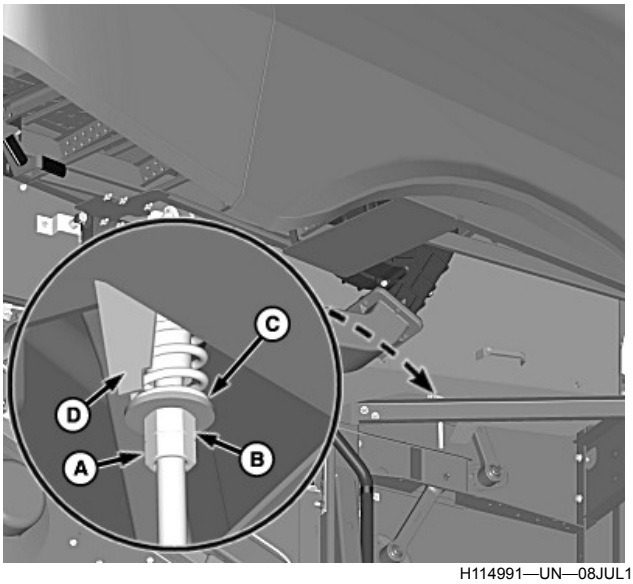
必要に応じて、ボルト (C) を取り外して、ディスチャージビーターウイング (D) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ディスチャージビーターウイングのボルト：トルク . . . . . 70 N·m (52 lb·ft)

OUO6075,0004A14-40-09AUG18

オーバーショットビーターベルト (装備されている場合)—調整



H114991—UN—08JUL15

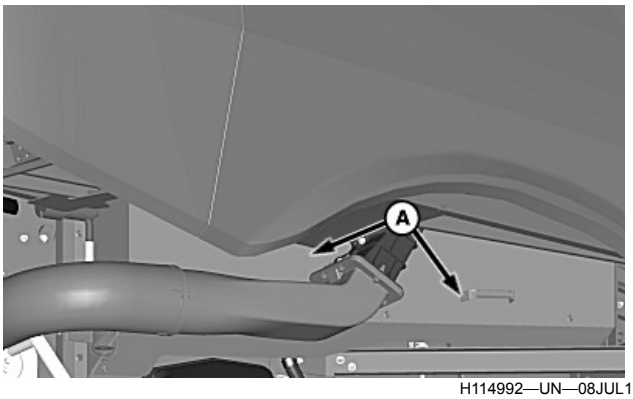
A：**ナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,000438D-40-12OCT16

オーバーショットビーターベルト (装備されている場合)—交換

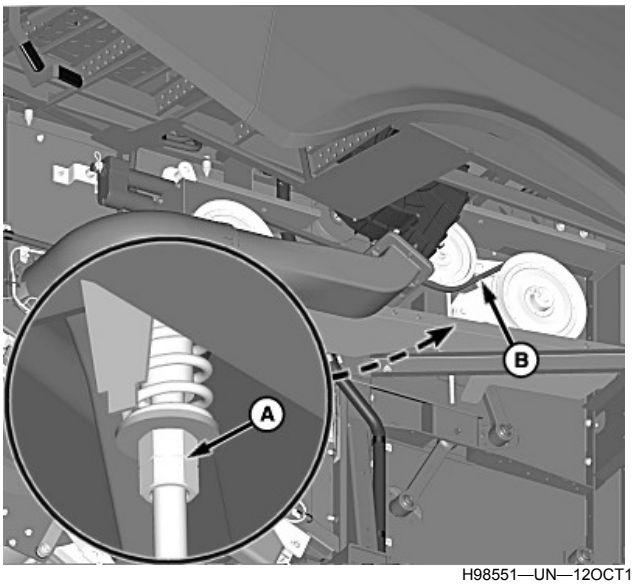


H114992—UN—08JUL15

A：**シールド**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

機械の右後部からキャップスクリューとシールド (A) を取り外します。



H98551—UN—12OCT10

A：**ナット**
B：**オーバーショットビーターベルト**

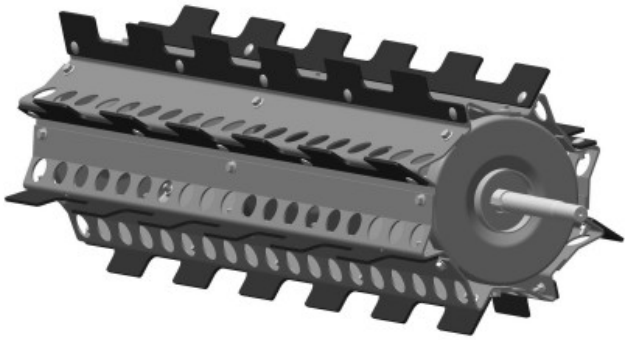
ナット (A) を緩めてベルト (B) をシーブから取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。ロックナットを締め付けます。

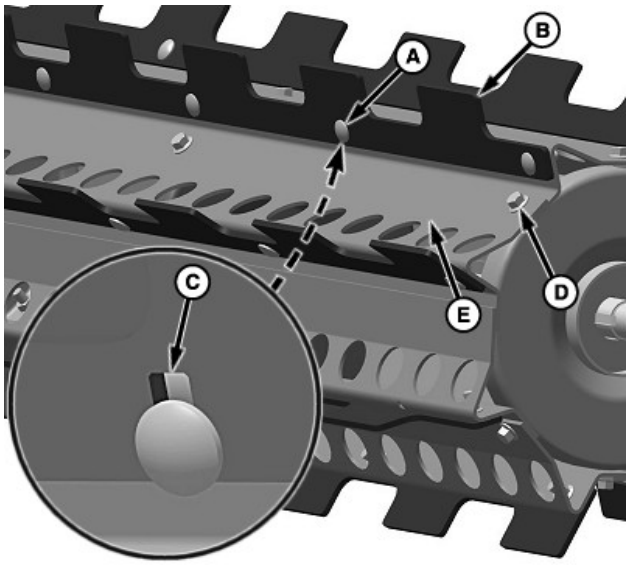
シールドを取り付けてキャップスクリューで固定します。

OUO6075,0004389-40-12OCT16

オーバーショットビーター (装備されている場合)—ウイングの交換



H120581—UN—23JAN17



H120582—UN—23JAN17

オーバーショットビーターウイング及び摩耗ストリップ
*(*標準*)*

A：**丸頭ボルト**
B：**オーバーショットビーターの摩耗ストリップ**
C：**切欠き**
D：**キャップスクリュー**
E：**オーバーショットビーターウイング**

⚠ 注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

注記： ウイングはさらに摩耗させて使用するために反転させることはできません。

オーバーショットビーターウイングおよび摩耗ストリップはオーバーショットビーターを取り外さないで交換できます。オーバーショットビーターウイングは 2 個セットで交換し、互いに相対させて適切なバランスを維持してください。

注記： オーバーショットビーターを機械から取り外した場合、または整備した場合は、クランプボルトを締め付けてからウイングを固定してください。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

1. 必要に応じて、丸頭ボルト (A) を取り外して、オーバーショットビーターの摩耗ストリップ (B) を交換します。
2. 図に示すようにオーバーショットビーターの摩耗ストリップをノッチ (C) の端まで外側に調整します。
3. 丸頭ボルトを仕様に従って締め付けます。

仕様

オーバーショットビーター摩耗ストリップの丸頭ボルト：トルク	79 N·m (58 lb·ft)

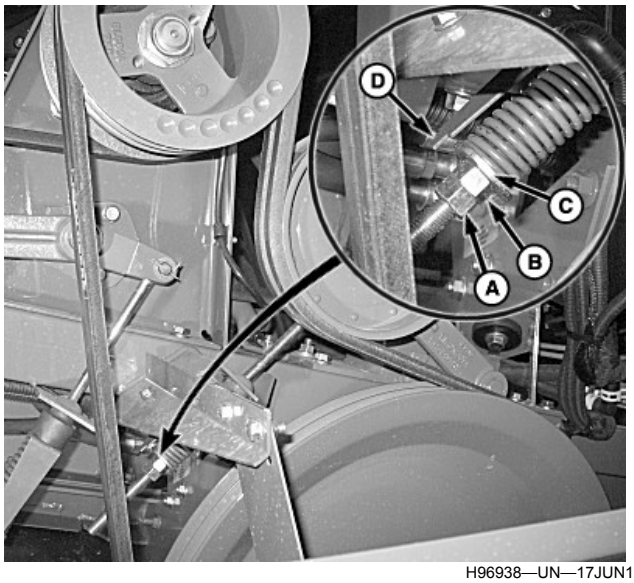
4. 必要に応じて、ボルト (D) を取り外して、オーバーショットビーターウイング (E) を交換します。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

オーバーショットビーターウイングのボルト：トルク	79 N·m (58 lb·ft)

OUO6075,00050C7-40-14MAY21

カウンタシャフト右フロントベルト：調整



H96938—UN—17JUN10

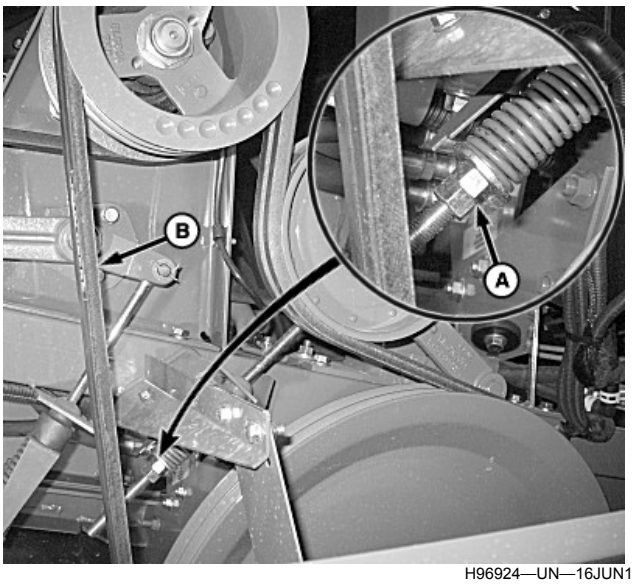
A：**ナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

⚠ 注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,00007F8-40-17JUN10

カウンタシャフト右フロントベルト：交換



H96924—UN—16JUN10

A：ナット
B：右フロントベルト

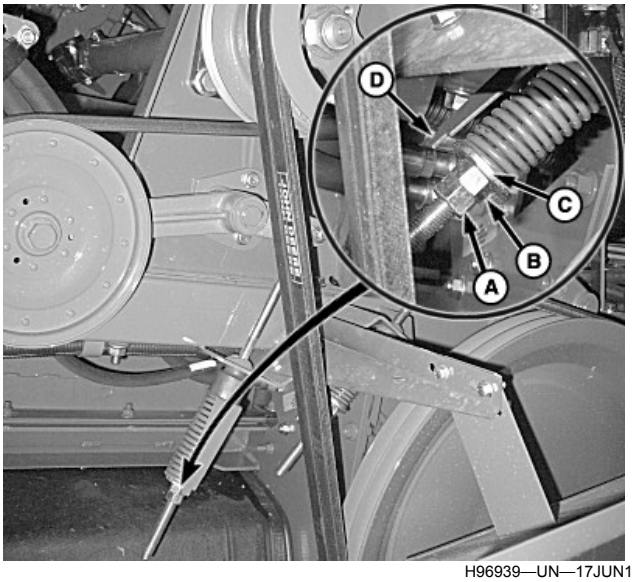
注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ナット (A) を緩めてベルト (B) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,00007F9-40-17JUN10

カウンタシャフト右リアベルト：調整



H96939—UN—17JUN10

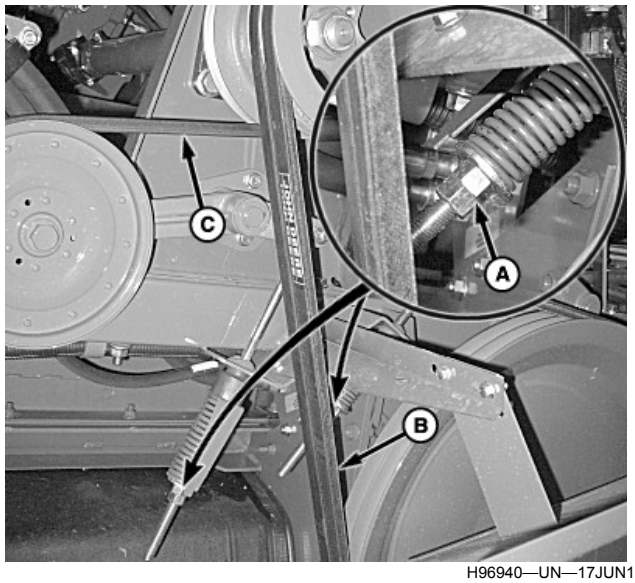
A：ナット
B：ナット
C：座金
D：ゲージ

注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,00007FA-40-17JUN10

カウンタシャフト右リアベルト：交換



H96940—UN—17JUN10

A：ナット
B：フロントカウンタシャフトベルト
C：リアカウンタシャフトベルト

注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ナット (A) を緩めて、右フロントカウンタシャフトベルト (B) を取り外します。

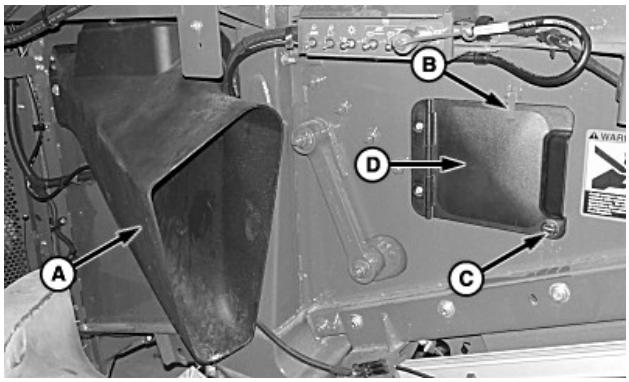
ナット (A) を緩めて、リアカウンタシャフトベルト (C) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

フロントカウンタシャフトベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

OUO6075,00007FB-40-22JUN10

クリーニングシューのエアシュートとアクセスドア



H115537—UN—20AUG15

A：**エアシュート (2 個使用)**
B：**クリップ**
C：**ロック**
D：**クリーニングシューアクセスドア**

注意：**エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

エアシュート (A) で見つかったすべての材料を取り除きます。

注記：クリーニングシューアクセスドアは機械の左側だけにあります。

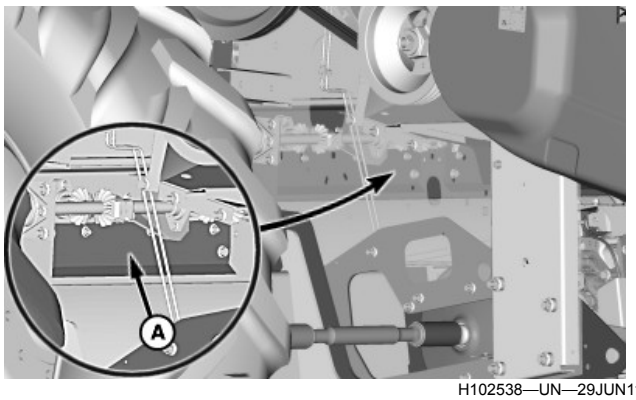
クリップ (B) を開いてロック (C) を回して、クリーニングシューアクセスドア (D) を開きます。

アクセスドアを開くと、チャファーやふるいの調整時またはクリーニングシュー部分の点検時にクリーニングシュー部分を確認できます。

アクセスドアを閉めてロックとクリップで固定します。

OUO6075,0004E8B-40-16JUN20

クリーニングシューオーガギヤ — 手動クリーンアウトドア (装備されている場合)



H102538—UN—29JUN11

A：**クリーンアウトドア**

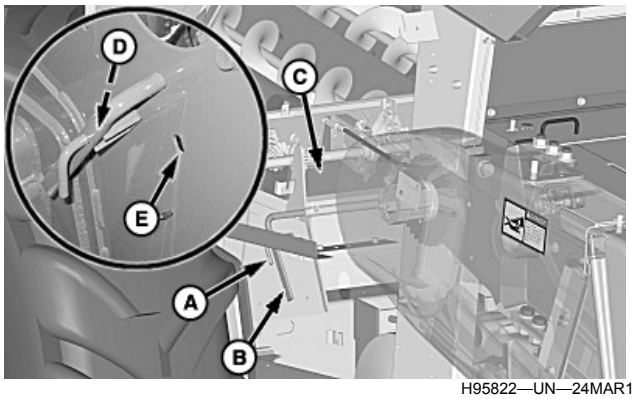
注意：**エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

クリーニングシューオーガギヤ部分を清掃して点検できます。

1. ボルトをクリーンアウトドア (A) から取り外して周辺を清掃します。
2. 本機を操作する前にクリーンアウトドアを閉めます。

OUO6075,0004E8C-40-08JUL20

クリーニングシューオーガギア：クリーンアウトドア (装備されている場合)



H95822—UN—24MAR10

A：**ロックアウトピン**
B：**ハンドル**
C：**クリーンアウトドア**
D：**閉位置**
E：**開位置**

注意：**エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

クリーニングシューオーガギア部分を清掃して点検できます。

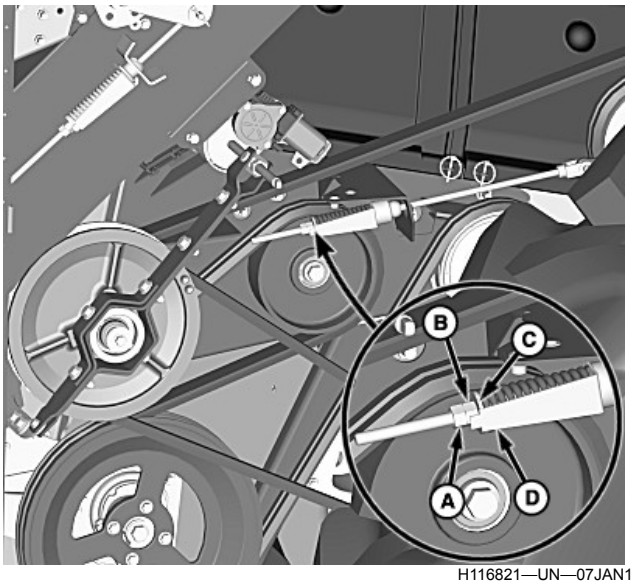
ロックアウトピン (A) を引き、ハンドルを (B) を動かしてクリーンアウトドア (C) を制御します。

ハンドルを必要な位置に動かします。

- 閉位置 (D)
- 開位置 (E)

OUO6075,0000F8B-40-09FEB12

シュー、ファン、コンベアオーガベルト—調整



H116821—UN—07JAN16

わかりやすいようにシールドを取り外した写真

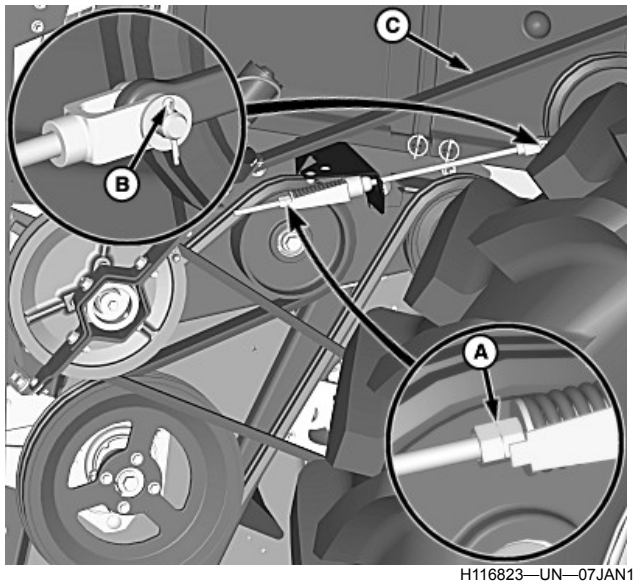
A：**ナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

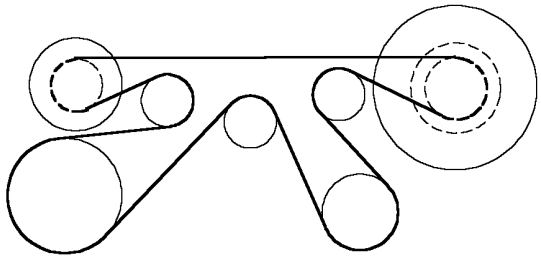
座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,00041C4-40-11APR16

シュー、ファン、コンベアオーガベルト—交換



H116823—UN—07JAN16



H54683—UN—17MAY99

ベルトの取り回し

A：**ナット**
B：**コッタピン**
C：**ベルト**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

右前のカウンターシャフトベルトとクリーニングファン可変速度駆動ベルトを取り外します。

ナット (A) を緩めてコッタピン (B) を張力調整ロッドから取り外します。

シュー、ファン、コンベアオーガ駆動ベルト (C) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

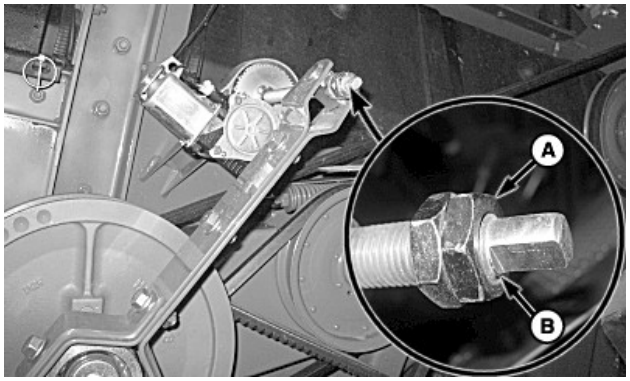
張力調整ロッドを組み付けてコッタピンを取り付けます。

フロントカウンターシャフトベルト、クリーニングファン可変速度駆動ベルトを取り付けて、座金がゲー

ジの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

OUO6075,00041C5-40-11APR16

クリーニングファンアクチュエータ (Active Terrain Adjustment™ 非装備)—調整



H96946—UN—17JUN10

A：**ナット**
B：**ねじ山の端**

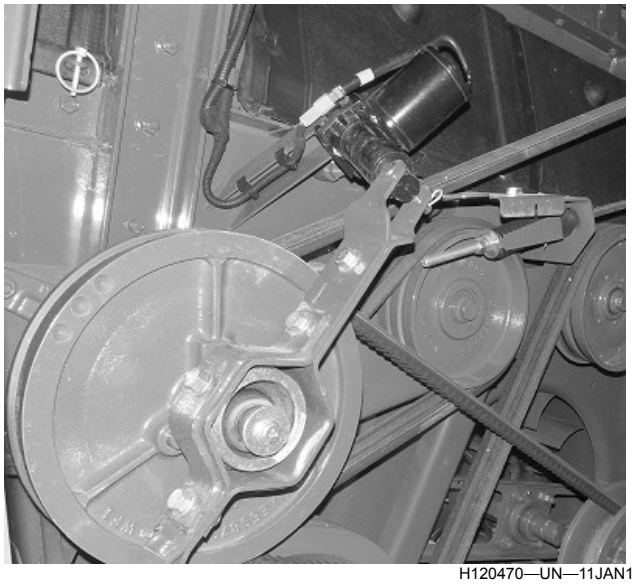
注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

注記： クリーニングファンの最低 / 最高回転速度は電子制御式です。不適切な電子制御回転速度設定がある場合、ストップナットにより駆動装置が保護されます。ナットは、図のように取り付ける必要があります。

図のようにねじ山の端 (B) にナット (A) が互いに締め付けられていることを確認してください。

OUO6075,0004580-40-11JAN17

クリーニングファンアクチュエータ (Active Terrain Adjustment™)—調整

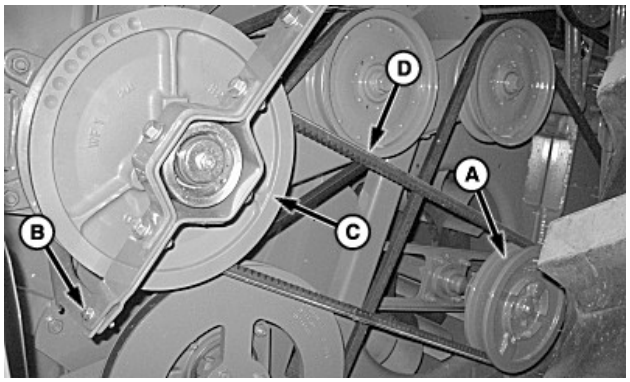


H120470—UN—11JAN17

クリーニングファンの最低 / 最高回転速度は電子制御式で、調整は不要です。

OUO6075,000457F-40-11JAN17

クリーニングファンベルト (Active Terrain Adjustment™)—交換



H96945—UN—17JUN10

A：**下部シーブ**
B：**サポートアーム**
C：**上部シーブ**
D：**ベルト**

機械を始動し、セパレータを接続してファンを最低回転速度で作動させます。

セパレータの接続を解除し、エンジンを OFF にしてキーを抜きます。

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

完全に開いた位置まで下部シーブ (A) にくさびを差し込みます。

サポートアーム (B) を外してアームを旋回させて離します。

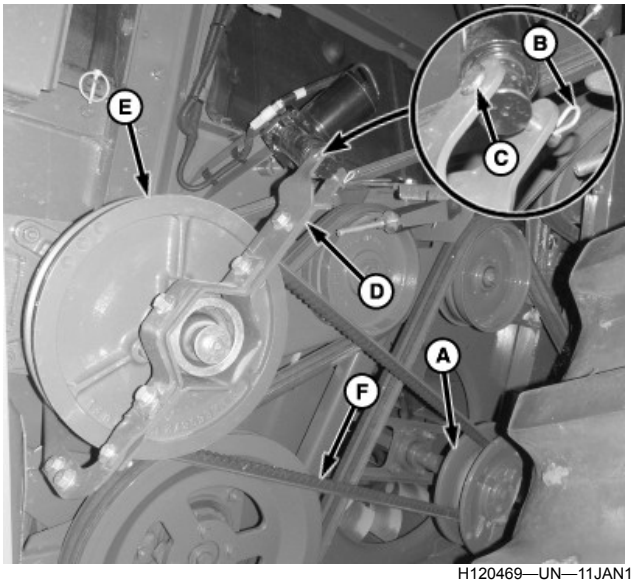
上部シーブ (C) を取り外して、ベルト (D) を下部シーブに寄せます。

交換用ベルトを取り付けて、くさびを外してサポートアームを接続します。

クリーニングファン回転速度の調整を点検します。

OUO6075,000457D-40-11JAN17

クリーニングファンベルト (Active Terrain Adjustment™)—交換



H120469—UN—11JAN17

A：**下部シーブ**
B：**スプリングピン**
C：**ピン**
D：**サポートアーム**
E：**上部シーブ**
F：**ベルト**

機械を始動し、セパレータを接続してファンを最低回転速度で作動させます。

セパレータの接続を解除し、エンジンを OFF にしてキーを抜きます。

注意：**エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

完全に開いた位置まで下部シーブ (A) にくさびを差し込みます。

スプリングピン (B) とピン (C) をアクチュエータモーターから取り外します。

邪魔にならないようにサポートアーム (D) を旋回させます。

上部シーブ (E) を取り外して、ベルト (F) を下部シーブに寄せます。

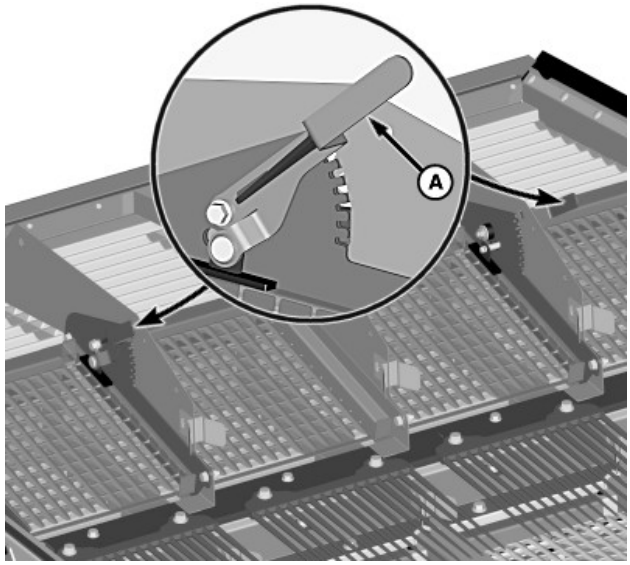
交換用ベルトを取り付けて、くさびを外してサポートアームを接続します。

サポートアームをアクチュエータモーターと整列させて、前の手順で取り外したピンで固定します。

クリーニングファン回転速度の調整を点検します。

OUO6075,000457E-40-11JAN17

調整式フロントチャファー (装備されている場合)



H120645—UN—31JAN17

A：**レバー**

注意：**エンジンを停止して駐車ブレーキをかけて、キーを抜いて予期しない始動やけがを防止してください。**

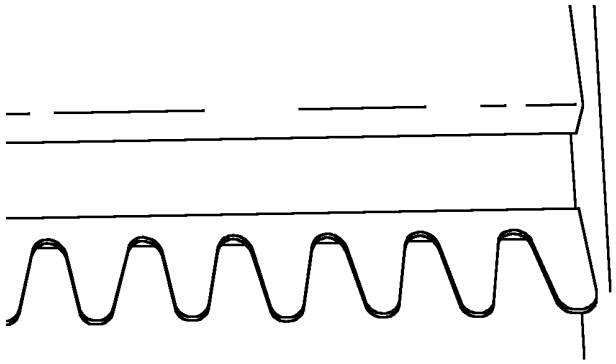
セパレータカバーを取り外して、フロントチャファーにアクセスします。

レバー (A) でフロントチャファーを必要な位置に調整します。

注記：レバーが完全に上がったら、フロントチャファーは完全に閉じています。レバーが完全に下がると、フロントチャファーが完全に開いています。1 ノッチは約 4 mm (5/32 in) に相当します。

OUO6075,00045AC-40-02FEB17

固定式フロントチャファー



H54528—UN—01APR99

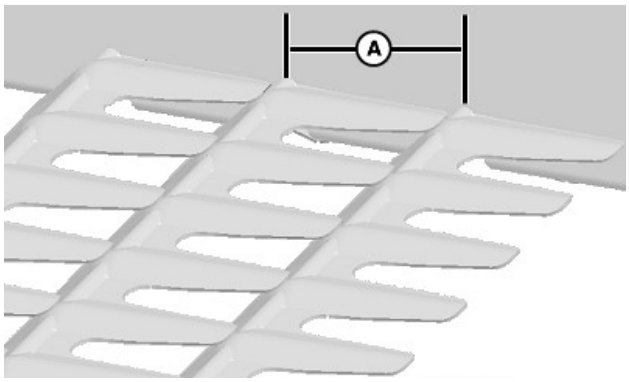
固定式フロントチャファーは 24 mm (15/16 in) の位置に設定されています。

フロントチャファーを通過した作物材料は、さらにクリーニングのためにチャファーに送られます。

OUO6075,00045AF-40-02FEB17

チャファーとふるい — 測定

ルーバー長さ



H89699—UN—21AUG07

A：**ワイヤ間**

機械には、2 種類のチャファーおよびふるいを取り付けることができます。

- 高歯チャファーとふるい

  ：チャファー 41 mm (1-5/8 in)

  ：ふるい 30 mm (1-3/16 in)
- 汎用チャファーとふるい

  ：チャファー 30 mm (1-3/16 in)

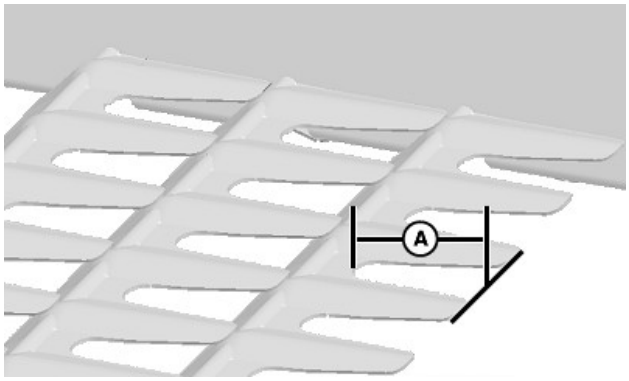
  ：ふるい 30 mm (1-3/16 in)
- 平歯コームチャファーとふるい

  ：チャファー 30 mm (1-3/16 in)

  ：ふるい 30 mm (1-3/16 in)

チャファーおよびふるいのルーバー長さを正しく測定するには、図に示すようにワイヤ間 (A) を測定します。これは、高歯、汎用、または平歯コームのどちらのチャファーまたはふるいが取り付けられているかを判断するために使用できます。

ふるいルーバー深さ



H120674—UN—02FEB17

A：**ルーバー深さ**

機械には、2 種類のふるいを取り付けることができます。

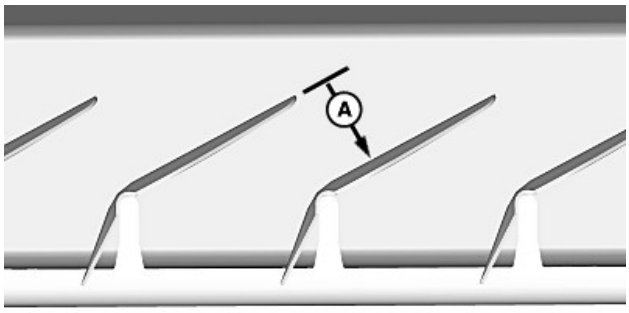
- 高歯ふるい

  ：ふるい 22 mm (7/8 in)
- 汎用ふるい

  ：ふるい 10 mm (3/8 in)

ふるいルーバー深さ (A) を正しく測定するには、図のようにルーバーの底部から先端までを測定します。これは、高歯または汎用のどちらのふるいが取り付けられているかを判定するために使用できます。

ルーバー隙間



H92974—UN—03OCT08

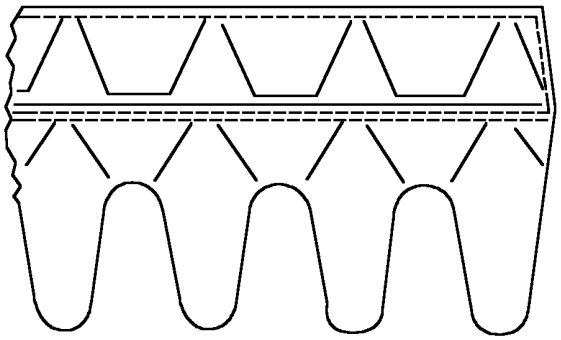
A：**ルーバー間**

注記： 必ず必要な設定点を通過させてチャファー / ふるいルーバーを閉じてから、必要な設定点までルーバーを開いて遊びを除去してください。

チャファーとふるいの隙間を正しく測定するには、図に示すようにルーバー間 (A) を測定します。これにより、チャファーおよびふるいの隙間がアームレストディスプレイに表示されている設定と一致しているかどうかを判定できます。

OUO6075,000503A-40-14MAY21

汎用チャファー 30 mm (1-3/16 in)



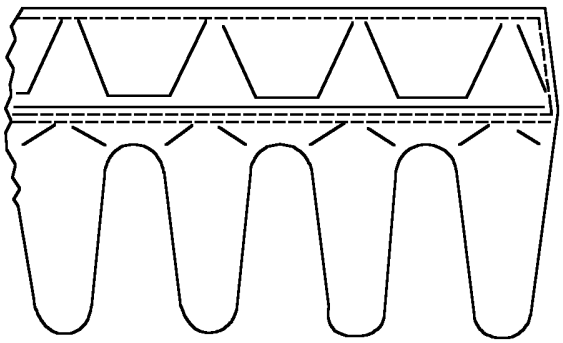
H54526—UN—01APR99

注記： 図に示す寸法はワイヤ間の間隔です。

汎用チャファーは、とうもろこし、大豆、もろこし、小粒グレン、油料種子、草種子、他の多くの特殊作物に適しています。これは乾燥条件に推奨され、とうもろこしの房 (ふさ) や大豆、ひまわり、もろこしの茎の「突き刺し」に対して耐久性があります。

OUO6075,00045B1-40-02FEB17

高歯チャファー 41 mm (1-5/8 in)



H58751—UN—13JUL99

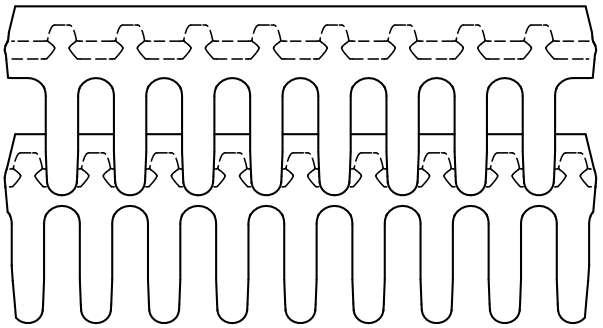
注記： 図に示す寸法はワイヤ間の間隔です。

小粒グレン、食用とうもろこし、またはポップコーンでの使用は推奨されません。

ディープツースチャファーおよびディープツースふるいは、高水分および高収量トウモロコシで穀粒の分離を促進し、トウモロコシおよび大豆で高容量およびクリーンな穀粒サンプルを提供します。

OUO6075,000467C-40-20MAR17

プレミアムとうもろこし用チャファー 41 mm (1-5/8 in)



H124256—UN—17MAY18

注記： 図に示す寸法はワイヤ間の間隔です。

高収穫量湿潤とうもろこし (+25%) 条件に推奨。

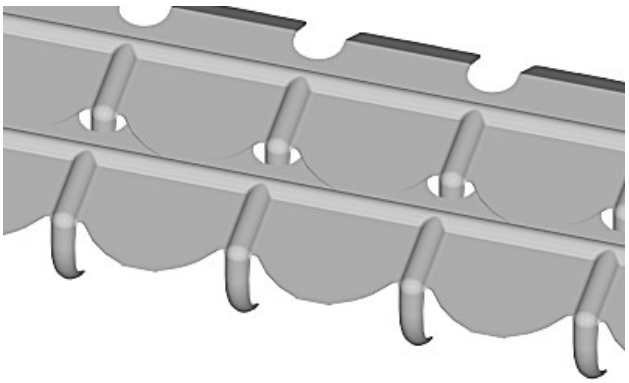
プレミアムとうもろこし用チャファーは、とうもろこし収穫時に最良の性能を発揮するように設計されています。チャファーで特徴的なより長いルーバー設計は、に高収穫量とうもろこしや、エレメントの大きなルーバー開口部がクリーニングシューの能力の向上に役立つ傾斜地での収穫時などで、より大きな開口部を提供し、グレン捕獲能力が向上しています。

プレミアムとうもろこし用チャファーの他の性能上の利点は次のとおりです： chaffer are:

- 本機後部からのクリーニングシューロスの低減。
- 2 番還元物の戻り容積を低減して、グレンタンク内の穂軸粒子を減らした高品質のグレンサンプルが得られるとともによりクリーンなグレンサンプルが得られます。
- プレミアムとうもろこし用の設計は、湿潤とうもろこし条件で材料の堆積が少ない傾向があります。
- ルーバーのカーブ上の先端により、プレミアムとうもろこし用チャファーはクリーニングが容易で、クリーニング中の損傷が少ない傾向があります。ルーバーのオフセットにより、小さい植物の茎がエレメントの間を通って落下したり、エレメントに溜まったりしにくい傾向があります。

OUO6075,0004944-40-25MAY18

平歯コームチャファー 30 mm (1-3/16 in)



H125454—UN—06DEC18

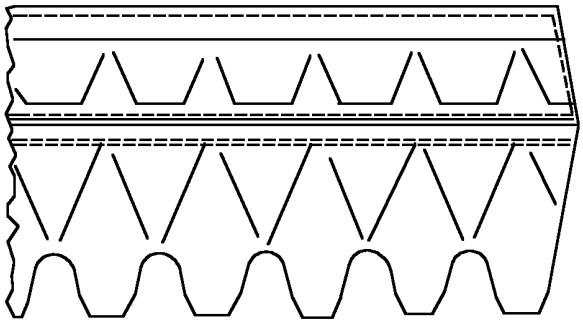
注記： 図に示す寸法はワイヤ間の間隔です。

平歯コームチャファーは、汎用チャファーと比較して、2 ~ 3 mm 広いチャファー隙間の開口部と 50 rpm 高いファン回転数速度が必要です。

平歯コームチャファーは、キャノーラ、油料種子 (セイヨウアブラナ)、レンズマメなど、特に過酷な条件 (雑草の多い条件およびひげの多い作物) で、2 番還元物の量やグレンタンクサンプルを向上させます。カール状のフィンガーは、チャファーを通過する長い細枝の数を減らします。

OUO6075,000503B-40-14MAY21

汎用ふるい 30 mm (1-3/16 in)



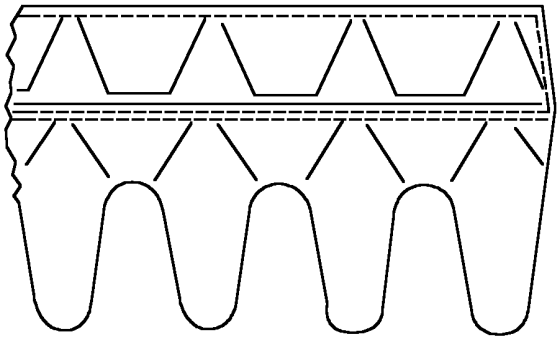
H54527—UN—01APR99

注記： 図に示す寸法はワイヤ間の間隔です。

このふるいは、すべての主要作物および多くの特殊作物に最適です。

OUO6075,00045B3-40-03FEB17

高歯ふるい 30 mm (1-3/16 in)



H54526—UN—01APR99

注記： 図に示す寸法はワイヤ間の間隔です。

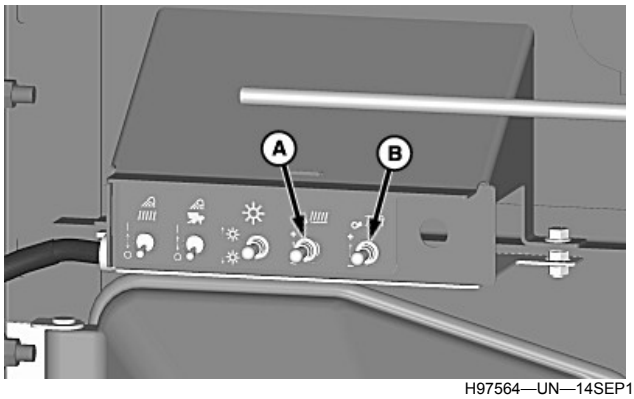
小粒グレン、食用とうもろこし、またはポップコーンでの使用は推奨されません。

ディープツースふるいは高水分および高収量トウモロコシでの穀粒の分離を促進します。

このふるいは高歯チャファーとともに、とうもろこしや大豆で高容量およびクリーンなグレンサンプルを提供します。

OUO6075,000467D-40-20MAR17

「Chaffer/Sieve Adjust (チャファー / ふるい調整)」スイッチ



H97564—UN—14SEP10

A：**チャファー調整スイッチ**
B：**ふるい調整スイッチ**

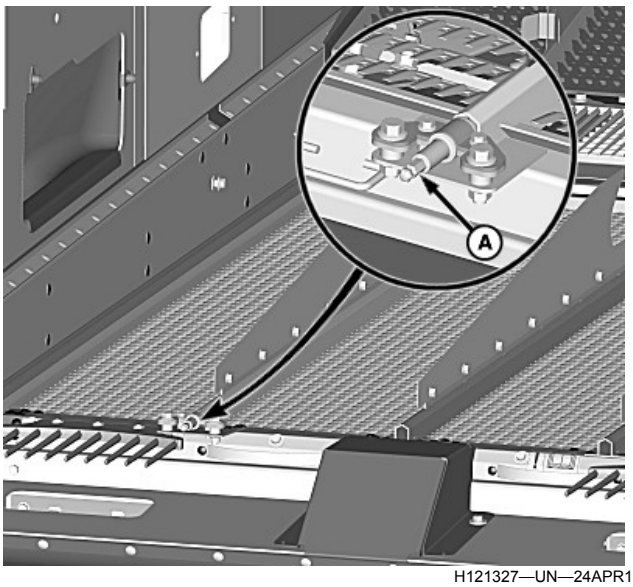
重要： **チャファー / ふるいルーバーを完全に閉じて、チャファー / ふるいを取り外しているときのルーバーの損傷を防止します。**

チャファー調整スイッチ (A) とふるい調整スイッチ (B) は機械の左側にあります。

チャファー調整スイッチとふるい調整スイッチを使用して、チャファーとシーブを種々の位置に開閉できます。

OUO6075,00007DC-40-21MAR11

デュアルゾーン調整リアチャファー—調整



H121327—UN—24APR17

A：**調整リンケージ**

注意： **エンジンを停止してパーキングブレーキをかけ、キーを抜いて予期しない始動やけがを防止してください。**

チョッパー / スプレッダーアセンブリを上げます。

調整リンケージ (A) を時計回りに回してチャファーを閉じ、反時計回りに回してチャファーを開きます。

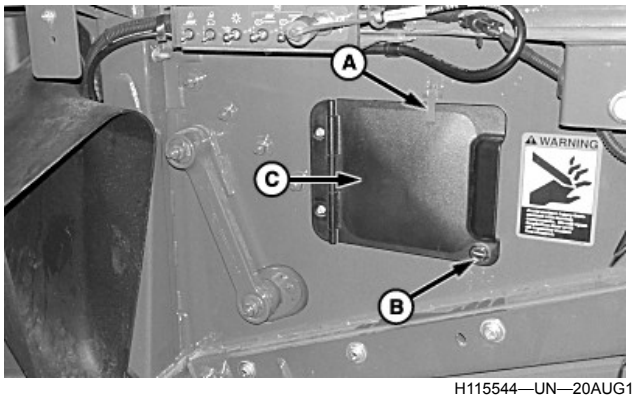
必ず必要な設定点を通過させてチャファールーバーを閉じ、必要な設定点までルーバーを開いて遊びを除去してください。

注記： 推奨されるデュアルゾーン調整リアチャファーの設定については、「作物の設定」を参照してください。

ルーバー間の距離を測定して設定を確認します。

OUO6075,0004726-40-24APR17

チャファー / ふるいエレメント：取り外しと取り付け



H115544—UN—20AUG15

A：**クリップ**
B：**ロック**
C：**点検口**

⚠ 注意： エンジンを停止して駐車ブレーキをかけて、キーを抜いて予期しない始動やけがを防止してください。

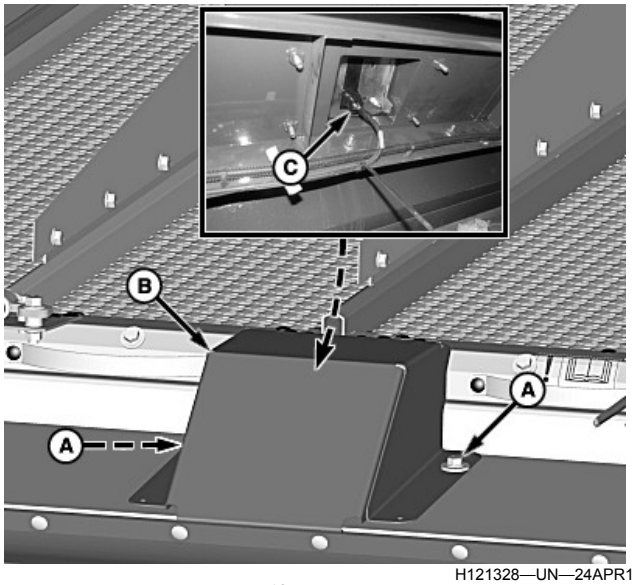
重要： チャファー / ふるいエレメントの損傷を防止するため、ルーバーを完全に閉めてからチャファー / ふるいエレメントを機械から取り外してください。

注記： 電動ナイフバンクアクチュエータの機械：チャファー / ふるいエレメントの取り外すには、ナイフバンクを 100% 接続位置に調整してください。詳しくは、「残留物管理のヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

チャファー / ふるいエレメントを取り外すためにチョッパーやスプレッダー (装備されている場合) を取り外す必要はありません。チョッパーまたはスプレッダーを完全に上昇させる必要があります。

ふるいの取り外しはチャファーの取り外しと同様です。

1. クリップ (A) を開いてロック (B) を回して、点検口 (C) を開きます。

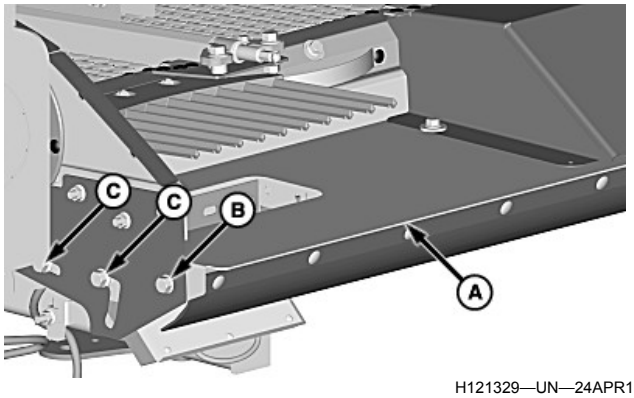


H121328—UN—24APR17

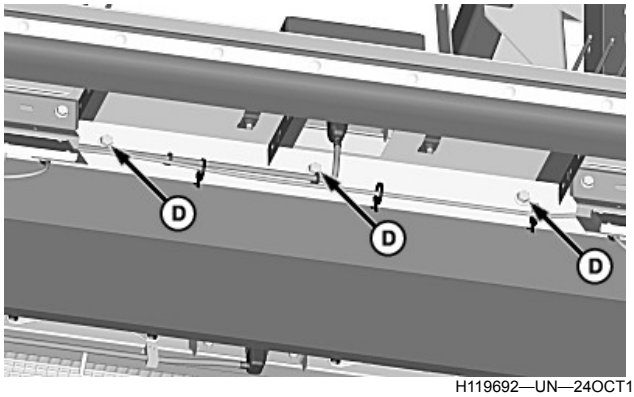
A：**キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**カバー**
C：**電気ハーネス**

注記： チャファーモーターを取り外す必要はありません。

2. キャップスクリュー (A) とカバー (B) を取り外します。
3. チャファーモーターから電気ハーネス (C) の接続を外します。



H121329—UN—24APR17



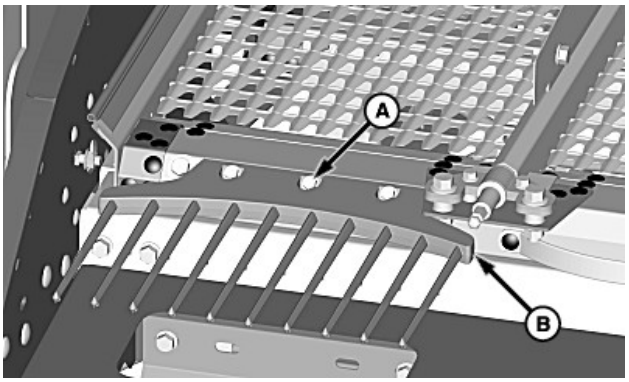
H119692—UN—24OCT16

A：**尾板**
B：**キャップスクリューとナット (2 組使用)**

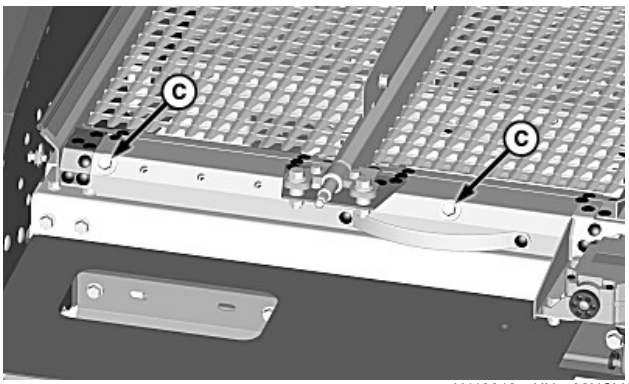
C：**キャップスクリュー (4 本使用)**
D：**キャップスクリューとナット (3 組使用)**

注記： 尾板を取り外す必要はありません。

4. **下部尾板 (A)**：
   a. キャップスクリューとナット (B) を機械の両側から取り外します。
   b. 機械の両側のキャップスクリュー (C) を緩めます。
   c. 尾板の中心の下からキャップスクリューとナット (D) を取り外します。
   d. テールボードを後方へ下に引っ張ります。



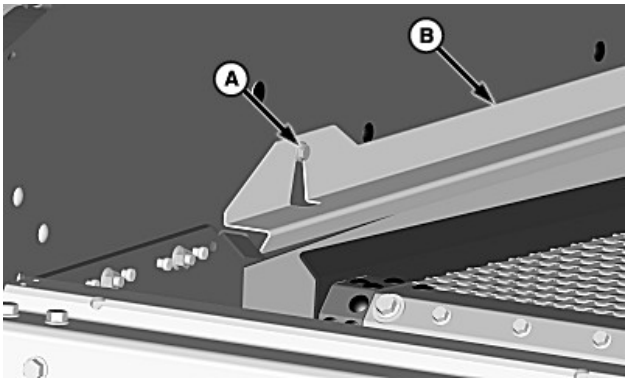
H119693—UN—24OCT16



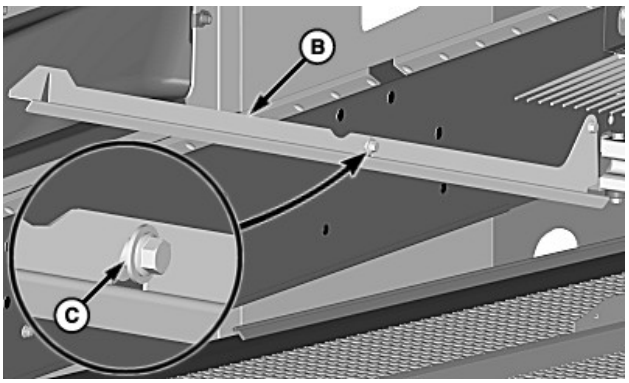
H119913—UN—02NOV16

A：**キャップスクリュー (6 本使用)**
B：**プラスチックフィンガー (2 個使用)**
C：**キャップスクリュー (4 本使用)**

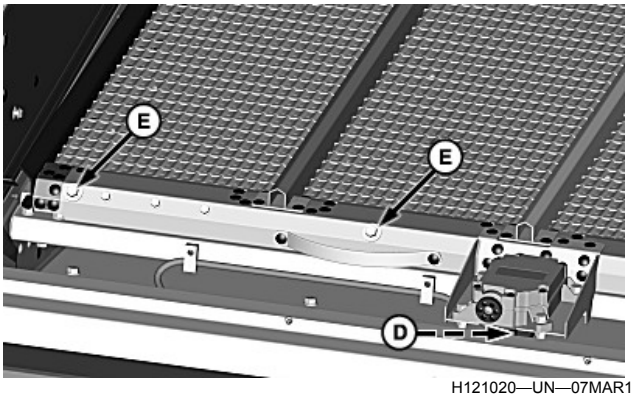
5. **チャファーの取り外し**：
   a. キャップスクリュー (A) とプラスチックフィンガーを機械の両側から取り外します。
   b. 機械の両側からキャップスクリュー (C) を取り外します。
   c. チャファーエレメントを機械の後部からスライドさせます。
   d. チャファーエレメントのグレンシールを点検し、必要に応じて修理または交換します。



H119696—UN—24OCT16



H119695—UN—24OCT16



H121020—UN—07MAR17

A：**キャップスクリュー**
B：**レール**
C：**ブッシング**
D：**電気ハーネス**
E：**キャップスクリュー (4 本使用)**

6. **ふるいの取り外し**：
   a. 機械の両側のキャップスクリュー (A) を緩めます。
   b. レール (B) を持ち上げて、ブッシング (C) の上に配置します。
   c. ふるいモーターから電気ハーネス (D) の接続を外します。
   d. 機械の両側からキャップスクリュー (E) を取り外します。
   e. 機械の後部からふるいエレメントをスライドさせます。

f. ふるいエレメントのグレンシールを点検して、必要に応じて修理または交換します。

7. **ふるいの取り付け**：

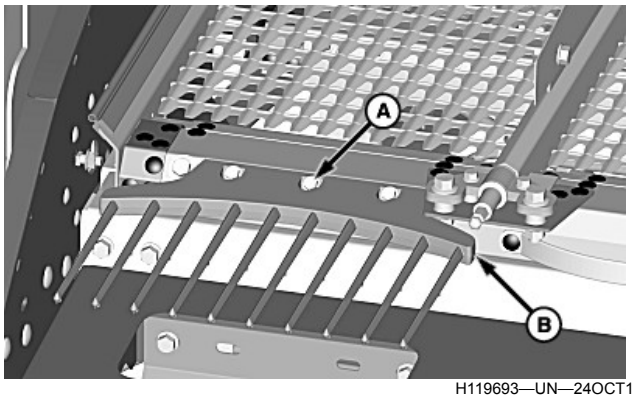
a. 機械の後部からふるいエレメントを取り付けます。

b. レールを下げて、電気ハーネスを取り付けます。

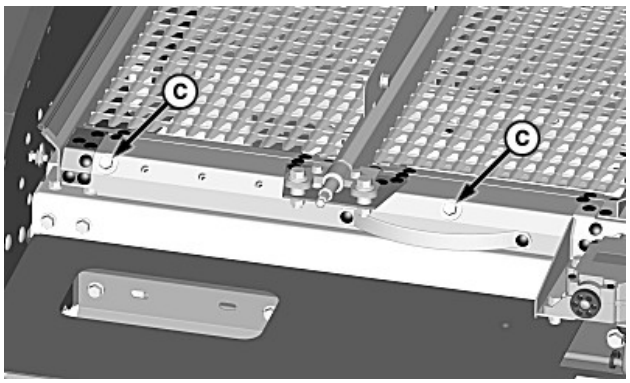
c. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ふるいのキャップスクリュー：
トルク. . . . . 37 N·m
(27 lb·ft)



H119693—UN—24OCT16



H119913—UN—02NOV16

A：**キャップスクリュー (6 本使用)**
B：**プラスチックフィンガー (2 個使用)**
C：**キャップスクリュー (4 本使用)**

8. **チャファーの取り付け**：

a. チャファーを取り付けて、電気ハーネスを取り付けます。

b. キャップスクリュー (C) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

チャファーのキャップスクリュー：トルク. . . . . 37 N·m
(27 lb·ft)

c. プラスチックフィンガー (B) をチャファーの両側に取り付けます。

d. キャップスクリュー (A) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

プラスチックフィンガーのキャップスクリュー：トルク. . . . . 8 N·m
(71 lb·in)

9. テールボードを上昇させ、前の手順で取り外した金具を取り付けます。

10. 前の手順で取り外したカバーを取り付けてキャップスクリューで固定します。

11. 点検口を閉めてロックとクリップで固定します。

OUO6075,0004A49-40-09NOV18

チャファー / ふるい / リターンパンアセンブリ

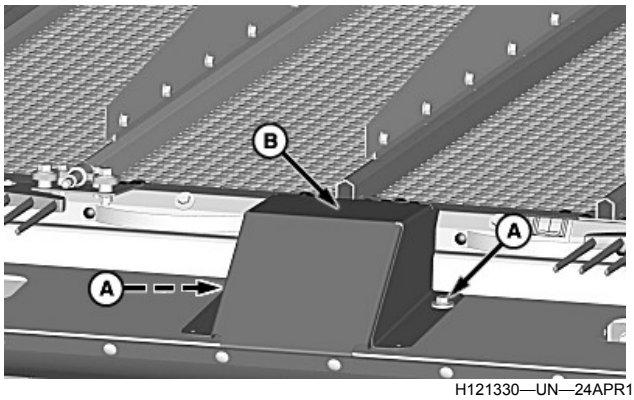
次のアセンブリは、整備できない構造上の留め具を含んでいるため修理できません：

- 左右のチャファーフレーム側
- 左右のふるいフレーム側
- 戻しパンフレーム
- チャファーエレメント
- ふるいエレメント

注記： 記載しているアセンブリは、整備部品を通じて交換できます。詳しくは、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

SS43267,0000623-40-11JUN15

チャファー / ふるいモーター—手動調整



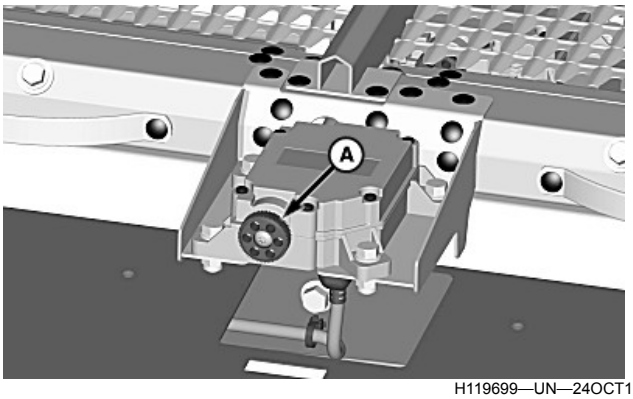
H121330—UN—24APR17

A：**キャップスクリュー**
B：**カバー**

注意： **エンジンを停止して駐車ブレーキをかけて、キーを抜いて予期しない始動やけがを防止してください。**

注記： チャファーモーターとふるいモーターで同じ手動調整手順を使用できます。

1. キャップスクリュー (A) とカバー (B) を取り外します。



H119699—UN—24OCT16

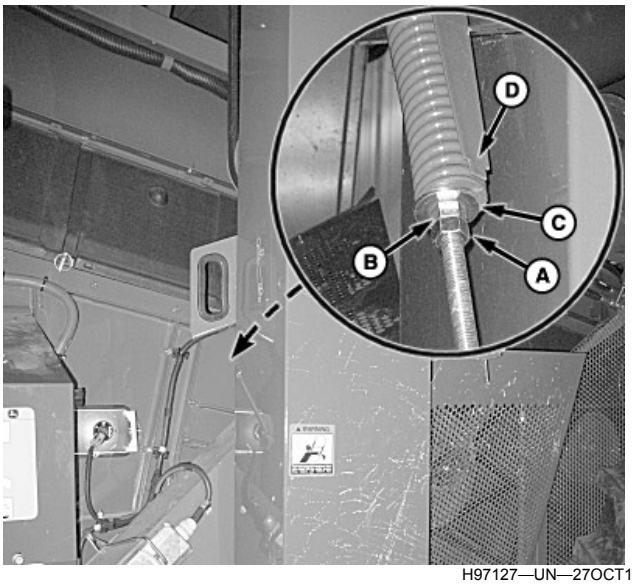
A：**ノブ**

重要： **調整モーターの損傷を防止するため、ノブにレンチを使用しないでください。**

2. ノブ (A) を使用してモーターを調整します。ノブを時計回りに回すとチャファー / ふるいが閉じて、反時計回りに回すとチャファー / ふるいが開きます。

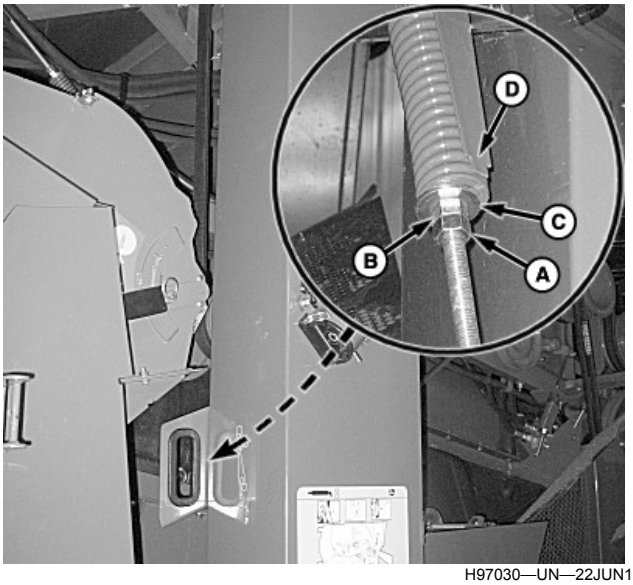
OUO6075,000467E-40-24APR17

クリーングレインエレベーターベルト：調整



H97127—UN—27OCT10

スタイル *A*



H97030—UN—22JUN10

スタイル *B*

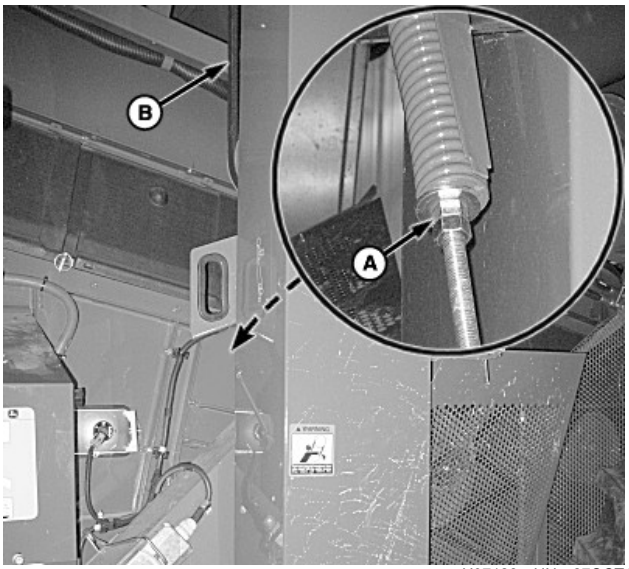
A：**ナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

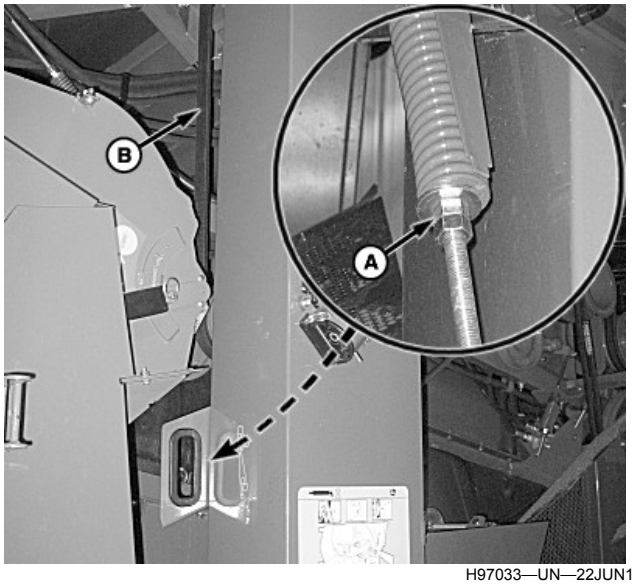
OUO6075,0004385-40-10OCT16

クリーングレインエレベーターベルト：交換



H97128—UN—27OCT10

スタイル *A*



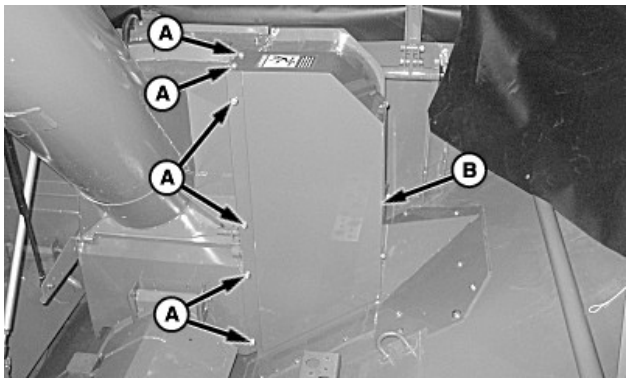
H97033—UN—22JUN10

スタイル *B*

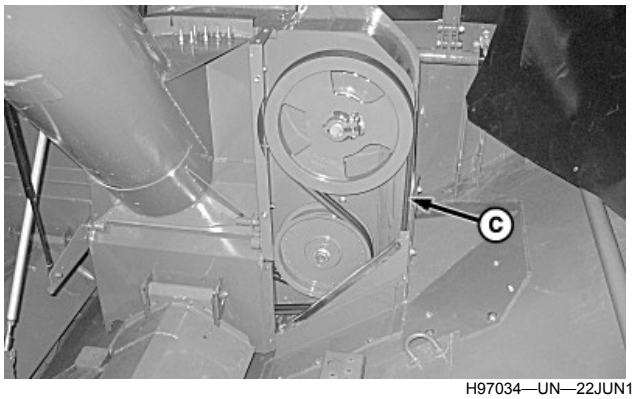
A：**ナット**
B：**クリーングレンエレベータベルト**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

ナット (A) を緩めて、クリーングレインエレベータベルト (B) の張力を解放します。



H97032—UN—22JUN10



H97034—UN—22JUN10

A：**キャップスクリュー**
B：**カバー**
C：**クリーングレンエレベータベルト**

キャップスクリュー (A) とカバー (B) を取り外します。

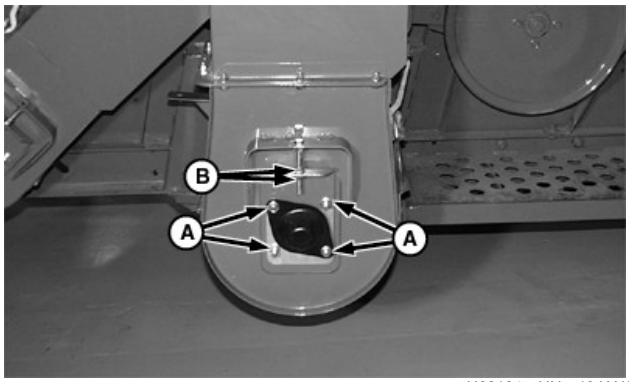
クリーングレンエレベータベルト (C) をプーリーから取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。ロックナットを締め付けます。

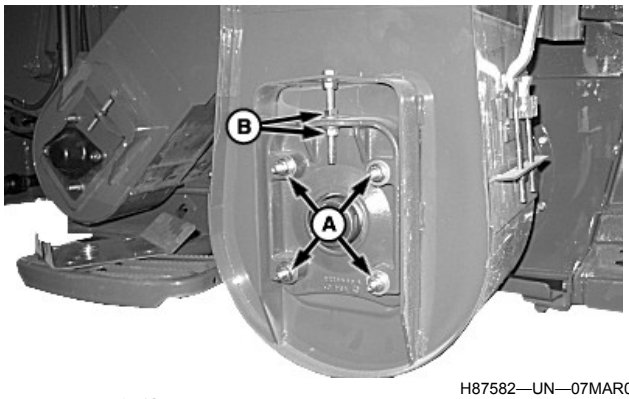
前の手順で取り外したカバーを取り付けてキャップスクリューで固定します。

OUO6075,0004384-40-10OCT16

クリーングレインエレベーターコンベヤーチェーン — 調整



H62184—UN—13JAN00



H87582—UN—07MAR07

A：**ナット (4 個使用)**
B：**ナット (2 個使用)**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

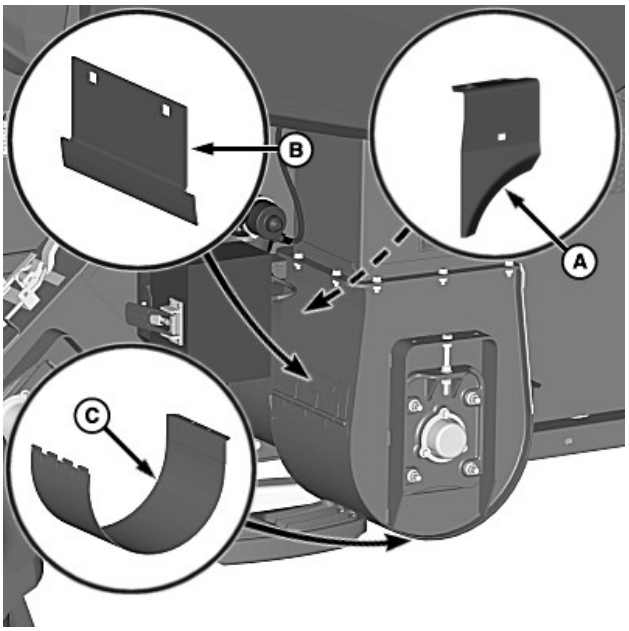
1. 掛け金ラッチを解放して下部ドアを開きます。
2. ナットをベアリングカバーから取り外します (装備されている場合)。
3. ナット (A) を緩めて、ナット (B) を使用してチェーンを調整します。ベアリングキャリアを下に動かしてチェーンを張ります。
4. チェーンの下端をスプロケットの横方向にスライドさせることができるが、スプロケットから引っ張って外すことができない場合、エレベータチェーンは正しく調整されています。チェーンがスプロケット

から 6 mm (1/4 in) 緩む場合は、チェーンを再調整してください。一定期間使用した後、ハーフリンクを取り外してチェーンを正しく調整する必要がある場合があります。

5. ベアリングカバー (装備されている場合) を取り付けて、ナットで固定します。
6. 下部ドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,0004E8D-40-17JUN20

クリーングレンエレベーターの摩耗プレートとドア (装備されている場合)



H126546—UN—20JUN19

次の部品は、摩耗作用のある作物の収穫時にクリーングレインエレベータを保護します：

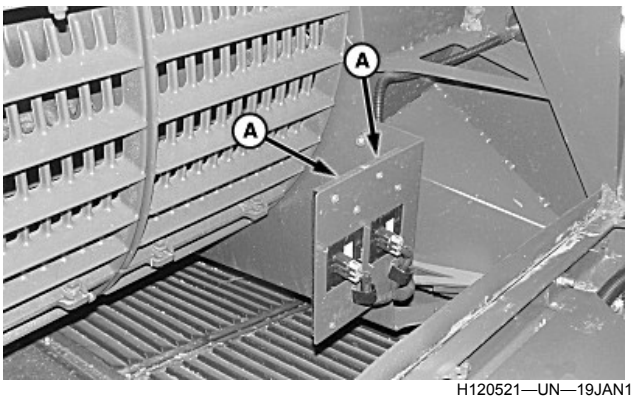
- 後部摩耗プレート (A)
- 摩耗プレート (B)
- ドア (C)

これらのクリーングレンエレベーター部品に摩耗がないか定期的に点検してください。

必要に応じて、これらのクリーングレンエレベーター部品を取り外して交換します。詳しくは、John Deere 販売店にお問い合わせください。

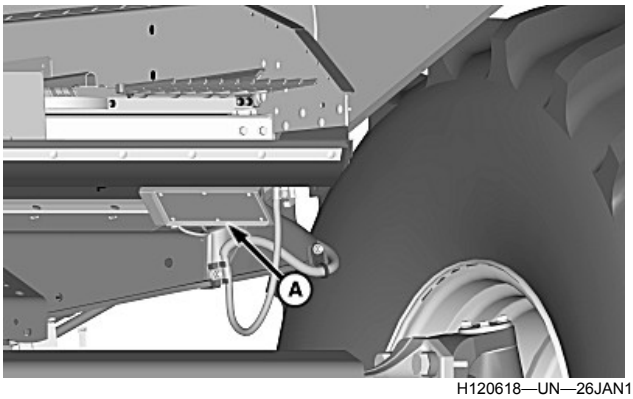
OUO6075,0004BD0-40-20JUN19

VisionTrak™ 作動点検



H120521—UN—19JAN17

セパレータセンサー



H120618—UN—26JAN17

右シューセンサー

A：**センサー**

注記： この作動点検は 2 人で実施する必要があります。1 人が運転席に座り、もう 1 人がセンサーを軽くたたきます。

セパレータのセンサーは、機械の左側、セパレータカバーの下にあります。

落とし樋センサーは、機械の後部、テールボードの上にあります。

1. キースイッチを RUN 位置に回しますが、機械は始動しないでください。
2. ヘッダースイッチを接続します。

注記： 前回較正した作物にしておく必要があります。「グレンロスキャリブレーション値」は 50 未満である必要があります。

3. センサー (A) を数回軽くたたきます。VisionTrak™ ディスプレイにシューロスとセパレータロスインジケーターの変動が表示されます。

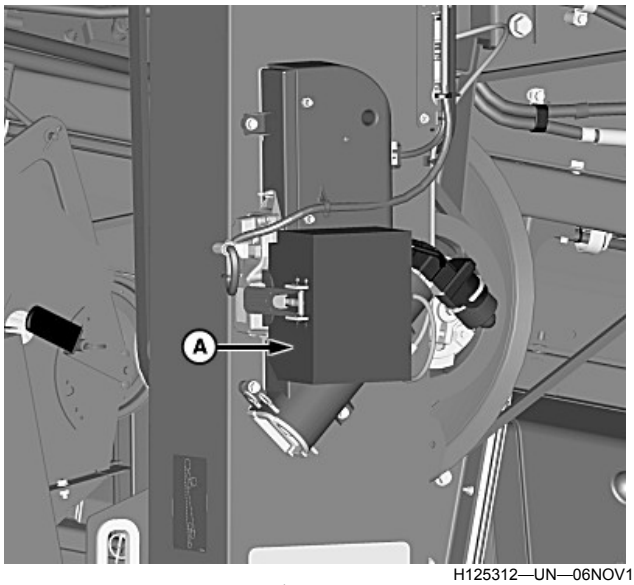
注記： グレンロスキャリブレーション値を元の値に戻すか、他の作物のキャリブレーションを実行します。

VisionTrak は Deere & Company の商標です。

4. ヘッダースイッチを解除して、キースイッチを OFF にします。
5. これらの点検を実施した後、VisionTrak™ が機能しない場合は、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

OUO6075,000447B-40-26JAN17

ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (装備されている場合)



H125312—UN—06NOV18

A：**ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ**

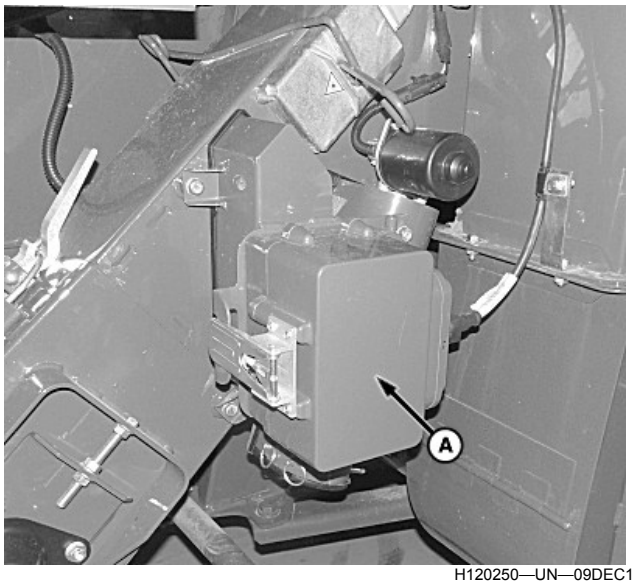
注意： **カメラの整備または取り外しの前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

注記： 清掃の頻度は、運転条件、天候、作物条件など、複数の要因によって異なります。湿らせた清潔な柔らかい布でカメラレンズを拭きます。

掛け金ラッチを開いて ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (A) を清掃します。

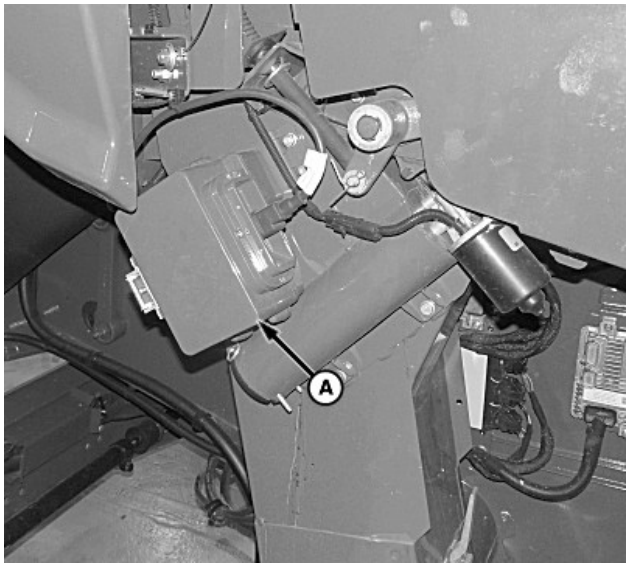
OUO6075,000507B-40-27APR21

ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (装備されている場合)



H120250—UN—09DEC16

ActiveVision™ 二番エレベータカメラ (スタイル A)



H120251—UN—09DEC16

ActiveVision™ 二番エレベータカメラ (スタイル B)

A：**ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ**

注意： **カメラの整備または取り外しの前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

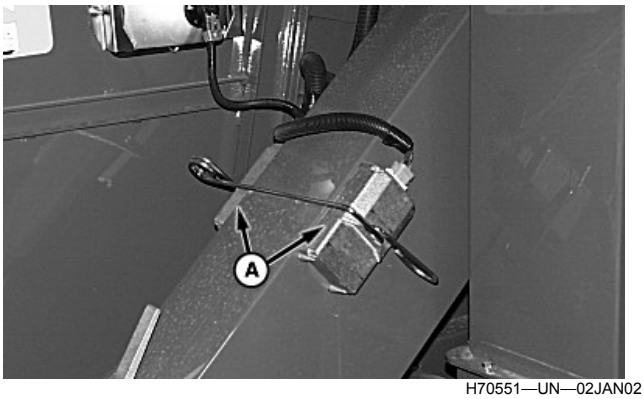
注記： 清掃の頻度は、運転条件、天候、作物条件など、複数の要因によって異なります。湿らせた清潔な柔らかい布でカメラレンズを拭きます。

掛け金ラッチを開いて、ActiveVision™ 2 番還元物システムのカメラ (A) を清掃します。

OUO6075,000507C-40-14MAY21

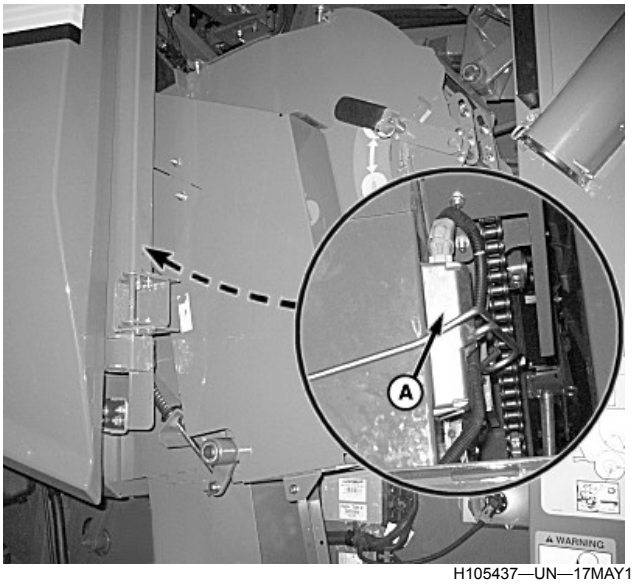
ActiveVision は Deere & Company の商標です。

2 番還元物システムエレベータのセンサー



H70551—UN—02JAN02

スタイル *A*



H105437—UN—17MAY12

スタイル *B*

A：**2 番還元物センサー**

収穫していないときに 2 番物センサーの表示が一貫していっぱいである (すべてのバーが点灯している) 場合、または収穫中に空である(バーが点灯していない)場合は、センサーのレンズに材料が付着しているか、レンズの下側のシールを通ってほこりが侵入している可能性があります。

注意： 2 番物センサーはクラス 1 レーザー製品であり、通電時にレーザーを放射します。2 番物センサーを整備または取り外す際は、十分注意してビームを直接見ないようにしてください。

2 番物センサーを整備または取り外す前に、キースイッチを OFF にして 2 番物センサーを外す必要があります。

レンズを取り外した状態でセンサーを作動させないでください。レンズが所定の位置にあるときにアクセス可能なレーザー発光：

- 850 nm
- 500 nsec パルス幅
- ≤ 500 Hz 反復率
- < 90 nJ/パルス
- 43 uW 平均出力
- クラス 1 レベル (目に安全)

レンズを取り外した状態でセンサーを作動させた場合のアクセス可能なレーザー発光レベル：

- 850 nm
- 500 nsec パルス幅
- ≤ 500 Hz 反復率
- < 380 nJ/パルス
- 188 uW 平均出力
- クラス 3R レベル (目の傷害の軽微な可能性)

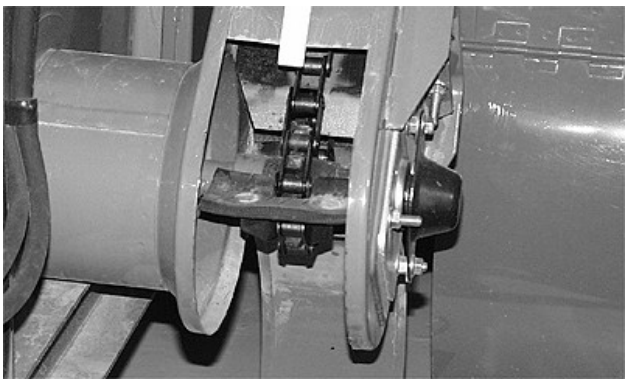
1. 2 番物センサー (A) を取り外して点検し、必要に応じてレンズを清掃します。
2. レンズが汚れていない場合は、取り外してほこりを点検します。ほこりが見つかった場合は、各部を十分清掃し、レンズをユニットに組み付けてガスケットで密封されていることを確認します。
3. 取り付けの前に、前の手順で取り外したすべてのねじでレンズが固定されていることを確認します。

注意： エレベータに交換用センサーを取り付ける前にプラスチックカバーの取り付けを怠ると、故障、収穫の不適切な読み取り、センサーの損傷が発生することがあり、センサーの取り外し時に目がレーザーにさらされる潜在的な危険があります。

4. センサーを取り付けてシステムをテストします。
5. ディスプレイにフルまたは空が続けて表示される場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

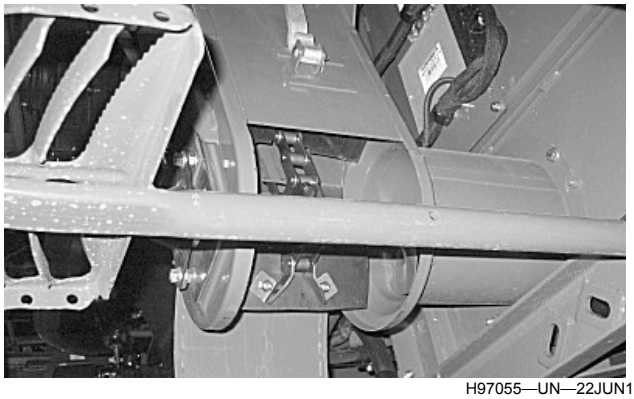
OUO6075,0004568-40-12DEC16

2 番物システムエレベーターパドル



H62187—UN—13JAN00

スタイル *A*



H97055—UN—22JUN10

スタイル *B*

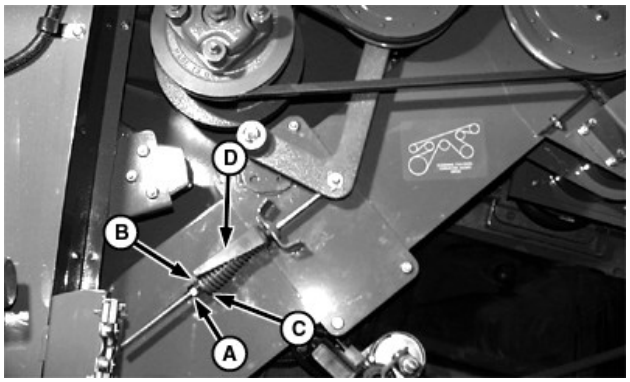
⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

パドルの摩耗や不足がないかエレベータチェーンを時々点検します。

ぬかるんだ条件では、ワイパーとして機能するように 1 つのスチール製パドルをエレベーターチェーンに取り付けることができます。

OUO6075,0004382-40-10OCT16

二番エレベータ駆動ベルト—調整 (スタイル A)



H62186—UN—13JAN00

A：**ロックナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

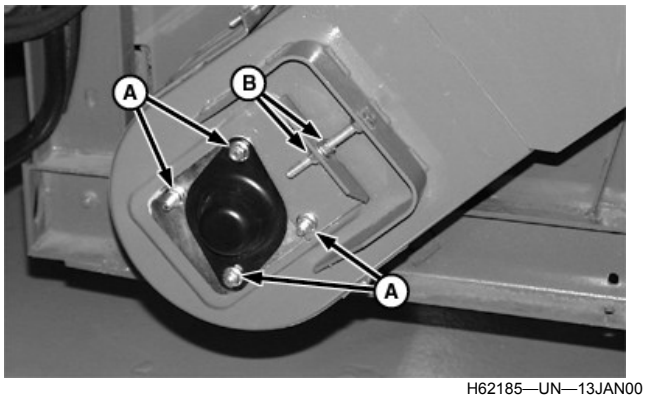
⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

ロックナット (A) を緩めます。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

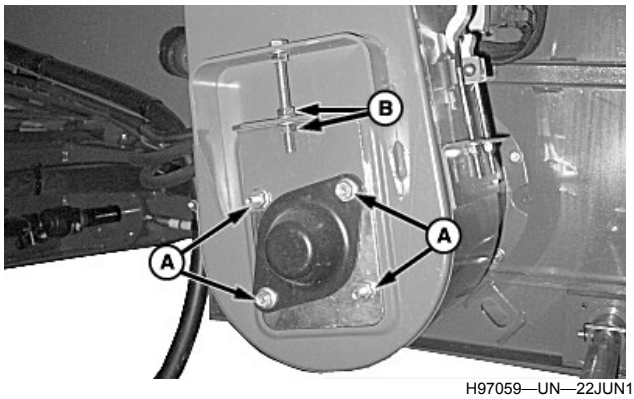
OUO6075,0004381-40-26JAN17

2 番還元物システムエレベーターパドルチェーン — 調整



H62185—UN—13JAN00

スタイル *A*



H97059—UN—22JUN10

スタイル *B*

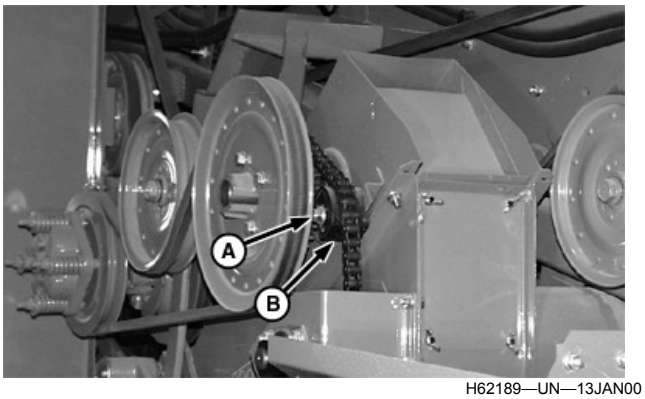
A：**ナット (4 個使用)**
B：**ナット (2 個使用)**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

1. 掛け金ラッチを解放して下部ドアを開きます。
2. ナットをベアリングカバーから取り外します。
3. ナット (A) を緩めて、ナット (B) を使用してチェーンを調整します。ベアリングキャリアを下に動かしてチェーンを張ります。
4. チェーンの下端をスプロケットの横方向にスライドさせることができるが、スプロケットから引っ張って外すことができない場合、エレベータチェーンは正しく調整されています。チェーンがスプロケットから 6 mm (1/4 in) 緩む場合は、チェーンを再調整してください。一定期間使用した後、ハーフリンクを取り外してチェーンを正しく調整する必要がある場合があります。
5. ベアリングカバーを取り付けて、ナットで固定します。
6. 下部ドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,0004E8E-40-17JUN20

上部二番オーガ駆動チェーン—調整 (スタイル A)



H62189—UN—13JAN00

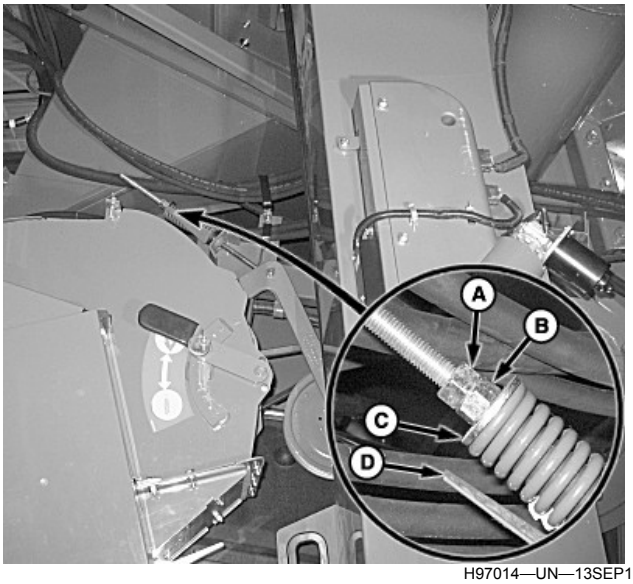
A：**キャップスクリュー**
B：**ブロック**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

キャップスクリュー (A) を緩めて、ブロック (B) を調整してチェーンを張ります。チェーンが張っているときにキャップスクリューを締め付けます。

OUO6075,000437F-40-26JAN17

2 番還元物システム駆動ベルト—調整 (スタイル B)



H97014—UN—13SEP10

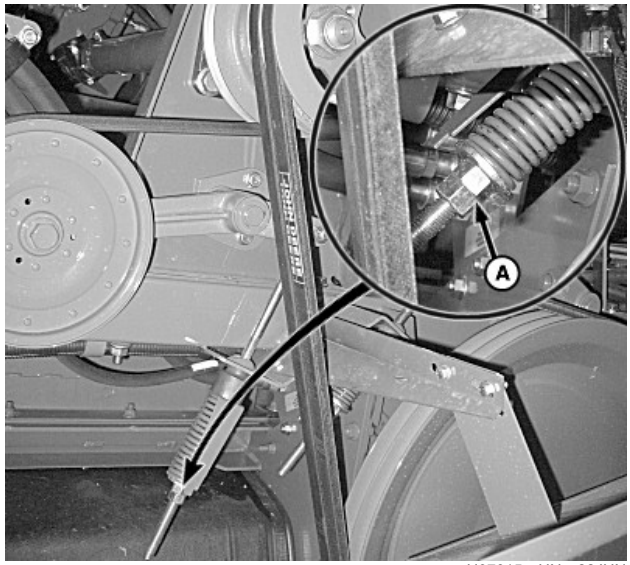
A：**ナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

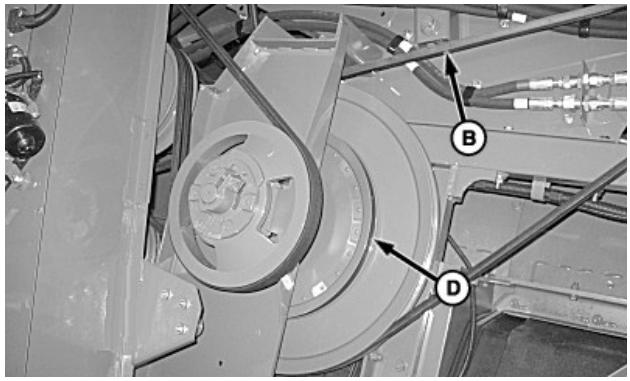
座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,0004377-40-26JAN17

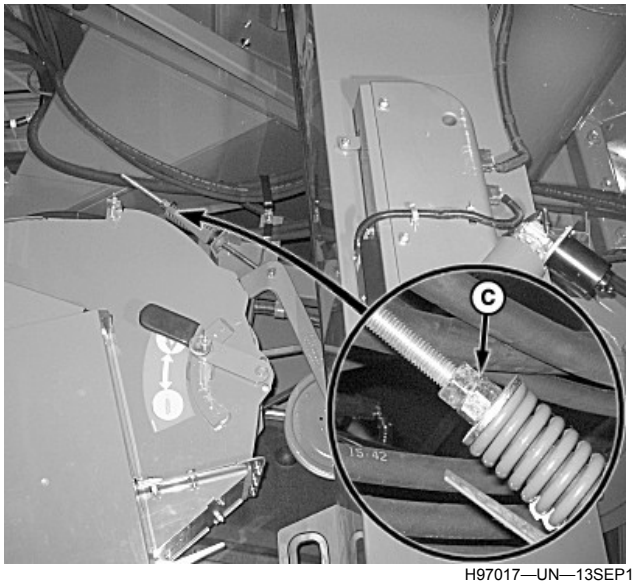
2 番還元物システム駆動ベルト—交換 (スタイル B)



H97015—UN—22JUN10



H97016—UN—22JUN10



H97017—UN—13SEP10

A：**ナット**
B：**リアカウンターシャフトベルト**
C：**ナット**
D：**2 番還元物システム駆動ベルト**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

ナット (A) を緩めて、リアカウンタシャフトベルト (B) をプーリーから取り外します。

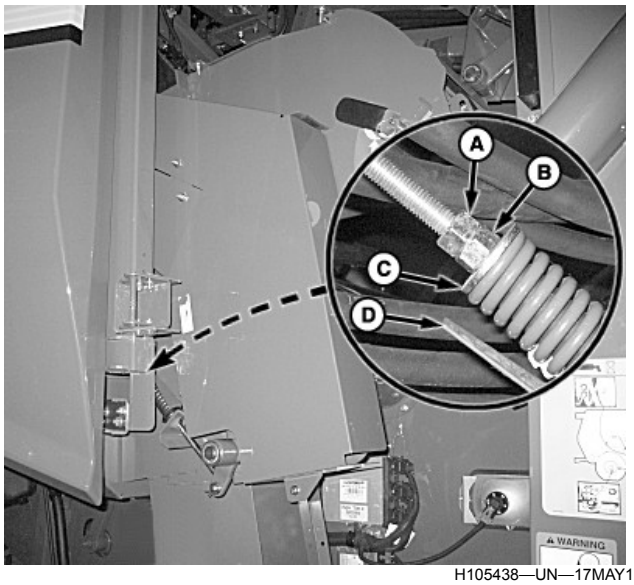
ナット (C) を緩めて、2 番還元物システム駆動ベルト (D) を取り外します。

交換用ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

リアウンターシャフトベルトをプーリーに取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

OUO6075,0004378-40-26JAN17

2 番還元物システム駆動チェーン—調整 (スタイル B)



H105438—UN—17MAY12

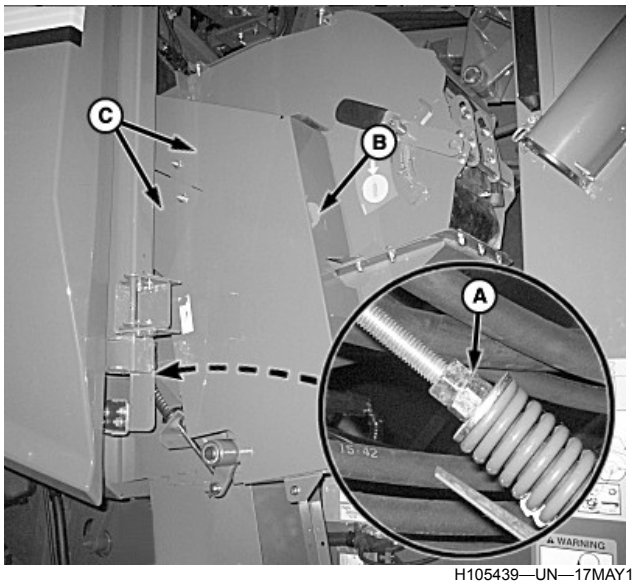
A：**ナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,0004379-40-26JAN17

2 番還元物システム駆動チェーン—交換 (スタイル B)



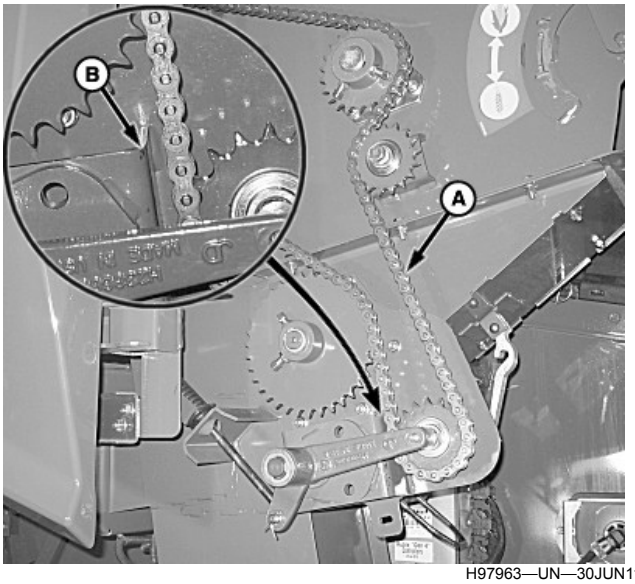
H105439—UN—17MAY12

A：**ナット**

B：**シールド**
C：**シールド**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

ナット (A) を緩めてシールド (B、C) を取り外します。



H97963—UN—30JUN11

A：**チェーン**
B：**ブラケット**

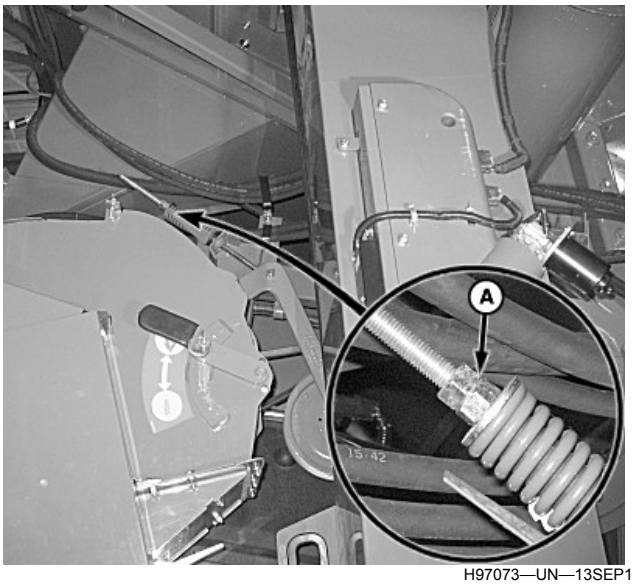
張力を完全に調整したチェーン (A) がブラケット (B) に接触した場合、またはブラケットから 3 mm (1/8 in) 未満の位置にある場合は、チェーンを交換します。

交換用チェーンを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

前の手順で取り外したシールドを取り付けます。

OUO6075,000437A-40-26JAN17

2 番還元物システムの摩耗ストリップとラスプバー—取り外しと取り付け (スタイル B)

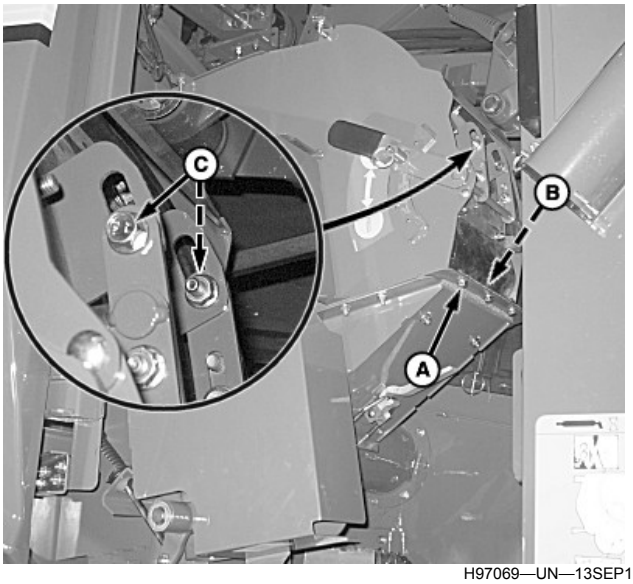


H97073—UN—13SEP10

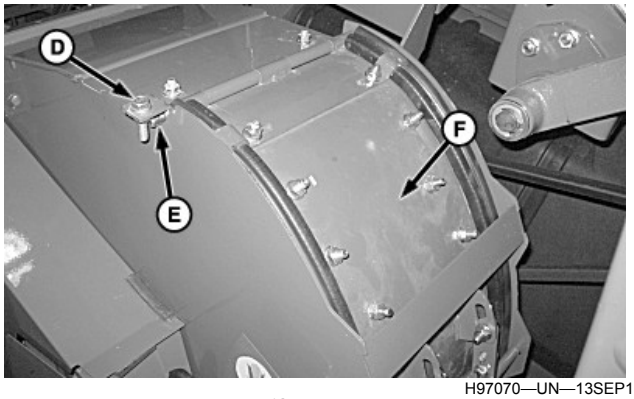
A：**ナット**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

ナット (A) を緩めて、2 番還元物システム駆動ベルトからベルト張力を解放します。



H97069—UN—13SEP10

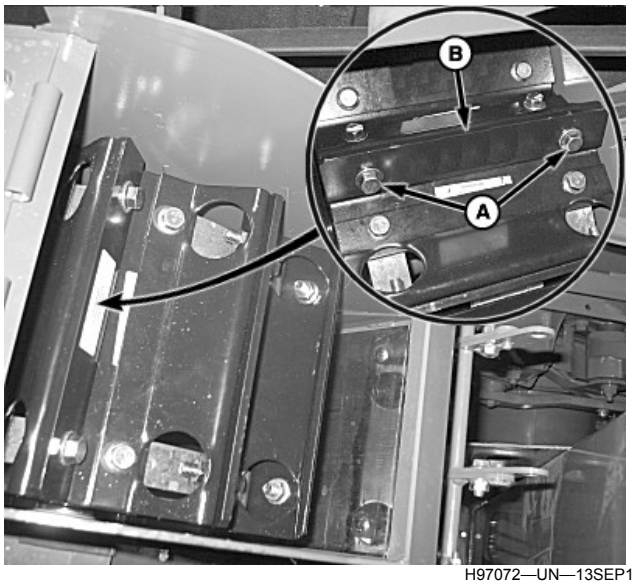


H97070—UN—13SEP10

A：**キャップスクリュー (3 本使用)**
B：**ストラップ**
C：**ショルダーボルト (2 個使用)**
D：**キャップスクリュー**
E：**ロッド**
F：**アクセスカバー**

ボルト (A) とストラップ (B) を取り外します。

ショルダーボルト (C)、キャップスクリュー (D)、ロッド (E) をアクセスカバー (F) から取り外します。



H97072—UN—13SEP10

A：**キャップスクリューとナット**
B：**摩耗ストリップ**

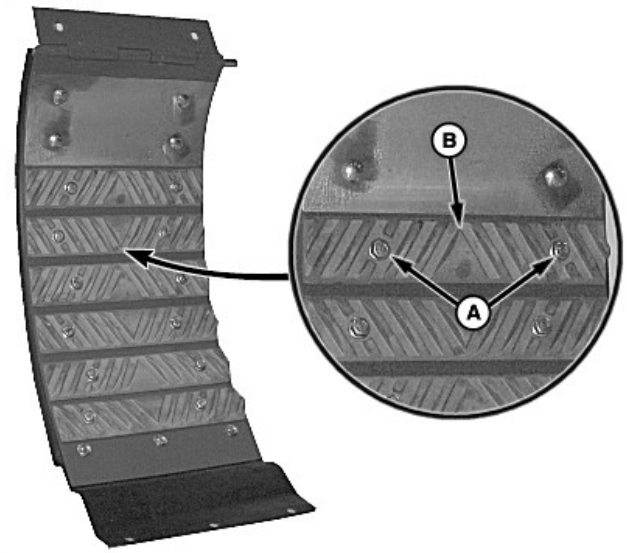
ボルトとナット (A) を摩耗ストリップから取り外します。

摩耗ストリップを取り外して、必要に応じて交換します。

摩耗ストリップのボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

摩耗ストリップのボルト：トルク. . . . . 70 N·m (52 lb·ft)



H97084—UN—23JUN10

A：**キャップスクリューとナット**
B：**ラスプバー**

ボルトとナット (A) をラスプバー (B) から取り外します。

ラスプバーを取り外して必要に応じて交換します。

ラスプバーボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ラスプバーのボルト：トルク. . . . . 37 N·m ± 7 N·m (27 lb·ft ± 5 lb·ft)

注記：2 番還元物システムにアクセスカバーを取り付けるときは、シールがアクセスカバーの所定の位置にあることを確認してください。

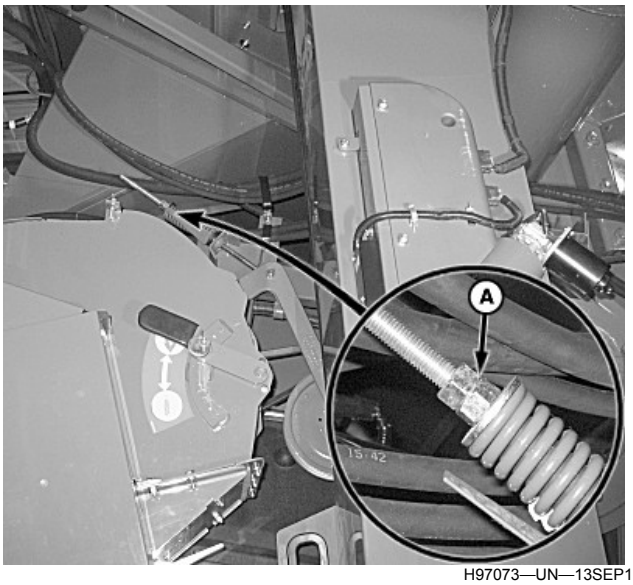
アクセスカバーを取り付けて、ロッドとボルトを使用して固定します。

ショルダーボルトを取り付けて、ゴム片を穴に整列させてストラップとボルトを取り付けます。

座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまで 2 番還元物システムを調整します。

OUO6075,000437B-40-26JAN17

2 番還元物システムの摩耗ストリップとラスプバー—調整 (スタイル B)

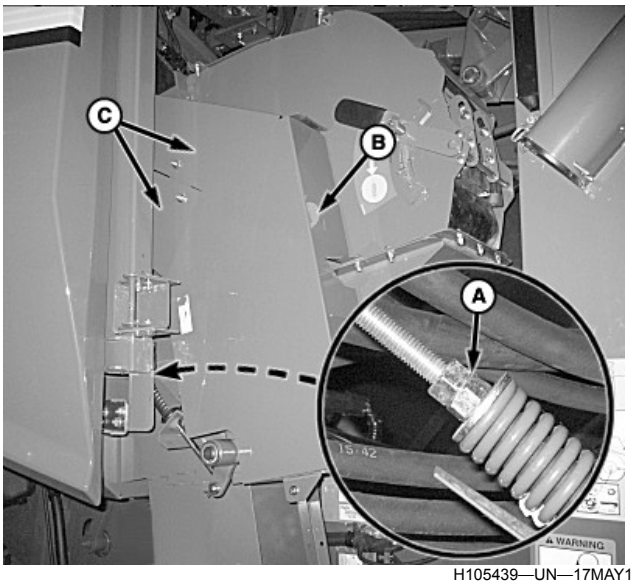


H97073—UN—13SEP10

A：**ナット**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

ナット (A) を緩めて、2 番還元物システム駆動ベルトからベルト張力を解放します。

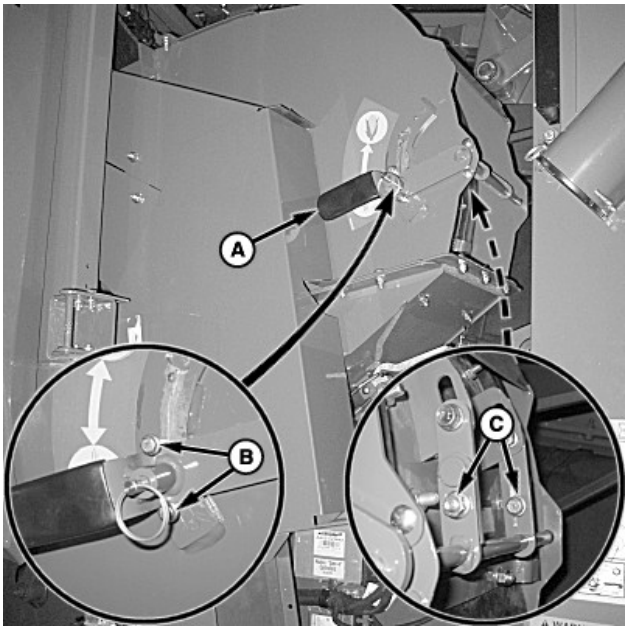


H105439—UN—17MAY12

A：**ナット**
B：**シールド**
C：**シールド**

ナット (A) を緩めてシールド (B、C) を取り外します。

2 番物システムが自由に回るようにドライブチェーンを取り外します。



H97094—UN—13SEP10

A：**調整ハンドル**
B：**キャップスクリュー、M6**
C：**ボルトとナット**

注記： 調整ハンドルを下側に動かすと、摩耗ストリップとラスプバー間の位置がゼロに設定されます。

調整ハンドル (A) を図のように下側に動かして、既存の穴にボルト (B) を取り付けます。

ボルトとナット (C) を緩めます。

ビーターを回転させながら、「カチッ」という音が聞こえるまでアクセスドアをゆっくりと調整します。

「カチッ」という音が止まるまで戻して、ボルトとナットを締め付けます。

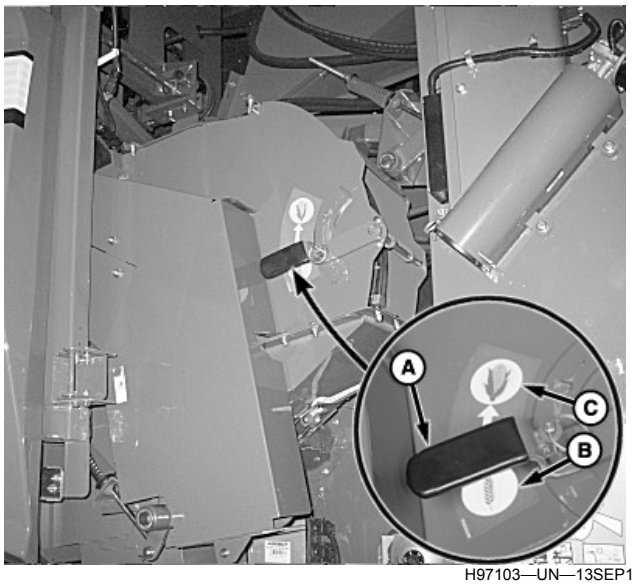
座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまで 2 番還元物システムを調整します。

チェーンを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでテンショナを調整します。

前の手順で取り外したシールドを取り付けます。

OUO6075,000437C-40-26JAN17

2 番還元物システムリターンコンケーブ—調整 (スタイル B)



H97103—UN—13SEP10

A：**作物選択ハンドル**
B：**小粒グレン用位置**
C：**大粒グレン用位置**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

重要： **けがや機械の損傷を防止するため、機械を運転中は作物選択ハンドルを動かさないでください。**

注記： 2 番還元物システムに推奨されているコンケーブ位置の設定については、「作物の設定」セクションを参照してください。

小粒グレン用位置 (B)：

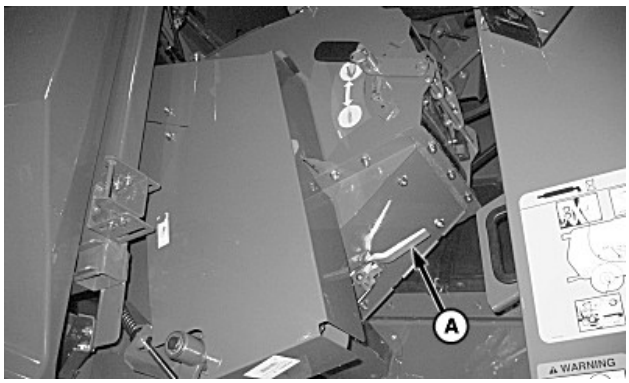
小粒作物を収穫するときは、作物選択ハンドル (A) を「下側」位置にする必要があります。

大粒穀物用位置 (C)：

小粒作物を収穫するときは、作物選択ハンドル (A) を「上側」位置にする必要があります。この位置にしなかった場合、傷つきやすい作物は破損します。

OUO6075,000467F-40-20MAR17

2 番還元物システムオーガのクリーンアウトドア (スタイル B)



H97095—UN—13SEP10

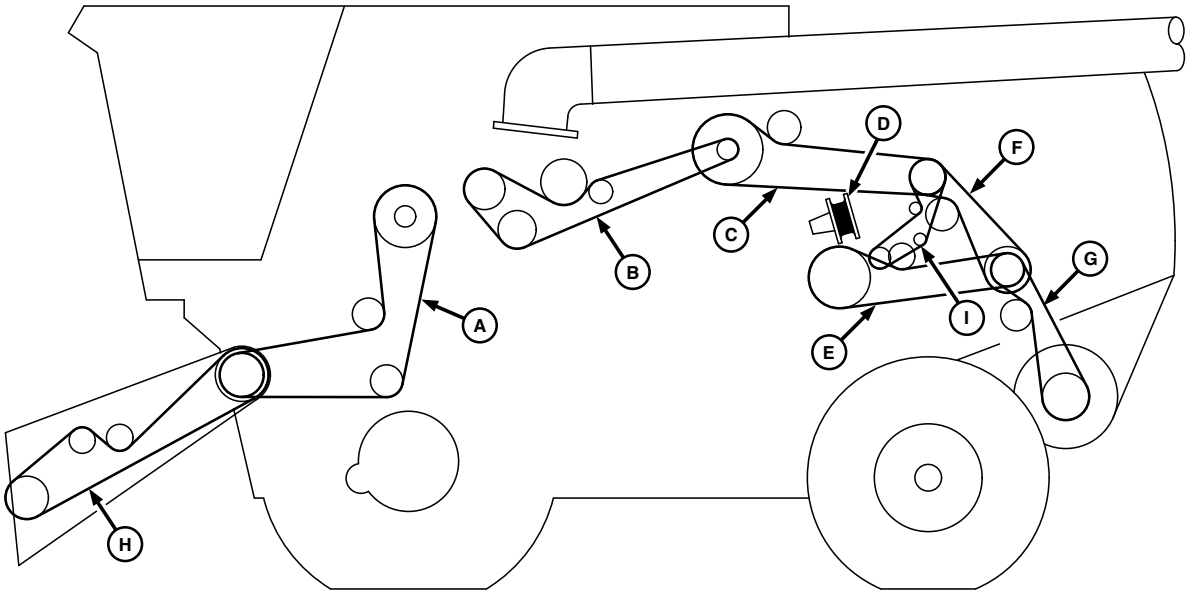
A：**ハンドル**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

ハンドル (A) を使用して 2 番還元物システムオーガのクリーンアウトドアを開き、必要に応じて材料を除去します。

OUO6075,000437E-40-26JAN17

駆動ベルト—左側



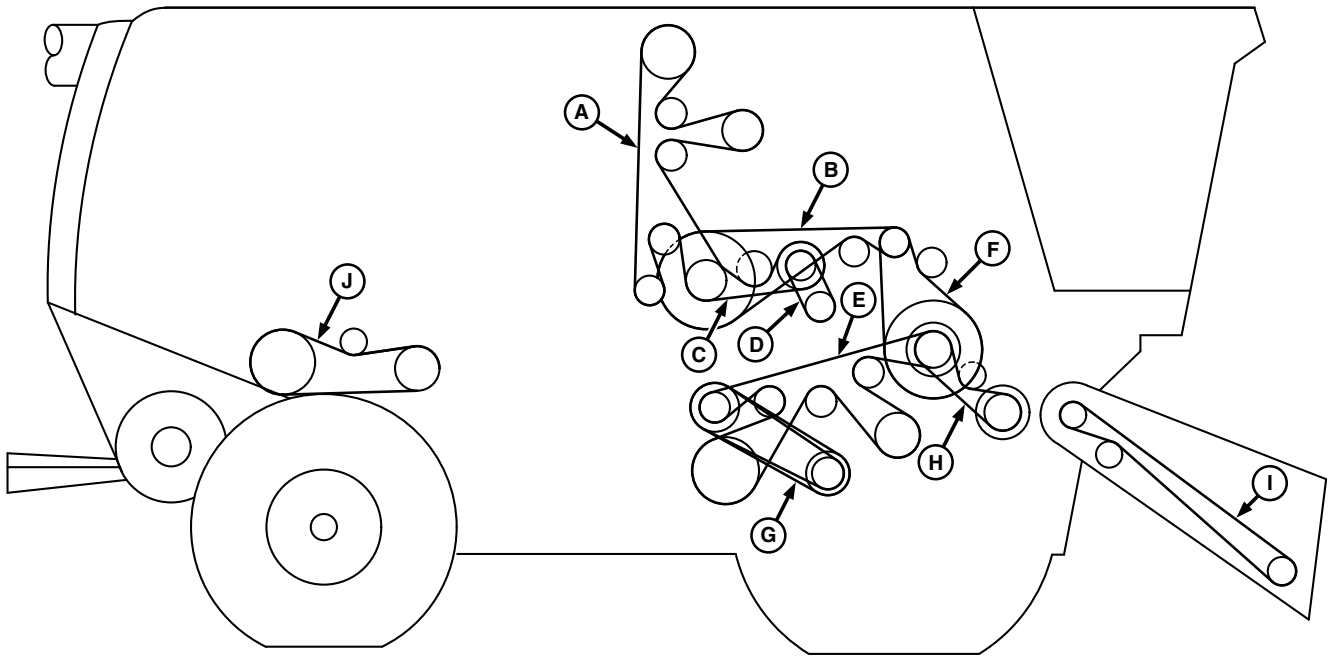
H107018—UN—25FEB13

スタイル A			
A	ヘッダーとリールポンプの標準 / 高容量ベルト	F	カウンタシャフト、ディスチャージビーター、チョッパーベルト
B	アンローディングオーガオーガシステム、No.60 ローラーチェーン	G	ストローチョッパーベルト
C	アンローディングオーガシステムベルト	H	固定速度フィーダーハウスドライブベルト フィーダーハウスバリアブルドライブ標準 / 高容量ベルト
D	セパレータバリアブルドライブベルト	I	エンジンデブリ管理ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
E	ディスチャージビーターベルト (イネ以外用の機械) 排出ビーターベルト (イネ用の機械)		
スタイル B			
A	ヘッダーおよびリールポンプ標準 / 高容量ベルトまたは CommandTouch™ 多速度フィーダーハウス駆動ベルト (オプション)		
B	アンローディングオーガシステム、No. 60 ローラーチェーン (10 572 L (300 bu) グレンタンク) アンローディングオーガシステム、No. 80 ローラーチェーン (14 096 L (400 bu) グレンタンク)		
C	アンローディングオーガシステムベルト		
D	セパレータバリアブルドライブベルト		
E	ディスチャージビーターベルト		
F	カウンタシャフト、ディスチャージビーター、チョッパーベルト		
G	ストローチョッパーベルト		
H	固定速度フィーダーハウスドライブベルト フィーダーハウスバリアブルドライブ標準 / 高容量ベルトまたは CommandTouch™ マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト (オプション)		
I	エンジンデブリ管理ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)		

CommandTouch は John Deere の商標です。

OUO6075,00047E1-40-13NOV17

駆動ベルト—右側 (スタイル A)

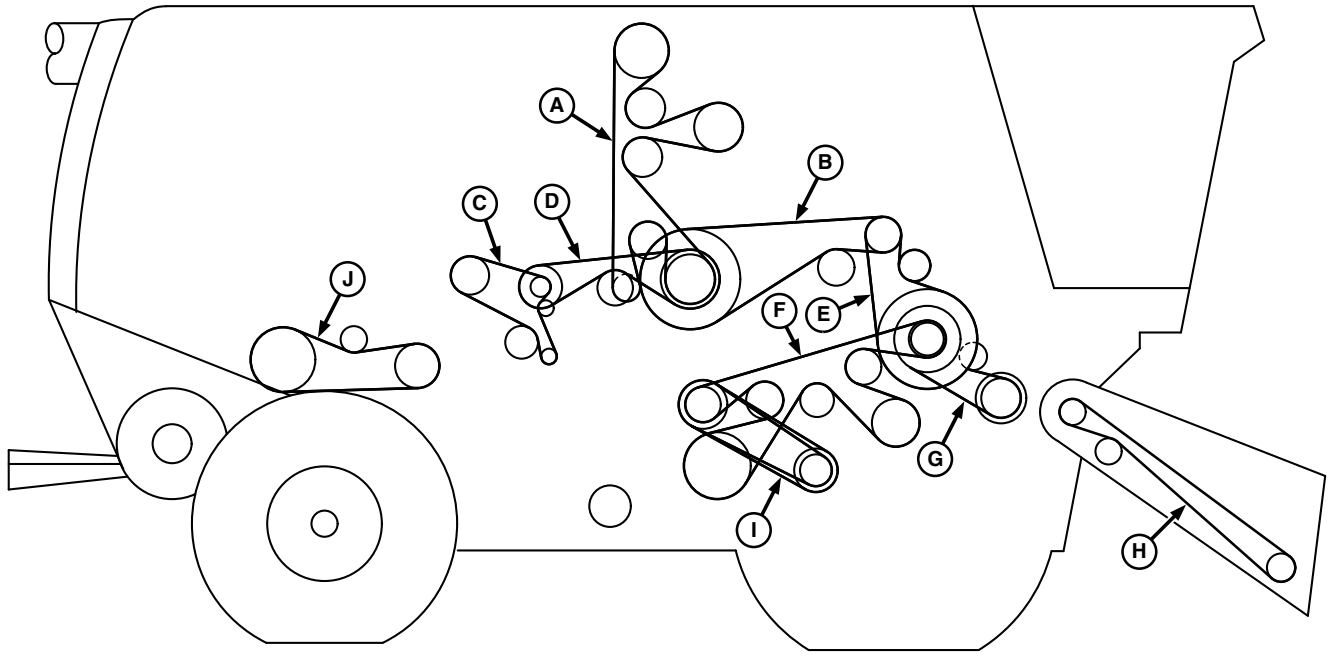


H99322—UN—10DEC10

A：クリーングレンエレベータベルト
B：リア右ジャックシャフト
C：二番オーガおよびエレベータベルト
D：2 番還元物リターンオーガ、No. 50 チェーン
E：シューファンおよびコンベアオーガベルト
F：フロント右ジャックシャフトベルト
G：クリーニングファン可変速度ベルト
H：フィードアクセルレータベルト
I：フィーダーコンベア (チェーン)、No. 60 チェーン
J：オーバーショットビーター駆動ベルト (装備されている場合)

OUO6075,0004375-40-26JAN17

駆動ベルト—右側 (スタイル B)



H96904—UN—16JUN10

A：クリーングレンエレベータベルト
B：リア右ジャックシャフト

C：**2 番還元物エレベータ / 上部オーガ No. 60 ローラーチェーン**
D：**2 番還元物システム駆動ベルト**
E：**フロント右ジャックシャフトベルト**
F：**シューファンおよびコンベアオーガベルト**
G：**フィードアクセルレータベルト**
H：**フィーダーコンベア (チェーン)、No. 60 チェーン**
I：**クリーニングファン可変速度ベルト**
J：**オーバーショットビーター駆動ベルト (オプション)**

OUO6075,0004374-40-26JAN17

フィードアクセルレータ：詰まり除去

注記： 利用可能な場合は、フィードアクセルレータ詰まり除去工具を使用します。詳しくは、John Deere 販売店にお問い合わせください。

1. セパレータの接続を解除します。
2. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。
3. セパレータ駆動ギヤケースを低速にシフトします。
4. レバーを上に押してブラケットのノッチから外し、フィードアクセルレータドライブからベルト張力を解放します。
5. ストーントラップドアを開いて清掃します。ストーントラップドアを開いたままにします。
6. ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数をミッドアイドルに設定します。
7. セパレータを接続し、ディスチャージビーターおよびチョッパーから材料を除去します。
8. セパレータの接続を解除します。
9. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。
10. フィードアクセルレータアクセスカバーを取り外して、アクセルレータ部分から作物材料を除去します。詰まりを除去した後、アクセルレータを 1 回転させて自由に回ることを確認します。
11. レバーを上に押してブラケットのノッチにかみ合わせて、フィードアクセルレータドライブを接続します。
12. ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数を中程度のアイドルに設定します。
13. セパレータを接続します。詰まりが除去されない場合は、セパレータの接続を解除して手順 9 ~ 13 を繰り返します。
14. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。
15. ストーントラップドアを閉めてコンケーブ間隔を元の設定に戻します。フィードアクセルレータアクセスカバーを元の位置に取り付けます。
16. 初期に高速で運転していた場合は、セパレータ駆動ギヤケースをシフトしてセパレータ速度を初期設定に調整してから運転を再開します。

OUO6075,00046EC-40-29MAR17

セパレータ—詰まり除去

セパレータの接続を解除します。

注記： コンケーブ設定を確認し、コンケーブを広く開いた位置に調整します。

エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

セパレータ駆動ギヤケースをニュートラル位置にシフトします。

レバーを上に押してブラケットのノッチから外し、フィードアクセルレータドライブからベルト張力を解放します。

ストーントラップドアを開いて清掃します。ストーントラップドアを閉じます。

ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数を中程度のアイドルに設定します。

セパレータを接続し、ディスチャージビーターから材料を除去します。

セパレータバリアブルベルトを中速レンジに調整します。

セパレータの接続を解除します。

エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

セパレータ駆動ギヤケースを低速にシフトします。

ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数を中程度のアイドルに設定します。

重要： **メインエンジンギヤケースと湿式クラッチの損傷を防止するために、詰まっているセパレータでセパレータクラッチを、1 回の接続時間を 3 分として 4 回以上接続しないでください。**

機械をアイドルで運転し、詰まっているセパレータを 1 分空けて接続します。

セパレータを接続して清掃します。詰まりが除去されない場合は、セパレータの接続を解除します。

セパレータの詰まりを動力で除去できない場合は、コンケーブと格子を外して一部のわらを手で除去する必要があります。詰まりを除去した後、コンケーブと格子を交換します。

セパレータの詰まりを除去した後、コンケーブ間隔を元の設定に戻します。

レバーを上に押してブラケットのノッチにかみ合わせて、フィードアクセルレータドライブを接続します。

本来高速で運転していた場合は、セパレータギヤケー

スを高速位置にシフトします。セパレータ速度を元の設定に調整して運転を再開します。

OUO6075,0004939-40-12APR18

19. コンケーブ間隔も初期設定に戻して運転を再開します。

OUO6075,00046EE-40-29MAR17

ディスチャージビーター：詰まり除去

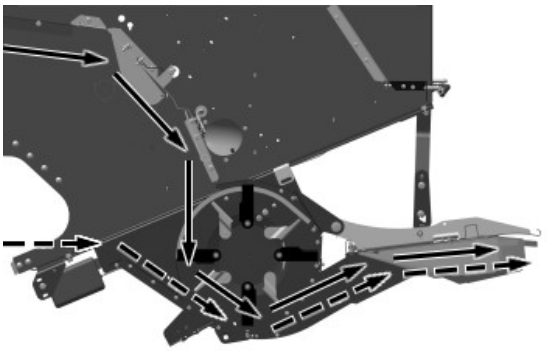
注記： 利用可能な場合は、ディスチャージビーター詰まり除去工具を使用します。詳しくは、John Deere 販売店にお問い合わせください。

1. ヘッダーとセパレータの接続を解除します。

注記： コンケーブ設定を確認し、コンケーブを広く開いた位置に調整します。

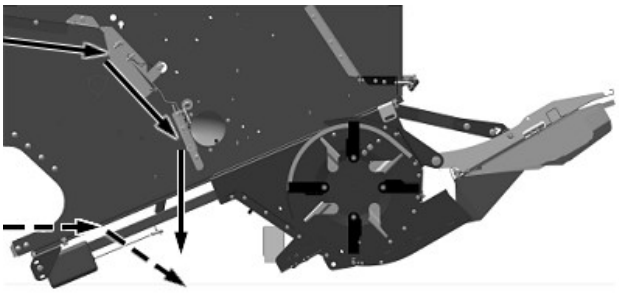
2. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。
3. ストローチョッパーを上げます。
4. カバーを取り外して排出ビーター部にアクセスし、ビーター部から作物材料を除去します。
5. ディスチャージビーター駆動プーリーを手で回せるようにプーリーのシールドを取り外します。
6. 詰まりを除去した後、ビーターを 1 回転させて自由に回ることを確認します。
7. セパレータ駆動ギヤケースをニュートラル位置にシフトします。
8. レバーを上に押してブラケットのノッチから外し、フィードアクセルレータドライブからベルト張力を解放します。
9. ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数を中程度のアイドルに設定します。
10. セパレータを接続し、ディスチャージビーターおよびチョッパーから材料を除去します。
11. セパレータの接続を解除します。
12. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。
13. セパレータ駆動ギヤケースを元の速度にシフトします。
14. レバーを上に押してブラケットのノッチにかみ合わせて、フィードアクセルレータドライブを接続します。
15. 前の手順で取り外したすべてのシールドを取り付けます。
16. ストローチョッパーを運転位置まで下げます。
17. ホーンを鳴らし、エンジンを始動してエンジン回転数をミッドアイドルに設定します。
18. セパレータを接続します。

残留物取り扱いのオプション (Intermediate/ Deluxe Residue)



H125189—UN—15OCT18

細断中の *Deluxe*



H125190—UN—22OCT18

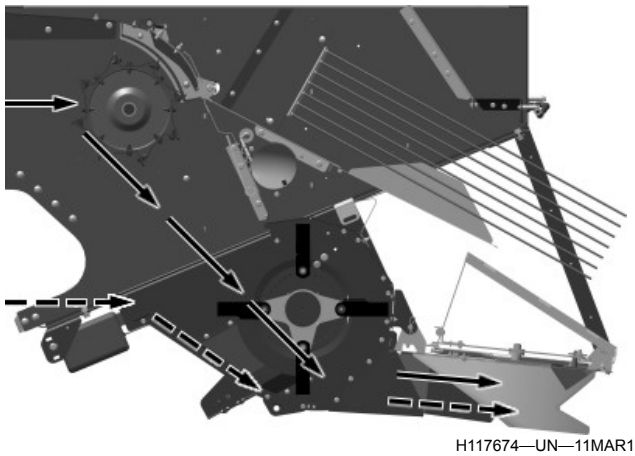
ウィンドロー作成中の *Deluxe*

注記： 実線の矢印はわらの流れを表しています。破線の矢印はもみ殻の流れを表しています。

わらともみ殻は一緒にウィンドロー状に並べられます。

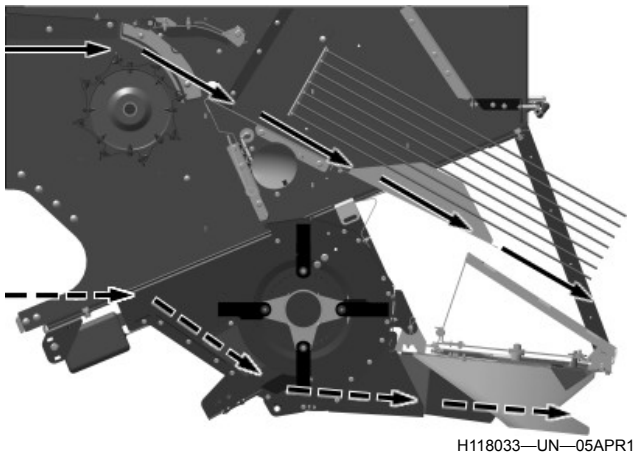
OUO6075,0004A2E-40-15OCT18

残留物取り扱いのオプション (Premium Residue)



H117674—UN—11MAR16

細断中の *Premium*



H118033—UN—05APR16

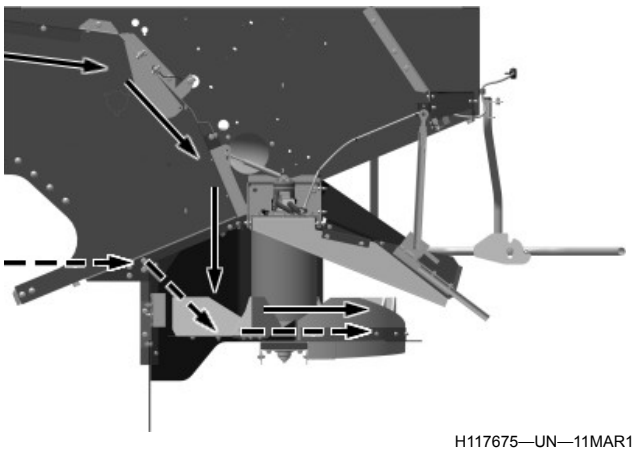
ウィンドロー作成中の *Premium*

注記： 実線の矢印はわらの流れを表しています。破線の矢印はもみ殻の流れを表しています。

わらの落下ともみ殻の散布機能。

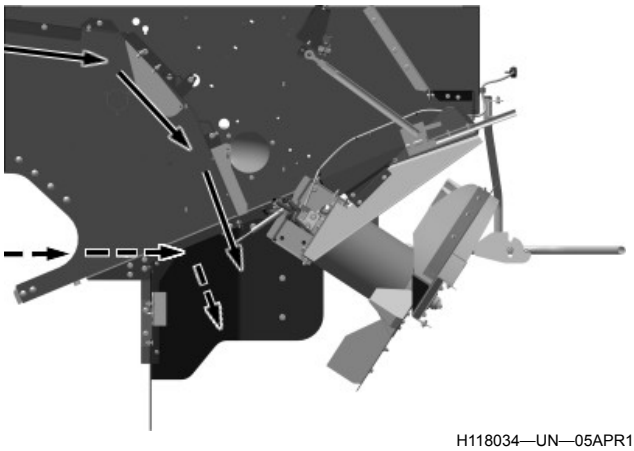
OUO6075,00049BD-40-31MAY18

残留物取り扱いのオプション (わら散布装置)



H117675—UN—11MAR16

スプレッダー位置



H118034—UN—05APR16

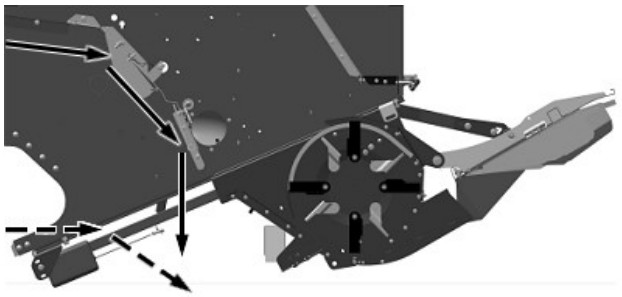
ウインドロー位置

注記： 実線の矢印はわらの流れを表しています。破線の矢印はもみ殻の流れを表しています。

材料は散布され、細断されません。

OUO6075,00049BE-40-31MAY18

一般的なウィンドロー情報 (Intermediate/Deluxe Residue)



H124423—UN—30MAY18

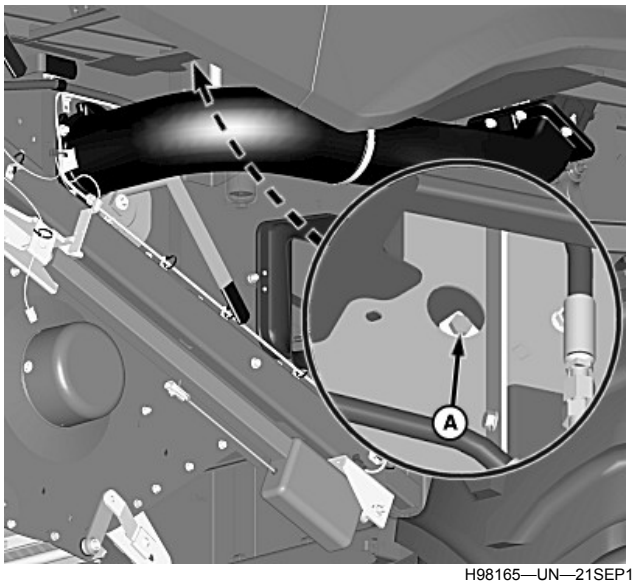
ウインドロー作成中の *Intermediate/Deluxe*

注記： 実線の矢印はわらの流れを表しています。破線の矢印はもみ殻の流れを表しています。

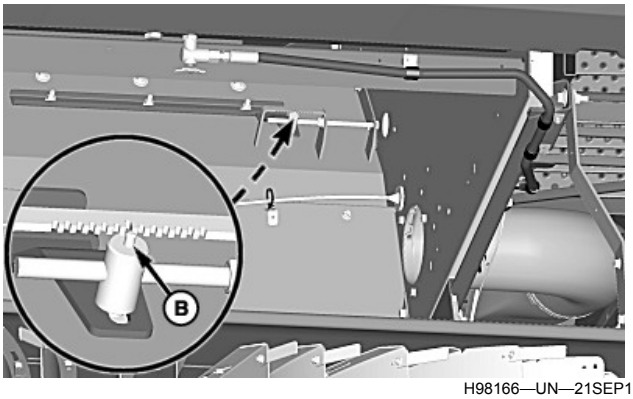
- チョッパーを完全に上昇させます。このセクションで後述の「チョッパー調整スイッチ」を参照してください。
- チョッパードライブをニュートラル位置にシフトします。このセクションで後述の「チョッパー駆動速度 — 変更」を参照してください。

OUO6075,00049B9-40-18JUN18

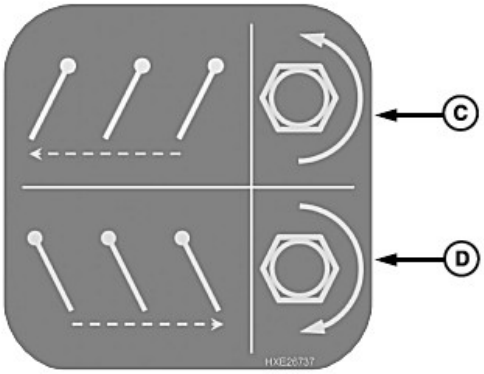
作物ダイバータ羽根：調整



H98165—UN—21SEP10



H98166—UN—21SEP10



H98708—UN—19OCT10

A：**ボルト**
B：**インジケーター**
C：**反時計回り**
D：**時計回り**

⚠ 注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

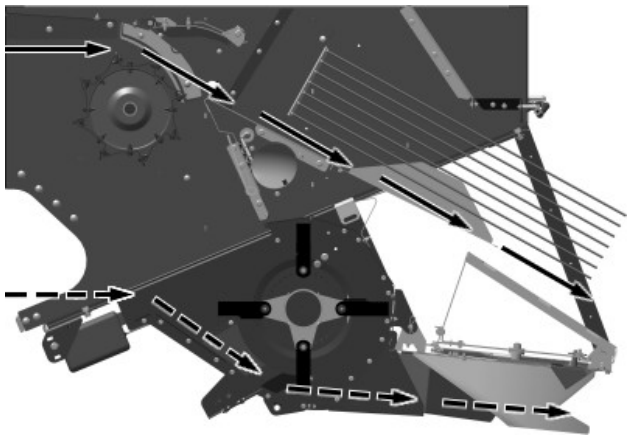
ボルト (A) を回してインジケーター (B) を調整し、作物ダイバータ羽根を動かします。

- 反時計回り (C)：羽根を機械の左側に動かします。
- 時計回り (D)：機械の右側に羽根を動かします。

注記： ボディ幅に全体に作物材料の分布が均等になるまで羽根を調整します。

OUO6075,00009CD-40-17NOV10

一般的なウィンドロー情報 (Premium Residue)



H118033—UN—05APR16

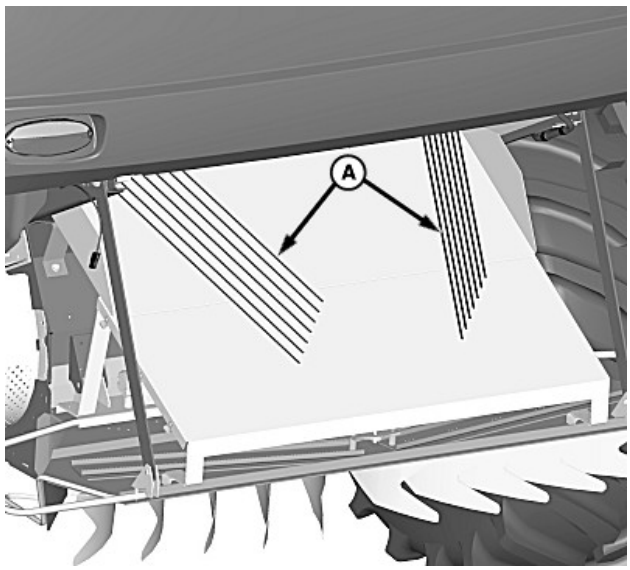
ウィンドロー作成中の *Premium*

注記： 実線の矢印はわらの流れを表しています。破線の矢印はもみ殻の流れを表しています。

- わらをウィンドロー状に並べてもみ殻を散布するには、チョップツードロップドアを開きます (Premium モデル)。詳しくは、「残留物管理アプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。
- わらの量が少ない作物を収穫する場合は、穂軸デフレクタをとうもろこし位置に下げます。詳しくは、「作物分流器」セクションを参照してください。

OUO6075,00046FF-40-05APR17

ウィンドローコンバージェンスレーキ



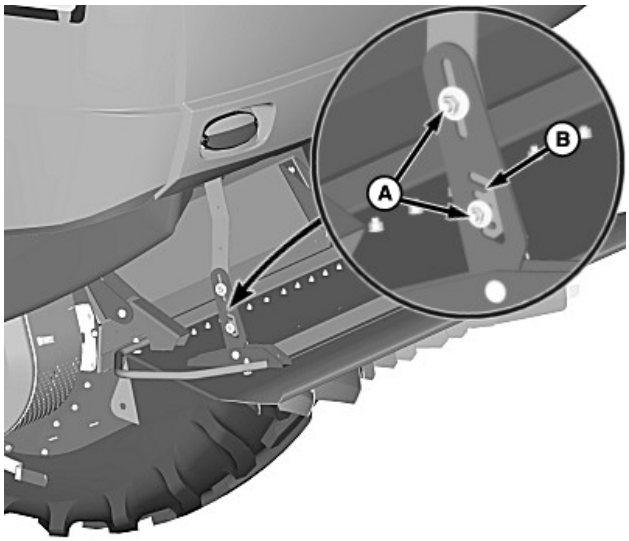
H98368—UN—30SEP10

A：**コンバージェンスレーキ**

コンバージェンスレーキ (A) は刈り取られたわら材料を狭いウィンドローに転換するために使用されます。

OUO6075,0004700-40-05APR17

テールボード：調整 (デラックスレジデュー)



H98131—UN—20SEP10

A：**ボルト (4 本使用)**
B：**ノッチ**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。**

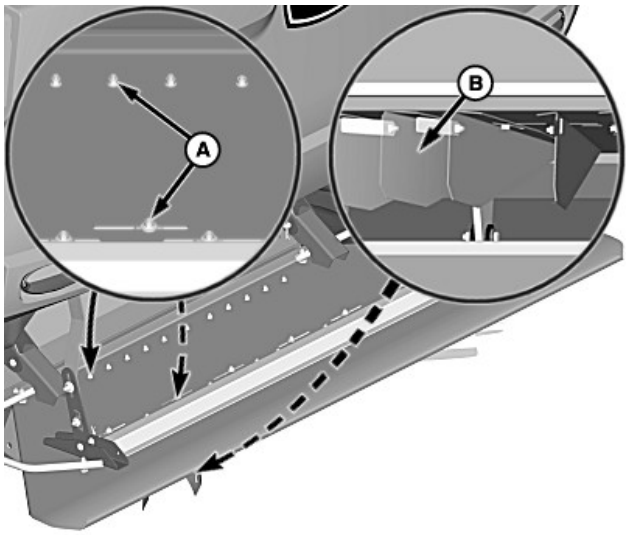
テールボードの両側のボルト (A) を緩めます。

テールボードを上または下のノッチ (B) に調整してわらの拡散幅を制御します。

テールボードの両側のボルトを締め付けてその位置に固定します。

SS43267,000060A-40-04JUN15

テールボード羽根 (手動調整)：調整 (デラックスレジデュー)



H98133—UN—20SEP10

A：**ナット**
B：**テールボード羽根**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。**

注記： 工場設定で適切な拡散幅や均一な分散が得られない場合は、テールボード羽根を調整できます。

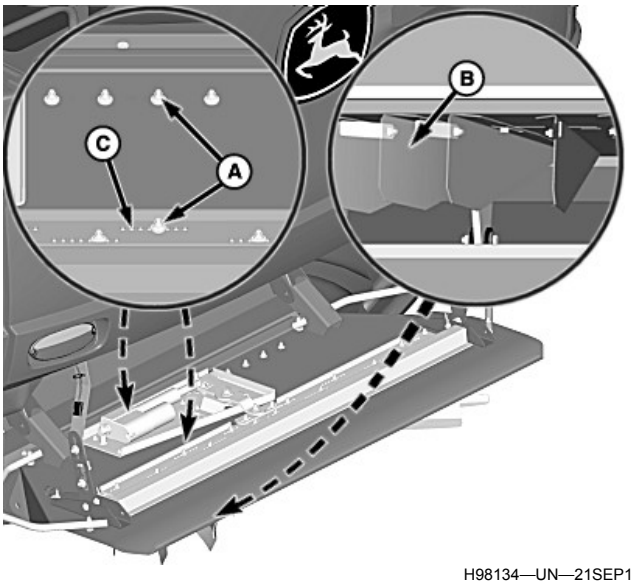
テールボード羽根は 9.1 m (30 ft) プラットフォーム用に工場で設定されています。

ナット (A) を緩めてテールボード羽根 (B) を必要に応じて調整し、わら拡散幅の分布を制御します。このセクションで後述の「テールボード羽根 (手動調整)：工場設定」を参照してください。

ナットを締め付けて、残りのテールボード羽根で必要に応じて手順を繰り返します。

SS43267,000060B-40-04JUN15

尾板羽根 (電気モーター) — 調整 (Deluxe Residue)



H98134—UN—21SEP10

A：**ナット**
B：**尾板羽根**
C：穴

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

注記： 工場設定で適切な拡散幅や均一な分散が得られない場合は、尾板羽根を調整できます。

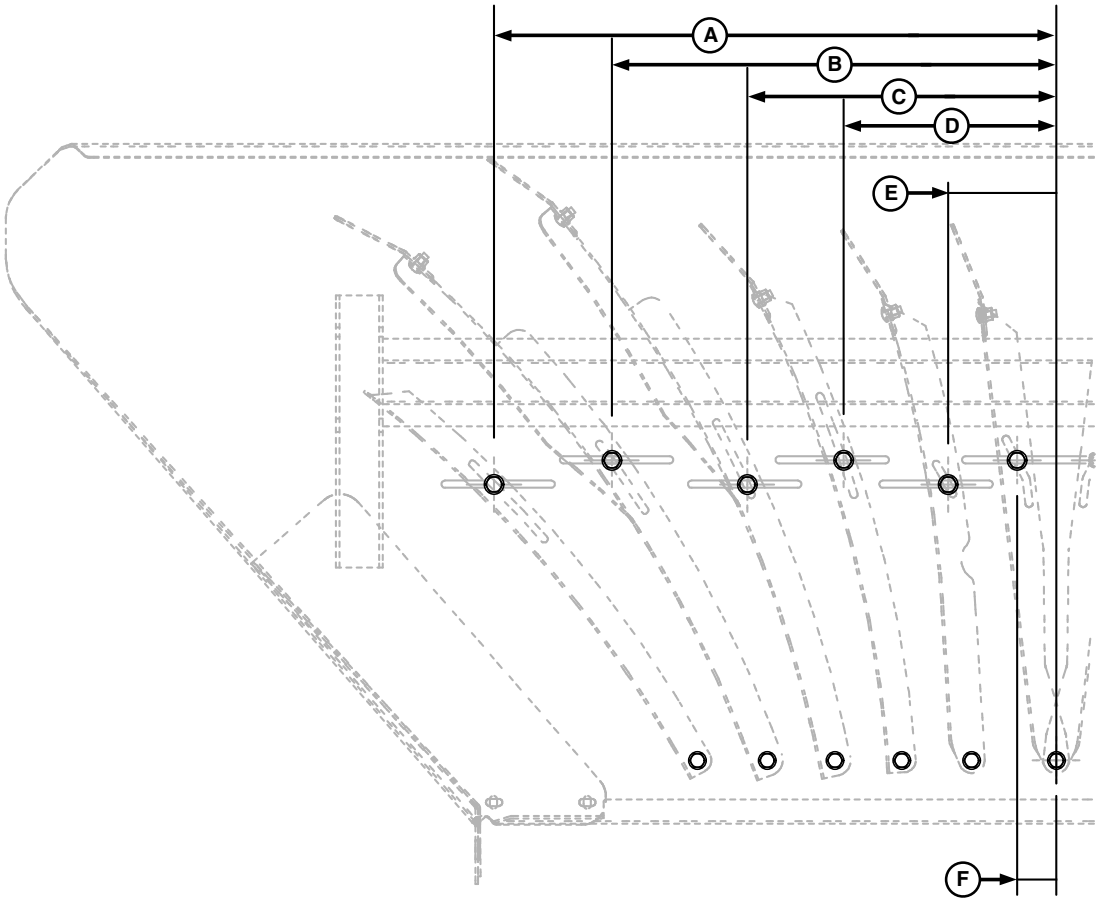
尾板羽根は 9.1 m (30 ft) プラットフォーム用に工場で設定されています。

ナット (A) を緩めて尾板羽根 (B) を必要に応じて別の穴 (C) に調整し、わら拡散幅の分布を制御します。このセクションで後述の「尾板羽根 (電動調整) — 工場出荷時の設定」を参照してください。

1. 尾板羽根のナットを締め付けます。
2. 尾板羽根の前部でナットを完全に 1 回転緩めます。
3. 尾板羽根の後部でナットを 1 回転半緩めます。
4. 尾板羽根が簡単に動かせることを確認します。
5. 残りの尾板羽根で必要に応じて手順を繰り返します。

OUO6075,0004702-40-05APR17

テールボード羽根 (手動調整)：工場設定 (デラックスレジデュー)



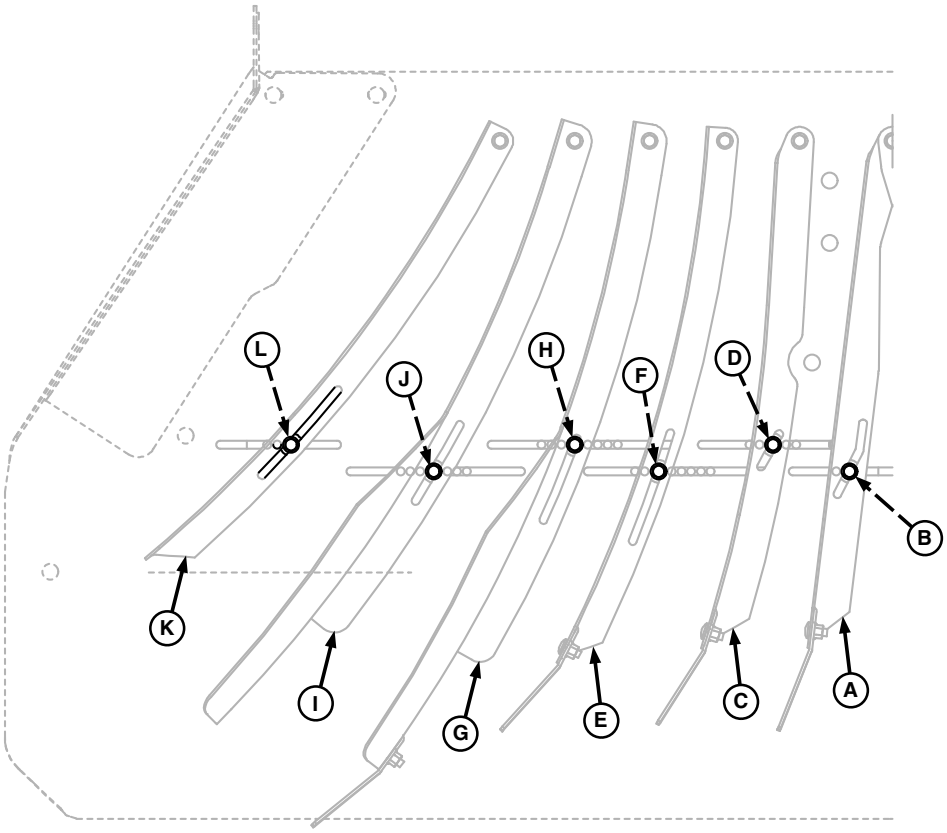
H100407—UN—23FEB11

9.1 m (30 ft) プラットフォーム用のテールボード羽根の設定 *(*テールボード上面から見た図*)*

A：**693 mm (27.3 in)**
B：**548 mm (21.6 in)**
C：**382 mm (15 in)**
D：**262 mm (10.3 in)**
E：**133 mm (5.2 in)**
F：**48 mm (1.9 in)**

SS43267,000060D-40-04JUN15

テールボード羽根 (電動調整)：工場設定 (デラックスレジデュー)



H100408—UN—23FEB11

9.1 m (30 ft) プラットフォーム用のテールボード羽根の設定 *(*テールボード底面から見た図*)*

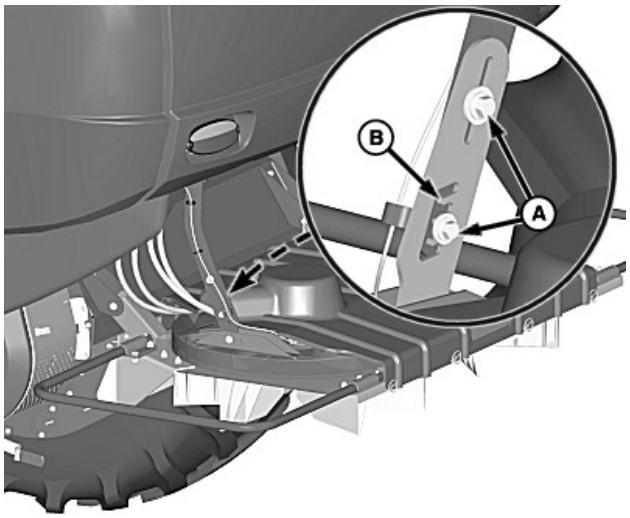
A：**羽根 1**
B：**2 番目の穴**
C：**羽根 2**
D：**3 番目の穴**
E：**羽根 3**
F：**6 番目の穴**
G：**羽根 4**
H：**5 番目の穴**
I：**羽根 5**
J：**4 番目の穴**
K：**羽根 6**
L：**最初の穴**

注記： 穴の位置は、テールボード羽根を調整する際のテールボードの中心から外側への位置を表しています。

7.6 m (25 ft) 拡散幅パターンが必要な場合は、オプションキットの詳細について John Deere 取扱店にお問い合わせください。

SS43267,000060E-40-04JUN15

PowerCast™ テールボード—調整 (オプション)



H98132—UN—20SEP10

A：キャップスクリュー (4 本使用)
B：ノッチ

注意： **運転中は広げているテールボードの背後に誰も立たせないでください。調整する前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

最高の性能を得るには、常に PowerCast™ テールボードを水平にまたは地面に対して平行に運転する必要があります。タイヤの組み合わせによっては、テールボードを上げ下げする必要があります。

機械を平坦な場所に駐車します。

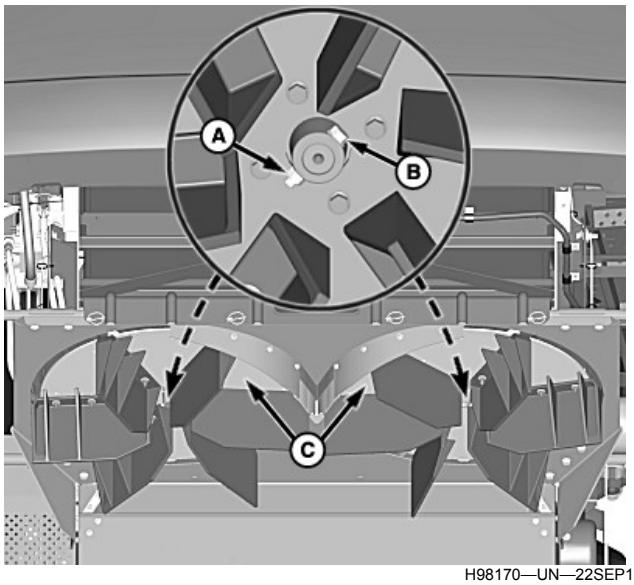
PowerCast™ テールボードの両側のキャップスクリュー (A) を緩めます。

PowerCast™ テールボードを上下のノッチ (B) に調整して水平に調整します。

PowerCast™ テールボードの両側のキャップスクリューを締め付けてその位置に固定します。

OUO6075,0004701-40-05APR17

PowerCast™ テールボードブレード—交換 (オプション)



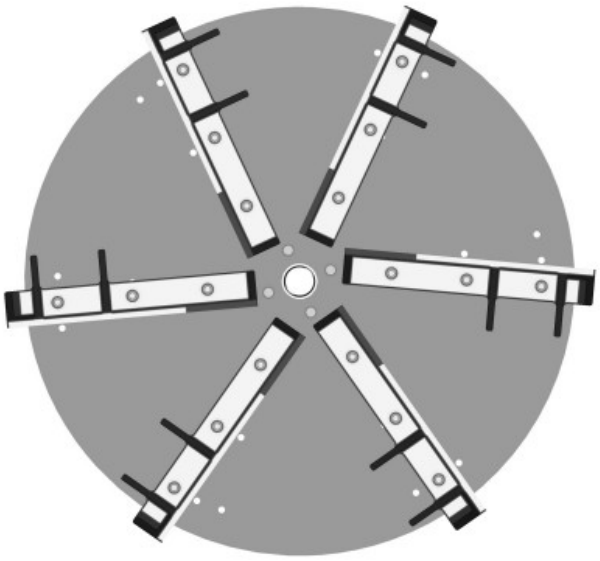
H98170—UN—22SEP10

A：ロックナット
B：キャップスクリュー
C：スプレッダーディスクアセンブリ

注意： **ディスクアセンブリの重量は約 13 kg (29 lb) です。**

重要： **ディスクアセンブリは左用と右用があります。取り外す前にディスクアセンブリの位置の印を付けてください。**

ロックナット (A) とボルト (B) をスプレッダーディスクアセンブリ (C) から取り外します。



H98171—UN—22SEP10

重要： **摩耗または損傷したブレードを交換する場合は、ディスクの回転バランスを維持するために同時に、ディスクの反対側のブレードも交換してください。**

PowerCast は Deere & Company の商標です。

ブレードは、材料の最適な拡散が得られるように交互に変わる穴パターンで向きを設定されています。前に取り外したときの穴と同じ穴に交換用ブレードを取り付けていることを確認してください。

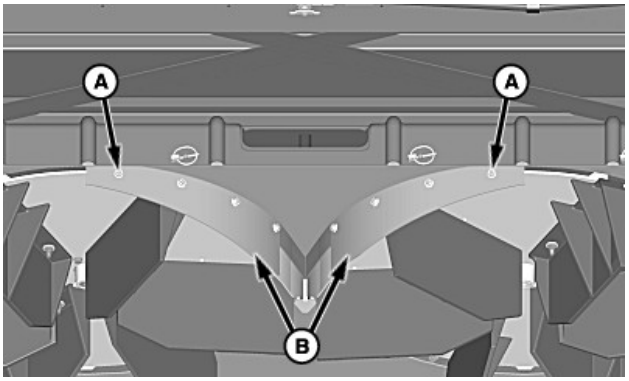
必要に応じて交換用ブレードを取り付けて金具を規定のトルクで締め付けます。

仕様

ブレード金具：トルク. . . . . 22 N·m (16 lb·ft)

OUO6075,0004706-40-05APR17

PowerCast™ テールボード (オプション) リアシュラウド



H98180—UN—22SEP10

A：**金具 (8 個使用)**
B：**リアシュラウド**

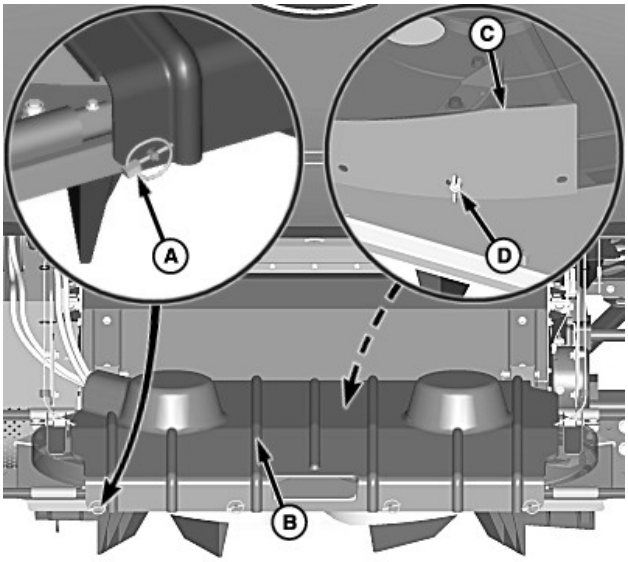
注記： 難脱穀性や重いわら条件で収穫しているときは、材料を機械の中心に向けて拡散させるためにシュアラウドを取り外すことができます。

とうもろこしを収穫するときは、材料の最適な分布を確保するためにフロントシュラウドとリアシュラウドを必ず取り付ける必要があります。

圃場位置

シュラウドは、幅が広いプラットフォームで残留物拡散幅を管理するために使用されます。

図のように、溶接付けされたストラップの背後にリアシュラウド (B) を取り付けて、金具 (A) で固定します。



H98181—UN—22SEP10

A：**クイックロックピン**
B：**シールド**
C：**リアシュラウド**
D：**蝶ナット**

保管位置

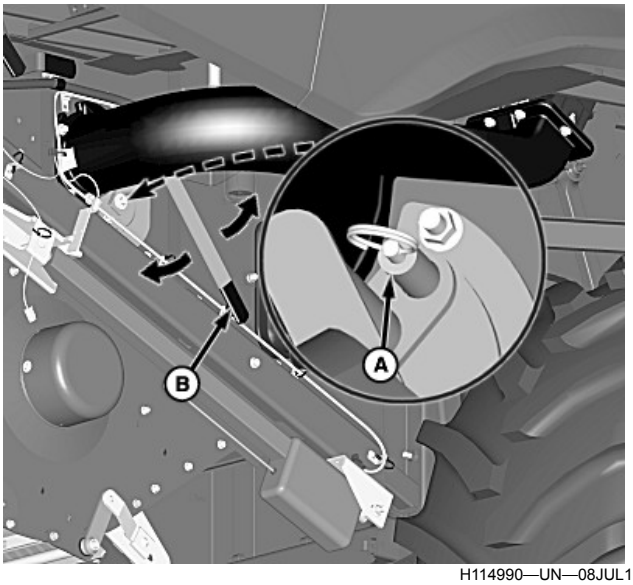
クイックロックピン (A) とシールド (B) を取り外して保管します。

図に示すように、リアシュラウド (C) を溶接スタッドに取り付けて蝶ナット (D) で固定します。

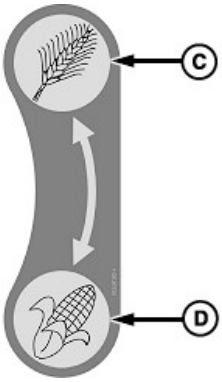
前の手順で取り外したシールドとクイックロックピンを取り付けます。

OUO6075,0004707-40-05APR17

作物分流器



H114990—UN—08JUL15



H99171—UN—23NOV10

A：**ロックアウトピン**
B：**作物分流器ハンドル**
C：**小粒グレン用位置**
D：**大粒グレン用位置**

重要： **けがや機械の損傷を防止するため、機械を運転中は作物ダイバータハンドルを動かさないでください。**

小粒穀物用位置 (C)：

ロックアウトピン (A) を引き、作物ダイバータハンドル (B) を「上側」の位置に動かします。クリーニングシューを整備するときは、作物ダイバータハンドルを「上側」の位置にする必要があります。

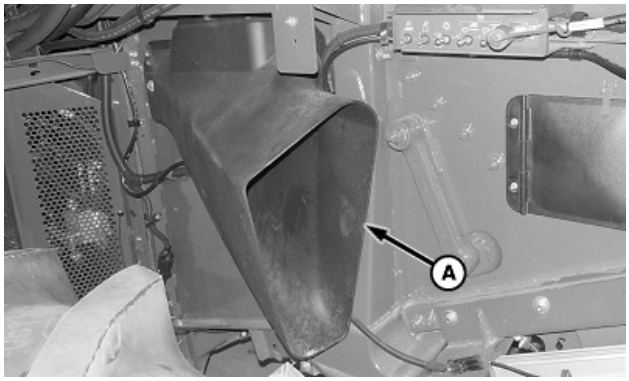
大粒穀物用位置 (D)：

注記： トウモロコシまたはヒマワリを収穫するときは、作物ダイバータハンドルを「下側」の位置にする必要があります。

ロックアウトピン (A) を引き、作物ダイバータハンドル (B) を「下側」の位置に動かします。作物ダイバータは材料が前方に飛ばないようにしてクリーニングシューの損傷を防止します。

SS43267,000067D-40-08JUL15

エアシュート



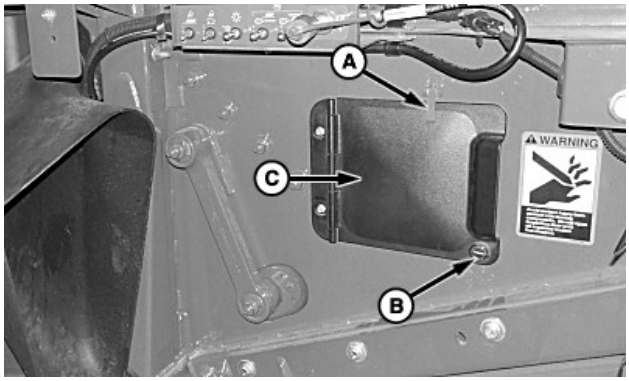
H115835—UN—08SEP15

A：**エアシュート**

エアシュート (A) は、セパレータサイドシートの両側にあり、特に低速で運転中に、クリーニングシューでの自由な吸気を可能にします。収穫条件によっては、グレンタンク品質を向上させてフィーダーハウスのほこりを減らすことができます。

OUO6075,000417A-40-11APR16

オーバーショットビーターフロア (装備されている場合) — 取り外し (Premium Residue)



H115544—UN—20AUG15

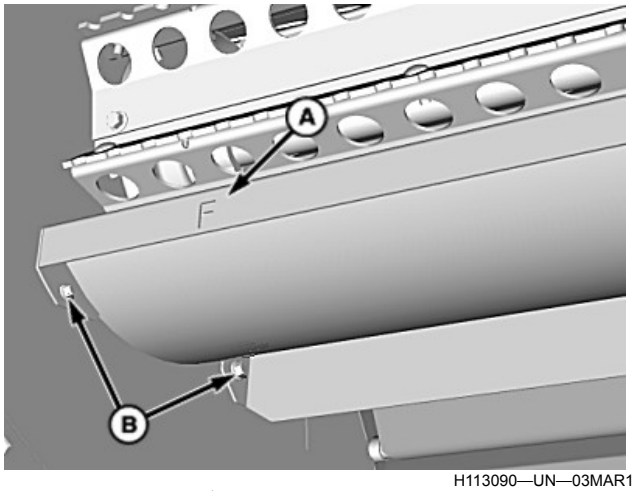
A：**クリップ**
B：**ロック**
C：**クリーニングシューアクセスドア**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

注記： オーバーショットビーターについて詳しくは、最寄りの John Deere 販売店にお問い合わせください。

オーバーショットビーターフロアは、とうもろこし / 大粒グレンで取り付ける必要があり、小粒グレンでは取り外す必要があります。

1. クリップ (A) を開いてロック (B) を回して、クリーニングシューアクセスドア (C) を開きます。



H113090—UN—03MAR15

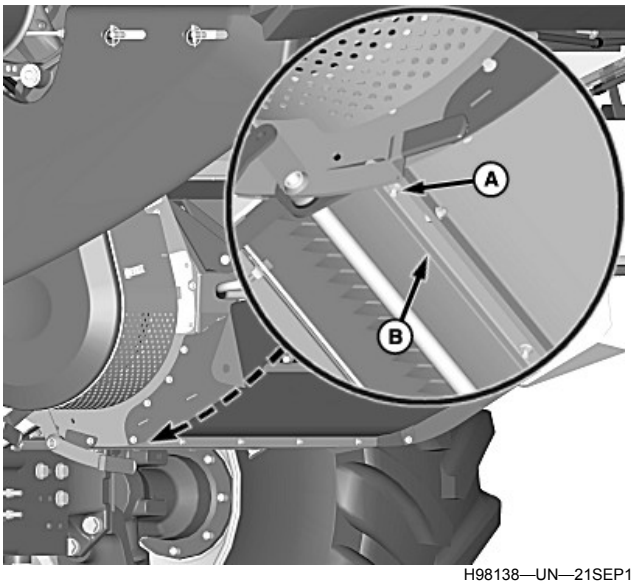
A：**オーバーショットビーターフロア**
B：**キャップスクリューとナット (2 組使用)**

注記： オーバーショットビーターフロアの取り外しには 2 人が必要です。一方がオーバーショットビーターフロアを支持しているときに他方がキャップスクリューとナットを取り外します。

2. オーバーショットビーターフロア (A) を支えて、本機の両側でキャップスクリューとナット (B) を取り外します。
3. アクセスドアを閉めてロックとクリップで固定します。

OUO6075,0004E91-40-23JUN20

チョッパーコントローラバー (オプション)



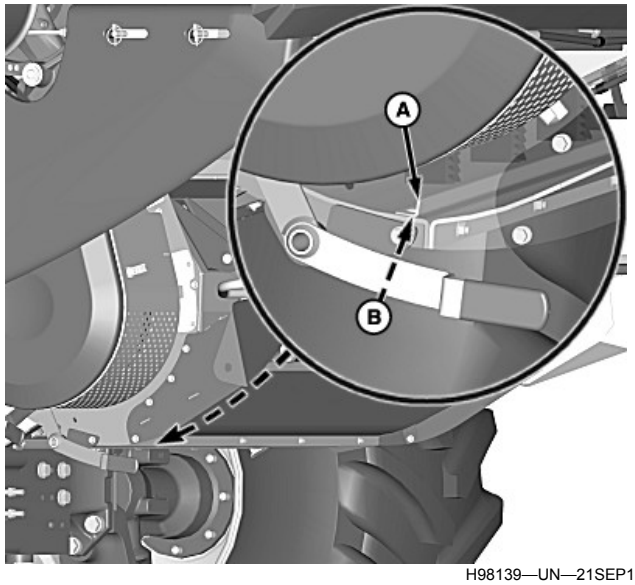
H98138—UN—21SEP10

A：**金具**
B：**コントローラバー**

重要： **トウモロコシを収穫するときは、コントローラバーを取り外して保管位置に配置する必要があります。コントローラバーを取り外さないと、チャファーエレメントが損傷する可能性があります。**

コントローラバーは、難脱穀性わら条件で切断品質、分布、拡散幅を改善します。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

金具 (A) とコントローラバー (B) をチョッパーの底から取り外します。



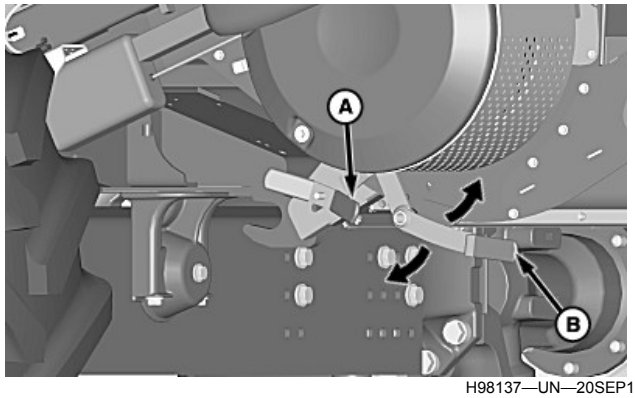
H98139—UN—21SEP10

A：**コントローラバー**
B：**金具**

図のように、チョッパーを完全に上げ、コントローラバー (A) をチョッパーの内側に取り付けて金具 (B) で固定します。

OUO6075,00009BF-40-21SEP10

チョッパー固定ナイフバンク (電動アクチュエータなし) — 調整



H98137—UN—20SEP10
ナイフバンクの接続位置

A：**蝶ナット**
B：**ハンドル**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

重要： **ナイフバンクは、とうもろこしでは接続を完全に解除する必要があります。**

注記： チョッパーはナイフを解除して運転できます。ただし、切断品質は低下します。

接続と解除の間の位置を使用して、動力消費を最適化し、満足できる切断長さを実現してください。

ナイフは任意の位置に調整できます。ナイフの位置によって材料の切断長さが決まります。

ナイフバンクの接続位置：

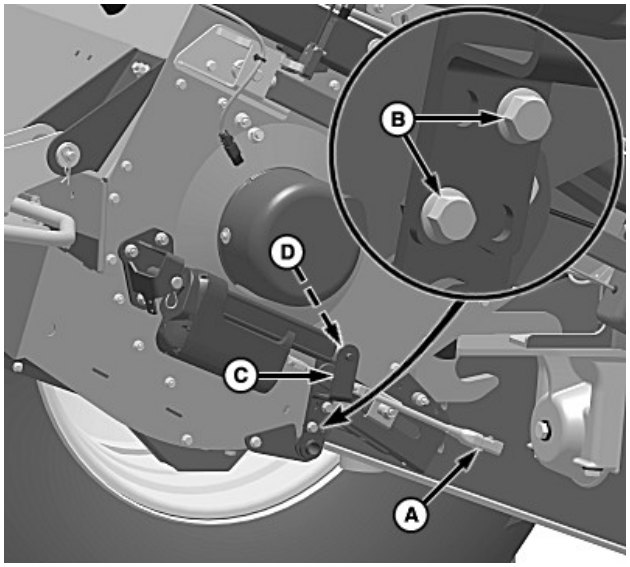
1. チョッパーの蝶ナット (A) を緩めます。
2. ナイフバンクが調整スロットの上部に配置されるまで調整ハンドル (B) を下に動かします。
3. 蝶ナットを締め付けて、ナイフバンクを所定の位置に固定します。

ナイフバンクの解除位置：

1. チョッパーの蝶ナット (A) を緩めます。
2. ナイフバンクが調整スロットの下部に配置されるまで調整ハンドル (B) を上に動かします。
3. 蝶ナットを締め付けて、ナイフバンクを所定の位置に固定します。

OUO6075,0004BAF-40-30MAY19

チョッパー固定ナイフバンク (電動アクチュエータ) — 取り外し (装備されている場合)

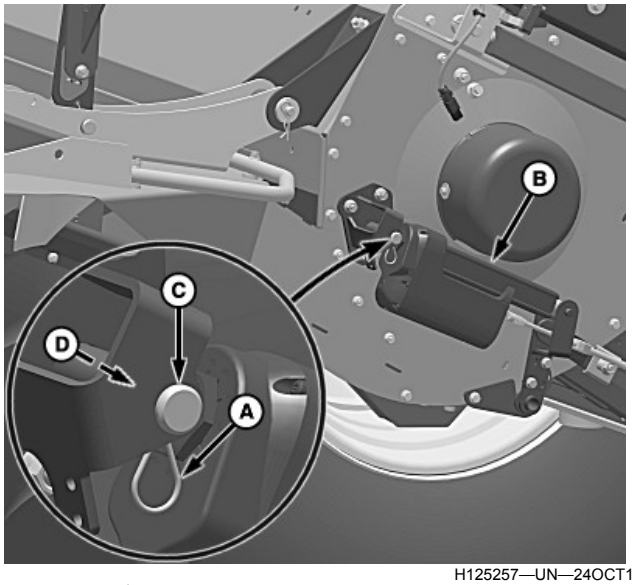


H125256—UN—24OCT18

A：**電気コネクタ**
B：**キャップスクリュー (2 本使用)**
C：**ブラケット**
D：**座金 (2 枚使用)**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

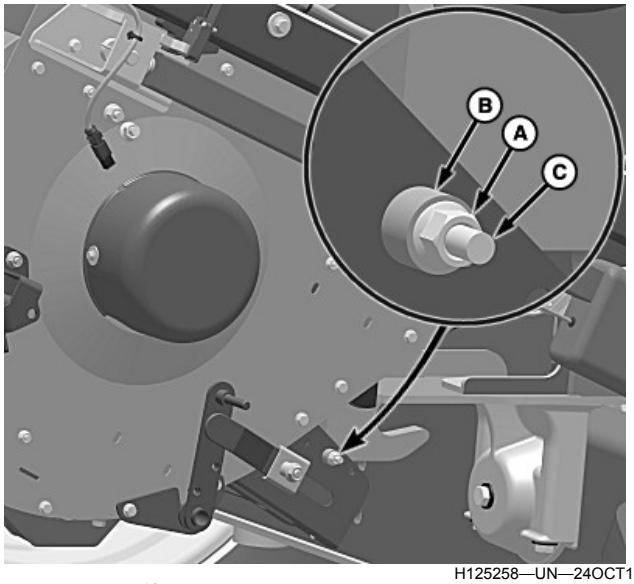
1. 電気コネクタ (A) の接続を外します。
2. キャップスクリュー (B)、ブラケット (C)、座金 (D) を取り外します。



H125257—UN—24OCT18

A：**スプリングピン**
B：**アクチュエータ**
C：**ピン**
D：**座金**

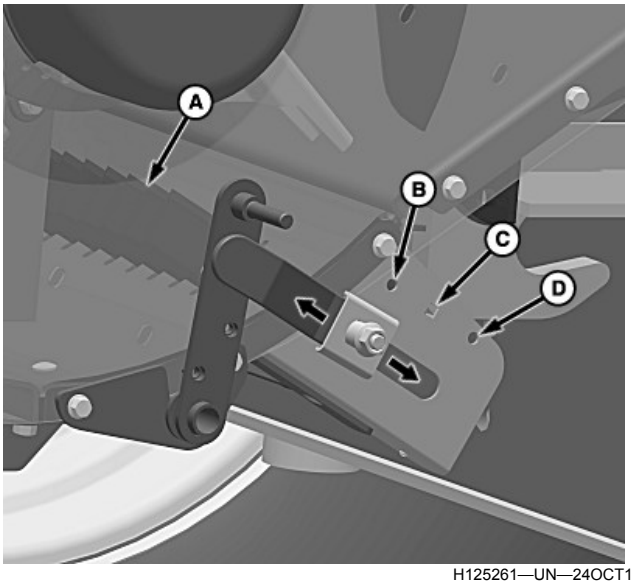
3. スプリングピン (A) を取り外します。
4. アクチュエータ (B) を支えながら、ピン (C) と座金 (D) を取り外します。
5. アクチュエータをチョッパーから取り外します。



H125258—UN—24OCT18

A：**ナット (2 個使用)**
B：**スペーサ (2 個使用)**
C：**キャップスクリュー (2 本使用)**

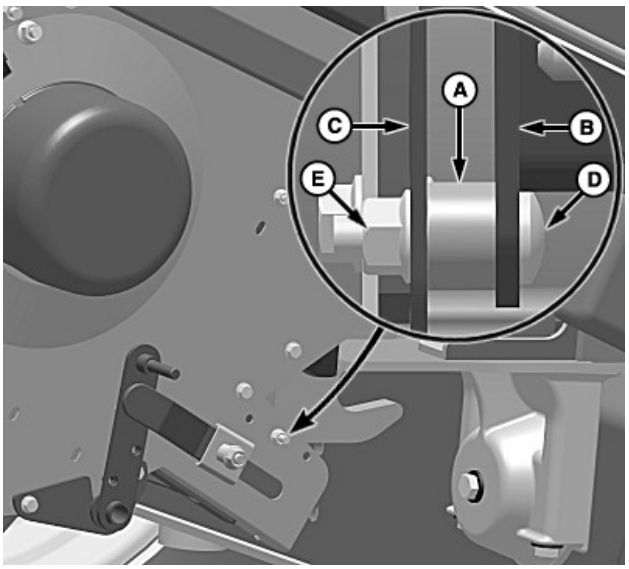
6. ナット (A)、スペーサ (B)、キャップスクリュー (C) を機械の両側から取り外します。



H125261—UN—24OCT18

A：**ナイフバンク**
B：**穴 (100% 接続)**
C：**穴 (50% 接続)**
D：**穴 (0% 接続)**

7. ナイフバンク (A) を機械の両側のサイドシートの必要な穴 (B ~ D) と整列させます。
   - 穴 (B) - ナイフバンク 100% 接続。
   - 穴 (C) - ナイフバンク 50% 接続。
   - 穴 (D) - ナイフバンク 0% 接続。



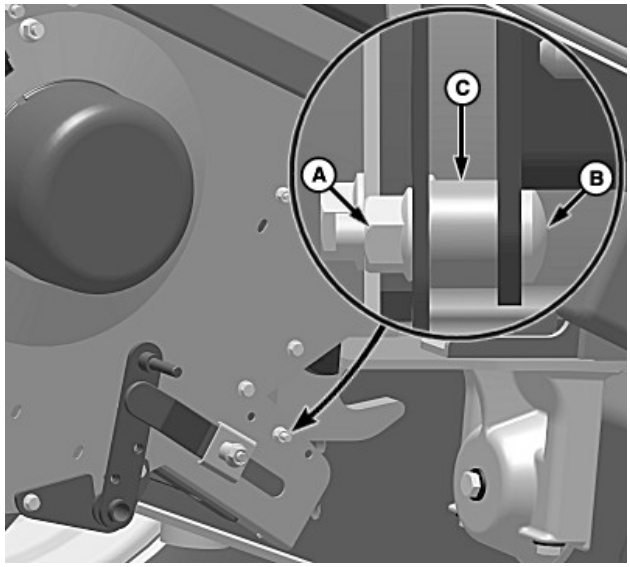
H125260—UN—24OCT18

A：**スペーサ (2 個使用)**
B：**ナイフバンク**
C：**サイドシート**
D：**キャップスクリュー (2 本使用)**
E：**ナット (2 個使用)**

8. 機械の両側で、前の手順で取り外したスペーサ (A) をナイフバンク (B) とサイドシート (C) の間に取り付けます。
9. 前の手順で取り外したキャップスクリュー (D) とナット (E) を機械の両側に取り付けます。

OUO6075,0004BAE-40-30MAY19

チョッパー固定ナイフバンク (電動アクチュエータ) — 取り付け (装備されている場合)

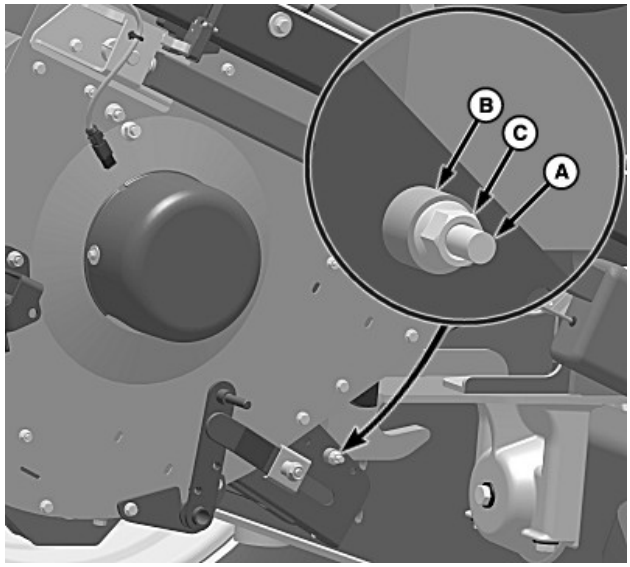


H125262—UN—24OCT18

A：**ナット**
B：**キャップスクリュー**
C：**スペーサ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

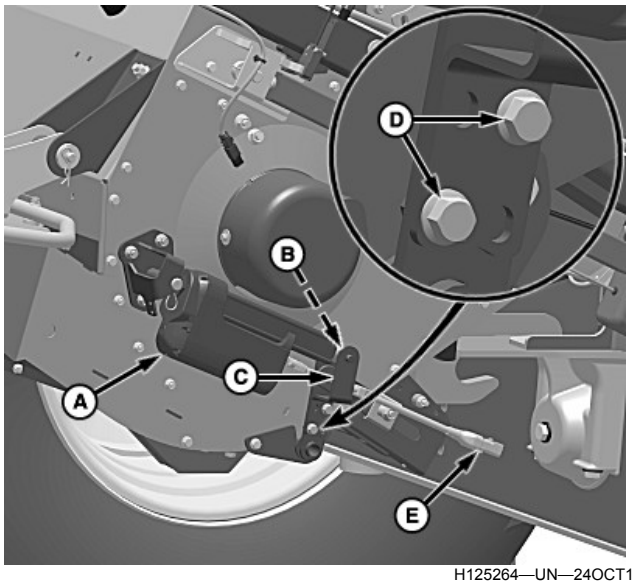
1. ナット (A)、スペーサ (B)、キャップスクリュー (C) を機械の両側から取り外します。



H125263—UN—24OCT18

A：**キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**スペーサ (2 個使用)**
C：**ナット (2 個使用)**

2. キャップスクリュー (A)、スペーサ (B)、ナット (C) を機械の両側の保管位置の穴に取り付けます。



H125264—UN—24OCT18

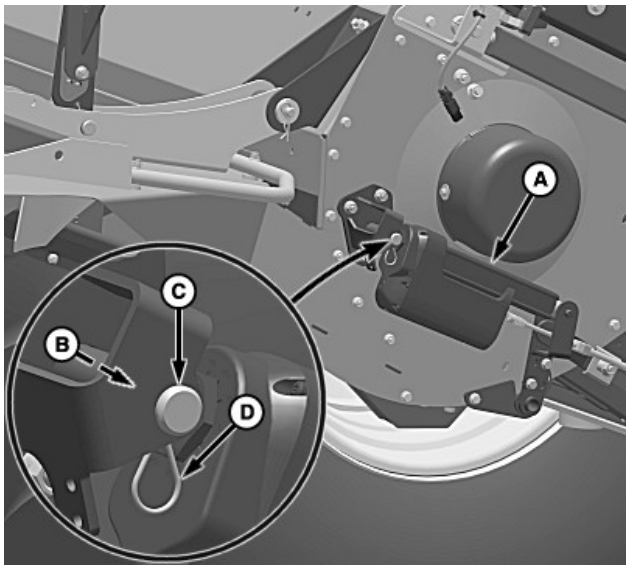
A：**アクチュエータ**
B：**座金 (2 枚使用)**
C：**ブラケット**
D：**キャップスクリュー (2 本使用)**
E：**電気コネクタ**

3. アクチュエータ (A) を図のように取り付けます。
4. アクチュエータとブラケット (C) の間に座金 (B) を取り付けて、ボルト (D) で固定します。
5. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 40 N·m (30 lb·ft)

6. 電気コネクタ (E) を機械のワイヤハーネスに接続します。



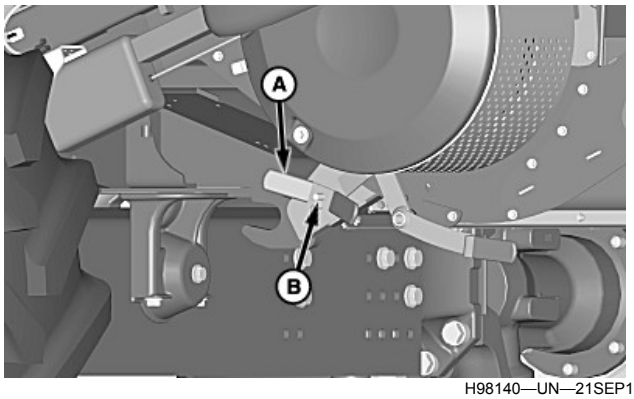
H125265—UN—24OCT18

A：**アクチュエータ**
B：**座金**
C：**ピン**
D：**スプリングピン**

7. アクチュエータ (A) がブラケットの穴と整列するまで、ナイフバンクを上げます。
8. 座金 (B) をアクチュエータとブラケットの間に取り付けて、図のようにピン (C) とスプリングピン (D) で固定します。

OUO6075,0004BB0-40-30MAY19

チョッパー固定ナイフ (電動アクチュエータなし) — 交換



H98140—UN—21SEP10

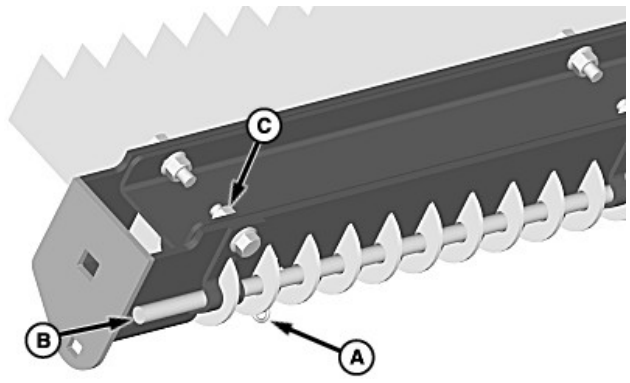
A：**蝶ナット**
B：**テンションロッド**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。ナイフの刃は鋭利です。**

1. チョッパーの蝶ナット (A) を緩めます。
2. ナイフバンクが調整スロットの下部に配置されるまで、調整ハンドルを上に動かします。

注記： 後で組み付けるために、ブッシングをナイフバンクの外端に残します。

3. ナイフバンクを支えて、テンションロッド (B) を機械の右側から取り外します。



H126355—UN—21MAY19

A：**ピン**
B：**固定ロッド**
C：**ロックナット**

4. ピン (A) を固定ロッド (B) から取り外します。
5. 固定ロッドを保持しているクリップのロックナット (C) を緩めます。
6. 交換する必要があるナイフをかわせるまで固定ロッドをスライドさせます。
7. さらに使用するためにナイフを反転させるか、両側が摩耗している場合はナイフを交換します。
8. 固定ロッドをナイフに整列させます。
9. クリップのロックナットを締め付けて、ピンを取り付けます。

注記： ブッシングをナイフバンクの外端部に位置決めします。

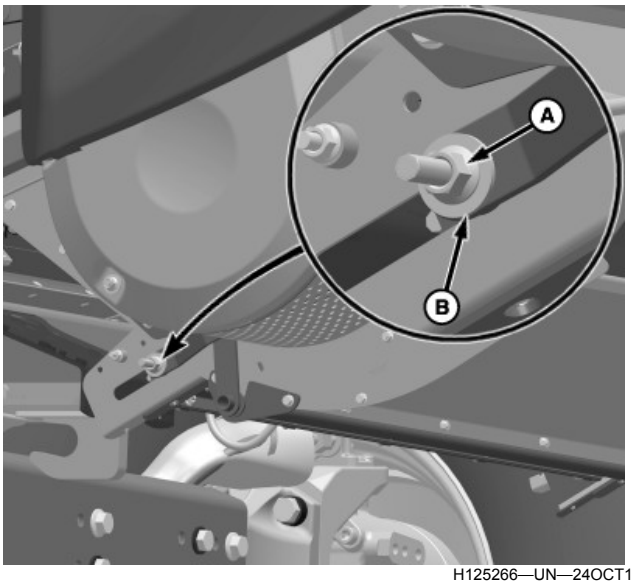
10. ナイフバンクを取り付けて、テンションロッドを機械の右側からスライドさせます。
11. 蝶ナットを取り付けてナイフバンクを必要な位置に調整します。

重要： ナイフバンクは、とうもろこしでは接続を完全に解除する必要があります。

12. 蝶ナットを締め付けて、ナイフバンクを所定の位置に固定します。

OUO6075,0004BAD-40-21MAY19

チョッパー固定ナイフ (電動アクチュエータ) — 交換

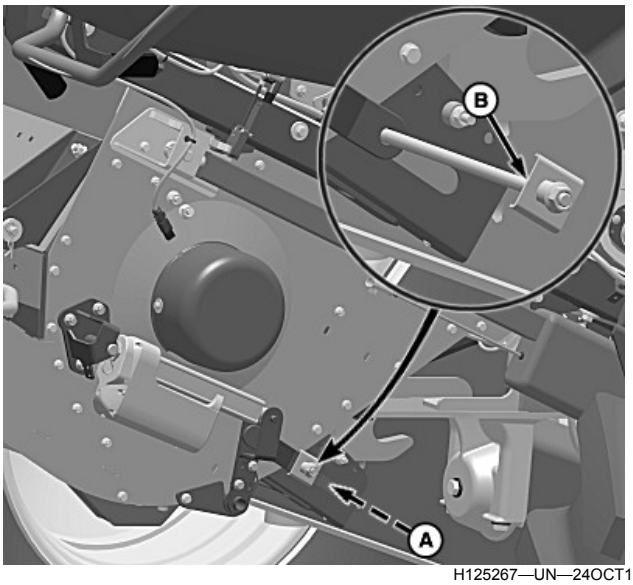


H125266—UN—24OCT18

A：**ナット**
B：**座金**

注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。ナイフの刃は鋭利です。

1. ナット (A) と座金 (B) をナイフバンクの左側から取り外します。

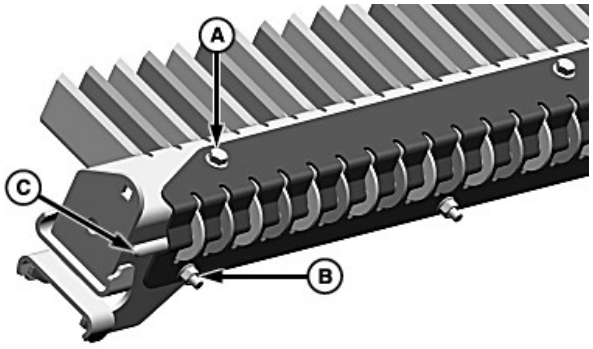


H125267—UN—24OCT18

A：**ナイフバンク**
B：**テンションロッド**

注記： 後で組み付けるために、ブッシングをナイフバンクの外端に残します。

2. ナイフバンク (A) を支えながら、テンションロッド (B) を本機の右側から取り外します。

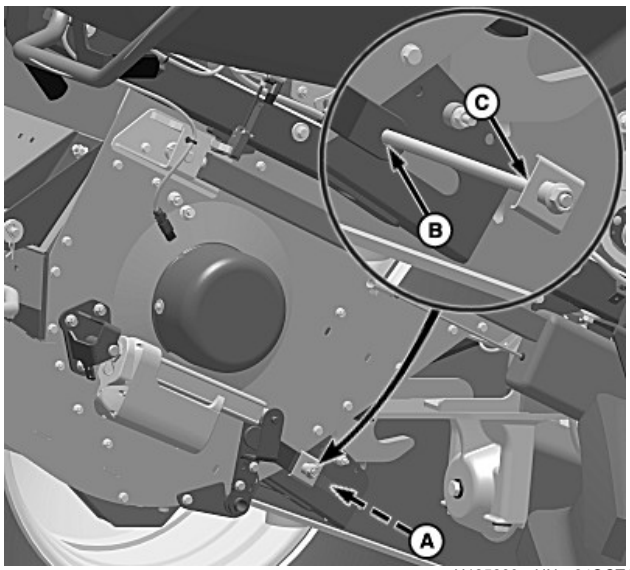


H130611—UN—24JUN20

A：**キャップスクリュー**
B：**キャップスクリューとロックナット**
C：**固定ロッド**

3. 必要に応じて、キャップスクリュー (A) を緩めます。
4. 必要に応じて、キャップスクリューとロックナット (B) を緩めます。
5. 交換する必要があるナイフをかわせるまで固定ロッド (C) をスライドさせます。
6. さらに使用するためにナイフを反転させるか、両側が摩耗している場合はナイフを交換します。
7. 固定ロッドをナイフに整列させます。

8. 必要に応じて、前の手順で緩めたキャップスクリューとロックナット (B) を締め付けます。
9. 必要に応じて、前の手順で緩めたキャップスクリュー (A) を締め付けます。



H125269—UN—24OCT18

A：**ナイフバンク**
B：**調整アーム**
C：**テンションロッド**

10. ナイフバンク (A) を取り付けて、調整アーム (B) の穴をナイフバンクと整列させます。

注記： ブッシングをナイフバンクの外端部に位置決めします。

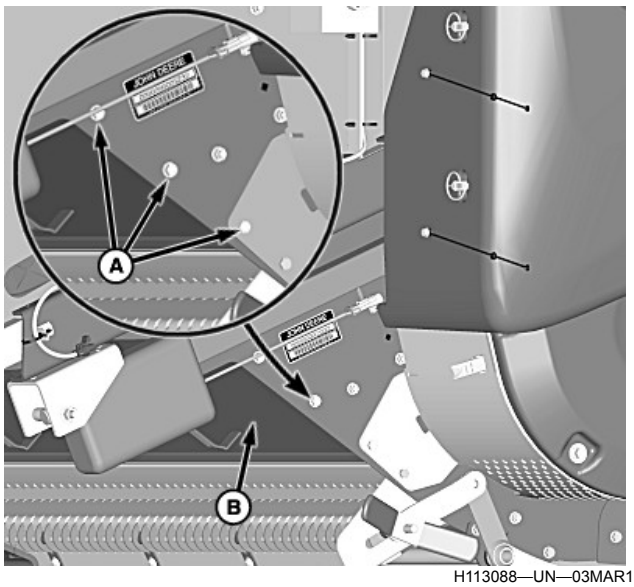
11. テンションロッド (C) を本機の右側からスライドさせます。

重要： **ナイフバンクは、とうもろこしでは接続を完全に解除する必要があります。**

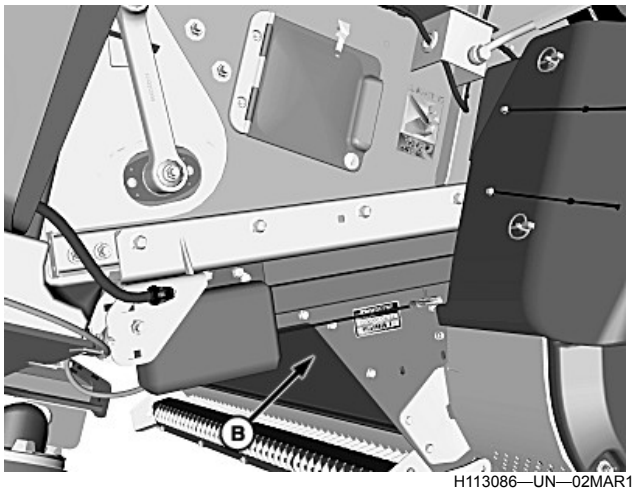
12. 本機の左側で、前の手順で取り外した座金を取り付けて、前の手順で取り外したナットで固定します。

OUO6075,0004E9D-40-08JUL20

チョッパーアクセスドア



H113088—UN—03MAR15



H113086—UN—02MAR15

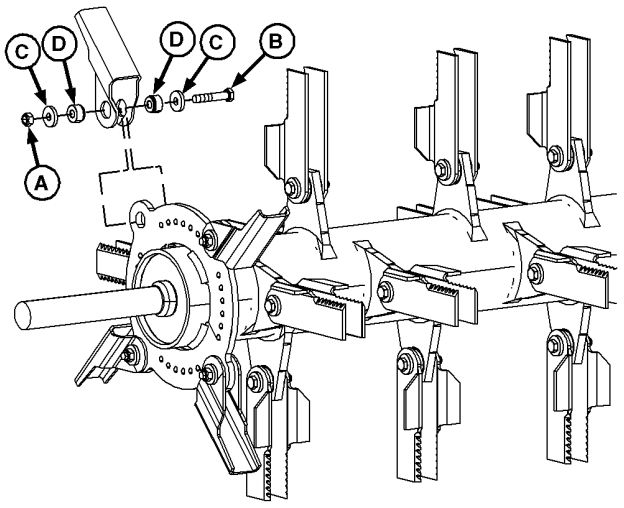
A：**キャップスクリュー (3 本使用)**
B：**アクセスドア**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

1. チョッパーの両側のキャップスクリュー (A) を取り外してアクセスドア (B) を取り外します。
2. 本機を操作する前にアクセスドアを取り付けます。

OUO6075,0004E90-40-17JUN20

ファインカットチョッパーブレード—交換と構成



H87281—UN—01AUG07

A：**ロックナット**
B：**キャップスクリュー**
C：**座金**
D：**ブッシング**

⚠ 注意：**エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

注記：図に示すローターは、スクープブレードとパドルブレードの両方の交換例を示しています。必ず工場出荷時のブレードパターンを維持してください。

外側ブレード

注記：点検のためにブレードやブッシングを取り外した場合は、取り外したサポートと同じサポートにブレードを取り付けてください。これはバランスを維持するために必要です。取り外す前に各ブレードに印を付けることが適切です。

ブレードの取り付けまたは交換時は、取り外したときと同じ方向に新品のキャップスクリューとロックナットを取り付けてください。

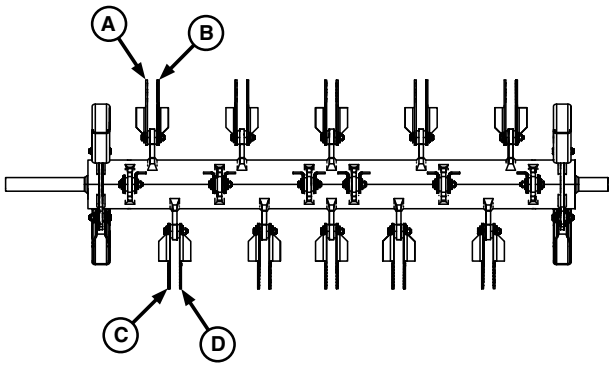
ロックナット (A)、キャップスクリュー (B)、座金 (C)、ブッシング (D) を取り外します。

注記：ブッシングを点検して、摩耗がある場合はブッシングを交換します。ロックナットとキャップスクリューを新品に交換します。

ブレードとブッシングを交換します。キャップスクリュー、座金、およびロックナットを取り付けます。ナットを規定のトルクで締め付けます。

仕様

チョッパーブレードのロックナット：トルク. . . . . 65 N·m (48 lb·ft)



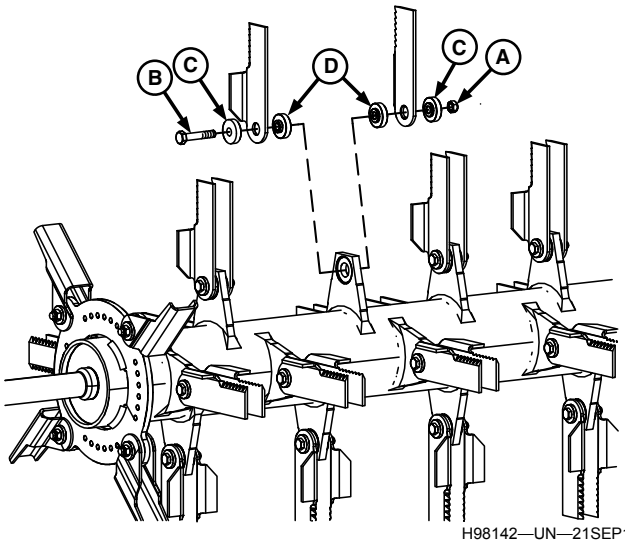
H107307—UN—22MAR13

A—D：**パドルブレード**

ブレード構成

重要：**チョッパーのバランスを維持する必要があります。1 つのサポートの両方のブレード、および反対側のサポートの (180°) の両方のブレードを交換します。1 つの破損したブレードを交換するには、4 つのブレードを取り付ける必要があります。また、すべてのブレードを一度に交換できます。これはバランスを維持するために必要です。**

ブレード (A) が破損した場合は、ブレード (A ~ D) を交換します。



H98142—UN—21SEP10

A：**ロックナット**
B：**キャップスクリュー**
C：**ブッシング**
D：**ブッシング**

内側のブレード

注記：点検のためにブレードやブッシングを取り外した場合は、取り外したサポートと同じサポートにブレードを取り付けてください。これはバランスを維持するために必要です。取り外す前に各ブレードに印を付けることが適切です。

ブレードの取り付けまたは交換時は、取り外したときと同じ方向に新品のキャップスクリューとロックナットを取り付けてください。

ロックナット (A) とボルト (B) を取り外します。

ブッシング (C、D) を取り外して点検します。

注記： ブッシングを点検して、摩耗がある場合はブッシングを交換します。ロックナットとキャップスクリューを新品に交換します。

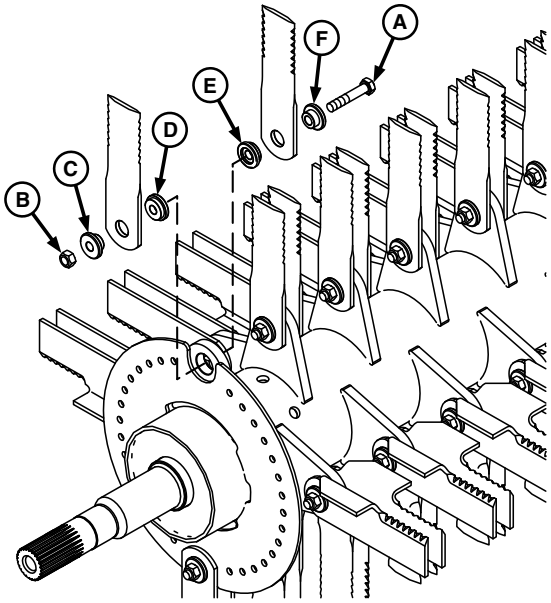
ブレードとブッシングを交換します。ボルトとロックナットを取り付けます。ナットを規定のトルクで締め付けます。

仕様

チョッパーブレードのロックナット：トルク	65 N·m (48 lb·ft)

OUO6075,0004928-40-29MAR18

極細切断チョッパーブレード — 交換と構成



H99000—UN—12NOV10

A：**ロックナット**
B：**キャップスクリュー**
C：**ブッシング**
D：**ブッシング**
E：**ブッシング**
F：**ブッシング**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

注記： 図に示すローターは、パドルブレードとストレートブレードの両方の交換例を示しています。必ず工場出荷時のブレードパターンを維持してください。

外側ブレード

注記： 点検のためにブレードやブッシングを取り外した場合は、取り外したサポートと同じサポートにブレードを取り付けてください。これはバランスを維持するために必要です。取り外す前に各ブレードに印を付けることが適切です。

ブレードの取り付けまたは交換時は、取り外したときと同じ方向に新品のキャップスクリューとロックナットを取り付けてください。

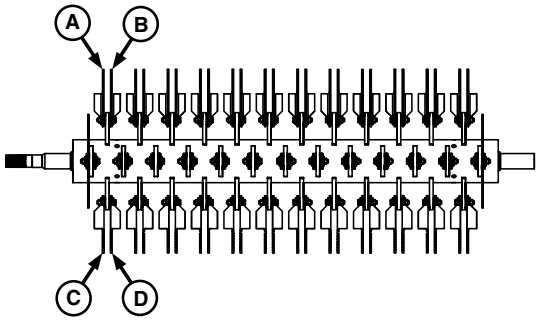
ロックナット (A)、キャップスクリュー (B)、ブッシング (C、D、E、F) を取り外します。

注記： ブッシングを点検して、摩耗がある場合はブッシングを交換します。ロックナットとキャップスクリューを新品に交換します。

ブレードとブッシングを交換します。ボルト、座金、ブッシング、ロックナットを取り付けます。ナットを規定のトルクで締め付けます。

仕様

チョッパーブレードのロックナット：トルク	65 N·m (48 lb·ft)



H107308—UN—22MAR13

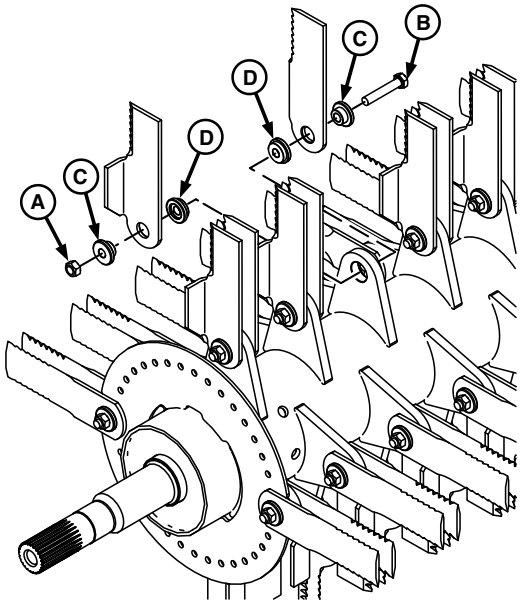
A—D：**パドルブレード**

ブレード構成

重要： チョッパーのバランスを維持する必要があります。1 つのサポートの両方のブレード、および反対側のサポートの (180°) の両方のブレードを交換します。1 つの破損したブレードを交換するには、4 つのブレードを取り付ける必要があります。また、すべてのブレードを一度に交換できます。これはバランスを維持するために必要です。

ブレード (A) が破損した場合は、ブレード (A ~ D) を交換します。

重要： チョッパーを運転する前に、ローターを手で回してローターブレードと固定ナイフ間の隙間を確認します。



H99002—UN—12NOV10

A：**ロックナット**
B：**キャップスクリュー**
C：**ブッシング**
D：**ブッシング**

内側のブレード

注記： 点検のためにブレードやブッシングを取り外した場合は、取り外したサポートと同じサポートにブレードを取り付けてください。これはバランスを維持するために必要です。取り外す前に各ブレードに印を付けることが適切です。

ブレードの取り付けまたは交換時は、取り外したときと同じ方向に新品のキャップスクリューとロックナットを取り付けてください。

ロックナット (A) とボルト (B) を取り外します。

ブッシング (C、D) を取り外して点検します。

注記： ブッシングを点検して、摩耗がある場合はブッシングを交換します。ロックナットとキャップスクリューを新品に交換します。

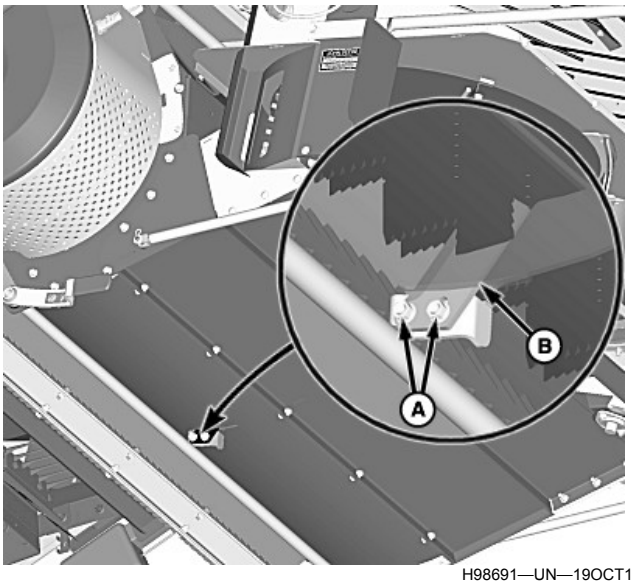
ブレードとブッシングを交換します。ボルトとロックナットを取り付けます。ナットを規定のトルクで締め付けます。

仕様

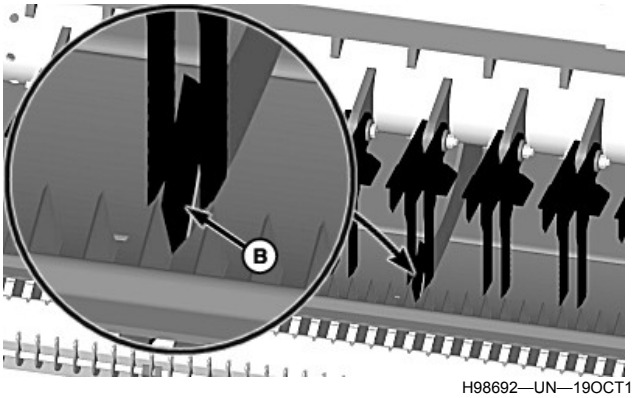
チョッパーブレードのロックナット：トルク. . . . . 65 N·m (48 lb·ft)

OUO6075,0004929-40-29MAR18

中間スプリッターナイフ—交換 (Advanced PowerCast™ テールボード)



H98691—UN—19OCT10



H98692—UN—19OCT10

A：**金具**
B：**中間スプリッターナイフ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。ナイフブレードは鋭利です。**

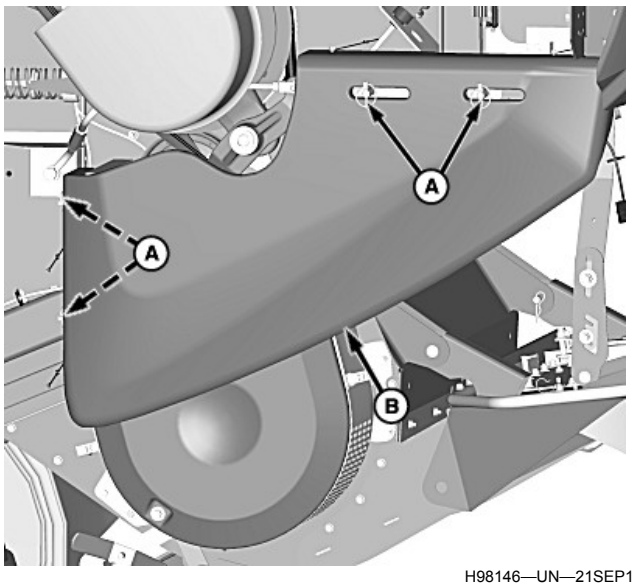
金具 (A) を取り外して中間スプリッターナイフ (B) を廃棄します。

注記： ナイフは、中間スプリッタに隙間なしで密着している必要があります。

中間スプリッターナイフを交換し、前の手順で取り外した金具を取り付けます。

OUO6075,00046FE-40-05APR17

チョッパーブレード：心出し

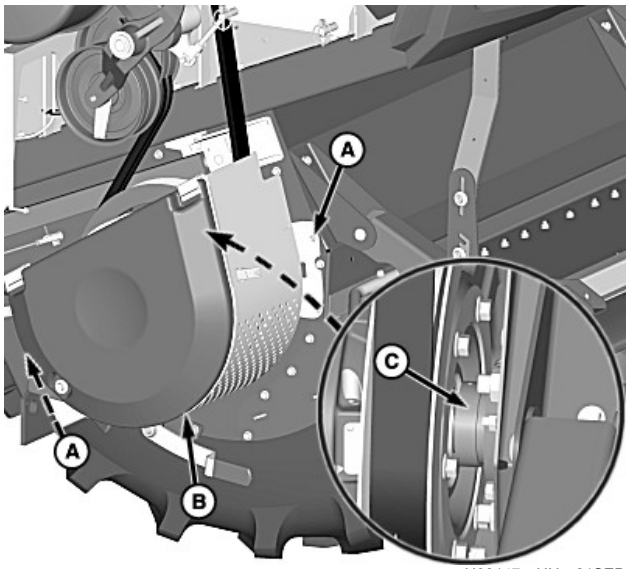


H98146—UN—21SEP10

A：**クイックロックピン**
B：**シールド**

⚠ 注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

チョッパーを完全に上げて、クイックロックピン (A) とシールド (B) を取り外します。

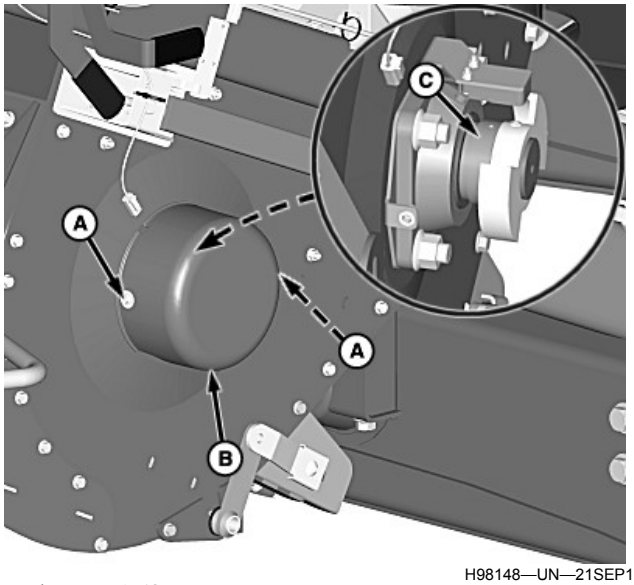


H98147—UN—21SEP10

A：**ボルト (4 個使用)**
B：**シールド**
C：**ロッキングカラー**

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

左側のセットボルトとロッキングカラー (C) を緩めます。

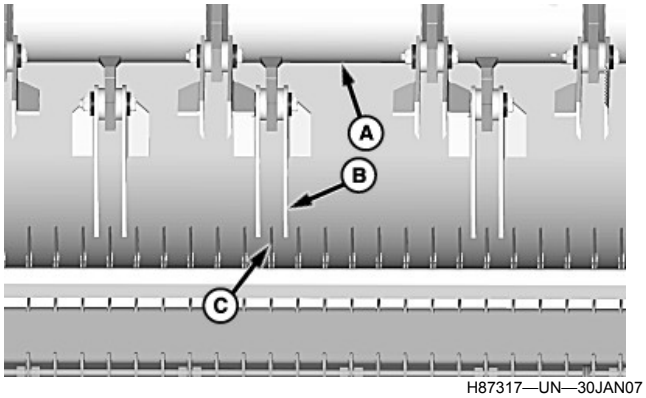


H98148—UN—21SEP10

A：**ボルト (2 個使用)**
B：**ベアリングカバー**
C：**ロッキングカラー**

ボルト (A) とベアリングカバー (B) を取り外します。

右側のセットボルトとロッキングカラー (C) を緩めます。



H87317—UN—30JAN07

A：**チョッパーローター**
B：**ローターブレード**
C：**固定ナイフ**

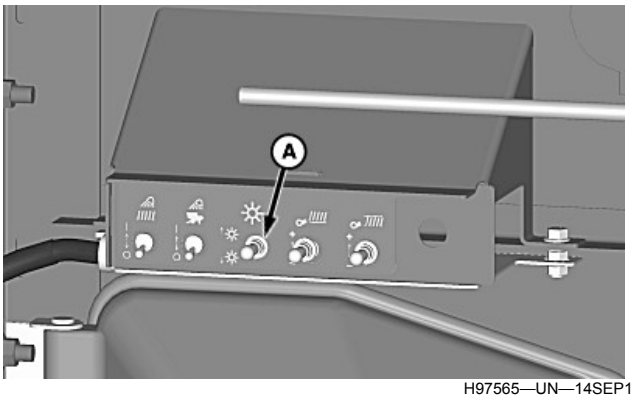
チョッパーローター (A) を右または左に配置して、すべてのブレード (B) が固定ナイフ (C) をかわした位置にあることを確認します。

両側のロッキングカラーを回転方向に締め付けて、セットボルトで固定します。

ベアリングカバーを右側に取り付けて、チョッパーシールドを左側に取り付けます。

OUO6075,00009C4-40-21SEP10

チョッパー調整スイッチ



H97565—UN—14SEP10

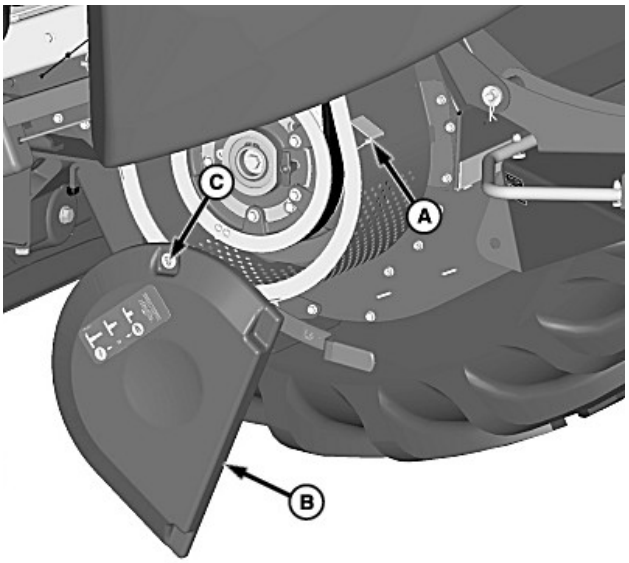
A：**チョッパースイッチ**

チョッパー調整スイッチ (A) は機械の左側にあります。

チョッパー調整スイッチを使用して、チョッパーを種々の位置に上昇・下降させることができます。

OUO6075,00009C6-40-21SEP10

チョッパードライブ速度：変更



H105440—UN—18MAY12

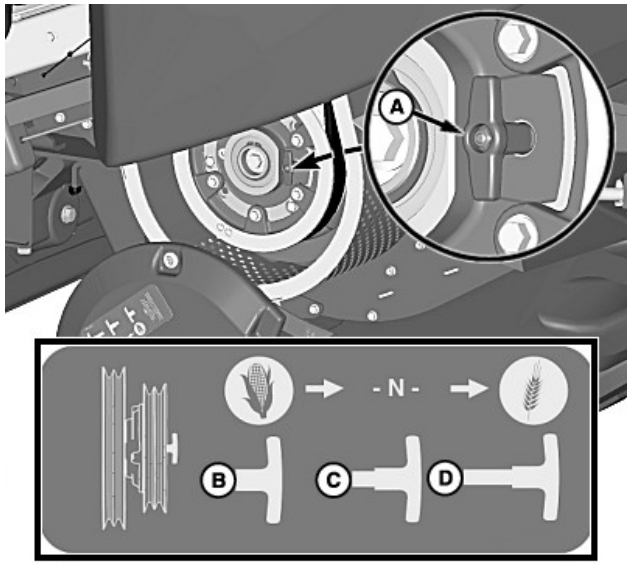
A：**ラッチ**
B：**シールド**
C：**ピボット**

⚠ 注意：**エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

ラッチ (A) を外し、ピボット (C) を中心にシールド (B) を回転させます。

低速位置：

注記： *シフターハンドルを動かしながらシーブを少し回転させる必要がある場合があります。*



H105441—UN—18MAY12

A：**シフターハンドル**
B：**低速位置**
C：**ニュートラル位置**
D：**高速位置**

シフターハンドル (A) を位置 (B) に動かします。

- トウモロコシ

ニュートラル位置：

注記： *シフターハンドルを動かしながらシーブを少し回転させる必要がある場合があります。*

シフターハンドル (A) を位置 (C) に動かします。

高速位置：

注記： *シフターハンドルを動かしながらシーブを少し回転させる必要がある場合があります。*

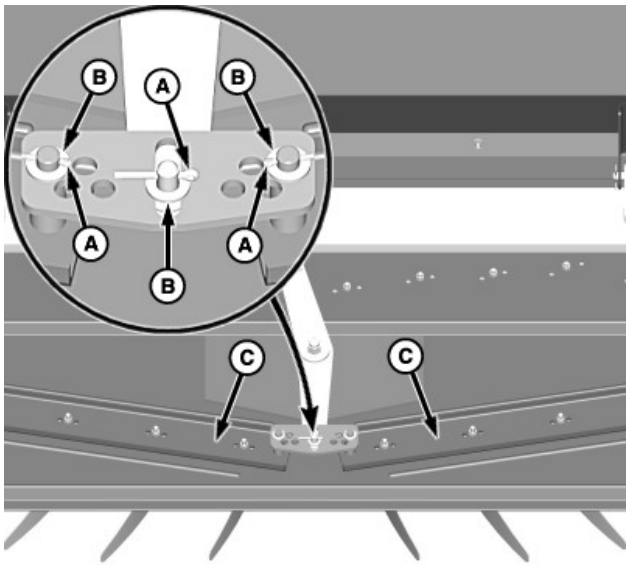
シフターハンドル (A) を位置 (D) に動かします。

- 穀物

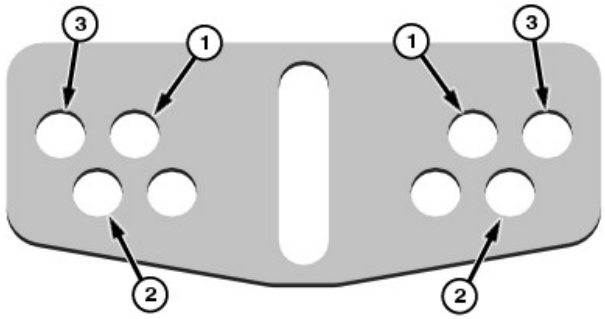
シールドを閉めてラッチで固定します。

OUO6075,000113F-40-18MAY12

尾板羽根 — 調整 (Intermediate/Premium Residue)



H98656—UN—19OCT10



H98657—UN—19OCT10

A：**コッタピン**
B：**座金**
C：**スライドガイド**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

注記： 工場設定で適切な拡散幅や均一な分散が得られない場合は、テールボード羽根を調整できます。

尾板羽根は 9.1 m (30 ft) プラットフォーム用に工場で設定されています。

コッタピン (A) と座金 (B) を取り外して保管します。

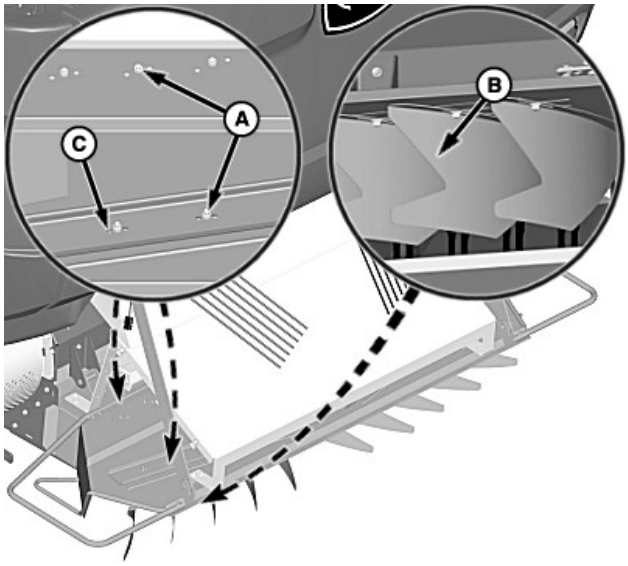
スライドガイド (C) を調整プレートの必要な穴の位置に調整します。

- 穴 1：6.7 m (22 ft) ヘッダー位置
- 穴 2：7.6 m (25 ft) ヘッダー位置
- 穴 3：9.1 m (30 ft) ヘッダー位置

前の手順で取り外した座金とコッタピンを取り付けます。

OUO6075,00041D9-40-11APR16

尾板羽根 (電気モーター) — 調整 (Intermediate/Premium Residue)



H98365—UN—30SEP10

A：**ナット**
B：**尾板羽根**
C：**穴**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

注記： 工場設定で適切な拡散幅や均一な分散が得られない場合は、尾板羽根を調整できます。

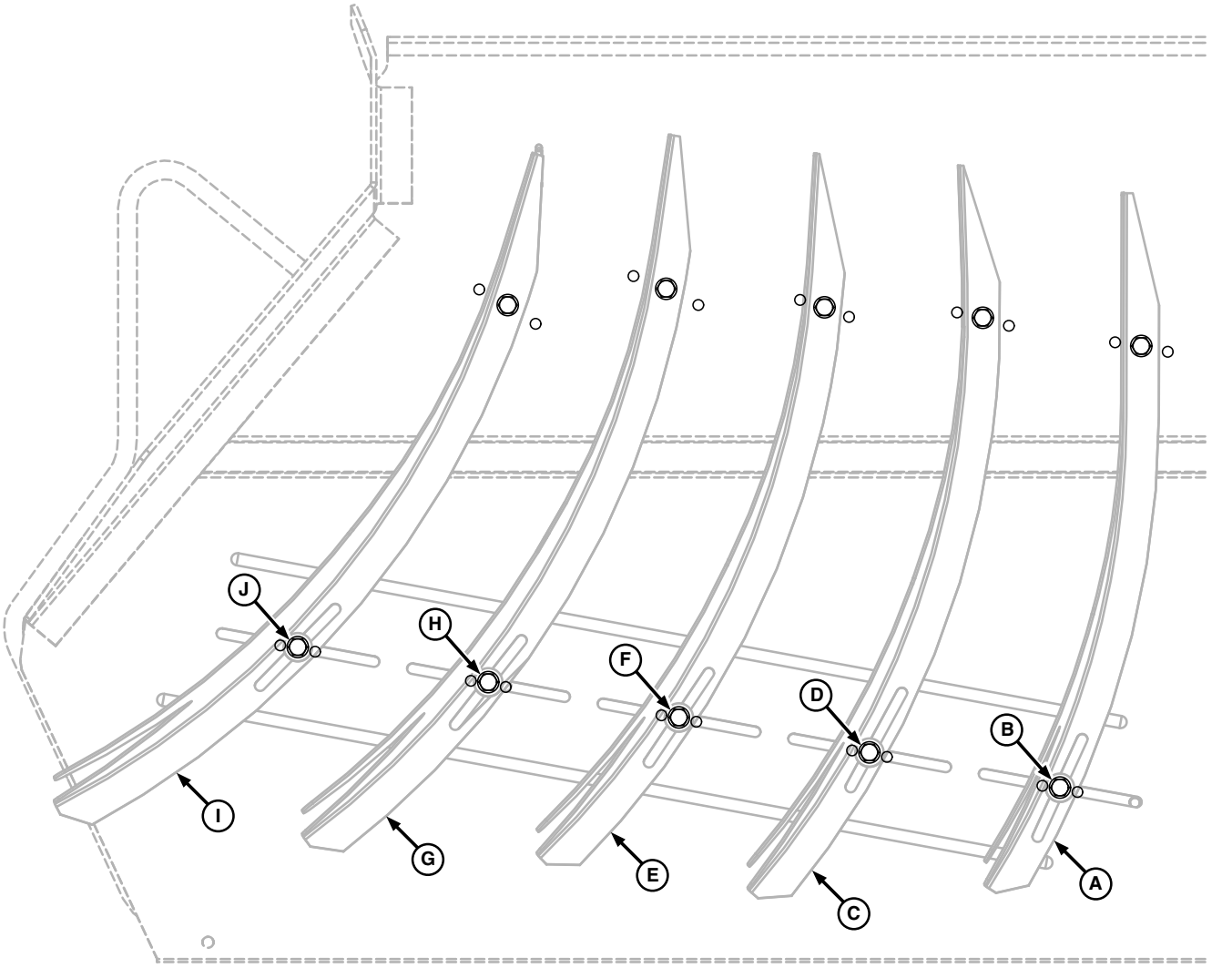
尾板羽根は 9.1 m (30 ft) プラットフォーム用に工場で設定されています。

ナット (A) を緩めて尾板羽根 (B) を必要に応じて別の穴 (C) に調整し、わら拡散幅の分布を制御します。このセクションで後述の「尾板羽根 (電動調整) — 工場出荷時の設定」を参照してください。

1. 尾板羽根のナットを締め付けます。
2. 尾板羽根の前部でナットを完全に 1 回転緩めます。
3. 尾板羽根の後部でナットを 1 回転半緩めます。
4. 尾板羽根が簡単に動かせることを確認します。
5. 残りの尾板羽根で必要に応じて手順を繰り返します。

OUO6075,0004703-40-05APR17

尾板羽根 (電動調整) — 工場設定 (Intermediate/Premium Residue)



H98343—UN—01OCT10

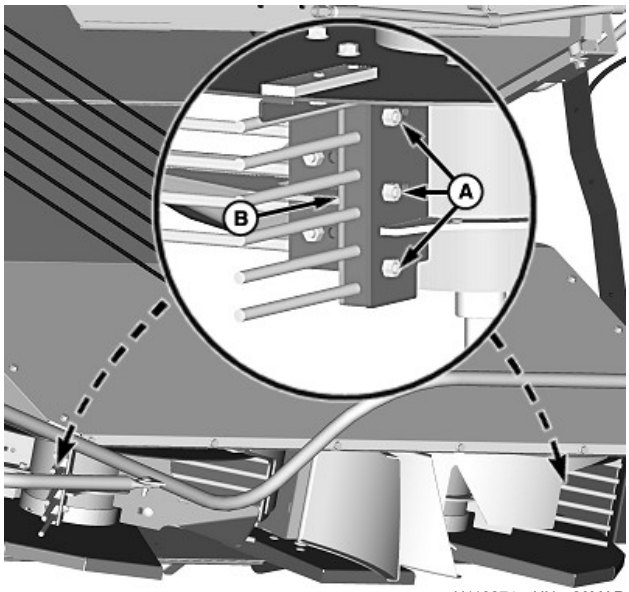
9.1 m (30 ft) プラットフォーム用の尾板羽根の設定 *(*尾板の下部から見た図*)*

A：**羽根 1**
B：**中間の穴**
C：**羽根 2**
D：**中間の穴**
E：**羽根 3**
F：**中間の穴**
G：**羽根 4**
H：**中間の穴**
I：**羽根 5**
J：**中間の穴**

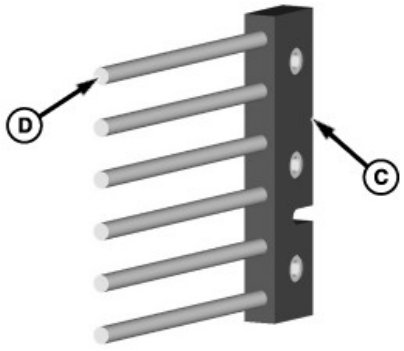
注記： 穴の位置は、尾板羽根を調整する際の尾板の中心から外側の位置を表しています。

OUO6075,00041DB-40-21MAR16

Advanced PowerCast スプレッダーディスク：交換



H113274—UN—26MAR15



H98694—UN—19OCT10

A：**金具**
B：**ブラケット**
C：**ゴムサポート**
D：**フィンガー**

⚠ 注意：**エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

金具 (A) とブラケット (B) を取り外します。

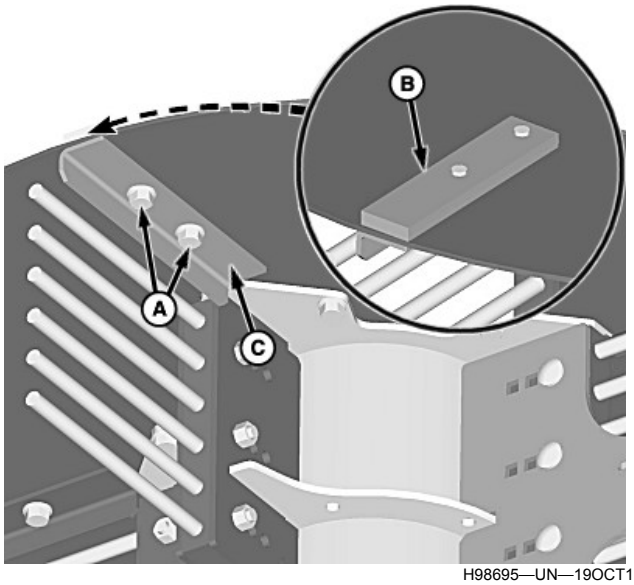
ゴムサポート (C) とフィンガー (D) を点検し、必要に応じて交換します。交換部品については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

重要：**すべてのゴムサポートを交換して、ディスクの回転バランスを維持します。**

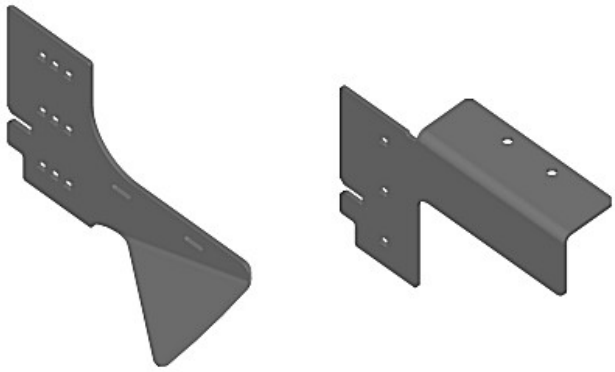
必要に応じて交換用ゴムサポートとフィンガーを取り付けます。

前に取り外したときの穴と同じ穴にゴムサポートとブラケットを取り付けていることを確認してください。

金具を締め付けて、残りのディスクブレードでも必要に応じて手順を繰り返します。



H98695—UN—19OCT10



H102241—UN—23JUN11
小粒穀物パドル / トウモロコシパドル

A：**ボルト**
B：**プレート**
C：**パドルブラケット**

ボルト (A) をプレート (B) から取り外します。

パドルブラケット (C) を点検し、必要に応じて交換します。交換部品については、John Deere取扱店にお問い合わせください。

重要：**すべてのパドルブラケットを交換して、ディスクの回転バランスを維持します。**

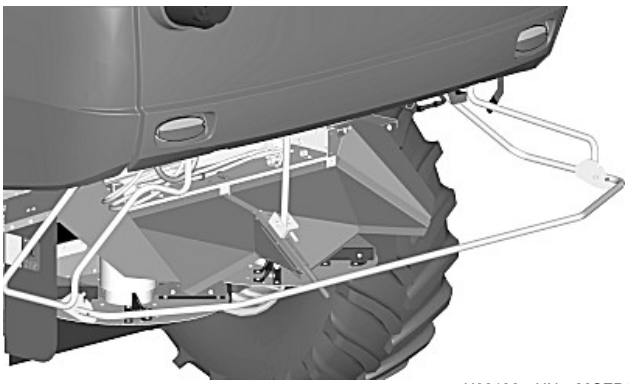
必要に応じて、交換用パドルブラケットを取り付けます。

金具を締め付けて、残りのディスクブレードでも必要に応じて手順を繰り返します。

注記：収穫している作物に必要な場合は、必要に応じて小粒穀物パドルを取り外してトウモロコシパドルを取り付けます。

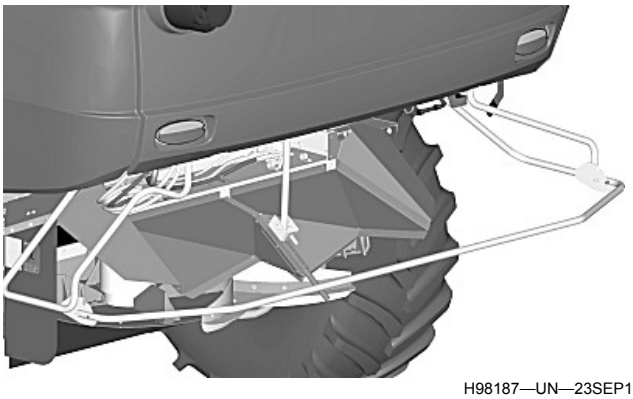
SS43267,0000592-40-26MAR15

スプレッダー (一般情報)



H98186—UN—23SEP10

シングルスピードスプレッダー



H98187—UN—23SEP10

デュアルスピードスプレッダー

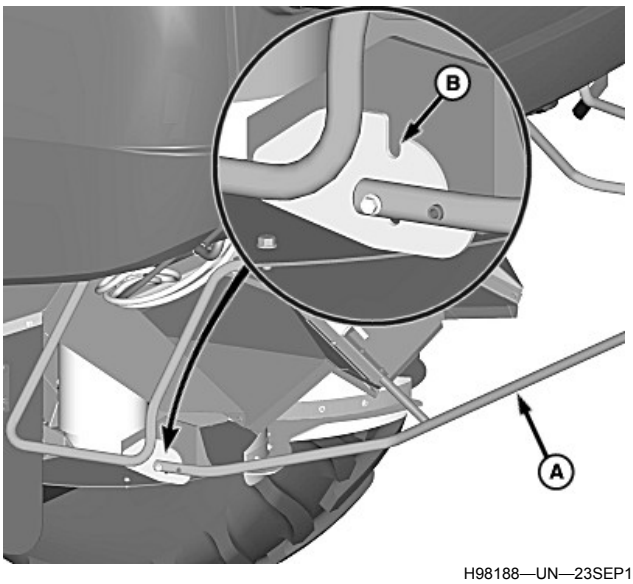
注意： **スプレッダーを運転中は、スプレッダーの背後に誰も立たせないでください。エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてからスプレッダーを調整してください。**

上昇させたスプレッダーで整備やメンテナンスを行う前に、ロックアウトピンを所定の位置に完全に挿入してください。

注記： 詳しくは、「残留物管理アプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」参照。

OUO6075,000436E-40-19DEC16

スプレッダー—ウィンドロー位置



H98188—UN—23SEP10

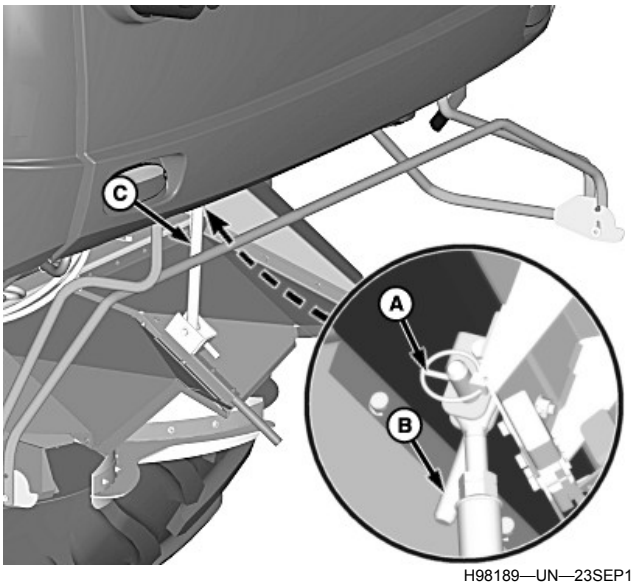
A：**スプレッダーフープ**
B：**ノッチ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。上昇させたスプレッダーで整備やメンテナンスを行う前に、ロックアウトピンを所定の位置に完全に挿入してください。**

重要： **図に示すように、運転時はスプレッダーフープを必ず「下」位置にする必要があります。**

注記： ウィンドローパターンで材料を排出させるために、スプレッダーを上に回転させることができます。

スプレッダーにアクセスするとき、またはスプレッダーをウィンドロー位置に上げるときは、ノッチ (B) と整列するまでスプレッダーフープ (A) を上げます。



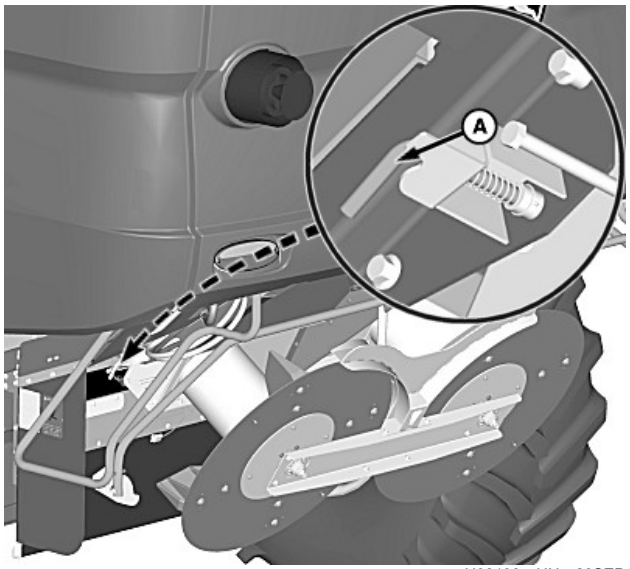
H98189—UN—23SEP10

A：**クイックロックピン**

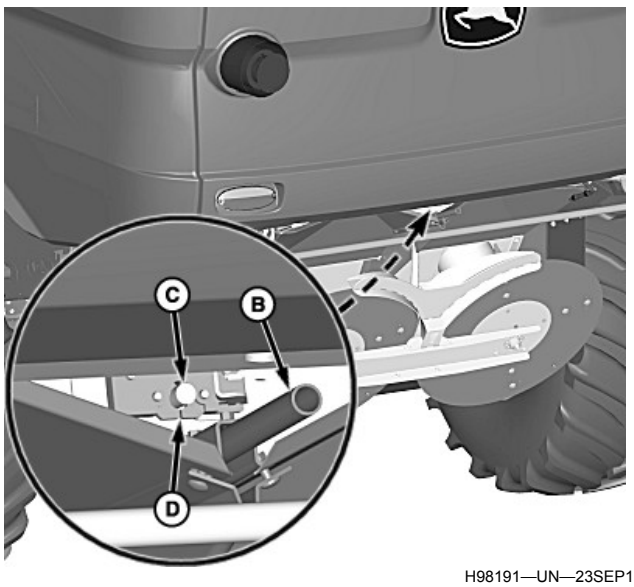
B：**ピン**
C：**サポートチューブ**

クイックロックピン (A) をピン (B) から取り外してサポートチューブ (C) を下げます。

注記： ピンを保管位置に戻してクイックロックピンで固定します。



H98190—UN—23SEP10



H98191—UN—23SEP10

A：**ピン**
B：**ハンドル**
C：**ピン**
D：**ラッチアセンブリ**

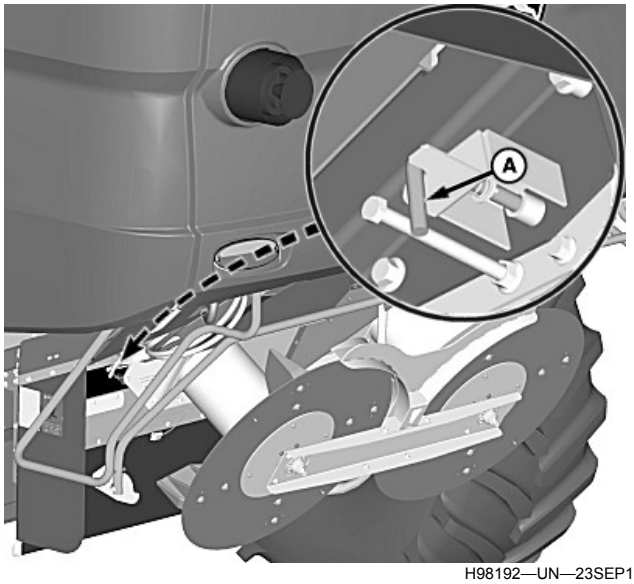
ピン (A) を引っ張り、スプレッダーを完全に上げます。

ピン (C) がラッチアセンブリ (D) と完全にかみ合うまでスプレッダーをハンドル (B) で上げます。

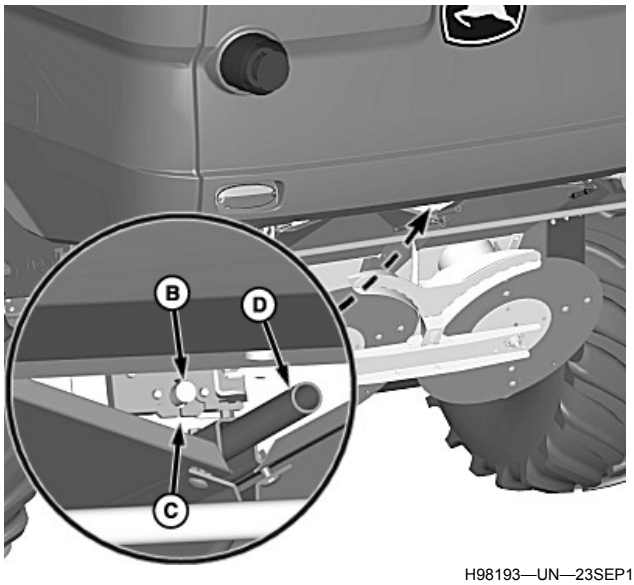
注記： スプレッダー回転速度をゼロに設定します。詳しくは、「残留物管理アプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

OUO6075,000436F-40-19DEC16

スプレッダー—下降



H98192—UN—23SEP10



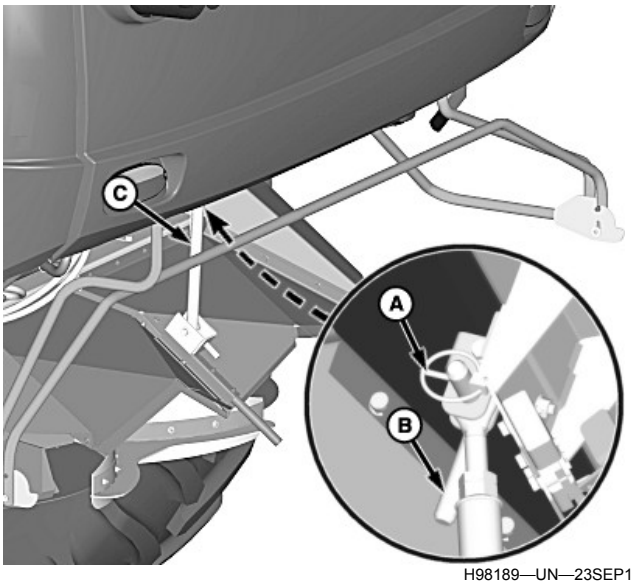
H98193—UN—23SEP10

A：**ピン**
B：**ピン**
C：**ラッチアセンブリ**
D：**ハンドル**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

ピン (A) をブラケットまで回転させて配置し、スプレッダーのロックを解除します。

ピン (B) をラッチアセンブリ (C) から外し、スプレッダーをハンドル (D) で下げます。



H98189—UN—23SEP10

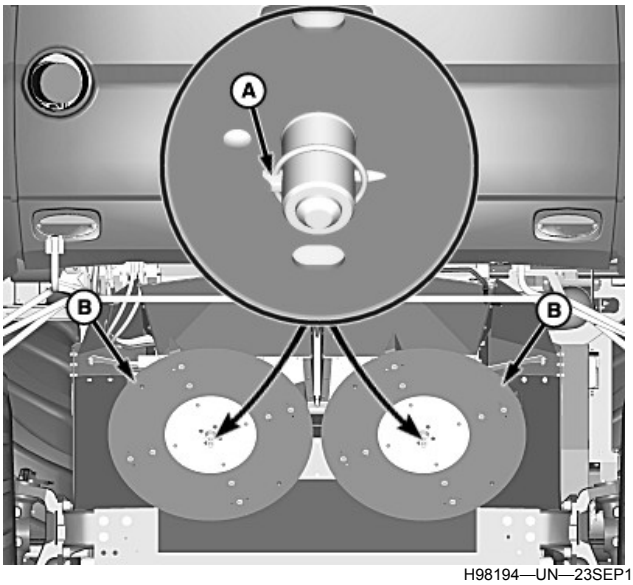
A：**クイックロックピン**
B：**ピン**
C：**サポートチューブ**

サポートチューブ (C) を穴に整列するまで上げて、ピン (B) とクイックロックピン (A) で固定します。

注記： 必要な拡散幅に達するまでスプレッダー回転速度を増やします。詳しくは、「残留物管理アプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

OUO6075,0004370-40-19DEC16

スプレッダーディスク (シングルスピード)：交換



H98194—UN—23SEP10

A：**クイックロックピン**

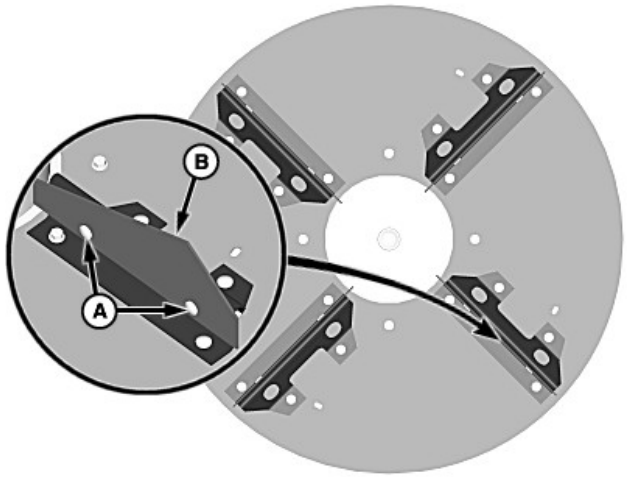
B：**ディスクアセンブリ**

注意： ディスクアセンブリの重量は約 25 kg (55 lb) です。

重要： ディスクアセンブリは左用と右用があります。取り外す前にディスクアセンブリの位置の印を付けてください。

注記： ディスクアセンブリは、整備のために、またはスプレッダーの下に追加の隙間を確保するために取り外すことができます。

クイックロックピン (A) とディスクアセンブリ (B) を取り外します。



H98197—UN—23SEP10

A：**金具**
B：**ブレード**

重要： 摩耗または破損したブレードを交換するときは、ディスクの反対側のブレードも同時に交換してディスクの回転バランスを維持してください。

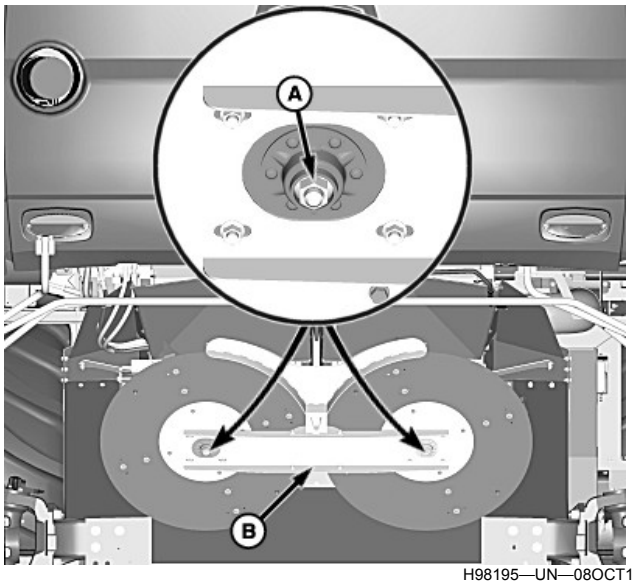
ブレードは、材料の最適な拡散が得られるように交互に変わる穴パターンで向きを設定されています。前に取り外したときの穴と同じ穴に交換用ブレードを取り付けていることを確認してください。

金具 (A) とブレード (B) を取り外します。

必要に応じて交換用ブレードを取り付けて金具を締め付けます。

OUO6075,00009D5-40-23SEP10

スプレッダーディスク (デュアルスピード)：交換



H98195—UN—08OCT10

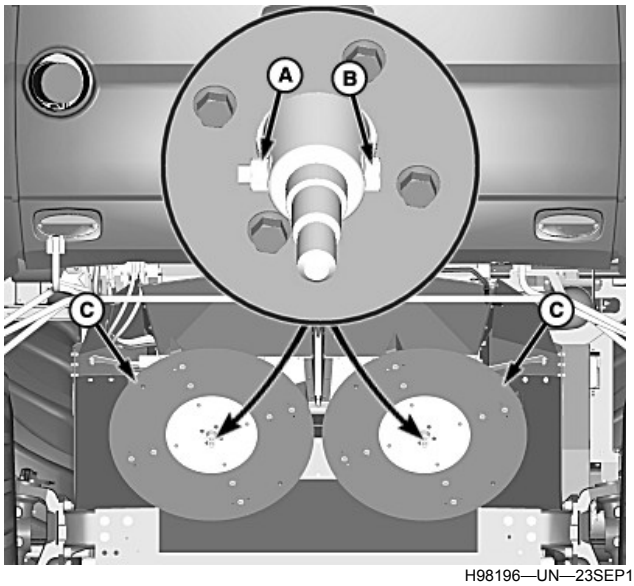
A：ナット
B：サポートシュラウド

⚠ 注意： **ディスクアセンブリの重量は約 25 kg (55 lb) です。**

重要： **ディスクアセンブリは左用と右用があります。取り外す前にディスクアセンブリの位置の印を付けてください。**

注記： ディスクアセンブリは、整備のために、またはスプレッダーの下に追加の隙間を確保するために取り外すことができます。

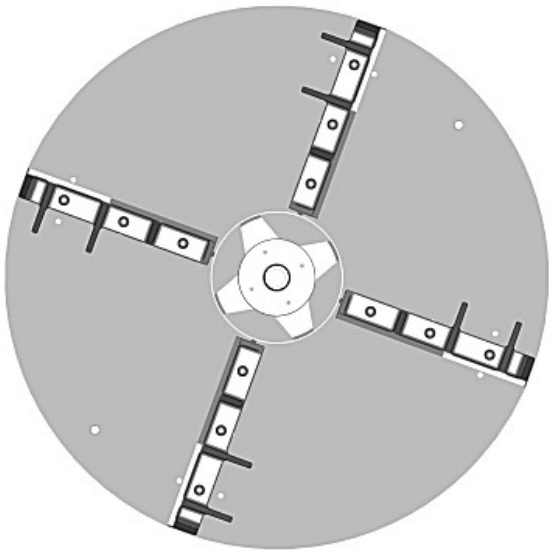
ナット (A) とサポートシュラウド (B) を取り外します。



H98196—UN—23SEP10

A：ナット
B：ボルト
C：ディスクアセンブリ

ナット (A) とボルト (B) をディスクアセンブリ (C) から取り外します。



H98198—UN—23SEP10

重要： **摩耗または破損したブレードを交換するときは、ディスクの反対側のブレードも同時に交換してディスクの回転バランスを維持してください。**

ブレードは、材料の最適な拡散が得られるように交互に変わる穴パターンで向きを設定されています。前に取り外したときの穴と同じ穴に交換用ブレードを取り付けていることを確認してください。

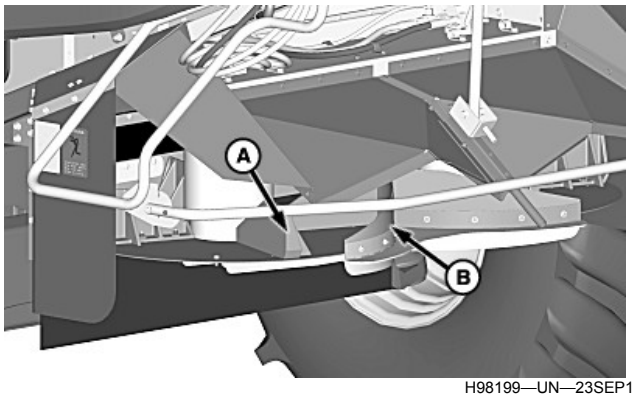
必要に応じて交換用ブレードを取り付けて金具を規定のトルクで締め付けます。

仕様

ブレード金具：トルク	22 N·m (16 lb-ft)

OUO6075,00009D6-40-23SEP10

ワイドスプレッドストロースプレッダー (オプション)



H98199—UN—23SEP10

A：ブレード
B：シュラウド

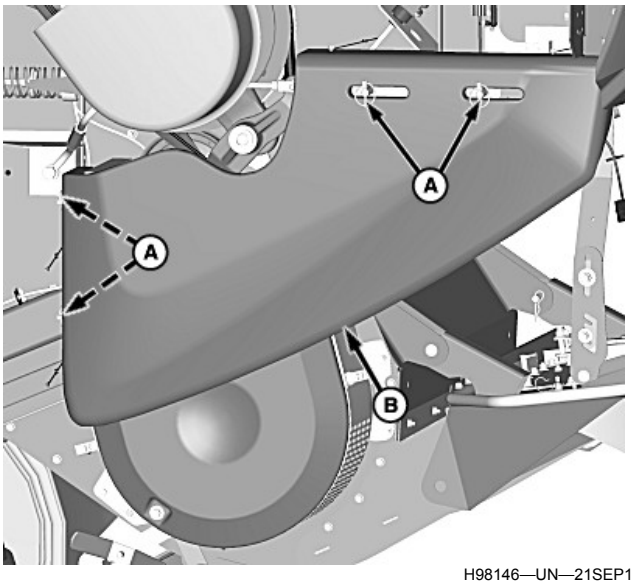
注意： スプレッダーを運転中はスプレッダーの背後に誰も立たせないでください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてからスプレッダーを調整してください。

注記： 9.1 m (30 ft) よりも小さいヘッダーまたは 12 条未満のコーンヘッドを使用して収穫するときは、最適な材料分布を確保するためにシュラウドを取り外す必要があります。

ストロースプレッダーブレード (A) およびシュラウド (B) を取り付けると、拡散幅が増加し、大型のヘッダーで材料の分布が向上します。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00009D9-40-28MAR11

チョッパードライブベルト張力：調整



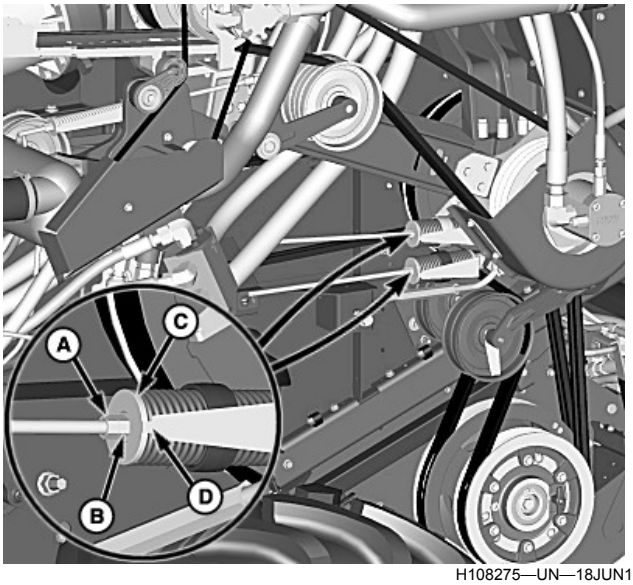
H98146—UN—21SEP10

A：**クイックロックピン**
B：**シールド**

注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記： チョッパーを完全に下ろしてベルトの張力を正しく調整します。

クイックロックピン (A) とシールド (B) を取り外します。



H108275—UN—18JUN13

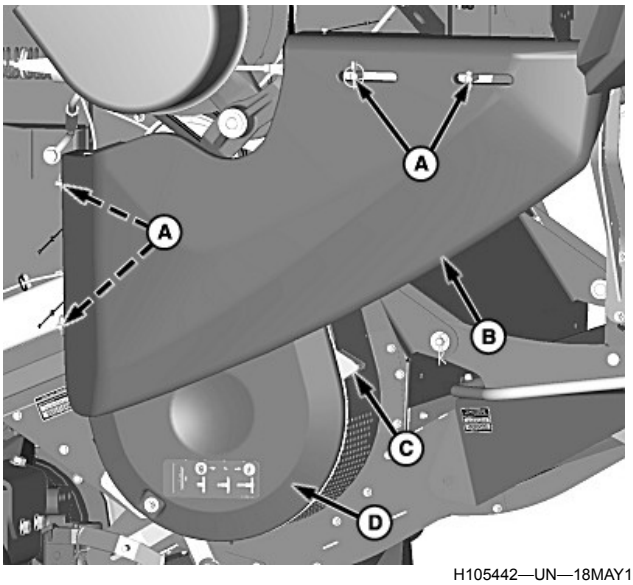
A：**ロックナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでロックナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

シールドを取り付けてクイックロックピンで固定します。

OUO6075,00013DF-40-18JUN13

チョッパーベルト：交換



H105442—UN—18MAY12

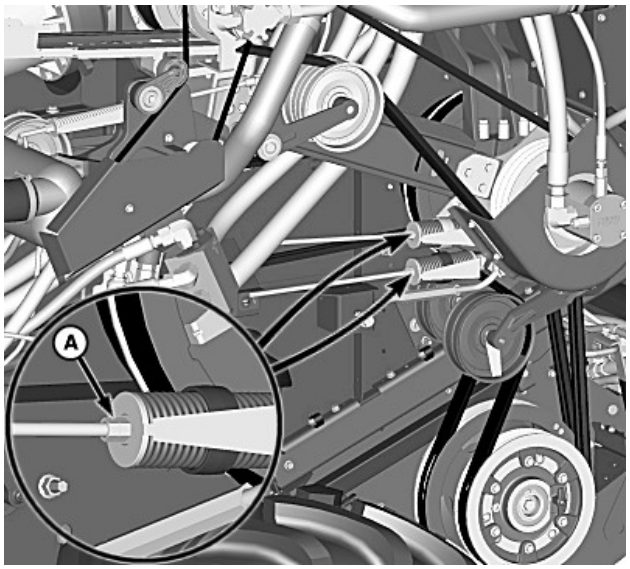
A：**クイックロックピン**
B：**シールド**
C：**ラッチ**
D：**シールド**

注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

注記： ベルトを簡単に取り付けるには、チョッパーを中間位置に動かす必要があります。

クイックロックピン (A) とシールド (B) を取り外します。

ラッチ (C) を外し、シールド (D) を回転させて外します。

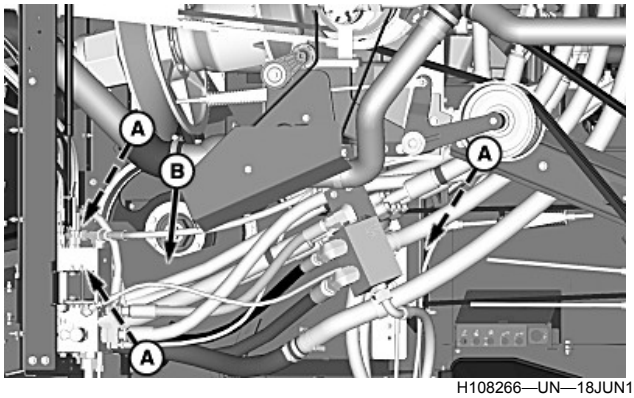


H108276—UN—18JUN13

A：**ナット**

注記： 再組み付けを容易にできるように、テンショナナットを緩める前にその位置に印を付けます。

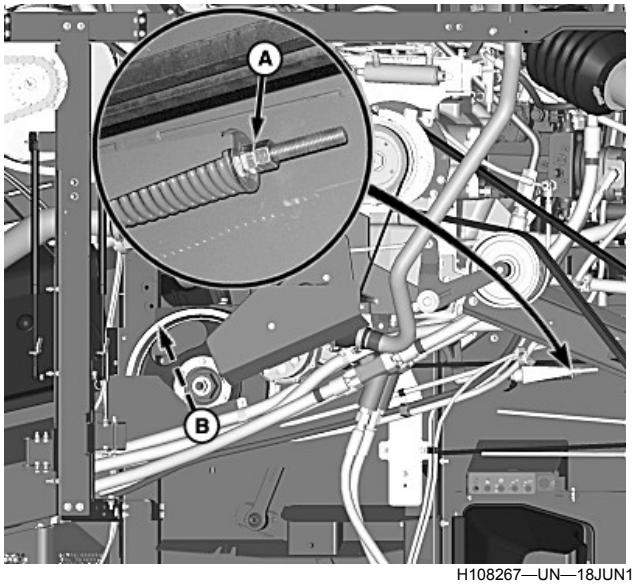
ナット (A) を緩めてベルトの張力を解放します。



H108266—UN—18JUN13

A：**ボルト**
B：**シールド**

ボルト (A) とシールド (B) を取り外します。

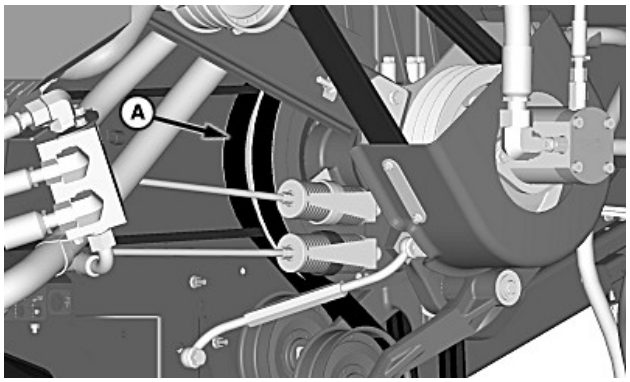


H108267—UN—18JUN13

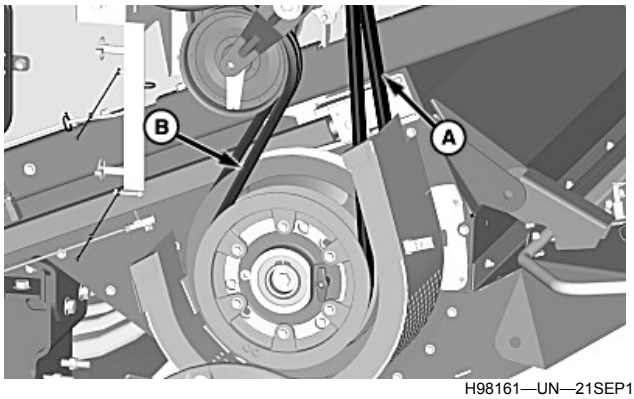
A：**ナット**
B：**ディスチャージビーターベルト**

ナット (A) を緩めてディスチャージビーターベルト (B) の張力を解放します。

内側チョッパーベルト：



H107035—UN—26FEB13



H98161—UN—21SEP10

A：**内側チョッパードライブベルト**
B：**外側チョッパードライブベルト**

注記： シーブとサイドシートの間に収まるようにベルトを回します。

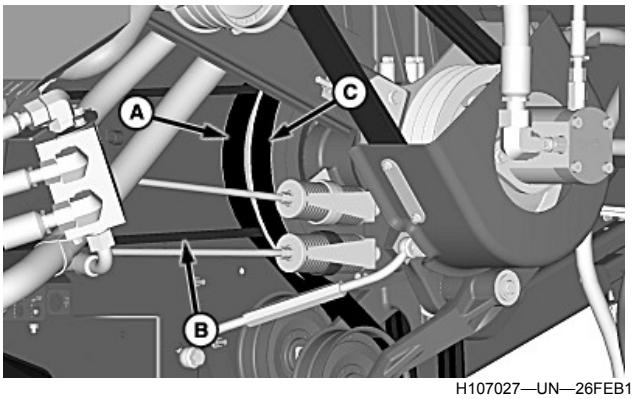
内側チョッパードライブベルト (A) を上部シーブから取り外します。

外側チョッパードライブベルト (B) を下部シーブから取り外します。

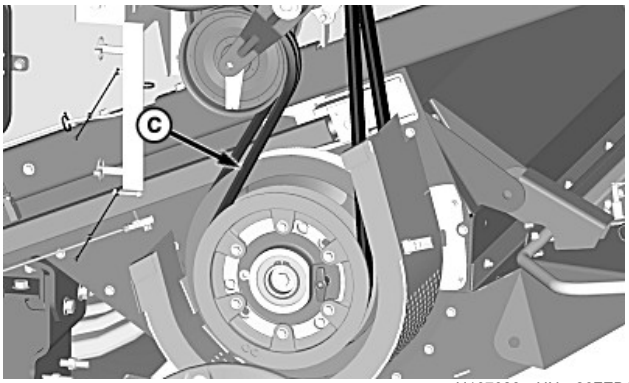
内側チョッパードライブベルトを下部シーブから取り外します。

交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

外側チョッパーベルト：



H107027—UN—26FEB13



H107028—UN—26FEB13

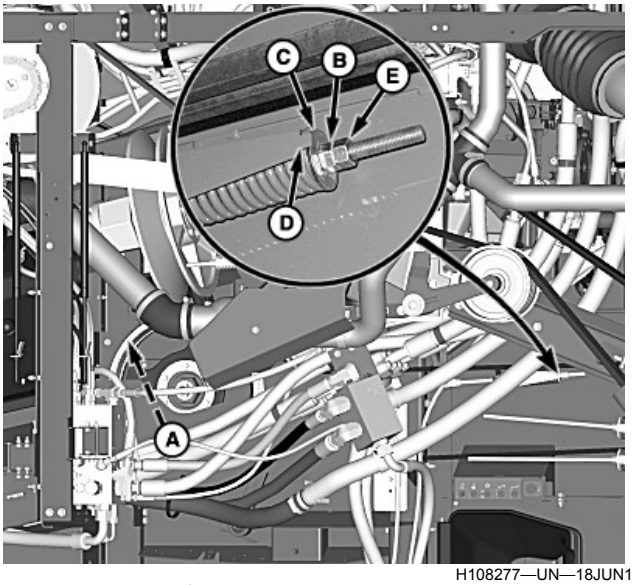
A：**内側チョッパードライブベルト**
B：**ディスチャージビーターベルト**
C：**外側チョッパードライブベルト**

注記： シーブとサイドシートの間に収まるようにベルトを回します。

内側チョッパードライブベルト (A) とディスチャージビーターベルト (B) を上部シーブから取り外します。

外側チョッパードライブベルト (C) を上部および下部シーブから取り外します。

交換用ベルトを取り外しとは逆の順に取り付けます。

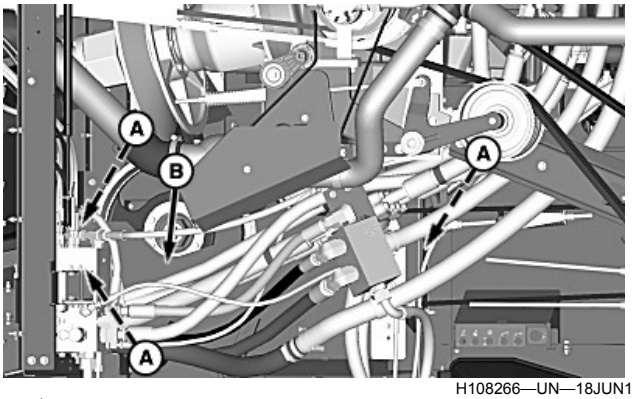


H108277—UN—18JUN13

A：**ディスチャージビーターベルト**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**
E：**ロックナット**

ディスチャージビーターベルト (A) をシーブに取り付けます。

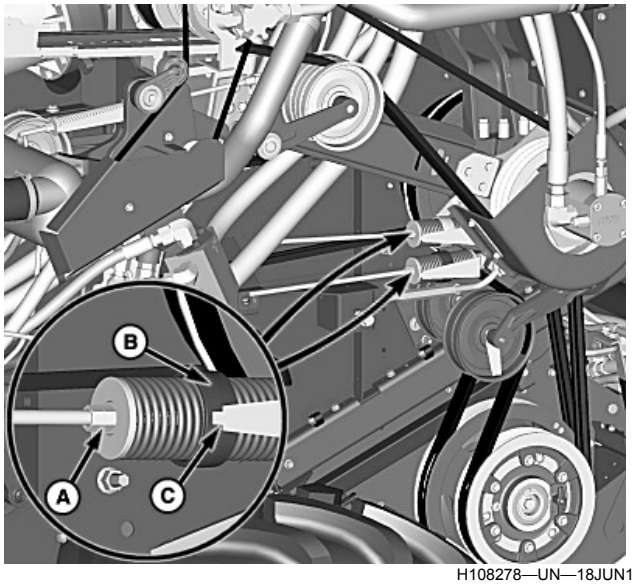
座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (B) を締め付けます。ロックナット (E) を締め付けます。



H108266—UN—18JUN13

A：**ボルト**
B：**シールド**

シールド (B) を取り付けてボルト (A) で固定します。

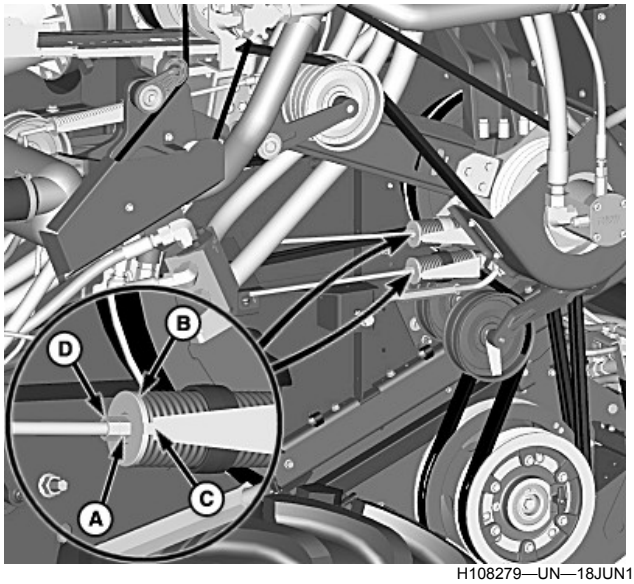


H108278—UN—18JUN13

A：**ナット**
B：**スプリングガイド**
C：**ゲージ**

チョッパーを中間の位置まで下ろします。

図に示すようにスプリングガイド (B) がゲージ (C) の端部に配置されるまでナット (A) を締め付けます。



H108279—UN—18JUN13

A：**ナット**
B：**座金**
C：**ゲージ**
D：**ロックナット**

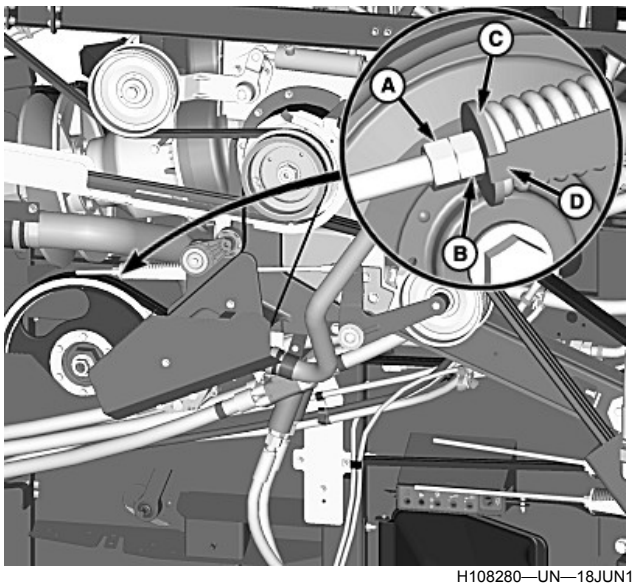
チョッパーを完全に下ろしてベルトの張力を正しく調整します。

座金 (B) がゲージ (C) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (A) を締め付けます。ロックナット (D) を締め付けます。

シールドを取り付けてクイックロックピンで固定します。

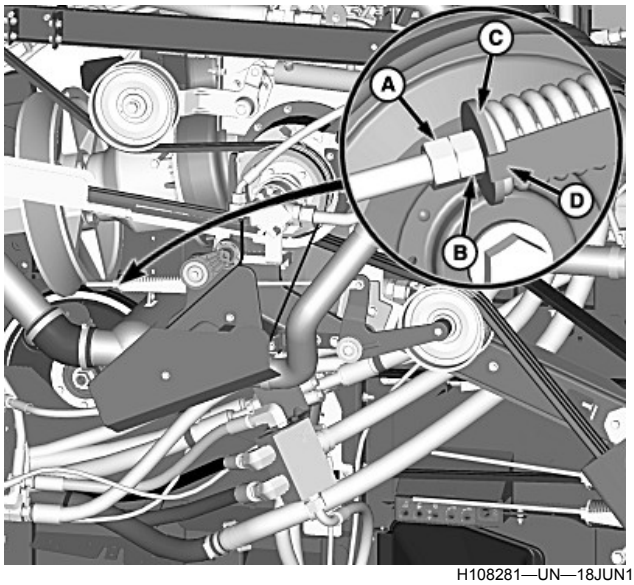
OUO6075,00013E0-40-18JUN13

チョッパージャックシャフトベルト—調整



H108280—UN—18JUN13

スタイル *A*



H108281—UN—18JUN13

スタイル *B*

A：**ロックナット**
B：**ナット**
C：**座金**
D：**ゲージ**

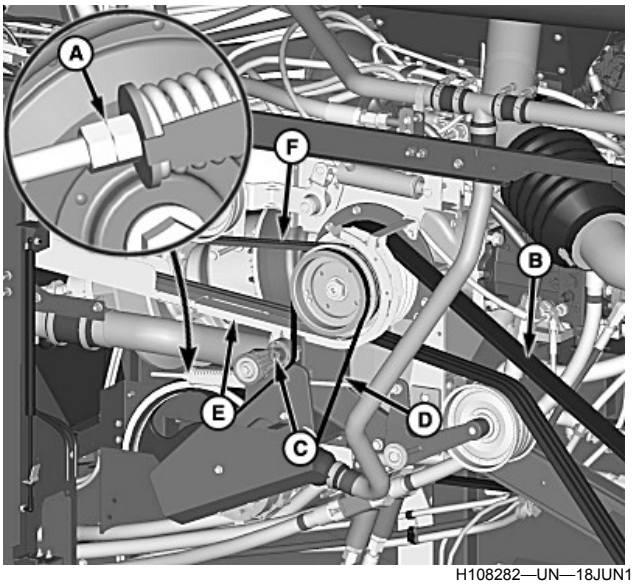
注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

チョッパージャックシャフトベルトはチョッパーの上の左側にあります。

座金 (C) がゲージ (D) の端部と段差の底部の間に配置されるまでロックナット (A) を緩めて、ナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,000436A-40-10OCT16

チョッパージャックシャフトベルト — 交換 (スタイル A)

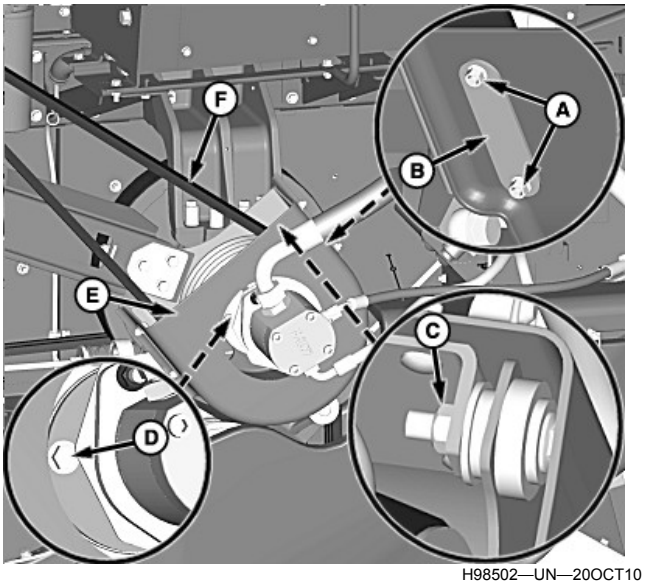


H108282—UN—18JUN13

A：**ナット**
B：**チョッパージャックシャフトベルト**
C：**テンショナアーム**
D：**エンジンデブリ管理ベルト (装備されている場合)**
E：**ベルトトラップ (2 個使用)**
F：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

1. ナット (A) を緩めてチョッパージャックシャフトベルト (B) からベルト張力を解放します。
2. ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (C) から張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (D) を取り外します。
3. キャップスクリューをベルトトラップ (E) から取り外します。
4. アンローディングオーガ駆動ベルト (F) を取り外して保管します。



H98502—UN—20OCT10

A：**金具**
B：**ストラップ**
C：**ナット**
D：**キャップスクリュー (2 本使用)**
E：**シールド**
F：**チョッパージャックシャフトベルト**

5. **油圧ポンプ付きの場合**
   a. シールドの両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。
   b. ナット (C) をポンプアセンブリブラケットから取り外します。

注記： 取り外すときは、座金とアイソレータが残っていることを確認してください。アセンブリを取り外すときは、前の手順で取り外したナットを取り付けて座金とアイソレータを固定します。

   c. キャップスクリュー (D) をポンプアセンブリから取り外します。
   d. シールド (E) とポンプアセンブリブラケットを取り外します。
   e. シールドとポンプアセンブリブラケットを邪魔にならない位置に支持します。
   f. ジャックシャフトベルト (F) を上部および下部シーブから取り外します。
   g. 取り外しとは逆順に交換用ベルトを取り付けます。

注記： ポンプアセンブリのシャフトキーをシーブのキー溝と整列させます。座金とアイソレータがポンプアセンブリブラケットに残っていることを確認してください。

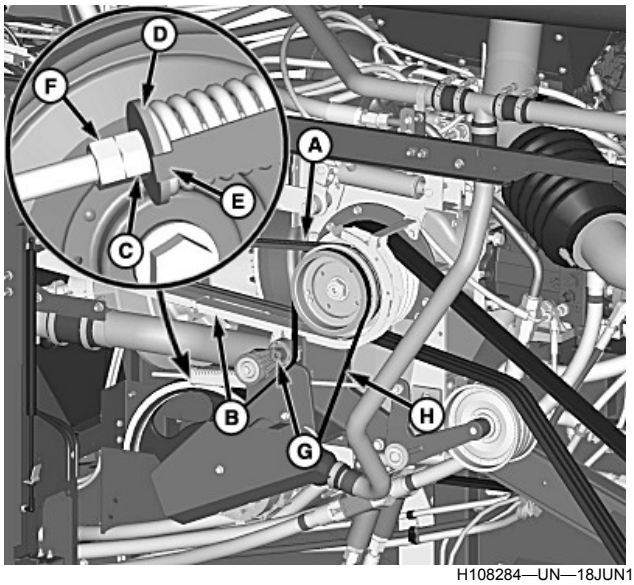
   h. ポンプアセンブリをシーブと整列させて、キャップスクリューを規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 80 N·m (59 lb·ft)

i. シールドとポンプアセンブリブラケットを取り付けてナットで固定します。

j. ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。



H108284—UN—18JUN13

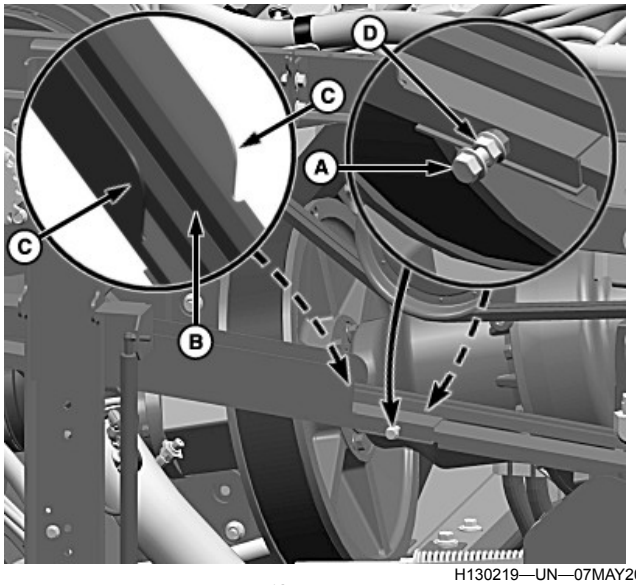
A：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**
B：**ベルトトラップ (2 個使用)**
C：**ナット**
D：**座金**
E：**ゲージ**
F：**ロックナット**
G：**テンショナアーム**
H：**エンジンデブリ管理ベルト (装備されている場合)**

k. アンローディングオーガ駆動ベルト (A) を取り付けます。

l. ベルトトラップ (B) を取り付けてキャップスクリューで固定します。

m. 座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

n. ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (H) を取り付けます。



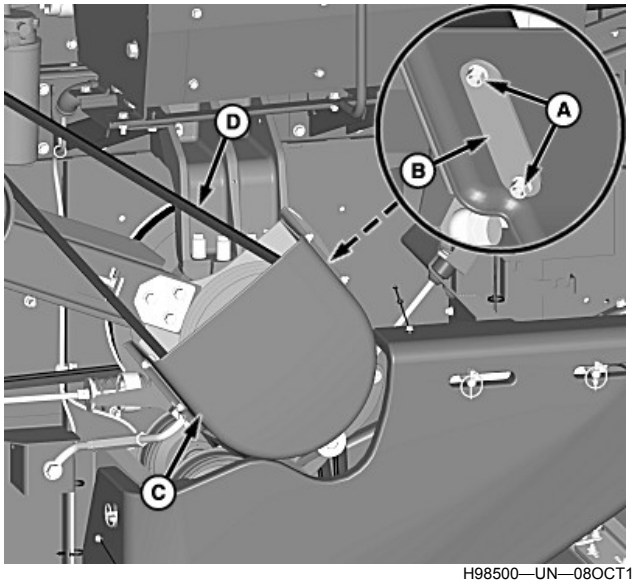
H130219—UN—07MAY20

A：**キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**
C：**ベルトトラップ**
D：**ナット (2 個使用)**

注記： ねじロック剤とシーラー (中強度) をベルトトラップの溶接付けナットに塗ります。

o. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ (C) 間の中心に配置されるようにキャップスクリュー (A) を調整します。

p. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ間の中心に配置されたら、ナット (D) を締め付けます。



H98500—UN—08OCT10

A：**金具**
B：**ストラップ**
C：**シールド**
D：**チョッパージャックシャフトベルト**

油圧ポンプなしの場合

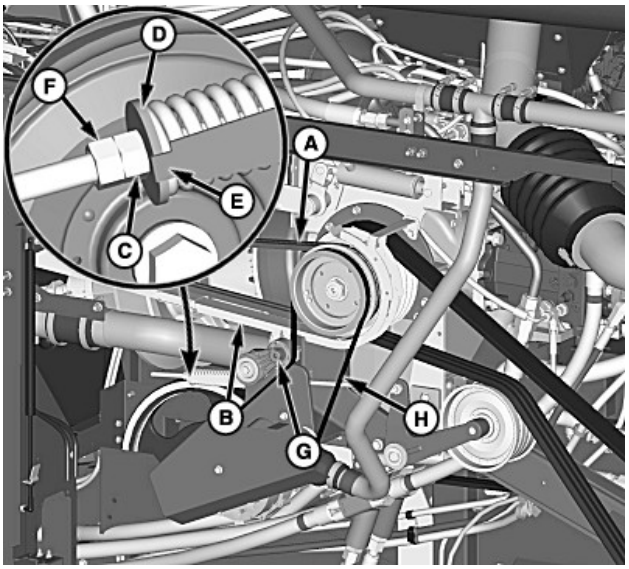
a. シールド (C) の両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。

b. ジャックシャフトベルト (D) を上部および下部シーブから取り外します。

c. 取り外しとは逆順に交換用ベルトを取り付けます。

d. シールドをブラケットの穴に整列させます。

e. ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。



H108285—UN—18JUN13

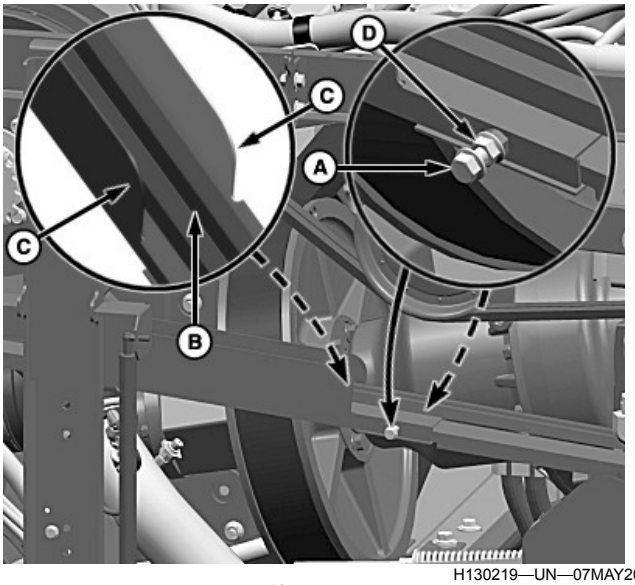
A：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**
B：**ベルトトラップ (2 個使用)**
C：**ナット**
D：**座金**
E：**ゲージ**
F：**ロックナット**
G：**テンショナアーム**
H：**エンジンデブリ管理ベルト (装備されている場合)**

f. アンローディングオーガ駆動ベルト (A) を取り付けます。

g. ベルトトラップ (B) を取り付けてキャップスクリューで固定します。

h. 座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

i. ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (H) を取り付けます。



H130219—UN—07MAY20

A：**キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**
C：**ベルトトラップ**
D：**ナット (2 個使用)**

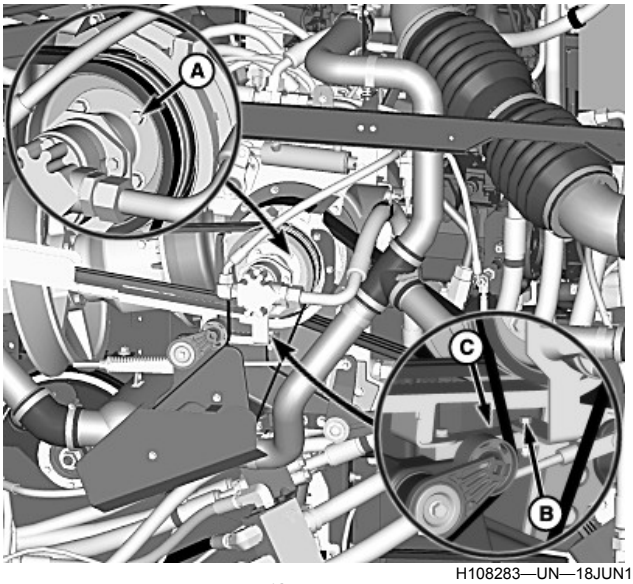
注記： ねじロック剤とシーラー (中強度) をベルトトラップの溶接付けナットに塗ります。

j. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ (C) 間の中心に配置されるようにキャップスクリュー (A) を調整します。

k. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ間の中心に配置されたら、ナット (D) を締め付けます。

OUO6075,0004E35-40-08JUL20

チョッパージャックシャフトベルト — 交換 (スタイル B)



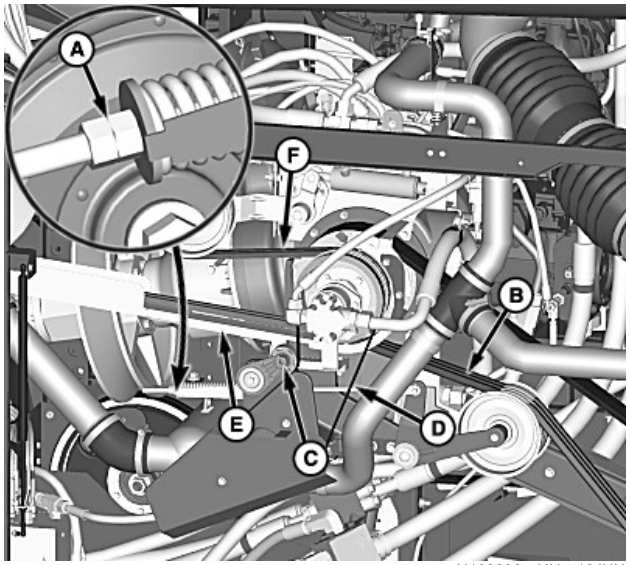
H108283—UN—18JUN13

A：**キャップスクリュー (4 本使用)**

B：**金具**
C：**アイソレータストラップ**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

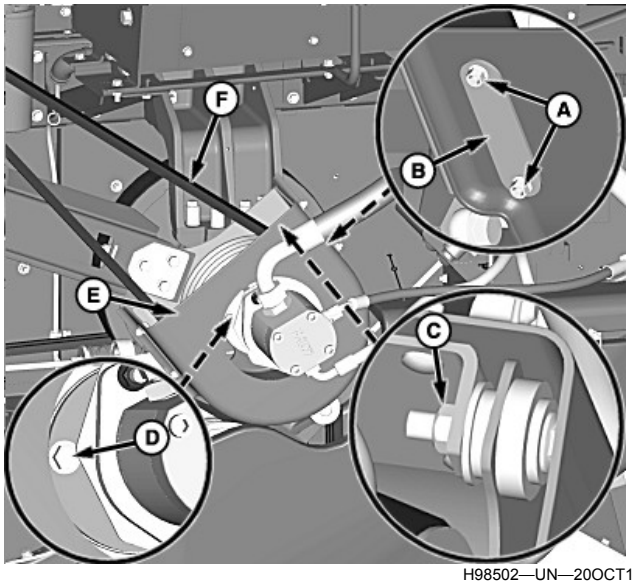
1. キャップスクリュー (A) と金具 (B) を絶縁ストラップ (C) から取り外します。
2. ポンプアセンブリを取り外して、邪魔にならない位置に支持します。



H108286—UN—18JUN13

A：**ナット**
B：**チョッパージャックシャフトベルト**
C：**テンショナアーム**
D：**エンジンデブリ管理ベルト (装備されている場合)**
E：**ベルトトラップ (2 個使用)**
F：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**

3. ナット (A) を緩めてチョッパージャックシャフトベルト (B) からベルト張力を解放します。
4. ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (C) から張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (D) を取り外します。
5. キャップスクリューをベルトトラップ (E) から取り外します。
6. アンローディングオーガ駆動ベルト (F) を取り外して保管します。



H98502—UN—20OCT10

A：**金具**
B：**ストラップ**
C：**ナット**
D：**キャップスクリュー (2 本使用)**
E：**シールド**
F：**チョッパージャックシャフトベルト**

7. **油圧ポンプ付きの場合**
   a. シールド (C) の両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。
   b. ナット (C) をポンプアセンブリブラケットから取り外します。

注記： 取り外すときは、座金とアイソレータが残っていることを確認してください。アセンブリを取り外すときは、前の手順で取り外したナットを取り付けて座金とアイソレータを固定します。

   c. キャップスクリュー (D) をポンプアセンブリから取り外します。
   d. シールド (E) とポンプアセンブリブラケットを取り外します。
   e. シールドとポンプアセンブリブラケットを邪魔にならない位置に支持します。
   f. ジャックシャフトベルト (F) を上部および下部シーブから取り外します。
   g. 取り外しとは逆順に交換用ベルトを取り付けます。

注記： ポンプアセンブリのシャフトキーをシーブのキー溝と整列させます。座金とアイソレータがポンプアセンブリブラケットに残っていることを確認してください。

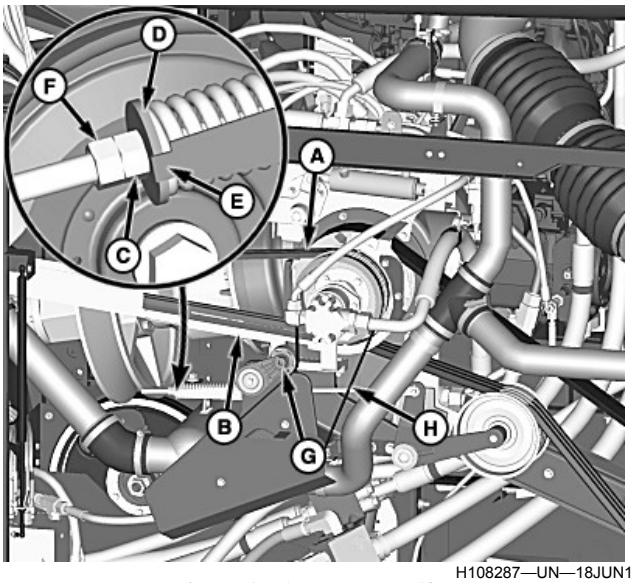
   h. ポンプアセンブリをシーブと整列させて、キャップスクリューを規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 80 N·m (59 lb·ft)

i. シールドとポンプアセンブリブラケットを取り付けてナットで固定します。

j. ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。



H108287—UN—18JUN13

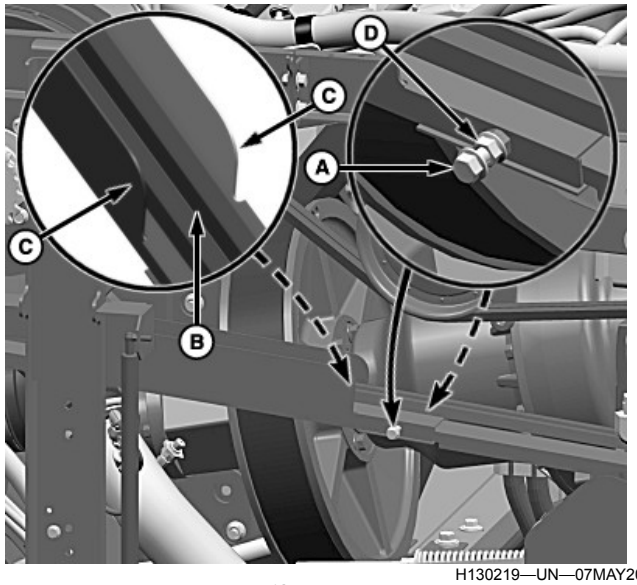
A：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**
B：**ベルトトラップ (2 個使用)**
C：**ナット**
D：**座金**
E：**ゲージ**
F：**ロックナット**
G：**テンショナアーム**
H：**エンジンデブリ管理ベルト (装備されている場合)**

k. アンローディングオーガ駆動ベルト (A) を取り付けます。

l. ベルトトラップ (B) を取り付けてキャップスクリューで固定します。

m. 座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

n. ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (H) を取り付けます。



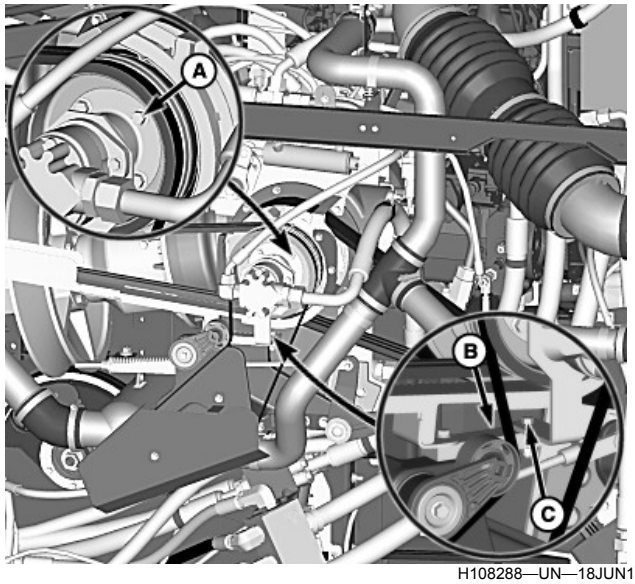
H130219—UN—07MAY20

A：**キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**
C：**ベルトトラップ**
D：**ナット (2 個使用)**

注記： ねじロック剤とシーラー (中強度) をベルトトラップの溶接付けナットに塗ります。

o. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ (C) 間の中心に配置されるようにキャップスクリュー (A) を調整します。

p. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ間の中心に配置されたら、ナット (D) を締め付けます。



H108288—UN—18JUN13

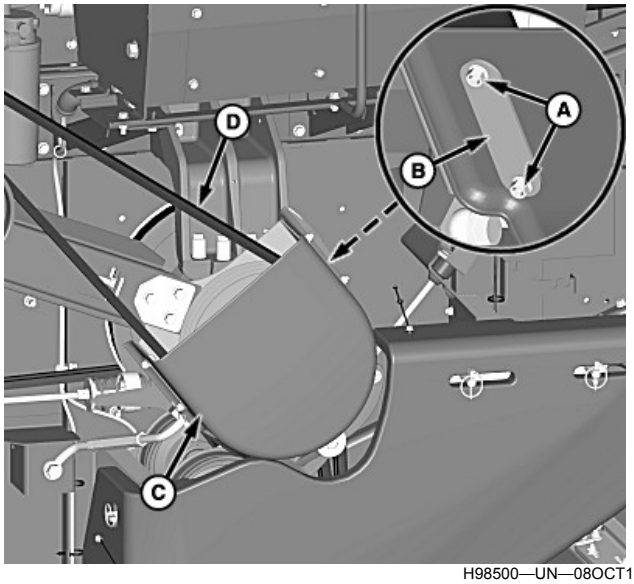
A：**キャップスクリュー (4 本使用)**
B：**アイソレータストラップ**
C：**金具**

q. ポンプアセンブリをシーブと整列させて、キャップスクリューを規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 80 N·m (59 lb·ft)

r. アイソレータストラップ (B) を取り付けて金具 (C) で固定します。



H98500—UN—08OCT10

A：**金具**
B：**ストラップ**
C：**シールド**
D：**チョッパージャックシャフトベルト**

油圧ポンプなしの場合

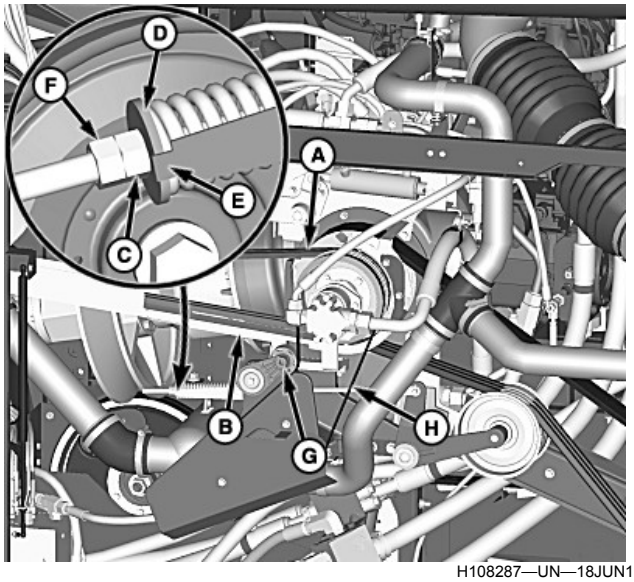
a. シールド (C) の両側の金具 (A) とストラップ (B) を取り外します。

b. ジャックシャフトベルト (D) を上部および下部シーブから取り外します。

c. 取り外しとは逆順に交換用ベルトを取り付けます。

d. シールドをブラケットの穴に整列させます。

e. ストラップをシールドの両側に取り付けて金具で固定します。



H108287—UN—18JUN13

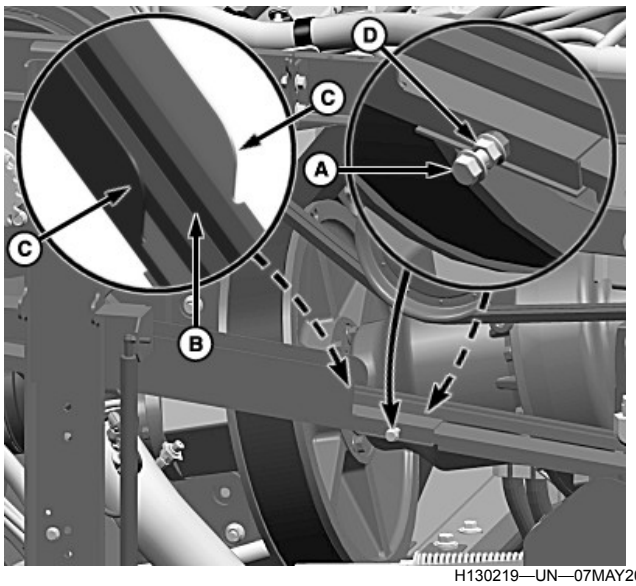
A：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**
B：**ベルトトラップ (2 個使用)**
C：**ナット**
D：**座金**
E：**ゲージ**
F：**ロックナット**
G：**テンショナアーム**
H：**エンジンデブリ管理ベルト (装備されている場合)**

f. アンローディングオーガ駆動ベルト (A) を取り付けます。

g. ベルトトラップ (B) を取り付けてキャップスクリューで固定します。

h. 座金 (D) がゲージ (E) の端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。ロックナット (F) を締め付けます。

i. ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (G) から張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (H) を取り付けます。



H130219—UN—07MAY20

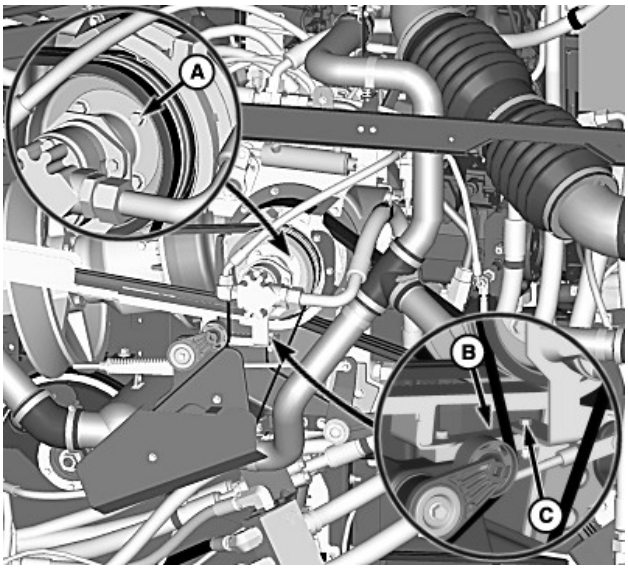
A：**キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**

C：**ベルトトラップ**
D：**ナット (2 個使用)**

注記： ねじロック剤とシーラー (中強度) をベルトトラップの溶接付けナットに塗ります。

j. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ (C) 間の中心に配置されるようにキャップスクリュー (A) を調整します。

k. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ間の中心に配置されたら、ナット (D) を締め付けます。



H108288—UN—18JUN13

A：**キャップスクリュー (4 本使用)**
B：**アイソレータストラップ**
C：**金具**

l. ポンプアセンブリをシーブと整列させて、キャップスクリューを規定のトルクで締め付けます。

仕様

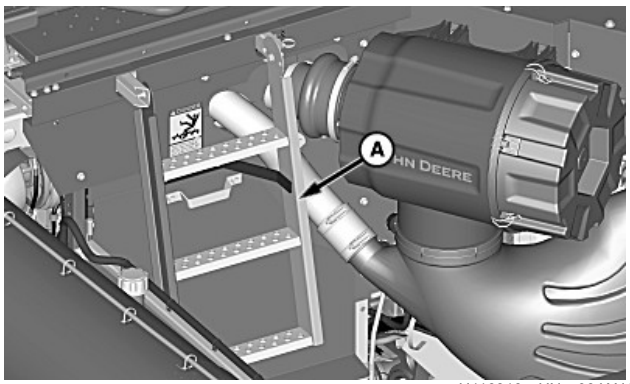
キャップスクリュー：トルク. . . . . 80 N·m (59 lb·ft)

m. アイソレータストラップ (B) を取り付けて金具 (C) で固定します。

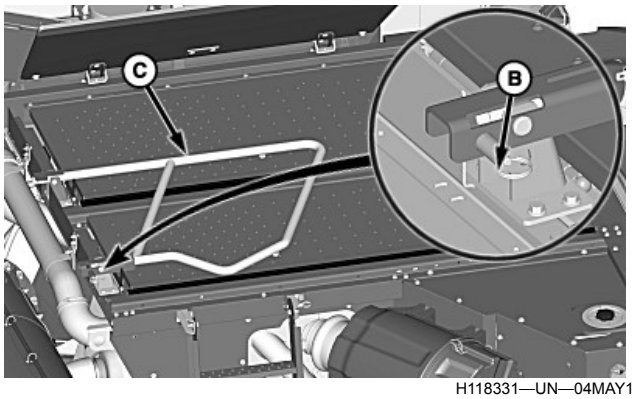
OUO6075,0004E36-40-08JUL20

グレンタンクとアンローディングシステム

グレインタンク / エンジンタラップ



H116816—UN—06JAN16



H118331—UN—04MAY16

A：**タラップ**
B：**ロックアウトピン**
C：**手すり**

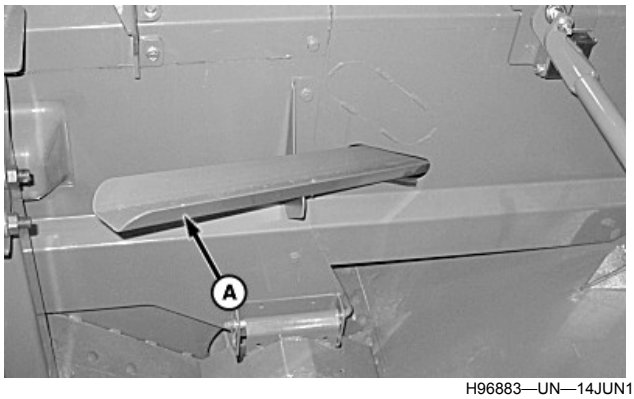
注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

タラップ (A) を使用してグレンタンクにアクセスします。

ロックアウトピン (B) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (C) を回します。

OUO6075,00041C2-40-04MAY16

グレインタンクサンプルトラフ



H96883—UN—14JUN10

H96884—UN—14JUN10

A：**サンプルトラフ**
B：**ドア**

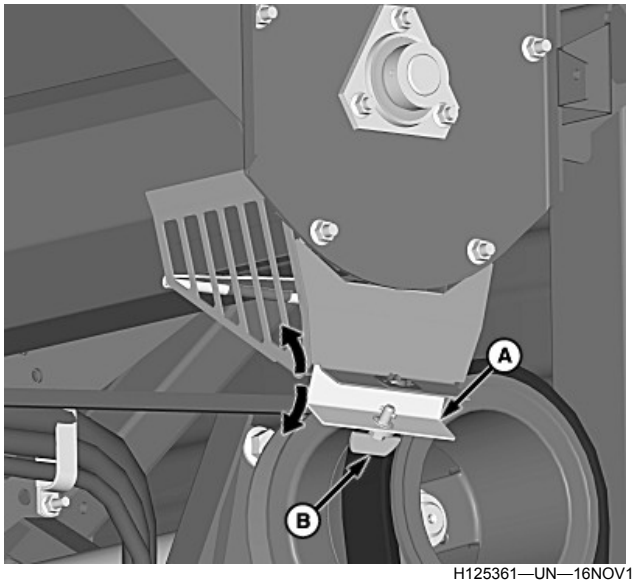
1. グレンタンクサンプルトラフ (A) を使用して、収穫した作物のサンプルをグレンタンクに入らないでローディングオーガから取り出すことができます。
2. 収穫した作物でいっぱいの機械の場合、多機能レバーをニュートラル位置に動かして駐車ブレーキをかけます。
3. ヘッダーとセパレータの接続を解除します。

注意： **他の人がグレンタンクサンプルの点検を実行しないようにしてください。**

4. ドア (B) を開きます。収穫した作物のサンプルがグレンタンクトラフの下端から出てきます。

OUO6075,0004FAD-40-14MAY21

グレンタンククリーンアウトドア



H125361—UN—16NOV18

A：**クリーンアウトドア (2 箇所)**
B：**掛け金ラッチ (2 個使用)**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

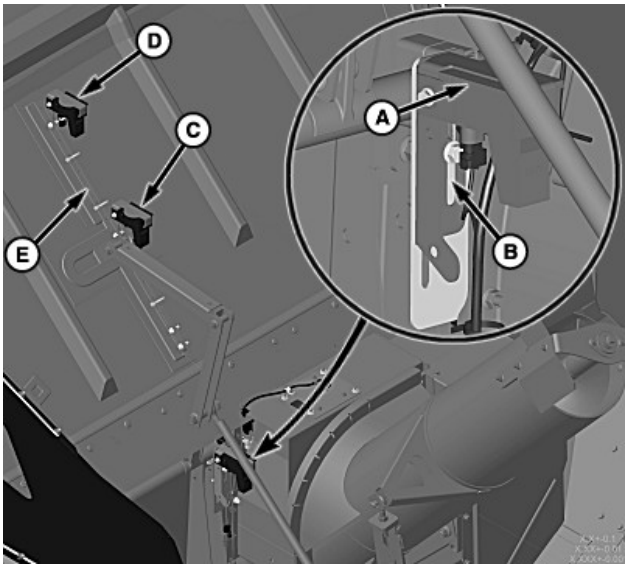
クリーンアウトドア (A) は、両方のグレンタンククロスオーガの右端にあります。

これらのクリーンアウトドアは、保管中、またはグレンタンクの清掃時に開く必要があります。

掛け金ラッチ (B) を解放して、クリーンアウトドアを下げて両方のクロスオーガトラフから離します。

OUO6075,0004A4A-40-16NOV18

グレンタンク充満センサー — 調整



H123556—UN—21FEB18

A：**3/4 満杯センサー**
B：**スロット**
C：**3/4 満杯センサー (オプション位置)**
D：**4/4 満杯センサー**
E：**穴**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

注記： ブザーを鳴らすには、ヘッダー駆動装置を接続する必要があります。

グレンタンク 3/4 満杯センサー：

3/4 満杯センサー (A) はクリーングレンローディングオーガの前側または右グレンタンクカバーにあります。低流動性作物条件で運転している場合は、グレンタンクセンサー (C) を右グレンタンクカバーの最下部の穴に移動できます。

センサーをスロット (B) の高い位置または低い位置または穴 (E) に調整して、スイッチの「トリップ」ポイントを調整します。センサーを高い位置に取り付けると、ブザーが鳴るときのグレインタンクの量が増えます。

穀粒がセンサーに達すると、ディスプレイにグレインタンク 3/4 満杯アイコンが表示されます。

グレインタンクが 3/4 までいっぱいになると、ビーコンライトが点灯して、グレインタンクが満杯近くに達していることをグレインカートオペレータに知らせます。

グレンタンク 4/4 満杯センサー：

グレンタンク 4/4 満杯センサー (D) は右グレンタンクエクステンションまたはグレンタンクカバーにあります。

グレンがセンサーに達すると、ディスプレイにグレンタンク 4/4 満杯アイコンが表示されます。

センサーを穴 (E) の高い位置または低い位置に調整して、スイッチの「トリップ」ポイントを調整します。センサーを高い位置に取り付けると、ブザーが鳴るときのグレインタンクの量が増えます。

OUO6075,00048B8-40-21FEB18

グレインタンクカバー (装備されている場合)：操作

H96897—UN—15JUN10

H115016—UN—22MAR16

折りたたみボタン

注意： **機械を車道で輸送する前に、グレンタンクカバーを閉めて、アンテナをキャブルーフにフックで固定する必要があります。低く垂れ下がっている電力線や木の大枝に接触しないでください。**

重要： **グレンタンクカバーを折りたたむ前に、グレンタンクを空にする必要があります。**

注記： セパレータを接続するには、グレンタンクカバーをいっぱいまで開く必要があります。

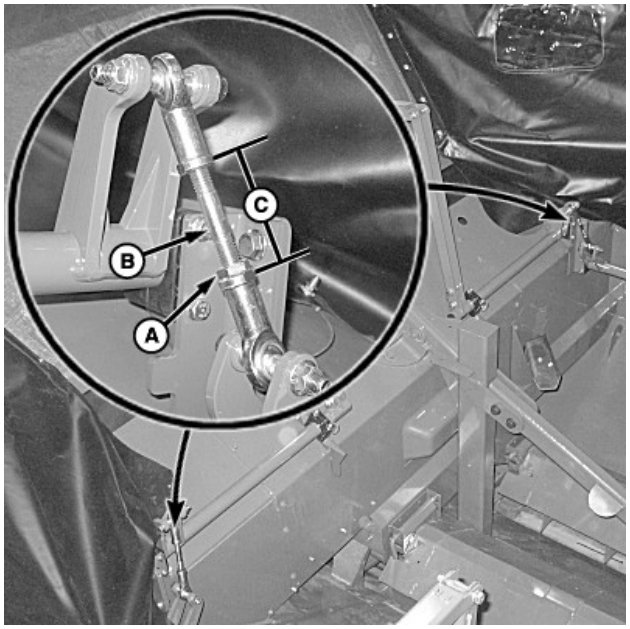
グレンタンクカバーを開くと、クリーングレンローディングオーガが上昇します。カバーを閉めると、オーガは下がります。

ナビゲーションバーの「折りたたみ」ボタンを押します。グレンタンクカバーの上昇または下降については、「折りたたみアプリケーションのヘルプ」または

「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

OUO6075,0004373-40-25JAN17

グレインタンクカバー (装備されている場合)：調整



H96901—UN—15JUN10

A：**ナット**
B：**ボルト**
C：**標準距離、64 mm (2-1/2 in)**

注記：機械の左側にあるターンバックルのみを調整します。機械の右側のターンバックルは調整できません。

グレインタンクカバーを完全に上げます。

図に示すようにターンバックルの間で通常の距離 (C) が得られるまで、ナット (A) と調整ボルト (B) を緩めます。

注記：ターンバックル距離を増やすと、左カバーとフロント / リアカバー間の隙間が増えます。

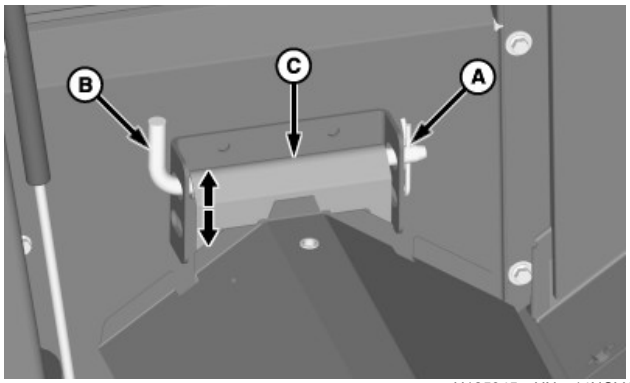
ターンバックル距離を減らすと、左カバーとフロント / リアカバー間の隙間が減ります。

距離が得られたら、ナットを締め付けます。

残りのターンバックルでも必要に応じて手順を繰り返します。

OUO6075,00007F0-40-21OCT10

グレンタンククロスオーガカバー



H125345—UN—14NOV18

A：**スプリングピン**（**4 本使用**）
B：**ピン (4 本使用)**
C：**オーガカバー (2 個使用)**

注意：**エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

重要：**オーガカバーの調整が離れすぎている場合、オーガ駆動装置のせん断ボルトが繰り返し破損したり、オーガやグレンタンクが破損したりする可能性があります。**

オーガカバーはアンローディング量を調整するために使用します。オーガカバーの調整手順：

1. オーガカバー (C) の端部をグレンタンクに固定しているスプリングピン (A) とピン (B) を取り外します。
2. カバーを必要な位置に保持して、前の手順で取り外したピンとスプリングピンを取り付けます。

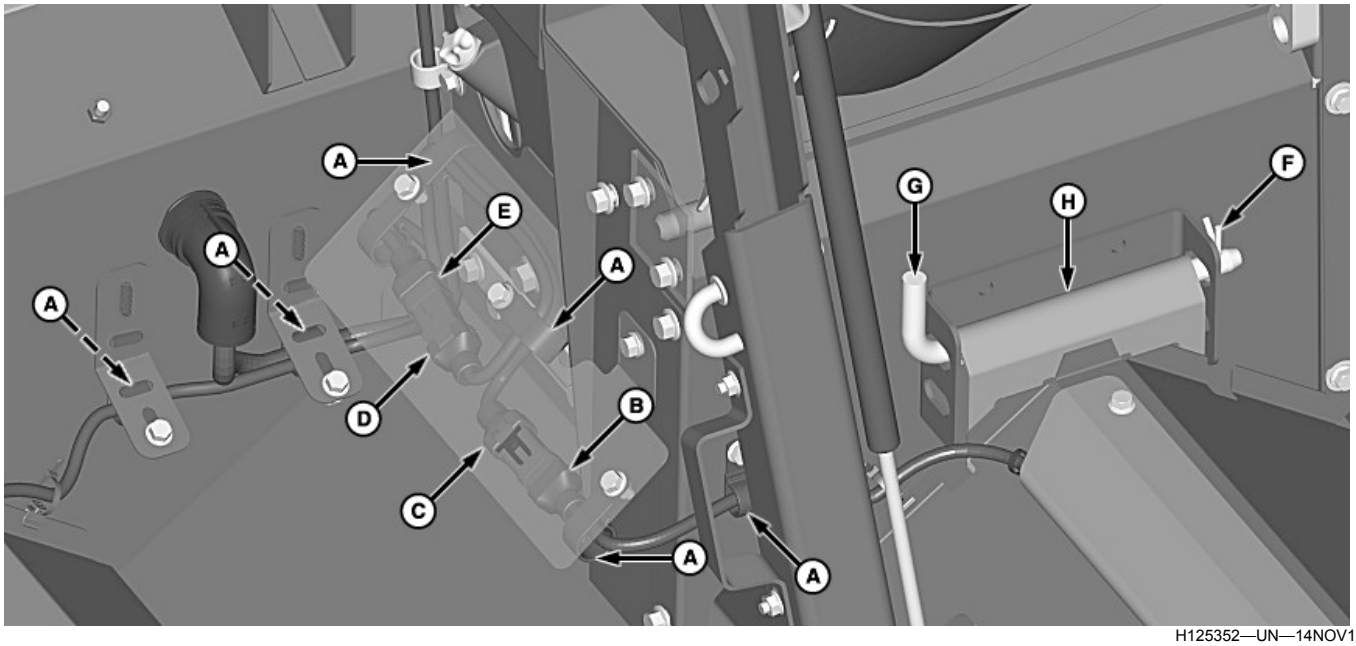
最適な作動のためには、クロスオーガの全長にわたって、オーガカバーを水平位置 (ActiveYield™ を装備している場合) に保持する必要があります。

注記：必要な場合は、作物の種類と水分条件に応じてクロスオーガカバーを上下に調整して流量を増減します。クロスオーガカバーの調整は、アンロードシステムの動力消費にも影響します。

OUO6075,0004A4B-40-30MAY19

ActiveYield は Deere & Company の商標です。

ActiveYield™ (装備されている場合) クロスオーガカバー — 取り外し



H125352—UN—14NOV18

A：クランプ
B：リアクロスオーガコネクタ (メスコネクタ)
C：グレンタンクコネクタ (オスコネクタ)
D：フロントクロスオーガコネクタ (オスコネクタ)
E：グレンタンクコネクタ (メスコネクタ)
F：スプリングピン (4 本使用)
G：ピン (4 本使用)
H：オーガカバー (2 個使用)

注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

重要： オーがカバーの取り外しと取り付け時は十分注意してください。センサーの上に立ったり、物を落としたりしないでください。

注記： 特定の作物条件や特殊な作物では、クロスオーガカバーを取り外す必要があります。

クロスオーガカバーを取り外す場合は、ActiveYield™ システムを無効にする必要があります。詳しくは、「キャリブレーションアプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

1. 必要に応じて、ワイヤハーネスをクランプ (A) から取り外します。
2. グレンタンクコネクタ (C) からリアクロスオーガコネクタ (B) の接続を外します。
3. グレンタンクコネクタ (E) からリアクロスオーガコネクタ (D) の接続を外します。
4. グレンタンクのコネクタ (C、E) を互いに接続し、必要に応じて、クランプで固定します。

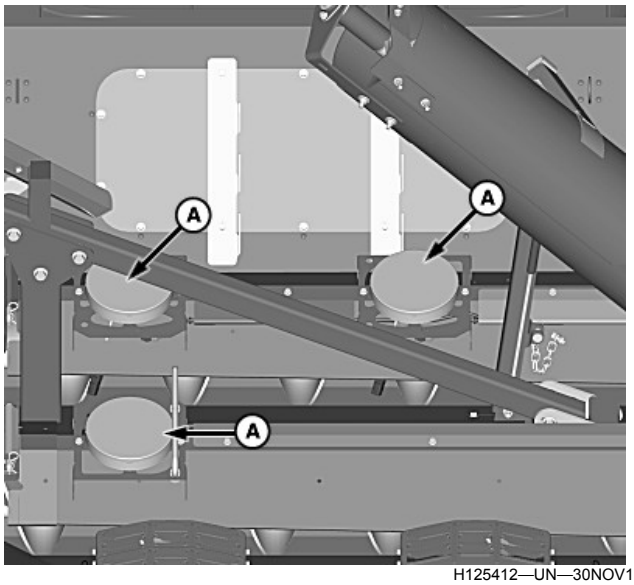
重要： ActiveYield™ が無効の場合でも、ハーネスを互いに接続して収穫量の監視を有効にする必要があります。クロスオーガとの接触を防止するため、ワイヤハーネスをクランプで固定してください。

5. スプリングピン (F) とピン (G) をオーガカバー (H) の両端から取り外します。
6. オーガカバーを機械から取り外して、残りのオーガカバーでも手順を繰り返します。

OUO6075,0004BC2-40-31MAY19

ActiveYield は Deere & Company の商標です。

ActiveYield™ (装備されている場合) センサーの位置



H125412—UN—30NOV18

A：**センサー**

重要： **センサーの上に立ったり、物を落としたりしないでください。センサーが破損する可能性があります。**

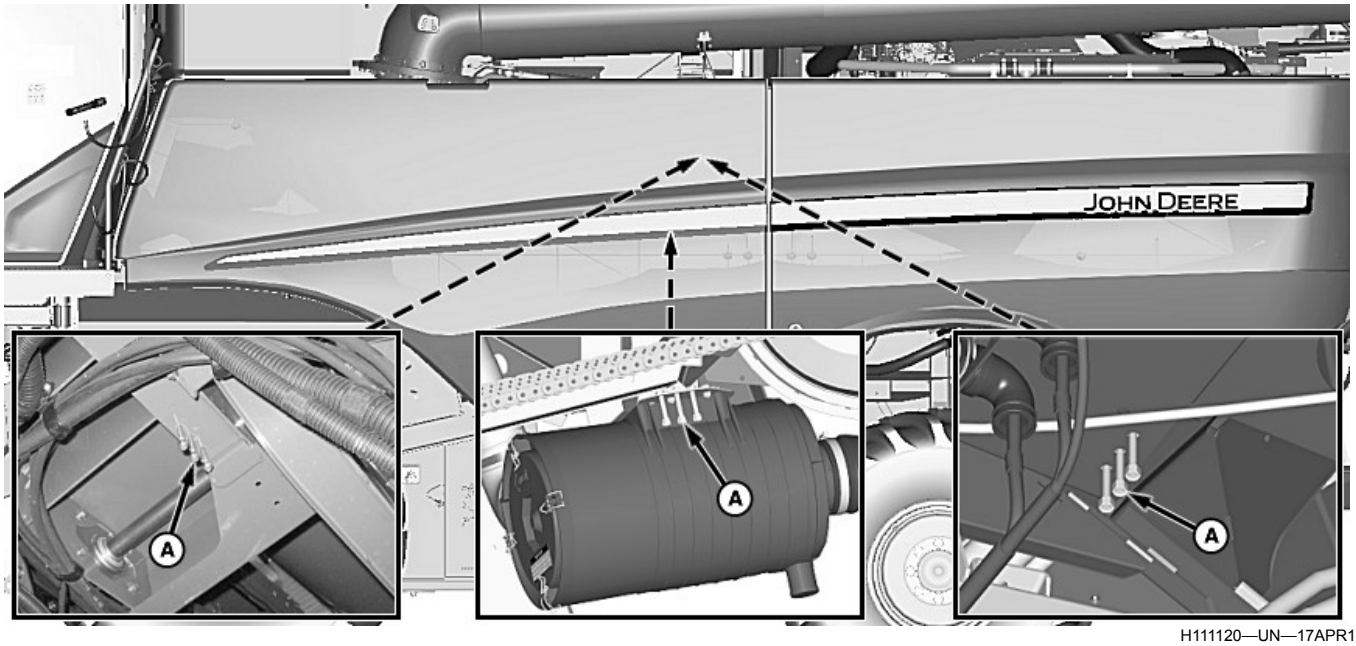
注記： 2 個のセンサーがフロントクロスオーガカバーにあり、1 個のセンサーがリアクロスオーガカバーにあります。

ActiveYield™ は、グレンタンク内にあるクロスオーガカバーにあるセンサー (A) を使用して、収穫したグレンの質量を測定します。

OUO6075,0004A55-40-30NOV18

ActiveYield は Deere & Company の商標です。

せん断ボルトの位置



H111120—UN—17APR14

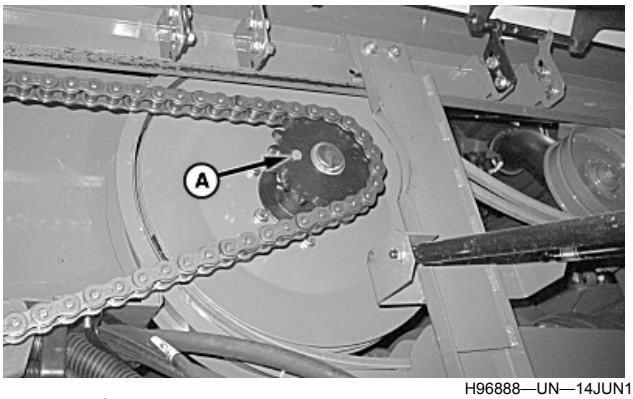
A：**せん断ボルト (3 本使用)**

注記： 予備のせん断ボルト 3 本が付属しています。位置は、エンジンのサイズ、エンジンの排出ガスレベル、およびグレインタンクのアンローディング速度によって異なります。

アンローディングオーガドライブせん断ボルトが破断した場合は、取り外して図の位置の予備のせん断ボルト (A) と交換してください。

OUO6075,00017C7-40-17APR14

アンローディングオーガドライブせん断ボルト



H96888—UN—14JUN10

A：**せん断ボルト**

注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。

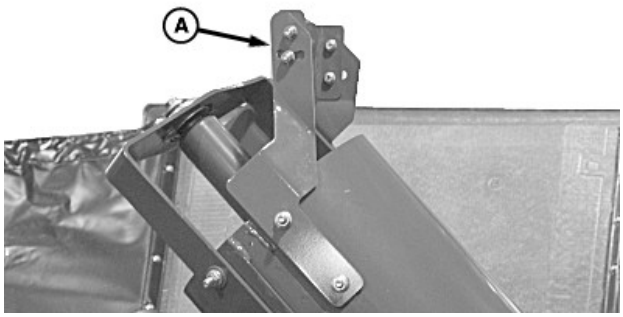
John Deere が供給しているせん断ボルト (A) (ハブに通すボルト) のみを使用してください。交換用せん断ボルトについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

機械には予備のせん断ボルトが付属しています。詳細については、このセクションの「せん断ボルトの位置」を参照してください。

重要： アンローディングオーガの端部にタイヤの内側チューブや袋を取り付けないでください。オーガの端部に制限があると、アンローディングオーガシステムが損傷し、せん断ボルトが故障する原因になります。

OUO6075,00017C6-40-16APR14

グレンタンクのローディングオーガデフレクタ



H96890—UN—14JUN10

A：**デフレクタ**

注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

必要に応じてデフレクタ (A) を配置します。

反時計回りに回転：

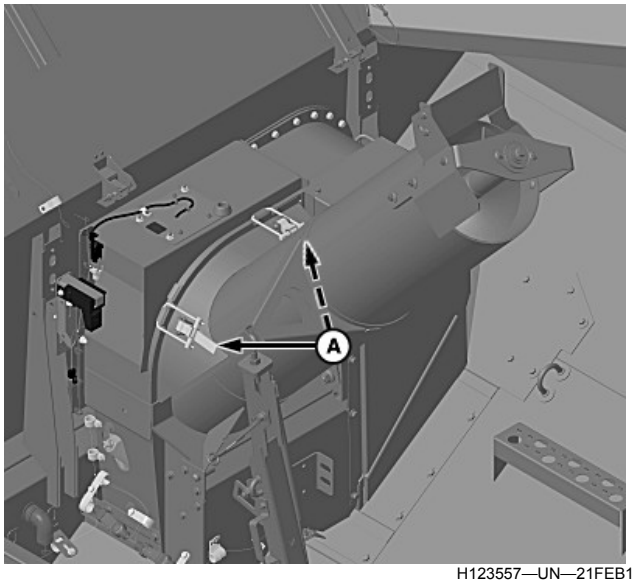
- 草種子やキャノーラなどの作物を収穫しているときの強風条件。
- とうもろこし — グレンタンクに左および後部に向かって満たされます。

時計回りに回転：

- グレン — グレンタンクは右および前部に向かって満たされます。

OUO6075,0004362-40-07OCT16

グレンタンクローディングオーガ (グレンタンクエクステンション) — 折りたたみ



H123557—UN—21FEB18

A：**クランプ**

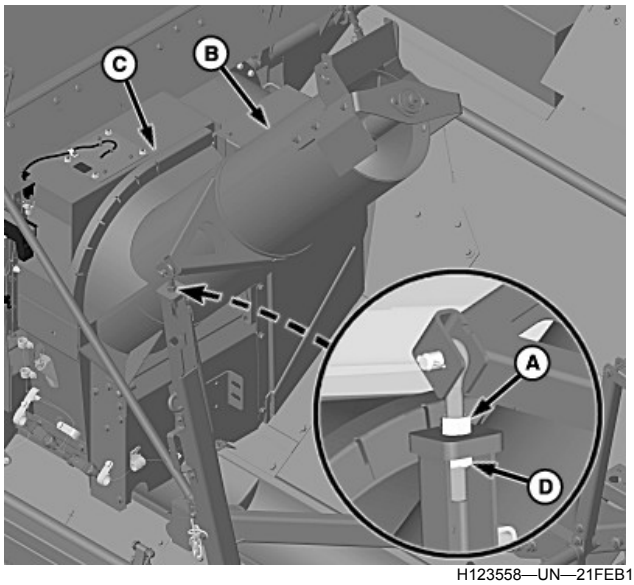
注意： グレインタンクローディングオーガは重量があります。オーガを上昇 / 下降させるときは、十分注意してください。

グレンタンクエクステンションを下げるときは、機械の全高が 0.5 m (1-1/2 ft) 下がります。

オーガの上部を保持し、クランプ (A) を解放します。オーガをクロスオーガカバーの上に下ろします。

OUO6075,00048B9-40-21FEB18

グレインタンクローディングオーガ (グレインタンクカバー)：調整



H123558—UN—21FEB18

A：**ナット**
B：**グレンタンクローディングオーガ**
C：**トランジションハウジング**
D：**ナット**

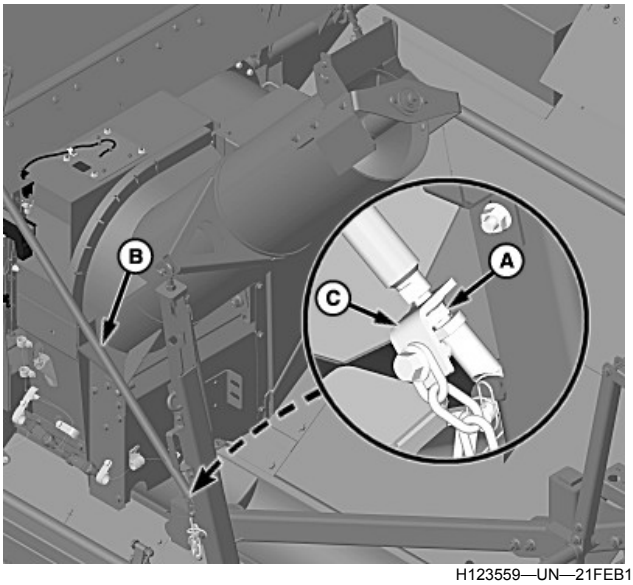
注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

注記： グレンタンクカバーが完全に上がっていることを確認してください。

グレンタンクローディングオーガ (B) がトランジションハウジング (C) に接触するまでナット (A) を調整します。

ナット (A) をさらに 1/2 回転させて調整し、ナット (D) を締め付けてアイボルトをその位置に固定します。

注記： これにより、トランジションハウジングに対するローディングオーガハウジングの気密性が維持され、ローディングオーガがギヤボックスの駆動部に完全にかみ合います。



H123559—UN—21FEB18

A：**ナット**
B：**ターンバックル**
C：**ブラケット**

ナット (A) を緩めて、ターンバックル (B)で少量の抵抗が感じられるまでターンバックルを手で調整します。

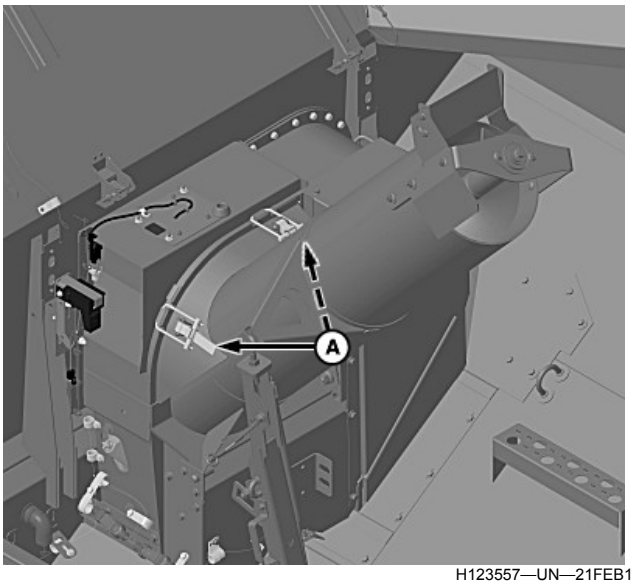
注記： ターンバックルの長さを長くまたは短くして、ローディングオーガハウジングとトランジションハウジングの間の隙間を増減します。

適切に調整された場合、ターンバックルの端部のピンが自由に回転します。

ブラケット (C) が機械の前部に向いていることを確認し、ナット (A) を締め付けてターンバックル (B) をその位置に固定します。

OUO6075,00048BA-40-22FEB18

質量流量センサープレート (グレンタンクエクステンション) — 清掃



H123557—UN—21FEB18

A：**クランプ**

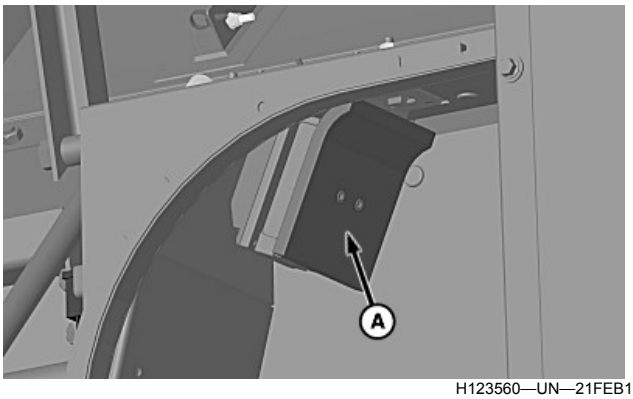
注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

グレンタンクローディングオーガは重量があります。オーガを上昇 / 下降させるときは、十分注意してください。

グレンタンクサンプルトラフを取り外します (装備されている場合)。

グレンタンクローディングオーガの上部を保持してクランプ (A) を外します。

グレンタンクローディングオーガを下げます。



H123560—UN—21FEB18

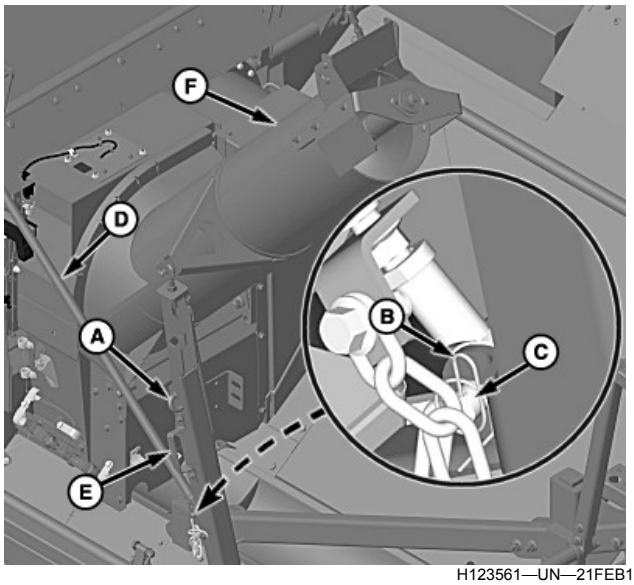
A：**質量流量センサープレート**

質量流量センサープレート (A) を清掃します。

グレンタンクローディングオーガをトランジションハウジングに対していっぱいまで上げ、クランプで固定します。

OUO6075,00048BB-40-22FEB18

質量流量センサープレート (グレンタンクカバー) — 清掃



H123561—UN—21FEB18

A：ピン
B：クイックロックピン
C：ピン
D：ターンバックル
E：ハンドル
F：グレンタンクローディングオーガ

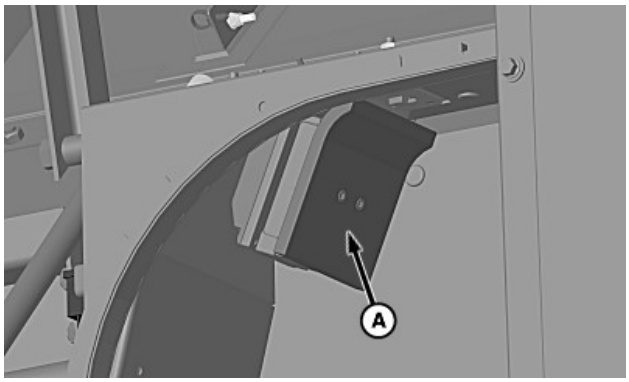
注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

ピン (A) を引っ張ってまたは取り外して、グレンタンクローディングオーガを下げないでください。ピンを取り外すと、けがまたは機械の損傷が発生する可能性があります。

グレインタンクローディングオーガは重量があります。オーガを昇降させるときは、十分注意してください。

クイックロックピン (B) とピン (C) をターンバックル (D) から取り外します。

ハンドル (E) を使用して、グレンタンクローディングオーガ (F) の下降を補助します。



H123560—UN—21FEB18

A：質量流量センサープレート

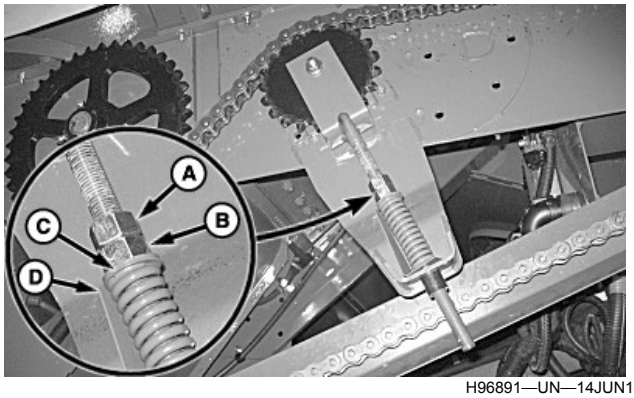
質量流量センサープレート (A) を清掃します。

グレンタンクローディングオーガをトランジションハウジングに対していっぱいまで上げます。

ターンバックルを穴と整列させ、ピンとクイックロックピンで固定します。

OUO6075,00048BC-40-23FEB18

アンローディングオーガ駆動チェーン — 調整



H96891—UN—14JUN10

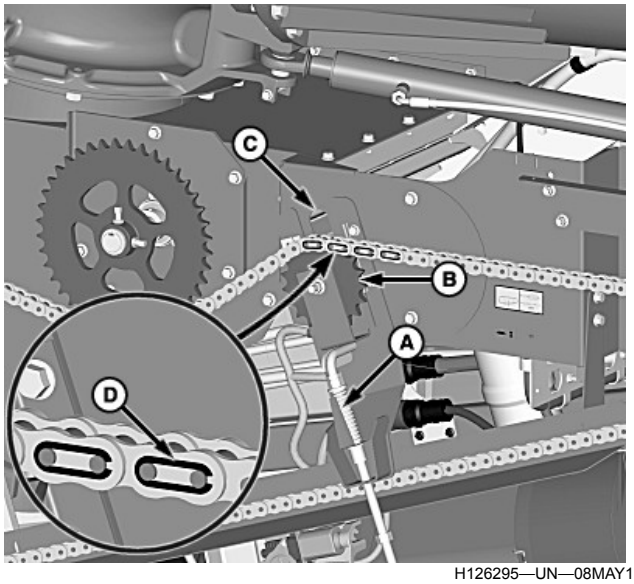
A：ナット
B：ナット
C：座金
D：ゲージの端

注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

ナット (A) を緩めます。座金 (C) がゲージ (D) の端と整列するまでナット (B) を締め付けます。ロックナットを締め付けます。

OUO6075,0004364-40-07OCT16

アンローディングオーガ駆動チェーンリンク — 取り外し



H126295—UN—08MAY19

A：**スプリングテンショナ**
B：**スプロケット**
C：**スロットの端部**
D：**コネクタリンク**

駆動チェーンが時間の経過とともに伸びるのは正常です。追加のコネクタリンクにより、駆動チェーンを長く使用できます。

注記： コネクタリンクを取り外すときは、必ずスプロケットの摩耗を点検してください。

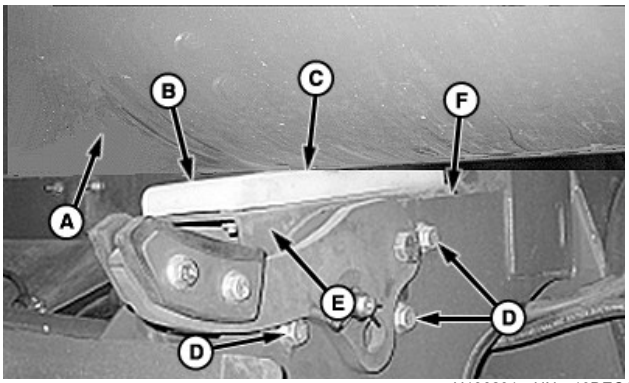
スプリングテンショナス (A) を調整できなくなった場合、またはスプロケット (B) がスロット (C) の端に達した場合は、コネクタリンク (D) を取り外します。

詳しくは、「アンローディングオーガ駆動チェーン—調整」を参照してください。

最終調整を使い切った場合、チェーンが使い古されているためチェーンを交換する必要があります。

OUO6075,0004B92-40-04JUN19

アンローディングオーガクレードルサポート — 調整



H106291—UN—19DEC12

A：**アンローディングオーガ**
B：**摩耗プレート**
C：**位置**
D：**キャップスクリュー**
E：**クレードルサポート**
F：**グレンタンクプレート**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

1. アンローディングオーガを保管位置または輸送位置まで旋回させます。

注記： 適切に調整された場合、位置 (C) でアンローディングオーガ (A) と摩耗プレート (B) の間に隙間はありません。

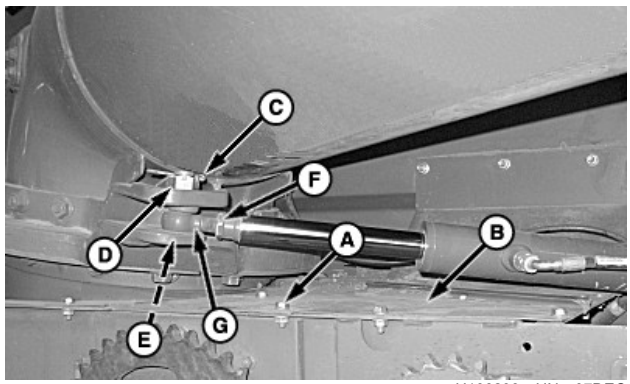
2. アンローディングオーガと摩耗プレートの間に隙間がある場合は、キャップスクリュー (D) を緩めて、摩耗プレートがローディングオーガの下面に接触するまでクレードルサポート (E) を縦方向に調整します。

注記： クレードルサポート (E) の上面はグレンタンクプレート (F) の上面と平行である必要があります。

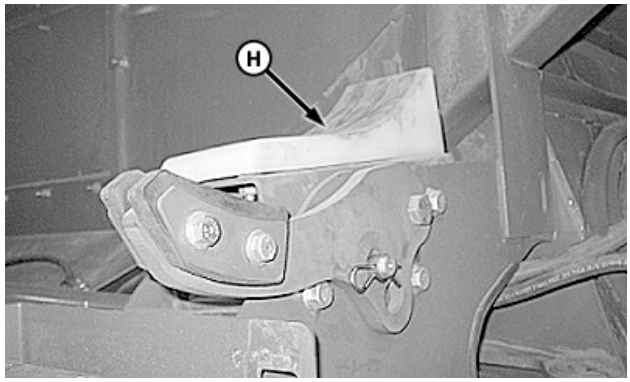
3. クレードルを調整したら、ボルトを締め付けます。

OUO6075,0004367-40-07OCT16

アンローディングオーガ位置 — 調整 (スタイル A)



H106293—UN—07DEC12



H106322—UN—11DEC12

A：**キャップスクリュー (8 本使用)**
B：**カバー**
C：**コッタピン**
D：**ナットと座金**
E：**ピン**
F：**ナット**
G：**アイボルト**
H：**摩耗防止プレート**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

1. キャップスクリュー (A) とカバー (B) を取り外します。

注記： 適切に調整した場合、アンローディングオーガは摩耗防止プレートに接触する必要があります。

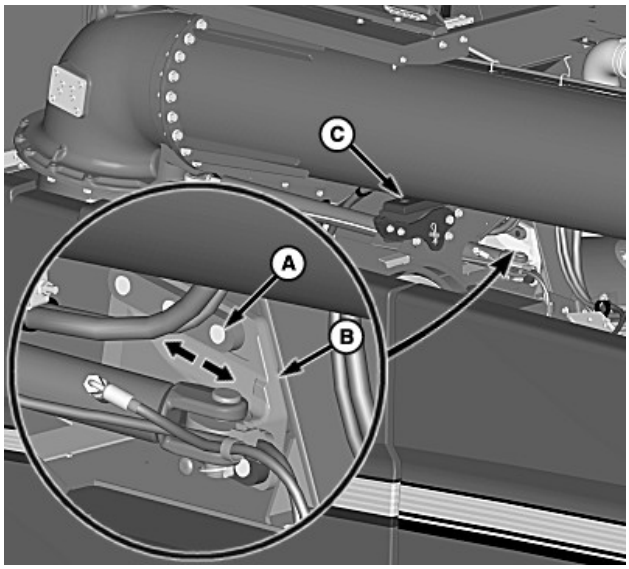
2. コッタピン (C)、ナット、座金 (D) 、ピン (E) を取り外します。
3. ナット (F) を緩めて、アンローディングオーガが摩

耗防止プレート (H) に軽く接触するまでアイボルト (G) を調整します。

4. アンローディングオーガを調整したら、前の手順で取り外した金具とカバーを取り付けます。

OUO6075,0004D3A-40-09JAN20

アンローディングオーガ位置 — 調整 (スタイル B)



H125348—UN—14NOV18

A：**キャップスクリュー (6 本使用)**
B：**シリンダブラケット**
C：**クレードルサポート**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

注記： 正しい位置を設定するには、シリンダを完全に収縮させる必要があります。

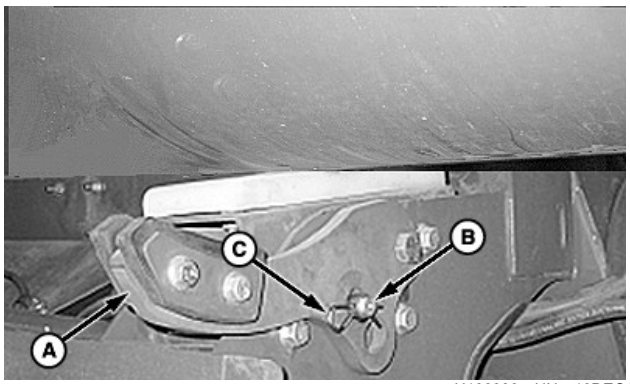
1. キャップスクリュー (A) を緩めます。
2. アンローディングオーガがクレードルサポートの上に正しく設定されるまで、アンローディングオーガを内側または外側に調整して、シリンダブラケット (B) を前方または後方に調整します。
3. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 422 N·m (311 lb·ft)

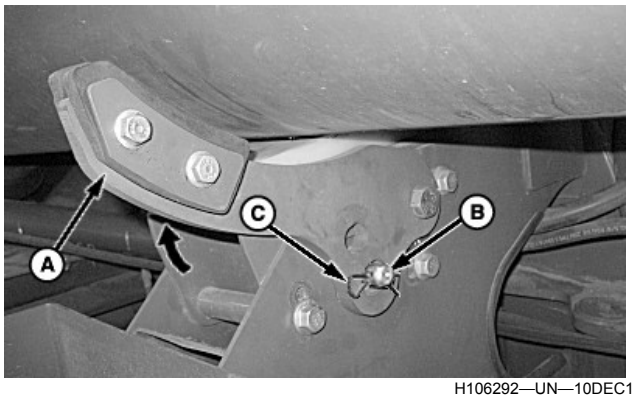
OUO6075,0004D3B-40-09JAN20

アンローディングオーガロックアームの位置



H106300—UN—10DEC12

圃場位置



H106292—UN—10DEC12

保管位置 / 輸送ピン位置

A：**ロックアーム**
B：**ピン**
C：**スプリングピン**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

圃場位置

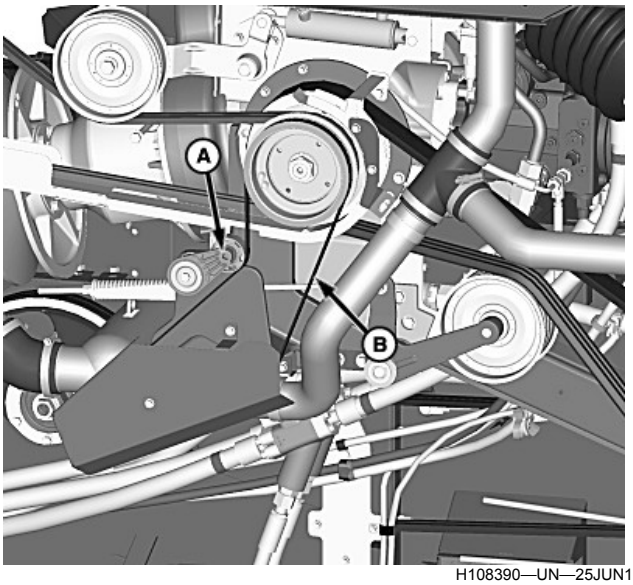
ロックアーム (A) を図のように下ろしてピン (B) を取り付け、スプリングピン (C) で固定します。

保管位置 / 輸送位置

ロックアーム (A) を図のように上げてピン (B) を取り付け、スプリングピン (C) で固定します。

OUO6075,0004369-40-20DEC16

アンローディングオーガ駆動ベルト — 交換 (スタイル A)



H108390—UN—25JUN13

A：**テンショナアーム**
B：**エンジンデブリ管理ベルト (装備されている場合)**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

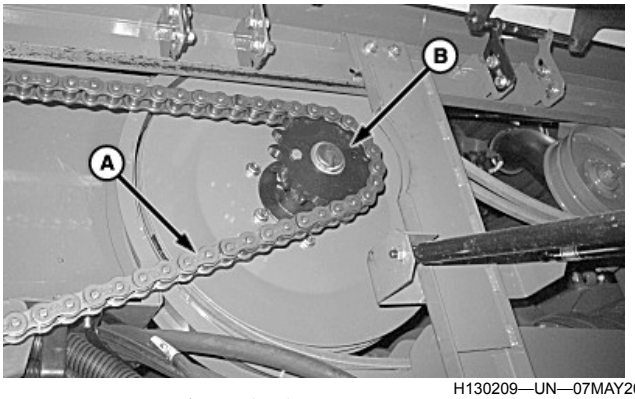
注記： アンローディングオーガ油圧シリンダが解除され、収縮していることを確認してください。

1. ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (A) から張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (B) を取り外します。

H105391—UN—09MAY12

A：**テンショナ**

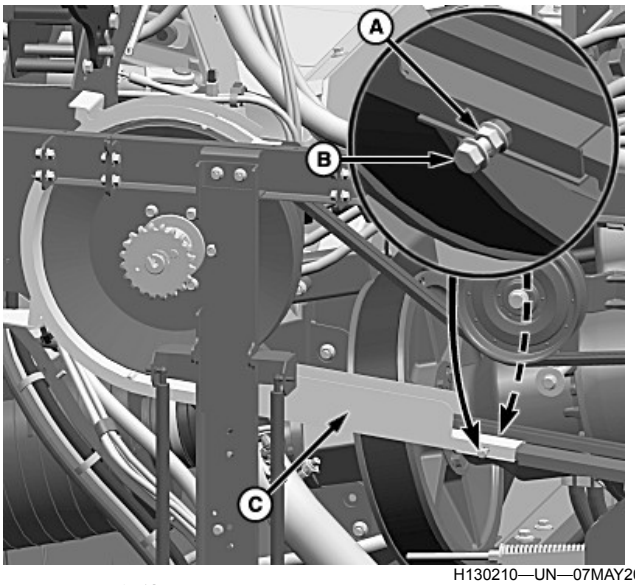
2. アンローディングオーガ駆動チェーンのテンショナ (A) を緩めます。



H130209—UN—07MAY20

A：**アンローディングオーガ駆動チェーン**
B：**スプロケット**

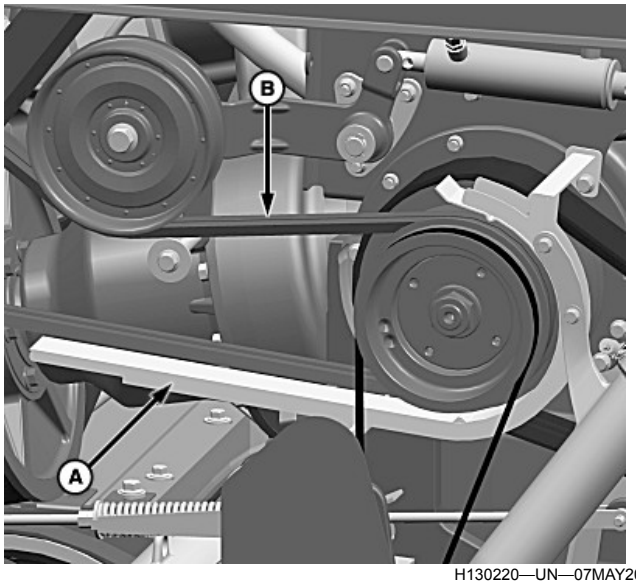
3. アンローディングオーガ駆動チェーン (A) をスプロケット (B) から取り外します。



H130210—UN—07MAY20

A：**ナット (2 個使用)**
B：**キャップスクリュー (2 本使用)**
C：**ベルトトラップ**

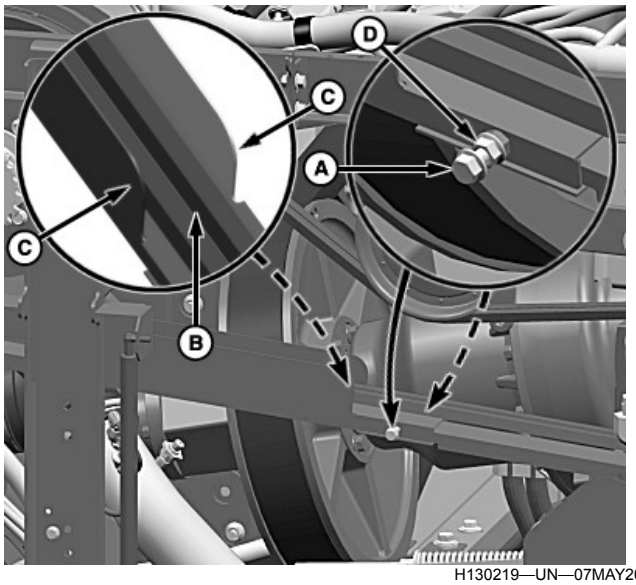
4. ナット (A) とキャップスクリュー (B) を緩めます。
5. キャップスクリューをベルトトラップ (C) から取り外します。
6. ベルトトラップを本機から取り外します。



H130220—UN—07MAY20

A：**ベルトトラップ**
B：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**

7. キャップスクリューをベルトトラップ (A) から取り外します。
8. ベルトトラップを本機から取り外します。
9. アンローディングオーガ駆動ベルト (B) を取り外します。
10. 交換用アンローディングオーガ駆動ベルトと前の手順で取り外したベルトトラップを取り付けます。



H130219—UN—07MAY20

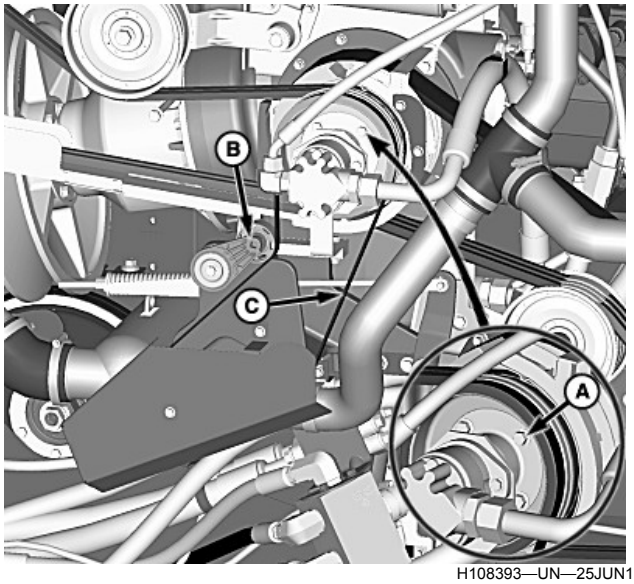
A：**キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**
C：**ベルトトラップ**
D：**ナット (2 個使用)**

注記： ねじロック剤とシーラー (中強度) をベルトトラップの溶接付けナットに塗ります。

11. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ (C) 間の中心に配置されるようにキャップスクリュー (A) を調整します。
12. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ間の中心に配置されたら、ナット (D) を締め付けます。
13. ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (C) を取り付けます。
14. シールドを取り付けてキャップスクリューで固定します。
15. 駆動チェーンを取り付けて、座金がゲージの端部と整列するまでテンショナを調整します。

OUO6075,0004E31-40-08JUL20

アンローディングオーガ駆動ベルト — 交換 (スタイル B)



H108393—UN—25JUN13

A：**キャップスクリュー**
B：**テンショナアーム**
C：**エンジンデブリ管理ベルト (装備されている場合)**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

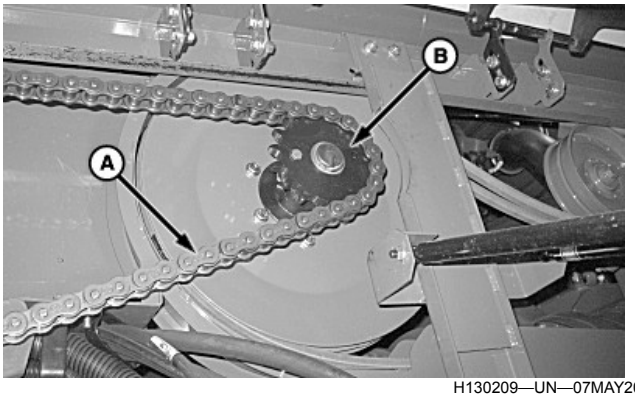
注記： アンローディングオーガ油圧シリンダが解除され、収縮していることを確認してください。

1. キャップスクリュー (A) を取り外して、ポンプアセンブリを邪魔にならない位置に支えます。
2. ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (B) から張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (C) を取り外します。

H105391—UN—09MAY12

A：**テンショナ**

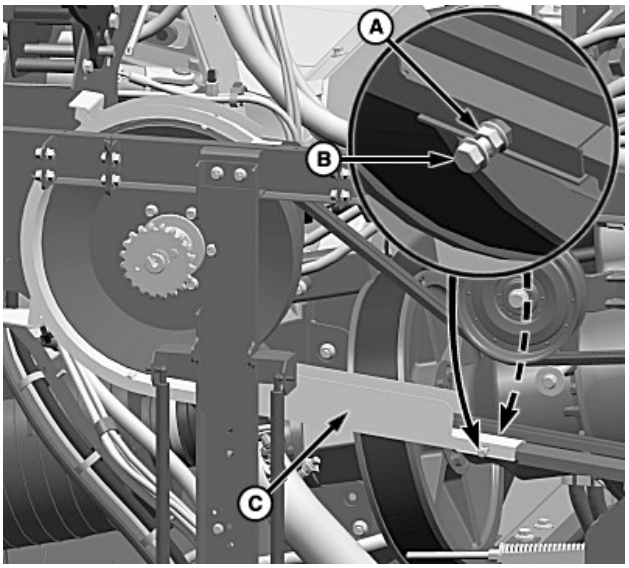
3. アンローディングオーガ駆動チェーンのテンショナ (A) を緩めます。



H130209—UN—07MAY20

A：**アンローディングオーガ駆動チェーン**
B：**スプロケット**

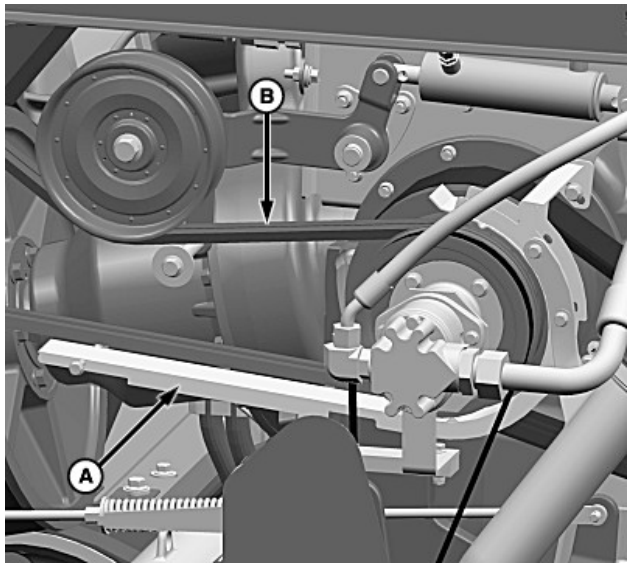
4. アンローディングオーガ駆動チェーン (A) をスプロケット (B) から取り外します。



H130210—UN—07MAY20

A：**ナット (2 個使用)**
B：**キャップスクリュー (2 本使用)**
C：**ベルトトラップ**

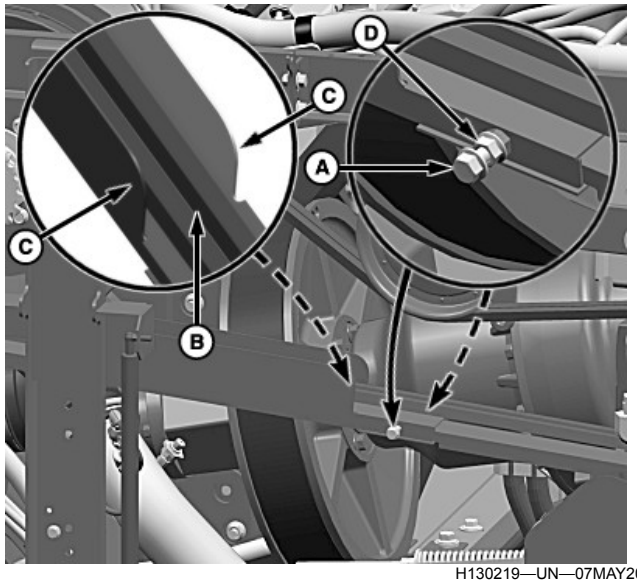
5. ナット (A) とキャップスクリュー (B) を緩めます。
6. キャップスクリューをベルトトラップ (C) から取り外します。
7. ベルトトラップを本機から取り外します。



H130211—UN—07MAY20

A：**ベルトトラップ**
B：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**

8. キャップスクリューをベルトトラップ (A) から取り外します。
9. ベルトトラップを本機から取り外します。
10. アンローディングオーガ駆動ベルト (B) を取り外します。
11. 交換用アンローディングオーガ駆動ベルトと前の手順で取り外したベルトトラップを取り付けます。



H130219—UN—07MAY20

A：**キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**アンローディングオーガ駆動ベルト (2 本使用)**
C：**ベルトトラップ**
D：**ナット (2 個使用)**

注記： ねじロック剤とシーラー (中強度) をベルトトラップの溶接付けナットに塗ります。

12. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ (C) 間の中心に配置されるようにキャップスクリュー (A) を調整します。
13. アンローディングオーガ駆動ベルトがベルトトラップ間の中心に配置されたら、ナット (D) を締め付けます。
14. ポンプアセンブリを取り付けて、キャップスクリューを規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 80 N·m (59 lb·ft)

15. ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (C) を取り付けます。
16. シールドを取り付けてキャップスクリューで固定します。
17. 駆動チェーンを取り付けて、座金がゲージの端部と整列するまでテンショナを調整します。

OUO6075,0004E32-40-08JUL20

電子コントロールユニット近くでの溶接

TS953—UN—15MAY90

重要： 溶接装置を使用して、エンジンをかけないでください (ジャンプスタートしないでください)。 電流と電圧がとても高いので、完全に損傷する可能性があります。

1. バッテリのマイナスケーブル (-) の接続を外します。
2. プラス (+) バッテリケーブルの接続を外します。
3. プラスおよびマイナスのケーブルをつなぎます。 車両フレームに接続しないでください。
4. ワイヤハーネス部を溶接部分から離して移動します。
5. 溶接アースを溶接するポイント近くに接続して、コントロールユニットから遠ざけます。
6. 溶接が終了したら、手順 1~5 の逆の手順を行います。

DX,WW,ECU02-40-27NOV12

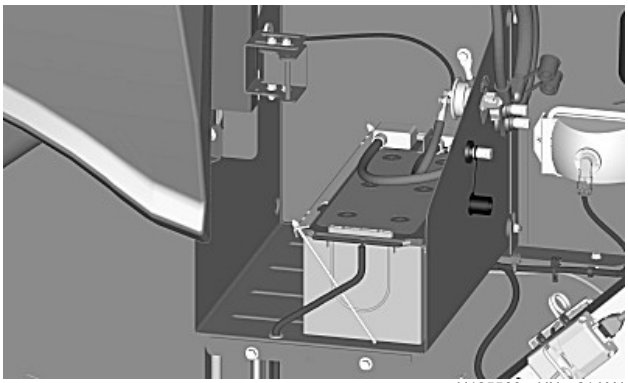
電子コントロールユニットのコネクタの清掃

重要： コントロールユニットを開けないでください。また高圧スプレーを使って洗浄しないでください。 湿気、ごみ、その他の異物があると損傷が発生する恐れがあります。

1. 端子を清掃して、異物を取り除きます。 湿気、泥、および他の汚染物質により、長い時間コネクタの端子が侵食され、良好な電気的接続が得られなくなります。
2. コネクタを使用しないときは、異物の混入や湿気を防ぐために適切なダストキャップまたはシールを取り付けます。
3. コントロールユニットを修理することはできません。
4. コントロールユニットが故障することはほとんどないので、コントロールユニットを交換する前に、診断手順を実行して故障を特定してください。 (John Deere 取扱店にお問い合わせください)。
5. 電子コントロールユニットのワイヤハーネス端子およびコネクタは修理ができます。

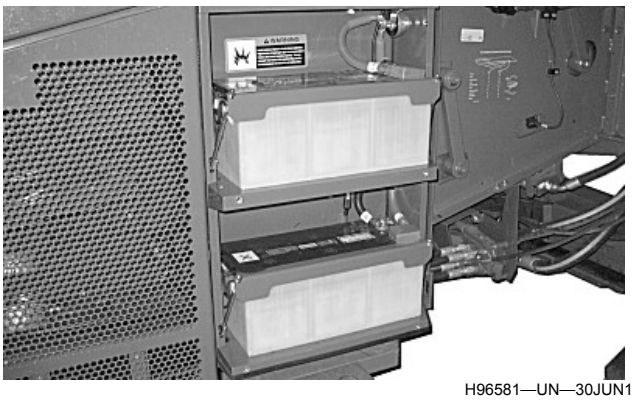
DX,WW,ECU04-40-11JUN09

電気に関する注意事項の順守



H125566—UN—21JAN19

スタイル *A*



H96581—UN—30JUN10

スタイル *B*

注意： フルードレベルを点検するには、機械を平坦な場所に駐車する必要があります。バッテリーフルードレベルは、各セルのプレートを覆っている各注入ポートの上部で確認する必要があります。

火花や火炎をすべてバッテリから遠ざけてください。電解液から発生するガスは爆発性があります。火花を防止するため、アースケーブルは最後に接続し、最初に接続を外してください。感電やけどを防止するため、電気システムの部品を整備する前またはバッテリーを取り外すときはバッテリー遮断スイッチを OFF にしてください。

OUO6075,0004A94-40-11JAN19

コンピュータ制御システムを搭載した車両の基本的な電気部品の取り扱い / 安全上の注意事項

- キースイッチを ON にしているときやエンジンを運

転中は、絶対にバッテリの接続を外さないでください。

理由：これにより、電気部品が損傷する可能性がある電圧スパイクが発生することがあります。

- キースイッチを ON にしているときにジャンパーケーブルを接続しないでください。

  理由：これにより、電気部品が損傷する可能性がある電圧スパイクが発生することがあります。

- 充電する前にバッテリの接続を外してください (可能な場合)。

  理由：機械の電気負荷により充電プロセスが遅くなる可能性があります。バッテリ充電器は、電気部品が損傷する可能性がある電圧スパイクが発生することがあります。

- 絶対に、機械を運転するために設計されている電圧よりも高い電圧で機械をジャンプ始動しないでください。

  理由：電気部品が損傷する可能性があります。

- キースイッチを ON にしているときまたは機械を運転中は、電気コネクタの抜き差しを行わないでください。

  理由：これにより、コンピュータプログラムの実行中にプログラムが中断してエラーが発生したり、電子部品が損傷する電圧スパイクが発生したりする可能性があります。

- 特に指定されない限り、テストとして部品に電力をかけたり、アースを接続したりしないでください。

  理由：正しくない電圧を電子システムの正しくないポイントに接続すると、電子部品が損傷することがあります。

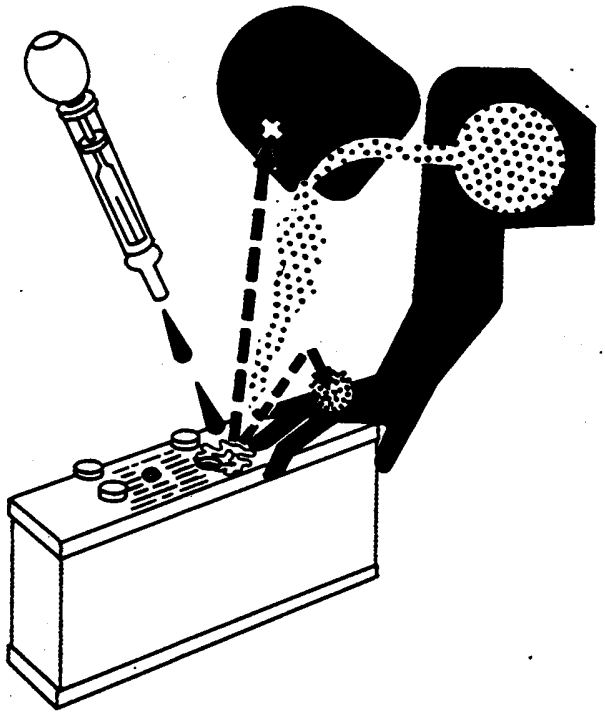
- 機械で溶接を実施するときは、アースリード線を溶接部品に接続していることを確認してください。最大の保護を実現するには、溶接の前にすべての電子コントローラの接続をはずしてください。

  理由：溶接に関連する高電流は、アース経路に関係するワイヤハーネスを損傷する可能性があります。溶接により、電気部品が損傷する可能性がある電圧スパイクが発生することもあります。

KC01776,00003CF-40-19MAR01

バッテリの安全な取り扱い

TS204—UN—15APR13



TS203—UN—23AUG88

バッテリガスは爆発する可能性があります。 バッテリに火花や火気を近づけないでください。 バッテリ電解液の点検には、懐中電灯を使用します。

バッテリーの電極間に金属を入れて充電状態を確認することは絶対にしないでください。 電圧計または比重計を使用します。

バッテリーの接続を外すときはアース側 (-) のクランプを必ず最初に外し、バッテリーを接続するときはアース側を必ず最後に接続します。

バッテリー電解液の硫酸は有害で強力なので、やけどをしたり、衣類に穴が開いたり、目にはねると失明する恐れがあります。

危険回避のための注意事項

- 十分に換気された場所でバッテリ液を補充してください。
- ゴーグルとゴム手袋を着用してください。
- バッテリ清掃に圧縮空気を使用しないでください。
- 電解液の追加時にガスを吸い込まないようにしてください。
- 電解液をこぼしたり、たらさないようにしてください。
- バッテリブースターやバッテリ充電器は正しい手順で使用してください。

酸が皮膚や目にかかった場合の処置

1. 水で洗い流してください。
2. 酸を中和するため、重曹または石灰をかけてください。
3. 目に入った場合は、15 ~ 30 分間水で洗い流してください。 直ちに治療を受けてください。

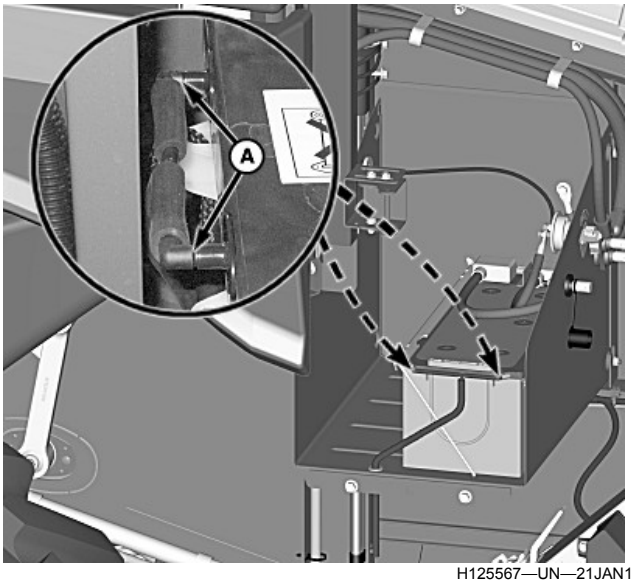
酸を飲み込んだ場合の処置

1. 吐出しようとしないでください。
2. 大量の水または牛乳を飲んでください。ただし 2 L (2 qt.) を超えないこと。
3. 直ちに治療を受けてください。

警告： バッテリ電極、端子、および関連アクセサリには、癌の原因になったり、生殖機能に有害なことがカリフォルニア州により確認されている鉛や鉛化合物が含まれています。 **取り扱い後は手を洗ってください。**

DX,WW,BATTERIES-40-02DEC10

バッテリー—安全な取り付け



H125567—UN—21JAN19

スタイル *A*

H96586—UN—30JUN10

スタイル *B*

A：**通気管**

注意： **フルードレベルを点検するには、機械を平坦な場所に駐車する必要があります。バッテリーフルードレベルは、各セルのプレートを覆っている各注入ポートの上部で確認する必要があります。**

爆発による大けがや死亡事故を防止してください。バッテリボックスが正しく換気されていない場合、高濃度の水素ガスが溜まる可能性があります。バッテリやバッテリボックスで整備またはメンテナンスを実施した後、必ずベントチューブ (A) を元に戻してください。ベンチレーションホースが曲がったり、ねじれていないか確認してください。

交換用バッテリには、ベンチレーションホース装置用のベンチレーション継手がある必要があります。ベンチレーション継手を装備している交換用バッテリについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

バッテリーに通気管を取り付けない場合は、機械のエンジンを運転中に、またはバッテリーを外部充電器で充電しているときに必ずバッテリーの蓋を外しておく必要があります。

OUO6075,0004A95-40-11JAN19

バッテリケーブル：接続

注意： バッテリはマイナスアース専用です。必ずバッテリアースケーブルをバッテリのマイナス (-) ポストに接続してください。スタータケーブルはバッテリのプラス (+) ポストに接続してください。バッテリの極性やオルタネータの接続を反転させると、電気システムに修復不能な損傷が発生します。最後にアースケーブルをマイナス (-) 端子に接続します。

重要： バッテリは端子配置が同じである必要があります。

バッテリを接続するときは、次の手順を実施してください。

すべてのスイッチとアクセサリをオフにします。バッテリポストと端子を清掃します。

アースケーブルをすばやくマイナスポストに接続します。アーク放電を発生させないでください。アーク放電が発生する場合は、接続を行わないでください。バッテリの位置が反転していないか確認してください。

アーク放電が引き続き発生する場合は、すべてのスイッチおよびアクセサリがオフであることをもう一度確認してください。次に、短絡、配線の破損、緩みまたは接続の腐食がないか点検してください。

マイナス (-) バッテリアースケーブルを接続します。

OUO6075,00007D7-40-19MAR07

バッテリ：充電

特に寒冷気候では、バッテリをフル充電の状態に保ちます。バッテリを 12.50 V 以上に完全に充電しなかった場合、バッテリの寿命が短くなる可能性があります。

注意： 凍結したバッテリに充電しないでください。バッテリ充電器に接続する前に、室温で解凍してください。十分に換気された場所のみでバッテリに充電してください。コンバインに取り付けた状態でバッテリに充電するときは、バッテリから両方のバッテリケーブルの接続を外してください。

重要： バッテリが完全に充電されていない場合、電解液が凍結する可能性があります。

どのバッテリに充電する必要があるか決定してください。

バッテリの両方のケーブルの接続を外し、充電器のプラスケーブルを「+」端子に充電器のマイナスケーブルを「-」端子に接続します。

充電器に付属の説明書に従ってください。必ず 12 V 充電器でバッテリに充電してください。

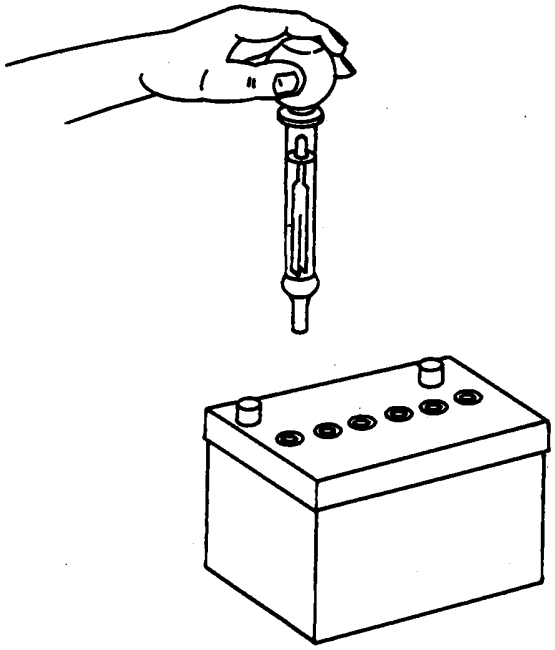
OUO6075,00007D8-40-19MAR07

バッテリ：比重の点検

注意： フルードレベルを正確に点検するには、バッテリを平らな面に置く必要があります。バッテリフルードレベルは、各セルのプレートを覆っている各注入ポートの上部で確認できる必要があります。

バッテリガスは爆発する可能性があります。バッテリに火花や火気を近づけないでください。バッテリ電解液の点検には、懐中電灯を使用します。

バッテリの電極間に金属を入れて充電状態を確認することは絶対にしないでください。電圧計または比重計を使用してください。



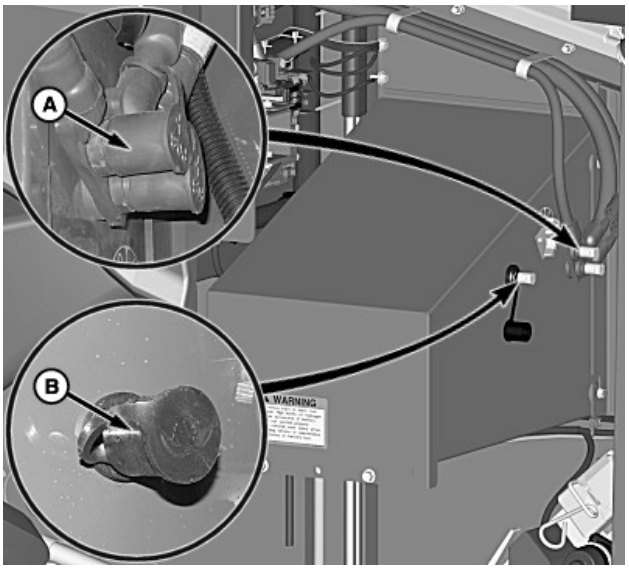
TS182—UN—23AUG88

バッテリの状態を判定するには、バッテリ比重計を使用して各セルの電解液の比重を測定します。読みが 1.225 未満の場合は、バッテリに充電します。セル間の違いが 0.050 を超えている場合は、バッテリを交換します。

電解液の温度の変動に合わせて必ず比重計の読みを補正します。80°F 以上では、10°F ごとに 0.004 を追加します。(27°C 以上では、10°C ごとに 0.007 を追加します)。電解液が 80°F (27°C) である場合は同じ値を減算します。完全に充電されたバッテリの補正された比重の範囲は 1.265 ~ 1.280 です。

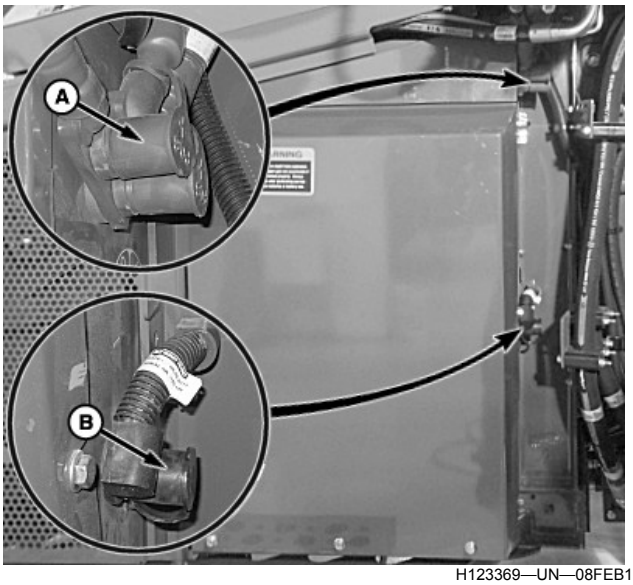
OUO6075,00007D9-40-19MAR07

バッテリー — ブースターの接続



H125568—UN—21JAN19

スタイル *A*



H123369—UN—08FEB18

スタイル *B*

A：**(+) 正極**
B：**(-) 負極**

さらに、12 V バッテリーを並列接続すると、寒冷時の始動が容易になります。

注意： **バッテリーから出るガスは爆発性があります。バッテリーの近くでは火花を発生させないでください。**

重要： **絶対にキースイッチまたはバッテリ遮断スイッチを ON にした状態でジャンパケーブルを接続しないでください。絶対に 12 V を超える電圧でジャンプスタートしないでください。**

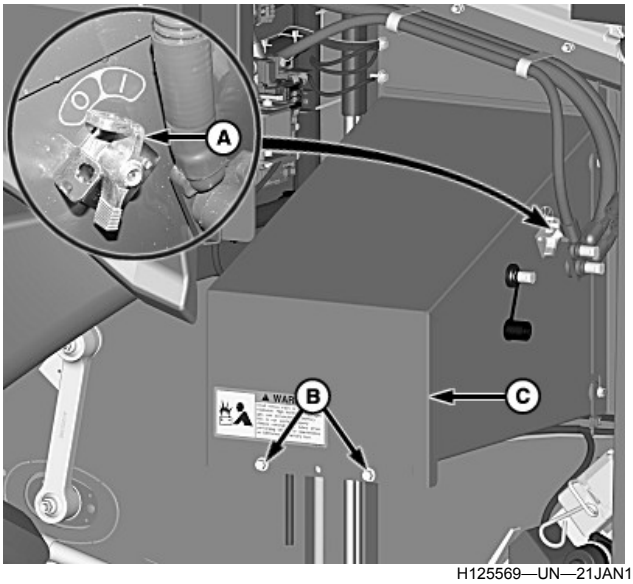
両方の極から保護キャップを取り外します。

まず、ジャンパケーブルをブースターバッテリーの正極 (+) に接続する必要があります。他端を本機のバッテリーの正極 (+) (A) に接続します。

2 番目のジャンパケーブルはまずブースターバッテリーの負極 (-) に接続する必要があります。他端を本機のバッテリーの負極 (-) (B) に接続します。

OUO6075,0004A96-40-11JAN19

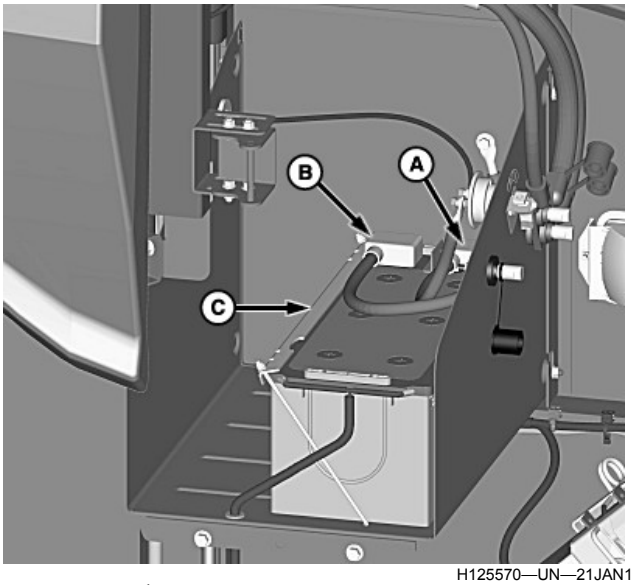
バッテリー — 取り外しと取り付け (スタイル A)



H125569—UN—21JAN19

A：**バッテリー遮断スイッチ**
B：**キャップスクリュー (2 本使用)**
C：**カバー**

1. バッテリー遮断スイッチ (A) を反時計回りに回して OFF 位置にします。
2. キャップスクリュー (B) とカバー (C) を取り外してバッテリーにアクセスします。



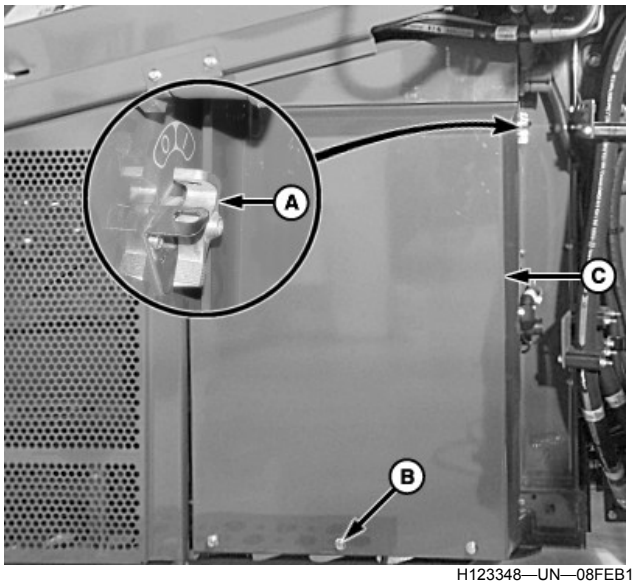
H125570—UN—21JAN19

A：**プラスケーブル**
B：**マイナスケーブル**
C：**クランプ**

3. プラス (+) ケーブル (A) とマイナス (-) ケーブル (B) の接続を外します。
4. クランプ (C) とバッテリー通気管を取り外します。
5. バッテリーとバッテリー取り付け部を清掃します。
6. バッテリーをバッテリーボックスに取り付けます。
7. バッテリーケーブルとポストを清掃し、バッテリー通気管を接続します。
8. プラス (+) ケーブルとマイナス (-) ケーブルを接続します。
9. バッテリークランプを取り付けて締め付けます。
10. カバーを取り付けて前の手順で取り外したキャップスクリューで固定します。
11. バッテリー遮断スイッチを時計回りに回して ON 位置にします。

OUO6075,0004A97-40-11JAN19

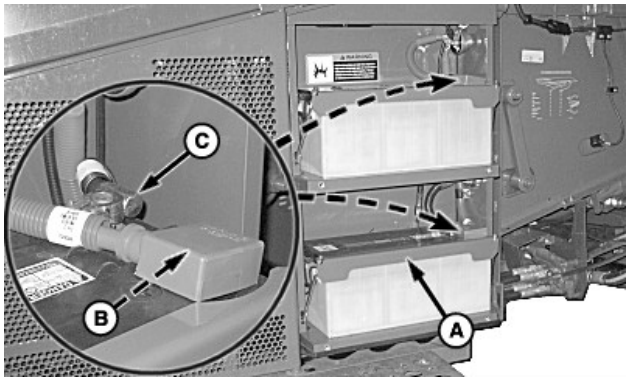
バッテリー — 取り外しと取り付け (スタイル B)



H123348—UN—08FEB18

A：**バッテリー遮断スイッチ**
B：**キャップスクリュー (9 本使用)**
C：**カバー**

1. バッテリ遮断スイッチ (A) を反時計回りに回して OFF 位置にします。
2. ボルト (B) とカバー (C) を取り外してバッテリにアクセスします。



H96583—UN—30JUN10

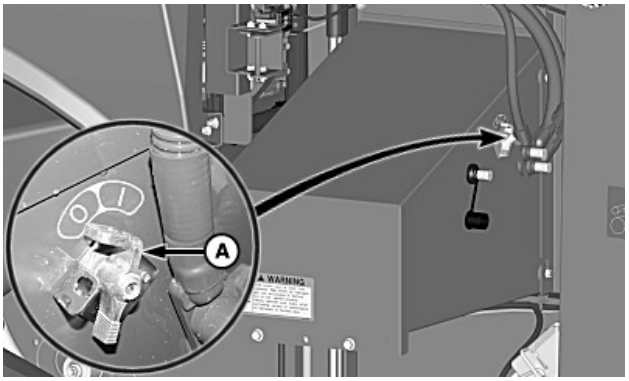
A：**クランプ**
B：**プラスケーブル**
C：**マイナスケーブル**

3. クランプ (A) とバッテリベントチューブを取り外します。
4. プラス (+) ケーブル (B) とマイナス (-) ケーブル (C) の接続を外します。
5. バッテリーとバッテリー取り付け部を清掃します。
6. バッテリーをバッテリーボックスに取り付けます。
7. バッテリーケーブル、ポストを清掃し、バッテリー通気管を再接続します。

8. プラス (+) ケーブルとマイナス (-) ケーブルを接続します。
9. バッテリークランプを取り付けて締め付けます。
10. カバーを取り付けて前の手順で取り外したキャップスクリューで固定します。
11. バッテリ遮断スイッチを時計回りに回して ON 位置にします。

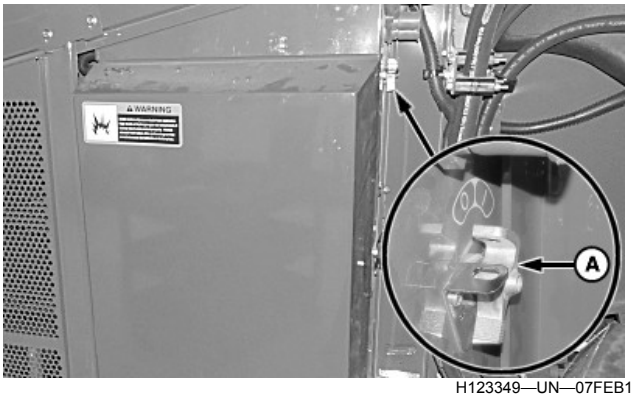
OUO6075,0004898-40-07FEB18

バッテリー遮断スイッチ



H125571—UN—21JAN19

スタイル *A*



H123349—UN—07FEB18

スタイル *B*

A：**バッテリー遮断スイッチ**

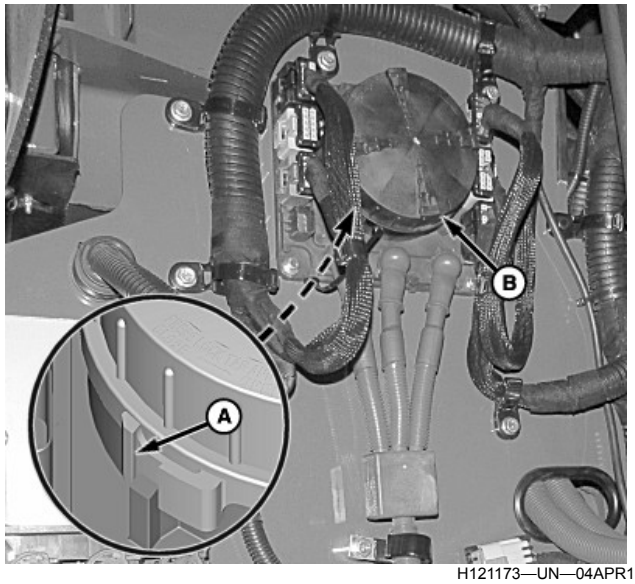
重要： **ファイナルティア 4 / ステージ V**：**機械を停止してから 90 秒以上の間、バッテリーの接続を外さないでください。機械を停止した直後、SCR (選択触媒還元) システムはこの時間中に排ガス処理用尿素水 (DEF) のラインを自動的にパージします。ラインがパージされるまで十分な時間を確保しないと、ラインに残留した DEF が結晶化してラインの詰まりの原因になります。凍りつくような気象条件では、液体が凍結してラインが破裂するおそれがあります。**

注記： 機械を 25 日以上保管する場合は、バッテリー遮断スイッチを OFF にしてください。保管期間が 90 日を超える場合は、バッテリーのマイナスケーブルを外してバッテリーへの負荷を最小限度に抑えます。

バッテリー遮断スイッチ (A) を時計回りに回して機械の電気システムを ON にするか、スイッチを反時計回りにまわして機械の電気システムを OFF にします。

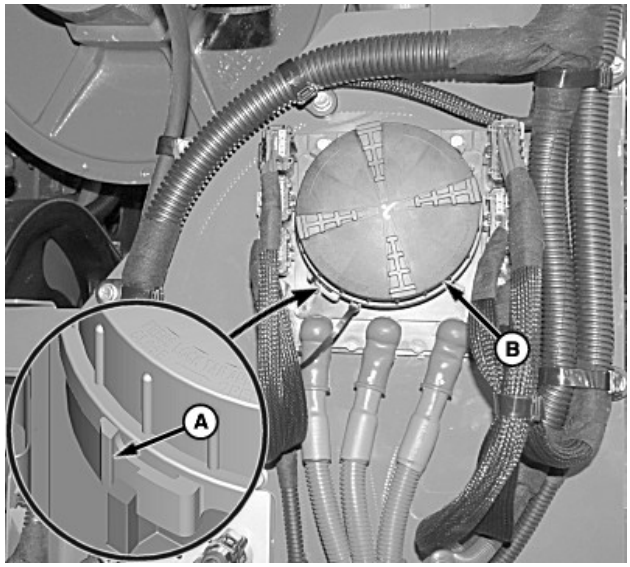
OUO6075,0004A98-40-11JAN19

機械のヒューズセンター



H121173—UN—04APR17

スタイル *A*



H121174—UN—04APR17

スタイル *B*

A：**ロックタブ**
B：**カバー**

注記： ヒューズセンターは、機械のモデルに応じて左側または右側にあります。

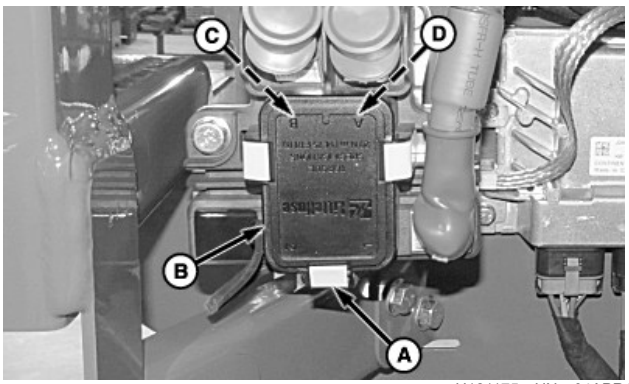
予備ヒューズとヒューズプーラーはカバーの下側にあります。

ロックタブ (A) を押し、カバー (B) を反時計回りに回してヒューズセンターを開きます。

- F1—F2 不使用
- F3—(15A) (cc# 0642)、コントロールユニット RC2 電源 1
- F6—(15A) (cc# 0652)、コントロールユニット RC2 電源 2
- F7—(30A) (cc# 0342)、コントロールユニット RC1 電源 1
- F8—不使用
- F9—(30A) (cc# 0362)、右電源モジュール 1 (RPM1) 電源 5
- F11—(20A) (cc# 0332)、右電源モジュール 1 (RPM1) 電源 3
- F12—(20A) (cc # 0322)、右電源モジュール 1 (RPM1) 電源 2
- F13—F14 不使用
- F15—(20A) (cc # 0352)、右電源モジュール 1 (RPM1) 電源 4
- F16—不使用
- F17—(30A) (cc# 0912)、グレン検出システム電源
- F18—(25A) (cc# 0372)、コントロールユニット RC1 電源 2
- F19—F26 不使用
- F27—(30A) (cc # 0152)、コントロール ユニット LC1 電源 2
- F28—F30 不使用
- F31—(10A) (cc # 0012) 常時供給バッテリー電源
- F32—(30A) (cc# 0142) 左電源モジュール 1A (LPM1A) 電源 4
- F33—不使用
- F34—(30A) (cc# 0112)、左電源モジュール 1A (LPM1A) 電源 1
- F35—(30A) (cc # 9232)、ナイフバンクアクチュエータ電源
- F36—(30A) (cc# 0312)、右電源モジュール 1 (RPM1) 電源 1
- F37—F38 不使用
- F39—(10A) (cc # 4972)、コントロール ユニット SSU/XSC 常時供給電源
- F40—F42 不使用
- F43—(25A) (cc # 5222)、コントロールユニット ECU 電源 3
- F44—(30A) (cc # 0712)、左電源モジュール 2B (LPM2B) 電源 1
- F45—(20A) (cc# 0122) 左電源モジュール 1A (LPM1A) 電源 2
- F46—(30A) (cc # 0132)、左電源モジュール 1A (LPM1A) 電源 3
- F47—不使用
- F48—(25A) (cc # 5012)、コントロールユニット ECU 電源 1
- F49—F50 不使用
- F51—(30A) (cc # 0162)、コントロール ユニット LC1 電源 1
- F52—不使用
- F54—(10A) (cc # 0422)、コントロール ユニット PTP 電源
- F55—(25A) (cc # 5022)、コントロールユニット ECU 電源 2
- F56—(15A) (cc # 5042)、燃料供給ポンプ
- F57—(30A) (cc # 0222)、左電源モジュール 2B (LPM2B) 電源 2
- F58—F62 不使用
- F63—(15A) (cc # 5062)、供給ポンプ電源
- F64—(20A) (cc # 0212)、左電源モジュール 2A (LPM2A) 電源 1
- F67—不使用
- F68—(25A) (cc # 0172)、左電源モジュール 1A (LPM1A) 電源 5
- F69—(30A) (cc # 0972) Flex Residue チョッパー電源 2
- F70—F71 不使用
- F73—(30A) (cc # 0252)、コントロール ユニット LC2 電源 1
- F74—(30A) (cc # 0972) Flex Residue チョッパー電源 1
- F75—F77 不使用
- F78—(30A) (cc # 0242)、コントロール ユニット LC2 電源 1
- F79—不使用
- F80—(30A) (cc # 0722)、左電源モジュール 2B (LPM2B) 電源 2

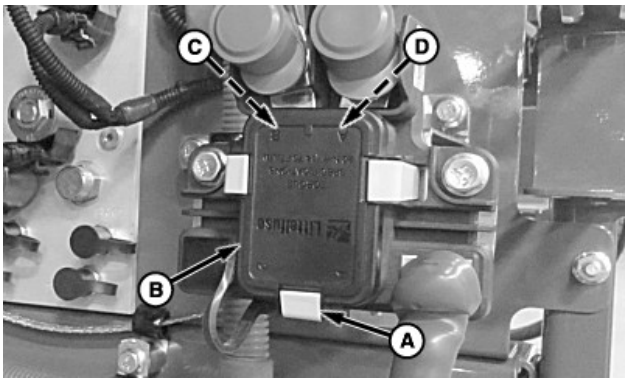
OUO6075,0004A31-40-08NOV18

インラインヒューズ



H121175—UN—04APR17

スタイル A



H121176—UN—04APR17

スタイル B

A：**掛け金ラッチ (3 個使用)**
B：**カバー**
C：**F82—インラインヒューズ**
D：**F92—インラインヒューズ**

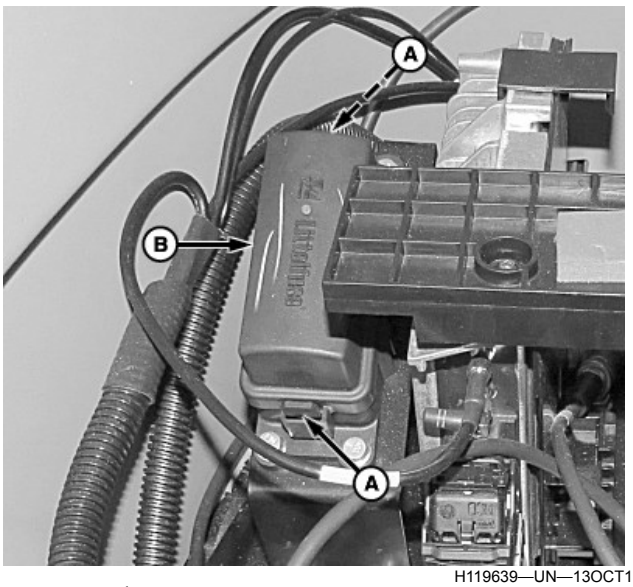
注記： ヒューズセンターは、機械のモデルに応じて左側または右側にあります。

掛け金ラッチ (A) を開いて、カバー (B) を取り外してインラインヒューズにアクセスします。

- F82—インラインヒューズ、(125A) (cc# 8002)、コントロールユニット CAB
- F92—インラインヒューズ、(125A) (cc# 8912)、キャブヒューズセンター

OUO6075,00046FD-40-04APR17

キャブヒューズセンター



H119639—UN—13OCT16

A：**ロックタブ**
B：**カバー**

注記： ヒューズセンターはキャブ内のコントロールユニット筐体の中にあります。コントロールユニット筐体はアームレストコンソールの下のキャブフロアにあります。

ロックタブ (A) を押し、カバー (B) を取り外してヒューズセンターを開きます。

- F801—(15A) (cc# 8262)、ARMC 電源
- F802—(10A) (cc# 8802)、サーバーモニター電源
- F803—(15A) (cc # 8302)、SCL 電源
- F804—(15A) (cc# 8072)、PDU 電源
- F805—(15A) (cc# 8152)、レシーバ電源
- F806—(15A) (cc # 8162)、その他キャブ電源
- F807—(10A) (cc# 8192)、ATC 電源
- F808—(20A) (cc# 8082)、再循環ファン電源 1
- F809—(20A) (cc # 8182) 再循環ファン電源 2
- F810—(20A) (cc# 8172)、シート 電源
- F811—(20A) (cc # 8092)、付属品電源
- F812—(15A) (cc # 8242)、補助電源コンセント
- F813—(20A) (cc # 8252)、補助電源タップ
- F814—(20A) 不使用
- F815—(20A) (cc # 8622)、フロントワイパー電源
- F816—(10A) (cc # 8312)、ラジオの源
- F817—(7.5A) (cc# 8322)、アームレスト APO Power
- F818—(5A) (cc# 0006)、ウェイクアップ電源
- F819—(5A) (cc# 8112)、USB 充電器電源

OUO6075,00045AD-40-31JAN17

ビデオの安全

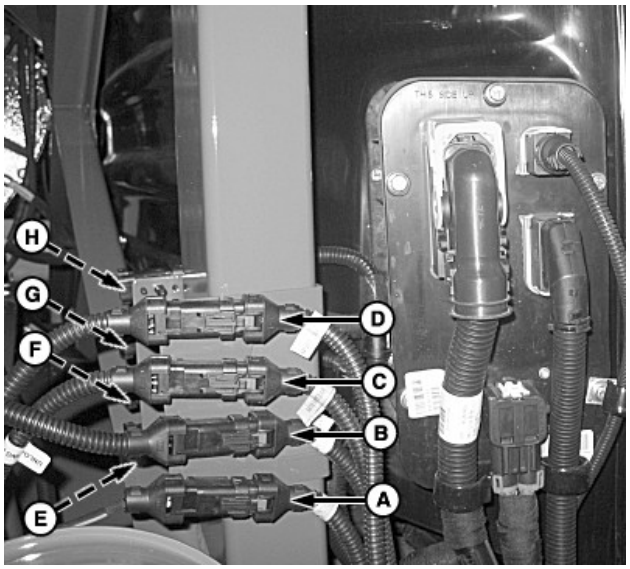
注意： 衝突回避や近くの人の確認をカメラだけに頼らないでください。オペレータやその他の人の死傷事故を防止するため、機械操作時は常に警戒を怠らず、周囲に気を配ってください。「安全」セクションの「後退時の事故の回避」を読み、理解してください。

重要：

- **カメラで鏡像が示されるのか、ビデオアプリケーションで鏡像が示されるのかを正しく理解してください。**
- **カメラは頑丈で安全な場所に取り付けてください。**
- **カメラの視野を理解してください。**
- **カメラは適切に整備しておいてください。**
- **カメラのレンズは常にきれいにしてください。**

OUO6075,00013B2-40-31JAN13

ビデオインターフェース機能



H119626—UN—12OCT16

A：ビデオ入力 1 (アームレスト)
B：ビデオ入力 2 (アームレスト)
C：ビデオ入力 3 (アームレスト)
D：ビデオ入力 4 (アームレスト)
E：ビデオ入力 1 (オプションディスプレイ)
F：ビデオ入力 2 (オプションディスプレイ)
G：ビデオ入力 3 (オプションディスプレイ)
H：ビデオ入力 4 (オプションディスプレイ)

機械には 8 つのカメラビデオ入力があり、これらは運転プラットフォームの右側にあります。

ビデオ入力 (A ~ C) は、ビデオ信号をサーバーに送信し、サーバーはさらにアームレストディスプレイに送信します。

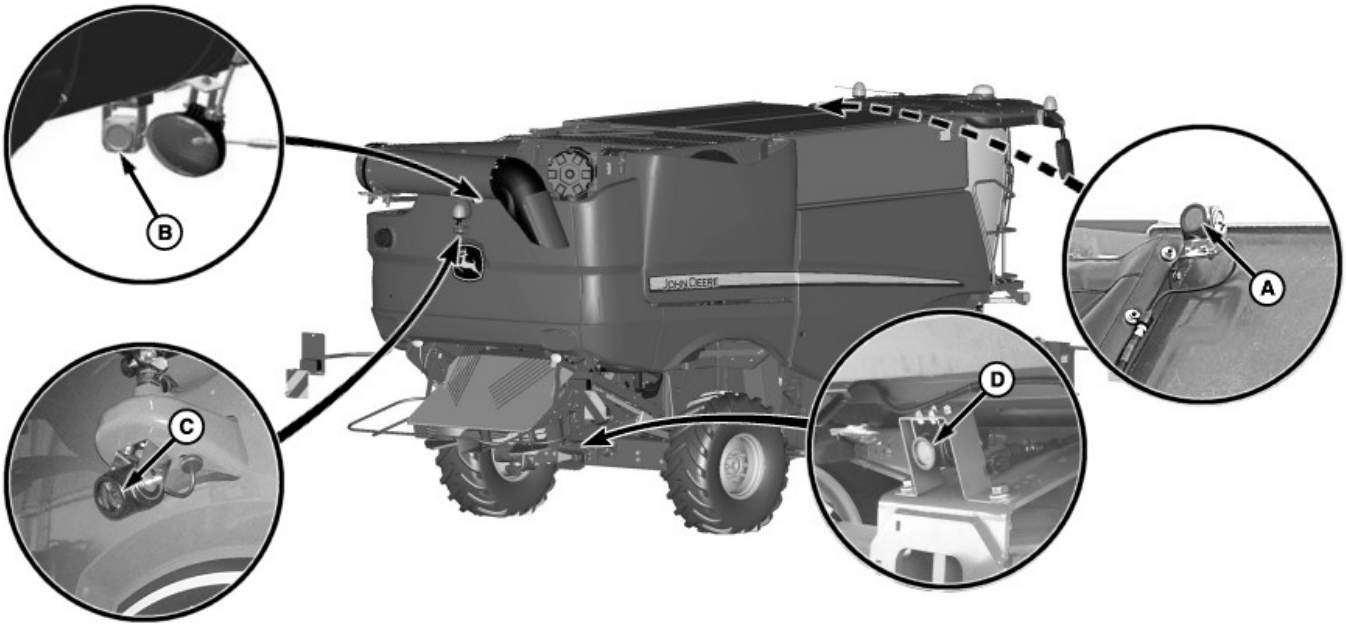
ビデオ入力 (E~H) は、ビデオ信号をオプションの GreenStar™ 3 2630 ディスプレイに送信します。

ビデオ互換カメラソリューションについて詳しくは、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

OUO6075,0004684-40-20MAR17

GreenStarはDeere & Companyの商標です。

カメラの調整 (装備されている場合)



H116367—UN—25NOV15

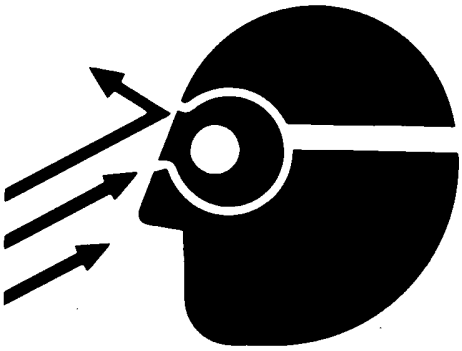
A：グレインタンクカメラ
B：アンローディングオーガカメラ
C：リアビューカメラ
D：連結装置カメラ

注記： カメラ方式は、表示される内容とは異なる場合があります。詳しくは、John Deere 取扱店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

機械にカメラ (A ~ D) が装備されている場合は、必要に応じてカメラを調整します。

OUO6075,00041A7-40-28JAN16

ハロゲンバルブ交換時の安全規則



TS266—UN—23AUG88

H59774—UN—30AUG99

A：ハロゲン電球

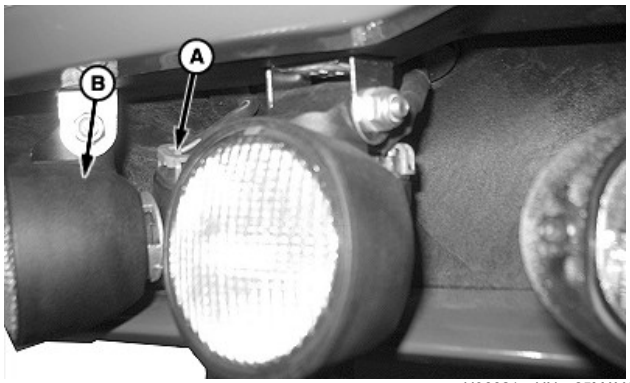
注意： ハロゲン電球 (A) には加圧されたガスが入っています。電球を正しく取り扱わないと、電球が粉々になって飛散することがあります。事故を防止するため、次のように取り扱ってください。

- **ライトのスイッチを切り、バルブが冷えてから交換してください。バルブ交換が終わるまでスイッチを OFF のままにしてください。**
- **バルブを交換するときは目の保護具を着用してください。**
- **バルブの差し込み口を扱ってください。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。**
- **取り付ける前に、清潔な布とアルコールを使用してバルブから指紋を拭き取ってください。皮膚の油分がバルブに残っていると、過熱や早期故障の原因になります。**

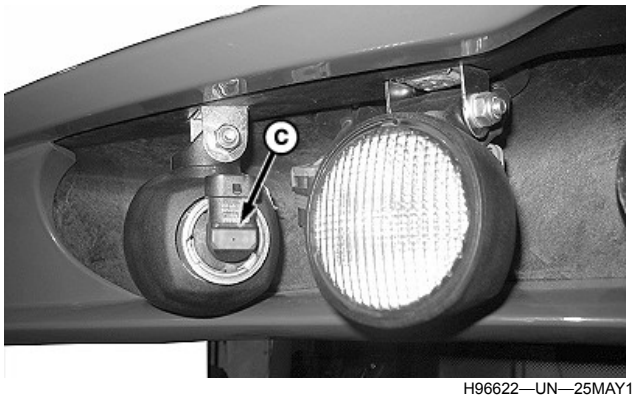
- **バルブを落としたり、傷つけないでください。**
- **バルブを湿気にさらさないでください。**
- **バルブはエンクロージャの外で点灯しないでください。バルブの内部圧力は高いので、割れたり破損したりすると破裂してけがをする恐れがあります。**
- **使用済みバルブは新品のバルブの容器に入れて、適切に廃棄してください。子供が触らないようにしてください。**

OUO6075,0001356-40-12DEC12

ハロゲンバルブキャブヘッドライト：交換



H96621—UN—25MAY10



H96622—UN—25MAY10

A：**コネクタ**
B：**ヘッドライトアセンブリ**
C：**バルブアセンブリ**

注意： **ヘッドライトの交換または調整を行う前に、フィーダーハウスを上げ、フィーダーハウス安全ストップをかけ、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

1. ワイヤハーネスコネクタ (A) をヘッドライドアセンブリ (A) から外します。
2. ライトハウジングをキャブの外側に向けて回します。
3. バルブアセンブリ (C) を反時計回りに回転させて取り外します。

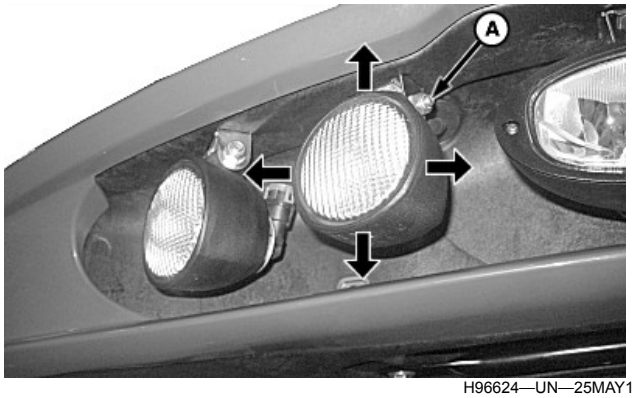
注記： 交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトバルブの表面に触れないでください。

4. バルブを交換します。
5. バルブアセンブリをハウジングに押し込み、時計回りに回して取り付けます。
6. ライトハウジングを以前の作動位置まで回し、ワイヤハーネスを接続します。
7. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,00050F5-40-05MAY21

ハロゲンバルブキャブヘッドライト：調整

垂直調整



H96624—UN—25MAY10

A：**キャップスクリュー**

注意： **ヘッドライトの交換または調整を行う前に、フィーダーハウスを上げ、フィーダーハウス安全ストップをかけ、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

注記： 必要に応じてライトアセンブリを調整し、正しい照明角度にすることができます。

1. キャップスクリュー (A) を緩めます。
2. ライトアセンブリを適切な位置まで上下に回して、キャップスクリューを締め付けます。
3. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

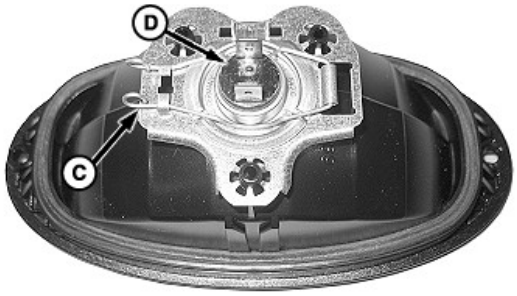
水平調整

1. ライトアセンブリを適切な位置まで左または右に回転させます。
2. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,00050F6-40-05MAY21

ハロゲンバルブキャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム)：交換

H96625—UN—25MAY10



H96626—UN—25MAY10

A：**ねじ (2 本使用)**
B：**フェースプレートレンズ**
C：**クリップ**
D：**バルブアセンブリ**

注意： **ヘッドライトの交換または調整を行う前に、フィーダーハウスを上げ、フィーダーハウス安全ストップをかけ、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

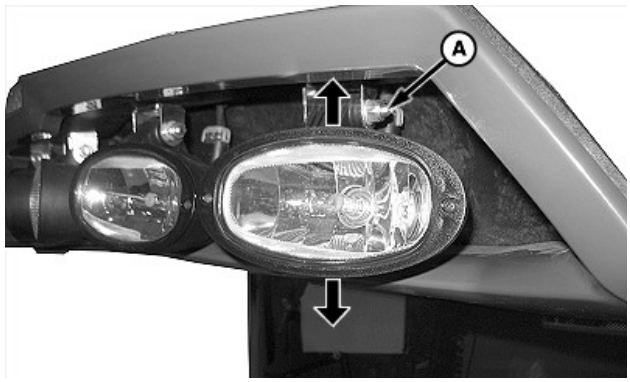
1. ねじ (A) とフェースプレートレンズ (B) をハウジングから取り外します。
2. クリップ (C) を押し込んでバルブアセンブリ (D) を取り外します。

注記： 交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトバルブの表面に触れないでください。

3. バルブを取り外して交換します。
4. クリップを使用して、バルブアセンブリをライトバルブの差し込み口に取り付けます。
5. フェースプレートレンズをハウジング内側のコネクタに合わせ、ねじで固定します。
6. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,00050F7-40-14MAY21

ハロゲンバルブキャブヘッドライト (ハイビーム/ロービーム): 調整



H96628—UN—25MAY10

A：**キャップスクリュー**

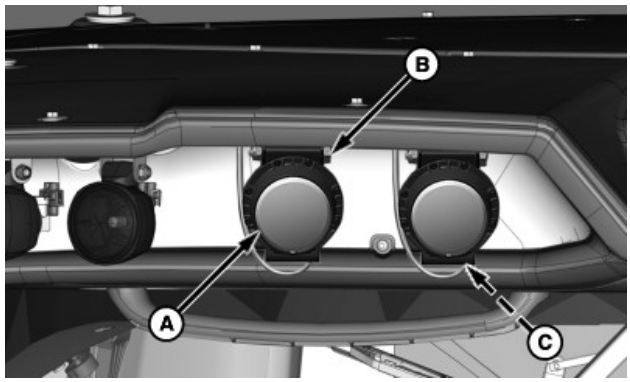
注意： **ヘッドライトの交換または調整を行う前に、フィーダーハウスを上げ、フィーダーハウス安全ストップをかけ、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

注記： 必要に応じてライトアセンブリを調整し、正しい照明角度にすることができます。

1. キャップスクリュー (A) を緩めます。
2. ライトアセンブリを適切な位置まで上下に回して、キャップスクリューを締め付けます。
3. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,00050F8-40-05MAY21

発光ダイオード (LED) キャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム) (装備されている場合)：交換



H134286—UN—04MAY21
ロービームヘッドライトの場合

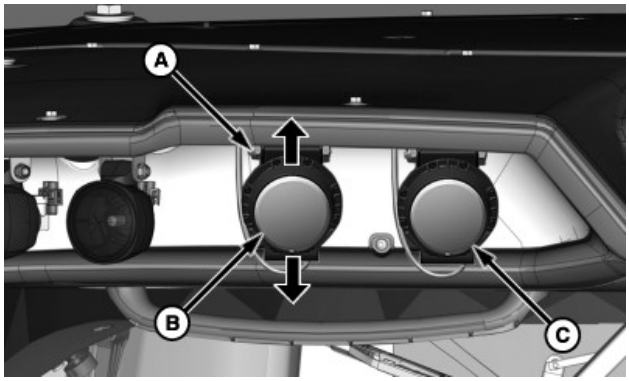
A：**ロービームキャブヘッドライトアセンブリ**
B：**コネクタ**
C：**キャップスクリュー**

注意： ヘッドライトの交換または調整を行う前に、フィーダーハウスを上げ、フィーダーハウス安全ストップをかけ、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

1. ワイヤハーネスコネクタ (B) をヘッドライトアセンブリ (A) から外します。
2. キャップスクリュー (C) とナットを取り外します。
3. ヘッドライトアセンブリを取り外して交換します。

OUO6075,00050FF-40-14MAY21

発光ダイオード (LED) キャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム) (装備されている場合)：調整



H134287—UN—04MAY21

ロービームヘッドライトの場合

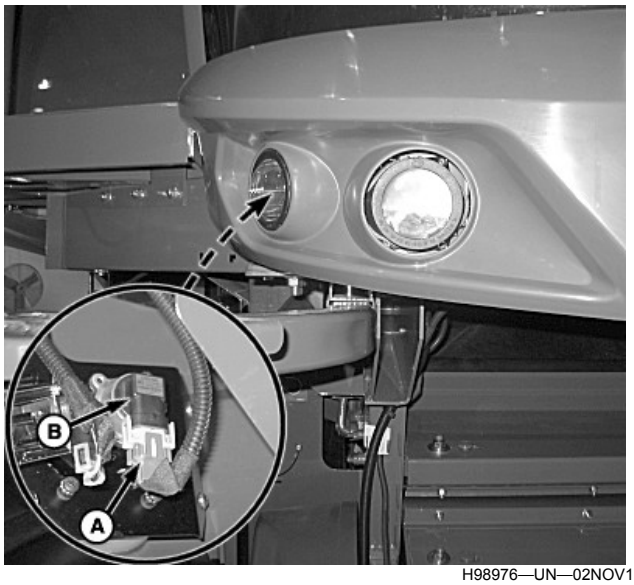
A：**キャップスクリュー**
B：**ロービームキャブヘッドライトアセンブリ**
C：**ハイビームキャブヘッドライトアセンブリ**

注意： ヘッドライトの交換または調整を行う前に、フィーダーハウスを上げ、フィーダーハウス安全ストップをかけ、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

1. キャップスクリュー (A) を緩めます。
2. ライトアセンブリ (B) または (C) を適切な位置まで上下に回して、キャップスクリューを締め付けます。
   - **ロービームキャブヘッドライト**：車両前の地面のライトアセンブリと明 / 暗境界との間の距離が 30 m (98 ft) 未満になるまで、ライト (B) の位置を調整します。
   - **ハイビームキャブヘッドライト**：車両の前の最大 100 m (328 ft) 先まで地面のライトビームが見えるようにライト (C) の位置を調整します。
3. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,0005100-40-14MAY21

ハロゲンバルブフェーシアライト (装備されている場合)：交換



H98976—UN—02NOV10

A：**コネクタ**
B：**バルブアセンブリ**

注意： ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを完全に下げてください。

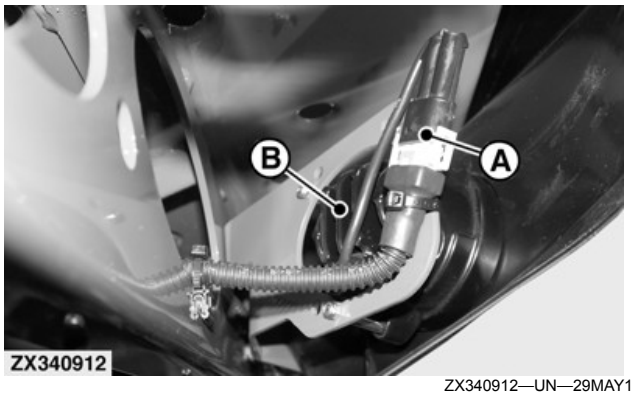
1. ワイヤハーネスコネクタ (A) をバルブアセンブリ (B) から外します。
2. バルブアセンブリを反時計回りに回転させて取り外します。

注記： 交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトバルブの表面に触れないでください。

3. バルブを取り外して交換します。
4. バルブアセンブリをハウジングに押し込み、時計回りに回して取り付けます。
5. ワイヤハーネスコネクタをバルブアセンブリに差し込みます。
6. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,00050F9-40-05MAY21

発光ダイオード (LED) フェーシアライト (装備されている場合) — 交換



ZX340912—UN—29MAY18

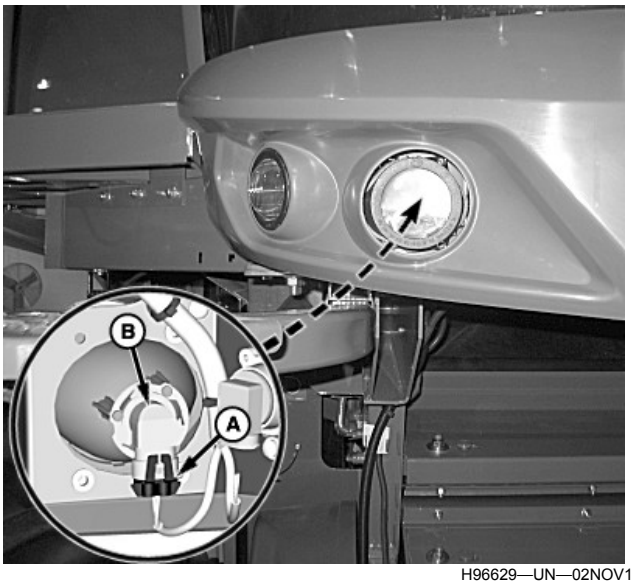
A：**コネクタ**
B：**ライトアセンブリ**

注意： **ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを完全に下げてください。**

1. ワイヤハーネスコネクタ (A) をライトアセンブリ (B) から外します。
2. ライトアセンブリを取り外して交換します。
3. ワイヤハーネスコネクタをライトアセンブリに差し込みます。
4. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,00050FA-40-05MAY21

下部走行ビームライトバルブ (装備されている場合)：交換



H96629—UN—02NOV10

A：**コネクタ**
B：**バルブアセンブリ**

注意： **ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを完全に下げてください。**

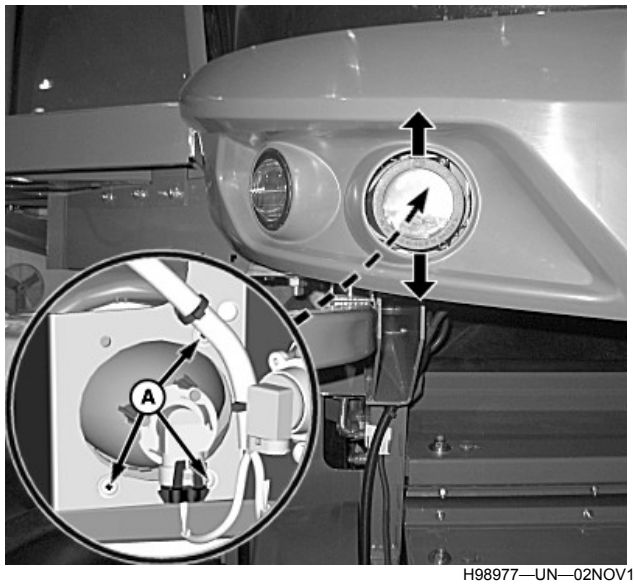
1. ワイヤハーネスコネクタ (A) をバルブアセンブリ (B) から外します。
2. バルブアセンブリを反時計回りに回転させて取り外します。

注記： 交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトバルブの表面に触れないでください。

3. バルブを取り外して交換します。
4. バルブアセンブリをハウジングに押し込み、時計回りに回して取り付けて、ワイヤハーネスを接続します。
5. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,00050FB-40-05MAY21

下部走行ビームライト (装備されている場合)：調整



H98977—UN—02NOV10

A：**ねじ (3 本使用)**

注意： **ヘッドライトを交換または調整する前に、フィーダーハウスを完全に下げてください。**

注記： 必要に応じてライトアセンブリを調整し、正しい照明角度にすることができます。

1. ライトアセンブリを適切な位置まで上下に回して、ねじ (A) を締め付けます。
2. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,00050FC-40-14MAY21

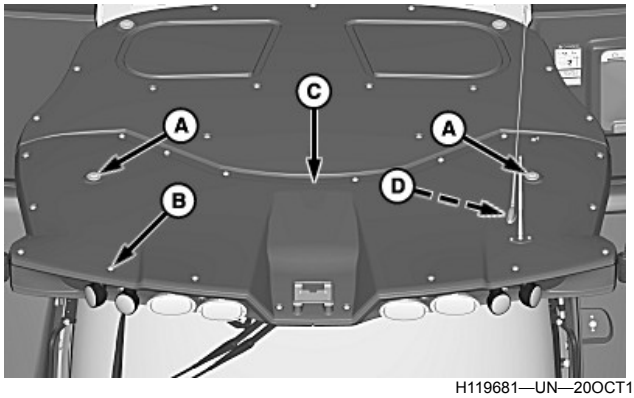
発光ダイオード (LED) ライト (オプション) : 交換

H119680—UN—20OCT16

A : **発光ダイオード (LED) ライト**

⚠ 注意 : ヘッドライトの交換または調整を行う前に、フィーダーハウスを上げ、フィーダーハウス安全ストップをかけ、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

1. 発光ダイオード (LED) ライト (A) は図に示すようにキャブの両側にあります。

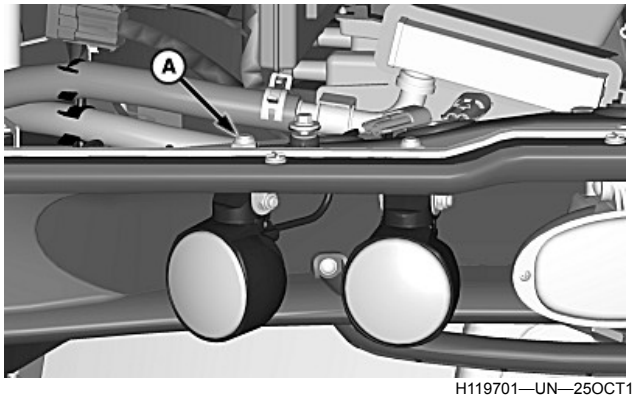


H119681—UN—20OCT16

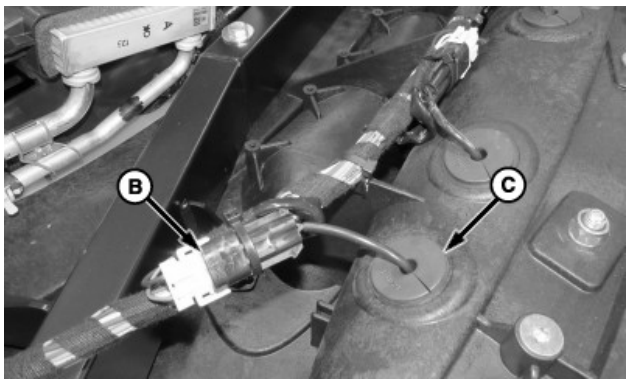
A : **キャップスクリューと座金 (2 個使用)**
B : **キャップスクリューと座金 (19 個使用)**
C : **キャブルーフ**
D : **アンテナ**

注記 : GreenStar™ ポジションレシーバを取り外します (装備されている場合)。

2. キャップスクリューと座金 (A および B) を取り外します。
3. キャブルーフ (C) の前左側を持ち上げてアンテナ (D) の接続を外します。
4. キャブルーフの前部を取り外します。



H119701—UN—25OCT16



H119683—UN—20OCT16

A : **キャップスクリューとナット**
B : **コネクタ**
C : **グロメット**

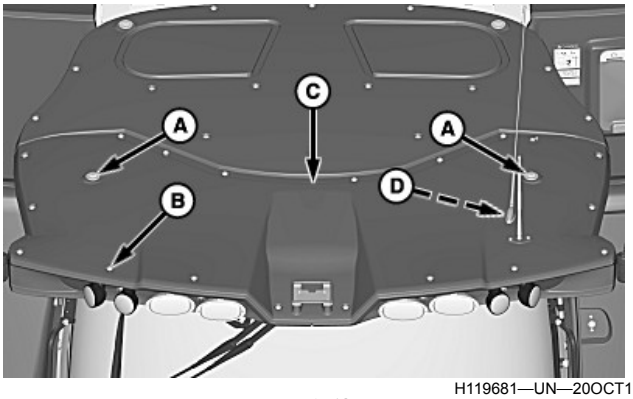
5. キャップスクリューとナット (A) を取り外します。
6. ワイヤハーネスコネクタ (B) を抜いてグロメット (C) を取り外します。
7. ライトアセンブリを取り外して交換します。
8. 取り外しとは逆の順序でライトアセンブリを取り付けます。
9. キャップスクリューとナットを仕様に従って締め付けます。

仕様

ナット : トルク	30 N·m (22 lb·ft)

10. ライトハウジングを以前の作動位置まで回します。
11. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

GreenStarはDeere & Companyの商標です。



H119681—UN—20OCT16

A：**キャップスクリューと座金 (2 個使用)**
B：**キャップスクリューと座金 (19 個使用)**
C：**キャブルーフ**
D：**アンテナ**

12. アンテナ (D) を接続してキャブルーフ (C) を取り付けます。
13. キャップスクリューと座金 (B) を取り付けて、仕様に従って締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 6 N·m (53 lb·in)

14. キャップスクリューと座金 (A) を取り付けて、仕様に従って締め付けます。

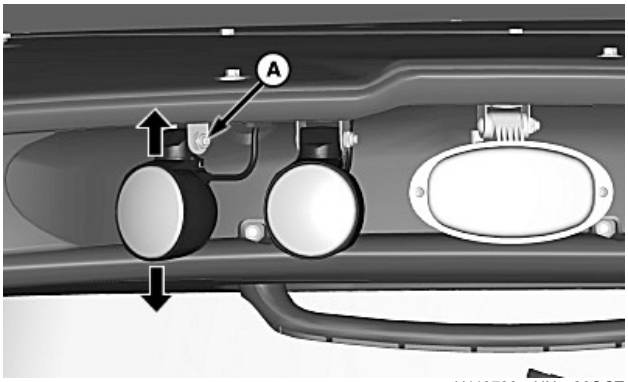
仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 10 N·m (89 lb·in)

OUO6075,00050FD-40-14MAY21

発光ダイオード (LED) ライト (オプション) — 調整

垂直調整



H119703—UN—26OCT16

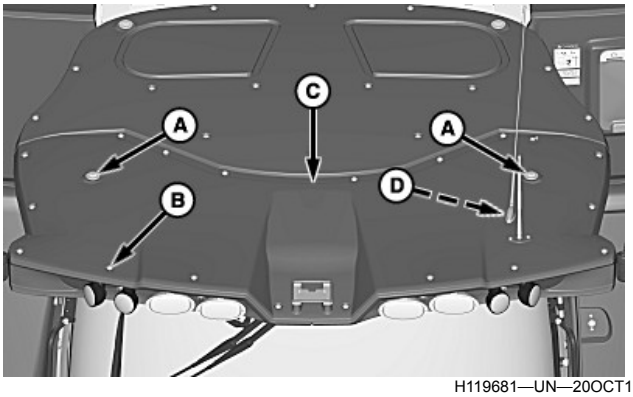
A：**キャップスクリュー**

注意： **ヘッドライトの交換または調整を行う前に、フィーダーハウスを上げ、フィーダーハウス安全ストップをかけ、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

注記： 必要に応じてライトアセンブリを調整し、正しい照明角度にすることができます。

1. キャップスクリュー (A) を緩めます。
2. ライトアセンブリを適切な位置まで上下に回して、キャップスクリューを締め付けます。
3. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

水平調整

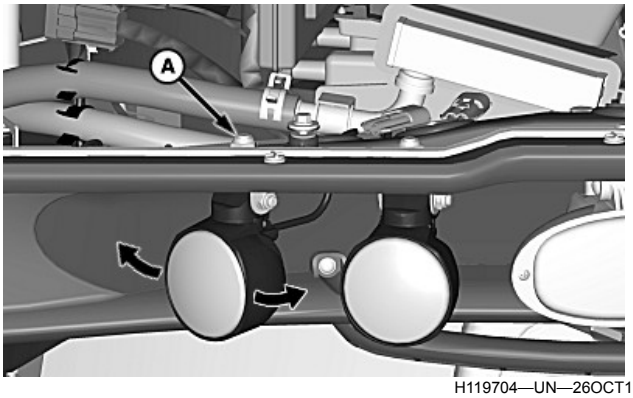


H119681—UN—20OCT16

A：**キャップスクリューと座金 (2 個使用)**
B：**キャップスクリューと座金 (19 個使用)**
C：**キャブルーフ**
D：**アンテナ**

注記： GreenStar™ ポジションレシーバを取り外します (装備されている場合)。

1. キャップスクリューと座金 (A および B) を取り外します。
2. キャブルーフ (C) の前左側を持ち上げてアンテナ (D) の接続を外します。
3. キャブルーフの前部を取り外します。



H119704—UN—26OCT16

A：**キャップスクリューとナット**

4. キャップスクリューとナット (A) を緩めます。
5. ライトアセンブリを適切な位置まで左または右に回転させます。

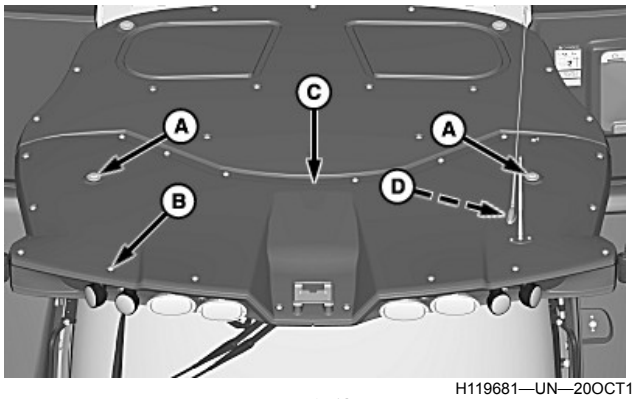
GreenStarはDeere & Companyの商標です。

6. キャップスクリューとナットを仕様に従って締め付けます。

仕様

ナット：トルク. . . . . 30 N·m (22 lb·ft)

7. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。



H119681—UN—20OCT16

A：**キャップスクリューと座金 (2 個使用)**
B：**キャップスクリューと座金 (19 個使用)**
C：**キャブルーフ**
D：**アンテナ**

8. アンテナ (D) を接続してキャブルーフ (C) を取り付けます。
9. キャップスクリューと座金 (B) を取り付けて、仕様に従って締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 6 N·m (53 lb·in)

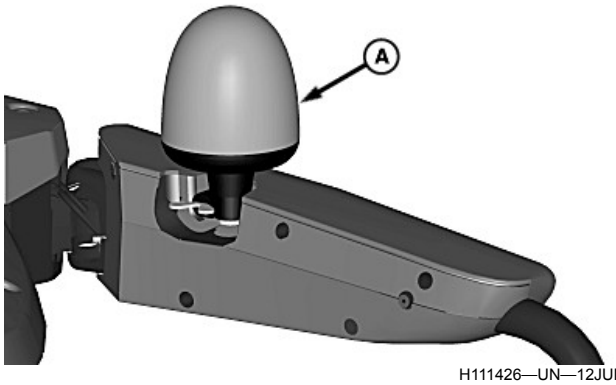
10. キャップスクリューと座金 (A) を取り付けて、仕様に従って締め付けます。

仕様

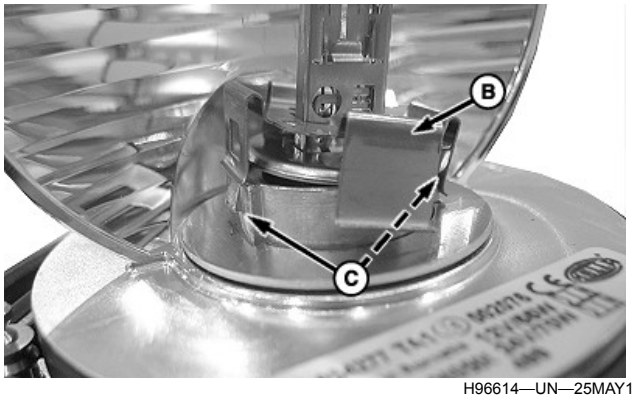
キャップスクリュー：トルク. . . . . 10 N·m (89 lb·in)

OUO6075,00050FE-40-14MAY21

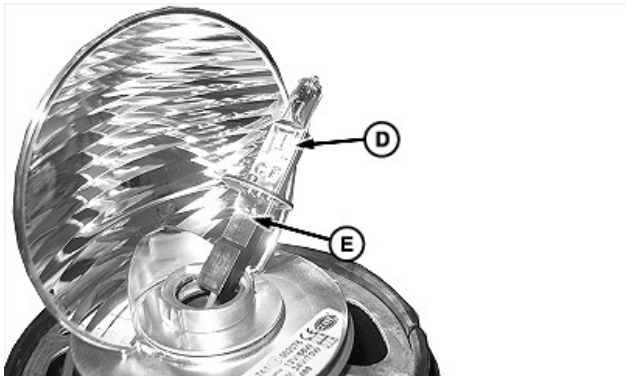
ビーコンライトの交換 (スタイルA)



H111426—UN—12JUN14



H96614—UN—25MAY10



H96615—UN—25MAY10

A：**レンズ**
B：**クリップ**
C：**ロックタブ**
D：**バルブアセンブリ**
E：**コネクタ**

注意：**ビーコンライトを交換する前に、フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。**

レンズ (A) を押し下げて、反時計回りに回して取り外します。

クリップ (B) をこじてロックタブ (C) から外します。

バルブアセンブリ (D) をコネクタ (E) から取り外します。

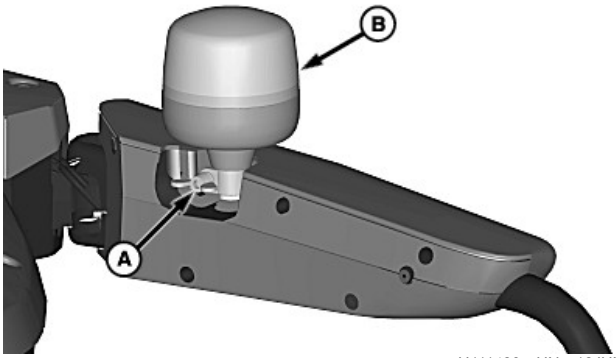
注記：交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトバルブの表面に触れないでください。

バルブを交換し、取り外しと逆の順に取り付けます。

必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,0004582-40-18JAN17

ビーコンライトの交換 (スタイル B)



H111428—UN—12JUN14

A：**蝶ナット**
B：**ビーコンライト**

⚠ 注意：**ビーコンライトを交換する前に、フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。**

注記： 発光ダイオードは、特定のタイヤサイズに応じて道路輸送高さの要件について地域および政府の規則に適合する必要があります。

蝶ナット (A) を緩めて、ビーコンライト (B) を電源コンセントから取り外します。

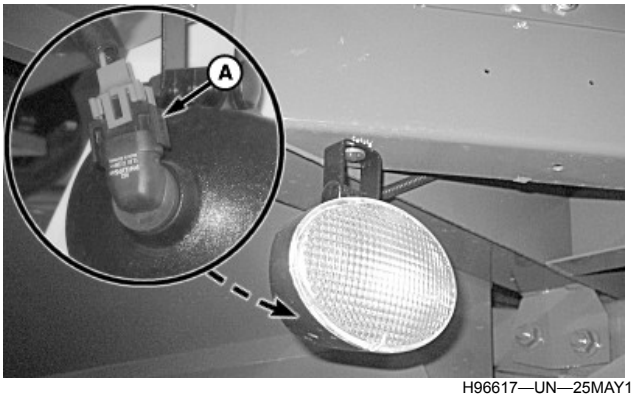
ビーコンライトアセンブリを取り外して交換します。

ビーコンライトアセンブリを押し下げて、電源コンセントとの接続が良好であることを確認し、蝶ナットを締め付けます。

必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,000478B-40-28JUN17

ハロゲンバルブ作業灯 (装備されている場合) — 交換



H96617—UN—25MAY10

右スタッブルライト

A：**コネクタ**

注記： 記載している手順は、スタブルライトの交換手順です。この手順は、次のライトの手順と同様です：

- ディスチャージライト
- 補助圃場灯
- アクセスドア作業灯
- スタブルライト
- グレンタンクライト
- アンローディングオーガライト

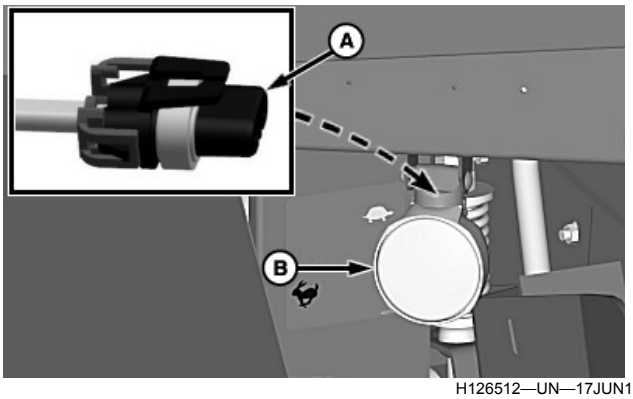
1. バルブアセンブリからワイヤハーネスコネクタ (A) の接続を外します。
2. バルブアセンブリを反時計回りに回転させて取り外します。

注記： 交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトバルブの表面に触れないでください。

3. バルブを取り外して交換します。
4. バルブアセンブリをハウジングに押し込み、時計回りに回して取り付けます。
5. ワイヤハーネスコネクタをバルブアセンブリに差し込みます。
6. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,0004BCA-40-19JUN19

発光ダイオード (LED) 作業灯 (装備されている場合) — 交換



H126512—UN—17JUN19

右スタッブルライト

A：**コネクタ**
B：**ライトアセンブリ**

注記： 記載している手順は、スタブルライトの交換手順です。この手順は、次のライトの手順と同様です：

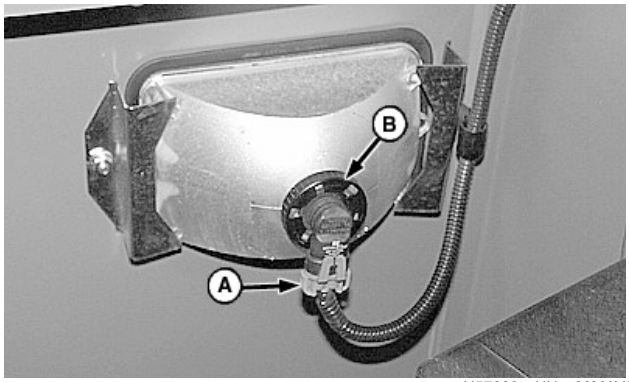
- ディスチャージライト
- 補助圃場灯
- アクセスドア作業灯
- スタブルライト
- グレンタンクライト

- アンローディングオーガライト

1. ライトアセンブリ (B) からワイヤハーネスコネクタ (A) の接続を外します。
2. ライトアセンブリを取り外して交換します。
3. ワイヤハーネスコネクタをライトアセンブリに差し込みます。
4. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,0004BC8-40-18JUN19

ハロゲンバルブ側面ライトおよびクリーニングシューライト (装備されている場合) — 交換



H57680—UN—28MAY99

A：**コネクタ**
B：**リテーナリング**

注記： 記載している手順は、側面ライトの交換手順です。この手順は、次のライトの手順と同様です：

- クリーニングシューライト

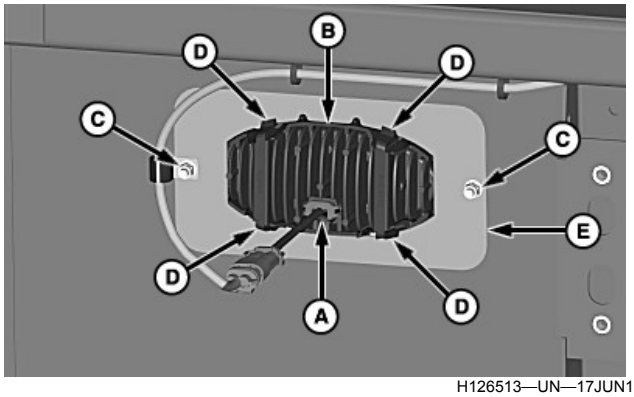
1. バルブアセンブリからワイヤハーネスコネクタ (A) の接続を外します。
2. リテーナリング (B) を押し込み、反時計回りにひねって取り外します。

注記： 交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトバルブの表面に触れないでください。

3. バルブを取り外して交換します。
4. 逆順にバルブアセンブリを取り付けます。
5. ワイヤハーネスコネクタをバルブアセンブリに差し込みます。
6. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,0004BCB-40-19JUN19

発光ダイオード (LED) 側面ライトおよびクリーニングシューライト (装備されている場合) — 交換



H126513—UN—17JUN19

A：**コネクタ**
B：**ライトアセンブリ**
C：**キャップスクリューとナット (2 組使用)**
D：**タブ (4 個使用)**
E：**プレート**

注記： 記載している手順は、側面ライトの交換手順です。この手順は、次のライトの手順と同様です：

- クリーニングシューライト

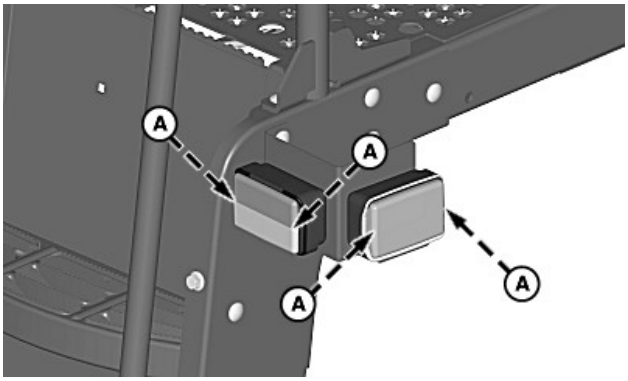
1. ライトアセンブリ (B) からワイヤハーネスコネクタ (A) の接続を外します。
2. キャップスクリューとナット (C) を取り外します。
3. タブ (D) を押して、ライトアセンブリをプレート (E) から分離します。
4. ライトアセンブリを本機の外側から取り外します。
5. 交換用のライトアセンブリを本機の外側から取り付けます。

注記： ライトアセンブリのタブは、プレートの所定の位置にかみ合います。

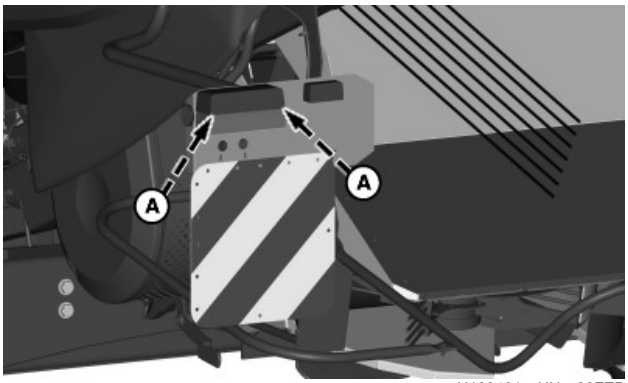
6. ライトアセンブリと前の手順で取り外したプレートを保持します。
7. 前の手順で取り外したキャップスクリューとナットを取り付けます。
8. ワイヤハーネスコネクタをライトアセンブリに差し込みます。
9. 必要に応じて、残りのライトで手順を繰り返します。

OUO6075,0004BC9-40-18JUN19

ハザード警告灯 / クリアランスライト、マーカー / 停止灯、リアハザード警告灯 — 交換



H121705—UN—07JUN17
ハザード / マーカーライト



H100491—UN—28FEB11
マーカー / ブレーキライトおよびリアハザードライト

A：**ねじ**

必要なレンズカバーからねじ (A) を取り外します。

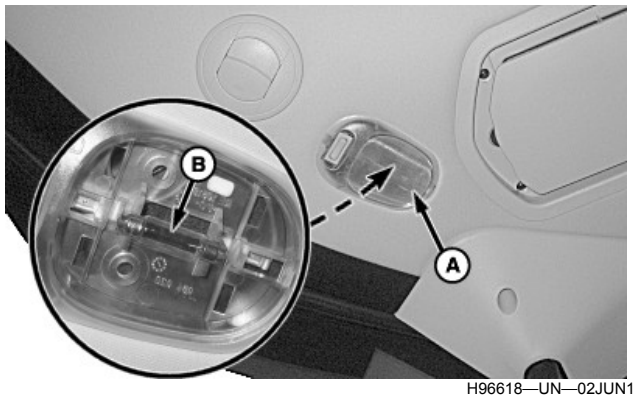
ライトバルブを押し込んで反時計回りに回して取り外します。

注記： 交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトバルブの表面に触れないでください。

取り外しと逆順でバルブと必要なレンズカバーを取り付けます。

OUO6075,0004759-40-07JUN17

キャビンインテリアライト：交換



H96618—UN—02JUN10

A：**レンズカバー**
B：**バルブ**

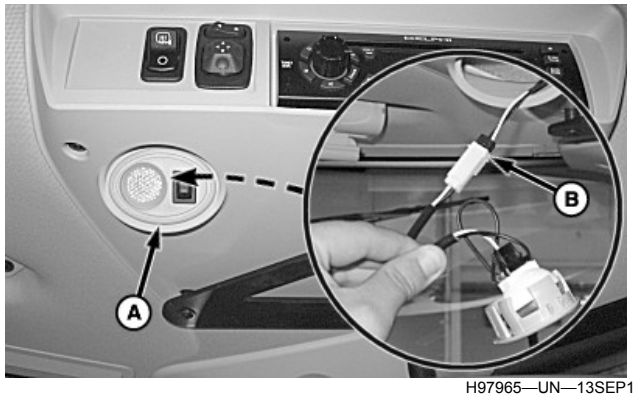
レンズカバー (A) を取り外してバルブ (B) を取り外します。

注記： 交換用ライトバルブは皮膚の接触に敏感です。保護手袋を着用するか、ライトのバルブ面に触れないでください。

取り外しと逆の順序でバルブとレンズカバーを取り付けます。

OUO6075,0000783-40-04NOV10

マップライト：交換



H97965—UN—13SEP10

A：**マップライトアセンブリ**
B：**コネクタ**

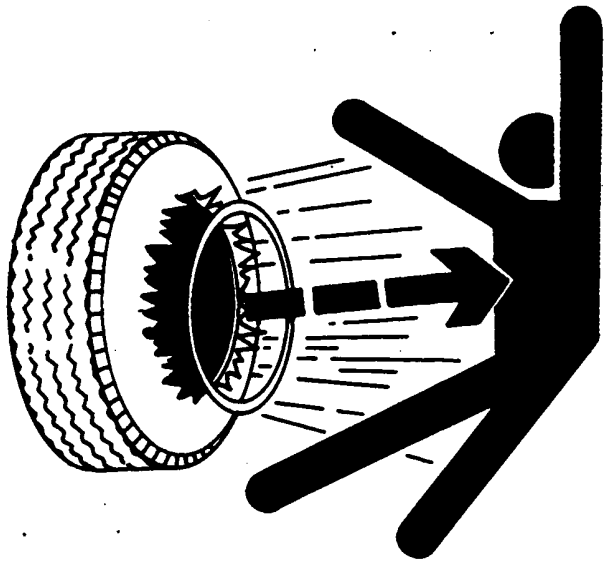
マップライトアセンブリ (A) を取り外して、ワイヤハーネスコネクタ (B) の接続を外します。

マップライトアセンブリを取り外して交換します。

図に示すように、取り外しとは逆の順にマップライトアセンブリを取り付けて向きを調整します。

OUO6075,00009AF-40-13SEP10

タイヤの安全な整備



TS211—UN—15APR13

注意： タイヤやリム部品の破裂は死傷事故の原因となることがあります。

適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。

常に正しいタイヤ空気圧を維持してください。 推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。

ホイールおよびタイヤアセンブリを溶接、加熱しないでください。 熱により空気圧が高くなり、タイヤが破裂することがあります。 溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形することがあります。

タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、タイヤアセンブリの前や上ではなく片側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。 必要に応じて安全ケージを使用してください。

ホイールを点検し、圧不足、切れ、泡、リムの損傷、ラグボルトとナットの不足がないかどうかを確認します。

DX,RIM1-40-27OCT08

ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送

公道でのコンバインの運転に関する国および地域の規則を順守してください。

ドイツの公道で輸送する場合は、最寄りの TUEV の認可を受けて道路使用許可を得る必要があります。

販売店または製造工場で認可を申請してください。

OUO6075,0004673-40-16MAR17

タイヤの手入れと整備

重要： 元から装備されているタイヤと異なる仕様のタイヤを取り付けると、機械が故障するおそれがあります。お近くの取扱店かタイヤのメーカーにご相談ください。

標準外のタイヤや推奨タイヤよりも大きいタイヤを使用すると保証対象外になり、安定性の低下やステアリングへの影響を招き、タイヤの早期破損やその他の耐久性または安全性に関わる問題が発生するおそれがあります。

損傷していないか、または空気圧が極端に低くないかタイヤを毎日点検してください。

少なくとも 100 運転時間ごとに、タイヤ空気圧を点検してください。タイヤに液体バラストを使用している場合は、専用のエアウォーターゲージを使用して底部のバルブステムで測定します。

チューブレスタイヤの小さいパンクはタイヤを取り外さないで一時的に修理できるので、繁忙期の作業中止時間を回避できます。

直射日光、石油製品、化学薬品からタイヤを保護してください。

慎重に運転してください。岩や鋭利な物体を回避してください。

重要： タイヤの損傷が進まないように、可能な限り早期に完全な修理を実施する必要があります。

注記： タイヤ情報および仕様は、発行時点で入手可能な最新の情報に基づきます。予告なしに内容を変更する場合があります。タイヤ圧表について詳しくは、オンラインの『コンバイン Ag セールスマニュアル』を参照するか、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

表に示すタイヤ圧は、タイヤ側面に表示されているタイヤ圧とは異なる場合があります。

ヘッダーの互換性と指定されているタイヤ圧は、コースグレン構成のフロントアクスル荷重に基づいています。

荷重は構成に応じて異なります。これはワーストケースシナリオを反映していない場合もあります。不明な場合は、最寄りのタイヤ販売店にお問い合わせください。

すべての機械またはすべての製造施設ですべてのタイヤを利用できるわけではありません。

オンボードエアコンプレッサ (装備されている場合) - 機械のタイヤに空気を入れたり、空気駆動式工具を駆動したりするために使用することは推奨されません。

OUO6075,0004635-40-20MAR17

基本的なタイヤ情報

ダイアゴナルタイヤ (バイアス)

16.9 - 28 10PR R1
Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

H125004—UN—25SEP18

ダイアゴナルタイヤ (バイアス) は、従来の命名法によって識別されます。

A：タイヤのトレッド幅をインチ単位で示します。
B：タイヤがダイアゴナルタイヤであることを示します。
C：リムの直径をインチ単位で示します。
D：プライレーティングは、プライの数ではなく、カーカスの強度を示します。
E：ラグタイヤの種類とサイズ。

ラジアルタイヤ

16.9 R 28 R1W
Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

H125005—UN—25SEP18

ラジアルタイヤは、従来の命名法または国際的なシステムによって識別できます。

従来の命名法

A：タイヤのトレッド幅をインチ単位で示します。
B：タイヤがラジアルであることを示します。
C：リムの直径をインチ単位で示します。
D：ラグタイヤの種類とサイズ。

600 /65 R 28 R1 155 A8
Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ Ⓕ Ⓖ

H125006—UN—25SEP18

国際システム

A：タイヤの幅をミリメートル単位で示します。
B：タイヤ (側面) の高さを幅に対する割合で示します。
C：タイヤがラジアルであることを示します。
D：リムの直径をインチ単位で示します。
E：ラグタイヤの種類とサイズ。
F：タイヤの耐荷重指数を示します。
G：タイヤに指定される最高速度を示します。

高浮力タイヤ

850 /60 - 38 R1
Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ

H125007—UN—25SEP18

高浮力タイヤは、混合命名法によって識別されます。

A：タイヤの幅をミリメートル単位で示します。
B：タイヤ (側面) の高さを幅に対する割合で示します。
C：タイヤがダイアゴナルタイヤであることを示します。
D：リムの直径をインチ単位で示します。
E：ラグタイヤの種類とサイズ。

OUO6075,0004A27-40-08JAN19

タイヤトレッドの種類

H125003—UN—24SEP18

注記： タイヤトレッドの形状は、タイヤメーカーによって異なります。

トレッドには次の 3 種類があり、これらは農業用途で最も使用されています。

A：R1 タイヤ。農業用途で最も一般的で、ほとんどの土壌条件に適しています。
B：R1W タイヤ。ラグが R1 タイヤよりも 20% 高いので、道路での運転時に使用すると耐久性が高くなります。
C：R2 タイヤ。ぬかるみ、湿潤条件、および支持がわずかである土地で使用されます。例：灌漑水田。

OUO6075,0004A28-40-24SEP18

フロントタイヤ圧 (S760 および S770)

重要： すべての道路輸送は、「ヘッドなし / 輸送」列に示す圧力で行う必要があります。輸送時に圧力が不適切な場合、車両の安定性が低下する可能性があります。正しい圧力により、良好な燃費が得られ、タイヤ寿命が長くなります。

注記： 詳しくは、このセクションの「タイヤの手入れと整備」を参照してください。

速度	輸送速度 40 km/h (25 mph)		収穫速度 10 km/h (6 mph)				
概略質量	ヘッドなし / 輸送[a]	4500—5500 kg	1500—2500 kg	2500—3500 kg	3500—4500 kg	4500—5500 kg	5500—6000 kg
		9900—12 100 lb	3300—5500 lb	5500—7700 lb	7700—9900 lb	9900—12 100 lb	12 100—13 200 lb
ベルトピックアップ/ドレーパーヘッド	非該当	非該当	BP15 620F 620R 622F 622R 625F 625R	630F 630R 635F 635R 725D 722PF 725PF 722X 725X	RD30F RD35F RD40F 730D 735D 740D 735X 730PF 735PF	HD35R HD35F HD35X HD40R HD40X HD45R RD45F 740X 740PF	HD40F HD45F
フロントタイヤサイズ	S760 および S770 - タイヤ圧 - bar/kPa (psi)						
680/85R32 178A8	1.4/140 (20)	NR	2.4/240 (35)	2.8/280 (41)	3.2/320 (47)	NR	NR
680/85R32 CHO 178A8	1.4/140 (20)	NR	2.0/200 (29)	2.4/240 (35)	3.2/320 (47)	NR	NR
IF 680/85R32 CFO 179A8	1.4/140 (20)	NR	1.6/160 (23)	2.0/200 (29)	2.2/220 (32)	NR	NR
VF 710/70R42 CFO 190B	1.6/160 (23)	NR	1.6/160 (23)	2.0/200 (29)	2.4/240 (35)	NR	NR
800/65R32 172A8-178A8	1.8/180 (26)	NR	2.8/280 (41)	2.8/280 (41)	3.2/320 (47)	NR	NR
IF 800/65R32 CFO 178A8-179A8	1.6/160 (23)	NR	2.0/200 (29)	2.4/240 (35)	NR	NR	NR
800/70R32 CHO 175A8	1.4/140 (20)	NR	1.8/180 (26)	2.0/200 (29)	2.0/200 (29)	NR	NR
IF 800/70R32 CFO 182A8	1.6/160 (23)	NR	1.8/180 (26)	2.0/200 (29)	2.2/220 (32)	NR	NR
800/70R38 173A8-181A8	1.4/140 (20)	NR	2.0/200 (29)	2.0/200 (29)	2.4/240 (35)	NR	NR
IF 800/70R38 CFO 184A8-187A8	1.2/120 (17)	NR	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	NR	NR
VF 800/70R38 CFO 193A8	1.2/120 (17)	2.6/260 (38)	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	2.0/200 (29)	NR	NR
LSW 800/55R46 CFO 190D	1.2/120 (17)	3.2/320 (47)	1.8/180 (26)	2.4/240 (35)	2.4/240 (35)	NR	NR
900/60R32 176A8	1.2/120 (17)	NR	2.4/240 (35)	2.4/240 (35)	2.8/280 (41)	NR	NR
900/60R38 181A8	1.2/120 (17)	NR	2.0/200 (29)	2.2/220 (32)	2.4/240 (35)	NR	NR
IF 900/65R32 CFO 191A8	1.2/120 (17)	3.2/320 (47)	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	2.6/260 (38)	NR	NR
VF 900/60R32 CFO 193A8	1.2/120 (17)	2.8/280 (41)	1.6/160 (23)	1.8/180 (26)	2.4/240 (35)	NR	NR
VF 900/60R38 CFO+ 193A8	1.2/120 (17)	2.8/280 (41)	1.4/140 (20)	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	NR	NR
LSW 1100/45R46 CFO 201D	1.2/120 (17)	2.4/240 (35)	1.2/120 (17)	1.4/140 (20)	2.4/240 (35)	NR	NR
IF 1250/50R32 CFO 201B	1.2/120 (17)	2.4/240 (35)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.4/140 (20)	NR	NR

速度	輸送速度 40 km/h (25 mph)		収穫速度 10 km/h (6 mph)				
概略質量	ヘッドなし / 輸送[a]	4500—5500 kg	1500—2500 kg	2500—3500 kg	3500—4500 kg	4500—5500 kg	5500—6000 kg
		9900—12 100 lb	3300—5500 lb	5500—7700 lb	7700—9900 lb	9900—12 100 lb	12 100—13 200 lb
ベルトピックアップ/ドレーパーヘッド	非該当	非該当	BP15 620F 620R 622F 622R 625F 625R	630F 630R 635F 635R 725D 722PF 725PF 722X 725X	RD30F RD35F RD40F 730D 735D 740D 735X 730PF 735PF	HD35R HD35F HD35X HD40R HD40X HD45R RD45F 740X 740PF	HD40F HD45F
フロントタイヤサイズ	S760 および S770 - タイヤ圧 - bar/kPa (psi)						
LSW 1250/35R46 CFO 202B	1.2/120 (17)	2.4/240 (35)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.4/140 (20)	NR	NR
520/85R42 157A8-165B DUALS	1.2/120 (17)	2.0/200 (29)	1.8/180 (26)	2.0/200 (29)	2.2/220 (32)	NR	NR
IF 520/85R42 CFO 169D ダブルタイヤ	1.2/120 (17)	1.8/180 (26)	1.4/140 (20)	1.4/140 (20)	2.2/220 (32)	NR	NR
VF 520/85R42 CFO 174A8 DUALS	1.2/120 (17)	1.8/180 (26)	1.4/140 (20)	1.4/140 (20)	2.2/220 (32)	NR	NR
580/85R42 166D ダブルタイヤ	1.2/120 (17)	2.0/200 (29)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	1.8/180 (26)	NR	NR
650/85R38 173A8 DUALS	1.2/120 (17)	1.8/180 (26)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	NR	NR
NR = 非推奨							

[a] *道路輸送時の構成 (ヘッダーなし、タンクにグレンなし) を示しています。*

OUO6075,0005129-40-14MAY21

フロントタイヤ圧 (S780、S785、S790)

重要： すべての道路輸送は、「ヘッドなし / 輸送」列に示す圧力で行う必要があります。輸送時に圧力が不適切な場合、車両の安定性が低下する可能性があります。正しい圧力により、良好な燃費が得られ、タイヤ寿命が長くなります。

注記： 詳しくは、このセクションの「タイヤの手入れと整備」を参照してください。

速度	輸送速度 40 km/h (25 mph)		収穫速度 10 km/h (6 mph)				
概略質量	ヘッドなし / 輸送[a]	4500—5500 kg	1500—2500 kg	2500—3500 kg	3500—4500 kg	4500—5500 kg	5500—6000 kg
		9900—12 100 lb	3300—5500 lb	5500—7700 lb	7700—9900 lb	9900—12 100 lb	12 100—13 200 lb
ベルトピックアップ/ドレーパーヘッド	非該当	非該当	BP15 620F 620R 622F 622R 625F 625R	630F 630R 635F 635R 725D 722PF 725PF 722X 725X	RD30F RD35F RD40F 730D 735D 740D 735X 730PF 735PF	HD35R HD35F HD35X HD40R HD40X HD45R RD45F 740X 740PF	HD40F HD45F
フロントタイヤサイズ	S780、S785、S790 - タイヤ圧 - bar/kPa (psi)						
680/85R32 178A8	1.4/140 (20)	NR	2.8/280 (41)	3.2/320 (47)	4.0/400 (58)	NR	NR
680/85R32 CHO 178A8	1.4/140 (20)	NR	2.4/240 (35)	2.8/280 (41)	3.2/320 (47)	4.0/400 (58)	NR
IF 680/85R32 CFO 179A8	1.4/140 (20)	NR	2.2/220 (32)	2.4/240 (35)	NR	NR	NR
VF 710/70R42 CFO 193B	1.6/160 (23)	3.6/360 (52)	2.4/240 (35)	2.4/240 (35)	3.0/300 (44)	NR	NR
IF 800/65R32 CFO 178A8-179A8	1.6/160 (23)	NR	2.4/240 (35)	NR	NR	NR	NR
800/70R32 CHO 175A8	1.6/160 (23)	NR	2.0/200 (29)	2.4/240 (35)	2.4/240 (35)	NR	NR
IF 800/70R32 CFO 182A8	1.6/160 (23)	NR	2.0/200 (29)	2.2/220 (32)	2.6/260 (38)	NR	NR
800/70R38 173A8-181A8	1.6/160 (23)	NR	2.4/240 (35)	2.4/240 (35)	2.8/280 (41)	NR	NR
IF 800/70R38 CFO 184A8-187A8	1.2/120 (17)	NR	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	NR	NR
VF 800/70R38 CFO 193A8	1.2/120 (17)	2.6/260 (38)	1.6/160 (23)	2.0/200 (29)	2.2/220 (32)	2.6/260 (38)	NR
LSW 800/55R46 CFO 190D	1.2/120 (17)	3.2/320 (47)	2.0/200 (29)	2.6/260 (38)	2.8/280 (41)	3.2/320 (47)	NR
900/60R32 176A8	1.2/120 (17)	NR	2.4/240 (35)	2.8/280 (41)	2.8/280 (41)	NR	NR
900/60R38 181A8	1.2/120 (17)	NR	2.4/240 (35)	2.8/280 (41)	2.8/280 (41)	NR	NR
IF 900/65R32 CFO 191A8	1.2/120 (17)	3.2/320 (47)	1.6/160 (23)	2.0/200 (29)	2.8/280 (41)	2.8/280 (41)	NR
VF 900/60R32 CFO 193A8	1.2/120 (17)	2.8/280 (41)	1.8/180 (26)	2.2/220 (32)	2.6/260 (38)	2.8/280 (41)	NR
VF 900/60R38 CFO+ 193A8	1.2/120 (17)	2.8/280 (41)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	1.8/180 (26)	NR
LSW 1100/45R46 CFO 201D	1.2/120 (17)	2.4/240 (35)	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	2.4/240 (35)	2.4/240 (35)	2.6/260 (38)
IF 1250/50R32 CFO 201B	1.2/120 (17)	2.4/240 (35)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	2.0/200 (29)
LSW 1250/35R46 CFO 202B	1.2/120 (17)	2.4/240 (35)	1.2/120 (17)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	2.0/200 (29)

速度	輸送速度 40 km/h (25 mph)		収穫速度 10 km/h (6 mph)				
概略質量	ヘッドなし / 輸送[a]	4500—5500 kg	1500—2500 kg	2500—3500 kg	3500—4500 kg	4500—5500 kg	5500—6000 kg
		9900—12 100 lb	3300—5500 lb	5500—7700 lb	7700—9900 lb	9900—12 100 lb	12 100—13 200 lb
ベルトピックアップ/ドレーパーヘッド	非該当	非該当	BP15 620F 620R 622F 622R 625F 625R	630F 630R 635F 635R 725D 722PF 725PF 722X 725X	RD30F RD35F RD40F 730D 735D 740D 735X 730PF 735PF	HD35R HD35F HD35X HD40R HD40X HD45R RD45F 740X 740PF	HD40F HD45F
フロントタイヤサイズ	S780、S785、S790 - タイヤ圧 - bar/kPa (psi)						
520/85R42 162A8-165B DUALS	1.2/120 (17)	2.0/200 (29)	2.0/200 (29)	2.4/240 (35)	3.0/300 (44)	3.0/300 (44)	3.2/320 (47)
IF 520/85R42 CFO 169D ダブルタイヤ	1.2/120 (17)	1.8/180 (26)	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	2.6/260 (38)	2.6/260 (38)	2.8/280 (41)
VF 520/85R42 CFO 174A8 DUALS	1.2/120 (17)	1.8/180 (26)	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	2.6/260 (38)	2.6/260 (38)	2.8/280 (41)
580/85R42 166D ダブルタイヤ	1.2/120 (17)	2.0/200 (29)	1.6/160 (23)	1.8/180 (26)	2.0/200 (29)	2.2/220 (32)	2.4/240 (35)
650/85R38 173A8 DUALS	1.2/120 (17)	1.8/180 (26)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	2.0/200 (29)	2.0/200 (29)
NR = 非推奨							

[a] *道路輸送時の構成 (ヘッダーなし、タンクにグレンなし) を示しています。*

OUO6075,000512A-40-14MAY21

フロントタイヤ圧 (HillMaster™)

注記： 詳しくは、このセクションの「タイヤの手入れと整備」を参照してください。

重要： すべての道路輸送は、「ヘッドなし / 輸送」列に示す圧力で行う必要があります。輸送時に圧力が不適切な場合、車両の安定性が低下する可能性があります。正しい圧力により、良好な燃費が得られ、タイヤ寿命が長くなります。

速度	輸送速度 40 km/h (25 mph)	収穫速度 10 km/h (6 mph)					
概略質量	ヘッドなし / 輸送[a]	1500—2500 kg 3300—5500 lb	2500—3500 kg 5500—7700 lb	3500—4000 kg 7700—8800 lb	4000—4500 kg 8800—9900 lb	4500—5500 kg 9900—12 100 lb	5500—6000 kg 12 100—13 200 lb
ベルトピックアップ/ドレーパーヘッド	非該当	BP15 620F 620R 622F 622R 625F 625R	630F 630R 635F 635R 725D 722PF 725PF 722X 725X	RD30F 730D 735X	RD35F RD40F 735D 740D 730PF 735PF	HD35R HD35F HD35X HD40R HD40X HD45R RD45F 740X 740PF	HD40F HD45F
フロントタイヤサイズ	S770 HillMaster™ - タイヤ圧 - bar/kPa (psi)						
680/85R32 178A8	1.6/160 (23)	2.4/240 (35)	2.8/280 (41)	3.8/380 (55)	NR	NR	NR
680/85R32 CHO 178A8	1.6/160 (23)	2.4/240 (35)	2.8/280 (41)	3.0/300 (44)	NR	NR	NR
IF 680/85R32 CFO 179A8	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	2.0/200 (29)	2.2/220 (32)	NR	NR	NR
800/70R32 CHO 175A8	1.4/140 (20)	1.8/180 (26)	2.0/200 (29)	2.2/220 (32)	NR	NR	NR
IF 800/70R32 CFO 182A8	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	1.8/180 (26)	2.4/240 (35)	NR	NR	NR
フロントタイヤサイズ	S780、S785、S790 HillMaster™ - タイヤ圧 - bar/kPa (psi)						
680/85R32 178A8	2.0/200 (29)	2.8/280 (41)	2.8/280 (41)	4.0/400 (58)	NR	NR	NR
680/85R32 CHO 178A8	2.0/200 (29)	2.8/280 (41)	2.8/280 (41)	3.2/320 (47)	NR	NR	NR
IF 680/85R32 CFO 179A8	1.4/140 (20)	1.8/180 (26)	2.0/200 (29)	2.2/220 (32)	NR	NR	NR
800/70R32 CHO 175A8	1.4/140 (20)	1.8/180 (26)	2.0/200 (29)	2.2/220 (32)	NR	NR	NR
IF 800/70R32 CFO 182A8	1.4/140 (20)	1.6/160 (23)	1.8/180 (26)	2.4/240 (35)	NR	NR	NR
NR = 非推奨							

HillMaster は Deere & Company の商標です。
[a]道路輸送時の構成 (ヘッダーなし、タンクにグレンなし) を示しています。

OUO6075,000512B-40-20MAY21

リアタイヤ圧 (S760 および S770)

重要：すべての道路輸送は、「ヘッドなし / 輸送」列に示す圧力で行う必要があります。輸送時に圧力が不適切な場合、車両の安定性が低下する可能性があります。正しい圧力により、良好な燃費が得られ、タイヤ寿命が長くなります。

注記：詳しくは、このセクションの「タイヤの手入れと整備」を参照してください。

速度	輸送速度 40 km/h (25 mph)		収穫速度 10 km/h (6 mph)				
概略質量	ヘッドなし / 輸送[a]	4500—5500 kg	1500—2500 kg	2500—3500 kg	3500—4500 kg	4500—5500 kg	5500—6000 kg
		9900—12 100 lb	3300—5500 lb	5500—7700 lb	7700—9900 lb	9900—12 100 lb	12 100—13 200 lb
ベルトピックアップ/ドレーパーヘッド	非該当	非該当	BP15 620F 620R 622F 622R 625F 625R	630F 630R 635F 635R 725D 722PF 725PF 722X 725X	RD30F RD35F RD40F 730D 735D 740D 735X 730PF 735PF	HD35R HD35F HD35X HD40R HD40X HD45R RD45F 740X 740PF	HD40F HD45F
リアタイヤサイズ	S760 および S770 - タイヤ圧 - bar/kPa (psi)						
500/85R24 IMP 181A8	3.6/360 (52)	2.0/200 (29)	2.8/280 (41)	2.4/240 (35)	2.4/240 (35)	NR	NR
500/80R28 IMP 182A8	3.6/360 (52)	2.0/200 (29)	2.4/240 (35)	2.4/240 (35)	2.0/200 (29)	NR	NR
VF520/80R26 CFO+ 168A8	2.8/280 (41)	1.2/120 (17)	1.4/140 (20)	1.4/140 (20)	1.4/140 (20)	NR	NR
600/70R28 161A8-164A8	3.6/360 (52)[b]	1.4/140 (20)	2.4/240 (35)	2.2/220 (32)	2.0/200 (29)	NR	NR
620/70R30 IMP 178A8	2.4/240 (35)	1.2/120 (17)	2.0/200 (29)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)	NR	NR
620/75R26 166A8	3.2/320 (47)[b]	1.2/120 (17)	2.2/220 (32)	2.0/200 (29)	1.6/160 (23)	NR	NR
VF620/70R26 CFO(+) 173A8	2.2/220 (32)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	NR	NR
VF620/75R26 CFO 172A8/B	1.8/180 (26)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	NR	NR
LSW750/60R30 CFO 180D	1.8/180 (26)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	NR	NR
VF710/65R26 177D R-2	1.8/180 (26)	1.2/120 (17)	1.8/180 (26)	1.6/160 (23)	1.2/120 (17)	NR	NR
750/65R26 166A8-169A8	2.8/280 (41)	1.2/120 (17)	1.8/180 (26)	1.6/160 (23)	1.4/140 (20)	NR	NR
VF750/65R26 CFO(+) 177A8/B-180A8	1.6/160 (23)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	NR	NR
NR = 非推奨							

[a] *道路輸送時の構成 (ヘッダーなし、タンクにグレンなし) を示しています。*
[b] *最高速度 30 km/h (19 mph)*

OUO6075,000512C-40-14MAY21

リアタイヤ圧 (S780、S785、S790)

重要： すべての道路輸送は、「ヘッドなし / 輸送」列に示す圧力で行う必要があります。輸送時に圧力が不適切な場合、車両の安定性が低下する可能性があります。正しい圧力により、良好な燃費が得られ、タイヤ寿命が長くなります。

注記： 詳しくは、このセクションの「タイヤの手入れと整備」を参照してください。

速度	輸送速度 40 km/h (25 mph)		収穫速度 10 km/h (6 mph)				
概略質量	ヘッドなし / 輸送[a]	4500—5500 kg	1500—2500 kg	2500—3500 kg	3500—4500 kg	4500—5500 kg	5500—6000 kg
		9900—12 100 lb	3300—5500 lb	5500—7700 lb	7700—9900 lb	9900—12 100 lb	12 100—13 200 lb
ベルトピックアップ/ドレーパーヘッド	非該当	非該当	BP15 620F 620R 622F 622R 625F 625R	630F 630R 635F 635R 725D 722PF 725PF 722X 725X	RD30F RD35F RD40F 730D 735D 740D 735X 730PF 735PF	HD35R HD35F HD35X HD40R HD40X HD45R RD45F 740X 740PF	HD40F HD45F
リアタイヤサイズ	S780、S785、S790 - タイヤ圧 - bar/kPa (psi)						
500/85R24 IMP 181A8	4.0/400 (58)	2.0/200 (29)	3.6/360 (52)	3.2/320 (47)	2.8/280 (41)	2.4/240 (35)	2.4/240 (35)
500/80R28 IMP 182A8	3.6/360 (52)	2.0/200 (29)	3.2/320 (47)	2.8/280 (41)	2.4/240 (35)	2.4/240 (35)	2.0/200 (29)
620/70R30 IMP 178A8	2.4/240 (35)	1.2/120 (17)	2.4/240 (35)	2.0/200 (29)	2.0/200 (29)	1.6/160 (23)	1.6/160 (23)
620/75R26 166A8	3.2/320 (47)[b]	1.4/140 (20)	2.4/240 (35)	2.4/240 (35)	2.2/220 (32)	2.0/200 (29)	1.8/180 (26)
VF620/70R26 CFO(+) 173A8	2.4/240 (35)	1.2/120 (17)	1.4/140 (20)	1.4/140 (20)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)
VF620/75R26 CFO 172A8/B	2.0/200 (29)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)
LSW750/60R30 CFO 180D	2.0/200 (29)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)
VF710/65R26 177D R-2	1.8/180 (26)	1.2/120 (17)	2.4/240 (35)	2.0/200 (29)	1.8/180 (26)	1.6/160 (23)	1.2/120 (17)
750/65R26 166A8-169A8	3.0/300 (44)	1.2/120 (17)	2.0/200 (29)	1.8/180 (26)	1.8/180 (26)	1.6/160 (23)	1.4/140 (20)
VF750/65R26 CFO(+) 177A8/B-180A8	1.6/160 (23)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)	1.2/120 (17)
NR = 非推奨							

[a] *道路輸送時の構成 (ヘッダーなし、タンクにグレンなし) を示しています。*
[b] *最高速度 30 km/h (19 mph)*

OUO6075,000512D-40-14MAY21

リアタイヤ圧 (HillMaster™)

重要：**すべての道路輸送は、「ヘッドなし / 輸送」列に示す圧力で行う必要があります。輸送時に圧力が不適切な場合、車両の安定性が低下する可能性があります。正しい圧力により、良好な燃費が得られ、タイヤ寿命が長くなります。**

注記：詳しくは、このセクションの「タイヤの手入れと整備」を参照してください。

速度	輸送速度 40 km/h (25 mph)	収穫速度 10 km/h (6 mph)					
概略質量	ヘッドなし / 輸送[a]	1500—2500 kg	2500—3500 kg	3500—4000 kg	4000—4500 kg	4500—5500 kg	5500—6000 kg
		3300—5500 lb	5500—7700 lb	7700—8800 lb	8800—9900 lb	9900—12 100 lb	12 100—13 200 lb
ベルトピックアップ/ドレーパーヘッド	非該当	BP15 620F 620R 622F 622R 625F 625R	630F 630R 635F 635R 725D 722PF 725PF 722X 725X	RD30F 730D 735X	RD35F RD40F 735D 740D 730PF 735PF	HD35R HD35F HD35X HD40R HD40X HD45R RD45F 740X 740PF	HD40F HD45F
リアタイヤサイズ	S770 HillMaster™ - タイヤ圧 - bar/kPa (psi)						
500/85R24 181A8	3.2/320 (47)	2.4/240 (35)	2.0/200 (29)	1.6/160 (23)	NR	NR	NR
VF520/80R26 165A8	2.4/240 (35)	1.8/180 (26)	1.6/160 (23)	1.4/140 (20)	NR	NR	NR
620/70R30 178A8	2.4/240 (35)	2.6/260 (38)	1.6/160 (23)	1.4/140 (20)	NR	NR	NR
リアタイヤサイズ	S780、S785、S790 HillMaster™ - タイヤ圧 - bar/kPa (psi)						
500/85R24 181A8	4.0/400 (58)	2.8/280 (41)	2.4/240 (35)	2.0/200 (29)	NR	NR	NR
620/70R30 178A8	2.6/260 (38)	2.8/280 (41)	2.4/240 (35)	2.0/200 (29)	NR	NR	NR
NR = 非推奨							

HillMaster は Deere & Company の商標です。
[a]道路輸送時の構成 (ヘッダーなし、タンクにグレンなし) を示しています。

OUO6075,000512E-40-20MAY21

フロントタイヤおよびリアタイヤの情報

タイヤまたはファイナルドライブを工場出荷時のものから変更する場合は、システムを再較正する必要が生じます。正しいタイヤコードがメモリに入力されていることを確認します。

重要：**駆動輪を交換すると、タイヤ半径が変わる場合があります。新しいタイヤ半径に合わせて CAB コントロールユニットを設定する必要があります。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。**

システムを較正しないと、Harvest Monitor の収量が不正確になります。

フロントタイヤおよびリアタイヤに関する以下の追加情報については、最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせください。

フロントタイヤ：

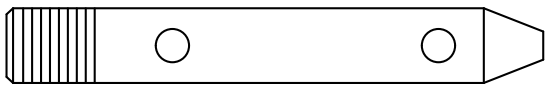
- タイヤサイズ
- ヘッダー互換性
- 条間隔
- ホイールスペーサ
- 車軸スペーサ
- ホイールオフセット

リアタイヤ：

- タイヤサイズ
- 車軸タイプ
- スピンドルタイプ
- 車軸位置
- フロントとリアの高さの差

OUO6075,0001113-40-11APR12

駆動輪スタータスタッドボルト

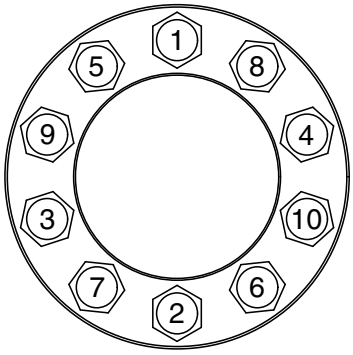


H97547—UN—06AUG10

ホイールを取り外した場合は、ホイールスタータスタッド (HXE16110) を車軸にねじ込み、次にホイールを取り付けます。このスタッドボルトはダブルタイヤにも使用できます。

OUO6075,00007CC-40-06AUG10

駆動ホイールのボルトのトルク



H96863—UN—10JUN10

スタイル *A*

H124190—UN—15MAY18

スタイル *B*

駆動ホイールの位置変更または交換を実施するたびに、ホイールボルトを規定のトルクで、十字交差のパターンで締め付けます。

仕様

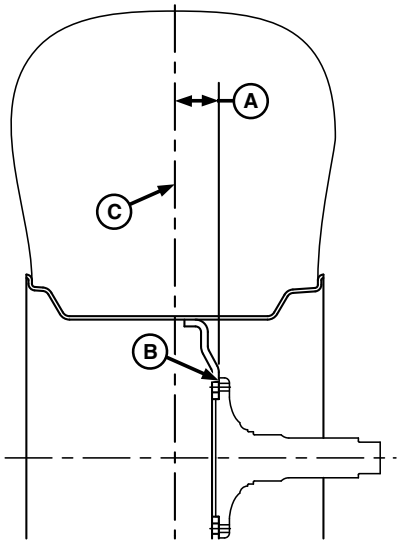
ホイールボルト：トルク (ドライ方式). . . . . 710 N·m (524 lb·ft)

使用開始 1 時間後、その後は 50 時間の運転が完了するまで運転時間 10 時間ごとにホイールボルトを規定のトルクで締め付けます。その後 100 時間ごとにホイールボルトを締め直します。

重要： HillMaster™ 搭載の機械の場合は、機械ボディまでのホイールとタイヤの隙間を確認してください。隙間の確認は、HillMaster™ リフトシリンダを完全に左右に伸長させて実施してください。終端位置で隙間を点検してください。

OUO6075,0004DFD-40-09APR20

フロント駆動ホイールオフセット



H65047—UN—30OCT00

シングルホイール

A：寸法
B：スピンドル面
C：タイヤ中心線

注意： ファイナルドライブの不具合や輸送中または圃場で運転中の駆動ホイールの脱落による大けがや死亡事故を防止してください。最大ホイールオフセットを超えないでください。

重要： John Deere が供給しているホイール、タイヤ、スペーサのみを使用してください。John Deere 以外の、仕様を満たしていない部品を使用すると、保証が適用されません。

クランプオン方式のダブルタイヤは使用しないでください。これらは John Deere の仕様を満たしていません。

ホイールオフセット距離はファイナルドライブ部品の

HillMaster は Deere & Company の商標です。

寿命に重大な影響を与えます。駆動ホイールを取り付けるときは、スピンドル面 (B) から中心線 (C または D) までの距離を測定したオフセット寸法 (A) が仕様内であることを確認してください。

最大ホイールオフセット : 仕様

シングルタイヤホイール：距離. . . . . 114.3 mm (4-1/2 in)

OUO6075,0004919-40-07MAR18

輸送または整備のためのダブルタイヤホイールの準備

注意 : ダブルタイヤホイールの外側を取り外した状態で圃場で機械を運転しないでください。機械が損傷する可能性があります。

ダブルタイヤの外側を外した状態では、機械は短距離のみを動かしてください。機械を動かす前に、ヘッダーを取り外し、グレンタンクを空にして機械重量を減らしてください。

重要 : 外側ホイールなしで機械を輸送する必要がある場合は、フロントアクスルを地面に下す前に、六角穴付きキャップスクリュー 5 本とホイールボルト 15 本を所定の位置に取り付けて規定のトルクで締め付ける必要があります。分割スペーサは、道路輸送、積込み、荷下ろしでは省略されます。

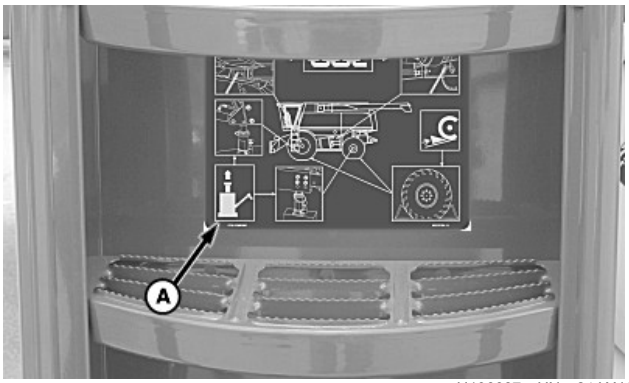
輸送のためにデュアルホイールを準備するときは、輸送時の幅を減らすために外側のホイールを取り外すことができます。

前輪 (外側および内側) を取り外してデュアルホイールの機械に取り付ける必要がある場合は、以下の指示に従ってください。最初に外側のホイールを取り外さないで内側のホイールを取り外すことはできません。

「注意」の項は、ユーザーや他の人の安全および機械の安全な運転に関わるのでよく注意してください。

OUO6075,000491A-40-23MAY18

ジャッキポケット位置のステッカー



H106687—UN—24JAN13

A : **ジャッキポケット位置のステッカー**

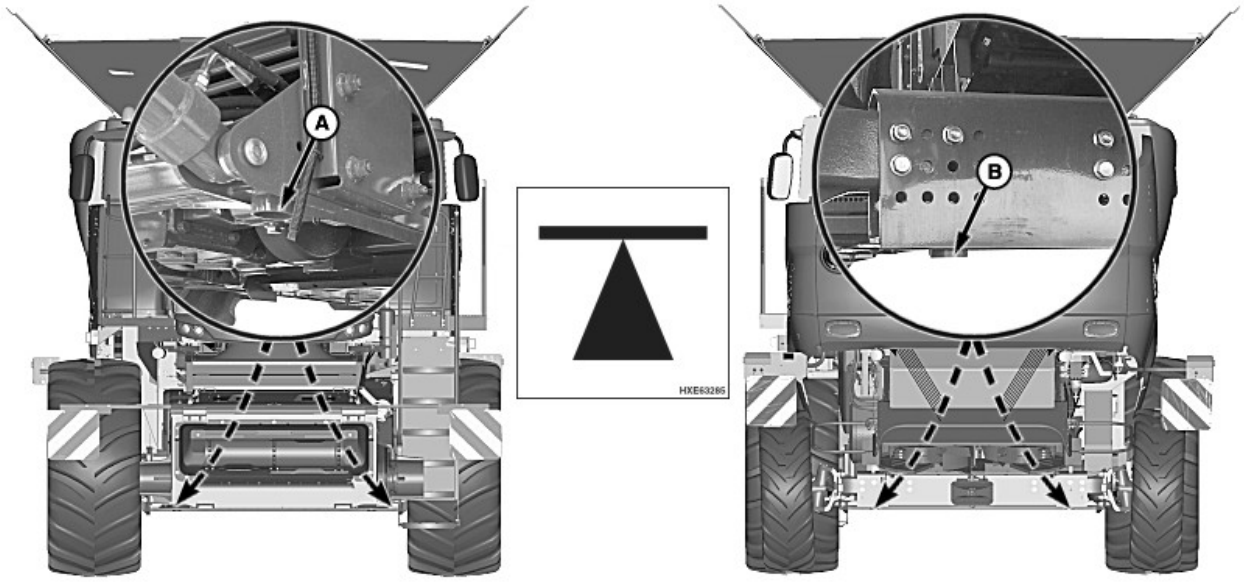
注意 : 機械をジャッキアップする前に必ずグレインタンクを空にしてください。

タイヤの両側をブロックして、機械が動かないようにします。

ジャッキポケット位置のステッカー (A) はキャビンタラップにあります。ステッカーには、正しいジャッキを使用して機械をジャッキアップするための正しい位置が示されています。

OUO6075,0001392-40-24JAN13

ジャッキポケットの位置



H105883—UN—24JAN13

A：ジャッキポケットの位置 (フロント)

B：ジャッキポケットの位置 (リア)

注意： **機械を上昇させる前に、必ずグレンタンクを空にしてください。**

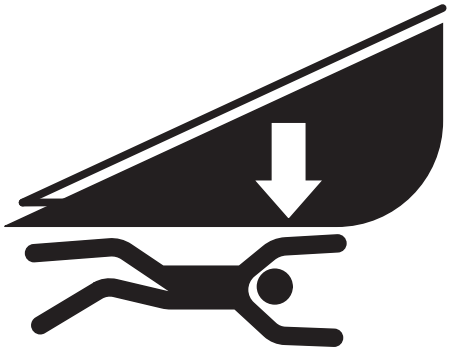
タイヤの両側をブロックして、機械が動かないようにします。

注記： ジャッキポケットの位置は、機械の前部と後部、両側にあります。

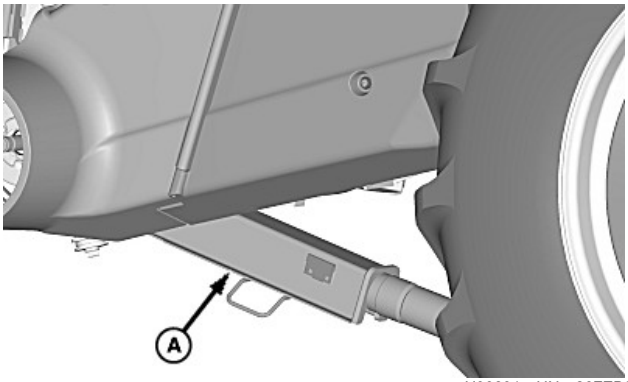
承認されたジャッキポケットの位置 (A、B) で機械を上げます。

OUO6075,0004B7B-40-30MAY19

前輪の取り外し



H121063—UN—14MAR17



H90891—UN—26FEB08

A：**安全ストップ**

注意： **グレインタンクは空である必要があり、ヘッダー装置は取り外されている必要があります。**

1. 機械を平で硬い水平面に駐車します。

注意： **けがや死亡事故を回避するために、フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げてください。一部のアセンブリでは、フィーダーハウスの下で作業する必要があります。**

安全ストップをかみ合わせないと、フィーダーハウスが急に下降し、下敷きになって大けがや死亡事故が発生する可能性があります。

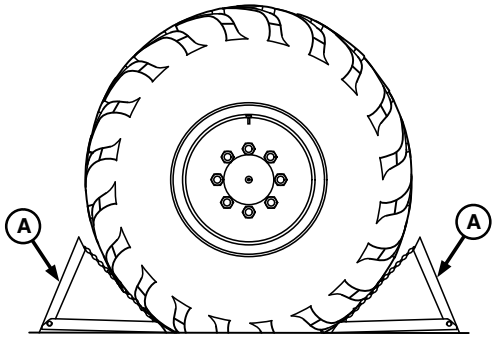
2. **手動フィーダーハウス前後傾斜**

   フィーダーハウスを完全に上昇させ、安全ストップ (A) を油圧シリンダロッドの上に下ろします。

   油圧フィーダーハウス前後傾斜

   フィーダーハウスを完全に上昇させ、油圧フィーダーハウス前後傾斜フレームを完全に前に傾斜させて安全ストップ (A) を油圧シリンダロッドの上に下ろします。

3. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

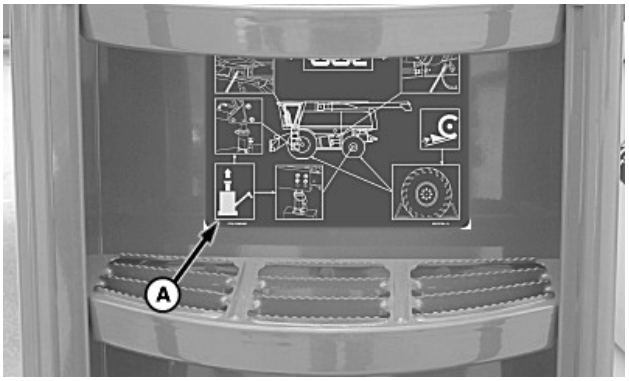


H118221—UN—18APR16

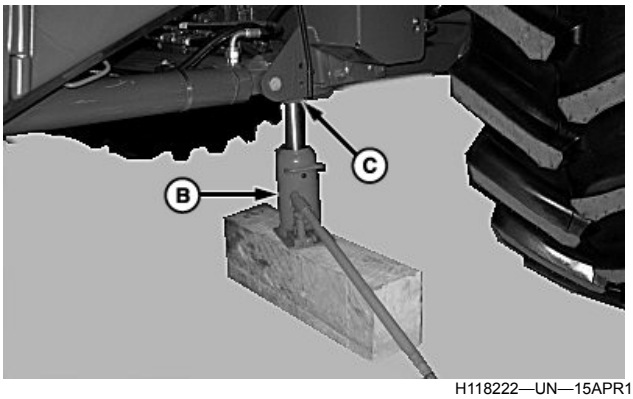
A：**ブロック**

注意： **タイヤの両側をブロックして、機械を上げているときに機械の動きを防止します。**

4. 図に示すようにブロック (A) を使用して、タイヤの前後をブロックします。
5. フロントタイヤを地面に着けた状態で、ホイールボルトを完全に 1 回転させますが、この時点では取り外さないでください。



H106687—UN—24JAN13



H118222—UN—15APR16

A：**銘板**
B：**ジャッキ**
C：**ジャッキポケット**

注意： **ジャッキは、リフト能力が 10 886 kg (24 000 lb) 以上である必要があります。**

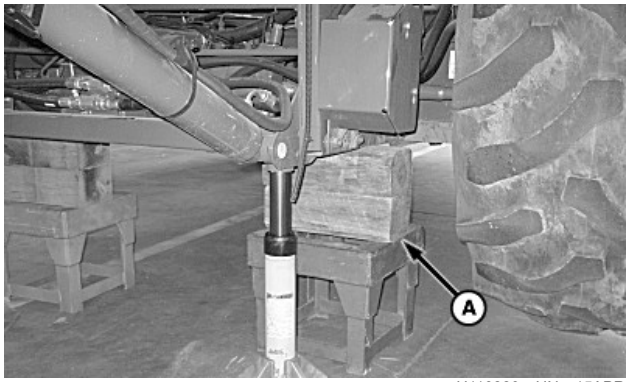
ジャッキポケット以外の位置を使用して機械を上昇させないでください。

ジャッキとジャッキポケットの間に物を置かないでください。これにより、機械が不安定になることがあります。ジャッキの伸縮長が不十分な場合は、ブロックを地面に置いてください。

木製ブロックは、機械重量を支持するために良好な状態である必要があります。

注記： 認定されているジャッキポケット位置は、キャブラダーのステッカー (A) に記載されています。

6. ジャッキ (B) をフロント車軸のジャッキポケット (C) に整列させて、機械を持ち上げます。



H118223—UN—15APR16

A：**ブロック**

注意： 機械の予期しない動きによるけがを防止するために、機械をサポートで支持した後に機械が安定していることを確認してください。

軽量コンクリートブロック、中空のタイル、支柱などで機械を支えないでください。これらは連続負荷によりくずれる可能性があります。ジャッキのみで支持されている機械では作業をしないでください。

木製ブロックは、機械重量を支持するために良好な状態である必要があります。

ホイールを取り外す前に、フロント車軸がブロックの上にあることを確認してください。

7. 固いブロック (A) をフロント車軸の下に配置します。荷重移動が見られないまたは感じられないことを確認しながら、機械をブロックの上に下ろします。

H124389—UN—29MAY18

A：**ホイールボルト (10 本使用)**
B：**スペーサ (10 個使用)**
C：**ホイール**
D：**ホイールスペーサ (必要な場合)**

8. **シングルホイール構成 (ホイールボルト 10 本)**：

注意： ホイールは重量があり、取り扱いが困難です。けがをしないように、ホイールの取り外しには 2 人が必要です。

a. ホイールボルト (A) とスペーサ (B) を取り外します。
b. 必要に応じて、残りのスペーサとホイールボルトで手順を繰り返します。
c. ホイール (C) を機械から取り外します。
d. ホイールスペーサ (D) を (必要に応じて) 駆動ハブから取り外します。
e. 必要に応じて、機械の反対側で手順を繰り返します。

H124273—UN—15MAY18

A：**ホイールボルト (20 本使用)**
B：**分割スペーサ (5 個使用)**
C：**ホイール**
D：**ホイールスペーサ (必要な場合)**

9. **シングルホイール構成 (ホイールボルト 20 本)**：

注意： **ホイールは重量があり、取り扱いが困難です。けがをしないように、ホイールの取り外しには 2 人が必要です。**

a. ホイールボルト **4** 本 (A) と分割スペーサ (B) を取り外します。
b. 必要に応じて、残りの分割スペーサとホイールボルトで手順を繰り返します。
c. ホイール (C) を機械から取り外します。
d. ホイールスペーサ (D) を (必要に応じて) 駆動ハブから取り外します。
e. 必要に応じて、機械の反対側で手順を繰り返します。

H124224—UN—14MAY18

A：**ホイールボルト (20 本使用)**
B：**分割スペーサ (5 個使用)**
C：**六角穴付きキャップスクリュー (5 本使用)**
D：**オーバーサイズの穴 (5 個使用)**
E：**外側ホイールアセンブリ**

10. **デュアルホイールの構成 (外側ホイール)**：

注意： **ホイールは重量があり、取り扱いが困難です。ホイールを扱うときは、釣合いのとれていない重量が急に移動して、ホイールが扱いにくくなり、ホイールの制御が困難になる可能性があります。けがをしないように、ホイールの取り外しには 2 人が必要です。**

a. ホイールボルト **4** 本 (A) と分割スペーサ (B) を取り外します。
b. オーバーサイズの穴を通して六角穴付きキャップスクリュー **1** 本を取り付けて内側ホイールを所定の位置に保持します。

注意： **外側ホイールを取り外すときは、六角穴付きボルトを取り付けて内側ホイールが外れないようにしてけがを防止する必要があります。**

c. 必要に応じて、残りの分割スペーサとホイールボルトで手順を繰り返します。
d. 外側ホイールアセンブリ (E) を機械から取り外します。
e. 必要に応じて、機械の反対側で手順を繰り返します。

重要：**外側ホイールなしで機械を輸送する必要がある場合は、フロントアクスルを地面に下す前に、六角穴付きキャップスクリュー 5 本とホイールボルト 15 本を所定の位置に取り付けて規定のトルクで締め付ける必要があります。分割スペーサは、道路輸送、積込み、荷下ろしでは省略されます。**

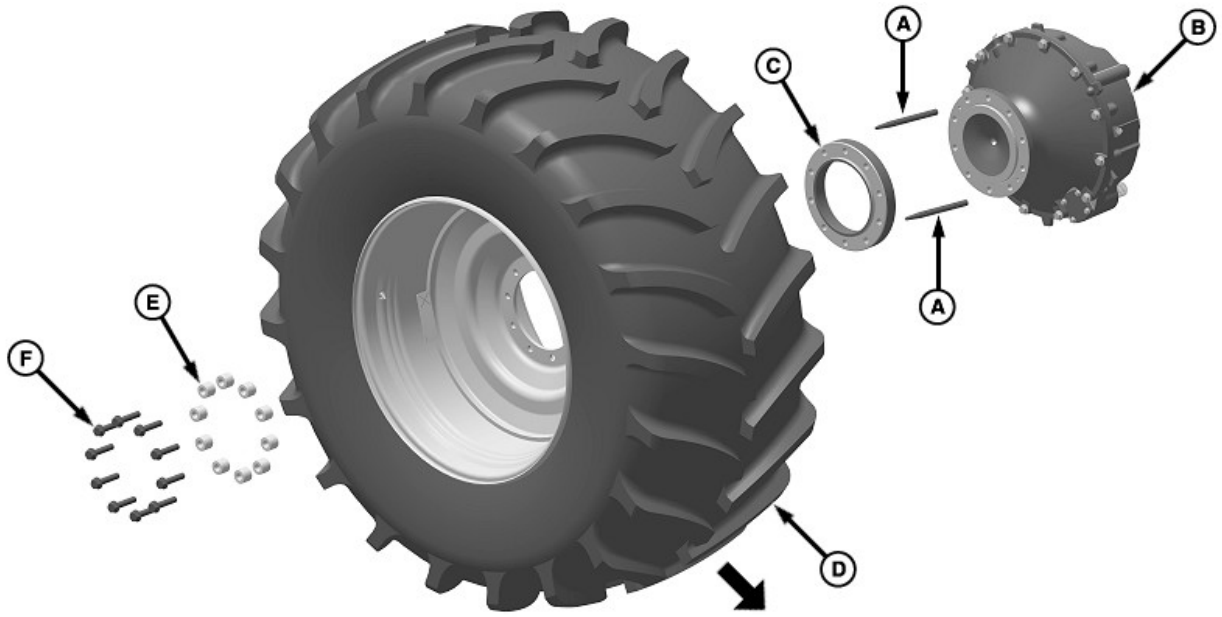
H124225—UN—14MAY18

A：**六角穴付きキャップスクリュー (5 本使用)**
B：**内側ホイールアセンブリ**

11. **デュアルホイールの構成 (内側ホイール)**：
    a. 六角穴付きキャップスクリュー (A) を取り外します。
    b. 内側ホイールアセンブリ (B) を機械から取り外します。
    c. 必要に応じて、機械の反対側で手順を繰り返します。

OUO6075,0004DFE-40-09APR20

前輪の取り付け



H124390—UN—29MAY18

A：**パイロットスタッド (2 本使用)**
B：**駆動ハブ**
C：**ホイールスペーサ (必要な場合)**
D：**ホイール**
E：**スペーサ (10 個使用)**
F：**ホイールボルト (10 本使用)**

1. **シングルホイール構成 (ホイールボルト 10 本)**：

注意： **ホイールは重量があり、取り扱いが困難です。けがをしないように、ホイールの取り付けは 2 人で行う必要があります。**

注記： 10 ホイールボルトのリムは 20 ホイールボルトの駆動ハブにも適合します。

ホイールを所定の位置にガイドしやすいように、パイロットスタッド HXE16110 をお勧めします。

a. パイロットスタッドボルト (A) を駆動ハブ (B) の上下の穴に取り付けます。スタッドのねじ山は穴の奥に達する必要があります。

b. ホイールスペーサ (C) を (必要に応じて) 駆動ハブに取り付けます。

重要： **指示どおりにタイヤを取り付けてください。そうでない場合、機械を運転できなくなります。**

c. タイヤのクリートが前向きかつ下向きになるようにホイール (D) を配置します。

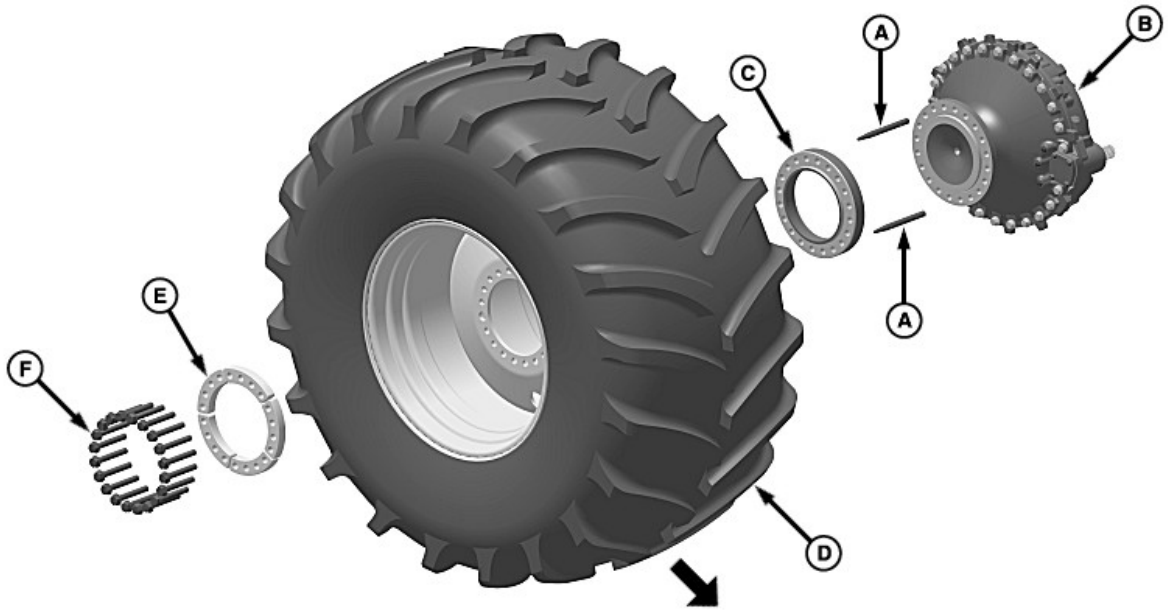
d. リムの穴をパイロットスタッドと整列させます。

e. ホイールを駆動ハブに取り付けます。

重要： **ボルトが損傷しないようにホイールボルトを手締めします。**

f. スペーサ (E) を取り付けてホイールボルト (F) で固定します。

重要： **フロントアクスルを地面に下す前に、すべてのホイールボルトとスペーサを取り付けてください。**



H124196—UN—14MAY18

A：**パイロットスタッド (2 本使用)**
B：**駆動ハブ**
C：**ホイールスペーサ (必要な場合)**
D：**ホイール**
E：**分割スペーサ (5 個使用)**
F：**ホイールボルト (20 本使用)**

2. **シングルホイール構成 (ホイールボルト 20 本)**：

⚠ 注意： **ホイールは重量があり、取り扱いが困難です。けがをしないように、ホイールの取り付けは 2 人で行う必要があります。**

注記： 10 ホイールボルトのリムは 20 ホイールボルトの駆動ハブにも適合します。

ホイールを所定の位置にガイドしやすいように、パイロットスタッド HXE16110 をお勧めします。

a. パイロットスタッドボルト (A) を駆動ハブ (B) の上下の穴に取り付けます。スタッドのねじ山は穴の奥に達する必要があります。

b. ホイールスペーサ (C) を (必要に応じて) 駆動ハブに取り付けます。

重要： **指示どおりにタイヤを取り付けてください。そうでない場合、機械を運転できなくなります。**

c. タイヤのクリートが前向きかつ下向きになるようにホイール (D) を配置します。

d. リムの穴をパイロットスタッドと整列させます。

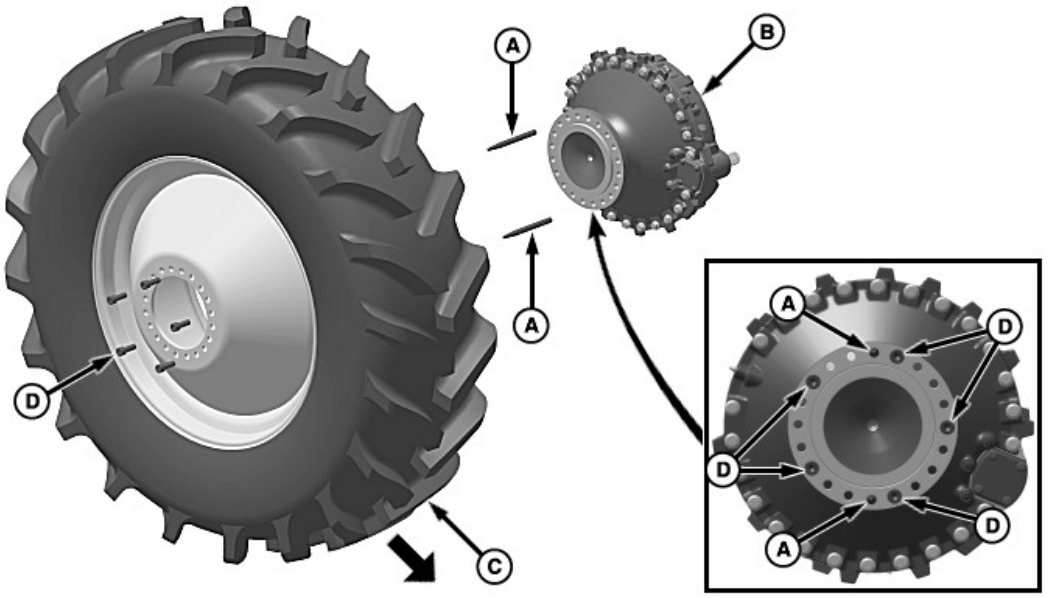
e. ホイールを駆動ハブに取り付けます。

重要： **10 のホイールボルトリムを、20 のホイールボルトドライブハブに取り付ける時は、常に同じねじ山の穴を使用します。これらの未使用の穴に、汚れ、破片、錆が溜まると、ホイールボルトの適切なクランプ力が損なわれます。ドライブハブのねじ穴の1つにプラグが取り付けられ、追加のねじ穴セットを使用できないようにします。**

ボルトが損傷しないようにホイールボルトを手締めします。

f. 分割スペーサ (E) を取り付けてホイールボルト (F) で固定します。

重要： **フロントアクスルを地面に下す前に、すべてのホイールボルトとセグメント化スペーサを取り付けます。**



H124461—UN—08JUN18

A：**パイロットスタッド (2 本使用)**
B：**駆動ハブ**
C：**ホイール**
D：**六角穴付きキャップスクリュー (5 本使用)**

3. **デュアルホイールの構成 (内側ホイール)**：

注意： **ホイールは重量があり、取り扱いが困難です。ホイールを扱うときは、釣合いのとれていない重量が急に移動して、ホイールが扱いにくくなり、ホイールの制御が困難になる可能性があります。けがをしないように、ホイールの取り付けには 2 人が必要です。**

注記： ホイールを所定の位置にガイドしやすいように、パイロットスタッド HXE16110 をお勧めします。

a. パイロットスタッドボルト (A) を駆動ハブ (B) の上下の穴に取り付けます。スタッドのねじ山は穴の奥に達する必要があります。

重要： **指示どおりにタイヤを取り付けてください。そうでない場合、機械を運転できなくなります。**

b. タイヤのクリートが前向きかつ下向きになるようにホイール (C) を配置します。

c. リムの穴をパイロットスタッドと整列させます。

d. ホイールを駆動ハブに取り付けます。

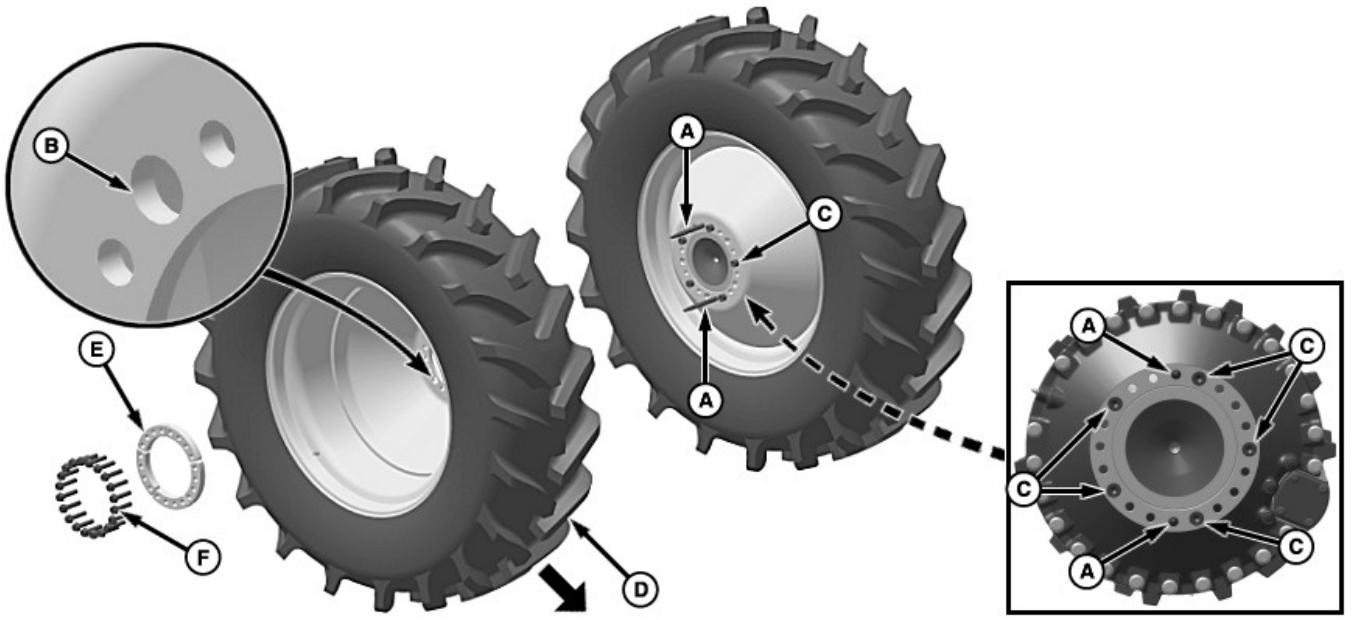
e. 互いの間隔が均等になるように、六角穴付きキャップスクリュー (D) を取り付けます。

f. M17 六角ビットソケットを使用して、六角穴付きキャップスクリューを規定のトルクで締め付けます。

仕様

六角穴付きキャップスクリュー：トルク (ドライ方式). . . . . 450 N·m (332 lb·ft)

重要： **外側ホイールなしで機械を輸送する必要がある場合は、フロントアクスルを地面に下す前に、六角穴付きキャップスクリュー 5 本とホイールボルト 15 本を所定の位置に取り付けて規定のトルクで締め付ける必要があります。分割スペーサは、道路輸送、積込み、荷下ろしでは省略されます。**



H124201—UN—14MAY18

A：**パイロットスタッド (2 本使用)**
B：**オーバーサイズの穴 (5 個使用)**
C：**六角穴付きキャップスクリュー (5 本使用)**
D：**ホイール**
E：**分割スペーサ (5 個使用)**
F：**ホイールボルト (20 本使用)**

4. **デュアルホイールの構成 (外側ホイール)**：

注意：**ホイールは重量があり、取り扱いが困難です。ホイールを扱うときは、釣合いのとれていない重量が急に移動して、ホイールが扱いにくくなり、ホイールの制御が困難になる可能性があります。けがをしないように、ホイールの取り付けには 2 人が必要です。**

重要：**指示どおりにタイヤを取り付けてください。そうでない場合、機械を運転できなくなります。**

a. タイヤのクリートが前向きかつ下向きになるようにホイールを配置します。

b. リムの穴をパイロットスタッドと整列させます。

重要：**オーバーサイズの穴が六角穴付きキャップスクリューと整列していることを確認します。内側のリムと外側のリムが互いに同一平面にあります。**

c. オーバーサイズの穴 (B) を、前の手順で取り付けた六角穴付きキャップスクリュー (C) と整列させます。

d. ホイール (D) を駆動ハブに取り付けます。

e. オーバーサイズの穴を通して六角穴付きキャップスクリュー **1** 本を取り外します。

f. 分割スペーサ **1** 個 (E) をリムの穴 **4** 個と整列させます。

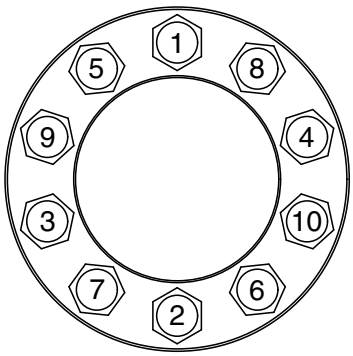
重要：**ボルトが損傷しないようにホイールボルトを手締めします。**

g. ホイールボルト **4** 本 (F) を分割スペーサに通してリムの穴に取り付けます。

h. 必要に応じて、残りの分割スペーサとホイールボルトで手順を繰り返します。

重要：**フロントアクスルを地面に下す前に、すべてのホイールボルトとセグメント化スペーサを取り付けます。**

注記：後でホイールの取り付けと取り外しに使用できるように六角穴付きキャップスクリューを保管します。六角穴付きキャップスクリューを工具箱に保管します。



H96863—UN—10JUN10

スタイル *A*

H124190—UN—15MAY18

スタイル B

5. ホイールボルトを十字交差のパターンで規定のトルクで締め付けます。

仕様

ホイールボルト：トルク (ドライ方式). . . . . 710 N·m (524 lb·ft)

6. パイロットスタッドを取り外して、ホイールボルトに交換します。
7. 残りのホイールボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ホイールボルト：トルク (ドライ方式). . . . . 710 N·m (524 lb·ft)

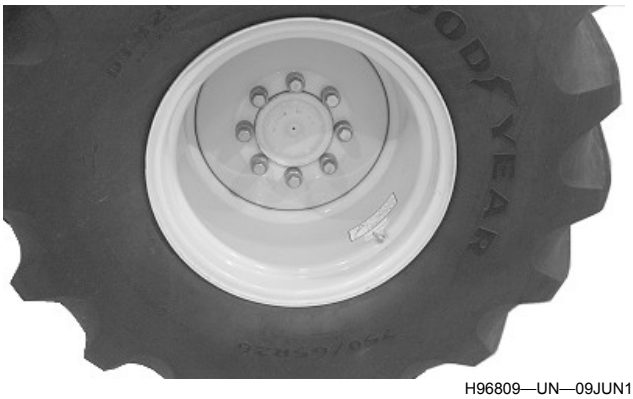
8. 機械の反対側でも同じ手順を繰り返して、地面に下ろします。

   使用開始 1 時間後、その後は 50 時間の運転が完了するまで運転時間 10 時間ごとにホイールボルトを規定のトルクで締め付けます。その後 100 時間ごとにホイールボルトを締め直します。

9. タイヤ圧を点検し、必要に応じて空気を入れます。タイヤ圧については、このセクションの「タイヤの手入れと整備」を参照してください。

OUO6075,0004DFF-40-23JUN20

リアホイールボルトのトルク



H96809—UN—09JUN10

後輪を取り外すたびに、ホイールボルトを規定のトルクで締め付けてください。

仕様

M16 ホイールボルト (レギュラーデューティ二輪駆動)：トルク. . . . . 315 N·m (230 lb·ft)

M22 ホイールボルト (エキストラヘビーデューティ二輪駆動)：トルク. . . . . 710 N·m (524 lb·ft)

M22 ホイールボルト (四輪駆動)：トルク. . . . . 710 N·m (524 lb·ft)

使用開始 1 時間後、その後は運転時間が 50 時間に達するまで運転時間 10 時間ごとにホイールボルトを規定のトルクで締め付けます。その後 100 時間ごとにホイールボルトを締め直します。

注記： 正しい締め付け順序については、タイヤの銘板を参照してください。

OUO6075,00042E4-40-02JUN16

液体ウエイトの使用

H96809—UN—09JUN10

注意： 液体ウエイト (バラスト) の取り付けには、専用の装置とトレーニングが必要です。

重要： **溶液でリムが完全に覆われるようにして腐食を防止してください。ただし、絶対に 90% を超えてタイヤに充填しないでください。それ以上溶液を追加すると、空隙が少なくなりすぎて衝撃を吸収できなくなります。タイヤが損傷する可能性があります。**

水と塩化カルシウムの溶液は安全で経済的なバラストです。適切に使用すれば、タイヤ、チューブ、リムを傷めることはありません。

塩化カルシウムを使用して、水の凍結を防止してください。水 3.8 L (1 gal) あたり塩化カルシウム 1.6 kg (3-1/2 lb) を含む溶液は -45° C (-50° F) よりも高い温度で凍結しません。

注記： アルコールを液体バラストとして使用するのは推奨しません。塩化カルシウム溶液はより重く経済的です。

チューブレスタイヤには、バルブレベル以上 (75% 以上) まで注入します。それよりも溶液の量が少ないと、腐食が生じる可能性があります。チューブタイプタイヤには、90% 未満の任意のレベルまで注入できます。

OUO6075,00007D0-40-10JUN10

バラスト要件

注記： 構成に応じて、バラスト要件は変わります。

バラスト要件は、標準とうもろこし価格設定構成、燃料タンクの燃料 133 L (35 gal)、グレンタンク満杯に基づいています。これは、すべての状況を反映していない場合があります。

液体を必要とするタイヤには、75% まで注入する必要があります。

概略質量		**1500—2500 kg**	**2500—3500 kg**	**3500—4500 kg**	**4500—5500 kg**	**5500—6000 kg**
		3300—5500 lb	**5500—7700 lb**	**7700—9900 lb**	**9900—12 100 lb**	**12 100—13 200 lb**
ベルトピックアップ/ドレーパーヘッド		**BP15 620F 620R 622F 622R 625F 625R**	**630F 630R 635F 635R 725D 722PF 725PF 722X 725X**	**RD30F RD35F RD40F 730D 735D 740D 735X 730PF 735PF**	**HD35R HD35F HD35X HD40R HD40X HD45R RD45F 740X 740PF**	**HD40F HD45F**
モデル	**通常の斜面 (平坦から 15% まで)**					
S760、S770	二輪駆動	なし	なし	Yes (はい)	NR	NR
	四輪駆動					
S780、S785、S790	二輪駆動	なし	なし	Yes (はい)	Yes (はい)	Yes (はい)
	四輪駆動					
モデル	**丘の斜面 (15% ~ 20%)**					
S760、S770	二輪駆動	なし	Yes (はい)	NR	NR	NR
	四輪駆動					
S780、S785、S790	二輪駆動	なし	Yes (はい)	NR	NR	NR
	四輪駆動					

なし = どのサイズのタイヤにもバラストは不要です。
Yes (はい) = すべてのタイヤサイズにバラストが必要です。
NR = 非推奨。この構成にバラストを適正に積載することはできません。

OUO6075,0005130-40-17MAY21

バラスト要件 (HillMaster™)

注記： 構成に応じて、バラスト要件は変わります。

バラスト要件は、標準とうもろこし価格設定構成、燃料タンクの燃料 133 L (35 gal)、グレンタンク満杯に基づいています。これは、すべての状況を反映していない場合があります。

液体を必要とするタイヤには、75% まで注入する必要があります。

概略質量		**1500—2500 kg** **3300—5500 lb**	**2500—3500 kg** **5500—7700 lb**	**3500—4500 kg** **7700—9900 lb**	**4500—5500 kg** **9900—12 100 lb**	**5500—6000 kg** **12 100—13 200 lb**
ベルトピックアップ/ドレーパーヘッド		**BP15 620F 620R 622F 622R 625F 625R**	**630F 630R 635F 635R 725D 722PF 725PF 722X 725X**	**RD30F RD35F RD40F 730D 735D 740D 735X 730PF 735PF**	**HD35R HD35F HD35X HD40R HD40X HD45R RD45F 740X 740PF**	**HD40F HD45F**
モデル	**通常の斜面 (平坦から 15% まで)**					
S770 HillMaster™	二輪駆動	なし	なし	NR	NR	NR
	四輪駆動					
S780、S785、S790 HillMaster™	二輪駆動	なし	なし	NR	NR	NR
	四輪駆動					
モデル	**丘の斜面 (15% ~ 20%)**					
S770 HillMaster™	二輪駆動	なし	Yes (はい)	NR	NR	NR
	四輪駆動					
S780、S785、S790 HillMaster™	二輪駆動	なし	Yes (はい)	NR	NR	NR
	四輪駆動					

なし = どのサイズのタイヤにもバラストは不要です。
Yes (はい) = すべてのタイヤサイズにバラストが必要です。
NR = 非推奨。この構成にバラストを適正に積載することはできません。

HillMaster は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0005131-40-20MAY21

ヘッダーを取り付けた状態での道路輸送

公道でのコンバインの運転に関する国および地域の規則を順守してください。

本コンバインは、Geringhoff 8 条折りたたみ式ヘッダーおよび Kemper 8 条折りたたみ式ヘッダーを使用する場合、ドイツの公道での輸送の認可を得ることができます。ドイツの公道で輸送する場合は、最寄りの TUEV の認可を受けて道路使用許可を得る必要があります。

販売店または製造工場で認可を申請してください。

OUO6075,000431D-40-29JUN16

道路での機械の運転

H115016—UN—22MAR16

折りたたみボタン

注意： **送電線との接触を回避してください。機械を輸送する前に、グレンタンクカバーを閉める必要があります。**

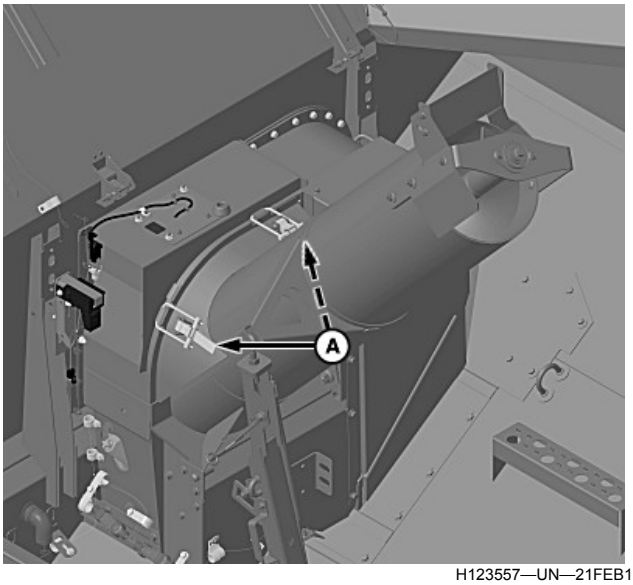
重要： **機械を道路で輸送する前にグレンタンクが空であることを確認してください。**

機械を運転する前に、折りたたみ式のアンローディングオーガと折りたたみ式のグレンタンクカバーが完全に折りたたまれていることを確認してください。

1. ナビゲーションバーの「折りたたみ」ボタンを押します。詳しくは、「折りたたみアプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

   次の項目は、輸送位置に折りたたむ必要があります：

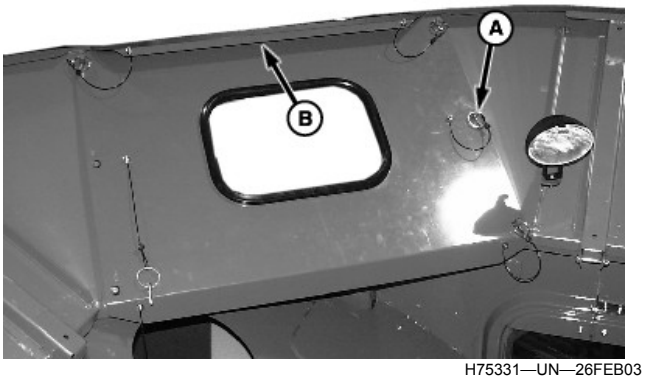
   - アンローディングオーガ
   - グレンタンクカバー (装備されている場合)



H123557—UN—21FEB18

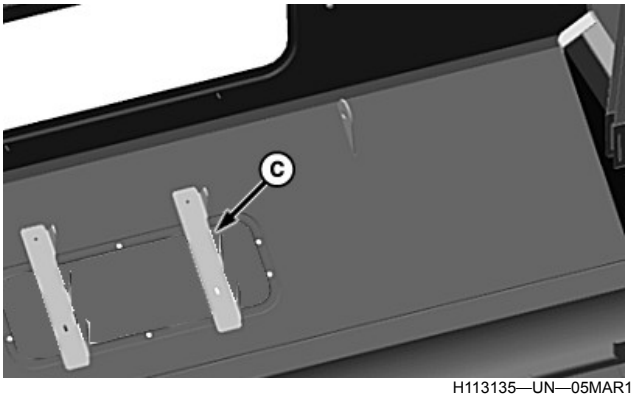
A：**クランプ**

2. **手動折りたたみ式クリーングレンオーガ (装備されている場合)**：クランプ (A) を解放してオーガを下げます。



H75331—UN—26FEB03

フロントグレンタンクエクステンション



H113135—UN—05MAR15

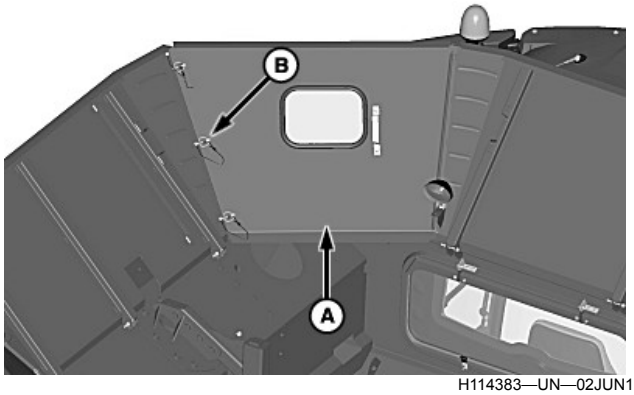
A：**クイックロックピン**
B：**グレンタンクコーナーエクステンション**
C：**保管ラック**

3. **116 L/s (3.3 bu/s) アンローディングレートのグレンタンクエクステンション (装備されている場合)**：クイックロックピン (A) をグレンタンクコーナーエクステンション (B) から取り外します。コー

ナーグレンタンクエクステンションを保管ラック (C) に保管します。次の順にグレンタンクエクステンションを折りたたみます：

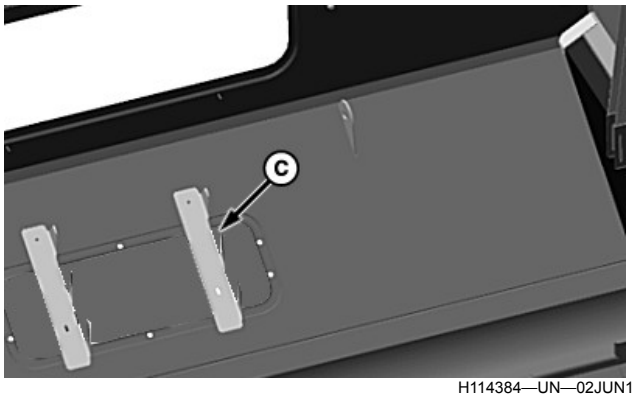
a. フロントグレインタンクエクステンションとリアグレインタンクエクステンションを折りたたみます。

b. 左グレンタンクエクステンションと右グレンタンクエクステンションを折りたたみます。



H114383—UN—02JUN15

フロントグレンタンクエクステンション



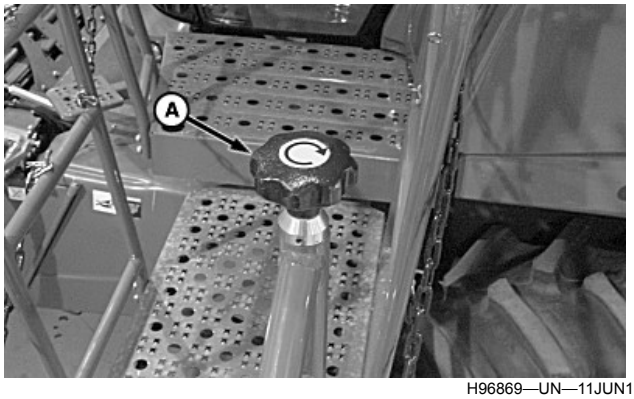
H114384—UN—02JUN15

A：**グレンタンクコーナーエクステンション**
B：**クイックロックピン**
C：**保管ラック**

4. **134 L/s (3.8 bu/s) アンローディングレートのグレンタンクエクステンション (装備されている場合)**：クイックロックピン (B) をグレンタンクコーナーエクステンション (A) から取り外します。コーナーグレンタンクエクステンションを保管ラック (C) に保管します。次の順にグレンタンクエクステンションを折りたたみます：

   a. フロントグレインタンクエクステンションとリアグレインタンクエクステンションを折りたたみます。

   b. 左グレンタンクエクステンションと右グレンタンクエクステンションを折りたたみます。



H96869—UN—11JUN10

A：**ハンドル**

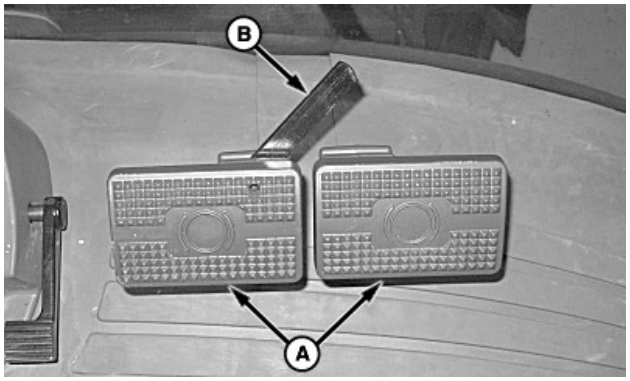
注意：**機械幅を減らす、接近する自動車運転者にマーカー / ハザードライトを向けるには、タラップを前方いっぱいの位置まで旋回させてください。**

重要：**道路や圃場条件に合わせた無理のない速度で走行してください。絶対にタンクに穀物が入っている状態で道路で輸送しないでください。**

公道を走行する前に、装置のサイズ、照明、標識に関する各地の規制に従ってください。

5. ハンドル (A) を使用してタラップのロックを解除し、前方にいっぱいまで旋回させます。

6. ラジオアンテナを折りたたんでフックで固定します (装備されている場合)。フックがない場合は、アンテナをキャブルーフにテープで固定します。



H96681—UN—01JUN10

A：**ペダル**
B：**ロック**

7. 道路での運転時は、ブレーキペダルをロック (B) で互いにロックしてください。圃場での運転では、ペダル (A) のロックを解除したままにしてください。

注意：**機械を運転するときまたは見学者として同乗するときは、必ずシートベルトを着用してください。**

8. シートベルトを着用します。

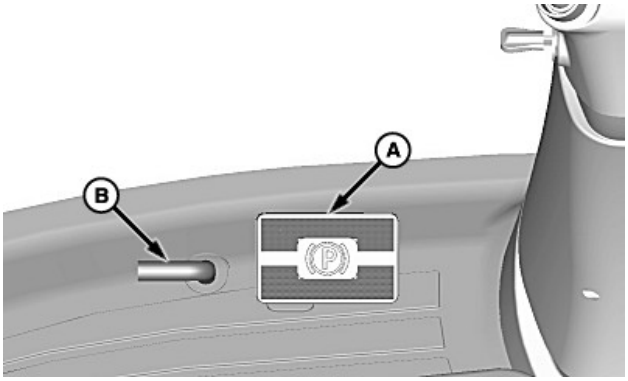
注意： エンジンを始動する前にホーンを鳴らして、機械から離れるように他の人に警告します。

9. ホーンを鳴らしてエンジンを始動します。必要に応じて、寒冷時始動補助装置を使用します。

H116348—UN—19DEC16

ヘッダー上昇 / 下降スイッチ

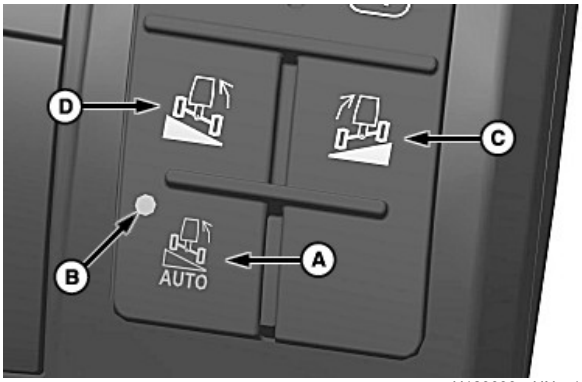
10. ヘッダースイッチでヘッダーを上昇させます。



H119677—UN—20OCT16

A：**駐車ブレーキ**
B：**ペダル**

11. **機械式シフトトランス ミッション**：ペダル (B) で駐車ブレーキ (A) を解除します。



H120033—UN—14NOV16

HillMaster™ のスイッチ

A：**自動レベル制御スイッチ**
B：**表示灯**
C：**手動右チルトスイッチ**
D：**手動左チルトスイッチ**

12. **HillMaster™ 機械**：

注意： 道路輸送中の制御不能、死傷事故を防止してください。絶対に HillMaster™ レベリングシステムを自動モードにして車道で機械を輸送しないでください。車道を輸送中は、絶対に機械の手動チルトを行わないでください。

a. 機械を平坦な場所に動かします。

注記： 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

b. 自動レベル制御スイッチ (A) を **5 秒**、または表示灯 (B) が点滅するまで押します。

c. 手動右チルトスイッチ (C) を押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。

d. 「手動右チルト」スイッチ (D) を押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。

H117022—UN—28MAR16

道路輸送切断

注記： 機械を道路で輸送した後、圃場で運転する場合は、道路輸送切断スイッチを 2 秒間押して、表示灯を消灯させ、必要なスイッチの機能を復帰させます。

13. 道路輸送切断スイッチ有効にします。

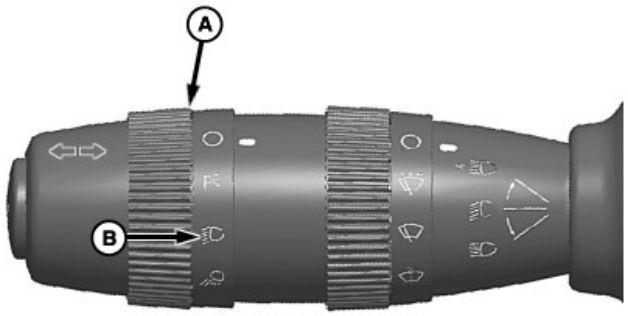
H117885—UN—29MAR16

ハザードライト

注意： 道路または高速道路で輸送するときに、両側のマーカー / ハザードライトおよびテールライトは前後から接近してくる車両の運転者への警告として機能します。機械を公道で運転するときは、これらのライトを点灯させる必要があります。キャビンのタラップを前方へいっぱいまで旋回させて、マーカー / ハザードライトを接近してくる自動車運転者に向けます。法律で禁止されている場合は、マーカー / ハザードライトを操作しないでください。

14. 道路走行時は昼間、夜間ともにビーコン / ハザードライトスイッチを ON にしてください。ハザードライトを ON にすると、警告灯が自動的に作動します。

HillMaster は Deere & Company の商標です。



H96014—UN—22JUN11

A：**選択スイッチ**
B：**道路ライトスイッチ**

15. 夜間走行では、選択スイッチ (A) を使用して道路ライト (B) を点灯させます。

注記： コーナーポストディスプレイの方向指示灯インジケーターが点灯して進路変更を示します。

16. 必要に応じて方向指示器を使用してください。これらは自動復帰式ではありません。

H117021—UN—28MAR16

エンジン回転数 *(*高速*)*

17. 最高エンジン回転数にするには、エンジン回転数スイッチを押します。

注記： 圃場での運転の場合は、作業条件に合わせてギヤを選択してください。

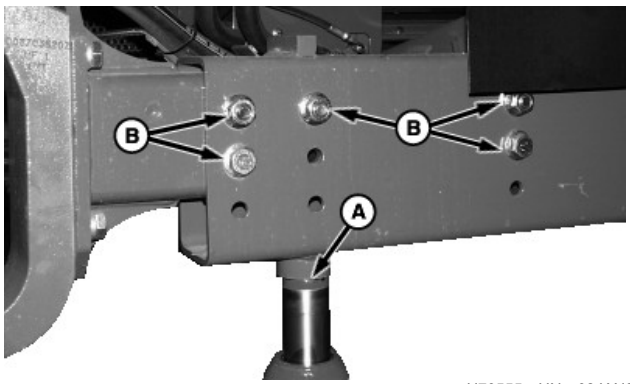
18. **機械式シフトトランス ミッション**：道路走行には 3 速を接続します。

⚠ 注意： ヘッダーを取り付けた状態で機械を輸送する場合は、妥当な速度で走行して適切なブレーキ性能と機械の制御を確保してください。

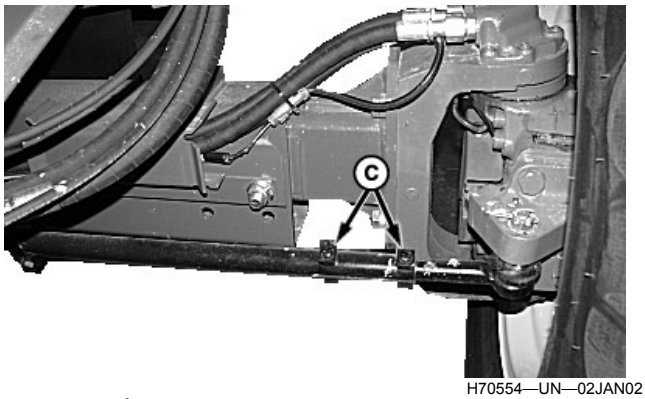
19. 多機能レバーをゆっくりと前後に動かします。坂の頂上に達したら、降坂を開始する前に多機能レバーを引き戻します。

OUO6075,00048BD-40-12APR18

トレーラーによる機械の輸送



H70555—UN—02JAN02



H70554—UN—02JAN02

A：**ジャッキポケット**
B：**キャップスクリュー (5 本使用)**
C：**ボルト**

注記： 機械をトレーラーに載せて輸送する前に実施する必要がある追加の情報については、このセクションで前述の「道路での機械の運転」を参照してください。

デュアルホイール (装備されている場合) を取り外すときに行う必要がある追加の情報については、「対地駆動とリアアクスル」セクションを参照してください。

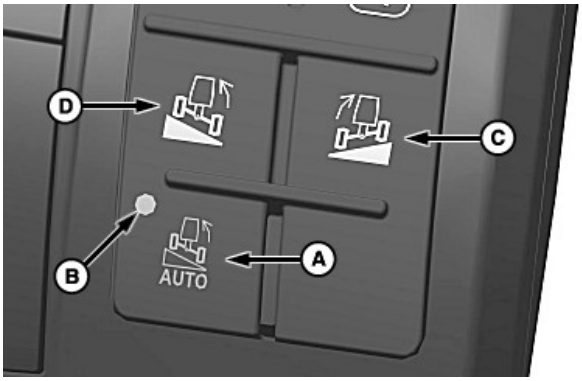
1. ヘッダーと外側のデュアルホイール (装備されている場合) を取り外します。

注記： 機械を輸送した後、リア車軸の間隔を以前の幅に調整します。

2. リアアクスルのジャッキポケット (A) の位置を確認して機械を上げます。
3. ボルト (B) をリア車軸から取り外します。
4. ボルト (C) をタイロッドから取り外します。
5. リアアクスルを最も狭い位置に調整します。必要に応じて反対側でも同じ手順を行います。
6. 前の手順で取り外した金具を取り付けて規定のトルクで締め付けます。

仕様

車軸のキャップスクリュー：トルク	620 N·m (460 lb·ft)
タイロッドキャップスクリュー (2 ボルトアウタタイロッドエンド付き)：トルク	70 N·m (50 lb·ft)
タイロッドキャップスクリュー (3 ボルトアウタタイロッドエンド付き)：トルク	127 N·m (94 lb·ft)



H120033—UN—14NOV16

HillMaster™ のスイッチ

A：**自動レベル制御スイッチ**
B：**表示灯**
C：**手動右チルトスイッチ**
D：**手動左チルトスイッチ**

7. **HillMaster™ 機械**：

   注意： **絶対に HillMaster™ レベリングシステムを自動モードにした状態でトレーラーに載せた機械を運転しないでください。絶対に HillMaster™ レベリングシステムを自動モードにした状態でトレーラーに載せた機械を運転しないでください。絶対にトレーラーに載せているときに機械の手動チルトを行わないでください。**

   a. 機械を平坦な場所に動かします。

   注記： 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

   b. 自動レベル制御スイッチ (A) を **5 秒**、または表示灯 (B) が点滅するまで押します。

   c. 手動右チルトスイッチ (C) を押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。

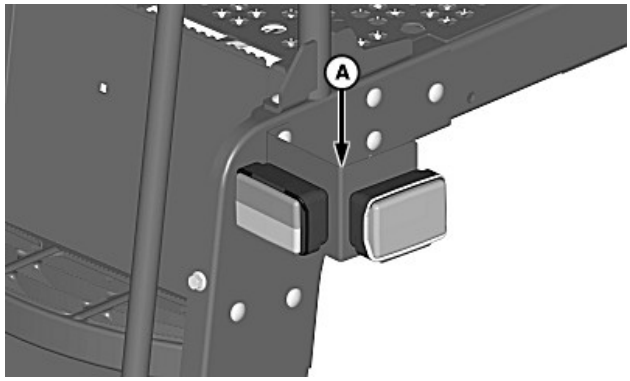
   d. 「手動右チルト」スイッチ (D) を押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。

8. 本機をトレーラーの上に運転し、多機能レバーをニュートラル位置にします。

9. **デュアルタラップの踊り場の構成**：フィーダーハウスをトレーラーに下ろして、タラップの踊り場を輸送位置まで旋回できるようにします。

10. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

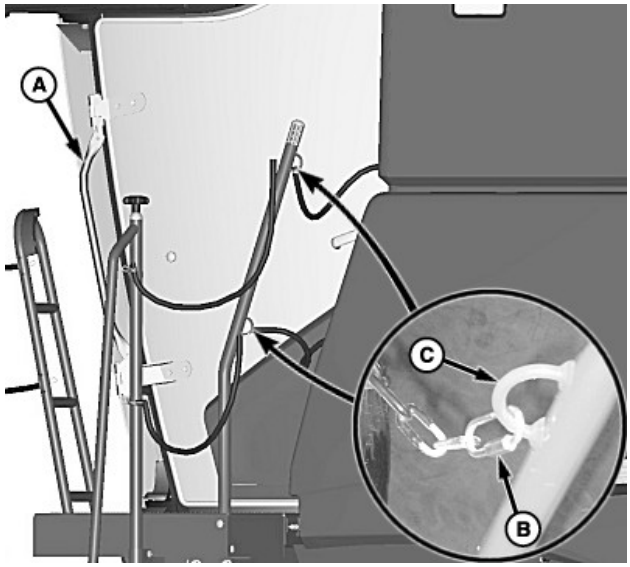
11. ラジオアンテナを折りたたんでフックで固定します (装備されている場合)。フックがない場合は、アンテナをキャブルーフにテープで固定します。



H121713—UN—07JUN17

A：**ライトブラケット**

12. **シングルタイヤ構成**：ワイヤハーネスの接続を外してライトブラケット (A) を取り外します。



H102527—UN—28JUN11

A：**手すり**
B：**チェーンリンク**
C：**手すりの輪**

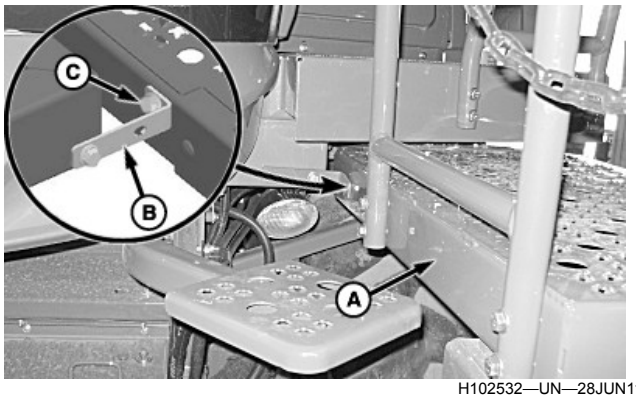
13. **シングルタイヤ構成**：キャブの手すり (A) を取り外します。

重要： **落下して自分や他の人がけがをする可能性があります。安全チェーンを外して、タラップを取り外すときは十分注意してください。**

注記： タラップの手すりにある既存のループとグレンタンクのループにチェーンを組み付けます。これによりチェーンが短くなるため、コンポジットパネルがチェーンで損傷しなくなります。

HillMaster は Deere & Company の商標です。

14. **シングルタイヤ構成**：終端のチェーンリンク (B) を手すりの輪 (C) から外して保管します。

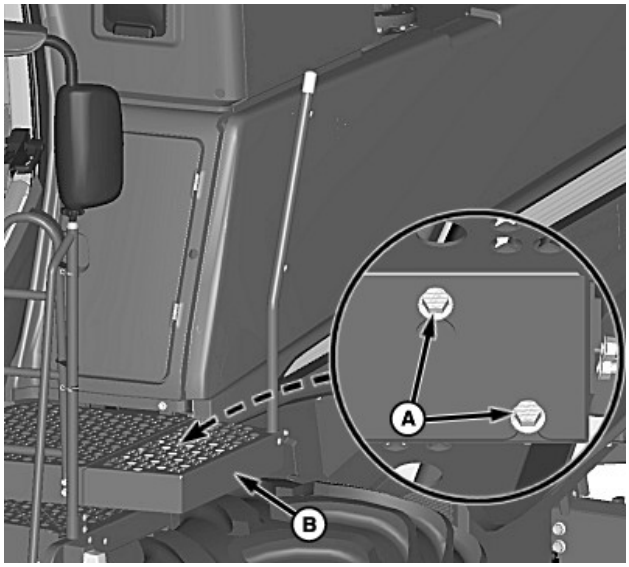


H102532—UN—28JUN11

A：**タラップの踊り場**
B：**出荷用ブラケット**
C：**キャップスクリュー**

注記： キャブのタラップは、タラップの踊り場が出荷ブラケットに接触するように最も内側のデテント位置を越えて旋回させる必要があります。

15. **シングルタイヤ構成**：出荷ブラケット (B) に接触するまでタラップの踊り場 (A) を輸送位置に旋回させ、ボルト (C) を取り付けます。



H102531—UN—28JUN11

A：**キャップスクリュー (5 本使用)**
B：**タラップの踊り場**

16. **シングルタイヤ構成**：ボルト (A) を緩めてタラップの踊り場 (B) を取り外します。

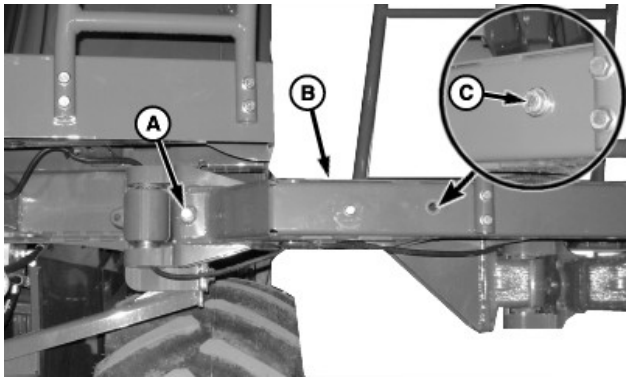
H102501—UN—27JUN11

A：**チェーンリンク**
B：**手すりのループ**

重要： **落下して自分や他の人がけがをする可能性があります。安全チェーンを外して、タラップを取り外すときは十分注意してください。**

注記： チェーンをグレンタンクの既存のループに組み付けます。これによりチェーンが短くなるため、コンポジットパネルがチェーンで損傷しなくなります。

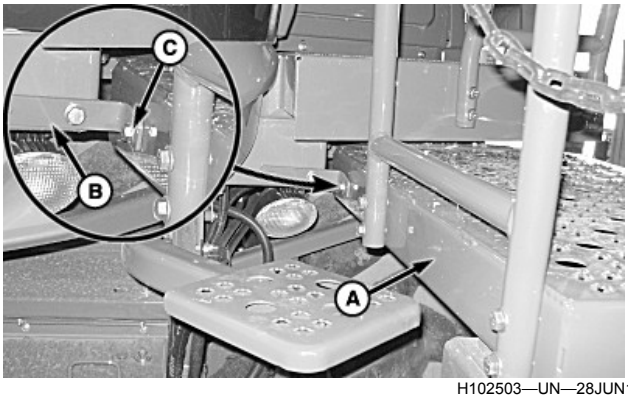
17. **デュアルタイヤ構成**：終端のチェーンリンク (A) を、手すりの両側にある手すりのループ (B) から外して保管します。



H102502—UN—27JUN11

A：**キャップスクリュー**
B：**タラップの踊り場**
C：**キャップスクリュー**

18. **デュアルタイヤ構成**：ボルト (A) を取り外して、タラップの踊り場 (B) を輸送位置まで旋回させます。
19. **デュアルタイヤ構成**：前の手順で取り外したボルト (C) を保管位置に取り付けます (図示)。



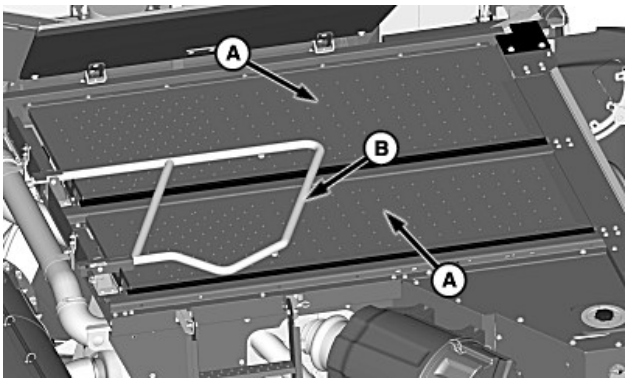
H102503—UN—28JUN11

A：**タラップの踊り場**
B：**出荷用ブラケット**
C：**キャップスクリュー**

重要： **タラップを前方へ旋回させるときは、タラップの踊り場とフィーダーハウスの駆動軸が接触しないように、フィーダーハウスをトレーラーに下ろす必要があります。**

注記： キャブのタラップは、タラップの踊り場が出荷ブラケットに接触するように最も内側のデテント位置を越えて旋回させる必要があります。

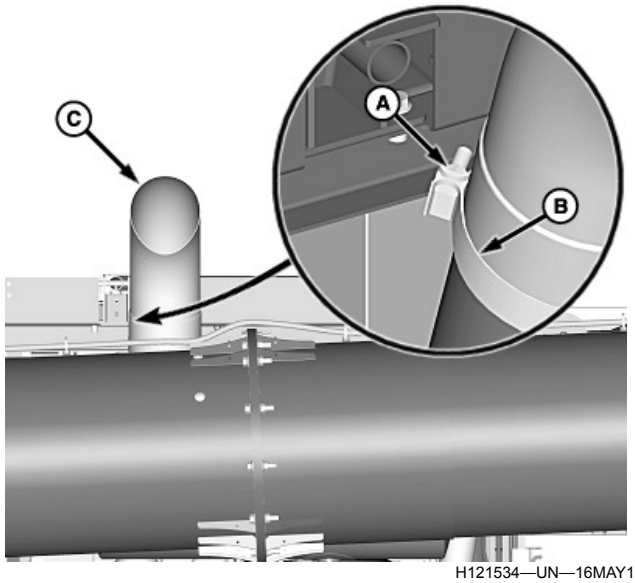
20. **デュアルタイヤ構成**：出荷ブラケット (B) に接触するまでタラップの踊り場 (A) を輸送位置に旋回させ、ボルト (C) を取り付けます。



H118330—UN—04MAY16

A：**エンジンアクセスカバー**
B：**手すり**

21. エンジンアクセスカバー (A) と手すり (B) を下ろして、カバーを所定の位置に固定します。



H121534—UN—16MAY17

A：**ナット**
B：**クランプ**
C：**マフラーエクステンション**

注意： **架空電源ラインによる感電の危険を減らすため、機械のどの部分も高さ 4 m (13 ft 1 in) を超えないようにしてください。**

排気キャップを取り外してマフラーエクステンションを取り付ける前に、排気系統とその構成部品を放置して冷ましてください。

22. **ティア 2 / ステージ II エンジン**：クランプ (B) のナット (A) を緩めます。

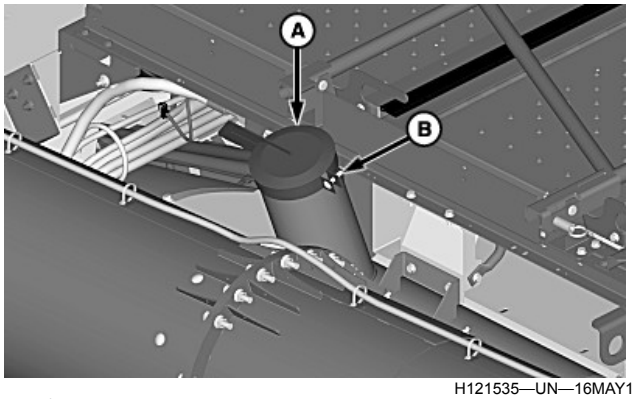
注記： 本機をトレーラーに積んで輸送するときは、本機の全高を低くするためにマフラーエクステンションを取り外す必要があります。あとで圃場で使用するために、マフラーエクステンションを保管する必要があります。

輸送後、マフラーエクステンションを取り付けて、クランプの金具を規定のトルクで締め付けます。

仕様

クランプの金具：トルク	80 N·m (59 lb·ft)

23. **ティア 2 / ステージ II エンジン**：マフラーエクステンション (C) を取り外して保管します。



H121535—UN—16MAY17

A：**排気キャップ**
B：**ナット**

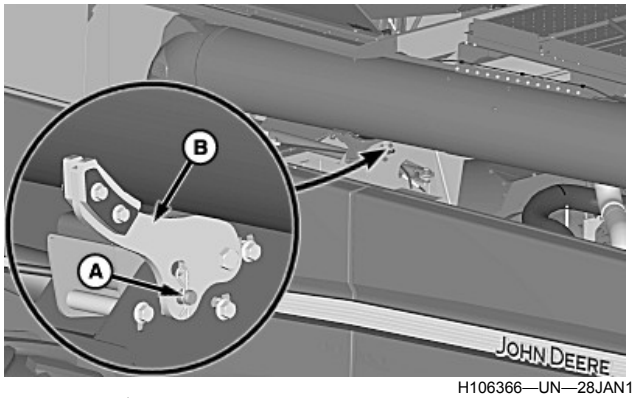
24. **ティア 2 / ステージ II エンジン**：排気キャップ (A) を取り付けます。
25. **ティア 2 / ステージ II エンジン**：ナット (B) を規定のトルクで締めます。

仕様

ナット：トルク. . . . . 20 N·m (177 lb·in)

26. **ティア 2 / ステージ II エンジン**：ターボチャージャを損傷しないように、排気キャップ (A) をテープで塞ぎます。

TS249—UN—23AUG88

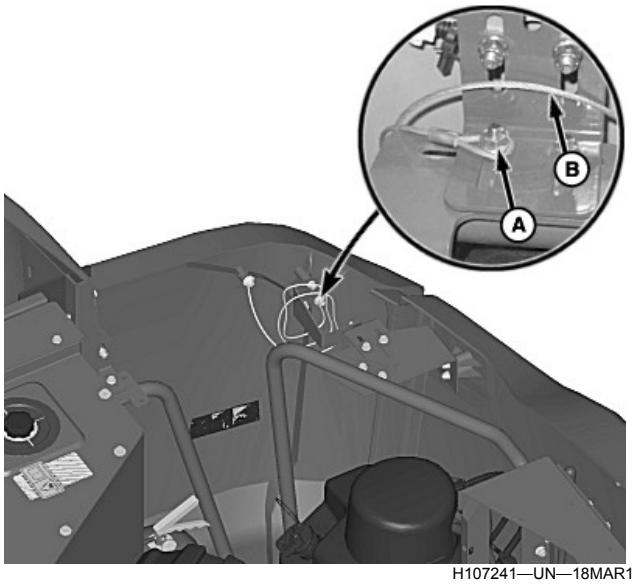


H106366—UN—28JAN13

A：**スプリングピンとピン**
B：**アンローディングオーガロックアーム**

注意： **落下して自分や他の人がけがをしたり死亡したりする可能性があります。アンローディングオーガ固定金具を取り付けるときは、作業場所にアクセスできる適切な定格荷重のタラップまたは同等品を使用してください。エンジンプラットフォームから作業場所にアクセスしないでください。**

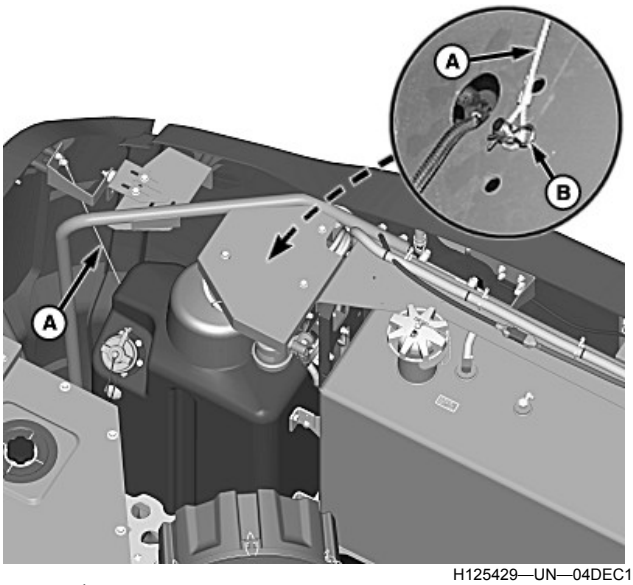
27. **アンローディングオーガロックアーム**：
    a. スプリングピンとピン (A) を取り外して保管します。
    b. 穴が整列するまで、アンローディングオーガロックアーム (B) を上げます。
    c. 前の手順で取り外したピンとスプリングピンを取り付けます。



H107241—UN—18MAR13

A：**金具**
B：**ケーブル**

28. 金具 (A) を緩めてケーブル (B) を保管位置から取り外します。



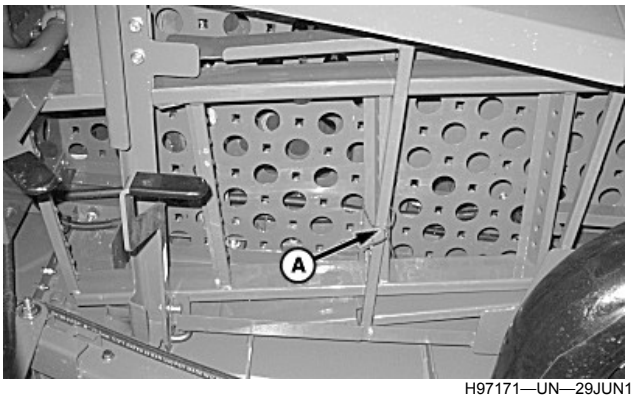
H125429—UN—04DEC18

A：**ケーブル**
B：**スプリングピン**

注記： 手すりの内側の部分にケーブルが取り付けられていることを確認してください。

ケーブルが到達しない場合は、ピンを別の位置に調整します。

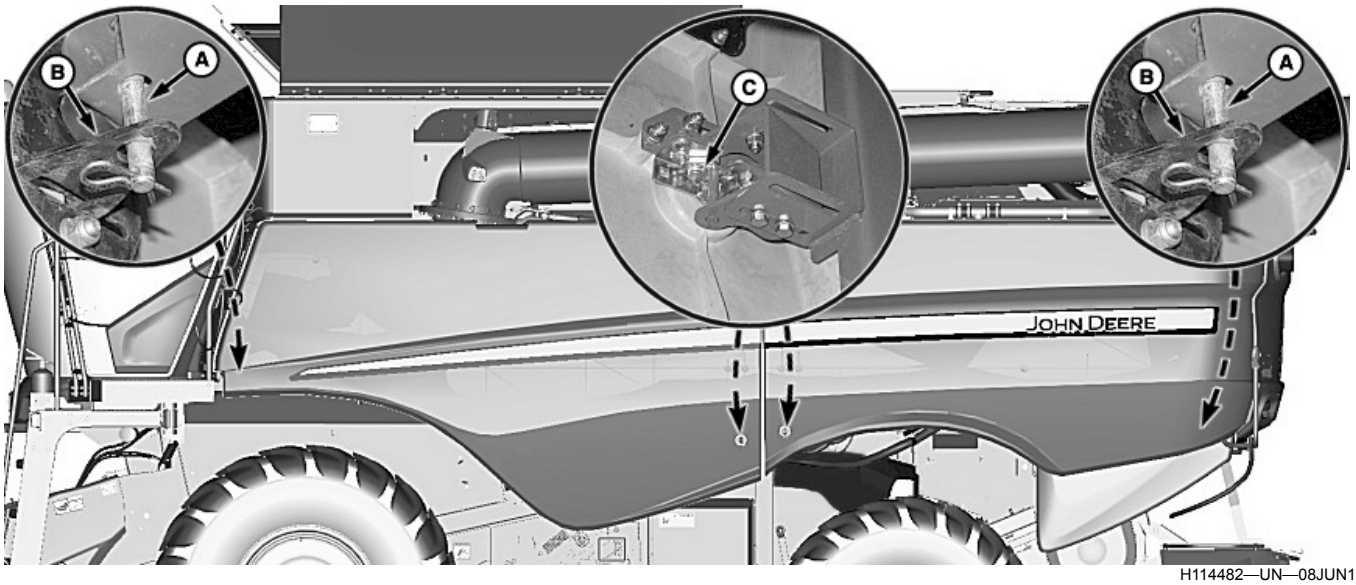
29. ケーブル (A) をピンに取り付けて、スプリングピン (B) を使用して固定します。



H97171—UN—29JUN10

A：**プラットフォーム**

30. ワイヤでタラップエクステンションをプラットフォーム (A) に結束します。

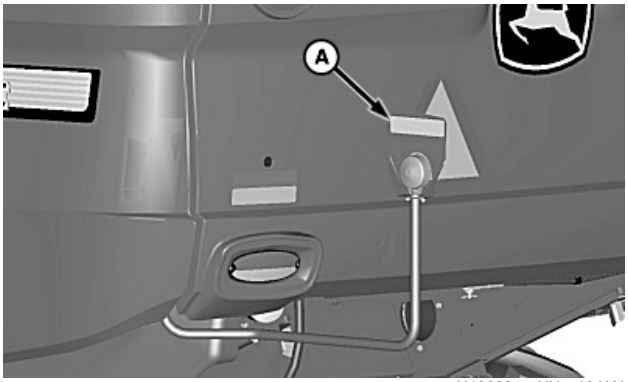


H114482—UN—08JUN15

A：**ピン**
B：**ロックプレート**

31. ピン (A) をロックプレート (B) に通して取り付けて、左ガルウイングドアの前後の隅にスプリングピンで固定します。機械の反対側で手順を繰り返します。
32. ワイヤを使って、ラッチ (C) の位置でガルウイングを結束します。機械の反対側で手順を繰り返します。

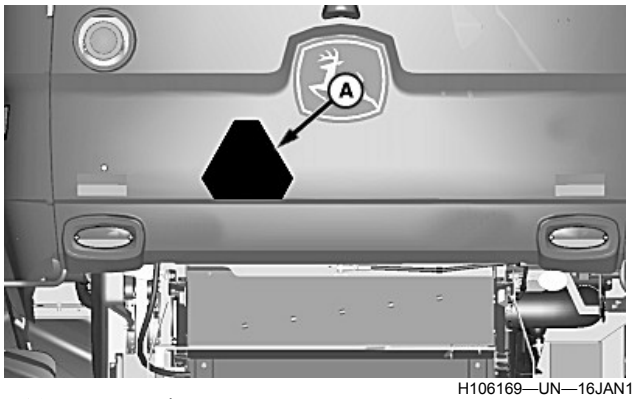
C：**掛け金ラッチ**



H106224—UN—16JAN13

A：**ハザードランプ**

33. 左右のハザードランプ (A) を図のように後方に旋回させます。



H106169—UN—16JAN13

A：**低速車両エンブレム**

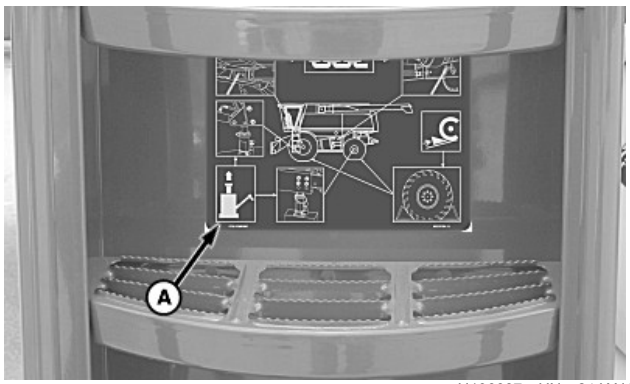
34. 低速車両エンブレム (A) をカバーで覆います (装備されている場合)。

重要： **チェーンで本機をトレーラーに締め付けます。**

35. チェーンで本機をトレーラーに固定します (結束については、キャブタラップにある機械の結束場所の銘版を参照してください)。

OUO6075,0004BC3-40-04JUN19

機械の結束位置ステッカー



H106687—UN—24JAN13

A：**機械の結束位置ステッカー**

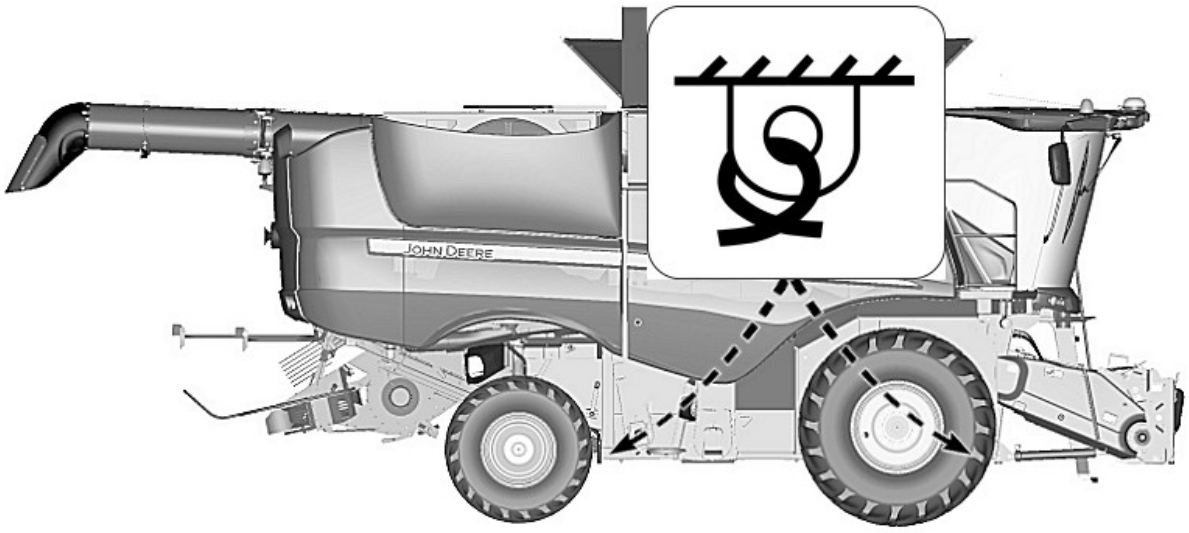
注意： **機械をジャッキアップする前に必ずグレインタンクを空にしてください。**

注記： 機械の結束位置は、機械の両側の前後にあります。

機械の結束位置ステッカー (A) はキャビンタラップにあります。ステッカーには、チェーンで機械を締め付ける正しい位置が示されています。

OUO6075,0001393-40-24JAN13

機械の結束位置



H105885—UN—24OCT12

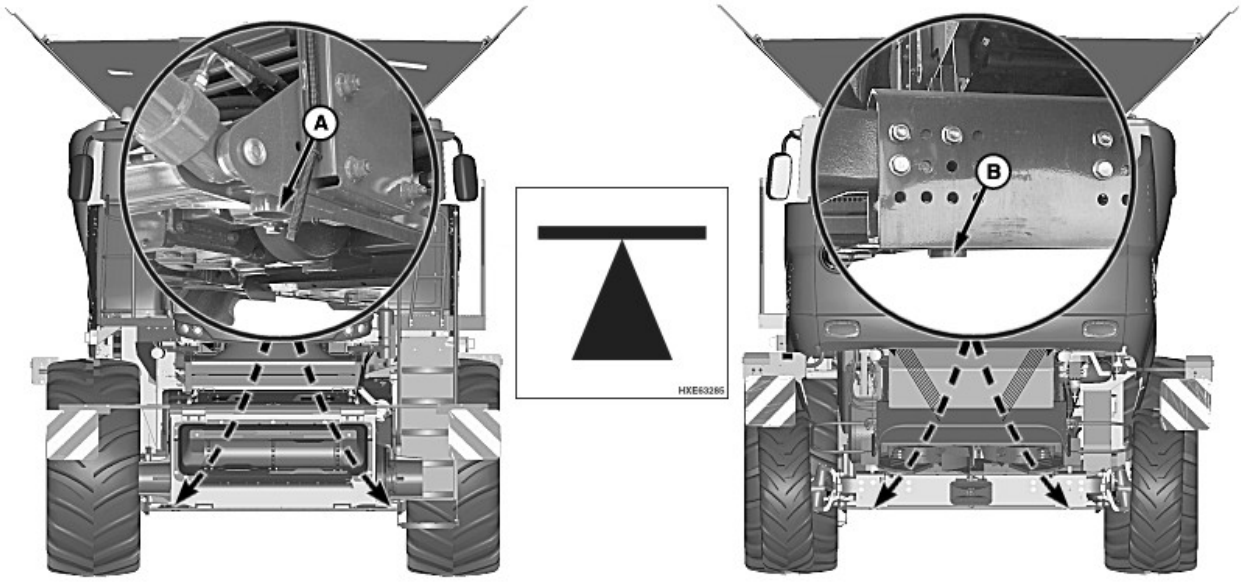
注意： **本機をジャッキアップする前に必ずグレンタンクを空にしてください。**

注記： 本機の結束位置は、本機の両側の前後にあります。

本機に表示されている結束位置を使って、本機を適切に結束します。

OUO6075,00011DC-40-10FEB16

ジャッキポケットの位置



H105883—UN—24JAN13

A：**ジャッキポケットの位置 (フロント)**

B：**ジャッキポケットの位置 (リア)**

注意： **機械を上昇させる前に、必ずグレンタンクを空にしてください。**

タイヤの両側をブロックして、機械が動かないようにします。

注記： ジャッキポケットの位置は、機械の前部と後部、両側にあります。

承認されたジャッキポケットの位置 (A、B) で機械を上げます。

OUO6075,0004B7B-40-30MAY19

輸送情報

注意： **架空電気ケーブルによる感電の危険を減らすため、本機のどの部分も高さ 4 m (13.1 ft) を超えないようにしてください。本機を輸送する前に、グレンタンクカバーを閉めて、ラジオアンテナを水平位置に回す必要があります。**

送電線に接触しないように注意してください。機械を輸送する前に、グレインタンクカバーを閉めて、ラジオアンテナを水平位置に回す必要があります。

公道での装置の運転または牽引に関する現地の国の規則を確認してください。最寄りの John Deere 取扱店から入手できる補助ライトや装置を使用して、他の道路使用者に警告してください。

機械はフラットベッドトラックに載せて、または牽引して輸送できます。

牽引する場合は、このセクションの「機械の牽引」を参照してください。

OUO6075,0004318-40-24JUN16

機械の牽引 (機械式シフトトランスミッション搭載の機械)

注記： 押しボタン式トランスミッションおよび ProDrive™ トランスミッション搭載の機械の場合、詳しくは「アプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

注意： **ワイヤロープを使用して機械を牽引しないでください。ロープが破損した場合、むち打ちアクションによりけがをする可能性があります。**

送電線に接触しないように注意してください。輸送の前にグレインエクステンションを下げて、ラジオアンテナを下げてください。

公道での装置の運転または牽引に関する現地の国の規則を確認してください。最寄りの John Deere 取扱店から入手できる補助ライトや装置を使用して、他の道路使用者に警告してください。

緊急時に短距離を 8 km/h (5 mph) で牽引する以外は機械を牽引しないでください。機械を牽引するには、次の手順に従います。

- グレンタンクを空にしてヘッダーを取り外します。
- アンローディングオーガを旋回させて戻します。グレインタンクエクステンションを折りたたみます。

ProDrive は Deere & Company の商標です。

- タラップを前方に旋回させ、ラジオアンテナを折りたたみます。
- 駐車ブレーキを解除します。

注意：カプラーを取り外さないでください。カプラーを取り外すと、ブレーキが無効になります。

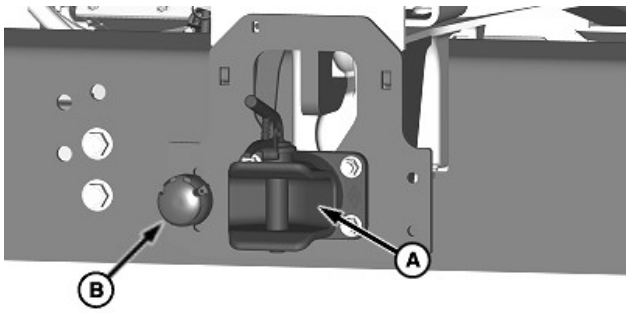
- ギヤシフトレバーと多機能レバーをニュートラル位置にします。
- チェーンを主車軸に取り付けて、機械を前方に牽引します。チェーンによって油圧ラインが損傷しないように注意してください。ドライバが運転席に座り、機械の操舵とブレーキの操作を行います。
- 法で禁止されていない限り、警告灯を点灯してください。
- 8 km/h (5 mph) を超えない安全で妥当な速度で走行します。

注意：公道では、他の道路利用者、装置や牽引式装置を取り付けて低速走行しているトラクター、および自走機械との衝突を予防してください。特に右折や左折時などは、後方からの交通をこまめに確認し、手信号や方向指示灯を使用してください。

ヘッドライト、点滅警告灯、および方向指示灯を昼夜とも使用してください。装置の照明や標識についての各地の規制に従ってください。照明や識別標識はよく見えるように提示し、良好な作動状態を維持してください。損傷または紛失しているライトやマーカーは交換または修理してください。

OUO6075,000447D-40-31JAN17

手動トレーラーヒッチ — 取り付け (標準)



H118213—UN—14APR16

A：**ヒッチ**
B：**電気コネクタ**

注意：トレーラーを連結する前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

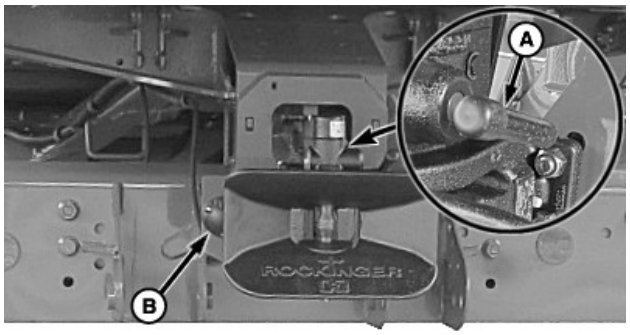
チョッパーを完全に上昇させます。

トレーラーをヒッチ (A) に連結し、トレーラーヒッチピンで固定します。

トレーラーの電気ハーネスを電気コネクタ (B) に接続します。

OUO6075,00042C1-40-29JUN16

半自動リアトレーラーヒッチ — 取り付け (オプション)



H111228—UN—12MAY14

A：**ハンドル**
B：**電気コネクタ**

注意：トレーラーを連結する前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

チョッパーを完全に上昇させます。

ハンドル (A) を上げてロックピンを開き、トレーラーを本機に連結します。トレーラーヒッチがロックピンと整列すると、ハンドルが下がりトレーラーヒッチが自動的に所定の位置にロックされます。

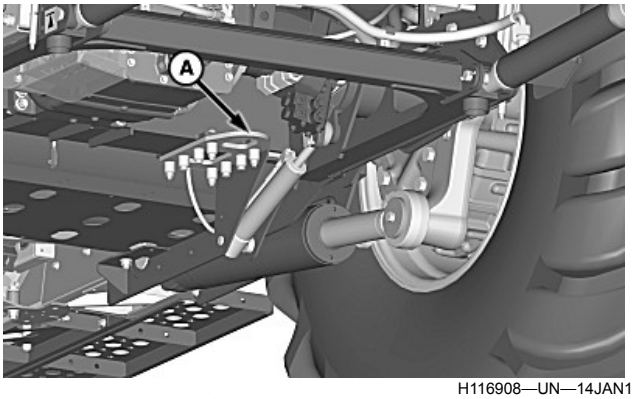
トレーラーの電気ハーネスを電気コネクタ (B) に接続します。

OUO6075,000431B-40-29JUN16

フロント牽引フック

H102206—UN—14JUN11

フロント牽引フック *(HillMaster* 非装備の機械*)*



H116908—UN—14JAN16

フロント牽引フック *(HillMaster* 装備の機械*)*

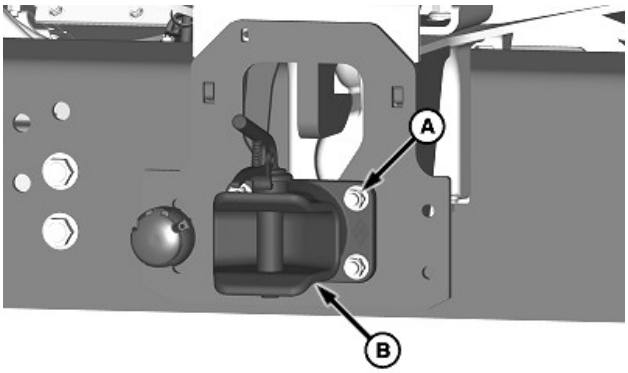
A：**フック**

必要な場合は、チェーンをフロントアクスルのフック (A) に取り付けて本機を前進方向に牽引または引っ張ってぬかるみから出してください。チェーンによって油圧ラインが損傷しないことを確認してください。

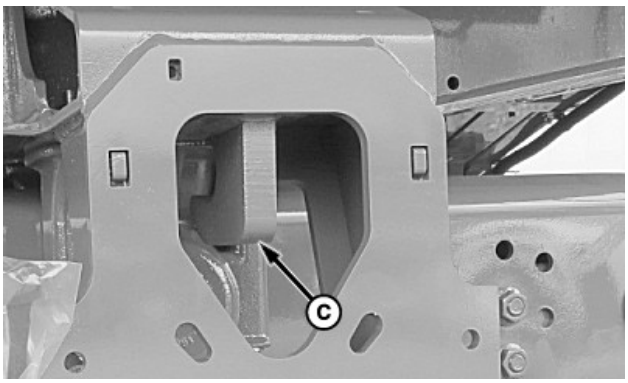
OUO6075,0004ECB-40-09JUL20

リア牽引フック

手動トレーラーヒッチ



H118216—UN—14APR16



H111232—UN—12MAY14

A：**キャップスクリューとナット (4 組使用)**
B：**トレーラーヒッチ**
C：**フック**

注意：**トレーラーヒッチで機械を引っ張らないでください。供給されている牽引フックのみを使用してください。必ず適切なチェーンを使用してください。破壊強度を超えないでください。牽引ストラップやロープとチェーンを混用しないでください。牽引装置に蓄えられたエネルギーは、破損した場合、大けがの原因になります。**

ボルトとナット (A) をトレーラーヒッチ (B) から取り外します。

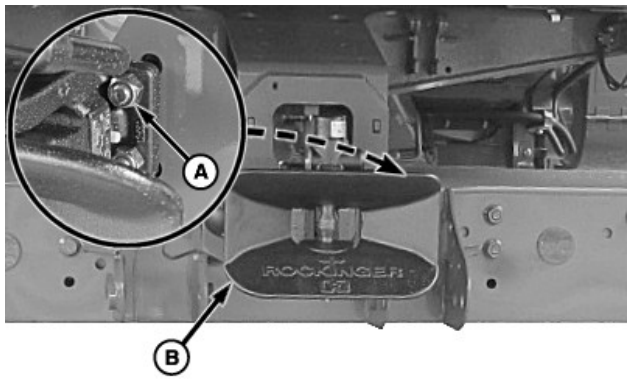
チェーンをフック (C) に固定して機械を引っ張ります。トレーラーを引っ張るためにこのフックを使用しないでください。

トレーラーヒッチを取り付け、ボルトとナットで固定します。金具を規定のトルクで締め付けます。

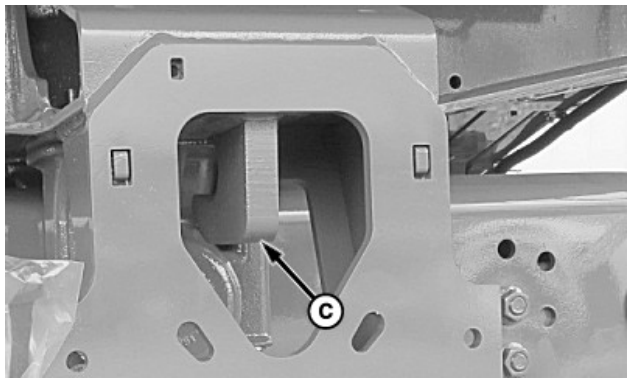
仕様

トレーラーヒッチの金具：トルク. . . . . 205 N·m (151 lb·ft)

半自動トレーラーヒッチ



H111231—UN—12MAY14



H111232—UN—12MAY14

A：**キャップスクリューとナット (4 組使用)**
B：**トレーラーヒッチ**
C：**フック**

注意：**トレーラーヒッチで機械を引っ張らないでください。供給されている牽引フックのみを使用してください。必ず適切なチェーンを使用してください。破壊強度を超えないでください。牽引ストラップやロープとチェーンを混用しないでください。牽引装置に蓄えられたエネルギーは、破損した場合、大けがの原因になります。**

ボルトとナット (A) をトレーラーヒッチ (B) から取り外します。

チェーンをフック (C) に固定して機械を引っ張ります。トレーラーを引っ張るためにこのフックを使用しないでください。

トレーラーヒッチを取り付け、ボルトとナットで固定します。金具を規定のトルクで締め付けます。

仕様

トレーラーヒッチの金具：トルク	205 N·m (151 lb·ft)

OUO6075,00042C2-40-29JUN16

収穫のヒント

低温時の運転

重要：**低温時に運転するときは、適切な等級のディーゼル燃料を使用していることを確認してください。温暖気候等級のディーゼル燃料は、燃料ライン、燃料フィルタ、燃料タンク内でゲル化します。ディーゼル燃料がゲル化すると、燃料系統の整備が必要です。詳しくは、「燃料と潤滑油」セクションを参照してください。**

雪や氷が存在する低温時は、コンバイン機能が低下する可能性があります。コンバインに吸い込まれる雪を最小限度に抑えるために特別なケアが必要です。雪が吸い込まれると、チャファー、クリーニングファン、セパレータコンケーブ、セパレータ格子などの部分が詰まる可能性があります。これらの部分が詰まった状態で運転すると、機械が損傷し、大がかりな修理や機能性能の低下が発生する可能性があります。低温時に運転する前に、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

OUO6075,0004574-40-31JAN17

収穫のヒント

収穫している作物や圃場の条件に合わせて機械を調整してください。

機械が過負荷にならない対地速度を選択してください。セパレータをフルスピードに維持するには、エンジンをフル回転数で運転する必要があります。低速移動用の、エンジン回転数が低下しない対地速度を選択してください。

コンケーブの設定が収穫された作物に近すぎると、わらが過剰に圧砕されて、脱穀に余分な馬力が必要になります。

コンケーブの設定の幅が収穫された作物に対して広すぎると、完全に脱穀されません。

コンケーブを正しく調整した後、セパレータ回転数を調整して、作物の損傷量を最小に抑えて最大の脱穀量を実現します。作物の損傷が発生しない場合は、コンケーブクリアランスを広くしないでください。代わりに、フィードアクセルレータ速度を減らしてください。これらの作物でのコンケーブ間隔は種子の損傷にほとんど影響を与えません。

食用豆やエンドウ豆などの作物は亀裂が入り易く、遅いフィードアクセルドライブを使用する必要があります。食用豆やエンドウ豆を収穫するときは、作物の衝撃を和らげて亀裂を防止する十分な素材を機械に維持してください。

わらの品質を潜在的に向上するには、条件に応じて次の点を考慮してください。

- フィーダーハウスのチェーン速度を遅くする
- フィードアクセルレータ速度を遅くする
- ローター回転数を下げる
- コンケーブを開く
- 脱穀エレメントを減らす
- ラウンドバーコンケーブを取り付ける

傾斜地条件での性能を向上するには、オーガベッドディバイダーを上げる、高いチャファーディバイダーを取り付ける (John Deere 取扱店から入手可能)、セパレータ格子カバー (装備されている場合) を取り付けて籾殻と穀粒の分配を改善するなどを実施してください。これらはそれぞれクリーニングシューへの籾殻や穀粒の分布を改善し、傾斜地条件での機械性能の向上に役立ちます。

カッティングプラットフォームを使用する場合は、低い位置にある作物の頭部の損失なしに可能な限り高い位置で作物を切断してください。リール位置と速度を調整して均一なフィードを実現してください。カッターバーを正しく合わせ、ガードを整列させて、清浄な刈り取りを実現してください。

トウモロコシの収穫時は、コーンヘッドを穂に必要な程度に低く維持してください。コーンヘッドを畝の中心に維持して、穂の損失を防止してください。

ベルトピックアップを使用しているときは、素材がフィーダーハウス内に均一に送られるようにウィンドローを中心に維持してください。グレインヘッドは一方向に設置されている必要があります。ヘッドが最初にピックアップされるように機械を運転してください。

ロークロップヘッドを使用して大豆を収穫する場合は、ヘッダーを可能な限り低く維持してください。ミロやヒマワリなどの作物を収穫する場合は、茎から頭を刈り取れる程度に低い位置でヘッダーを操作してください。

チャファーの最初の 3 分の 2 で大量の粗い素材が入ることなく穀類や種子が下部ふるいに移動するようにチャファー開口部を調整してください。

クリーンな穀類や種子を吹き飛ばさない程度に可能な限り空気を多く使用してください。重い作物には軽い作物よりも多くの空気が必要です。

SS43267,00004E6-40-03FEB15

自動ヘッダー制御の組み合わせ

注記： 多機能レバーの起動ボタン 1、2、または 3 を 2 秒間押し続けて必要なモードをメモリに入力します。

複数の一般的なモードを以下に示しますが、多数の組み合わせがあります。

自動ヘッダー制御 (有効モード)	起動ボタン 1	起動ボタン 2	起動ボタン 3
高さ復帰	高さ復帰 H126436—UN—06JUN19		
高さ復帰 | 高さ検出	H126436—UN—06JUN19 高さ復帰	高さ検出 H126437—UN—06JUN19	
高さ復帰 | HydraFlex™ 高さ検出	H126436—UN—06JUN19 高さ復帰	*HydraFlex*™ 高さ検出 H126437—UN—06JUN19	
高さ復帰 | 高さ検出 | HydraFlex™ 高さ検出 [a]	H126436—UN—06JUN19 高さ復帰	H126437—UN—06JUN19 高さ検出	H126437—UN—06JUN19 *HydraFlex*™ 高さ検出
高さ復帰 | 高さ検出 | HydraFlex™ 高さ検出 [b]	H126436—UN—06JUN19 高さ復帰	H126437—UN—06JUN19 高さ検出	H126437—UN—06JUN19 *HydraFlex*™ 高さ検出
高さ復帰 | 高さ検出 | アクティブヘッダーフロート	H126436—UN—06JUN19 高さ復帰	H126437—UN—06JUN19 高さ検出	H126447—UN—06JUN19 アクティブヘッダーフロート
高さ復帰 | HydraFlex™ 高さ検出 | アクティブヘッダーフロート	H126436—UN—06JUN19 高さ復帰	H126437—UN—06JUN19 *HydraFlex*™ 高さ検出	H126447—UN—06JUN19 アクティブヘッダーフロート
高さ復帰 | アクティブヘッダーフロート	高さ復帰 H126436—UN—06JUN19		H126447—UN—06JUN19 アクティブヘッダーフロート
高さ検出	高さ検出 H126437—UN—06JUN19		
HydraFlex™ 高さ検出	*HydraFlex*™ 高さ検出 H126437—UN—06JUN19		

自動ヘッダー制御 (有効モード)	起動ボタン 1	起動ボタン 2	起動ボタン 3
高さ検出 | HydraFlex™ 高さ検出 [a]	高さ検出 H126437—UN—06JUN19		H126437—UN—06JUN19 *HydraFlex*™ 高さ検出
高さ検出 | HydraFlex™ 高さ検出 [b]	高さ検出 H126437—UN—06JUN19		H126437—UN—06JUN19 *HydraFlex*™ 高さ検出
高さ検出 | HydraFlex™ 高さ検出 | アクティブヘッダーフロート [a]	*HydraFlex*™ 高さ検出 H126437—UN—06JUN19		H126447—UN—06JUN19 アクティブヘッダーフロート
高さ検出 | アクティブヘッダーフロート	高さ検出 H126437—UN—06JUN19		H126447—UN—06JUN19 アクティブヘッダーフロート
HydraFlex™ 高さ検出 | アクティブヘッダーフロート	*HydraFlex*™ 高さ検出 H126437—UN—06JUN19		H126447—UN—06JUN19 アクティブヘッダーフロート
アクティブヘッダーフロート	アクティブヘッダーフロート H126447—UN—06JUN19		
Reel Position Resume (リール位置復帰)	リール位置復帰 H126448—UN—06JUN19		
Deck Plate Position Resume (デッキプレート位置復帰)	デッキプレート位置復帰 H126449—UN—06JUN19		
油圧フィーダーハウス前後傾斜 (装備されている場合)	油圧フィーダーハウス前後傾斜 H126450—UN—06JUN19		
カッターバー前後位置 [c]	カッターバー前後位置 H126451—UN—06JUN19		

HydraFlex は Deere & Company の商標です。
[a]高さ検出と HydraFlex 高さ検出を有効にするには、John Deere 販売店にお問い合わせください。補助高さセンサー付き 600F、600FD、または 700FD、またはゲージホイール付き 600D または 700D が必要です。
[b]キャリブレーション中に、ゲージホイールのピンを抜いている場合は、600D および700D プラットフォームを使用した既定のモードです。ゲージホイール付きの 600D または700D が必要です。
[c]欧州向け 600X および 700X ヘッダープラットフォーム。

OUO6075,0004BC5-40-07JUN19

タイヤ半径コードの変更

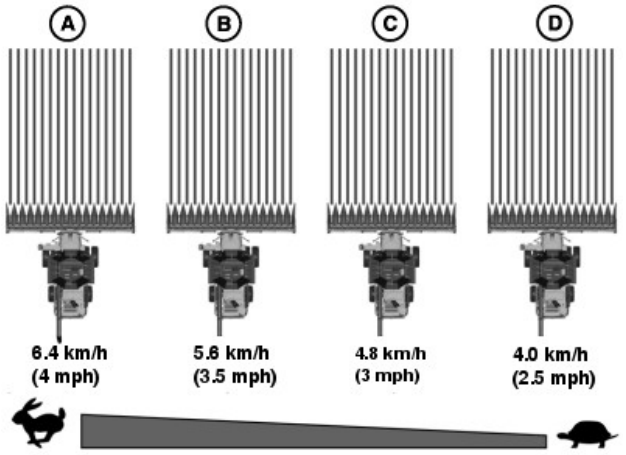
タイヤまたはファイナルドライブを工場出荷時のものから変更する場合は、システムを再較正する必要が生じます。正しいタイヤコードがメモリに入力されていることを確認します。

重要：**駆動輪を交換すると、タイヤ半径が変わる場合があります。新しいタイヤ半径に合わせて CAB コントロールユニットを設定する必要があります。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。**

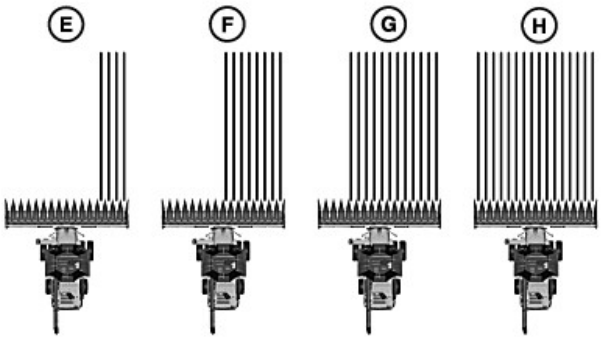
システムを較正しないと、Harvest Monitor の収量が不正確になります。

OUO6075,0001111-40-11APR12

単点収穫量キャリブレーションまたは多点収穫量キャリブレーション



H105056—UN—19MAR12



H105057—UN—19MAR12

A：**負荷 1**
B：**負荷 2**
C：**負荷 3**
D：**負荷 4**
E：**最小フロー**
F：**中フロー**
G：**中フロー**
H：**最大フロー**

注記：流量を変える最適な方法は、機械の走行速度を変えることです。

流量を一定に維持する最適な方法は VisionTrak™ ディスプレイを監視し、機械の走行速度を適宜調整することです。

単点収穫量キャリブレーション

単点収穫量キャリブレーションは、1 つから 3 つまでのキャリブレーション負荷を収集するときに実施します。

このタイプのキャリブレーションは、収穫された圃場が十分一貫した収量を有し、機械が一定の走行速度で運転され、フローの変動が非常に少ない場合に推奨します。

キャリブレーション負荷を収集するには、最大収穫速度で約 2722 kg (6000 lb) を収穫します。

1 つまたは 2 つの追加の負荷を実施する必要はありませんが、これにより、システムで全体の誤差を平均化することができます。

多点収量較正

多点収量較正は、収穫される圃場で収量が変化するまたは機械が異なる速度で異なる穀粒フローにより運転される場合に使用します。

このタイプの較正では、予想されるフロー条件ごとにそれぞれの較正負荷を収集します。

キャリブレーション負荷ごとに、約 2722 kg (6000 lb) を収穫します。

種々の走行速度 (A ~ D) または種々の刈幅で少なくとも **4 種類**のキャリブレーション負荷を実行し、さまざまな流量 (E ~ H) をシミュレーションします。

OUO6075,000430B-40-16JUN16

VisionTrak は Deere & Company の商標です。

作物の設定

アルファルファ / 大麦

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。

** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	アルファルファ	大麦
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 26
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 32
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)***	高	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	600 ~ 800	700 ~ 950
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	0 ~ 5	5 ~ 22
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	小ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	小 / 小 / 大	小 / 小 / 大
セパレータ格子カバー ***(D)****	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	550 ~ 700	850 ~ 1100
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	5 ~ 10	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	10 ~ 20	13 ~ 18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	1 ~ 4	6 ~ 9
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀類	穀類
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,0005041-40-17MAR21

キャノーラ / ひよこ豆

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	キャノーラ	ヒヨコ豆
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 26
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)***	歯数 32	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)***	高	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	350~550 ***(L)****	400 ~ 600
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	15 ~ 40	18 ~ 24
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	小ワイヤ	丸棒 / 大ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	小 / 小 / 大	丸棒 / 大ワイヤ
セパレータ格子カバー ***(D)****	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	600 ~ 900	800 ~ 1100
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	5 ~ 10	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	10 ~ 14	15 ~ 20
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	2 ~ 5	6 ~ 10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	とうもろこし	とうもろこし
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,0005042-40-17MAR21

とうもろこし (ドライ) / とうもろこし (ウエット)

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	トウモロコシドライ	トウモロコシウエット
フィーダーハウスドラム位置	上	上
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 26
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)***	低 ***(C)****	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	250 ~ 450	350 ~ 500
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	20 ~ 35	20 ~ 35
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	丸棒	丸棒
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	丸棒	丸棒
セパレータ格子カバー ***(D)****	なし	なし
セパレータ格子スペーサ	取り付け済み	取り付け済み
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	900 ~ 1300	1000 ~ 1300
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	24	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	15 ~ 20 (プレミアムとうもろこし) 15~20 (高歯) 17 ~ 22 (汎用)	16 ~ 21 (プレミアムとうもろこし) 16~21 (高歯) 18 ~ 22 (汎用)
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	10~14 (高歯) 11 ~ 15 (汎用)	10~14 (高歯) 11 ~ 15 (汎用)
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	とうもろこし	とうもろこし
作物分流器	とうもろこし	とうもろこし
ナイフバンクの接続	解除のみ	解除のみ
チョッパー回転数	低	低

OUO6075,0005051-40-17MAR21

とうもろこし穂軸混合 / 食用豆

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	とうもろこし穂軸混合 (H)* (M)*	食用大豆
フィーダーハウスドラム位置	上	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 22 ***(P)***
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 22 ***(P)***
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)***	低	低 ***(C)***
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	後傾斜鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)***	難脱穀性作物用鋸刃状	後傾斜鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)***	450 ~ 650	300 ~ 500 ***(L)***
脱穀すき間 (mm) ***(Q)***	15 ~ 30	15 ~ 30
コンケーブタイプ (北米) ***(F)***	大径ワイヤ ***(K)***	丸棒 / 大ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)***	大径ワイヤ ***(K)***	丸棒 / 大ワイヤ
セパレータ格子カバー ***(D)***	なし	なし
セパレータ格子スペーサ	どちらか	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)*** (装備されている場合)	Standard (標準)	Advanced (アドバンスド)
ファン回転数 (rpm)	1000 ~ 1300	800 ~ 1100
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	24	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)***	22	14 ~ 18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	取り外し済み	6 ~ 10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	とうもろこし	とうもろこし
作物分流器	とうもろこし	穀類
ナイフバンクの接続	解除のみ	許可
チョッパー回転数	低	高

OUO6075,0005044-40-17MAR21

亜麻 / 草種子

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	亜麻	草種子
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)****	歯数 26	歯数 32
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)****	歯数 26	歯数 32
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)****	高	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	800 ~ 1000	500 ~ 850 ***(N)****
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	0 ~ 10	12 ~ 25
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	小ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	小ワイヤ	小 / 小 / 大
セパレータ格子カバー ***(D)****	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	700 ~ 1050	350 ~ 600 ***(I)****
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	24	5 ~ 10
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	8 ~ 15	12 ~ 18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	5 ~ 10	5 ~ 12
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀類	穀類
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,0005045-40-17MAR21

グアー (クラスタマメ) / レンズマメ

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	グアー (クラスタマメ)	ヒラマメ
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 26
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)***	低	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	500 ~ 700	350 ~ 500
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	10 ~ 15	7 ~ 12
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	丸棒	丸棒 / 大ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	丸棒	小 / 小 / 大
セパレータ格子カバー ***(D)****	なし	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	650 ~ 750	800 ~ 1000
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	24	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	10 ~ 15	12 ~ 18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	6 ~ 10	3 ~ 10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	とうもろこし	とうもろこし
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,0005046-40-17MAR21

はうちわ豆 / きび

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	はうちわ豆	キビ
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)****	歯数 26	歯数 26
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)****	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)****	低	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	400 ~ 600	400 ~ 500
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	12 ~ 18	10 ~ 15
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	丸棒 / 大ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	丸棒 / 大ワイヤ	小 / 小 / 大
セパレータ格子カバー ***(D)****	必要に応じて使用	なし
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	900 ~ 1100	600 ~ 750
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	24	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	15 ~ 20	10 ~ 12
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	4 ~ 8	4 ~ 6
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	とうもろこし	穀類
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,0005047-40-17MAR21

からし / 白いんげん豆

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	からし	白インゲンマメ
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 22 ***(P)****
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)****	歯数 26	歯数 22 ***(P)****
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)****	高	低 ***(C)****
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	後傾斜鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	後傾斜鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	600 ~ 900	300 ~ 350 ***(L)****
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	10 ~ 20	15 ~ 30
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	小ワイヤ	丸棒
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	小 / 小 / 大	丸棒
セパレータ格子カバー ***(D)****	必要に応じて使用	なし
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Advanced (アドバンスド)
ファン回転数 (rpm)	500 ~ 800	800 ~ 1100
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	5 ~ 10	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	10 ~ 14	14 ~ 18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	2 ~ 5	6 ~ 10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀類	とうもろこし
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,0005048-40-17MAR21

オート麦 / えんどう豆

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	オート麦	えんどう豆
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)***	歯数 32	歯数 26
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)***	歯数 32	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)***	高	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	600 ~ 900	300 ~ 400
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	15 ~ 25	15 ~ 30
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	小ワイヤ	丸棒 / 大ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	小 / 小 / 大	丸棒 / 大ワイヤ
セパレータ格子カバー ***(D)****	必要に応じて使用	なし
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Advanced (アドバンスド)
ファン回転数 (rpm)	750 ~ 900	850 ~ 1050
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	24	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	18 ~ 22	16 ~ 20
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	6 ~ 10	6 ~ 11
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀類	とうもろこし
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,0005049-40-17MAR21

ポップコーン / ナタネ (ドライ)

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	ポップコーン	ナタネ (ドライ)
フィーダーハウスドラム位置	上	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 26
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 32
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)***	低	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	スムーズ	難脱穀性作物用鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	スムーズ	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	210 ~ 310	400 ~ 700 ***(L)****
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	15 ~ 25	20 ~ 40
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	丸棒	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	丸棒	小 / 小 / 大
セパレータ格子カバー ***(D)****	なし	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	取り付け済み	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	900 ~ 1100	620 ~ 800
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	24	5 ~ 10
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	14 ~ 18	11 ~ 14
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	6 ~ 8	3 ~ 6
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	とうもろこし	とうもろこし
作物分流器	とうもろこし	穀類
ナイフバンクの接続	解除のみ	許可
チョッパー回転数	低	高

OUO6075,000504A-40-17MAR21

ナタネ (未乾燥) / 稲

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	ナタネ (未乾燥)	イネ
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)***	歯数 32	歯数 32
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)***	歯数 32	歯数 32
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)***	低	高
フィードアクセルレータ速度 (B)* (J)*	高	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	難脱穀性作物用鋸刃状	タイン
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	タイン
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	500~800 ***(L)****	700 ~ 1000 ***(N)****
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	20 ~ 40	15 ~ 25
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	小ワイヤ	大ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	小 / 小 / 大	大ワイヤ
セパレータ格子カバー ***(D)****	必要に応じて使用	なし
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	700 ~ 850	700 ~ 900
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	5 ~ 10	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	11 ~ 14	16 ~ 20
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	4 ~ 8	5 ~ 10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	とうもろこし	とうもろこし
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,000504B-40-17MAR21

ライ麦 / べにばな

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	ライ麦	ベニバナ
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 26
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)***	高	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	700 ~ 900	300 ~ 400
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	13 ~ 26	15 ~ 25
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	小ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	小 / 小 / 大	小 / 小 / 大
セパレータ格子カバー ***(D)****	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	750 ~ 950	550 ~ 750
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	24	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	16 ~ 18	14 ~ 16
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	6 ~ 10	4 ~ 7
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀類	とうもろこし
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,000504C-40-17MAR21

もろこし / 大豆

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	もろこし	大豆
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)****	歯数 26	歯数 26
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)****	歯数 26	歯数 26
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)****	低	低
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	550 ~ 700	450 ~ 650
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	10 ~ 25	15 ~ 30
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	丸棒 / 大ワイヤ	丸棒 / 大ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	丸棒 / 大ワイヤ	丸棒 / 大ワイヤ
セパレータ格子カバー ***(D)****	必要に応じて使用	なし
セパレータ格子スペーサ	保管位置	どちらか
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	900 ~ 1100	800 ~ 1050
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	24	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	14 ~ 17	14 ~ 18 (汎用) 13~17 (高歯)
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	5 ~ 8	6 ~ 10 (汎用) 5~9 (高歯)
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	とうもろこし	とうもろこし
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,000504D-40-17MAR21

ひまわり / ライ小麦

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	ひまわり	ライ小麦
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 26
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)***	歯数 26	歯数 32
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)***	低	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	200 ~ 400	850 ~ 1000
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	25 ~ 40	18 ~ 24
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	丸棒 / 大ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	丸棒 / 大ワイヤ	小 / 小 / 大
セパレータ格子カバー ***(D)****	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Advanced (アドバンスド)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	650 ~ 850	750 ~ 1000
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	24	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	10 ~ 15	16 ~ 18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	3 ~ 10	6 ~ 10
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	とうもろこし	穀類
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,000504E-40-17MAR21

小麦 (難脱穀性) / 小麦 (普通)

注記： 表示されているさまざまな作物設定は平均的な条件のためのものです。作物や圃場条件が変わると、設定を少し変える必要がある場合があります。
** 詳細については、このセクションで後述の「脚注の説明ページ」を参照してください。*

	コムギ (難脱穀性)	コムギ (普通)
フィーダーハウスドラム位置	下	下
フィーダーハウスコンベアチェーン (北米) ***(A)* (B)****	歯数 26	歯数 26
フィーダーハウスコンベアチェーン (欧州) ***(A)* (B)****	歯数 32	歯数 32
フィードアクセルレータ速度 ***(B)* (J)****	高	高
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (北米)	鋸刃状	鋸刃状
フィードアクセルレータ摩耗ストリップ (欧州) ***(G)****	難脱穀性作物用鋸刃状	難脱穀性作物用鋸刃状
脱穀速度 (rpm) ***(B)* (E)****	800 ~ 1000	750 ~ 950
脱穀すき間 (mm) ***(Q)****	3 ~ 15	8 ~ 16
コンケーブタイプ (北米) ***(F)****	小ワイヤ	小ワイヤ
コンケーブタイプ (欧州) ***(F)****	小 / 小 / 大	小 / 小 / 大
セパレータ格子カバー ***(D)****	必要に応じて使用	必要に応じて使用
セパレータ格子スペーサ	保管位置	保管位置
トップカバー搬送羽根 ***(O)**** (装備されている場合)	Standard (標準)	Standard (標準)
ファン回転数 (rpm)	900 ~ 1250	900 ~ 1250
調整可能フロントチャファー (装備されている場合) (mm)	24	24
チャファー隙間 (mm) ***(R)****	13 ~ 18	13 ~ 18
デュアルゾーン調整リアチャファー隙間 (mm)	5 水平 10 傾斜地	5 水平 10 傾斜地
ふるい隙間 (mm)	3 ~ 8	3 ~ 8
2 番物システムコンケーブ位置 (装置されている場合)	穀類	穀類
作物分流器	穀類	穀類
ナイフバンクの接続	許可	許可
チョッパー回転数	高	高

OUO6075,000504F-40-17MAR21

脚注の説明ページ

(A)* *大量、未乾燥、またはウインドローが原因でわら作物の送りが不十分な場合は、歯数 32 の駆動スプロケットを推奨します。*

(B)* *乾燥作物のわら品質を向上するには、低速を使用してください。乾燥した脆いヒマワリの場合は、歯数 15 の駆動スプロケットを使用できます。*

(C)* *グレン品質を向上するには、減速キットを使用して 320 rpm にします。*

(D)* *乾燥作物のシュー過負荷条件では、小さいワイヤコンケーブを使用して、最初は セパレータ格子の右側に 2 列、左側に 3 列を取り付けます。大きなワイヤコンケーブを使用して、最初はセパレータ格子の右側に 3 列、左側に 2 列を取り付けます。条件に応じて、数とパターンを調整してください。*

(E)* *15 エレメントは標準構成です。ほとんどの条件で、15 エレメントは高い能力、シュー負荷の低減、藁の損傷の低減を実現するのに必要な出力が少なくて済みます。さらに、厄介な素材を扱う条件で使用できる難脱穀作物用ローターでは 9 エレメント位置 (Dense Pack) を利用できます。*

(F)* *脱穀、グレンタンクサンプル、小粒穀物での籾殻負荷分布を改善するには、最初にコンケーブカバーをフロントコンケーブに取り付けてください。必要に応じて、追加のカバーをその他のコンケーブに追加できます。*

(G)* *難脱穀性作物用鋸刃状以外の推奨事項では、フィードビーターの変換が必要です。*

(H)* *2 番還元物オイルパンカバーを推奨します。*

(I)* *クリーニングファン減速キットが必要になる場合があります。*

(J)* *素材の取り扱いを増やすには、高速を使用してください。*

(K)* *穂軸の取り込みを増やすために、ワイヤを取り外すことができます。*

(L)* *TriStream™ ローターを使用している場合は、ローターでの素材の取り扱いを改善するためにディスチャージパドルを取り付けることができます。*

(M)* *トウモロコシ穂軸混合セパレータ格子を使用してください。*

(N)* *極端に厄介な素材を扱う条件では、脱穀エレメントの代わりに脱穀タインを取り付けることができます (脱穀性能が低下する可能性があります)。*

(O)* *わら品質や素材の扱いを向上するために Advanced (進み側) 位置設定を使用できます。注記：Advanced (進み側) 位置設定では、セパレータロスが増える可能性があります。*

(P)* *整備部品として入手できます。*

(Q)* *Kondex® Revolution™ (MaxThresh™、MaxRound™) コンケーブの推奨設定は、John Deere の小ワイヤ、大ワイヤ、丸棒コンケーブよりも 2 ~ 5 mm 開いた値です。*

(R)* *平歯コームチャファーの推奨設定は、汎用チャファーよりも 2 ~ 3 mm 開いた値です。*

OUO6075,0005050-40-14MAY21

コンケーブに関する推奨事項

注記： 各種作物に対する機械の推奨設定の詳細については、「作物の設定」セクションを参照してください。

コンケーブタイプ	とうもろこし	大豆	小麦 オオムギ 小粒穀物	イネ	ポップコーン 食用トウモロコシ	モロコシ (ミロ) ヒマワリ (製菓用)	ヒマワリ (オイル用)	キャノーラ
小ワイヤ	NR	NR	最良	NR	NR	NR	平均	最良
大ワイヤ	良好	良好	良好	最良	NR	最良	最良	良好
丸棒	最良	最良	平均	良好	最良	平均	最良	平均

最良 = 最高の結果を得ることが可能。
良好 = 良い結果を得ることが可能。
平均 = 平均的な結果を得ることが可能。
非推奨 = 推奨しません。

推奨設定

注記： 各種作物に対する機械の推奨設定の詳細については、「作物の設定」セクションを参照してください。

条件やオペレータの好みに合わせて、多数のコンケーブの組み合わせが可能です。

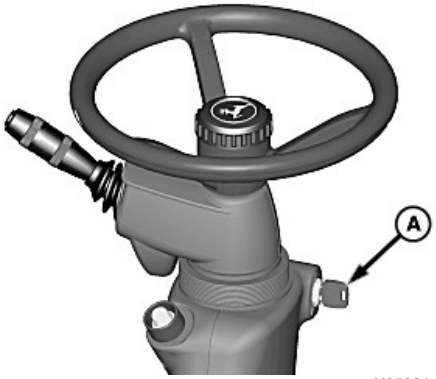
コンケーブタイプ	とうもろこし 大豆	小麦	大麦	レンズマメ	ひよこ豆	キャノーラ
John Deere	RB、RB、RB	SW、SW、SW Plus カバー	SW、SW、LW	SW、SW、SW	SW、RB、RB	SW、SW、SW
Kondex® Revolution™	MR、RB、RB	MT、SW、SW	MT、SW、LW	MT、SW、SW	MR、RB、RB	MT、SW、SW

SW = John Deereワイヤコンケーブ (小)
LW = John Deereワイヤコンケーブ (大)
RB = John Deere ラウンドバーコンケーブ
MT = Kondex® Revolution™ 2 つの半幅 2 MaxThresh™ コンケーブ
MR = Kondex® Revolution™ 1 つの半幅 MaxThresh™ コンケーブと 1 つの半幅MaxRound™ コンケーブ

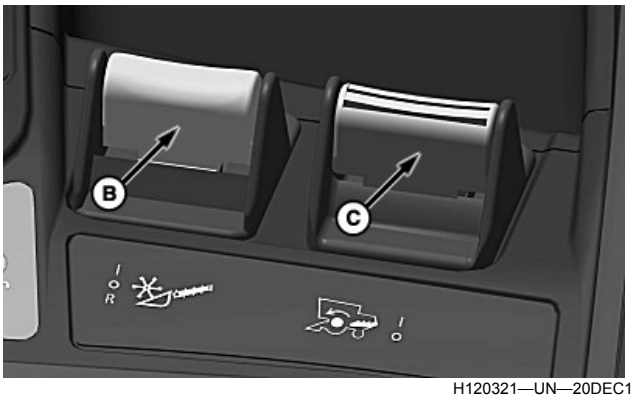
MaxThresh は、Kondex Corporation の商標です。
MaxThresh は、Kondex Corporation の商標です。
MaxRound は、Kondex Corporation の商標です。

OUO6075,0005079-40-11MAY21

動力の遮断手順



H95321—UN—02NOV10



H120321—UN—20DEC16

A：**キースイッチ**
B：**「ヘッダー接続」スイッチ**
C：**「セパレータ接続」スイッチ**

注記： 動力の遮断手順を使用して、セパレータ内の素材の「スナップショット」を作成することにより、脱穀および分離エリアの機械性能を判定します。これは、機械の背後で発生している損失の場所、条件を修正するために実施できる調整の内容を判定するうえで価値があります。

作物の条件と材料の取り込みが遮断のたびに同じであることを確認してください。

1. コーナーポストディスプレイのエンジン回転数インジケーターと、アームレストディスプレイの脱穀速度の読み値を確認します。
2. ブレーキペダルを連結します。
3. 目的の作物で最適化されたスループットレベルで機械を運転します。
4. 自由に動くようにステアリングをホイールを前方へ動かします (両手が必要です)。
5. ひじかけのローアイドルエンジン回転数スイッチを押します。
6. ブレーキペダルを踏み込みます。
   a. **ProDrive™ 非装備の機械**：ブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます (推進システムに負荷をかけてエンジン回転数をすばやく下げます)。
   b. **ProDrive™ 搭載の機械**：ブレーキペダルを軽く踏み込みます (完全に踏み込むと、ProDrive™ は動力を復帰させ、シフトダウンして機械のダイナミクスが変わります)。
7. ローアイドル回転数 (1200 rpm) までエンジン回転数が低下したら、**アームレストのヘッダー (B) およびセパレータ接続 (C) スイッチをすばやく解除します**。
8. 多機能レバーをニュートラル位置にすばやく動かします。
9. エンジンを放置して数分間冷ましてください。
10. キースイッチ (A) を回してエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。
11. 調整を行う前に、穀粒がひどく損傷していないか、穂軸に穀粒が残っていないか点検し、穀粒の損失がないことを点検します。
12. 必要な調整を決定します。脱穀隙間を空け、セパレータを接続します (クリーンアウト中は、シリンダ駆動部に不要な応力をかけないでください)。
13. 機械を目的の設定に調整して収穫を続けます。
14. この手順を繰り返して、グレン品質と機械の背後のグレンロスを確認します。
15. 受け入れ可能なロスレベルに達したら、VisionTrak™ モニターをキャリブレーションして収穫を続けます。

OUO6075,0004571-40-10JAN17

VisionTrak は Deere & Company の商標です。

水分と密度の一覧表

作物	標準水分 (%)	作物密度 (lbs/bushel)	作物密度 (kg/bushel)
アルファルファ	12.0	60	27
オオムギ	14.0	48	22
オオムギ (冬) [a]	14.5	48	22
オオムギ (春) [a]	14.5	48	22
アブラナ	10.0	52	24
ヒヨコ豆[a]	12.0	61	27
トウモロコシ (ドライまたはウェット)	15.0	56	25
食用豆	14.5	60	27
亜麻	7.0	56	25
牧草種子	12.0	22	10
ヒラマメ	10.5	60	27
ルピナス[a]	12.0	53	24
キビ	11.0	50	23
カラシ	8.0	60	27
白インゲンマメ	14.5	62	28
カラスムギ	14.0	32	15
カラスムギ[a]	15.0	32	15
エンドウマメ	10.5	60	27
エンドウマメ[a]	12.0	60	27
ポップコーン	14.0	60	27
ポップコーン[a]	15.5	60	27
ナタネ (ドライまたはウェット) [a]	10.0	52	24
イネ	14.0	45	20
ライムギ	14.0	56	25
ベニバナ	6.0	45	20
モロコシ	13.0	56	25
大豆	13.0	60	27
ヒマワリ	14.0	29	11
ヒマワリ[a]	9.0	20	11
ライコムギ[a]	14.5	58	26
コムギ (春)	13.0	60	27
コムギ (冬)	13.0	60	27

[a]欧州の作物一覧のみ。

OUO6075,0000E89-40-22MAR12

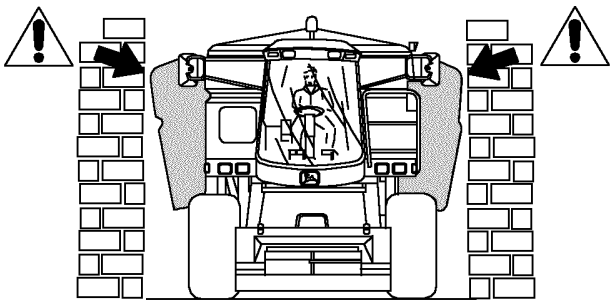
標準重量表

単位	重量 (lb)	重量 (kg)
「Barrels (バレル)」	162.0	73.5
「Sacks (袋)」	100.0	45.4
「Hundred Weight (ハンドレッドウエイト)」	100.0	45.4
ポンド (lb)	1.0	0.454
キログラム (kg)	2.204	1.0
「Metric Tons (メートルトン)」	2204.0	1000.0
「Tons (トン)」	2000.0	907.0

OUO6075,0000435-40-15APR10

HillMaster™ レベリングシステム (装備されている場合)

HillMaster™ システム (一般情報)



ZX 002438

ZX002438—UN—16JUN95

注意： HillMaster™ は圃場のみで使用してください。公道を走行する前に、最大高さが 4.0m 未満になるように本機を輸送位置に下げる必要があります。

機械を傾斜地で旋回させる場合は、十分に注意する必要があります。安定性の喪失や機械の横転の可能性を回避するために、傾斜地で機械を旋回させるときは以下の注意事項に従ってください。

- **絶対に水平調整システムで機械を水平に維持できる速さよりも速く機械を旋回させないでください。**
- **必ず上り坂で旋回し、絶対に下り坂で旋回しないでください。**
- **最大傾斜限度インジケーターがディスプレイに表示されたら、急な傾斜地に移動しないでください。**

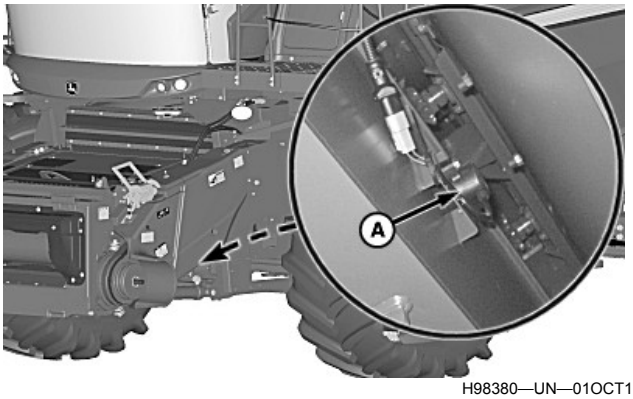
本機に挟まれてけがをしないように注意してください。整備や調整のために本機の下に入る前に、必ずレベリングシステムを下げてください。エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

重要： 手動レベル制御スイッチを作動させる前に、駐車ブレーキが解除されていることを確認してください。

他の機械や建物の壁の近くに機械を駐車しないでください。長時間駐車しているときに油圧の内部損失により本機が傾くことがあるためこれは重要です。これにより、本機や隣接する機械または壁が損傷する可能性があります。

標準のファイナルドライブがフロントアクスルのピボットキャリアプレートに取り付けられています。キャリアプレートを上下に旋回させて機械を傾斜させるために油圧シリンダが使用されています。機械が不均一な地面上を動いてもセパレータは水平に維持されます。

システムは、HillMaster™ 左傾斜 / 右傾斜ボタンを使用して手動で、または自動モードで操作されます。



H98380—UN—01OCT10

フロントアクスルの傾斜センサー

A：**傾斜センサー**

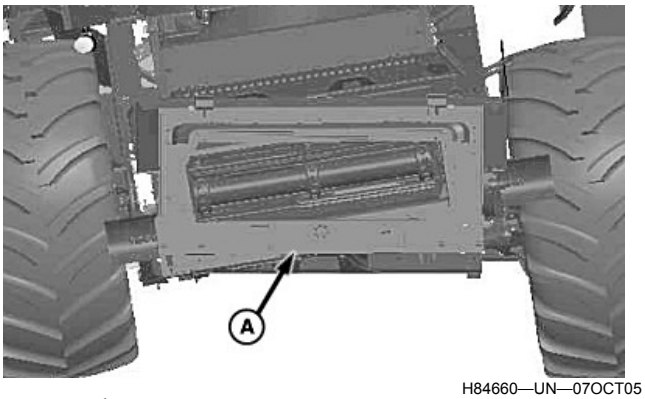
自動モードでは、傾斜センサー (A) によって本機のボディが水平になり、本機が圃場で動くときに水平に維持されます。

圃場の勾配が変化すると、ピッチセンサーによって傾斜角度が測定され、信号がコントロールユニットに送信されます。適切な時期と傾斜角度で、制御回路は電子制御信号を傾斜レベル制御弁の左右の傾斜ソレノイドに送信します。

注記： 圃場作業中、センサーによってセパレータのレベルを 1° 以内に維持されます。荒地や不整地での作業時は、セパレータのレベル位置がこの 1° を少しの間超える場合があります。

傾斜システムは 15% までの勾配でセパレータレベルを維持します。15% を超える勾配で運転した場合、最大傾斜限度インジケーターがディスプレイに表示されます。

横方向傾斜の動作



H84660—UN—07OCT05

A：**フィーダーハウス**

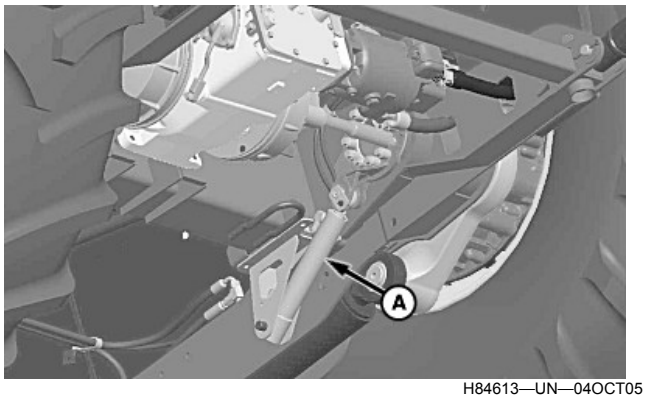
横方向傾斜機能は、本機のセパレーターが傾いて水平を維持するときにヘッダーが地面と平行になるように支援します。このシステムは、ヘッダーを左右に傾けることができる特別に装備されたフィーダーハウス (A) を使用します。

HillMaster™ と横方向傾斜機能により、ヘッダーは左右

HillMaster は Deere & Company の商標です。

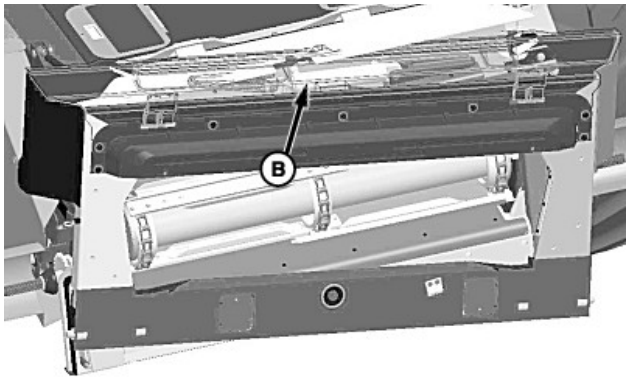
に ± 9° 傾くことができます。両方のシステムにより、ヘッダーは 15% までの勾配で正しく刈取りできます。

この傾斜システムは、複動式プライマリ / セカンダリシリンダ配列を使用して、シャーシに対してヘッダーを傾けます。



H84613—UN—04OCT05

左側のプライマリシリンダ



H84661—UN—07OCT05

ヘッダー傾斜セカンダリシリンダ

A：**ヘッダー傾斜プライマリシリンダ**
B：**ヘッダー傾斜セカンダリシリンダ**

ヘッダー傾斜プライマリシリンダ (A) はフロントアクスルと左ファイナルドライブキャリアプレートとの間に接続されています。ヘッダー傾斜セカンダリシリンダ (B) はフィーダーハウスの最上部にあり、チルトフレームをフィーダーハウスに接続しています。通常の運転では、セパレータが左右に傾斜して水平を維持するときにヘッダーは地面に対して平行に自動的に維持されます。

注記：完全な傾斜移動を制限する可能性がある材料の堆積を防止するために、フィーダーハウスチルトフレームの周囲を定期的に清掃する必要があります。

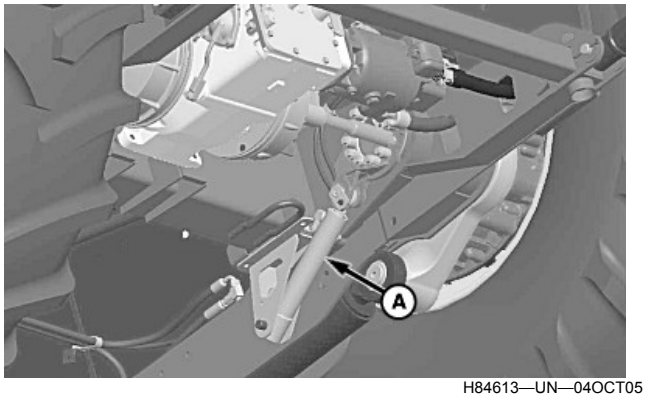
オペレータは、多機能レバーにある横方向傾斜スイッチを使用して、自動ヘッダーレベリング機能を解除することができます。横方向傾斜スイッチを押すと、メイン油圧バルブブロックからのオイルがヘッダー傾斜回路に追加または除去され、フィーダーハウスやシャーシとは無関係にヘッダー傾斜回路が作動します。

自動動作の場合、ヘッダーにセンサーを取り付けて初回使用の前にキャリブレーションする必要があります。

ソフトウェアを介して横方向傾斜システムを有効にします。多機能レバーの起動ボタン 1、2、または 3 を使用してこのシステムを起動します。

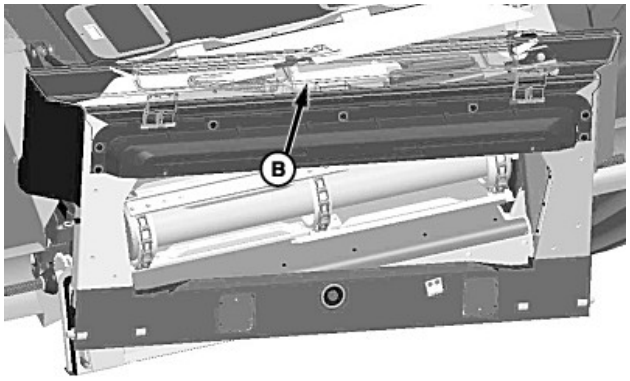
左右の端部にあるセンサーからの信号が処理され、該当する油圧制御弁に通電して、ヘッダーが地面に対して水平になります。

ヘッダー傾斜シリンダ



H84613—UN—04OCT05

左側のプライマリシリンダ



H84661—UN—07OCT05

ヘッダー傾斜セカンダリシリンダ

A：**ヘッダー傾斜プライマリシリンダ**
B：**ヘッダー傾斜セカンダリシリンダ**

ヘッダー角度は、プライマリ / セカンダリシリンダ配列によって決まります。プライマリシリンダ (A) はシャーシと左ファイナルドライブキャリアプレート間に接続されています。セカンダリシリンダ (B) は、フィーダーハウスと傾斜フレーム間に接続されています。

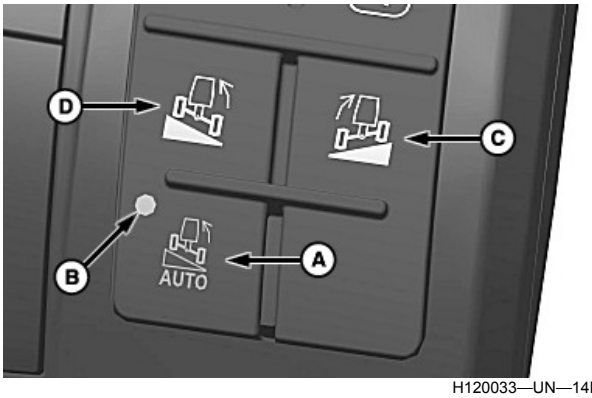
プライマリおよびセカンダリシリンダのロッド端は互いに接続され、プライマリおよびセカンダリシリンダのピストン端は互いに接続されています。左レベリングシリンダが伸長・収縮すると、左ファイナルドライブキャリアプレートが上下に旋回して、ヘッダー傾斜プライマリシリンダを伸長または収縮させます。プライマリシリンダの動きにより、セカンダリシリンダが伸長および収縮します。

ファイナルドライブキャリアプレートが動いているときにプライマリシリンダが伸長すると、オイルがプライマリシリンダのロッド端からセカンダリシリンダのロッド端に流れます。これにより、セカンダリシリンダが収縮します。セカンダリシリンダのベース端からのオイルがプライマリシリンダのベース端に流れて、プライマリシリンダの伸長によって生じた追加の容積を満たします。

ファイナルドライブキャリアプレートの動きによってプライマリシリンダが収縮すると、反対のことが発生します。

OUO6075,00044CC-40-10JAN17

HillMaster™ の日常操作の準備



H120033—UN—14NOV16

HillMaster™ のスイッチ

A：**自動レベル制御スイッチ**
B：**表示灯**
C：**手動右傾斜スイッチ**
D：**手動左傾斜スイッチ**

注意： **以下のすべての作動点検を正常に完了しない限り、HillMaster™ 装備の機械を操作しないでください。以下の 1 つ以上の点検に合格しなかった場合 (セパレータが傾斜しない、または完全に傾斜するまでにかかる時間が長すぎるなど)、John Deere 販売店に連絡してください。**

HillMaster™ 装備の機械を操作する前に、以下の 3 つの作動点検を実施する必要があります (毎日)。

システム要件：

- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。
- 「自動水平調整制御」スイッチ (A) を押して、自動水平調整システムを起動します。
- 表示灯 (B) が点灯し、設定が自動モードであることが示されます。

点検 1：手動右傾斜スイッチ (C) を約 20 秒間押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。

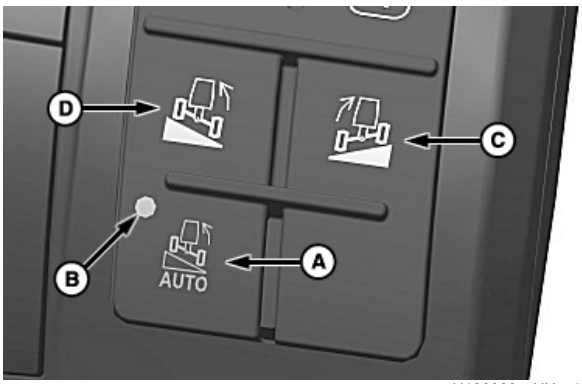
点検 2：手動左傾斜スイッチ (D) を約 20 秒間押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。

注記： 本機を左最大傾斜位置から右最大傾斜位置にするために必要な時間は約 5 ~ 7 秒です。

点検 3：本機が完全に左に傾斜するまで手動左傾斜スイッチを押し続けます。機械シャーシが右に完全に傾斜するまで、「手動右傾斜」スイッチを押し続けます。

OUO6075,00044CD-40-25JAN17

HillMaster™ レベル制御スイッチ



H120033—UN—14NOV16

HillMaster™ のスイッチ

A：**自動レベル制御スイッチ**
B：**表示灯**
C：**手動右傾斜スイッチ**
D：**手動左傾斜スイッチ**

自動レベリング

自動レベル制御スイッチ (A) を使用すると、本機が起伏地を動くときに機械セパレータを自動的に水平にすることができます。

システム要件：

- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

1. 自動レベル制御スイッチを押して、自動レベリングシステムを起動します。
2. 表示灯 (B) が点灯し、設定が自動モードであることが示されます。
3. 機械シャーシボディの位置がディスプレイに図示されます。

本機が圃場を動くときは、ピッチセンサーを使って本機の勾配を検出します。

注記： 自動レベル制御システムを起動させた状態でも、手動傾斜スイッチを使用して自動機能よりも優先させることができます (本機を手動で左右に傾斜させることができます)。

HillMaster は Deere & Company の商標です。

手動レベリング

機械が起伏地を動くときに、手動傾斜スイッチを使用して機械シャーシを手動で左右に傾斜させることができます。

システム要件：

- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

注記： 押しボタンシフトトランスミッション装備の機械：手動右傾斜スイッチ (C) または手動左傾斜スイッチ (D) を使用して、HillMaster™ モードを有効にします。駐車ブレーキスイッチを押して、駐車ブレーキを解除します。

手動右傾斜スイッチ (C) を押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。

手動左傾斜スイッチ (D) を押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。

注記： 目的の手動傾斜スイッチを放すと、自動モードに引き継がれ、機械シャーシが自動的に水平になります。

機械シャーシボディの位置がディスプレイに図示されます。

本機が圃場を動くときは、ピッチセンサーを使って本機の勾配を検出します。

注記： 自動レベル制御システムを起動させた状態でも、手動傾斜スイッチを使用して自動機能よりも優先させることができます (本機を手動で左右に傾斜させることができます)。

道路輸送位置

注意： **道路輸送中の制御不能、死傷事故を防止してください。絶対に HillMaster™ を自動モードにして車道で機械を輸送しないでください。車道を輸送中は、絶対に機械の手動傾斜を行わないでください。**

以下の条件では、HillMaster™ 水平調整システムがロックアウトされ、道路輸送中に水平調整システムによる変更は行われません。

システム要件：

- エンジン運転中
- 道路輸送切断スイッチが圃場位置にある。

1. 機械を平坦な場所に動かします。
2. 自動レベル制御スイッチを **5 秒**、または表示灯 (B) が点滅するまで押します。
3. 手動右傾斜スイッチ (C) を押し続けて、機械シャーシを右に傾けます。
4. 手動左傾斜スイッチ (D) を押し続けて、機械シャーシを左に傾けます。

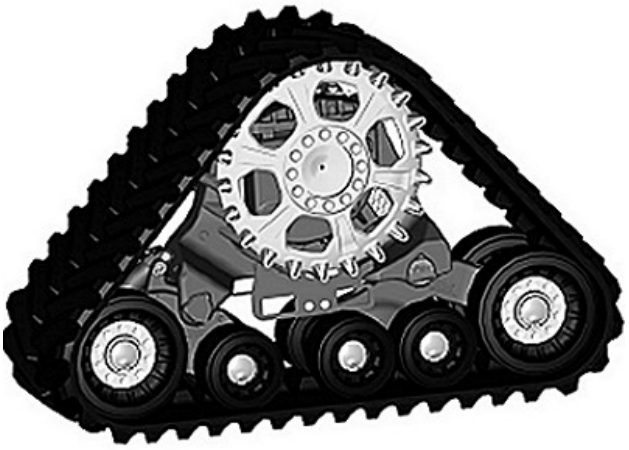
以上で本機はニュートラル位置であり、車道で運転できます。

OUO6075,0004941-40-12APR18

HillMaster は Deere & Company の商標です。

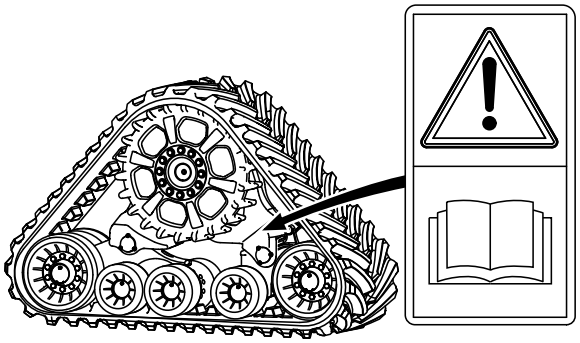
John Deere 軌道 (装備されている場合)

機械の写真



H122227—UN—10AUG17
OUO6041,0000C1B-40-25AUG17

取扱説明書

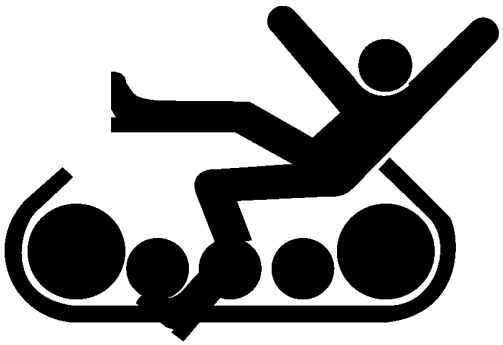


H122407—UN—03OCT17

この取扱説明書には機械を安全に運転する上で必要なすべての情報が記載されています。すべての安全規則に慎重に従って事故を防いでください。

OUO6041,0000CE6-40-13NOV17

安全な軌道操作の手順



H48148—UN—12DEC96

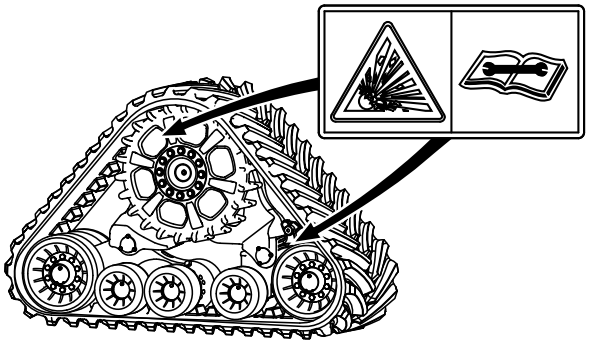
本機が動いているときは、軌道の近くに立たないでください。

軌道駆動機械の安全な操作手順は、ホイール駆動の機械と変わりません。

本機を操作する前に、必ずコンバイン取扱説明書を参照して「安全」セクションを確認してください。コンバイン取扱説明書には、オペレータと他の人を死亡事故やけがから保護するために従う必要がある安全操作手順が詳細に記述されています。

OUO6075,00014B9-40-03DEC13

アキュムレータ

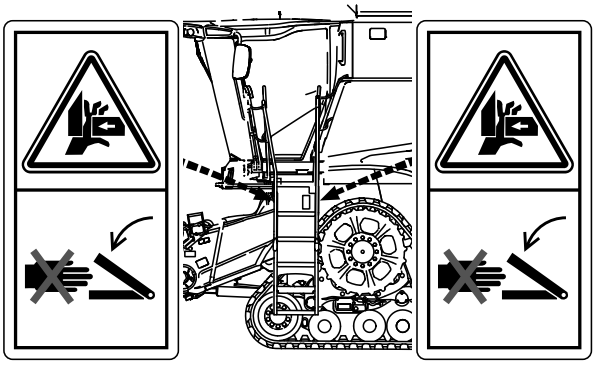


H122408—UN—03OCT17

本機の動きや圧力下にある液体にさらされることによるけがを防止するため、油圧系統の整備前に圧力を解放する方法について販売店にお問い合わせください。

OUO6041,0000CE5-40-13NOV17

キャブ / プラットフォームアクセスタラップ

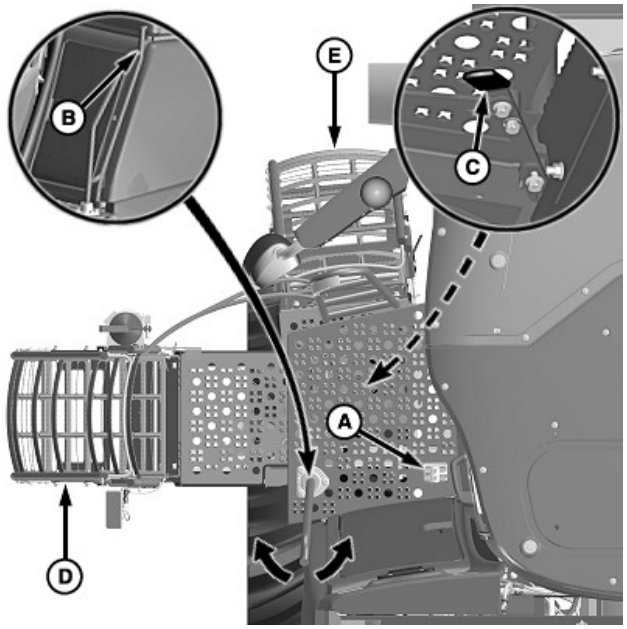


H125749—UN—19MAR19

押しつぶされてけがをしないように、この部分に手と指を近づけないでください。

OUO6075,0004ABE-40-01MAR19

キャブタラップの位置 (幅 60.9 cm (24 in) の軌道)



H124949—UN—31AUG18

A：ペダル
B：ハンドル
C：ハンドル
D：位置 (圃場)
E：位置 (道路走行)

注意： **死傷事故を防止してください。本機が動いているときに前部タラップや後部タラップに乗ったり、昇ろうとしたりしないでください。**

ペダル (A) を踏むと同時にハンドル (B) を回して、タラップの踊り場からタラップを配置することができます。ハンドルをいずれかの方向に回して、タラップアセンブリを旋回させます。

ハンドル (C) を使って、地面からタラップを配置できます。

タラップラッチが緩んでいる場合は、ラッチピンの周辺を清掃してください。グリースやオイルをこの部分に使用しないでください。

タラップを前後に旋回させて次の異なる位置にロックします：

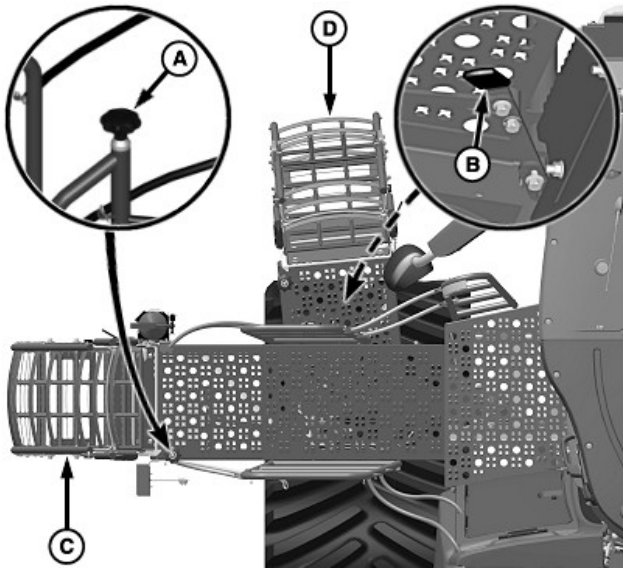
- **位置 (D)**：通常の圃場作業条件用です。
- **位置 (E)**：公道で機械を輸送するときの位置です。

注意： **キャブタラップの損傷を防止してください。必ずタラップを折りたたんだ位置 (上位置) に配置して、タラップを通常の圃場作業条件用の位置 (D) に旋回させます。**

事故を防止してください。本機を車道で輸送する前にタラップを折りたたんだ位置 (上位置) に配置して、タラップを位置 (E) に旋回させて機械幅を減らし、マーカー / ハザード警告灯を接近する自動車運転者に向けてください。

OUO6075,0004ABF-40-01MAR19

キャブタラップの位置 (幅 76.2 cm (30 in) および 91.4 cm (36 in) の軌道)



H124944—UN—30AUG18

A：ハンドル
B：レバー
C：位置 (圃場)
D：位置 (道路走行)

注意： **死傷事故を防止してください。本機が動いているときに前部タラップや後部タラップに乗ったり、昇ろうとしたりしないでください。**

タラップは、ハンドル (A) またはレバー (B) を使って、地面からまたはタラップの踊り場から配置することができます。

タラップラッチが緩んでいる場合は、ラッチピンの周辺を清掃してください。グリースやオイルをこの部分に使用しないでください。

タラップを前後に旋回させて異なる位置にロックします。

- **位置 (C)**：通常の圃場作業条件用です。
- **位置 (D)**：公道で機械を輸送するときの位置です。

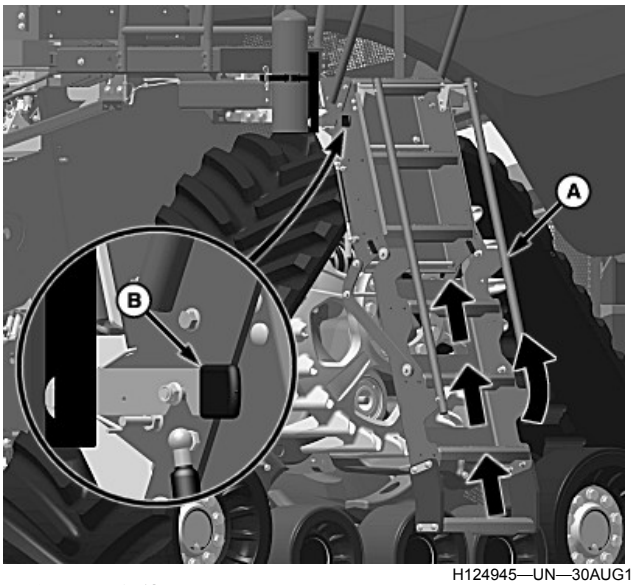
注意： **キャブタラップの損傷を防止してください。必ずタラップを折りたたんだ位置 (上位置) に配置して、タラップを通常の圃場作業条件用の位置 (D) に旋回させます。**

事故を防止してください。本機を車道で輸送する前にタラップを折りたたんだ位置 (上位置) に配置して、タラップを位置 (D) に旋回させて機械幅を減らし、マーカー / ハザード警告灯を接近する自動車運転者に向けてください。

OUO6075,0004AC0-40-07MAR19

キャブタラップの位置 (地面からの折りたたみ / 展開)

タラップの折りたたみ



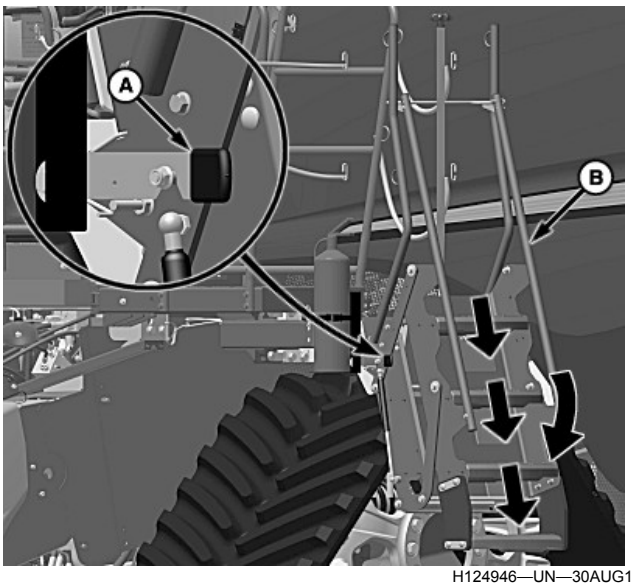
H124945—UN—30AUG18

A：手すり (2 個使用)
B：ロックレバー

注意： オペレータや他の人のけがを防止してください。タラップの折りたたみまたは展開中は、可動部品から手を遠ざけてください。必ず手すりを使用して、タラップを折りたたみまたは展開してください。

手すり (A) を押し上げて、ロックレバー (B) のラッチがかかるまでタラップを上位置に上昇させます。

タラップの展開



H124946—UN—30AUG18

A：ロックレバー
B：手すり (2 個使用)

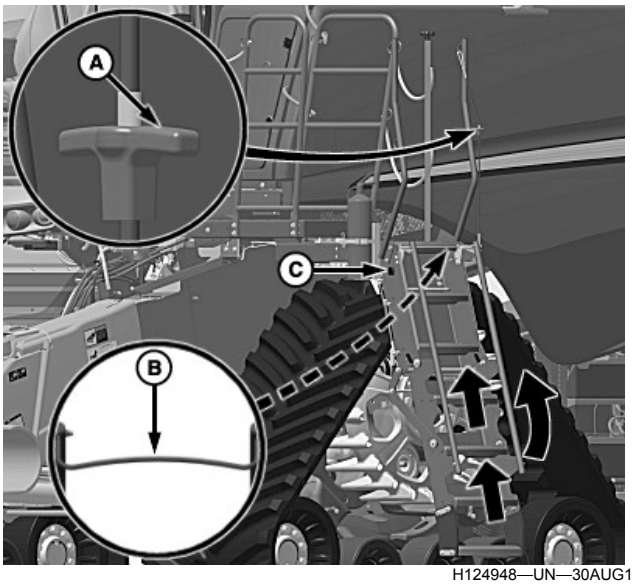
注意： オペレータや他の人のけがを防止してください。タラップの折りたたみまたは展開中は、可動部品から手を遠ざけてください。必ず手すりを使用して、タラップを折りたたみまたは展開してください。

ロックレバー (A) を押し上げて手すり (B) を押し下げ、タラップを下位置に下ろします。

OUO6075,0004A23-40-06SEP18

キャブタラップの位置 (キャブ踊り場からの折りたたみ / 展開)

タラップの折りたたみ



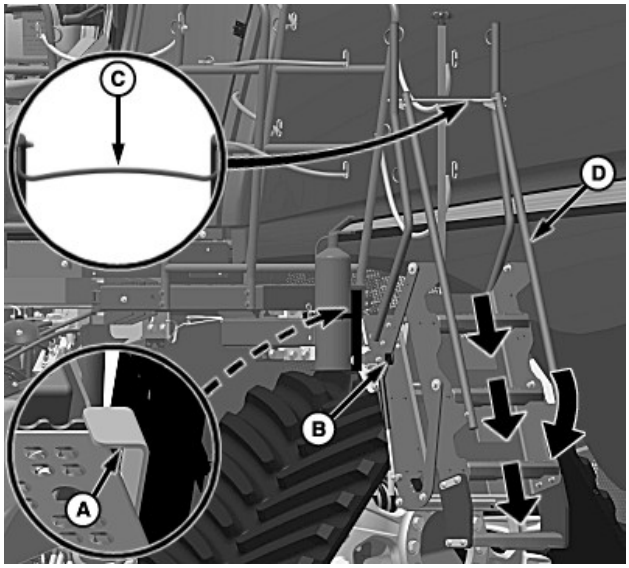
H124948—UN—30AUG18

A：ハンドル
B：クロスバー
C：ロックレバー

注意： **オペレータや他の人のけがを防止してください。タラップの折りたたみまたは展開中は、可動部品から手を遠ざけてください。必ず手すりを使用して、タラップを折りたたみまたは展開してください。**

1. クロスバー (B) に手が届くまで、ハンドル (A) を引き上げます。
2. ロックレバー (C) のラッチがかかり、タラップが上位置に固定されるまで、クロスバーを引き上げ続けてラダーを上げます。

タラップの展開



H124947—UN—30AUG18

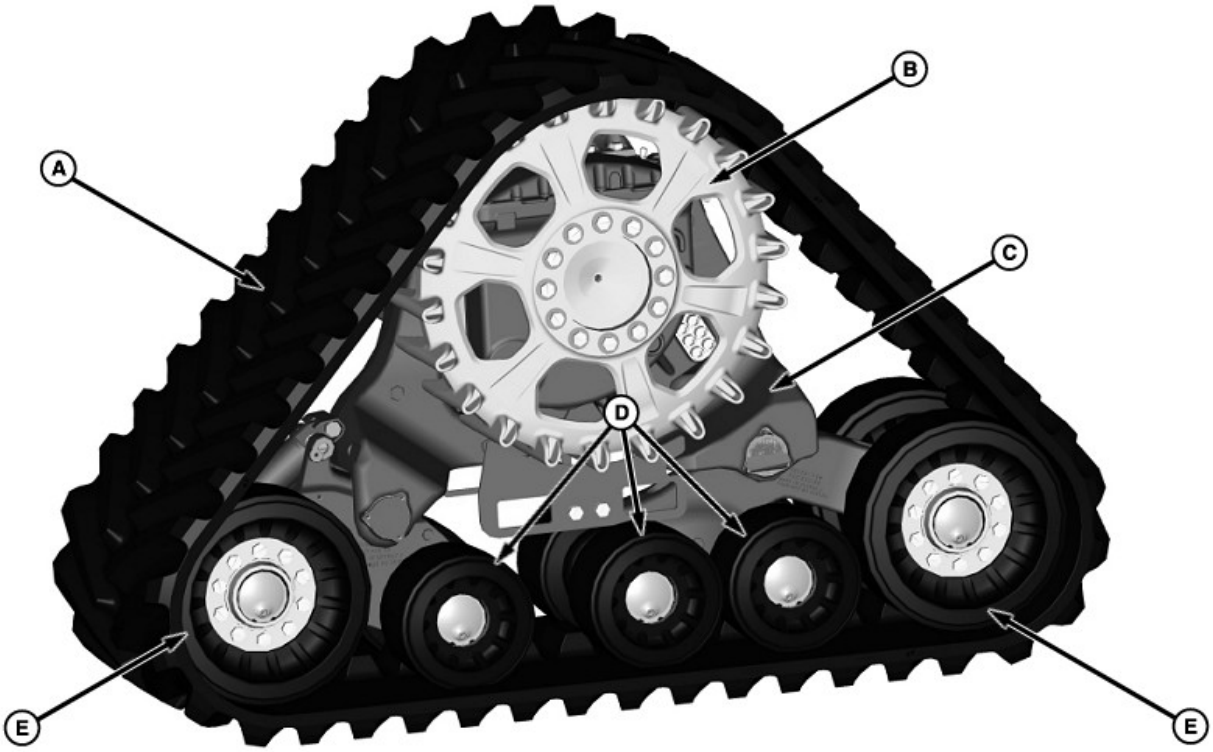
A：ペダル
B：ロックレバー
C：クロスバー
D：タラップ

注意： **オペレータや他の人のけがを防止してください。タラップの折りたたみまたは展開中は、可動部品から手を遠ざけてください。必ず手すりを使用して、タラップを折りたたみまたは展開してください。**

1. ペダル (A) を踏み込んで、ロックレバー (B) のラッチを解除します。
2. クロスバー (C) に足が届くまで、クロスバーを押し下げます。
3. クロスバーを踏み込み続けて、タラップ (D) をいっぱいまで下ろします。

OUO6075,0004A24-40-06SEP18

軌道構成部品

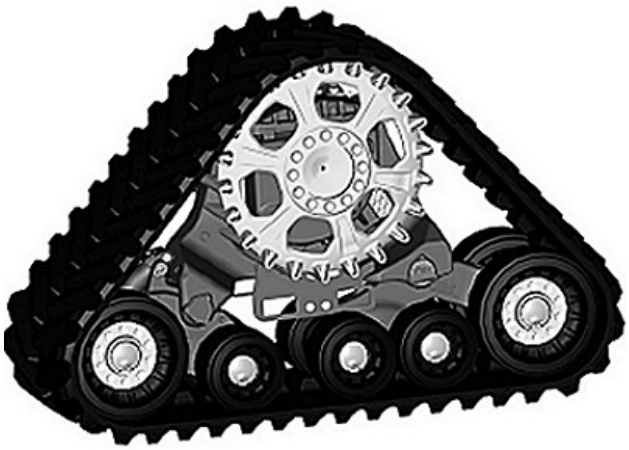


H122226—UN—10AUG17

A：**ゴム製軌道ベルト**
B：**駆動ホイール**
C：**メインフレーム**
D：**ボギーホイール**
E：**アイドラホイール**

OUO6041,0000C2E-40-10AUG17

トラックの機能と利点



H122227—UN—10AUG17

トラックの機能と利点：

- 圧縮：軽減
- 沈下抵抗力：悪条件下で増加
- 乗り心地：ゴム引きアイドラ / ボギーによる柔らかい乗り心地
- 低メンテナンス：グリースポイントなし
- 自動テンション：衝撃や破片の効率的な吸収
- 統合軌道：連続したゴム軌道により表面損傷が最小化
- 確動機構 – 転がり抵抗の低いゴム製ベルト上にトルクが徐々に分散
- 速度 – タイヤと同じ速度

軌道は、フロントアクスルの左側と右側に、通常の駆動ホイールの代わりに取り付けます。

重量による力は、メインフレームからアイドラホイール、ボギーホイールに伝わります。

アイドラホイールとボギーホイール、サスペンションシステムにより、不均一な地面地形を補います。これにより、軌道全体に均一な接地圧力がかかります。

OUO6041,0000C2F-40-11JAN18

軌道機械の操作

重要： **輸送規制は異なります。輸送に関する規則は場所によって変わるため、お近くの運輸関係当局に現地の輸送に関する要件について確認してください。**

高速道路走行はトレッド摩耗率を上げて過度の熱を生成するため、駆動ラグの寿命を縮める可能性があります。詳しくは、このセクションで後述の「道路輸送速度」を参照してください。慣らし運転期間が終了するまで、特に道路など、高速道路走行を回避する必要があります。新しい軌道で道路走行が必要な場合は、輸送速度を下げ、適切なベルトコンディショニングのためにドライ潤滑剤を駆動ラグに塗布してください。

注記： トラック装備の機械の運転は、タイヤ装備の機械の運転と同じです。したがって、コンバインの運転方法は、コンバインの取扱説明書に記載されています。

トラック装備の機械とホイール装備の機械の運転に違いはありません。すべてのコントロール類とシフト機能はホイール装備の機械と同じです。

舗装道路での機械の挙動は、ホイール装備の機械の挙動と同じです。未舗装の劣悪な道路上や圃場内では、この機械が不均一な地面を補うので、ホイール装備の機械と比較して反発力を受けにくくなります。

トラックに関連しない操作情報については、コンバインの取扱説明書を参照してください。

軌道寿命を最長にする

重要： **軌道と軌道システムの構成部品の損傷防止のため、軌道をあらかじめ調整してください。**

- **道路で初めて機械を運転する前に軌道をあらかじめ調整します。詳細については、「ベルトの手入れとコンディショニングの慣らし運転」を参照してください。**
- **特に使用開始 100 時間は、新しいトラックセットとホイールを使用して高速で走行することは避けてください。**

ごみがたまると摩擦が増大し、火災の原因になります。トラックと機械フレームの間のごみの溜まる箇所からごみを取り除いてください。

グリース、オイル、または他の石油系薬剤のある場所でトラック を操作しないでください。整備中にこれらの薬剤をトラックやホイールにこぼさないでください。

軌道のカーカスは、カーカスが完全な状態を維持している限り、トレッドの摩耗に耐えるように設計されています。スチール製カーカスから湿気を排除し、局所的なケーブルの過負荷が発生する状況を回避することが不可欠です。軌道機械の所有者は、これらのガイドラインに従って最大の軌道寿命を実現し、運転上の問題を回避するようにお勧めします。以下のガイドラインに従うことにより、運転時間あたりの費用が下がります:

- **道路走行を最小限に抑えます。過度の道路走行による軌道の摩耗は、圃場での摩耗量の 15 倍まで増加する可能性があります。**

  : 道路輸送中は、輸送重量を最小限に抑えます。

  : 特に、外気温度が高い条件中は最高走行速度を下げます。
- **正しい運転テクニックの使用**

  : 硬い路面での横滑りおよびトレッドバーのこすれを回避してトラックベルトの摩耗を減らします。

  : 旋回中に溝や遷移部と交差するときは注意してください。溝が斜めに交差すると、軌道が支えられなくなり、張力が一時的に失われ、旋回中に軌道から外れるリスクが高くなります。

  : 横方向の運転では 10°の傾斜、前後方向の運転では 22°の傾斜を超えないでください。
- **正しい軌道張力の維持**

  : 張力不足は、スリップのために軌道ベルトおよびベルトの内面の急速な摩耗の生じる原因になり、材料の堆積の原因になる可能性があります。

  : 過大な張力は、下部構造のベアリング、内部軌道ケーブル、および軌道フレームに余分な荷重と応力を加えます。
- **軌道から異物を除去する**

  軌道内側に入った鋭利または硬い物質は、軌道の破損の主な理由であり、その後の軌道カーカス内への湿気の侵入ポイントになります。

OUO6075,0004F5F-40-04NOV20

道路輸送速度

注記： ゴム製ベルト / ホイールの寿命を最長にするために許容される最大道路走行時間。

ヘッダーを取り付けていない状態 (全ベルト幅)

外気温		速度				
		25	30	35	40	km/h
°C	°F	15	18	21	25	mph
0	32	>5.0				時間
5	41					
10	50					
15	59					
20	68	>5.0			4.5	
25	77	>5.0	4.5		4.0	
30	86	4.0		3.5		
35	95	3.5		3.0		
40	104	3.0	2.5		2.0	

ヘッダーを取り付けた状態 (60.9 cm (24 in) トラック)

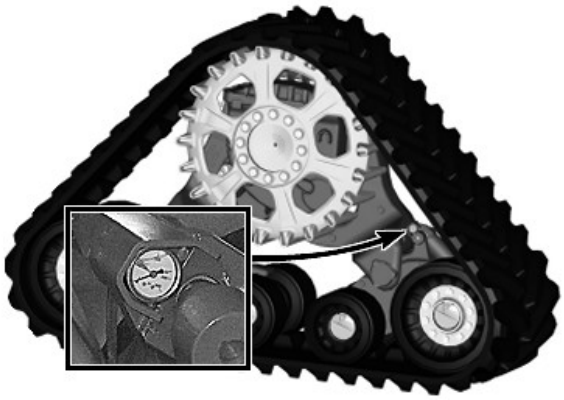
外気温		速度				
		25	30	35	40	km/h
°C	°F	15	18	21	25	mph
0	32	>5.0			1.5	時間
5	41					
10	50					
15	59	>5.0	4.5		1.0	
20	68	4.5	4.0			
25	77	4.0	3.5			
30	86	3.5	3.0			
35	95	3.0	2.5			
40	104	2.5	2.0	1.5		

ヘッダーを取り付けた状態 (76.2 cm (30 in) の軌道と 91.4 cm (36 in) の軌道)

外気温		速度				
		25	30	35	40	km/h
°C	°F	15	18	21	25	mph
0	32	>5.0			1.0	時間
5	41	>5.0		4.5		
10	50			1.0		
15	59	>5.0	4.5			
20	68	4.5	4.0		0.5	
25	77	4.0	3.5			
30	86	3.5	3.0			
35	95	3.0	2.5			
40	104	2.5	1.5			

OUO6075,0004872-40-14JUN18

トラックテンションシステム



H122229—UN—15AUG17

重要：**機械を使用する前にテンションシリンダ圧力を点検してください。**

窒素圧

油圧シリンダには内部窒素アキュムレータがあり、工場出荷時にあらかじめ充填されています。フルード損失の兆候なしに油圧が急激に低下しない限り、圧力を点検する必要はありません。詳しくは、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

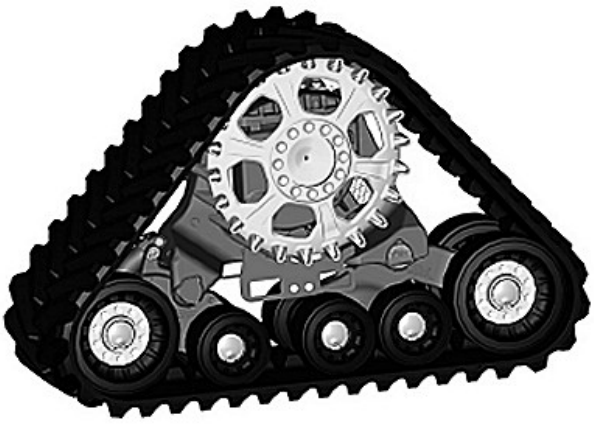
油圧

油圧計は、フロントアイドラホイール上の図に示す位置にあります。油圧計を使用すると、圧力が推奨作動範囲 (緑ゾーン) 内かどうかを迅速な目視点検によって確認できます。

圧力がこれらの範囲外にある場合は、圧力を調整する必要があります。圧力が低すぎる場合は、油圧系統内のどこかに漏れがあり、精密検査を行う必要があることを示します。詳しくは、John Deere 販売店にお問い合わせください。

OUO6041,0000C31-40-10MAY18

軌道の清掃



H122230—UN—15AUG17

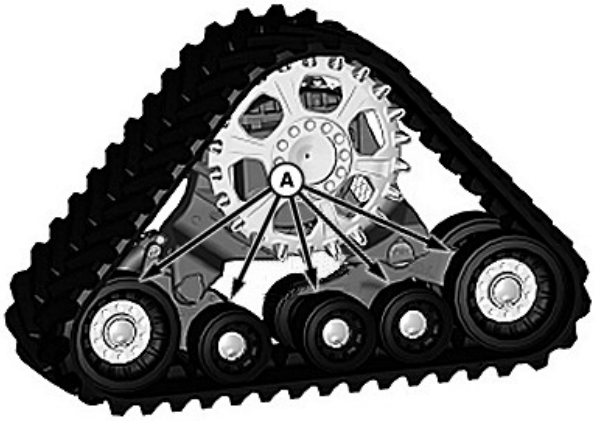
重要：**トラックは、湿潤条件やぬかるんだ条件で運転した後すぐに清掃する必要があります。**

駆動ホイールとメインフレームから常に泥やごみを取り除いてください。

メインフレームとホイール部分は、泥やごみの堆積を防止するために定期的に清掃する必要があります。堆積物によってゴム製軌道ベルト、ボギーホイール、アイドラホイールの早期摩耗が発生する可能性があります。

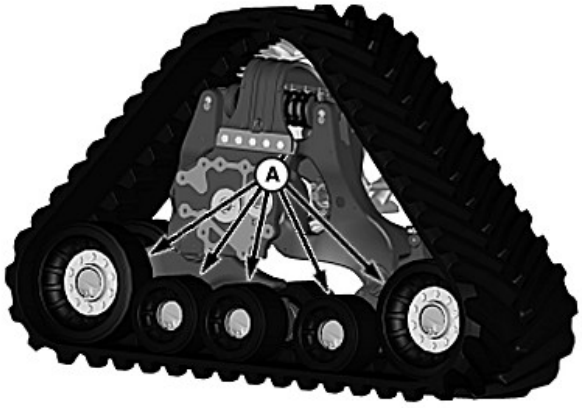
OUO6041,0000C32-40-15AUG17

軌道の清掃部分



H122231—UN—15AUG17

外側



H122232—UN—15AUG17

内側

A：**メインフレームとホイール部分**

メインフレームとホイール部分 (A) は、泥やごみが溜まらないように定期的に清掃する必要があります。堆積物によってゴム製軌道ベルト、ボギーホイール、アイドラホイールの早期摩耗が発生する可能性があります。

OUO6041,0000C33-40-16AUG17

整備間隔表

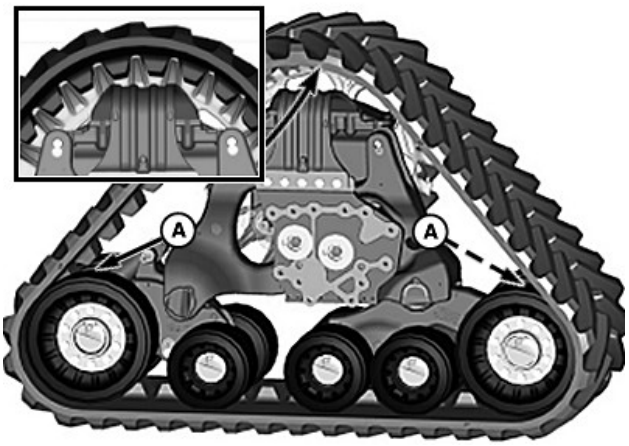
重要： 整備時期は平均的な条件でのものです。極端な条件で機械を使用している場合は、より頻繁に整備してください。

整備	使用開始 10 時間後	10 時間ごと	使用開始 100 時間後	400 時間ごと	1000 時間ごと
駆動ホイールからの泥やごみの除去		•			
メインフレームからの泥やごみの除去		•			
ボギーハブのオイルレベルの点検				•	
アイドラハブのオイルレベルの点検				•	
圧力設定の点検			•	•	
ベルト軌道の点検			•	•	
ボルトトルクの点検	•		•	•	
アイドラホイールとスプロケットのボルトトルクの点検	•		•	•	
ボギーハブのオイルの交換					•
アイドラハブのオイルの交換					•
ベルトの左右を入れ替え[a]					•

[a]*ベルト交換はトラクションラグが摩耗している場合のみ必要になります。*

OUO6075,0004A25-40-06SEP18

ベルトの手入れとコンディショニングのための慣らし運転



H122233—UN—16AUG17

A：**フロント / リア駆動ホイール部分**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

注記： 以下の慣らし運転手順は、モジュール式軌道システムに対して、新しい軌道システムの取り付け後または新しい軌道ベルトの取り付け後に実施します。本機を操作する前に、適切なベルトコンディショニングのために、ドライ潤滑剤をゴム製軌道ベルトの駆動ラグに塗布する必要があります。

フロント / リア駆動ホイール部分 (A) にドライ潤滑剤を 1 カップそそぎます。

本機を前進または後進させて、ドライ潤滑剤を駆動ラグの歯全体に撒きます。

ガイド / 駆動ラグの全面にドライ潤滑剤が広がったことを確認します。

新品またはきれいな軌道は、常にできる限り乾燥した粉末状の土壌条件にさらしてください。

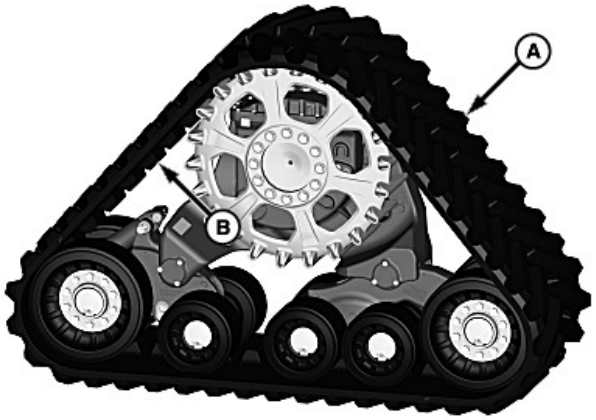
取り付け後、本機を約 10 時間運転します。

軌道テンションシステムの油圧を点検して、必要に応じて調整します。

軌道モジュールの金具のトルクを点検して、必要に応じて締め直します。

OUO6041,0000C34-40-11OCT17

軌道交換基準



H124521—UN—15JUN18

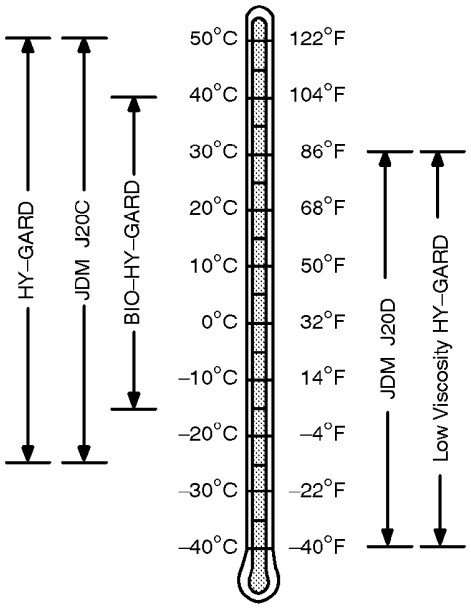
A：**トレッドバー**
B：**駆動ラグ**

損傷や性能低下を防止するため、次の基準のいずれかに達したときはトラックを交換する必要があります。

- トレッドバーの高さ (A) がトラクショントラックで 12 mm (0.5 in) 未満
- トレッドバーが 1 列内で 3 つ以上欠落している
- 駆動ラグ (B) が連続して 3 つ以上欠落している
- 駆動ラグの摩耗が 50% 以上
- 駆動ラグの摩耗または欠落により軌道逸脱が発生している
- メインケーブルがトラック幅の 1/3 以上で破損している
- メインケーブルがトラックの内側表面上に見えている
- 駆動ラグの摩耗や欠落によるスプロケットの飛び越しがある

OUO6041,0000D63-40-15JUN18

作動油



TS1660—UN—10OCT97

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

以下のオイルを推奨します：

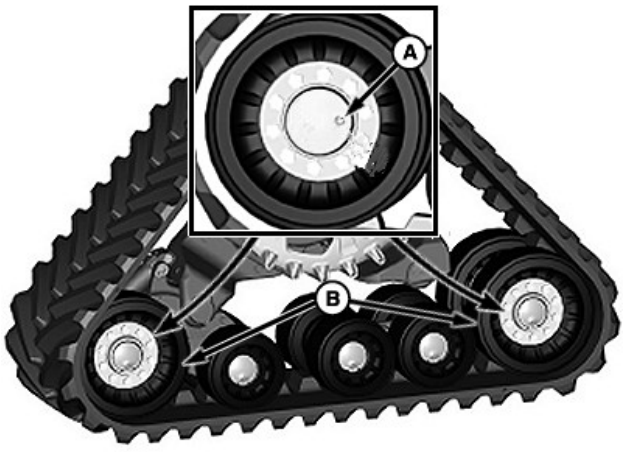
- John Deere Hy-Gard™
- John Deere Low Viscosity Hy-Gard™

以下のいずれかに適合する他のオイルも使用できます。

- John Deere Standard JDM J20C
- John Deere Standard JDM J20D

OUCC002,0005875-40-13JUN18

オイルの点検



H133714—UN—16MAR21

A：**ドレンプラグ**
B：**アイドラハブ (2 個使用)**

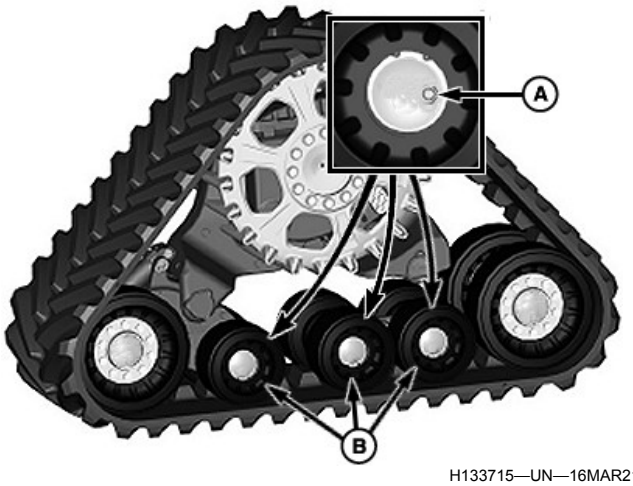
注意： やけどを防止してください。保護手袋を着用するか、部品が冷めるまで待機してください。通常、ボギーホイール、アイドラホイール、ゴム製軌道ベルトは高温で作動し、触れるには熱いことがあります。

注記： 外側および内側ハブ間でオイル溜めが共通のため、外側アイドラハブのみでオイルを点検してください。

取り外す前にドレンプラグ周辺を清掃してください。

きれいな容器にオイルを収集してください。

1. 1 つの外側アイドラハブ (B) のドレンプラグ (A) が 3 時または 9 時の位置になるまで、機械を前方または後方に運転します。
2. ドレンプラグを取り外して、オイルレベルが穴の開口部の底部にあることを確認します。必要に応じてオイルを追加します。
3. ドレンプラグを取り付けます。
4. 他のアイドラハブで手順を繰り返します。



H133715—UN—16MAR21

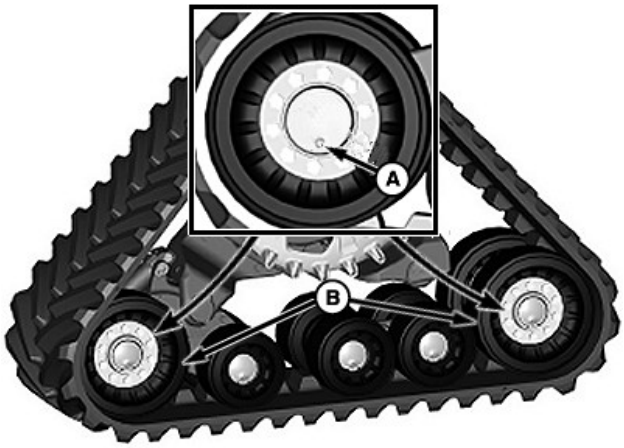
A：**ドレンプラグ**
B：**ボギーハブ (3 個使用)**

注記： 外側および内側ボギーハブ間でオイルパンが共通のため、外側ボギーハブのみでオイルを点検してください。

5. 1 つの外側ボギーハブ (B) のドレンプラグ (A) が 3 または 9 時の位置になるまで、機械を前方または後方に運転します。
6. ドレンプラグを取り外して、オイルレベルが穴の開口部の底部にあることを確認します。必要に応じてオイルを追加します。
7. ドレンプラグを取り付けます。
8. 他のボギーハブで手順を繰り返します。

OUO6075,000503E-40-14MAY21

オイル交換



H122234—UN—24OCT17

A：**ドレンプラグ**
B：**アイドラハブ (2 個使用)**

注意： やけどを防止してください。保護手袋を着用するか、部品が冷めるまで待機してください。通常、ボギーホイール、アイドラホイール、ゴム製軌道ベルトは高温で作動し、触れるには熱いことがあります。

注記： 外側および内側アイドラハブ間でオイル溜めが共通のため、外側アイドラハブのみでオイルを交換してください。

取り外す前にドレンプラグ周辺を清掃してください。

きれいな容器にオイルを収集してください。

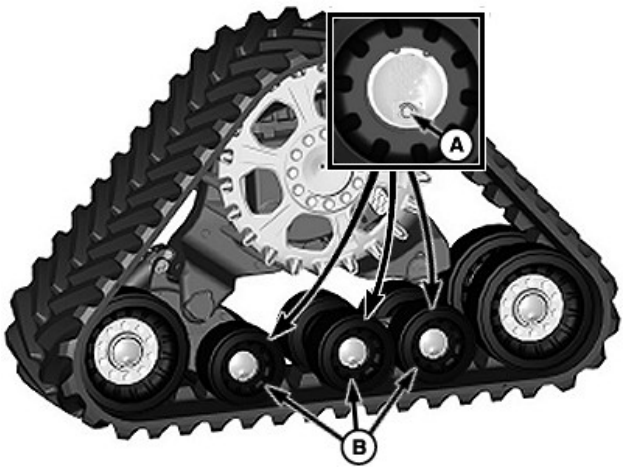
1. 1 つの外側アイドラハブ (B) のドレンプラグ (A) が一番下になるように、機械を前進または後進させます。
2. ドレンプラグを取り外してオイルを抜きます。
3. 同じドレンプラグが 3 時または 9 時の位置になるまで、機械を前方または後方に運転します。
4. 仕様量の Hy-Gard™ オイルを注入します。

仕様

アイドラハブ：容量	0.8 L (0.85 qt)

5. ドレンプラグを取り付けます。
6. 他のアイドラハブで手順を繰り返します。

Hy-Gard は Deere & Company の商標です。



H122253—UN—24OCT17

A：**ドレンプラグ**
B：**ボギーハブ (3 個使用)**

注記： 外側および内側ボギーハブ間でオイルパンが共通のため、外側ボギーハブのみでオイルを交換してください。

7. 1 つの外側ボギーハブ (B) のドレンプラグ (A) が一番下になるように、機械を前進または後進させます。
8. ドレンプラグを取り外してオイルを抜きます。
9. 同じドレンプラグが 3 時または 9 時の位置になるまで、機械を前方または後方に運転します。
10. 仕様量の Hy-Gard™ オイルを注入します。

仕様

ボギーハブ：容量. . . . . 0.8 L (0.85 qt)

11. ドレンプラグを取り付けます。
12. 他のボギーハブで手順を繰り返します。

OUO6075,000503F-40-14MAY21

Hy-Gard は Deere & Company の商標です。

仕様

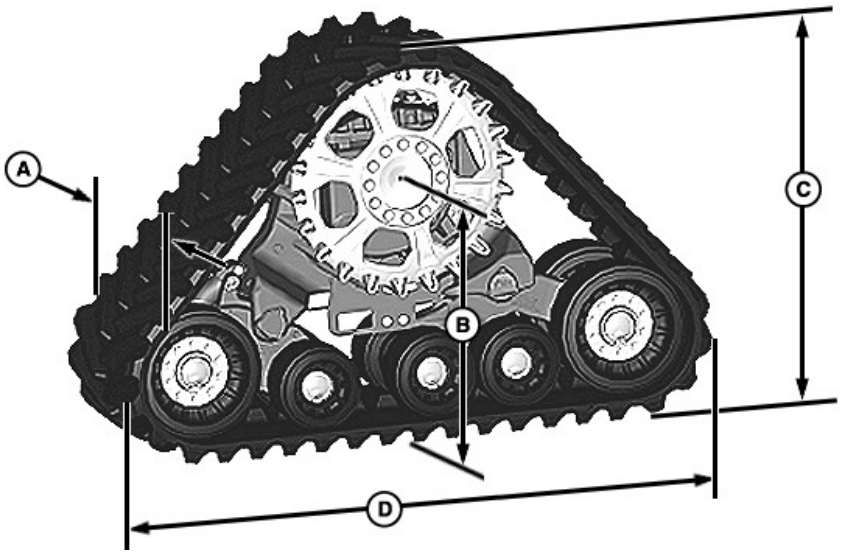
トラックの仕様		
耐荷重	22,650 kg (49,935 lb)	
重量	60.9 cm (24 in)	2710 kg (5975 lb)
	76.2 cm (30 in)	2840 kg (6262 lb)
	91.4 cm (36 in)	3000 kg (6615 lb)
外周	6032 mm (238 in)	

容量	
アイドラハブ	0.8 L (0.85 qt)
ボギーハブ	0.8 L (0.85 qt)
オイルの種類	Hy-Gard™ John Deere Standard JDM J20C に適合しているオイル

Hy-Gard は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0005040-40-14MAY21

軌道モジュール寸法



H122256—UN—19OCT17

凡例	寸法
A	60.9 cm (24 in) 76.2 cm (30 in) 91.4 cm (36 in)
B	1165 mm (46 in)
C	18 111 mm (71 in)
D	2767 mm (109 in)

OUO6041,0000CF8-40-05DEC17

コンバイン寸法

注記： 寸法は概算値であり、予告なしに変更する場合があります。

凡例	寸法
A	11.02 m (36 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 11.72 m (38 ft 5 in)、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 11.98 m (39 ft 4 in) 7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 12.46 m (40 ft 11 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
B	9.14 m (30 ft 0 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式オーガ装備時 9.93 m (32 ft 7 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式オーガ装備時
C	8.52 m (27 ft 11 in)
D	4.91 ~ 4.99 m (16 ft 1 in ~ 16 ft 5 in)、10 572 L (300 bu) のカバー装着時 3.92 ~ 3.99 m (12 ft 10 in ~ 13 ft 1 in)、14 096 L (400 bu) のカバー装着時
E	4.61 ~ 4.84 m (15 ft 2 in ~ 15 ft 11 in) クリーングレンローディングオーガ、10 572 L (300 bu) のエクステンション装着時 4.77 ~ 4.85 m (15 ft 8 in ~ 15 ft 11 in) クリーングレンローディングオーガ、14 096 L (400 bu) のエクステンション装着時
F	4.30 ~ 4.39 m (14 ft 1 in ~ 14 ft 5 in、10 572 L (300 bu) のエクステンション装備時 4.57 ~ 4.65 m (15 ft 0 in ~ 15 ft 3 in、14 096 L (400 bu) のエクステンション装備時
G	4.04 ~ 4.13 m (13 ft 3 in ~ 13 ft 7 in)
H	3.96 ~ 4.04 m (13 ft 0 in ~ 13 ft 3 in)
I	0.63 ~ 0.76 m (2 ft 1 in ~ 2 ft 6 in)
J	3.53 m (11 ft 7 in)
K	7.66 m (25 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 7.67 m (25 ft 2 in) 6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 8.97 m (29 ft 5 in)、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 8.72 m (28 ft 7 in) 7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 9.42 m (30 ft 11 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
L	5.23 ~ 5.33 m (17 ft 2 in ~ 17 ft 6 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 5.48 ~ 5.58 m (18 ft 0 in ~ 18 ft 4 in))、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 5.42 ~ 5.52 m (17 ft 9 in ~ 18 ft 1 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 5.59 ~ 5.69 m (18 ft 4 in ~ 18 ft 8 in))、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
M	4.51 ~ 4.62 m (14 ft 10 in ~ 15 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.61 ~ 4.71 m (15 ft 2 in ~ 15 ft 5 in))、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 4.32 ~ 4.65 m (14 ft 2 in ~ 15 ft 3 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.72 ~ 4.82 m (15 ft 6 in ~ 15 ft 10 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のアンローディングオーガ装備時
N [a]	4.58 ~ 4.69 m (15 ft 0 in ~ 15 ft 5 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.91 ~ 5.01 m (16 ft 1 in ~ 16 ft 5 in))、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 4.84 ~ 4.95 m (15 ft 11 in ~ 16 ft 3 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 5.02 ~ 5.12 m (16 ft 6 in~16 ft 10 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
O [b]	3.70 ~ 4.14 m (12 ft 1 in ~ 13 ft 6 in) リアタイヤ
P [c]	3.46 m (11 ft 4 in)、車軸エクステンションなし 60.9 cm (24 in) の軌道 3.59 m (11 ft 7 in)、65 mm (2-1/2 in) の車軸エクステンション装備時 60.9 cm (24 in) の軌道 3.75 m (12 ft 3 in)、65 mm (2-1/2 in) の車軸エクステンション装備時 76.2 cm (30 in) の軌道 4.40 m (14 ft 4 in)、394 mm (15-1/2 in) の車軸エクステンション装備時 76.2 cm (30 in) の軌道 4.54 m (14 ft 9 in)、394 mm (15-1/2 in) の車軸エクステンション装備時 91.4 cm (36 in) の軌道

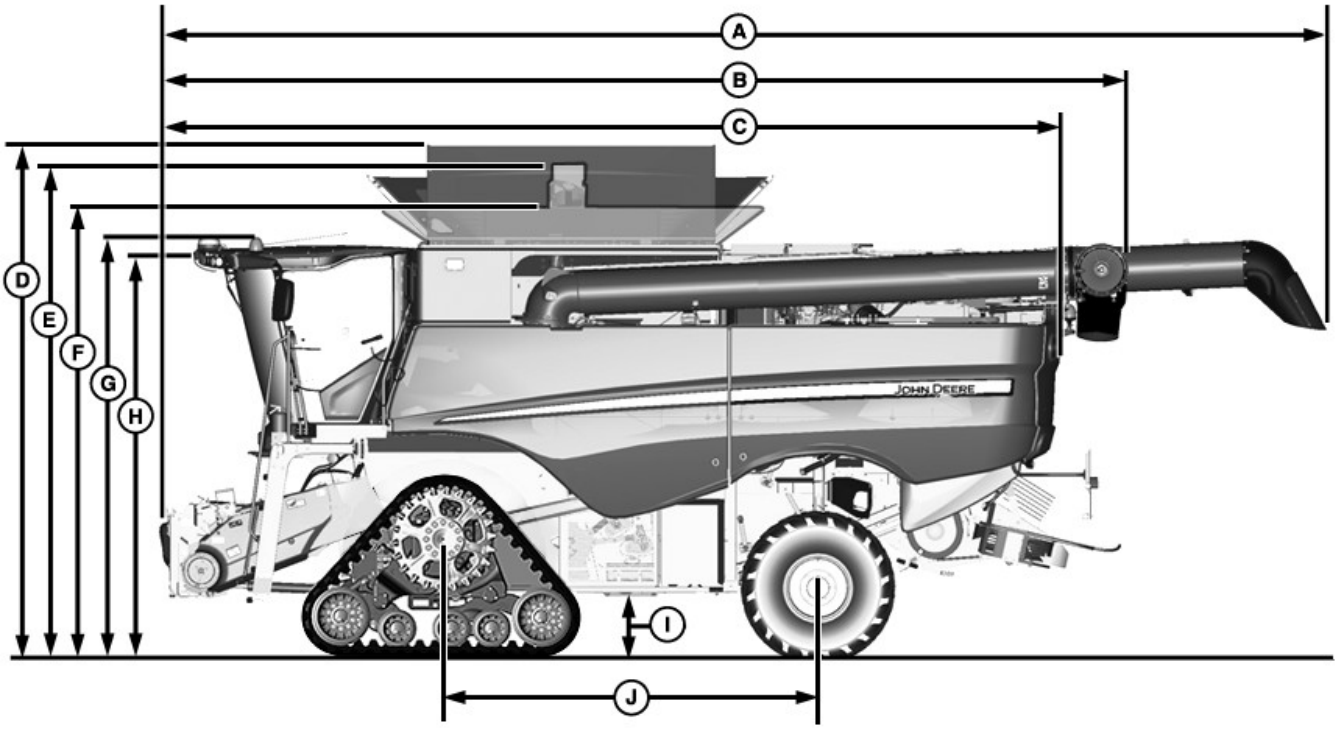
[a] *寸法 1.22 m (4 ft) はグレンスピルポイントからの測定値です。これはグレンカートの中心にあるときのアンローディングオーガを表しています。*

[b] *異なるタイヤ構成、条間隔、車軸構成、ホイールオフセット、車軸位置、およびスピンドルの種類により機械の幅が変わります。表の測定値は最小幅と最大幅です。詳細な幅情報については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。*

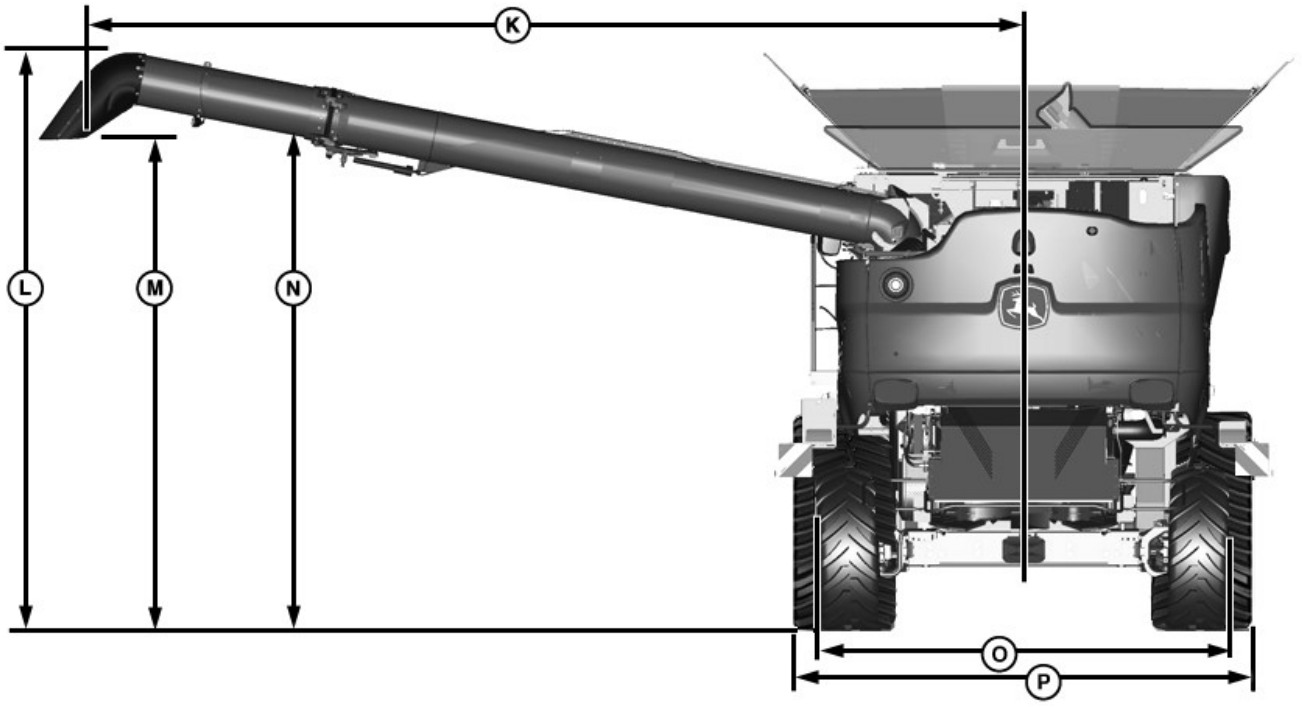
[c] *異なるタイヤ構成、条間隔、車軸構成、ホイールオフセット、車軸位置、およびスピンドルの種類により機械の幅が変わります。表の測定値は最小幅と最大幅です。詳細な幅情報については、John Deere 販売店にお問い合わせください。*

OUO6075,0004EBC-40-07JUL20

寸法基準点



H122741—UN—14NOV17



H122742—UN—14NOV17

OUO6041,0000CF5-40-13JUN18

半完成機械類の組込みに関する EC 適合宣言

半完成機械類の組込みに関する EC 適合宣言

指令 2006/42/EC、付属書 2、パート B

製造元：

Soucy International Inc.
5450 rue St-Roch

Drummondville (Quebec) J2B 6W3
CANADA

テクニカルコンタクト：

Ryan Black
46 Heralds Close
Wildnes
WA88AS
ENGLAND

宣言：

Soucy International Inc. はこれにより、農業トラックシステム GTS が半完成機械として機械指令 2006/42/EC の該当するすべての条項を満たしていることを証明します。システムは、組み込まれる機械が機械指令 2006/42/EC、付属書 2、パート A に準拠することを宣言される前に運転開始されることはありません。

署名日と場所：2020 年 7 月 1 日、Drummondville

Julie Tremblay

H122667—UN—26OCT17

Engineering Manager, Agricultural

OUO6075,0004EB3-40-06JUL20

半完成機械類の組込みに関する EC 適合宣言

UK DECLARATION OF INCORPORATION OF PARTLY COMPLETED MACHINERY

MACHINERY DIRECTIVE S.I. 2008/1597

Manufacturer:

Soucy International Inc.
5450 rue St-Roch
Drummondville (Quebec) J2B 6W3
CANADA

Technical Contact:

Ryan Black
46 Heralds Close
Widnes, WA88AS
ENGLAND

Declaration:

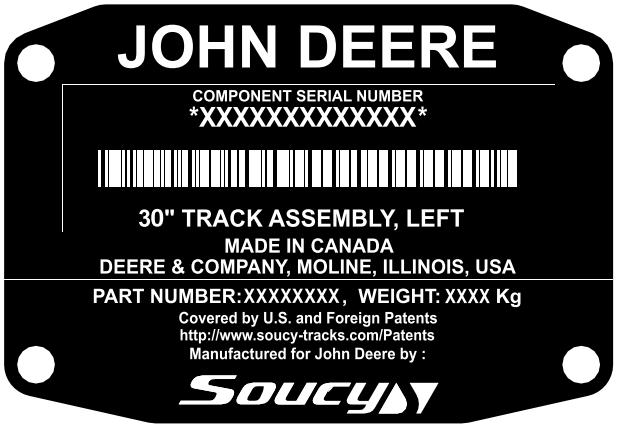
Soucy International Inc. hereby certifies that its agricultural track system GTS fulfill all the relevant provisions of the Machinery Directive S.I. 2008/1597 as a partly completed machinery. The system may not be put into service before machinery in which it will be incorporated is declared to comply to the machinery directive S.I. 2008/1597.

Signed at Drummondville, May 27th, 2021

Pierre-Yves Pépin
Engineering manager, Agricultural

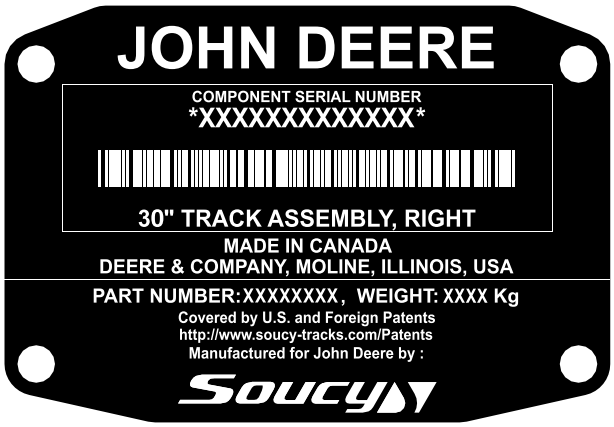
H134553—UN—27MAY21
OUO6075,0005151-40-27MAY21

軌道識別プレート



H122614—UN—14NOV17

サンプル識別プレート *(*左トラック*)*



H122615—UN—14NOV17

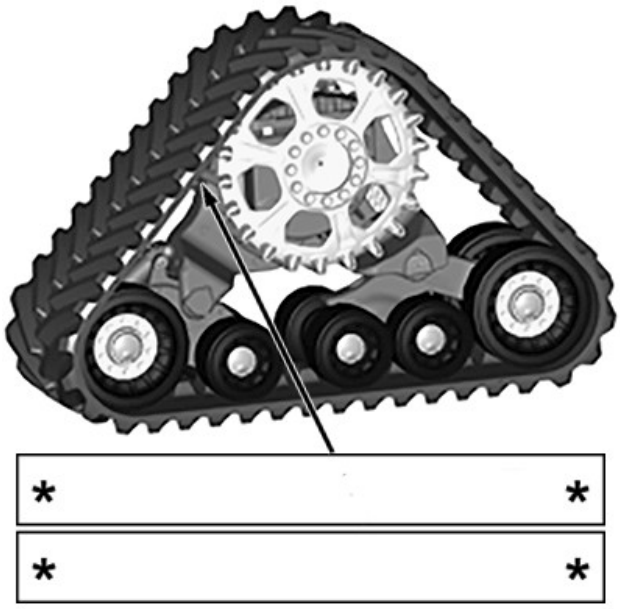
サンプル識別プレート *(*右トラック*)*

注記： 図は 76.2 cm (30 in) トラックのシリアル番号プレートです。

60.9 cm (24 in) および 91.4 cm (36 in) トラックのシリアル番号プレートも同様です。

OUO6041,0000CFA-40-05DEC17

識別プレートの位置



H122290—UN—06SEP17

各軌道モジュールの内側にあります。

OUO6041,0000C3C-40-25AUG17

火災防止

火災防止のための推奨事項

機械は収穫作業日を通して定期的に点検する必要があります。溜まっている作物材料やその他ごみを取り除いて機械の適切な機能を確保し、火災の危険を減らしてください。

オペレータマニュアルに記載されている他の日常メンテナンスに加えて定期的に機械全体の清掃を行うことにより、コストがかかるダウンタイムと火災の発生リスクを大幅に減少させ、機械の性能を向上させることができます。

機械および取扱説明書に掲載されているすべての安全手順に必ず従ってください。点検や清掃を行う前に、必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

この機械は、汎用粉末消火器と加圧式液体消火器を装備しています。キャブに出入りするときや機械の周囲で作業するときは、消火器を毎日点検し、使用可能な状態であることを確認してください。使用後、消火器は交換するか専門業者に整備を依頼する必要があります。

詳細については、「機械の清掃」セクションを参照してください。

OUO6075,00042AA-40-15JUN16

消火器の操作

本機は、汎用粉末消火器と加圧式液体消火器を装備しています。キャブに出入りするときや機械の周囲で作業するときは、消火器を毎日点検し、使用可能な状態であることを確認してください。使用後、消火器は交換するか専門業者に整備を依頼する必要があります。

消火器に関する推奨事項

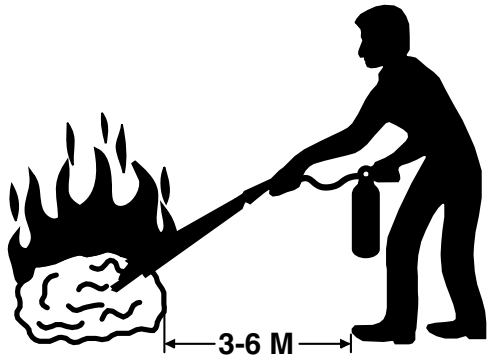
重要：**消火器のラベルを読み、使用の手順と制限について理解してください。**

汎用粉末消火器：

- グリース、油、電気、化学薬品の火災に使用してください。

加圧式液体消火器：

- 消火器は、堆積した作物材料や作物屑の火災に使用してください。



H132365—UN—12NOV20

消火器の使用

図は消火の推奨方法を示しています。ノズルは常に必ず火元に向けてください。

消火器の基本的な使用手順を以下に示します：

1. ブラケットから消火器を外し、火災場所まで運びます。
2. 自分の背中に風を受けるようにしながら、火災場所に近づきます。
3. 消火器の上部から安全ピンを引きます。
4. ハンドルで消火器を直立させ、ホースを炎の **根元** に向けます。
5. ハンドルを握って消火剤を噴射します。
6. ノズルを前後に動かし、粉末で炎を包みます。

点検チェックリスト

少なくとも月に 1 回消火器を点検し、以下の点を確認してください：

1. 消火器はキャビンタラップの踊り場および機械後部の指定の位置にありますか?
2. 消火器の取り出しまたは視認の障害になっている物はありませんか？
3. 銘板の操作指示は読みやすく、外側に向けられていますか？
4. 安全シールが破損または紛失していませんか？
5. 消火器の中身が満たされているか？(重量測定や「持ち上げる」ことにより判定)
6. 物理的な損傷、腐食、漏れ、またはノズルの詰まりはありませんか？
7. 消火器ブラケットのストラップは良好な状態ですか?
8. 消火器ブラケットのストラップは消火器にしっかりと固定されていますか?

消火器の点検で不備が見つかった場合は、消火器を整備するか交換する必要があります。

OUO6075,0004F79-40-12NOV20

液体消火器への充填 (欧州、オーストラリア、ニュージーランド) (必要な場合)

H117901—UN—28MAR16

注記： 液体消火器は、未充填で出荷されている場合があります。機械の納品前に、液体消火器に充填する必要があります。

この消火器を凍結から保護するために不凍液充填剤を使用するときは、完全な排出とメンテナンスが必要です。

図に示している消火器は、国の要件および消火器メーカーに応じて異なる場合があります。

⚠ 注意： 再充填する前に、消火器が完全に減圧されていることを確認してください。

1. 適切に注入および充填するには、消火器に付属の情報を参照してください。
2. 消火器を本機に取り付けます。

OUO6075,0004A04-40-28JUN18

燃料の安全な取り扱い：火災防止

TS202—UN—23AUG88

燃料は慎重に取り扱ってください。 高い引火性があります。 喫煙しながら、または直火や火花がある状況で給油しないでください。

必ずエンジンを停止してから給油してください。 燃料タンクは屋外で補充してください。

廃棄物、油脂類、堆積物が機械にたまらないように清掃し、火災を防止してください。 こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

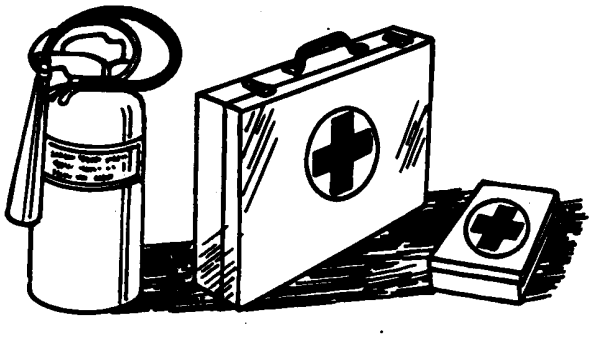
引火性液体の持ち運びには認可された燃料容器だけを使用してください。

プラスチック製ベッドライナーを敷いたピックアップトラックで、絶対に燃料容器を充填しないでください。 補充の前に必ず燃料容器を地面に置いてください。 缶の蓋を外す前に燃料容器を燃料ディスペンサーのノズルで触ります。 補充時は、燃料ディスペンサーのノズルが常に燃料容器に触れているようにします。

直火、火花、または給湯器その他の電気器具内などの点火用ライトがあるところに燃料容器を保管しないでください。

DX,FIRE1-40-12OCT11

緊急事態に対する準備



TS291—UN—15APR13

火災に備えてください。

救急箱と消火器を手近に置いてください。

医師、救急車サービス、病院、消防署の緊急番号を電話の近くに備えてください。

DX,FIRE2-40-03MAR93

エンジン始動液の安全な取り扱い

TS1356—UN—18MAR92

エンジン始動液は高い引火性があります。

使用する場合は、すべての火気を遠ざけてください。エンジン始動液はバッテリとケーブルから離してください。

加圧された缶の保管時には、中身が誤って放出されないよう、蓋をして涼しい安全な場所に保管してください。

エンジン始動液の容器を焼却したり、穴を開けたりしないでください。

グロープラグまたは吸気ヒーター装備のエンジンでは始動液を使用しないでください。

DX,FIRE3-40-14MAR14

溜まっている作物屑の除去

TS227—UN—15APR13

エンジンルーム、エンジン、可動部品の近くに堆積しているもみ殻や作物屑は火災の危険があります。これらの部分を頻繁に点検し、清掃してください。点検や整備を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけて、キーを抜いてください。

HX,9010SA,B-40-23AUG97

消火器 (欧州)

H92841—UN—16SEP08

汎用粉末消火器 / 液体消火器

注意： 消火器は、現地政府の法律や規則に適合する必要があります。

- **6 kg (13 lb) 以上の汎用粉末消火器**
- **最小容積が 8 L (2.1 gal) の加圧式液体消火器 (装備されている場合)**

注記： 図に示している消火器は、国の要件および消火器メーカーに応じて異なる場合があります。

取り付けブラケット付きの汎用粉末消火器と加圧式液体消火器を機械に取り付ける必要があります。

消火器のラベルを読み、使用説明書を理解して機械に維持してください。一度放出した消火器は、使用時間に関係なく再充填するか、交換する必要があります。

重要： 加圧式水消火器は、不凍液で保護していない限り凍結温度にさらさないでください。詳しくは、消火器に貼付されている説明銘板を参照してください。

OUO6075,00042F6-40-20JUN16

消火器 (オーストラリアとニュージーランド)

H117754—UN—17MAR16

汎用粉末消火器 / 液体消火器

注意： 消火器は、現地政府の法律や規則に適合する必要があります。

- **4 kg (10 lb) 以上の汎用粉末消火器**
- **最小容量が 8 L (2.1 gal) の加圧式液体消火器**

注記： 図に示している消火器は、国の要件および消火器メーカーに応じて異なる場合があります。

取り付けブラケット付きの汎用粉末消火器と加圧式液体消火器を機械に取り付ける必要があります。

消火器のラベルを読み、使用説明書を理解して機械に維持してください。一度放出した消火器は、使用時間に関係なく再充填するか、交換する必要があります。

重要： 加圧式水消火器は、不凍液で保護していない限り凍結温度にさらさないでください。詳しくは、消火器に貼付されている説明銘板を参照してください。

OUO6075,00042F7-40-20JUN16

消火器 (ユーラシア経済連合)

H117754—UN—17MAR16

汎用粉末消火器 / 液体泡組み合わせ消火器

注意： 消火器は、現地政府の法律や規則に適合する必要があります。

- **6 kg (13 lb) 以上の汎用粉末消火器**
- **最小容量が 8 L (2.1 gal) の加圧式液体泡組み合せ消火器**

注記： 図に示している消火器は、国の要件および消火器メーカーに応じて異なる場合があります。

取り付けブラケット付きの汎用粉末消火器と加圧式液体泡組み合わせ消火器を本機に取り付ける必要があります。

消火器のラベルを読み、使用説明書を理解して本機に維持してください。一度放出した消火器は、使用時間に関係なく再充填するか、交換する必要があります。

重要： 加圧式水泡組み合わせ消火器は凍結温度にさらさないでください。詳しくは、消火器に貼付されている説明銘板を参照してください。

OUO6075,00049FE-40-28JUN18

消火器の位置

H123653—UN—02MAR18

前部の消火器の位置

H123654—UN—02MAR18

後部の消火器の位置

注記： 図に示している消火器は、国の要件および消火器メーカーに応じて異なる場合があります。

汎用粉末消火器は、フロントタラッププラットフォームにあります。

加圧式液体消火器は、右リアエンジンアクセスドアの内側にあります (装備されている場合)。

OUO6075,0004911-40-02MAR18

火災が発生した場合

TS227—UN—15APR13

注意： けがをしないようにしてください。

火災の兆候が認められた場合はすぐに作業機を止めてください。 火災は煙の臭いや炎により発見することができます。 火災は急速に拡大するため、すぐに作業機を降りて火元から離れてください。 絶対に作業機には戻らないでください。 安全を最優先してください。

消防署に通報してください。 携帯型の消火器でも小さな火災を消火したり消防車が到着するまで抑えることができますが、それにも限界があります。 必ずオペレータと同伴者の安全を最優先してください。 消火を試みる場合は、風を背にして避難路を確保し、消火に失敗した時にすぐに離れられるようにしてください。

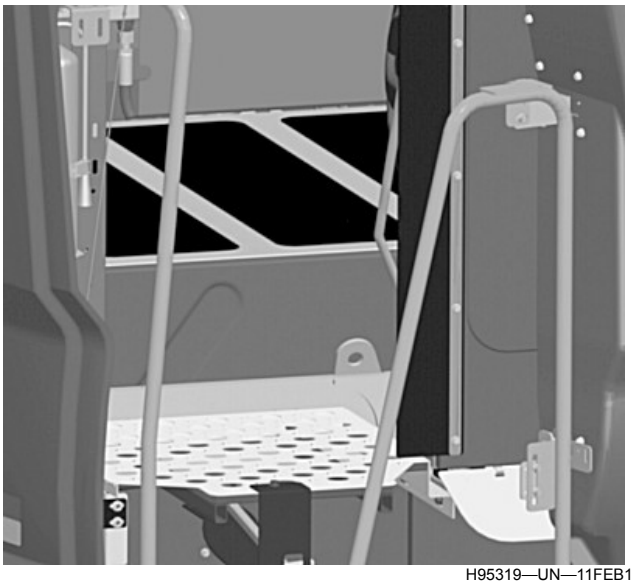
消火器の説明書を読み、火災が発生する前にその位置、部品、および操作を理解しておいてください。 現地の消防署または防火装置の販売店から消火器の講習や推薦を受けることができます。

お使いの消火器に説明書がない場合は、以下のガイドラインに従ってください。

1. ピンを引きます。 ノズルを自分から離して消火器を保持し、ロック機構を解除します。
2. 低い場所を狙います。 消火器は火の根元に向けてください。
3. レバーをゆっくり均等に握ります。
4. 横から横へノズルを動かします。

DX,FIRE4-40-22AUG13

エンジンルームの清掃



H95319—UN—11FEB10

注意： エンジンを運転した状態でエンジンやエンジンルームの清掃を行わないでください。エンジンルームやエンジンの泥、オイル、籾殻、作物屑は火災の危険があります。風向、農作物の種類とその含水量は、籾殻やごみが堆積する場所と量にすべて影響を与えます。この部分を頻繁に点検し、清掃してください。

OUO6075,0000575-40-17MAR10

機械の清掃

一般的な清掃のガイドライン

機械は収穫作業日を通して定期的に点検する必要があります。溜まっている作物材料やその他ごみを取り除いて機械の適切な機能を確保し、火災の危険を減らしてください。点検や清掃の頻度は、運転条件、機械の設定、作物条件、運転速度、天候などの複数の要因によって異なります。点検や清掃は、特に乾燥、高温、風が強い条件では、収穫作業日を通じて複数回行う必要があります。

重要：**オペレータマニュアルに記載されている他の日常メンテナンスに加えて定期的に機械全体の清掃を行うことにより、コストがかかるダウンタイムと火災の発生リスクを大幅に減少させ、機械の性能を向上させることができます。**

作物材料やその他のごみはさまざまな部分に堆積する可能性があります。風向き、作物の種類、作物の含水量は、すべて作物材料やごみが堆積する場所に影響を与えます。収穫条件を確認し、清掃スケジュールを調整して、適切な機械機能を確保し、火災の危険性を減らしてください。収穫作業日を通じて必要に応じてこれらの部分を点検および清掃してください。

特定の作物の収穫により、特別な問題が生じることがあります。一部の作物は非常に「粘着性」があり、収穫時に機械を清掃するのが困難になることがあります。これらの作物の例には、ヒマワリ、アブラナ、ベニバナがあります。これらの作物を収穫する際は、機械の清掃に特に配慮してください。

機械およびオペレータマニュアルに掲載されているすべての安全手順に必ず従ってください。点検や清掃を行う前に、必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

OUO6075,0001167-40-21JUN12

QR (Quick Response) コード

H129714—UN—01APR20
英語版 *QR* コード

H129715—UN—01APR20
フランス語版 *QR* コード

H129716—UN—01APR20
ドイツ語版 *QR* コード

H129717—UN—01APR20
スペイン語版 *QR* コード

クリーニングガイドの上部には、短い教育用クリーニングガイドビデオにリンクしている QR (Quick Response) コードがあります。QR スキャナアプリケーションをスマートフォンにダウンロードして、QR コードからコンテンツにアクセスしてください。アプリを開いて、スパートフォンのカメラで QR コードを読み取ってメディアに接続します。

OUO6075,0004DE7-40-01APR20

機械の清掃 (定期清掃)

このセクションの写真は、機械の定期的な点検や清掃を必要とする部分を示しています。定期的な清掃を必要とするその他の部分もありますが、これらの部分に頻繁に注意することにより火災防止に大きな影響があります。

一部の写真は、清掃前の作物材料やその他のごみの堆積を示しています。この種の堆積は通常ではありません。解説のためにのみ掲載されています。

重要：**収穫条件によっては、これらの部分は 1 日に複数回清掃するなど、より頻繁な清掃が必要な場合があります。収穫条件を確認し、清掃スケジュールを調整して、適切な機械機能を確保し、火災の危険性を減らしてください。**

このセクションで扱っていないその他の部分にも作物屑が溜まる可能性があり、機械機能や概観を確保するために定期的に清掃する必要があります。収穫期を通じて機械全体を定期的に十分点検してください。

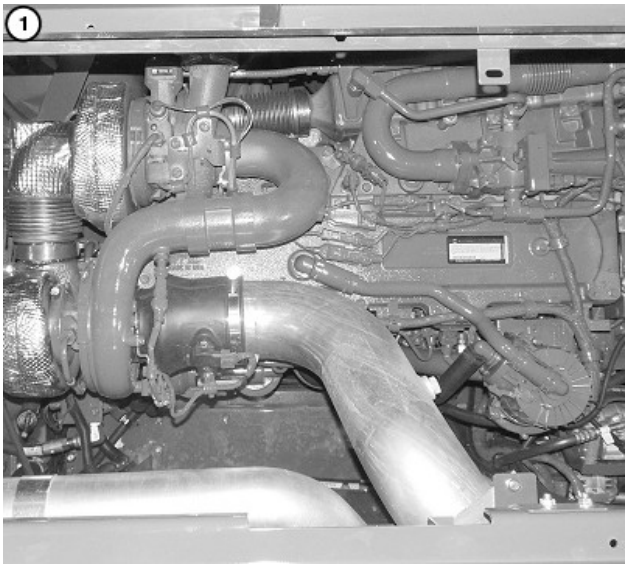
機械および取扱説明書に掲載されているすべての安全手順に必ず従ってください。点検や清掃を行う前に、必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

圧縮空気を使用して、機械の上部から底部まで十分清掃してください。最初に、エンジンデッキからアクセスできるすべての部分を清掃します。エンジンルームから開始して、排ガス後処理装置エンクロージャ (装備されている場合) の周囲など、エンジンルーム、エンジン下のフロア、ロータ上部の後側、リアデッキの周囲のその他の部分に外側に反時計回りに清掃してください。機械の上部がきれいになったら、地面からアクセスできる部分の清掃に進みます。

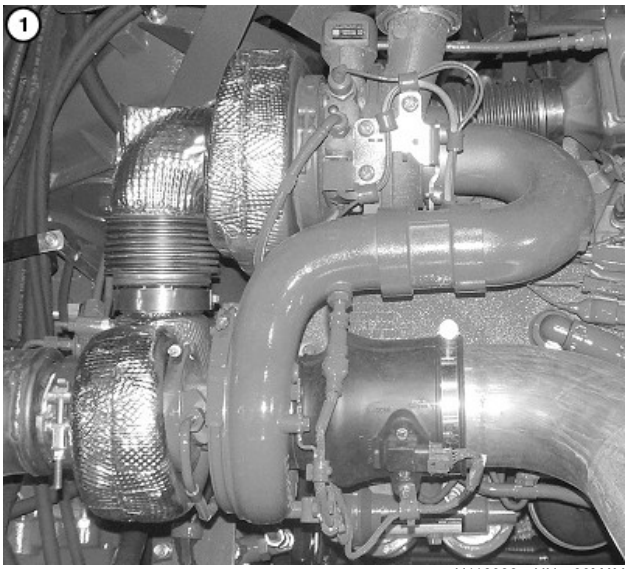
燃料タンク部分の後下側および残渣排出システムの尾板の上部を地面から清掃します。排ガス後処理装置エンクロージャ部分 (装備されている場合) も地面から清掃する必要があります。地面からの清掃が完了したら、地面での清掃で飛ばされた可能性がある作物屑がないかエンジンルームを再点検します。

注記：写真ではわかりやすいように一部のシールドを取り外してあります。

エンジンルーム (上部)



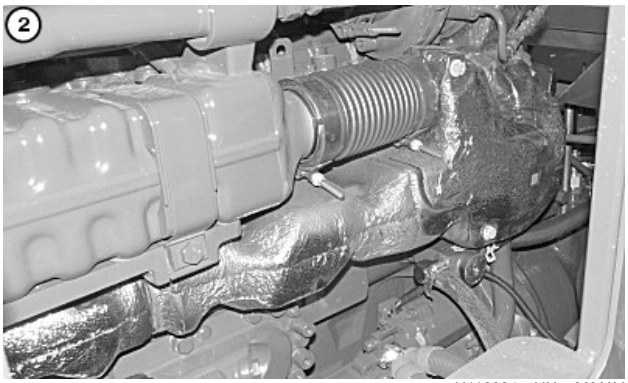
H116932—UN—09MAY16



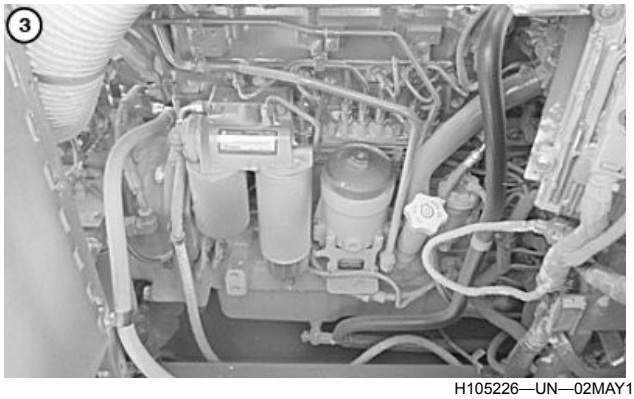
H116933—UN—09MAY16

(1) — エンジンとターボチャージャの上部

エンジンルーム (上部)



H116934—UN—09MAY16



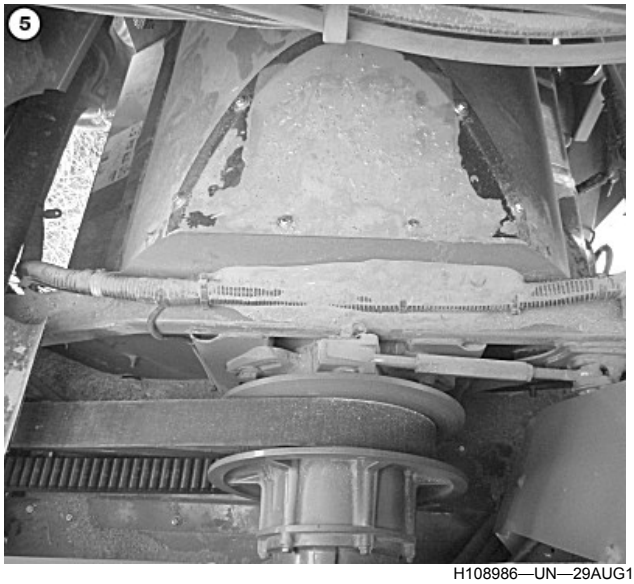
H105226—UN—02MAY12

(2) エグゾーストマニホールドとマニホールドシールド、ターボインタークーラーステージチューブ、排気ガス再循環装置 (EGR) クーラーチューブ

(3) エンジン周辺

エンジンルーム (上部)

H108963—UN—29AUG13

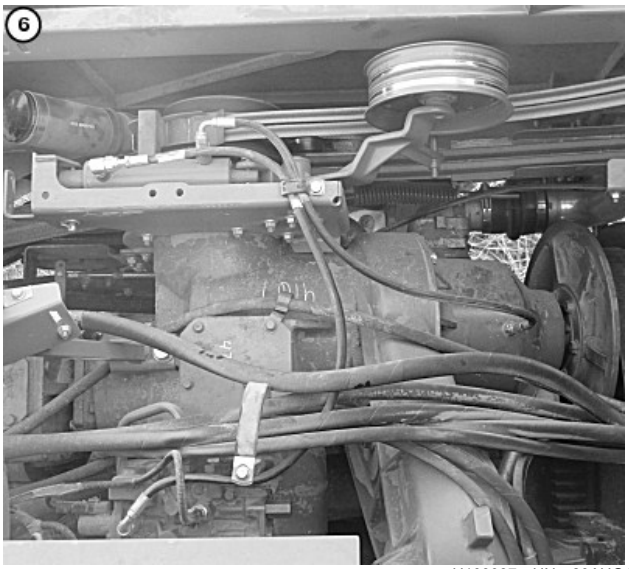


H108986—UN—29AUG13

(4) エンジン下部

(5) ローターの上後部およびローター駆動装置の周囲

エンジンルーム (上部)



H108987—UN—29AUG13

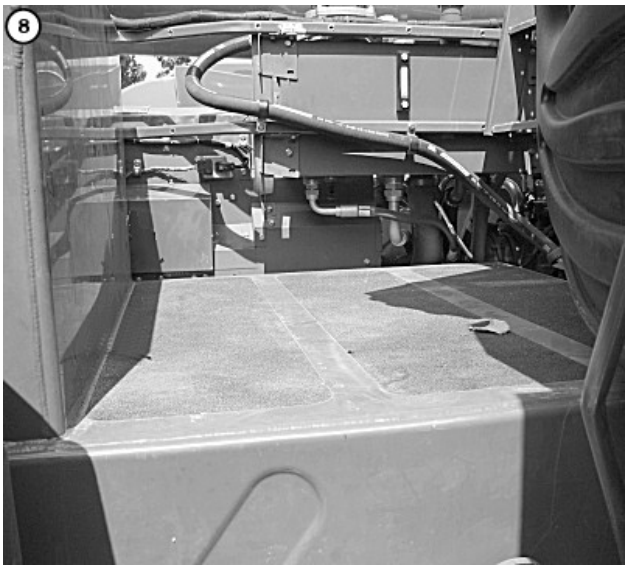
H108988—UN—29AUG13

H134391—UN—12MAY21

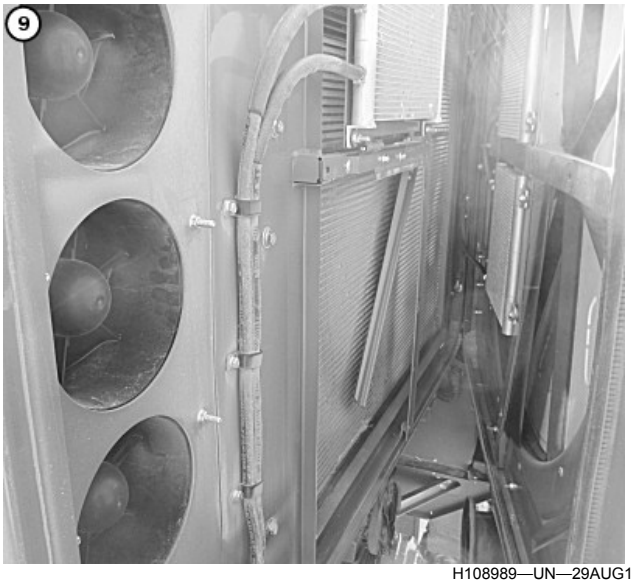
(6) — メインエンジンギヤケース

(7) — 排ガスマフラーまたは後処理装置の周囲と下の部分

エンジンルーム (上部)



H108990—UN—29AUG13



H108989—UN—29AUG13

(8) 燃料タンクの上部

(9) エンジン冷却パッケージ

地面からアクセス可能 (底部)

H100574—UN—20JUN11

H105229—UN—19APR12

(1) 燃料タンクの下側

(2) ベアリングおよびベアリングガード周辺 (複数箇所)

地面からアクセス可能 (底部)

H108991—UN—29AUG13

ヒューズセンター *(スタイル A)*

H105230—UN—02MAY12

重要： 潤滑ステッカーには、機械のグリースポイントのさまざまな場所が示されています。ステッカーに示されている潤滑時期に従ってください。詳細については、「潤滑とメンテナンス」セクションに示している時間間隔を参照してください。

ベアリングの故障や過熱は、火災につながる可能性があります。ベアリングの故障や過熱を減らすために、必ず機械の潤滑ステッカーを参照してください。

(3) ヒューズセンターおよびバッテリボックス部分

(4) クリーングレインエレベータードライブ

地面からアクセス可能 (底部)

H105336—UN—02MAY12

H105231—UN—02MAY12

(5) 右側の整備用ステップエリア

(6) 右側マッドシールド

地面からアクセス可能 (底部)

H105337—UN—02MAY12

H105338—UN—02MAY12

(7) 右側フィーダーハウスシールド

(8) 左側フィーダーハウスシールド

地面からアクセス可能 (底部)

H105232—UN—02MAY12

H134392—UN—12MAY21

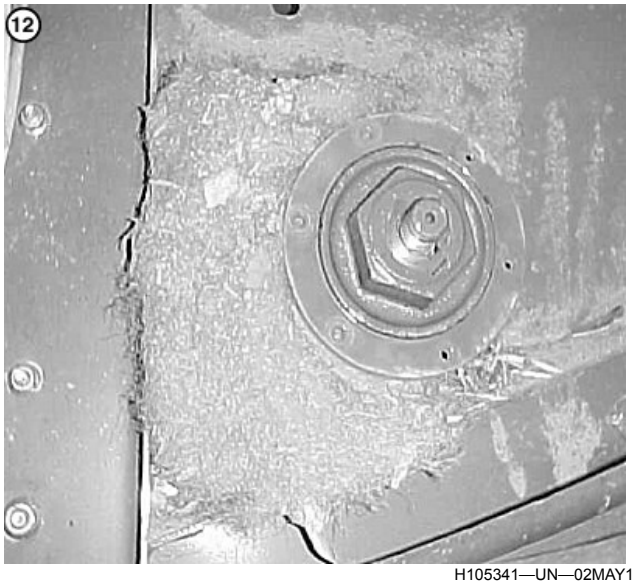
(9) トランスミッション

(10) サービスステップ、電気ハーネス、サイドシート、セパレータエリア

地面からアクセス可能 (底部)

H114749—UN—18JUN15

ヒューズセンター *(スタイル B)*



H105341—UN—02MAY12

(11) ヒューズセンターおよびバッテリボックス部分

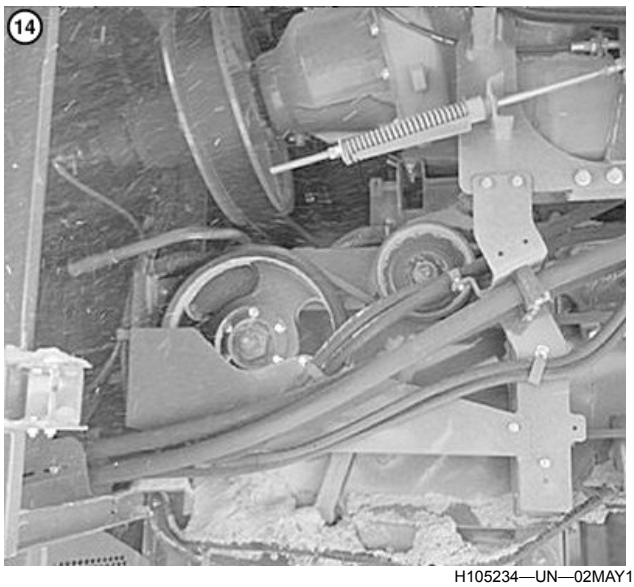
(12) ディスチャージビーター駆動装置

地面からアクセス可能 (底部)

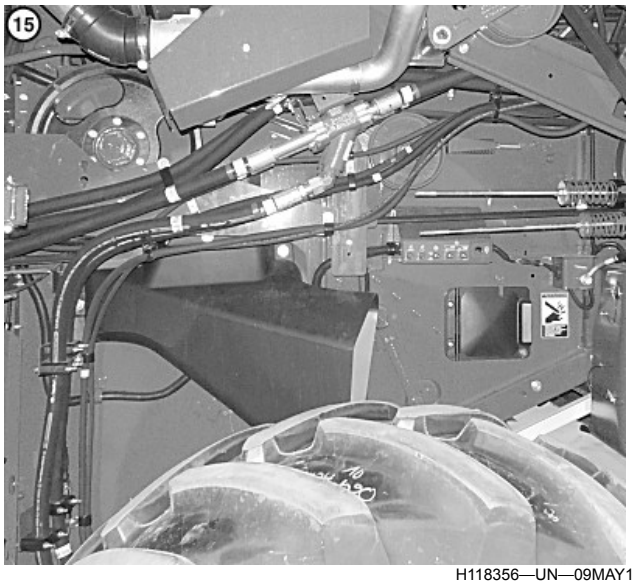
H105233—UN—02MAY12

(13) 左側ローター部分

地面からアクセス可能 (底部)



H105234—UN—02MAY12



H118356—UN—09MAY16

(14) ローター駆動装置

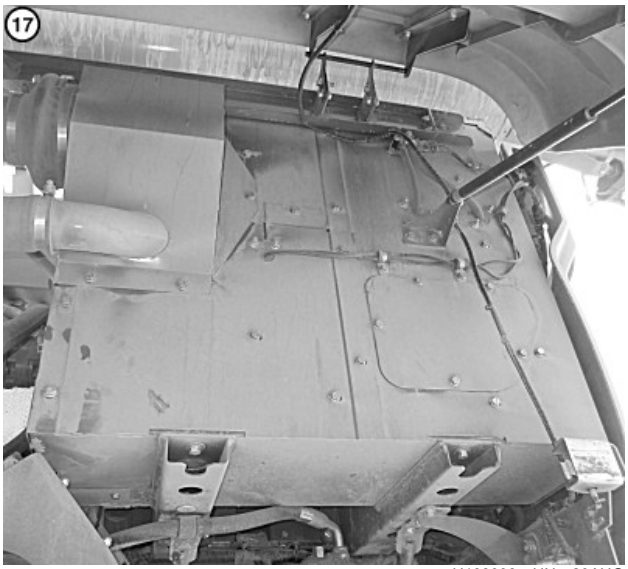
(15) 左サイドシート部分

地面からアクセス可能 (底部)

H108951—UN—28AUG13

(16) 残留物廃棄駆動装置

地面からアクセス可能 (底部)

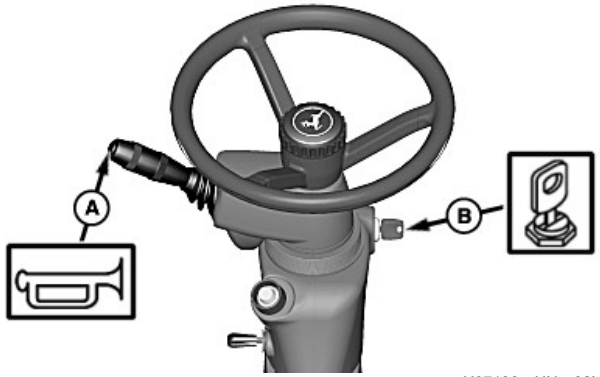


H108993—UN—29AUG13

(17) 排ガス後処理装置エンクロージャ (装備されている場合) の周囲と下の部分

OUO6075,0005121-40-19MAY21

機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物)



H97186—UN—02NOV10

A：**ホーン**
B：**キースイッチ**

注意： **エンジンを運転してセパレータを接続した状態では、けがを防止するために絶対に機械を清掃しないでください。エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

保証種子作物の場合、または州間で機械を輸送する場合は、機械の清掃で以下の手順をお勧めします。

注意： **ヘッダーを安全に固定して動かないようにしてください。リールの安全ストップを下げてください。**

1. ヘッダーを機械から取り外します。
2. 条端や段差に機械を運転して、ぬかるんだ泥を震動で振り落とします。
3. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。
4. すべてのドアとドレンホースを開くか、取り外します。

注意： **ホーン (A) を鳴らして、その区域から人を遠ざけてください。もみ殻を排出させているときは、機械から離れてください。**

5. キースイッチ (B) を回してエンジンを始動します。
6. もみ殻が機械の後部から出てこなくなるまで、セパレータを接続します。
7. エンジン回転数を低速まで下げてセパレータを複数回接続します。セパレータを低速で運転すると、ローターの内側から泥が除去されます。

注意： **もみ殻を排出させているときは、周囲の人を機械から遠ざけてください。**

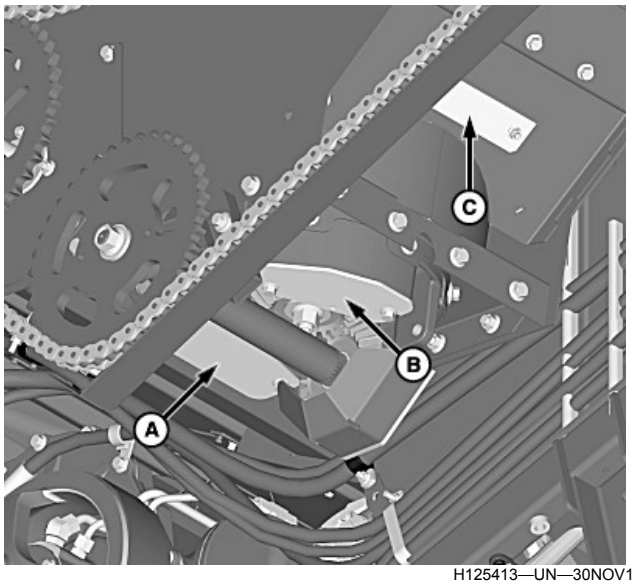
8. スロットルを高回転数に動かして、数分間運転します。もみ殻が機械の後部から出てこなくなるまで繰り返します。

H39607—UN—11OCT88

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。次に、ホイールをブロックしてフィーダーハウス安全ストップを下げます。

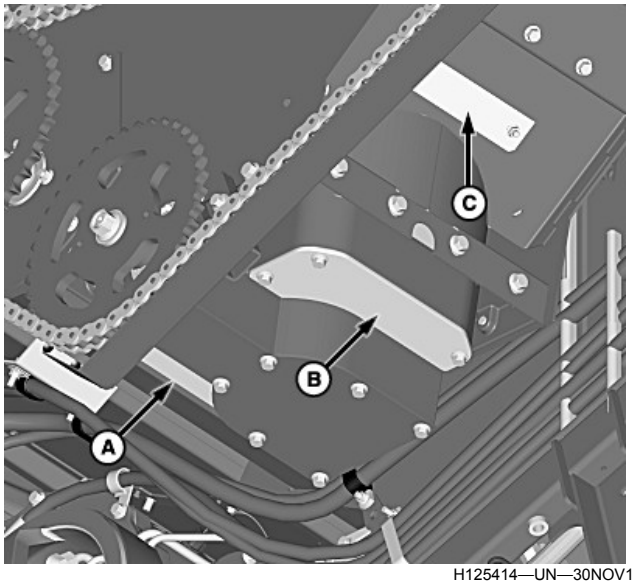
ほこりの多い条件で圧縮空気を使用するときは、個人保護のために保護メガネと防塵マスクを着用する必要があります。

9. 機械の上部で開始し、下に作業します。



H125413—UN—30NOV18

スタイル *A*

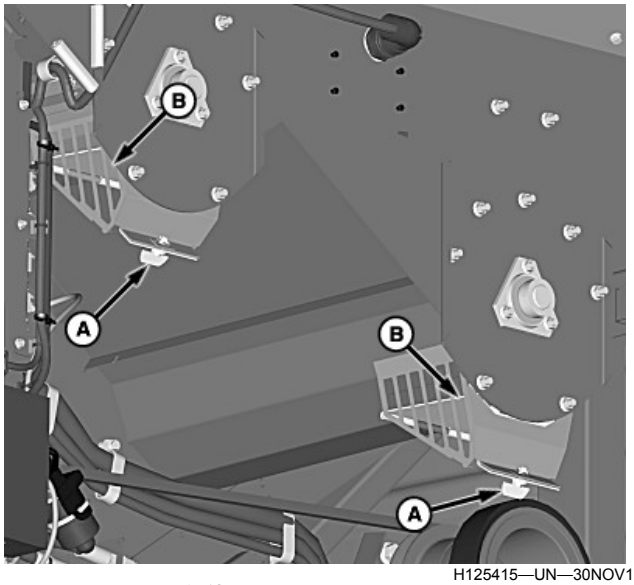


H125414—UN—30NOV18

スタイル *B*

A：**クリーンアウトドア**
B：**クリーンアウトドア**
C：**クリーンアウトドア**

10. 機械の左側にあるクリーンアウトドア (A ~ C) を開きます。



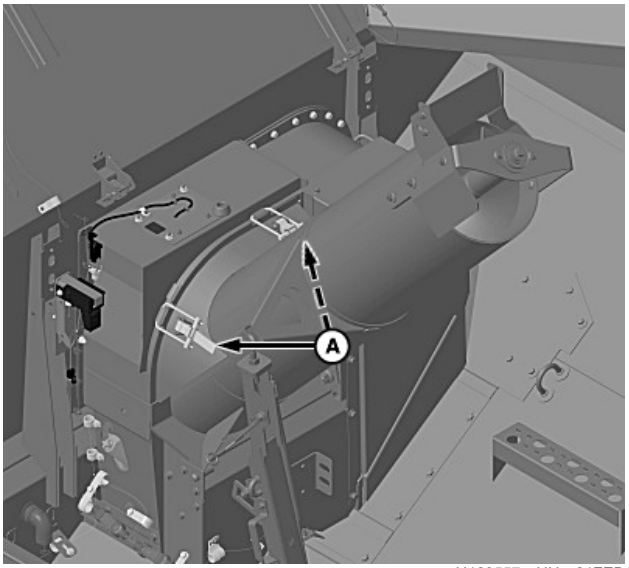
H125415—UN—30NOV18

A：**掛け金ラッチ (2 個使用)**
B：**クリーンアウトドア (2 箇所)**

11. 両方のグレンタンククロスオーガの右側の端にある掛け金ラッチ (A) を解放して、クリーンアウトドア (B) を開きます。
12. グレンタンククロスオーガの下からグレンを清掃します。
13. アンローディングオーガサンプの端から底部までのグレンを清掃します。地面に立って、ドアからグレンを清掃する必要があります。

14. 機械のオプションに応じて、グレンタンクローディング・オーガを清掃します。

グレンタンクローディングオーガ (グレンタンクエクステンション)

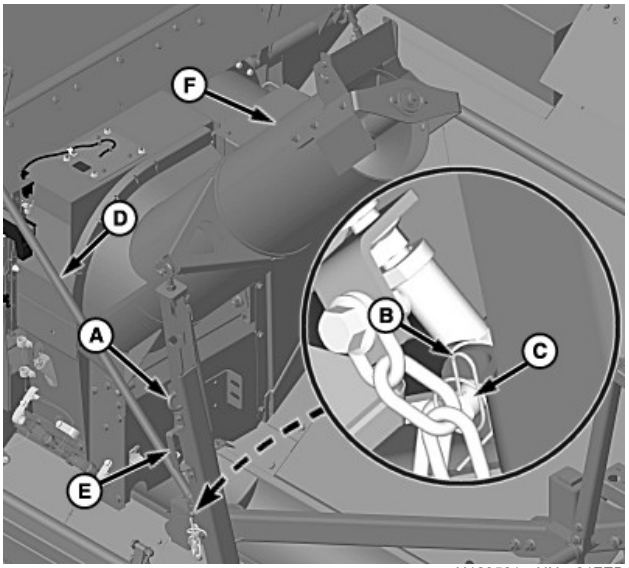


H123557—UN—21FEB18

A：**クランプ**

1. クランプ (A) を解放してオーガを下げます。
2. 上部から下にクリーングレンエレベータからクリーンエレベータチェーンまで清掃します。すべての側面を清掃します。

グレンタンクローディングオーガ (グレンタンクカバー)



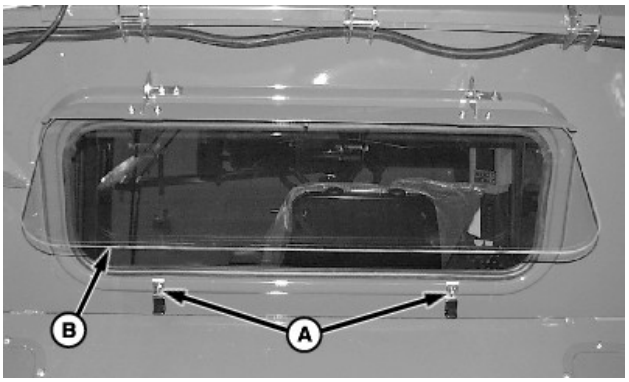
H123561—UN—21FEB18

A：**ピン**
B：**クイックロックピン**
C：**ピン**
D：**ターンバックル**
E：**ハンドル**
F：**オーガ**

注意： **ピン (A) を引っ張ってまたは取り外して、グレインタンクローディングオーガを下げないでください。ピンを取り外すと、けがや機械の損傷が発生する可能性があります。**

グレンタンクローディングオーガは重量があります。オーガを上昇 / 下降させるときは、十分注意してください。

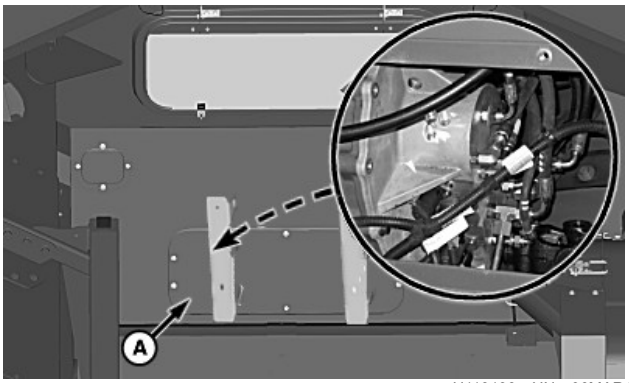
1. クイックロックピン (B) とピン (C) をターンバックル (D) から取り外します。
2. ハンドル (E) を使用して、グレンタンクローディングオーガ (F) の下降を補助します。
3. 上部から下にクリーングレンエレベータからクリーンエレベータチェーンまで清掃します。すべての側面を清掃します。



H76204—UN—28APR03

A：**クランプ (2 個使用)**
B：**グレンタンクウィンドウ**

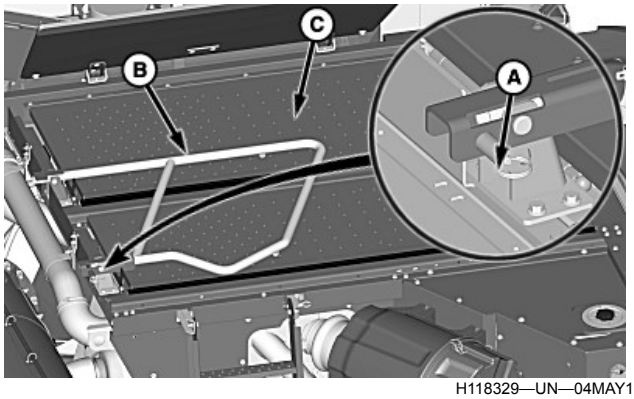
15. クランプ (A) を緩めて、グレンタンクウィンドウ (B) を上に旋回させます。
16. キャビンの背後の部分、プライマリカウンターシャフトの周囲、およびセパレータの上部を清掃します。



H113138—UN—06MAR15

A：**アクセスドア**

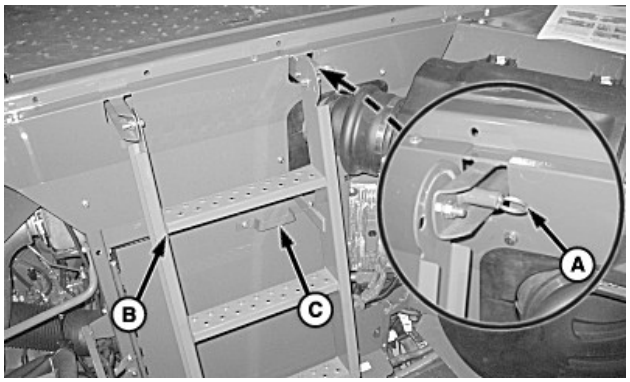
17. グレンタンク前側のアクセスドア (A) (装備されている場合) を取り外します。
18. マルチスピードフィーダーハウス駆動ギヤケース (装備されている場合) の周囲の材料を清掃します。



H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**エンジンアクセスカバー**

19. ロックアウトピン (A) を引いて、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を上に回します。
20. エンジンアクセスカバー (C) を開き、エンジンルームエリアの上側とエンジン前側のセパレータの周囲を清掃します。
21. エンジンルームエリア全体、特にエンジン下部を清掃します。
22. エンジン周辺で見つかったオイルやグリースを拭き取ります。

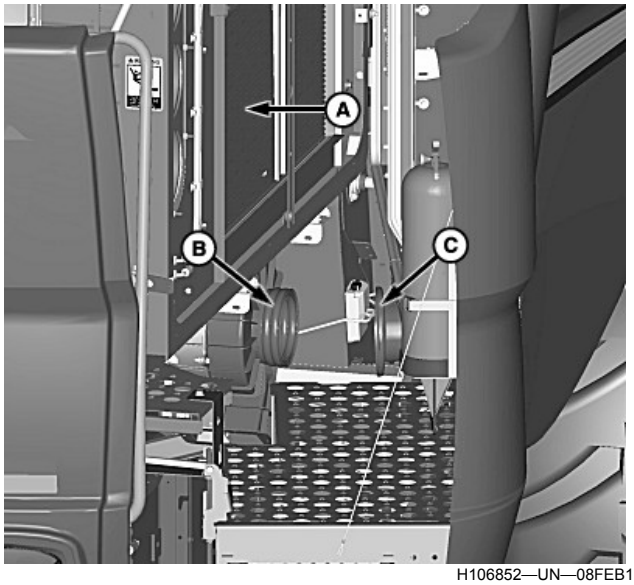


H95353—UN—25AUG10

A：**ロックアウトピン**
B：**タラップ**
C：**カバー**

23. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまでタラップ (B) を回転させます。
24. フィルタアクセスカバー (C) を引いて開き、磁石から解放します。
25. エンジンルームエリアの後側を清掃します。
26. エンジンルームエリア全体、特にエンジン下部を清掃します。
27. エンジン周辺で見つかったオイルやグリースを拭き取ります。
28. 機械のオプションに応じて、ラジエータや他のさまざまな部分を清掃します。

ティア 2 / ステージ II (スタイル A)



H106852—UN—08FEB13

A：**ラジエータ**
B：**真空ダクト**
C：**搬送ダクト**

注記： 圧縮空気を内側から吹き付けて各部を清掃します。

1. ロータリースクリーンドアを開きます。
2. 次のエリアを外に向かって清掃します：

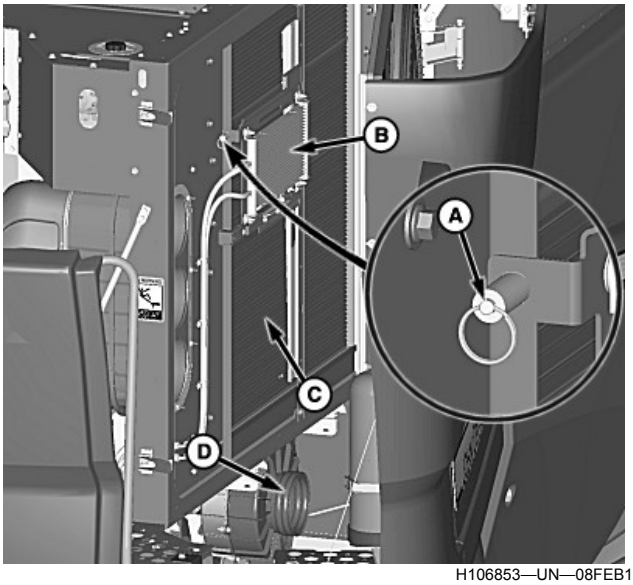
   : ラジエータ (A)

   : コンデンサ

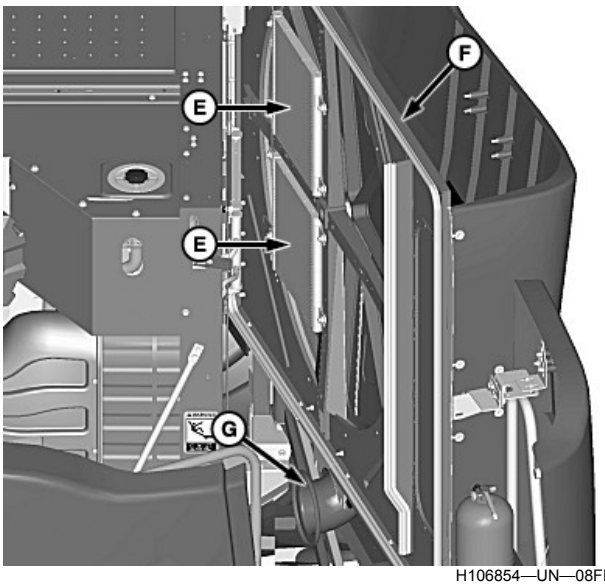
   : オイルクーラー

   : チャージエアクーラー
3. 下部真空ダクト (B) と搬送ダクト (C) から泥を除去します。

ティア 2 / ステージ II (スタイル B) およびファイナルティア 4 / ステージ V



H106853—UN—08FEB13



H106854—UN—08FEB13

A：**ロックアウトピン**
B：**燃料クーラー**
C：**ラジエータ**
D：**真空ダクト**
E：**コンデンサ**
F：**ロータリースクリーンドア**
G：**搬送ダクト**

注記： 圧縮空気を内側から吹き付けて各部を清掃します。

1. ロータリースクリーンドアを開きます。
2. ロックアウトピン (A) を引っ張り、燃料クーラー (B) を回転させて清掃します。
3. 次のエリアを外に向かって清掃します：

: ラジエータ (C)

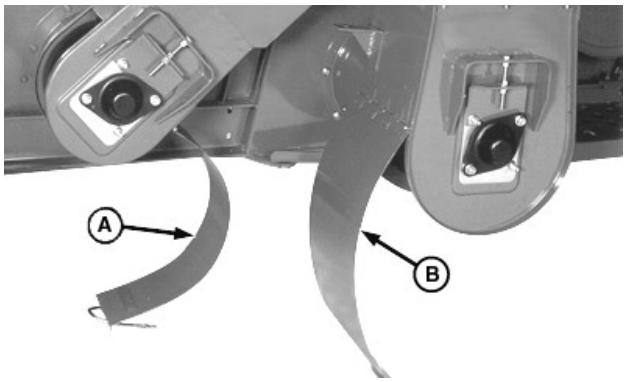
: オイルクーラー

: チャージエアクーラー

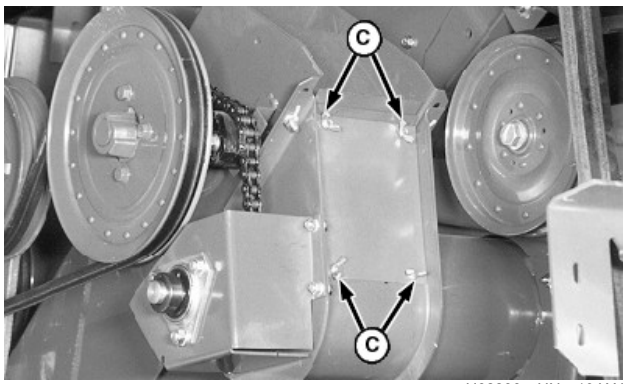
4. 下部真空ダクト (D) から泥を除去します。
5. ロータリースクリーンドア (F) にあるコンデンサ (E) を清掃します。
6. 搬送ダクト (G) から泥を除去します。

29. 機械のオプションに応じて、クリーングレンエレベータと二番エレベータ部分を清掃します。

クリーングレンエレベータと二番エレベータ (スタイル A)



H62232—UN—19JAN00

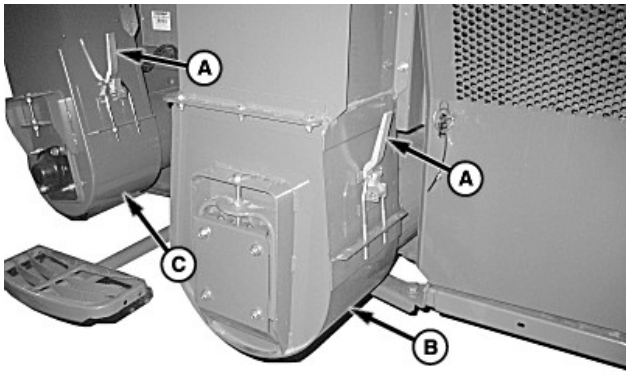


H62233—UN—19JAN00

A：**二番エレベータドア**
B：**クリーングレンエレベータドア**
C：**蝶ナット**

1. 下部二番エレベータドア (A) とクリーングレインエレベータードア (B) を開きます。
2. 蝶ナット (C) を取り外して、二番エレベータの上端のドアを取り外します。
3. 必要に応じて材料を除去し、エレベータの側面を清掃します。

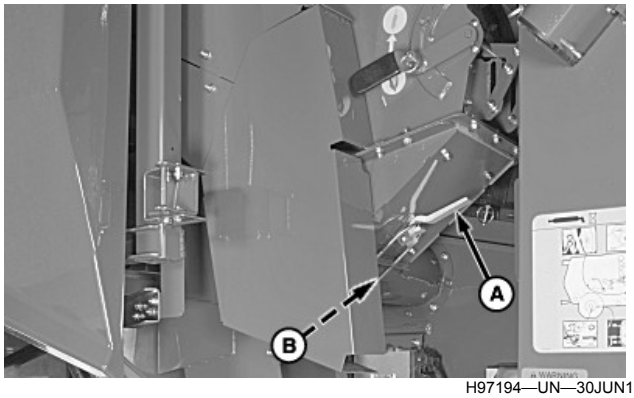
クリーングレンエレベータと二番エレベータ (スタイル B)



H97193—UN—30JUN10

A：**ハンドル**
B：**クリーングレンエレベータドア**
C：**2 番還元物システムエレベータドア**

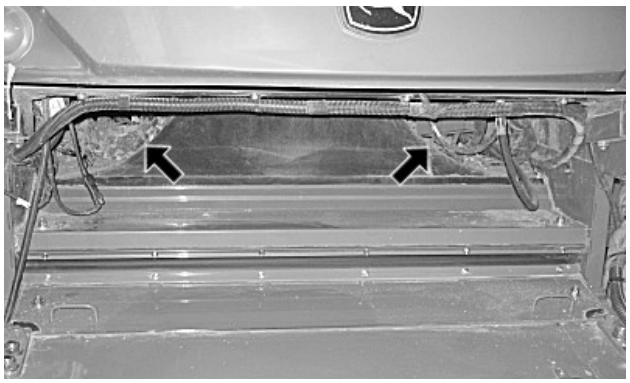
1. ハンドル (A) を使用して、クリーングレンエレベータードア (B) と 2 番還元物システムエレベータードア (C) を開きます。
2. 必要に応じて材料を除去し、エレベータの側面を清掃します。



H97194—UN—30JUN10

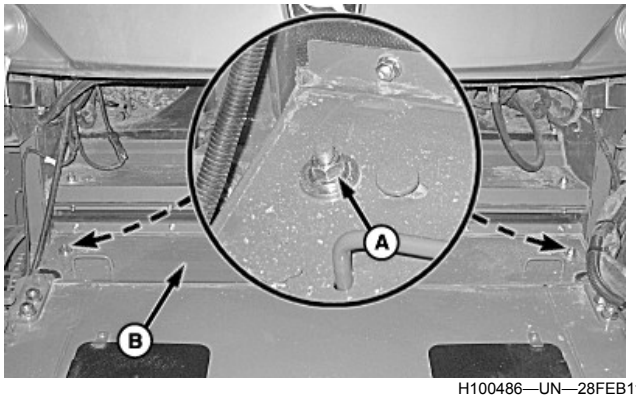
A：**ハンドル**
B：**2 番還元物システムオーガドア**

3. ハンドル (A) を使用して、2 番還元物システムオーガドア (B) を開きます。
4. 必要に応じて材料を除去し、エレベータの側面を清掃します。

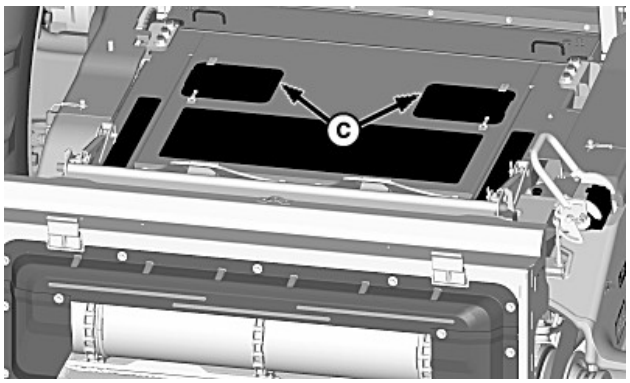


H100541—UN—02MAR11

30. セパレータと機械の側面の間の籾殻を除去します。



H100486—UN—28FEB11

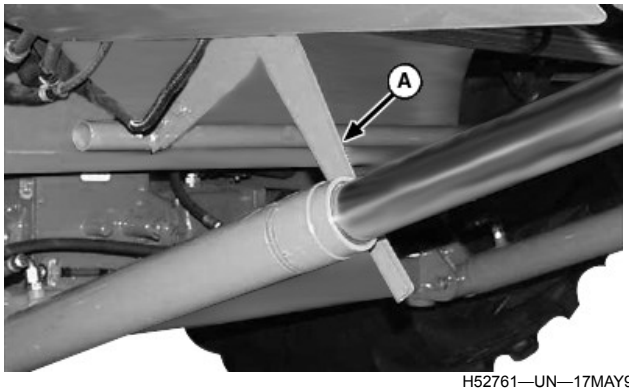


H90905—UN—27FEB08

A：**ナット**
B：**フィーダーハウスドア**
C：**フィーダーハウスドア**

31. フィーダーハウスドアの各側のナット (A) を緩めて、ナットをフィーダーハウスの中心に向けて押します。
32. ドアを前方に引っ張って取り外します。
33. トップドア (B) と (C) の開口部からフィーダーハウスを清掃します。
34. 清掃中は、コンベアチェーンを数回持ち上げて戻します。
35. 機械のオプションに応じて、フィードプレート部分を清掃します。

フィードプレート (スタイル A)

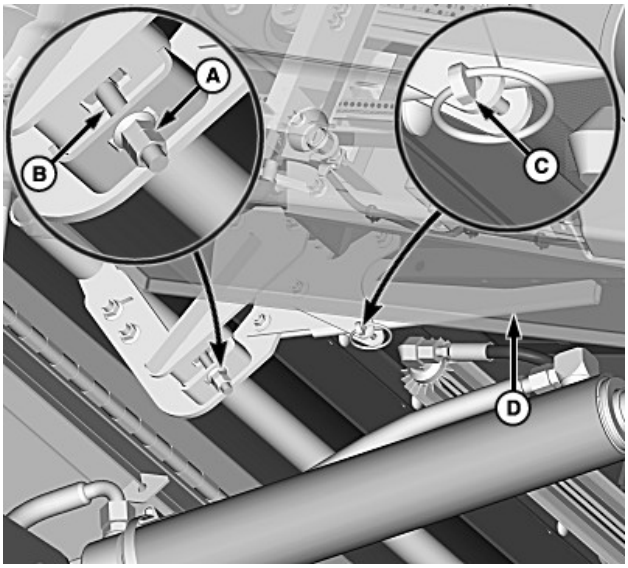


H52761—UN—17MAY99

A：**レバー**

1. クイックロックピンを取り外してレバー (A) を下後方に動かし、フィードプレートを開きます。
2. フィードプレート部分を清掃します。
3. レバーを前方に上に動かしてフィードプレートを閉めます。前の手順で取り外したクイックロックピンで固定します。

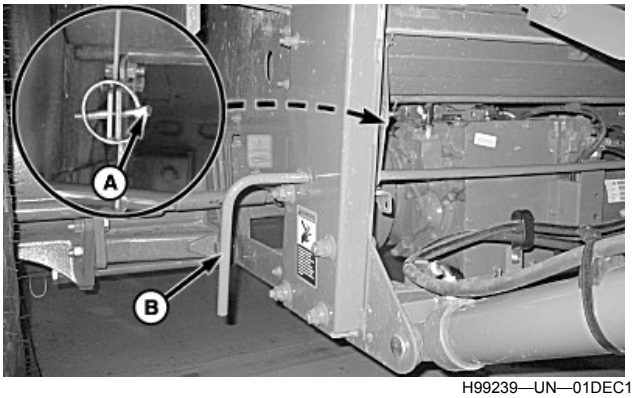
フィードプレート (スタイル B)



H120113—UN—29NOV16

A：**ナット**
B：**丸頭ボルト**
C：**クイックロックピン**
D：**レバー**

1. ナット (A) と丸頭ボルト (B) を機械の両側から取り外します。
2. クイックロックピン (C) を取り外してレバー (D) を下後方に動かし、フィードプレートを開きます。
3. フィードプレート部分を清掃します。
4. レバーを前方に上に動かしてフィードプレートを閉めます。前の手順で取り外したクイックロックピンで固定します。
5. 前の手順で取り外した丸頭ボルト (B) とナット (A) を機械の両側に取り付けます。

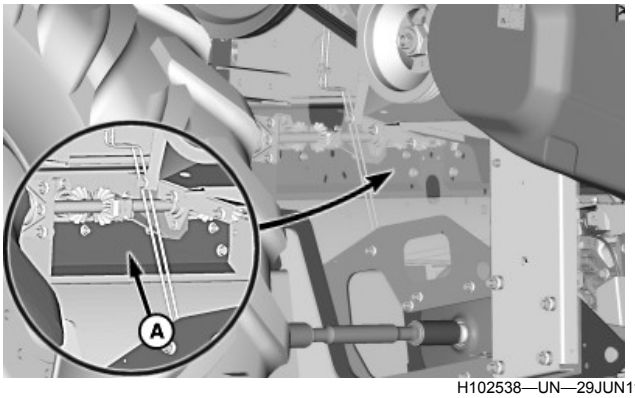


H99239—UN—01DEC10

A：**クイックロックピン**
B：**レバー**

36. クイックロックピン (A) を取り外し、レバー (B) を上に動かしてストーントラップを開きます。
37. ストーントラップ部分を清掃します。
38. レバーを下に動かしてストーントラップを閉めます。クイックロックピンで固定します。
39. 機械のオプションに応じて、クリーニングシューオーガギヤ部分を清掃します。

クリーニングシューオーガギヤの清掃 (スタイル A)

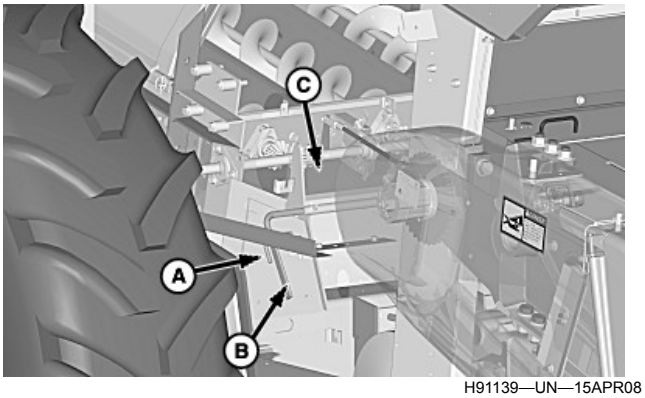


H102538—UN—29JUN11

A：**クリーンアウトドア**

1. 各部を清掃するには、キャップスクリューをクリーンアウトドア (A) から取り外します。
2. 清掃が完了したら、クリーンアウトドアとキャップスクリューを取り付けます。

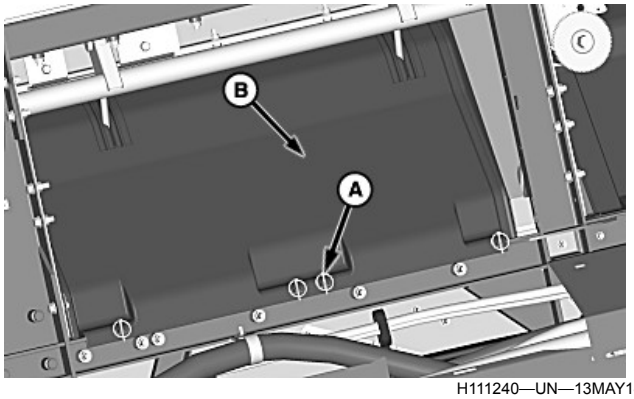
クリーニングシューオーガギヤ (スタイル B)



H91139—UN—15APR08

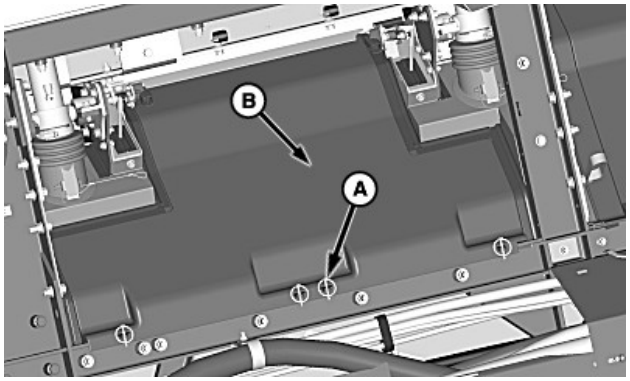
A：**ロックアウトピン**
B：**ハンドル**
C：**クリーンアウトドア**

1. ロックアウトピン (A) を引き、ハンドル (B) を上に動かしてクリーンアウトドア (C) を外します。
2. ハンドルを下に動かして、クリーンアウトドアを閉めてロックします。



H111240—UN—13MAY14

点検カバー *(スタイル A)*



H111241—UN—13MAY14

点検カバー *(スタイル B)*

H52708—UN—23MAR99

A：**クイックロックピン**
B：**点検カバー**

40. クイックロックピン (A) と点検カバー (B) を外します。スクレーパを使用して材料をほぐし、機械の側面から清掃します。

H99165—UN—22NOV10

押しボタンシフトの機械

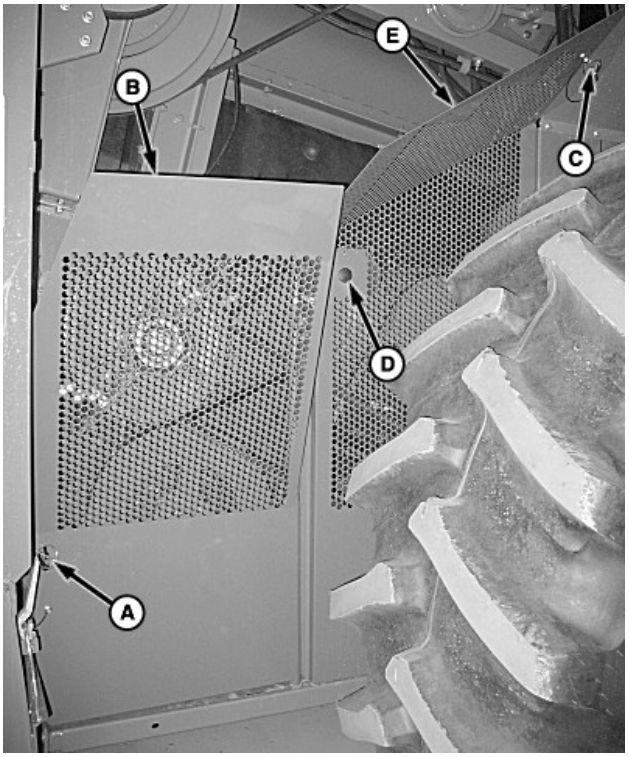
41. 車軸の上部とトランスミッションを清掃します。

H115550—UN—20AUG15

42. 可能な限りふるいとチャファーを開き、清掃します。

H115551—UN—20AUG15

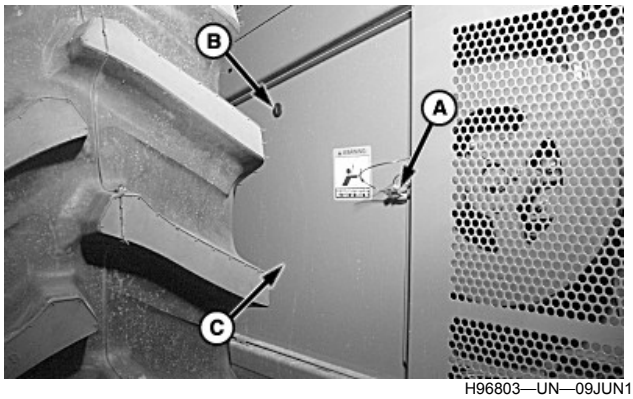
43. リア車軸エリアを清掃します。



H96806—UN—09JUN10

A：**クイックロックピン**
B：**シールド**
C：**クイックロックピン**
D：**ラッチ**
E：**シールド**

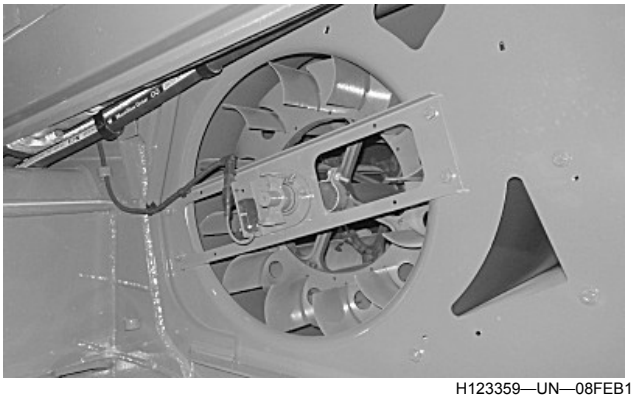
44. クイックロックピン (A) を取り外して、シールド (B) を開きます。
45. クイックロックピン (C) を取り外し、ラッチ (D) を回してロックを解除します。
46. リアシールド (B) とミドルファンシールド (E) を持ち上げて取り外します。
47. ファンエリアを清掃します。



H96803—UN—09JUN10

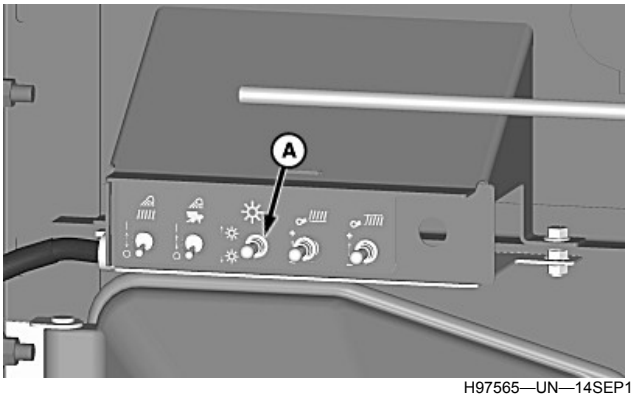
A：**クイックロックピン**
B：**ラッチ**
C：**シールド**

48. クイックロックピン (A) を取り外して、ラッチ (B) を回してシールド (C) を取り外します。
49. 周囲を清掃します。



H123359—UN—08FEB18

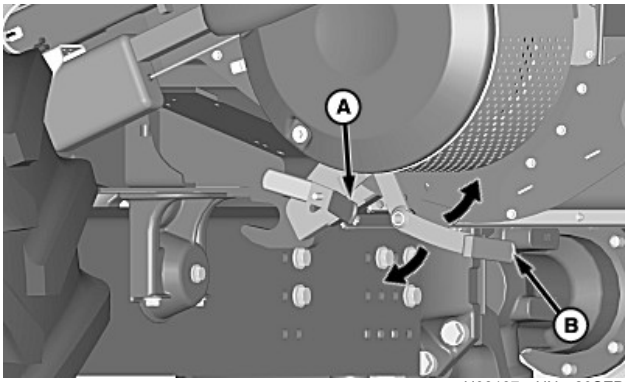
50. ファンの周辺を清掃します。



H97565—UN—14SEP10

A：**スイッチ**

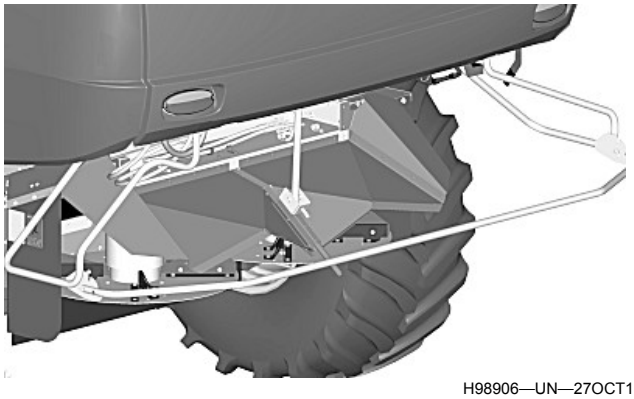
51. スイッチ (A) を使用して、チョッパー (装備されている場合) を上げます。



H98137—UN—20SEP10

A：**蝶ナット**
B：**ハンドル**

52. 手動調整ナイフバンク：蝶ナット (A) を緩めて、ハンドル (B) でナイフバンクを解除してチョッパーを清掃します。



H98906—UN—27OCT10

53. スプレッダー (装備されている場合) ドライブエリアとスプレッダフードから籾殻を清掃します。
54. 本機を操作する前に、前の手順で取り外したすべてのシールドを取り付けて、開いていたドアを閉めます。

OUO6075,0004D3C-40-29JUN20

燃料と潤滑剤

燃料の安全な取り扱い：火災防止

TS202—UN—23AUG88

燃料は慎重に取り扱ってください。 高い引火性があります。 喫煙しながら、または直火や火花がある状況で給油しないでください。

必ずエンジンを停止してから給油してください。 燃料タンクは屋外で補充してください。

廃棄物、油脂類、堆積物が機械にたまらないように清掃し、火災を防止してください。 こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

引火性液体の持ち運びには認可された燃料容器だけを使用してください。

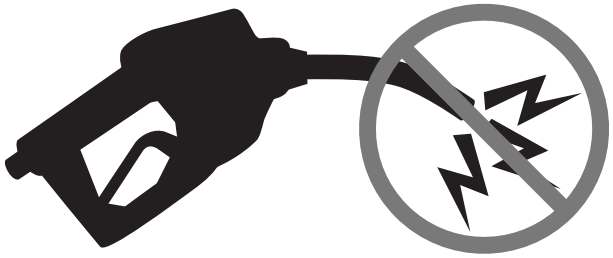
プラスチック製ベッドライナーを敷いたピックアップトラックで、絶対に燃料容器を充填しないでください。 補充の前に必ず燃料容器を地面に置いてください。 缶の蓋を外す前に燃料容器を燃料ディスペンサーのノズルで触ります。 補充時は、燃料ディスペンサーのノズルが常に燃料容器に触れているようにします。

直火、火花、または給湯器その他の電気器具内などの点火用ライトがあるところに燃料容器を保管しないでください。

DX,FIRE1-40-12OCT11

燃料再補充時の静電気発生リスクの防止

RG22142—UN—17MAR14



RG21992—UN—21AUG13

超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料内の硫黄と他の化合物が除去されると導電性が低下するため、静電気を帯電しやすくなります。

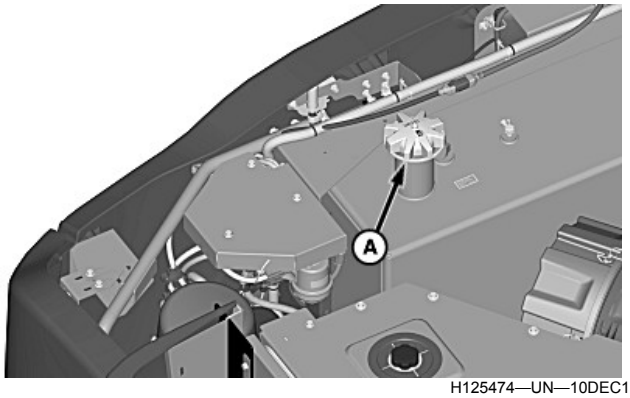
製油業者が帯電防止添加剤で燃料を処理している場合もあります。 しかし時間の経過により、添加剤の効果が低下するさまざまな要因があります。

燃料供給システム内を ULSD 燃料が流れるにしたがい、静電気が帯電する可能性があります。 燃焼性のガスが存在する場合に静電放電が発生すると、火災や爆発のおそれがあります。

したがって、お使いの作業機に燃料を補充するためのシステム全体 (燃料供給タンク、移送ポンプ、移送ホース、ノズル等) を適切に接地し接合することが重要です。 燃料供給システムが、適切な接地および接合に関して燃料補給系としての基準を満たしているかどうか確認するには、お使いの燃料または燃料システムのメーカーにお問い合わせください。

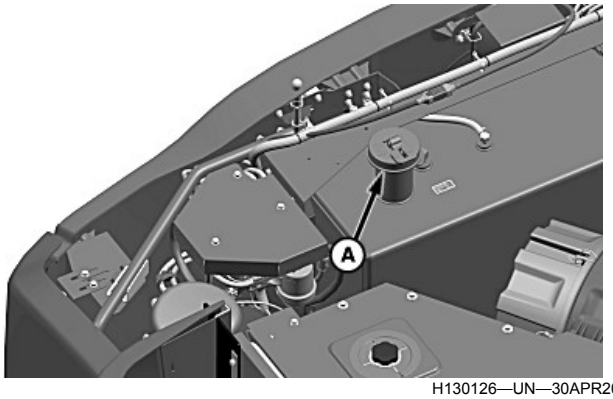
DX,FUEL,STATIC,ELEC-40-12JUL13

燃料タンク — 注入



H125474—UN—10DEC18

燃料タンクキャップ (ノンロック式)



H130126—UN—30APR20

燃料タンクキャップ (ロック式)

A：**燃料タンク**

注意： **燃料の取り扱いに注意してください。煙が発生しているときは、機械に燃料を補給しないでください。燃料タンクに給油する前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

燃料タンクに入れすぎないでください。燃料が跳ね返ってけがをする可能性があります。燃料の膨張によって漏れが発生することがあります。タンクが満杯の場合、直射日光にさらされたり、温度が高くなりすぎると、タンクがオーバーフローしたりします。

重要： **ファイナルティア 4 / ステージ V エンジン**：**超低硫黄ディーゼル燃料のみを使用してください。詳細については、このセクションの「ディーゼル燃料とバイオディーゼル燃料」を参照してください。**

毎日の運転終了時に燃料タンク (A) に給油してください。これにより、湿った空気が冷却されてタンク内で結露するのを防ぎます。

OUO6075,0004E1B-40-30APR20

ディーゼル燃料の取り扱いと保管

注意： **火災の危険を減らしてください。燃料の取り扱いに注意してください。エンジンの作動中は燃料タンクに給油しないでください。燃料タンクへの給油や燃料システムの整備中は、喫煙しないでください。**

寒冷気候での水分凝縮や凍結を避けるため、毎日の作業終了時に燃料タンクをいっぱいにしてください。

すべての保管用タンクは可能な限り一杯に補充して、結露を最小限に抑えてください。

水分が入らないように、必ず燃料タンクのキャップとカバーをすべて適切に取り付けてください。燃料の水分含有量を定期的に監視してください。

バイオディーゼル燃料の使用時は目詰まりが早くなるため、より頻繁に燃料フィルタを交換する必要があります。

毎日、エンジン始動前にエンジンオイルレベルを点検してください。オイルレベルの上昇はエンジンオイルの燃料希釈を示す場合があります。

燃料を長期間保管する場合や燃料の使用がわずかな場合は、燃料を安定させて水分凝縮を防ぐために、燃料コンディショナを追加してください。推奨事項については、燃料の販売業者か John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,000163E-40-06SEP13

ディーゼル燃料

地域で使用可能なディーゼル燃料の特性については、地元の燃料販売店にお問い合わせください。

一般に、ディーゼル燃料は販売される地域の低温要件に合わせて混合されます。

EN 590 または ASTM D975 に規定されたディーゼル燃料を推奨します。動物油脂と植物油の水素化処理によって生成される再生可能ディーゼル燃料は、石油系ディーゼル燃料と基本的に同一のものです。EN 590、ASTM D975 または EN 15940 に適合する再生可能ディーゼル燃料は、すべての混合比での使用が容認されています。

必要な燃料特性

あらゆる場合に燃料は次の特性に適合する必要があります。

最低 40 のセタン価。特に -20°C (-4°F) 未満の温度または 1675 m (5500 ft) を超える高度では、47 を超えるセタン価を推奨します。

曇り点は予想される最低周囲温度よりも低い必要があります。または、**フィルタ目詰まり点** (CFPP、Cold Filter Plugging Point) は曇り点よりも 10°C (18°F) 以上低い必要があります。

燃料潤滑性は ASTM D6079 または ISO 12156-1 に従って測定した場合、最大摩耗痕径 0.52 mm に合格する必要があります。最大傷跡直径 0.45 mm が推奨されます。

ディーゼル燃料の品質と硫黄含有量は、エンジンを運転する地域に存在するすべての排ガス規制に適合する必要があります。硫黄含有量が 10 000 mg/kg (10 000 ppm) を超えるディーゼル燃料を使用しないでください。

銅、鉛、亜鉛、スズ、黄銅、および青銅などの**物質**は、燃料酸化反応の触媒として機能して、燃料系統の沈殿物や燃料フィルタの詰まりを発生させる可能性があるため、燃料の取り扱い、分配、および保管などを行う装置での使用を回避する必要があります。

e ディーゼル燃料

E-ディーゼル燃料 (ディーゼル燃料とエタノールの混合

物) を使用しないでください。John Deere の機械に E-ディーゼル燃料を使用した場合は、機械の保証が受けられなくなるおそれがあります。

⚠ 注意： e ディーゼル燃料使用時の火災や爆発による大けがや死亡事故を防止してください。

560 kW を超えるインテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ III A および B、ステージ IV、ステージ V エンジンに適した硫黄含有量

- 硫黄含有量が最大 500 mg/kg (500 ppm) のディーゼル燃料のみを使用してください。

インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ III B、ステージ IV エンジン、ステージ V エンジンに適した硫黄含有量

- 硫黄含有量が最大 15 mg/kg (15 ppm) の超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料のみを使用してください。

Tier 3 および Stage III A エンジンの硫黄含有量

- 硫黄含有量が 1000 mg/kg (1000 ppm) 未満のディーゼル燃料を使用してください。
- 硫黄含有量が 1000 ~ 2000 mg/kg (1000 ~ 2000 ppm) のディーゼル燃料を使用すると、オイルとフィルタの交換間隔が短縮されます。
- 硫黄含有量が 2000 mg/kg (2000 ppm) より多いディーゼル燃料を使用する場合は、事前に最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせください。

Tier 2 および Stage II エンジンの硫黄含有量

- 硫黄含有量が 2000 mg/kg (2000 ppm) 未満のディーゼル燃料を使用してください。
- 硫黄含有量が 2000 ~ 5000 mg/kg (2000 ~ 5000 ppm) のディーゼル燃料を使用すると、オイルとフィルタの交換間隔が短縮されます。[1]
- 硫黄含有量が 5000 mg/kg (5000 ppm) より多いディーゼル燃料を使用する場合は、事前に最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせください。

その他のエンジンの硫黄含有量

- 硫黄含有量が 5000 mg/kg (5000 ppm) 未満のディーゼル燃料の使用をお勧めします。
- 硫黄含有量が 5000 mg/kg (5000 ppm) より多いディーゼル燃料を使用すると、オイルとフィルタの交換間隔が短縮されます。

重要： 使用済みディーゼルエンジンオイルや他のどの種類の潤滑油であってもディーゼル燃料と混合しないでください。

不適切な燃料添加剤を使用すると、ディーゼルエンジンの燃料噴射装置が損傷することがあります。

DX,FUEL1-40-13JUL20

バイオディーゼル燃料

バイオディーゼルは、植物油または動物油脂から採取した長鎖脂肪酸のモノアルキルエステルから構成される燃料です。バイオディーゼル混合燃料は、容積基準で石油系ディーゼル燃料と混合されたバイオディーゼルです。

バイオディーゼルを含む燃料を使用する前に、この取扱説明書の「バイオディーゼルの使用要件と推奨事項」を確認してください。

環境法および規制によってバイオ燃料が推奨または禁止されている場合があります。オペレータはバイオ燃料を使用する前に適切な政府機関に相談してください。

欧州連合内で運転される John Deere™ ステージ V エンジン

ディーゼルまたはノンロードガスオイル (軽油) を使用して欧州連合内でエンジンを運転する場合は、FAME 濃度が容積比 8% (B8) を超えない燃料を使用してください。

欧州連合内で運転される排ガスフィルタ装備の John Deere™ エンジン (ステージ V エンジンを除く)

B20 までのバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル (100% バイオディーゼルまたは B100) が ASTM D6751、EN 14214、または同等の規格に適合する場合のみ使用できます。B20 の使用時は、2% の出力低下と 3% の燃費低下を見込んでください。

B20 を超えるバイオディーゼル濃度は排出ガス制御システムに悪影響を及ぼす場合があるので使用しないでください。静止再生頻度が増える、すすがたまる、灰除去の回数が増えるなど、その他のリスクが生じます。

B10 ~ B20 のバイオディーゼル混合燃料を使用するときは、燃料清浄剤と分散添加剤を含んでいる John Deere™ 燃料コンディショナまたは同等品が必要です。また、より低濃度のバイオディーゼル混合燃料を使用する場合も John Deere™ 燃料コンディショナの使用を推奨します。

排ガスフィルタ非装備の John Deere™ エンジン

B20 までのバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル (100% バイオディーゼルまたは B100) が ASTM D6751、EN 14214、または同等の規格に適合する場合のみ使用できます。B20 の使用時は、2% の出力低下と 3% の燃費低下を見込んでください。

これらの John Deere™ エンジンは B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料 (最大 100% バイオディーゼル) で運転できます。バイオディーゼル燃料が法律で許可

[1] *エンジンオイルとフィルタの整備間隔について詳しくは、「DX,ENOIL12,OEM」、「DX,ENOIL12,T2,STD」、または「DX,ENOIL12,T2,EXT」を参照してください。*

され、かつ EN 14214 の仕様に適合する場合にのみ (主にヨーロッパで入手可能)、B20 を超えるレベルで運転してください。B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料で運転するエンジンは、すべての該当する排出ガス規制に完全には準拠していない場合があり、認められない場合もあります。100% バイオディーゼルの使用時は、最大 12% の出力低下と 18% の燃費低下を見込んでください。

B10 ~ B100 のバイオディーゼル混合燃料を使用するときは、燃料清浄剤と分散添加剤を含んでいる John Deere™ 燃料コンディショナまたは同等品が必要です。また、より低濃度のバイオディーゼル混合燃料を使用する場合も John Deere™ 燃料コンディショナの使用を推奨します。

バイオディーゼルの使用要件と推奨事項

すべてのバイオディーゼル混合燃料の石油系ディーゼル部分は、ASTM D975 (US) または EN 590 (EU) 商業規格の要件を満たす必要があります。

米国のバイオディーゼル利用者には、(National Biodiesel Board：全米バイオディーゼル会議認定の) BQ-9000 認定生産者が生産したバイオディーゼル混合燃料を、BQ-9000 認定販売業者から購入することを強くお勧めします。公認販売業者および認定生産者は次の Web サイトで検索できます。http://www.bq9000.org

バイオディーゼルには残灰が含まれています。灰のレベルが ASTM D6751 または EN14214 で認められている最大値を超えると、灰の堆積が速まり、エグゾーストフィルタがある場合は必要なクリーニング回数が増える可能性があります。

バイオディーゼル燃料の使用時は、特にディーゼル燃料から切り替えると、より頻繁に燃料フィルタを交換する必要があります。毎日、エンジン始動前にエンジンオイルレベルを点検してください。オイルレベルの上昇はエンジンオイルの燃料希釈を示す場合があります。B20 までのバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル生産日から 90 日以内に使用しなければなりません。B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル生産日から 45 日以内に使用してください。

B20 までのバイオディーゼル混合燃料の使用時には、次の事項を考慮する必要があります：

- 寒冷気候での流性低下
- 安定性と保管の問題 (吸湿、微生物増殖)
- フィルタの制限と目詰まりの可能性 (通常、中古エンジンで初めてバイオディーゼルに切り替えるときの問題)
- シールやホースからの燃料漏れの可能性 (主に、古いエンジンでの問題)
- エンジン部品の耐用年数の減少

燃料がこの取扱説明書に記載された仕様に準拠していることを確認するには、燃料販売店に分析証明書を要求してください。

バイオディーゼル燃料の保管と性能を向上するには、John Deere™ 燃料製品について John Deere™ 取扱店にお問い合わせください。

B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料の使用時には、次の事項も考慮する必要があります。

- 燃料清浄剤 / 分散剤を含んでいる John Deere™ 燃料添加剤やコンディショナまたは同等品を使用しない場合、コーキングやインジェクターノズルの詰まりが発生し、出力損失やエンジンの失火の原因になる可能性があります。
- クランクケースのオイル希釈の可能性 (より頻繁なオイル交換が必要になる)
- 内部部品のラッカリングまたは焼き付きの可能性
- スラッジや沈殿の形成
- 高温時に燃料の熱酸化の可能性
- 燃料処理装置、分配装置、保管装置で使用されるその他の材料 (銅、鉛、亜鉛、錫、黄銅、青銅など) との互換性の問題
- 油水分離器の効率低下
- バイオディーゼルにさらされた塗料の損傷の可能性
- フューエルインジェクション装置の腐食の可能性
- エラストマーシールまたはガスケットの材質劣化の可能性 (主に古いエンジンでの問題)
- 燃料システム内の高い酸性度の可能性
- B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料にはより多くの灰が含まれるため、B20 を超える混合燃料を使用すると灰の堆積が速まり、排ガスフィルタがある場合は必要なクリーニング回数が増える可能性があります。

重要：**圧搾植物原料油はどの濃度でも、燃料として John Deere™ エンジンに使用することはできません。使用するとエンジン故障の原因となる可能性があります。**

DX,FUEL7-40-13JAN18

ディーゼル燃料の潤滑性

米国、カナダ、および EU で生産されるほとんどのディーゼル燃料は、フューエルインジェクションシステム部品の適切な作動と耐久性を保証する十分な潤滑性を備えています。ただし、世界の一部の地域で生産されるディーゼル燃料には、必要な潤滑性を備えていないものがあります。

重要：**自分の機械で使用するディーゼル燃料が適切な潤滑特性を示すことを確認してください。**

燃料潤滑性が ASTM D6079 または ISO 12156-1 によって評価される最大傷跡直径 0.52 mm に合格しなければなりません。最大傷跡直径 0.45 mm が推奨されます。

使用する燃料の潤滑性が低いまたは不明な場合は、John Deere Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (または同等品) を指定の濃度で加えてください。

バイオディーゼル燃料の潤滑性

燃料の潤滑性は、B20 (20% バイオディーゼル) までのバイオディーゼル混合燃料では大幅に改善されます。B20 以上のバイオディーゼル混合燃料では燃料の潤滑性が増加しにくくなります。

DX,FUEL5-40-07FEB14

ディーゼル燃料の補助添加剤

ディーゼル燃料は、多くの理由から性能またはその他の作動上の問題の原因となることがあります。たとえば、不十分な潤滑性、汚染物質、低セタン値、および燃料システム堆積物を生成させるさまざまな特性があります。これらの問題や他の問題については、このオペレータマニュアルの他のセクションでも説明します。

エンジンの性能と信頼性を最適化するため、このオペレータマニュアルの各所に記載される燃料品質、保管、および取り扱いに関する推奨事項によく従ってください。

エンジンの燃料システムの性能と信頼性を維持する際にさらに役立つように、John Deere は燃料添加剤製品ファミリをほとんど世界中の市場向けに開発しています。主要製品として、Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (冬季 / 夏季処方の汎用コンディショナ) と Fuel-Protect Keep Clean (フューエルインジェクタ堆積物の除去および予防) があります。これらの製品や他の製品を入手できるかは市場ごとに異なります。ニーズに適した燃料添加剤の入手方法と詳細については、現地の John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DX,FUEL13-40-07FEB14

ディーゼル燃料のテスト

燃料分析プログラムは、ディーゼル燃料の品質監視に役立ちます。燃料分析では、計算セタン指数、燃料の種類、硫黄分、水分、外観、寒冷時の運転に対する適合性、バクテリア、曇り点、酸価、微粒子汚染、ASTM D975 または同等の仕様に対する燃料の適合性など、重要なデータを取得できます。

ディーゼル燃料分析について詳しくは、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

DX,FUEL6-40-13JAN18

ディーゼルエンジンに対する寒冷気候の影響を最小限に抑える方法

John Deere ディーゼルエンジンは、寒冷気候で有効に作動するように設計されています。

ただし、効果的な始動と寒冷気候での運転のためには、若干の特別な手入れが必要です。以下の情報は、寒冷気候がエンジンの始動および運転に与える影響を最小限に抑えるための手順の概要です。追加情報や各地で使用可能な寒冷地での補助については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

冬用燃料の使用

温度が 0 °C (32 °F) より低いときは、冬用燃料 (北米では No. 1D) が寒冷気候での運転に最も適しています。冬用燃料は曇り点、流動点がより低く設定されています。

曇り点とは、燃料内でワックス分が析出し始める温度のことです。このワックスは燃料フィルタの目詰まりの原因になります。**流動点**とは、燃料の動きが見られる最低温度のことです。

注記：一般的に、冬用等級のディーゼル燃料の BTU (熱容量) は低く設定されています。冬用燃料を使用すると出力や燃費が低下する場合がありますが、他のエンジン性能には影響しません。寒冷気候での運転時の低出力の問題については、トラブルシューティングの前に使用中の燃料の等級を確認してください。

吸気ヒーター

吸気ヒーターは、寒冷気候での始動補助のために一部のエンジンで使用可能なオプションです。

エーテル

吸入口のエーテルポートは、寒冷気候での始動補助のために使用可能です。

注意：エーテルは高い引火性があります。グロープラグまたは吸気ヒーターを備えたエンジンの始動時にはエーテルを使用しないでください。

クーラントヒーター

エンジンブロックヒーター (クーラントヒーター) は、寒冷気候での始動補助のために使用可能なオプションです。

季節に適した粘度のオイルと適切なクーラント濃度

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に基づいて、季節に適した粘度等級のエンジンオイル、および推奨されている適切な濃度のケイ酸塩不凍液を使用してください。(このセクションの「ディーゼルエンジンオイル」と「エンジンクーラント」の要件を参照してください)。

ディーゼル燃料コールドフロー添加剤

John Deere™ Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (Winter Formula) を使用してください。これは、冬用でない等級の燃料 (北米では No. 2D) を寒冷時期に処理する、ゲル化防止剤または同等の燃料コンディショナを含んでいます。通常、これによって燃料曇り点より約 10°C (18°F) 低い温度まで運転性が拡張されます。さらに低い温度での運転には、冬用燃料を使用してください。

重要：外気温が 0°C (32°F) より低いときは燃料を処理してください。最適な結果を得るためには、未処理燃料を使用してください。ラベルに記載されたすべての推奨事項に従ってください。

バイオディーゼル燃料

バイオディーゼル混合燃料で運転する場合は、気温がそれほど低くないときでもワックス分が析出する可能性があります。5°C (41°F) になったら John Deere™ Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (Winter Formula または同等品) の使用を開始して、寒冷気候でのバイオディーゼル燃料の処理を行ってください。温度が 0°C (32°F) より低いときは、B5 以下のブレンドを使用します。温度が -10°C (14°F) より低いときは、冬用の石油系ディーゼル燃料のみを使用してください。

ウィンターフロント

布類、段ボール、または固いウィンターフロントは、John Deere エンジンでは推奨されません。使用すると、エンジンクーラント、オイル、およびチャージエア温度が過度に高くなる可能性があります。これは、エンジン寿命の短縮、出力の損失、燃費の低下につながります。ウィンターフロントはファンやファンドライブ部品を異常に酷使し、故障を早める可能性もあります。

ウィンターフロントを使用する場合は、フロントグリル域を完全には閉鎖しないでください。グリルの中心の約 25% は常に開放されたままにする必要があります。気道を塞ぐ装置をラジエータコアに決して直接接触させないでください。

ラジエータシャッター

サーモスタット制御式ラジエータシャッターシステムを装備している場合は、吸気マニホールド温度の過大な上昇を防止するため、クーラントが 93°C (200°F) に達するまでにシャッターを完全に開放するなどの方法で、システムを調整する必要があります。手動制御システムは推奨されません。

空冷式アフタークーラーを使用する場合は、インテークマニホールド空気温度が、チャージエアクーラーから出てくるときの最大許容温度に達するまで、シャッターを完全に開放する必要があります。

詳細については、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

DX,FUEL10-40-13JAN18

ディーゼルエグゾーストフルード (DEF)：選択接触還元 (SCR) を装備したエンジンへの使用

エンジンの排出ガス性能を維持するには、仕様に従って DEF を使用し、補給することが重要です。

排ガス処理用尿素水 (DEF) は、選択接触還元 (SCR) システムを装備したエンジンの排気システムに注入される高純度の液体です。DEF の純度を保つことは、SCR システムの故障防止のために重要です。DEF を必要とするエンジンでは、ISO 22241-1 に従って尿素水溶液 32 (AUS 32) の要件に適合する製品を使用しなければなりません。

John Deere Diesel Exhaust Fluid の使用をお勧めします。John Deere Diesel Exhaust Fluid は、John Deere 取扱店から用途に適したさまざまなサイズのパッケージで入手できます。

John Deere 排ガス処理用尿素水 (DEF) を入手できない場合は、米国石油協会 (API) の排ガス処理用尿素水 (DEF) 証明制度または AdBlue™ の排ガス処理用尿素水 (DEF) 証明制度よって認定されている排ガス処理用尿素水 (DEF) を使用してください。容器上の API 認定マークまたは AdBlue™ 名を探してください。

RG30211—UN—08MAR18

排ガス処理用尿素水 (DEF) は次のいずれかの名前で呼ばれる場合があります。

- 尿素
- 尿素水溶液 32
- AUS 32
- AdBlue™
- NOx 還元剤
- 触媒溶液

DX,DEF-40-13JAN18

ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) のテスト

重要： **適切な濃度の DEF を使用することは、エンジンと後処理システムの性能にとって非常に重要です。 長期保存や他の条件により、DEF 濃度が低下することがあります。**

DEF 品質が疑わしい場合は、DEF タンクまたは保管用タンクから清浄な容器にサンプルを採ります。 DEF は透明でわずかなアンモニア臭があります。 DEF が濁って色がつき、アンモニア臭が強くなった場合は、基準値を満たしていない可能性があります。 この状態の DEF は使用しないでください。 タンクを空にして蒸留水でフラッシングし、新品または良好な DEF を補充します。 タンクに補充した後、DEF 濃度を点検してください。

DEF が目視テストと嗅覚テストに合格した場合は、DEF 測定用に較正された携帯型屈折計で DEF 濃度を点検します。

エンジンを長期保管していた場合、またはエンジンやパッケージ DEF フルードに水が混入した疑いがある場合は、DEF 濃度を点検してください。

2 つの認可済みツールが John Deere 取扱店から入手できます。

- JDG11594 デジタル DEF 屈折計：濃度測定値を簡単に読み取れるデジタルツールです

AdBlue は VDA (ドイツ自動車工業会) の商標です。

- JDG11684 DEF 屈折計：低価格な代替ツールで、アナログ読み取りに対応しています

測定方法については、各工具に付属の説明書を参照してください。

適切な DEF 濃度は 31.8 ~ 33.2% 尿素です。 DEF 濃度が基準値内にない場合は、DEF タンクを空にして蒸留水でフラッシングし、新品または良好な DEF を補充します。 パッケージの DEF が基準値内にない場合は、DEF パッケージを廃棄し、新品または良好な DEF と交換します。

DX,DEF,TEST-40-13JUN13

ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) の保管

注意： 目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

DEF を摂取しないでください。DEF を摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要： 後処理装置の部品をいじったり取り外したりするのは違法です。要求される仕様に適合しない DEF を使用したり、DEF なしでエンジンを作動させたりしないでください。

絶対に農業用尿素と水の混合による DEF の生成を試みないでください。農業用尿素は必要な仕様に適合しないため、後処理システムを損傷させる可能性があります。

凍結防止のために何らかの薬剤や添加剤を DEF に加えないでください。薬剤や添加剤を DEF に加えると、後処理システムを損傷させる可能性があります。

絶対に水や他の液体を DEF の代わりとして、または DEF に加えて補充しないでください。手を加えた DEF による作動、または無認可の DEF の使用により、後処理システムが損傷するおそれがあります。

以下の保管に関する情報は参照用であり、ガイドラインとしてのみ使用してください。

DEF は極端な外気温にならない場所に保管することをお勧めします。排ガス処理用尿素水 (DEF) は −11°C (12°F) で凍結します。30°C (86°F) を超える温度にさらされると、排ガス処理用尿素水 (DEF) が徐々に劣化するおそれがあります。直射日光の当たる場所に DEF を保管しないでください。

蒸発および汚染防止のため、使用しないときは専用の DEF 保管容器に密閉する必要があります。DEF の運搬や保管には、ポリエチレン、ポリプロピレン、またはステンレス製の容器をお勧めします。

理想的な DEF 保管条件は次のとおりです。

- –5°C ~ 30°C (23°F ~ 86°F) の温度で保管
- 汚染および蒸発防止のため、専用容器に密閉して保管

これらの条件のもとでは、DEF は通常 18 か月以上使用可能です。DEF を高温で保管すると、DEF の利用可能な期間は 30°C (86°F) から 5°C (9°F) 上がるごとに約 6 か月短縮する可能性があります。

DEF の保管期間や保管状況が不明の場合は、DEF をテストしてください。「排ガス処理溶液尿素水 (DEF) のテスト」を参照してください。

DEF タンクでの長期保管 (12 か月以上) は推奨されません。長期保管が必要な場合は、エンジンを作動させる前に DEF をテストしてください。「排ガス処理溶液尿素水 (DEF) のテスト」を参照してください。

12 か月以内に使い切れる量の DEF を購入することをお勧めします。

DX,DEF,STORE-40-15JUL20

ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) タンクの補充

TS1731—UN—23AUG13

注意： 目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

DEF を摂取しないでください。DEF を摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要： DEF の供給に使用する部品の洗浄には、蒸留水のみを使用してください。水道水は排ガス処理用尿素水 (DEF) を汚損する可能性があります。蒸留水を入手できない場合は、清浄な水道水で洗浄してから、十分な量の DEF でよくゆすいでください。

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

DEF がエンジンの燃料タンクや他の液体の容器に注入されている場合は、システムから DEF を適切にパージするまでエンジンを作動させないでください。すぐ John Deere 取扱店に問い合わせて、システムの洗浄とパージの方法を確認してください。

DEF タンクに補充するときは十分な注意を払ってください。DEF タンクのキャップを外す前に周辺にごみがないことを確認してください。汚染および蒸発防止のため、使用しないときは DEF 容器を密閉してください。

DEF がはね散って、肌、目、口に入らないようにしてください。

DEF の取り扱いは危険ではありませんが、スチール、鉄、亜鉛、ニッケル、銅、アルミニウム、マグネシウムなどの材料が腐食するおそれがあります。DEF の運搬や保管には適切な容器を使用してください。ポリエチレン、ポリプロピレン、またはステンレス製の容器をお勧めします。

肌に長時間触れることは避けてください。うっかり肌に触れた場合は、すぐに石けん水で洗ってください。

DEF の保管や小出しに使う容器に泥やほこりがつかないようにします。容器やじょうごは蒸留水でよく洗浄して汚れを取り除きます。

ディーゼル燃料やクーラントなどの認められていない液体を DEF タンクに追加した場合は、すぐ John Deere 取扱店に問い合わせて、システムの洗浄とパージの方法を確認してください。

水を DEF タンクに追加していた場合は、タンクの洗浄が必要です。このマニュアルの「DEF タンクの洗浄」参照。タンクに注入した後、排ガス処理用尿素水 (DEF) 濃度を点検してください。「排ガス処理溶液尿素水 (DEF) のテスト」を参照してください。

オペレータは常に適切な DEF レベルを保つ必要があります。排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルは毎日点検し、必要に応じてタンクに補給してください。注入口は、以下の DEF のエンボスマーク付きの青色のキャップで識別できます。

DX,DEF,REFILL-40-15JUL20

ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) の廃棄

DEF が地面に少しこぼれてもほとんど問題はありませんが、大量の DEF は防止してください。 大量にこぼれた場合は、除去について現地の環境関係機関に問い合わせてください。

大量の DEF が基準値内にない場合は、廃棄について DEF 販売業者に問い合わせてください。 大量の DEF を地面に捨てたり、DEF を汚水処理施設に送り出したりしないでください。

DX,DEF,DISPOSE-40-13JUN13

ディーゼルエンジンクーラント (ウェットスリーブシリンダライナー付きエンジン)

該当するクーラント規格および抜き取り間隔に従わないと、保証の対象とはならない重大なエンジンの損傷が発生するおそれがあります。保証 (排出ガス規制に関する保証など) は John Deere のクーラント、部品、または整備の使用を条件としていません。

推奨クーラント

以下のプレミックスタイプのエンジンクーラントをお勧めします。

- **John Deere COOL-GARD™II**
- **John Deere COOL-GARD II PG**

COOL-GARD II 予混合タイプのクーラントは、次の表に示すように、凍結予防の限界の異なる複数の濃度で用意されています。

COOL-GARD II プレミックス	凍結予防の限界
COOL-GARD II 20/80	-9°C (16°F)
COOL-GARD II 30/70	-16°C (3°F)
COOL-GARD II 50/50	-37°C (-34°F)
COOL-GARD II 55/45	-45°C (-49°F)
COOL-GARD II PG 60/40	-49°C (-56°F)
COOL-GARD II 60/40	-52°C (-62°F)

すべての COOL-GARD II 予混合タイプの製品がすべての国で販売されているわけではありません。

毒性のないクーラントの処方が必要な場合は、COOL-GARD II PG を使用してください。

その他の推奨クーラント

次のエンジンクーラントも推奨されています。

- John Deere COOL-GARD II Concentrate (上質水との 40 ~ 60% の混合)

重要： **クーラント濃縮液と水を混合するときは、40% 未満または 60% を超える濃度のクーラントを使用しないでください。40% 未満は腐食防止用の添加剤としては不十分です。60% を超えると、クーラント凍結や冷却システムの問題が発生することがあります。**

その他のクーラント

その他、次の基準に適合するエチレングリコール系またはプロプレングリコール系のクーラントを使用できます。

- ASTM D6210 の要件に適合するプレミックスクーラント
- 2-エチルヘキサン酸 (2-EHA) を含まない添加剤パッケージで調合されている

COOL-GARD は Deere & Company の商標です。

- ASTM D6210 の要件に適合するクーラント濃縮液 (濃縮液と上質水の 40 ~ 60% の混合液)

これらの基準のいずれかに適合するクーラントを入手できない場合は、少なくとも次の化学的または物理的特性を備えた濃縮タイプまたは予混合タイプのクーラントを使用します。

- John Deere のキャビテーションテスト方法または 60% 負荷以上でのフリートスタディランに従って、シリンダライナーのキャビテーションを保護する
- 亜硝酸塩を使わない添加剤パッケージで調合されている
- 2-エチルヘキサン酸 (2-EHA) を含まない添加剤パッケージで調合されている
- 冷却システムの金属 (鋳鉄、アルミ合金、真鍮などの銅合金) を腐食から保護する

水質

冷却システムの性能にとって水質は重要です。エチレングリコール系とプロプレングリコール系エンジンクーラント濃縮液と混合するには、脱イオン水や脱塩水を推奨します。

クーラントの交換間隔

指定間隔で冷却システムをフラッシングして新しいクーラントを補充します。この間隔は使用するクーラントによって異なります。

COOL-GARD II または COOL-GARD II PG を使用する場合、交換間隔は 6 年または 6000 運転時間です。

COOL-GARD II または COOL-GARD II PG 以外のクーラントを使用する場合、交換間隔は 2 年または 2000 運転時間に短縮されます。[2]

重要： **冷却システムシーリング添加剤、またはシーリング添加剤を含む不凍液を使用しないでください。**

エチレングリコール系とプロプレングリコール系のクーラントを混合しないでください。

亜硝酸塩を含むクーラントは使用しないでください。

DX,COOL3-40-25AUG20

John Deere COOL-GARD™ II Coolant Extender

一部のクーラント添加剤はエンジンの運転に伴い、次第に減っていきます。 COOL-GARD™ II 予混合タイプと COOL-GARD II 濃縮タイプ使用の際は、COOL-GARD II Coolant Extender を加えることにより、交換時期までの間クーラント添加剤を補充してください。

COOL-GARD II Coolant Extender は、COOL-GARD II 試験紙で使用すべきとの結果が出ない限り加えないでください。 これらの試験紙は、エンジンクーラントの凍結点、添加剤レベル、および pH を点検するシンプルで効果的な手段です。

12 か月ごと、および漏れや過熱によってクーラントが著しく失われた場合にクーラント液をテストしてください。

重要： **COOL-GARD II PG には COOL-GARD II 試験紙を使用しないでください。**

COOL-GARD II Coolant Extender は、すべての COOL-GARD II クーラントで使用するために、化学的に調合された添加剤システムです。 COOL-GARD II Coolant Extender は、亜硝酸塩を含むクーラントで使用するためのものではありません。

重要： **冷却システムを空にした後に次のいずれかで補充した場合は、補助クーラント添加剤を加えないでください。**

- **John Deere COOL-GARD II**
- **John Deere COOL-GARD II PG**

推奨されていない補助クーラント添加剤を使用すると、添加剤の減少、クーラントの凍結、または冷却システムの部品の腐食が発生する可能性があります。

推奨濃度の COOL-GARD II Coolant Extender を追加してください。 推奨される量以上に加えないでください。

DX,COOL16-40-15MAY13

温暖気候での運転

John Deere エンジンは、推奨エンジンクーラントを使用して運転するように作られています。

凍結予防の必要がない地域で運転する場合も、推奨されるエンジンクーラントを必ず使用してください。

重要： ***緊急時のみ*、クーラントの代わりに水を使用できます。**

クーラントとして水を使用した場合は、クーラント添加剤を追加しても、発泡、高温アルミニウムや鉄の腐食、酸化物の付着、キャビテーションが発生します。

できるだけ早く冷却システムを空にして、推奨されるエンジンクーラントを補充してください。

DX,COOL6-40-15MAY13

COOL-GARD は Deere & Company の商標です。

[2] クーラント分析により「その他のクーラント」の点検間隔を最長まで延長できる場合があります。ただし、Cool-Gard™ II の点検間隔を超えることはできません。クーラント分析では、通常の点検間隔を超えてクーラントを使用し、データによりクーラントが有効寿命に達したことが示されるか、最長の点検間隔に至るまで 1000 時間ごとに一連のクーラントのサンプリングを行います。

クーラント濃縮タイプと混合する場合の水質

エンジンクーラントは 3 つの化学成分の組み合わせです。つまりエチレングリコール (EG) またはプロプレングリコール (PG) 不凍液、抑制クーラント添加剤、上質水を組み合わせたものです。

冷却システムの性能にとって水質は重要です。エチレングリコール系とプロプレングリコール系エンジンクーラント濃縮液と混合するには、脱イオン水や脱塩水を推奨します。

冷却システムで使用するすべての水は、次に示す品質の最低仕様に適合する必要があります。

塩化物	<40 mg/L
硫酸塩	<100 mg/L
全固形物	<340 mg/L
全溶解物 / 硬度	<170 mg/L
pH	5.5 ~ 9.0

重要：**ボトル飲料水には高濃度の全蒸発残留物が含まれることが多いので使用しないでください。**

凍結予防

エンジンクーラント内のグリコールと水の相対濃度により、凍結予防の限界が決まります。

エチレングリコール	凍結予防の限界
40%	-24°C (-12°F)
50%	-37°C (-34°F)
60%	-52°C (-62°F)
プロプレングリコール	**凍結防止限界**
40%	-21°C (-6°F)
50%	-33°C (-27°F)
60%	-49°C (-56°F)

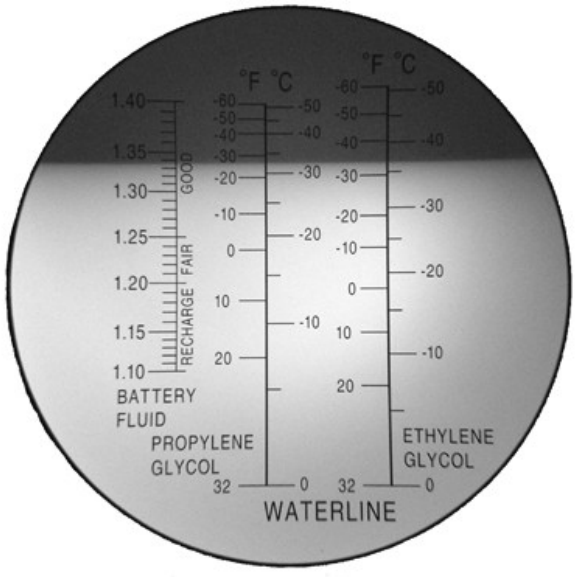
60% エチレングリコールまたは 60% プロプレングリコールを超える冷却水の混合液を使用しないでください。

DX,COOL19-40-13JAN18

クーラントの凝固点のテスト

TS1732—UN—04SEP13

SERVICEGARD™ 品番 75240



TS1733—UN—04SEP13

50//50 クーラント 1 滴を屈折計の窓に落とした様子

携帯型クーラント屈折計の使用は、最も迅速、容易、かつ正確にクーラントの凝固点を確認する方法です。この方法は、十分な結果を得られない試験紙や浮遊式の比重計より正確です。

クーラント屈折計は John Deere 取扱店から SERVICEGARD™ 工具プログラムで入手できます。品番 75240 は、現場で正確な凝固点を確認する経済的な解決策になります。

この工具は次のように使用します。

1. 冷却システムを外気温まで冷まします。
2. ラジエータキャップを開いてクーラントを露出します。
3. 付属のスポイトで少量のクーラントサンプルを採取します。

SERVICEGARD は Deere & Company の商標です。

4. 屈折計の蓋を開き、クーラント 1 滴を窓に落として、蓋を閉じます。
5. アイピースから覗き、必要に応じて焦点を合わせます。
6. テスト中のクーラントの種類 (エチレングリコール系クーラントまたはプロプレングリコール系クーラント) ごとに示された凝固点を読み取ります。

DX,COOL,TEST-40-13JUN13

ディーゼルエンジン慣らし運転用オイル：排出ガス規制認定なし / 認定 Tier 1、Tier 2、Tier 3、Stage I、Stage II、Stage III

新品のエンジンには、工場で John Deere Break-In™ または John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルが充填されています。慣らし運転期間中は、指定のオイルレベルを維持するため、必要に応じて John Deere Break-In™ または Break-In Plus™ エンジンオイルをそれぞれ追加してください。

エンジン部品が適切に密着するように、さまざまな条件下で、特に最小限のアイドリングで重い負荷をかけてエンジンを運転します。

John Deere Break-In™ エンジンオイルを新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期運転中に使用する場合は、最長 100 時間でオイルとオイルフィルタを交換します。

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを使用する場合は、最短 100 時間から最長 John Deere Plus-50™ II または Plus-50™ オイルの規定間隔でオイルとオイルフィルタを交換します。

エンジンオーバーホール後、John Deere Break-In™ または Break-In Plus™ エンジンオイルを充填します。

John Deere Break-In™ または Break-In Plus™ エンジンオイルを入手できない場合は、次のいずれかに適合する SAE 10W-30 粘度等級のディーゼルエンジンオイルを使用し、最長 100 運転時間でオイルとフィルタを交換します。

- API サービス分類 CE
- API サービス分類 CD
- API サービス分類 CC
- ACEA オイルシーケンス E2
- ACEA オイルシーケンス E1

重要：**新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期慣らし運転では、Plus-50™ II、Plus-50™、または次のいずれかに適合するエンジンオイルを使用しないでください。**

API CK-4	**ACEA E9**
API CJ-4	**ACEA E7**
API CI-4 PLUS	**ACEA E6**
API CI-4	**ACEA E5**
API CH-4	**ACEA E4**
API CG-4	**ACEA E3**
API CF-4	
API CF-2	
API CF	

これらのオイルはエンジンの慣らし運転に適していません。

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルは、すべての排出ガス規制認定レベルの John Deere ディーゼルエンジンで使用できます。

慣らし運転期間後は、John Deere Plus-50™ II、John Deere Plus-50™、またはこのマニュアルで推奨している他のディーゼルエンジンオイルを使用します。

DX,ENOIL4-40-02NOV16

John Deere™ Break-In Plus™ エンジンオイル — インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V

新品のエンジンには、工場で John Deere™ Break-In Plus™ エンジンオイルが充填されています。慣らし運転期間中は、指定のオイルレベルを維持するため、必要に応じて John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを追加してください。

エンジン部品が適切に密着するように、さまざまな条件下で、特に最小限のアイドリングで重い負荷をかけてエンジンを運転します。

新品またはリビルトのエンジンの初期運転中は、最短 100 時間から最長 John Deere Plus-50™ II オイル用に指定されている期間の間にオイルとフィルタを交換してください。

エンジンオーバーホール後、John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを充填します。

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを入手できない場合は、次のいずれかに適合する SAE 10W-30 粘度等級のディーゼルエンジンオイルを使用します。

- API サービス分類 CK-4
- API サービス分類 CJ-4
- ACEA オイルシーケンス E9
- ACEA オイルシーケンス E6

このいずれかのオイルを新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期運転中に使用する場合は、最短 100 時間から最長 250 時間の間にオイルとオイルフィルタを交換します。

Break-In は Deere & Company の商標です。
Break-In Plus は Deere & Company の商標です。
Plus-50 は Deere & Company の商標です。

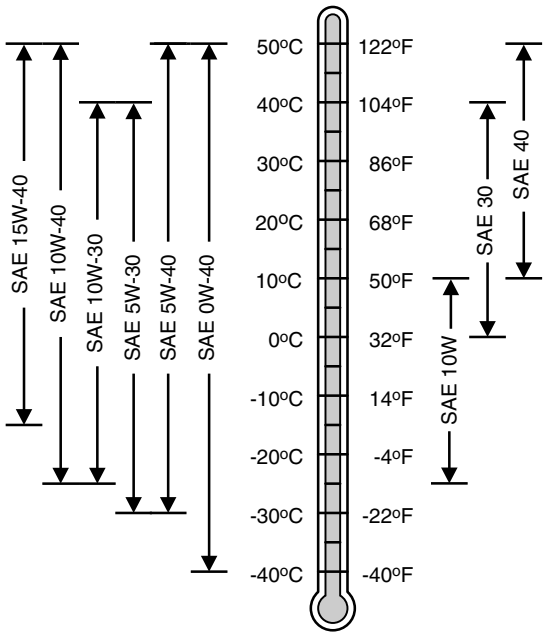
重要：**新品のエンジンやリビルトエンジンの初期慣らし運転期間中は、他のエンジンオイルを使用しないでください。**

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルは、すべての排出ガス規制認定レベルの John Deere ディーゼルエンジンで使用できます。

慣らし運転期間後は、John Deere Plus-50™ II またはこのマニュアルで推奨している他のディーゼルエンジンオイルを使用します。

DX,ENOIL16-40-13JAN18

ディーゼルエンジンオイル：Tier 2 / Stage II



TS1743—UN—25APR19

気温範囲とオイル粘度

適用可能なオイル規格と抜き取り間隔に従わない場合、保証対象とはならないエンジンの重大な損傷が発生する可能性があります。排出ガス規制に関する保証など、保証は John Deere™ のオイル、部品、または整備の使用を条件としていません。

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

John Deere™ Plus-50™ II オイルをお勧めします。

また、John Deere Plus-50™ もお勧めします。

John Deere Torq-Gard™ も使用できます。

以下の 1 つ以上の規格に適合する他のオイルも使用できます：

- API サービス分類 CK-4
- API サービス分類 CJ-4
- API サービス分類 CI-4 PLUS
- API サービス分類 CI-4
- API サービス分類 CH-4
- ACEA オイルシーケンス E9
- ACEA オイルシーケンス E7
- ACEA オイルシーケンス E6
- ACEA オイルシーケンス E5
- ACEA オイルシーケンス E4

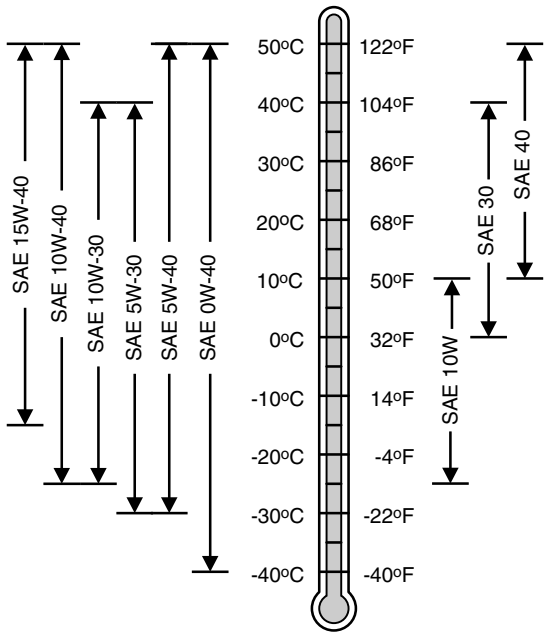
マルチグレード粘度のディーゼルエンジンオイルをお勧めします。

ディーゼル燃料の品質と燃料硫黄含有量は、エンジンを運転する地域のすべての排出ガス規制に準拠する必要があります。

硫黄含有量が 10,000 mg/kg (10,000 ppm) を超えるディーゼル燃料を使用しないでください。

DX,ENOIL7-40-23APR19

ディーゼルエンジンオイル — インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V



TS1743—UN—25APR19

気温範囲とオイル粘度

適用可能なオイル規格と抜き取り間隔に従わない場合、保証対象とはならないエンジンの重大な損傷が発生する可能性があります。排出ガス規制に関する保証など、保証は John Deere™ のオイル、部品、または整備の使用を条件としていません。

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

Plus-50 は Deere & Company の商標です。
Torq-Gard は Deere & Company の商標です。

推奨エンジンオイルは John Deere Plus-50™ II です。

John Deere Plus-50™ II エンジンオイルを使用すると、整備間隔を延ばすことができます。エンジンオイルの交換間隔の表を参照してください。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

John Deere Plus-50™ II エンジンオイルを入手できない場合は、次の 1 つ以上に適合するエンジンオイルを使用できます。

- API サービス分類 CK-4
- API サービス分類 CJ-4
- ACEA オイルシーケンス E9
- ACEA オイルシーケンス E6

1.0% を超える硫酸塩灰分、0.12% を超えるリン、または 0.4% を超える硫黄を含むエンジンオイルを使用しないでください。

マルチグレード粘度のディーゼルエンジンオイルをお勧めします。

ディーゼル燃料の品質と燃料硫黄含有量は、エンジンを運転する地域のすべての排出ガス規制に準拠する必要があります。

重要：**最大硫黄含有量が 15 mg/kg (15 ppm) の超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料のみを使用してください。**

DX,ENOIL14-40-23APR19

高高度での運転時のディーゼルエンジンオイルの点検間隔

1675 m (5500 ft) 以上の高度でエンジンを運転するときは、過度なオイルの劣化およびエンジンの損傷を防止するため、オイルとフィルタの点検間隔を推奨値の 50% に短縮してください。

オイル分析により、点検間隔を延長できる場合があります。

認可されているオイルの種類のみを使用してください。

推奨時間数の例	対応する高高度での時間数
125	60
150	75
175	85
200	100
250	125
275	135
300	150
350	175
375	185
400	200
500	250

DX,ENOIL,SERV,HIALT-40-11NOV14

エンジンオイルとフィルタの整備間隔：ティア 2/ステージ II エンジン

オイルやフィルタの推奨点検間隔は、オイルパン容量、使用されるエンジンオイルとフィルタの種類、ディーゼル燃料の硫黄含有量の組み合わせに基づきます。実際の整備間隔は運用やメンテナンスの慣行によって異なります。

オイル分析を使用してオイルの状態を評価し、オイルやフィルタの適切な点検間隔を選択する目安にしてください。エンジンオイル分析について詳しくは、John Deere™ 販売店または他の有資格の整備工場にお問い合わせください。

推奨される点検間隔より運転時間が短い場合でも、最低 12 か月に 1 回はオイルとオイルフィルタを交換してください。

ディーゼル燃料の硫黄含有量はエンジンオイルやフィルタの整備間隔に影響します。

- 硫黄含有量が 2000 mg/kg (2000 ppm) 未満のディーゼル燃料の使用をお勧めします。
- 硫黄含有量が 2000 ~ 5000 mg/kg (2000 ~ 5000 ppm) のディーゼル燃料を使用すると、オイルとフィルタの交換間隔が短縮されます。
- 硫黄含有量が 5000 mg/kg (5000 ppm) より多いディーゼル燃料を使用する前に、最寄りの John Deere™ 販売店または有資格の整備工場にお問い合わせください。

重要：**エンジンの損傷防止策**：

- **B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料の使用時は、オイルとフィルタの点検間隔を 50% 短縮してください。オイル分析により、点検間隔を延長できる場合があります。**
- **認可されているオイルの種類のみを使用してください。**

認可されているオイルの種類：

- 「Plus-50 オイル」には、John Deere Plus-50™ II と John Deere Plus-50™ が含まれます。
- 「その他のオイル」には、John Deere™ Torq-Gard™、API CK-4、API CJ-4、API CI-4 PLUS、API CI-4、API CH-4、ACEA E9、ACEA E7、ACEA E6、ACEA E5、ACEA E4 が含まれます。

エンジンオイルとフィルタの点検間隔	
燃料の硫黄分	2000 mg/kg (2000 ppm) 未満
Plus-50 オイル	375 時間

Plus-50 は Deere & Company の商標です。

Torq-Gard は Deere & Company の商標です。

エンジンオイルとフィルタの点検間隔	
その他のオイル	250 時間
燃料の硫黄分	2000 ~ 5000 mg/kg (2000 ~ 5000 ppm)
Plus-50 オイル	275 時間
その他のオイル	150 時間
燃料の硫黄分	5,000 ~ 10,000 mg/kg (5,000 ~ 10,000 ppm)
Plus-50 オイル	187 時間 (John Deere 取扱店にお問い合わせください)
その他のオイル	125 時間 (John Deere 取扱店にお問い合わせください)
オイル分析により「その他のオイル」の点検間隔を最長まで延長できる場合があります。ただし、Plus-50 オイルの点検間隔を超えることはできません。オイル分析では、通常の点検間隔を超えてオイルを使用し、データによりオイルが寿命に達したことが示されるか、John Deere Plus-50 の最長の点検間隔に至るまで 50 時間ごとにオイルのサンプリングを行います。	

DX,ENOIL12,T2,STD-40-13JAN18

エンジンオイルとフィルタの整備間隔 — インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、ステージ V エンジン

適用可能なオイル規格と抜き取り間隔に従わない場合、保証対象とはならないエンジンの重大な損傷が発生する可能性があります。排出ガス規制に関する保証など、保証は John Deere™ のオイル、部品、または整備の使用を条件としていません。

オイルやフィルタの推奨点検間隔は、オイルパン容量、使用されるエンジンオイルとフィルタの種類、ディーゼル燃料の硫黄含有量の組み合わせに基づきます。実際の点検間隔は操作やメンテナンスの慣行によって異なります。

認可されているオイルの種類

- John Deere Plus-50™ II
- 「その他のオイル」には API CK-4、API CJ-4、ACEA E9、ACEA E6 に適合するオイルが含まれます。

オイル分析を使用してオイルの状態を評価し、オイルやフィルタの適切な点検間隔を選択する目安にしてください。エンジンオイル分析について詳しくは、John Deere™ 販売店または他の有資格の整備工場にお問い合わせください。

推奨される点検間隔より運転時間が短い場合でも、最低 12 か月に 1 回はオイルとオイルフィルタを交換してください。

ディーゼル燃料の硫黄含有量はエンジンオイルやフィルタの整備間隔に影響します。燃料の硫黄濃度が高いとオイルやフィルタの点検間隔が短くなります。

硫黄含有量が 15 mg/kg (15 ppm) 未満のディーゼル燃料を使用する必要があります。

Plus-50 は Deere & Company の商標です。

エンジンオイルとフィルタの整備間隔	
John Deere Plus-50™ II	400 時間
その他のオイル	250 時間
オイル分析により「その他のオイル」の点検間隔を最長まで延長できる場合があります。ただし、Plus-50™ II オイルの点検間隔を超えることはできません。オイル分析では、通常の点検間隔を超えてオイルを使用し、データによりオイルが寿命に達したことが示されるか、John Deere Plus-50 II の最長の点検間隔に至るまで 50 時間ごとにオイルのサンプリングを行います。	

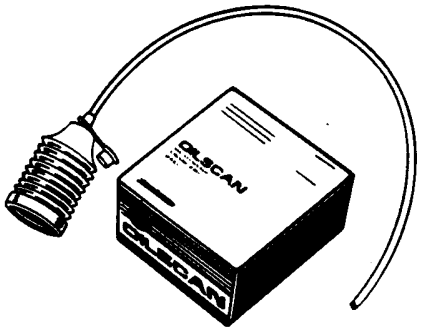
高地でエンジンを運転する場合、オイル交換間隔が短くなります。詳しくは、「高地で運転する場合のディーゼルエンジンオイルの点検間隔」を参照してください。

重要： **エンジンの損傷防止策**：

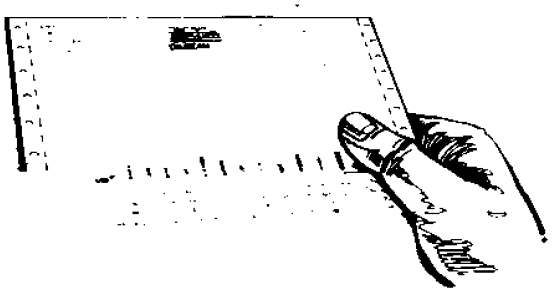
- **B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料の使用時は、オイルとフィルタの点検間隔を 50% 短縮してください。オイル分析により、点検間隔を延長できる場合があります。**
- **認可されているオイルの種類のみを使用してください。**

OUO6075,0004926-40-22MAR18

OILSCAN™ および COOLSCAN™



T6828AB—UN—15JUN89



T6829AB—UN—26AUG11

Oilscan™ および CoolScan™ は、機械性能を監視し、重大な損傷が起こる前に潜在的な問題を発見するのに役立つ John Deere サンプリングプログラムです。

Oilscan は Deere & Company の商標です。
CoolScan は Deere & Company の商標です。

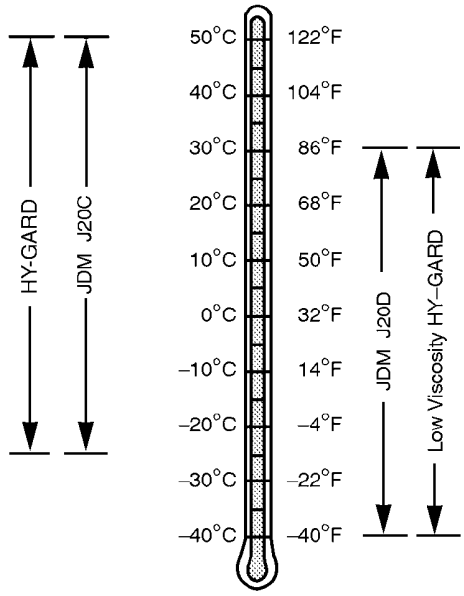
オイルとクーラントのサンプルは、推奨される交換間隔より前に各システムから採取する必要があります。

Oilscan™ および CoolScan™ キットの入手については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DX,OILSCAN-40-13SEP11

ProDrive™ トランスミッション、CommandTouch™ 多速度フィーダーハウス駆動装置、油圧駆動システム、メイン油圧系統、およびメインエンジンギヤケースオイル

注記： 機械は工場で John Deere Hy-Gard™ が充填されています。



ZX1030848—UN—15SEP02

以下のオイルのみが承認されています。

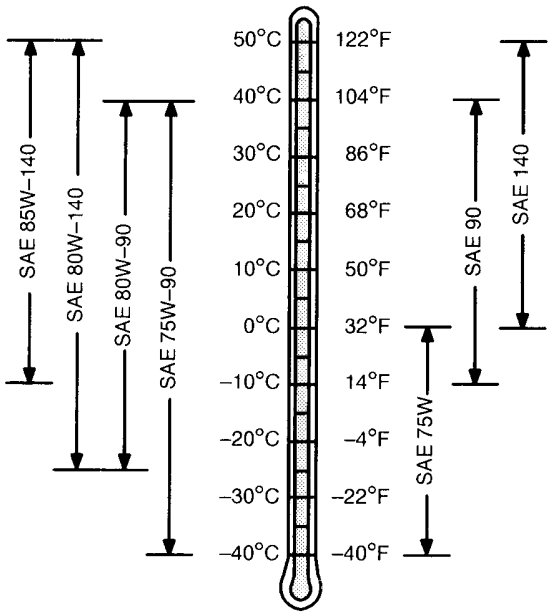
- John Deere Hy-Gard™
- John Deere Standard JDM J20C に適合しているオイル

注記： 極端に低い温度で使用する場合は、以下のみを代替として使用できます。

- *Low Viscosity Hy-Gard*™
- *John Deere Standard JDM J20D* に適合しているオイル

OUO6075,00046CB-40-30MAR17

トランスミッション (機械式シフトおよび押しボタンシフト)、ファイナルドライブ、ローディングオーガ、プライマリカウンターシャフト、および 2 速セパレータ駆動ギヤケース



TS1653—UN—14MAR96

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

以下のオイルを推奨します：

- John Deere™ GL-5 ギヤ潤滑剤
- John Deere EXTREME-GARD™

以下に適合する他のオイルも使用できます：

- API サービス分類 GL-5

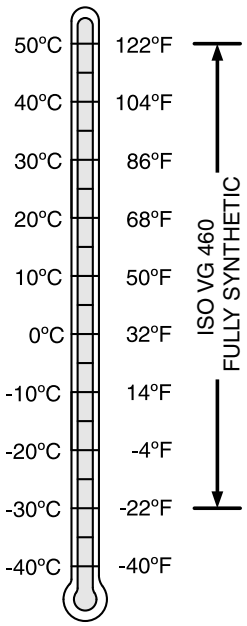
製品番号	説明	サイズ
TY6252	80W/90 GL5 ギアオイル	16 kg pail (35 lb pail)
TY6296	80W/90 GL5 ギアオイル	0.9 L 缶 (1 qt 缶)
TY6256	85W/140 GL5 ギアオイル	16 kg pail (35 lb pail)
TY6345	85W/140 GL5 ギアオイル	0.9 L 缶 (1 qt 缶)

OUO6075,0004924-40-21MAR18

Hy-Gard は Deere & Company の商標です。

EXTREME-GARD は Deere & Company の商標です。

フィーダーハウスリバーサギヤケース



H87702—UN—25JUL07

気温範囲とオイル粘度

以下のギヤオイルをお勧めします：

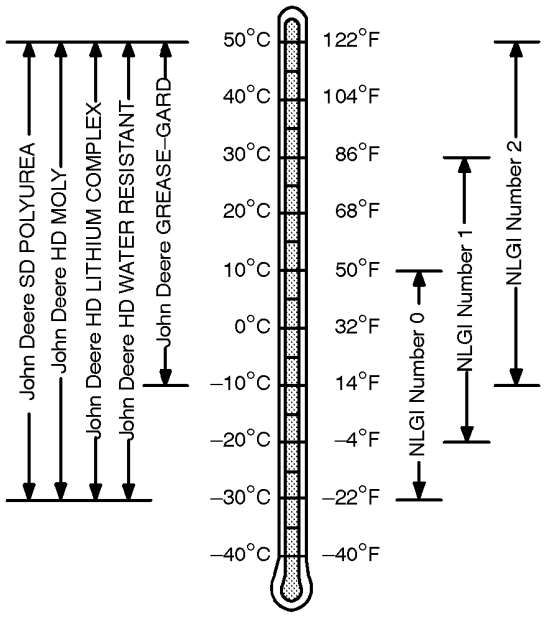
- John Deere™ ISO VG 460 完全化学合成油

以下の仕様に適合する場合は、他のオイルも使用できます：

- ISO VG 460 ギヤオイル、ISO12925-1 タイプ CKD 準拠
- ANSI/AGMA 9005-E02 (EP)
- US Steel 224
- DIN 51517-3 (CLP)

OUO6075,00046CD-40-28MAR17

グリース



TS1667—UN—30JUN99

NLGI グリースちょう度番号、および点検間隔中に予想される気温範囲に基づいたグリースを使用してください。

以下のグリースを推奨します。

- John Deere SD POLYUREA GREASE (TY6341)

以下の条件に適合する他のグリースも使用できます。

- NLGI 性能分類 GC-LB

重要：**フィーダーハウスのトルクセンシングカムには、John Deere SD POLYUREA GREASE (TY6341) が必要です。**

一部の種類の増粘されているグリースは他の種類と互換性がありません。

グリース継手がなくなっている場合は、すぐに代わりを付けます。グリースガンを使用する前に、継手をきれいにします。

製品番号	説明
TY6341	多目的、高温極圧グリースは、特に転がり接触用途で効果があります。

HX,AG,SF7350-40-26OCT99

ブレーキフルード (装備されている場合)

重要：**リザーバーキャップを取り外すときは、異物がリザーバーに入らないように注意してください。**

フルードは上部から 6 mm(1/4 in) の位置にある必要があります。

SAE J1703d、DOT-3、または DOT-4 油圧ブレーキフルードを充填してください。

OUO6075,0000AE9-40-10DEC10

オイルフィルタ

オイルの濾過は適切な作動と潤滑にとってきわめて重要です。 John Deere ブランドのオイルフィルタは John Deere 製品専用に設計および製造されています。

フィルタは、ろ材の品質、フィルタ効率等級、ろ材とエレメントエンドキャップ間の接合強度、容器の耐用年数 (該当する場合)、およびフィルタシールの圧力性能に関する製造仕様に従っています。 John Deere ブランド以外のオイルフィルタは、これらの主要 John Deere 仕様に適合しない場合があります。

フィルタは必ず、このマニュアルに記述されているとおりに定期的に交換してください。

DX,FILT1-40-11APR11

燃料フィルタ

燃料フィルタの重要性は現代の燃料システムできわめて高いものです。 排出ガス規制の強化とより効率的なエンジンへの需要の高まりにより、燃料システムを高圧で作動させる必要があります。 高い圧力は、許容範囲の非常に狭いフューエルインジェクション部品を使用してのみ実現できます。 これらの厳密な製造許容範囲により、ごみや水分の含まれる量は大幅に減っています。

John Deere ブランドの燃料フィルタは John Deere エンジン専用に設計および製造されています。

エンジンをごみや水分から保護するには、必ずこのマニュアルに記載されているとおりにエンジンの燃料フィルタを交換してください。

DX,FILT2-40-14APR11

代替潤滑剤と合成潤滑剤

特定地域の気候条件によっては、このマニュアルに記載されている潤滑剤とは別の潤滑剤が必要な場合があります。

一部の John Deere 製クーラントや潤滑剤は現地で入手できない可能性があります。

情報や推奨事項については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

このマニュアルに記載された性能要件に適合する場合は、合成潤滑剤を使用できます。

このマニュアルに示す温度限界と整備間隔は、John Deere™ ブランドのフルード、またはテストされ、John Deere™ 装置での使用が認められているフルードに適用されます。

再精製された基油製品も、精製後の潤滑性能が要件に適合すれば使用できます。

DX,ALTER-40-13JAN18

潤滑剤の保管

清浄な潤滑剤を使用した場合のみ、装置は最も効率的に作動します。

すべての潤滑剤の取り扱いには清潔な容器を使用してください。

粉塵、湿気、その他の汚染から保護された場所に潤滑剤と容器を保管してください。 水分や埃がたまらないように容器は横向きに保管してください。

すべての容器に適切にマークを付けて、中身を識別できるようにしてください。

すべての古い容器およびその中に残留している潤滑剤は適切に処分してください。

DX,LUBST-40-11APR11

潤滑剤の混合

通常、異なるブランドまたは種類のオイルを混合しないでください。 オイルメーカーは、一定の基準値や性能要件に適合するように添加剤を配合しています。

異なるオイルを混ぜると、これらの添加剤が適切に機能しなくなり、潤滑性能が低下することがあります。

仕様情報や推奨事項については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DX,LUBMIX-40-18MAR96

整備間隔 — セットアップまたは消去

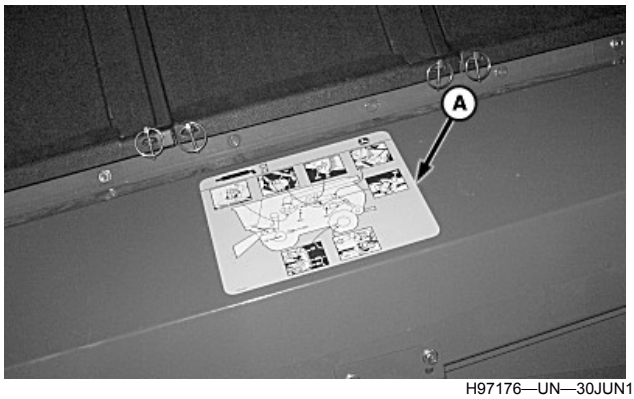
注意： 機械、ヘッダー、またはエンジンの運転中は、けがを防止するため、絶対に機械の潤滑または整備を行わないでください。エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。

重要： 点検時期は平均的な運転条件でのものです。次のような極端な条件で機械を使用している場合は、より頻繁に整備してください。

整備間隔のセットアップや消去について詳しくは、「キャリブレーションアプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

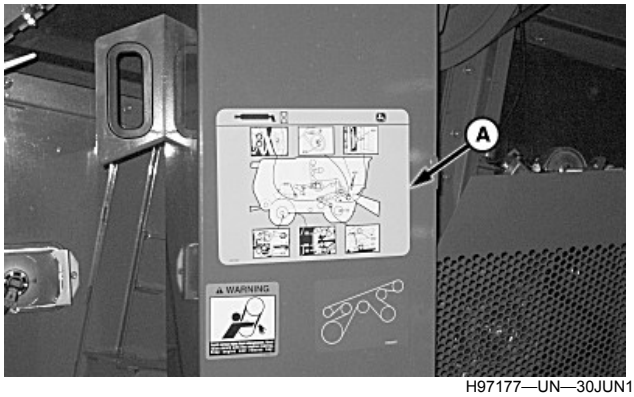
OUO6075,0004552-40-20DEC16

潤滑銘板の位置



H97176—UN—30JUN10

左側潤滑銘板



H97177—UN—30JUN10

右側潤滑銘板

A：**潤滑銘板**

重要： HillMaster 装備の機械：機械に挟まれてけがをしないように注意してください。整備、調整、または修理のために本機の下に入る前に、必ず本機のレベリングシステムを完全に下げてください。エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

潤滑銘板 (A) には、機械のグリースポイントのさまざまな場所が示されています。ステッカーに示されている潤滑時期に従ってください。詳細については、このセクションに示している時間間隔を参照してください。

ベアリングの故障や過熱は、火災につながる可能性があります。ベアリングの故障や過熱を減らすために、詳細についてこのセクションに示している時間間隔に従ってください。

作物材料やその他のごみがベアリングやベアリングカバーに溜まる可能性があります。収穫作業日を通じてこれらの部分を定期的に点検および清掃してください。

OUO6075,00044AF-40-14NOV16

油圧ホースの交換

油圧ホースを頻繁に点検し、漏れ、よじれ、切れ、亀裂、摩耗、腐食、ワイヤブレードの露出、または他の摩耗または損傷の兆候がないか確認してください。摩耗または損傷しているホースアセンブリは途中で使用できなくなる可能性があるので、すぐに交換してください。交換ホースについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

注意： 適正等級以外のホースを使用すると、機械の損傷や死傷事故が発生することがあります。

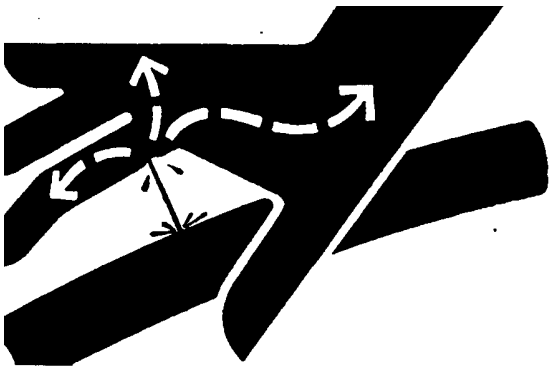
ホースを製作する場合は、交換する元のホースと同じ等級であることを確認してください。正しいホース定格の交換品については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

不適切なホース長や取り回しにより、ホースの摩耗または損傷が起こりやすくなります。これまでのホース長および取り回しを目安にしてください。

不適切な継手は対応部品の損傷や漏れの原因になります。ホースメーカーが使用を認められているスチール製継手を使用してください。交換ホースに合ったサイズとねじ山の種類のものを使用してください。

OUO6075,00043CC-40-12OCT16

油圧システムの清浄度



X9811—UN—23AUG88

注意： 圧力がかかっている液体が噴き出すと、皮膚に浸透して大けがをするおそれがあります。油圧ラインや他のラインの接続を外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかり締めてください。ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このようなけがに詳しくない医師は、Deere & Company Medical Department (Moline, Illinois)、または他の専門医療機関にお問い合わせください。

清浄度

整備のために油圧系統を外す必要がある場合は、糸くずの出ないウエスまたは透明なポリ袋を使用してホースの端部、チューブ、部品のポートを汚損から保護してください。

交換用ホースを取り付ける前に、未使用のディーゼル燃料または未使用の市販のガソリンクリーニング溶剤で 10 秒以上内側をフラッシングします。水、水溶性クリーナまたは圧縮空気は使用しないでください。

重要： 油圧系統の汚染を防ぐためには、電気コンタクトクリーナで油圧部品の面を清掃します。

マルチカプラーからカバーを取り外して、ヘッダーのドッキングステーションに接続します。ヘッダーに連結するときは、マルチカプラーの面を清掃して泥やごみを除去します。

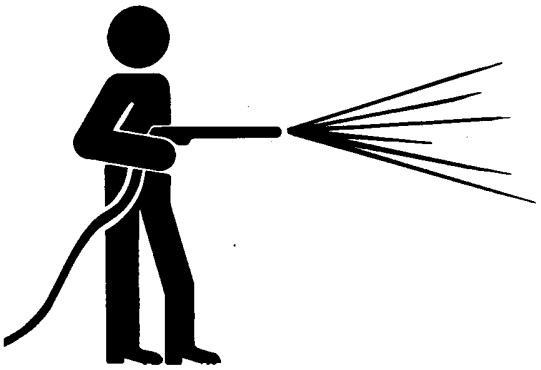
OUO6075,0004897-40-12APR18

アキュムレータ圧力

注記： 温度差によってアキュムレータ圧力は大きく変わり、調整が必要になります。詳しくは、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

OUO6075,00043CE-40-12OCT16

高圧洗浄機の使用



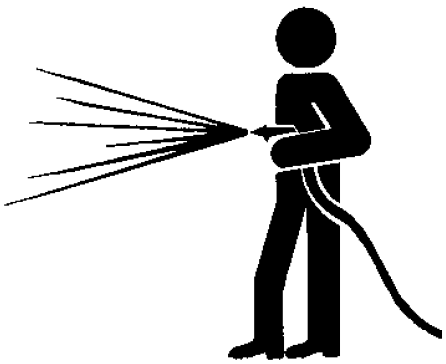
T6642EJ—UN—18OCT88

重要： 高圧洗浄機はトラクターを清掃する手段として有効です。トラクターを損傷しないために、シール面、シールや銘板を洗浄するときは 1 m (39 in) 以内に近づかず、45 ~ 90° の角度で噴霧してください。最大圧力は 12 000 kPa (120 bar) (1740 psi を超えないでください。

どのような状況でも、熱くなっている部品 (エンジンなど) に冷たい水を噴霧したり洗浄したりしないでください。回転式ノズルや 50°C (122°F) を超える温度の水は使用せず、またシール部には当てないでください。ジェット水流は常に動かしながら使用してください。高圧洗浄機を使用して冷却装置、ベアリング、電子 / 電気装置を清掃するときは、圧力を下げてください。加圧水を電子 / 電気部品やコネクタ、ベアリング、油圧シール、燃料噴射ポンプ、その他の精密部品に向けると、製品が正常に機能しなくなる場合があります。高圧洗浄機の取扱説明書と取り付けている装置のマニュアルの手順に従ってください。

OUO6075,0004977-40-17MAY18

圧縮空気の使用



RW56455—UN—30JUN97

重要： 電子 / 電気部品やコネクタ、ベアリングに圧縮空気を向けると、静電気が起きたり、製品が正常に機能しなくなったりする場合があります。

OUO6075,0004976-40-17MAY18

潤滑記号

注意： エンジン作動中は、絶対に機体を潤滑または整備を行わないでください。

John Deere Multipurpose SD Polyurea Grease 高温 / 極圧潤滑剤または同等の SAE 多目的高温極圧 (EP) グリース性能を有するもので記号に示された時間に潤滑してください。

記号に示されている時間間隔で John Deere SAE 30 オイルまたは重質のオイルを使用して潤滑します。

重要： 推奨点検間隔は平均的な運転条件でのものです。機械を悪条件で運転する場合は、より頻繁に整備してください。

OUO6075,0004F7E-40-12NOV20

指定された間隔で機械を整備する

次の表で指定されている間隔で潤滑、点検、調整を実行します。元の要件の倍数単位で項目の整備を実行します。たとえば、1000 運転時間では、500 運転時間ごと、250 運転時間ごと、100 運転時間ごと、および 25 運転時間ごと、または毎日の整備に記載されている項目も整備します。

SS43267,00006D2-40-12AUG15

重要な注意事項

重要： グリースを注油する前にグリースニップルを清掃します。損傷または紛失しているニップルはすぐに交換します。

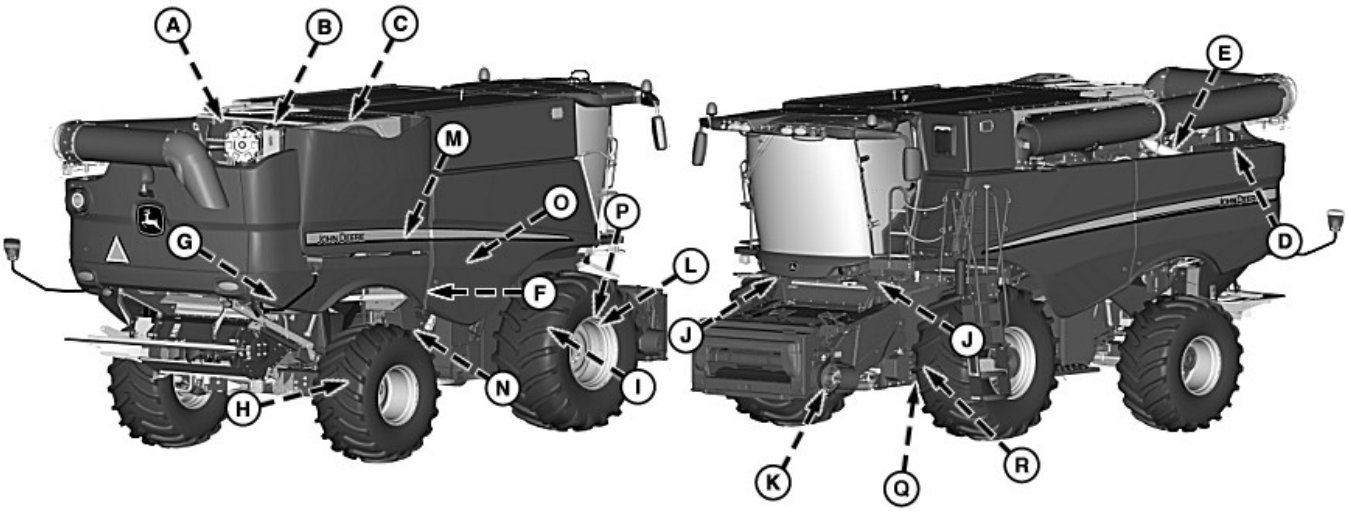
潤滑とメンテナンスの間隔はこのセクションに掲載しています。

位置と手順は、その間隔のセクションに示しています。

OUO6075,00045A8-40-25JAN17

メンテナンス—10 時間ごと

整備間隔表 — 10 時間ごと



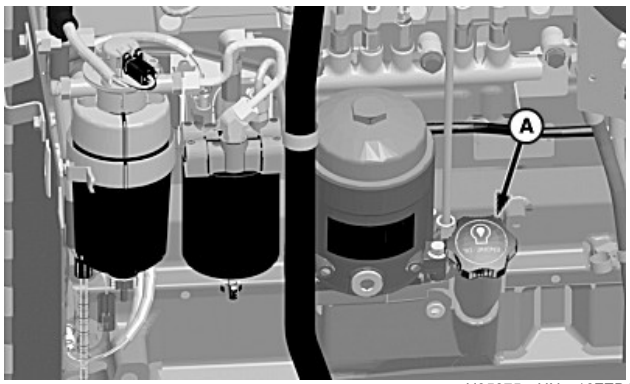
H132951—UN—18JAN21

凡例	整備	10 時間ごと
A	エンジンオイルレベルの点検	●
B	エンジンクーラントレベルの点検	●
C	ロータリースクリーン、オイルクーラー、コンデンサ、ラジエータ、チャージエアクーラーの清掃	●
D	油圧オイル / 作動油の点検	●
E	メインエンジンギヤケースオイルの点検	●
F	空気圧縮機リザーバー (装備されている場合) からの水を抜き	●
G	燃料プレクリーナフィルタの点検	●
H	2 速四輪駆動モーターのピボット部へのグリース注入 二輪駆動ヘビーデューティおよびエクストラデューティ車軸スピンドルベアリング / ピボットピンへのグリース注入 (ぬかるんだ条件)	●
I	ファイナルドライブの外側ベアリングへのグリース注入 (ぬかるんだ条件)	●
J	エアコンドレンホースの清掃	●
K	可変速度フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースへのグリース注入 (S760 および S770 機械) (過酷な条件)	●
L	ストーントラップの点検	●
M	二番エレベータスリップクラッチへのグリース注入 (難脱穀性作物条件) (S780、S785、S790 機)	●
N	ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラの清掃 (装備されている場合)	●
O	ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラの清掃 (装備されている場合)	●
P	集中潤滑油バンク (装備されている場合) (HillMaster™ 機) ● ファイナルドライブピボットへのグリース注入 ● ヘッダー傾斜プライマリシリンダピボットピンへのグリース注入 ● レベリングシリンダバレルへのグリース注入	●
Q	集中潤滑油バンクなし (HillMaster™ 機) ● ファイナルドライブピボット	●
R	集中潤滑油バンクなし (HillMaster™ 機) ● ヘッダー傾斜プライマリシリンダピボットピンへのグリース注入 ● レベリングシリンダバレルへのグリース注入	●

ActiveVision は Deere & Company の商標です。
HillMaster は Deere & Company の商標です。

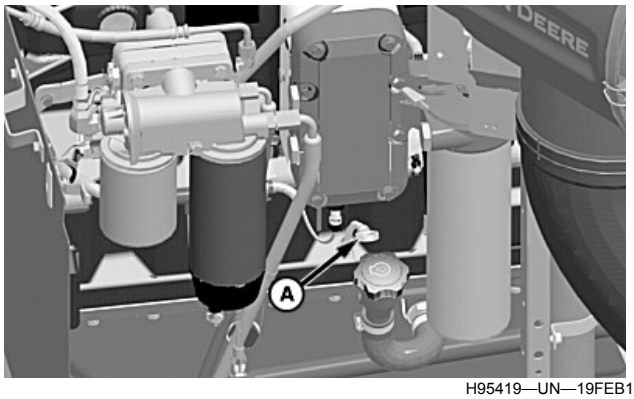
OUO6075,0004FB2-40-14MAY21

エンジンオイルレベル



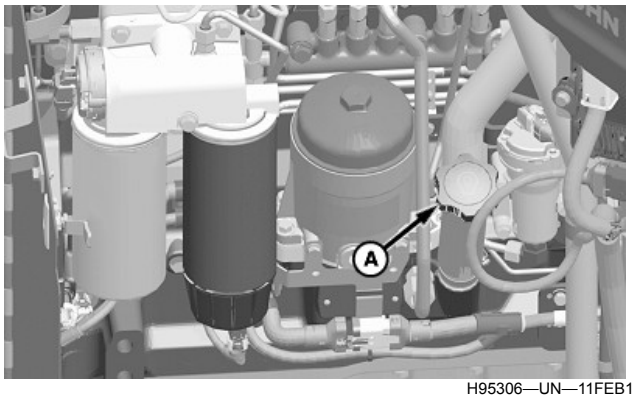
H95375—UN—16FEB10

ティア *2* / ステージ *II (*スタイル *A)*



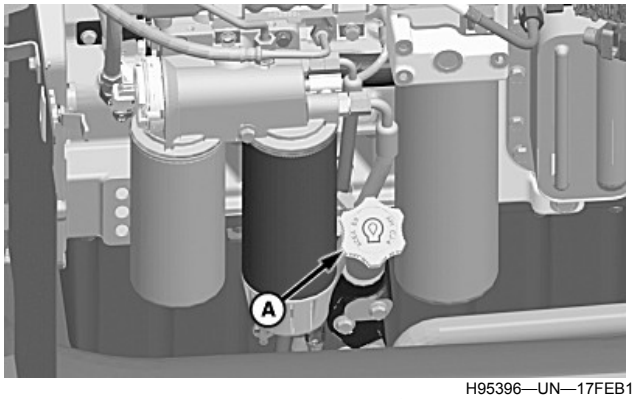
H95419—UN—19FEB10

ティア *2* / ステージ *II (*スタイル *B)*



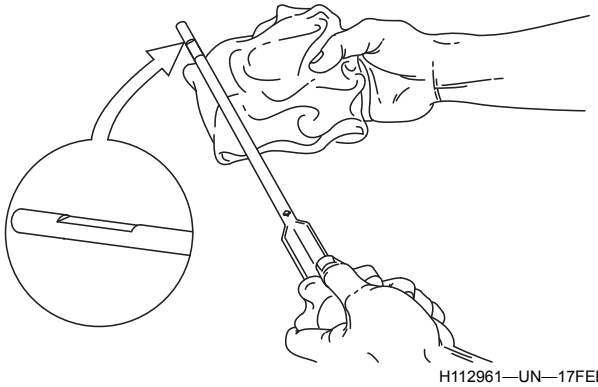
H95306—UN—11FEB10

ファイナルティア *4* / ステージ *V (*スタイル *A)*



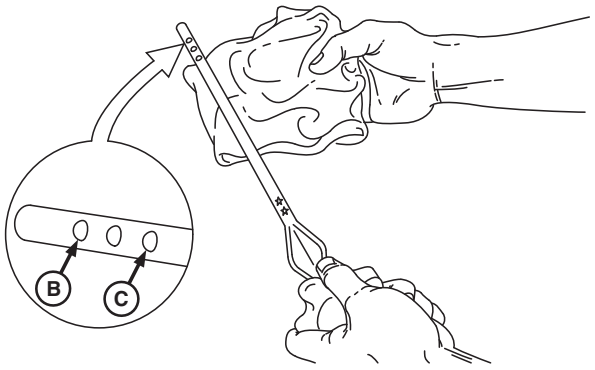
H95396—UN—17FEB10

ファイナルティア *4* / ステージ *V (*スタイル *B)*



H112961—UN—17FEB15

ティア *2* / ステージ *II*



H113142—UN—11MAR15

ファイナルティア *4* / ステージ *V*

A：**検油棒**
B：**ADD マーク**
C：**FULL マーク**

重要： **長期間の耐用年数を確保するには、エンジンオイルを正しいレベルに維持することが非常に重要です。機械を平坦な場所に駐車してエンジンオイルを点検してください。**

注記： オイルレベルを点検する前に、検油棒がハウジングに完全にねじ込まれているまたは押し込まれていることを確認してください。

ディップスティック (A) を使って毎日エンジンオイルレベルを点検してください。オイルレベルがディップ

スティックの「ADD」マークよりも下にあるときは、エンジンを運転しないでください。

ディップスティックを取り外し、オイルレベルを点検します。オイルレベルは検油棒の「ADD」マークとクロスハッチ部の上部の間にある必要があります。オイルレベルが「ADD」マークより下になった場合は、オイルを追加してください。推奨オイルについては「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

OUO6075,00047E7-40-13NOV17

エンジンクーラント

H115495—UN—19AUG15

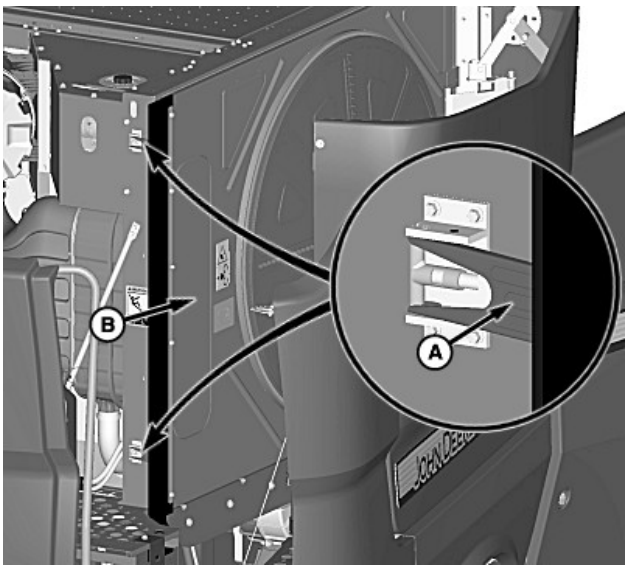
A：**サージタンク**

クーラントレベルは「Max Cold」(冷間時最高) ラインと「Min Cold」(冷間時最低) ラインの間にある必要があります。クーラントが「Min Cold」(冷間時最低) ラインよりも下にある場合は、必要な量のクーラントを追加してください。

エンジンが冷めているときにサージタンク (A) でエンジンクーラントレベルを点検します。レベルは「Max Cold」(冷間時最高) ラインまで達している必要があります。

OUO6075,00043FB-40-21DEC16

ロータリースクリーン、オイルクーラー、コンデンサ、ラジエータ、チャージエアクーラー



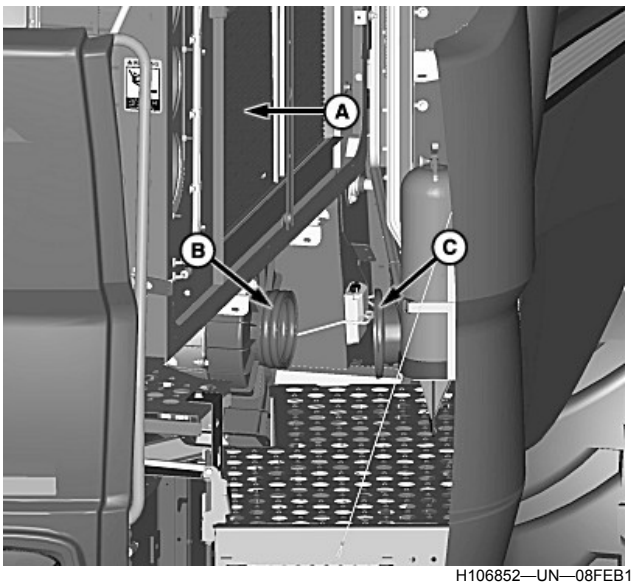
H106847—UN—08FEB13

A：**掛け金ラッチ**
B：**ロータリースクリーンドア**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

掛け金ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。

ティア 2 / ステージ II (スタイル A)



H106852—UN—08FEB13

A：**コンデンサ**
B：**真空ダクト**
C：**搬送ダクト**

注記： 圧縮空気を内側から吹き付けて各部を清掃します。

ロータリースクリーンを毎日点検して、自由に回転することを確認してください。

泥やもみ殻がロータリースクリーンとその背後に堆積している場合は、ブラシと圧縮空気を使用してスクリーンを清掃してください。

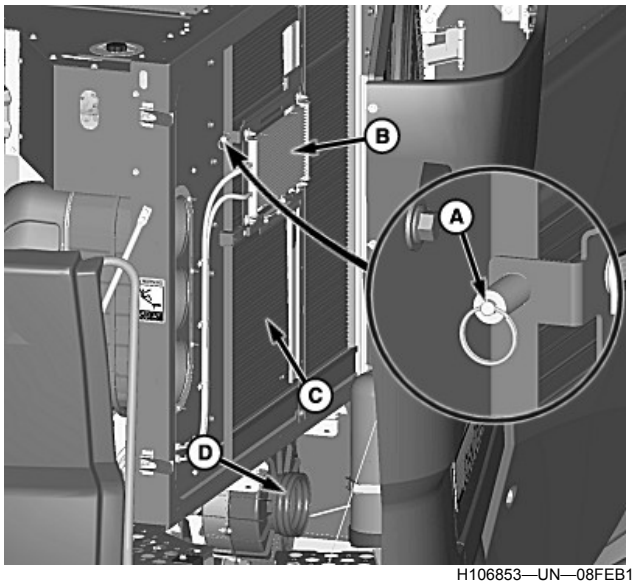
コンデンサ (A)、オイルクーラー、チャージエアクーラー、およびラジエータを清掃します。

下部真空ダクト (B) と搬送ダクト (C) から泥を除去します。

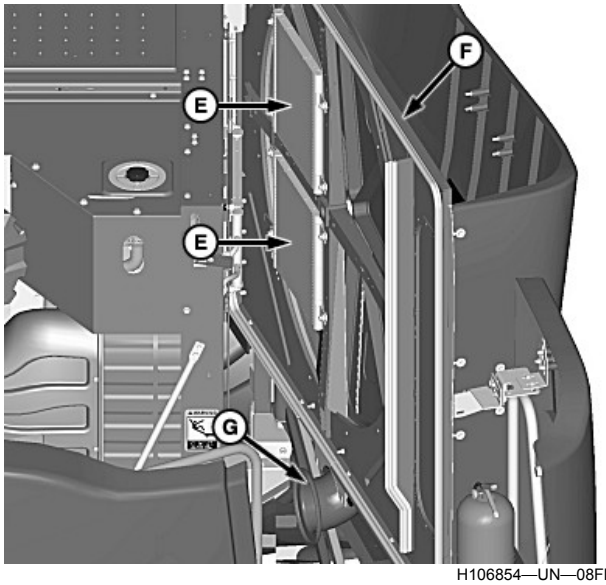
重要：**クーラーを清掃するときは、高圧洗浄機または圧縮空気の圧力を下げてください。フィンの損傷を防止するために、水や空気をまっすぐにフィンに向けてフィンの曲がりを防いでください。曲がったフィンをまっすぐにするには、フィンコームを使用してください。曲がったフィンはクーラーの性能を低下させます。**

ロータリースクリーンドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

ティア 2 / ステージ II (スタイル B) およびファイナルティア 4 / ステージ V



H106853—UN—08FEB13



H106854—UN—08FEB13

A：**ロックアウトピン**
B：**燃料クーラー**
C：**ラジエータ**
D：**真空ダクト**
E：**コンデンサ**
F：**ロータリースクリーンドア**
G：**搬送ダクト**

注記：圧縮空気を内側から吹き付けて各部を清掃します。

ロータリースクリーンを毎日点検して、自由に回転することを確認してください。

泥やもみ殻がロータリースクリーンとその背後に堆積している場合は、ブラシと圧縮空気を使用してスクリーンを清掃してください。

ロックアウトピン (A) を引っ張り、燃料クーラー (B) を回転させて清掃します。

ラジエータ (C)、オイルクーラー、チャージエアクーラーを清掃します。

下部真空ダクト (D) から泥を除去します。

ロータリースクリーンドア (F) にあるコンデンサ (E) を清掃します。

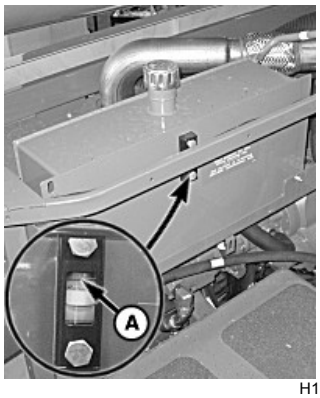
搬送ダクト (G) から泥を除去します。

重要：**クーラーを清掃するときは、高圧洗浄機または圧縮空気の圧力を下げてください。フィンの損傷を防止するために、水や空気をまっすぐにフィンに向けてフィンの曲がりを防いでください。曲がったフィンをまっすぐにするには、フィンコームを使用してください。曲がったフィンはクーラーの性能を低下させます。**

ロータリースクリーンドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,0004975-40-17MAY18

油圧オイル / 作動油



H115659—UN—28AUG15

A：**点検窓**

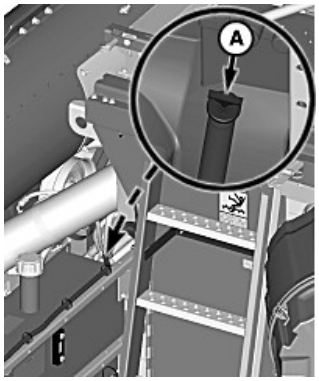
ヘッダーを地面に下ろして点検してください。

オイルレベルは、フィーダーハウスを完全に下げた状態で点検窓 (A) の上部にある必要があります。

必要に応じてオイルを追加します。

OUO6075,0004413-40-21DEC16

メインエンジンギヤケースオイル



H121743—UN—12JUN17

A：**検油棒**

エンジンギヤケースで作動油を点検する前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけて、キーを抜いてください。

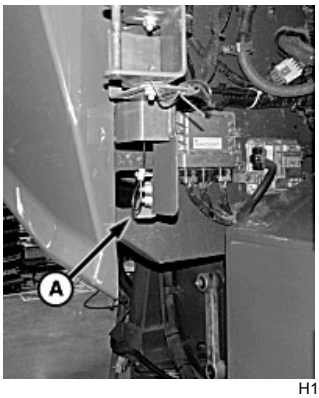
オイルからの空気が安定するように機械を 5 分間放置します。

オイルは、検油棒 (A) の「ADD」マークよりも下にあってはなりません。

必要に応じてオイルを追加します。

OUO6075,000493D-40-12APR18

空気圧縮機リザーバー (装備されている場合)



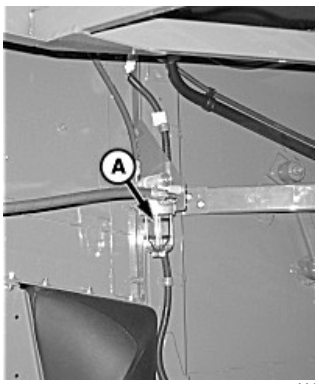
H115497—UN—19AUG15

A：**空気タンクのドレンケーブル**

空気タンクのドレンケーブル (A) を引いて、水をリザーバーから抜き取ります。

OUO6075,00043FD-40-21DEC16

燃料プレクリーナフィルタ



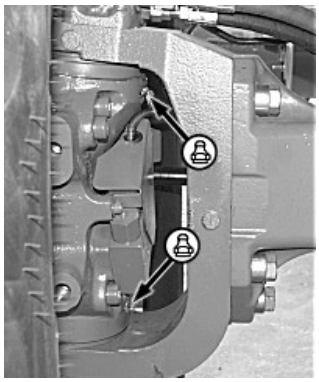
H117746—UN—17MAR16

A：**燃料プレクリーナフィルタ**

燃料プレクリーナフィルタ (A) に堆積物がないか点検し、必要に応じて清掃します。

OUO6075,00043FE-40-21DEC16

2 速四輪駆動モーターのピボット部 (ぬかるんだ条件)



H115499—UN—19AUG15

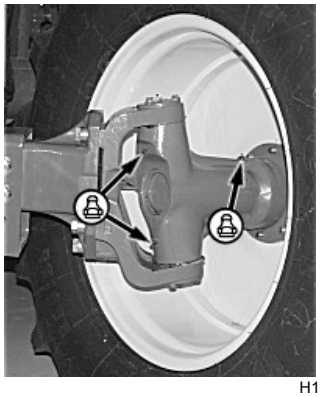
注記： ぬかるみや水で運転中は、10 時間ごとにモーターのピボット部にグリースを注入します。通常の条件では、50 時間ごとにグリースを注入してください。

グリースがモーターピボットシールの上部と底部から出てくるまでグリースを注入します。

2 か所のニップル (両側) にグリースを注入します。

OUO6075,0004687-40-22MAR17

二輪駆動ヘビーデューティおよびエクストラデューティ車軸スピンドルベアリング / ピボットピンへのグリース注入 (ぬかるんだ条件)



H115500—UN—19AUG15

注記： ぬかるみや水がある場所で運転するときは、リアアクスルのスピンドルベアリングとモーターピボットに 10 時間ごとにグリースを注入してください。通常の条件では、50 時間ごとにグリースを注入してください。

グリースがモーターピボットシールの上部と底部から出てくるまでグリースを注入します。

ぬかるみや水で運転中は、10 時間ごとにニップル (両側) にグリースを注入します (両側)。

OUO6075,0004688-40-22MAR17

ファイナルドライブ外側ベアリング (ぬかるんだ条件)

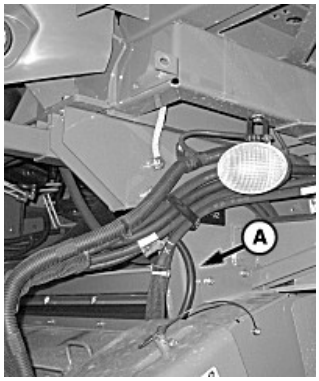
H115501—UN—19AUG15

注記： ：ぬかるみや水のある場所で運転するときは、10 時間ごとにファイナルドライブ外側ベアリングのニップル (両側) にグリースを注入します。通常の条件では、50 時間ごとにグリースを注入してください。

ぬかるみや水で運転中は、10 時間ごとにニップル (両側) にグリースを注入します。

OUO6075,0004689-40-22MAR17

エアコンドレンホース



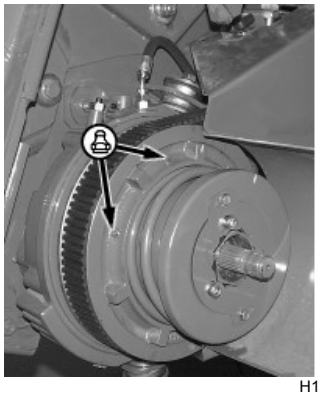
H115502—UN—19AUG15

A：**ドレンホース**

キャビンの両側でエアコンドレン ホース (A) を清掃します。

OUO6075,0004402-40-21DEC16

可変速度フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースへのグリース注入 (S760 および S770 機械) (過酷な条件)



H115503—UN—19AUG15

注記： フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースにグリースを注入するときは、John Deere™ TY6341 Multi-Purpose SD Polyurea Grease または John Deere™ TY25744 Synthetic Grease を使用します。

余分にグリースを注入すると、グリースがベルトの上に排出され、ベルト故障の原因になります。

ニップルが 12 時と 2 時の位置になるようにシーブを回します。

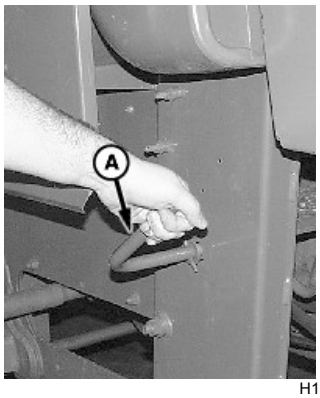
過酷な条件で運転中や高収穫量とうもろこしを収穫中は、グリースを 10 時間ごとに 12 時の位置でニップルに 5～8 回ポンピングして注入してください。

余分なグリースはスプリングの下から出てきます。

グリースを 12 時の位置で 10 時間ごとに 2～3 回ポンピングして注入してください。

OUO6075,000493E-40-12APR18

ストーントラップ



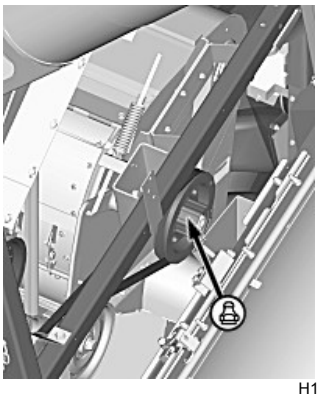
H115496—UN—19AUG15

A：**レバー**

クイックロックピンを取り外して、レバー (A) を使用してストーントラップを外します。ストーントラップを閉めてクイックロックピンで固定します。

OUO6075,0004404-40-21DEC16

二番エレベータスリップクラッチへのグリース注入 (難脱穀性作物条件) (S780、S785、S790 機)



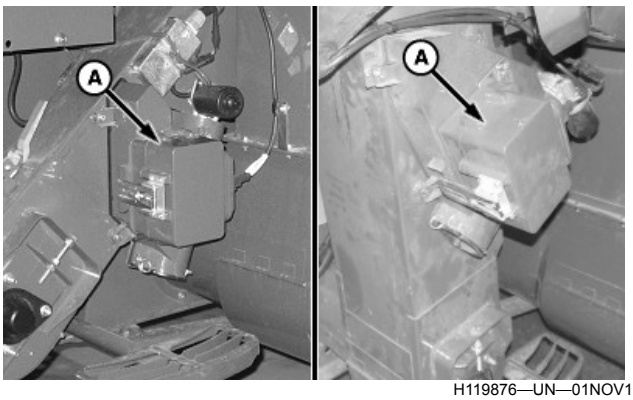
H115504—UN—19AUG15

注記： 難脱穀性作物条件で運転しているときは、二番エレベータスリップクラッチに 10 時間ごとにグリースを給油してください。通常の条件では、50 時間ごとにグリースを注入してください。

二番エレベータスリップクラッチのニップルにグリースを注入します。

OUO6075,00048A0-40-08FEB18

ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (装備されている場合)



H119876—UN—01NOV16

スタイル A / スタイル B

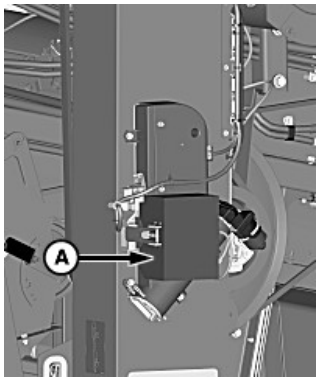
A：**ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ**

注記： 清掃の頻度は、運転条件、天候、作物条件など、複数の要因によって異なります。湿らせた清潔な柔らかい布でカメラレンズを拭きます。

掛け金ラッチを開いて、ActiveVision™ 2 番還元物システムのカメラ (A) を清掃します。

OUO6075,0004FAF-40-27APR21

ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (装備されている場合)



H125313—UN—06NOV18

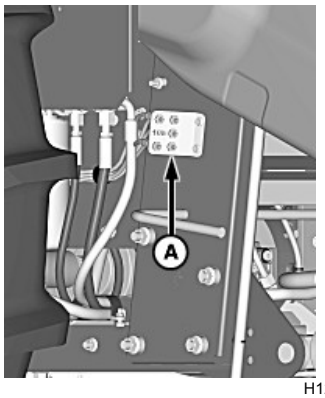
A：**ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ**

注記： 清掃の頻度は、運転条件、天候、作物条件など、複数の要因によって異なります。湿らせた清潔な柔らかい布でカメラレンズを拭きます。

掛け金ラッチを開いて ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (A) を清掃します。

OUO6075,0004FB0-40-27APR21

集中潤滑油バンク (装備されている場合) (HillMaster™ 機)



H123115—UN—19JAN18

A：**ブラケット**

ブラケット (A) にあるグリースニップルは、次の箇所にグリースを給油します：

- ファイナルドライブピボット (両側)
- ヘッダー傾斜プライマリシリンダピボットピン
- レベリングシリンダのバレル (両側)

これら特定の部分からグリースが出てくるまでグリースニップルに給油します。

OUO6075,0004B3F-40-07JUN19

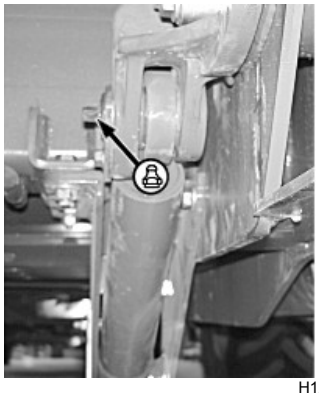
ファイナルドライブピボット (集中潤滑油バンクなし) (HillMaster™ 機)

H120022—UN—14NOV16

グリースが出てくるまでグリースニップル (両側) にグリースを給油します。

OUO6075,000488F-40-07FEB18

ヘッダー傾斜プライマリシリンダピボットピン (集中潤滑油バンクなし) (HillMaster™ 機)



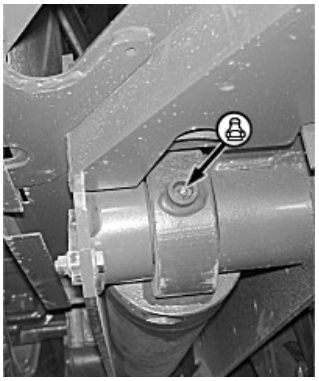
H120023—UN—14NOV16

グリースが出てくるまでグリースニップル (両側) にグリースを給油します。

OUO6075,0004B41-40-09APR19

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

レベリングシリンダバレル (集中給油バンクなし) (HillMaster™ 機)

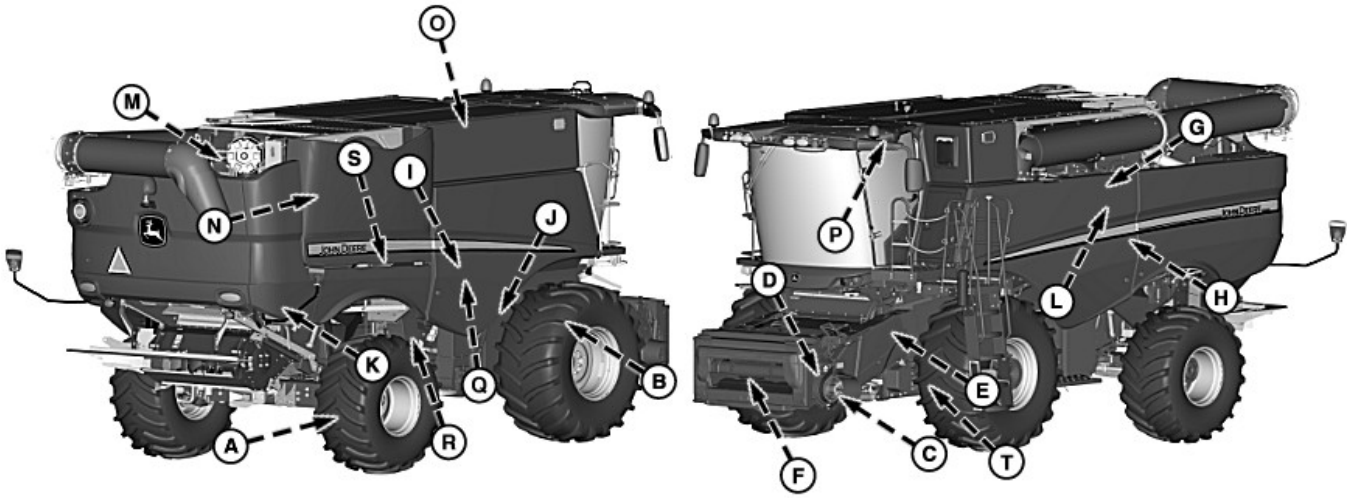


H120024—UN—14NOV16

グリースが出てくるまでグリースニップル (両側) にグリースを給油します。

OUO6075,0004891-40-07FEB18

整備間隔表 — 50 時間ごと



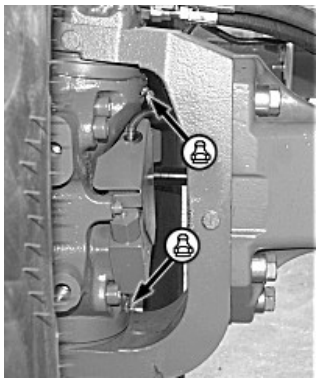
H132953—UN—18JAN21

凡例	整備	50 時間ごと
A	2 速四輪駆動モーターのピボット部へのグリース注入 二輪駆動ヘビーデューティおよびエクストラデューティ車軸スピンドルベアリング / ピボットピンへのグリース注入 (通常の条件)	●
B	ファイナルドライブの外側ベアリングへのグリース注入 (通常の条件)	●
C	可変速度フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースへのグリース注入 (S760 および S770 機械) (通常の条件)	●
D	フィーダーハウスリバーサギヤケースのオイルの点検	●
E	可変速度フィーダーハウス上部シーブへのグリース注入 (S760 および S770 機械)	●
F	横方向傾斜フィーダーハウスの点検 / 清掃	●
G	セパレータ可変速度従動 / 駆動シーブの入れ直し	●
H	セパレータ可変速度従動 / 駆動シーブへのグリース注入 (S770 オプション、S780、S785、S790 機)	●
I	クリーニングファンのバリアブル上部シーブへのグリース注入	●
J	クリーニングファンのバリアブル下部シーブへのグリース注入	●
K	燃料プレクリーナフィルタの点検	●
L	2 速セパレータ駆動装置オイルの点検	●
M	油水分離器一次燃料フィルタの点検	●
N	ラジエータ、チャージエアクーラー、オイルクーラー、コンデンサの点検	●
O	質量流量センサーの点検	●
P	キャブ新気フィルタの清掃 / 交換	●
Q	水分センサーの清掃 水分センサーバイパスオーガの清掃 (必要な場合) ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラの清掃 (装備されている場合)	●
R	2 番還元物システムバイパスオーガの清掃 (必要な場合) ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラの清掃 (装備されている場合)	●
S	二番エレベータスリップクラッチへのグリース注入 (通常の作物条件) (S780、S785、S790 機)	●
T	ファイナルドライブのカプラーへのグリース注入	●

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0004FB9-40-14MAY21

2 速四輪駆動モーターのピボット部 (通常の条件)



H115499—UN—19AUG15

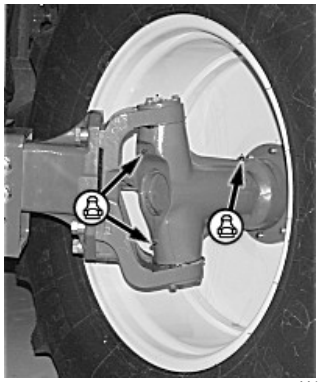
注記： ぬかるみや水で運転中は、10 時間ごとにモーターのピボット部にグリースを注入します。通常の条件では、50 時間ごとにグリースを注入してください。

グリースがモーターピボットシールの上部と底部から出てくるまでグリースを注入します。

2 か所のニップル (両側) にグリースを注入します。

OUO6075,000468A-40-22MAR17

二輪駆動ヘビーデューティおよびエクストラデューティ車軸スピンドルベアリング / ピボットピンへのグリース注入 (通常の条件)



H115500—UN—19AUG15

注記： ぬかるみや水がある場所で運転するときは、リアアクスルのスピンドルベアリングとモーターピボットに 10 時間ごとにグリースを注入してください。通常の条件では、50 時間ごとにグリースを注入してください。

グリースがモーターピボットシールの上部と底部から出てくるまでグリースを注入します。

通常の条件では、50 時間ごとにニップル (両側) にグリースを注入してください。

OUO6075,000468B-40-22MAR17

ファイナルドライブの外側ベアリング (通常の条件)

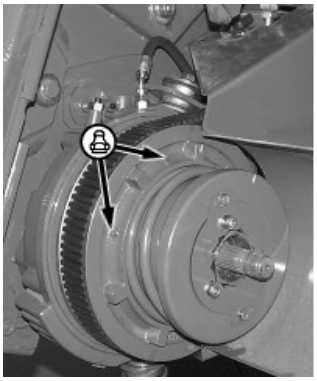
H115501—UN—19AUG15

注記： ：ぬかるみや水のある場所で運転するときは、10 時間ごとにファイナルドライブ外側ベアリングのニップル (両側) にグリースを注入します。通常の条件では、50 時間ごとにグリースを注入してください。

通常の条件では、50 時間ごとにニップル (両側) にグリースを注入してください。

OUO6075,000468C-40-22MAR17

可変速度フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースへのグリース注入 (S760 および S770 機械) (通常の条件)



H115503—UN—19AUG15

注記： フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースにグリースを注入するときは、John Deere™ TY6341 Multi-Purpose SD Polyurea Grease または John Deere™ TY25744 Synthetic Grease を使用します。

余分にグリースを注入すると、グリースがベルトの上に排出され、ベルト故障の原因になります。

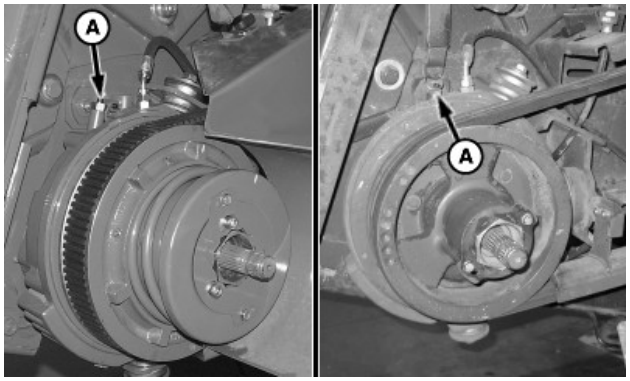
ニップルが 12 時と 2 時の位置になるようにシーブを回します。

通常の条件運転中は、グリースを 50 時間ごとに 12 時の位置のニップルに (10 ~ 15回) 給油し、2 時のニップルに (5 ~ 8回) 給油してください。

グリースを注入した後、速度レンジを変えて可変シーブを数回入れ直して、グリースをカム表面に均一に行き渡らせます。

OUO6075,000493F-40-12APR18

フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースオイル



H115651—UN—27AUG15

可変速 / 多速度リバーサギヤケース

A：**検油棒**

フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。

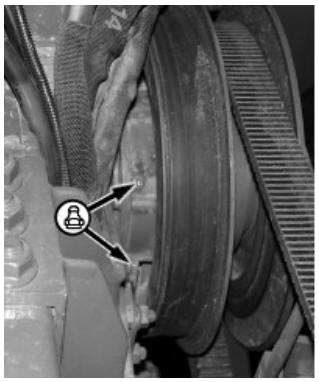
注記： オイルクーラー付きのギヤケースは数分間運転する必要があります。これにより、クーラーがオイルで満たされます。

オイルレベルは検油棒の刻みの部分にある必要があります。

検油棒 (A) を取り外して、オイルレベルを点検します。

OUO6075,00046D1-40-28MAR17

可変速度フィーダーハウス上部シーブへのグリース注入 (S760 および S770 機械)



H115652—UN—27AUG15

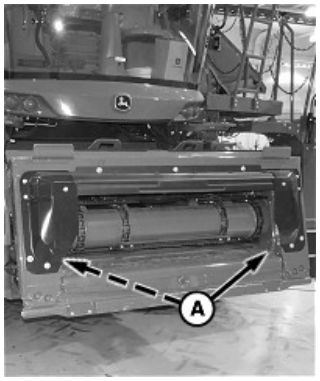
注記： ニップルにアクセスできるようにシーブを回転させる必要がある場合があります。

フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。

フィーダーハウスの下側からニップルに注入します。

OUO6075,000440C-40-21DEC16

横方向傾斜フィーダーハウス



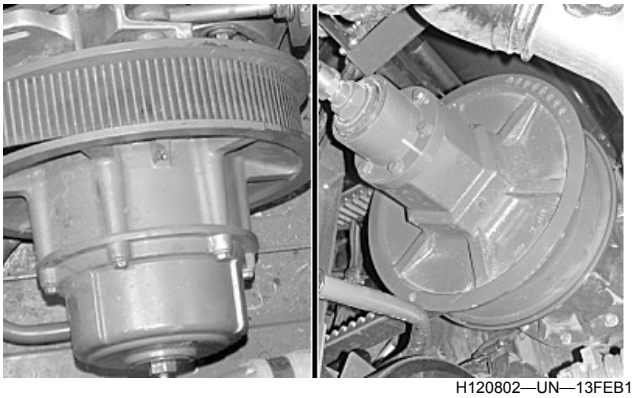
H115653—UN—28AUG15

A：**清掃する部分**

ヘッダーの傾斜を妨げる可能性がある固まった材料がないか清掃エリア (A) を点検します。必要に応じて清掃します。

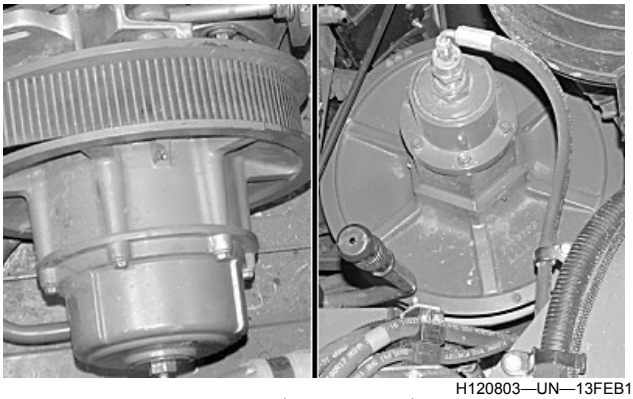
OUO6075,000440D-40-21DEC16

セパレータ可変速度従動 / 駆動シーブ



H120802—UN—13FEB17

従動シーブ / 駆動シーブ *(小径)*



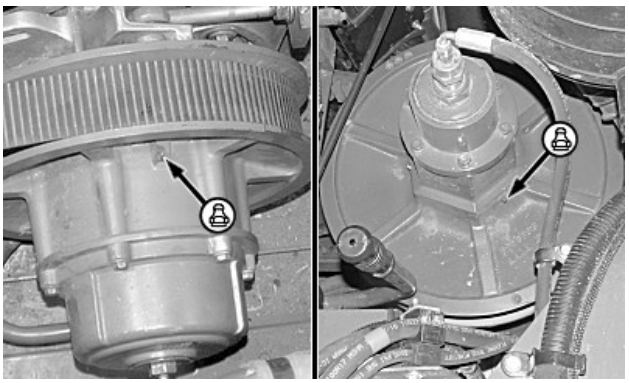
H120803—UN—13FEB17

従動シーブ / 駆動シーブ *(*大径*)*

セパレータ可変速シーブ：高速で常時運転した場合は、機械を始動して、速度レンジでシーブを切り替えます。シーブを入れ直すことにより、シーブキャビティの内側に既にあるグリースがブッシングに補充されやすくなります。

OUO6075,00045D9-40-13FEB17

セパレータ可変速度従動 / 駆動シーブ (S770 オプション、S780、S785、S790 機)



H120804—UN—13FEB17

従動シーブ / 駆動シーブ

注記： オプションの大直径駆動シーブを装備している S770 機では、グリースニップルに 50 時間ごとに給油する必要があります。

重要： **セパレータ可変速度従動 / 駆動シーブ**：**グリースをフィッティングに 20 ~ 25 ショットポンピングします。グリースを注入しすぎないでください。**

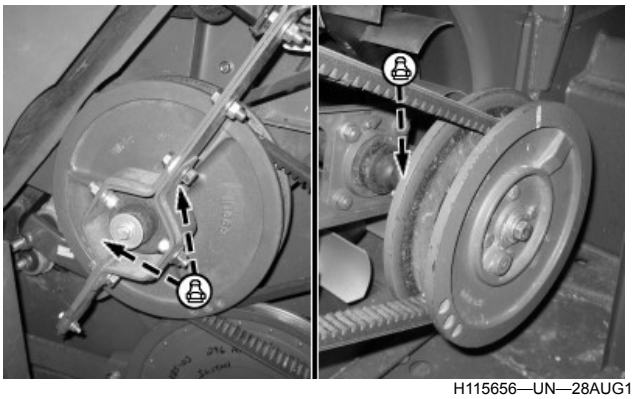
セパレータ可変速度駆動シーブ：シーブを回転させてニップルにアクセスします。

注記： 機械を始動し、フル速度レンジでセパレータを数回入れ直し、グリースを均一に行き渡らせます。

セパレータ可変速度駆動シーブ：外側シーブのハブにあるニップルにグリースを注入する前に、シーブ (高速) を閉じます。シーブを回転させてニップルにアクセスします。常時高速で運転していた場合は、シリンダ速度を入れ直してグリースを行き渡らせます。

OUO6075,00045DA-40-20MAR17

クリーニングファン可変速度下部下部 / 上部シーブの清掃



H115656—UN—28AUG15

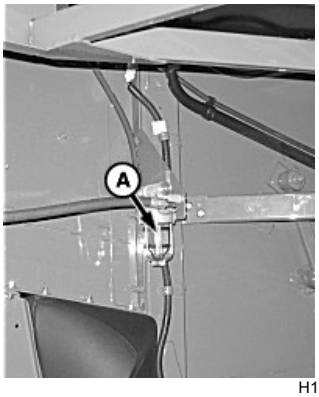
上部シーブ / 下部シーブ

クリーニングファン可変速度上部シーブ：グリースを外側シーブのハブにある両方のニップルに注入します。シーブを回転させてニップルにアクセスします。

クリーニングファン可変速度下部シーブ：内側シーブにあるハブのニップルにグリースを注入します。シーブを回転させてニップルにアクセスします。

OUO6075,0004410-40-21DEC16

燃料プレクリーナフィルタ



H115657—UN—28AUG15

A：**燃料プレクリーナフィルタ**

燃料プレクリーナフィルタ (A) を目視点検し、スクリーンに付着物が確認できる場合は清掃します。

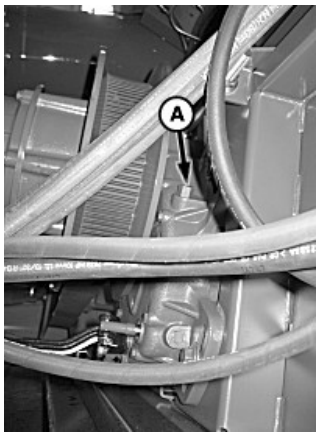
燃料タンク遮断弁を閉じます。

燃料プレクリーナフィルタを取り外してスクリーンを清掃します。

スクリーンとフィルタを取り付けます。燃料タンク遮断弁を開いて注入します。詳しくは、「燃料のメンテナンス — 必要に応じて (エンジンのフルードとフィルタ)」セクションを参照してください。

OUO6075,0004411-40-21DEC16

2 速セパレータ駆動装置オイルの点検



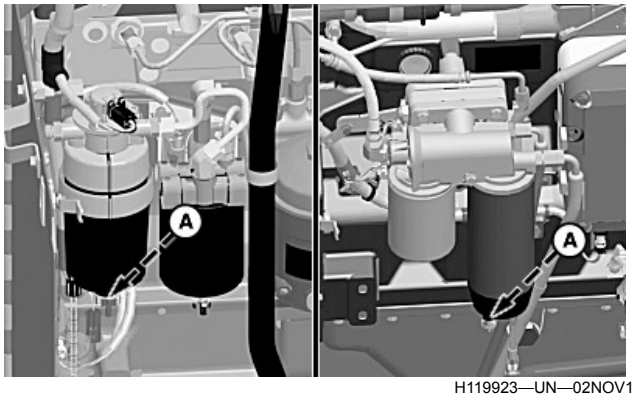
H115658—UN—28AUG15

A：**検油棒**

検油棒 (A) を取り外して、オイルレベルを点検します。必要に応じてオイルを追加し、検油棒のオイルレベルを修正します。

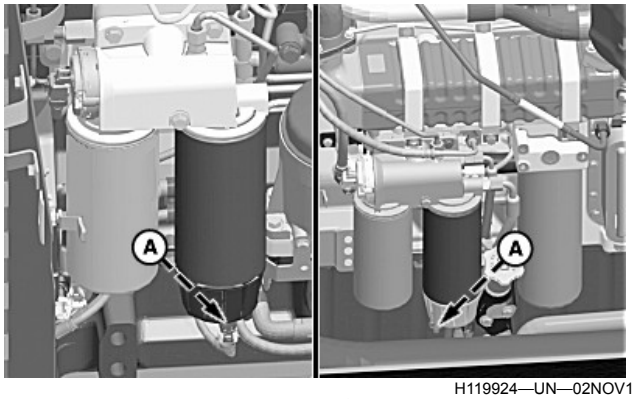
OUO6075,0004412-40-21DEC16

油水分離器一次燃料フィルタ



H119923—UN—02NOV16

ティア 2 / ステージ II (スタイル A / スタイル B)



H119924—UN—02NOV16

ファイナルティア 4 / ステージ V (スタイル / スタイル B)

A：**ドレン**

セパレータボウルに水がないか点検します。

ドレン (A) を開いてセパレータボウルから水を抜き取ります。

OUO6075,00047EA-40-13NOV17

ラジエータ、チャージエアクーラー、オイルクーラー、コンデンサ

H115662—UN—28AUG15

ラジエータを内側から圧縮空気を吹き付けて清掃します。

もみ殻が溜まっていないか各部を点検し、必要に応じて清掃します。

OUO6075,0004415-40-21DEC16

質量流量センサー

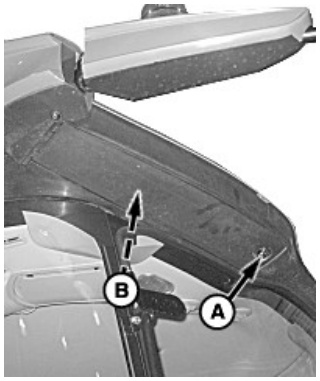
H123564—UN—22FEB18

注記： グレインタンクカバーを装備している機械では、底のサポートロッド金具を取り外してグレンタンクローディングオーガを下げる必要があります。

グレインタンクローディングオーガを下げて、質量流量センサープレート (B) を清掃します。

OUO6075,0004882-40-22FEB18

キャブ新気フィルタ



H115664—UN—28AUG15

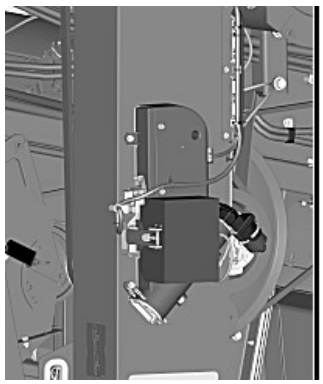
A：**ノブ**
B：**新気フィルタ**

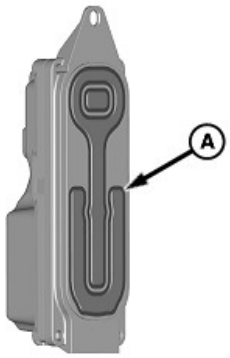
注記： ほこりの多い条件では、新気フィルタをすぐに清掃することが必要な場合があります。

ノブ (A) を回してアクセスカバー (B) を下げます。外気フィルタ (B) を取り外して清掃または交換します。

OUO6075,0004417-40-21DEC16

水分センサー (装備されている場合)





H125315—UN—06NOV18

A：**水分センサー**

重要： **静電気により水分センサーモジュールが壊れることがあります。損傷を防止するため、作業や清掃を行う前に少なくとも片手または腕を機械の金属面に必ず触れてください。**

水分センサーには、落下したときに緩む内部構成部品があり、すぐに検出できなくなることがあります。作業または清掃時は、水分センサーを注意して扱ってください。

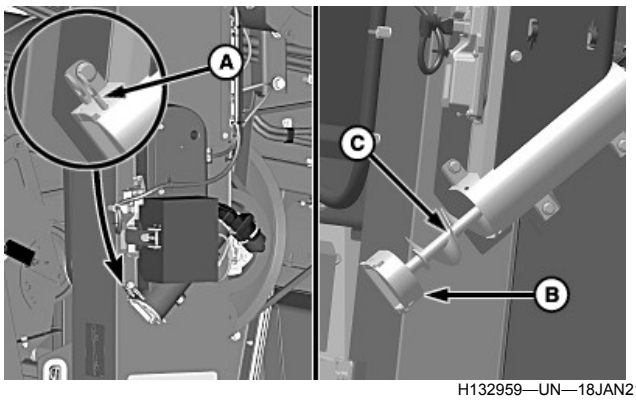
草、未熟な作物、または小さい穀物 (キャノーラ) を機械で扱っている場合は、水分センサーモジュール (A) を取り外して清掃します。

- 溶剤やその他のクリーナをセンサー面に使用しないでください。
- 清掃には乾いた布を使用することをお勧めします。それが役に立たない場合は、巾と水だけで清掃してください。
- 水分センサー面を動力洗浄機で洗浄しないでください。

水分センサーを取り付けて、水分センサーのキャリブレーションを実行します。詳しくは、「キャリブレーションアプリケーションのヘルプ」または「運転席のヘルプ」を参照してください。

OUO6075,0004FB5-40-14MAY21

水分センサーバイパスオーガ (必要な場合)



H132959—UN—18JAN21

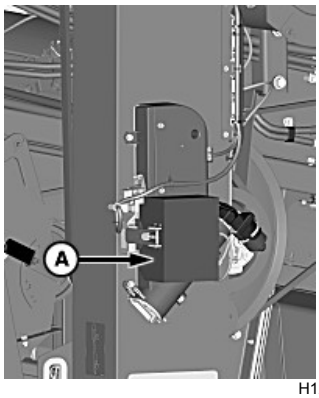
A：**ピン (2 本使用)**
B：**エンドキャップ**
C：**オーガ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

1. ピン (A) とエンドキャップ (B) を取り外します。
2. オーガ (C) を水分センサーバイパスから取り外します。
3. オーガと水分センサーバイパス内のエリアを清掃します。
4. オーガを取り付け、調整します。
5. エンドキャップを取り付け、ピンで固定します。

OUO6075,0004FB6-40-18JAN21

ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (装備されている場合)



H125313—UN—06NOV18

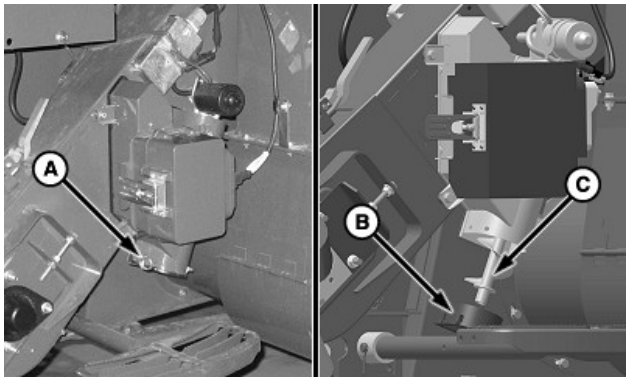
A：**ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ**

注記： 清掃の頻度は、運転条件、天候、作物条件など、複数の要因によって異なります。湿らせた清潔な柔らかい布でカメラレンズを拭きます。

掛け金ラッチを開いて ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (A) を清掃します。

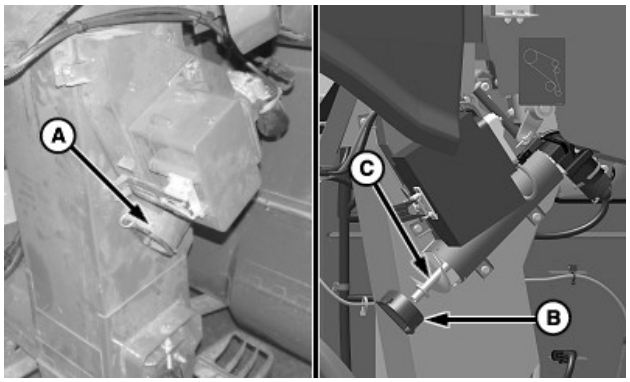
OUO6075,0004FB4-40-27APR21

2 番還元物センサーバイパスオーガ (必要な場合)



H132960—UN—18JAN21

スタイル A



H132961—UN—19JAN21

スタイル B

A：**ピン (2 本使用)**
B：**エンドキャップ**
C：**オーガ**

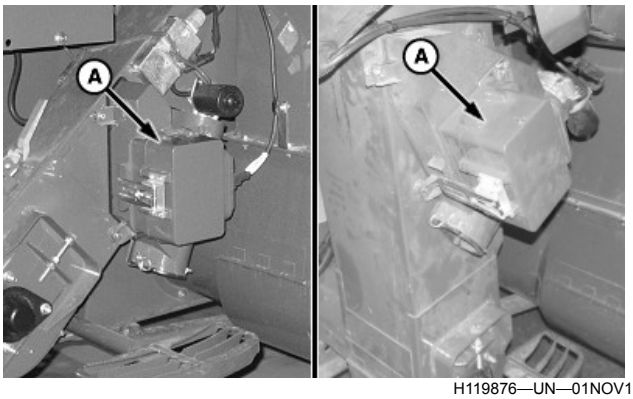
注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

1. ピン (A) とエンドキャップ (B) を取り外します。
2. オーガ (C) を水分センサーバイパスから取り外します。
3. オーガと水分センサーバイパス内のエリアを清掃します。
4. オーガを取り付け、調整します。
5. エンドキャップを取り付け、ピンで固定します。

OUO6075,0004FB8-40-18JAN21

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (装備されている場合)



H119876—UN—01NOV16

スタイル *A* / スタイル *B*

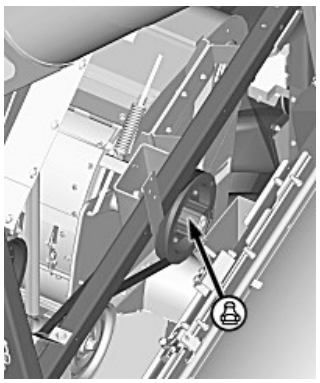
A：**ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ**

注記： 清掃の頻度は、運転条件、天候、作物条件など、複数の要因によって異なります。湿らせた清潔な柔らかい布でカメラレンズを拭きます。

掛け金ラッチを開いて、ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (A) を清掃します。

OUO6075,0004FB7-40-27APR21

二番エレベータスリップクラッチへのグリース注入 (通常の作物条件) (S780、S785、S790 機)



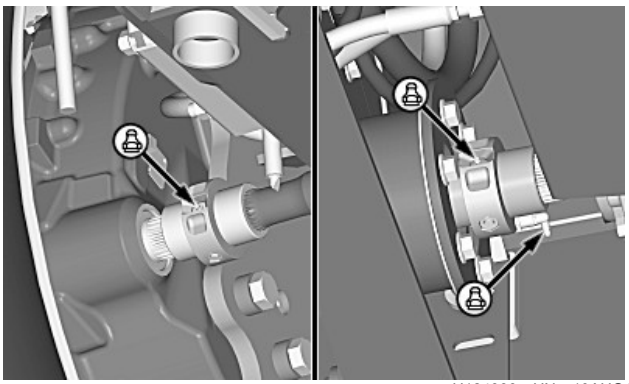
H115504—UN—19AUG15

注記： 難脱穀性作物条件で運転しているときは、二番エレベータスリップクラッチに 10 時間ごとにグリースを給油してください。通常の条件では、50 時間ごとにグリースを注入してください。

二番エレベータスリップクラッチのニップルにグリースを注入します。

OUO6075,00048A1-40-08FEB18

ファイナルドライブカプラー



H124886—UN—10AUG18

非 *HillMaster™* 機 / *HillMaster™* 機

注記： スプラインからグリースが出てくるまでグリースニップルに給油します。

非 HillMaster™ 機には、ファイナルドライブカプラーあたり 1 個のグリースニップルがあります。

HillMaster™ 機には、ファイナルドライブカプラーあたり 2 個のグリースニップルがあります。

ファイナルドライブカプラーのグリースニップル (両側) にグリースを給油します。

ファイナルドライブカプラー (両側) の六角頭キャップスクリューを規定のトルクで締め付けます。

仕様

六角頭キャップスクリュー：トルク	10 N·m (89 lb·in)

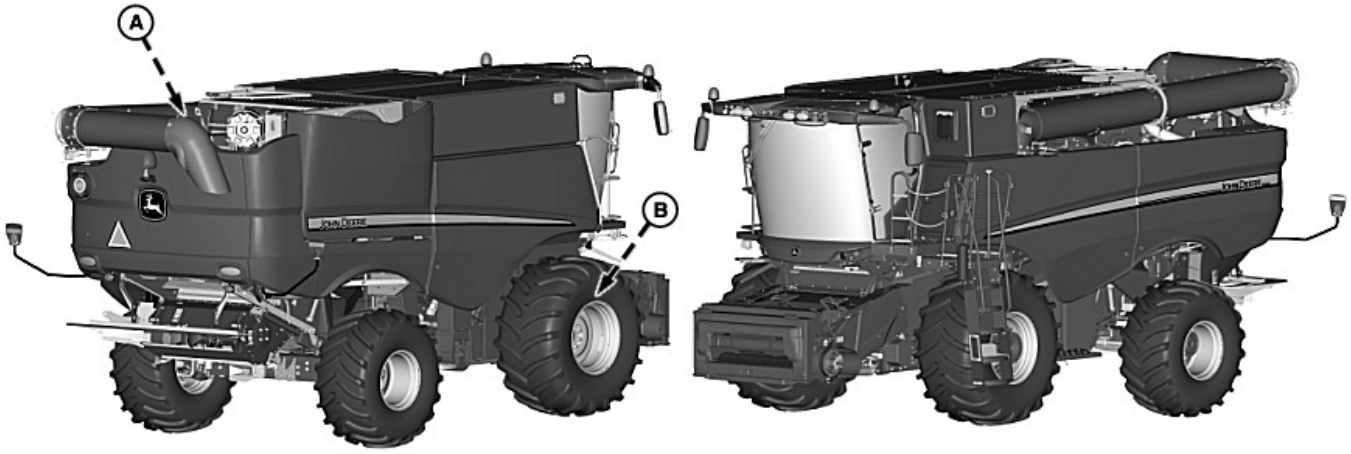
OUO6075,0004ECC-40-09JUL20

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

HillMaster は Deere & Company の商標です。

メンテナンス — 最初の 100 時間後

整備間隔表 — 100 時間ごと



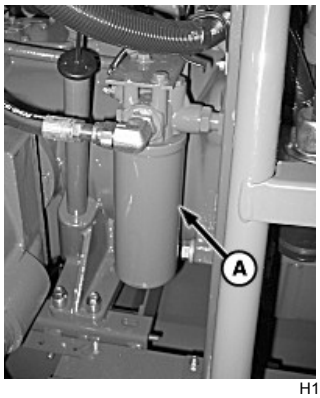
H119631—UN—13OCT16

凡例	整備	最初の 100 時間
A	メインエンジンギヤケースフィルタの交換 (S760 および S770 ProDrive™ 機械)	•
B	メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタの交換 (ProDrive™ 搭載の機械)	•

ProDrive は Deere & Company の商標です。

OUO6075,00046D2-40-28MAR17

メインエンジンギヤケースフィルタの交換 (S760 および S770ProDrive™ 搭載の機械)



H115506—UN—27AUG15

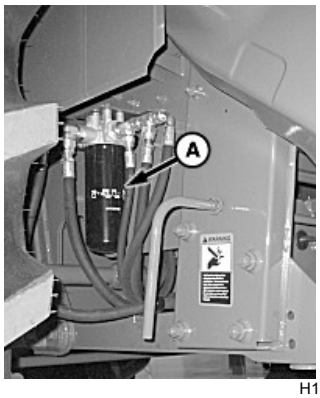
A：**フィルタ**

注記： フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

フィルタ (A) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを薄く塗ります。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

OUO6075,00046D3-40-28MAR17

メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタの交換 (ProDrive™ 搭載の機械)



H115507—UN—27AUG15

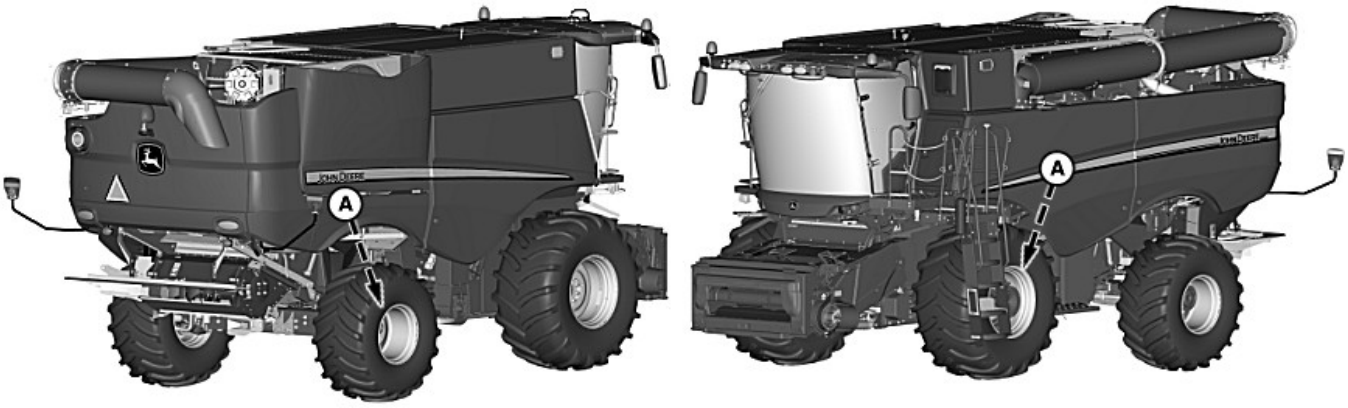
A：**フィルタ**

注記： フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

フィルタ (A) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを薄く塗ります。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

OUO6075,00046D4-40-28MAR17

整備間隔表 — 100 時間ごと



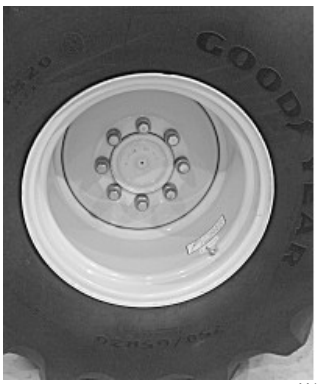
H119634—UN—13OCT16

A：**タイヤ圧とボルトの位置**

凡例	整備	100 時間ごと
A	タイヤ圧の点検とボルトのトルク	●

OUO6075,000441C-40-20DEC16

タイヤ圧とボルトのトルク



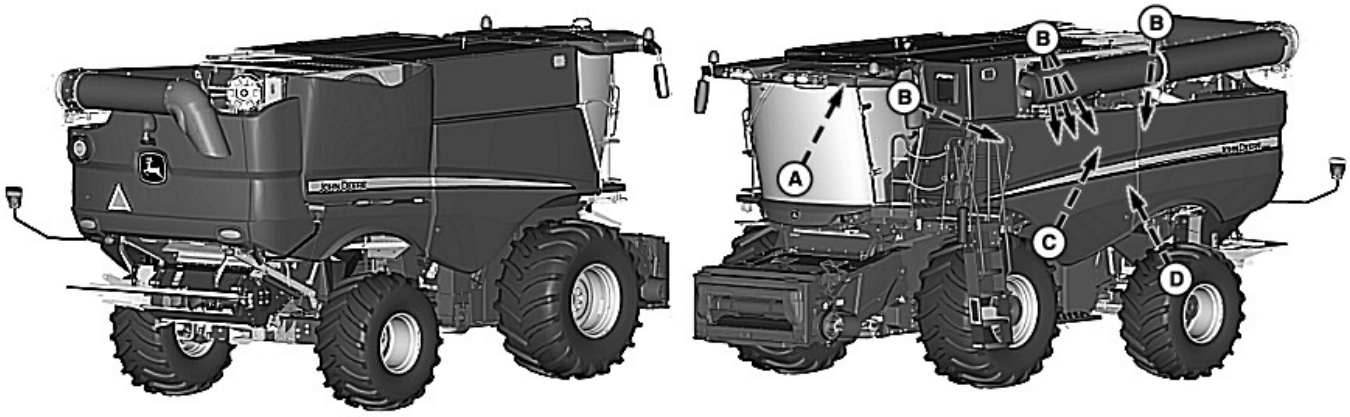
H115666—UN—28AUG15

フロントタイヤとリアタイヤの圧力とホイールボルトのトルクを点検します。詳しくは、「対地駆動」と「リアアクスル」セクションを参照してください。

OUO6075,000441D-40-21DEC16

メンテナンス — 200 時間ごと

整備間隔表 — 200 時間ごと



H119635—UN—13OCT16

凡例	整備	200 時間ごと
A	再循環フィルタの清掃 / 交換	•
B	プライマリカウンターシャフトへのグリース注入 (S770、S780、S785、S790 機の多速度フィーダーハウス)	•
C、D	セパレータ可変速度従動 / 駆動シーブへのグリース注入 (S760 および S770 機械)	•

OUO6075,00045E0-40-13FEB17

再循環フィルタ

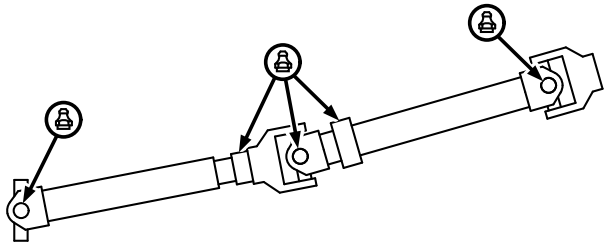
H115668—UN—28AUG15

A：**再循環フィルタ**

カバーを取り外して、再循環フィルタ (A) を清掃または交換します。

OUO6075,000441F-40-21DEC16

プライマリカウンターシャフト (S770、S780、S785、および S790 機の多速度フィーダーハウス)



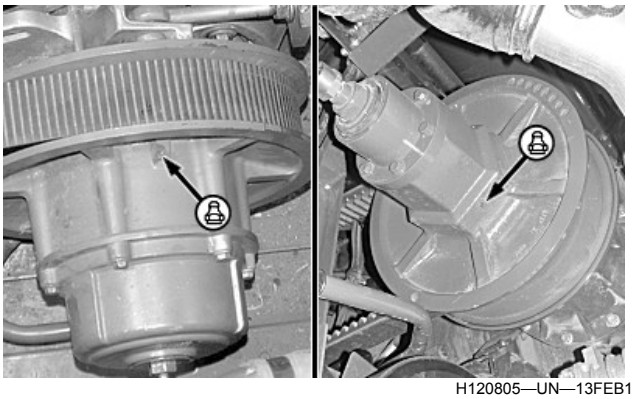
H119656—UN—17OCT16

注記： 多速度フィーダーハウスを装備していない機械には、1 つのグリースニップルがあり、グリースを 400 時間ごとに給油する必要があります。

回転させて 5 つのニップルにアクセスして、グリースを注入します。

OUO6075,00044B8-40-21DEC16

セパレータ可変速度従動 / 駆動シーブ (S760 および S770 機械)



H120805—UN—13FEB17

従動シーブ / 駆動シーブ

注記： オプションの大直径駆動シーブを装備している S770 機では、グリースニップルに 50 時間ごとに給油する必要があります。

重要： **セパレータ可変速度従動 / 駆動シーブ**：**グリースをフィッティングに 20 ~ 25 ショットポンピングします。グリースを注入しすぎないでください。**

セパレータ可変速度駆動シーブ：シーブを回転させてニップルにアクセスします。

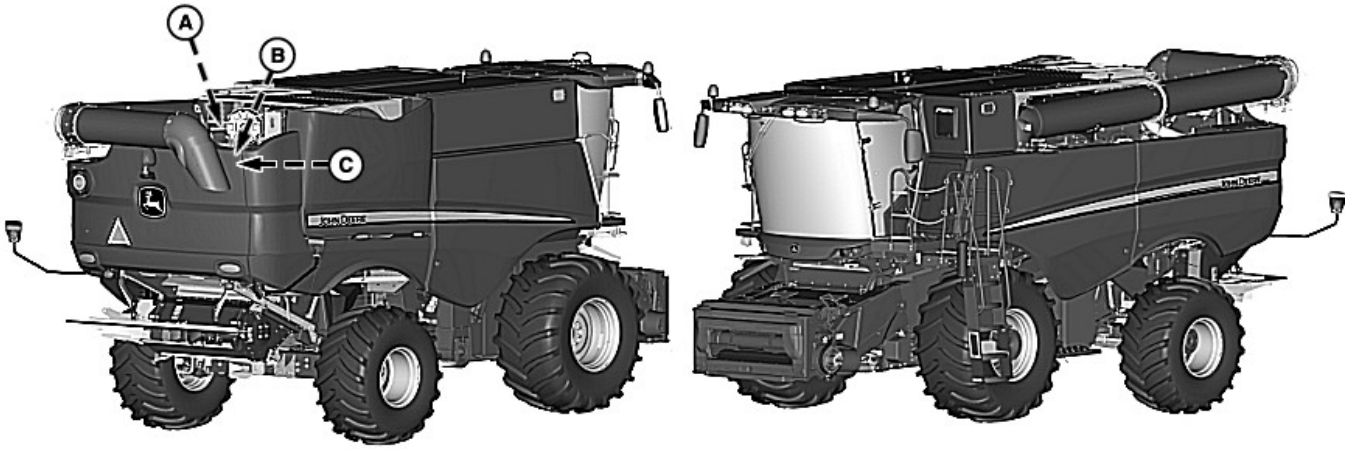
注記： 機械を始動し、フル速度レンジでセパレータを数回入れ直し、グリースを均一に行き渡らせます。

セパレータ可変速度駆動シーブ：外側シーブのハブにあるニップルにグリースを注入する前に、シーブ (高速) を閉じます。シーブを回転させてニップルにアクセスします。常時高速で運転していた場合は、シリンダ速度を入れ直してグリースを行き渡らせます。

OUO6075,00045DB-40-20MAR17

メンテナンス — 250 時間ごと

整備間隔表 — 250 時間ごと

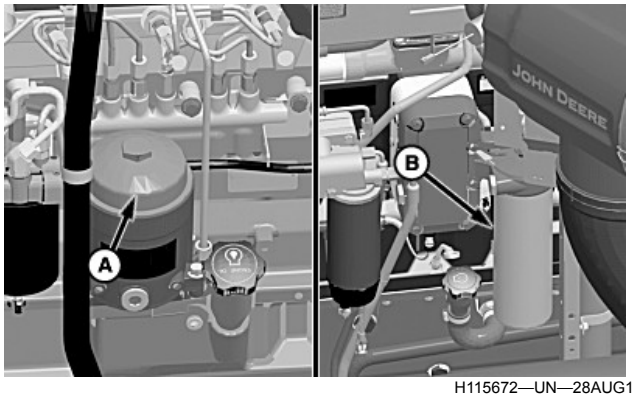


H119636—UN—14OCT16

凡例	整備	250 時間ごと
A	エンジンオイルとフィルタの交換 (ティア 2 / ステージ II) エンジンオイルとフィルタの交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)	•
B	燃料タンクブリーザーの点検	•
C	排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクのブリーザーの点検 (ファイナルティア 4 / ステージ V)	•

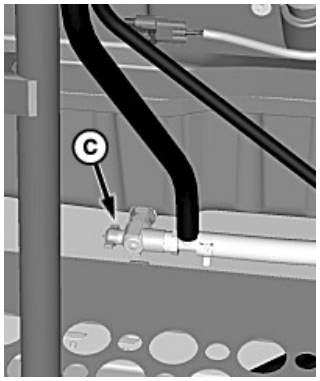
OUO6075,00047ED-40-15NOV17

エンジンオイルとフィルタ (ティア 2 / ステージ II)

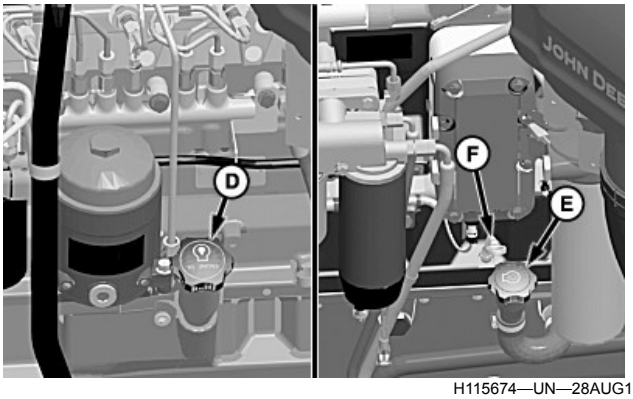


H115672—UN—28AUG15

スタイル *A* / スタイル *B*



H115673—UN—28AUG15



H115674—UN—28AUG15

スタイル *A* / スタイル *B*

A：**キャップ**
B：**オイルフィルタ**
C：**ドレン**
D：**検油棒**
E：**キャップ**
F：**検油棒**

重要： **硫黄含量の高い燃料を使用した場合は、100 時間ごとにオイルを交換します。硫黄含量の詳細については、「燃料と潤滑油」セクションを参照してください。**

季節に適した粘度等級のオイルまたは Torq-Gard™ をクランクケースに注入します (250 時間整備間隔)。John Deere™ Plus-50™ または plus-50™ II エンジン オイルと John Deere™ 製フィルタを使用している場合は、整備間隔を 50% 延長できます。例：250 時間は 375 時間に延長できます。

1. **スタイル A**：エンジンクランクケースの上部装填型オイルフィルタ：キャップ (A) を取り外して、フィルタを取り外します。フィルタを交換してキャップを取り付けます。規定のトルクで締め付けます。

仕様

オイルフィルタキャップ：トルク	40 N·m (30 lb·ft)

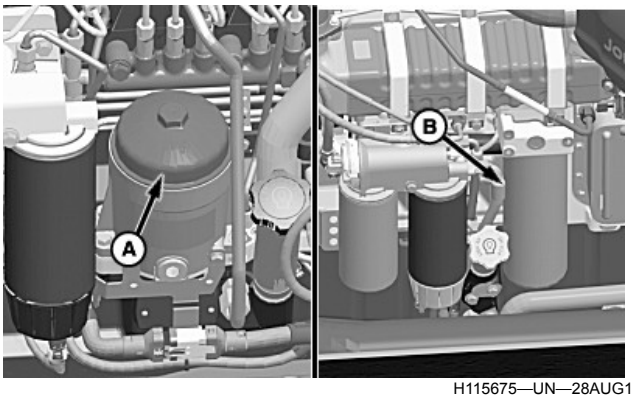
スタイル B：エンジンクランクケースのオイルフィルタ：オイルフィルタ (B) を取り外して交換します。

2. ドレン (C) を開いてオイルを抜き取ります。
3. **スタイル A**：エンジンクランクケースの上部装填型オイルフィルタ：検油棒 (D) を取り外してオイルを注入し、オイルレベルを点検します。

スタイル B：エンジンクランクケースのオイルフィルタ：キャップ (E) を取り外して注入し、注入後に検油棒 (F) でオイルを点検します。

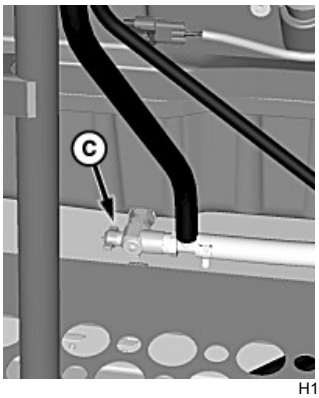
OUO6075,00044BA-40-25JAN17

エンジンオイルとフィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V)

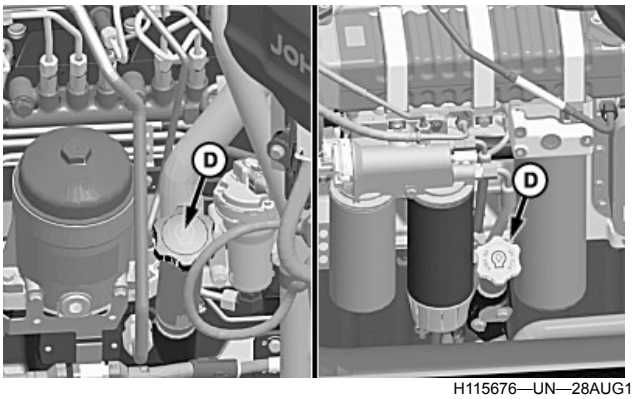


H115675—UN—28AUG15

スタイル *A* / スタイル *B*



H115673—UN—28AUG15



H115676—UN—28AUG15

A：**キャップ**
B：**オイルフィルタ**
C：**抜き取り**
D：**検油棒**

重要： **「燃料と潤滑油」セクションで指定されているエンジンオイル以外のエンジンオイルを使用している場合は、250 時間ごとにオイルを交換してください。**

John Deere™ Plus-50™ II エンジンオイルおよび John Deere™ 製フィルタを使用している場合は、400 時間ごとにオイルを交換してください。詳しくは、「燃料と潤滑油」セクションを参照してください。

Torq-Gard は Deere & Company の商標です。
Plus-50 は Deere & Company の商標です。

ファイナルティア 4 / ステージ V エンジンは、Plus-50™ エンジンオイルまたは API CK-4、API CJ-4、ACEA E9、ACEA E6 規格適合オイルが必要です。

最大硫黄含有量が 15 mg/kg (15 ppm) の超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料のみを使用してください。

1. **スタイル A**：エンジンクランクケースの上部装填型オイルフィルタ：キャップ (A) を取り外して、フィルタを取り外します。フィルタを交換してキャップを取り付けます。規定のトルクで締め付けます。

仕様

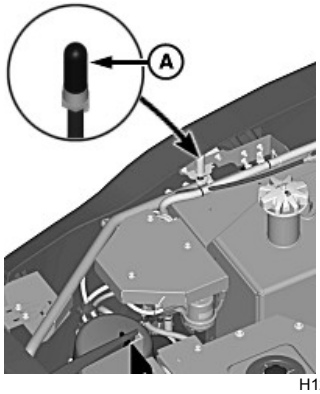
オイルフィルタキャップ：トルク	40 N·m (30 lb·ft)

スタイル B：エンジンクランクケースのオイルフィルタ：オイルフィルタ (B) を取り外して交換します。

2. ドレン (C) を開いてオイルを抜き取ります。
3. 検油棒 (D) を取り外してオイルを注入し、オイルレベルを点検します。

OUO6075,00047EE-40-13NOV17

燃料タンクブリーザー



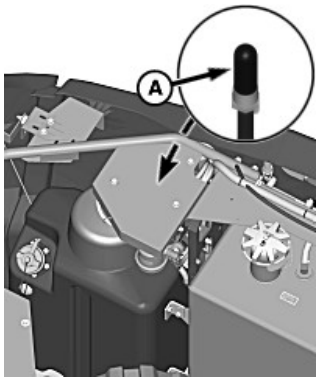
H125430—UN—04DEC18

A：**燃料タンクブリーザー**

燃料タンクブリーザー (A) を目視点検します。ブリーザーにごみが溜まらないようにしてください。ブリーザーをホースから取り外して清掃します。

OUO6075,0004A5E-40-04DEC18

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクのブリーザー (ファイナルティア 4 / ステージ V)



H125431—UN—04DEC18

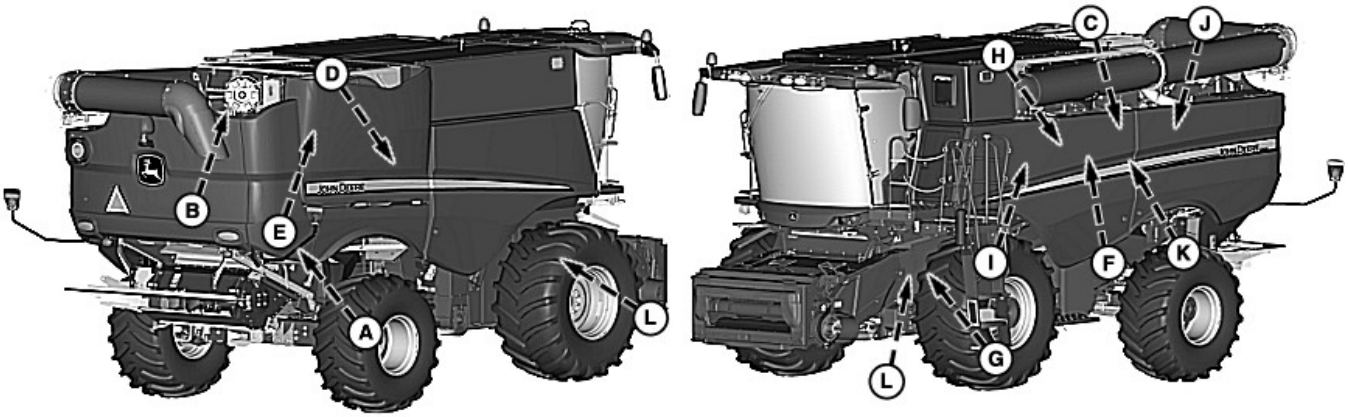
A：**排ガス処理溶液尿素水 (DEF) タンクブリーザー**

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (A) を目視点検します。ブリーザーにごみが溜まらないようにしてください。ブリーザーをホースから取り外して清掃します。

OUO6075,0004A5F-40-04DEC18

メンテナンス — 400 時間ごと

整備間隔表 — 400 時間ごと

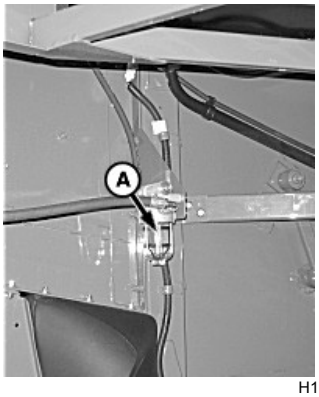


H119653—UN—17OCT16

凡例	整備	400 時間ごと
A	燃料プレクリーナフィルタの清掃	•
B	油水分離器の点検 (S780、S785、S790 機) 一次および二次燃料フィルタの交換	•
C、D、E	可変速度駆動 / 従動シーブへのグリース注入 (ファイナルティア 4 / ステージ V S760 および S770 機械)	•
F	アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入	•
G	ヘッダー / リール駆動ポンプシーブベアリングへのグリース注入	•
H	プライマリカウンターシャフトのユニバーサルジョイントスプラインへのグリース注入 (非多速度フィーダーハウス)	•
I	垂直アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入 (S780、S785、S790 機)	•
J	チョッパー / アンローディング駆動軸ベアリングへのグリース注入	•
K	可変速度駆動シーブへのグリース注入	•
L	フィードアクセルレータベアリングへのグリース注入	•

OUO6075,00047F1-40-13NOV17

燃料プレクリーナフィルタ



H115657—UN—28AUG15

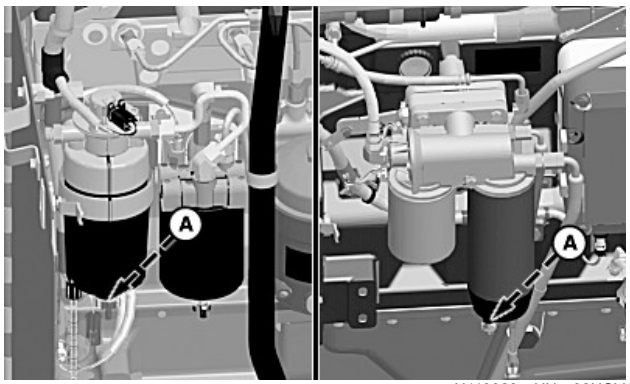
A：**燃料プレクリーナフィルタ**

注意： **燃料フィルタでメンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

1. 燃料タンク遮断弁を閉じます。
2. 燃料プレクリーナフィルタ (A) を取り外してスクリーンを清掃します。
3. スクリーンとフィルタを取り付けます。燃料タンク遮断弁を開いて注入します。詳しくは、「メンテナンス — 必要に応じて」(エンジンのフルードとフィルタ) セクションを参照してください。

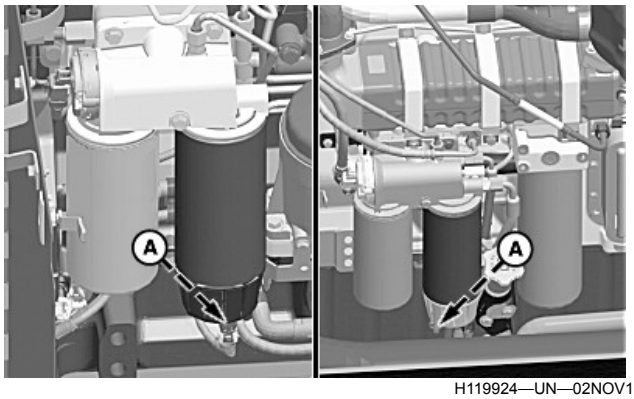
OUO6075,0004428-40-17JAN17

油水分離器



H119923—UN—02NOV16

ティア 2 / ステージ II (スタイル A / スタイル B)



H119924—UN—02NOV16

ファイナルティア 4 / ステージ V (スタイル / スタイル B)

A：**ドレン**

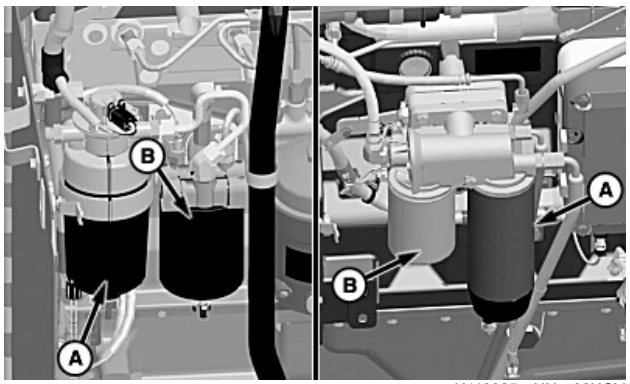
水がないかウォーターセパレータ (B) を点検し、診断トラブルコードが生成されたときも点検します。

ドレンを開いて、油水分離器から水を除去します。詳しくは、「メンテナンス — 必要に応じて (エンジンのフルードとフィルタ)」セクションを参照してください。

油水分離器を取り外して保管します。

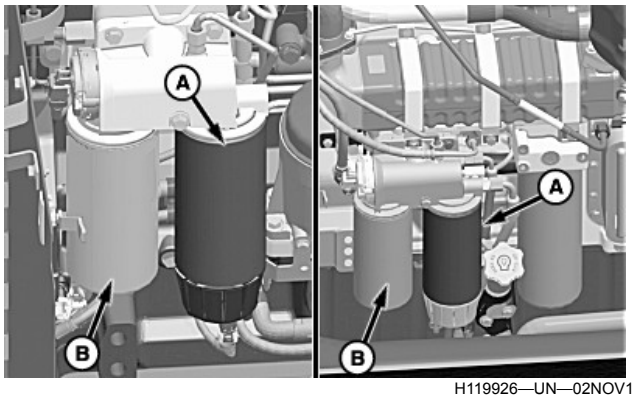
OUO6075,00047F3-40-13NOV17

一次 / 二次燃料フィルタ



H119925—UN—02NOV16

ティア 2 / ステージ II (スタイル A / スタイル B)



H119926—UN—02NOV16

ファイナルティア 4 / ステージ V (スタイル / スタイル B)

A：**一次燃料フィルタ**
B：**二次燃料フィルタ**

注意： **燃料ラインに残っている高圧流体により、大けがをすることがあります。高圧燃料ポンプと、高圧コモンレール (HPCR) 燃料システムを備えたエンジンのノズルの間にある燃料配管、センサー、その他の部品を取り外す前に、エンジンが停止してから最低 15 分間待ってください。**

燃料フィルタでメンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

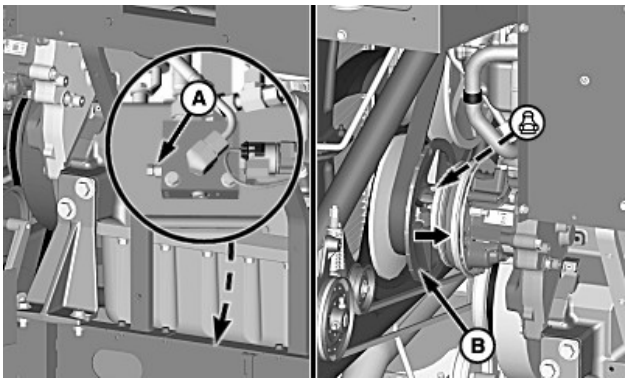
1. 一次燃料フィルタ：
   a. 燃料タンク遮断弁を閉めます。
   b. 性能の低下に気付いた場合、または診断トラブルコードが生成された場合は、一次燃料フィルタ (A) を取り外して交換します。
   c. 水センサーの接続を外します (装備されている場合)
   d. フィルタから燃料を除去して廃棄します。
   e. 交換用一次燃料フィルタを取り付けます。
   f. 燃料タンク遮断弁を開いてキースイッチを ON にし、燃料系統をプライミングします。詳しくは、「メンテナンス — 必要に応じて (エンジン

のフルードとフィルタ)」セクションを参照してください。

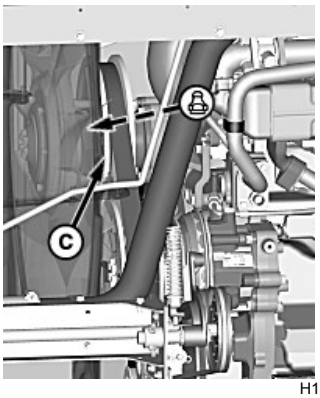
2. 二次燃料フィルタ：
   a. 燃料タンク遮断弁を閉めます。
   b. 性能の低下に気付いた場合、または診断トラブルコードが生成された場合は、二次燃料フィルタ (B) を取り外して交換します。
   c. フィルタから燃料を除去して廃棄します。
   d. 交換用二次燃料フィルタを取り付けます。
   e. 燃料タンク遮断弁を開いてキースイッチを ON にし、燃料系統をプライミングします。詳しくは、「メンテナンス — 必要に応じて (エンジンのフルードとフィルタ)」セクションを参照してください。

OUO6075,00047F5-40-13NOV17

可変速度駆動 / 従動シーブ (ファイナルティア 4 / ステージ V S760 および S770 機械)



H115710—UN—31AUG15



H115711—UN—31AUG15

A：**通気ねじ**
B：**駆動シーブ**
C：**従動シーブ**

注記： 可変速度駆動装置のブリードバルブとシーブには、セパレータアクセスカバーを開いてアクセスできます。

1. 可変速度駆動ブリードバルブ - 通気ねじ (A) を緩めて圧力をシーブから解放します。

重要： **適切な潤滑量を得るには、内側駆動シーブが完全に収縮している必要があります。**

シーブが完全に隔離されていない場合、シーブの移動範囲が損なわれる可能性があります。

2. 可変速度駆動シーブ - 駆動シーブ (B) のグリースニップルの位置を確認します。完全に開くまで駆動シーブをエンジン側に引っ張ります。10 ~ 12 回ポンピングしてグリースを注入します。余分なグリースはドライバシーブの前側から出てきます。

重要： **適切な潤滑量を得るには、従動シーブが完全に閉じている必要があります。**

シーブが完全に閉じていない場合、シーブの移動範囲が損なわれる可能性があります。

3. 可変速度従動従動シーブ - 従動シーブ (C) のグリースニップルの位置を確認します。従動シーブが完全に閉じるまで従動シーブを一緒に押します。10 ~ 12 回ポンピングしてグリースを注入します。余分なグリースは従動シーブの前側から出てきます。

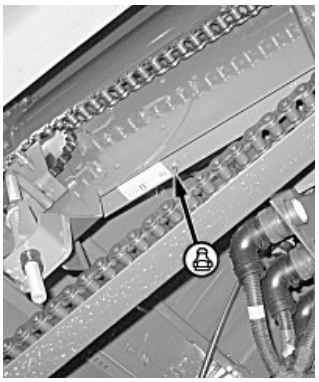
   バルブの通気ねじとナットを規定のトルクで締め付けます。

仕様

通気ねじとナット：トルク	23 N·m (17 lb·ft)

OUO6075,00047F6-40-13NOV17

アンローディングオーガ上部ギヤケース

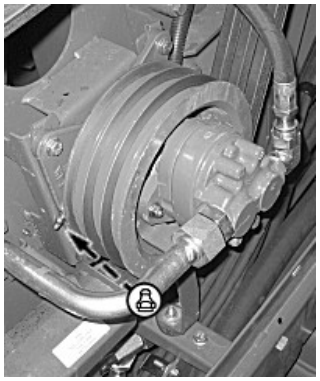


H115712—UN—31AUG15

グリースをニップルに注入します。

OUO6075,000468D-40-28MAR17

ヘッダー / リール駆動ポンプシーブベアリング



H115713—UN—31AUG15

グリースをニップルに注入します。

OUO6075,000468E-40-20MAR17

プライマリカウンターシャフトのユニバーサルジョイントスプライン (非多速度フィーダーハウス)

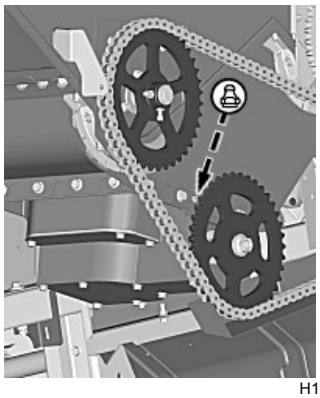
H115714—UN—31AUG15

注記： 多速度フィーダーハウス駆動装置を装備していない機械には、5 つのグリースニップルがあります。

回転させてニップルにアクセスしてグリースを注入します。

OUO6075,000442F-40-17JAN17

垂直アンローディングオーガ上部ギヤケース (S780、S785、S790 機)



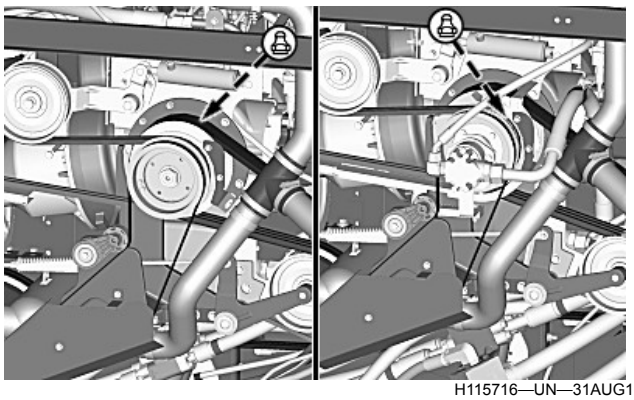
H115715—UN—31AUG15

重要： グリースをニップルに 10 ショットポンピングします。

グリースをニップルに注入します。

OUO6075,000468F-40-28MAR17

チョッパー / アンローディング駆動軸ベアリング



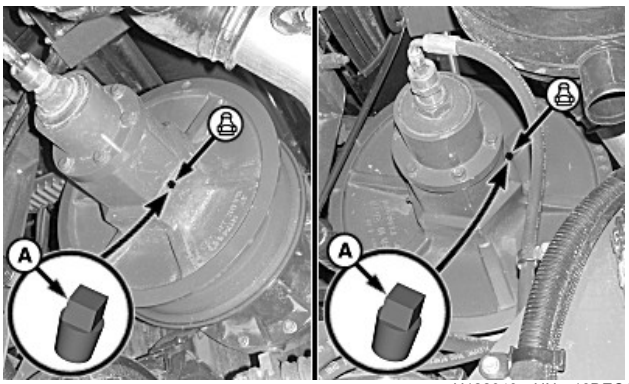
H115716—UN—31AUG15

スタイル *A* / スタイル *B*

シーブを回転させて、シーブの溝の底部にあるニップルにアクセスし、グリースをニップルに注入します。

OUO6075,0004690-40-20MAR17

可変速度駆動シーブ



H122949—UN—18DEC17

駆動シーブ *(*小径*)* / 駆動シーブ *(*大径*)*

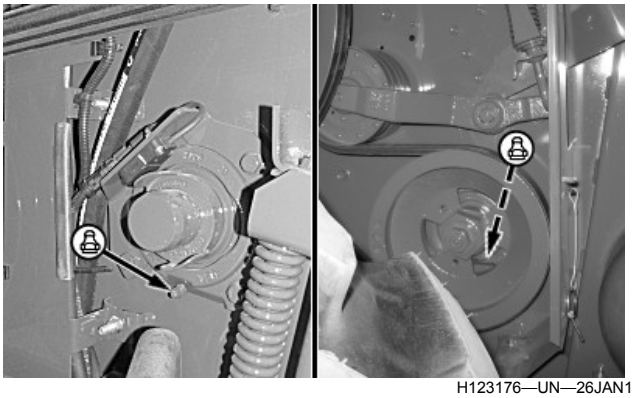
A：**パイププラグ**

重要： **パイププラグ (A) を取り外して、グリースニップルを取り付けます。グリースをニップルに 40 ~ 45 ショットポンピングします。グリースを注入しすぎないでください。グリースニップルを取り外してパイププラグを再度取り付けます。**

1. 外側シーブハブのパイププラグにグリースを注入する前に、シーブ (高速) を閉じます。
2. パイププラグにアクセスするためにシーブを回転させます。
3. 常時高速で運転していた場合は、シリンダ速度を入れ直してグリースを行き渡らせます。

OUO6075,0004862-40-18DEC17

フィードアクセルレータベアリング



H123176—UN—26JAN18

左側 / 右側

シーブを回転させてニップルにアクセスし、グリースを注入します。

OUO6075,000488A-40-26JAN18

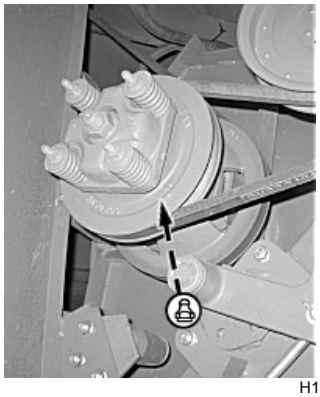
整備間隔表 — 400 時間ごと (続き)

H119654—UN—17OCT16

凡例	整備	400 時間ごと
A	二番オーガ駆動スリップクラッチへのグリース注入 (S760 および S770 機械)	•
B	コンベアオーガ駆動スリップクラッチへのグリース注入	•
C	右側潤滑油バンクへのグリース注入	•
D	オーバーショットビーターベアリングへのグリース注入 (オプション)(S770、S780、S785、S790 機)	•
E	排出ビーターベアリングへのグリース注入	•
F	クリーニングファンシャフトベアリングへのグリース注入	•
G	リアアクスルタイロッドへのグリース注入	•
H	スプレッダーディスク (装備されている場合) へのグリース注入	•
I	オーバーショットビーターのギヤケースオイルの点検 (オプション) (S770、S780、S785、S790 機)	•
J	セパレータ駆動装置オイルの点検	•
K	ファイナルドライブオイルの点検	•

OUO6075,00049BA-40-30MAY18

二番オーガ駆動スリップクラッチ (S760 および S770 機械)



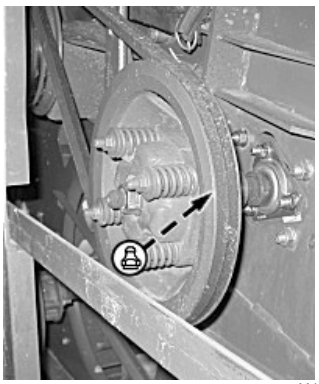
H115720—UN—31AUG15

重要： **グリースを注入しすぎないでください。**

シーブアセンブリを回転させてニップルにアクセスします。

OUO6075,0004433-40-17JAN17

コンベアオーガ駆動スリップクラッチ



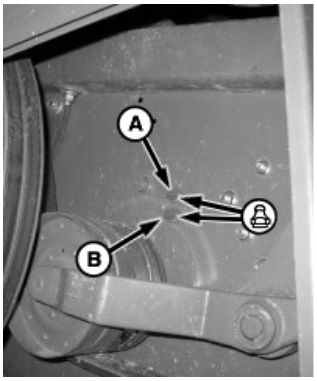
H115721—UN—31AUG15

重要： **グリースを注入しすぎないでください。**

シーブアセンブリを回転させてニップルにアクセスします。

OUO6075,0004434-40-17JAN17

右側潤滑油バンク



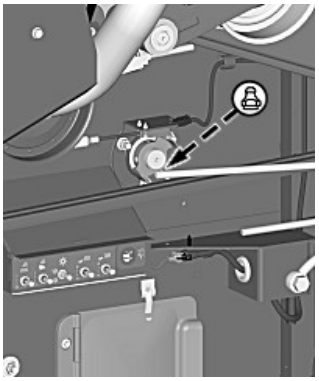
H115722—UN—31AUG15

A：**プライマリカウンターシャフトベアリング**
B：**セパレータベアリング**

グリースをニップルに注入して、プライマリカウンターシャフトベアリング (A) とセパレータベアリング (B) を潤滑します。

OUO6075,0004435-40-17JAN17

オーバーショットビーターベアリング (オプション) (S770、S780、S785、S790 機)

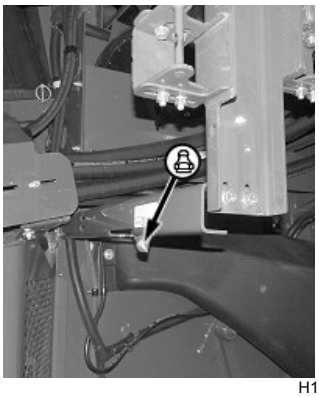


H123397—UN—09FEB18

グリースをニップル (両側) に給油します。

OUO6075,00048A7-40-09FEB18

排出ビーターのベアリング



H115724—UN—31AUG15

グリースをニップル (両側) に給油します。

OUO6075,0004693-40-21MAR17

クリーニングファンシャフトベアリング

H123398—UN—09FEB18

グリースをニップル (両側) に給油します。

OUO6075,00048A8-40-09FEB18

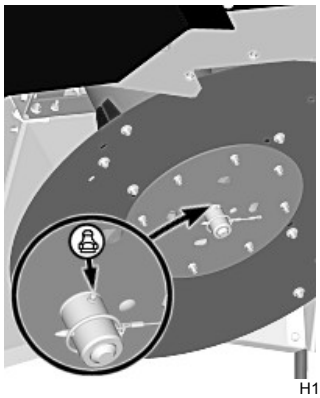
リアアクスルタイロッド

H115726—UN—31AUG15

パワーステアリングロッドエンドボールジョイントのニップル (両側) にグリースを注入します。

OUO6075,0004695-40-21MAR17

スプレッダーディスク (装備されている場合)

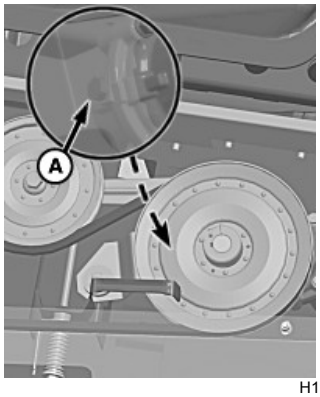


H115727—UN—31AUG15

ハブがシャフトに焼き付かないようにするためにグリースをニップル (両側) に注入します。

OUO6075,0004696-40-21MAR17

オーバーショットビーターのギヤケースオイル (オプション) (S770、S780、S785、S790 機)



H115728—UN—31AUG15

A：**プラグ**

プラグ (A) を取り外して、オイルレベルを点検します。必要に応じてオイルを追加します。

OUO6075,00046D6-40-28MAR17

セパレータ駆動オイル

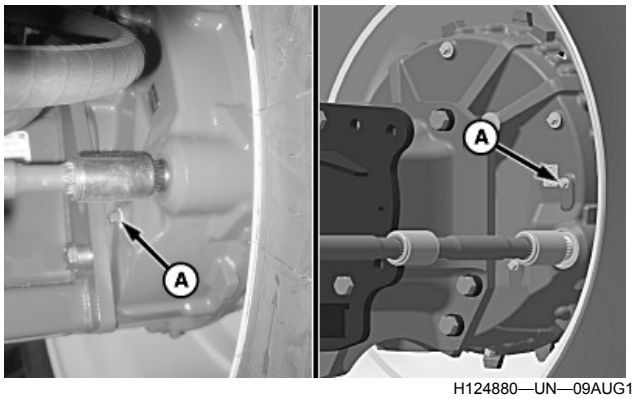
H115729—UN—31AUG15

A：**検油棒**

検油棒 (A) を取り外して、オイルレベルを点検します。オイルレベルは、検油棒の溝の間にある必要があります。必要に応じてオイルを追加します。

OUO6075,000443C-40-17JAN17

ファイナルドライブオイル



H124880—UN—09AUG18

シングルタイヤ構成と *HillMaster™ (左)* / デュアルタイヤ構成 *(右)*

A：**プラグ**

重要： **HillMaster™ 機**：**ファイナルドライブのオイルレベルを点検するときは、レベルの点検中に機械から離れるように周囲の人に警告します。**

注記： HillMaster™ 機：オイルレベルを正確に点検するには、ファイナルドライブ入力シャフトがアクスル駆動軸と同じレベルになるようにファイナルドライブを位置決めする必要があります。

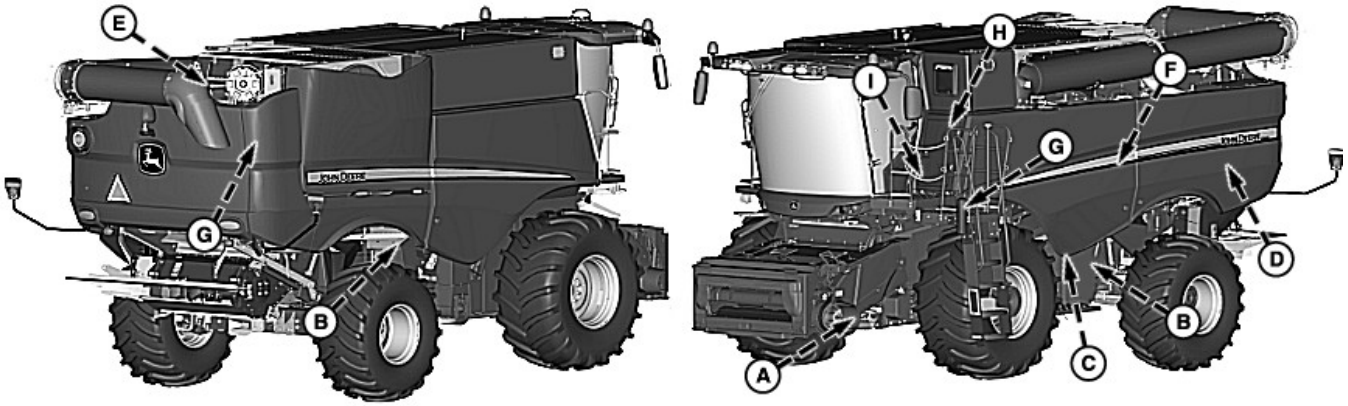
プラグ (A) を取り外してオイルレベル (両側) を点検し

HillMaster は Deere & Company の商標です。

ます。オイルは穴の底部から 12 mm (1/2 in) 以内である必要があります。必要に応じてオイルを追加します。

OUO6075,0004A17-40-15AUG18

整備間隔表—400 時間ごと (続き)



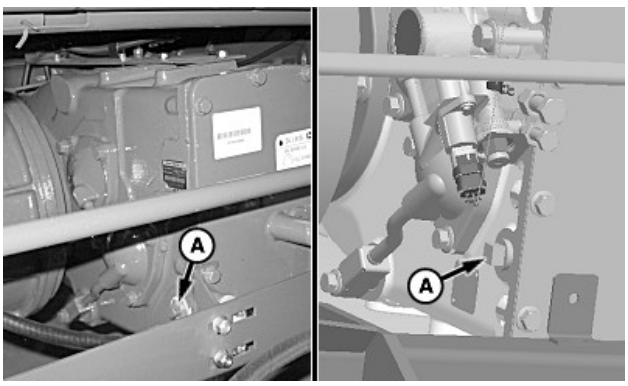
H132992—UN—19JAN21

凡例	整備	400 時間ごと
A	トランスミッションオイルの点検 (S760 および S770 ProDrive™ 非搭載の機械) 駐車ブレーキシリンダケーブルの長さの確認 (S760 および S770 押しボタン式トランスミッション搭載の機械)	•
B	バッテリーの整備 / 清掃	•
C	作動油フィルタ / 油圧フィルタの交換 (S760 および S770 機械)	•
D	油圧チャージフィルタの交換 (S760 および S770 ProDrive™ 非搭載の機械) 油圧チャージフィルタの交換 (S760 および S770 ProDrive™ 搭載の機械)	•
E	油圧チャージフィルタの交換 (S780、S785、S790 ProDrive™ 機) メインエンジンギヤケースフィルタの交換 (S760 および S770 Non-ProDrive™ 非装備の機械) メインエンジンギヤケースフィルタの交換 (S760 および S770 ProDrive™ 搭載の機械)	•
F	エンジンデブリ管理エアフィルタの交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)	•
G	消火器の点検 / 注入 / 交換	•
H	プライマリカウンターシャフトギヤケースオイルの点検 (固定速度および可変速度フィーダーハウス駆動)	•
I	ブレーキフルードの点検 (S760 および S770 ProDrive™ 非装備の機械)	•

ProDrive は Deere & Company の商標です。

OUO6075,0004FC8-40-19JAN21

トランスミッションオイル (S760 および S770 ProDrive™ 非装備の機械)



H115752—UN—02SEP15
機械式シフト / 押しボタン式シフト

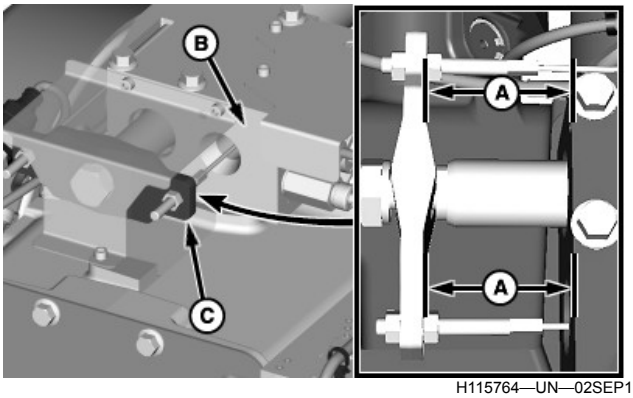
A：**プラグ**

プラグ (A) を取り外して、オイルレベルを点検します。

必要に応じて、オイルを穴の底部から 12 mm (1/2 in) 以内まで追加します。

OUO6075,000443F-40-17JAN17

駐車ブレーキシリンダケーブル (S760 および S770 押しボタン式トランスミッション搭載の機械)



H115764—UN—02SEP15

A：**距離**
B：**アクチュエータハウジング**
C：**バランサ**

注記： 駐車ブレーキをかけます (ピストンが伸長—スプリングの力がかかる)。

両側のアクチュエータハウジング (B) からバランサ (C) までの距離を測定し、仕様内であることを確認します。

仕様

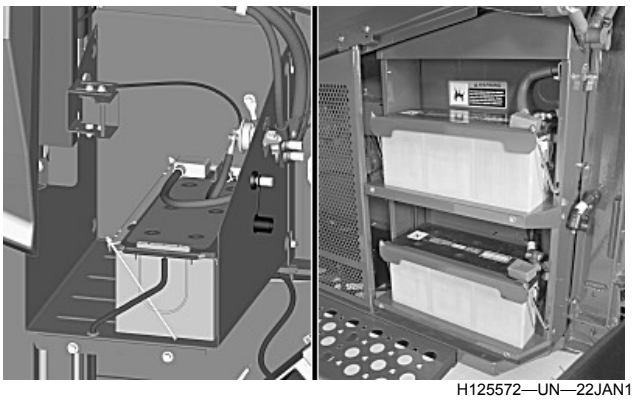
駐車ブレーキケーブル：トルク. . . . . 37-1/2 ± 2-1/2 mm (1-31/64 ± 3/32 in)

注意： パーキングブレーキシリンダケーブルには、非常に大きな圧力がかかっています。ケーブルは、John Deere 取扱店で調整する必要があります。

ケーブルを調整する必要がある場合は、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

OUO6075,0004440-40-17JAN17

バッテリー



H125572—UN—22JAN19
スタイル *A* / スタイル *B*

注記： バッテリーは本機のモデルに応じて、左側または右側にあります。

1. バッテリーの上部を清掃し、各セルのレベルを点検します。
2. 必要に応じて、フィラーネックの底部まで蒸留水を注入します。
3. バッテリー端子、ケーブルを清掃し、必要に応じて接続部を締め付けます。

OUO6075,0004A99-40-11JAN19

作動油フィルタ / 油圧フィルタ (S760 および S770 機械)

H115753—UN—02SEP15

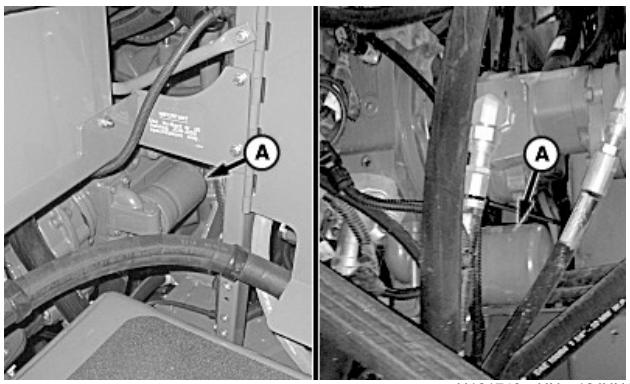
A：**フィルタ**

注記： フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

1. フィルタ (A) を取り外して交換します。
2. オイルを新品のフィルタのシールに薄く塗ります。
3. フィルタを取り付けます。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

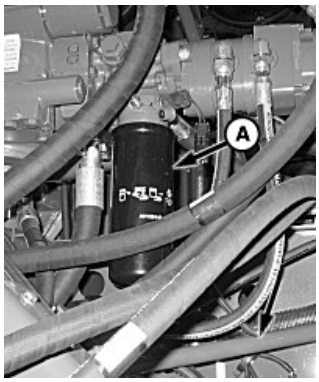
OUO6075,0004E01-40-13APR20

油圧チャージフィルタ



H121740—UN—12JUN17

スタイル *A* / スタイル *B*



H121741—UN—12JUN17

スタイル *C*

A：**フィルタ**

注記： 本機の構成に応じて、油圧チャージフィルタの方式と位置は異なります。

フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

1. フィルタ (A) を取り外します。
2. フィルタを交換して、新品のシールにオイルを薄く塗ります。
3. **スタイル A** / **スタイル B**：手締めしてから規定のトルクで締め付けます。

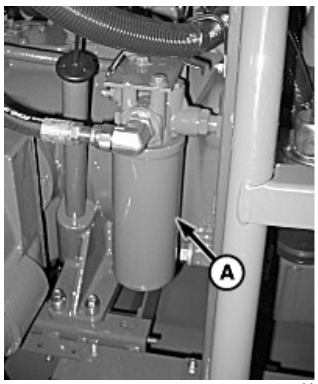
仕様

油圧チャージフィルタ：トルク. . . . . 45 N·m (33 lb·ft)

スタイル C：手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

OUO6075,0004E02-40-26JUN20

メインエンジンギヤケースフィルタ



H115762—UN—02SEP15

A：**フィルタ**

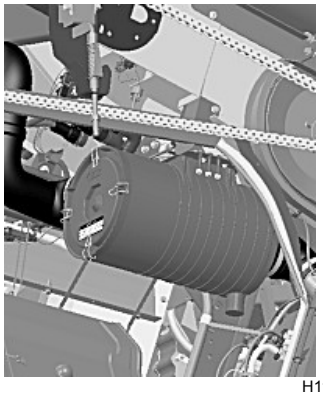
注記： 機械の構成に応じて、メインエンジンギヤケースフィルタは機械のさまざまな場所にあります。詳しくは、整備間隔表 — 400 時間ごと (続き) を参照してください。

フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

1. フィルタ (A) を取り外して交換します。
2. フィルタの新品のシールにオイルを薄く塗ります。
3. 手締めしてからさらに 1/2 回転締め付けます。

OUO6075,00046D8-40-28MAR17

エンジンデブリ管理エアフィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V)



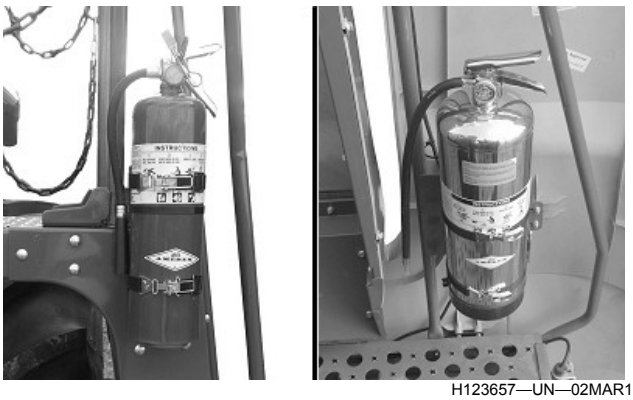
H115760—UN—02SEP15

重要： **エアフィルタ目詰まりインジケーターがディスプレイに表示された場合は、一次フィルタを整備してください。**

安全フィルタが詰まっていないか点検します。

OUO6075,00047F9-40-15NOV17

消火器



H123657—UN—02MAR18

注意： 消火器のストラップと取り付け金具は年 1 回以上を点検してください。消火器ストラップまたは取り付け金具に、損傷、異常な摩耗、変色、またはすり減りの兆候がある場合は、ストラップ全体と金具をすぐに交換する必要があります。安全のために、消火器の構成部品はお使いの機械に認可された交換部品と交換してください。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

消火器のラベルのメンテナンス手順に従って消火器 (前部および後部) を点検します。

必要に応じて再注入または交換します。

OUO6075,000490D-40-02MAR18

プライマリカウンターシャフトギヤケースオイル (固定速度および可変速度フィーダーハウス駆動)

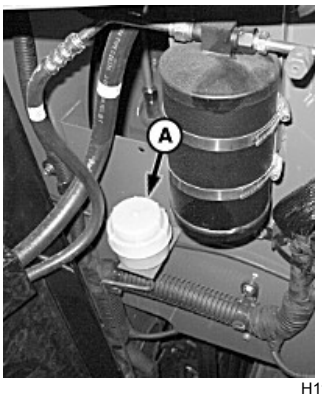
H115761—UN—02SEP15

A：**検油棒**

検油棒 (A) でプライマリカウンターシャフトギヤ ギヤケースオイル レベルを点検します。必要に応じてオイルを追加します。

OUO6075,00046D9-40-29MAR17

ブレーキフルード (S760 および S770 ProDrive™ 非搭載の機械)



H115754—UN—02SEP15

A：**リザーバーキャップ**

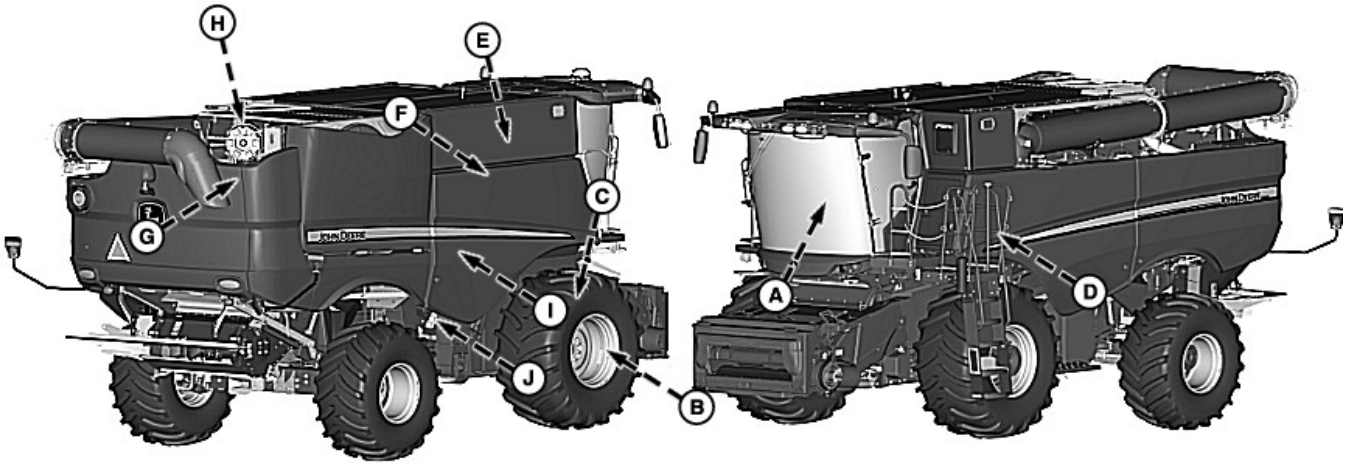
1. リザーバーキャップ (A) から見て確認し、ブレーキフルードを点検します。

注記： ごみがブレーキフルードに入らないように注意してください。

2. ブレーキフルードを上端から 6 mm (1/4 in) の位置まで追加します。

OUO6075,0004449-40-16JAN17

整備間隔表 — 400 時間ごと (続き)



H134411—UN—17MAY21

凡例	整備	400 時間ごと
A	シートベルトの点検	•
B	ProDrive™ / メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタの交換 (S760 および S770 ProDrive™ 機) ProDrive™ / メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタ (S780、S785、S790 ProDrive™ 機)	•
C	フィーダーハウススリップクラッチへのグリース注入	•
D	ヘッダー電磁クラッチナットの締め付け (固定速度および可変速度フィーダーハウス)	•
E	多速度フィーダーハウス駆動ギヤケースの清掃 (S770、S780、S785、S790 機)	•
F	ローディングオーガのギヤケースオイルの点検	•
G	排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザーの交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 燃料タンクブリーザーの交換	•
H	エアフィルタエレメントの点検	•
I	水分センサーの清掃 (装備されている場合) 水分センサーバイパスオーガの清掃 (必要な場合) ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラの清掃 (装備されている場合) ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラの乾燥剤カートリッジの交換 ActiveVision™ (装備されている場合)[a]	•
J	2 番還元物システムバイパスオーガの清掃 (必要な場合) ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラの清掃 (装備されている場合) ActiveVision™ ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラの乾燥剤カートリッジの交換 (装備されている場合)[a]	•

ActiveVision は Deere & Company の商標です。
[a]収穫シーズンが終わった場合は、次の収穫シーズンの始めまで待って乾燥剤カートリッジの寿命を延ばします。

OUO6075,0004FC9-40-18MAY21

シートベルト

H115757—UN—02SEP15

注意： シートベルトと取り付け金具は少なくとも年に 1 回点検してください。シートベルトシステム (取り付け具、バックル、ベルト、リトラクタ) に、損傷、異常な摩耗、変色、またはすり減りの兆候がある場合は、シートベルト全体をすぐに交換する必要があります。安全を確保するために、シートベルトシステムを機械で認可されている交換部品と交換してください。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

シートベルトに損傷がないか点検します。

OUO6075,0004698-40-21MAR17

ProDrive™ / メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタの交換 (ProDrive™ 搭載の機械)

H115763—UN—02SEP15

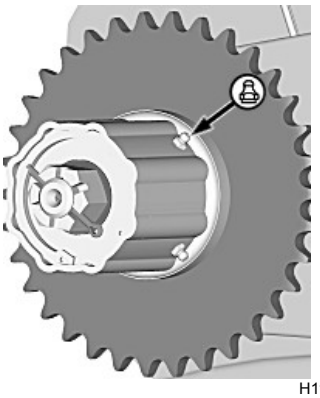
A：**フィルタ**

注記： フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

1. フィルタ (A) を取り外して交換します。
2. フィルタの新品のシールにオイルを薄く塗ります。
3. フィルタを手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

OUO6075,00046DA-40-28MAR17

フィーダーハウススリップクラッチ

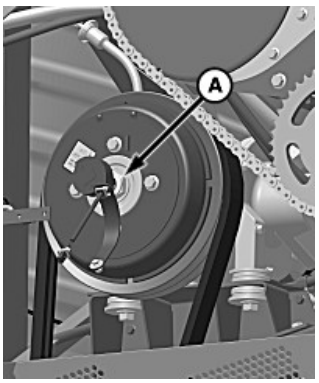


H115747—UN—01SEP15

シールから出てくるまで、グリースを上部フィーダーハウススリップクラッチのニップルに注入します。

OUO6075,000444C-40-16JAN17

ヘッダー電磁クラッチナット (固定速度および可変速度フィーダーハウス)



H134413—UN—17MAY21

A：**ヘッダー部電磁クラッチナット**

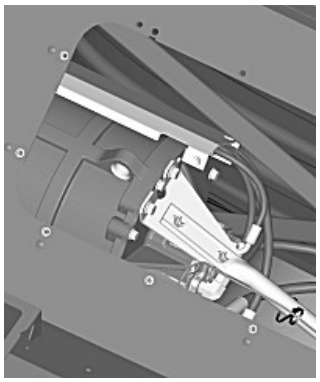
ヘッダー部電磁クラッチナット (A) を仕様に従って締め付けます。

仕様

ヘッダー部電磁クラッチナット：トルク	328 N·m (242 lb·ft)

OUO6075,0005144-40-18MAY21

多速度フィーダーハウス駆動ギヤケース (S770、S780、S785、S790 機)



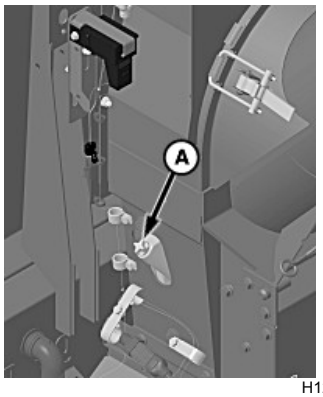
H125585—UN—17JAN19

⚠ 注意： この部分のごみ、オイル、もみ殻、作物屑は火災の危険があります。風向、作物の種類とその含水量は、もみ殻やごみが堆積する場所や量にすべて影響します。エンジン運転中に、この部分を清掃しないでください。

1. グレンタンク前側の保管ラック (A) (装備されている場合) を取り外します。
2. グレンタンク前部の点検口を取り外します。
3. 多速度フィーダーハウス駆動ギヤケースの周囲の材料を清掃します。
4. アクセスドアと保管ラックを取り付けます (装備されている場合)。

OUO6075,0004E94-40-17JUN20

ローディングオーガのギヤケースオイル



H123565—UN—22FEB18

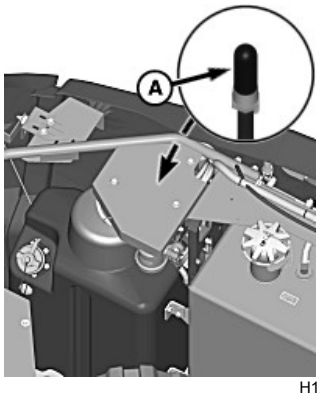
A：**検油棒**

注記： ローディングオーガオーガギヤケースは抜き取る必要はありません。

検油棒 (A) でオイルレベルを点検し、必要に応じてオイルを追加します。

OUO6075,00048BF-40-22FEB18

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクのブリーザー (ファイナルティア 4 / ステージ V)



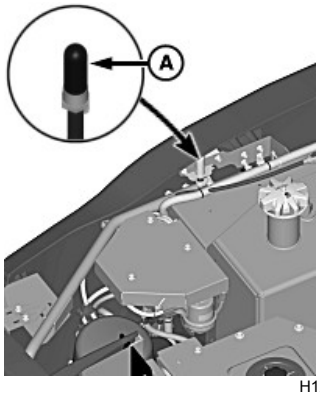
H125431—UN—04DEC18

A：**排ガス処理溶液尿素水 (DEF) タンクブリーザー**

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (A) を取り外して交換します。

OUO6075,0004A60-40-04DEC18

燃料タンクブリーザー



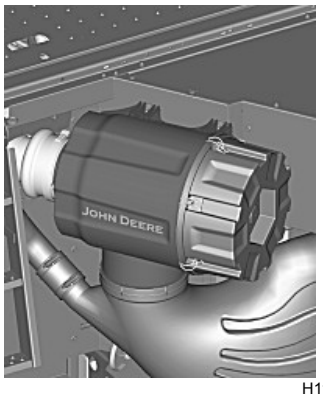
H125430—UN—04DEC18

A：**ブリーザー**

燃料タンクブリーザー (A) を取り外して交換します。

OUO6075,0004A61-40-04DEC18

エアフィルタエレメント



H115759—UN—02SEP15

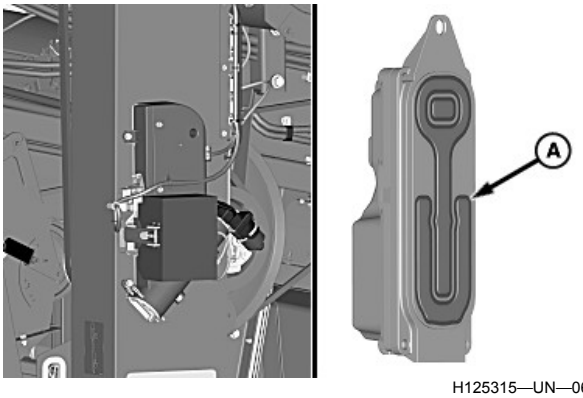
重要：**エアフィルタ目詰まりインジケーターがディスプレイに表示された場合は、一次エアフィルタを整備してください。**

安全フィルタが詰まっていないか点検します。

アスピレータチューブに漏れや破損がないか点検します。

OUO6075,0004451-40-16JAN17

水分センサー (装備されている場合)



H125315—UN—06NOV18

A：**水分センサー**

重要：**静電気により水分センサーモジュールが壊れることがあります。損傷を防止するため、作業や清掃を行う前に少なくとも片手または腕を機械の金属面に必ず触れてください。**

水分センサーには、落下したときに緩む内部構成部品があり、すぐには検出できなくなることがあります。作業または清掃時は、水分センサーを注意して扱ってください。

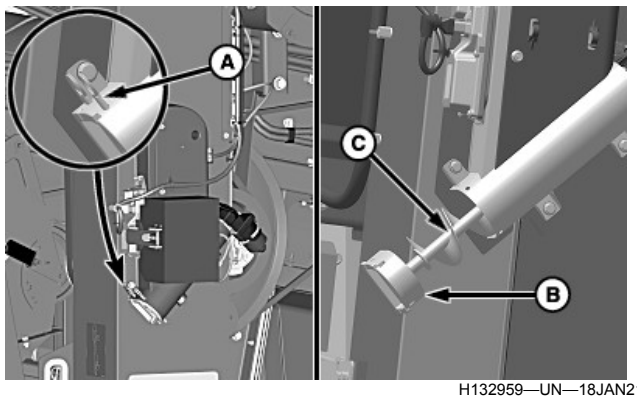
草、未熟な作物、または小さい穀物 (キャノーラ) を機械で扱っている場合は、水分センサーモジュール (A) を取り外して清掃します。

- 溶剤やその他のクリーナをセンサー面に使用しないでください。
- 清掃には乾いた布を使用することをお勧めします。それが役に立たない場合は、巾と水だけで清掃してください。
- 水分センサー面を動力洗浄機で洗浄しないでください。

水分センサーを取り付けて、水分センサーのキャリブレーションを実行します。詳しくは、「キャリブレーションアプリケーションのヘルプ」または「運転席のヘルプ」を参照してください。

OUO6075,000513D-40-14MAY21

水分センサーバイパスオーガ (必要な場合)



H132959—UN—18JAN21

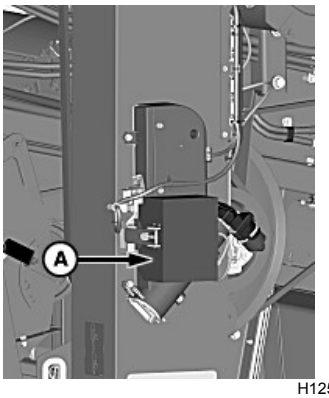
A：**ピン (2 本使用)**
B：**エンドキャップ**
C：**オーガ**

注意：**エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

1. ピン (A) とエンドキャップ (B) を取り外します。
2. オーガ (C) を水分センサーバイパスから取り外します。
3. オーガと水分センサーバイパス内のエリアを清掃します。
4. オーガを取り付け、調整します。
5. エンドキャップを取り付け、ピンで固定します。

OUO6075,0004FBB-40-18JAN21

ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (装備されている場合)



H125313—UN—06NOV18

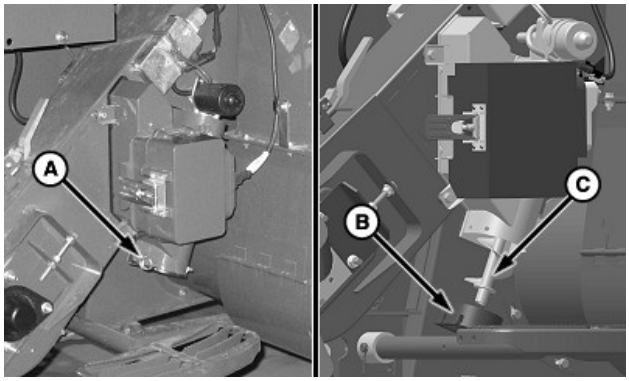
A：**ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ**

注記：清掃の頻度は、運転条件、天候、作物条件など、複数の要因によって異なります。湿らせた清潔な柔らかい布でカメラレンズを拭きます。

掛け金ラッチを開いて ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (A) を清掃します。

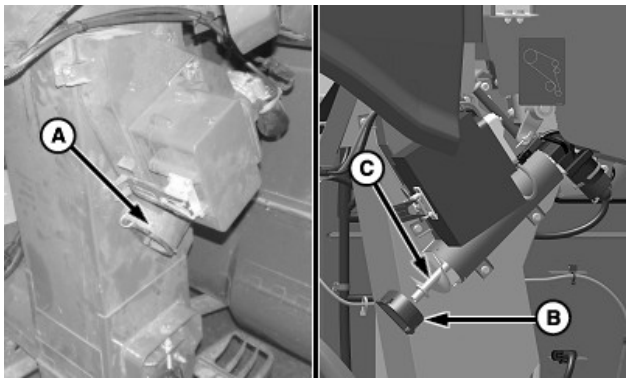
OUO6075,0004FC3-40-27APR21

2 番還元物センサーバイパスオーガ (必要な場合)



H132960—UN—18JAN21

スタイル *A*



H132961—UN—19JAN21

スタイル *B*

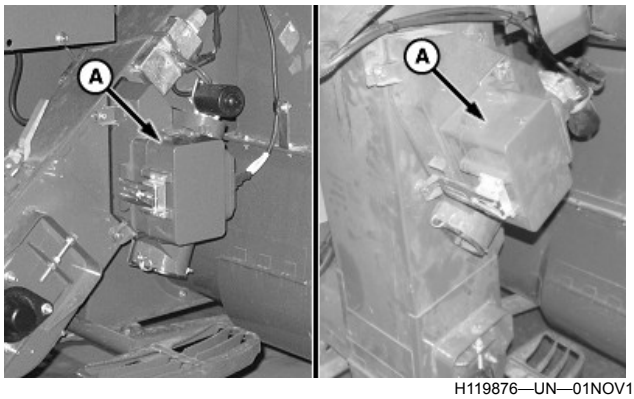
A：**ピン (2 本使用)**
B：**エンドキャップ**
C：**オーガ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

1. ピン (A) とエンドキャップ (B) を取り外します。
2. オーガ (C) を水分センサーバイパスから取り外します。
3. オーガと水分センサーバイパス内のエリアを清掃します。
4. オーガを取り付け、調整します。
5. エンドキャップを取り付け、ピンで固定します。

OUO6075,0004FC4-40-19JAN21

ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (装備されている場合)



H119876—UN—01NOV16

スタイル *A* / スタイル *B*

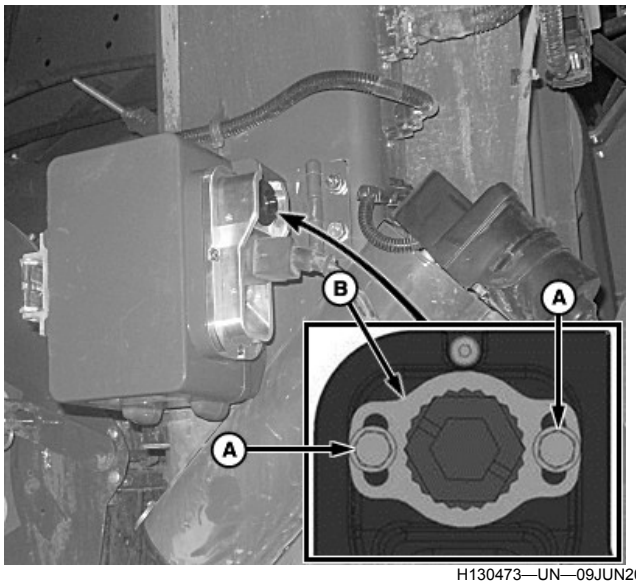
A：**ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ**

注記： 清掃の頻度は、運転条件、天候、作物条件など、複数の要因によって異なります。湿らせた清潔な柔らかい布でカメラレンズを拭きます。

掛け金ラッチを開いて、ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (A) を清掃します。

OUO6075,0004FC5-40-27APR21

ActiveVision™ カメラの乾燥剤カートリッジ (装備されている場合)



H130473—UN—09JUN20

A：**キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**固定プレート**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

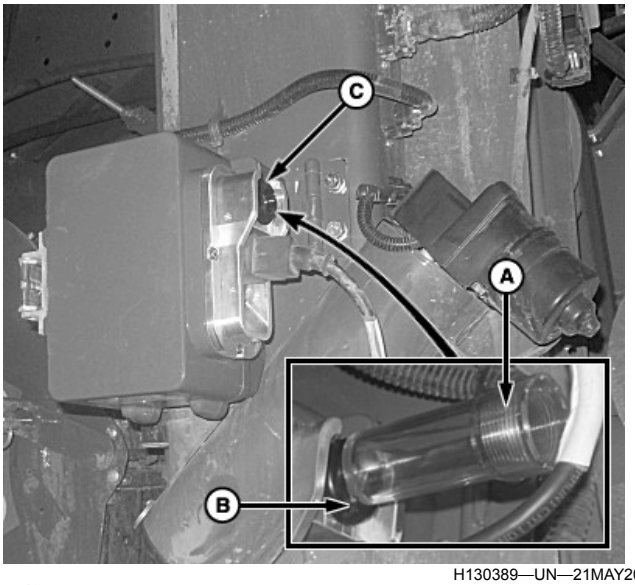
重要：**作物材やその他のごみが乾燥剤カートリッジの周囲に溜まる可能性があります。取り外す前に、乾燥剤カートリッジの周囲を点検して清掃します。**

注記： ActiveVision™ のクリーングレンエレベータカメラ。ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラも同様。

カメラレンズの内側に湿気が溜まっている場合は、必要に応じて乾燥剤カートリッジを交換します。

収穫期が終わった場合は、次の収穫期の始めまで待って乾燥剤カートリッジの寿命を延ばします。

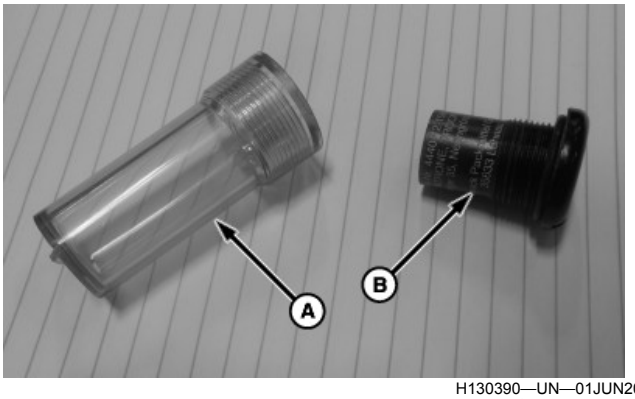
1. キャップスクリュー (A) と固定プレート (B) を取り外します。



H130389—UN—21MAY20

A：**乾燥剤容器 (工具)**
B：**切欠き**
C：**乾燥剤カートリッジ**

2. 交換用乾燥剤カートリッジに付属の乾燥剤容器 (A) を切欠き (B) と整列させます。
3. 乾燥剤カートリッジ (C) を ActiveVision™ カメラから取り外します。
4. 乾燥剤カートリッジを破棄します。



H130390—UN—01JUN20
乾燥剤容器 (工具) と乾燥剤カートリッジ

A：**乾燥剤容器 (工具)**
B：**乾燥剤カートリッジ**

5. 交換用乾燥剤カートリッジ (B) から乾燥剤容器 (A) を取り外します。
6. 乾燥剤カートリッジ (C) を ActiveVision™ カメラから取り外します。
7. 乾燥剤工具を切欠きに整列させます。
8. きつく締まるまで乾燥剤カートリッジを手で締め付けます。

注記： 固定プレートが乾燥剤カートリッジの六角形の形に合っていることを確認してください。

9. 固定プレートを乾燥剤カートリッジに取り付けて、キャップスクリューで固定します。
10. キャップスクリューを規定のトルクで締め付けます。

仕様

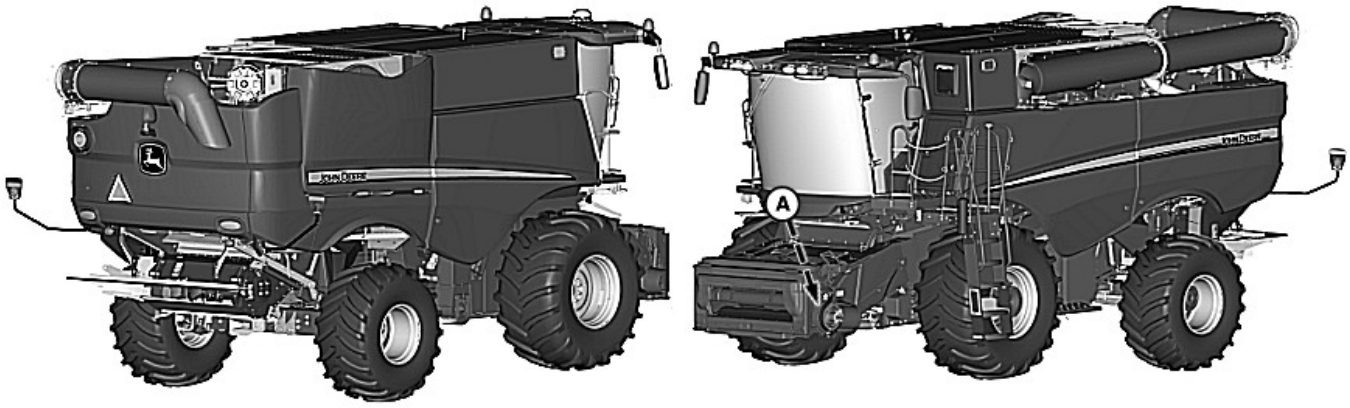
キャップスクリュー：トルク	6.8 N·m (60 lb·in)

OUO6075,0004E5D-40-26JUN20

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

メンテナンス — 800 時間ごと

整備間隔表 — 800 時間ごと

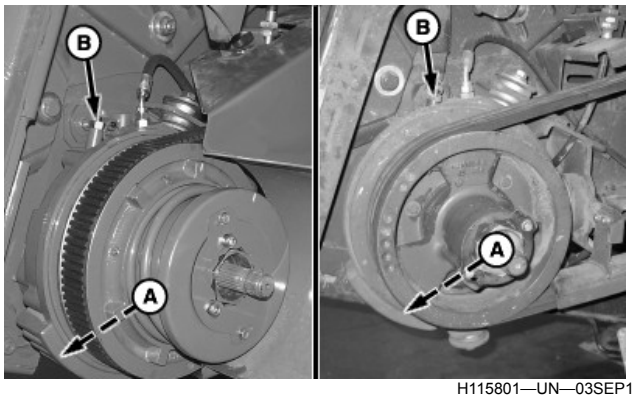


H119640—UN—13OCT16

凡例	整備	800 時間ごと
A	フィーダーハウスリバーサギヤケースオイルの交換	•

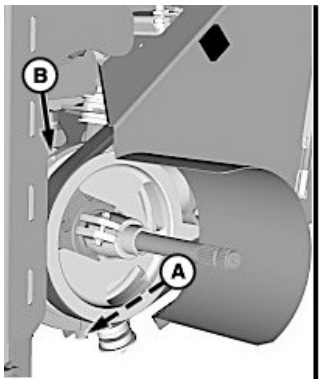
OUO6075,00046DD-40-28MAR17

フィーダーハウスリバーサギヤケース



H115801—UN—03SEP15

可変速度 / 多速度リバーサギヤケース



H115802—UN—03SEP15

固定回転数

A：**プラグ**
B：**検油棒**

1. フィーダーハウスを上げて安全ストップを下げます。

注記： 推奨オイルについては、「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

2. プラグ (A) でオイルを抜き取り、プラグを拭いて清掃して検油棒開口部 (B) からオイルを補給します。

注記： オイルクーラー付きのギヤケースは数分間運転する必要があります。これにより、クーラーがオイルで満たされます。

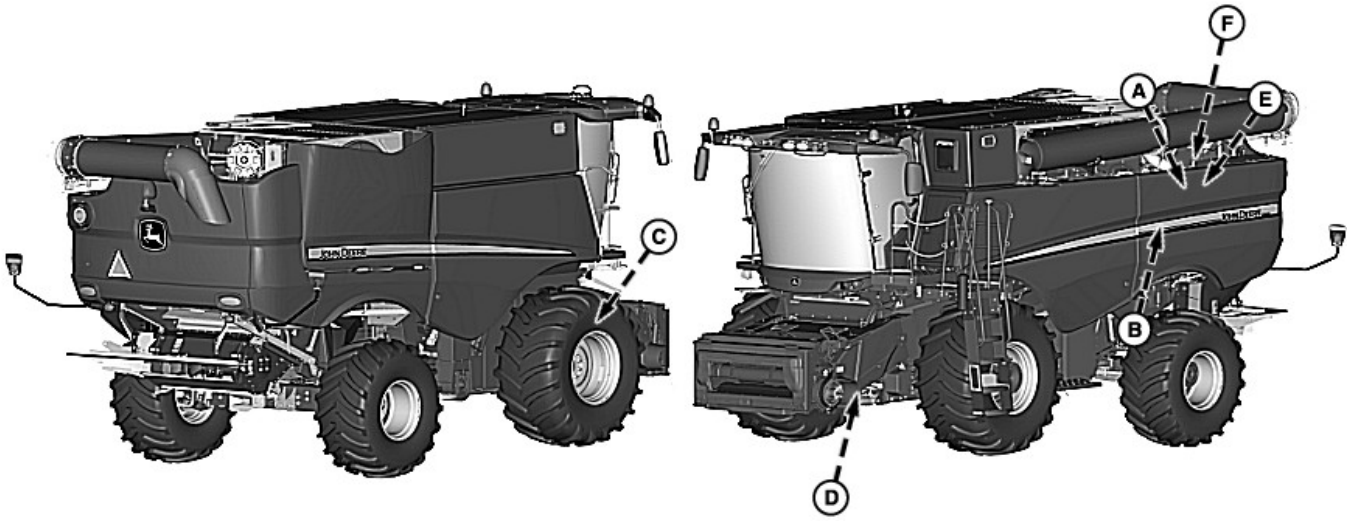
オイルレベルは検油棒の刻みの部分にある必要があります。

3. フィーダーハウスを上昇させた状態でオイルレベルを点検します。

OUO6075,00046DE-40-28MAR17

メンテナンス — 1000 時間ごと

整備間隔表 — 1000 時間ごと (ProDrive™ 搭載の機械)

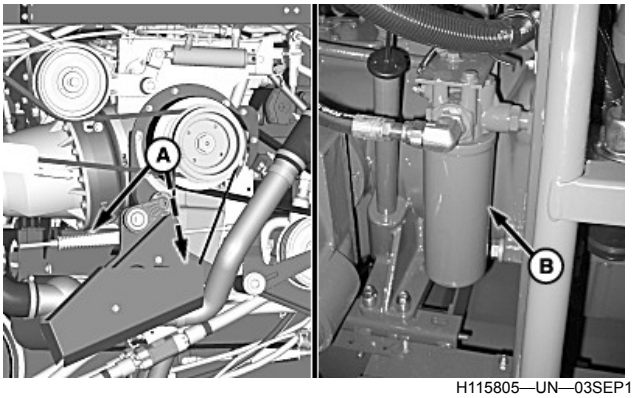


H119641—UN—13OCT16

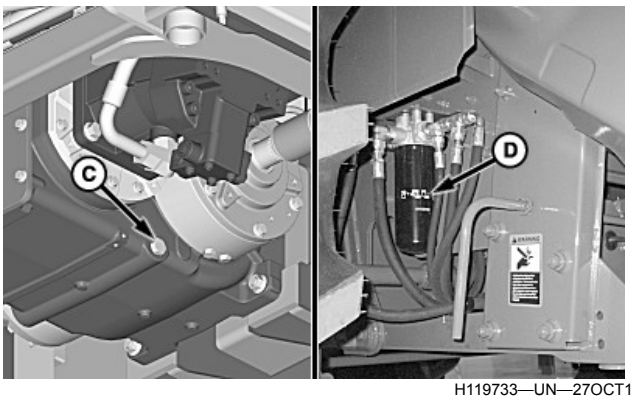
凡例	整備	1000 時間ごと
A、B、C、D、E	メインエンジンギヤケースオイルの交換	•
F	作動油リザーバーフィルタの交換 (S780、S785、S790 機)	•

OUO6075,00046DF-40-28MAR17

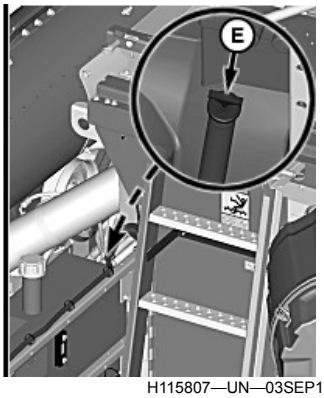
メインエンジンギヤケースオイルの交換



H115805—UN—03SEP15



H119733—UN—27OCT16



H115807—UN—03SEP15

A：**プラグ**
B：**フィルタ**
C：**プラグ**
D：**フィルタ**
E：**検油棒**

1. メインエンジンギヤケース - プラグ (A) の位置でオイルを抜き取ります。
2. **S760 および S770 ProDrive™ 搭載の機械**：フィルタ (B) を取り外して交換します。オイルをフィルタの新品のシールに薄く塗ります。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。
3. **ProDrive™ 搭載の機械**：トランスミッションオイル - プラグ (C) の位置でオイルを抜き取ります。

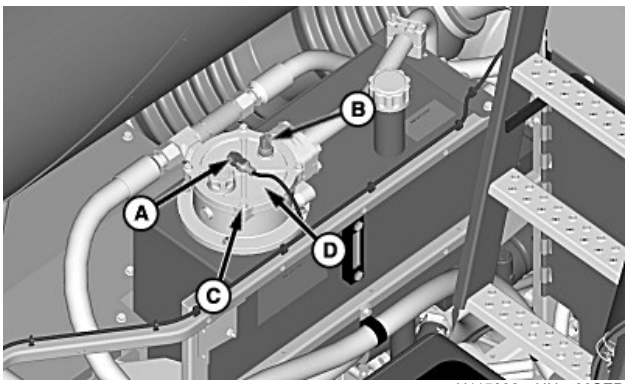
4. ProDrive™ / メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタ - フィルタ (D) を取り外して交換します。フィルタのシールにオイルを薄く塗ります。手締めして、さらに 1/2 回転締め付けます。

注記： メインエンジンギヤケースにオイルを入れすぎると、機械を運転中にオイルによって検油棒管が押し出されることがあります。

5. **メインエンジンギヤケースへの注入**
   1. 検油棒 (E) の下の線に達するまでオイルを注入します。
   2. 検油棒を取り付けて、エンジンを 1 分以上の間運転します。
   3. エンジンを停止して、空気がオイルから安定するように機械を 5 分間放置します。
   4. 検油棒を取り外して、オイルレベルを点検します。オイルレベルが検油棒の上の線に達するまでオイルを追加します。
   5. オイルレベルが検油棒の上の線に維持されるまで手順を繰り返します。

OUO6075,0004940-40-12APR18

作動油リザーバーフィルタ (S780、S785、S790)



H115808—UN—03SEP15

A：**ワイヤハーネスコネクタ**
B：**センサー**
C：**ボルト**
D：**フィルタキャップ**

注記： フィルタキャップを取り外す前にキャップの周囲を清掃して、システムが汚れないようにしてください。フィルタを交換するときにシステムから抜き取る必要はありません。

作動油リザーバーフィルタ - 性能の低下に気付いた場合または診断トラブルコードが生成された場合は、フィルタを取り外して交換します。

1. センサー (B) からワイヤハーネスコネクタ (A) の接続を外します。

注意： **ボルトを均一に取り外して、スプリング圧力をフィルタキャップから解放します。**

注記： フィルタキャップの下側の O リングを点検し、必要に応じて交換します。

2. キャップスクリュー (C) とフィルタキャップ (D) を取り外して保管します。
3. フィルタ上部のスプリングを取り外して保管します。
4. フィルタを取り外して廃棄します。
5. 前の手順で取り外したスプリングと一緒に交換用フィルタを取り付けます (図示)。
6. 前の手順で取り外したフィルタキャップを取り付けます。
7. フィルタキャップを使用してスプリングを圧縮し、前の手順で取り外したボルトを取り付けます。

重要： **フィルタキャップを取り付けるときは O リングが残っていることを確認してください。**

8. ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

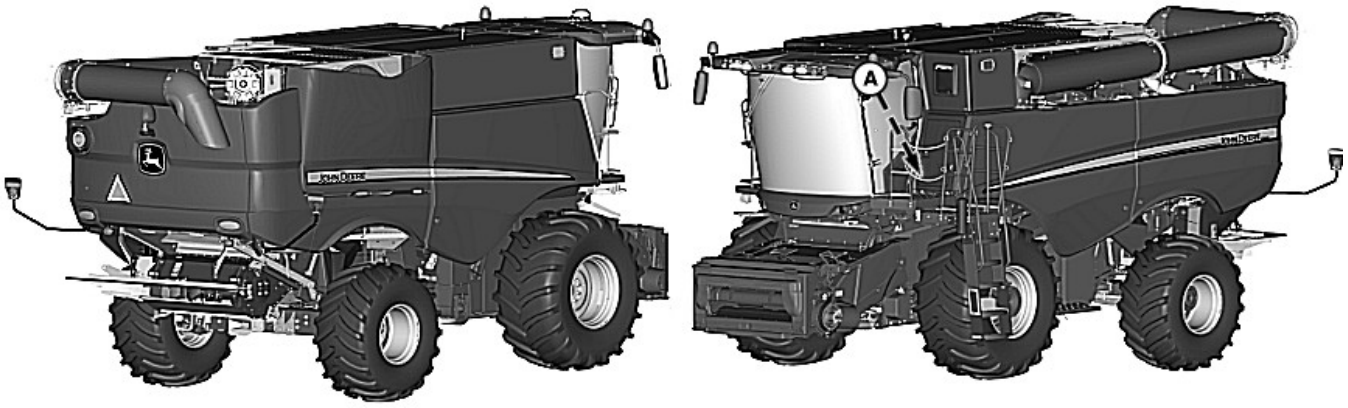
キャップスクリュー：トルク. . . . . 7 N·m (62 lb·in)

9. ワイヤハーネスをセンサーに接続します。

OUO6075,00044C6-40-22DEC16

ProDrive は Deere & Company の商標です。

整備間隔表—1000 時間ごと (続き)



H133703—UN—16MAR21

凡例	整備	1000 時間ごと
A	ブレーキフルードの交換 (S760 および S770 機械) (3 速機械式シフトトランスミッションおよび押しボタン式トランスミッション (PBST) を装備している場合)	•

OUO6075,000503C-40-14MAY21

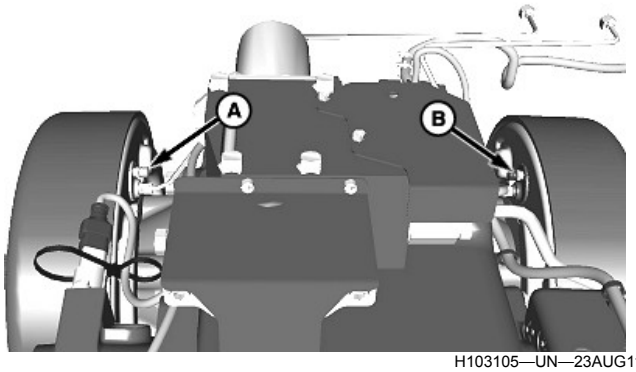
ブレーキフルードの交換 (S760 および S770 機械)

H100469—UN—25FEB11

A：**キャップ**

注記： 3 速機械式シフトトランスミッションおよび押しボタン式トランスミッションを装備している場合。

1. キャップ (A) をブレーキフルードリザーバーから取り外します。



H103105—UN—23AUG11

A：**通気ねじ (右ホイールシリンダ)**
B：**通気ねじ (左ホイールシリンダ)**

重要： 塗装面の損傷を防止するために、管を通気ねじに取り付けます。

2. 管をホイールシリンダの通気ねじ (AおよびB) に取り付けます。
3. ブレーキラインからブレーキフルードを取り除くには、ブレーキペダルをゆっくりとフロアに踏み込みます。
4. 適切な容器にブレーキフルードを抜き取ります。
5. ブレーキフルードを抜き取った後、ホイールシリンダの通気ねじを閉めます。

注記： ブレーキのエア抜きには 2 人が必要です。1 人がブレーキを踏み込み、リザーバーに充填し、もう1 人が通気ねじを開閉してブレーキのエア抜きを行います。

きれいな TY26180 または DOT 4 ブレーキフルードのみを使用してください。

6. 必要に応じて、ブレーキフルードリザーバーに補充します。
7. エア抜き作業中に真空が発生しないように、キャップをリザーバーに緩く取り付けます。
8. ブレーキペダルをロックします。
9. 左ホイールシリンダの通気ねじを 1/4 回転緩めます。

注記： ブレーキリザーバーのフルード量を確認し、エア抜き作業中に必要に応じて補充します。

10. ブレーキペダルをロックした状態で、フロアまでゆっくりと踏み込み、通気ねじを締め付け、ブレーキペダルをゆっくりと離します。気泡がないきれいな液体が流れるまで手順を繰り返します。

注記： エア抜き手順を開始する前にシステムが部分的に充填されている場合、最初の数回の行程で、一定の透明な液体の流れになることがあります。空気がホイールシリンダ内またはホイールシリンダ付近にある場合、空気をラインを通って通気ねじから排出するには数回の行程が必要になります。

11. 左ホイールシリンダの通気ねじを閉じます。
12. ブレーキペダルをロック解除します。
13. 右ホイールシリンダの通気ねじを 1/4 回転緩めます。

注記： ブレーキリザーバーのフルード量を確認し、エア抜き作業中に必要に応じて補充します。

14. 右側のブレーキペダルをゆっくりとフロアまで踏み込み、通気ねじを締め付け、ブレーキペダルをゆっくりと離します。気泡がないきれいな液体が流れるまで手順を繰り返します。
15. 右ホイールシリンダの通気ねじを閉じます。
16. 管をホイールシリンダの通気ねじから取り外します。
17. 両方の通気ねじを仕様に従って締め付けます。

仕様

ホイールシリンダの通気ねじ：

トルク. . . . . 12 N·m (106 lb·in)

注記： ブレーキフルードを上端から 6 mm (1/4 in) の位置まで追加します。

18. ブレーキリザーバーのフルードレベルが適正か確認します。
19. キャップをブレーキフルードリザーバーに取り付けます。
20. ブレーキシステムに漏れがないか確認し、各ペダルにしっかりとした感触があるかを確認します。

OUO6075,000503D-40-14MAY21

メンテナンス — 2000 時間ごと

整備間隔表 — 2000 時間ごと

H119642—UN—13OCT16

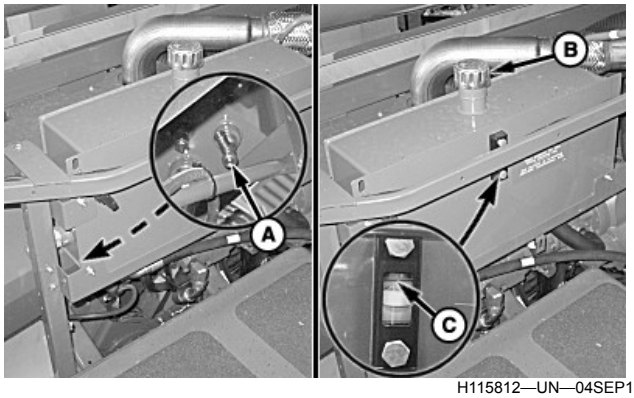
注記： John Deere Cool-Gard™ II または Cool-gard™ II PG を使用する場合は、指定されているクーラント交換間隔は 2 年または 2000 時間です。

凡例	整備	2000 時間ごと
A	作動油 / 油圧リザーバーオイルの交換	●
B	エンジンバルブラッシュの点検[a]	●
C	ファイナルドライブオイルの点検 (両側)	●
D	メインエンジンギヤケースオイルの交換 (ProDrive™ 非搭載の機械)	●
E	セパレータ駆動オイルの交換	●
F	プライマリカウンターシャフトギヤケースオイルの交換 (固定速度および可変速度フィーダーハウス)	●
G	トランスミッションオイルの交換 (機械式シフトまたは押しボタン式トランスミッション)	●
H	オーバーショットビーターギヤケース (オプション) (S770、S780、S785、S790 機)	●

ProDrive は Deere & Company の商標です。
[a]整備については John Deere 販売店にお問い合わせください。

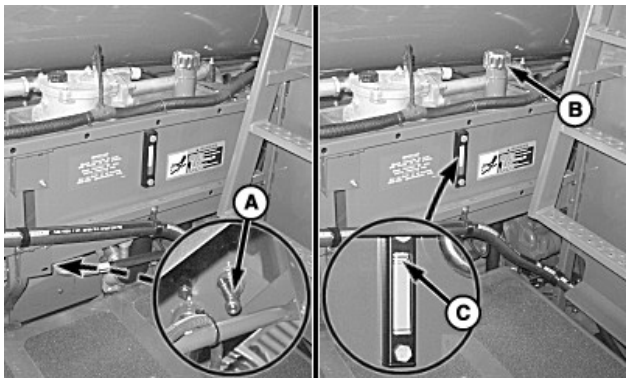
OUO6075,0004DE8-40-02APR20

作動油 / 油圧リザーバーオイル



H115812—UN—04SEP15

スタイル *A*



H115811—UN—04SEP15

スタイル *B*

A：**ドレンバルブ**

Cool-Gard は Deere & Company の商標です。

B：**キャップ**
C：**点検窓**

注記： システムの汚染を防止するために作動油リザーバー部分を清掃します。容量については、「仕様」セクションを参照してください。

1. ドレンバルブ (A) を開いてオイルを抜き取ります。オイルが抜けたら、バルブを閉めます。
2. キャップ (B) を取り外して、フィーダーハウスを完全に下げた状態でオイルレベルが点検窓 (C) の上部になるまで作動油を注入します。

OUO6075,000445A-40-22DEC16

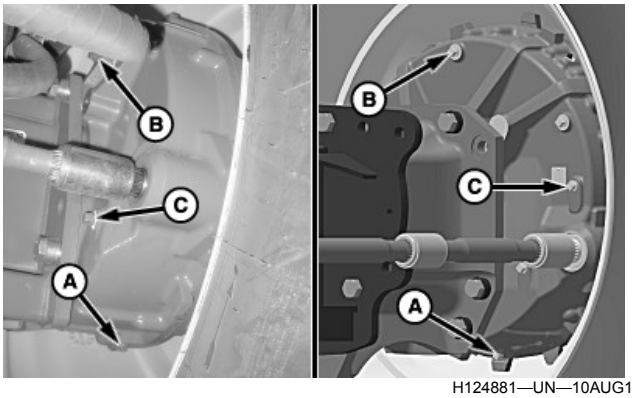
エンジンバルブラッシュ

H115813—UN—04SEP15

必要に応じて、John Deere 販売店にエンジンバルブラッシュの点検と、調整を依頼してください。

OUO6075,0004DE9-40-26JUN20

ファイナルドライブオイル



H124881—UN—10AUG18

シングルタイヤ構成と *HillMaster™ (左)* / デュアルタイヤ構成 *(右)*

A：**ドレンプラグ**
B：**注入プラグ**
C：**点検穴**

重要： HillMaster™ 機：ファイナルドライブのオイルレベルを点検するときは、レベルの点検中に本機から離れるように周囲の人に警告します。

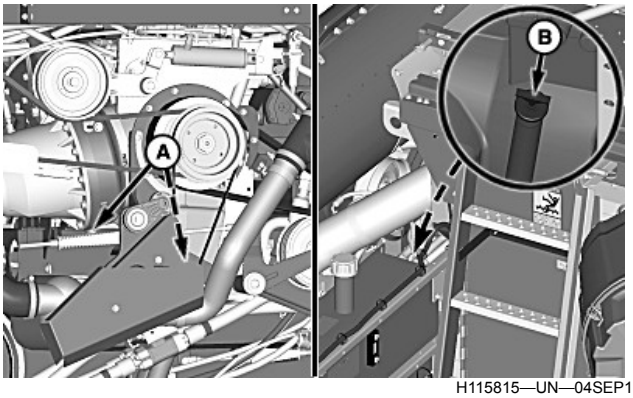
注記： HillMaster™ 機：オイルレベルを正確に点検するには、ファイナルドライブ入力シャフトがアクスル駆動軸と同じレベルになるようにファイナルドライブを位置決めする必要があります。

両側のドレンプラグ (A) を取り外してオイルを抜きます。

注入プラグ (B) を取り外して、点検穴 (C) の底部から 12 mm (1/2 in) 以内にオイルレベルが達するまで補給します。

OUO6075,0004A18-40-15AUG18

メインエンジンギヤケースオイル (ProDrive™ 非搭載の機械)



H115815—UN—04SEP15

A：**ドレンプラグ**
B：**検油棒**

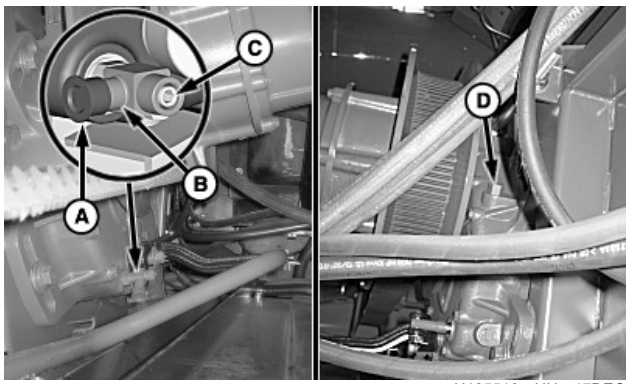
プラグ (A) で抜き取ります。

オイルを補給して検油棒 (B) でオイルレベルを点検します。

OUO6075,00046E2-40-28MAR17

HillMaster は Deere & Company の商標です。

セパレータ駆動オイル



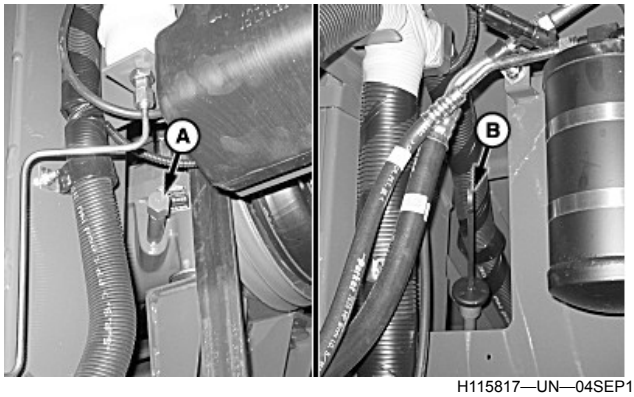
H125516—UN—17DEC18

A：**キャップ**
B：**ドレン**
C：**ドレンバルブ**
D：**検油棒**

1. キャップ (A) を取り外して、ホースをドレン (B) に取り付けます。
2. ドレンバルブ (C) にあるソケットヘッドねじを開いてオイルを抜き取ります。
3. 必要に応じて、検油棒 (D) の位置で補給します。

OUO6075,0004A84-40-17DEC18

プライマリカウンターシャフトギヤケースオイル (固定速度および可変速度フィーダーハウス)



H115817—UN—04SEP15

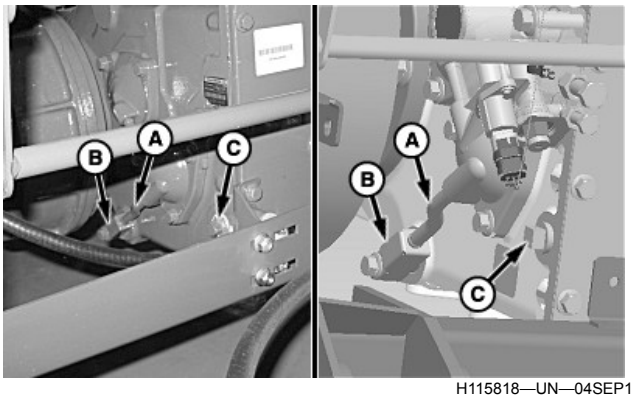
A：**キャップ**
B：**検油棒**

キャップ (A) で抜き取り、検油棒 (B) で注入します。

オイルレベルは検油棒の刻みの部分にある必要があります。

OUO6075,00046E3-40-28MAR17

トランスミッションオイル (機械式シフトまたは押しボタン式トランスミッション)



H115818—UN—04SEP15

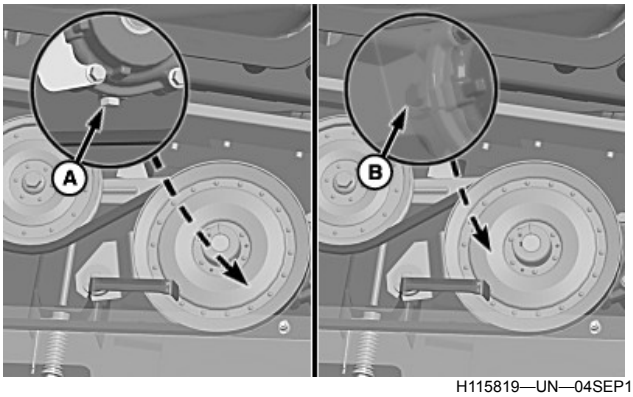
機械式シフト / 押しボタンシフト

A：**管**
B：**ブロック**
C：**点検プラグ**

1. 管 (A) をブロック (B) からスライドさせて抜きます。
2. ブロックを取り外してオイルを抜き取ります。
3. 点検プラグ (C) を取り外して、穴の 12 mm (1/2 in) 以内まで補給します。

OUO6075,0004460-40-22DEC16

オーバーショットビーターのギヤケースオイル (オプション) (S770、S780、S785、S790 機)



H115819—UN—04SEP15

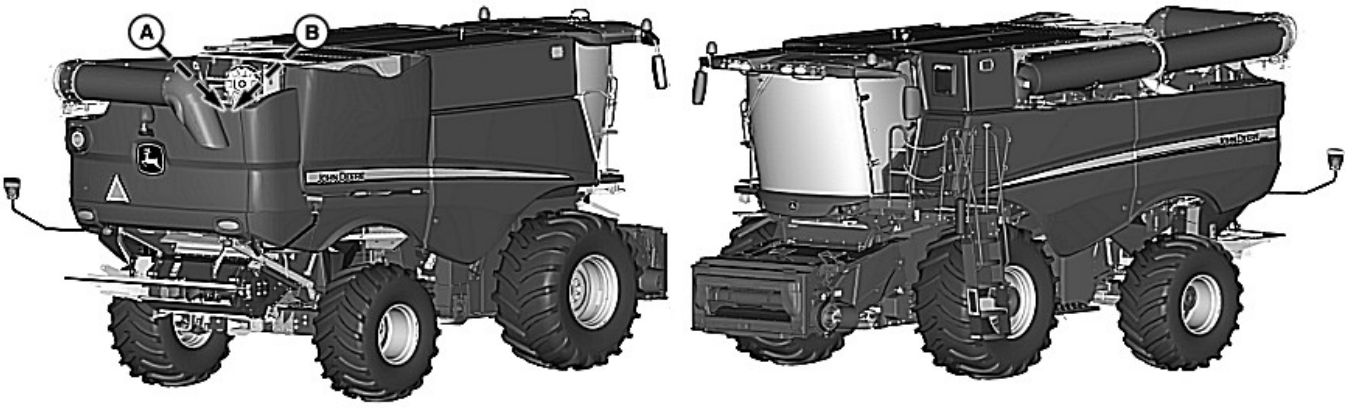
A：**プラグ**
B：**プラグ**

プラグ (A) で抜き取り、プラグ (B) で補給します。オイルレベルは、ギヤケースの側面のプラグ穴と整列している必要があります。

OUO6075,00046E4-40-28MAR17

メンテナンス — 2000 時間または 3 年ごと

整備間隔表 — 2000 時間または 3 年ごと

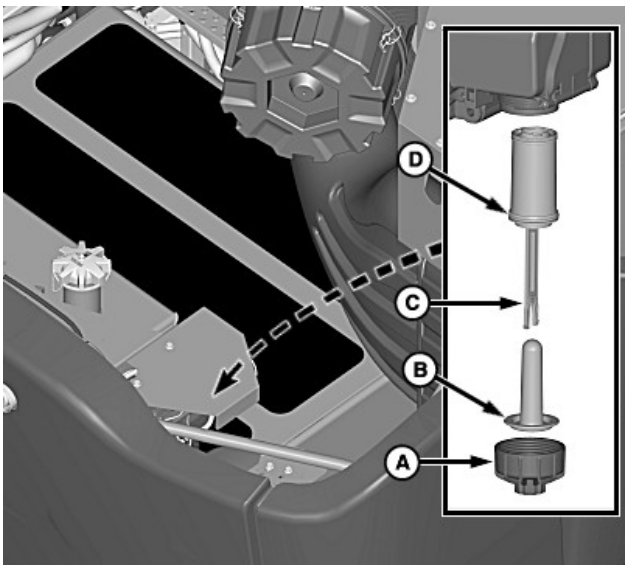


H125475—UN—10DEC18

凡例	整備	2000 時間または 3 年ごと
A	排ガス処理溶液尿素水 (DEF) 供給フィルタの交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V、S780、S785、S790 機)	•
B	排ガス処理溶液尿素水 (DEF) インラインフィルタの交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V、S780、S785、S790 機)	•

OUO6075,0004A6E-40-14DEC18

排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタの交換 (S780、S785、S790 機)



H125506—UN—14DEC18

DEF 供給装置フィルタ

A：フィルタカバー
B：均圧エレメント
C：フィルタ工具
D：DEF 供給装置フィルタ

注意： **目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。**

重要： **排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。**

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いたりしただけでは、白い跡が残ります。こぼれた DEF を適切にクリーニングしないと、SCR (選択触媒還元) システムの漏れの問題の診断を妨げることがあります。

注記： DEF 供給装置フィルタと DEF インラインフィルタは、2000 時間または 36 か月ごとのいずれか早い時期に交換する必要があります。

DEF 供給装置フィルタを整備するには、さらにカバーや部品を取り外す必要があります。位置に関する情報については、「DEF 供給装置へのアクセス」を参照してください。

1. DEF 供給装置周辺からごみをすべて除去します。

注記： DEF がシステムからパージされるまで約 5 分間待ちます。

2. フィルタカバー (A) を取り外します。
3. 均圧エレメント (B) を取り外して廃棄します。

注記： フィルタ工具 (C) は交換用フィルタを付属しています。

4. フィルタ工具が完全にかみ合ってカチッと感じるか聞こえるまで、フィルタ工具 (C) の "黒" 端を DEF 供給装置フィルタ (D) に挿入します。

注記： 取り外しやすいように、ドライバなどの工具をフィルタ工具のスロットに挿入できます。

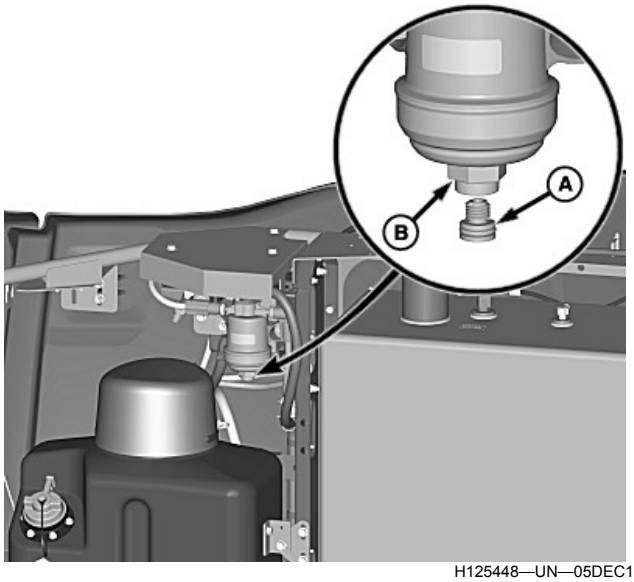
5. フィルタ工具と DEF 供給装置フィルタを DEF 供給装置から引き出します。DEF 供給装置フィルタとフィルタ工具を廃棄します。
6. 蒸留水で、DEF 供給装置のねじ山と合わせ面を洗浄します。
7. DEF フィルタの O リングを清浄な DEF で潤滑します。DEF 供給装置フィルタを DEF 供給装置に慎重に挿入します。
8. DEF 供給装置フィルタの新品の均圧エレメントを DEF 供給装置フィルタに取り付けます。
9. フィルタカバーを取り付けて、規定のトルクで締め付けます。

仕様

フィルタカバー：トルク. . . . . 23 N·m (204 lb·in)

OUO6075,0004BBB-40-30MAY19

排ガス処理用尿素水 (DEF) インラインフィルタの交換 (S780、S785、S790 機)



H125448—UN—05DEC18

A：**ドレンプラグ**
B：**フィルタカバー**

注意： **目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。**

重要： **排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。**

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いたりしただけでは、白い跡が残ります。こぼれた DEF を適切にクリーニングしないと、SCR (選択触媒還元) システムの漏れの問題の診断を妨げることがあります。

注記： DEF インラインフィルタと DEF 供給装置フィルタは、2000 時間または 36 か月ごとのいずれか早い時期に交換する必要があります。

1. インライン DEF フィルタアセンブリ周辺のすべてのごみを除去します。

注記： DEF がシステムからパージされるまで約 5 分間待ちます。

2. ドレンプラグ (A) を取り外して廃棄します。
3. DEF フルードを適切な容器に抜き取ります。
4. フィルタカバー (B) を取り外します。

H125462—UN—06DEC18

A：**フィルタアセンブリ**
B：**フィルタ**

5. フィルタアセンブリ (A) を DEF 本体から引き下げます。

注記： 必要に応じて、フィルタを軽くたたいて緩めます。フィルタカバーの内側にあるプラスチック製のタブでフィルタを所定の位置に固定します。

6. フィルタ (B) をフィルタカバーから取り外して廃棄します。
7. アセンブリのねじ山と合わせ面を蒸留水で清掃します。

H125463—UN—06DEC18

A：**フォームスペーサ**
B：**シール**
C：**フィルタカバー**

8. フォームスペーサ (A) を取り外して廃棄し、フィルタカバー (C) のシール (B) を廃棄します。
9. 交換用フォームスペーサと交換用シールを、前の手順で取り外したフィルタカバーに取り付けます。

H125464—UN—06DEC18

A：**フィルタ**
B：**DEF 本体**

注記： フィルタカバーの内側にあるプラスチック製のタブでフィルタを所定の位置に固定します。

10. 交換用フィルタ (A) を図のようにフィルタカバーに挿入し、次に DEF 本体 (B) に取り付けます。
11. フィルタカバーを取り付けて、規定のトルクで締め付けます。

仕様

フィルタカバー：トルク. . . . . 25 N·m (221 lb·in)

H125465—UN—06DEC18

A：**O リング**
B：**切欠き**

12. 交換用 O リング (A) を交換用ドレンプラグのノッチ (B) に取り付けます。
13. ドレンプラグをフィルタカバーに取り付けて、規定のトルクで締め付けます。

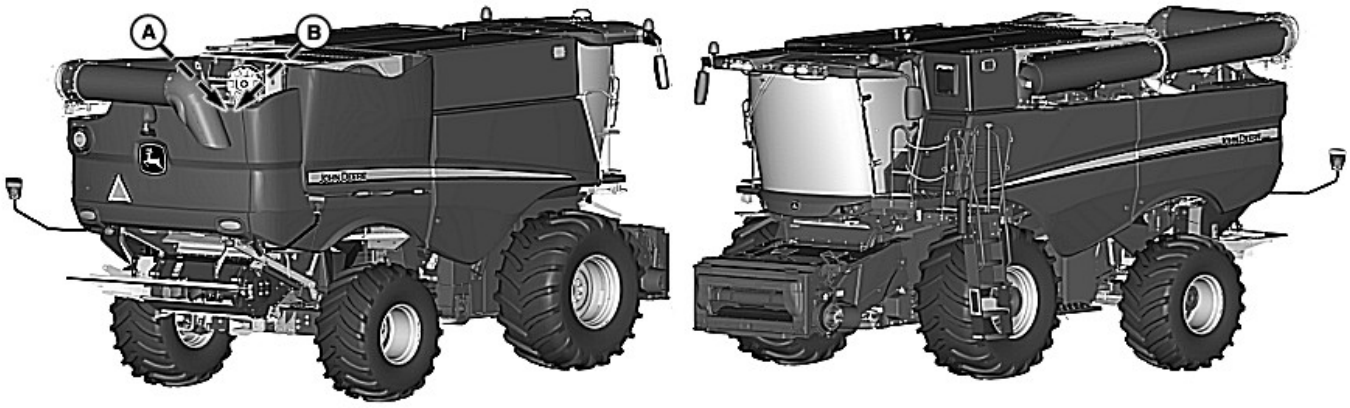
仕様

ドレンプラグ：トルク. . . . . 4 N·m (35 lb·in)

OUO6075,0004BBC-40-30MAY19

メンテナンス — 3500 時間または 3 年ごと

整備間隔表 — 3500 時間または 3 年ごと

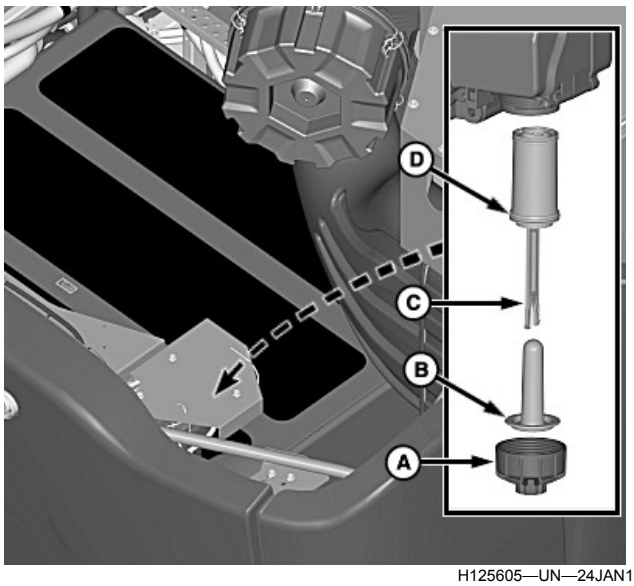


H125475—UN—10DEC18

凡例	整備	3500 時間または 3 年ごと
A	排ガス処理溶液尿素水 (DEF) 供給フィルタの交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V、S760 および S770 機械)	•
B	排ガス処理溶液尿素水 (DEF) インラインフィルタの交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V、S760 および S770 機械)	•

OUO6075,0004A6B-40-14DEC18

排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタの交換 (S760 および S770 の機械)



H125605—UN—24JAN19

DEF 供給装置フィルタ

A：フィルタカバー
B：均圧エレメント
C：フィルタ工具
D：DEF 供給装置フィルタ

注意： **目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。**

重要： **排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。**

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いたりしただけでは、白い跡が残ります。こぼれた DEF を適切に清掃しないと、SCR (選択触媒還元) システムの漏れの診断で問題になることがあります。

注記： DEF 供給装置フィルタと DEF インラインフィルタは、3500 時間または 36 か月ごとのいずれか早い時期に交換する必要があります。

DEF 供給装置フィルタを整備するには、さらにカバーや部品を取り外す必要があります。位置に関する情報については、「DEF 供給装置へのアクセス」を参照してください。

1. DEF 供給装置周辺からごみをすべて除去します。

注記： DEF がシステムからパージされるまで約 5 分間待ちます。

2. フィルタカバー (A) を取り外します。
3. 均圧エレメント (B) を取り外して廃棄します。

注記： フィルタ工具 (C) は交換用フィルタを付属しています。

4. フィルタ工具が完全にかみ合ってカチッと感じるか聞こえるまで、フィルタ工具 (C) の "黒" 端を DEF 供給装置フィルタ (D) に挿入します。

注記： 取り外しやすいように、ドライバなどの工具をフィルタ工具のスロットに挿入できます。

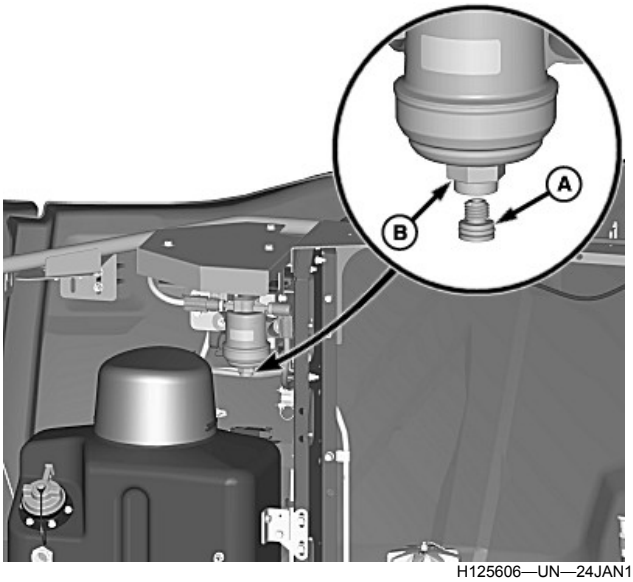
5. フィルタ工具と DEF 供給装置フィルタを DEF 供給装置から引き出します。DEF 供給装置フィルタとフィルタ工具を廃棄します。
6. 蒸留水で、DEF 供給装置のねじ山と合わせ面を洗浄します。
7. DEF フィルタの O リングを清浄な DEF で潤滑します。DEF 供給装置フィルタを DEF 供給装置に慎重に挿入します。
8. DEF 供給装置フィルタの新品の均圧エレメントを DEF 供給装置フィルタに取り付けます。
9. フィルタカバーを取り付けて、規定のトルクで締め付けます。

仕様

フィルタカバー：トルク. . . . . 23 N·m (204 lb·in)

OUO6075,0004BB9-40-30MAY19

排ガス処理用尿素水 (DEF) インラインフィルタの交換 (S760 および S770 機械)



H125606—UN—24JAN19

A：**ドレンプラグ**
B：**フィルタカバー**

注意： **目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。**

重要： **排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。**

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いたりしただけでは、白い跡が残ります。こぼれた DEF を適切に清掃しないと、SCR (選択触媒還元) システムの漏れの診断で問題になることがあります。

注記： DEF インラインフィルタと DEF 供給装置フィルタは、2000 時間または 36 か月ごとのいずれか早い時期に交換する必要があります。

1. インライン DEF フィルタアセンブリ周辺のすべてのごみを除去します。

注記： DEF がシステムからパージされるまで約 5 分間待ちます。

2. ドレンプラグ (A) を取り外して廃棄します。
3. DEF フルードを適切な容器に抜き取ります。
4. フィルタカバー (B) を取り外します。

H125462—UN—06DEC18

A：**フィルタアセンブリ**
B：**フィルタ**

5. フィルタアセンブリ (A) を DEF 本体から引き下げます。

注記： 必要に応じて、フィルタを軽くたたいて緩めます。フィルタカバーの内側にあるプラスチック製のタブでフィルタを所定の位置に固定します。

6. フィルタ (B) をフィルタカバーから取り外して廃棄します。
7. アセンブリのねじ山と合わせ面を蒸留水で清掃します。

H125463—UN—06DEC18

A：**フォームスペーサ**
B：**シール**
C：**フィルタカバー**

8. フォームスペーサ (A) を取り外して廃棄し、フィルタカバー (C) のシール (B) を廃棄します。
9. 交換用フォームスペーサと交換用シールを、前の手順で取り外したフィルタカバーに取り付けます。

H125464—UN—06DEC18

A：**フィルタ**
B：**DEF 本体**

注記： フィルタカバーの内側にあるプラスチック製のタブでフィルタを所定の位置に固定します。

10. 交換用フィルタ (A) を図のようにフィルタカバーに挿入し、次に DEF 本体 (B) に取り付けます。
11. フィルタカバーを取り付けて、規定のトルクで締め付けます。

仕様

フィルタカバー：トルク. . . . . 25 N·m (221 lb·in)

H125465—UN—06DEC18

A：**O リング**
B：**切欠き**

12. 交換用 O リング (A) を交換用ドレンプラグのノッチ (B) に取り付けます。
13. ドレンプラグをフィルタカバーに取り付けて、規定のトルクで締め付けます。

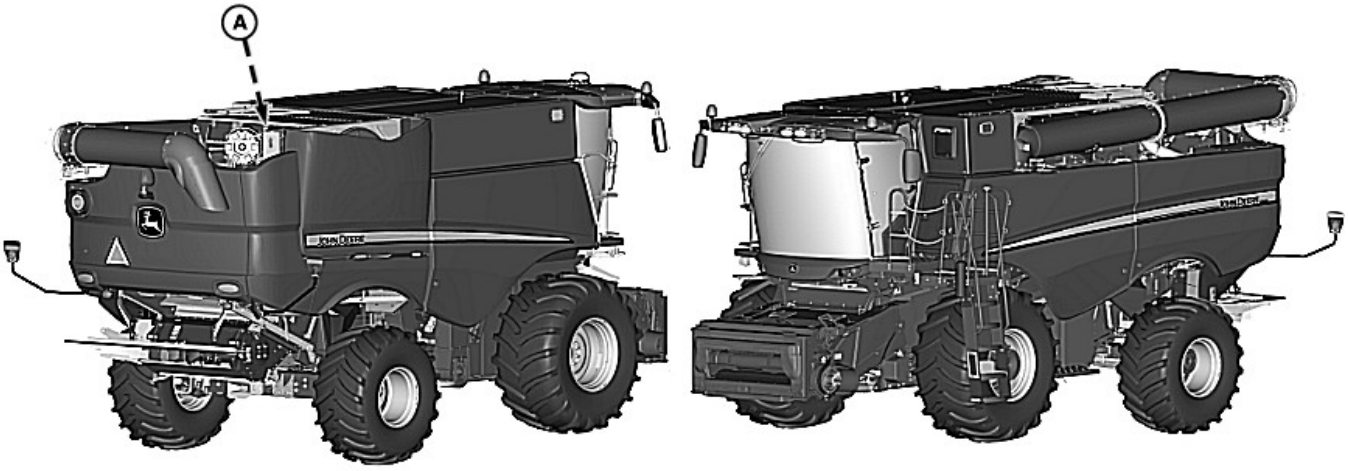
仕様

ドレンプラグ：トルク. . . . . 4 N·m (35 lb·in)

OUO6075,0004BBA-40-30MAY19

メンテナンス — 4500 時間または 5 年ごと

整備間隔表 — 4500 時間または 5 年ごと

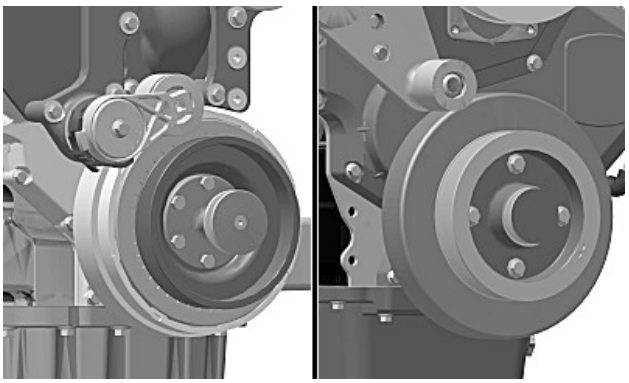


H120324—UN—22DEC16

凡例	整備	4500 時間または 5 年ごと
A	フロントエンジンクランクシャフトダンパーの交換	●

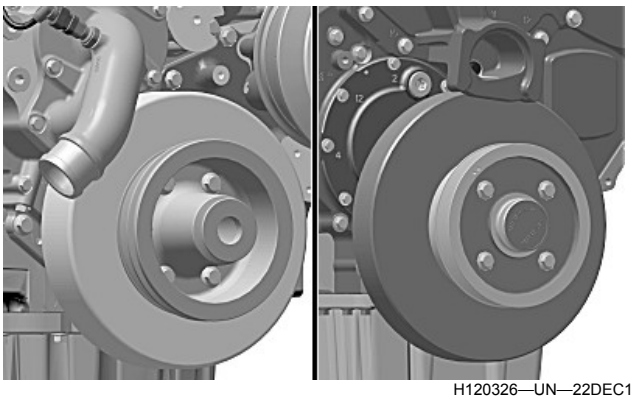
OUO6075,0004575-40-10JUN19

エンジンクランクシャフトダンパー



H120325—UN—22DEC16

ティア 2 / ステージ II (スタイル A / スタイル B)



H120326—UN—22DEC16

ファイナルティア 4 / ステージ V (スタイル / スタイル B)

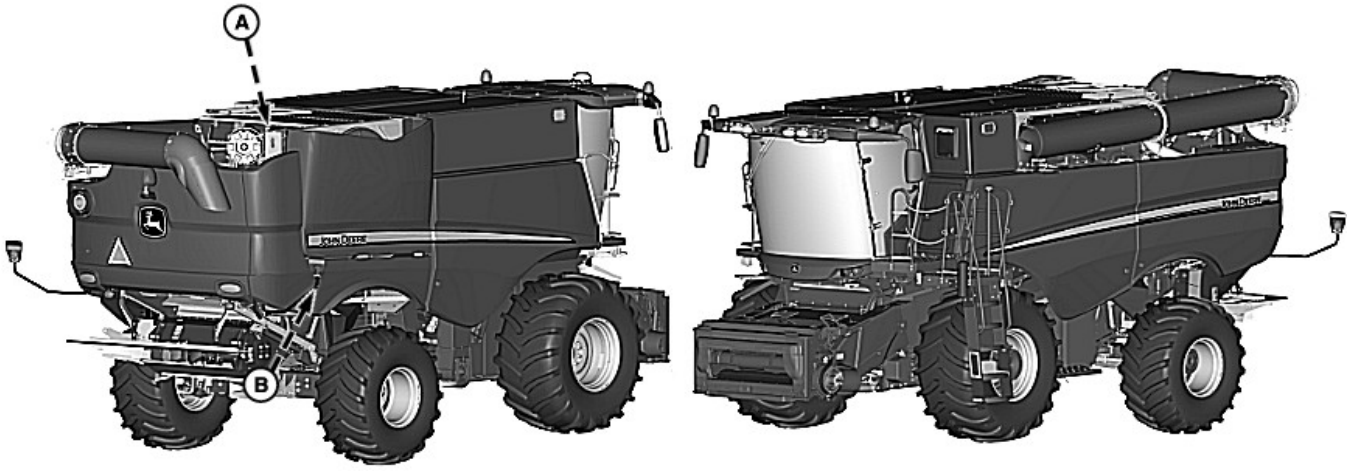
重要： **振動ダンパーアセンブリは修理できないため、5 年または 4500 時間ごとのいずれか早い時期に交換する必要があります。**

フロントエンジンクランクシャフトダンパーの交換は、John Deere 販売店に依頼してください。

OUO6075,00047FE-40-13NOV17

メンテナンス — 6000 時間または 6 年ごと

整備間隔表 — 6000 時間または 6 年ごと



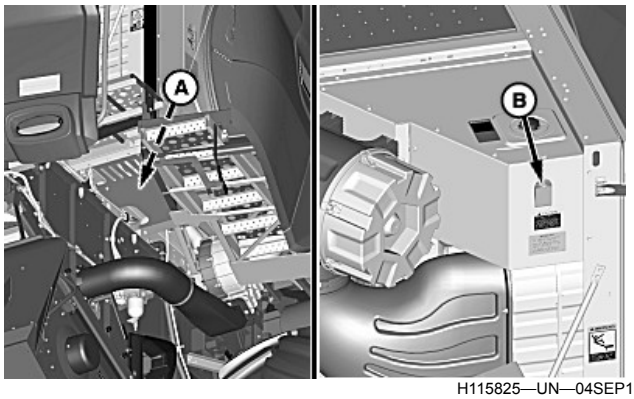
H119645—UN—13OCT16

注記： John Deere Cool-Gard™ II または Cool-gard™ II PG を使用する場合は、指定されているクーラント交換間隔は 6 年または 6000 時間です。

凡例	整備	6000 時間または 6 年ごと
A と B	エンジン冷却システムの水抜き、フラッシング、再注入	•

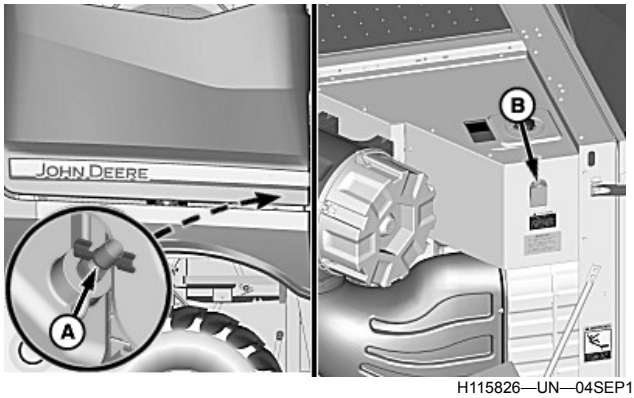
OUO6075,0004465-40-20DEC16

エンジン冷却システム



H115825—UN—04SEP15

ティア 2 / ステージ II (スタイル A)



H115826—UN—04SEP15

ティア 2 / ステージ II (スタイル B)
およびファイナルティア 4 / ステージ V

A：**ドレン**
B：**サージタンク**

注記： Cool-Gard™ II または Cool-gard™ II PG を使用する場合、交換間隔は 6 年または 6000 運転時間です。

Cool-Gard は Deere & Company の商標です。

COOL-GARD™ II または COOL-GARD™ II PG 以外のクーラントを使用する場合、交換間隔は 2 年または 2000 運転時間に短縮されます。

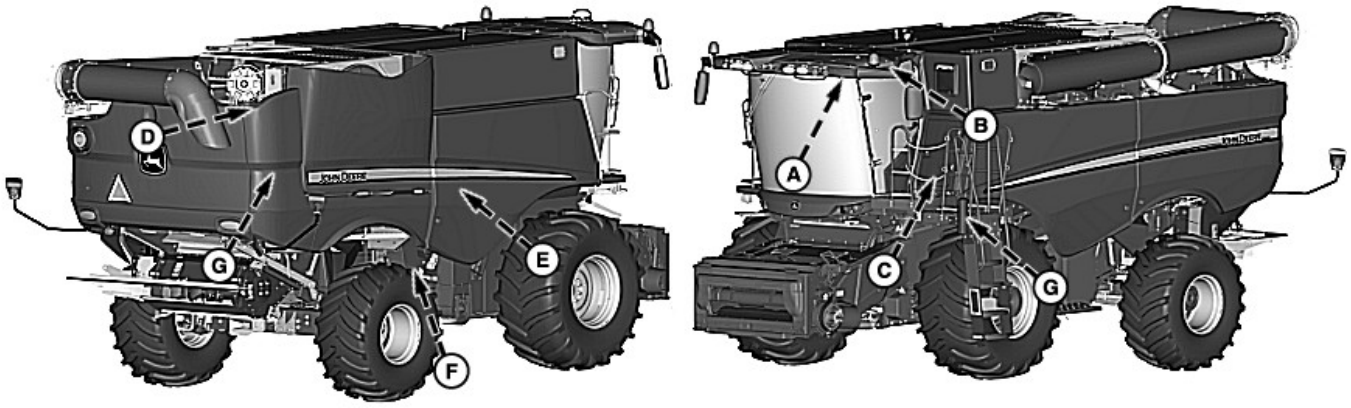
ドレン (A) を開けて、クーラントをラジエータから抜き取ります。

サージタンク (B) をフラッシングして、適切なクーラントとコンディショナを補充します。詳しくは、「メンテナンス — 必要に応じて (エンジンのフルードとフィルタ)」セクションを参照してください。推奨クーラントについては、「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

エンジンが冷めているときにサージタンク (A) でエンジンクーラントレベルを点検します。レベルは「Max Cold」(冷間時最高) ラインまで達している必要があります。

OUO6075,00047FF-40-13NOV17

整備間隔表—必要に応じて



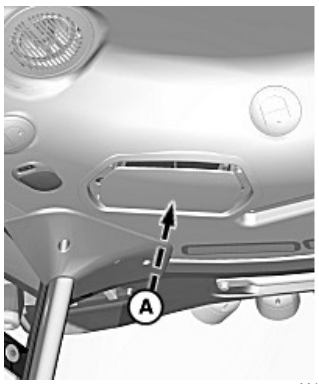
H124383—UN—29MAY18

凡例	整備	必要に応じて
A	再循環フィルタの清掃 / 交換	●
B	キャブ新気フィルタの清掃 / 交換	●
C	フロントガラスウォッシャーリザーバーへの注入	●
D	オルタネータスクリーンの清掃	●
E	水分センサーの清掃 (装備されている場合) 水分センサーバイパスオーガの清掃 ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラの清掃 (装備されている場合) ActiveVision™ クリーングレンエレベータカメラの乾燥剤カートリッジの交換 (装備されている場合)[a]	●
F	2 番還元物システムバイパスオーガの清掃 (必要な場合) ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラの清掃 (装備されている場合) ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラの乾燥剤の交換 (装備されている場合)[a]	●
G	消火器ブラケットストラップの点検と締め付け (装備されている場合)	●

ActiveVision は Deere & Company の商標です。
[a]収穫シーズンが終わった場合は、次の収穫シーズンの始めまで待って乾燥剤カートリッジの寿命を延ばします。

OUO6075,0004FBD-40-14MAY21

再循環フィルタ



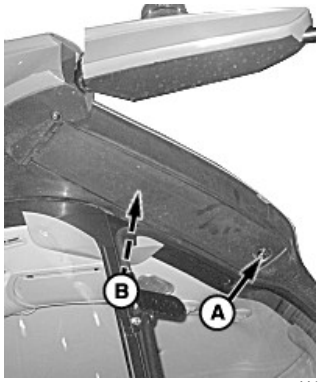
H115668—UN—28AUG15

A：**再循環フィルタ**

カバーを取り外して、再循環フィルタ (A) を清掃または交換します。

OUO6075,0004468-40-21DEC16

キャブ新気フィルタ



H115664—UN—28AUG15

A：**ノブ**
B：**新気フィルタ**

注記： ほこりの多い条件では、新気フィルタをすぐに清掃することが必要な場合があります。

ノブ (A) を回してアクセスカバー (B) を下げます。外気フィルタ (B) を取り外して清掃または交換します。

OUO6075,0004469-40-21DEC16

フロントガラスウォッシャーリザーバー

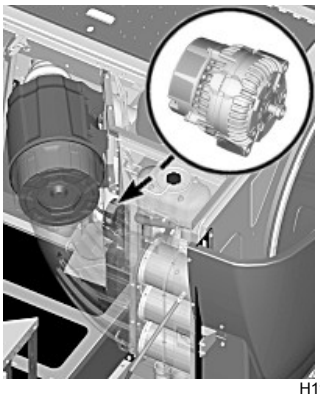
H119647—UN—13OCT16

A：**キャップ**

キャップ (A) を開きフロントガラスウォッシャーリザーバーに注入します。

OUO6075,000446A-40-21DEC16

オルタネータスクリーン

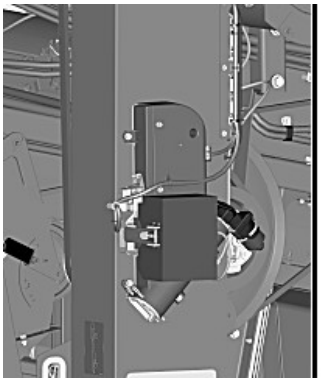


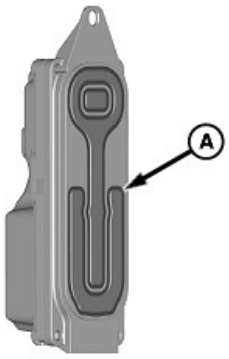
H119648—UN—13OCT16

スクリーンの清掃、ごみで 50% 覆われた場合

OUO6075,000469C-40-21MAR17

水分センサー (装備されている場合)





H125315—UN—06NOV18

A：**水分センサー**

重要： **静電気により水分センサーモジュールが壊れることがあります。損傷を防止するため、作業や清掃を行う前に少なくとも片手または腕を機械の金属面に必ず触れてください。**

水分センサーには、落下したときに緩む内部構成部品があり、すぐには検出できなくなることがあります。作業または清掃時は、水分センサーを注意して扱ってください。

草、未熟な作物、または小さい穀物 (キャノーラ) を機械で扱っている場合は、水分センサーモジュール (A) を取り外して清掃します。

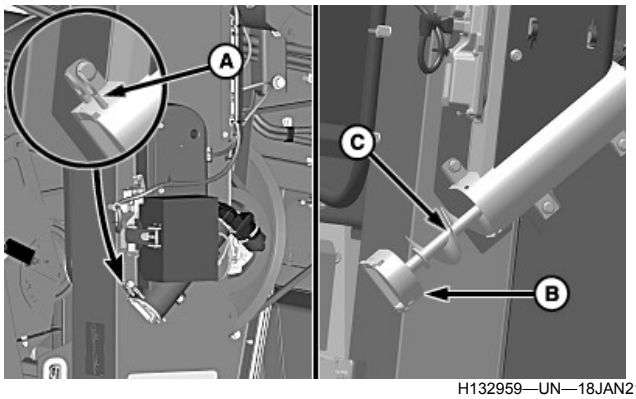
- 溶剤やその他のクリーナをセンサー面に使用しないでください。
- 清掃には乾いた布を使用することをお勧めします。それが役に立たない場合は、巾と水だけで清掃してください。
- 水分センサー面を動力洗浄機で洗浄しないでください。

水分センサーを取り付けて、水分センサーのキャリブ

レーションを実行します。詳しくは、「キャリブレーションアプリケーションのヘルプ」または「運転席のヘルプ」を参照してください。

OUO6075,0004FBE-40-14MAY21

水分センサーバイパスオーガ (必要な場合)



H132959—UN—18JAN21

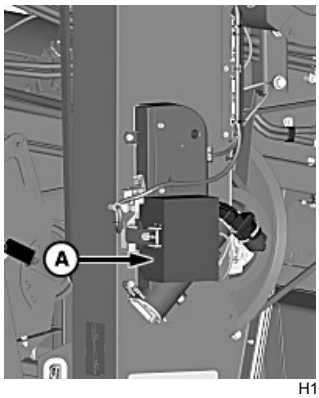
A：**ピン (2 本使用)**
B：**エンドキャップ**
C：**オーガ**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

1. ピン (A) とエンドキャップ (B) を取り外します。
2. オーガ (C) を水分センサーバイパスから取り外します。
3. オーガと水分センサーバイパス内のエリアを清掃します。
4. オーガを取り付け、調整します。
5. エンドキャップを取り付け、ピンで固定します。

OUO6075,0004FBF-40-18JAN21

ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (装備されている場合)



H125313—UN—06NOV18

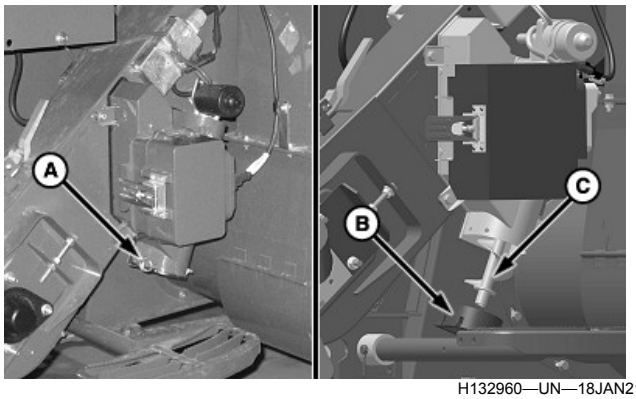
A：**ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ**

注記： 清掃の頻度は、運転条件、天候、作物条件など、複数の要因によって異なります。湿らせた清潔な柔らかい布でカメラレンズを拭きます。

掛け金ラッチを開いて ActiveVision™ クリーングレインエレベータカメラ (A) を清掃します。

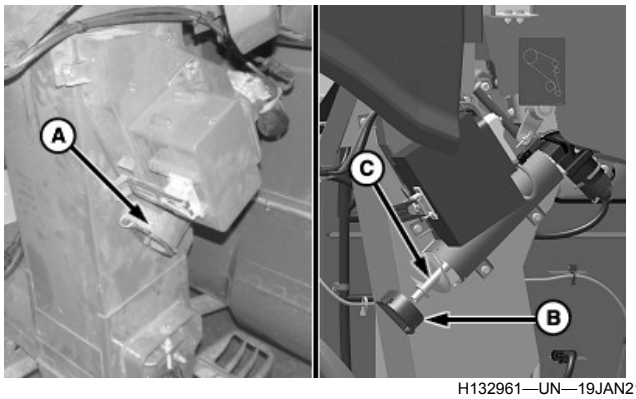
OUO6075,0004FC0-40-27APR21

2 番還元物センサーバイパスオーガ (必要な場合)



H132960—UN—18JAN21

スタイル *A*



H132961—UN—19JAN21

スタイル *B*

A：**ピン (2 本使用)**
B：**エンドキャップ**
C：**オーガ**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

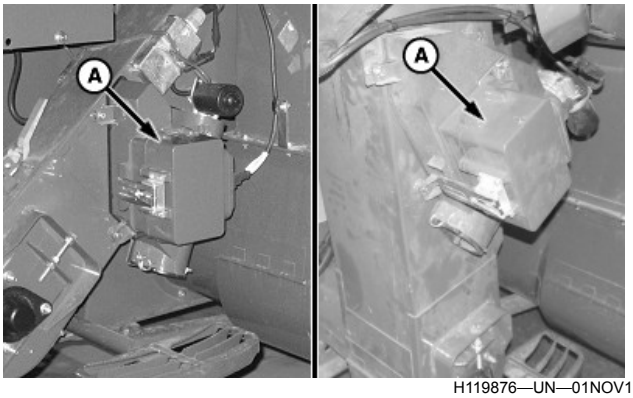
1. ピン (A) とエンドキャップ (B) を取り外します。
2. オーガ (C) を水分センサーバイパスから取り外します。
3. オーガと水分センサーバイパス内のエリアを清掃します。
4. オーガを取り付け、調整します。

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

5. エンドキャップを取り付け、ピンで固定します。

OUO6075,0004FC1-40-18JAN21

ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (装備されている場合)



H119876—UN—01NOV16

スタイル *A* / スタイル *B*

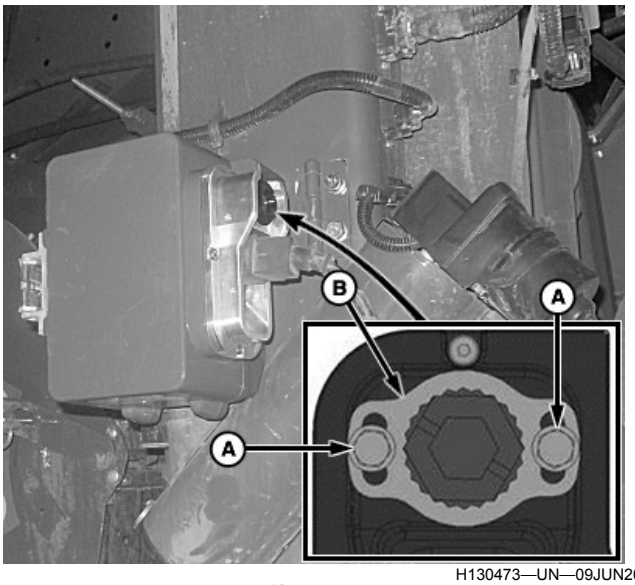
A：**ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ**

注記： 清掃の頻度は、運転条件、天候、作物条件など、複数の要因によって異なります。湿らせた清潔な柔らかい布でカメラレンズを拭きます。

掛け金ラッチを開いて、ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラ (A) を清掃します。

OUO6075,0004FC2-40-27APR21

ActiveVision™ カメラの乾燥剤カートリッジ (装備されている場合)



H130473—UN—09JUN20

A：**キャップスクリュー (2 本使用)**
B：**固定プレート**

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

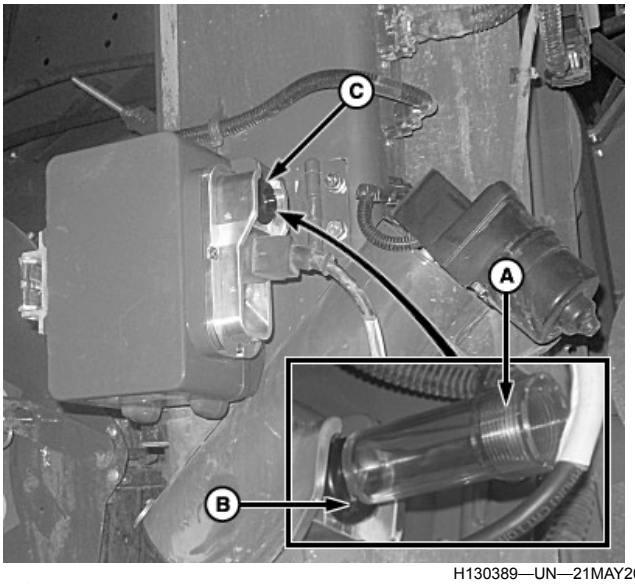
重要： **作物材やその他のごみが乾燥剤カートリッジの周囲に溜まる可能性があります。取り外す前に、乾燥剤カートリッジの周囲を点検して清掃します。**

注記： ActiveVision™ のクリーングレンエレベータカメラ。ActiveVision™ 2 番還元物システムカメラも同様。

カメラレンズの内側に湿気が溜まっている場合は、必要に応じて乾燥剤カートリッジを交換します。

収穫期が終わった場合は、次の収穫期の始めまで待って乾燥剤カートリッジの寿命を延ばします。

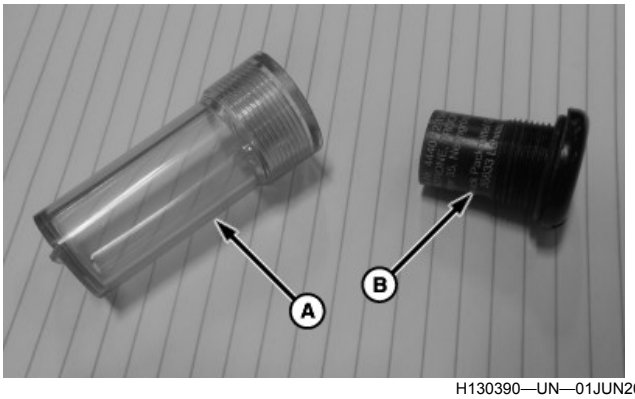
1. キャップスクリュー (A) と固定プレート (B) を取り外します。



H130389—UN—21MAY20

A：**乾燥剤容器 (工具)**
B：**切欠き**
C：**乾燥剤カートリッジ**

2. 交換用乾燥剤カートリッジに付属の乾燥剤容器 (A) を切欠き (B) と整列させます。
3. 乾燥剤カートリッジ (C) を ActiveVision™ カメラから取り外します。
4. 乾燥剤カートリッジを破棄します。



H130390—UN—01JUN20

乾燥剤容器 (工具) と乾燥剤カートリッジ

A：**乾燥剤容器 (工具)**
B：**乾燥剤カートリッジ**

5. 交換用乾燥剤カートリッジ (B) から乾燥剤容器 (A) を取り外します。
6. 乾燥剤カートリッジ (C) を ActiveVision™ カメラから取り外します。
7. 乾燥剤工具を切欠きに整列させます。
8. きつく締まるまで乾燥剤カートリッジを手で締め付けます。

注記：固定プレートが乾燥剤カートリッジの六角形の形に合っていることを確認してください。

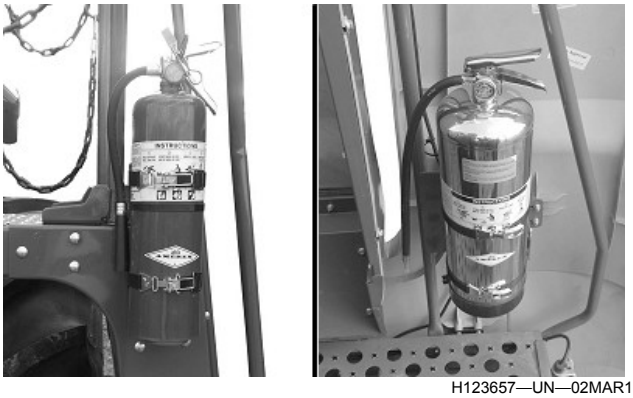
9. 固定プレートを乾燥剤カートリッジに取り付けて、キャップスクリューで固定します。
10. キャップスクリューを規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 6.8 N·m (60 lb·in)

OUO6075,0004E3B-40-26JUN20

消火器ブラケットのストラップ (装備されている場合)



H123657—UN—02MAR18

注意：消火器のストラップと取り付け金具は年 1 回以上を点検してください。消火器ストラップまたは取り付け金具に、損傷、異常な摩耗、変色、またはすり減りの兆候がある場合は、ストラップ全体と金具をすぐに交換する必要があります。安全のために、消火器の構成部品はお使いの機械に認可された交換部品と交換してください。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

消火器ブラケットのストラップを点検します。

OUO6075,0004983-40-29MAY18

窓、ミラー、ライトの清掃

全方向に良好な視界があることを確認してください。窓、ミラー、ライトを清掃して、良好な視界を確保します。

- 溶剤やその他のクリーナを使用しないでください。John Deere ガラスクリーナまたは同等品をお勧めします。
- 清掃には柔らかい、摩耗防止の布またはタオルをお使いください。

OUO6075,0004C88-40-27FEB20

メンテナンス — 必要に応じて (エンジンのフルードとフィルタ)

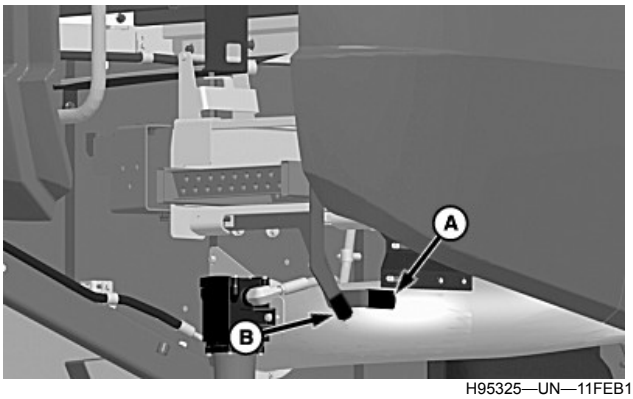
必要な排出ガス関連情報

整備会社

資格を備えた修理工場または所有者の選任したスタッフは、元の交換部品または同等品を使用して、排出ガス制御装置とシステムのメンテナンス、交換、修理を行うことができます。ただし、John Deere によって支払われる保証、リコール、その他のすべての整備は、認定 John Deere サービスセンターで行う必要があります。

DX,EMISSIONS,REQINFO-40-12JUN15

リアタラップと踊り場



H95325—UN—11FEB10

A：**ハンドル**
B：**ハンドル**

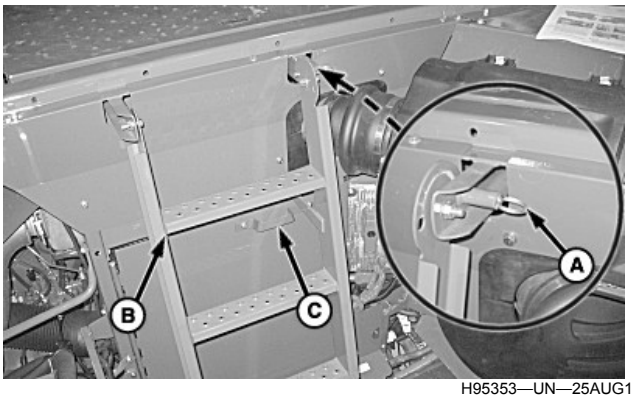
注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

ハンドル (A) を押し上げて、ドアのラッチがかかるまでタラップを旋回させます。

ハンドル (B) を使用して、タラップを後方へ引きます。

OUO6075,0000588-40-16FEB10

エンジンフィルタアクセスカバー



H95353—UN—25AUG10

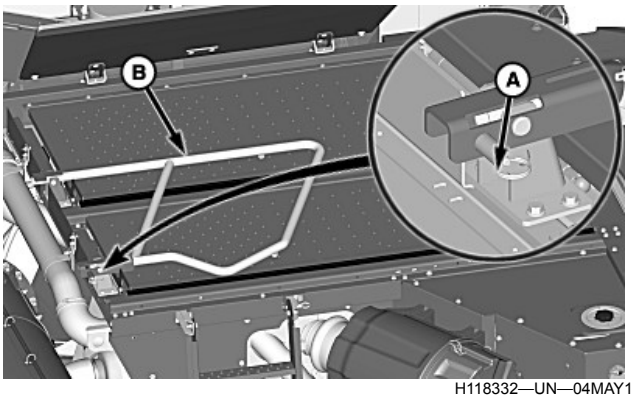
A：**ロックアウトピン**
B：**タラップ**
C：**カバー**

ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまでタラップ (B) を回転させます。

フィルタアクセスカバー (C) を引いて開き、磁石から解放します。

OUO6075,000069B-40-25AUG10

エンジンアクセスカバー



H118332—UN—04MAY16

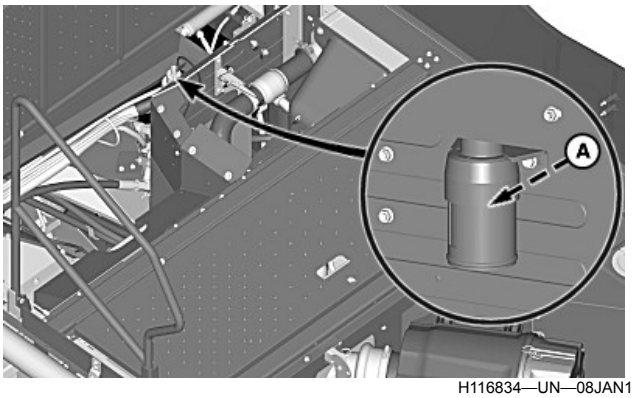
A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**

ロックアウトピン (A) を引いて、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回します。

エンジンアクセスカバーを開きます。

OUO6075,00042D3-40-04MAY16

始動液缶の交換



H116834—UN—08JAN16

A：始動液缶

注意： **始動液は非常に可燃性があり、誤って発火した場合、けがや死亡事故が発生することがあります。火、スパーク、炎の近くで使用しないでください。容器に記載されている注意情報を読み、容器を損傷から保護してください。**

エンジンアクセスカバーを開きます。始動液缶 (A) からキャップとスプレーボタンを取り外します。缶を交換できる程度にサムホイールを緩めてから缶を交換して締め付けます。

重要： **エンジンにほこりが吸入されないように、常に缶を所定の位置に維持してください。**

極端な熱や損傷から始動液缶を保護してください。

スプレーノズルを取り付けて押し込み、液体とバルブの作動を点検します。液体が噴射されない場合は、缶を交換します。

注意： **容器の破裂によってけがをしないように、余分な缶や空の缶をキャビン内に保管しないでください。**

OUO6075,00041C6-40-08JAN16

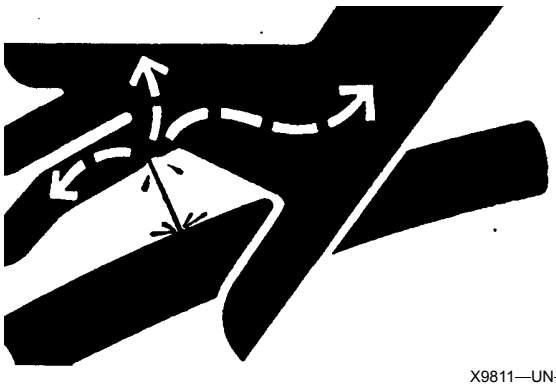
エンジン出力や燃料 / システムの改造の禁止

重要： **排出ガス規制に適合しているエンジンで工場での設定を超えて、出力の増加、燃料および吸気分配システムの変更を行うと、排出ガスレベルが排出ガス規制で許可されているレベルを超える原因になります。認可されていない調整を行うと、このエンジンに適用されている排出ガス規制に違反し、高額な罰金や課徴金を支払う必要が生じることがあります。出力レベルを工場仕様から変更すると、機械の保証が無効になります。**

インジェクションポンプやフューエルインジェクタの整備は行わないでください。専門的な訓練と工具が必要です。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,000058D-40-11FEB10

燃料システム



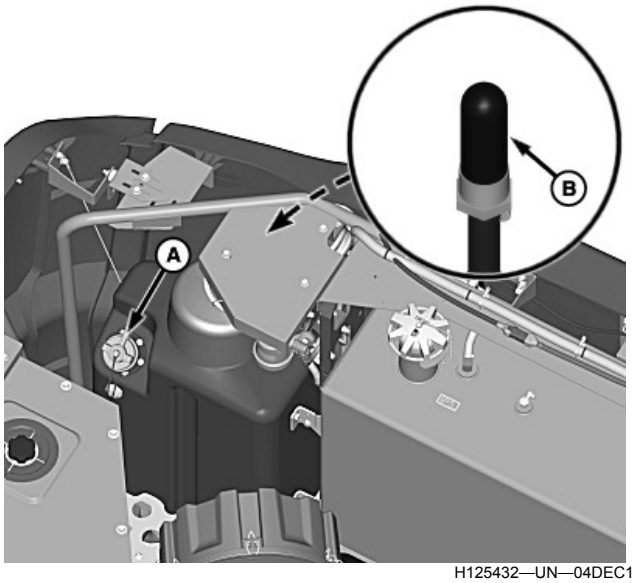
X9811—UN—23AUG88

注意： **圧力のかかったディーゼル燃料が噴き出すと、皮膚に侵入して大けがをする恐れがあります。油圧または他のラインの接続を外す前に、圧力を解放してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかり締めてください。高圧の液体が噴出するピンホールやノズルに手や体を近づけないでください。ボール紙や紙類を使って漏れを探してください。手は使わないでください。**

皮膚に液体がかかった場合は、このような外傷に慣れている医師によって数時間以内に外科的に除去してもらう必要があります。さもないと壊疽を引き起こす恐れがあります。

OUO6075,000058E-40-11FEB10

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク — 注入 (ファイナルティア 4 / ステージ V)



H125432—UN—04DEC18

A：キャップ
B：排ガス処理溶液尿素水 (DEF) タンクブリーザー

注意： 排ガス処理用尿素水 (DEF) は尿素を含んでいます。フルードが目に入らないように注意してください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。DEF を摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要： 不適切または承認されていない後処理装置の部品を使用すると、車両の後処理装置が損傷し、適切に機能しなくなることがあります。インテリムティア 4 / ステージ III B を装備した車両とファイナルティア 4 / ステージ V を装備した車両間で後処理装置の部品を相互に交換することは絶対にしないでください。

注記： 排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

キャップ (A) は通気されていません。余分な空気は、排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (B) を通じて排出されます。

ブリーザーを目視点検します。ブリーザーにもみ殻やごみが過剰に溜まらないようにしてください。ブリーザーがごみで覆われている場合、タンクの通気が行われません。ブリーザーをホースから取り外して清掃します。

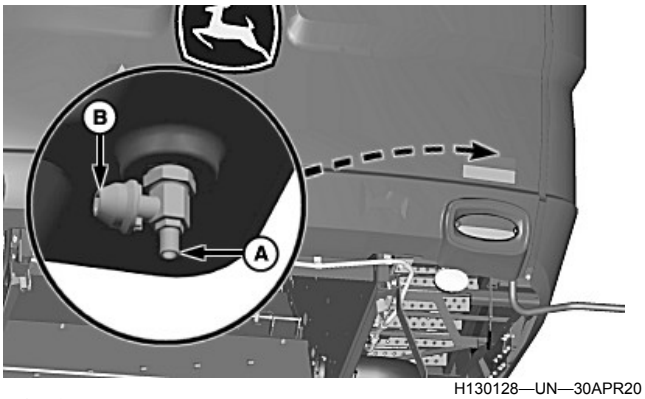
機械に燃料を注入するたびに、タンクにも注入してください。これができない場合は、コーナーポストディスプレイの排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルインジケーターを確認して必要に応じて補充してください。機械性能が極端に変化しないように、フルードレベルをレベルインジケーターの上端付近の赤色のマークよりも常に上に維持してください。詳しくは、「キャリブレーションアプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。

タンクに注入するには：

1. フルードを追加する前に、容器を洗浄して蒸留水ですすぎ、汚れを除去してください。
2. キャップを取り外す前にキャップの周囲を拭いて、フルードが汚れないようにします。
3. じょうごを使用して、点検窓でレベルを確認しながらフルードをタンクに慎重に注入します。
4. 前の手順で取り外したキャップを取り付けます。
5. こぼれたフルードは蒸留水を使用して慎重に清掃します。

OUO6075,0004A62-40-04DEC18

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク — 抜き取り (ファイナルティア 4 / ステージ V)



H130128—UN—30APR20

A：継手
B：六角頭キャップスクリュー

注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。

重要： 車両でのフルードの長期間 (12 か月以上) の保管は推奨されません。長期間の保管が必要な場合は、フルードを定期的に検査して尿素の濃度が仕様から外れていないか確認することを推奨します。

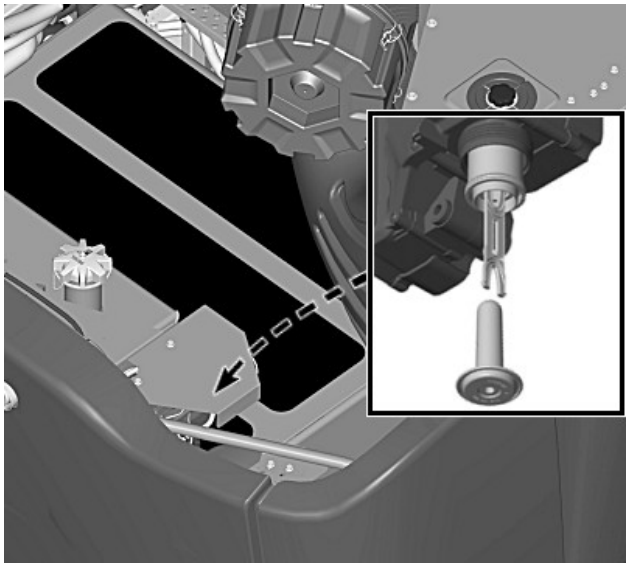
ディーゼル燃料、エンジンクーラントなど、認可されていない液体を追加した場合は、タンクから抜き取り、蒸留水で洗浄してから補充してください。清掃と再補充後にシステムが正しく作動しない場合は、John Deere 販売店に問い合わせてシステムの清掃とパージの方法を決定してください。タンクに水を追加してしまった場合は、タンクから抜き取り、蒸留水でフラッシングして、排ガス処理溶液尿素水 (DEF) を補充してください。タンクに注入した後、フルードの濃度を点検してください。テストについては、「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

注記： 排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。フルードは塗装面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

1. ホースをタンクの底の継手 (A) に取り付けます。
2. 六角頭キャップスクリュー (B) を緩めてドレンバルブを開けます。
3. フルードを抜き取ったら、ドレンバルブを閉じてホースを外します。

OUO6075,0004E1D-40-07MAY20

排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタへのアクセス (ファイナルティア 4 / ステージ V)



H125433—UN—04DEC18

排ガス処理用尿素水 *(DEF)* 供給装置フィルタ

注意： 目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

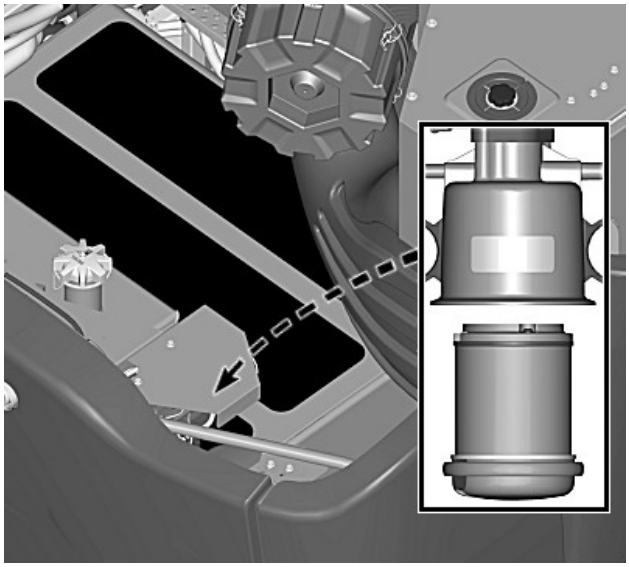
重要： 排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いたりしただけでは、白い跡が残ります。こぼれた DEF を適切に清掃しないと、SCR (選択触媒還元) システムの漏れの診断で問題になることがあります。

1. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。
2. 排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタを取り外して交換します。詳しくは、「排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタの交換」を参照してください。

OUO6075,0004A80-40-14DEC18

排ガス処理用尿素水 (DEF) インラインフィルタへのアクセス (ファイナルティア 4 / ステージ V)



H125446—UN—04DEC18

排ガス処理用尿素水 *(DEF)* インラインフィルタ

注意： 目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要： 排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いたりしただけでは、白い跡が残ります。こぼれた DEF を適切に清掃しないと、SCR (選択触媒還元) システムの漏れの診断で問題になることがあります。

1. エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。
2. 排ガス処理用尿素水 (DEF) のインラインフィルタを取り外して交換します。詳しくは「排ガス処理用尿素水 (DEF) インラインフィルタの交換」を参照してください。

OUO6075,0004A64-40-04DEC18

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの清掃

注意： 目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要：**排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。**

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いたりしただけでは、白い跡が残ります。こぼれた DEF を適切に清掃しないと、SCR (選択触媒還元) システムの漏れの診断で問題になることがあります。

DEF タンクに異物や他の液体が入った場合は、DEF タンクを空にしてフラッシングし、新しい DEF で充填します。

DEF の品質に疑いがある場合は、DEF タンクからサンプリングし、透明の容器に入れます。DEF は透明でわずかなアンモニア臭があります。DEF が濁って色がつき、アンモニア臭が強くなった場合は、仕様を満たしていない可能性があります。この状態の排ガス処理用尿素水 (DEF) は使用しないでください。

1. ドレンプラグ (装備されている場合) を取り外し、劣化した DEF を DEF タンクから抜き取るかサイホンで吸い出します。

注記： *清掃は DEF タンクを取り付けた状態でも取り外した状態でも可能です。*

2. DEF タンクを新品の DEF で清掃します。

   エンジンを運転する前に、DEF は目視、臭気、濃度の点検に合格する必要があります。詳しくは、「燃料、潤滑剤、およびクーラント」のセクションの「ディーゼル排ガス処理用尿素水 (DEF) - 選択接触還元 (SCR) 装備エンジンでの使用」を参照してください。

3. DEF タンクを空にするかサイホンで吸い出します。

注記： *DEF タンクがきれいになるまで手順 2~3 を繰り返してください。*

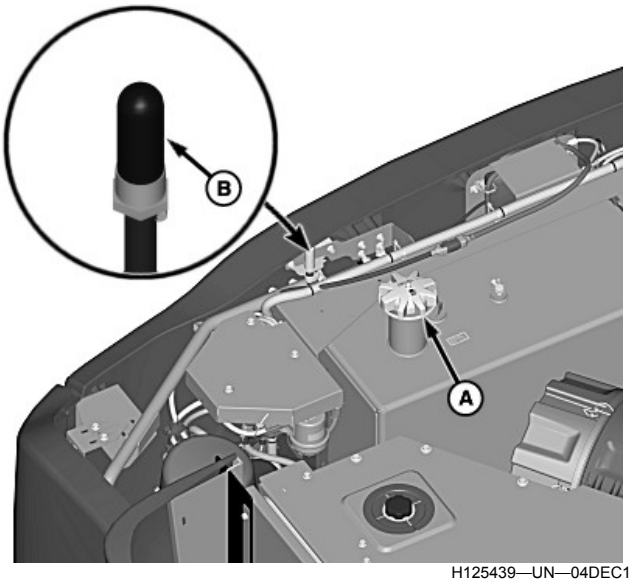
4. **初期バージョン**：DEF 供給装置フィルタと DEF タンクヘッダーサクションスクリーンを交換します。

   後期バージョン：DEF 供給装置フィルタと DEF インラインフィルタを交換します。

5. 取り外した場合は、DEF タンクドレンプラグを取り付けます。
6. 取り外した場合は、DEF タンクを取り付けます。
7. DEF タンクに新品の DEF を注入します。
8. JDG11594、JDG11684 などの屈折計を使用して、排ガス処理用尿素水 (DEF) 濃度を点検します。適切な DEF 濃度は 31.8~33.2% です。詳しくは認定取扱店にお問い合わせください。
9. 排ガス処理用尿素水 (DEF) が仕様内にないか、透明に見えないか、わずかなアンモニア臭がない場合は、最寄りの正規販売店にお問い合わせください。

DX,DEF,CLEANTANK-40-18SEP19

燃料タンク — 注入



H125439—UN—04DEC18

A：**燃料タンクキャップ**
B：**燃料タンクブリーザー**

注意：**燃料の取り扱いに注意してください。煙が発生しているときは、機械に燃料を補給しないでください。燃料タンクに充填する前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜きます。**

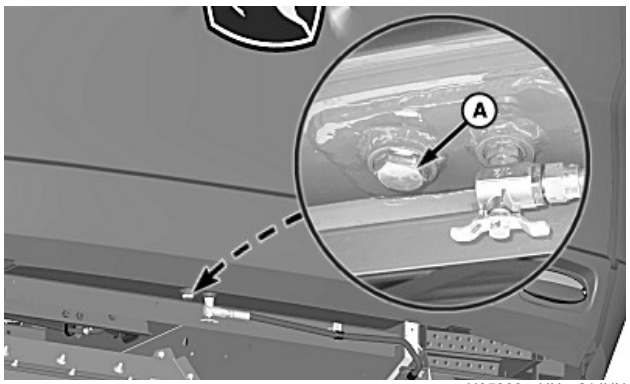
燃料タンクに入れすぎないでください。燃料が跳ね返ってけがをする可能性があります。燃料の膨張によって漏れが発生することがあります。タンクが満杯の場合、直射日光にさらされたり、温度が高くなりすぎると、タンクがオーバーフローします。

燃料タンクキャップ (A) は通気されていません。余分な空気は、燃料タンクブリーザー (B) を通じて排出されます。

燃料タンクブリーザーを目視点検します。ブリーザーにもみ殻やごみが過剰に溜まらないようにしてください。ブリーザーがごみで覆われている場合、燃料タンクの通気が行われません。ホースから燃料タンクブリーザーを取り外して清掃します。

OUO6075,0004A65-40-04DEC18

燃料タンク：抜き取り



H95330—UN—21JUN11

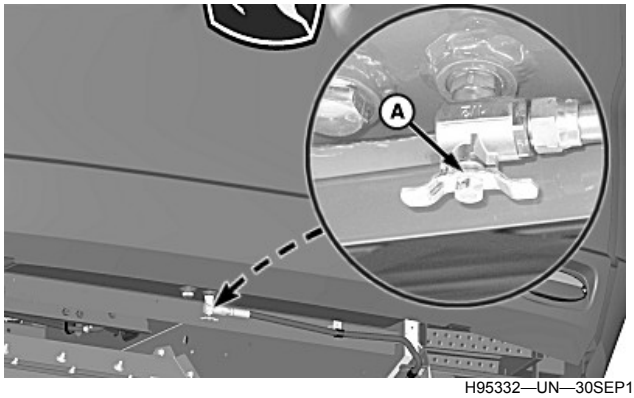
A：**プラグ**

注意： **メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。**

燃料タンクの底のプラグ (A) を取り外して燃料を抜き取ります。

OUO6075,0000591-40-16FEB10

燃料タンク：シャットオフバルブ



H95332—UN—30SEP10

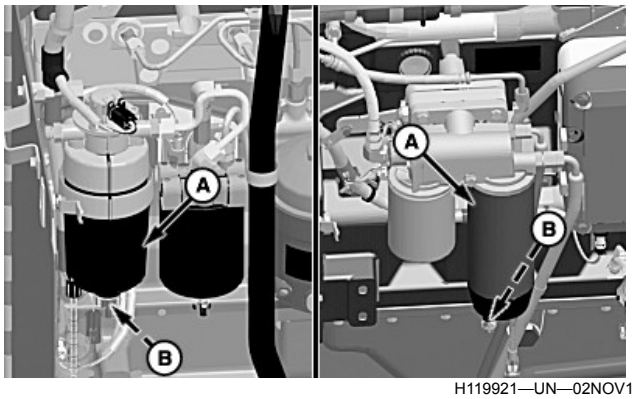
A：**バルブ**

注意： **メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。**

燃料フィルタを整備するときは、燃料タンクの底のバルブ (A) を閉めます。

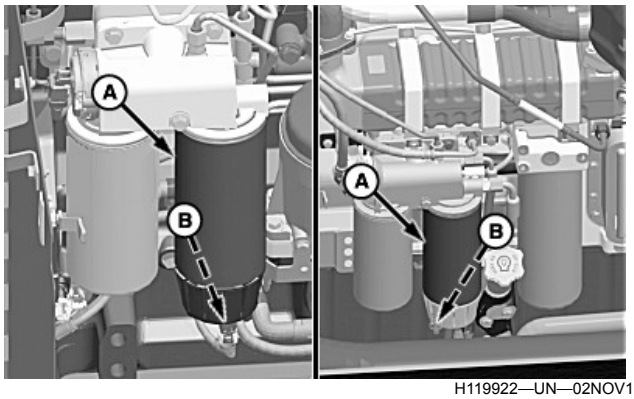
OUO6075,0000913-40-30AUG10

ウォーターセパレータ次燃料フィルタ — 抜き取り



H119921—UN—02NOV16

ティア 2 / ステージ II (スタイル A / スタイル B)



H119922—UN—02NOV16

ファイナルティア 4 / ステージ V (スタイル / スタイル B)

A：**一次燃料フィルタ**
B：**ドレン**

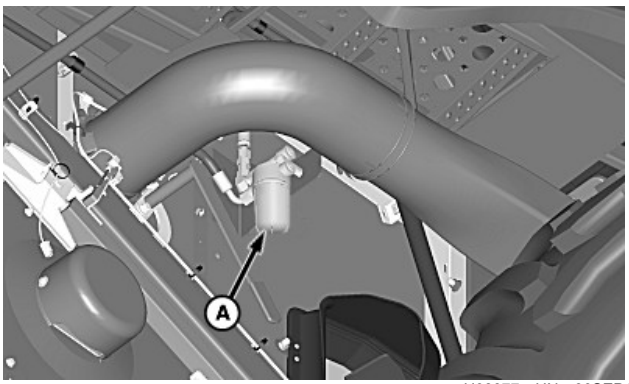
注意： **メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。**

一次燃料フィルタ (A) で燃料系統内に水が検出されると、診断トラブルコードが生成されます。

診断トラブルコードが表示された場合は、ドレン (B) を使用して一次フィルタから抜き取ってコードをリセットしてください。

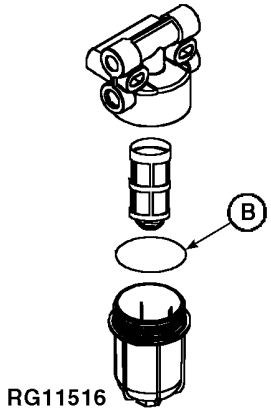
OUO6075,000480C-40-13NOV17

燃料プレクリーナフィルタ：清掃



H98377—UN—30SEP10

燃料プレクリーナフィルタ



RG11516—UN—10NOV00

燃料プレクリーナの部品

A：**プレクリーナボウル**
B：**O リング**

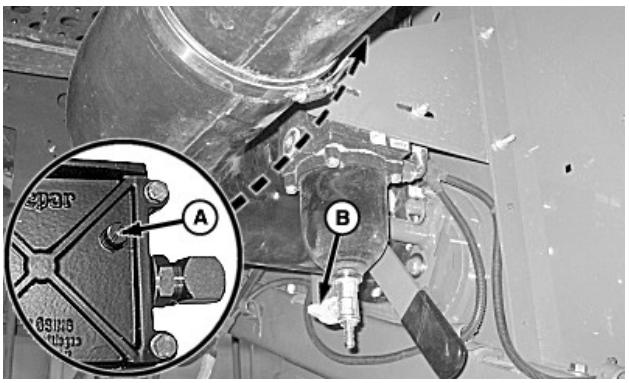
注記： 燃料プレクリーナの清掃と一次燃料フィルタと二次燃料フィルタの交換を同時に行わないでください。同時に実施した場合、機械の再始動が困難になります。一次燃料フィルタと二次燃料フィルタを交換する前に、プレクリーナの清掃の手順を実行してからエンジンを運転してください。

燃料プレクリーナフィルタのスクリーンにごみが堆積している場合、または診断トラブルコードが表示された場合は、フィルタを清掃してください。フィルタを清掃した後、コードをリセットしてください。

1. 機械を運転していなかった場合は、エンジンを始動してローアイドルで 3 ~ 5 分運転します。
2. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めて供給ラインに燃料が戻らないようにします。
3. 燃料プレクリーナアセンブリとその周囲を十分清掃します。
4. プレクリーナボウル (A) を取り外します。
5. フィルタスクリーンとプレクリーナボウルを清掃します。O リング (B) を点検します。
6. スクリーンを取り付けてプレクリーナボウルを締め付けます。
7. 燃料タンクの底のバルブを開いて、プレクリーナに充填します。
8. エンジンを始動し、ローアイドルで 3 ~ 5 分間運転します。

OUO6075,000456F-40-20DEC16

ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション) — フラッシング



H100500—UN—29JUN11

A：**通気ねじ**
B：**ドレンバルブ**

注記： 燃料プレクリーナの清掃と 1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタの交換を同時に行わないでください。同時に実施した場合、機械の再始動が困難になります。1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを交換する前に、プレクリーナの清掃の手順を実行してからエンジンを運転してください。

ボールの半分が水でいっぱいになったり、診断トラブルコードが表示されたりした場合は、ヘビーデューティ燃料プレクリーナを逆洗浄してください。清掃した後、コードをリセットしてください。コードが引き続き表示される場合は、「ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション) — 交換と清掃」を参照してください。

フィルタエレメントは交換する前に 5 回までバックフラッシングできます。

1. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めます。
2. 油水分離器の上部にある通気ねじ (A) を開きます。水や泥がフィルタエレメントから取り除かれて、ボウルの底にたまるようにします。
3. ドレンバルブ (B) 押し、反時計回りに回して水や泥をボウルから抜き取ります。

注記： 燃料、水、泥が排出されると、さらに水や泥がフィルタエレメントから流れ、ボウルの底にたまります。

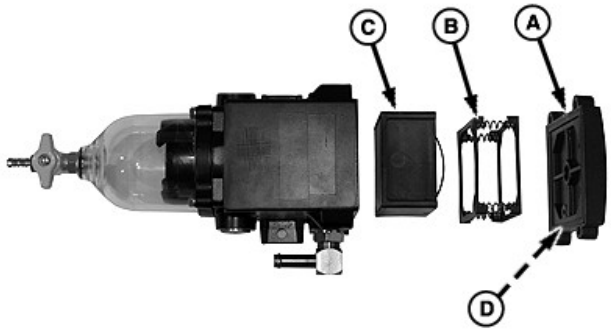
4. ドレンバルブを閉めて水や泥が再び溜まるようにします。
5. 水や泥がすべて取り除かれるまで手順 3 と 4 を繰り返します。
6. 通気ねじを閉めて、燃料タンクの底のバルブを開きます。
7. キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポンプで燃料系統をプライミングし、漏れがないか点検します。
8. エンジンを始動し、ローアイドルで 3~5 分間運転します。エンジンが始動しないか、止まった場合は、「一次および二次燃料フィルタエレメント—交換」を参照してください。

OUO6075,000469F-40-21MAR17

ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション)—交換と清掃

フィルタの交換

RXA0084320—UN—26SEP05



H91103—UN—09APR08

A：**蓋**
B：**スプリングカセット**
C：**フィルタエレメント**
D：**ガスケット**

注記： フィルタエレメントを 5 回バックフラッシングした後、フィルタを清掃します。フィルタを光にかざしても光が見えなくなったら、フィルタを交換してください。

1. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めます。
2. 蓋のネジを図に示す順序で均等に緩めます。

注記： 蓋とスプリングカセットは再使用しますが、交換用フィルタエレメントを取り付ける必要があります。

3. 蓋 (A)、スプリングカセット (B)、フィルタエレメント (C) を取り外します。
4. 交換用フィルタエレメントを取り付けて、前の手順で取り外したスプリングカセット (B) を取り付けます。
5. 蓋のガスケット (D) を点検し、必要に応じて交換します。
6. 蓋を取り付けて、図に示す順序で締め付けます。
7. 燃料タンクの底のバルブを開きます。
8. キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポンプで燃料系統をプライミングし、漏れがないか点検します。
9. エンジンを始動し、ローアイドルで 3~5 分間運転します。エンジンが始動しないか、止まった場合は、「一次および二次燃料フィルタエレメント—交換」を参照してください。

フィルタの清掃

1. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めます。

注記： 燃料を抜き取るときは受皿を使用してください。

2. ドレンバルブを開いて燃料をボウルから抜きます。
3. 蓋のネジを図に示す順序で均等に緩めます。
4. 蓋 (A) とスプリングカセット (B) を取り外します。
5. フィルタエレメント (C) を手で持ち上げて外します。

注記： フィルタに損傷がないか点検します。損傷がある場合は、交換用フィルタを取り付けます。

6. フィルタを新品のディーゼル燃料または石油系溶剤で洗います。
7. フィルタエレメントおよびスプリングカセットを取り付けます。
8. 蓋のガスケット (D) を点検し、必要に応じて交換します。
9. 蓋とボルトを取り付け、ボルトを手締めします。
10. 図に示した順序でボルトを締め付けます。
11. 燃料タンクの底のバルブを開きます。
12. キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポ

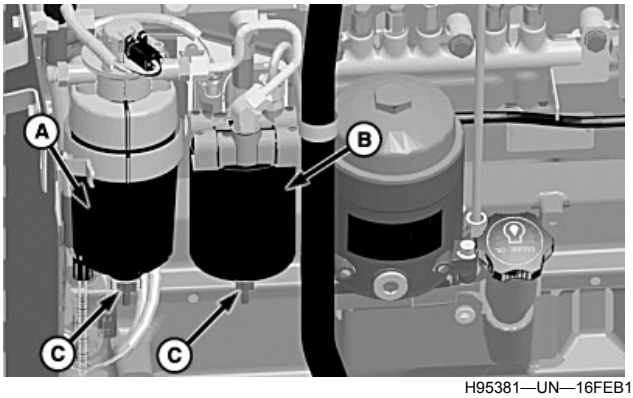
ンプで燃料系統をプライミングし、漏れがないか点検します。

13. エンジンを始動し、ローアイドルで 3 ~ 5 分間運転します。

OUO6075,000456E-40-20DEC16

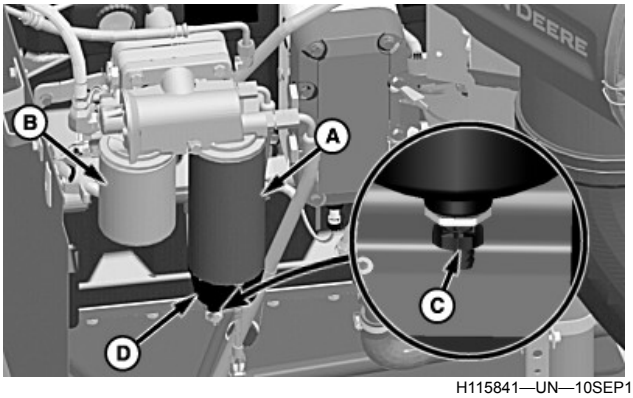
一次および二次燃料フィルタエレメント—交換

TS1343—UN—18MAR92



H95381—UN—16FEB10

スタイル A



H115841—UN—10SEP15

スタイル B

A：**一次燃料フィルタ**
B：**二次燃料フィルタ**
C：**ドレンバルブ**
D：**セパレータボウル**

注意： **燃料ラインに残っている高圧流体により、大けがをすることがあります。この種類のシステムを熟知している技術者のみが修理を行ってください。高圧燃料ポンプと、高圧コモンレール (HPCR) 燃料システムを備えたエンジンのノズルの間にある燃料配管、センサー、その他の部品を取り外す前に、エンジンが停止してから最低 15 分間待ってください。**

注記： 燃料プレクリーナの清掃と 1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタの交換を同時に行わないでください。同時に実施した場合、機械の再始動が困難になります。1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを交換する前に、燃料プレクリーナの清掃を実行してからエンジンを運転してください。

性能の低下を確認した場合、または診断トラブルコードが表示された場合は、1 次燃料フィルタと 2 次燃料フィルタを交換してください。フィルタを交換した後、コードをリセットしてください。

1. 機械を運転していなかった場合は、エンジンを始動してローアイドルで 3 ~ 5 分運転します。
2. エンジンを停止し、燃料タンクの底のバルブを閉めます。
3. フィルタエレメントの外側とフィルタ取り付け部を十分清掃します。

注意： **フィルタの燃料には圧力がかかっている可能性があります。以下の手順を完了していない場合は、フィルタを取り外さないでください。**

注記： 燃料を抜き取る場合や燃料フィルタを取り外す場合は、受皿を使用してください。

4. **スタイル A**：ドレンバルブ (C) を開いて、燃料の不純物を抜き取り、一次燃料フィルタ (A) と二次燃料フィルタ (B) から圧力を解放します。ドレンバルブを閉めて、燃料フィルタを取り外します。

   スタイル B：ドレンバルブ (C) を開いて、燃料の不純物を抜き取り、一次燃料フィルタ (A) から圧力を解放します。ドレンバルブを閉めて、セパレータボウル (D) を取り外して保管します。

注記： フィルタハウジングからさらに燃料が排出されます。

5. 一次燃料フィルタと 二次燃料フィルタを取り外します。

重要： **どちらの燃料フィルタにも燃料をあらかじめ補充しないでください。**

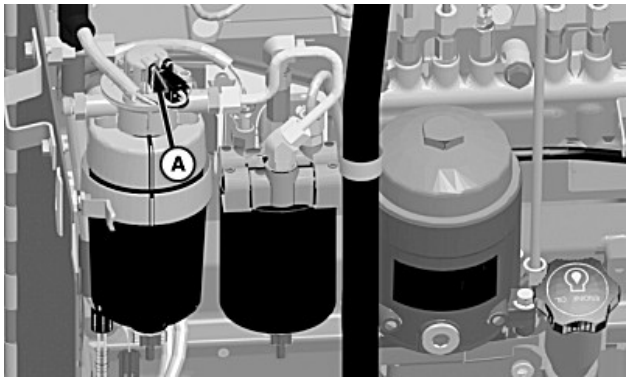
注記： フィルタシールを取り付ける前に、シールを新品のディーゼル燃料で潤滑します。

6. **スタイル B のみ**：前の手順で取り外したセパレータボウルを交換用一次燃料フィルタ (A) に取り付けます。

7. 一次燃料フィルタ (A) アセンブリをエンジンに取り付けます。シールがフィルタハウジングに接触してからフィルタアセンブリを 3/4 回転締め付けます。
8. 交換用 2 次燃料フィルタ (B) を取り付けます。シールがフィルタハウジングに接触してからフィルタを 3/4 回転締め付けます。
9. ドレンバルブ (C) が閉まっていることを確認します。
10. 燃料タンクの底のバルブを開きます。
11. キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポンプで燃料系統をプライミングします。
12. エンジンを始動し、ローアイドルで 3 ~ 5 分間運転します。

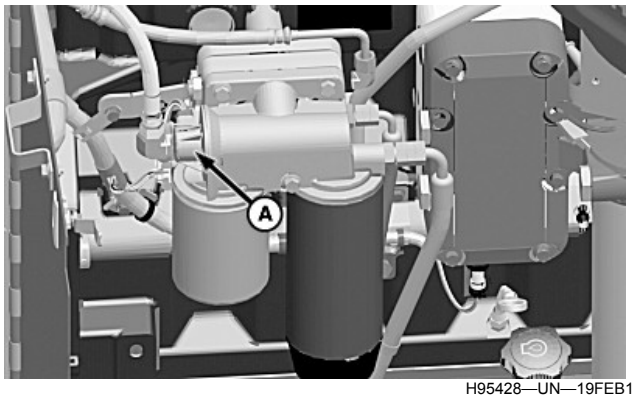
OUO6075,00043C7-40-20DEC16

燃料系統 — エア抜き



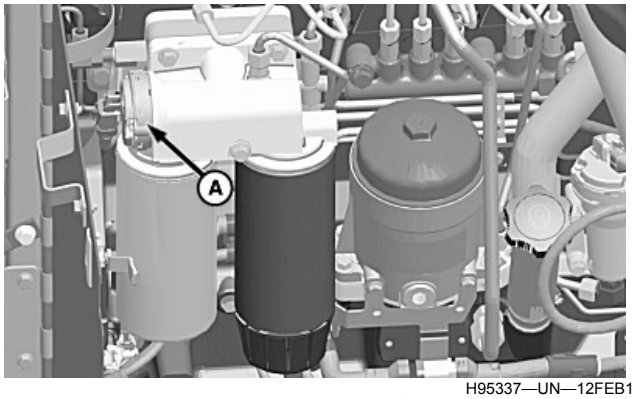
H95383—UN—16FEB10

ティア *2* / ステージ *II* (スタイル *A)*



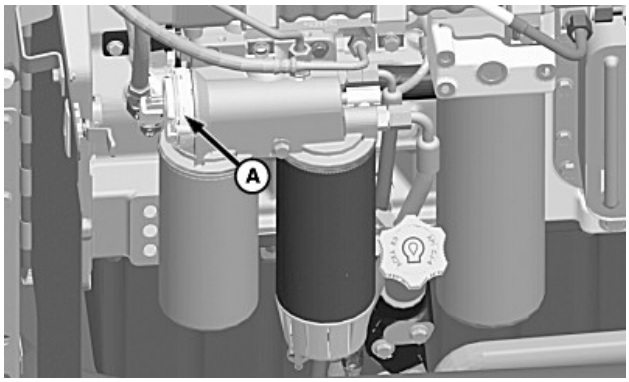
H95428—UN—19FEB10

ティア *2* / ステージ *II* (スタイル *B)*



H95337—UN—12FEB10

ファイナルティア *4* / ステージ *V* (スタイル *A)*



H95403—UN—17FEB10

ファイナルティア *4* / ステージ *V* (スタイル *B)*

A：**燃料ポンプ**

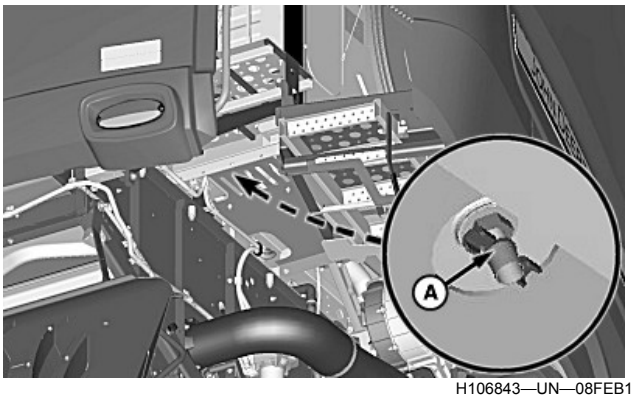
注意： **メンテナンス作業を行う前に、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取ってください。**

燃料フィルタを交換した場合や機械が燃料切れを起こしたときに燃料系統に空気が入る可能性があります。燃料システムに空気が入ると、エンジンを始動できなくなります。エンジンが始動しない場合は、キースイッチを 60 秒間 ON の位置にして、燃料ポンプ (A) で燃料システムをプライミングします。

OUO6075,000480D-40-13NOV17

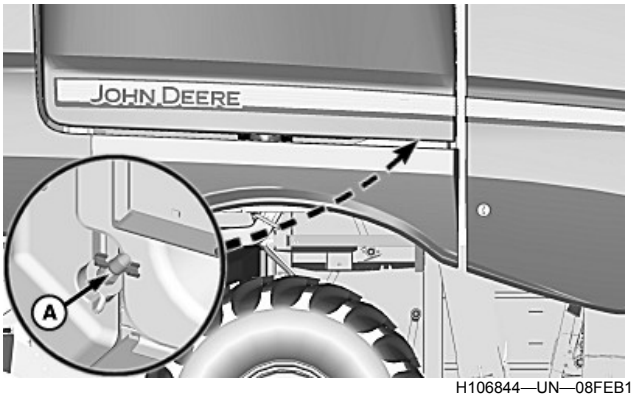
冷却システム—抜き取り

TS281—UN—15APR13



H106843—UN—08FEB13

ティア 2 / ステージ II (スタイル A)



H106844—UN—08FEB13

ティア 2 / ステージ II (スタイル B)
ファイナルティア 4 / ステージ V

A：**ドレンバルブ**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。サージタンクキャップを開けるときはやけどを防止してください。エンジンが高温のときは絶対にキャップを開けないでください。キャップをゆっくりと開いて圧力を解放してください。

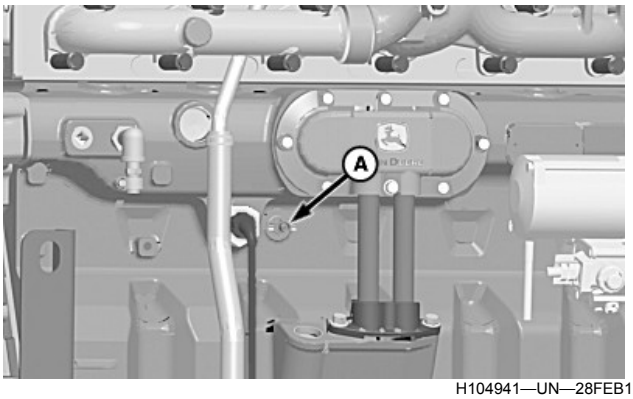
注記： ラジエータドレンはラジエータの前側にあります。

Cool-Gard™ II または Cool-gard™ II PG を使用する場合、交換間隔は 6 年または 6000 運転時間です。

COOL-GARD™ II または COOL-GARD™ II PG 以外のクーラントを使用する場合、交換間隔は 2 年または 2000 運転時間に短縮されます。

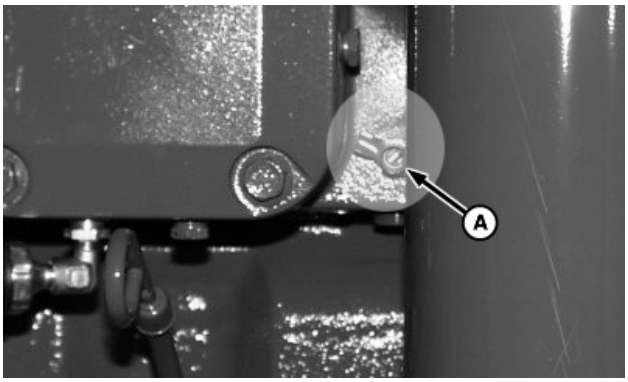
クーラントは抜き取って交換する必要があります。推奨クーラントについては、「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

ラジエータのドレンバルブ (A) を開きます。



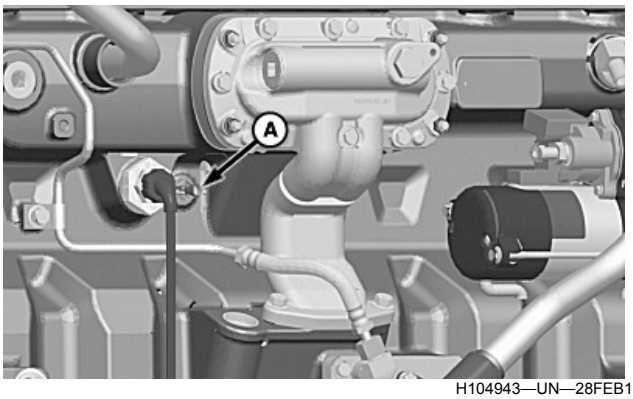
H104941—UN—28FEB12

エンジンの前側 (ティア 2 / ステージ II) (スタイル A)



H104942—UN—28FEB12

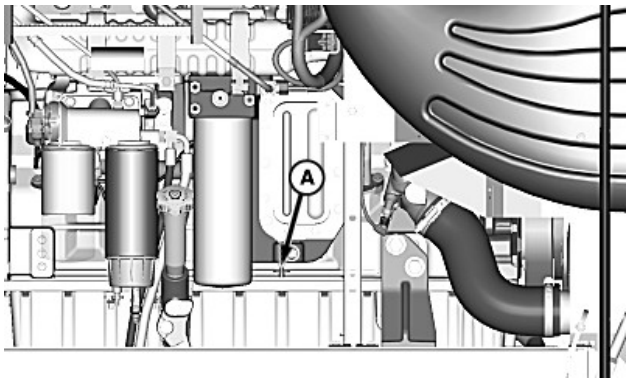
クランクシャフトの上 (ティア 2 / ステージ II) (スタイル B)



H104943—UN—28FEB12

エンジンの前側 (ファイナルティア 4 / ステージ V) (スタイル A)

Cool-Gard は Deere & Company の商標です。

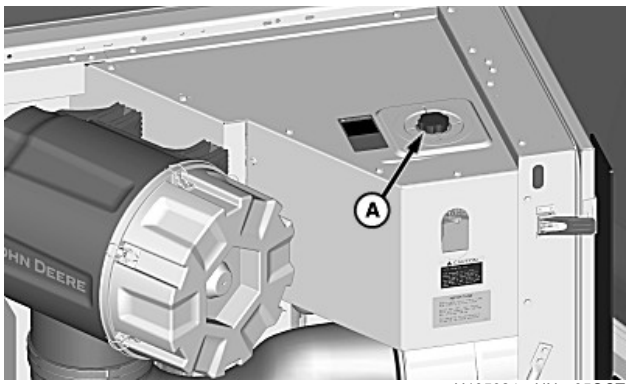


H104944—UN—28FEB12

エンジンの後側 (ファイナルティア 4 / ステージ V) (スタイル B)

A：**ドレンバルブ**

エンジンブロックのドレンバルブ (A) を開きます。



H105924—UN—05OCT12

A：**サージタンクキャップ**

サージタンクキャップ (A) を開いて、クーラントが早く抜けるようにします。

ラジエータドレンを閉めて、システムの浄水を充填します。

サージタンクタンクキャップを取り付けて、ヒーターを ON にし、使用温度に達するまでエンジンを運転します。

エンジンを停止し、サージタンクタンクキャップを慎重に取り外して、錆や沈殿物が沈下する前に水を抜き取ります。

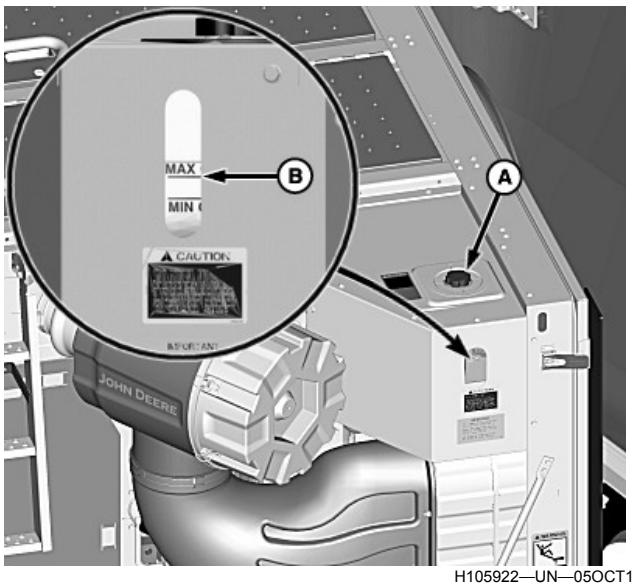
ラジエータドレンを閉めて、浄水と John Deere Cooling System Cleaner PT500 または同等品の溶液をシステムに補給します。クリーナに記載されている指示に従います。

クリーナを使用した後、上水でシステムをフラッシングして抜き取ります。

ラジエータドレンを閉めてシステムに注入します。注入手順については、このセクションの「冷却システム—充填」を参照してください。推奨クーラントについては、「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

OUO6075,000480E-40-13NOV17

冷却システム：充填



H105922—UN—05OCT12

A：**サージタンクキャップ**
B：**Max Cold (冷間時最高) ライン**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。サージタンクキャップを開けるときはやけどを防止してください。エンジンが高温の場合は絶対にキャップを開けないでください。また、エンジンが低回転数でアイドルで運転されていない限り、エンジンがオーバーヒートしているときに冷却システムに充填しないでください。キャップをゆっくりと開いて圧力を解放してください。クーラントを徐々に注入してください。エンジンが冷めているときにクーラントレベルを点検してください。**

重要： **サージタンクとラジエータには専用のキャップが使用されています。キャップが破損したり、なくなったりした場合は、同等のキャップに交換する必要があります。**

絶対に高温のエンジンに冷水を注入しないでください。シリンダブロックやシリンダヘッドに亀裂が入る可能性があります。クーラントが入っていない状態でエンジンを運転しないでください。

サージタンクキャップ (A) を取り外して、フルードが「Max Cold」ライン (B) になるまで充填します。

サージタンクタンクにキャップを取り付けて、ヒーターを ON にし、使用温度に達するまでエンジンを運転します。

キャップをサージタンクから慎重に取り外して、必要に応じて補給します。キャップをサージタンクに取り付けます。

エンジンが冷えているときは、クーラントレベルは「Max Cold」ラインにある必要があります。

注記： クーラントレベルは「Max Cold」ラインと「Min Cold」ラインの間にある必要があります。クーラントが「Min Cold」(冷間時最低) ラインよりも下にある場合は、必要な量のクーラントを追加してください。

OUO6075,00041C9-40-27JAN16

冷却システム：冬季に対する準備

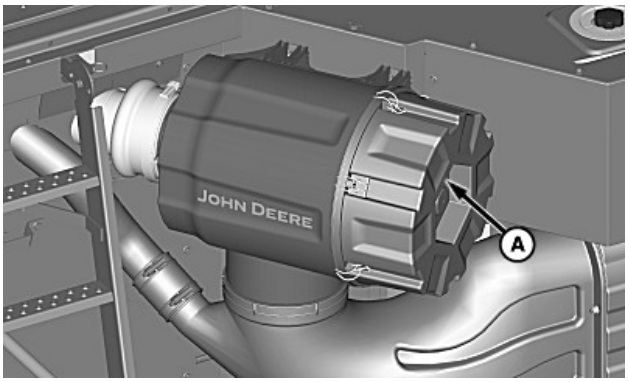
重要： 凍結から保護するために冷却システムから抜き取らないでください。ヒーターは完全に抜けきれないので、損傷する可能性があります。

寒冷気候の前に、冷却システムに十分な不凍液が入っていることを確認してください。錆止め剤とウォーターポンプ潤滑剤を含み、漏れ防止添加剤を含んでいない、信頼できるブランドのパーマネント型エチレングリコール不凍液を使用してください。推奨品については、「燃料と潤滑剤」セクションを参照してください。

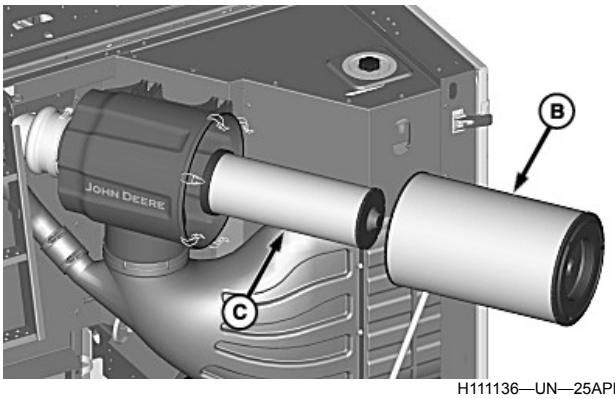
不凍液を追加した後、ヒーターを ON にし、エンジンを始動して使用温度に達するまでエンジンを運転します。これにより、溶液が混合され、システム内を循環します。

OUO6075,00043AF-40-11OCT16

エアクリーナフィルタ：取り外し



H111135—UN—25APR14



H111136—UN—25APR14

A：ダストカバー

B：1 次エアフィルタ
C：安全フィルタ

重要： フィルタを整備するときは、エンジンにごみが吸い込まれないようにエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。

ひじかけディスプレイに「エンジンエアフィルタ」アイコンが表示された場合のみフィルタを整備してください。

ダストカバー (A) のスナップを外して、1 次エアフィルタ (B) を取り外します。

反時計回りの方向に安全フィルタ (C) を緩めて取り外します。安全フィルタは、損傷した 1 次フィルタを通過するごみを遮断します。

重要： 絶対にエレメントを洗浄したり、ブラシをかけたり、たたいたりしないでください。1 次エレメントに圧縮空気を吹き付ける場合は、乾燥圧縮空気 (500 kPa、72.5 psi) を使用してください。エアガンの先端をフィルタペーパーに接触させないように注意しながら、内側から外側にエレメントを清掃してください。

絶対に安全エレメントは清掃しないでください。汚れている場合は、交換してください。

絶対に両方のフィルタがない状態でエンジンを運転しないでください。

必要に応じてフィルタを整備してください。

安全フィルタを取り付けて、手でしっかりと締まっていることを確認できるまで時計回りに回します。

1 次エアフィルタとダストカバーを取り付けます。

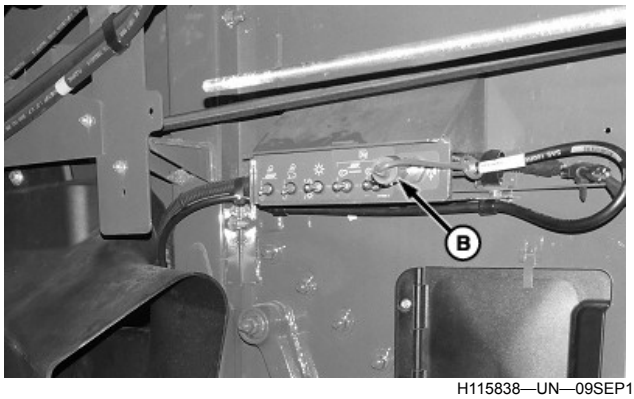
吸気システムのすべての接続を点検します。接続が緊密であることを確認します。

重要： コンバインの籾殻を吹き飛ばすために排気フロークリーニングユニットを使用しないでください。このようなユニットを使用すると、エアフィルタが破損し、エンジンの故障の原因になります。

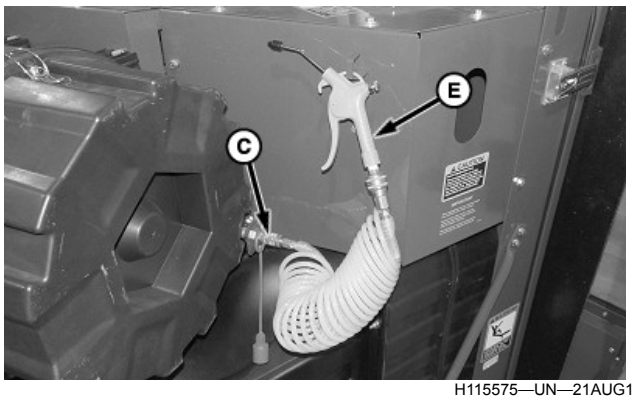
OUO6075,00017D4-40-25APR14

空気圧縮機システム (装備されている場合)

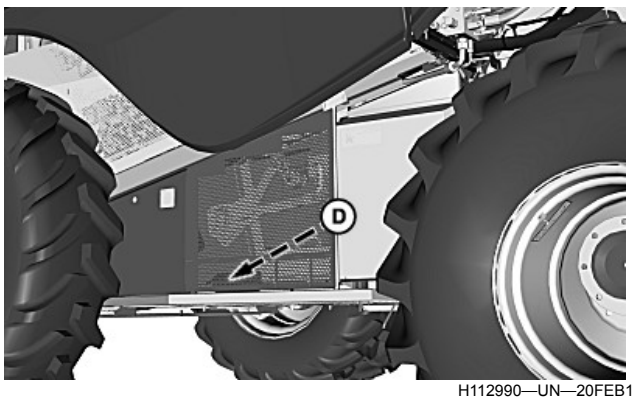
H112987—UN—20FEB15



H115838—UN—09SEP15



H115575—UN—21AUG15



H112990—UN—20FEB15

A：**リザーバー**
B：**空気圧縮機ホースカプラー**
C：**空気圧縮機ホースカプラー**
D：**空気圧縮機ホース / ワンド**
E：**空気圧縮機ホース / ワンド**

重要：**エンジン運転中は、絶対にエンジンエアフィルタまたはデブリ管理エアフィルタを清掃しないでください。**

注記： *最適な空気圧縮機の性能のためには、エンジンを運転して連続して空気を供給する必要があります。*

機械に搭載されている空気圧縮機を使用して、機械のタイヤに空気を入れたり、空気圧工具を駆動したりすることは推奨されません。

両方のカプラー接続を同時に使用することは推奨されません。

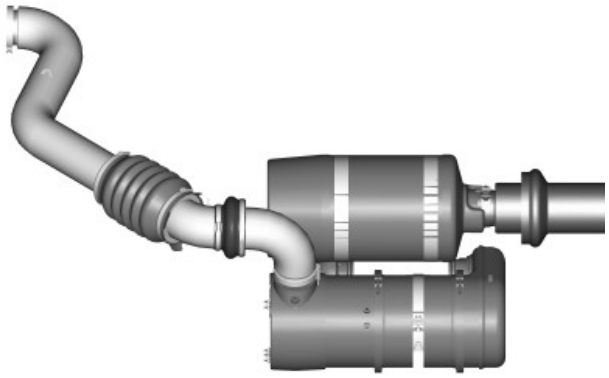
空気圧縮機は、エンジンデッキにあり、リザーバー (A) は機械の右側にあります。

空気圧縮機のホースカプラー (B) は機械の左側にあり、空気圧縮機のホースカプラー (C) はエンジンデッキの上にあります。

空気圧縮機のホース / ワンド (D) は機械の左側にあり、空気圧縮機のホース / ワンド (E) はエンジンデッキの上にあります。

OUO6075,000412E-40-21MAR16

ディーゼルパティキュレートフィルターのメンテナンスと整備 (ファイナルティア 4 / ステージ V)



H115641—UN—27AUG15

エグゾーストフィルタにはディーゼル酸化触媒とディーゼル微粒子フィルタ (DPF) を備えています。DPF は残留灰を捉えるように設計されており、この灰はクランクケースの潤滑油と燃料に使用されている添加剤の不燃焼物です。DPF はメンテナンスなしで何時間も使用できます。しかしある程度時間が経過すると、蓄積された灰を DPF から取り除くための専門の整備が必要になります。この手入れが必要となる正確な時間は、エンジンのパワーカテゴリー、デューティーサイクル、運転条件、エンジンオイルの灰成分、燃料の品質によって異なります。John Deere™ が推奨する潤滑剤と燃料の仕様に従うと、専門の DPF の整備が必要となるまでの運転時間を最長にできます。

エンジンの所有者として、オペレータマニュアルに記載の必要とするメンテナンスを行うことは必須です。通常の装置運転では、DPF のメンテナンスの必要性は

灰がどれぐらい早く溜まるかによります。通常、175 hp / 130 kW を超えるエンジンの DPF は約 4,500 時間で整備する必要があります。DPF 内の灰の量が増えるとすすに対する容量が減り、排気システムの背圧がより頻繁に上昇するようになります。DPF の整備が必要であることを示す診断トラブルコードが表示されます。

DPF からの灰の除去は DPF を機械から取り外し、特殊な装置に入れて行う必要があります。灰の除去に水または他の薬剤を使用しないでください。このような方法で灰を除去すると、DPF を容器に固定している材質が破損し DPF 部品が緩み、DPF が振動によって破損する可能性があります。

認可された灰の除去方法に従わないと、米国政府、州政府、自治体の廃棄物処理法に違反する可能性があります。また DPF を破損し、ディーゼルエグゾーストフィルタ排出ガスに関する保証が無効になる可能性があります。DPF を整備する場合は、John Deere™ 認定整備工場または資格を備えた整備工場に DPF を持参することを強く推奨します。

自動または駐車クリーニングが有効になっていると、エグゾーストフィルタのクリーニングサイクル中のある時期に、無負荷または軽負荷条件で排気温度が高くなる場合があります。

高温の排気ガスが危険な条件では、エグゾーストフィルタクリーニングシステムを無効にしてください。

排ガスフィルタクリーニングシステムの無効化は、必要な場合にのみ行ってください。

OUO6075,0004808-40-13NOV17

排ガスフィルタ / ディーゼルパティキュレートフィルターの灰の処理と廃棄 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

注意： 米国政府、州政府、自治体の法律、規制により、ディーゼル微粒子フィルタの灰は有毒廃棄物に指定されていることがあります。有毒廃棄物は米国政府、州政府、自治体の法律、規制で定めるすべての有毒廃棄物廃棄方法に従って廃棄する必要があります。資格を備えた整備店のみが DPF の灰の除去を行うようにしてください。DPF の取扱い、クリーニングに当たっては、清潔で信頼性のある保護具、保護服を着用してください。John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場にお問い合わせください。

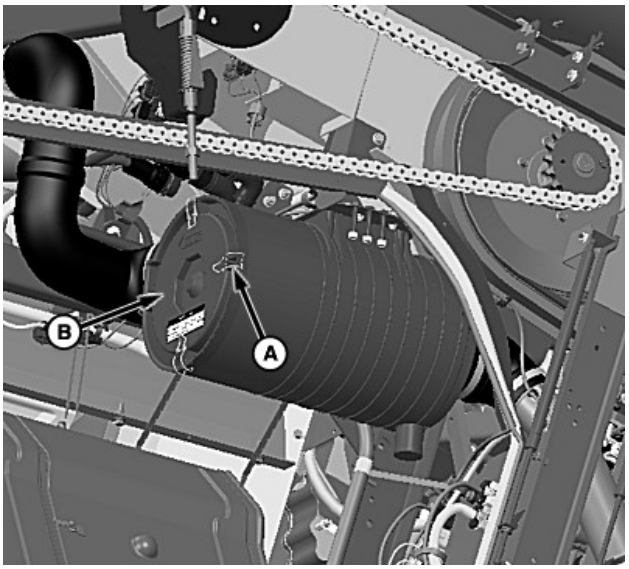
OUO6075,0004809-40-13NOV17

排ガスフィルタの廃棄 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

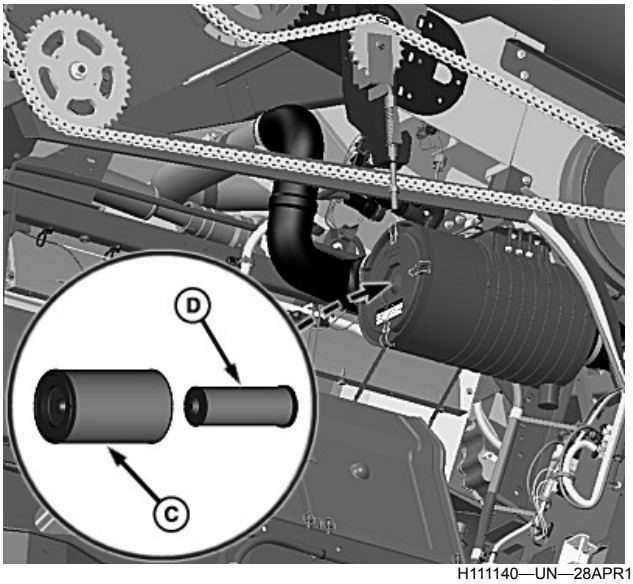
注意： 使用期限に達したエグゾーストフィルタは、その中の灰や触媒物質が米国政府、州政府、自治体の法律や規制で有毒廃棄物に指定されていることがあるので、適切に扱う必要があります。ディーゼルパティキュレートフィルターなどの使用済みの排ガスフィルタは、任意の John Deere™ 販売店または資格を備えた整備工場でも交換できます。

OUO6075,000480A-40-13NOV17

エンジンデブリ管理エアフィルター—取り外し (ファイナルティア 4 / ステージ V)



H111139—UN—28APR14



H111140—UN—28APR14

A：掛け金ラッチ
B：ダストカバー
C：一次エアフィルタ

D：**安全フィルタ**

重要： **フィルタを整備するときは、エンジンにごみが吸い込まれないようにエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜いてください。**

ひじかけのディスプレイに「エンジンデブリマネジメントエアフィルタ」アイコンが表示された場合のみフィルタを整備してください。

ラッチ (A) を解除し、ダストカバー (B) を取り外します。

1 次エアフィルタ (C) を取り外します。

反時計回りの方向に安全フィルタ (D) を取り外します。安全フィルタは、損傷した 1 次フィルタを通過するごみを遮断します。

重要： **絶対にエレメントを洗浄したり、ブラシをかけたり、たたいたりしないでください。1 次エレメントに圧縮空気を吹き付ける場合は、乾燥圧縮空気 (500 kPa、72.5 psi) を使用してください。エアガンの先端をフィルタペーパーに接触させないように注意しながら、内側から外側にエレメントを清掃してください。**

絶対に安全エレメントは清掃しないでください。汚れている場合は、交換してください。

絶対に両方のフィルタがない状態でエンジンを運転しないでください。

必要に応じてフィルタを整備してください。

安全フィルタを取り付けて、手でしっかりと締まっていることを確認できるまで時計回りに回します。

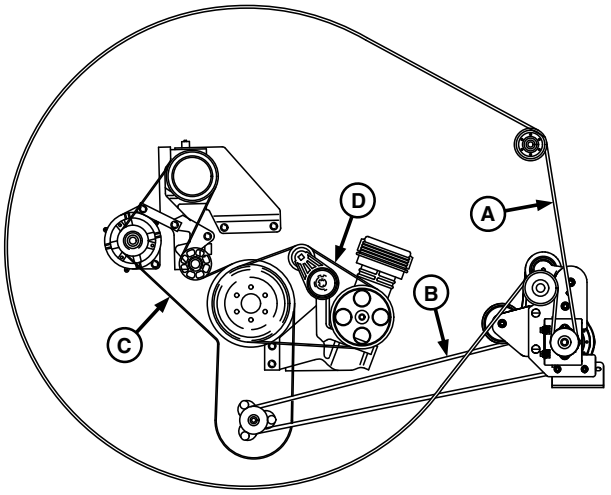
1 次エアフィルタを取り付けます。

カバーを取り付けて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,000480B-40-13NOV17

メンテナンス — 必要に応じて (9.0 L エンジンのベルト)

エンジンベルト — 取り回し (ティア 2 / ステージ II)

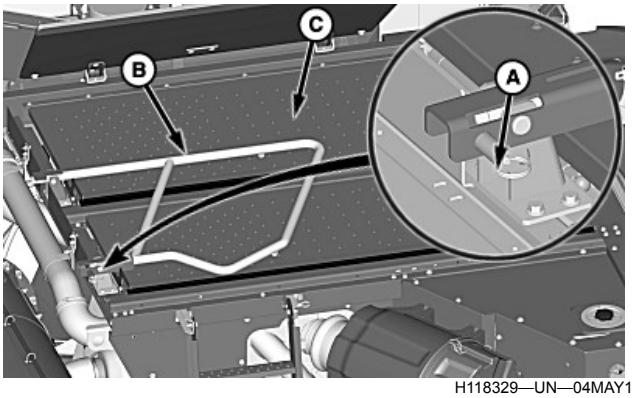


H124552—UN—21JUN18

A：**ロータリースクリーン駆動ベルト、スクリーン側**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト、エンジン側**
C：**冷却ファン、エアコン、コンプレッサベルト**
D：**エアコンプレッサベルト (装備されている場合)**

OUO6075,00049EF-40-20JUN18

エンジン補機 / ファン駆動 / エアコンプレッサベルト (装備されている場合) — 交換 (ティア 2 / ステージ II)

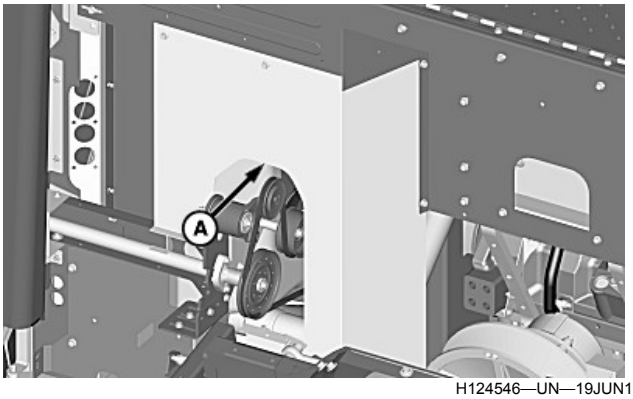


H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

1. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

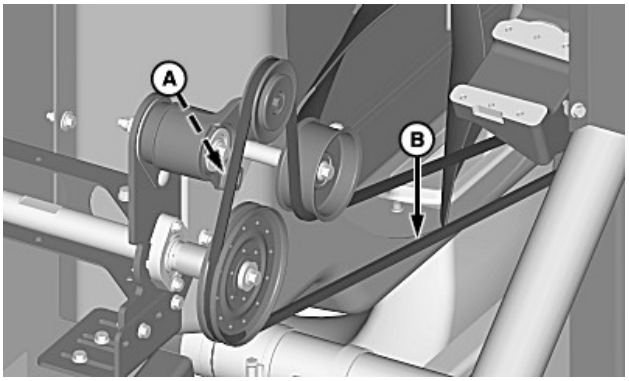


H124546—UN—19JUN18

エンジンの前側

A：**シールド**

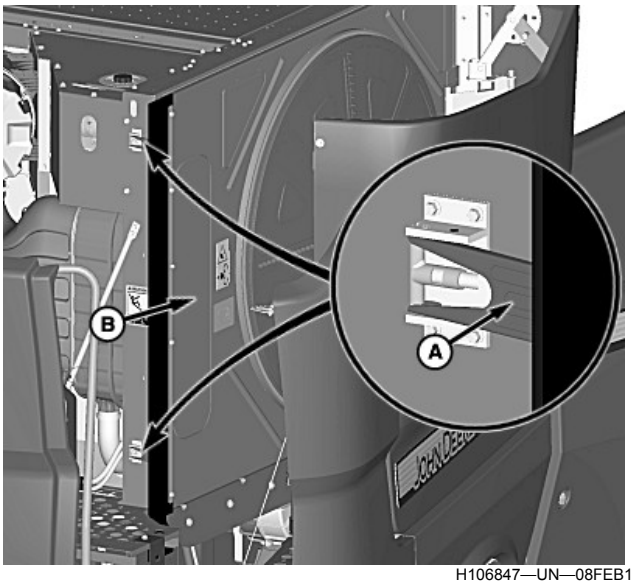
2. シールド (A) を取り外します。



H124547—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

3. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
4. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。

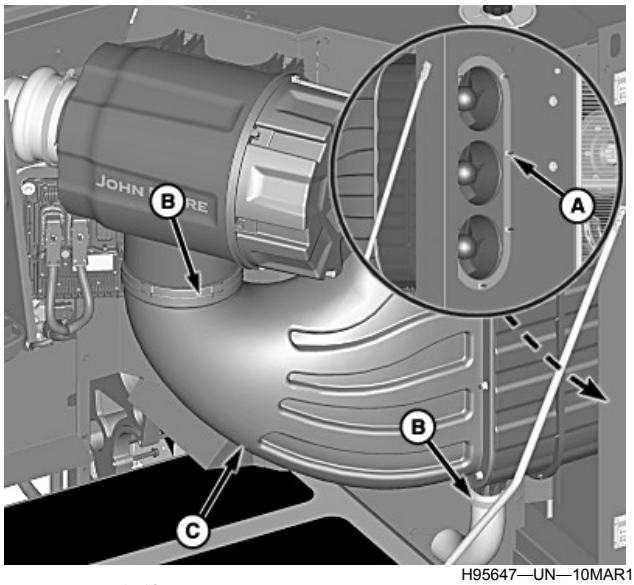


H106847—UN—08FEB13

A：**掛け金ラッチ**

B：**ロータリースクリーンドア**

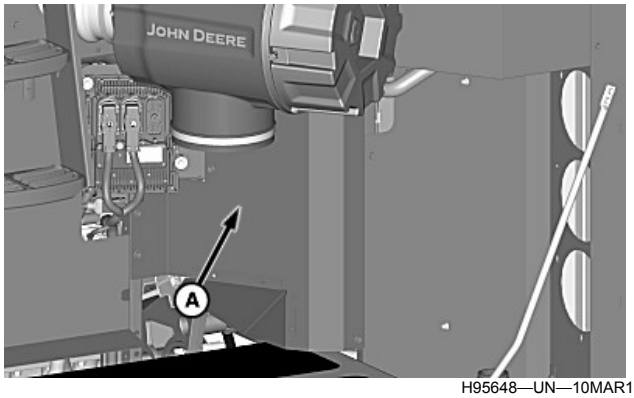
5. ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。



H95647—UN—10MAR10

A：**ナット (7 個使用)**
B：**クランプ**
C：**エアダクト**

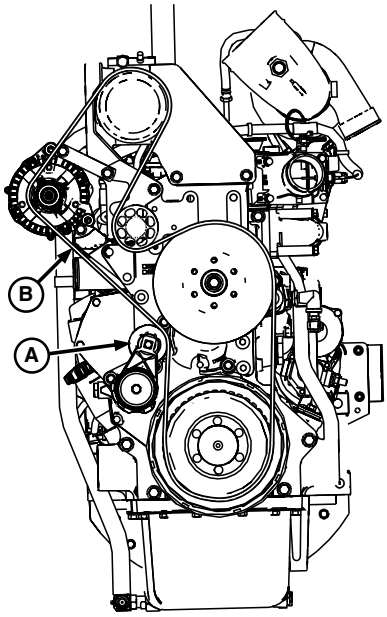
6. ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。
7. エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。



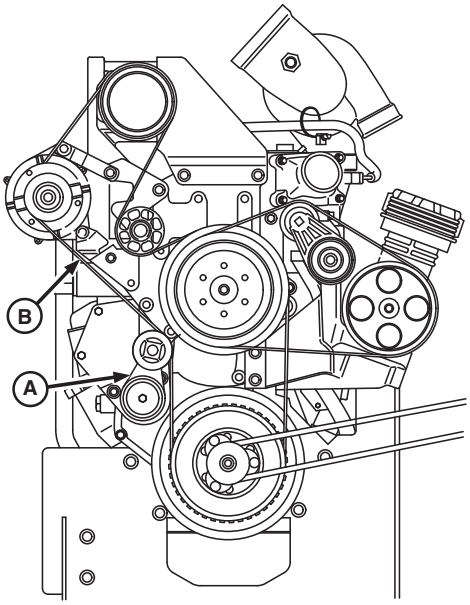
H95648—UN—10MAR10

A：**シールド**

8. シールド (A) を取り外します。



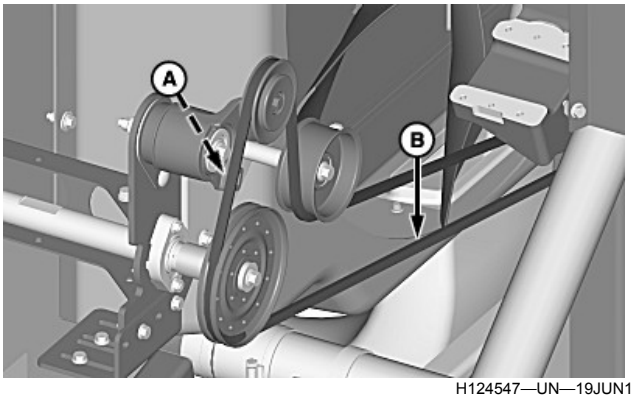
H95702—UN—15MAR10
エンジン補機 / ファン駆動ベルト、空気圧縮機なし



H113079—UN—02MAR15
エンジン補機/ファン駆動ベルト、空気圧縮機付き

A：**テンショナアーム**
B：**エンジン補機 / ファン駆動ベルト**

9. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
10. ベルト (B) を取り外して、ファンブレードをかわしてベルトを取り外します。
11. ファンブレードをかわして交換用ベルトを取り付けます。
12. ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。



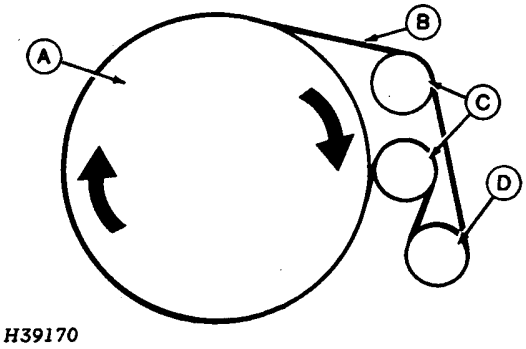
H124547—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

13. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) から張力を解放してロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り付けます。
14. 前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。
15. セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。
16. 前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。
17. ロータリースクリーンドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,00049E6-40-20JUN18

ロータリースクリーンベルト：取り回し

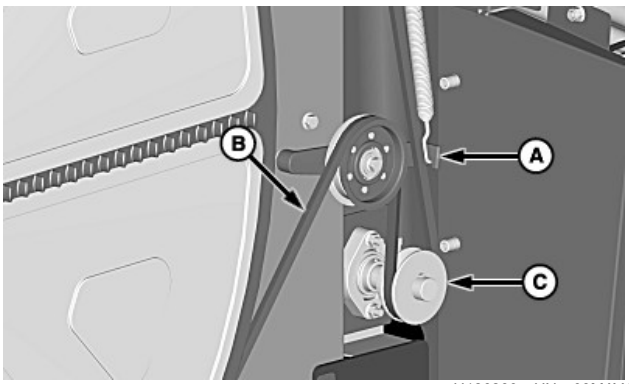


H39170—UN—11OCT88

A：**ロータリースクリーン**
B：**ベルト**
C：**アイドラ**
D：**ドライブシーブ**

OUO6075,00006CE-40-05MAR10

ロータリースクリーンベルト - 交換



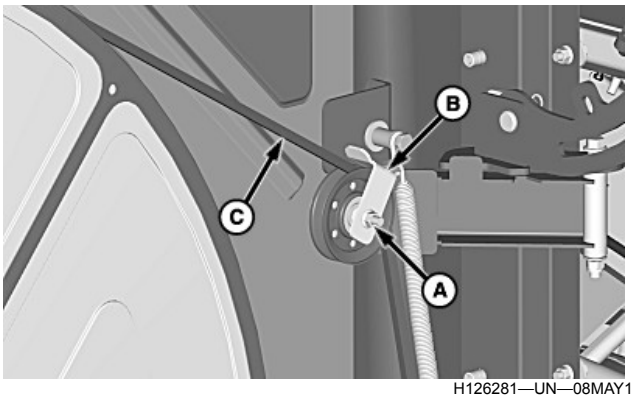
H126280—UN—08MAY19

A：**テンションレバー**
B：**ロータリースクリーンベルト**
C：**シーブ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

けがを防止してください。ベルトには張力がかかっています。ベルトを取り外すときは、テンションレバーをゆっくりと解放してください。

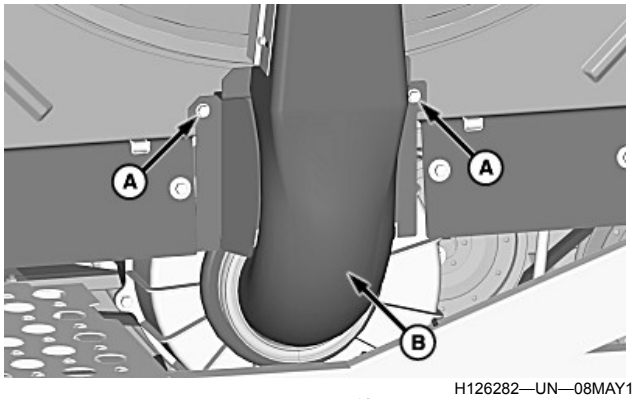
1. テンションレバー (A) を押し下げて、ロータリースクリーンベルト (B) から張力を解放します。
2. ロータリースクリーンベルトをシーブ (C) から外して、レバーとスプリングの張力を徐々に解放します。



H126281—UN—08MAY19

A：**ナット**
B：**ベルトトラップ**
C：**ロータリースクリーンベルト**

3. ナット (A) とベルトトラップ (B) を取り外します。
4. ロータリースクリーンベルト (C) を取り外します。



H126282—UN—08MAY19

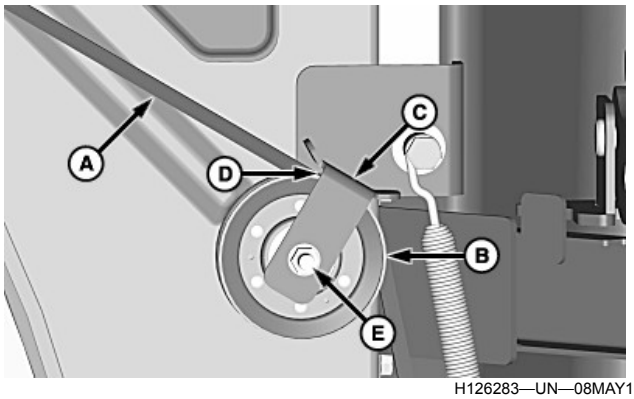
A：**キャップスクリューとナット (2 組使用)**
B：**真空ダクト**

注記： 内側からナットにアクセスするには、ロータリースクリーンドアを開く必要があります。

5. キャップスクリューとナット (A) を取り外します。
6. 真空ダクト (B) をロータリースクリーンドアから引き離して、ロータリースクリーンベルトを取り外します。
7. 真空ダクト (B) をロータリースクリーンドアから引き離して、交換用ロータリースクリーンベルトを取り付けます。
8. キャップスクリューとナットを取り付けます。

重要： 損傷を防止するため、ロータリースクリーンが真空ダクトレーキバーのノッチから離れていることを確認してください。必要に応じて真空ダクトを調整します。

9. ロータリースクリーンドアを閉めます。



H126283—UN—08MAY19

A：**ロータリースクリーンベルト**
B：**プーリー**
C：**ベルトトラップ**
D：**隙間**
E：**ナット**

10. 図のように、ロータリースクリーンベルト (A) をプーリー (B) の周りに取り付けます。

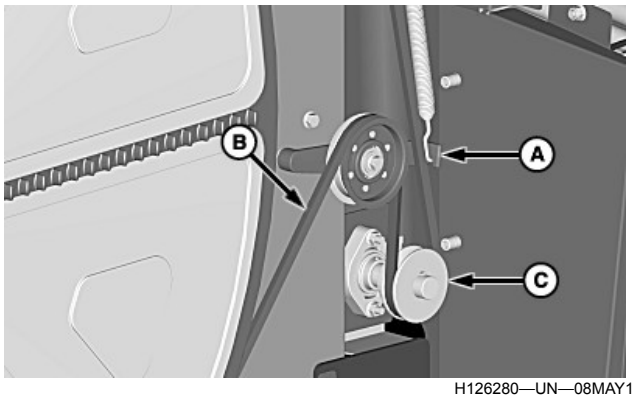
重要： 損傷を防止するため、ベルトトラップがロータリースクリーンベルトと平行であることを確認してください。

11. ベルトトラップ (C) を取り付けて、規定の隙間 (D) に調整します。

仕様

ベルトトラップ：隙間. . . . . 4 mm (5/32 in)

12. ベルトトラップが動かないことを確認しながら、ナット (E) を取り付けて締め付けます。



H126280—UN—08MAY19

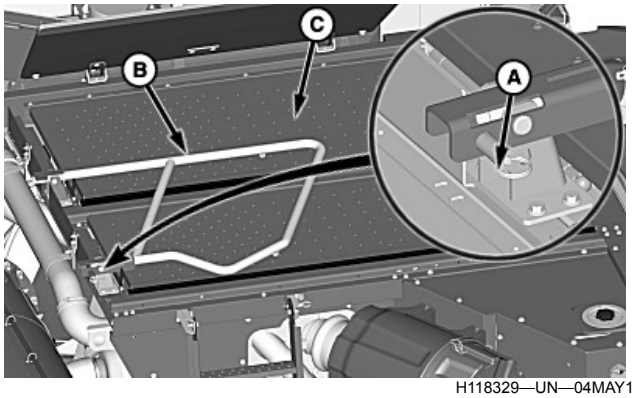
A：**テンションレバー**
B：**ロータリースクリーンベルト**
C：**シーブ**

注意： けがを防止してください。ベルトには張力がかかっています。ベルトを取り付けるときは、テンションレバーをゆっくりと解放してください。

13. テンションレバー (A) を押し下げて、ロータリースクリーンベルト (B) から張力を解放します。
14. ロータリースクリーンベルトを図のようにシーブ (C) に取り付けて、レバーとスプリング張力を徐々に解放します。

OUO6075,0004B91-40-30MAY19

ロータリースクリーン駆動ベルト — 交換 (ティア 2 / ステージ II)

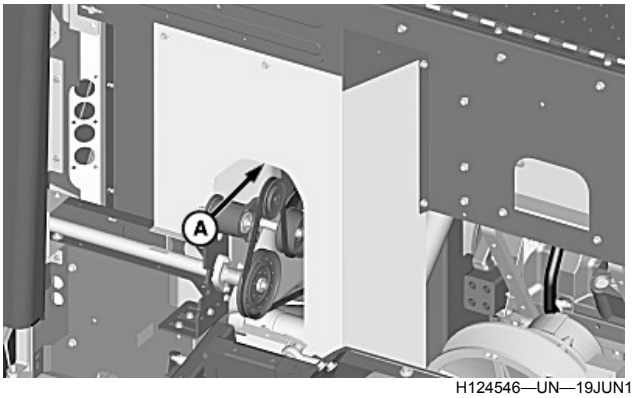


H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

1. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

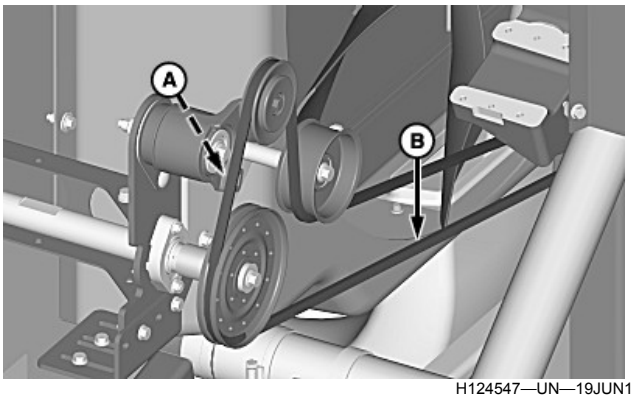


H124546—UN—19JUN18

エンジンの前側

A：**シールド**

2. シールド (A) を取り外します。



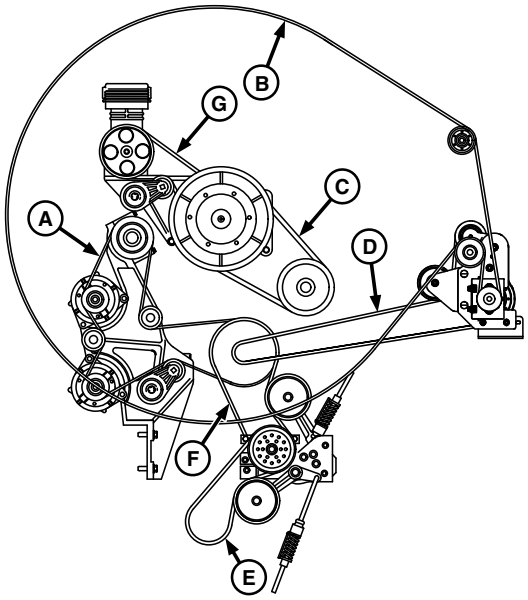
H124547—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

3. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
4. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。
5. ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。
6. 前の手順で取り外したシールドを取り付けて、セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

OUO6075,00049E7-40-20JUN18

エンジンベルト—取り回し (ファイナルティア 4 / ステージ V)

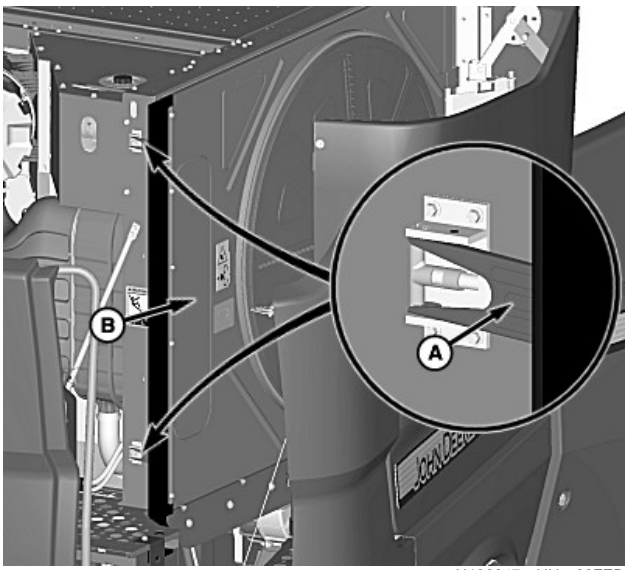


H124553—UN—21JUN18

A：**エアコンコンプレッサ、オルタネータベルト**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト、スクリーン側**
C：**可変回転速度ファンベルト**
D：**ロータリースクリーン駆動ベルト、エンジン側**
E：**真空ファン従動ベルト、ファン側**
F：**真空ファン駆動ベルト、エンジン側**
G：**空気圧縮機ベルト (装備されている場合)**

OUO6075,00049EC-40-20JUN18

エアコンコンプレッサ / オルタネータベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

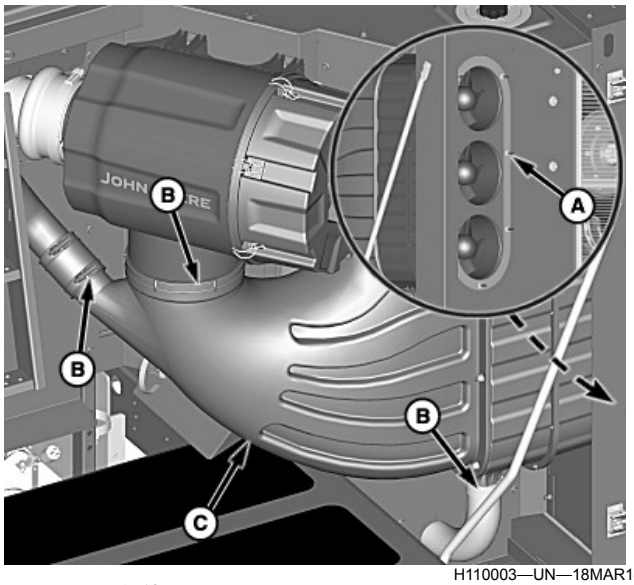


H106847—UN—08FEB13

A：**掛け金ラッチ**
B：**ロータリースクリーンドア**

注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。

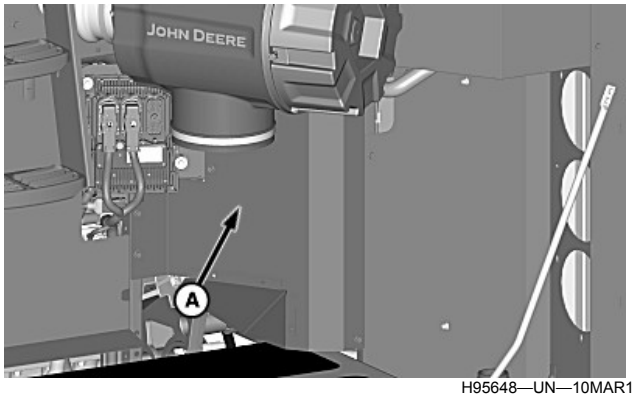
1. ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。



H110003—UN—18MAR14

A：**ナット (7 個使用)**
B：**クランプ**
C：**エアダクト**

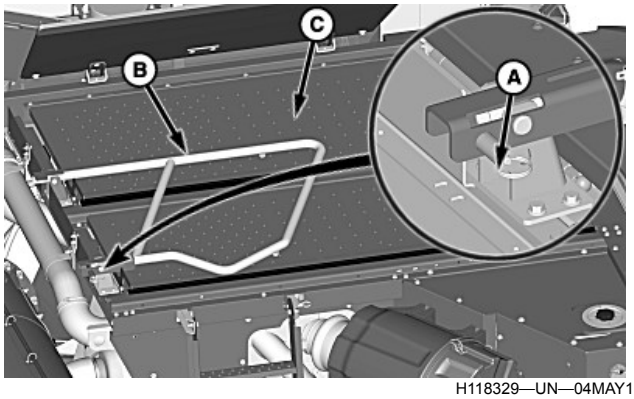
2. ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。
3. エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。



H95648—UN—10MAR10

A：**シールド**

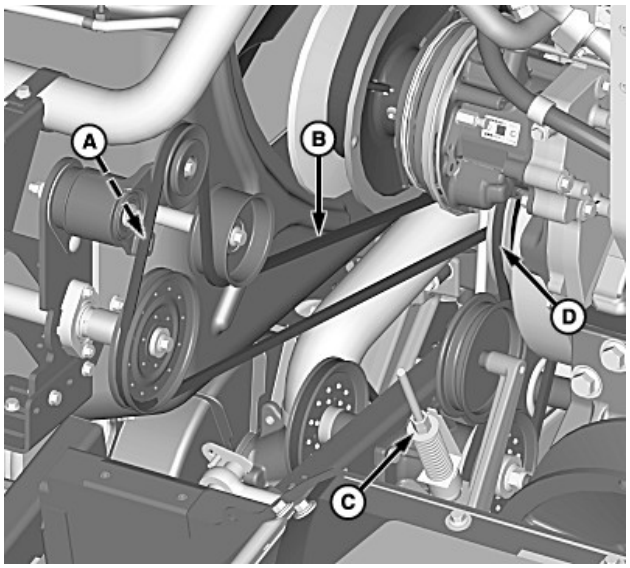
4. シールド (A) を取り外します。



H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

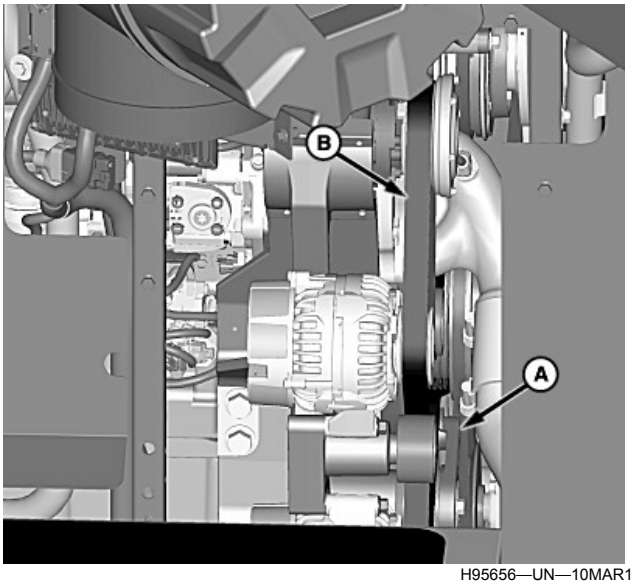
5. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。



H124540—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**
C：**ナット (2 個使用)**
D：**真空ファン駆動ベルト**

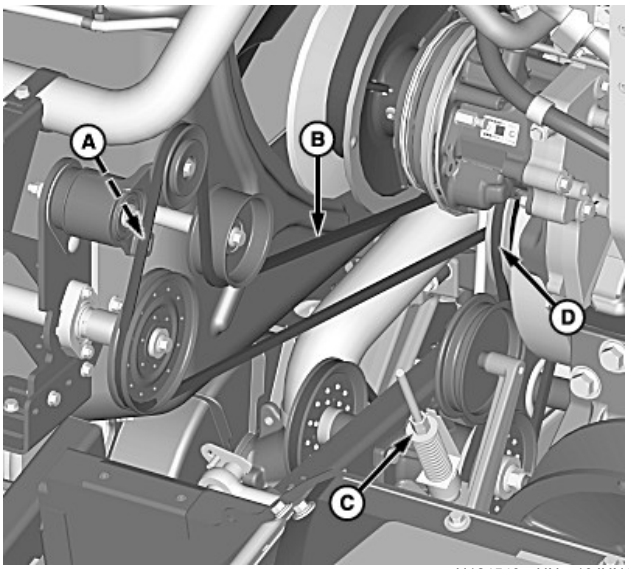
6. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
7. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。
8. ナット (C) を緩めて、真空ファン駆動ベルト (D) を取り外します。



H95656—UN—10MAR10

A：**テンショナアーム**
B：**ベルト**

9. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
10. ベルト (B) を取り外して、ファンブレードをかわしてベルトを取り外します。
11. ファンブレードをかわして交換用ベルトを取り付けます。
12. ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。



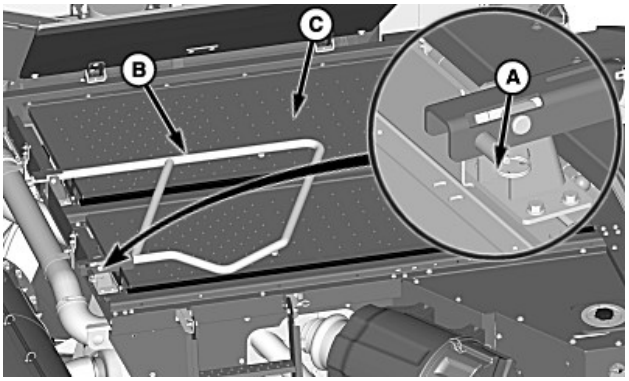
H124540—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**
C：**ナット (2 個使用)**
D：**真空ファン駆動ベルト**

13. 真空ファン駆動ベルト (D) を取り付けます。
14. 座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナット (C) を締め付けます。
15. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放してロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り付けます。
16. セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。
17. 前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。
18. ロータリースクリーンドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,00049DD-40-20JUN18

ロータリースクリーン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

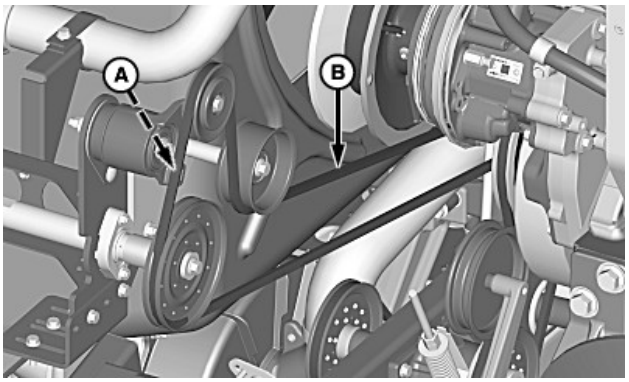


H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

1. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。



H124541—UN—19JUN18

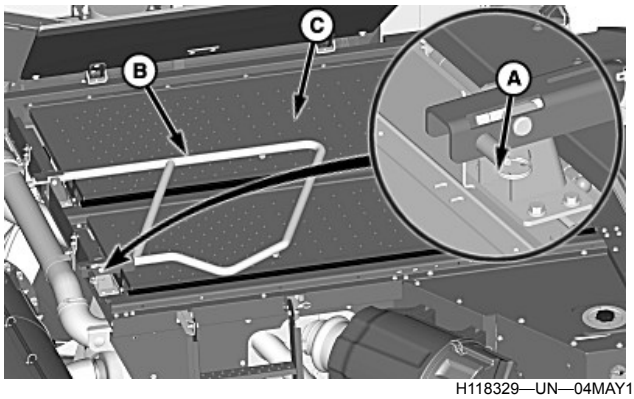
A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

2. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。

3. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。
4. ブレーカーバーを使用して、テンショナアームから張力を解放して交換用ロータリースクリーン駆動ベルトを取り付けます。
5. セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

OUO6075,00049DE-40-20JUN18

真空ファン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

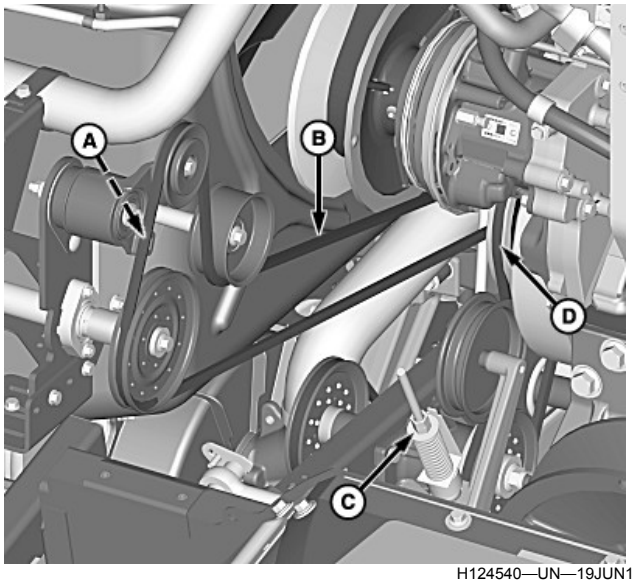


H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

1. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。



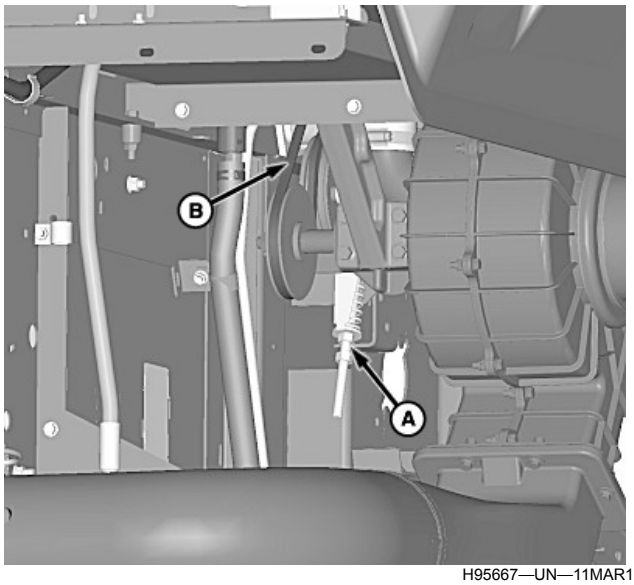
H124540—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**
C：**ナット (2 個使用)**
D：**真空ファン駆動ベルト**

2. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
3. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。
4. ナット (C) を緩めて、真空ファン駆動ベルト (D) を取り外します。
5. 交換用真空ファン駆動ベルトを取り付けて、座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでナットを締め付けます。
6. ブレーカーバーを使用して、テンショナアームから張力を解放してロータリースクリーン駆動ベルトを取り付けます。
7. セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

OUO6075,00049DF-40-20JUN18

真空ファン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)



H95667—UN—11MAR10

A：**ナット**
B：**真空ファン従動ベルト**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

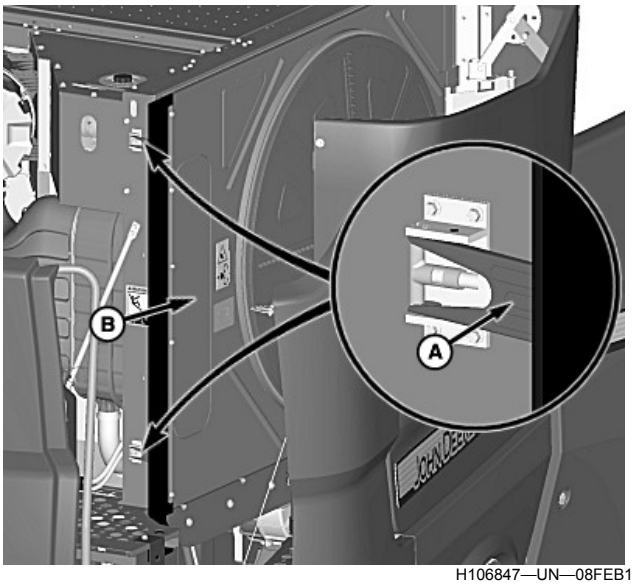
ナット (A) を緩めて、ラジエータの下にあるバキュームファン従動ベルト (B) を取り外します。

交換用真空ファン従動ベルトを取り付けます。

座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまで、ナットを締め付けます。

OUO6075,0004814-40-14NOV17

可変回転速度ファン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

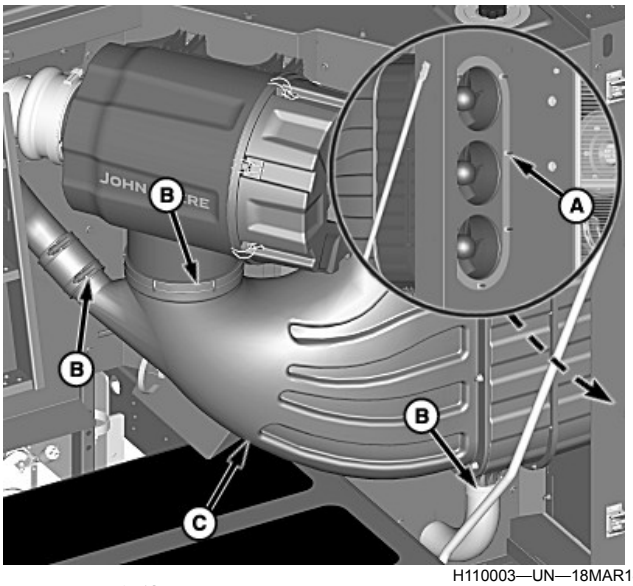


H106847—UN—08FEB13

A：**ラッチ**
B：**ロータリースクリーンドア**

注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

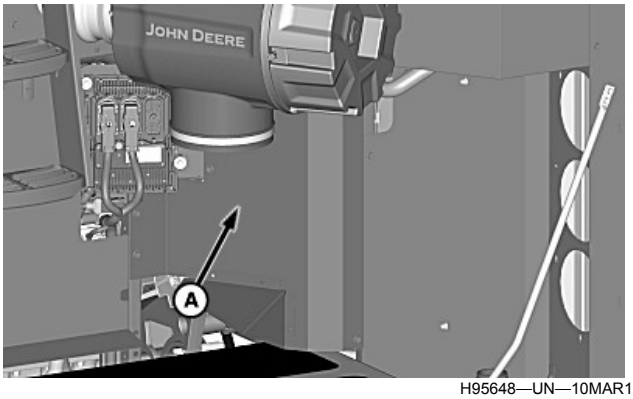
1. ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。



H110003—UN—18MAR14

A：**ナット (7 個使用)**
B：**クランプ**
C：**エアダクト**

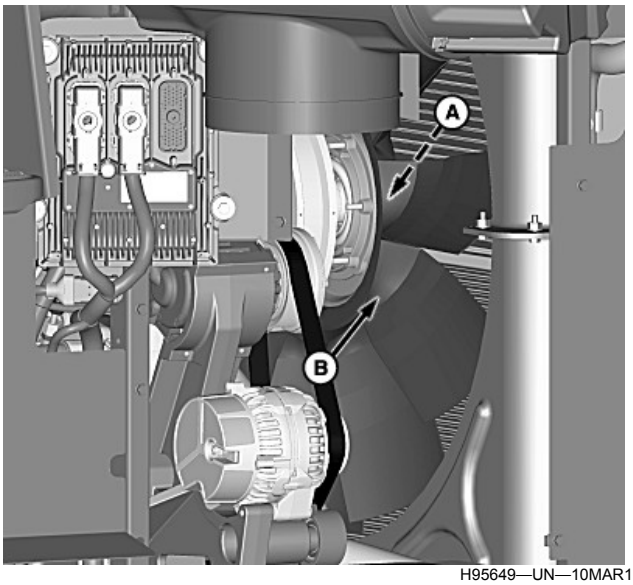
2. ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。
3. エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。



H95648—UN—10MAR10

A：**シールド**

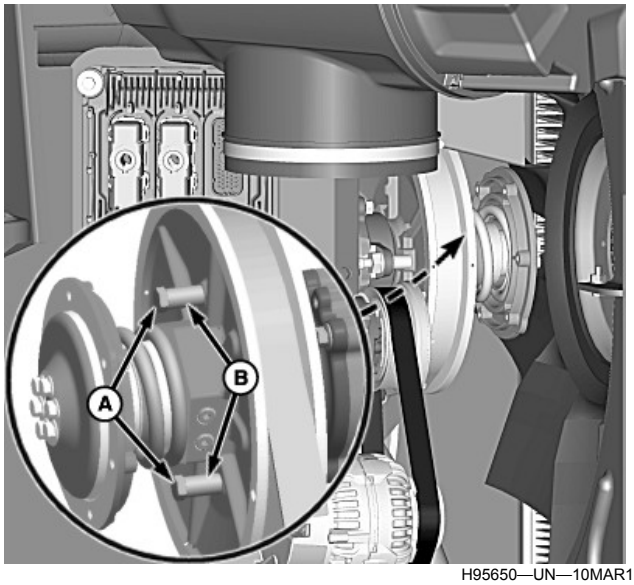
4. シールド (A) を取り外します。



H95649—UN—10MAR10

A：**キャップスクリュー (6 本使用)**
B：**ファンアセンブリ**

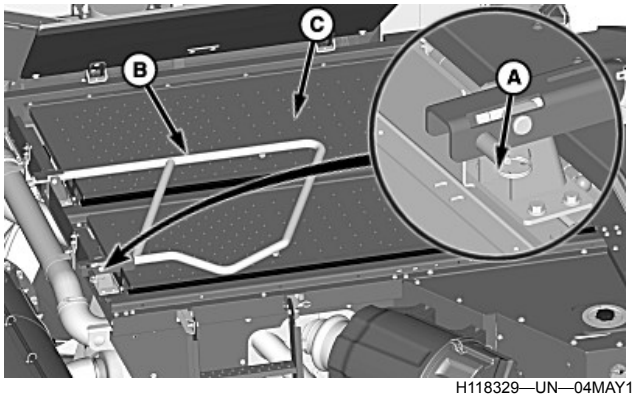
5. ボルト (A) をファンアセンブリ (B) から取り外します。
6. ファンアセンブリを邪魔にならない位置に移動します。



H95650—UN—10MAR10

A：**キャップスクリュー**
B：**スペーサ**

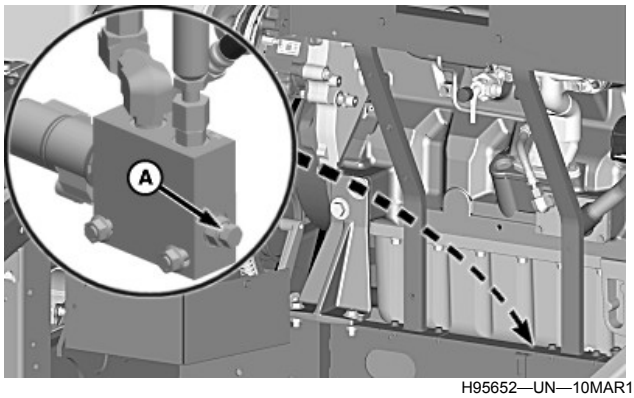
7. ボルト (A) とスペーサ (B) を取り外します。
8. 前の手順で取り外したボルトをスプリングが完全に圧縮されるまで取り付けます。



H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

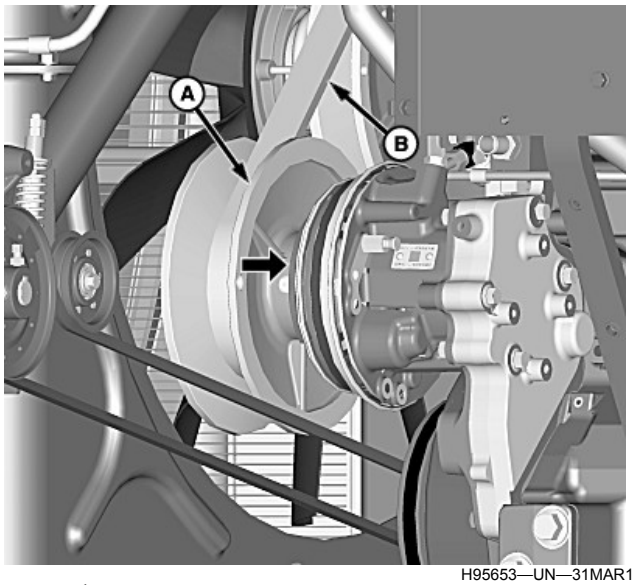
9. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。



H95652—UN—10MAR10

A：**通気ねじ**

10. サポートレールの前側にあるバルブを確認し、通気ねじ (A) を緩めてシーブから圧力を解放します。



H95653—UN—31MAR10

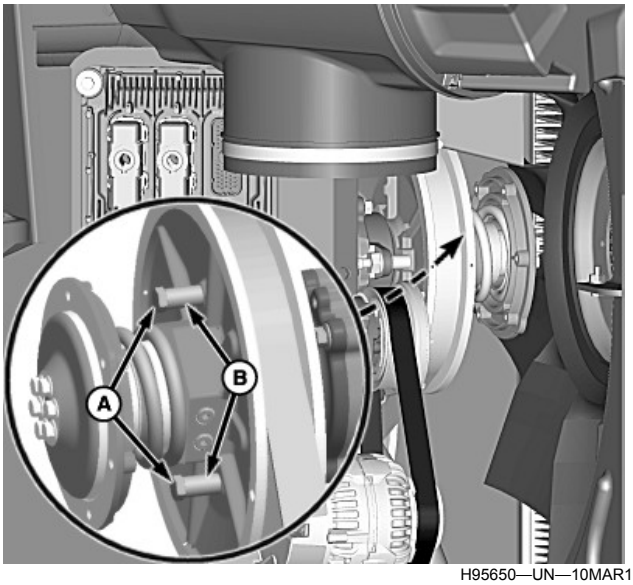
A：**シーブ**
B：**可変速度ベルト**

11. 通気ねじを緩めた状態で、完全に開くまでシーブ (A) をエンジンに向かって引っ張ります。
12. 可変速度ベルト (B) を取り外します。

注記： 交換用可変速度ベルトを取り付ける前に、空気圧縮機のベルトに摩耗がないか目視点検します (装備されている場合)。必要に応じて、気圧縮機ベルトを交換します (装備されている場合)。詳しくは、「空気圧縮機ベルト (装備されている場合)—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)」を参照してください。

可変速度ベルトは、最初に駆動シーブに取り付けてから従動シーブに取り付ける必要があります。

13. 交換用可変速度ベルトを取り付けます。

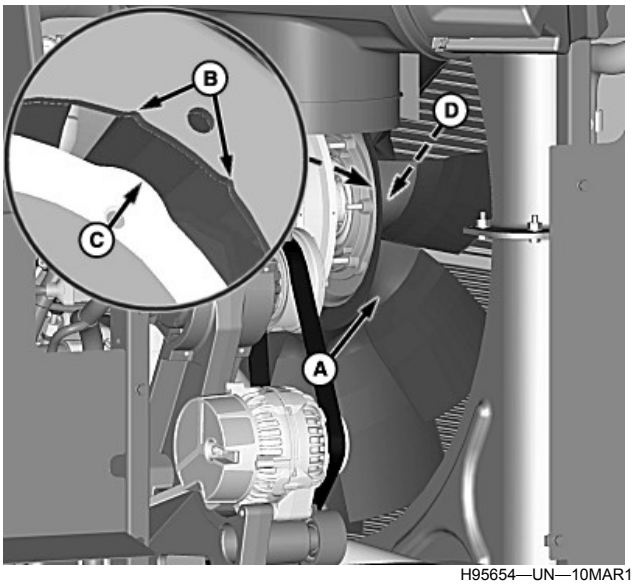


H95650—UN—10MAR10

A：**キャップスクリュー**
B：**スペーサ**

重要： **可変回転速度ファンで回転速度を調整するには、スプリングの圧縮を解除する必要があります。**

14. 可変速度ベルトを取り付けた状態で、キャップスクリュー (A) を取り外してスプリングの圧縮を解除し、前の手順で取り外したスペーサ (B) を取り付けます (図示)。



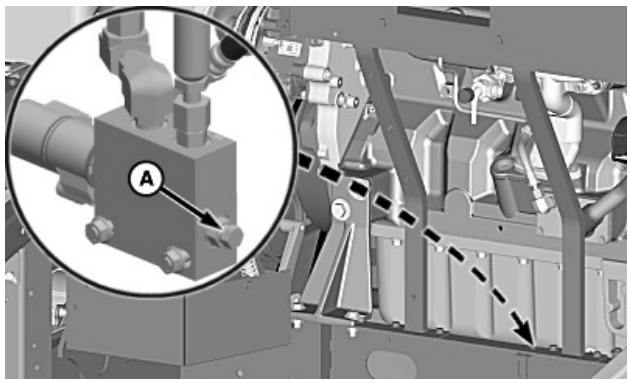
H95654—UN—10MAR10

A：**ファンアセンブリ**
B：**インデックスマーク**
C：**ボス**
D：**キャップスクリュー (6 本使用)**

15. インデックスマーク (B) がボス (C) の両側に配置されるようにファンアセンブリ (A) を取り付けます。
16. 前の手順で取り外したボルト (D) を取り付けます。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 40 N·m (30 lb·ft)



H95652—UN—10MAR10

A：**通気ねじとナット**

17. サポートレールの前側にあるバルブを確認して、通気ねじとナット (A) を規定のトルクで締め付けます。

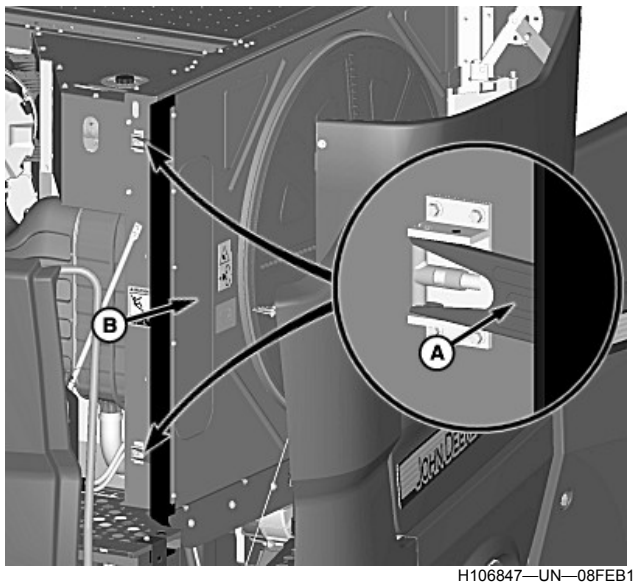
仕様

通気ねじとナット：トルク. . . . . 23 N·m (17 lb·ft)

18. セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。
19. 前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。
20. ロータリースクリーンドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,0004815-40-14NOV17

空気圧縮機ベルト (装備されている場合)—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)



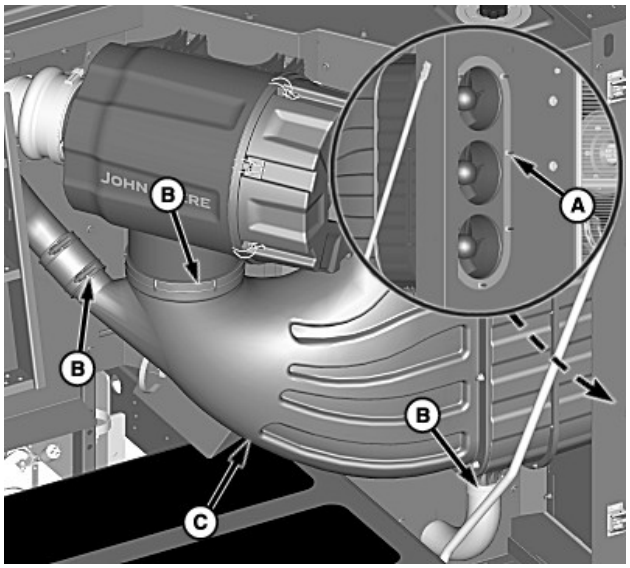
H106847—UN—08FEB13

A：**掛け金ラッチ**

B：**ロータリースクリーンドア**

⚠ 注意： エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。

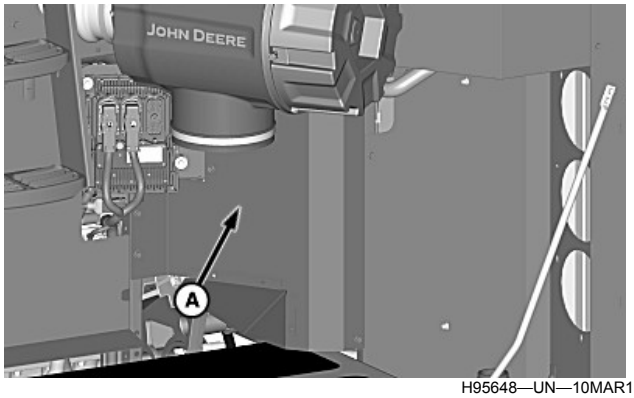
1. ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。



H110003—UN—18MAR14

A：**ナット (7 個使用)**
B：**クランプ**
C：**エアダクト**

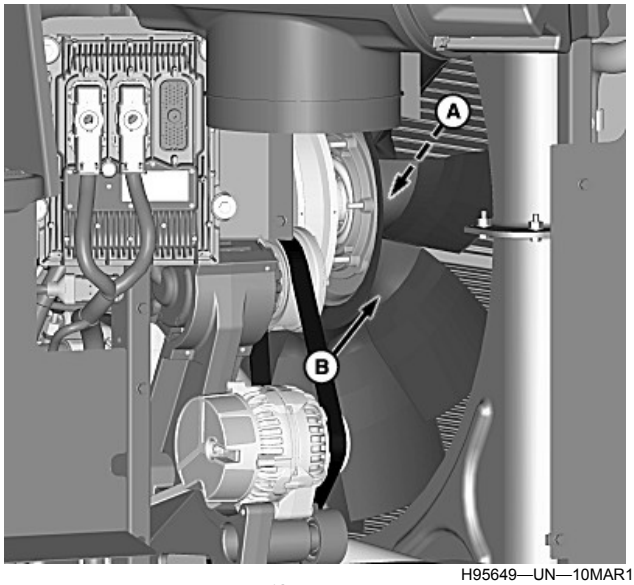
2. ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。
3. エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。



H95648—UN—10MAR10

A：**シールド**

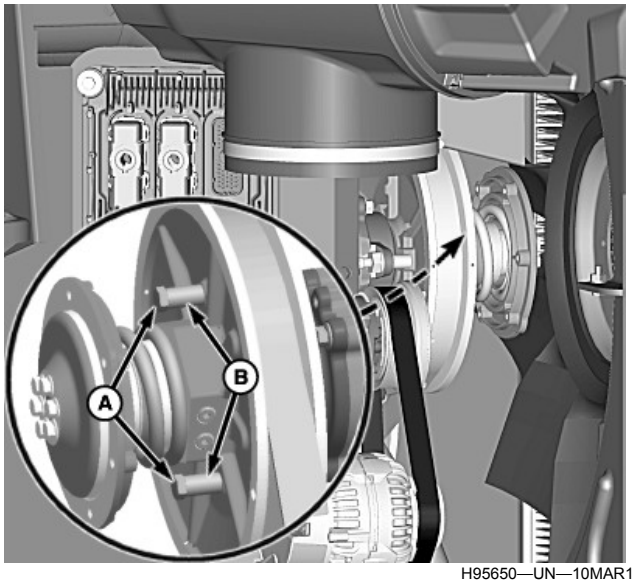
4. シールド (A) を取り外します。



H95649—UN—10MAR10

A：**キャップスクリュー (6 本使用)**
B：**ファンアセンブリ**

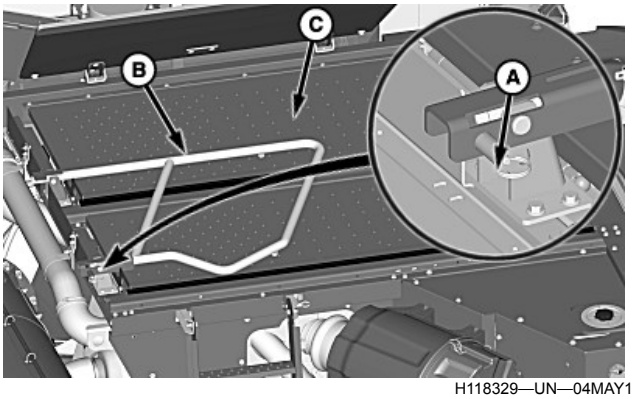
5. ボルト (A) をファンアセンブリ (B) から取り外します。
6. ファンアセンブリを邪魔にならない位置に移動します。



H95650—UN—10MAR10

A：**キャップスクリュー**
B：**スペーサ**

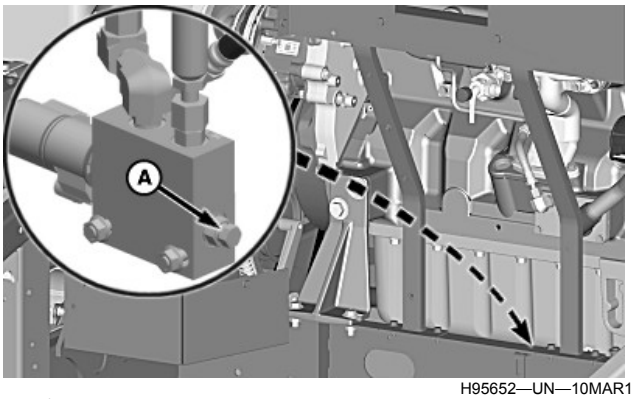
7. ボルト (A) とスペーサ (B) を取り外します。
8. 前の手順で取り外したボルトをスプリングが完全に圧縮されるまで取り付けます。



H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

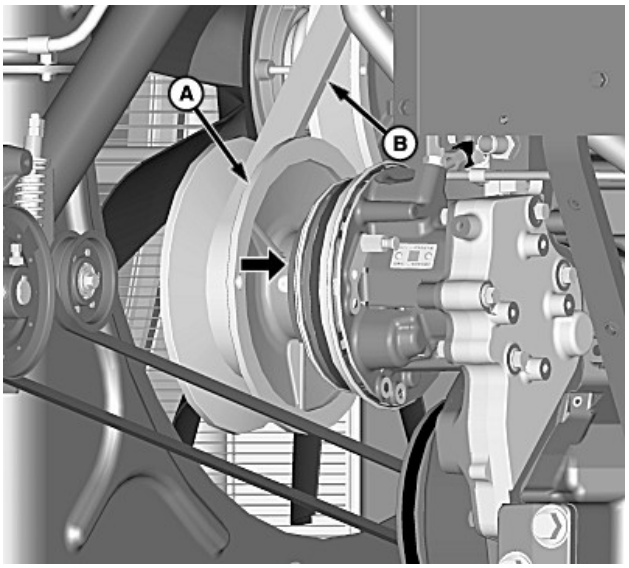
9. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。



H95652—UN—10MAR10

A：**通気ねじ**

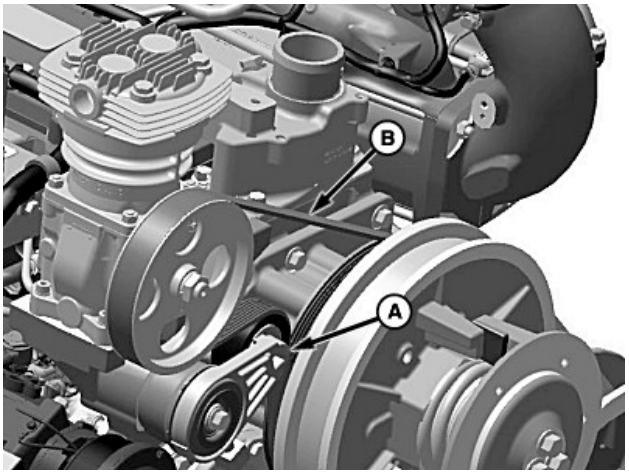
10. サポートレールの前側にあるバルブを確認し、通気ねじ (A) を緩めてシーブから圧力を解放します。



H95653—UN—31MAR10

A：**シーブ**
B：**可変速度ベルト**

11. 通気ねじを緩めた状態で、完全に開くまでシーブ (A) をエンジンに向かって引っ張ります。
12. 可変速度ベルト (B) を取り外します。



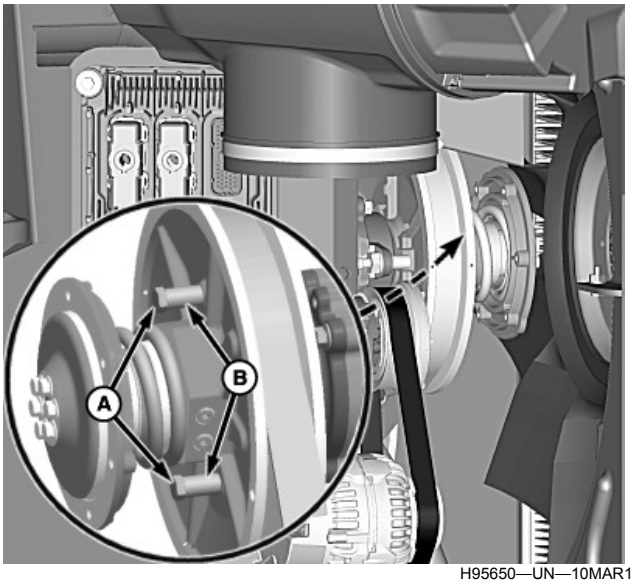
H113087—UN—02MAR15

A：**テンショナアーム**
B：**空気圧縮機ベルト**

13. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
14. 空気圧縮機ベルト (B) を取り外します。
15. 交換用空気圧縮機ベルトを取り付けます。

注記： ベルトは最初に駆動シーブに取り付けてから従動シーブに取り付ける必要があります。

16. 可変速度ベルトを取り付けます。

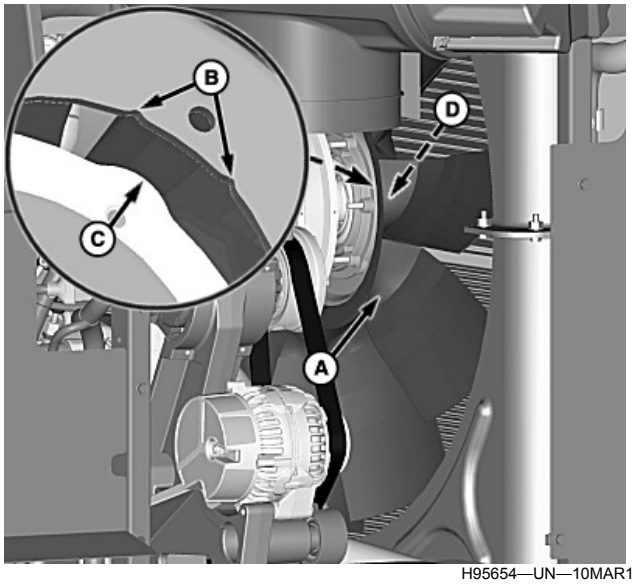


H95650—UN—10MAR10

A：**キャップスクリュー**
B：**スペーサ**

重要： 可変回転速度ファンで回転速度を調整するには、スプリングの圧縮を解除する必要があります。

17. 可変速度ベルトを取り付けた状態で、キャップスクリュー (A) を取り外してスプリングの圧縮を解除し、前の手順で取り外したスペーサ (B) を取り付けます (図示)。



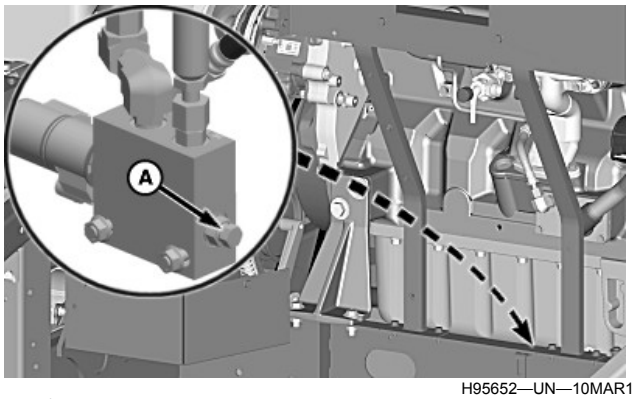
H95654—UN—10MAR10

A：**ファンアセンブリ**
B：**インデックスマーク**
C：**ボス**
D：**キャップスクリュー (6 本使用)**

18. インデックスマーク (B) がボス (C) の両側に配置されるようにファンアセンブリ (A) を取り付けます。
19. 前の手順で取り外したボルト (D) を取り付けます。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 40 N·m (30 lb·ft)



H95652—UN—10MAR10

A：**通気ねじとナット**

20. サポートレールの前側にあるバルブを確認して、通気ねじとナット (A) を規定のトルクで締め付けます。

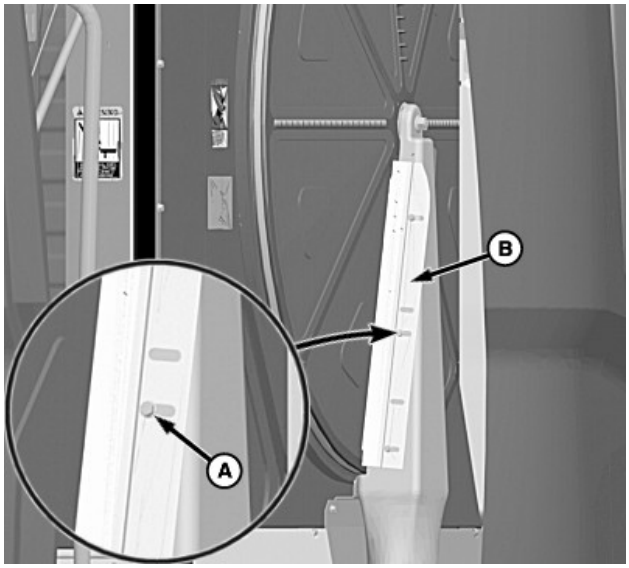
仕様

通気ねじとナット：トルク. . . . . 23 N·m (17 lb·ft)

21. セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。
22. 前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。
23. ロータリースクリーンドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,0004816-40-14NOV17

ロータリースクリーンブラシ：調整



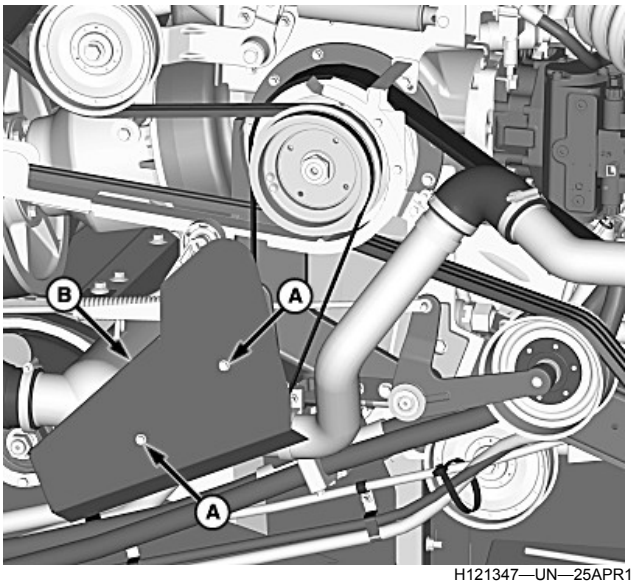
H95350—UN—15FEB10

A：**ボルト**
B：**ブラシ**

ボルト (A) を緩めて、作物屑を除去するために必要に応じてブラシ (B) を調整します。

OUO6075,00005A0-40-16FEB10

エンジンデブリ管理ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

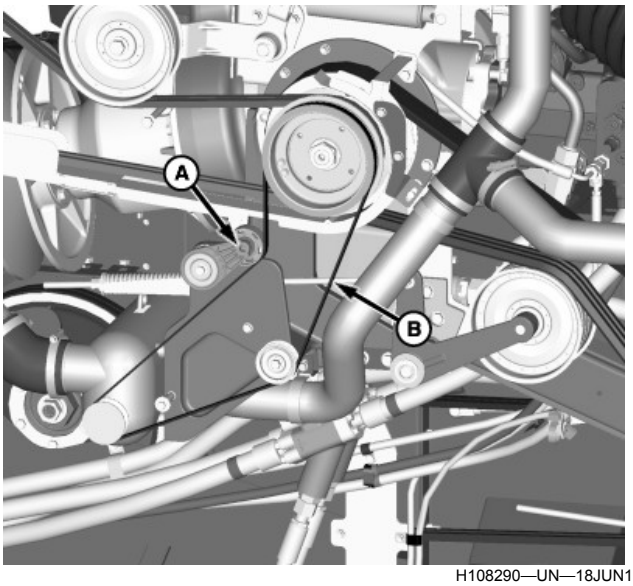


H121347—UN—25APR17

A：**キャップスクリュー**
B：**シールド**

⚠ 注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

キャップスクリュー (A) とシールド (B) を取り外します。



H108290—UN—18JUN13

A：**テンショナアーム**
B：**エンジンデブリ管理ベルト**

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (A) から張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (B) を取り外します。

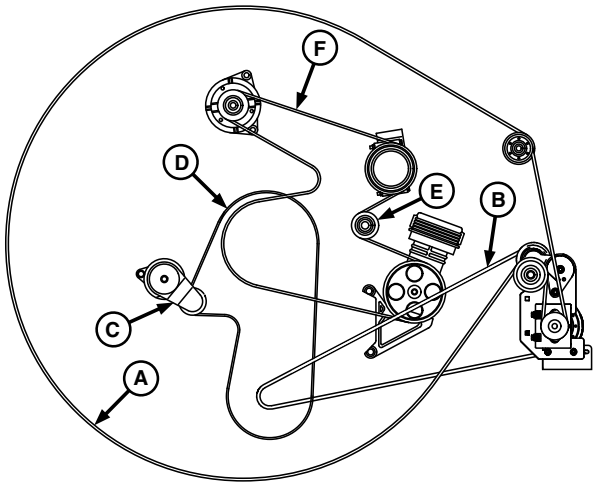
ベルトを取り外して、逆の順に交換ベルトを取り付けます。

ブレーカーバーを使用して、テンショナアームから張力を解放してベルトを取り付けます。

シールドを取り付けてキャップスクリューで固定します。

OUO6075,0004817-40-14NOV17

エンジンベルト — 取り回し (ティア 2 / ステージ II)

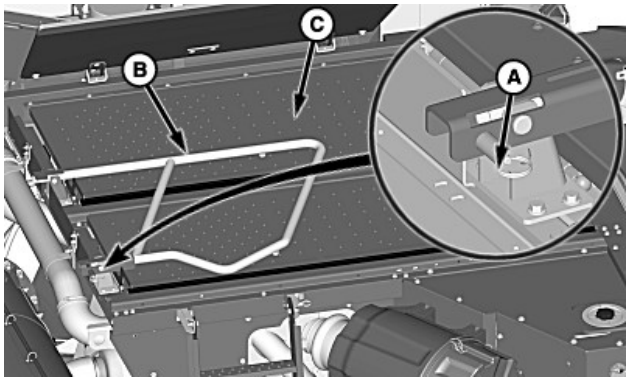


H124554—UN—21JUN18

A：ベルト、ロータリースクリーン (従動)
B：ベルト、ロータリースクリーン (駆動)
C：テンショナ、ファン
D：ベルト、ファン
E：テンショナ、補機
F：ベルト、補機、およびエアコンプレッサ (装備されている場合)

OUO6075,00049F0-40-20JUN18

エンジン補機 / エアコンプレッサベルト (装備されている場合) — 交換 (ティア 2 / ステージ II)

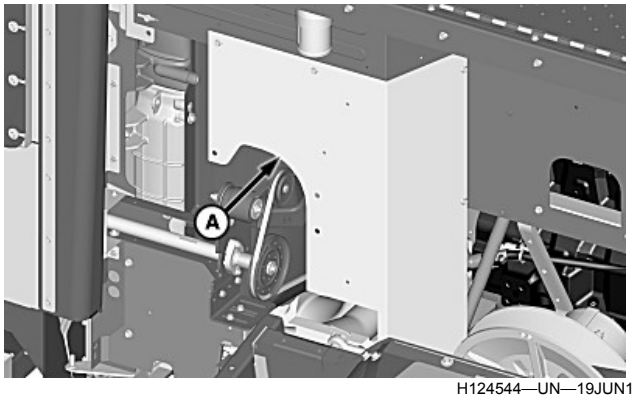


H118329—UN—04MAY16

A：ロックアウトピン
B：手すり
C：セパレータアクセスカバー

注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。

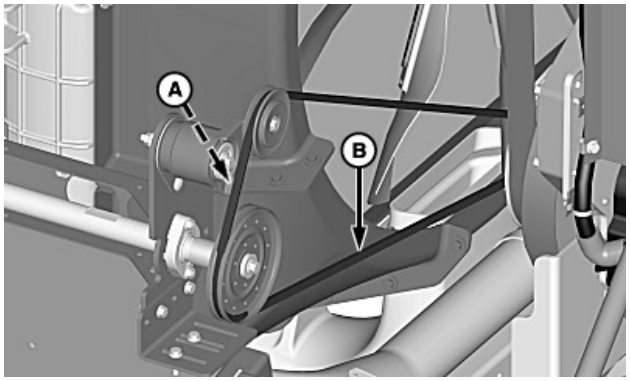
1. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。



H124544—UN—19JUN18
エンジンの前側

A：シールド

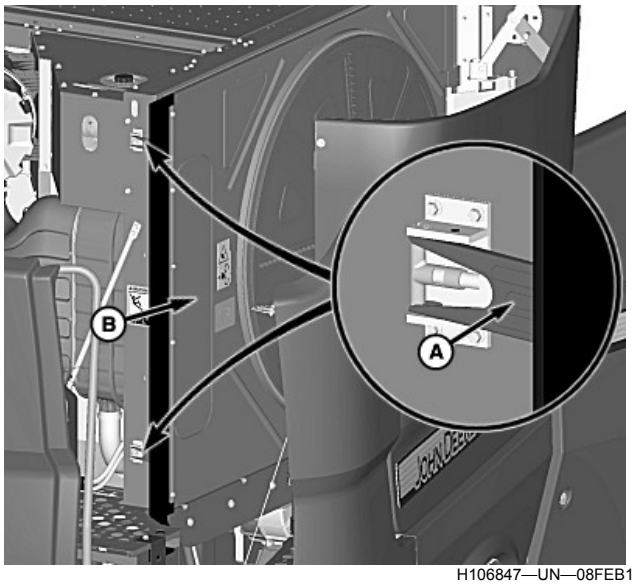
2. シールド (A) を取り外します。



H124545—UN—19JUN18

A：テンショナアーム
B：ロータリースクリーン駆動ベルト

3. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
4. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。

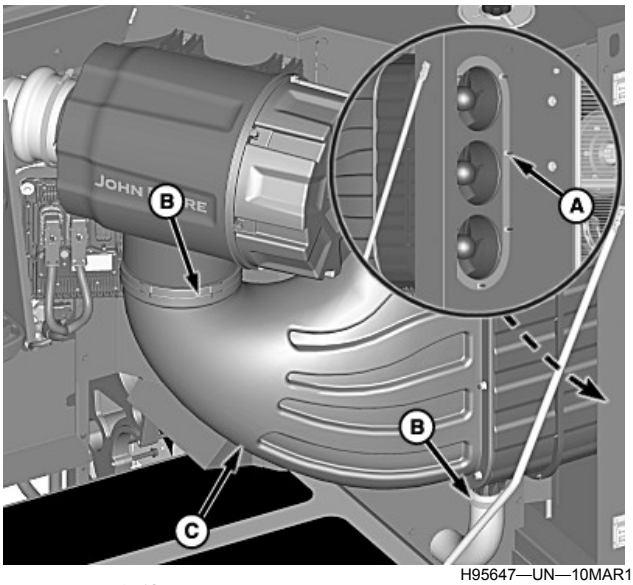


H106847—UN—08FEB13

A：掛け金ラッチ

B：**ロータリースクリーンドア**

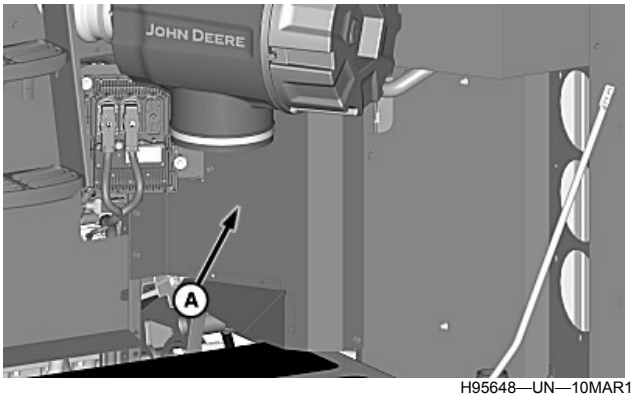
5. ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。



H95647—UN—10MAR10

A：**ナット (7 個使用)**
B：**クランプ**
C：**エアダクト**

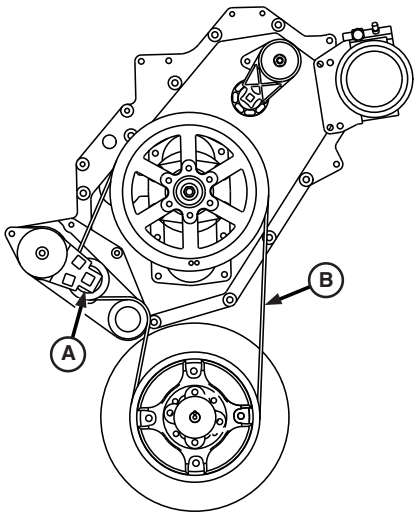
6. ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。
7. エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。



H95648—UN—10MAR10

A：**シールド**

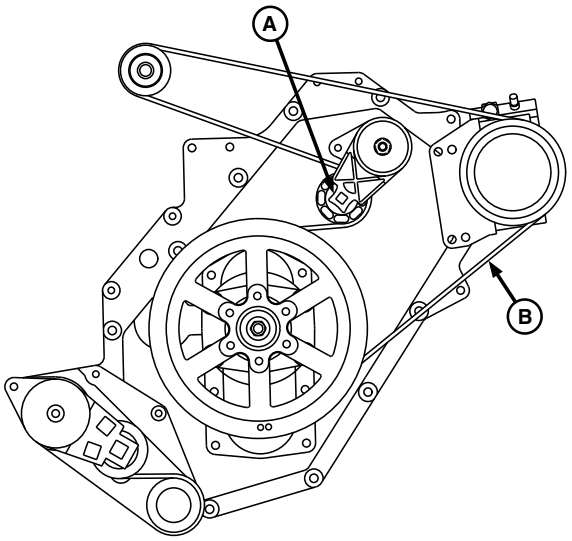
8. シールド (A) を取り外します。



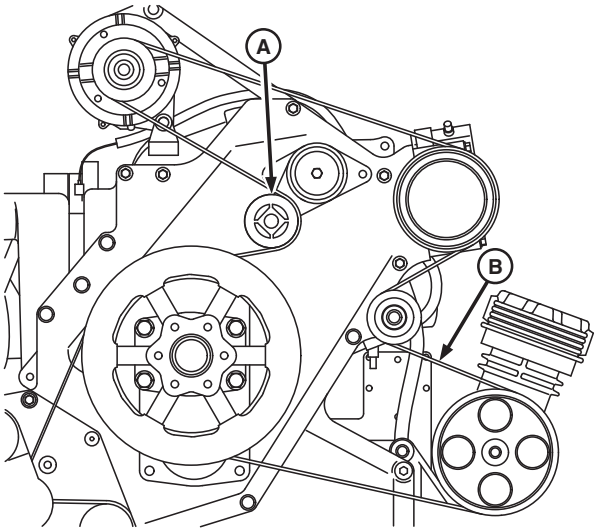
H71844—UN—25APR02
ファンベルトの取り回し

A：**テンショナアーム**
B：**ファンベルト**

9. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
10. ベルト (B) を取り外して、ファンブレードをかわしてベルトを取り外します。



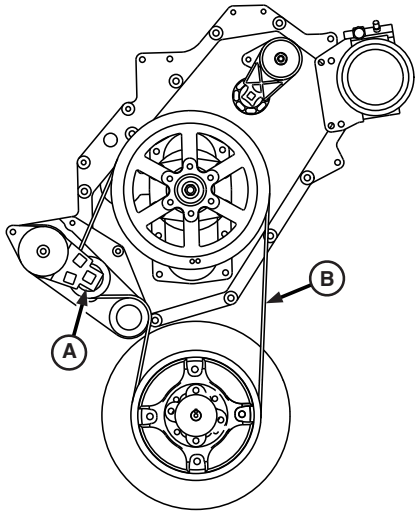
H82475—UN—17FEB05
補機ベルトの取り回し、空気圧縮機なし



H113080—UN—02MAR15
補機ベルトの取り回し、空気圧縮機付き

A：**テンショナアーム**
B：**補機ベルト**

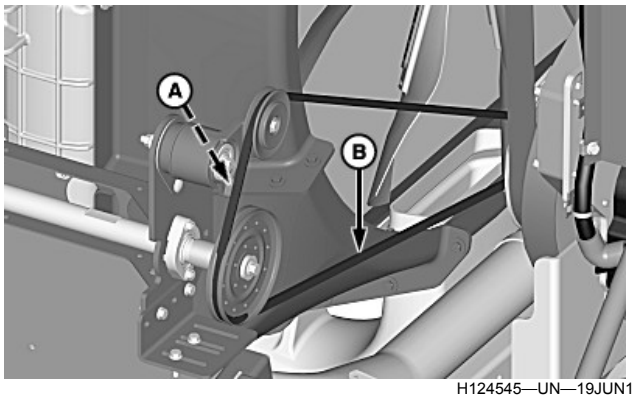
11. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
12. ベルト (B) を取り外して、ファンブレードをかわしてベルトを取り外します。
13. ファンブレードをかわして交換用ベルトを取り付けます。
14. ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。



H71844—UN—25APR02
ファンベルトの取り回し

A：**テンショナアーム**
B：**ファンベルト**

15. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
16. 前の手順で取り外したベルト (B) を取り付けて、ファンにベルトをかけます。



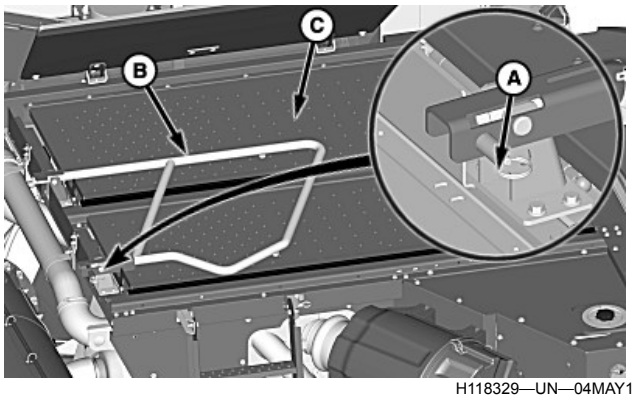
H124545—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

17. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) から張力を解放してロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り付けます。
18. 前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。
19. セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。
20. 前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。
21. ロータリースクリーンドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,00049E8-40-20JUN18

ファン駆動ベルト — 交換 (ティア 2 / ステージ II)



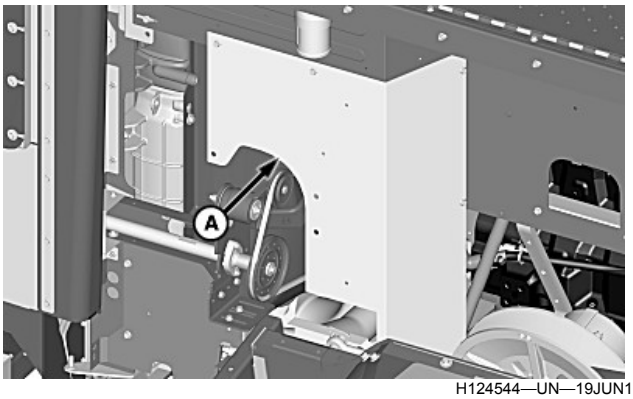
H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

1. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定さ

れるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

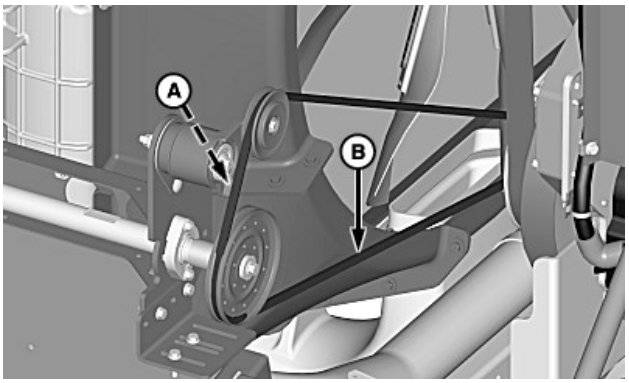


H124544—UN—19JUN18

エンジンの前側

A：**シールド**

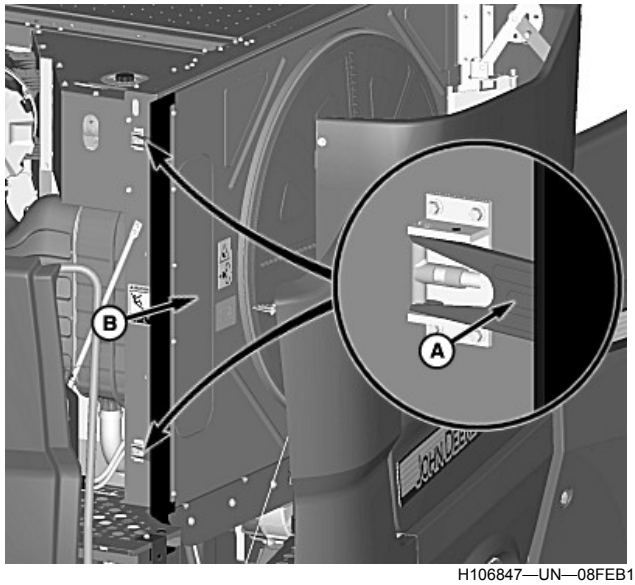
2. シールド (A) を取り外します。



H124545—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

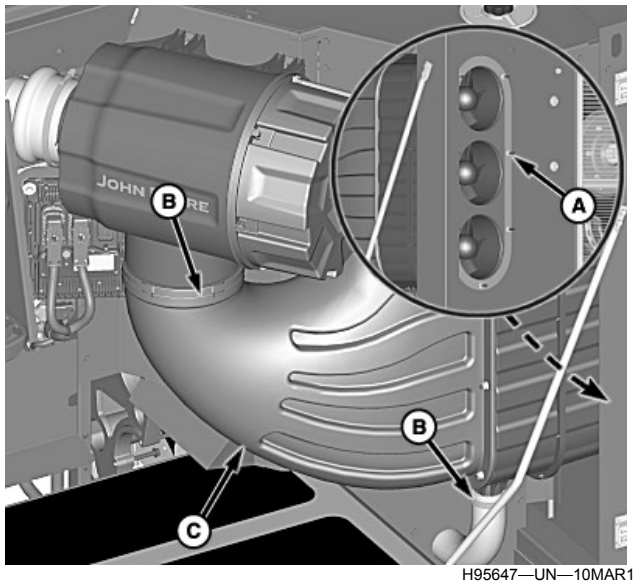
3. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
4. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。



H106847—UN—08FEB13

A：**掛け金ラッチ**
B：**ロータリースクリーンドア**

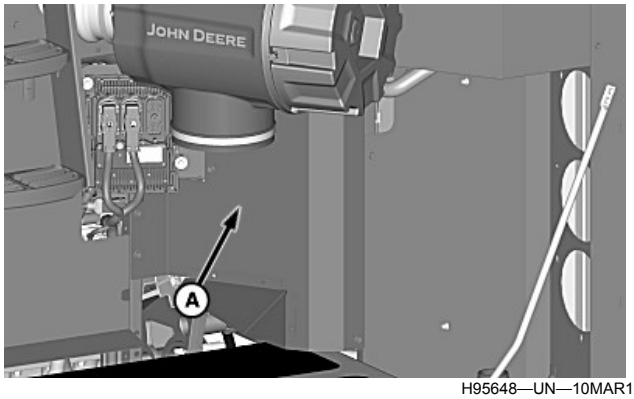
5. ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。



H95647—UN—10MAR10

A：**ナット (7 個使用)**
B：**クランプ**
C：**エアダクト**

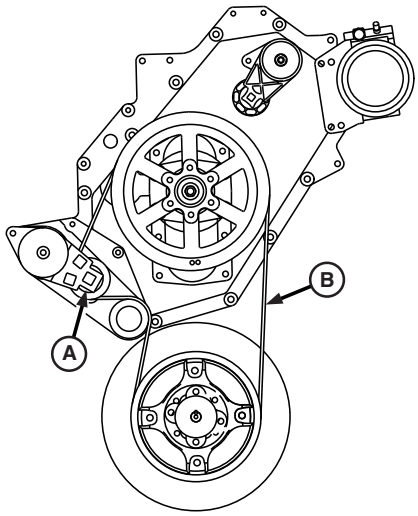
6. ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。
7. エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。



H95648—UN—10MAR10

A：**シールド**

8. シールド (A) を取り外します。

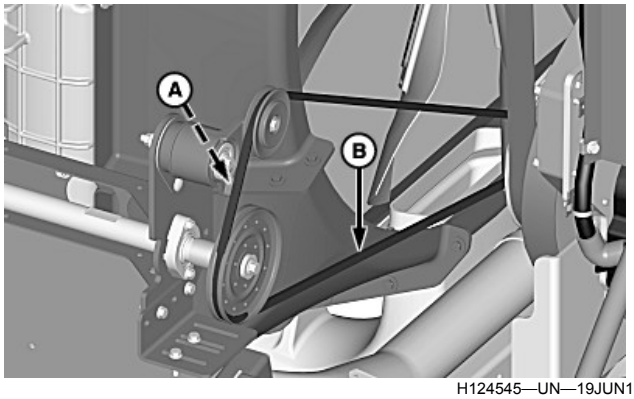


H71844—UN—25APR02

ファンベルトの取り回し

A：**テンショナアーム**
B：**ファンベルト**

9. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
10. ベルト (B) を取り外して、ファンブレードをかわしてベルトを取り外します。
11. ファンブレードをかわして交換用ベルトを取り付けます。
12. ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。



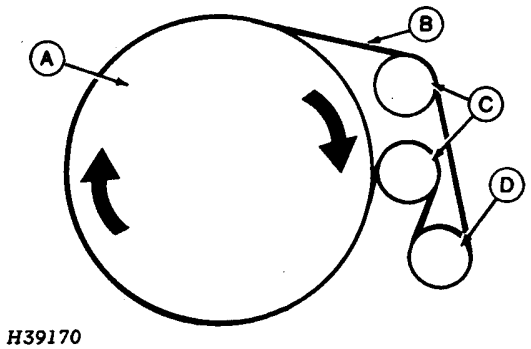
H124545—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

13. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) から張力を解放してロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り付けます。
14. 前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。
15. セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。
16. 前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。
17. ロータリースクリーンドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,00049E9-40-20JUN18

ロータリースクリーンベルト：取り回し

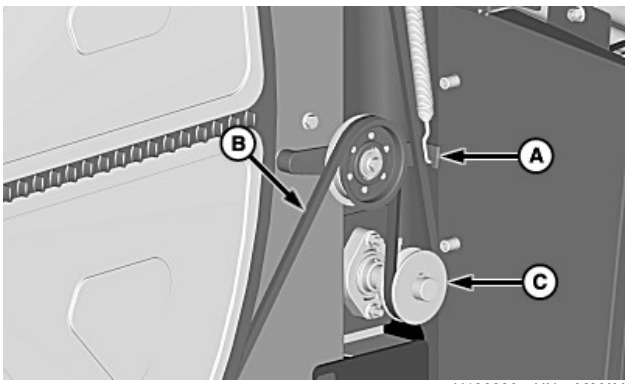


H39170—UN—11OCT88

A：**ロータリースクリーン**
B：**ベルト**
C：**アイドラ**
D：**ドライブシーブ**

OUO6075,00006CE-40-05MAR10

ロータリースクリーンベルト - 交換



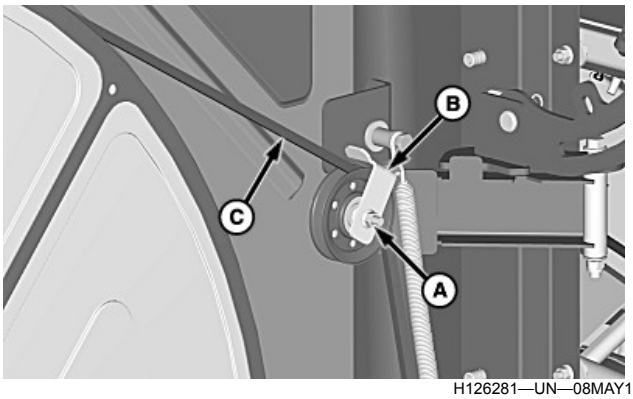
H126280—UN—08MAY19

A：**テンションレバー**
B：**ロータリースクリーンベルト**
C：**シーブ**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜きます。**

けがを防止してください。ベルトには張力がかかっています。ベルトを取り外すときは、テンションレバーをゆっくりと解放してください。

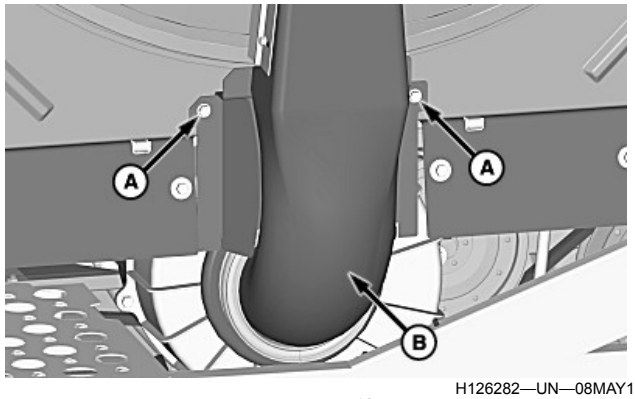
1. テンションレバー (A) を押し下げて、ロータリースクリーンベルト (B) から張力を解放します。
2. ロータリースクリーンベルトをシーブ (C) から外して、レバーとスプリングの張力を徐々に解放します。



H126281—UN—08MAY19

A：**ナット**
B：**ベルトトラップ**
C：**ロータリースクリーンベルト**

3. ナット (A) とベルトトラップ (B) を取り外します。
4. ロータリースクリーンベルト (C) を取り外します。



H126282—UN—08MAY19

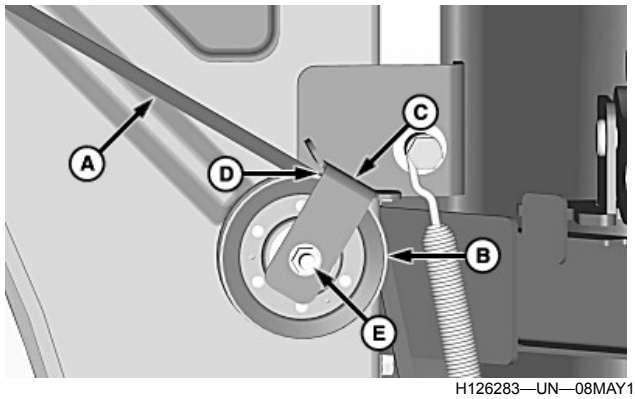
A：**キャップスクリューとナット (2 組使用)**
B：**真空ダクト**

注記： 内側からナットにアクセスするには、ロータリースクリーンドアを開く必要があります。

5. キャップスクリューとナット (A) を取り外します。
6. 真空ダクト (B) をロータリースクリーンドアから引き離して、ロータリースクリーンベルトを取り外します。
7. 真空ダクト (B) をロータリースクリーンドアから引き離して、交換用ロータリースクリーンベルトを取り付けます。
8. キャップスクリューとナットを取り付けます。

重要： **損傷を防止するため、ロータリースクリーンが真空ダクトレーキバーのノッチから離れていることを確認してください。必要に応じて真空ダクトを調整します。**

9. ロータリースクリーンドアを閉めます。



H126283—UN—08MAY19

A：**ロータリースクリーンベルト**
B：**プーリー**
C：**ベルトトラップ**
D：**隙間**
E：**ナット**

10. 図のように、ロータリースクリーンベルト (A) をプーリー (B) の周りに取り付けます。

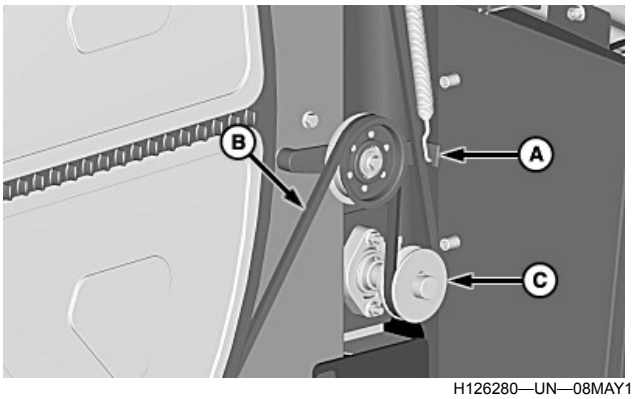
重要： **損傷を防止するため、ベルトトラップがロータリースクリーンベルトと平行であることを確認してください。**

11. ベルトトラップ (C) を取り付けて、規定の隙間 (D) に調整します。

仕様

ベルトトラップ：隙間. . . . . 4 mm (5/32 in)

12. ベルトトラップが動かないことを確認しながら、ナット (E) を取り付けて締め付けます。



H126280—UN—08MAY19

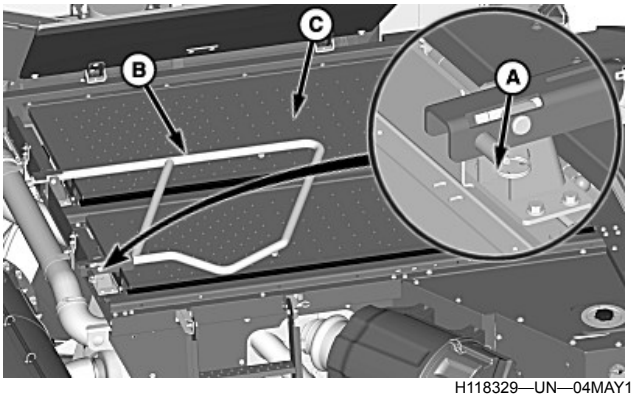
A：**テンションレバー**
B：**ロータリースクリーンベルト**
C：**シーブ**

注意： **けがを防止してください。ベルトには張力がかかっています。ベルトを取り付けるときは、テンションレバーをゆっくりと解放してください。**

13. テンションレバー (A) を押し下げて、ロータリースクリーンベルト (B) から張力を解放します。
14. ロータリースクリーンベルトを図のようにシーブ (C) に取り付けて、レバーとスプリング張力を徐々に解放します。

OUO6075,0004B91-40-30MAY19

ロータリースクリーン駆動ベルト — 交換 (ティア 2 / ステージ II)

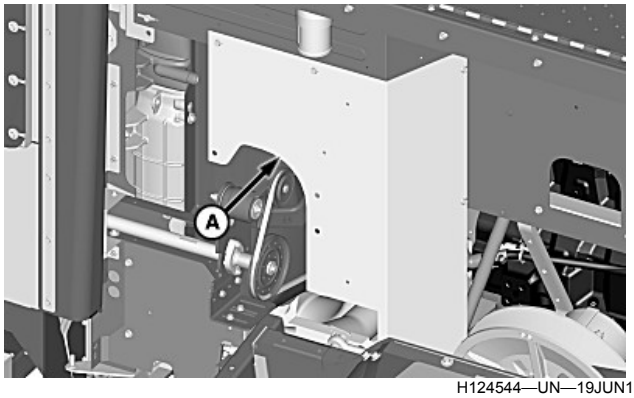


H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

1. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

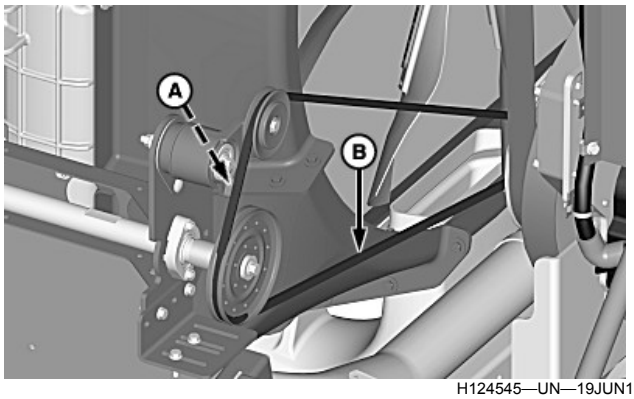


H124544—UN—19JUN18

エンジンの前側

A：**シールド**

2. シールド (A) を取り外します。



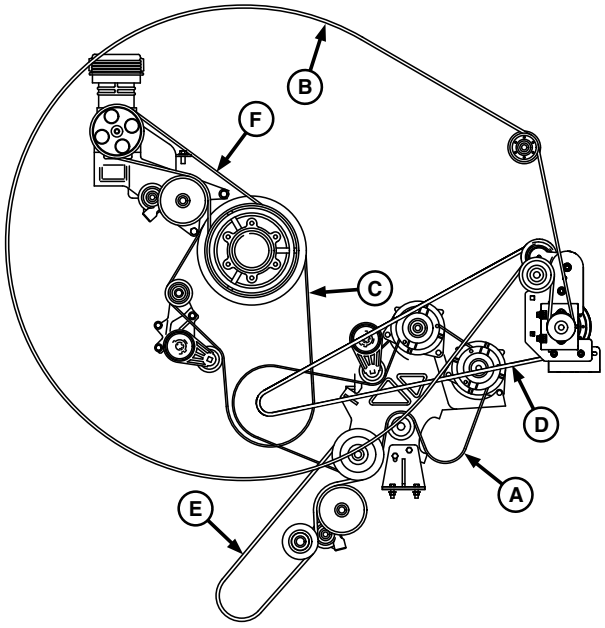
H124545—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

3. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
4. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。
5. ブレーカーバーを使用して、テンショナアームから張力を解放して交換用ロータリースクリーン駆動ベルトを取り付けます。
6. 前の手順で取り外したシールドを取り付けて、セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

OUO6075,00049EA-40-20JUN18

エンジンベルト—取り回し (ファイナルティア 4 / ステージ V)

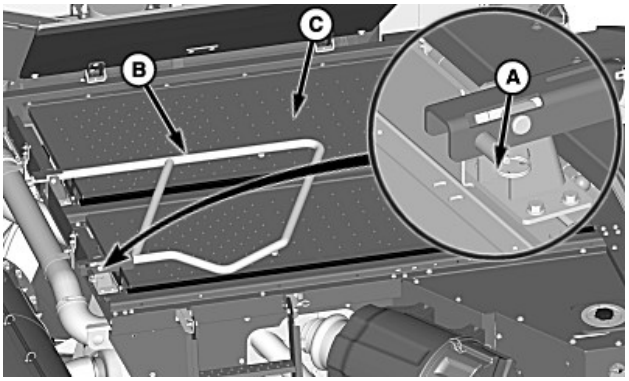


H124555—UN—21JUN18

A：**エアコンコンプレッサ、オルタネータベルト**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト、スクリーン側**
C：**ファン駆動ベルト**
D：**ロータリースクリーン駆動ベルト、エンジン側**
E：**真空ファン駆動ベルト**
F：**空気圧縮機ベルト (装備されている場合)**

OUO6075,00049EE-40-20JUN18

エアコンコンプレッサ / オルタネータベルト —交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

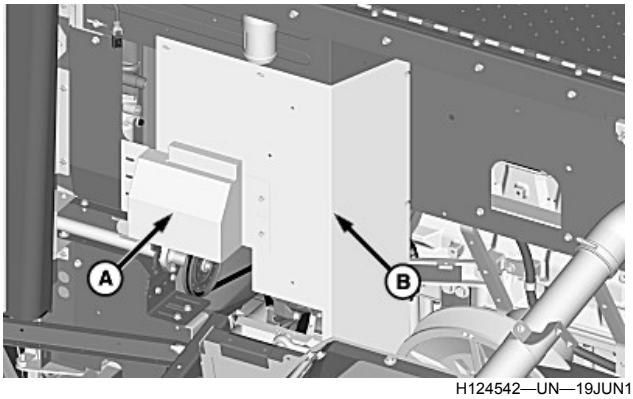


H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

1. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

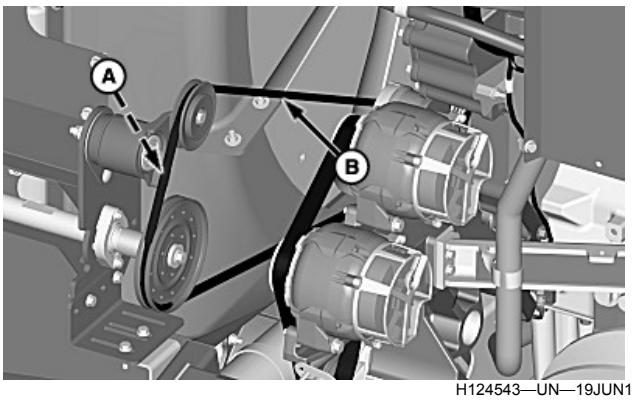


H124542—UN—19JUN18

エンジンの前側

A：**シールド**
B：**シールド**

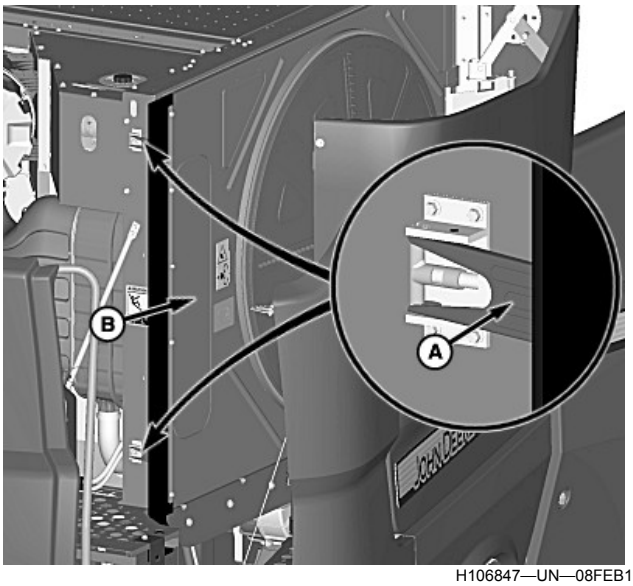
2. シールド (A) とシールド (B) を取り外します。



H124543—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

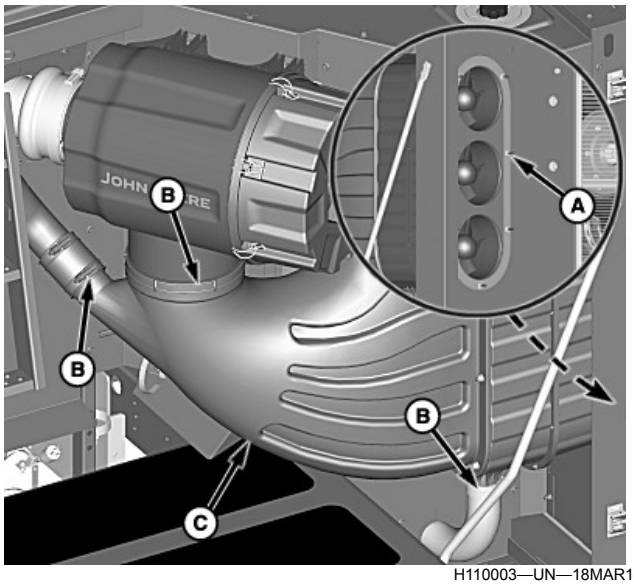
3. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
4. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。



H106847—UN—08FEB13

A：**ラッチ**
B：**ロータリースクリーンドア**

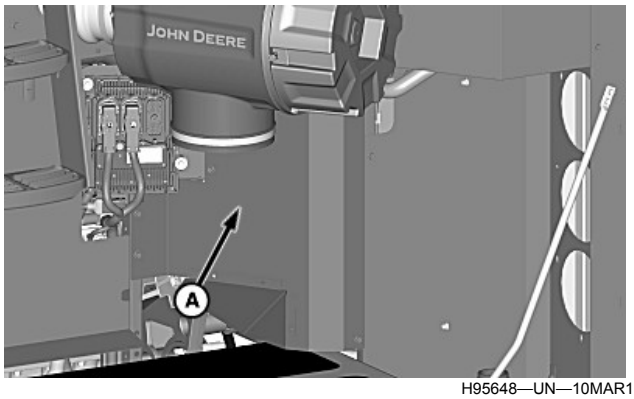
5. ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。



H110003—UN—18MAR14

A：**ナット (7 個使用)**
B：**クランプ**
C：**エアダクト**

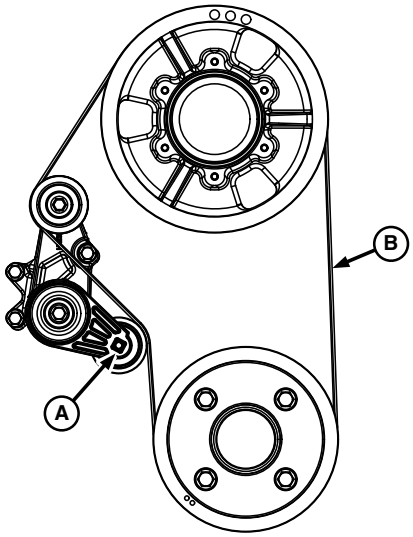
6. ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。
7. エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。



H95648—UN—10MAR10

A：**シールド**

8. シールド (A) を取り外します。

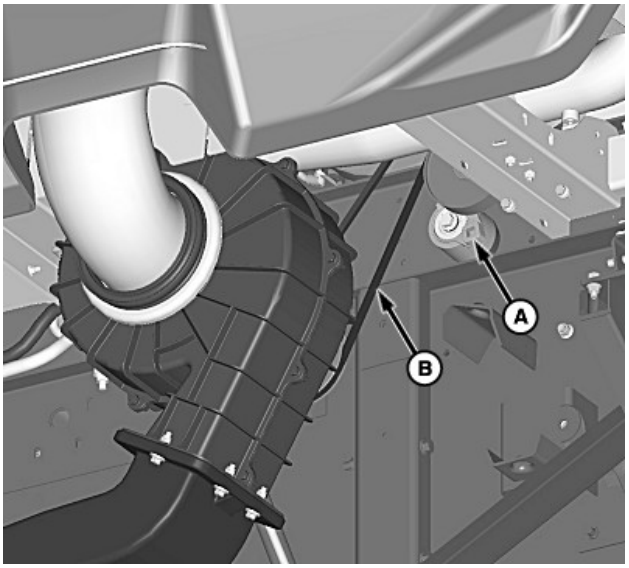


H99551—UN—06JAN11

ファンベルトの取り回し

A：**テンショナアーム**
B：**ファンベルト**

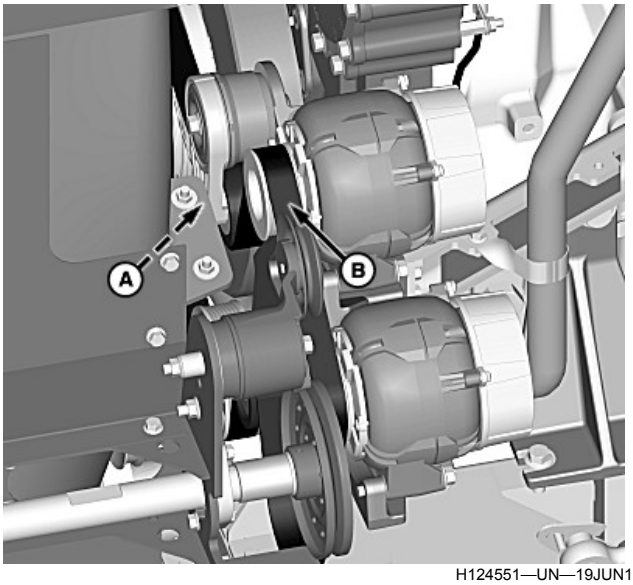
9. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
10. ベルト (B) を取り外して、ファンブレードをかわしてベルトを取り外します。



H99550—UN—06JAN11

A：**テンショナアーム**
B：**真空ファン駆動ベルト**

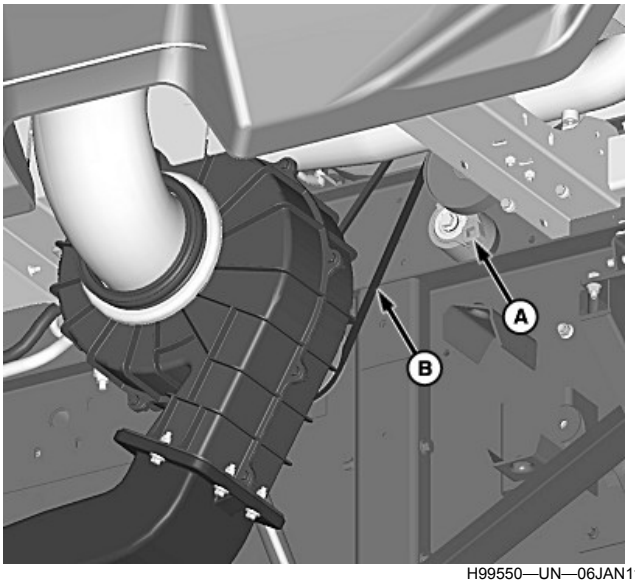
11. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
12. ラジエータの下にある真空ファン駆動ベルト (B) を取り外します。



H124551—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ベルト**

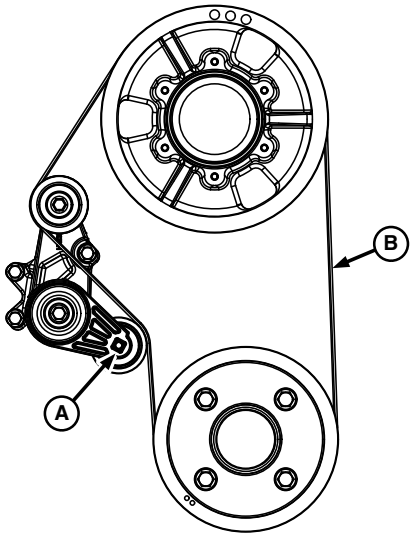
13. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
14. ベルト (B) を取り外して、ファンブレードをかわしてベルトを取り外します。
15. ファンブレードをかわして交換用ベルトを取り付けます。
16. ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。



H99550—UN—06JAN11

A：**テンショナアーム**
B：**真空ファン駆動ベルト**

17. 真空ファン駆動ベルト (B) を取り付けます。
18. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) から張力を解放してベルトを取り付けます。

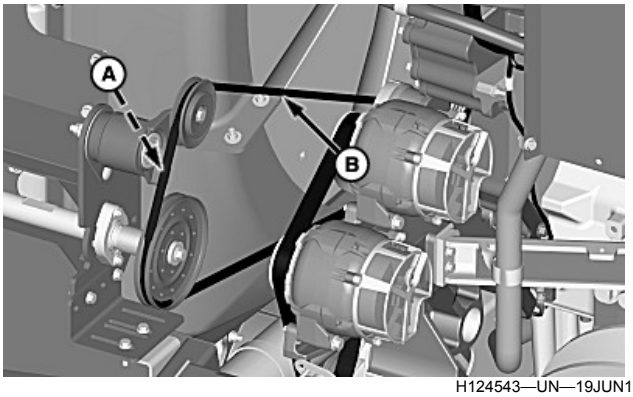


H99551—UN—06JAN11

ファンベルトの取り回し

A：**テンショナアーム**
B：**ファンベルト**

19. ベルト (B) を取り付けて、ファンブレードをかわしてベルトをかけます。
20. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) から張力を解放してベルトを取り付けます。



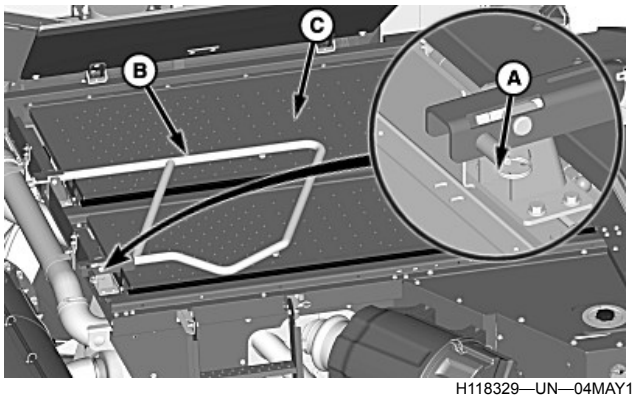
H124543—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

21. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) から張力を解放してロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り付けます。
22. 前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。
23. セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。
24. 前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。
25. ロータリースクリーンドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,00049E0-40-20JUN18

ロータリースクリーン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

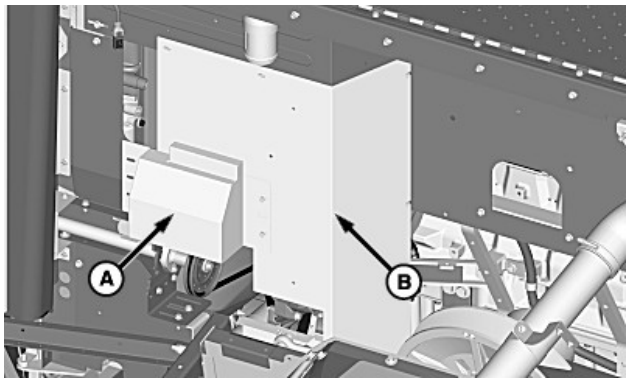


H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

1. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

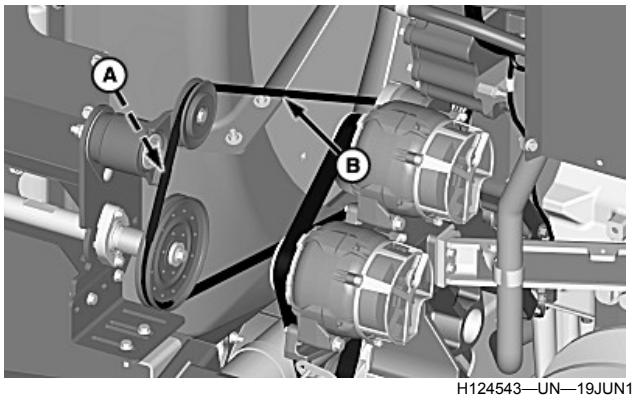


H124542—UN—19JUN18

エンジンの前側

A：**シールド**
B：**シールド**

2. シールド (A) とシールド (B) を取り外します。



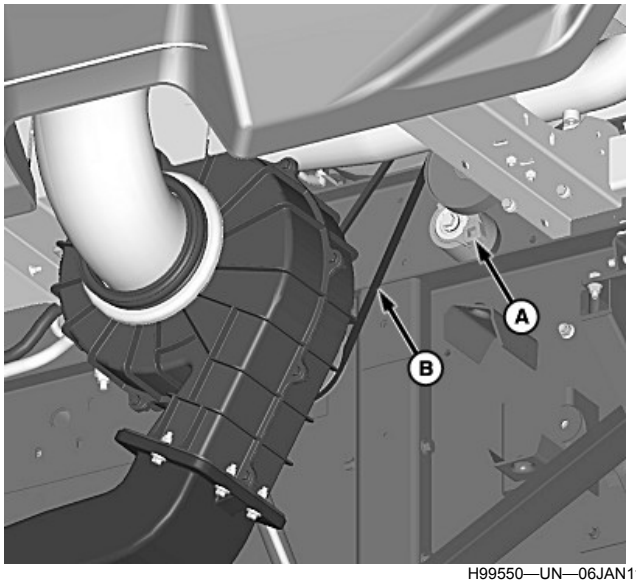
H124543—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

3. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
4. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。
5. ブレーカーバーを使用して、テンショナアームから張力を解放して交換用ロータリースクリーン駆動ベルトを取り付けます。
6. 前の手順で取り外したシールドを取り付けて、セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。

OUO6075,00049E1-40-20JUN18

真空ファン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)



H99550—UN—06JAN11

A：**テンショナアーム**
B：**真空ファン駆動ベルト**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。

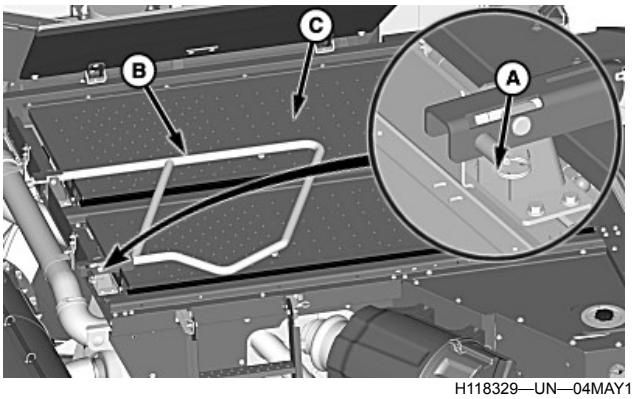
ラジエータの下にある真空ファン駆動ベルト (B) を取り外します。

交換用真空ファン駆動ベルトを取り付けます。

ブレーカーバーを使用して、テンショナアームから張力を解放してベルトを取り付けます。

OUO6075,000481B-40-14NOV17

空気圧縮機ベルト (装備されている場合)—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

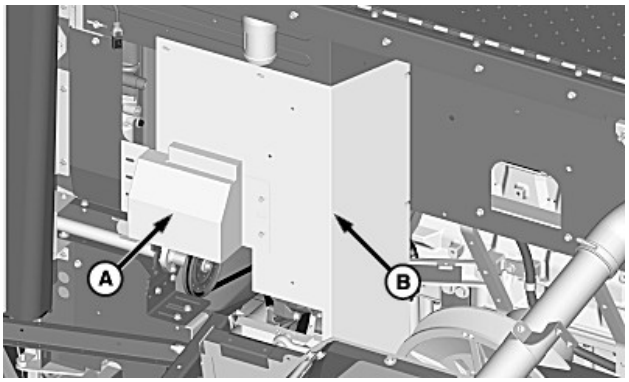


H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

⚠ 注意： エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。

1. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

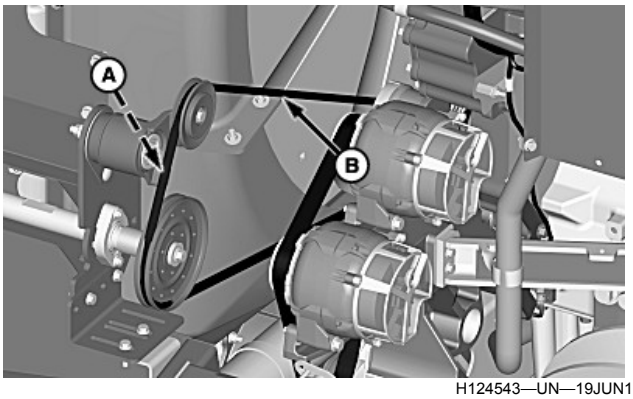


H124542—UN—19JUN18

エンジンの前側

A：**シールド**
B：**シールド**

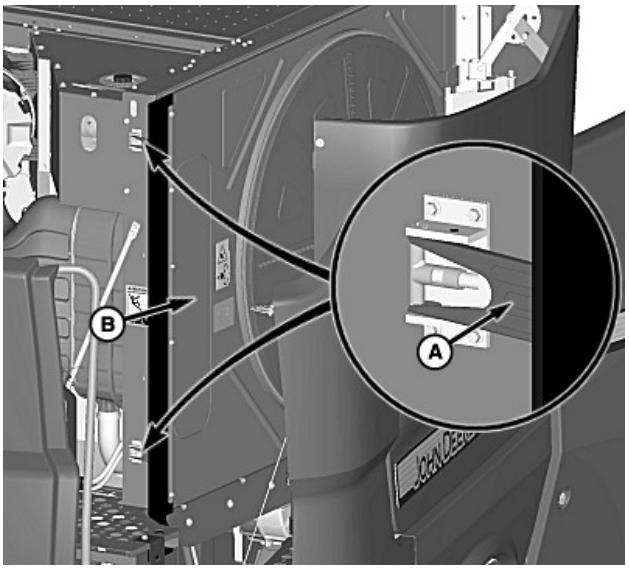
2. シールド (A) とシールド (B) を取り外します。



H124543—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

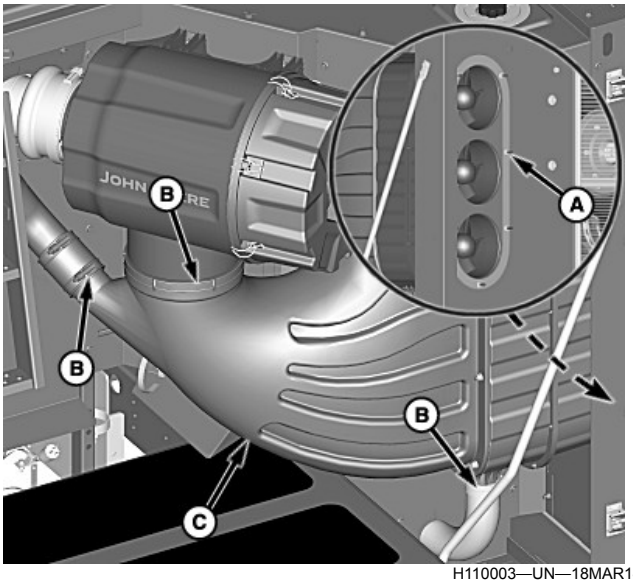
3. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
4. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。



H106847—UN—08FEB13

A：**掛け金ラッチ**
B：**ロータリースクリーンドア**

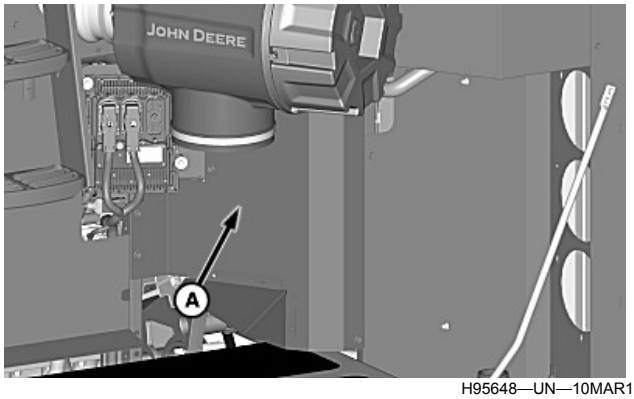
5. ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。



H110003—UN—18MAR14

A：**ナット (7 個使用)**
B：**クランプ**
C：**エアダクト**

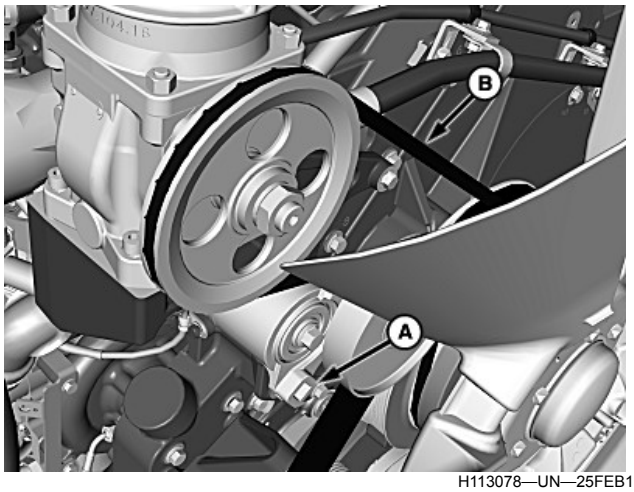
6. ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。
7. エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。



H95648—UN—10MAR10

A：**シールド**

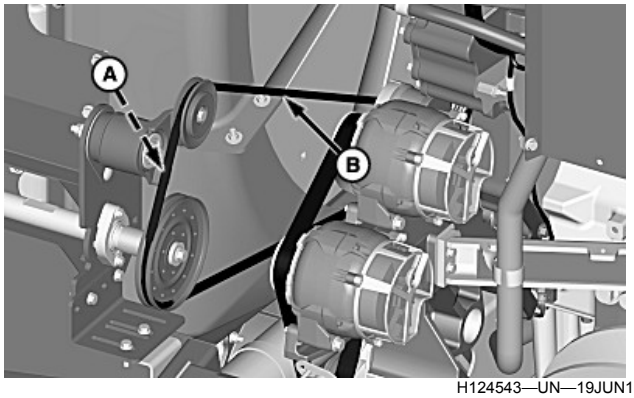
8. シールド (A) を取り外します。



H113078—UN—25FEB15

A：**テンショナアーム**
B：**ベルト**

9. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
10. ベルト (B) を取り外して、ファンブレードをかわしてベルトを取り外します。
11. ファンブレードをかわして交換用ベルトを取り付けます。
12. ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。



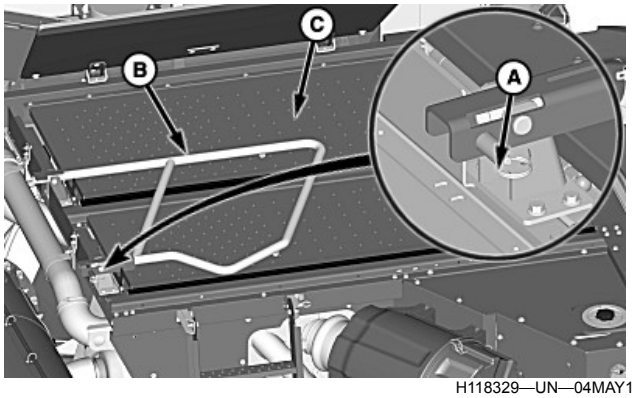
H124543—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

13. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) から張力を解放してロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り付けます。
14. 前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。
15. セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。
16. 前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。
17. ロータリースクリーンドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,00049E2-40-20JUN18

ファン駆動ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

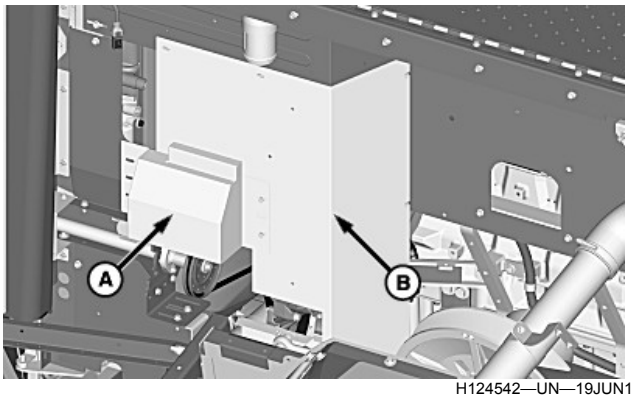


H118329—UN—04MAY16

A：**ロックアウトピン**
B：**手すり**
C：**セパレータアクセスカバー**

注意： **エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてキーを抜いてください。**

1. ロックアウトピン (A) を引き、所定の位置に固定されるまで手すり (B) を回転させて、セパレータアクセスカバー (C) を開きます。

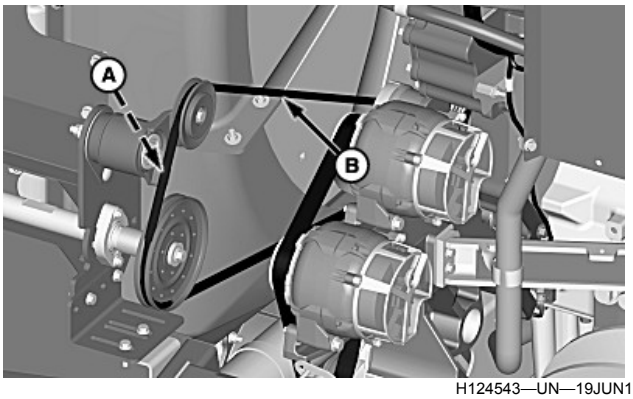


H124542—UN—19JUN18

エンジンの前側

A：**シールド**
B：**シールド**

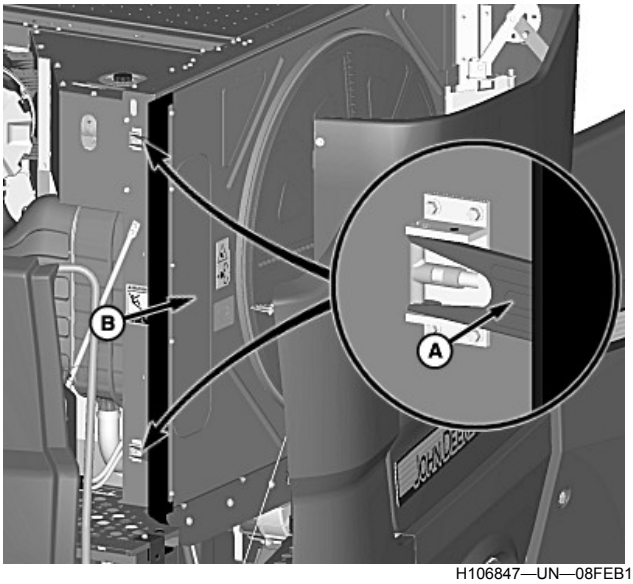
2. シールド (A) とシールド (B) を取り外します。



H124543—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

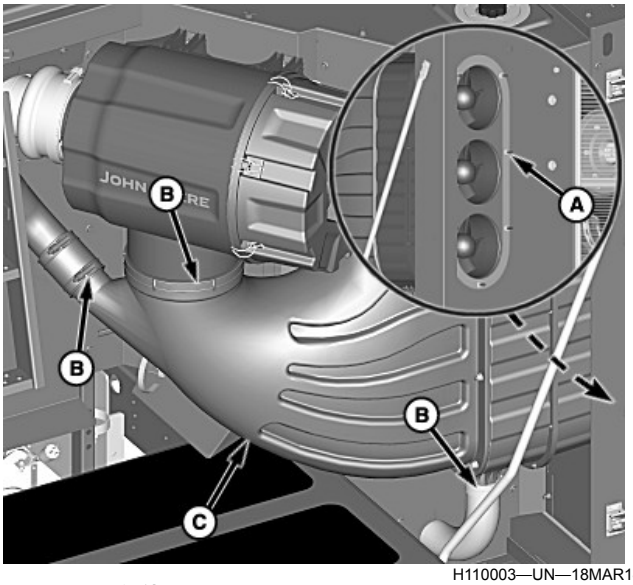
3. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
4. ロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り外します。



H106847—UN—08FEB13

A：**掛け金ラッチ**
B：**ロータリースクリーンドア**

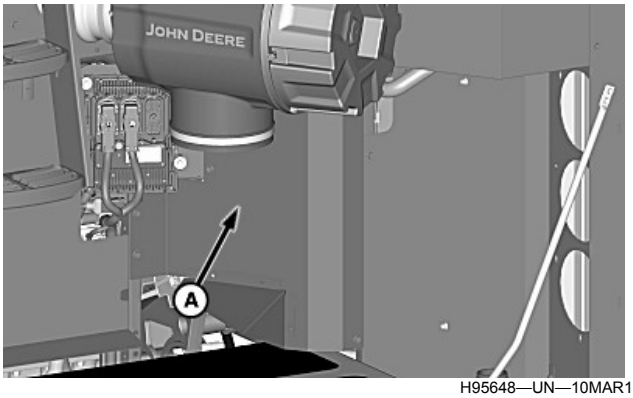
5. ラッチ (A) を引き、ロータリースクリーンドア (B) を開きます。



H110003—UN—18MAR14

A：**ナット (7 個使用)**
B：**クランプ**
C：**エアダクト**

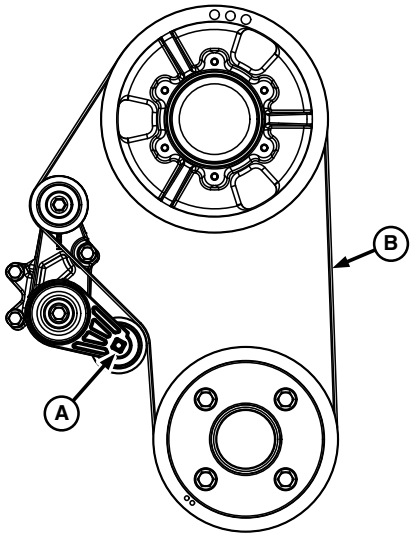
6. ナット (A) を取り外して、ホースクランプ (B) を緩めます。
7. エアダクト (C) を邪魔にならない位置に移動します。



H95648—UN—10MAR10

A：**シールド**

8. シールド (A) を取り外します。



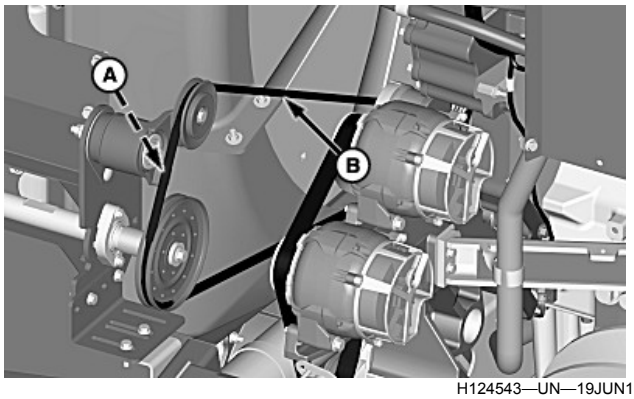
H99551—UN—06JAN11

ファンベルトの取り回し

A：**テンショナアーム**
B：**ファンベルト**

注記： ファンベルトを交換するには、空気圧縮機ベルトを取り外す必要があります。詳しくは、「空気圧縮機ベルト (装備されている場合)—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)」を参照してください。

9. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) からベルト張力を解放します。
10. ベルト (B) を取り外して、ファンブレードをかわしてベルトを取り外します。
11. ファンブレードをかわして交換用ベルトを取り付けます。
12. ブレーカーバーを使用してテンショナアームから張力を解放し、交換用ベルトを取り付けます。



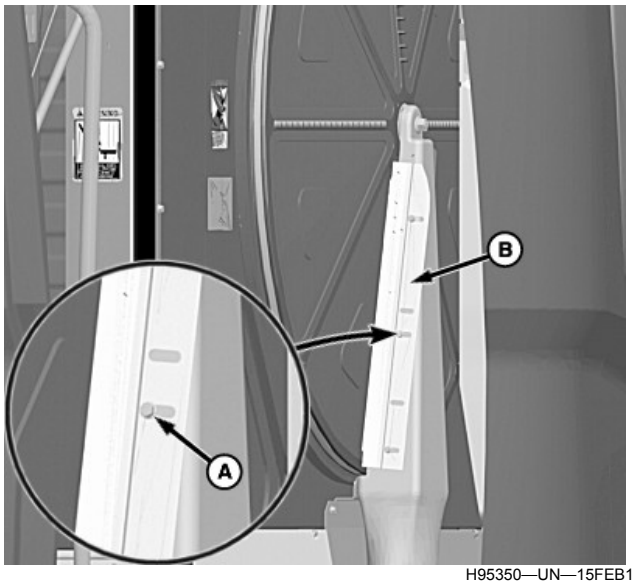
H124543—UN—19JUN18

A：**テンショナアーム**
B：**ロータリースクリーン駆動ベルト**

13. ブレーカーバーを使用して、テンショナアーム (A) から張力を解放してロータリースクリーン駆動ベルト (B) を取り付けます。
14. 前の手順で取り外したシールド (前側) を取り付けます。
15. セパレータアクセスカバーを閉めて手すりを下ろします。
16. 前の手順で取り外したシールド (後側) とエアダクトを取り付けます。
17. ロータリースクリーンドアを閉めて掛け金ラッチをかけます。

OUO6075,00049E3-40-20JUN18

ロータリースクリーンブラシ：調整



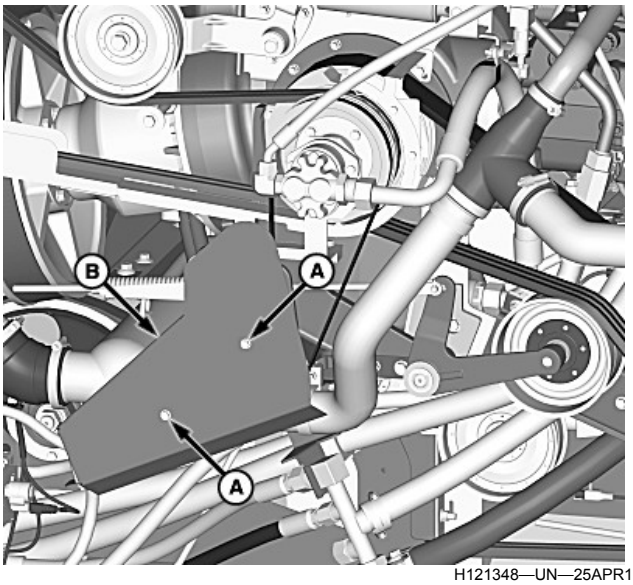
H95350—UN—15FEB10

A：**ボルト**
B：**ブラシ**

ボルト (A) を緩めて、作物屑を除去するために必要に応じてブラシ (B) を調整します。

OUO6075,00005A0-40-16FEB10

エンジンデブリ管理ベルト—交換 (ファイナルティア 4 / ステージ V)

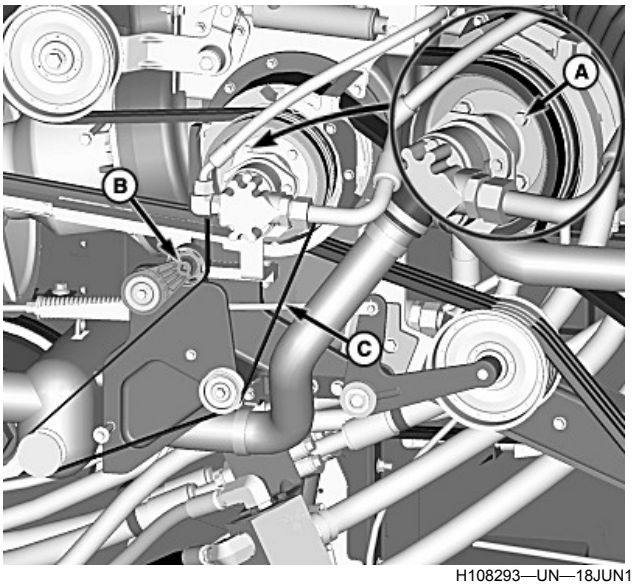


H121348—UN—25APR17

A：**キャップスクリュー**
B：**シールド**

⚠ 注意： **エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけ、キーを抜いてください。**

キャップスクリュー (A) とシールド (B) を取り外します。



H108293—UN—18JUN13

A：**キャップスクリュー**
B：**テンショナアーム**
C：**エンジンデブリ管理ベルト**

ボルト (A) を取り外し、サポートポンプアセンブリを邪魔にならない位置に移動します。

ベルトを取り外し、逆の順に交換ベルトを取り付けます。

ポンプアセンブリとシーブを整列させ、ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

キャップスクリュー：トルク. . . . . 80 N·m (59 lb·ft)

ブレーカーバーを使用してテンショナアーム (B) から張力を解放し、エンジンデブリ管理ベルト (C) を取り付けます。

シールドを取り付けてキャップスクリューで固定します。

OUO6075,000481E-40-14NOV17

フィーダーハウス

症状	問題	解決方法
作物がローターに不均一にまたはまとまって供給される。	ヘッダーオーガが高すぎる	オーガを下および後に調整します。ヘッダーのオペレータマニュアル参照。
	カッターバーに穀粒が堆積している。	リールを下げ、可能な限りカッターバーとオーガに近づけて前後位置を設定します。プラットフォームのオペレータマニュアル参照。
	ドラムアームが片側のサイドシートに拘束されている。	チェーンを緩めてもう一度張ります。曲がっている部品をまっすぐにするか、交換します。
	フィーダーコンベアチェーンがきつすぎてドラムを持ち上げている。	コンベアチェーンを正しい張力に調整します。
	ヘッダードライブベルトが滑る。	スプリング付きアイドラは自由に回転し、ベルトに対して緊密に張っている必要があります。
	オーガがストリッパの先にありすぎる。	オーガを調整してストリッパ側に戻します。ヘッダーのオペレータマニュアル参照。
	フィーダーコンベアドライブチェーンが正しいスプロケットにかみあっていない。	チェーンを正しいスプロケットに配置します。
	フィーダーコンベアスラットが曲がっている。	曲がっているスラットを曲がっている部品をまっすぐにするか、交換します。
	フィーダーハウス底部にごみや樹液が溜まっている。	底部を清掃します。
	プラットフォームオーガとフィーダーハウスフロントドラムの間の距離が大きすぎる。	フィーダーハウスチェーンにリンクを追加します。
ヘッダーまたはリールが正しく持ち上がらない	油圧システム内に空気がある。	漏れているラインやホースのクランプを締め付けます。リールリフトシステムのエア抜きを行います。プラットフォームのオペレータマニュアル参照。

OUO6075,0000B5B-40-02MAR11

セパレータ

症状	問題	解決方法
セパレータの動きが緩慢または過負荷。	シングルタインセパレータのバリアブルドライブベルトが低速で滑っている。	シーブ隙間を調整します。

症状	問題	解決方法
	セパレータ回転数が作物に対して遅すぎる。	セパレータ回転数を増やします。
フィードアクセルレータの逆送り	セパレータ回転数が作物に対して遅すぎる。	セパレータ回転数を増やします。
	アクセルレータ速度が低速位置にある。	アクセルレータ速度を高速位置に変更します。
穀粒が脱穀されない。	セパレータ回転数が作物に対して遅すぎる。	セパレータ回転数を 50 ~ 100 rpm 単位で増やします。セパレータ回転数を調整した後、穀粒の品質を点検します。
	コンケーブクリアランスが広すぎる。	脱穀隙間を 5 ~ 10 mm 単位で締め付けます。脱穀隙間を調整した後、穀粒品質を点検します。
	前後でコンケーブクリアランスが均一ではない。	仕様に調整します。詳しくは、「セパレータ」セクションの「コンケーブの水平調整」参照。
	適切な脱穀が行われる程度に材料がコンバインに入っていない。	対地速度を増やします。
亀裂が入った穀粒がタンクで多すぎる。	セパレータ回転数が作物に対して速すぎる。	セパレータ回転数を 10 rpm 単位で減らします。
	コンケーブクリアランスがきつすぎる。	脱穀隙間を 2 mm 単位で広げます。
	フィードビーター速度が作物に対して速すぎる。	低速に切り替えてフィードアクセルレータ速度を減らします。
	2 番還元物に過剰なグレンがある。	2 番還元物を減らすために 2 mm 単位でふるいを開きます。
	十分な材料が機械に入っていない。	対地速度を増やします。
	アクティブ 2 番還元物システム (装備されている場合) のコンケーブ位置が正しく設定されていない。	アクティブ 2 番還元物システムのコンケーブ位置を設定します。詳細については、「作物の設定」セクション参照。
セパレータ穀粒ロス	不完全な脱穀またはコンケーブでの脱穀の遅れによるセパレータの過負荷。	セパレータとコンケーブの間隔を減らす、およびセパレータ回転数を増やして脱穀作用を増やすまたはそのどちらかを実施します。
	セパレータカバーが取り付けられている。	詳細については、「作物の設定」セクション参照。 カバーを取り外して解放部分を増やすと同時に均一のシュー負荷を維持します。

症状	問題	解決方法
	セパレータトップカバー羽根 (装備されている場合) が Advanced (進み側) 位置にある。	羽根を標準位置に移動します。詳しくは、「残留物管理アプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」参照。
グレンタンクが汚れている (未脱穀の穂により)。	セパレータの脱穀が不十分。	セパレータ速度を 50 ~ 100 rpm 単位で増やします。
		脱穀隙間を 2 mm 単位で減らします。
		コンケーブレベルを点検します。詳細については、「セパレータ」セクションの「コンケーブの水平調整」参照。
		アクティブ 2 番還元物システムを装備している機械：最初のコンケーブにコンケーブカバーを取り付けます。
		2 番還元物システムが非アクティブの機械：2 番目のコンケーブにコンケーブカバーを取り付けます。
		コンケーブインタラプタを最初のコンケーブに追加します。
	アクティブ 2 番還元物システム (装備されている場合) のコンケーブ位置が正しく設定されていない。	アクティブ 2 番還元物システムのコンケーブ位置が収穫作物に対して適正であることを確認します。
		アクティブ 2 番還元物システムのコンケーブ位置のゼロ位置が適正かどうかを確認します。詳しくは、「セパレータ」セクションの「2 番還元物システムの摩耗ストリップとラスプバー—調整」参照。
グレインタンクの汚れ (ほとんどが籾殻).	ファン回転数が遅すぎる。	ファン回転数を速くします。
	残留物システムの作物ダイバータドアの位置が正しくない。	ドア位置が収穫される作物に合っていることを確認します。
グレインタンクの汚れ (穂軸の小片)	グレインタンクに破損した穂軸の断片がある。	*注記： スペーサはトウモロコシや大豆のみに使用する必要があります。他のすべての作物でスペーサを取り外します。*
		セパレータ格子スペーサを取り付けます。

症状	問題	解決方法
	脱穀隙間を点検します。隙間が未加工の穂軸の径よりも小さい場合、ローターによって穂軸が砕けます。	*注記： アクティブ 2 番還元物システムを装備している機械の場合は、スペーサが 4 番目の格子に取り付けられていない必要があります。*
		セパレータ格子スペーサを取り付けます。
チャファー / ふるいエレメントの損傷。	作物ダイバータドアの位置が正しくない。	ドア位置が収穫される作物に合っていることを確認します。
クリーニングシューでの穀粒ロス。	チャファー / ふるい隙間が正しくない。	チャファー / ふるい隙間を点検および較正します。
	クリーニングシュー上の籾殻 / 穀粒の分布が正しくない。	必要に応じて、セパレータ格子のブランクとオーガベッドディバイダを調整します。詳しくは、「作物の設定」セクションの「電源の遮断手順」参照。
VisionTrak™ パフォーマンスモニターが読み取っていない。	クリーニングシューロスが低供給速度で増加する。	ファン回転数を下げます。
	クリーニングシューロスが高供給速度で増加する。	チャファーを開きます。
		ファン回転数を速くします。
	センサーが読み取っていない。	作物感度設定を点検します。
		センサーが接続されていることを確認します。
		センサーが物質により遮断されていないか点検します。
わら品質不良。	材料の取り扱い量が過剰。	ローター回転数を下げて脱穀隙間を増やし、わら品質を向上させて脱穀性能のバランスを取ります。
		材料処理速度 (フィーダーハウスとフィードアクセルレータ) を減らしてわら品質と材料処理性能のバランスを取ります。
		セパレータトップカバーベーン (装備されている場合) を進めます。詳しくは、「残留物管理アプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」参照。

OUO6075,00046A1-40-21MAR17

VisionTrak は Deere & Company の商標です。

油圧グラウンド走行

症状	問題	解決方法
速度レンジセレクターが後進に入らない (ProDrive™ 非装備の機械)。	コントロールリンクの部品の曲りまたは破損。	必要に応じて修理または交換します。
リンクの固着 (ProDrive™ 非搭載の機械)。	コントロールケーブルのボールジョイントの凍結または摩耗。	潤滑または交換します。
	ベルクランクまたはピボットの固着。	潤滑または交換します。
	コントロールケーブルのねじれまたは凍結。	必要に応じて交換します。
システムがオーバーヒートする。	オイルクーラーまたはラジエータの詰まり。	コアを通して空気を吹き付けて清掃します。
	チャージオイルフローの不足。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	エンジンファンベルトの滑りまたは破損。	摩耗または破損したベルトがないか点検します。
	オイルフィルタの詰まり	フィルタを交換します。
	リリーフバルブ圧力の超過。	低いギアにシフトします。
	リリーフバルブが閉状態で固着している。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	バイパスバルブが閉じない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
オイルの損失が大きい。	接続の緩み、油圧ライン、ホース、O リングの漏れ。	接続部を締め付けるか、損傷しているライン、ホース、O リングを交換します。
	メインエンジンギヤケース内へのオイル漏れ (非 ProDrive™ 搭載の機械)。	油圧ポンプシャフトのシールを交換します。
	メインエンジンギヤケース内へのオイル漏れ (ProDrive™ 搭載の機械)。	油圧モーターのシャフトシールまたはトランスミッションの駐車ブレーキのシールを交換します。John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

ProDrive は Deere & Company の商標です。

症状	問題	解決方法
	トリプルポンプシールの摩耗または損傷 (ProDrive™ 非搭載の機械)	バルブスタックポンプとステアリングポンプの間のトリプルポンプキャビティを点検します。両方のポンプキャビティにオイルがあってはなりません。ポンプキャビティセクションにオイルが見つかった場合は、両方のポンプを交換する前にバルブスタックポンプとステアリングポンプのポンプシャフトシールを交換します。
	クアドラプルポンプシールの摩耗または損傷 (ProDrive™ 搭載の機械)	バルブスタックポンプと ProDrive™ 潤滑油供給ポンプの間のクアドラプルポンプキャビティを点検します。両方のポンプキャビティにオイルがあってはなりません。ポンプキャビティセクションにオイルが見つかった場合は、両方のポンプを交換する前にバルブスタックポンプと ProDrive™ 潤滑油ポンプのポンプシャフトシールを交換します。
機械が前進または後進しない。	トランスミッションのギヤが外れる (非 ProDrive™ 搭載の機械)。	トランスミッションをシフトします。
	システムがグラウンドドライブの故障を検出した (ProDrive™ 装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルの不足。	漏れがないか点検して修理します。リザーバーに補充します。
	システムの空気漏れ。	接続部を締め付けます。
	コントロールリンクの破損または緩み (ProDrive™ 非搭載の機械)。	緩んでいるリンケージを締め付けるか、必要に応じて交換します。
	チャージフローまたはチャージ圧力の不足。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フィルタの詰まり。	フィルタを交換します。
	最大使用圧力設定を超過している (ProDrive™ 非搭載の機械)。	低いギアにシフトします。
	最大使用圧力設定を超過している (ProDrive™ 装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ドライブシステムで圧力が高くならない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	リリーフバルブが開いている。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。

症状	問題	解決方法
走行速度が安定しない。	オイル低下。	漏れがないか点検して修理します。リザーバーに補充します。
	フィルタの詰まり。	ハイドロスタティックチャージフィルタを交換します。
	最大使用圧力設定を超過している (ProDrive™ 非搭載の機械)。	低いギアにシフトするか、四輪駆動に切り替えます。
	最大使用圧力設定を超過している (ProDrive™ 装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	マルチファンクションレバーがニュートラルに向って動く。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	システムがチャージ圧力を維持できない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
速度レンジセレクターがニュートラル位置のときに機械が停止しない (ProDrive™ 非搭載の機械)。	コントロールケーブルが調整範囲外。	ニュートラル位置のケーブルを調整します。
出力の不足または出力の損失 機械が速度レンジセレクターに応答していない。	オイルの不足。	漏れがないか点検して修理します。リザーバーに補充します。
	フィルタの詰まり。	ハイドロスタティックチャージフィルタを交換します。
	チャージフローまたはチャージ圧力の不足。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	燃料フィルタの汚れ。	燃料フィルタを交換します。
	セパレータボウル内に水が溜まっている。	ウォーターセパレータボウルから水を抜きます。
	ドライブシステムで圧力を維持できない、または圧力が高くならない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	システムがグラウンドドライブの故障を検出した。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,00046A2-40-28MAR17

四輪駆動 (オプション)

症状	問題	解決方法
四輪駆動に切り替えたときに機械が動かない。	片側または両方の後輪がスピンしている。	多機能レバーを前方に動かすことにより、油圧ポンプ流量を増やします。
	コンソールの電気制御スイッチの不良。	John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

症状	問題	解決方法
	制御弁のソレノイドバルブの不良。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	コントロールバルブのスプールが動かない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
四輪駆動を解除したときに機械が動かない。	メインシステムと後輪駆動制御弁の間のラインまたは接続の故障。	必要に応じて部品を修理または交換します。
四輪駆動が解除されない。	コンソールの電気制御スイッチの不良。	John Deere™ 販売店にお問い合わせください。
	制御弁のソレノイドバルブの不良。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	制御弁のスプールが動かない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
輸送速度中の後輪のふらつき。	トーインが調整を外れている。	トーインを調整します。

OUO6075,000457A-40-10JAN17

ステアリング

症状	問題	解決方法
輸送速度中の後輪のふらつき。	トーインが調整を外れている。	トーインを調整します。
ステアリングアームが据え切り時にストップに接触しない。	ステアリングシリンダが調整範囲を外れている。	シリンダを調整します。
ステアリングが固い。	エンジンギヤケースリザーバーのオイルレベルが低い。	オイルを追加してください。

OUO6075,00046F0-40-29MAR17

ブレーキ

症状	問題	解決方法
ブレーキペダル圧力のスポンジ感。	ブレーキフルードレベルが低い (ProDrive 装備の機械)。	ブレーキフルードを追加します。
	ブレーキペダルプッシュロッドが調整範囲を外れている (ProDrive 装備の機械)。	ブレーキペダルプッシュロッドの薄ナットを調整します。
	空気がシステムに混入している。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
ブレーキパワーの損失。	ライニングの鏡面摩耗 (ProDrive 非装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	圧力が不適切 (ProDrive 機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。

症状	問題	解決方法
	ライニングの摩耗。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
パーキングブレーキが保持していない。	パーキングブレーキが正しく調整されていない (ProDrive 非装備の機械)。	パーキングブレーキを調整します。
	スプリング力の不足 (ProDrive 装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ライニングの鏡面摩耗 (ProDrive 非装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ブレーキライニングの摩耗 (ProDrive 装備の機械)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	機械を動かせるように機械が手動オーバーライドされている (ProDrive 装備の機械)。	トランスミッションからボルトを取り外します。

OUO6075,00000F7-40-29APR08

エンジン

症状	問題	解決方法
エンジンがクランクしない	バッテリの消耗	バッテリを充電するか、交換します。
	バッテリ接続の腐食またはゆるみ	バッテリ端子と接続を清掃します。
	メインスイッチまたは始動用安全スイッチの故障	必要に応じてスイッチを修理します。
	スタータソレノイドの不具合	ソレノイドを交換する。
	スタータの故障	スタータを交換します。
エンジンが始動しにくい、または始動しない	始動システムの問題	始動システムにエンジンを始動するほどの動力がない 「エンジンがクランクしない」の手順を実行します。
	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。
	クランキング速度が遅い	充電 / 始動システムに問題がないか点検します。
	クランクケースオイルの粘度が高すぎる	クランクケースオイルを抜き取り、適切な粘度のオイルと交換します。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。

症状	問題	解決方法
エンジンが点火しない、または作動状態が不規則	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
エンジン出力の不足	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。
	燃料フィルタの目詰まり	燃料フィルタを交換します。
	エンジン過負荷	エンジン負荷を軽減します。
	クランクケースオイルが不適切	クランクケースオイルを抜き取り、適切な粘度のオイルと交換します。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	アクティブな診断トラブルコードによりエンジンがディレーティングされている	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	エグゾーストフィルタクリーニングが必要なため、エンジンがディレーティングされている。	エグゾーストフィルタを自動クリーニングモードにし、手動エグゾーストフィルタクリーニングを要求します。
エンジンが黒または灰色の煙を排出	エンジン過負荷	エンジン負荷を軽減します。
	燃料の種類が不適切。	適切な燃料を使用します。
	エアクリーナの詰まりや汚れ	必要に応じてエアクリーナエレメントを交換します。
	マフラーや排気管の不具合 (背圧の生成)	マフラーや不良な排気管を交換します。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フューエルインジェクタの汚れ。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	高圧燃料ポンプのタイミングずれ。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ターボチャージャが機能していない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	エグゾーストフィルタの亀裂や損傷。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。

症状	問題	解決方法
エンジンからの白煙の排出	エンジンコンプレッションが低すぎる	低コンプレッションの原因を特定し、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	燃料の種類が不適切。	適切な燃料を使用します。
	エンジン温度が低い。	エンジンを通常の使用温度まで暖機します。
	サーモスタットの故障	サーモスタットをテストし、必要に応じて交換します。
	燃焼室へのクーラントの侵入 (シリンダヘッドガスケットの不具合またはシリンダヘッドの亀裂)	必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フューエルインジェクタの不具合。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	高圧燃料ポンプのタイミングずれ。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
エンジンのアイドリングの不具合	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。
	吸気システムの吸引側の空気漏れ	ホースやパイプの締りを点検し、必要に応じて修理します。
	電子制御システムの問題、または基本的なエンジンの問題	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
過度の燃料消費量	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。
	エンジン過負荷	エンジン負荷を軽減します。
	エアクリーナの詰まりや汚れ	必要に応じてエアクリーナエレメントを交換します。
	コンプレッションが低すぎる	低コンプレッションの原因を特定し、必要に応じて修理します。
	燃料供給システムの漏れ	漏れている箇所を探し、必要に応じて修理します。
	燃料の種類が不適切。	適切な種類の燃料を使用します。
	燃料品質が悪い	燃料を抜き取り、適切な等級の良質な燃料と交換します。

症状	問題	解決方法
	バルブクリアランスの不良。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フューエルインジェクタの不具合。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	高圧燃料ポンプのタイミングずれ。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ターボチャージャの作動の不具合。	ターボチャージャを点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	エンジン温度が低い	サーモスタットを点検します。
オイル内の燃料	シリンダヘッドの亀裂	亀裂を探し、必要に応じて部品を修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	電子ユニットインジェクタ O リングの亀裂や摩耗	疑わしい電子ユニットインジェクタを取り外して、必要に応じて O リングを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
燃料圧力が低い	燃料フィルタの目詰まり	燃料フィルタを交換します。
	燃料ラインの詰まり	詰まりを探し、必要に応じて修理します。
	燃料供給ポンプの故障	燃料供給ポンプを取り外し、必要に応じてポンプを修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
燃料への空気の混入	電子ユニットインジェクタ保持クランプの緩み	保持クランプのボルトを適切なトルクで締め付けます。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	電子ユニットインジェクタ O リングの亀裂や摩耗	疑わしい電子ユニットインジェクタを取り外して、必要に応じて O リングを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
油圧が低い	クランクケースのオイルレベルが低い	クランクケースに適切なオイルレベルまで充填します。
	クランクケースのオイルレベルが高すぎる	クランクケースに適切なオイルレベルまで充填します。
	圧力センサーの不良	センサーを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルクーラーやフィルタの目詰まり	オイルクーラーを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

症状	問題	解決方法
	過度のオイル温度	オイルクーラーを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルポンプの不具合	オイルポンプを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	不適切なオイル	クランクケースから抜き取り、適切なオイルを補充します。
	圧力調整バルブの故障	オイル圧力調整バルブを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンの噴霧ノズルの破損	ピストンの噴霧ノズルを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルポンプスクリーンの目詰まり、またはピックアップチューブの亀裂	オイルパンを取り外して、スクリーンを清掃するか、ピックアップチューブを交換します。
	過度のメインベアリングまたはコンロッドベアリングのクリアランス	ベアリングのクリアランスを確認します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
油圧が高い	オイルの等級が不適切	クランクケースから抜き取り、適切なオイルを補充します。
	圧力センサーの不良	センサーを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイル圧力調整バルブのブッシングの緩み (ゆらぎ)	オイル圧力調整バルブを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	調整バルブの動作不良	オイル圧力調整バルブを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンの噴霧ノズルの詰まり	ピストンの噴霧ノズルを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フィルタバイパスバルブの固着や損傷	フィルタバイパスバルブを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルクーラーバイパスバルブの固着や損傷	オイルクーラーバイパスバルブを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
過度のオイル消費量	クランクケースオイルの粘度が低すぎる	クランクケースから抜き取り、適切な粘度のオイルを補充します。

症状	問題	解決方法
	クランクケースのオイルレベルが高すぎる	オイルを適正なレベルになるまで抜きます。
	外部のオイル漏れ	オイル漏れの原因を確認し、必要に応じて修理します。
	オイルコントロールリングがはまっていない	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルコントロールリングの磨耗または破損	ピストンリングを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	シリンダライナーまたはピストンのかじり	シリンダやライナーを取り外して点検し、必要に応じて交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	バルブガイドまたはステムの磨耗	バルブステムやバルブガイドを点検して測定し、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	過度な油圧	このセクションで前述の「油圧が高い」を参照してください。
	ピストンリンググルーブが非常に磨耗している	ピストンを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンリングがリングの溝に固着している	ピストンを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンピストン張力が不十分	ピストンを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンリングの隙間が交互になっていない	ピストンを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	フロント / リアクランクシャフトオイルシールの不具合	オイルシールを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
エンジン異音[1]	メインベアリングまたはコンロッドベアリングの摩耗	ベアリングのクリアランスを確認します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

[1] *注記：可変ジオメトリターボチャージャがエンジンの始動後に再循環して、エンジンで瞬間的に回転音が発生します。これは正常です。走行中に聞こえる、ベアリング故障を示すうなり音と混同しないでください。*

症状	問題	解決方法
	クランクシャフトの過度の軸方向の遊び	クランクシャフトの軸方向の遊びを点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	メインベアリングキャップの緩み	ベアリングのクリアランスを点検し、必要に応じてベアリングとベアリングキャップ取り付けボルトを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	コンロッドブッシングとピストンピンの摩耗	ピストンピンとブッシングを点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ピストンのかじり	ピストンを点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	タイミングギアの摩耗または過大なバックラッシュ	タイミングギアのバックラッシュの点検 John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	過大なバルブクリアランス	クリアランスを点検、調整します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	カムシャフトローブの摩耗	カムシャフトを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ロッカーアームシャフトの摩耗	ロッカーアームシャフトを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	エンジンの潤滑が不十分	このセクションで後述の「潤滑システムのトラブルシューティング」参照。
	ターボチャージャ異音	このセクションで後述の「吸気システムのトラブルシューティング」参照。
ターボチャージャの「ヒューヒュー音」	インテークマニホールドの空気漏れ	インテークマニホールドガスケットとマニホールドを点検し、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
ターボチャージャの異音または振動[2]	ベアリングが潤滑されていない (油圧不足)	潤滑不足の原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

[2] *注記：可変ジオメトリターボチャージャがエンジンの始動後に再循環して、エンジンで瞬間的に回転音が発生します。これは正常です。走行中に聞こえる、ベアリング故障を示すうなり音と混同しないでください。*

症状	問題	解決方法
	エンジンのインテークトマニホールドまたはエグゾーストマニホールドの空気漏れ	インテークマニホールドガスケットとエグゾーストマニホールドガスケットを点検し、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	タービンホイールとタービンハウジング間のクリアランスが不適切	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ブレードの破損 (または他のホイールの不具合)	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
ターボチャージャコンプレッサホイール上またはコンプレッサハウジング内のオイル (センターハウジングからのオイル漏れ)	クランクケース圧力過大	クランクケース圧力過大の原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	吸気量制限	吸気が滞っている原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ドレンチューブの詰まり	ドレンチューブの詰まりの原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
インテークマニホールド内のオイルまたはターボチャージャハウジングからの漏れ	クランクケース圧力過大	クランクケース圧力過大の原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	吸気量制限	吸気が滞っている原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ドレンチューブの詰まり	ドレンチューブの詰まりの原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ハウジングベアリングの損傷または摩耗	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	回転アセンブリのバランス欠如	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

症状	問題	解決方法
	タービンまたはコンプレッサのホイールやブレードの損傷	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ホイールやブレードに泥やカーボンがたまる	吸気の漏れ (エアフィルタ以降) を点検します。ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ベアリングの摩耗	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイル不足または潤滑が不十分	潤滑不足の原因を調べ、必要に応じて修理します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	シャフトシールの摩耗	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
ターボチャージャのタービンホイールの引きずり跡	コークス化したオイルまたは燃焼かすが原因でタービンホイールの裏にカーボンがたまる	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	吸気漏れが原因でコンプレッサホイールの裏に泥がたまる	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ベアリングの焼き付き、汚れ、摩耗	ターボチャージャを点検し、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
エンジンのオーバーヒート	エンジン過負荷。	エンジン負荷を軽減します。
	クーラントレベルが低い。	冷却システムに適切なレベルまで充填し、ラジエータやホースに接続の緩みや漏れがないか点検します。
	サージタンクキャップの故障	必要に応じてサージタンクキャップを交換します。
	ファンベルトの緩みや不具合	必要に応じてファンベルトを交換します。ベルトテンショナを点検します。
	エンジンオイルレベルが低い。	オイルレベルを点検します。必要に応じてオイルを追加します。

症状	問題	解決方法
	冷却システムのフラッシングが必要。	冷却システムをフラッシングします。
	サーモスタットの故障	必要に応じて、サーモスタットを取り外して点検します。
	温度計またはセンダーの故障	クーラント温度を温度計で点検し、必要に応じて交換します。
	燃料の等級が不適切。	適切な等級の燃料を使用します。
	ラジエータコアの汚れ	必要に応じてラジエータを清掃します。
	クランクケースのオイルレベルが低すぎる	クランクケースに適切なオイルレベルまで充填します。
	シリンダヘッドガスケットの損傷	シリンダヘッドガスケットを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ウォーターポンプの故障	ウォーターポンプを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
クランクケース内のクーラント	シリンダヘッドガスケットの不具合	シリンダヘッドガスケットを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	シリンダヘッドまたはブロックの亀裂	亀裂を探し、必要に応じて部品を修理または交換します。
	シリンダライナーのシールの漏れ	シリンダライナーを取り外して点検します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルクーラーの漏れ	オイルクーラーの圧力テストを行い、必要に応じて修理または交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	オイルクーラー O リングの不具合	オイルクーラー O リングを取り外して点検し、必要に応じて交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ウォーターポンプシールの不具合、水抜き穴の目詰まり、ベアリングからのクーラントの漏れ	ウォーターポンプシールを交換します。John Deere 取扱店にお問い合わせください。
クーラント温度が通常より低い	サーモスタットの故障	サーモスタットをテストし、必要に応じて交換します。

OUO6075,0000C98-40-20JUN11

電気

症状	問題	解決方法
充電不足	追加の付属品による過度な電気負荷	付属品を取り外すか、出力の高いオルタネータを取り付けます。
	エンジンのアイドリングが過度	電気負荷が重い場合は、エンジン回転数を増やします。
	バッテリ、接地ストラップ、スタータ、またはオルタネータの電気接続不良	点検して、必要に応じて清掃します。
	バッテリの故障。	バッテリをテストします。
	オルタネータの故障。	充電システムをテストします。
バッテリで使用する水が多すぎる	バッテリケースの亀裂	水分を点検し、必要に応じて交換します。
	バッテリの充電率が高すぎる	充電システムをテストします。
バッテリが充電されない	接続の緩みまたは腐食。	清掃して接続を締め直します。
	バッテリの硫化または劣化	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ベルトの伸びまたはベルトテンショナの不具合	ベルト張力を調整するか、ベルトを交換します。
スタータがかからない	エンジン駆動系統がかみ合っている	エンジン駆動系統を外します。
	接続の緩みまたは腐食。	接続部を清掃し、緩い部分を締め付けます。
	バッテリ出力電圧が低いか、バッテリが充電されていない	バッテリを充電するか、交換します。
	始動回路リレーの不具合	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ヒューズが切れている	ヒューズを交換します。
		バッテリ端子と接続を清掃します。
	メインスイッチまたは始動用安全スイッチの故障	必要に応じてスイッチを修理します。
	スタータソレノイドの不具合	ソレノイドを交換する。
	スタータの故障	スタータを交換します。
スタータのクランキングが遅い	バッテリ出力が低い。	バッテリを充電します。

症状	問題	解決方法
	クランクケースオイルの粘度が高すぎる。	適切な粘度のオイルを使用します。
	接続の緩みまたは腐食。	接続部を清掃し、緩い部分を締め付けます。
電気システム全体が機能しない	バッテリ接続の不具合	清掃して接続を締め直します。
	バッテリの硫化または劣化	バッテリーを交換します。
	ヒューズ切れ。	ヒューズを交換します。

OUO6075,0000C99-40-20JUN11

ヒーター

症状	問題	解決方法
ヒーターで温かい空気が吹き出されない。	内気循環フィルタの汚れ。	フィルタを清掃します。
	サーモスタットがウォーターアウトレットマニホールドにない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ウォーターアウトレットマニホールドのサーモスタットの故障。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	ヒーター温度コントロールの故障。	コントロールを交換します。
	ヒーターホースのねじれ。ヒーターバルブの故障。	まっすぐにするか、交換します。バルブを交換します。

OUO6075,0000B24-40-14MAR07

エアコン

症状	問題	解決方法
冷房不足または不十分。	温度コントロールが OFF 位置にある。	エアコンを ON にします。
	コンプレッサベルトベルトの外れまたは破損。	ベルトを交換します。
	コンプレッサが機能していない (左アクセスパネルの大きいホースと小さいホースが同じ温度である)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	温度コントロールが応答していない (温度ドアの破損により暖かい空気が流れている)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	低圧警告 (システムの冷媒が失われている)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。

症状	問題	解決方法
	高圧警告 (システムに過剰に充填されている)。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
コンプレッサクラッチのオンオフが激しいまたはコンプレッサが最長 15 分間 OFF のままになっている。	エバポレータの着氷。	コントロールを正しく調整します。詳しくは、「コンバインの概要アプリケーションのヘルプ」または「運転プラットフォームのヘルプ」を参照してください。ルーバーを開きます。フィルタを清掃します。コントロールをより暖かい設定に動かします。
キャビンで異臭がする (嫌なにおい)。	ドレンチューブの詰まり。フィルタの汚れ。キャビンの汚れ。	凝縮水チューブを空気で吹き飛ばして、エバポレータの下のパンを清掃します。フィルタを清掃します。キャビンに掃除機をかけます。 凝縮水ドレンチューブに水抜きバルブが取り付けられていることを確認します。

OUO6075,0004572-40-19JAN17

水分センサー (装備されている場合)

症状	問題	解決方法
湿気が多すぎる。	緑色植物の樹液や雑草種子が水分センサープレートの上に溜まっている。	水分センサープレートを清掃します。
水分が一貫して高いまたは低い。	水分補正を調整する必要がある。	水分補正を変更します。
水分が変化しないまたは一貫して低い。	センサーがさえぎられている。	エレベーターマウントユニットを点検し、必要に応じて清掃します。
水分の読み値が不正確。	正しくない作物が選択されている。	正しい作物を選択します。
	水分センサーが調整範囲を外れている。	水分補正を変更します。
水分が常にゼロ。	記録の問題。	収穫中に、記録ステータスがオンになっているかを点検します。

OUO6075,0000A75-40-03NOV10

質量流量センサー (装備されている場合)

症状	問題	解決方法
収量が一定して高すぎるまたは低すぎる。	システムが較正範囲外。	収量較正を変更します。
	ヘッダー幅が正しくない。	ヘッダー幅を変更します。
	正しくない作物が選択されている。	正しい作物を選択します。

症状	問題	解決方法
	インパクトプレートへのごみ、泥、屑の付着。	インパクトプレートを清掃します。
収量ゼロ。	対地速度なし。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	クリーングレインエレベーター速度が低すぎる。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	記録の問題。	収穫中に、記録ステータスがオンになっているかを点検します。

OUO6075,0000A76-40-03NOV10

Combine Advisor™

症状	問題	解決方法
低作物フローによる Auto Maintain 故障または診断トラブルコード	正しくない作物が選択されている。	正しい作物を選択する。
	クリーングレインエレベータ水分センサーバイパスが塞がっている。	バイパスから障害物を取り除く。
	ActiveVision™ カメラが作物の流れを検出していない。	カメラガラスを掃除する。詳しくは、「メンテナンス — 10 時間」セクションを参照してください。
		カメラの乾燥剤カートリッジを交換する。詳しくは、「メンテナンス — 必要に応じて」セクションを参照してください。

OUO6075,000507D-40-30MAR21

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

保管のための機械の準備

コンデンサとオイルクーラーを外側に旋回させて、ラジエータを圧縮空気、水、掃除機で清掃します。

ラジエータを清掃した後、コンデンサとオイルクーラーを清掃します。チャージエアクーラーを清掃します。

60 ~ 90 日ごとにエンジンを始動してエアコンを ON にします。エンジンをローアイドルで数分間運転してコンプレッサシールの潤滑を確保します。エアコンが適切に作動するには、外気温が 5°C (40°F) よりも高い必要があります。

安全な溶剤でエンジンの表面を清掃します。

注意：**ガソリンは使用しないでください。**

エアクリーナの内側を清掃して、新品のエレメントを取り付けます。

エンジンが温かいときにエンジンクランクケースからオイルを抜き取ります。フィルタを交換して正しいオイルを注入します。腐食防止剤 0.66 L (22 oz) をエンジンクランクケースに追加します。エンジンを運転して循環させます。

冷却システムから抜き取り、フラッシングして不凍液と水の 50/50 の混合液を補給します。

重要：**車両での長期間 (12 か月以上) の保管は推奨されません。長期間の保管が必要な場合は、排ガス処理用尿素水 (DEF) を定期的に検査して尿素の濃度が仕様値から外れていないか確認することを推奨します。**

ファイナルティア 4 / ステージ V：排ガス処理用尿素水 (DEF) の保管寿命は限られていますが、保管条件によっては車両に 12 か月まで保管できます。詳しくは、「燃料と潤滑剤」セクションの「排ガス処理用尿素水 (DEF) の保管」および「排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの補充」を参照してください。詳しくは、「メンテナンス — 必要に応じて (エンジンのフルードとフィルタ)」セクションの「排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク — 注入」および「排ガス用尿素水 (DEF) タンク — 抜き取り」を参照してください。

重要：**ファイナルティア 4 / ステージ V**：**機械を停止してから 90 秒以上の間、バッテリーの接続を外さないでください。機械を停止した直後、SCR (選択触媒還元) システムはこの時間中に排ガス処理用尿素水 (DEF) のラインを自動的にパージします。ラインがパージされるまで十分な時間を確保しないと、ラインに残留した DEF が結晶化してラインの詰まりの原因になります。凍りつくような気象条件では、液体が凍結してラインが破裂するおそれがあります。**

注記：機械を 25 日以上保管する場合は、バッテリー遮断スイッチを OFF にしてください。保管期間が 90 日を超える場合は、バッテリのマイナスケーブルを外してバッテリーへの負荷を最小限度に抑えます。

バッテリーにフル充電します。これは、比重 1.260 に相当します。バッテリーへの負荷を最小限度に抑えるために、バッテリーのマイナスケーブルを外します。

油水分離器から抜き取ります。

機械の内側と外側を清掃します。エレベータードアとドレンカバーを開けたままにします。

コンケーブを上下に複数回入れ直して、コンケーブエリアに物質が溜まらないようにします。

重要：**電気 / 電子部品、ベアリング、油圧シール、フューエルインジェクションポンプ、その他の精密部品に加圧水を向けると、製品が正常に機能しなくなる場合があります。圧力を下げて、45 ~ 90 度の角度で噴霧してください。**

必要な箇所を再塗装します。

注記：機械にワックスをかける必要はありません。ただし、必要な場合は、研磨材を含んでいない良質の透明ワックスを使用できます。通常、これらの種類のワックスはクリーナを含んでいません。

機械を潤滑して、調整ボルトのねじ山にグリースを塗布します。

すべての 400 時間 (毎年) の整備を実行します。

結露を防ぐため、燃料タンクを満タンに給油します。

重要：**燃料を安定化させて結露を防止するため、以下の場合は燃料コンディショナを追加してください**：

- **燃料を長期間にわたって燃料タンク (機械または農場の保管庫) に保管する場合。推奨事項については、John Deere 販売店にお問い合わせください。**
- **回転率の低い燃料を使用している場合。推奨事項については、John Deere 販売店にお問い合わせください。**

機械を長期間保管する場合は、バイオディーゼルを抜き取り、機械に通常の石油系ディーゼル燃料を充填することが適切です。そうでない場合は、バイオディーゼル安定 (抗酸化) 添加剤または完全に調合されたバイオディーゼルコンディショナを使用してください。推奨事項については、John Deere 販売店にお問い合わせください。

機械を長期間保管する場合は、バッテリーを取り外して清掃します。涼しい乾燥した場所に保管し、完全に充電された状態を保ちます。

機械を保管する前に、空気圧縮機リザーバー (装備されている場合) の抜き取りを行う必要があります。

OUO6075,0004A72-40-10DEC18

保管からの機械の復帰

バッテリを再接続し、充電します。

バッテリーにフル充電します。これは、比重 1.260 に相当します。バッテリーへの負荷を最小限度に抑えるために、バッテリーのマイナスケーブルを外します。

オイルとクーラントのレベルを点検します。漏れがないか点検し、必要に応じてオイルとクーラントを追加します。

ファイナルティア 4 / ステージ V：排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクを抜き取らなかった場合は、尿素濃度をテストしてください。詳しくは「燃料と潤滑剤」セクションの「排ガス処理溶液尿素水 (DEF) のテスト」を参照してください。濃度が仕様内にない場合は、抜き取って新品の排ガス処理用尿素水 (DEF) と交換してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクから抜き取った場合は、タンクに充填します。詳しくは、「メンテナンス — 必要に応じて (エンジンのフルードとフィルタ)」セクションの「排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク — 注入」を参照してください。

ActiveVision™ クリーングレンエレベータカメラと 2 番還元物システムカメラの乾燥剤カートリッジを交換します (装備されている場合)。詳しくは、「メンテナンス — 400 時間ごと」の「ActiveVision™ カメラの乾燥剤カートリッジ」を参照してください。

エレベーターのドアとドレン穴を閉めます。

駆動ベルトの張力を点検します。座金がゲージの端部と段差の底部の間に配置されるまでばね式アイドラを調整します。

タイヤ圧を点検し、本機の取扱説明書を見直します。

消火器のラベルのメンテナンス手順に従って消火器 (前部および後部) を点検します。必要に応じて再充填または交換します。

OUO6075,0004E61-40-08JUL20

ActiveVision は Deere & Company の商標です。

仕様

運転回転数 (S760、S770)

記載されている回転数は平均値であり、機械に応じて異なる場合があります。

注記： 運転回転数の仕様および設計は予告なしに変更される場合があります。

エンジン回転数	9.0 L ティア 2 / ステージ II エンジン	9.0 L ファイナルティア 4 / ステージ V エンジン
低回転数 (セパレータオフ)	1200 rpm	1200 rpm
中回転数 (セパレータオフ)	1690 rpm	1690 rpm
高速回転数 (セパレータオフ)	2340 rpm	2340 rpm
定格回転数 (セパレータオン)	2200 rpm	2200 rpm

セパレータ駆動軸回転数	1453 rpm

メインカウンターシャフト回転数	1453 rpm

セパレータ回転数	
ハイレンジ	400 ~ 1000 rpm
ローレンジ	210 ~ 530 rpm

フィーダーハウス下部シャフト速度	
回転数固定 (装備されている場合)	490 rpm
ヘビーデューティ可変速速度 (装備されている場合)	490 ~ 750 rpm
高トルクバリアブルスピード (装備されている場合)	490 ~ 750 rpm
マルチスピード (装備されている場合)	1 速：480 rpm 2 速：535 rpm 3 速：590 rpm 4 速：665 rpm 5 速：735 rpm

フィードアクセルレータ速度	
フィードアクセルレータ (標準速度)	430/780 rpm
フィードアクセルレータ速度 (低速オプション)	310/770 rpm
フィードアクセルレータ (高速大容量)	520/970 rpm

排出ビーター回転数	S760	S770
	998 rpm	995 rpm

ジャックシャフト回転数	
フロント右ジャックシャフト	518 rpm
リア右ジャックシャフト	518 rpm

クリーニングファン回転速度	
標準回転数	620 ~ 1350 rpm
特殊低速回転数	250 ~ 500 rpm

エレベータ回転数	S760	S770
クリーングレインエレベーター	417 rpm	415 rpm
クリーングレインローディングオーガ	448 rpm	445 rpm
2 番物エレベーター、下部オーガ	395 rpm	
2 番物エレベーター、上部オーガ	625 rpm	
シュードライブ	298 rpm	
コンベアオーガ	420 rpm	

アンローディングシステム回転数 (セパレータ接続時)	
アンローディングシステムカウンターシャフト	1000 rpm
アンローディングオーガギヤケース、入力シャフト	460 rpm、116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート
アンローディング垂直オーガ	460 rpm、116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート
アンローディングアウタオーガ	460 rpm、116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート
グレンタンク水平オーガ (前部、後部)	330 rpm、116 L/sec (3.3 bu/sec) アンロードレート

チョッパー回転数	細切りチョッパー	極細カットチョッパー
チョッパー / 排出ビーター用ジャックシャフト	1880 rpm	2045 rpm
チョッパー (2 速)	1505/2350 rpm	1400/2995 rpm
オーバーショットビーター (装備されている場合)	995 rpm	995 rpm

OUO6075,00050CA-40-14MAY21

運転回転数 (S780、S785、S790)

記載されている回転数は平均値であり、機械に応じて異なる場合があります。

注記： 運転回転数の仕様および設計は予告なしに変更される場合があります。

エンジン回転数	13.5 L ティア 2 / ステージ II エンジン	13.5 L ファイナルティア 4 / ステージ V エンジン
低回転数 (セパレータオフ)	1200 rpm	1200 rpm
中回転数 (セパレータオフ)	1690 rpm	1690 rpm
高速回転数 (セパレータオフ)	2240 rpm	2240 rpm
定格回転数 (セパレータオン)	2100 rpm	2100 rpm

セパレータ駆動軸回転数	1466 rpm

メインカウンターシャフト回転数	1466 rpm

セパレータ回転数	
ハイレンジ	400 ~ 1000 rpm
ローレンジ	210 ~ 530 rpm

2 番還元物システム速度	880 rpm

フィーダーハウス下部シャフト速度	
回転数固定 (装備されている場合)	490 rpm
マルチスピード (装備されている場合)	1 速：480 rpm 2 速：535 rpm 3 速：590 rpm 4 速：665 rpm 5 速：735 rpm

フィードアクセルレータ速度	
フィードアクセルレータ (標準速度)	430/780 rpm
フィードアクセルレータ速度 (低速オプション)	310/770 rpm
フィードアクセルレータ (高速大容量)	520/970 rpm

排出ビーター回転数	995 rpm

ジャックシャフト回転数	
フロント右ジャックシャフト	520 rpm
リア右ジャックシャフト	520 rpm

クリーニングファン回転速度	
標準回転数	620 ~ 1350 rpm
特殊低速回転数	250 ~ 500 rpm

エレベータ回転数	
クリーングレインエレベーター	415 rpm
クリーングレインローディングオーガ	450 rpm
2 番物エレベーター、下部オーガ	490 rpm
2 番物エレベーター、上部オーガ	580 rpm
シュードライブ	300 rpm
コンベアオーガ	425 rpm

アンローディングシステム回転数 (セパレータ接続時)	S780、S785、S790	S780 HillMaster™、S785 HillMaster™、S790 HillMaster™
アンローディングシステムカウンターシャフト	1005 rpm	
アンローディングオーガギヤケース、入力シャフト	460 rpm	465 rpm
アンローディング垂直オーガ	460 rpm	465 rpm
アンローディングアウタオーガ	460 rpm	465 rpm
グレンタンク水平オーガ (前部、後部)	450 rpm	335 rpm

HillMaster は Deere & Company の商標です。

チョッパー回転数	細切りチョッパー	極細カットチョッパー
チョッパー / 排出ビーター用ジャックシャフト	1880 rpm	2045 rpm
チョッパー (2 速)	1505/2350 rpm	1400/2995 rpm
オーバーショットビーター (装備されている場合)	995 rpm	995 rpm

OUO6075,00050CB-40-14MAY21

仕様 (S760、S770)

注記： 仕様および設計は予告なしに変更する場合があります。

エンジン		
メーカーと型式	John Deere	
モデル	6090HH006 (9.0 L ティア 2 / ステージ II) 6090HH029 (9.0 L ファイナルティア 4 / ステージ V)	
種類	6 気筒、直列、オーバーヘッドバルブ (4 バルブ)、空冷式アフタークーラー付きディーゼル、ターボ過給式	
	S760	**S770**
定格出力 (ティア 2 / ステージ II)	239 kW (320 hp)	278 kW (373 hp)
定格出力 (ファイナルティア 4 / ステージ V)	249 kW (334 hp)	292 kW (392 馬力)
定格回転数	2200 rpm	2200 rpm
定格回転数時パワーブースト	25 kW (34 hp)	25 kW (34 hp)
ピーク出力 (ティア 2 / ステージ II)	272 kW (365 hp)	317 kW (425 hp)
ピーク出力 (ファイナルティア 4 / ステージ V)	285 kW (382 hp)	335 kW (449 hp)
ピーク出力回転数 (定格回転数 -200 rpm)	2000 rpm	
排気量	9.0 L (549 in^3)	
点火順序	1-5-3-6-2-4	
エアクリーナ	乾式、安全エレメント付き	

電気システム	
バッテリー電圧	12 V
バッテリ端子のアース接続	マイナス
オルタネータ (ティア 2 / ステージ II) オルタネータ (ファイナルティア 4 / ステージ V)	200 A

トランスミッション	
速度 (機械式シフトの機械)	3 速
速度 (押しボタンシフトの機械)	3 速
速度 (ProDrive™ 個の機械)	2 速オートシフト

ProDrive は Deere & Company の商標です。

ブレーキ	
種類 (機械式シフトの機械)	油圧シュー
種類 (押しボタンシフトの機械)	油圧シュー
種類 (ProDrive™ 装備の機械)	多板湿式ディスク

フィードアクセルレータ	**S760、S770**	**S770 HillMaster™**
ウイング数	標準：10 難脱穀性作物：8 イネ：5	難脱穀性作物：8

HillMaster は Deere & Company の商標です。

セパレータエレメント	
脱穀エレメント (TriStream™ ローター)	とうもろこし / 小粒穀物：15
脱穀エレメント (可変ストリームローター)	とうもろこし / 小粒穀物：15 イネオプション：15 個のエレメントおよび 12 個の脱穀タインを高密度配置
タイン (TriStream™ ローター)	24
タイン (可変ストリームローター)	20

TriStream は Deere & Company の商標です。

コンケーブ	
コンケーブ数	3
コンケーブあたりのバー数	グレン — 前部 25、中間 / 後部 25、とうもろこし 31

セパレータ	
格子数	4

排出格子	
格子数	3

排出ビーター	S760、S770	S770 HillMaster™
ウイング数	標準：5 難脱穀性作物：8	難脱穀性作物：8

グレンタンク	
容量	10 572 L (300 bu) エクステンション付き 10 572 L (300 bu) カバー付き
平均アンローディングレート、116 L/s (3.3 bu/s) アンロードレート	6977 L/min (198 bu/min)
最大アンローディングレート、116 L/s (3.3 bu/s) アンロードレート	7612 L/min (216 bu/min)

旋回半径	
後輪トレッド幅	3.35 m (10 ft 10 in)
旋回半径 (パワーアシストなし車軸)	8.02 m (26 ft 3 in)
旋回半径 (パワーアシスト車軸)	7.73 m (25 ft 4 in)

容量	S760	S770
燃料タンク	950 L (250 gal)	
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク (ファイナルティア 4 / ステージ V)	52.2 L (13.8 gal)	
冷却システム (ヒーターを含む) (ティア 2 / ステージ II)	53 L (56 qt)	
冷却システム (ヒーターを含む) (ファイナルティア 4 / ステージ V)	53 L (56 qt)	
エンジンクランクケース (フィルタを含む) (ティア 2 / ステージ II)	27.5 L (29 qt) [a]	
エンジンクランクケース (フィルタを含む) ファイナルティア 4 / ステージ V)	27.5 L (29 qt) [a]	
トランスミッション (機械式シフトおよび押しボタンシフトの機械)	9.6 L (10 qt)	
ファイナルドライブ	8 L (8.5 qt) シングルホイール構成 23.0 L (24.3 qt) デュアルホイール構成	
ファイナルドライブ (HillMaster™)	非該当	7 L (7.4 qt)
ヘビーデューティ可変速駆動フィーダーハウスリバーサギヤケース (クーラー付き)	3.5 L (7.4 pt)	非該当
高トルク固定速駆動フィーダーハウスリバーサーギヤケース (クーラーなし：オプション)	3.6 L (7.7 pt)	
高トルク可変速駆動フィーダーハウスリバーサギヤケース (クーラー付き)	4.9 L (10.4 pt)	
多速度駆動フィーダーハウスリバーサギヤケース (クーラー付き)	非該当	5.2 L (11 pt)
プレミアムオーバーショットビーターギヤケース (装備されている場合)	非該当	0.2 L (6.75 oz)
プライマリカウンターシャフト駆動ギヤケース	1.9 L (2.04 qt)	
ローディングオーガギヤケース	3.8 L (4 qt)	
2 速セパレータ駆動ギヤケース	4.7 L (5 qt)	
エンジンギヤケース (伝達ギヤケースを含む) (機械式シフトおよびプッシュボタンシフトの機械)	21.3 L (22.5 qt)	
エンジンギヤケース (伝達ギヤケースを含む) (ProDrive™機械)	51 L (54 qt)	

容量	S760	S770
油圧 / ハイドロスタティックリザーバー	31 L (33 qt)	

[a]エンジンオイルを正しいレベルに維持することが非常に重要です。整備時にオイルレベルが検油棒の正しい位置にあることを必ず確認してください。

空気圧縮機 (装備されている場合)		
リザーバーサイズ	60 L (16 gal)	
最大リザーバー圧力	827 kPa (8.27 bar) (120 psi)	
空気圧縮機流量	低エンジン回転数	250 L/min (8.8 ft³/min)
	高エンジン回転数	450 L/min (15.8 ft³/min)

OUO6075,0005067-40-18MAR21

仕様 (S780、S785、S790)

注記： 仕様および設計は予告なしに変更する場合があります。

エンジン		
メーカーと型式	John Deere	
モデル	6135HH004 (13.5 L ティア 2 / ステージ II) 6135HH011 (13.5 L ファイナルティア 4 / ステージ V)	
種類	6 気筒、直列、オーバーヘッドバルブ、空冷式アフタークーラー付きディーゼル、ターボ過給式	
	S780	**S785**
定格出力 (ティア 2 / ステージ II)	353 kW (473 hp)	373 kW (500 hp)
定格出力 (ファイナルティア 4 / ステージ V)	353 kW (473 hp)	373 kW (500 馬力)
定格回転数	2100 rpm	2100 rpm
定格回転数時パワーブースト	37 kW (50 hp)	37 kW (50 hp)
ピーク出力 (ティア 2 / ステージ II)	402 kW (540 hp)	425 kW (570 hp)
ピーク出力 (ファイナルティア 4 / ステージ V)	402 kW (540 hp)	425 kW (570 hp)
ピーク出力回転数 (定格回転数 -200 rpm)	1900 rpm	
排気量	13.5 L (824 in³)	
点火順序	1-5-3-6-2-4	
エアクリーナ	乾式、安全エレメント付き	
	S790	
定格出力 (ティア 2 / ステージ II)	405 kW (543 hp)	
定格出力 (ファイナルティア 4 / ステージ V)	405 kW (543 hp)	
定格回転数	2100 rpm	
定格回転数でのパワーブースト (ティア 2 / ステージ II)	23 kW (31 hp)	
定格回転数での出力増大 (ファイナルティア 4 / ステージ V)	37 kW (50 hp)	
ピーク出力 (ティア 2 / ステージ II)	458 kW (614 hp)	
ピーク出力 (ファイナルティア 4 / ステージ V)	460 kW (617 hp)	
ピーク出力回転数 (定格回転数 -200 rpm)	1900 rpm	
排気量	13.5 L (824 in³)	
点火順序	1-5-3-6-2-4	
エアクリーナ	乾式、安全エレメント付き	

電気システム	
バッテリー電圧	12 V
バッテリ端子のアース接続	マイナス
オルタネータ (ティア 2 / ステージ II) オルタネータ (ファイナルティア 4 / ステージ V)	200 A

トランスミッション	
速度	2 速オートシフト

ブレーキ	
種類	多板湿式ディスク

フィードアクセルレータ	**S780、S785、S790**	**S780 HillMaster™、S785 HillMaster™、S790 HillMaster™**
ウイング数	標準：10 難脱穀性作物：8 イネ：5	難脱穀性作物：8

HillMaster は Deere & Company の商標です。

セパレータエレメント	
脱穀エレメント (TriStream™ ローター)	とうもろこし / 小粒穀物：15
脱穀エレメント (可変ストリームローター)	とうもろこし / 小粒穀物：15 イネオプション：15 個のエレメントおよび 12 個の脱穀タインを高密度配置
タイン (TriStream™ ローター)	24
タイン (可変ストリームローター)	20

TriStream は Deere & Company の商標です。

コンケーブ	
コンケーブ数	3
コンケーブあたりのバー数	グレン — 前部 25、中間 / 後部 25、とうもろこし 31

セパレータ	
格子数	4

排出格子	
格子数	1

排出ビーター	S780、S785、S790	S780 HillMaster™、S785 HillMaster™、S790 HillMaster™
ウイング数	標準：10 難脱穀性作物：8	難脱穀性作物：8

グレンタンク	S780、S785、S790
容量	14 096 L (400 bu) エクステンション付き 14 096 L (400 bu) カバー付き
平均アンローディングレート、134 L/s (3.8 bu/s) アンロードレート	8035 L/min (228 bu/min)
最大アンローディングレート、134 L/s (3.8 bu/s) アンロードレート	8670 L/min (246 bu/min)

グレンタンク	HillMaster™ 装備の機械
容量	10 572 L (300 bu) エクステンション付き 10 572 L (300 bu) カバー付き
平均アンローディングレート、116 L/s (3.3 bu/s) アンロードレート	6977 L/min (198 bu/min)
最大アンローディングレート、116 L/s (3.3 bu/s) アンロードレート	7612 L/min (216 bu/min)

旋回半径	
後輪トレッド幅	3.35 m (10 ft 10 in)
旋回半径 (パワーアシストなし車軸)	8.02 m (26 ft 3 in)
旋回半径 (パワーアシスト車軸)	7.73 m (25 ft 4 in)

容量	
燃料タンク	950 L (250 gal) オプション 1250 L (330 gal) 標準
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク (ファイナルティア 4 / ステージ V)	52.2 L (13.8 gal)
冷却システム (ヒーターを含む) (ティア 2 / ステージ II)	61.2 L (65 qt)
冷却システム (ヒーターを含む) (ファイナルティア 4 / ステージ V)	85 L (90 qt)
エンジンクランクケース (フィルタを含む) (ティア 2 / ステージ II)	39 L (41 qt) [a]
エンジンクランクケース (フィルタを含む) ファイナルティア 4 / ステージ V)	43 L (45.5 qt) [a]
ファイナルドライブ	8 L (8.5 qt) シングルホイール構成 23.0 L (24.3 qt) デュアルホイール構成 7 L (7.4 qt) HillMaster™ 機
高トルク固定速駆動フィーダーハウスリバーサギヤケース (クーラーなし)	3.6 L (7.7 pt)
多速度駆動フィーダーハウスリバーサギアケース (クーラー付き：オプション)	5.2 L (11 pt)

容量	
プレミアムオーバーショットビーターギヤケース (装備されている場合)	0.2 L (6.75 oz)
プライマリカウンターシャフト駆動ギヤケース (非多速度)	1.9 L (2.04 qt)
ローディングオーガギヤケース	3.8 L (4 qt)
2 速セパレータ駆動ギヤケース	4.7 L (5 qt)
エンジンギヤケース (伝達ギヤケースを含む)	51 L (54 qt)
油圧 / ハイドロスタティックリザーバー	47 L (50 qt)

[a]エンジンオイルを正しいレベルに維持することが非常に重要です。整備時にオイルレベルが検油棒の正しい位置にあることを必ず確認してください。

空気圧縮機 (装備されている場合)		
リザーバーサイズ	60 L (16 gal)	
最大リザーバー圧力	827 kPa (8.27 bar) (120 psi)	
空気圧縮機流量	低エンジン回転数	250 L/min (8.8 ft³/min)
	高エンジン回転数	450 L/min (15.8 ft³/min)

OUO6075,0005068-40-14MAY21

寸法 (S760、S770)

注記： 寸法は概算値であり、予告なしに変更する場合があります。

寸法	S760、S770
A	9.80 m (32 ft 2 in)、5.6 m (18 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 11.02 m (36 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 11.72 m (38 ft 5 in)、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 11.98 m (39 ft 4 in) 7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 12.46 m (40 ft 11 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
B	9.14 m (30 ft 0 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式オーガ装備時 9.93 m (32 ft 7 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式オーガ装備時
C	8.52 m (27 ft 11 in)
D	4.91 ~ 4.99 m (16 ft 1 in ~ 16 ft 5 in)、10 572 L (300 bu) カバー装着時
E	4.61 ~ 4.84 m (15 ft 2 in ~ 15 ft 11 in) クリーングレンローディングオーガ
F	4.30 ~ 4.39 m (14 ft 1 in ~ 14 ft 5 in、10 572 L (300 bu) エクステンション装備時
G	4.04 ~ 4.13 m (13 ft 3 in ~ 13 ft 7 in)
H	3.96 ~ 4.04 m (13 ft 0 in ~ 13 ft 3 in)
I	0.63 ~ 0.76 m (2 ft 1 in ~ 2 ft 6 in)
J	3.53 m (11 ft 7 in)
K	6.52 m (21 ft 5 in)、5.6 m (18 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 7.66 m (25 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 7.67 m (25 ft 2 in) 6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 8.97 m (29 ft 5 in)、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 8.72 m (28 ft 7 in) 7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 9.42 m (30 ft 11 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
L	4.72 ~ 5.05 m (15 ft 6 in~16 ft 7 in)、5.6 m (18 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 5.23 ~ 5.33 m (17 ft 2 in ~ 17 ft 6 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 5.48 ~ 5.58 m (18 ft 0 in ~ 18 ft 4 in))、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 5.42 ~ 5.52 m (17 ft 9 in ~ 18 ft 1 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 5.59 ~ 5.69 m (18 ft 4 in ~ 18 ft 8 in))、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
M	4.01 ~ 4.33 m (13 ft 2 in~14 ft 3 in)、5.6 m (18 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 4.51 ~ 4.62 m (14 ft 10 in ~ 15 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.61 ~ 4.71 m (15 ft 2 in ~ 15 ft 5 in))、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 4.32 ~ 4.65 m (14 ft 2 in ~ 15 ft 3 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.72 ~ 4.82 m (15 ft 6 in ~ 15 ft 10 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のアンローディングオーガ装備時
N [a]	4.08 ~ 4.40 m (13 ft 5 in~14 ft 5 in)、5.6 m (18 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 4.58 ~ 4.69 m (15 ft 0 in ~ 15 ft 5 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.91 ~ 5.01 m (16 ft 1 in ~ 16 ft 5 in))、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 4.84 ~ 4.95 m (15 ft 11 in ~ 16 ft 3 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 5.02 ~ 5.12 m (16 ft 6 in~16 ft 10 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
O [b]	3.47 ~ 4.34 m (11 ft 5 in ~ 14 ft 3 in) リアタイヤ
P [b]	3.49 ~ 5.36 m (11 ft 5 in ~ 17 ft 7 in) フロントタイヤ

[a]寸法 1.22 m (4 ft) はグレンスピルポイントからの測定値です。これはグレンカートの中心にあるときのアンローディングオーガを表しています。

[b]異なるタイヤ構成、条間隔、車軸構成、ホイールオフセット、車軸位置、およびスピンドルの種類により機械の幅が変わります。表の測定値は最小幅と最大幅です。詳細な幅情報については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,0004E58-40-01JUN20

寸法 (S770 HillMaster™)

注記： 寸法は概算値であり、予告なしに変更する場合があります。

寸法	S770 HillMaster™
A	9.80 m (32 ft 2 in)、5.6 m (18 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 11.02 m (36 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 11.98 m (39 ft 4 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時
B	9.14 m (30 ft 0 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式オーガ装備時 9.93 m (32 ft 7 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式オーガ装備時
C	8.52 m (27 ft 11 in)
D	4.91 ~ 5.00 m (16 ft 1 in ~ 16 ft 5 in)、10 572 L (300 bu) カバー装着時
E	4.62 ~ 4.71 m (15 ft 2 in ~ 15 ft 5 in) クリーングレンローディングオーガ
F	4.31 ~ 4.40 m (14 ft 2 in ~ 14 ft 5 in、10 572 L (300 bu) エクステンション装備時
G	4.05 ~ 4.14 m (13 ft 4 in ~ 13 ft 7 in)
H	3.97 ~ 4.06 m (13 ft 0 in ~ 13 ft 4 in)
I	0.69 ~ 0.78 m (2 ft 3 in ~ 2 ft 7 in)
J	3.53 m (11 ft 7 in)
K	6.52 m (21 ft 5 in)、5.6 m (18 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 7.67 m (25 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 8.72 m (28 ft 7 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時
L	4.82 ~ 5.07 m (15 ft 10 in ~ 16 ft 8 in)、5.6 m (18 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 5.10 ~ 5.35 m (16 ft 9 in ~ 17 ft 7 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 5.30 ~ 5.54 m (17 ft 5 in ~ 18 ft 2 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時
M	4.11 ~ 4.35 m (13 ft 6 in~13 ft 3 in)、5.6 m (18 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 4.39 ~ 4.63 m (14 ft 5 in ~ 15 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.42 ~ 4.67 m (14 ft 6 in ~ 15 ft 4 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時
N [a]	4.18 ~ 4.42 m (13 ft 9 in ~ 14 ft 6 in))、5.6 m (18 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 4.46 ~ 4.71 m (14 ft 8 in ~ 15 ft 5 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.72 ~ 4.96 m (15 ft 6 in ~ 16 ft 3 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時
O [b]	3.48 ~ 3.70 m (11 ft 5 in ~ 12 ft 2 in) リアタイヤ
P [b]	3.48 ~ 3.78 m (11 ft 5 in ~ 12 ft 5 in) フロントタイヤ

[a]寸法 1.22 m (4 ft) はグレンスピルポイントからの測定値です。これはグレンカートの中心にあるときのアンローディングオーガを表しています。
[b]異なるタイヤ構成、条間隔、車軸構成、ホイールオフセット、車軸位置、およびスピンドルの種類により機械の幅が変わります。表の測定値は最小幅と最大幅です。詳細な幅情報については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,0004E59-40-01JUN20

寸法 (S780、S785、S790)

注記： 寸法は概算値であり、予告なしに変更する場合があります。

寸法	S780、S785、S790
A	11.02 m (36 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 11.72 m (38 ft 5 in)、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 11.98 m (39 ft 4 in) 7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 12.46 m (40 ft 11 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
B	9.14 m (30 ft 0 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式オーガ装備時 9.93 m (32 ft 7 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式オーガ装備時
C	8.52 m (27 ft 11 in)
D	3.92 ~ 3.99 m (12 ft 10 in ~ 13 ft 1 in)、14 096 L (400 bu) カバー装着時
E	4.77 ~ 4.85 m (15 ft 8 in ~ 15 ft 11 in) クリーングレンローディングオーガ
F	4.57 ~ 4.65 m (15 ft 0 in ~ 15 ft 3 in、14 096 L (400 bu) エクステンション装備時
G	4.04 ~ 4.13 m (13 ft 3 in ~ 13 ft 7 in)
H	3.96 ~ 4.04 m (13 ft 0 in ~ 13 ft 3 in)
I	0.63 ~ 0.76 m (2 ft 1 in ~ 2 ft 6 in)
J	3.53 m (11 ft 7 in)
K	7.66 m (25 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 7.67 m (25 ft 2 in) 6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 8.97 m (29 ft 5 in)、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 8.72 m (28 ft 7 in) 7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 9.42 m (30 ft 11 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
L	5.23 ~ 5.33 m (17 ft 2 in ~ 17 ft 6 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 5.48 ~ 5.58 m (18 ft 0 in ~ 18 ft 4 in))、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 5.42 ~ 5.52 m (17 ft 9 in ~ 18 ft 1 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 5.59 ~ 5.69 m (18 ft 4 in ~ 18 ft 8 in))、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
M	4.51 ~ 4.62 m (14 ft 10 in ~ 15 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.61 ~ 4.71 m (15 ft 2 in ~ 15 ft 5 in))、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 4.32 ~ 4.65 m (14 ft 2 in ~ 15 ft 3 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.72 ~ 4.82 m (15 ft 6 in ~ 15 ft 10 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のアンローディングオーガ装備時
N [a]	4.58 ~ 4.69 m (15 ft 0 in ~ 15 ft 5 in)、6.9 m (22 ft 6 in) のリジッド / 動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.91 ~ 5.01 m (16 ft 1 in ~ 16 ft 5 in))、7.9 m (26 ft 0 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時 4.84 ~ 4.95 m (15 ft 11 in ~ 16 ft 3 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 5.02 ~ 5.12 m (16 ft 6 in~16 ft 10 in)、8.7 m (28 ft 6 in) のリジッドアンローディングオーガ装備時
O [b]	3.39 ~ 4.34 m (11 ft 2 in ~ 14 ft 3 in) リアタイヤ
P [b]	3.49 ~ 5.36 m (11 ft 5 in ~ 17 ft 7 in) フロントタイヤ

[a] *寸法 1.22 m (4 ft) はグレンスピルポイントからの測定値です。これはグレンカートの中心にあるときのアンローディングオーガを表しています。*

[b] *異なるタイヤ構成、条間隔、車軸構成、ホイールオフセット、車軸位置、およびスピンドルの種類により機械の幅が変わります。表の測定値は最小幅と最大幅です。詳細な幅情報については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。*

OUO6075,0004E5A-40-01JUN20

寸法 (S780 HillMaster™、S785 HillMaster™、S790 HillMaster™)

注記： 寸法は概算値であり、予告なしに変更する場合があります。

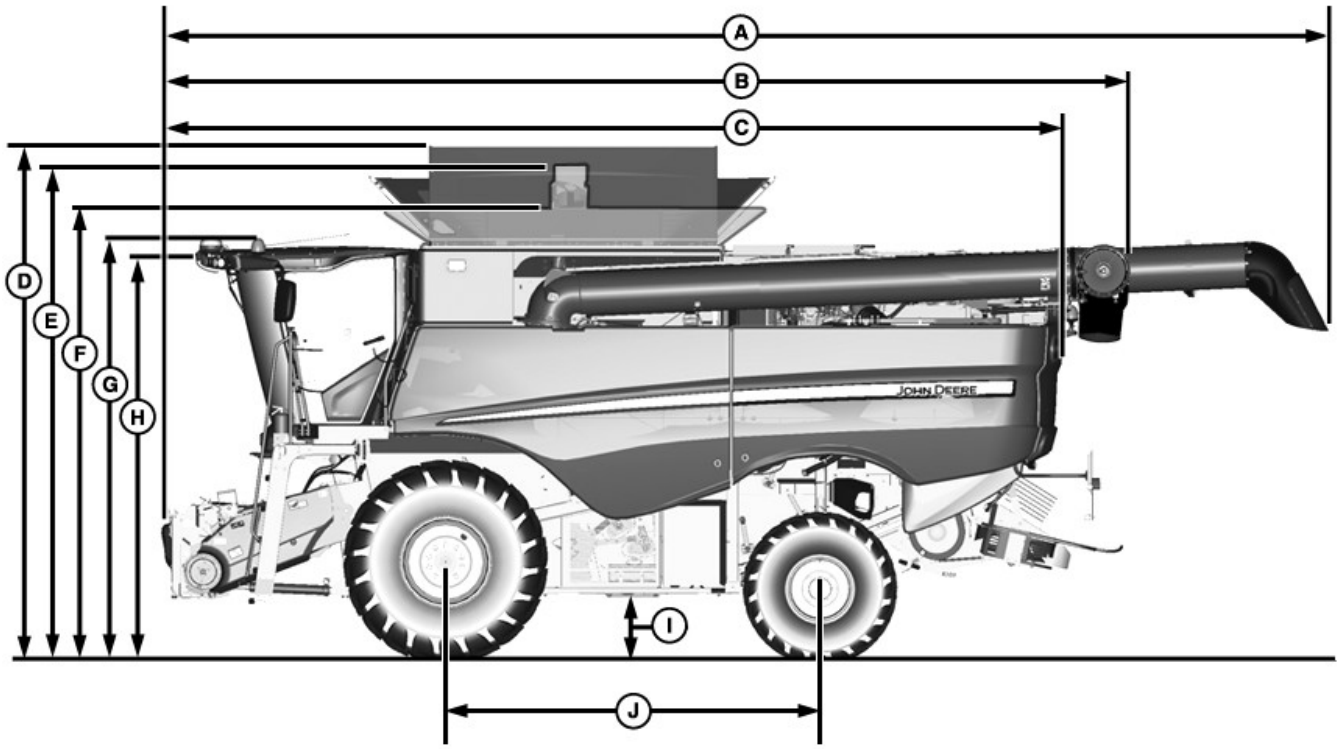
寸法	S780 HillMaster™、S785 HillMaster™、S790 HillMaster™
A	11.02 m (36 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 11.98 m (39 ft 4 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時
B	9.14 m (30 ft 0 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式オーガ装備時 9.93 m (32 ft 7 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式オーガ装備時
C	8.52 m (27 ft 11 in)
D	4.90 ~ 4.91 m (16 ft 1 in ~ 16 ft 2 in)、10 572 L (300 bu) カバー装着時
E	4.62 ~ 4.76 m (15 ft 2 in ~ 15 ft 7 in) クリーングレンローディングオーガ
F	4.30 ~ 4.31 m (14 ft 1 in ~ 14 ft 2 in、10 572 L (300 bu) エクステンション装備時
G	4.04 ~ 4.05 m (13 ft 3 in ~ 13 ft 4 in)
H	3.96 ~ 3.97 m (13 ft 0 in ~ 13 ft 1 in)
I	0.68 ~ 0.69 m (2 ft 2 in ~ 2 ft 3 in)
J	3.53 m (11 ft 7 in)
K	7.67 m (25 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 8.72 m (28 ft 7 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時
L	5.10 ~ 5.35 m (16 ft 9 in ~ 17 ft 7 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 5.30 ~ 5.54 m (17 ft 5 in ~ 18 ft 2 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時
M	4.39 ~ 4.63 m (14 ft 5 in ~ 15 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.42 ~ 4.67 m (14 ft 6 in ~ 15 ft 4 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時
N [a]	4.59 ~ 4.61 m (15 ft 1 in ~ 15 ft 2 in)、6.9 m (22 ft 6 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時 4.84 ~ 4.87 m (15 ft 11 in ~ 16 ft 0 in)、7.9 m (26 ft 0 in) の動力折りたたみ式アンローディングオーガ装備時
O [b]	3.48 ~ 3.68 m (11 ft 5 in ~ 12 ft 1 in) リアタイヤ
P [b]	3.47 ~ 3.80 m (11 ft 5 in ~ 12 ft 6 in) フロントタイヤ

[a]寸法 1.22 m (4 ft) はグレンスピルポイントからの測定値です。これはグレンカートの中心にあるときのアンローディングオーガを表しています。

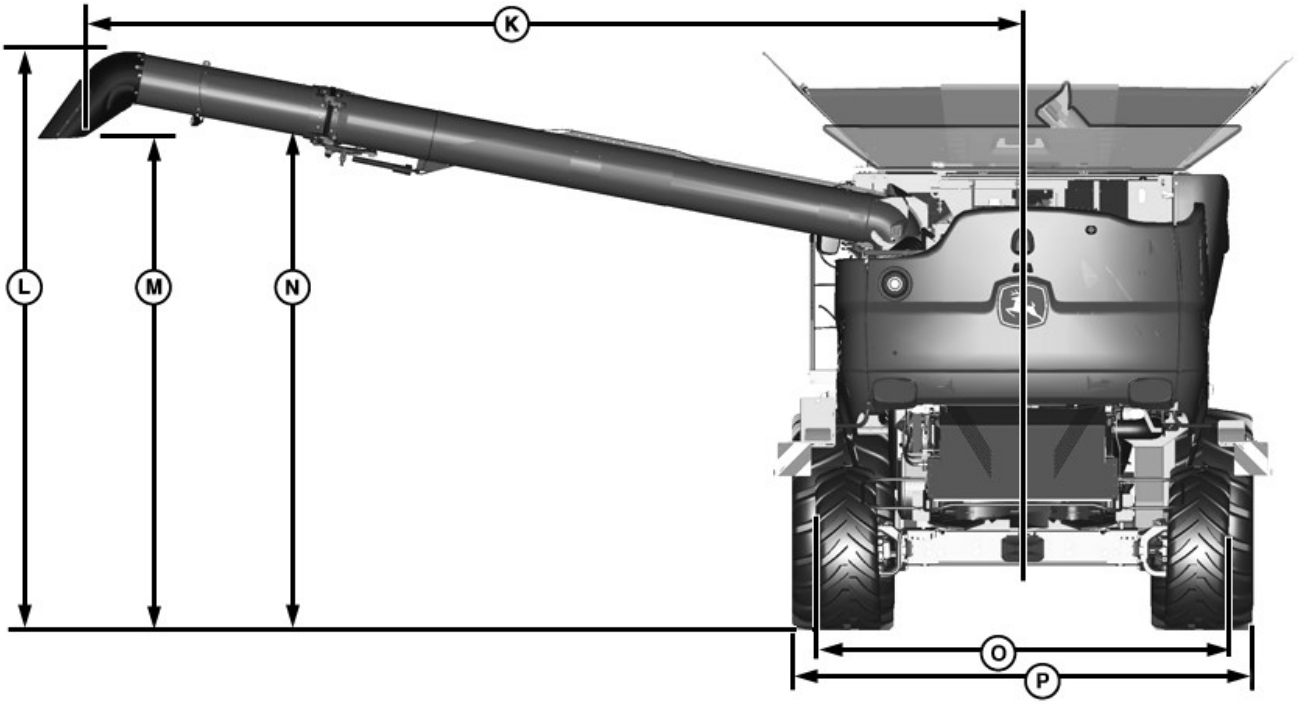
[b]異なるタイヤ構成、条間隔、車軸構成、ホイールオフセット、車軸位置、およびスピンドルの種類により機械の幅が変わります。表の測定値は最小幅と最大幅です。詳細な幅情報については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO6075,0004E5B-40-01JUN20

寸法基準点



H107111—UN—28FEB13



H107112—UN—28FEB13
OUO6075,00049AB-40-30MAY18

全身振動

全身にかかる補正加速度実効値は、代表的な機械で典型的な運転を実施中に測定し、ISO 2631 に従って解析した場合、0.51 ~ 0.73 m/s^2 の範囲です。同じ運転中に、補正ハンドアーム振動実効値は ISO 5349 に従って解析した場合、2.5 m/s^2 未満でした。これらの加速度値は、地面の荒さ、コンバイン操作時の速度、オペレータの経験、重量、運転の癖に依存します。

OUO6075,0000AA6-40-17NOV10

騒音レベル

ISO 4254-7:2017 に従って複数の代表的な機械で測定した運転キャビン内の騒音レベルは 72.8 ~ 77.0 dB(A) です。騒音レベルは、エンジン回転数と負荷、機能の設定、圃場と作物の条件、使用するヘッダーの種類により決まります。

OUO6075,0004BAB-40-16MAY19

電気・電子機器、およびその構成要素の追加設置に関する安全のしおり

この機械は、他の機器の電磁波によって、その機能に影響を受ける可能性のある電子部品が装備されています。このような影響は、安全を害する恐れがあるので、次の安全指示事項を考慮してください。

機械に電気・電子機器の追加設置を行い、さらに機械内のシステムに接続する場合、ユーザーは、これにより電子機器や他の構成要素が影響を受けるどうかを確認する必要があります。特に次のものに対して通用します。

- 面積カウンター
- パーソナルコンピュータ
- GPS (全地球位置測位システム) レシーバ

特に、追加して設置された電子・電気機器は、EMC 指令 89/336/EEC の関連版に準拠している必要があり、CE マークが付いている必要があります。

後でモバイル通信システム (無線通信、電話等) を設置する場合は、次の追加要件を満たす必要があります。

- 正当な国の法律 (ドイツでは BZT 認定) による認可を受けた機器のみを設置する。
- 機器を確実に設置する。
- 携帯型またはモバイル機器は、固定式外部アンテナに接続されている場合のみ車両から操作可能。
- トランスミッタは車両の電子系統から独立して設置する。
- アンテナは専門的な方法で設置し、アンテナと車両のアースの間で良好なアース接続を確保する。

配線、設置、および最大許容電流源は、機械メーカーの設置マニュアルに記載されているものと同様である必要があります。

OUO6075,0000AA8-40-17NOV10

EU 適合宣言

Deere & Company
Moline, Illinois, U.S.A.

署名者は、以下の内容について誤りがないことを宣言する。

機械の種類：コンバイン S700
モデル：S760、S770、S780、S785、S790、 S770HM、S780HM、S785HM、S790HM

上記の製品は、以下の指示と関係するあらゆる規定および基本要件をすべて満たしています：

指令	番号	認定方法
機械指令	2006/42/EC	自己認証
EMC 指令	2014/30/EU	自己認証 (付随書 II)

本製品は、以下の規格またはその他の規範的な文書に準拠しています：

EN ISO 14982: 2009

技術構造ファイルの編集権限を与えられた欧州共同体担当者の氏名および住所：

John Deer Walldorf GmbH and Co.KG
Customer Support
Impexstraße 3
D-69190 Walldorf
EUConformity@JohnDeere.com

この法規遵守の宣言はメーカーの責任において発行されています。

宣言場所：ツヴァイブリュッケン、ドイツ
宣言日：2021 年 4 月 26 日
製造ユニット：John Deere GmbH & Co. KG John Deere Werk Zweibrücken, Germany

氏名：Dr.-Ing. Martin Büermann
役職：Engineering Manager - Region 1 & 2

CE

DXCE01—UN—28APR09
OUO6075,0005081-40-25MAY21

UK 適合宣言

Deere & Company

Moline, Illinois USA

The undersigned hereby declares that:

Machine Type: Combine S700

Model(s): S760; S770; S780; S785; S790 S770HM; S780HM; S785HM; S790HM

Serial Number(s):

fulfill(s) all relevant provisions and essential requirements of the following UK Regulations:

REGULATION	NUMBER	CERTIFICATION METHOD
Machinery Directive	S.I. 2008/1597	Self-certification
EMC Directive	S.I. 2016/1091	Self-certification (Annex II)
RoHS Directive	S.I. 2012/3032	Self-certification

The product is in conformity with the following standards and/or other normative documents:

EN ISO 4254-1:2015

EN ISO 4254-7:2017

EN ISO 14982:2009

EN ISO 12100:2010

Name and address of the person authorized to compile the technical construction file:

John Deere Ltd
Harby Road
Langar
Nottinghamshire
NG13 9HT
United Kingdom
EUConformity@JohnDeere.com

This declaration of conformity is issued under the sole responsibility of the manufacturer.

Place of Declaration: Zweibrücken, Germany

Date of Declaration: 25 March 2021

Manufacturing Unit: John Deere GmbH & Co. KG, John Deere Werk Zweibrücken, Germany

Signed:

Name: Dr.- Ing. Martin Büermann

Title: Engineering Manager Region 1 & 2

Ag&Turf Products Importer: John Deere Ltd- Harby Road, Langar, Nottinghamshire, NG13 9HT, United Kingdom

Forestry Products Importer: John Deere Forestry Ltd- Carlisle Airport Industrial Estate, Carlisle, Cumbria, CA6 4NW

UK CA

H133873—UN—06MAY21
OUO6075,0005080-40-25MAY21

ユーラシア経済連合

TS1738—UN—26APR16

EAC マーク

この情報は、ユーラシア経済連合加入国の EAC 適合マークを表示した製品にのみ適用されます。

メーカー：
Deere & Company, Moline, Illinois U.S.A.

ユーラシア経済連合における正式代表者の名称：
有限会社
「John Deere Rus」

正式代表者の住所：
142050, Russia, Moscow region, Domodedovo district, Domodedovo, Beliye Stolbi micro district, vladenye “Warehouse 104”, Building 2

技術的なサポートについては、お近くの取扱店にご相談ください。

製造日付は、製品のシリアル番号プレート上またはその近くに記載されています。

DX,EAC-40-27APR16

機械の設計寿命

この機械は長期間にわたって生産性の高い運用ができるよう設計および製造されていますが、実際の寿命は作業条件の過酷さや推奨メンテナンスの実施の有無など、多くの要因によって変わります。(このマニュアルの「整備」セクションを参照してください)。

John Deere 取扱店に依頼して機械の定期的な検査と評価を受けてください。評価によって、整備の推奨、部品の修理、再製造または交換、あるいは寿命による機械の運用の中止が求められる場合があります。(機械の部品の廃棄およびリサイクルについては、このマニュアルの「廃棄」のセクションを参照してください)。

安全に関わる部品が喪失または整備を要する場合、機械を使用しないでください。安全標示ラベルを含む、喪失または損傷した安全に関わるすべての部品を修理または交換してから作業してください。

DX,MACH,DESIGN,LIFE-40-14SEP15

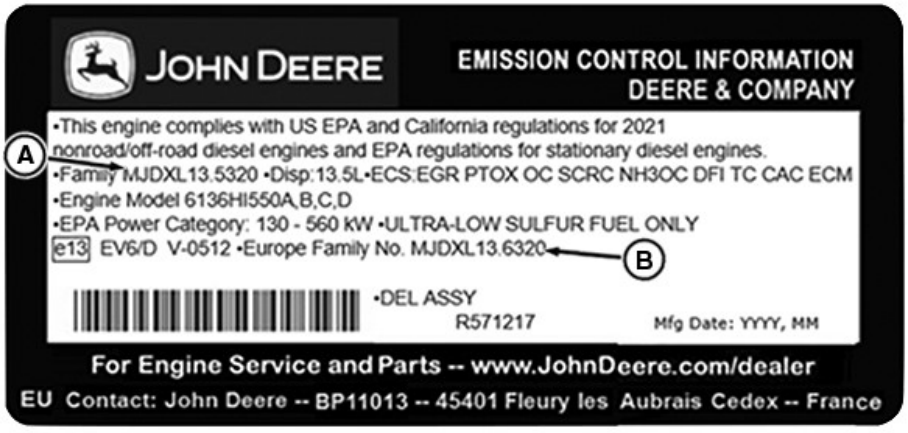
フッ素系温室効果ガス

エアコンシステムは、フッ素系温室効果ガス (F ガス) を含んでいます。	
F ガスの種類：	R-134a
F ガス質量 (kg)：	2.7
等価 CO_2 (ton)：	3.86
地球温暖化係数 (GWP)：	1430

注記： キャブ冷蔵庫 (装備されている場合) は、約 0.040 kg の冷媒を含んでいます。

OUO6075,00045E8-40-21FEB17

二酸化炭素排出量 (CO_2)



RG33430—UN—04FEB21

エンジン排ガスラベル

A：**ファミリー**

B：**欧州ファミリー**

注記： エンジンエミッションラベルにファミリー番号 (A) と欧州ファミリー番号 (B) の両方が記載されている場合は、次の表の使用時に欧州ファミリー番号を参照してください。

注記： ファミリー番号の最初の文字は、表でのファミリー識別に使用しません。

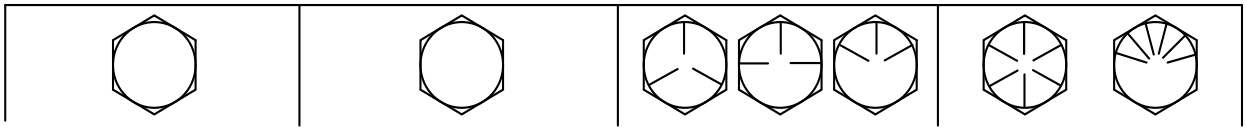
二酸化炭素 (CO_2) 排出量を確認するには、エンジン排ガスラベルの場所を確認してください。排ガスラベルの該当するファミリーを確認し、表を参照します。

排出ラベルファミリー	CO_2 結果
_JDXL02.9323	952 g/kW-hr
_JDXL02.9327	784 g/kW-hr
_JDXL04.5337	819 g/kW-hr
_JDXL04.5338	682 g/kW-hr
_JDXL04.5304	1004 g/kW-hr
_JDXN04.5174	792 g/kW-hr
_JDXL06.8324	720 g/kW-hr
_JDXL06.8328	683 g/kW-hr
_JDXL06.8336	701 g/kW-hr
_JDXN06.8175	771 g/kW-hr
_JDXL09.0319	646 g/kW-hr
_JDXL09.0325	695 g/kW-hr
_JDXL09.0329	657 g/kW-hr
_JDXL09.0333	650 g/kW-hr
_JDXL13.5326	684 g/kW-hr
_JDXL13.6320	651 g/kW-hr
_JDXL13.5340	604 g/kW-hr

この CO_2 測定値は、ラボ条件下でエンジン型式 (ファミリー) を代表する (親) エンジンを一定のテストサイクルにわたってテストして得られたものであり、特定のエンジン性能の保証を暗示または黙示していません。

DX,EMISSIONS,CO2-40-05FEB21

ユニファイインチボルトとねじのトルク値



TS1671—UN—01MAY03

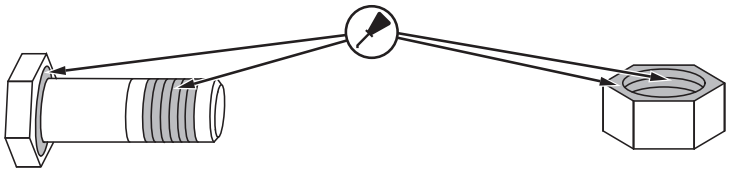
ボルトまたはネジのサイズ	SAE 等級 1[a] 六角頭[c]		SAE 等級 1[a] フランジ付き[d]		SAE 等級 2[b] 六角頭[c]		SAE 等級 2[b] フランジ付き[d]		SAE 等級 5、5.1、5.2 六角頭[c]		SAE 等級 5、5.1、5.2 フランジ付き[d]		SAE 等級 8 または 8.2 六角頭[c]		SAE 等級 8 または 8.2 フランジ付き[d]	
	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in
1/4	3.1	27.3	3.2	28.4	5.1	45.5	5.3	47.3	7.9	70.2	8.3	73.1	11.2	99.2	11.6	103
													N·m	lb·ft	N·m	lb·ft
5/16	6.1	54.1	6.5	57.7	10.2	90.2	10.9	96.2	15.7	139	16.8	149	22.2	16.4	23.7	17.5
									N·m	lb·ft	N·m	lb·ft				
3/8	10.5	93.6	11.5	102	17.6	156	19.2	170	27.3	20.1	29.7	21.9	38.5	28.4	41.9	30.9
					N·m	lb·ft	N·m	lb·ft								
7/16	16.7	148	18.4	163	27.8	20.5	30.6	22.6	43	31.7	47.3	34.9	60.6	44.7	66.8	49.3
	N·m	lb·ft	N·m	lb·ft												
1/2	25.9	19.1	28.2	20.8	43.1	31.8	47	34.7	66.6	49.1	72.8	53.7	94	69.3	103	75.8
9/16	36.7	27.1	40.5	29.9	61.1	45.1	67.5	49.8	94.6	69.8	104	77	134	98.5	148	109
5/8	51	37.6	55.9	41.2	85	62.7	93.1	68.7	131	96.9	144	106	186	137	203	150
3/4	89.5	66	98	72.3	149	110	164	121	230	170	252	186	325	240	357	263
7/8	144	106	157	116	144	106	157	116	370	273	405	299	522	385	572	422
1	216	159	236	174	216	159	236	174	556	410	609	449	785	579	860	634
1-1/8	305	225	335	247	305	225	335	247	685	505	751	554	1110	819	1218	898
1-1/4	427	315	469	346	427	315	469	346	957	706	1051	775	1552	1145	1703	1256
1-3/8	564	416	618	456	564	416	618	456	1264	932	1386	1022	2050	1512	2248	1658
1-1/2	743	548	815	601	743	548	815	601	1665	1228	1826	1347	2699	1991	2962	2185

記載している公称トルク値は、手動トルクレンチなど、想定レンチ精度 20% の一般用途のみに適用されます。
特定の用途のために異なるトルク値や締め付け手順が指定されている場合は、これらの値を使用しないでください。

留め具は、同じ等級またはそれ以上の等級のものと交換してください。より高い等級の留め具を使用する場合は、元の強さで締め付けてください。

ボルトまたはネジのサイズ	SAE 等級 1[a]		SAE 等級 2[b]		SAE 等級 5、5.1、5.2		SAE 等級 8 または 8.2	
	六角頭[c]	フランジ付き[d]	六角頭[c]	フランジ付き[d]	六角頭[c]	フランジ付き[d]	六角頭[c]	フランジ付き[d]
ロックナット、ステンレススチール製留め具、または U ボルトのナットについては、特定の用途の締め付け手順を参照してください。								

- 留め具のねじ山が清浄であることを確認します。
- 以下の図に示すように、Hy-Gard™ または同等のオイルを頭の下および留め具のねじ山に薄く塗ります。
- オイルの量に留意して、過剰なオイルによる止まり穴での油圧ロックアップの可能性を減らしてください。
- ねじ山を正しくかみ合わせます。

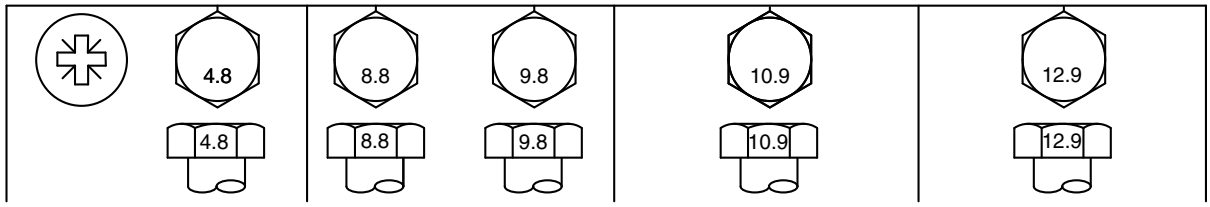


TS1741—UN—22MAY18

[a]等級 1 は、6 in (152 mm) より長い六角キャップスクリューと、他のすべての長さのボルトおよびねじに適用されます。
[b]等級 2 は、長さ 6 in (152 mm) までの (六角ボルトではなく) 六角キャップスクリューに適用されます。
[c]六角頭の列の値は、ISO 4014 および ISO 4017 六角頭、ISO 4162 六角穴付き頭、および ISO 4032 六角ナットに有効です。
[d]六角フランジ付きの列の値は、ASME B18.2.3.9M、ISO 4161、または EN 1665 の六角フランジ付き製品に有効です。

DX,TORQ1-40-30MAY18

メトリックボルトとねじのトルク値

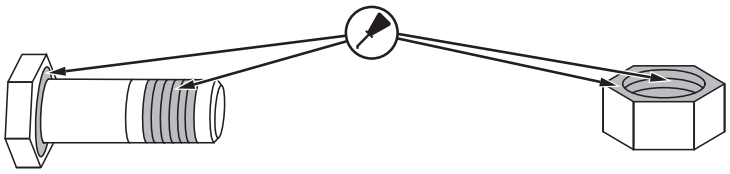


TS1742—UN—31MAY18

ボルトまたはネジのサイズ	4.8クラス				等級 8.8 または 9.8				等級 10.9				等級 12.9			
	六角頭[a]		フランジ付き[b]		六角頭[a]		フランジ付き[b]		六角頭[a]		フランジ付き[b]		六角頭[a]		フランジ付き[b]	
	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in
M6	3.6	31.9	3.9	34.5	6.7	59.3	7.3	64.6	9.8	86.7	10.8	95.6	11.5	102	12.6	112
									N·m	lb·ft	N·m	lb·ft	N·m	lb·ft	N·m	lb·ft
M8	8.6	76.1	9.4	83.2	16.2	143	17.6	156	23.8	17.6	25.9	19.1	27.8	20.5	30.3	22.3
			N·m	lb·ft	N·m	lb·ft	N·m	lb·ft								
M10	16.9	150	18.4	13.6	31.9	23.5	34.7	25.6	46.8	34.5	51	37.6	55	40.6	60	44.3
	N·m	lb·ft														
M12	—	—	—	—	55	40.6	61	45	81	59.7	89	65.6	95	70.1	105	77.4
M14	—	—	—	—	87	64.2	96	70.8	128	94.4	141	104	150	111	165	122
M16	—	—	—	—	135	99.6	149	110	198	146	219	162	232	171	257	190
M18	—	—	—	—	193	142	214	158	275	203	304	224	322	245	356	263
M20	—	—	—	—	272	201	301	222	387	285	428	316	453	334	501	370
M22	—	—	—	—	365	263	405	299	520	384	576	425	608	448	674	497
M24	—	—	—	—	468	345	518	382	666	491	738	544	780	575	864	637
M27	—	—	—	—	683	504	758	559	973	718	1080	797	1139	840	1263	932
M30	—	—	—	—	932	687	1029	759	1327	979	1466	1081	1553	1145	1715	1265
M33	—	—	—	—	1258	928	1398	1031	1788	1319	1986	1465	2092	1543	2324	1714
M36	—	—	—	—	1617	1193	1789	1319	2303	1699	2548	1879	2695	1988	2982	2199

ボルトまたはネジのサイズ	4.8クラス		等級 8.8 または 9.8		等級 10.9		等級 12.9	
	六角頭[a]	フランジ付き[b]	六角頭[a]	フランジ付き[b]	六角頭[a]	フランジ付き[b]	六角頭[a]	フランジ付き[b]
記載している公称トルク値は、手動トルクレンチなど、想定レンチ精度 20% の一般用途のみに適用されます。 特定の用途のために異なるトルク値や締め付け手順が指定されている場合は、これらの値を使用しないでください。 ロックナット、ステンレススチール製留め具、または U ボルトのナットについては、特定の用途の締め付け手順を参照してください。					留め具は、同じ等級またはそれ以上の等級のものと交換してください。より高い等級の留め具を使用する場合は、元の強さで締め付けてください。			

- 留め具のねじ山が清浄であることを確認します。
- 以下の図に示すように、Hy-Gard™ または同等のオイルを頭の下および留め具のねじ山に薄く塗ります。
- オイルの量に留意して、過剰なオイルによる止まり穴での油圧ロックアップの可能性を減らしてください。
- ねじ山を正しくかみ合わせます。



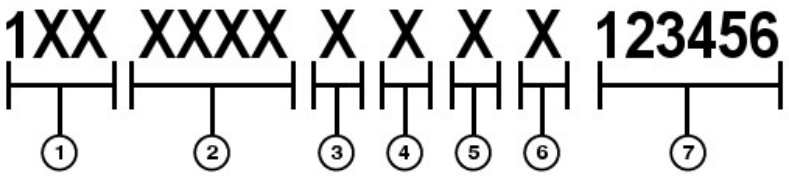
TS1741—UN—22MAY18

[a]六角頭の列の値は、ISO 4014 および ISO 4017 六角頭、ISO 4162 六角穴付き頭、および ISO 4032 六角ナットに有効です。
[b]六角フランジ付きの列の値は、ASME B18.2.3.9M、ISO 4161、または EN 1665 の六角フランジ付き製品に有効です。

DX,TORQ2-40-30MAY18

機械識別番号

機械シリアル番号の解釈



H105725—UN—22AUG12

1	メーカーコード	収穫装置の製造工場	
		CQ - John Deere Horizontina H0 - John Deere Harvester Works EK - John Deere Orenburg KM - Machinenfabrik Kemper GmbH & Co. KG PY - John Deere India Pvt. Ltd	Maschinenfabrik Kemper GmbH & Co. KG YC - John Deere (Jiamusi) Agricultural Machinery Co., Ltd. YH - John Deere (Harbin) Agriculture Machinery Co., Ltd Z0 - John Deere Werke Zweibrucken
2	機械モデル ID		
3	モデル ID サフィックス 機械構成コード 追加機械情報		例：N、T、W など
4	チェック文字		例：A、B、C、D など
5	製造年		「製造年コード」の表を参照
6	追加情報		
7	製造シリアル番号		例：000001、000127 など

製造年のコード							
年	**コード**	**年**	**コード**	**年**	**コード**	**年**	**コード**
2008	8	2018	J	2028	W	2038	8
2009	9	2019	K	2029	X	2039	9
2010	A	2020	L	2030	Y	2040	A
2011	B	2021	M	2031	1	2041	B
2012	C	2022	N	2032	2	2042	C
2013	D	2023	P	2033	3	2043	D
2014	E	2024	R	2034	4	2044	E
2015	F	2025	S	2035	5	2045	F
2016	G	2026	T	2036	6	2046	G
2017	H	2027	V	2037	7	2047	H

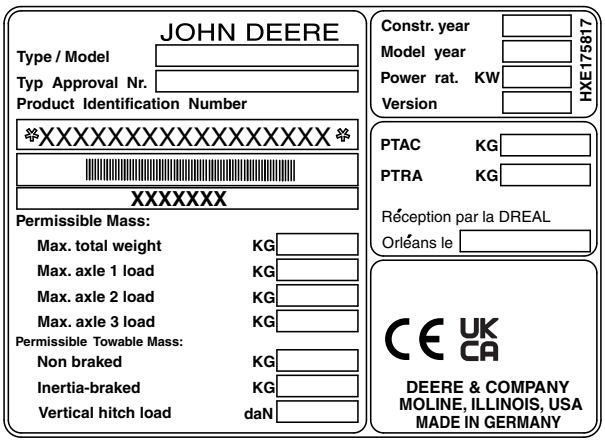
OUO6075,0004F74-40-22OCT20

識別番号

機械にはさまざまな識別プレートがあります。プレートに刻印された文字と数字によって部品またはアセンブリを識別します。部品の注文時、または John Deere 製品サポートプログラムのために機械や構成部品を識別するときには、これらの文字がすべて必要です。また、機械が盗難にあった場合、警察などが機械を追跡するために必要です。以下の各写真で示す箇所にあるこれらの文字を正確に記録してください。

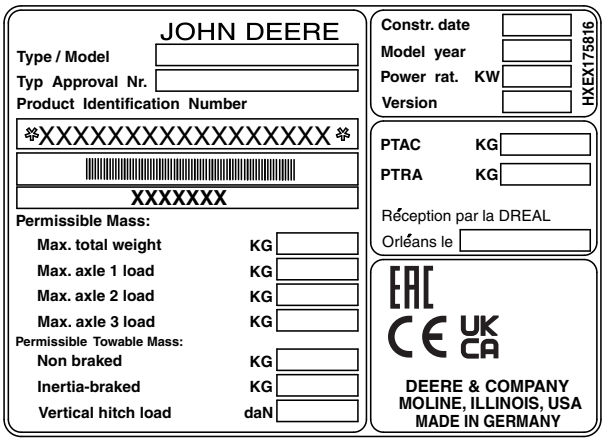
OUO6075,0000BE0-40-04MAY11

機械識別プレート



H134229—UN—27APR21

サンプル識別プレート



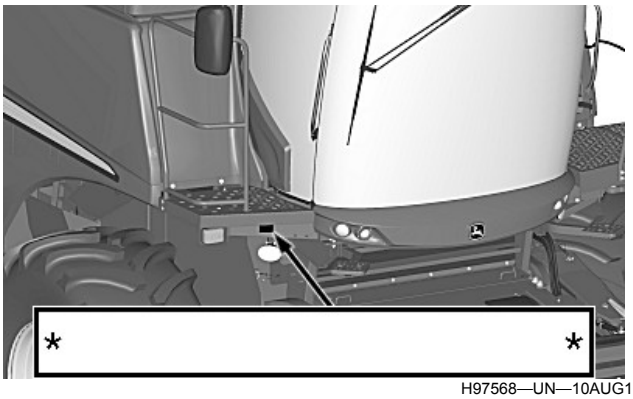
H134230—UN—27APR21

サンプル識別プレート

注記： 機械識別プレートは機械が出荷された場所に応じて異なります。機械識別プレートの位置を確認し、ここに記載している情報と比較してください。

OUO6075,00050B8-40-27APR21

機械識別プレートの位置

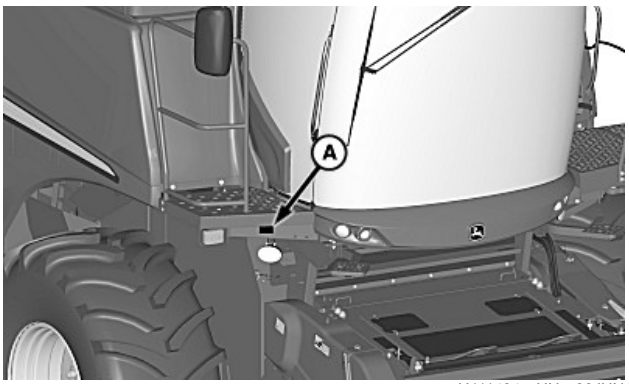


H97568—UN—10AUG10

キャビン手すり踊り場の右側にあります。

OUO6075,0000BE1-40-04MAY11

ユーラシア経済連合適合ラベルの位置



H111494—UN—30JUN14

A：**適合ラベル**

注記： この情報は、ユーラシア経済連合加入国の EAC 適合マークを表示している製品にのみ適用されます。

適合ラベル (A) は、キャブ手すり踊り場の右側にあります。

OUO6075,00041B8-40-12NOV15

機械シリアル番号の解釈

H112201—UN—06NOV14

エンジンシリアル番号プレートのサンプル

個々のエンジンには 13 桁の John Deere シリアル番号があり、これには製造工場、エンジンモデル名称、6 桁の通し番号が含まれます。

エンジンシリアル番号 (A)

9.0 L 例 (RG6090U123456)
13.5 L 例 (RG6135U123456)

RG . . . . . エンジン製造工場のコード
- RG . . . . . .Waterloo, Iowa, USA

6090 . . . . . シリンダ数と総排気量
- 6090 . . . . . .6 シリンダ、9.0 L

6135 . . . . . シリンダ数と総排気量
- 6135 . . . . . .6 シリンダ、13.5 L

U . . . . . 排出ガス規制認定
- B. . . . . 非認証
- C. . . . . ティア 1 / ステージ 1
- D. . . . . ティア 2 / ステージ II
- L . . . . . ティア 3 / ステージ III A
- R. . . . . .インテリムティア 4 / ステージ III B
- U または V. ファイナルティア 4 / ステージ IV およびステージ V

123456 . . . . . .エンジンシリアル番号

エンジンモデル番号 (B)

9.0 L の例 (6090HFC09)
13.5 L の例 (6135HFC09)

6090 . . . . . シリンダ数と総排気量
- 6090 . . . . . .6 シリンダ、9.0 L

6135 . . . . . シリンダ数と総排気量
- 6135 . . . . . .6 シリンダ、13.5 L

H . . . . . エンジン吸気方式
- D. . . . . 自然吸気
- T. . . . . .ターボ過給
- A. ターボチャージャ、アフタークーラ付き (水冷式、クーラント)
- H. . . . . .ターボ過給、空冷式アフタークーラー装備
- S. . . . . .ターボ過給、アフタークーラ付き (水冷式、海水)

9.0 L の例 (6090HFC09)
13.5 L の例 (6135HFC09)

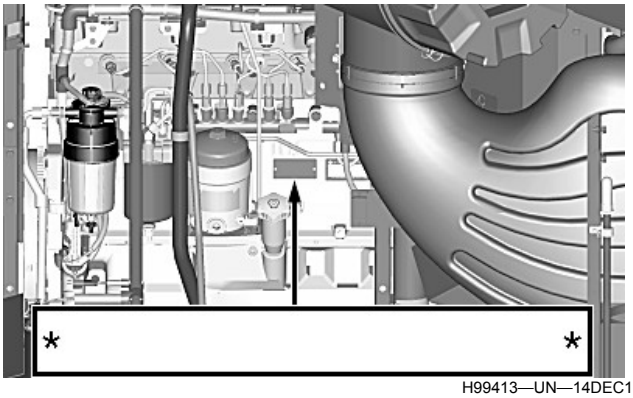
F . . . . . ユーザー種別
- F . . . . . .OEM (John Deere Power Systems
- XX. .その他の文字は John Deere 装置の製造場所を示します。

C . . . . . 産業用
- C. . . . . 産業用
- G. . . . . 発電機用

09. . . . . エンジン構成
- 09 . . . . . .PSS (直列ターボチャージャ、DOC/DPF、SCR)
- 94 . . . . . PVX (シングル VGT ターボチャージャ)
- 95 . . . . . PSX (直列ターボチャージャと後処理装置)

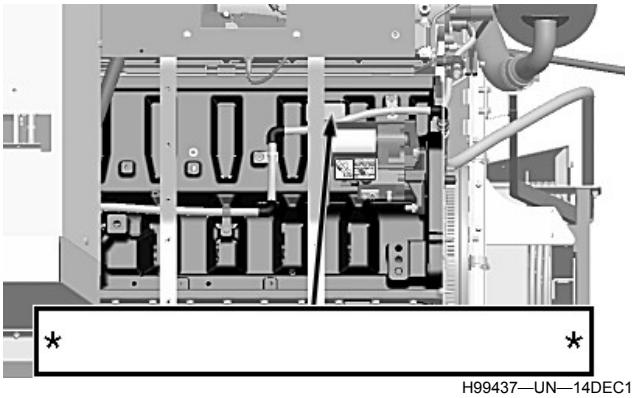
OUO6075,0004A29-40-25SEP18

エンジンシリアル番号 (ティア 2 / ステージ II)



H99413—UN—14DEC10

スタイル *A*



H99437—UN—14DEC10

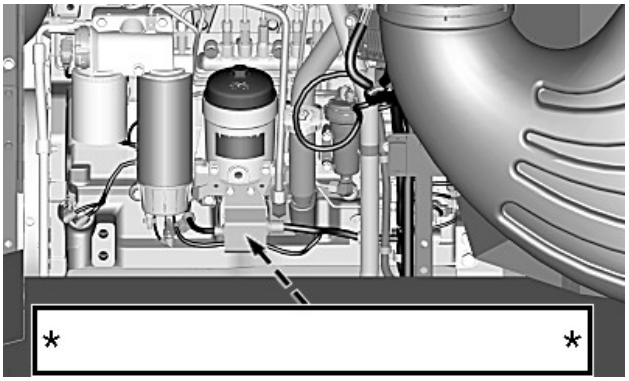
スタイル *B*

スタイル A：エンジンの後側にあります。

スタイル B：エンジンの前側、スタータの上にあります。

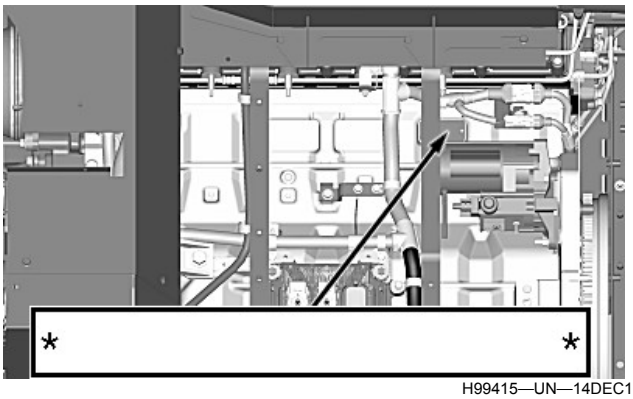
OUO6075,00044A4-40-14NOV16

エンジンシリアル番号 (ファイナルティア 4 / ステージ V)



H99414—UN—14DEC10

スタイル *A*



H99415—UN—14DEC10

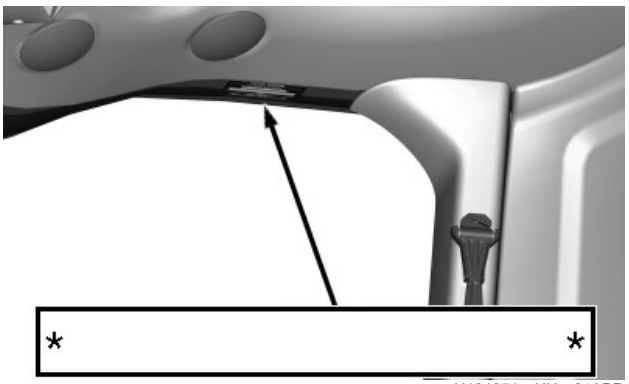
スタイル *B*

スタイル A：エンジンの後側にあります。

スタイル　B：スタータの上のエンジンの前側にあります。

OUO6075,000482A-40-14NOV17

キャブシリアル番号

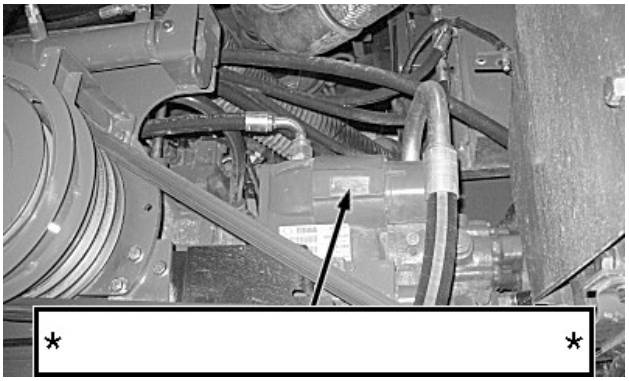


H121251—UN—24APR17

キャビンの上後方の右隅にあります。

OUO6075,0004716-40-13APR17

ハイドロスタティックドライブユニットポンプ



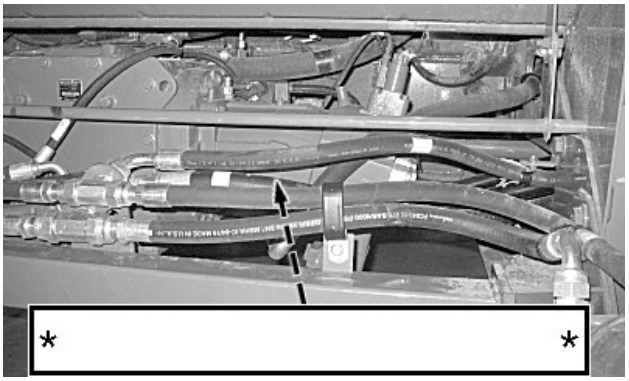
H99421—UN—14DEC10

機械式シフトおよび押しボタンシフトの機械の場合

ハイドロスタティック駆動ポンプの側面にあります。

OUO6075,0001059-40-27FEB12

ハイドロスタティックドライブユニットモーター



H99424—UN—14DEC10

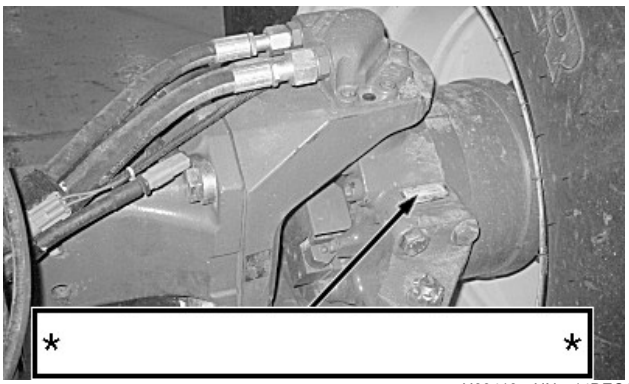
ProDrive 装備の機械の場合

機械式シフトおよび押しボタンシフトの機械：ハイドロスタティック駆動モーターの上側にあります。

ProDrive　装備の機械：ハイドロスタティックドライブモーターの下側にあります。

OUO6075,0001058-40-27FEB12

2 速四輪駆動モーター

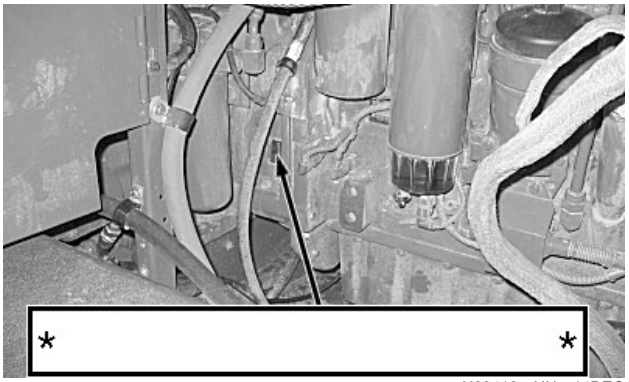


H99419—UN—14DEC10

四輪駆動モーターの上側にあります。

OUO6075,0000AF4-40-14APR11

エンジンギヤケース

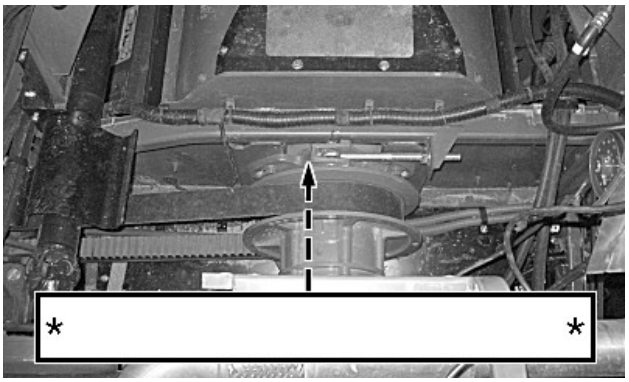


H99418—UN—14DEC10

エンジンギヤケースの後側にあります。

OUO6075,00046E7-40-28MAR17

ローター駆動ギヤケース

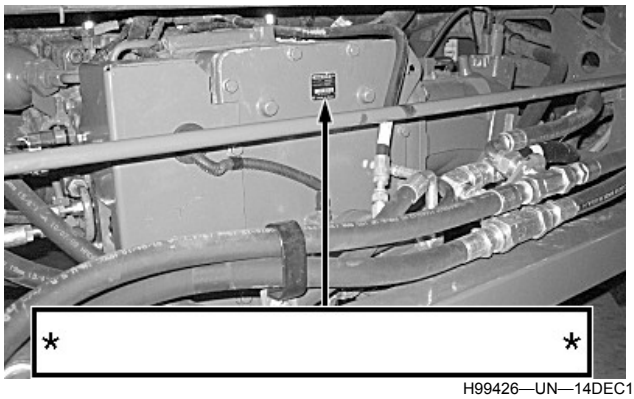


H99430—UN—14DEC10

ローター駆動ギヤケースの左側にあります。

OUO6075,00046E8-40-28MAR17

トランスミッション



H99426—UN—14DEC10

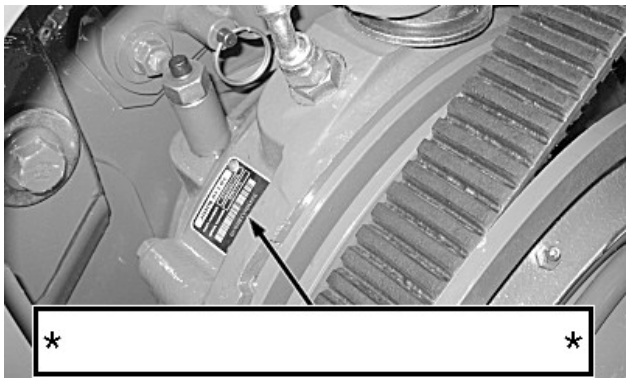
ProDrive トランスミッションの場合

機械式シフトおよび押しボタンシフトの機械：トランスミッションの側面にあります。

ProDrive 装備の機械：トランスミッションの前側にあります。

OUO6075,0001056-40-27FEB12

フィーダーハウスリバーサ

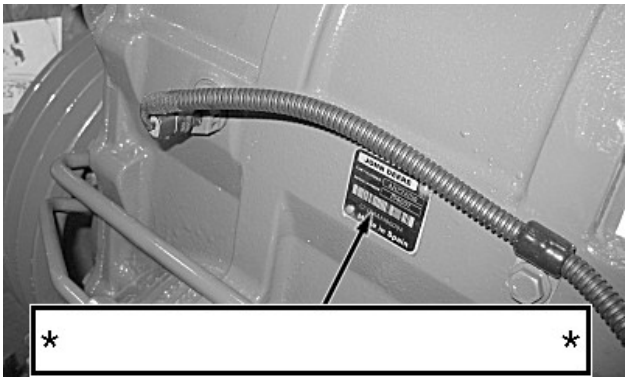


H99432—UN—14DEC10

フィーダーハウスリバーサの上側にあります。

OUO6075,0000AF9-40-14DEC10

多速度フィーダーハウスギヤケース (装備されている場合)

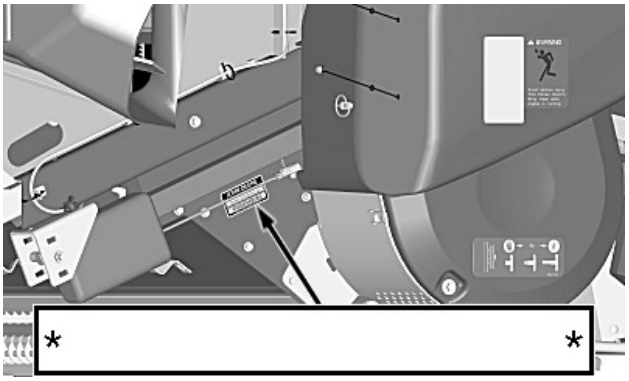


H99431—UN—14DEC10

多速度フィーダーハウスギヤケースの後側にあります。

OUO6075,00046E9-40-28MAR17

チョッパー (装備されている場合)

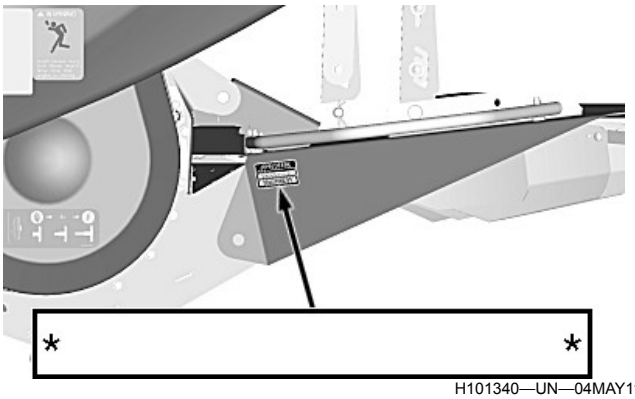


H101339—UN—04MAY11

チョッパーの左側にあります。

OUO6075,0000C27-40-04MAY11

羽根テールボード (Deluxe、Intermediate、Premium Residue)



H101340—UN—04MAY11

羽根テールボードの左側にあります。

OUO6075,0001820-40-28MAY14

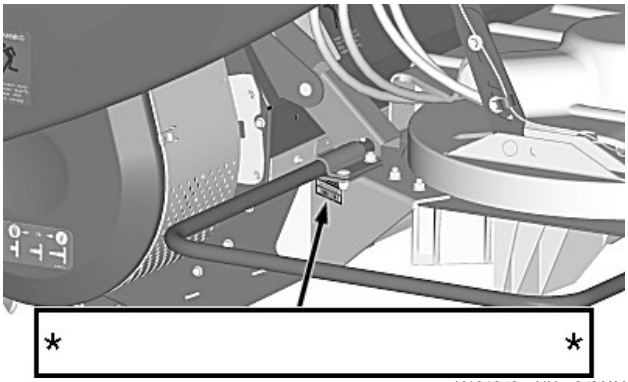
Advanced PowerCast™ テールボード (Intermediate、Premium Residue)

H101342—UN—04MAY11

Advanced PowerCast™ テールボードの左側にあります。

OUO6075,0001821-40-28MAY14

PowerCast テールボード (Deluxe Residue)



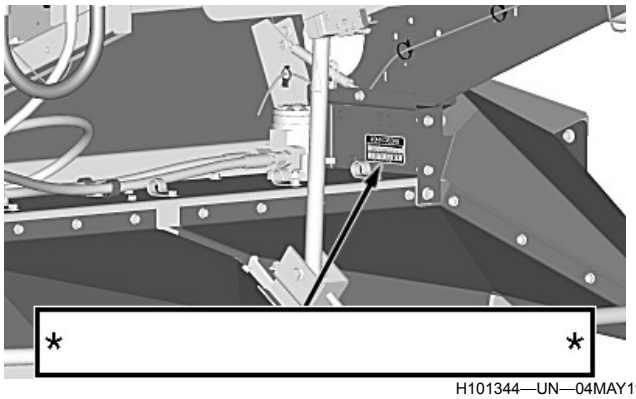
H101343—UN—04MAY11

PowerCast テールボードの左側にあります。

OUO6075,0000C2A-40-04MAY11

PowerCast は John Deer の商標です。

スプレッダー (Deluxe Residue)



H101344—UN—04MAY11

スプレッダーの右側にあります。

OUO6075,0000C2B-40-04MAY11

所有権証明の保管

TS1680—UN—09DEC03

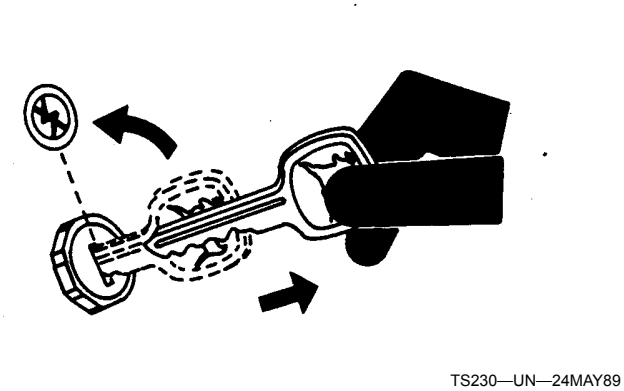
1. すべての製品と部品の最新のシリアル番号目録を安全な場所に保管します。
2. 識別プレートが取り外されていないことを定期的に確認します。 何らかの改ざんの形跡があれば法執行機関に報告し、同一のプレートを発注してください。
3. 実行可能なその他の手順：

   ：独自の番号システムで機械に印を付けます。

   ：いくつかのアングルから各機械のカラー写真を撮ります。

DX,SECURE1-40-28NOV12

機械の安全な保管



TS230—UN—24MAY89

1. 破壊防止装置を取り付けます。
2. 機械の保管中の注意事項：

   ：装置を地面に降ろします。

   ：車輪幅を最大位置にして積み込みにくくします。

   ：すべてのキーとバッテリを取り外します。
3. 屋内に駐車する場合は、大型装置を出入口の前に置いて保管庫を施錠します。
4. 屋外に駐車する場合は、明るくフェンスで囲まれた場所に保管します。
5. 不審な行為は記録して、盗難があれば直ちに法執行機関に報告します。
6. 損害があれば John Deere 取扱店にご連絡ください。

DX,SECURE2-40-28NOV12

利用可能な John Deere 整備関連文書

技術情報

John Deere から技術情報をご購入いただけます。出版物は、印刷版または CD-ROM 形式でご利用いただけます。

以下のいずれかの方法で注文できます。

- John Deere 技術情報ストア：**www.JohnDeere.com/TechInfoStore**
- 電話：1-800-522-7448
- John Deere 取扱店へのお問い合わせ

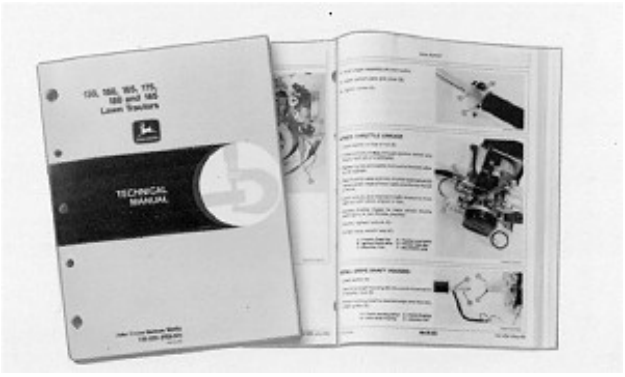
ご利用いただける情報には次のものがあります。

TS189—UN—17JAN89

正しい部品を識別できるように、部品カタログには、お使いの機械に利用可能な整備部品が分解組立図と共に記載されています。これは組み立て、分解の際にも役立ちます。

TS191—UN—02DEC88

オペレータマニュアルは、安全、操作、メンテナンス、および整備に関する情報を提供します。



TS224—UN—17JAN89

技術マニュアルでは、お使いの機械に関する整備情報を概説します。また、仕様、組み立て / 分解手順の図解、作動油フロー図解、配線図が含まれます。一部の製品では、修理および診断情報のマニュアルは別冊となっています。エンジンなどの一部の構成部品に関しては、独立した部品技術マニュアルが用意されています。

TS1663—UN—10OCT97

教育カリキュラムは、メーカーに関係なく、基本的な情報を詳しく説明している以下の 5 つの包括的なシリーズの書籍を用意しています。

- Agricultural Primer (農業入門) シリーズは、農業および牧場における技術を扱っています。
- Farm Business Management (農業ビジネス管理) シリーズは、「実世界」の問題を調査し、マーケティング、資金調達、機器の選択、およびコンプライアンスの分野での実践的な解決法を提供しています。
- 整備の基礎マニュアルでは、オフロード機器の修理方法とメンテナンス方法を解説しています。
- 機械操作の基礎マニュアルでは、機械能力と調整、機械性能を向上させる方法、不必要な圃場作業をなくす方法について説明しています。
- 小型装置の基礎マニュアルでは、40 PTO 馬力までの装置の整備とメンテナンスの手順について説明しています。

DX,SERVLIT-40-07DEC16

John Deere のサービスがお客様の現場を守ります

John Deere 製部品

TS100—UN—23AUG88

当社は、正規の John Deere 製部品を迅速にお届けして、ダウンタイムを最小限に抑えます。

豊富で充実した在庫を常に維持し、お客様のニーズを先取りしてお応えいたします。

DX,IBC,A-40-04JUN90

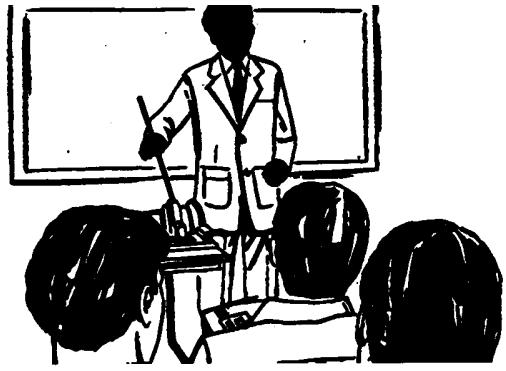
適切な工具

TS101—UN—23AUG88

お客様の時間と経費を無駄にしないように、当社のサービス部門は、精密工具と検査機器を使用して迅速に故障を特定し、修理を行います。

DX,IBC,B-40-04JUN90

十分な訓練を受けた技術員



TS102—UN—23AUG88

John Deere 整備士にとって学習期間が終了することはありません。

お客様の機器およびそのメンテナンス方法を担当者に習得させるため、訓練教育は定期的に行われています。

その結果が、お客様に信頼していただける知識です。

DX,IBC,C-40-04JUN90

迅速なサービス

TS103—UN—23AUG88

当社の目標は、お客様の望む時に、お客様の望む場所で、迅速で効率的なケアを提供することです。

お客様の所在地、または当社にて、それぞれの状況に応じた修理を行うことができます。 何でもご安心してご相談ください。

卓越した JOHN DEERE のサービス： いつでも必要な時にお応えいたします。

DX,IBC,D-40-04JUN90

索引

A

Active Terrain Adjustment のアクティブ調整 .. 45-L-5
Active Terrain Adjustment の完了済みの調整 .. 45-L-6
Active Terrain Adjustment の履歴 45-L-4
Active Terrain Adjustment™ ステータス 45-L-16
Active Terrain Adjustment™ の設定 45-L-13
ActiveYield™ 45-K-12
クロスオーガカバーの取り外し 75-4
センサーの位置 75-5
ActiveYield™
キャリブレーション補正 45-K-14
ステータス表示灯 45-K-12
リセット 45-K-14
詳細設定 45-K-13
Advanced PowerCast
交換
スプレッダーディスク 70-24
Auto Maintain ステータス 45-L-17
Auto Maintain のアクティブ調整 45-L-5
Auto Maintain の応答の感応度 45-L-28
Auto Maintain の完了済みの調整 45-L-6
Auto Maintain の履歴 45-L-4
Auto Maintain 設定 45-L-28
AutoTrac™ 再開ボタン (装備されている場合) 45-M-34

C

CB
ラジオの配線 20-3
無線機の取り付け 20-3
Combine Advisor™
Active Terrain Adjustment™ ステータス 45-L-16
Active Terrain Adjustment™ の設定 45-L-13
Auto Maintain ステータス 45-L-17
Auto Maintain 設定 45-L-28
Combine Advisor™ メインページ 45-L-1
HarvestSmart™ ステータス 45-L-15
HarvestSmart™ 自動化 45-L-11
HarvestSmart™ 設定 45-L-9
アクセス 45-L-1
アクティブ調整 45-L-5
エンジン出力目標 45-L-12
オフセットの詳細 45-L-7
オフセット調整 クリーニングファン 45-L-21
オフセット調整 チャファー 45-L-18
オフセット調整 ふるい 45-L-19
カメラレンズの汚れ 45-L-8
キャブ外調整 45-L-26
グレンシステムビデオ 45-L-3
グレンロス感度 45-L-28
シューロス 45-L-23
セパレーターベーンの調整 45-L-25
セパレータロス 45-L-23
トラブルシューティング 135-22
パフォーマンスモニター 45-L-4
レンズの汚れ 45-L-8
わら品質の問題 45-L-24
異物感度 45-L-29
移動速度の調整 45-L-25
応答の感応度 45-L-10, 45-L-28
下り坂感度 45-L-14
過剰 2 番還元物 45-L-24
解決策 45-L-24
完了済みの調整 45-L-6
軽い異物 45-L-23
自動化ステータス 45-L-9
重い異物 45-L-23
詳細設定 45-L-3
上り坂感度 45-L-14
性能の最適化 45-L-18
性能の問題 45-L-22
性能目標の設定 45-L-21
速度制限 45-L-10
調整の詳細 45-L-8
破損グレン 45-L-23
破損グレン感度 45-L-29
未脱穀ロス 45-L-23
未脱穀材 45-L-23
目標を維持できません 45-L-20
履歴 45-L-4
Combine Advisor™ へのアクセス 45-L-1
Combine Advisor™ メインページ 45-L-1
Combine Advisor™ 詳細設定 45-L-3
ComfortCommand™ 運転席 (プレミアムクロスシート) 45-M-16
ComfortCommand™ 運転席 (プレミアムレザーシート) 45-M-17
ComfortCommand™ 運転席 (ベーシックシート) 45-M-15
CommandARM™ 45-A-4
CommandARM™ コンソールとディスプレイ . 45-M-6
CommandARM™ コントロールのセットアップ 45-A-3
CommandCenter™ ディスプレイ
Combine Advisor™
性能目標の設定 45-L-21
Combine Advisor™ アプリケーション
Active Terrain Adjustment™ ステータス . 45-L-16
Active Terrain Adjustment™ の設定 45-L-13
Auto Maintain ステータス 45-L-17
Auto Maintain 設定 45-L-28
Combine Advisor™ へのアクセス 45-L-1
Combine Advisor™ メインページ 45-L-1
HarvestSmart™ ステータス 45-L-15
HarvestSmart™ 自動化 45-L-11
HarvestSmart™ 設定 45-L-9
アクティブ調整 45-L-5
エンジン出力目標 45-L-12
オフセットの詳細 45-L-7
オフセット調整 クリーニングファン 45-L-21
オフセット調整 チャファー 45-L-18
オフセット調整 ふるい 45-L-19
キャブ外調整 45-L-26

グレンシステムビデオ 45-L-3
グレンロス感度 45-L-28
シューロス 45-L-23
セパレーターベーンの調整 45-L-25
セパレータロス 45-L-23
パフォーマンスモニター 45-L-4
レンズの汚れ 45-L-8
わら品質の問題 45-L-24
異物感度 45-L-29
移動速度の調整 45-L-25
応答の感応度 45-L-10, 45-L-28
下り坂感度 45-L-14
過剰 2 番還元物 45-L-24
解決策 45-L-24
完了済みの調整 45-L-6
軽い異物 45-L-23
自動化ステータス 45-L-9
重い異物 45-L-23
詳細設定 45-L-3
上り坂感度 45-L-14
性能の最適化 45-L-18
性能の問題 45-L-22
速度制限 45-L-10
調整の詳細 45-L-8
破損グレン 45-L-23
破損グレン感度 45-L-29
未脱穀ロス 45-L-23
未脱穀材 45-L-23
目標を維持できません 45-L-20
履歴 45-L-4
HVAC アプリケーション
HVAC へのアクセス 45-H-1
エアコンシステム 45-H-3
エアフローモード 45-H-3
ヒーター、換気、エアコン (HVAC) メインページ 45-H-1
ファン回転速度 45-H-2
温度の設定 45-H-2
外気温 45-H-3
エンジンアプリケーション
エアコンプレッサ 45-G-6
エアコンプレッサステータス 45-G-7
エンジンクールダウン進行中 45-G-5
エンジンへのアクセス 45-G-1
エンジンメインページ 45-G-1
エンジン出力 45-G-2
デブリ管理ろ過容量 45-G-6
自動排気フィルタクリーニング 45-G-3
自動排気フィルタクリーニングの無効化 .. 45-G-5
駐車フィルタクリーニング 45-G-4
排気フィルタシステムの概要 45-G-3
キャリブレーションアプリケーション
ActiveYield™ 45-K-12
ActiveYield™
キャリブレーション補正 45-K-14
ステータス表示灯 45-K-12
リセット 45-K-14
詳細設定 45-K-13
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) エア抜き 45-K-24
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) エア抜きのキャリブレーション手順 45-K-24
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) 水平調整 45-K-24
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) 水平調整のキャリブレーション手順 45-K-25
アンローディングオーガの接続 45-K-16
アンローディングオーガの接続のキャリブレーション手順 45-K-17
キャリブレーションと手順の概要 45-K-1
キャリブレーションと手順へのアクセス ... 45-K-1
コーンヘッドの折りたたみ 45-K-22
シャーシ傾斜 45-K-15
デッキプレート間隔 45-K-17
手順 45-K-17
フィーダーハウス横方向傾斜速度 45-K-21
フィーダーハウス横方向傾斜速度キャリブレーション手順 45-K-21
フィーダーハウス横方向傾斜範囲 45-K-20
フィーダーハウス横方向傾斜範囲キャリブレーション手順 45-K-21
フィーダーハウス傾斜前後位置範囲 45-K-20
フィーダーハウス傾斜前後位置範囲キャリブレーション手順 45-K-20
フィーダーハウス上昇速度 45-K-18
フィーダーハウス上昇速度キャリブレーション手順 45-K-18
ヘッダーキャリブレーション 45-K-18
ヘッダーキャリブレーション手順 45-K-19
リールとカッターバーの位置 45-K-22
リールとカッターバー位置のキャリブレーション手順 45-K-23
黄色のフラッシャー 45-K-23
黄色のフラッシャーのキャリブレーション手順 . 45-K-23
質量流量振動 45-K-1
質量流量振動のキャリブレーション手順 ... 45-K-2
収穫量
未使用のサンプルを削除 45-K-12
収穫量
キャリブレーションの編集 / 選択 45-K-10
キャリブレーション品質 45-K-4
キャリブレーション品質インジケーター 45-K-7
ステータス表示灯 45-K-5
リセット 45-K-10
記録ステータス 45-K-9
質量流量 45-K-8
収集したサンプルのステータス 45-K-8
重量インジケーター 45-K-9
詳細設定 45-K-7
秤量重量と一致 45-K-6
収穫量キャリブレーション 45-K-4

伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテスト..... 45-K-19
伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテストキャリブレーション手順 45-K-19
水分センサー
手順.....45-K-2
水分センサーのキャリブレーション 45-K-2
折りたたみ式コーンヘッドキャリブレーション手順..... 45-K-22
脱穀すき間 (アクティブコンケーブアイソレーション) 45-K-15
脱穀すき間 (標準コンケーブの調整) 45-K-3
脱穀すき間 (標準コンケーブの調整) のキャリブレーション手順.....45-K-3
グレン処理アプリケーション
カスタムアラームレベル 45-D-3
グレンレベル..... 45-D-3
グレンレベルオートビーコン 45-D-2
グレン処理メインページ 45-D-1
ステータスセンター..... 45-D-5
タンクアンローディングオフセット 45-D-3
詳細設定..... 45-D-2
水分の設定 45-D-4
水分補正..... 45-D-5
コントロールのセットアップアプリケーション
CommandARM™.....45-A-4
CommandARM™ コントロールのセットアップ 45-A-3
アプリケーションの割り当て 45-A-6
コントロールのセットアップの概要 45-A-1
コントロールのセットアップへのアクセス 45-A-1
シングル位置割り当ての作成 45-A-4
スクロールボタン 45-A-6
デュアル位置割り当ての作成 45-A-5
機能の割り当て 45-A-7
多機能レバー.....45-A-2
多機能レバーのコントロールのセットアップ 45-A-2
コンバインの概要
AutoTrac™ 再開ボタン (装備されている場合) .. 45-M-34
Comfort Command™ 運転席 (アルティメットレザーシート) 45-M-17
ComfortCommand™ 運転席 (プレミアムクロスシート) 45-M-16
ComfortCommand™ 運転席 (ベーシックシート) 45-M-15
CommandARM™ コンソールとディスプレイ ... 45-M-6
HVAC 45-M-21
ProDrive™ (装備されている場合).....45-M-31
VisionTrak™ 45-M-36
アンローディングオーガドライブスイッチ 45-M-34
アンローディングオーガ旋回スイッチ....45-M-34
エーテルインジェクションの操作 (装備されている場合) 45-M-15
エンジンおよびグラウンド走行 45-M-22
オーバーヘッドコントロール 45-M-11
キースイッチ.....45-M-12
キャブ右側の項目 45-M-9
キャブ左側の項目 45-M-11
クイックストップスイッチ 45-M-33
クリーニングファン回転速度調整.....45-M-28
コーナーポストディスプレイ 45-M-3
コンソールとディスプレイ 45-M-24
コンバインの概要 45-M-1
シートコントロール.....45-M-12
シートベルト.....45-M-19
ステアリングホイールの調整 45-M-13
セパレータの接続 45-M-26
チャファー調整.....45-M-29
デフロック (装備されている場合).....45-M-32
ナビゲーションバー..... 45-M-8
フィーダーハウスバックシャフト速度、調整式コーンヘッドデッキプレート (装備されている場合) 45-M-35
フィーダーハウスリバーサ 45-M-25
ふるい調整 45-M-29
フロントガラスワイパー / ウォッシャーの操作 . 45-M-14
フロントコンソール..... 45-M-2
ヘッダーの接続 45-M-26
ヘッダー起動ボタン 45-M-36
ヘッダー昇降および傾斜スイッチ 45-M-35
ベルトピックアップクリーンアウト 45-M-25
ライト 45-M-23
ライトの操作.....45-M-13
ラジオ 45-M-22
サーチ 45-M-30
リール上昇 / 下降、リール前後位置 (装備されている場合) スイッチ 45-M-35
押しボタンシフトギヤ (装備されている場合) ... 45-M-30
教習シート 45-M-19
四輪駆動 (装備されている場合) 45-M-31
収穫のコントロール.....45-M-20
多機能レバー..... 45-M-6
脱穀すき間調整.....45-M-27
脱穀速度調整.....45-M-27
駐車ブレーキ.....45-M-32
道路輸送切断.....45-M-31
燃料レベルインジケーター.....45-M-33
排ガスフィルタクリーニング表示灯 45-M-32
排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルインジケーター.....45-M-33
方向指示器、ホーン、ハイ / ロービームの操作 . 45-M-13
トランスミッションアプリケーション
トランスミッションへのアクセス.....45-I-1
トランスミッションメインページ.....45-I-1

最大速度 1、2 .....45-I-2
詳細設定 ProDrive™ リンプホームモード ..45-I-4
詳細設定 ProDrive™ 牽引モード 45-I-2
ヘッダーアプリケーション
HydraFlex™ 圧力..... 45-C-29
アクセス..... 45-C-1
カッターバー位置 45-C-34
カッターバー位置復帰 45-C-25
カッターバー傾斜 45-C-32
コーンヘッド幅 45-C-4
チルト感度 45-C-10
デッキプレート位置復帰 45-C-23
デッキプレート間隔..... 45-C-33
ドレーパーフロート位置 45-C-31
ドレーパーベルト速度 45-C-30
バックシャフト速度..... 45-C-33
フィーダーハウスフロート 45-C-18
ヘッダーの詳細 45-C-3
ヘッダーメインページ 45-C-1
ヘッダー自動化 45-C-12
リール位置復帰..... 45-C-22
リンプホームモード..... 45-C-35
運転時間..... 45-C-6
横方向傾斜 45-C-19
傾斜速度..... 45-C-8
高さ感度..... 45-C-9
高さ検出 (オフグラウンド)..... 45-C-14
高さ検出 (オングラウンド)..... 45-C-16
高さ復帰..... 45-C-13
最小リール速度..... 45-C-5
自動ドレーパーベルト速度..... 45-C-28
自動ヘッダー制御..... 45-C-12
自動リール回転数 45-C-26
詳細設定..... 45-C-35
上昇 / 下降速度..... 45-C-7
条幅 45-C-5
制御プレビュー..... 45-C-12
前後位置復帰..... 45-C-21
前後傾斜..... 45-C-11
復帰の環境設定..... 45-C-20
幅..... 45-C-4
ライトアプリケーション
ライトへのアクセス..... 45-J-1
ライトメインページ..... 45-J-1
作業灯のコントロール..... 45-J-4
作業灯プリセット 1 — ハイビーム..... 45-J-3
作業灯プリセット 1 — ロービーム..... 45-J-2
作業灯プリセット 2 — ハイビーム..... 45-J-3
作業灯プリセット 2 — ロービーム..... 45-J-2
退出ライト 45-J-4
残留物管理アプリケーション
キャブ外調整.....45-B-6
ナイフバンク.....45-B-7
残留物モード.....45-B-3
残留物管理 45-B-1
自動スワップ.....45-B-7
速度 45-B-4
方向 45-B-5
収穫設定アプリケーション
カスタムプリセット.....45-F-6
クリーニングファン.....45-F-9
シュー分解能..... 45-F-14
セパレータ分解能 45-F-13
チャファーすき間 45-F-10
プリセット 45-F-3
プリセットの保存 45-F-6
ふるいすき間..... 45-F-11
わら条件.....45-F-5
外部構成..... 45-F-12
工場初期設定.....45-F-6
作物変更の影響.....45-F-7
収穫設定へのアクセス 45-F-1
収穫設定メインページ 45-F-1
詳細設定..... 45-F-13
性能目標..... 45-F-15
脱穀すき間 45-F-7
脱穀条件.....45-F-4
脱穀速度.....45-F-8
調整の状態 45-F-12
収穫設定の表示
収穫設定の読み込み.....45-F-2
折りたたみアプリケーション
グレンタンクカバー.....45-E-3
コーンヘッドの折りたたみ
John Deere モデル.....45-E-6
John Deere 以外のモデル.....45-E-7
ファウンテンオーガ.....45-E-4
ヘッダー輸送位置.....45-E-5
手動制御.....45-E-8
折りたたみへのアクセス 45-E-1
折りたたみメインページ 45-E-1
折りたたみ式アンローディングオーガ.....45-E-4
CommandCenter™ ディスプレイ
キャリブレーションアプリケーション
シャーシ傾斜キャリブレーション手順 ... 45-K-15
収穫量
サンプルの記録.....45-K-5
詳細編集..... 45-K-11
脱穀すき間 (アクティブコンケーブアイソレーション) のキャリブレーション手順.... 45-K-16
グレン処理アプリケーション
グレン処理へのアクセス 45-D-1
水分アラーム..... 45-D-4
ヘッダーアプリケーション
作業記録..... 45-C-6
残留物管理アプリケーション
スワップ.....45-B-6
セパレーターベーン.....45-B-3
残留物管理へのアクセス 45-B-1
幅.....45-B-4
CommandCenter™ ディスプレイのアプリケーション 45-1

CoolScan 125-14

D

DEF
  DEF インラインフィルタ、交換... 130-K-2, 130-L-2
  タンク、清掃..... 130-P-4
  タンク、注入..... 125-7
  テスト..... 125-6
  供給装置フィルタ、交換..... 130-K-1, 130-L-1
  廃棄 125-8
  保管 125-7
DEF インラインフィルタ
  交換 130-K-2, 130-L-2
DEF タンク
  清掃 130-P-4
DEF 供給装置フィルタ
  交換 130-K-1, 130-L-1
Deluxe residue
  チョッパー
    ウィンドロー作成の一般情報 70-2

H

HarvestSmart™ ステータス..... 45-L-15
HarvestSmart™ 応答の感応度 45-L-10
HarvestSmart™ 自動化 45-L-11
HarvestSmart™ 設定..... 45-L-9
HarvestSmart™ 速度制限..... 45-L-10
HillMaster™
  スイッチ
    レベル制御 105-3
  一般情報 105-1
  日常操作の準備 105-3
HVAC.....45-M-21
  HVAC へのアクセス..... 45-H-1
  エアコンシステム 45-H-3
  エアフローモード 45-H-3
  ヒーター、換気、エアコン (HVAC) メインページ . 45-H-1
  ファン回転速度 45-H-2
  温度の設定 45-H-2
  外気温..... 45-H-3
HVAC へのアクセス..... 45-H-1
HydraFlex™ 圧力 45-C-29

O

Oilscan 125-14

P

Posi-torq
  速度レンジ 65-36
PowerCast™ テールボード (オプション)
  リアシュラウド 70-9
  調整 70-8
PowerCast™ テールボードブレード (オプション)
  交換 70-8
ProDrive™ (装備されている場合) 45-M-31
ProDrive™ トランスミッション
  エンジン回転数管理..... 35-5
  ギヤケース
    オイルの推奨事項 125-15
  リンプホームモード.....45-I-2
  牽引モード 45-I-2
  詳細設定 ProDrive™ リンプホームモード.....45-I-4
  詳細設定 ProDrive™ 牽引モード 45-I-2

V

VisionTrak™.....45-M-36
  作動点検 65-61

あ

アームレスト
  スイッチ
    HillMaster™ レベル制御.....105-3
  ディスプレイ
    収穫量キャリブレーション
      多点..... 95-4
      単点..... 95-4
  ビデオアプリケーション
    ビデオインターフェース機能 80-10
アキュムレータ
  圧力 130-2
アキュムレータの銘板 110-1
アクセスドア作業灯
  交換 80-19
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) エア抜き 45-K-24
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) エア抜きのキャリブレーション手順..... 45-K-24
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) 水平調整 45-K-24
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) 水平調整のキャリブレーション手順..... 45-K-25
アプリケーション
  ビデオ
    カメラの調整..... 80-11
    ビデオインターフェース機能 80-10
    安全 80-10
アプリケーションの割り当て 45-A-6
アラーム
  バックアップ.....10-14
アルファルファ
  作物の設定 100-1
アンテナ 20-2
アンローディングオーガ
  せん断ボルト..... 75-6
    位置..... 75-6
  メンテナンス
    アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入.....130-G-3
    垂直アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入 130-G-4

ロックアームの位置 75-11
交換
駆動ベルト 75-12, 75-13
取り外し
駆動チェーンリンク 75-9
調整
オーガ位置 75-10, 75-11
クレードルサポート 75-10
駆動チェーン 75-9
アンローディングオーガドライブスイッチ 45-M-34
アンローディングオーガの接続 45-K-16
アンローディングオーガの接続のキャリブレーション手順 45-K-17
アンローディングオーガライト
交換 80-19
アンローディングオーガ旋回スイッチ 45-M-34

い

インジケーター
フィーダーハウスの傾斜 55-24
調整
充満センサー 75-2

う

ウイング 45-K-22
ウイングキャリブレーション手順 45-K-22
ウィンドローコンバージェンスレーキ 70-3

え

エアクリーナフィルタ
取り外し 130-P-13
エアコン
トラブルシューティング 135-20
ドレンホースの清掃 130-A-6
エアコンシステム 45-H-3
エアコンプレッサ 45-G-6
交換
ベルト (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-1
13.5 L 130-R-1
エアコンプレッサステータス 45-G-7
エアコンベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
交換
9.0 L 130-Q-5
13.5 L 130-R-8
エアシュート 70-10
エアスクープ
位置 30-4
拡張圃場位置 30-6
標準圃場位置 30-5
輸送位置 30-7
エアフィルタ
取り外し
エンジンデブリ管理 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-15
エアフローモード 45-H-3
エア抜き
燃料系統 130-P-10
エーテル
安全 35-6
エーテルインジェクションの操作 (装備されている場合) 45-M-15
エグゾーストフィルタ、安全
安全、エグゾーストフィルタ 10-16, 35-1
エンジン
100 時間後の慣らし運転整備 (ティア 2 / ステージ II) 25-4
アクセス 45-G-1
アクセスカバー 130-P-1
エアコンプレッサ 45-G-6
エアコンプレッサステータス 45-G-7
エアスクープ
位置 30-4
拡張圃場位置 30-6
標準圃場位置 30-5
輸送位置 30-7
エンジンアクセスカバー 130-P-1
エンジンオイルとフィルタの交換 . 130-F-1, 130-F-2
エンジンオイルの点検 130-A-2
エンジンクールダウン進行中 45-G-5
エンジンメインページ 45-G-1
エンジン回転数管理
ProDrive™ 搭載の機械 35-5
エンジン始動液 130-P-1
エンジン始動液の安全な取り扱い 35-6
エンジン始動液の作動 35-6
エンジン出力 45-G-2
オイルの点検 30-1
クーラントヒーター 35-6
クリーニング
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物) . 120-7
デブリ管理ろ過容量 45-G-6
トラブルシューティング 135-9
ベルト
取り回し (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-1
13.5 L 130-R-1
取り回し (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-5
13.5 L 130-R-8
メンテナンス
エアフィルタエレメントの点検 130-G-16
エンジンクーラントの交換 130-N-1
エンジンデブリ管理エアフィルタの点検 130-G-12
エンジンバルブラッシュの点検 130-J-2
オイルクーラーの清掃 130-A-3, 130-B-5
オルタネータスクリーンの清掃 130-O-2
クーラントレベルの点検 130-A-3
クランクシャフトダンパーの点検 130-M-1
コンデンサの清掃 130-A-3, 130-B-5
チャージエアクーラーの清掃 ... 130-A-3, 130-B-5

メインエンジンギヤケースオイルの交換. 130-I-1, 130-J-2
メインエンジンギヤケースフィルタの交換 130-C-1, 130-G-12
メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタの交換..... 130-C-1, 130-G-15
ラジエータの清掃 130-A-3, 130-B-5
ロータリースクリーンの清掃 ... 130-A-3, 130-B-5
一次燃料フィルタの交換 130-G-2
可変速度駆動シーブへのグリース注入 ... 130-G-3
可変速度従動シーブへのグリース注入 ... 130-G-3
空気圧縮機リザーバーからの水を抜き.... 130-A-5
作動油フィルタ / 油圧チャージフィルタの交換 . 130-G-11
二次燃料フィルタの交換 130-G-2
燃料タンクブリーザーの交換 130-G-16
燃料タンクブリーザーの清掃 130-F-3
燃料プレクリーナフィルタの清掃..... 130-B-4, 130-G-1
燃料プレクリーナフィルタの点検..... 130-A-5
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザーの交換..... 130-G-16
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザーの清掃..... 130-F-3
油圧チャージフィルタの交換 130-G-12
油水分離器の点検 130-G-2
油水分離器一次燃料フィルタの清掃 130-B-5
慣らし運転 25-1
慣らし運転整備、400 時間後 (ファイナル ティア 4 / ステージ V) 25-4
交換
エアコンプレッサベルト (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-1
13.5 L..... 130-R-1
エアコンベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-5
13.5 L..... 130-R-8
エンジンデブリ管理ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-Q-15
13.5 L..... 130-R-16
オルタネータベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-5
13.5 L..... 130-R-8
ファンベルト (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-1
13.5 L..... 130-R-3
ファン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
13.5 L..... 130-R-13
ロータリースクリーンベルト ... 130-Q-3, 130-R-6
ロータリースクリーン駆動ベルト (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-4
13.5 L..... 130-R-7
ロータリースクリーン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
13.5 L..... 130-R-11
ロータリースクリーン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V) (S660、S670)
9.0 L 130-Q-7
可変回転速度ファン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-9
空気圧縮機ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-11
13.5 L..... 130-R-12
真空ファン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-8
13.5 L..... 130-R-11
真空ファン従動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-8
補機ベルト (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-1
13.5 L..... 130-R-1
最初の 100 時間の前の慣らし運転点検..... 25-4
始動情報 35-4
自動排気フィルタクリーニング..... 45-G-3
自動排気フィルタクリーニングの無効化 45-G-5
取り回し
ロータリースクリーンベルト ... 130-Q-3, 130-R-5
清掃
機械の清掃 (定期清掃)..... 120-1
駐車フィルタクリーニング 45-G-4
調整
ロータリースクリーンブラシ 130-Q-14, 130-R-15
停止情報 35-5
排気フィルタシステムの概要 45-G-3
物体検出センサー (ファイナルティア 4 / ステージ V)..... 35-4
エンジンオイル
エンジンオイルとフィルタの交換 . 130-F-1, 130-F-2
エンジンオイルの点検 130-A-2
ディーゼル
インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V 125-12
ティア 2/ステージ II..... 125-12
高高度での運転時の点検間隔 125-13
慣らし運転
インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V 125-11
排出ガス規制認定なし / 認定ティア 1、ティア 2、ティア 3、ステージ I、ステージ II、ステージ III..... 125-11

エンジンオイルとフィルタの整備間隔
インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V
0.10 ~ 0.119 L/kW オイルパン 125-14
エンジンオイルとフィルタの点検間隔
ティア 2 / ステージ II
標準ドレンオイルパン 125-13
高高度での運転 125-13
エンジンおよびグラウンド走行 45-M-22
エンジンクールダウン進行中 45-G-5
エンジンデッキ
空気圧縮機システム 130-P-14
エンジンデブリ管理
交換
駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V) . 130-Q-15
13.5 L 130-R-16
エンジンバルブラッシュ
点検 130-J-2
エンジンへのアクセス 45-G-1
エンジンメインページ 45-G-1
エンジン回転数管理
ProDrive™ 搭載の機械 35-5
エンジン始動液
安全 35-6
交換 130-P-1
操作 35-6
エンジン出力 45-G-2
改造禁止 130-P-2
エンジン出力目標 45-L-12
えんどう豆
作物の設定 100-9

お

オーガ
オーガーベッドディバイダー 65-39
クリーンアウトドア
クリーニングシューオーガギア (装備されている場合) 65-48
グレンタンククロスオーガカバー 75-3
ActiveYield™ 75-4
グレンタンクローディングオーガの折りたたみ (グレンタンクエクステンション) 75-7
ローディングオーガデフレクタ 75-6
手動クリーンアウトドア
クリーニングシューオーガギヤ 65-48
調整
グレンタンクローディングオーガ (グレンタンクカバー) 75-7
上部 2 番還元物駆動チェーン 65-65
オーバーショットビーター
オーバーショットビーターギヤケースオイルの交換 130-J-3
オーバーショットビーターギヤケースオイルの点検 130-G-8
ベアリングへのグリース注入 130-G-7
交換
ウイング (装備されている場合) 65-46
ベルト (装備されている場合) 65-45
取り外し
フロア (装備されている場合) 70-10
調整
ベルト (装備されている場合) 65-45
オーバーヘッドコントロール 45-M-11
オイル
エンジン
インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V 125-12
ティア 2/ステージ II 125-12
オイルクーラー
クリーニング 130-A-3
清掃 130-B-5
オート麦
作物の設定 100-9
オフセットの詳細 45-L-7
オフセット調整 クリーニングファン 45-L-21
オフセット調整 チャファー 45-L-18
オフセット調整 ふるい 45-L-19
オペレータプレゼンスシステム 10-17
オルタネータスクリーン
清掃 130-O-2
オルタネータベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
交換
9.0 L 130-Q-5
13.5 L 130-R-8

か

カスタムアラームレベル 45-D-3
カスタムプリセット 45-F-6
カッターバー位置 45-C-34
カッターバー位置復帰 45-C-25
カッターバー傾斜 45-C-32
カバー
エンジンアクセス 130-P-1
エンジンフィルタアクセス 130-P-1
グレンタンク
操作 75-2
カプラー
空気圧縮機 130-P-14
カメラ
調整 80-11
カメラレンズの汚れ 45-L-8
からし
作物の設定 100-8

き

キースイッチ 45-M-12
きび
作物の設定 100-7

ギヤケース
ProDrive™ 搭載の機械
オイルの推奨事項 125-15
オイルの推奨事項 125-15, 125-16
メンテナンス
アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入 130-G-3
オーバーショットビーターギヤケースオイルの交換..... 130-J-3
オーバーショットビーターギヤケースオイルの点検..... 130-G-8
フィーダーハウスリバーサギヤケースオイルの交換..... 130-H-1
プライマリカウンターシャフトギヤケースオイルの交換 130-J-3
プライマリカウンターシャフトギヤケースオイルの点検 130-G-13
メインエンジンギヤケースオイルの交換. 130-I-1, 130-J-2
ローディングオーガギヤケースオイルの点検 130-G-16
垂直アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入 130-G-4
多速度フィーダーハウス駆動ギヤケースの清掃 . 130-G-16
キャノーラ
作物の設定 100-2
キャビン
アフターマーケットラジオ 20-1
ディスプレイ
収量較正
タイヤ半径コードの変更 95-4
水分と密度の一覧表..... 100-18
標準重量表 100-18
ビデオアプリケーション
安全 80-10
キャビンインテリアライト
交換 80-21
キャブ
エアコン
ドレンホースの清掃..... 130-A-6
カメラ
調整 80-11
コーナーポスト
VisionTrak™ 作動点検..... 65-61
シートベルトの点検..... 130-G-15
スイッチ
HillMaster™ レベル制御..... 105-3
照明の遅延 / タイムアウト..... 50-7
タラップの位置 20-4
軌道機械 (旋回)..... 110-2
地面からの折りたたみ / 展開 (軌道機械).... 110-3
踊り場からの折りたたみ / 展開 (軌道機械) . 110-3
ディスプレイ
収穫量キャリブレーション
多点 95-4
単点 95-4
ビデオアプリケーション
ビデオインターフェース機能 80-10
フロントガラスウォッシャーリザーバー
リザーバーへの注入..... 130-O-2
ライトの位置
エンジンルーム整備用ライト (オプション) .. 50-7
ガルウイング整備用ライト (オプション)..... 50-5
シュー整備用ライト..... 50-5
ハザード警告灯 50-1
ビーコンライト 50-1
フロントスタブルライト 50-2
マーカー / 停止灯 50-3
リアディスチャージライト 50-3
自動ビーコンライト 50-2
退出ライト 50-3, 50-7
道路ライト 50-1
圃場灯 50-2, 50-4
ラジオ
CB 配線..... 20-3
アンテナ 20-2
ラジオのコントロール 20-2
ラジオの種類 (オプション)..... 20-1
ラジオ周波数..... 20-1
右踊り場 20-7
再循環フィルタの清掃 130-E-1, 130-O-1
手すり..... 20-7
新気フィルタの清掃..... 130-B-6, 130-O-2
無線
CB の取り付け..... 20-3
キャブヘッドライト
交換 80-12
調整 80-12
キャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム)
交換 80-13
調整 80-13, 80-14
キャブ右側の項目..... 45-M-9
キャブ外調整..... 45-B-6, 45-L-26
キャブ左側の項目..... 45-M-11
キャリブレーション
ActiveYield™ 45-K-12
ActiveYield™
キャリブレーション補正 45-K-14
ステータス表示灯 45-K-12
リセット..... 45-K-14
詳細設定..... 45-K-13
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) エア抜き..... 45-K-24
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) エア抜きのキャリブレーション手順 45-K-24
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) 水平調整..... 45-K-24
アクティブコンケーブアイソレーション (aci) 水平調整のキャリブレーション手順 45-K-25
アンローディングオーガの接続..... 45-K-16

アンローディングオーガの接続のキャリブレーション手順 45-K-17
ウイング 45-K-22
ウイングキャリブレーション手順 45-K-22
キャリブレーションと手順の概要 45-K-1
キャリブレーションと手順へのアクセス 45-K-1
コーンヘッドの折りたたみ 45-K-22
コンケーブのエア抜き 45-K-24
コンケーブのエア抜きキャリブレーション手順 45-K-24
コンケーブの水平調整 45-K-24
コンケーブ水平調整のキャリブレーション手順 45-K-25
シャーシ傾斜..... 45-K-15
シャーシ傾斜キャリブレーション手順..... 45-K-15
デッキプレート間隔..... 45-K-17
手順 45-K-17
フィーダーハウス横方向傾斜速度 45-K-21
フィーダーハウス横方向傾斜速度キャリブレーション手順 45-K-21
フィーダーハウス横方向傾斜範囲 45-K-20
フィーダーハウス横方向傾斜範囲キャリブレーション手順 45-K-21
フィーダーハウス傾斜前後位置範囲..... 45-K-20
フィーダーハウス傾斜前後位置範囲キャリブレーション手順 45-K-20
フィーダーハウス上昇速度 45-K-18
フィーダーハウス上昇速度キャリブレーション手順..... 45-K-18
ヘッダーキャリブレーション..... 45-K-18
ヘッダーキャリブレーション手順 45-K-19
リールとカッターバーの位置 45-K-22
リールとカッターバー位置のキャリブレーション手順..... 45-K-23
黄色のフラッシャー..... 45-K-23
黄色のフラッシャーのキャリブレーション手順 45-K-23
質量流量振動.....45-K-1
質量流量振動のキャリブレーション手順 45-K-2
収穫量
多点 95-4
単点 95-4
未使用のサンプルを削除 45-K-12
収穫量
キャリブレーションの編集 / 選択..... 45-K-10
キャリブレーション品質 45-K-4
キャリブレーション品質インジケーター...45-K-7
サンプルの記録.....45-K-5
ステータス表示灯 45-K-5
リセット..... 45-K-10
記録ステータス.....45-K-9
質量流量.....45-K-8
収集したサンプルのステータス 45-K-8
重量インジケーター.....45-K-9
詳細設定.....45-K-7
詳細編集..... 45-K-11
秤量重量と一致.....45-K-6
収穫量キャリブレーション.....45-K-4
伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテスト .. 45-K-19
伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテストキャリブレーション手順 45-K-19
水分センサー
手順 45-K-2
水分センサーの手順.....45-K-2
折りたたみ式コーンヘッドキャリブレーション手順..... 45-K-22
脱穀すき間 (アクティブコンケーブアイソレーション)..... 45-K-15
脱穀すき間 (アクティブコンケーブアイソレーション) のキャリブレーション手順 45-K-16
脱穀すき間 (標準コンケーブの調整) 45-K-3
脱穀すき間 (標準コンケーブの調整) のキャリブレーション手順 45-K-3
キャリブレーションと手順の概要 45-K-1
キャリブレーションと手順へのアクセス 45-K-1

<

グアー (クラスタマメ)
作物の設定 100-6
クーラント
John deere COOL-GARD II Coolant Extender 125-9
ディーゼルエンジン
ウェットスリーブシリンダライナー付きエンジン.....125-8
ヒーター 35-6
温暖気候 125-9
凝固点のテスト 125-10
濃縮液との混合、水質 125-10
クイックストップスイッチ 45-M-33
クランクシャフトダンパー
点検 130-M-1
クリアランスライト
交換 80-21
クリーニング
機械の清掃
QR (Quick Response) コード 120-1
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物) 120-7
クリーニングシュー
アクセスドア.....65-48
エアシュート.....65-48
クリーンアウトドア
オーガギア (装備されている場合).....65-48
交換
ベルト 65-49
手動クリーンアウトドア
オーガギヤ 65-48
調整
ベルト 65-49
クリーニングシューライト
交換 80-20

クリーニングファン 45-F-9
メンテナンス
クリーニングファンベアリングへのグリース注入..... 130-G-7
クリーニングファン可変速度下部シーブへのグリース注入 130-B-4
クリーニングファン可変速度上部シーブへのグリース注入 130-B-4
交換
ベルト 65-49, 65-51
調整
ベルト 65-49
クリーニングファン (Active Terrain Adjustment™ 非装備)
調整
アクチュエータ 65-50
クリーニングファン (Active Terrain Adjustment™)
調整
アクチュエータ 65-50
クリーニングファン回転速度調整 45-M-28
クリーンアウトドア
グレンタンク 75-1
クリーングレインエレベータ
メンテナンス
カメラの清掃..... 130-A-8, 130-B-7, 130-G-17, 130-O-3
水分センサーの清掃. 130-B-6, 130-G-17, 130-O-2
水分センサーバイパスオーガの清掃 130-B-7, 130-G-17, 130-G-18, 130-O-3
清掃
カメラ 65-62
クリーングレンエレベータ
メンテナンス
カメラ乾燥剤..... 130-G-18, 130-O-4
交換
ベルト 65-59
調整
コンベアチェーン 65-60
ベルト 65-59
摩耗プレートとドア 65-61
グリース
極圧および多目的 125-16
グレインタンク
アンローディングオーガドライブせん断ボルト 75-6
位置 75-6
グレインタンクの清掃と詰まりの除去を安全に行う 10-10
調整
カバー (装備されている場合) 75-3
グレン
破損グレン 45-L-23
グレンシステムビデオ 45-L-3
グレンタンク
アンローディングオーガ
ロックアームの位置..... 75-11
エンジンタラップ 75-1
クリーンアウトドア 75-1
クロスオーガカバー 75-3
ActiveYield™ 75-4
サンプルトラフ 75-1
センサーの位置
ActiveYield™ 75-5
メンテナンス
アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入 130-G-3
アンローディング駆動軸ベアリングへのグリース注入 130-G-4
チョッパー駆動軸ベアリングへのグリース注入 130-G-4
ローディングオーガギヤケースオイルの点検 130-G-16
質量流量センサーの清掃 130-B-6
垂直アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入 130-G-4
ローディングオーガ (グレンタンクエクステンション)..... 75-7
ローディングオーガデフレクタ 75-6
交換
アンローディングオーガ駆動ベルト 75-12, 75-13
取り外し
アンローディングオーガ駆動チェーンリンク 75-9
清掃
質量流量センサー (グレンタンクエクステンション)..... 75-8
質量流量センサープレート (グレンタンクカバー) 75-9
操作
カバー (装備されている場合) 75-2
調整
アンローディングオーガクレードルサポート 75-10
アンローディングオーガ位置 75-10, 75-11
アンローディングオーガ駆動チェーン..... 75-9
ローディングオーガ (グレンタンクカバー) .. 75-7
充満センサーインジケーター 75-2
グレンタンクカバー 45-E-3
グレンタンクライト
交換 80-19
グレンレベル 45-D-3
グレンレベルオートビーコン..... 45-D-2
グレンロス感度 45-L-28
グレン処理
カスタムアラームレベル..... 45-D-3
グレンレベル..... 45-D-3
グレンレベルオートビーコン..... 45-D-2
グレン処理へのアクセス..... 45-D-1
グレン処理メインページ..... 45-D-1
ステータスセンター 45-D-5
タンクアンローディングオフセット 45-D-3
詳細設定 45-D-2

水分アラーム..... 45-D-4
水分の設定 45-D-4
水分補正 45-D-5
グレン処理へのアクセス..... 45-D-1
グレン処理メインページ..... 45-D-1

こ

コード
タイヤ半径の変更 95-4
コーナーポスト
ディスプレイ
VisionTrak™ 作動点検.....65-61
コーナーポストディスプレイ..... 45-M-3
コーンヘッドの折りたたみ 45-K-22
John Deere モデル 45-E-6
John Deere 以外のモデル 45-E-7
コーンヘッド幅 45-C-4
コンケーブ
セクターギアせん断ボルト (標準型コンケーブの調整).....65-13
セパレータ格子の種類 65-10
格子インタラプタ (装備されている場合)..... 65-11
格子インタラプタの位置 (装備されている場合) 65-12
格子カバー (装備されている場合)..... 65-11
格子スペーサ.....65-10
取り外し
セクション (アクティブコンケーブ分離)....65-17
セクション (標準型コンケーブの調整) 65-14
取り付け
セクション (アクティブコンケーブ分離)....65-17
セクション (標準型コンケーブの調整) 65-14
種々のタイプ..... 65-9
種類
MaxThresh™ と MaxRound™..... 65-9
推奨事項..... 65-8, 100-16
水平調整 (アクティブコンケーブ分離).....65-25
水平調整 (標準型コンケーブの調整) 65-23
コンケーブのエア抜き 45-K-24
コンケーブのエア抜きキャリブレーション手順 45-K-24
コンケーブの水平調整 45-K-24
アクティブコンケーブ分離 65-25
標準型コンケーブの調整.....65-23
コンケーブ水平調整のキャリブレーション手順 45-K-25
コンソールとディスプレイ 45-M-24
コンデンサ
クリーニング..... 130-A-3
清掃 130-B-5
コントローラバー (オプション)..... 70-11
コントロールのセットアップ
CommandARM™ 45-A-4
CommandARM™ コントロールのセットアップ 45-A-3
アプリケーションの割り当て 45-A-6
コントロールのセットアップの概要 45-A-1
コントロールのセットアップへのアクセス ...45-A-1
シングル位置割り当ての作成 45-A-4
スクロールボタン 45-A-6
デュアル位置割り当ての作成 45-A-5
機能の割り当て 45-A-7
自動ヘッダー制御の組み合わせ..... 95-2
多機能レバー.....45-A-2
多機能レバーのコントロールのセットアップ 45-A-2
コントロールのセットアップの概要 45-A-1
コントロールのセットアップへのアクセス.....45-A-1
コンバインの概要..... 45-M-1
AutoTrac™ 再開ボタン (装備されている場合) 45-M-34
ComfortCommand™ 運転席 (プレミアムクロスシート).....45-M-16
ComfortCommand™ 運転席 (プレミアムレザーシート).....45-M-17
ComfortCommand™ 運転席 (ベーシックシート) ... 45-M-15
CommandARM™ コンソールとディスプレイ 45-M-6
HVAC 45-M-21
ProDrive™ (装備されている場合) 45-M-31
VisionTrak™.....45-M-36
アンローディングオーガドライブスイッチ..45-M-34
アンローディングオーガ旋回スイッチ 45-M-34
エーテルインジェクションの操作 (装備されている場合) 45-M-15
エンジンおよびグラウンド走行.....45-M-22
オーバーヘッドコントロール 45-M-11
キースイッチ.....45-M-12
キャブ右側の項目 45-M-9
キャブ左側の項目 45-M-11
クイックストップスイッチ 45-M-33
クリーニングファン回転速度調整.....45-M-28
コーナーポストディスプレイ 45-M-3
コンソールとディスプレイ 45-M-24
コンバインの概要 45-M-1
シートコントロール.....45-M-12
シートベルト.....45-M-19
ステアリングホイールの調整 45-M-13
セパレータの接続 45-M-26
チャファー調整.....45-M-29
デフロック (装備されている場合).....45-M-32
ナビゲーションバー 45-M-8
フィーダーハウスバックシャフト速度、調整式コーンヘッドデッキプレート (装備されている場合) . 45-M-35
フィーダーハウスリバーサ 45-M-25
ふるい調整 45-M-29
フロントガラスワイパー / ウォッシャーの操作 45-M-14
フロントコンソール..... 45-M-2
ヘッダーの接続 45-M-26

ヘッダー起動ボタン 45-M-36
ヘッダー昇降および傾斜スイッチ 45-M-35
ベルトピックアップクリーンアウト 45-M-25
ライト.....45-M-23
ライトの操作.....45-M-13
ラジオ.....45-M-22
サーチ 45-M-30
リール上昇 / 下降、リール前後位置 (装備されている場合) スイッチ 45-M-35
押しボタンシフトギヤ (装備されている場合) 45-M-30
教習シート 45-M-19
四輪駆動 (装備されている場合).....45-M-31
収穫のコントロール.....45-M-20
多機能レバー..... 45-M-6
脱穀すき間調整 45-M-27
脱穀速度調整.....45-M-27
駐車ブレーキ.....45-M-32
道路輸送切断.....45-M-31
燃料レベルインジケーター.....45-M-33
排ガスフィルタクリーニング表示灯 45-M-32
排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルインジケーター 45-M-33
方向指示器、ホーン、ハイ / ロービームの操作 45-M-13
コンベアオーガ
へのグリース注入スリップクラッチ 130-G-7
交換
ベルト 65-49
調整
ベルト 65-49
コンベアチェーン
取り外し
リンク 55-8
調整 55-7
ドライブチェーン 55-11
コンベア駆動チェーン
取り外し
リンク 55-11
コンベア速度
交換 55-9

さ

サーチ.....45-M-30

し

シートコントロール.....45-M-12
シートベルト 45-M-19
点検 130-G-15
シールド
ガルウイングドア 60-1
シリンダ調整..... 60-2
クリーニング
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物). 120-7
セパレータカバー..... 60-4
フィーダーハウス..... 55-1
フィーダーハウスドア 55-2
右サイド 60-4
工具箱 (装備されている場合) 60-2
左側 60-2
清掃
機械の清掃 (定期清掃).....120-1
シグナルワード、理解 10-1
シャーシ傾斜..... 45-K-15
シャーシ傾斜キャリブレーション手順..... 45-K-15
ジャッキポケット
位置 85-13, 90-11
位置のステッカー 85-12
シューロス..... 45-L-23
シュー分解能 45-F-14
シリアル番号の識別 110-18, 150-1, 150-2
2 速四輪駆動モーター 150-5
Advanced PowerCast™ テールボード (Intermediate、Premium Residue) 150-6
PowerCast テールボード (Deluxe Residue) .150-6
エンジン (ティア 2 / ステージ II).....150-3
エンジン (ファイナルティア 4 / ステージ V) 150-4
エンジンギヤケース.....150-5
エンジンシリアル番号の解釈 150-3
キャブ.....150-4
スプレッダー (Deluxe Residue).....150-7
チョッパー (装備されている場合).....150-6
トランスミッション.....150-5
ハイドロスタティックドライブポンプ.....150-4
ハイドロスタティックドライブモーター 150-4
フィーダーハウスリバーサ 150-5
ローター駆動ギヤケース.....150-5
羽根テールボード (Deluxe、Intermediate、Premium Residue).....150-6
多速度フィーダーハウスギヤケース (装備されている場合) 150-6
シングルポイント
せん断ねじの位置 55-29
ラッチ解除
ピン 55-29
清掃
ラッチピン 55-29
調整
下部ケーブル端 (平地).....55-28
シングル位置割り当ての作成 45-A-4

す

スイッチ
HillMaster™ レベル制御 105-3
チャファーの調整 65-54
チョッパー調整 70-21
バッテリー遮断 80-7
ふるいの調整.....65-54
照明の遅延 / タイムアウト 50-7
スクロールボタン.....45-A-6

スタブルライト
交換 80-19
ステータスセンター 45-D-5
ステアリング
トラブルシューティング..... 135-8
ステアリングホイールの調整..... 45-M-13
ストーントラップ..... 55-4
清掃 130-A-7
スプレッダー
ウィンドロー位置 70-25
スプレッダーディスクへのグリース注入 130-G-8
ワイドスプレッドストロースプレッダー (オプション)..... 70-28
一般情報 70-25
下降 70-26
交換
Advanced PowerCast スプレッダーディスク 70-24
ディスクアセンブリ (シングルスピード) 70-27
ディスクアセンブリ (デュアルスピード) 70-28
スリップクラッチ
フィーダーハウススリップクラッチへのグリース注入..... 130-G-15
スワップ 45-B-6

せ

セパレータ
Posi-torq
速度レンジ 65-36
エアシュート 70-10
オーガーベッドディバイダー..... 65-39
カバー..... 60-4
クリーニング
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物) . 120-7
クリーニングシューアクセスドア 65-48
クリーニングシューオーガギア
クリーンアウトドア (装備されている場合) . 65-48
クリーニングシューオーガギヤ
手動クリーンアウトドア 65-48
クリーニングシューのエアシュート 65-48
コンケーブセクターギアせん断ボルト (標準型コンケーブの調整)..... 65-13
コンケーブタイプ 65-9
MaxThresh™ と MaxRound™..... 65-9
コンケーブに関する推奨事項 65-8, 100-16
セパレータタインの位置 (TriStream ローターテフグレインローター構成)..... 65-31
セパレータタインの位置 (TriStream ローターデンスパック構成) 65-32
セパレータタインの位置 (バリアブルストリームローターデンスパック構成)..... 65-36
セパレータタインの位置 (バリアブルストリームローター標準構成) 65-35
セパレータベアリングへのグリース注入 130-G-7
タインフィードアクセルレータのコームフロア (イネ用機械)..... 65-3
チャファー / ふるい / リターンパンアセンブリ
整備不可..... 65-58
トップカバーベーン (装備されている場合)..... 65-29
トラブルシューティング..... 135-1
プレミアムとうもろこし用チャファー..... 65-53
メンテナンス
2 速セパレータ駆動装置オイルの点検.... 130-B-5
セパレータ可変速度駆動シーブの入れ直し 130-B-3
セパレータ可変速度駆動シーブへのグリース注入..... 130-B-4, 130-E-2
セパレータ可変速度従動シーブの入れ直し 130-B-3
セパレータ可変速度従動シーブへのグリース注入..... 130-B-4, 130-E-2
セパレータ駆動オイルの交換 130-J-3
セパレータ駆動オイルの点検 130-G-8
可変速度駆動シーブへのグリース注入 ... 130-G-5
レールライナー 65-13
レベリング
コンケーブ (アクティブコンケーブ分離).... 65-25
コンケーブ (標準型コンケーブの調整) 65-23
右駆動ベルト 65-72
格子インタラプタ (装備されている場合)..... 65-11
格子インタラプタの位置 (装備されている場合) 65-12
格子カバー (装備されている場合)..... 65-11
格子スペーサ..... 65-10
格子の種類 65-10
詰まりの除去..... 65-73
フィーダーアクセルレータ 65-73
排出ビーター..... 65-74
固定式フロントチャファー..... 65-52
交換
2 番還元物システム駆動チェーン 65-66
2 番還元物システム駆動ベルト..... 65-65
オーバーショットビーターウイング (装備されている場合)..... 65-46
オーバーショットビーターベルト (装備されている場合) 65-45
カウンタシャフト右フロントベルト 65-47
カウンタシャフト右リアベルト 65-47
クリーニングシューベルト..... 65-49
クリーニングファンベルト..... 65-49, 65-51
クリーングレンエレベータベルト..... 65-59
コンベアオーガベルト 65-49
タインフィードアクセルレータの摩耗ストリップ..... 65-2
可変速度駆動ベルト..... 65-38
高速大容量フィードアクセルレータベルト .. 65-5
高速大容量フィードアクセルレータベルトの速度..... 65-7
難脱穀性作物用フィードアクセルレータの摩耗ストリップ..... 65-1
排出ビーターの摩耗ストリップ..... 65-43
排出ビーターベルト 65-39

排出ビーター摩耗ストリップ (難脱穀性作物用) . 65-44
標準フィードアクセルレータ摩耗ストリップ 65-1
標準速度大容量フィードアクセルレータベルト . 65-5
標準速度大容量フィードアクセルレータベルトの速度 65-7
標準排出ビーターの摩耗ストリップ 65-44
高歯チャファー 65-53
高歯ふるい 65-54
左駆動ベルト 65-71
取り外し
2 番還元物システムのラスプバー 65-67
2 番還元物システムの摩耗ストリップ..... 65-67
オーバーショットビーターフロア (装備されている場合) 70-10
コンケーブセクション (アクティブコンケーブ分離)..... 65-17
コンケーブセクション (標準型コンケーブの調整)..... 65-14
タインフィードアクセルレータのコームフロア (イネ用機械) 65-3
チャファーエレメント 65-56
ふるいエレメント 65-56
脱穀エレメント (TriStream ローター) 65-30
脱穀エレメント (バリアブルストリームローター) 65-33
脱穀タイン (TriStream ローター)..... 65-30
脱穀タイン (バリアブルストリームローター) ... 65-33
取り付け
2 番還元物システムのラスプバー 65-67
2 番還元物システムの摩耗ストリップ..... 65-67
コンケーブセクション (アクティブコンケーブ分離)..... 65-17
コンケーブセクション (標準型コンケーブの調整)..... 65-14
チャファーエレメント 65-56
ふるいエレメント 65-56
脱穀エレメント (TriStream ローター) 65-30
脱穀エレメント (バリアブルストリームローター) 65-33
脱穀タイン (TriStream ローター)..... 65-30
脱穀タイン (バリアブルストリームローター) ... 65-33
清掃
2 番還元物エレベータカメラ 65-62
2 番還元物システムエレベータのセンサー.. 65-63
クリーングレインエレベータカメラ 65-62
機械の清掃 (定期清掃)..... 120-1
二番オーガ 65-70
測定
チャファー 65-52
ふるい 65-52
脱穀エレメントの位置 (TriStream ローターフグレイン構成)..... 65-31
脱穀エレメントの位置 (TriStream ローターデンスパック構成) 65-32
脱穀エレメントの位置 (バリアブルストリームローターデンスパック構成) 65-36
脱穀エレメントの位置 (バリアブルストリームローター標準構成)..... 65-35
調整
2 番還元物システムエレベータのパドル 65-63
2 番還元物システムエレベータパドルチェーン . 65-64
2 番還元物システムのラスプバー 65-69
2 番還元物システムの摩耗ストリップ..... 65-69
2 番還元物システムリターンコンケーブ 65-70
2 番還元物システム駆動チェーン 65-66
2 番還元物システム駆動ベルト..... 65-65
オーバーショットビーターベルト (装備されている場合) 65-45
カウンタシャフト右フロントベルト 65-46
カウンタシャフト右リアベルト 65-47
クリーニングシューベルト..... 65-49
クリーニングファンアクチュエータ (Active Terrain Adjustment™ 非装備)..... 65-50
クリーニングファンアクチュエータ (Active Terrain Adjustment™)..... 65-50
クリーニングファンベルト..... 65-49
クリーングレインエレベーターコンベアチェーン..... 65-60
クリーングレンエレベータベルト..... 65-59
コンベアオーガベルト 65-49
シーブドライブ隙間..... 65-37
チャファースイッチ..... 65-54
チャファーモーター..... 65-58
デュアルゾーン調整リアチャファー 65-55
フィードアクセルレータベルト..... 65-7
ふるいスイッチ 65-54
ふるいモーター..... 65-58
フロントチャファー..... 65-51
上部二番オーガ駆動チェーン 65-65
速度 65-36
二番エレベータ駆動ベルト..... 65-64
排出ビーターベルト 65-39
汎用チャファー 65-53
汎用ふるい 65-54
平歯コームチャファー 65-54
セパレータ
デュアルレンジ
速度 65-36
セパレーターベーン 45-B-3
セパレーターベーンの調整 45-L-25
セパレータの接続..... 45-M-26
セパレータロス 45-L-23
セパレータ分解能..... 45-F-13
センサー
ActiveYield™ 75-5

調整
グレンタンク充満 75-2
せん断ねじの位置
シングルポイントラッチ..... 55-29
せん断ボルト
アンローディングオーガドライブ 75-6
位置 75-6

た

タイヤ
タイヤの手入れと整備 85-1
タイヤ半径コードの変更..... 95-4
バラスト要件..... 85-24, 85-25
フロントタイヤの情報 85-10
フロント駆動ホイールオフセット 85-11
リアタイヤの情報 85-10
リアホイールボルトのトルク 85-22
圧力の点検
HillMaster™ 85-7, 85-10
フロントタイヤ 85-3, 85-5
リアタイヤ 85-8, 85-9
液体ウエイト..... 85-22
基本的なタイヤ情報..... 85-2
駆動ホイールのボルトのトルク..... 85-11
駆動輪スタータスタッドボルト..... 85-11
取り外し
前輪 85-14
取り付け
前輪 85-18
整備のためのデュアルホイールの準備..... 85-12
輸送のためのデュアルホイールの準備..... 85-12
タイヤ、安全な整備 10-12
タイロッド
リアアクスルタイロッドへのグリース注入 . 130-G-8
タラップ
エンジン 75-1
グレンタンク..... 75-1
リア 130-P-1
位置 20-4
軌道機械 (旋回)..... 110-2
地面からの折りたたみ / 展開 (軌道機械).... 110-3
踊り場からの折りたたみ / 展開 (軌道機械) . 110-3
タンクアンローディングオフセット..... 45-D-3

ち

チャージエアクーラー
クリーニング..... 130-A-3
清掃 130-B-5
チャファー
プレミアムとうもろこし用チャファー..... 65-53
固定式フロントチャファー..... 65-52
高歯チャファー 65-53
取り外し
エレメント 65-56
取り付け
エレメント 65-56
測定 65-52
調整
デュアルゾーン調整..... 65-55
フロントチャファー..... 65-51
モーター..... 65-58
調整スイッチ..... 65-54
汎用チャファー 65-53
平歯コームチャファー 65-54
チャファー / ふるい / リターンパンアセンブリ
整備不可 65-58
チャファーすき間..... 45-F-10
チャファー調整 45-M-29
チョッパー
PowerCast™ テールボード (オプション)
リアシュラウド..... 70-9
アクセスドア..... 70-16
ウィンドローコンバージェンスレーキ..... 70-3
クリーニング
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物). 120-7
コントローラバー (オプション)..... 70-11
交換
Advanced PowerCast スプレッダーディスク 70-24
PowerCast™ テールボードブレード (オプション)..... 70-8
チョッパージャックシャフトベルト 70-33, 70-35
チョッパーブレード..... 70-17, 70-18
ベルト 70-29
固定ナイフ (電動アクチュエータ)..... 70-15
固定ナイフ (電動アクチュエータなし)..... 70-14
速度 70-21
中間スプリッターナイフ 70-19
作物分流器 70-9
取り外し
固定ナイフバンク (電動アクチュエータ).... 70-12
取り付け
固定ナイフバンク (電動アクチュエータ).... 70-13
心出し
チョッパーブレード..... 70-20
清掃
機械の清掃 (定期清掃)..... 120-1
調整
PowerCast™ テールボード (オプション) 70-8
チョッパージャックシャフトベルト 70-32
チョッパードライブベルト張力 70-29
テールボード..... 70-4
テールボード羽根 70-4
テールボード羽根の設定 70-6, 70-7
固定ナイフバンク (電動アクチュエータなし) 70-11
作物ダイバータ羽根..... 70-2
尾板羽根..... 70-5, 70-22
尾板羽根の設定..... 70-23
調整スイッチ..... 70-21

チルトフレームのゼロ点
設定
フィーダーハウス (油圧傾斜) 55-6
チルト感度..... 45-C-10

て

ディーゼルエンジン、寒冷気候の影響 125-5
ディーゼルエンジンオイル
インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V 125-12
ティア 2/ステージ II..... 125-12
高高度での運転時の点検間隔 125-13
ディーゼルエンジンに対する寒冷気候の影響 ... 125-5
ディーゼルパティキュレートフィルター
メンテナンスと整備.....130-P-14
ディーゼルパティキュレートフィルターのメンテナンスと整備 130-P-14
ディーゼル燃料 125-2
補助添加剤 125-5
ディーゼル燃料、テスト 125-5
ディーゼル燃料のテスト 125-5
ディーゼル燃料の潤滑性 125-4
ディスチャージライト
交換 80-19
ディスプレイ
コーナーポスト
VisionTrak™ 作動点検 65-61
収穫量キャリブレーション
多点 95-4
単点 95-4
収量較正
タイヤ半径コードの変更 95-4
テールボード
PowerCast™ (オプション)
リアシュラウド 70-9
交換
PowerCast™ ブレード (オプション)..... 70-8
調整 70-4
PowerCast™ (オプション)..... 70-8
羽根 70-4
羽根の設定 70-6, 70-7
デッキプレート位置復帰..... 45-C-23
デッキプレート間隔..... 45-C-33, 45-K-17
手順 45-K-17
デブリ管理ろ過容量 45-G-6
デフロック (装備されている場合) 45-M-32
デュアル位置割り当ての作成 45-A-5
テンションシステム..... 110-8

と

とうもろこし (ウエット)
作物の設定 100-3
とうもろこし (ドライ)
作物の設定 100-3
とうもろこし穂軸混合
作物の設定 100-4
トラブルシューティング
Combine Advisor™..... 135-22
エアコン 135-20
エンジン 135-9
ステアリング.....135-8
セパレータ 135-1
ヒーター 135-20
フィーダーハウス.....135-1
ブレーキ 135-8
四輪駆動 (オプション) 135-7
質量流量センサー (装備されている場合)..... 135-21
水分センサー (装備されている場合) 135-21
電気 135-19
油圧グラウンド走行.....135-5
トランスミッション
トランスミッションオイルの交換.....130-J-3
トランスミッションオイルの点検..... 130-G-10
トランスミッションへのアクセス.....45-I-1
トランスミッションメインページ.....45-I-1
ブレーキフルードの交換..... 130-I-3
ブレーキフルードの点検..... 130-G-13
最大速度 1、2.....45-I-2
詳細設定 ProDrive™ 45-I-2
リンプホームモード.....45-I-2
牽引モード 45-I-2
駐車ブレーキシリンダケーブルの点検.....130-G-11
トランスミッションへのアクセス 45-I-1
トランスミッションメインページ 45-I-1
トルク表
メトリック 145-21
ユニファイインチ 145-20
ドレーパーフロート位置..... 45-C-31
ドレーパーベルト速度 45-C-30
トレーラーヒッチ
手動 (標準) 90-12
半自動 (オプション).....90-12

な

ナイフバンク 45-B-7
ナタネ (ドライ)
作物の設定 100-10
ナタネ (未乾燥)
作物の設定 100-11
ナビゲーションバー 45-M-8

は

バイオディーゼル燃料.....125-3
はうちわ豆
作物の設定 100-7
ハザード警告灯
交換 80-21
バックアップアラーム 10-14
バックシャフト速度..... 45-C-33

バッテリ
ケーブルの接続 80-4
充電 80-4
比重の点検 80-4
バッテリー
バッテリーの点検 130-G-11
ブースターの接続 80-5
安全な取り付け 80-3
遮断スイッチ 80-7
取り外しと取り付け 80-5, 80-6
バッテリの取り扱い、安全
安全、バッテリの取り扱い 10-15, 80-2
パネル
ガルウイングドア 60-1
シリンダ調整 60-2
セパレータカバー 60-4
フィーダーハウス 55-1
右サイド 60-4
工具箱 (装備されている場合) 60-2
左側 60-2
パフォーマンスモニター 45-L-4
バラスト
液体ウエイト 85-22
要件 85-24, 85-25

ひ

ヒーター
トラブルシューティング 135-20
ヒーター、換気、エアコン (HVAC) メインページ 45-H-1
ビーコン
交換
ライト 80-19
ライトバルブ 80-18
ひじかけ
カメラ
調整 80-11
ディスプレイ
収量較正
タイヤ半径コードの変更 95-4
水分と密度の一覧表 100-18
標準重量表 100-18
ビデオアプリケーション
安全 80-10
ヒッチ
手動 (標準) 90-12
半自動 (オプション) 90-12
ビデオアプリケーション
カメラの調整 80-11
ビデオインターフェース機能 80-10
安全 80-10
ひまわり
作物の設定 100-14
ヒューズ
インライン 80-9
センター 80-7, 80-9
ひよこ豆
作物の設定 100-2

ふ

ファイナルドライブ
グリース
ファイナルドライブのカプラー 130-B-8
ファイナルドライブピボット (HillMaster™ 機) 130-A-8
ベアリング 130-A-6, 130-B-2
交換
オイル 130-J-2
点検
オイル 130-G-8
ファウンテンオーガ 45-E-4
ファンベルト
交換 (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-1
13.5 L 130-R-3
ファン回転速度 45-H-2
フィーダーハウス
クリーニング
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物) . 120-7
サイドシールド 55-1
シリンダの安全ストップ 55-1
ストーントラップ 55-4
せん断ねじの位置 55-29
ドア 55-2
トラブルシューティング 135-1
フィードアクセルレータのトップアクセスドア 55-2
フィードプレートシールサポート 55-3
メンテナンス
ストーントラップの清掃 130-A-7
フィーダーハウススリップクラッチへのグリース注入 130-G-15
フィーダーハウスリバーサギヤケースオイルの交換 130-H-1
フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースオイルの点検 130-B-3
横方向傾斜フィーダーハウスの清掃 130-B-3
可変速度フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースへのグリース注入 130-A-7, 130-B-2
可変速度フィーダーハウス上部シーブへのグリース注入 130-B-3
多速度フィーダーハウス駆動ギヤケースの清掃 130-G-16
ラッチ解除
ピン 55-29
交換
CommandTouch マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト 55-21
コンベア速度 55-9
バリアブルスピードドライブベルト 55-12
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベル

ト (CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス) 55-22
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (可変速度フィーダーハウス)..... 55-15
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (固定速度フィーダーハウス)..... 55-19
固定速度ドライブベルト 55-19
取り外し
コンベアチェーンリンク 55-8
コンベア駆動チェーンリンク 55-11
ヘッダー 55-26
取り付け
ヘッダー 55-26
マルチカプラーと単点ラッチ 55-24
手動傾斜インジケーター..... 55-24
上部シャフトスプロケット 55-11
清掃
ラッチピン 55-29
機械の清掃 (定期清掃)..... 120-1
設定
前後チルトフレームのゼロ点 (油圧傾斜)..... 55-6
前後傾斜フレーム (手動傾斜) 55-5
調整
CommandTouch マルチスピードフィーダーハウスドライブベルト 55-22
コンベアチェーン 55-7
コンベアドライブチェーン..... 55-11
シム (平地) 55-28
バリアブルスピードドライブベルト 55-13
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス) 55-24
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (バリアブルスピードフィーダーハウス) ... 55-18
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプベルト (固定速度フィーダーハウス)..... 55-21
下部ケーブル端 (平地)..... 55-28
固定速度ドライブベルト 55-19
前後傾斜フレーム (手動傾斜)..... 55-5
単点ラッチ 55-27
底部ドア 55-3
フィーダーハウス (手動傾斜)
調整
ドラム高さ 55-8
フィーダーハウス (油圧傾斜)
調整
ドラム高さ 55-9
フィーダーハウスバックシャフト速度、調整式コーンヘッドデッキプレート (装備されている場合) 45-M-35
フィーダーハウスフロート 45-C-18
フィーダーハウスリバーサ 45-M-25
フィーダーハウス横方向傾斜速度 45-K-21
フィーダーハウス横方向傾斜速度キャリブレーション手順 45-K-21
フィーダーハウス横方向傾斜範囲 45-K-20
フィーダーハウス横方向傾斜範囲キャリブレーション手順 45-K-21
フィーダーハウス傾斜前後位置範囲..... 45-K-20
フィーダーハウス傾斜前後位置範囲キャリブレーション手順..... 45-K-20
フィーダーハウス上昇速度 45-K-18
フィーダーハウス上昇速度キャリブレーション手順 .. 45-K-18
フィードアクセルレータ
コームフロア (イネ用機械)..... 65-3
トップアクセスドア..... 55-2
メンテナンス
フィードアクセルレータベアリングへのグリース注入..... 130-G-5
詰まりの除去..... 65-73
交換
高速大容量フィードアクセルレータベルト .. 65-5
高速大容量フィードアクセルレータベルトの速度..... 65-7
標準速度大容量フィードアクセルレータベルト . 65-5
標準速度大容量フィードアクセルレータベルトの速度..... 65-7
摩耗ストリップ (タイン) 65-2
摩耗ストリップ (難脱穀性作物) 65-1
摩耗ストリップ (標準)..... 65-1
取り外し
コームフロア (イネ用機械)..... 65-3
調整
ベルト 65-7
フィードプレート
シールサポート 55-3
フィルタ
アクセス
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクインインライン フィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) . 130-P-4
排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-4
フラッシング
ヘビーデューティ燃料プレクリーナ (オプション)..... 130-P-7
メンテナンス
キャブ新気フィルタの清掃..... 130-B-6, 130-O-2
再循環フィルタの清掃 130-E-1, 130-O-1
作動油リザーバーフィルタの交換 130-I-2
交換
エンジンオイルフィルタ 130-F-1, 130-F-2
ヘビーデューティ燃料プレクリーナ (オプション)..... 130-P-8
メインエンジンギヤケースフィルタ 130-C-1, 130-G-12
メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタ 130-C-1, 130-G-15
一次および二次燃料フィルタ 130-P-9

一次燃料フィルタ 130-G-2
作動油フィルタ / 油圧チャージフィルタ 130-G-11
二次燃料フィルタの交換 130-G-2
燃料タンクブリーザー 130-G-16
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー ... 130-G-16
油圧チャージフィルタ 130-G-12
取り外し
エアクリーナフィルタ 130-P-13
エンジンデブリ管理エアフィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-15
清掃
プレクリーナ..... 130-P-7
ヘビーデューティ燃料プレクリーナ (オプション)..... 130-P-8
燃料タンクブリーザー 130-F-3
燃料プレクリーナフィルタ 130-B-4, 130-G-1
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー ... 130-F-3
油水分離器一次燃料フィルタ 130-B-5
点検
エアフィルタエレメント 130-G-16
エンジンデブリ管理エアフィルタ 130-G-12
燃料プレクリーナフィルタ 130-A-5
油水分離器 130-G-2
抜き取り
ウォーターセパレーター次フィルタ 130-P-6
フィルタ、オイル
オイルフィルタ 125-17
フッ素系温室効果ガス、仕様 145-19
プライマリカウンターシャフト
プライマリカウンターシャフトギヤケースオイルの交換 130-J-3
プライマリカウンターシャフトギヤケースオイルの点検 130-G-13
ベアリングへのグリース注入 130-G-7
プリセット..... 45-F-3
プリセットの保存..... 45-F-6
ふるい
高歯ふるい 65-54
取り外し
エレメント 65-56
取り付け
エレメント 65-56
測定 65-52
調整
モーター..... 65-58
調整スイッチ..... 65-54
汎用ふるい 65-54
ふるいすき間..... 45-F-11
ふるい調整..... 45-M-29
ブレーキ
トラブルシューティング..... 135-8
ブレーキフルードの交換..... 130-I-3
ブレーキフルードの点検..... 130-G-13
駐車ブレーキシリンダケーブルの点検..... 130-G-11
ブレーキフルード (装備されている場合) 125-16
プレビュー..... 45-1
フロントガラスウォッシャーリザーバー
リザーバーへの注入 130-O-2
フロントガラスワイパー / ウォッシャーの操作 45-M-14
フロントコンソール 45-M-2
フロントチャファー
調整 65-51

へ

ヘッダー
HydraFlex™ 圧力..... 45-C-29
アクセス 45-C-1
カッターバー位置..... 45-C-34
カッターバー位置復帰 45-C-25
カッターバー傾斜..... 45-C-32
コーンヘッド幅 45-C-4
チルト感度 45-C-10
デッキプレート位置復帰..... 45-C-23
デッキプレート間隔..... 45-C-33
ドレーパーフロート位置..... 45-C-31
ドレーパーベルト速度 45-C-30
バックシャフト速度..... 45-C-33
フィーダーハウスフロート 45-C-18
ヘッダーの詳細 45-C-3
ヘッダーメインページ..... 45-C-1
ヘッダー自動化 45-C-12
リール位置復帰 45-C-22
リンプホームモード..... 45-C-35
安全な輸送 10-3
運転時間 45-C-6
横方向傾斜 45-C-19
傾斜速度 45-C-8
高さ感度 45-C-9
高さ検出 (オフグラウンド)..... 45-C-14
高さ検出 (オングラウンド)..... 45-C-16
高さ復帰 45-C-13
最小リール速度 45-C-5
作業記録 45-C-6
自動ドレーパーベルト速度..... 45-C-28
自動ヘッダー制御..... 45-C-12
自動ヘッダー制御の組み合わせ 95-2
自動リール回転数 45-C-26
取り外し 55-26
取り付け 55-26
詳細設定 45-C-35
上昇 / 下降速度 45-C-7
条幅 45-C-5
制御プレビュー 45-C-12
前後位置復帰..... 45-C-21
前後傾斜 45-C-11
復帰の環境設定 45-C-20
幅 45-C-4
ヘッダーキャリブレーション..... 45-K-18
ヘッダーキャリブレーション手順 45-K-19

ヘッダーの詳細..... 45-C-3
ヘッダーの接続.....45-M-26
ヘッダーへのアクセス..... 45-C-1
ヘッダーポンプ
　ヘッダー駆動ポンプシーブベアリングへのグリース注入 130-G-4
ヘッダーメインページ..... 45-C-1
ヘッダー起動ボタン 45-M-36
ヘッダー傾斜プライマリシリンダ
　グリース
　　ピボットピン (HillMaster™ 機)..... 130-A-8
ヘッダー自動化.....45-C-12
ヘッダー昇降および傾斜スイッチ.....45-M-35
ヘッダー部クラッチ
　メンテナンス
　　電磁ナット 130-G-15
ヘッダー輸送位置 45-E-5
ヘッドライト
　交換
　　フェーシアライト (装備されている場合)... 80-14, 80-15
　　下部走行ビームライト (装備されている場合) 80-15
　　発光ダイオード (LED) ライト 80-16
　調整
　　下部走行ビームライト (装備されている場合) 80-15
　　発光ダイオード (LED) ライト 80-17
べにばな
　作物の設定 100-12
ベルト
　エンジンでの取り回し (ティア 2 / ステージ II)
　　9.0 L 130-Q-1
　　13.5 L..... 130-R-1
　エンジン取り回し (ファイナルティア 4 / ステージ V)
　　9.0 L 130-Q-5
　　13.5 L..... 130-R-8
　シートベルト.....45-M-19
　右駆動ベルト.....65-72
　交換
　　2 番還元物システム.....65-65
　　CommandTouch マルチスピードフィーダーハウスドライブ.....55-21
　　アンローディングオーガ駆動 75-12, 75-13
　　エアコン (ファイナルティア 4 / ステージ V)
　　9.0 L 130-Q-5
　　13.5 L..... 130-R-8
　　エアコンプレッサベルト (ティア 2 / ステージ II)
　　9.0 L 130-Q-1
　　13.5 L..... 130-R-1
　　エンジンデブリ管理ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-Q-15
　　13.5 L..... 130-R-16
　　オーバーショットビーター (装備されている場合).....65-45
オルタネータ (ファイナルティア 4 / ステージ V)
　9.0 L 130-Q-5
　13.5 L..... 130-R-8
カウンタシャフト右フロント 65-47
カウンタシャフト右リア 65-47
クリーニングシュー.....65-49
クリーニングファン..... 65-49, 65-51
クリーングレンエレベータ.....65-59
コンベアオーガ.....65-49
チョッパー 70-29
チョッパージャックシャフト 70-33, 70-35
ファン駆動 (ティア 2 / ステージ II)
　9.0 L 130-Q-1
　13.5 L..... 130-R-3
ファン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
　13.5 L..... 130-R-13
フィーダーハウスバリアブルスピードドライブ .55-12
フィーダーハウス固定速度ドライブ 55-19
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプ (CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス).....55-22
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプ (可変速度フィーダーハウス).....55-15
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプ (固定速度フィーダーハウス).....55-19
ロータリースクリーンベルト ...130-Q-3, 130-R-6
ロータリースクリーン駆動ベルト (ティア 2 / ステージ II)
　9.0 L 130-Q-4
　13.5 L..... 130-R-7
ロータリースクリーン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
　9.0 L 130-Q-7
　13.5 L.....130-R-11
可変回転速度ファン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
　9.0 L 130-Q-9
可変速度駆動.....65-38
空気圧縮機ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
　9.0 L 130-Q-11
　13.5 L..... 130-R-12
高速大容量フィードアクセルレータベルト .. 65-5
真空ファン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
　9.0 L 130-Q-8
　13.5 L.....130-R-11
真空ファン従動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
　9.0 L 130-Q-8
排出ビーター.....65-39
標準速度大容量フィードアクセルレータベルト .65-5

補機 (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-1
13.5 L 130-R-1
左駆動ベルト 65-71
取り回し
ロータリースクリーンベルト ... 130-Q-3, 130-R-5
調整
2 番還元物システム 65-65
CommandTouch マルチスピードフィーダーハウスドライブ 55-22
オーバーショットビーター (装備されている場合) 65-45
カウンタシャフト右フロント 65-46
カウンタシャフト右リア 65-47
クリーニングシュー 65-49
クリーニングファン 65-49
クリーングレンエレベータ 65-59
コンベアオーガ 65-49
チョッパージャックシャフト 70-32
チョッパードライブ 70-29
フィーダーハウスバリアブルスピードドライブ . 55-13
フィーダーハウス固定速度ドライブ 55-19
フィードアクセルレータ 65-7
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプ (CommandTouch マルチスピードフィーダーハウス) 55-24
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプ (バリアブルスピードフィーダーハウス) 55-18
ヘッダーリール / ベルトピックアップポンプ (固定速度フィーダーハウス) 55-21
最初の 50 時間 25-3
二番エレベータ 65-64
排出ビーター 65-39
ベルトの手入れとコンディショニング 110-9
ベルトピックアップクリーンアウト 45-M-25

ほ

ホイールオフセット
フロントタイヤ 85-11
ポップコーン
作物の設定 100-10
ボルトとねじのトルク値
メトリック 145-21
ユニファイインチ 145-20

ま

マップライト
交換 80-21
マルチカプラー
取り付け 55-24

み

ミラー
清掃 130-O-5

め

メインエンジンギヤケース
オイルの交換 130-I-1, 130-J-2
メトリックボルトとねじのトルク値 145-21
メンテナンス
2 番還元物システム
2 番還元物システムカメラの清掃 130-A-7, 130-B-8, 130-G-18, 130-O-4
カメラ乾燥剤 130-G-18, 130-O-4
100 時間後の慣らし運転整備 (ティア 2 / ステージ II) 25-4
1000 時間ごと 110-11
アキュムレータ圧力 130-2
アクセス
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクインインライン フィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) . 130-P-4
排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-4
エアコン
ドレンホースの清掃 130-A-6
エンジン
エアフィルタエレメントの点検 130-G-16
エンジンオイルとフィルタの交換 130-F-1, 130-F-2
エンジンオイルの点検 130-A-2
エンジンクーラントの交換 130-N-1
エンジンデブリ管理エアフィルタの点検 130-G-12
エンジンバルブラッシュの点検 130-J-2
オイルクーラーの清掃 130-A-3, 130-B-5
オルタネータスクリーンの清掃 130-O-2
クーラントレベルの点検 130-A-3
クランクシャフトダンパーの点検 130-M-1
コンデンサの清掃 130-A-3, 130-B-5
チャージエアクーラーの清掃 ... 130-A-3, 130-B-5
メインエンジンギヤケースオイルの交換 . 130-I-1, 130-J-2
メインエンジンギヤケースフィルタの交換 130-C-1, 130-G-12
メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタの交換 130-C-1, 130-G-15
ラジエータの清掃 130-A-3, 130-B-5
ロータリースクリーンの清掃 ... 130-A-3, 130-B-5
一次燃料フィルタの交換 130-G-2
可変速度駆動シーブへのグリース注入 ... 130-G-3
可変速度従動シーブへのグリース注入 ... 130-G-3
空気圧縮機リザーバーからの水を抜き 130-A-5
作動油フィルタ / 油圧チャージフィルタの交換 . 130-G-11
二次燃料フィルタの交換 130-G-2
燃料タンクブリーザーの交換 130-G-16
燃料タンクブリーザーの清掃 130-F-3
燃料プレクリーナフィルタの清掃 130-B-4, 130-G-1
燃料プレクリーナフィルタの点検 130-A-5

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザーの交換..... 130-G-16
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザーの清掃..... 130-F-3
油圧チャージフィルタの交換 130-G-12
油水分離器の点検 130-G-2
油水分離器一次燃料フィルタの清掃 130-B-5
エンジンオイルの点検 30-1
エンジンの慣らし運転 25-1
エンジンルームの清掃 30-8, 115-5
オーバーショットビーター
オーバーショットビーターギヤケースオイルの交換.....130-J-3
オーバーショットビーターギヤケースオイルの点検.....130-G-8
オーバーショットビーターベアリングへのグリース注入 130-G-7
キャブ
シートベルトの点検..... 130-G-15
フロントガラスウォッシャーリザーバーへの注入.....130-O-2
再循環フィルタの清掃 130-E-1, 130-O-1
新気フィルタの清掃.....130-B-6, 130-O-2
クーラントレベルの点検..... 30-2
クリーニング
QR (Quick Response) コード 120-1
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物). 120-7
クリーニングファン
クリーニングファンベアリングへのグリース注入.....130-G-7
クリーニングファン可変速度下部シーブへのグリース注入..... 130-B-4
クリーニングファン可変速度上部シーブへのグリース注入..... 130-B-4
クリーングレインエレベータ
カメラの清掃.....130-A-8, 130-B-7, 130-G-17, 130-O-3
水分センサーの清掃. 130-B-6, 130-G-17, 130-O-2
水分センサーバイパスオーガの清掃 130-B-7, 130-G-17, 130-G-18, 130-O-3
クリーングレンエレベータ
カメラ乾燥剤..... 130-G-18, 130-O-4
摩耗プレートとドア.....65-61
グレンタンク
アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入.....130-G-3
アンローディング駆動軸ベアリングへのグリース注入.....130-G-4
チョッパー駆動軸ベアリングへのグリース注入 . 130-G-4
ローディングオーガギヤケースオイルの点検 130-G-16
質量流量センサーの清掃 130-B-6
垂直アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入 130-G-4
コンディショニング 110-9
コンベアオーガ
コンベアオーガ駆動スリップクラッチへのグリース注入 130-G-7
スプレッダー
スプレッダーディスクへのグリース注入 . 130-G-8
セパレータ
2 速セパレータ駆動装置オイルの点検.... 130-B-5
セパレータベアリングへのグリース注入. 130-G-7
セパレータ可変速度駆動シーブの入れ直し 130-B-3
セパレータ可変速度駆動シーブへのグリース注入..... 130-B-4, 130-E-2
セパレータ可変速度従動シーブの入れ直し 130-B-3
セパレータ可変速度従動シーブへのグリース注入..... 130-B-4, 130-E-2
セパレータ駆動オイルの交換 130-J-3
セパレータ駆動オイルの点検 130-G-8
可変速度駆動シーブへのグリース注入 ...130-G-5
セパレータ摩耗ライナー.....65-13
タイヤ
タイヤ圧の点検..... 130-D-1
ボルトのトルクの点検 130-D-1
タイヤの手入れと整備 85-1
タイヤ圧の点検 85-3, 85-5, 85-8, 85-9
HillMaster™ 85-7, 85-10
トランスミッション
トランスミッションオイルの交換.....130-J-3
トランスミッションオイルの点検..... 130-G-10
ブレーキフルードの交換 130-I-3
ブレーキフルードの点検 130-G-13
駐車ブレーキシリンダケーブルの点検 ..130-G-11
フィーダーハウス
ストーントラップの清掃 130-A-7
フィーダーハウススリップクラッチへのグリース注入..... 130-G-15
フィーダーハウスリバーサギヤケースオイルの交換..... 130-H-1
フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースオイルの点検 130-B-3
横方向傾斜フィーダーハウスの清掃 130-B-3
可変速度フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースへのグリース注入 130-A-7, 130-B-2
可変速度フィーダーハウス上部シーブへのグリース注入 130-B-3
多速度フィーダーハウス駆動ギヤケースの清掃 . 130-G-16
フィードアクセルレータ
フィードアクセルレータベアリングへのグリース注入.....130-G-5
プライマリカウンターシャフト
プライマリカウンターシャフトギヤケースオイルの交換 130-J-3
プライマリカウンターシャフトギヤケースオイルの点検 130-G-13

プライマリカウンターシャフトのユニバーサルジョイントスプラインへのグリース注入..... 130-G-4
プライマリカウンターシャフトベアリングへのグリース注入 130-G-7
プライマリカウンターシャフトへのグリース注入..... 130-E-1
フラッシング
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション)..... 130-P-7
ヘッダーポンプ
ヘッダー駆動ポンプシーブベアリングへのグリース注入 130-G-4
ヘッダー部クラッチ
電磁ナット 130-G-15
ベルトの手入れ 110-9
リアホイールボルトのトルク 85-22
リールポンプ
リール駆動ポンプシーブベアリングへのグリース注入 130-G-4
火災防止 115-1
慣らし運転整備、400 時間後 (ファイナル ティア 4 / ステージ V) 25-4
間隔表..... 110-9
基本的なタイヤ情報..... 85-2
軌道の清掃 110-8
軌道交換 110-10
駆動ホイールのボルトのトルク 85-11
駆動装置
2 速四輪駆動モーターのピボット部へのグリース注入..... 130-A-6, 130-B-2
ファイナルドライブオイルの交換.....130-J-2
ファイナルドライブオイルの点検..... 130-G-8
ファイナルドライブのカプラーへのグリース注入..... 130-B-8
ファイナルドライブピボットへのグリース注入 (HillMaster™ 機)..... 130-A-8
ファイナルドライブ外側ベアリングへのグリース注入..... 130-A-6, 130-B-2
ヘッダー傾斜プライマリシリンダピボットピンへのグリース注入 (HillMaster™ 機) 130-A-8
リアアクスルタイロッドへのグリース注入 130-G-8
レベリングシリンダバレルへのグリース注入 (HillMaster™ 機)..... 130-A-8, 130-A-9
親シリンダピボットピンへのグリース注入 (HillMaster™ 機)..... 130-A-8
二輪駆動エキストラヘビーデューティスピンドルベアリングとピボットピンへのグリース注入 130-A-6, 130-B-2
二輪駆動ヘビーデューティスピンドルベアリングとピボットピンへのグリース注入..... 130-A-6, 130-B-2
交換
Advanced PowerCast スプレッダーディスク 70-24
オーバーショットビーターウイング (装備されている場合)..... 65-46
タインフィードアクセルレータの摩耗ストリップ..... 65-2
チョッパーブレード 70-17, 70-18
ディスクアセンブリ (シングルスピード) 70-27
ディスクアセンブリ (デュアルスピード) 70-28
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション)..... 130-P-8
一次および二次燃料フィルタ 130-P-9
固定ナイフ (電動アクチュエータ)..... 70-15
固定ナイフ (電動アクチュエータなし)..... 70-14
中間スプリッターナイフ 70-19
難脱穀性作物用フィードアクセルレータの摩耗ストリップ..... 65-1
難脱穀性作物用排出ビーター摩耗ストリップ 65-44
排出ビーターの摩耗ストリップ..... 65-43
標準フィードアクセルレータ摩耗ストリップ 65-1
標準排出ビーターの摩耗ストリップ 65-44
油圧ホース 130-1
最初の 100 時間の前の慣らし運転点検..... 25-4
作動油リザーバーオイルの点検..... 30-2
取り外し
アンローディングオーガ駆動チェーンリンク 75-9
エアクリーナフィルタ 130-P-13
エンジンデブリ管理エアフィルタ (ファイナル ティア 4 / ステージ V) 130-P-15
タインフィードアクセルレータのコームフロア (イネ用機械) 65-3
潤滑記号 130-3
潤滑銘板の位置 130-1
消火器..... 115-1
充填 115-2
消火器ストラップの点検 130-O-5
消火器の点検..... 130-G-13
心出し
チョッパーブレード.....70-20
整備間隔
セットアップ.....130-1
消去 130-1
整備間隔表
3 年ごと 130-K-1, 130-L-1
5 年ごと 130-M-1
6 年ごと 130-N-1
10 時間ごと 130-A-1
50 時間ごと 130-B-1
100 時間ごと..... 130-D-1
200 時間ごと..... 130-E-1
250 時間ごと..... 130-F-1
400 時間ごと..... 130-G-1, 130-G-6, 130-G-10, 130-G-14
800 時間ごと..... 130-H-1
1000 時間ごと 130-I-1, 130-I-3

2000 時間ごと 130-J-1, 130-K-1
3500 時間ごと 130-L-1
4500 時間ごと 130-M-1
6000 時間ごと 130-N-1
使用開始 100 時間後..... 130-C-1
必要に応じて..... 130-O-1
清掃
2 番還元物エレベータカメラ 65-62
2 番還元物システムエレベータのセンサー..65-63
クリーングレインエレベータカメラ 65-62
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション)..... 130-P-8
機械の清掃 (定期清掃).....120-1
質量流量センサー (グレンタンクエクステンション)..... 75-8
質量流量センサープレート (グレンタンクカバー) 75-9
窓、ミラー、ライト.....130-O-5
燃料プレクリーナ 130-P-7
清掃部分 110-8
注入
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-2
調整
アンローディングオーガクレードルサポート 75-10
アンローディングオーガ位置 75-10, 75-11
アンローディングオーガ駆動チェーン..... 75-9
クリーングレインエレベーターコンベアチェーン.....65-60
グレインタンクカバー (装備されている場合) 75-3
グレンタンクローディングオーガ (グレンタンクカバー)..... 75-7
ベルト、最初の 50 時間..... 25-3
点検
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (ファイナルティア 4 / ステージ V) 30-4
電気
バッテリーの点検 130-G-11
冬季に対する冷却システムの準備 130-P-13
二番エレベータ
二番エレベータスリップクラッチへのグリース注入..... 130-A-7, 130-B-8
二番オーガ
二番オーガ駆動スリップクラッチへのグリース注入.....130-G-6
燃料タンクシャットオフバルブ..... 130-P-6
燃料タンクの抜き取り 130-P-6
燃料タンクブリーザーの点検 30-4
燃料タンクへの注入.....125-1, 130-P-5
燃料系統のエア抜き.....130-P-10
燃料系統の点検 30-3
排出ビーター
排出ビーターベアリングへのグリース注入 130-G-7
抜き取り
ウォーターセパレーター次フィルタ 130-P-6
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-3
毎日 110-10
油圧オイルの点検 30-2
油圧系統
メインエンジンギヤケースのオイルレベルの点検..... 130-A-5
作動油リザーバーオイルの交換.....130-J-1
作動油リザーバーオイルレベルの点検.... 130-A-5
作動油リザーバーフィルタの交換 130-I-2
油圧系統の清浄度 130-1
冷却システムの抜き取り.....130-P-11
冷却システムへの充填 130-P-12
メンテナンス
交換基準 110-10

も

もろこし
作物の設定 100-13

ゆ

ユーラシア経済連合適合ラベルの位置.....150-2
ユニファイインチボルトおよびねじのトルク値 145-20

ら

ライト 45-M-23
ライトの位置
エンジンルーム整備用ライト (オプション) .. 50-7
ガルウイング整備用ライト (オプション)..... 50-5
シュー整備用ライト..... 50-5
ハザード警告灯 50-1
ビーコンライト 50-1
フロントスタブルライト 50-2
マーカー / 停止灯 50-3
リアディスチャージライト 50-3
自動ビーコンライト 50-2
退出ライト 50-3, 50-7
道路ライト 50-1
圃場灯 50-2, 50-4
ライトへのアクセス..... 45-J-1
ライトメインページ..... 45-J-1
交換
アクセスドア作業灯.....80-19
アンローディングオーガライト.....80-19
キャビンインテリアライト.....80-21
キャブヘッドライト.....80-12
キャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム) . 80-13
クリアランスライト / 停止灯 80-21
クリーニングシューライト.....80-20
グレンタンクライト.....80-19
スタブルライト 80-19

ディスチャージライト 80-19
ハザード警告灯 / クリアランスライト..... 80-21
ハロゲンバルブの安全規則..... 80-11
ビーコンライト 80-19
ビーコンライトバルブ 80-18
フェーシアライト (装備されている場合)... 80-14, 80-15
マップライト..... 80-21
リアハザード警告灯..... 80-21
下部走行ビームライト (装備されている場合) 80-15
側面ライト 80-20
発光ダイオード (LED) ライト 80-16
補助圃場灯 80-19
作業灯のコントロール 45-J-4
作業灯プリセット 1 — ハイビーム..... 45-J-3
作業灯プリセット 1 — ロービーム..... 45-J-2
作業灯プリセット 2 — ハイビーム..... 45-J-3
作業灯プリセット 2 — ロービーム..... 45-J-2
照明の遅延 / タイムアウト 50-7
清掃 130-O-5
退出ライト 45-J-4
調整
キャブヘッドライト..... 80-12
キャブヘッドライト (キャブとロービーム). 80-13, 80-14
下部走行ビームライト (装備されている場合) 80-15
発光ダイオード (LED) ライト 80-17
ライトの操作..... 45-M-13
ライトへのアクセス..... 45-J-1
ライトメインページ..... 45-J-1
ライ小麦
作物の設定 100-14
ライ麦
作物の設定 100-12
ラジエータ
クーラントレベルの点検..... 30-2
クリーニング..... 130-A-3
システムの抜き取り..... 130-P-11
システムへの充填 130-P-12
メンテナンス
エンジンクーラントの交換..... 130-N-1
交換
ファン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
13.5 L..... 130-R-13
ロータリースクリーンベルト ...130-Q-3, 130-R-6
ロータリースクリーン駆動ベルト (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-4
13.5 L..... 130-R-7
ロータリースクリーン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-7
13.5 L..... 130-R-11
可変速度駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-9
真空ファン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-8
13.5 L..... 130-R-11
真空ファン従動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-8
取り回し
ロータリースクリーンベルト ...130-Q-3, 130-R-5
清掃 130-B-5
調整
ロータリースクリーンブラシ 130-Q-14, 130-R-15
冬季に対するシステムの準備 130-P-13
ラジオ..... 20-1, 45-M-22
CB 配線..... 20-3
アフターマーケットラジオ 20-1
アンテナ 20-2
コントロール..... 20-2
サーチ..... 45-M-30
周波数..... 20-1

り

リアタラップと踊り場 130-P-1
リールとカッターバーの位置..... 45-K-22
リールとカッターバー位置のキャリブレーション手順 45-K-23
リールポンプ
リール駆動ポンプシーブベアリングへのグリース注入..... 130-G-4
リール位置復帰 45-C-22
リール上昇 / 下降、リール前後位置 (装備されている場合) スイッチ..... 45-M-35
リンプホームモード 45-C-35
ProDrive™ トランスミッション 45-I-4

れ

レベリングシリンダ
グリース
レベリングシリンダバレル (HillMaster™ 機) 130-A-8, 130-A-9
レンズの汚れ..... 45-L-8
レンズマメ
作物の設定 100-6

ろ

ローター
セパレータタインの位置 (TriStream ローターフグレインローター構成)..... 65-31
セパレータタインの位置 (TriStream ローターデンスパック構成) 65-32
セパレータタインの位置 (バリアブルストリームローターデンスパック構成)..... 65-36

セパレータタインの位置 (バリアブルストリームローター標準構成) 65-35
取り外し
脱穀エレメント (TriStream ローター) 65-30
脱穀エレメント (バリアブルストリームローター) 65-33
脱穀タイン (TriStream ローター) 65-30
脱穀タイン (バリアブルストリームローター) ... 65-33
取り付け
脱穀エレメント (TriStream ローター) 65-30
脱穀エレメント (バリアブルストリームローター) 65-33
脱穀タイン (TriStream ローター) 65-30
脱穀タイン (バリアブルストリームローター) ... 65-33
脱穀エレメントの位置 (TriStream ロータータフグレインローター構成) 65-31
脱穀エレメントの位置 (TriStream ローターデンスパック構成) 65-32
脱穀エレメントの位置 (バリアブルストリームローターデンスパック構成) 65-36
脱穀エレメントの位置 (バリアブルストリームローター標準構成) 65-35
ロータリースクリーン
クリーニング 130-A-3
交換
ベルト 130-Q-3, 130-R-6
駆動ベルト (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-4
13.5 L 130-R-7
駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-7
13.5 L 130-R-11
取り回し
ベルト 130-Q-3, 130-R-5
清掃 130-B-5
調整
ブラシ 130-Q-14, 130-R-15
ローディングオーガデフレクタ 75-6
ローディングオーガの折りたたみ (グレンタンクエクステンション) 75-7

わ

わら条件 45-F-5
わら品質の問題 45-L-24

漢字

亜麻
作物の設定 100-5
圧力
タイヤの手入れと整備 85-1
タイヤの点検 85-3, 85-5, 85-8, 85-9
HillMaster™ 85-7, 85-10
安全
オペレータの能力 10-2
ジャッキポケットの位置 85-13, 90-11
ステッカー
ジャッキポケット位置 85-12
機械の結束位置 90-10
タイヤ、安全な整備 10-12
バックアップアラーム 10-14
バッテリーの安全な取り付け 80-3
ハロゲンバルブの安全規則 80-11
フィーダーハウスストップ 55-1
ヘッダーの輸送 10-3
安全なメンテナンス、実行 10-8
機械の機能 05-1
機械の結束位置 90-10
消火器 20-5, 20-6, 115-3, 115-4
チェックリスト 115-1
位置 20-7, 115-5
火災防止のための推奨事項 115-1
充填 115-2
操作 115-1
暖房・換気機能付き運転席 10-7
銘板
エンジンビュー 15-13
キャブ 15-6, 15-20
キャブタラップ 15-6
フィーダーハウス右側の銘板位置 15-22
フィーダーハウス左側 15-4
右側 15-17, 15-20
右側からの残留物 (スプレッダー) 15-16
右側からの残留物 (チョッパー) 15-15
左側 15-7, 15-9
左側からの残留物 (スプレッダー) 15-12
左側からの残留物 (チョッパー) 15-11
上面図 15-24
正面図 15-1
安全、高圧流体の回避
高圧流体の回避 10-10
安全、潤滑剤 125-17
安全、燃料の安全な取り扱い、火災防止
火災防止、燃料の安全な取り扱い 10-4, 115-2, 125-1
安全標識
アキュムレータの銘板 110-1
キャブ / プラットフォームアクセスタラップ 110-1
取扱説明書 110-1
異物感度 45-L-29
移動速度の調整 45-L-25
稲
作物の設定 100-11
羽根
調整
作物ダイバータ 70-2
運転プラットフォーム
キャビンタラップの位置 20-4
右踊り場によるアクセス 20-7

手すり 20-7
運転回転数 (S760、S770) 145-1
運転回転数 (S780、S785、S790) 145-3
運転時間 45-C-6
運転席
キャブタラップの位置
旋回 (軌道機械) 110-2
地面からの折りたたみ / 展開 (軌道機械) 110-3
踊り場からの折りたたみ / 展開 (軌道機械) . 110-3
応答の感応度
Auto Maintain 45-L-28
HarvestSmart™ 45-L-10
押しつぶし防止 110-1
押しボタンシフトギヤ (装備されている場合) 45-M-30
横方向傾斜 45-C-19
黄色のフラッシャー 45-K-23
黄色のフラッシャーのキャリブレーション手順 45-K-23
温度の設定 45-H-2
下り坂感度 45-L-14
可変回転速度ファン
メンテナンス
可変速度駆動シーブへのグリース注入 ... 130-G-3
可変速度従動シーブへのグリース注入 ... 130-G-3
交換
駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V) 9.0 L 130-Q-9
過剰 2 番還元物 45-L-24
解決策 45-L-24
回転警報システム 10-17
外気温 45-H-3
外部構成 45-F-12
格子インタラプタ (装備されている場合) 65-11
格子インタラプタの位置 (装備されている場合) 65-12
格子カバー (装備されている場合) 65-11
格子スペーサ 65-10
格子の種類 65-10
較正
「Yield (収量)
タイヤ半径コードの変更 95-4
寒冷気候
エンジン始動液 130-P-1
エンジン始動液の安全な取り扱い 35-6
エンジン始動液の作動 35-6
クーラントヒーター 35-6
慣らし運転整備
100 時間後の点検 (ティア 2 / ステージ II) 25-4
400 時間後の点検 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 25-4
エンジン 25-1
最初の 100 時間の前に点検します。 25-4
慣らし運転用エンジンオイル
インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V 125-11
排出ガス規制認定なし / 認定ティア 1、ティア 2、ティア 3、ステージ I、ステージ II、ステージ III 125-11
間隔表
3 年ごと 130-K-1, 130-L-1
5 年ごと 130-M-1
6 年ごと 130-N-1
10 時間ごと 130-A-1
50 時間ごと 130-B-1
100 時間ごと 130-D-1
200 時間ごと 130-E-1
250 時間ごと 130-F-1
400 時間ごと 130-G-1, 130-G-6, 130-G-10, 130-G-14
800 時間ごと 130-H-1
1000 時間ごと 130-I-1, 130-I-3
2000 時間ごと 130-J-1, 130-K-1
3500 時間ごと 130-L-1
4500 時間ごと 130-M-1
6000 時間ごと 130-N-1
使用開始 100 時間後 130-C-1
必要に応じて 130-O-1
基本的なタイヤ情報 85-2
軌道
機能 110-5
構成部品 110-5
利点 110-5
軌道の清掃 110-8
軌道交換基準 110-10
吸気システム
改造禁止 130-P-2
教習シート 45-M-19
金具のトルク値
メトリック 145-21
ユニファイインチ 145-20
駆動軸
メンテナンス
プライマリカウンターシャフトのユニバーサルジョイントスプラインへのグリース注入 130-G-4
プライマリカウンターシャフトへのグリース注入 130-E-1
駆動輪スタータスタッドボルト 85-11
空気圧縮機
メンテナンス
リザーバーからの水を抜き 130-A-5
リザーバー 130-P-14
ワンド
ホース 130-P-14
交換
ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V) 9.0 L 130-Q-11
13.5 L 130-R-12
空気圧縮機システム 130-P-14
傾斜インジケーター
フィーダーハウス 55-24

傾斜フレーム
設定
フィーダーハウス (手動傾斜) 55-5
調整
フィーダーハウス (手動傾斜) 55-5
傾斜速度 45-C-8
軽い異物 45-L-23
牽引
機械 90-11
機械の後進 90-13
機械の前進 90-12
牽引フック
リア 90-13
前部 90-12
牽引モード
ProDrive™ トランスミッション 45-I-2
固定ナイフバンク
ナイフの交換 (電動アクチュエータ) 70-15
ナイフの交換 (電動アクチュエータなし) 70-14
取り外し (電動アクチュエータ) 70-12
取り付け (電動アクチュエータ) 70-13
調整 (電動アクチュエータなし) 70-11
後処理装置表示灯の概要 35-2
工具箱 60-2
工場初期設定 45-F-6
高さ感度 45-C-9
高さ検出 (オフグラウンド) 45-C-14
高さ検出 (オングラウンド) 45-C-16
高さ復帰 45-C-13
最小リール速度 45-C-5
最大速度 1、2 ..... 45-I-2
作業記録 45-C-6
作業灯のコントロール 45-J-4
作業灯プリセット 1 — ハイビーム 45-J-3
作業灯プリセット 1 — ロービーム 45-J-2
作業灯プリセット 2 — ハイビーム 45-J-3
作業灯プリセット 2 — ロービーム 45-J-2
作動油 110-10
作物
重量表 100-18
水分の一覧表 100-18
密度の表 100-18
作物ダイバータ羽根
調整 70-2
作物の設定
アルファルファ 100-1
えんどう豆 100-9
オート麦 100-9
からし 100-8
きび 100-7
キャノーラ 100-2
グアー (クラスタマメ) 100-6
とうもろこし (ウエット) 100-3
とうもろこし (ドライ) 100-3
とうもろこし穂軸混合 100-4
ナタネ (ドライ) 100-10
ナタネ (未乾燥) 100-11
はうちわ豆 100-7
ひまわり 100-14
ひよこ豆 100-2
べにばな 100-12
ポップコーン 100-10
もろこし 100-13
ライ小麦 100-14
ライ麦 100-12
レンズマメ 100-6
亜麻 100-5
稲 100-11
脚注の説明ページ 100-15
小麦 (難脱穀性) 100-15
小麦 (普通) 100-15
食用豆 100-4
草種子 100-5
大豆 100-13
大麦 100-1
白いんげん豆 100-8
作物分流器 70-9
作物変更の影響 45-F-7
残留物モード 45-B-3
残留物管理 45-B-1
Intermediate/Deluxe residue 70-1
Premium residue 70-1
キャブ外調整 45-B-6
スプレッダーディスクへのグリース注入 130-G-8
スワップ 45-B-6
セパレーターベーン 45-B-3
ナイフバンク 45-B-7
わら散布装置 70-2
残留物モード 45-B-3
残留物管理 45-B-1
残留物管理へのアクセス 45-B-1
自動スワップ 45-B-7
速度 45-B-4
幅 45-B-4
方向 45-B-5
残留物管理へのアクセス 45-B-1
残留物取り扱いのオプション
Intermediate/Deluxe residue 70-1
Premium residue 70-1
わら散布装置 70-2
仕様 110-13
運転回転数 (S760、S770) 145-1
運転回転数 (S780、S785、S790) 145-3
機械の寸法 110-14
機械仕様 (S760、S770) 145-5
機械仕様 (S780、S785、S790) 145-8
軌道モジュール寸法 110-13
寸法 (S760、S770) 145-11
寸法 (S770 HillMaster™) 145-12
寸法 (S780 HillMaster™、S785 HillMaster™、S790 HillMaster™) 145-14
寸法 (S780、S785、S790) 145-13

寸法基準点 110-15, 145-15
全身振動 145-16
騒音レベル 145-16
道路速度 110-7
四輪駆動 (オプション)
トラブルシューティング 135-7
四輪駆動 (装備されている場合) 45-M-31
自動スワップ 45-B-7
自動ドレーパーベルト速度 45-C-28
自動ヘッダー制御 45-C-12
組み合わせ 95-2
自動リール回転数 45-C-26
自動化ステータス 45-L-9
自動排気フィルタクリーニング 45-G-3
自動排気フィルタクリーニングの無効化 45-G-5
質量流量センサー
トラブルシューティング 135-21
メンテナンス
質量流量センサーの清掃 130-B-6
質量流量振動 45-K-1
質量流量振動のキャリブレーション手順 45-K-2
車軸
駆動装置
2 速四輪駆動モーターのピボット部へのグリース注入 130-A-6, 130-B-2
ファイナルドライブオイルの交換 130-J-2
ファイナルドライブオイルの点検 130-G-8
ファイナルドライブのカプラーへのグリース注入 130-B-8
ファイナルドライブピボットへのグリース注入 (HillMaster™ 機) 130-A-8
ファイナルドライブ外側ベアリングへのグリース注入 130-A-6, 130-B-2
ヘッダー傾斜プライマリシリンダピボットピンへのグリース注入 (HillMaster™ 機) 130-A-8
リアアクスルタイロッドへのグリース注入 130-G-8
レベリングシリンダバレルへのグリース注入 (HillMaster™ 機) 130-A-8, 130-A-9
親シリンダピボットピンへのグリース注入 (HillMaster™ 機) 130-A-8
二輪駆動エキストラヘビーデューティスピンドルベアリングとピボットピンへのグリース注入 130-A-6, 130-B-2
二輪駆動ヘビーデューティスピンドルベアリングとピボットピンへのグリース注入 130-A-6, 130-B-2
取扱説明書 110-1
手動制御 45-E-8
収穫のコントロール 45-M-20
収穫のヒント 95-1
低温時の運転 95-1
収穫設定
カスタムプリセット 45-F-6
クリーニングファン 45-F-9
シュー分解能 45-F-14
セパレータ分解能 45-F-13
チャファーすき間 45-F-10
プリセット 45-F-3
プリセットの保存 45-F-6
ふるいすき間 45-F-11
わら条件 45-F-5
外部構成 45-F-12
工場初期設定 45-F-6
作物変更の影響 45-F-7
収穫設定の読み込み 45-F-2
収穫設定へのアクセス 45-F-1
収穫設定メインページ 45-F-1
詳細設定 45-F-13
性能目標 45-F-15
脱穀すき間 45-F-7
脱穀条件 45-F-4
脱穀速度 45-F-8
調整の状態 45-F-12
収穫設定の読み込み 45-F-2
プリセット 45-F-3
プリセットの保存 45-F-6
カスタムプリセット 45-F-6
工場初期設定 45-F-6
わら条件 45-F-5
作物変更の影響 45-F-7
脱穀条件 45-F-4
収穫設定へのアクセス 45-F-1
収穫設定メインページ 45-F-1
収穫量
未使用のサンプルを削除 45-K-12
収穫量
キャリブレーションの編集 / 選択 45-K-10
キャリブレーション品質 45-K-4
キャリブレーション品質インジケーター 45-K-7
サンプルの記録 45-K-5
ステータス表示灯 45-K-5
リセット 45-K-10
記録ステータス 45-K-9
質量流量 45-K-8
収集したサンプルのステータス 45-K-8
重量インジケーター 45-K-9
詳細設定 45-K-7
詳細編集 45-K-11
秤量重量と一致 45-K-6
収穫量キャリブレーション 45-K-4
多点 95-4
単点 95-4
収量較正
タイヤ半径コードの変更 95-4
重い異物 45-L-23
潤滑とメンテナンス
2000 時間
DEF インラインフィルタの交換 130-K-2
2000 時間 / 36 か月
DEF 供給装置フィルタの交換 .. 130-K-1, 130-L-1

4500 時間
DEF インラインフィルタの交換..... 130-L-2
作動油..... 110-10
必要に応じて
DEF タンクの清掃 130-P-4
潤滑剤
混合 125-17
潤滑剤、安全..... 125-17
潤滑剤の混合..... 125-17
潤滑剤の保管
保管、潤滑剤..... 125-17
小麦 (難脱穀性)
作物の設定 100-15
小麦 (普通)
作物の設定 100-15
消火器..... 20-5, 20-6, 115-3, 115-4
ストラップの点検 130-O-5
チェックリスト 115-1
火災防止のための推奨事項..... 115-1
取り付け台 20-7, 115-5
充填 115-2
操作 115-1
点検 130-G-13
詳細設定 45-C-35, 45-D-2, 45-F-13
上り坂感度..... 45-L-14
上昇 / 下降速度 45-C-7
条幅 45-C-5
食用豆
作物の設定 100-4
伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテスト 45-K-19
伸縮式プラットフォームヘッダーのセルフテストキャリブレーション手順..... 45-K-19
真空ファン
交換
駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-8
13.5 L..... 130-R-11
従動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-8
親シリンダ
グリース
親シリンダピボットピン (HillMaster™ 機)130-A-8
水分アラーム..... 45-D-4
水分センサー
トラブルシューティング..... 135-21
手順 45-K-2
清掃 130-B-6, 130-G-17, 130-O-2
バイパスオーガ 130-B-7, 130-G-17, 130-G-18, 130-O-3
水分センサーのキャリブレーション 45-K-2
水分の設定..... 45-D-4
水分補正 45-D-5
寸法
S760、S770..... 145-11
S770 HillMaster™ 145-12
S780 HillMaster™、S785 HillMaster™、S790 HillMaster™ 145-14
S780、S785、S790..... 145-13
基準点.....110-15, 145-15
機械 110-14
軌道モジュール 110-13
制御プレビュー 45-C-12
性能の最適化..... 45-L-18
性能の問題..... 45-L-22
性能点検
動力の遮断 100-17
性能目標 45-F-15
性能目標の設定 45-L-21
整備
2 番還元物システム
2 番還元物システムカメラの清掃 130-A-7, 130-B-8, 130-G-18, 130-O-4
カメラ乾燥剤..... 130-G-18, 130-O-4
100 時間後の慣らし運転整備 (ティア 2 / ステージ II)..... 25-4
1000 時間ごと 110-11
2000 時間
DEF インラインフィルタの交換..... 130-K-2
2000 時間 / 36 か月
DEF 供給装置フィルタの交換 .. 130-K-1, 130-L-1
4500 時間
DEF インラインフィルタの交換..... 130-L-2
アキュムレータ圧力.....130-2
アクセス
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクインインライン フィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) . 130-P-4
排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-4
エアコン
ドレンホースの清掃..... 130-A-6
エンジン
エアフィルタエレメントの点検..... 130-G-16
エンジンオイルとフィルタの交換.....130-F-1, 130-F-2
エンジンオイルの点検 130-A-2
エンジンクーラントの交換..... 130-N-1
エンジンデブリ管理エアフィルタの点検130-G-12
エンジンバルブラッシュの点検 130-J-2
オイルクーラーの清掃 130-A-3, 130-B-5
オルタネータスクリーンの清掃 130-O-2
クーラントレベルの点検 130-A-3
クランクシャフトダンパーの点検.....130-M-1
コンデンサの清掃 130-A-3, 130-B-5
チャージエアクーラー 130-A-3, 130-B-5
メインエンジンギヤケースオイルの交換. 130-I-1, 130-J-2
メインエンジンギヤケースフィルタの交換 130-C-1, 130-G-12

メインエンジンギヤケース潤滑油フィルタの交換..... 130-C-1, 130-G-15
ラジエータの清掃 130-A-3, 130-B-5
ロータリースクリーンの清掃 ... 130-A-3, 130-B-5
一次燃料フィルタの交換 130-G-2
可変速度駆動シーブへのグリース注入 ... 130-G-3
可変速度従動シーブへのグリース注入 ... 130-G-3
空気圧縮機リザーバーからの水を抜き.... 130-A-5
作動油フィルタ / 油圧チャージフィルタの交換 . 130-G-11
二次燃料フィルタの交換 130-G-2
燃料タンクブリーザーの交換 130-G-16
燃料タンクブリーザーの清掃 130-F-3
燃料プレクリーナフィルタの清掃..... 130-B-4, 130-G-1
燃料プレクリーナフィルタの点検..... 130-A-5
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザーの交換..... 130-G-16
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザーの清掃..... 130-F-3
油圧チャージフィルタの交換 130-G-12
油水分離器の点検 130-G-2
油水分離器一次燃料フィルタの清掃 130-B-5
エンジンオイルの点検 30-1
エンジンの慣らし運転 25-1
エンジンルームの清掃 30-8, 115-5
オーバーショットビーター
オーバーショットビーターギヤケースオイルの交換.....130-J-3
オーバーショットビーターギヤケースオイルの点検.....130-G-8
排出ビーターベアリングへのグリース注入 130-G-7
キャブ
キャブ新気フィルタの清掃..... 130-B-6, 130-O-2
シートベルトの点検..... 130-G-15
フロントガラスウォッシャーリザーバーへの注入.....130-O-2
再循環フィルタの清掃 130-E-1, 130-O-1
クーラントレベルの点検..... 30-2
クリーニング
QR (Quick Response) コード 120-1
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物). 120-7
クリーニングファン
クリーニングファンベアリングへのグリース注入.....130-G-7
クリーニングファン可変速度下部シーブへのグリース注入 130-B-4
クリーニングファン可変速度上部シーブへのグリース注入 130-B-4
クリーングレインエレベータ
カメラの清掃.....130-A-8, 130-B-7, 130-G-17, 130-O-3
水分センサーの清掃. 130-B-6, 130-G-17, 130-O-2
水分センサーバイパスオーガの清掃 130-B-7, 130-G-17, 130-G-18, 130-O-3
クリーングレンエレベータ
カメラ乾燥剤..... 130-G-18, 130-O-4
摩耗プレートとドア.....65-61
グレンタンク
アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入.....130-G-3
アンローディング駆動軸ベアリングへのグリース注入.....130-G-4
チョッパー駆動軸ベアリングへのグリース注入 . 130-G-4
ローディングオーガギヤケースオイルの点検 130-G-16
質量流量センサーの清掃 130-B-6
垂直アンローディングオーガ上部ギヤケースへのグリース注入 130-G-4
コンベアオーガ
コンベアオーガ駆動スリップクラッチへのグリース注入 130-G-7
スプレッダー
スプレッダーディスクへのグリース注入 . 130-G-8
セパレータ
2 速セパレータ駆動装置オイルの点検.... 130-B-5
セパレータベアリングへのグリース注入. 130-G-7
セパレータ可変速度駆動シーブの入れ直し 130-B-3
セパレータ可変速度駆動シーブへのグリース注入..... 130-B-4, 130-E-2
セパレータ可変速度従動シーブの入れ直し 130-B-3
セパレータ可変速度従動シーブへのグリース注入..... 130-B-4, 130-E-2
セパレータ駆動オイルの交換 130-J-3
セパレータ駆動オイルの点検 130-G-8
可変速度駆動シーブへのグリース注入 ... 130-G-5
セパレータレールライナー.....65-13
タイヤ
タイヤ圧の点検..... 130-D-1
ボルトのトルクの点検 130-D-1
タイヤの手入れと整備 85-1
タイヤ圧の点検 85-3, 85-5, 85-8, 85-9
HillMaster™ 85-7, 85-10
デュアルホイールの準備.....85-12
トランスミッション
トランスミッションオイルの交換.....130-J-3
トランスミッションオイルの点検..... 130-G-10
ブレーキフルードの交換 130-I-3
ブレーキフルードの点検 130-G-13
駐車ブレーキシリンダケーブルの点検 ..130-G-11
フィーダーハウス
ストーントラップの清掃 130-A-7
フィーダーハウススリップクラッチへのグリース注入..... 130-G-15
フィーダーハウスリバーサギヤケースオイルの交換..... 130-H-1

フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースオイルの点検 130-B-3
横方向傾斜フィーダーハウスの清掃 130-B-3
可変速度フィーダーハウスリバーサ駆動ギヤケースへのグリース注入 130-A-7, 130-B-2
可変速度フィーダーハウス上部シーブへのグリース注入 130-B-3
多速度フィーダーハウス駆動ギヤケースの清掃 . 130-G-16
プライマリカウンターシャフト
プライマリカウンターシャフトギヤケースオイルの交換 130-J-3
プライマリカウンターシャフトギヤケースオイルの点検 130-G-13
プライマリカウンターシャフトのユニバーサルジョイントスプラインへのグリース注入..... 130-G-4
プライマリカウンターシャフトベアリングへのグリース注入 130-G-7
プライマリカウンターシャフトへのグリース注入..... 130-E-1
フラッシング
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション)..... 130-P-7
ヘッダーポンプ
ヘッダー駆動ポンプシーブベアリングへのグリース注入 130-G-4
ヘッダー部クラッチ
電磁ナット 130-G-15
ベルトの手入れとコンディショニング..... 110-9
リアホイールボルトのトルク 85-22
リールポンプ
リール駆動ポンプシーブベアリングへのグリース注入.....130-G-4
火災防止 115-1
慣らし運転整備、400 時間後 (ファイナル ティア 4 / ステージ V) 25-4
間隔
セットアップ.....130-1
消去 130-1
間隔表..... 110-9
3 年ごと 130-K-1, 130-L-1
5 年ごと 130-M-1
6 年ごと 130-N-1
10 時間ごと 130-A-1
50 時間ごと 130-B-1
100 時間ごと..... 130-D-1
200 時間ごと..... 130-E-1
250 時間ごと..... 130-F-1
400 時間ごと..... 130-G-1, 130-G-6, 130-G-10, 130-G-14
800 時間ごと..... 130-H-1
1000 時間ごと 130-I-1, 130-I-3
2000 時間ごと 130-J-1, 130-K-1
3500 時間ごと 130-L-1
4500 時間ごと 130-M-1
6000 時間ごと 130-N-1
使用開始 100 時間後..... 130-C-1
必要に応じて..... 130-O-1
基本的なタイヤ情報..... 85-2
軌道の清掃 110-8
軌道交換..... 110-10
駆動ホイールのボルトのトルク 85-11
駆動装置
2 速四輪駆動モーターのピボット部へのグリース注入..... 130-A-6, 130-B-2
ファイナルドライブオイルの交換.....130-J-2
ファイナルドライブオイルの点検..... 130-G-8
ファイナルドライブのカプラーへのグリース注入..... 130-B-8
ファイナルドライブピボットへのグリース注入 (HillMaster™ 機)..... 130-A-8
ファイナルドライブ外側ベアリングへのグリース注入 130-A-6, 130-B-2
ヘッダー傾斜プライマリシリンダピボットピンへのグリース注入 (HillMaster™ 機) 130-A-8
リアアクスルタイロッドへのグリース注入 130-G-8
レベリングシリンダバレルへのグリース注入 (HillMaster™ 機)..... 130-A-8, 130-A-9
親シリンダピボットピンへのグリース注入 (HillMaster™ 機)..... 130-A-8
二輪駆動エキストラヘビーデューティスピンドルベアリングとピボットピンへのグリース注入 130-A-6, 130-B-2
二輪駆動ヘビーデューティスピンドルベアリングとピボットピンへのグリース注入..... 130-A-6, 130-B-2
交換
Advanced PowerCast スプレッダーディスク 70-24
オーバーショットビーターウイング (装備されている場合).....65-46
タインフィードアクセルレータの摩耗ストリップ..... 65-2
チョッパーブレード..... 70-17, 70-18
ディスクアセンブリ (シングルスピード) 70-27
ディスクアセンブリ (デュアルスピード) 70-28
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション)..... 130-P-8
一次および二次燃料フィルタ 130-P-9
固定ナイフ (電動アクチュエータ).....70-15
固定ナイフ (電動アクチュエータなし).....70-14
中間スプリッターナイフ 70-19
難脱穀性作物用フィードアクセルレータの摩耗ストリップ..... 65-1
難脱穀性作物用排出ビーター摩耗ストリップ 65-44
排出ビーターの摩耗ストリップ.....65-43
標準フィードアクセルレータ摩耗ストリップ 65-1
標準排出ビーターの摩耗ストリップ 65-44

油圧ホース 130-1
最初の 100 時間の前の慣らし運転点検 25-4
作動油リザーバーオイルの点検 30-2
取り外し
アンローディングオーガ駆動チェーンリンク 75-9
エアクリーナフィルタ 130-P-13
エンジンデブリ管理エアフィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-15
タインフィードアクセルレータのコームフロア (イネ用機械) 65-3
消火器 115-1
充填 115-2
消火器ストラップの点検 130-O-5
消火器の点検 130-G-13
心出し
チョッパーブレード 70-20
清掃
2 番還元物システムカメラ 65-62
クリーングレインエレベータカメラ 65-62
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション) 130-P-8
機械の清掃 (定期清掃) 120-1
質量流量センサー (グレンタンクエクステンション) 75-8
質量流量センサープレート (グレンタンクカバー) 75-9
窓、ミラー、ライト 130-O-5
燃料プレクリーナ 130-P-7
清掃部分 110-8
前輪の取り外し 85-14
前輪の取り付け 85-18
注入
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-2
調整
アンローディングオーガクレードルサポート 75-10
アンローディングオーガ位置 75-10, 75-11
アンローディングオーガ駆動チェーン 75-9
クリーングレインエレベーターコンベアチェーン 65-60
グレインタンクカバー (装備されている場合) 75-3
グレンタンクローディングオーガ (グレンタンクカバー) 75-7
ベルト、最初の 50 時間 25-3
点検
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザー (ファイナルティア 4 / ステージ V) 30-4
電気
バッテリーの点検 130-G-11
冬季に対する冷却システムの準備 130-P-13
二番エレベータ
二番エレベータスリップクラッチへのグリース注入 130-A-7, 130-B-8
二番オーガ
フィードアクセルレータベアリングへのグリース注入 130-G-5
二番オーガ駆動スリップクラッチへのグリース注入 130-G-6
燃料タンクシャットオフバルブ 130-P-6
燃料タンクの抜き取り 130-P-6
燃料タンクブリーザーの点検 30-4
燃料タンクへの注入 125-1, 130-P-5
燃料系統のエア抜き 130-P-10
燃料系統の点検 30-3
排出ビーター
排出ビーターベアリングへのグリース注入 130-G-7
抜き取り
ウォーターセパレーター一次フィルタ 130-P-6
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-3
必要に応じて
DEF タンクの清掃 130-P-4
毎日 110-10
油圧オイルの点検 30-2
油圧系統
メインエンジンギヤケースのオイルレベルの点検 130-A-5
作動油リザーバーオイルの交換 130-J-1
作動油リザーバーのオイルレベルを点検します。 130-A-5
作動油リザーバーフィルタの交換 130-I-2
油圧系統の清浄度 130-1
冷却システムの抜き取り 130-P-11
冷却システムへの充填 130-P-12
整備不可
チャファー / ふるい / リターンパンアセンブリ 65-58
清掃
機械の清掃 (定期清掃) 120-1
窓、ミラー、ライト 130-O-5
清掃部分 110-8
折りたたみ
グレンタンクカバー 45-E-3
コーンヘッドの折りたたみ
John Deere モデル 45-E-6
John Deere 以外のモデル 45-E-7
ファウンテンオーガ 45-E-4
ヘッダー輸送位置 45-E-5
手動制御 45-E-8
折りたたみへのアクセス 45-E-1
折りたたみメインページ 45-E-1
折りたたみ式アンローディングオーガ 45-E-4
折りたたみへのアクセス 45-E-1
折りたたみメインページ 45-E-1
折りたたみ式アンローディングオーガ 45-E-4
折りたたみ式コーンヘッドキャリブレーション手順 45-K-22

設定
2 番還元物システムリターンコンケーブ 65-70
チョッパーコントローラバー (オプション)..... 70-11
チョッパー回転数の変更.....70-21
テールボード羽根..... 70-6, 70-7
ドラム高さ (手動傾斜) 55-8
ドラム高さ (油圧傾斜) 55-9
バラスト要件..... 85-24, 85-25
フロントタイヤおよびリアタイヤの情報 85-10
固定ナイフバンク (電動アクチュエータなし) 70-11
作物
アルファルファ 100-1
えんどう豆 100-9
オート麦.....100-9
からし 100-8
きび 100-7
キャノーラ 100-2
グアー (クラスタマメ).....100-6
とうもろこし (ウエット) 100-3
とうもろこし (ドライ).....100-3
とうもろこし穂軸混合 100-4
ナタネ (ドライ)..... 100-10
ナタネ (未乾燥)..... 100-11
はうちわ豆 100-7
ひまわり..... 100-14
ひよこ豆.....100-2
べにばな..... 100-12
ポップコーン..... 100-10
もろこし..... 100-13
ライ小麦..... 100-14
ライ麦 100-12
レンズマメ 100-6
亜麻 100-5
稲..... 100-11
脚注の説明ページ 100-15
小麦 (難脱穀性)..... 100-15
小麦 (普通) 100-15
食用豆 100-4
草種子 100-5
大豆 100-13
大麦 100-1
白いんげん豆.....100-8
作物分流器 70-9
収穫のヒント..... 95-1
低温時の運転..... 95-1
動力の遮断手順 100-17
尾板羽根 70-23
前後位置復帰..... 45-C-21
前後傾斜 45-C-11
前輪
取り外し 85-14
取り付け 85-18
全身振動 145-16
操作
軌道テンションシステム..... 110-8
軌道の機能 110-5
軌道の利点 110-5
軌道機械 110-6
軌道構成部品..... 110-5
窓
清掃 130-O-5
草種子
作物の設定 100-5
騒音レベル..... 145-16
側面ライト
交換 80-20
速度 45-B-4
速度制限 45-L-10
多機能レバー 45-A-2, 45-M-6
自動ヘッダー制御の組み合わせ..... 95-2
多機能レバーのコントロールのセットアップ ..45-A-2
退出ライト..... 45-J-4
大豆
作物の設定 100-13
大麦
作物の設定 100-1
脱穀エレメント
位置 (TriStream ロータータフグレインローター構成).....65-31
位置 (TriStream ローターデンスパック構成) 65-32
位置 (バリアブルストリームローターデンスパック構成) 65-36
位置 (バリアブルストリームローター標準構成) 65-35
脱穀エレメント (TriStream ローター)
取り外し 65-30
取り付け 65-30
脱穀エレメント (バリアブルストリームローター)
取り外し 65-33
取り付け 65-33
脱穀すき間.....45-F-7
脱穀すき間 (アクティブコンケーブアイソレーション) 45-K-15
脱穀すき間 (アクティブコンケーブアイソレーション) のキャリブレーション手順..... 45-K-16
脱穀すき間 (標準コンケーブの調整) 45-K-3
脱穀すき間 (標準コンケーブの調整) のキャリブレーション手順 45-K-3
脱穀すき間調整 45-M-27
脱穀タイン
位置 (TriStream ロータータフグレインローター構成).....65-31
位置 (TriStream ローターデンスパック構成) 65-32
位置 (バリアブルストリームローターデンスパック構成) 65-36
位置 (バリアブルストリームローター標準構成) 65-35
脱穀タイン (TriStream ローター)
取り外し 65-30
取り付け 65-30
脱穀タイン (バリアブルストリームローター)
取り外し 65-33

取り付け 65-33
脱穀ベーン
トップカバーベーン (装備されている場合)..... 65-29
脱穀条件 45-F-4
脱穀速度 45-F-8
脱穀速度調整 45-M-27
単点
ラッチ 55-24
調整
ラッチ 55-27
駐車フィルタクリーニング 45-G-4
駐車ブレーキ 45-M-32
調整の詳細 45-L-8
調整の状態 45-F-12
低温時の運転 95-1
停止灯
交換 80-21
電気
トラブルシューティング 135-19
部品の取り扱いの注意 80-1
電気システム
インラインヒューズ 80-9
ケーブルの接続 80-4
バッテリーの取り外しと取り付け 80-5, 80-6
バッテリーの点検 130-G-11
バッテリー遮断スイッチ 80-7
バッテリの充電 80-4
ハロゲンバルブの安全規則 80-11
ヒューズセンター 80-7, 80-9
ブースターの接続 80-5
メンテナンス
オルタネータスクリーンの清掃 130-O-2
交換
アクセスドア作業灯 80-19
アンローディングオーガライト 80-19
キャビンインテリアライト 80-21
キャブヘッドライト 80-12
キャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム) . 80-13
クリアランスライト / 停止灯 80-21
クリーニングシューライト 80-20
グレンタンクライト 80-19
スタブルライト 80-19
ディスチャージライト 80-19
ハザード警告灯 / クリアランスライト 80-21
ビーコンライト 80-19
ビーコンライトバルブ 80-18
フェーシアライト (装備されている場合)... 80-14, 80-15
マップライト 80-21
リアハザード警告灯 80-21
下部走行ビームライト (装備されている場合) 80-15
側面ライト 80-20
発光ダイオード (LED) ライト 80-16
補助圃場灯 80-19
清掃
機械の清掃 (定期清掃) 120-1
注意事項 80-1
調整
キャブヘッドライト 80-12
キャブヘッドライト (ハイビーム / ロービーム) . 80-13, 80-14
下部走行ビームライト (装備されている場合) 80-15
発光ダイオード (LED) ライト 80-17
比重の点検 80-4
動力の遮断手順 100-17
道路輸送 90-1
ヘッダーを取り付けた状態 85-1, 90-1
道路輸送切断 45-M-31
道路輸送速度
仕様 110-7
二酸化炭素排出量 145-19
二番エレベータ
カメラ 65-62
センサー 65-63
メンテナンス
二番エレベータスリップクラッチへのグリース注入 130-A-7, 130-B-8
調整
駆動ベルト 65-64
上部駆動チェーン 65-65
二番オーガ
メンテナンス
二番オーガ駆動スリップクラッチへのグリース注入 130-G-6
燃料
システムのエア抜き 130-P-10
シャットオフバルブ 130-P-6
タンクの抜き取り 130-P-6
タンクへの注入 125-1, 130-P-5
ディーゼル 125-2
バイオディーゼル燃料 125-3
フラッシング
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション) 130-P-7
交換
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション) 130-P-8
一次および二次燃料フィルタ 130-P-9
取り扱いと保管 125-2
潤滑性 125-4
清掃
プレクリーナ 130-P-7
ヘビーデューティ燃料プレクリーナフィルタ (オプション) 130-P-8
注入
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-2
燃料タンクブリーザーの点検 30-4

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザーの点検 (ファイナルティア 4 / ステージ V) 30-4
抜き取り
ウォーターセパレーター次フィルタ 130-P-6
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-3
燃料システム 130-P-2
改造禁止 130-P-2
燃料タンク
シャットオフバルブ 130-P-6
ブリーザーの点検 30-4
清掃
機械の清掃 (定期清掃) 120-1
注入 125-1, 130-P-5
抜き取り 130-P-6
燃料の保管 125-2
燃料フィルタ
フィルタ、燃料 125-17
燃料レベルインジケーター 45-M-33
燃料系統
エア抜き 130-P-10
システムの点検 30-3
一次燃料フィルタの交換 130-G-2
点検 30-3
二次燃料フィルタの交換 130-G-2
燃料タンクブリーザーの交換 130-G-16
燃料タンクブリーザーの清掃 130-F-3
燃料プレクリーナフィルタの清掃 . 130-B-4, 130-G-1
燃料プレクリーナフィルタの点検 130-A-5
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザーの交換 130-G-16
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクブリーザーの清掃 130-F-3
油水分離器の点検 130-G-2
油水分離器一次燃料フィルタの清掃 130-B-5
燃料再補充時、静電気発生リスクの防止 ... 10-5, 125-1
燃料補充時の静電気発生リスクの防止 10-5, 125-1
破損グレン 45-L-23
破損グレン感度 45-L-29
廃棄、排ガスフィルタ 130-P-15
排ガスフィルタ
灰の処理と廃棄 130-P-15
排ガスフィルタクリーニング表示灯 45-M-32
排ガスフィルタの灰の処理と廃棄
ディーゼルパティキュレートフィルターの灰の処理と廃棄 130-P-15
排ガスフィルタの廃棄 130-P-15
排ガス処理用尿素水 (DEF)
SCR を装備したエンジンで使用 125-6
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク
アクセス
インラインフィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-4
供給装置フィルタ (ファイナルティア 4 / ステージ V) 130-P-4
ブリーザーの交換 130-G-16
ブリーザーの清掃 130-F-3
ブリーザーの点検 30-4
注入 130-P-2
抜き取り 130-P-3
排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルインジケーター 45-M-33
排ガス性能
不正改造 4
排気フィルタシステムの概要 45-G-3
排出ガス
必要な言語
EPA 130-P-1
排出ビーター
ベアリングへのグリース注入 130-G-7
詰まりの除去 65-74
交換
ベルト 65-39
摩耗ストリップ 65-43
調整
ベルト 65-39
排出ビーター (難脱穀性作物用)
交換
摩耗ストリップ 65-44
排出ビーター (標準)
交換
摩耗ストリップ 65-44
白いんげん豆
作物の設定 100-8
尾板
調整
羽根 70-5, 70-22
羽根の設定 70-23
標準重量表 100-18
表示灯の概要 35-2
復帰の環境設定 45-C-20
幅 45-B-4, 45-C-4
物体検出センサー (ファイナルティア 4 / ステージ V) 35-4
保管
機械の準備 140-1
冬季に対する冷却システムの準備 130-P-13
保管からの機械の復帰 140-2
補機ベルト
交換 (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-1
13.5 L 130-R-1
補助圃場灯
交換 80-19
方向 45-B-5
方向指示器、ホーン、ハイ / ロービームの操作 45-M-13
未脱穀ロス 45-L-23
未脱穀材 45-L-23
無線
CB の取り付け 20-3

銘板
潤滑の位置 130-1
目標を維持できません 45-L-20
油圧
テンションシステム..... 110-8
油圧グラウンド走行
トラブルシューティング..... 135-5
油圧系統
アキュムレータ圧力..... 130-2
クリーニング
機械の清掃 (1 年に 1 回の清掃と特殊作物). 120-7
ホースの交換..... 130-1
メンテナンス
メインエンジンギヤケースのオイルレベルの点検..... 130-A-5
作動油リザーバーオイルの交換.....130-J-1
作動油リザーバーのオイルレベルを点検します。 130-A-5
作動油リザーバーフィルタの交換 130-I-2
リザーバーオイルの点検..... 30-2
清浄度..... 130-1
清掃
機械の清掃 (定期清掃)..... 120-1
輸送
道路速度仕様..... 110-7
輸送情報 90-11
冷却システム
クーラントレベルの点検..... 30-2
メンテナンス
エンジンクーラントの交換..... 130-N-1
エンジンクーラントの点検..... 130-A-3
オイルクーラーの清掃 130-A-3, 130-B-5
コンデンサの清掃 130-A-3, 130-B-5
チャージエアクーラーの清掃 ... 130-A-3, 130-B-5
ラジエータの清掃 130-A-3, 130-B-5
ロータリースクリーンの清掃 ... 130-A-3, 130-B-5
交換
ファン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
13.5 L..... 130-R-13
ロータリースクリーン駆動ベルト (ティア 2 / ステージ II)
9.0 L 130-Q-4
13.5 L..... 130-R-7
ロータリースクリーン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-7
13.5 L..... 130-R-11
可変速度駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-9
真空ファン駆動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-8
13.5 L..... 130-R-11
真空ファン従動ベルト (ファイナルティア 4 / ステージ V)
9.0 L 130-Q-8
取り回し
ロータリースクリーンベルト ... 130-Q-3, 130-R-5
注入 130-P-12
調整
ロータリースクリーンブラシ 130-Q-14, 130-R-15
冬季に対する準備 130-P-13
抜き取り 130-P-11
冷却系統
交換
ロータリースクリーンベルト ... 130-Q-3, 130-R-6

メモ

メモ